

IBM Security zSecure
バージョン 2.3.0

メッセージ・ガイド



IBM Security zSecure
バージョン 2.3.0

メッセージ・ガイド



注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 709 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

2017 年 8 月

本書は、IBM Security zSecure 製品のバージョン 2 リリース 3 モディフィケーション 0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： SC27-5643-05
Security zSecure
Version 2.3.0
Messages Guide

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 1998, 2017.

目次

本書について	v
zSecure 資料	v
ライセンス文書の入手	vi
IBM zSecure Suite ライブラリー	vi
IBM zSecure Manager for RACF z/VM ライ ブラリー	ix
関連資料	xi
アクセシビリティ	xii
技術研修	xii
サポート情報	xii
適切なセキュリティの実践に関する注意事項	xii

第 1 章 概要

リリース情報	1
zSecure 製品の概要	1
zSecure のメッセージ・タイプ	2

第 2 章 CKF メッセージ

メッセージ 0 から 99	6
メッセージ 100 から 199	20
メッセージ 200 から 299	35
メッセージ 300 から 399	46
メッセージ 400 から 499	58
メッセージ 500 から 599	58
メッセージ 600 から 699	68
メッセージ 700 から 799	69
メッセージ 800 から 899	73
メッセージ 900 から 999	73

第 3 章 CKG メッセージ

メッセージ 100 から 199	83
メッセージ 400 から 499	87
メッセージ 500 から 599	90
メッセージ 600 から 699	95
メッセージ 700 から 799	108
メッセージ 800 から 899	113
メッセージ 900 から 999	114

第 4 章 CKN メッセージ

メッセージ 0 から 99	125
メッセージ 100 から 199	139
メッセージ 200 から 299	153
メッセージ 600 から 899	158
メッセージ 900 から 999	160

第 5 章 CKR メッセージ

メッセージ 0 から 99	166
メッセージ 100 から 199	184
メッセージ 200 から 299	199
メッセージ 300 から 399	213
メッセージ 400 から 499	228

メッセージ 500 から 599	241
メッセージ 600 から 699	257
メッセージ 700 から 799	272
メッセージ 800 から 899	280
メッセージ 900 から 999	283
メッセージ 1000 から 1099	300
メッセージ 1100 から 1199	313
メッセージ 1200 から 1299	327
メッセージ 1300 から 1399	345
メッセージ 1400 から 1499	358
メッセージ 1500 から 1599	373
メッセージ 1600 から 1699	380
メッセージ 1700 から 1799	381
メッセージ 1800 から 1899	397
メッセージ 1900 から 1999	397
メッセージ 2100 から 2199	411
メッセージ 2200 から 2299	416
メッセージ 2300 から 2399	433
メッセージ 2400 から 2499	448
メッセージ 2500 から 2599	463
メッセージ 2600 から 2699	470
メッセージ 2700 から 2799	473
メッセージ 2800 から 2899	473
メッセージ 2900 から 2999	477
メッセージ 3000 から 3099	477
メッセージ 3100 から 3199	483

第 6 章 CKV メッセージ

メッセージ 0 から 99	485
メッセージ 100 から 199	489
メッセージ 200 から 299	492
メッセージ 300 から 399	493
メッセージ 400 から 499	495
メッセージ 700 から 799	495
メッセージ 800 から 899	496

第 7 章 CKX メッセージ

メッセージ 0 から 99	499
メッセージ 800 から 899	502
メッセージ 900 から 999	503

第 8 章 CQT メッセージ

メッセージ 0 から 99	509
メッセージ 100 から 199	519
メッセージ 900 から 999	527

第 9 章 C2P メッセージ

メッセージ 0 からメッセージ 999 (zSecure の開始 タスク)	532
メッセージ 1000 から 1999 (事前定義 RACF アラ ート)	583

メッセージ 2000 から 2999 (事前定義 ACF2 アラ ート)	595
メッセージ 4000 から 6999 (インストール定義アラ ート)	602
メッセージ 8000 から 8999	602
第 10 章 C2R メッセージ	603
第 11 章 C2RU メッセージ	617
第 12 章 C2RW メッセージ	625
第 13 章 C2X メッセージ	627
第 14 章 C4R メッセージ	643
メッセージ 0 から 399	643
メッセージ 400 から 499	644
メッセージ 500 から 599	649
メッセージ 600 から 699	659
メッセージ 700 から 799	668
メッセージ 800 から 899	675
メッセージ 900 から 999	675
第 15 章 BB メッセージ	679
第 16 章 B8R メッセージ	681
第 17 章 ICH メッセージおよび IRR メ ッセージ	701
第 18 章 その他のエラー・メッセージ	703
C エラー	703

LC エラー	703
EPR エラー	703

付録. 問題解決に対するサポート **705**

知識ベースの検索	705
フィックスの入手	705
IBM ソフトウェア・サポートへの登録	706
各週のサポート更新情報の入手	706
IBM サポートへの連絡	707

特記事項 **709**

商標	711

索引 **713**

本書について

このガイドでは、IBM® Security zSecure™ 2.3.0 製品の使用時に提示される可能性があるメッセージおよび戻りコードを示します。また、各メッセージおよびエラーについて説明します。このガイドに記載されている、zSecure Manager for RACF® z/VM® に関連する情報は、同製品のバージョン 1.11.2 を対象としています。

このガイドには、次の情報が含まれています。

- zSecure 製品の概要と各製品の機能説明
- メッセージおよびエラーとそれらの重大度レベルを示すリスト
- 各メッセージの説明
- サポート情報

このガイドは、zSecure 製品の管理およびトラブルシューティングを担当するシステム管理者を対象としています。本書をお読みになる際には、zSecure 製品の概念とコマンドを理解しておく必要があります。

zSecure 資料

IBM Security zSecure Suite ライブラリーおよび IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM ライブラリーの資料には、非ライセンス出版物とライセンス出版物が含まれています。このセクションでは、両方のライブラリーと、それらへのアクセス手順をリストします。

zSecure の非ライセンス出版物は、IBM zSecure Suite (z/OS) または IBM zSecure Manager for RACF z/VM の IBM Knowledge Center から入手できます。IBM Knowledge Center は、IBM 製品資料のホームです。IBM Knowledge Center をカスタマイズし、独自の資料の集合を作成して、使用するテクノロジー、製品、およびバージョンを表示するように画面を設計できます。トピックにコメントを追加したり、Eメール、LinkedIn、Twitter で話題を共有したりすることで、IBM や同僚と対話することもできます。ライセンス出版物の入手手順については、vi ページの『ライセンス文書の入手』を参照してください。

表 1.

製品の IBM Knowledge Center	
製品	URL
IBM zSecure Suite (z/OS)	www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS2RWS/welcome
IBM zSecure Manager for RACF z/VM	www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSQQGJ/welcome

IBM Terminology Web サイトに、製品ライブラリーの用語が 1 カ所にまとめられています。

ライセンス文書の入手

プログラム・ディレクトリーを除き、IBM Security zSecure Suite 2.3.0 および IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM 1.11.2 のすべてのライセンス出版物および非ライセンス出版物は、*IBM Security zSecure Documentation CD*、LCD7-5373 に含まれています。zSecure Documentation CD のディスク・イメージ (.iso) ファイルを直接ダウンロードする方法は、この製品資料に記載されています。

Documentation CD の .iso ファイル、または個々のライセンス出版物の PDF ファイルを入手するには、tivzos@us.ibm.com まで E メールをお送りください。IBM Security zSecure Suite 2.3.0 のライセンス出版物へのアクセスを要求してください。会社の IBM お客様番号と、ご希望の連絡先情報を合わせて記入してください。ご注文を処理するための詳細が送信されます。

IBM zSecure Suite ライブラリー

IBM Security zSecure Suite ライブラリーには、非ライセンス出版物とライセンス出版物が含まれています。

非ライセンス出版物は、IBM zSecure Suite の IBM Knowledge Center から入手できます。非ライセンス出版物は、クライアントのみが入手できます。ライセンス出版物の入手ライセンス出版物を入手については、ライセンス出版物の入手を参照してください。ライセンス出版物には、L で始まる資料番号 (LCD7-5373 など) があります。

IBM Security zSecure Suite ライブラリーには、次の資料があります。

- 『このリリースについて』には、リリース固有の情報に加え、zSecure 固有ではない、より一般的な情報が含まれています。リリース固有の情報には、以下が含まれます。
 - 新機能: zSecure V2.3.0 の新機能および機能拡張をリストします。
 - リリース・ノート: 各製品リリースのリリース・ノートで、IBM Security zSecure 製品の重要なインストール情報、非互換性の警告、制限事項、および既知の問題を提供しています。
 - 資料: zSecure Suite および zSecure Manager for RACF z/VM のライブラリーをリストして、簡潔に説明します。また、資料にはライセンス出版物を入手するための手順が含まれています。
 - 関連資料: zSecure に関連する情報のタイトルおよびリンクのリストです。
 - 問題解決に対するサポート: 問題解決策が IBM の知識ベースで見つかる場合がよくあります。また、製品のフィックスが提供されている場合があります。IBM ソフトウェア・サポートに登録すると、IBM の週次 E メール通知サービスサービスを購入できます。IBM サポートでは、製品の問題点に関するサポートや、よくある質問への回答を提供するほか、問題解決の支援も行っています。
- *IBM Security zSecure CARLa-Driven Components* インストールおよびデプロイメント・ガイド, SA88-7162

次の IBM Security zSecure コンポーネントのインストールと構成に関する情報を記載しています。

- IBM Security zSecure Admin
- RACF、CA-ACF2、および CA-Top Secret 用の IBM Security zSecure Audit
- RACF および CA-ACF2 用の IBM Security zSecure Alert
- IBM Security zSecure Visual
- RACF、CA-ACF2、および CA-Top Secret 用の IBM Security zSecure Adapters for SIEM
- *IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF* スタートアップ・ガイド, GI88-4318

IBM Security zSecure Admin および IBM Security zSecure Audit の製品機能、およびユーザーが標準的なタスクや手順を実行する方法を紹介する、実地のガイドが記載されています。このマニュアルは、新規ユーザーが基本的な IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF システム機能の実用的な知識を身につけるとともに、使用可能な他の製品機能を調べる方法を理解するのに役立つことを目的としています。

- *IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF* ユーザー・リファレンス・マニュアル, LA88-7161

IBM Security zSecure Admin および IBM Security zSecure Audit の製品機能について説明しています。ユーザーが ISPF パネルから管理機能および監査機能を実行する方法が記載されています。このマニュアルには、トラブルシューティング・リソース、および zSecure Collect for z/OS® コンポーネントのインストール手順も記載されています。この資料は、ライセンス交付を受けたユーザーのみが入手できます。

- *IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF* 行コマンドおよび基本コマンドの要約, SC43-2894

簡略な説明とともに、行コマンドおよび基本 (ISPF) コマンドをリストしています。

- *IBM Security zSecure Audit for ACF2 Getting Started*, GI13-2325

zSecure Audit for CA-ACF2 製品機能について説明し、ユーザーが標準的なタスクや手順 (ログオン ID、規則、グローバル・システム・オプションの分析など) を実行し、レポートを実行するための方法を記載しています。また、このマニュアルには、ACF2 用語に慣れていないユーザー向けに一般的な用語のリストも記載されています。

- *IBM Security zSecure Audit for ACF2 User Reference Manual*, LC27-5640

zSecure Audit for CA-ACF2 を使用してメインフレームのセキュリティー管理およびモニタリングを行う方法について説明します。このガイドには、新規ユーザー向けの情報として、CA-ACF2 の使用や ISPF パネルからの機能へのアクセスに関する概要および概念情報が記載されています。上級ユーザー向けに、このマニュアルには、詳細な参照情報、トラブルシューティングのヒント、zSecure Collect for z/OS の使用に関する情報、およびユーザー・インターフェースのセットアップに関する詳細情報が記載されています。この資料は、ライセンス交付を受けたユーザーのみが入手できます。

- *IBM Security zSecure Audit for Top Secret User Reference Manual, LC27-5641*

zSecure Audit for CA-Top Secret 製品機能について説明し、ユーザーが標準的なタスクや手順を実行する方法を記載しています。この資料は、ライセンス交付を受けたユーザーのみが入手できます。

- *IBM Security zSecure CARLa コマンド・リファレンス, LC43-2107*

CARLa Auditing and Reporting Language (CARLa) についての、一般ユーザーと上級ユーザーの両方の参照情報が記載されています。CARLa は、zSecure を使用してセキュリティの管理レポートおよび監査レポートを作成するためのプログラミング言語です。「CARLa コマンド・リファレンス」には、データの選択および zSecure レポートの作成のための NEWLIST タイプおよびフィールドに関する詳細情報も記載されています。この資料は、ライセンス交付を受けたユーザーのみが入手できます。

- *IBM Security zSecure Alert ユーザー・リファレンス・マニュアル, SA88-7156*

セキュリティ・サーバー (RACF) または CA-ACF2 で保護された z/OS システムのリアルタイム・モニターである IBM Security zSecure Alert の構成、使用、およびトラブルシューティングの方法を説明しています。

- *IBM Security zSecure Command Verifier ユーザー・ガイド, SA88-7158*

RACF コマンドが入力されたときに RACF ポリシーを実施することによって、RACF メインフレーム・セキュリティを保護するために IBM Security zSecure Command Verifier をインストールし、使用方法を説明しています。

- *IBM Security zSecure CICS Toolkit ユーザー・ガイド, SA88-7159*

CICS® 環境から RACF 管理機能を提供するために、IBM Security zSecure CICS Toolkit をインストールし、使用方法を説明しています。

- *IBM Security zSecure メッセージ・ガイド, SA88-7160*

すべての IBM Security zSecure コンポーネントのメッセージ解説を記載しています。このガイドは、各製品または機能に関連するメッセージ・タイプについて説明し、IBM Security zSecure 製品のすべてのメッセージおよびエラーとそれらの重大度レベルを、メッセージ・タイプ別にソートしてリストします。また、このガイドは、各メッセージについて説明すると共に、各メッセージに関する追加のサポート情報がある場合はその情報も提供します。

- *IBM Security zSecure Visual クライアント・マニュアル, SA88-7157*

Windows ベース GUI から RACF 管理用タスクを実行するために IBM Security zSecure Visual Client をセットアップし、使用方法を説明しています。

- *IBM Security zSecure Documentation CD, LCD7-5373*

IBM Security zSecure 資料を提供します。これには、ライセンス交付された製品資料とライセンス交付されていない製品資料が含まれています。「Documentation CD」はダウンロード可能な .iso ファイルとして使用できます。ライセンス出版物の入手を参照して、このファイルを取得してください。

プログラム・ディレクトリーはプロダクト・テープで提供されます。プログラム・ディレクトリーから最新のコピーをダウンロードすることもできます。

- プログラム・ディレクトリー-IBM Security zSecure CARLa-Driven Components、GI13-2277

このプログラム・ディレクトリーは、プログラムのインストールと保守を担当するシステム・プログラマーを対象としています。IBM Security zSecure CARLa-Driven Components (Admin、Audit、Visual、Alert および IBM Security zSecure Adapters for SIEM) のインストールに関連した資料と手順に関する情報が記載されています。

- プログラム・ディレクトリー-IBM Security zSecure CICS Toolkit、GI13-2282

このプログラム・ディレクトリーは、プログラムのインストールと保守を担当するシステム・プログラマーを対象としています。IBM Security zSecure CICS Toolkit のインストールに関連した資料と手順に関する情報が記載されています。

- プログラム・ディレクトリー-IBM Security zSecure Command Verifier、GI13-2284

このプログラム・ディレクトリーは、プログラムのインストールと保守を担当するシステム・プログラマーを対象としています。IBM Security zSecure Command Verifier のインストールに関連した資料と手順に関する情報が記載されています。

- プログラム・ディレクトリー-IBM Security zSecure Admin RACF-Offline、GI13-2278

このプログラム・ディレクトリーは、プログラムのインストールと保守を担当するシステム・プログラマーを対象としています。IBM Security zSecure Admin の IBM Security zSecure Admin RACF-Offline コンポーネントのインストールに関連した資料と手順に関する情報が記載されています。

- zSecure Administration、監査、およびコンプライアンスの各ソリューションのプログラム・ディレクトリー
 - 5655-N23: Program Directory for IBM Security zSecure Administration、GI13-2292
 - 5655-N24: Program Directory for IBM Security zSecure Compliance and Auditing、GI13-2294
 - 5655-N25: Program Directory for IBM Security zSecure Compliance and Administration、GI13-2296

IBM zSecure Manager for RACF z/VM ライブラリー

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM ライブラリーには、非ライセンス出版物とライセンス出版物が含まれています。

非ライセンス出版物は、IBM zSecure Manager for RACF z/VM の IBM Knowledge Center から入手できます。ライセンス出版物には、L で始まる資料番号 (LCD7-5373 など) があります。

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM ライブラリーには、次の資料があります。

- *IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM* リリース情報

製品リリースごとに、「リリース情報」のトピックで、新機能と機能拡張、非互換性の警告、および資料の更新情報を提供します。最新バージョンのリリース情報は、zSecure for z/VM 資料の Web サイト (IBM zSecure Manager for RACF z/VM の IBM Knowledge Center) から入手できます。

- *IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM: インストールおよびデプロイメント・ガイド*, SC27-4363

製品のインストール、構成、およびデプロイに関する情報を提供します。

- *IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM ユーザー・リファレンス・マニュアル*, LC27-4364

製品インターフェースと、RACF の管理および監査機能の使用方法を説明します。この資料には、CARLa コマンド言語および SELECT/LIST フィールドに関する参照情報が記載されています。また、トラブルシューティング・リソース、および zSecure Collect コンポーネントの使用方法も記載されています。この資料は、ライセンス交付を受けたユーザーのみが入手できます。

- *IBM Security zSecure CARLa コマンド・リファレンス*, LC43-2107

CARLa Auditing and Reporting Language (CARLa) についての、一般ユーザーと上級ユーザーの両方の参照情報が記載されています。CARLa は、zSecure を使用してセキュリティの管理レポートおよび監査レポートを作成するためのプログラミング言語です。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」には、データの選択および zSecure レポートの作成のための NEWLIST タイプおよびフィールドに関する詳細情報も記載されています。この資料は、ライセンス交付を受けたユーザーのみが入手できます。

- *IBM Security zSecure Documentation CD*, LCD7-5373

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM 資料を提供します。これには、ライセンス交付された製品資料とライセンス交付されていない製品資料が含まれています。

- *Program Directory for IBM zSecure Manager for RACF z/VM*, GI11-7865

本書の情報を効果的に使用するには、プログラム・ディレクトリーから入手可能な一定の前提条件となる知識が必要です。「*Program Directory for IBM zSecure Manager for RACF z/VM*」は、製品のインストール、構成、およびデプロイを担当するシステム・プログラマーを対象としています。この資料には、ソフトウェアのインストールに関連する資料および手順についての情報が記載されています。プログラム・ディレクトリーは、プロダクト・テープで提供されます。IBM zSecure Manager for RACF z/VM の IBM Knowledge Center から最新のコピーをダウンロードすることもできます。

関連資料

このセクションでは、zSecure に関連する情報のタイトルおよびリンクを記載します。

参照先	対象
IBM Security zSecure の IBM Knowledge Center	zSecure のすべての非ライセンス資料。 特定のリリースに固有の情報、システム要件、非互換性などについては、目的のバージョンを選択し、「このリリースについて」を選択します。『新機能』および『リリース・ノート』を参照してください。
<i>Identity Governance and Intelligence Adapter for zSecure RACF</i>	Identity Governance and Intelligence Adapter for zSecure RACF の実装方法に関する情報。
IBM Knowledge Center: z/OS	z/OS に関する情報。表 2 に、zSecure で最も役立つ資料をいくつか示します。
z/OS Security Server の資料	Resource Access Control Facility (RACF) に関する詳細情報、および zSecure Admin and Audit 製品を使用して報告できるイベントのタイプに関する情報。 RACF コマンド、および各種キーワードの意味については、「z/OS Security Server RACF コマンド言語 解説書」および「z/OS Security Server RACF セキュリティー管理者のガイド」を参照してください。RACF によって記録される各種イベントの情報については、「z/OS Security Server RACF 監査担当者のガイド」に記載されています。
CICS Transaction Server for z/OS の資料	IBM Knowledge Center
CA-ACF2 資料	ACF2 に関する情報、および zSecure Audit for ACF2 製品を使用して報告できるイベントのタイプに関する情報。
CA-Top Secret for z/OS の 資料	Top Secret に関する情報、および zSecure Audit for Top Secret 製品を使用して報告できるイベントのタイプに関する情報。

表 2. zSecure で使用するのに最も役立つ z/OS の資料

資料タイトル	資料番号
z/OS Communications Server: IP 構成解説書	SC27-3651
z/OS Integrated Security Services エンタープライズ識別マッピング (EIM) ガイドおよび解説書	SA88-7076
z/OS MVS プログラミング: 高水準言語向け呼び出し可能サービス	SA88-7103
z/OS MVS システム・コマンド	SA88-5490
z/OS Security Server RACF セキュリティー管理者のガイド	SA88-5804
z/OS Security Server RACF 監査担当者のガイド	SA88-5718
z/OS Security Server RACF コマンド言語解説書	SA88-6226
z/OS Security Server RACF マクロおよびインターフェース	SC43-2673
z/OS Security Server RACF メッセージおよびコード	SA88-5839
z/OS Security Server RACF セキュリティー管理者のガイド	SA88-5804

表 2. zSecure で使用するのに最も役立つ z/OS の資料 (続き)

資料タイトル	資料番号
z/OS Security Server RACF システム・プログラマーのガイド	SA88-7029
z/Architecture® 解説書	SA88-8773

z/VM については、IBM Knowledge Center (www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSB27U/welcome)または www.vm.ibm.com/library を参照してください。

アクセシビリティ

アクセシビリティ機能は、運動障害または視覚障害など身体に障害を持つユーザーがソフトウェア・プロダクトを快適に使用できるようにサポートします。この製品では、支援技術を使用して、インターフェースを音声でナビゲートすることができます。また、マウスの代わりにキーボードを使用して、グラフィカル・ユーザー・インターフェースのすべての機能を操作できます。

技術研修

技術研修の情報については、IBM Training and Skills の Web サイト (www.ibm.com/training) を参照してください。

ご利用可能な zSecure の研修の情報については、zSecure 公開 Wiki の zSecure Training ページを参照してください。

サポート情報

IBM サポートは、コード関連の問題や、ルーチン、短期間でのインストール、または使用法に関する疑問をお持ちのお客様に、支援を提供します。IBM ソフトウェア・サポート・サイトへは、www.ibm.com/software/support/probsub.html から直接アクセスできます。

適切なセキュリティの実践に関する注意事項

IT システム・セキュリティには、企業内外からの不正アクセスからの保護、検出、および対処によってシステムおよび情報を保護することが求められます。不適切なアクセスにより、情報が改ざん、破壊、盗用、または悪用されたり、あるいはご使用のシステムの損傷または他のシステムへの攻撃のための利用を含む悪用につながる可能性があります。完全に安全と見なすことができる IT システムまたは IT 製品は存在せず、また単一の製品、サービス、またはセキュリティ対策が、不適切な使用またはアクセスを防止する上で、完全に有効となることもありません。IBM のシステム、製品およびサービスは、包括的なセキュリティの取り組みの一部となるように設計されており、これらには必ず追加の運用手順が伴います。また、最高の効果を得るために、他のシステム、製品、またはサービスを必要とする場合があります。IBM は、何者かの悪意のある行為または違法行為によって、システム、製品、またはサービスのいずれも影響を受けないこと、またはお客様の企業がそれらの行為によって影響を受けないことを保証するものではありません。

第 1 章 概要

IBM Security zSecure スイートは、メインフレーム・セキュリティ環境の効率と保守容易性を改善する製品群です。これらの製品は単独で使用することも、zSecure 製品と共に使用することもできます。メインとなる製品は zSecure Admin と zSecure Audit です。IBM Security zSecure 製品は、z/OS プラットフォームと z/VM プラットフォームの両方に、セキュリティ機能、モニタリング機能、監査機能、およびアラート機能を提供します。

zSecure のメッセージは、通常、関連するプログラムまたはコンポーネントを識別する 3 文字の接頭部によって分類されています。例えば、CKF という接頭部は、zSecure Collect for z/OS コンポーネントによって発行されるメッセージであることを示します。また、CKGメッセージは CKGRACF プログラムによって発行されるメッセージです。このガイドは、プログラムまたはコンポーネントとの関連を示すメッセージ接頭部に基づいて編成されています。

以降のセクションで、zSecure 2.3.0 および zSecure Manager for RACF z/VM 1.11.2 のリリース情報、zSecure 製品の概要、および生成される可能性があるメッセージのタイプについて説明します。

リリース情報

zSecure のリリース情報には、新機能と拡張機能に関する詳細情報、非互換性に関する警告情報、文書の更新に関する情報が記載されています。

最新版の『新機能』と『リリース・ノート』については、IBM Security zSecure V2.3.0 の IBM Knowledge Center (www.ibm.com/support/knowledgecenter/SS2RWS_2.3.0/com.ibm.zsecure.doc_2.3.0/landing/about_this_release.html) の『このリリースについて』を参照してください。

zSecure 製品の概要

IBM Security zSecure スイートには、以下の製品が含まれています。

zSecure Admin

ISPF インターフェース形式の使いやすい層を RACF 上に提供します。これを使用して、メインフレーム上でセキュリティ管理、ユーザー管理、およびコンプライアンス管理を行えます。ユーザーは、管理コマンドをより迅速に入力して処理し、カスタム・レポートを生成し、セキュリティ・データベースを完全にクリーンアップできるようになります。また、zSecure Admin では、管理権限をより詳細に設定できるため、担当するジョブに必要な一定の管理権限のみをユーザーに付与できます。

zSecure Audit

セキュリティ・イベントの自動的な分析と報告、および機密漏れの検出を可能にする、コンプライアンスと監査ソリューション。ポリシーの例外また

は違反を警告する、標準レポートとカスタマイズされたレポートを提供します。このコンポーネントは、RACF、ACF2、および Top Secret に使用可能です。

zSecure Alert

z/OS、DB2[®]、UNIX、RACF、ACF2、および Top Secret におけるセキュリティ・イベントおよび機密漏れを検出および報告するための機能を提供する、メインフレーム監査ソリューション。IBM Security zSecure Alert は、セキュリティに関連するシステム・イベントの発生時にアラートを生成する、リアルタイム・モニターです。

zSecure Command Verifier

メインフレーム・ポリシー実施ソリューションは、細分性の高い RACF 制御を追加して、エラーおよび非標準コマンドを防止します。この製品はバックグラウンドで実行され、企業のポリシーや手順に照らして RACF コマンドを検証します。コマンドがポリシーに準拠しない場合、ブロックされるか、修正されます。他の zSecure コンポーネントから独立して実行できます。

zSecure Visual

zSecure Visual クライアントは、RACF 管理用の Windows ベースのグラフィカル・ユーザー・インターフェースです。Visual Server 製品を使用すれば、RACF とのセキュア接続を直接確立して、Windows 環境からの非集中管理を実現できます。

zSecure CICS Toolkit

このコンポーネントを使用すれば、ほとんどの RACF 管理を TSO ではなく CICS 環境から実行できるようになります。

zSecure Adapters for SIEM

このコンポーネントを使用して、メインフレームのセキュリティ・データを収集し、そのデータを IBM QRadar[®] SIEM 製品などの Security Information and Event Management (SIEM) ソリューションに送信することにより、企業全体のビューが得られます。

zSecure Manager for RACF z/VM

この製品を使用することで、メインフレーム・セキュリティの管理プロセスが単純化されると共に、z/VM 上で RACF の問題を速やかに特定し、修正できるようになります。これは、繰り返し発生する、時間のかかるセキュリティ・タスクを自動化します。

zSecure のメッセージ・タイプ

zSecure のメッセージは、英数字の接頭部によって分類されています。それぞれの接頭部は、その分類のメッセージに関連付けられている zSecure 製品機能を示します。以下の表に、使用されている zSecure メッセージ接頭部、関連する機能、およびそのメッセージが表示される可能性がある製品を示します。

表 3. zSecure 製品のメッセージ

メッセージ接頭部	機能	製品	参照先
CKF	zSecure Collect for z/OS (CKFCOLL)	IBM Security zSecure Admin, IBM Security zSecure Audit, IBM Security zSecure Alert, IBM Security zSecure Adapters for SIEM	5 ページの『第 2 章 CKF メッセージ』
CKG	CKGRACF プログラム	IBM Security zSecure Admin, IBM Security zSecure Visual	83 ページの『第 3 章 CKG メッセージ』,
CKN	zSecure Server (ネットワーク・ノード)	IBM Security zSecure Admin, IBM Security zSecure Audit, IBM Security zSecure Visual	125 ページの『第 4 章 CKN メッセージ』
CKR	CARLa エンジン	IBM Security zSecure Admin, IBM Security zSecure Audit, IBM Security zSecure Visual, IBM Security zSecure Alert, IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM, IBM Security zSecure Adapters for SIEM	165 ページの『第 5 章 CKR メッセージ』
CKV	zSecure Collect for z/VM (CKVCOLL)	IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM	485 ページの『第 6 章 CKV メッセージ』
CKX	TSO 実行ユーティリティー・プログラム CKX または zSecure Command Execution Utility	IBM Security zSecure Admin, IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM	499 ページの『第 7 章 CKX メッセージ』
CQT	モジュール CQTPMSGE	IBM Security zSecure CICS Toolkit	509 ページの『第 8 章 CQT メッセージ』
C2P	zSecure Alert アドレス・スペース、事前定義 RACF アラート、事前定義 ACF2 アラート、インストール定義済みアラート、または zSecure RACF アクセス・モニター	IBM Security zSecure Alert または IBM Security zSecure Admin	531 ページの『第 9 章 C2P メッセージ』
C2R	NLS テーブル処理プログラム C2RIMENU、XSLT スタイル・シート、またはインストール・カスタマイズ REXX exec C2REUPDR	IBM Security zSecure	603 ページの『第 10 章 C2R メッセージ』

表 3. zSecure 製品のメッセージ (続き)

メッセージ接頭部	機能	製品	参照先
C2RU	ユーザー・インターフェース	IBM Security zSecure Visual Client	617 ページの『第 11 章 C2RU メッセージ』
C2RW	メインフレーム・コンポーネントと Windows クライアント間の通信	IBM Security zSecure Visual Server	625 ページの『第 12 章 C2RW メッセージ』
C2X	zSecure RACF Exit Activator コンポーネント C2XACTV	IBM Security zSecure Admin, IBM Security zSecure Audit, IBM Security zSecure Alert	627 ページの『第 13 章 C2X メッセージ』
C4R		IBM Security zSecure Command Verifier	643 ページの『第 14 章 C4R メッセージ』
BB	BBRACF コンポーネント	IBM Security zSecure Visual	679 ページの『第 15 章 BB メッセージ』
B8R	zSecure Admin RACF-Offline 機能	IBM Security zSecure Admin	681 ページの『第 16 章 B8R メッセージ』
ICH と IRR		RACF	701 ページの『第 17 章 ICH メッセージおよび IRR メッセージ』
C		IBM Security zSecure Visual Client	703 ページの『第 18 章 その他のエラー・メッセージ』
LC	クライアント・ユーザー・インターフェースと c2ragent コンポーネントの間の通信層	IBM Security zSecure Visual Client	703 ページの『第 18 章 その他のエラー・メッセージ』
EPR	c2ragent コンポーネントとサーバーの間の通信層。 ApplicationDirectory¥Servers¥ServerName ディレクトリー内の cesys および ceaud というログ・ファイルにも含まれます。ファイル cesys0..cesys9 および ceaud..ceaud9 は、以前のログ・ファイルです。	IBM Security zSecure Visual Client	703 ページの『第 18 章 その他のエラー・メッセージ』

このガイドの以降の各章で、それぞれのメッセージ接頭部、詳細な説明、および取り得る解決策のリストを示します。

第 2 章 CKF メッセージ

zSecure Collect は、以下の製品のコンポーネントです。

- zSecure Admin
- zSecure Audit
- zSecure Alert
- zSecure Adapters for SIEM
- zSecure Manager for RACF z/VM

zSecure Collect はシステム・データを収集し、そのデータを CKFREEZE データ・セットに保管します。これは、z/OS 製品については CKF 接頭部が付いたメッセージを発行し、z/VM 製品については CKV 接頭部が付いたメッセージを発行します。例えば、zSecure Admin and Audit を使用している場合は、メッセージ番号 CKF970I が表示される可能性があります。zSecure Manager for RACF z/VM によって発行される同じメッセージの番号は CKV970I となります。z/OS プラットフォームと z/VM プラットフォームの間で共用される zSecure Collect メッセージは、このセクションに記載されています。z/VM 製品に固有の zSecure Collect メッセージは、485 ページの『第 6 章 CKV メッセージ』に記載されています。

各メッセージ番号は CKFnnnnI または CKVnnnnI の形式で、nnnn はメッセージ番号です。メッセージ ID に加え、重大度コードもプログラムによって発行されます。このコードは、プログラム完了コードから派生しており、検出された最高の重大度コードを示します。

注: このプログラムからの戻りコードは通常、返されたすべてのメッセージの戻りコードのうち最も大きい値に設定されます。NOWARNINGRC がコーディングされる場合、プログラムからの戻りコード 04 は 00 にリセットされます。

重大度コードには、以下のいずれかの値が含まれます。

00	状況または要約情報を示す通常のメッセージ。
04	情報の損失につながる可能性のある異常な状態が検出されました。
08	要求された情報が失われる原因となる異常な状態が検出されました。後続の処理に影響する場合があります。
12	zSecure Collect の処理中の予期しない状態です。
16	コマンド入力に構文エラーがあるか、またはライセンスに問題があります。
24	zSecure Collect で、内部エラーか、または他の予期しない/サポートされない状態が検出されました。
28	zSecure Collect で、内部エラーか、または他の予期しない/サポートされない状態が検出されました。システムを保護してダンプを強制するためにユーザー異常終了が発行されます。

このセクションの残りの部分では、すべてのエラー・メッセージと、その説明および実行可能なアクションが一緒にリストされています。メッセージはサブセクショ

ンに記載され、3桁のメッセージ番号でグループ化されています。特定のメッセージの資料を見つけるには、メッセージ番号 (CKF970I または CKV970I など) で資料を検索してください。

メッセージ 0 から 99

CKF000I 制御ブロック *name* が *reason* の理由で省略されました (**Control block *name* omitted, because of *reason***)

説明: このメッセージは、プログラムが OS 制御ブロックの検索に失敗した場合に発行されます。これは必ずしも問題ではなく、むしろ、役立つ可能性のある情報が存在しないことを検出したものの、使用されている OS のバージョンでは一切意味をなさない情報であることもあります。制御ブロックの名前は制御ブロック ID の *name* で決まります。障害の正確な性質は *reason* で決まり、以下のようになります。

無効なブロック ID

制御ブロック ID が適切な場所で検出されません。

保護例外

制御ブロックに至るポインター・チェーンのウォークスルー中に保護例外が発生しました。

無効な長さ

制御ブロックの最後に使用されるバイトへのアクセス中に保護例外が発生しました。

nil ポインター

制御ブロックへのポインターに 2 進ゼロが含まれていることが検出されました。

このメッセージは OS の新規リリースへの移行後に発生することがよくあります。結果の CKFREEZE ファイルは、目的のために使用できる場合があります。

制御ブロック *names* が失われたことで示される問題には以下のものがあります。

STGS

RMF™ はアクティブではありません

EDT

装置タイプ情報が取得されません

IODN

LCU および装置番号テーブルがありません (RMF も同様)

IOCH

チャンネル情報がありません (RMF も同様)

LPBT

論理パス・ブロック・テーブルがありません (SRM SP4)

RCVT

システムに RACF がありません

SSVT これは RMM がアクティブではない場合に表示される可能性があります

重大度: 04

CKF001I *devclass* 装置 *dev* 装置タイプ *devtype* の汎用装置名がありません (**No generic unit name for *devclass* unit *dev* *devtype* *devtype***)

説明: このメッセージは、ご使用の OS がアドレス *dev* の装置の汎用ユニット名を指定できなかったこと、および装置タイプ (8 つの 16 進数字で指定される) も zSecure Collect のハードコーディングされた装置テーブルに検出されなかったことを示します。装置クラスは *devclass* です。これは問題ではありません。装置名フィールドに疑問符 (?) が表示されることに注意を促すためのものです。

重大度: 04

CKF002I *type* データ・セット *datasetname* の LOCATE 戻りコード *rc* (**LOCATE return code *rc* on *type* data set *datasetname***)

説明: このメッセージは、データ・セット *datasetname* (*type* データ・セットとなることが予想される) が MVS™ の LOCATE サービスによって検出できなかったことを示します。サービスが返す戻りコードは *rc* です。CKFREEZE ファイル内のボリュームはブランクのままかゼロになります。

重大度: 04

CKF003I 装置 *dev* の DEVTYPE RC が非ゼロ (**DEVTYPE RC nonzero for unit *dev***)

説明: 装置 *dev* の情報の収集に使用される DEVTYPE SVC が非ゼロの戻りコードを返しました。これが原因で CKFREEZE ファイル内の装置タイプ・レコードが使用不能になる場合があります。

重大度: 04

CKF004I PDSE dev volume dsname をクローズし、decnum メンバーで decnum バイト読み取りました (Closed PDSE dev volume dsname read decnum bytes in decnum members)

説明: この通知メッセージは、指定された PDSE から読み取られたデータ量を示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF005I CMD リジェクトを無視してください (Please ignore CMD rejects)

説明: このメッセージは、3350 DASD 装置の CMD リジェクトを指定する IOS000I メッセージまたは IEA000I メッセージのバーストに対してアクションを取らないようオペレーターに警告するために、オペレーター・コンソールに表示されます。これは 3350 番台の装置の処理をプログラムが完了した直後に削除されます。許可された操作中にのみ表示されます。

CKF006I 装置 dev ボリューム volume の CVAFDIR type エラー、R15=rc、CVSTAT=code (CVAFDIR type error, R15=rc, CVSTAT=code on device dev volume volume)

説明: VTOC 索引へのアクセス中に、CVAFDIR type (READ または RLSE) サービスが、CVAF の戻りコード code と一緒に非ゼロの戻りコード rc を返しました。これらのコードの意味については、該当する IBM マニュアルを参照してください。アクセスのタイプが READ の場合、VTOC は、VTOC 索引内で使用された DSCB マップを考慮することなく完全に読み取られました。

重大度: 12

CKF007I タスクは APF 許可ではありません - 無保護情報のみを収集できます (Task is not APF authorized - only non-protected information can be collected)

説明: このメッセージは、プログラムが許可を取得できなかったことを警告します。詳しくは、『許可または非許可 (Authorized or unauthorized?)』セクション (zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルで使用可能な zSecure Collect の資料) を参照してください。

重大度: 00

CKF008I 問い合わせた DASD 装置の数: number1 (非共有 number2) (Number of DASD devices interrogated: number1 (non-shared number2))

説明: このメッセージは、割り振りまたは問い合わせのあった装置の数を示します。number2 は、非共有として生成された装置の数を示します。SHARED=NO 要求が実行された場合は、非共有装置 VTOC/VVDS のみが完全に収集されます。

重大度: 00

CKF009I コピーされた DSCB エントリーの数: nn

説明: このメッセージは、VTOC から CKFREEZE ファイルにコピーされるデータ・セット制御ブロックの数を示します。一部のエクステン트는同じデータ・セットについて別々の DSCB に記述されるため、データ・セット制御ブロックの数は、問い合わせのあった装置上のデータ・セットの数よりもいくらか大きくなります。使用している DSCB のみコピーされることに注意してください。

重大度: 00

CKF010I 処理される VVDS データ・セットの数: nn

説明: このメッセージは、OPEN が試行された VVDS データ・セットの数を示します。すべてのボリュームが VVDS を持つ必要はないため、この数は一般的に、問い合わせのあった DASD 装置の数よりも小さくなります。SHARED=NO の場合、これには、非共有 DASD 装置、およびシステムに該当する特定の構成情報を含む共有 DASD 装置が含まれます。SHARED=NO とともに INFO を組み込むと、データ・セットの詳細を示す CKF603I または CKF604I メッセージが発行されます。

重大度: 00

CKF011I コピーされた NVR/VVR エントリーの数: nn (Number of NVR/VVR entries copied: nn)

説明: このメッセージは、CKFREEZE ファイルにコピーされる VVR (VSAM ボリューム・レコード) および NVR (非 VSAM ボリューム・レコード) の数を示します。VVR の数は、処理されたボリューム上の VSAM データ・セットのおよそ 2 倍です。NVR は、SMS 管理の非 VSAM データ・セットに関連付けられます。

重大度: 00

CKF012I VVDS の 4K 以外のブロック・サイズはサポートされません。ボリューム *volume* (Non-4K block size for VVDS not supported - volume *volume*)

説明: このメッセージは、ボリューム *volume* で 4KB 以外のブロック・サイズの VVDS が検出されたことを示します。これはこの zSecure Collect リリースではサポートされません。VVDS は、3330/3350/3380/3390 の DASD 上で、最低 DFP 1.0 から DFP 3.3 を使用して自動的に作成されると、4KB のブロック・サイズになります。このメッセージが表示される場合、指定されたボリュームの VVDS 情報は読み取られず、VTOC に記述されるコンポーネント名のみが表示され、クラスター名は表示されません。

重大度: 12

CKF014I DASD 装置 *dev* はオンラインですが作動不能です (DASD Device *dev* online but not ready)

説明: このメッセージは、装置番号 *dev* はオンラインのため構成に組み込まれていましたが、作動不能だったため問い合わせできなかったことを示します。入出力要求をスケジューリングする代わりに、zSecure Collect は装置をスキップしました。これによって、ご使用の目的には不完全な情報が得られる場合があります。

重大度: 04

CKF015I SYSEVENT DONTSWAP に失敗しました。16 進戻りコード *rc* (SYSEVENT DONTSWAP failed, return code hex *rc*)

説明: このメッセージは zSecure Collect 自身をスワップ不可にすることに失敗したことを示します。その結果、許可された入出力をスケジュールできず、3880 装置について、キャッシュ・サイズ情報および装置レベル・キャッシュ無効化情報が収集されません。WAIT を除去するための保証された装置パス入出力も使用されません。

重大度: 08

CKF016I *volume dsname* についてサポートされない control block レベル *hexnum* (Unsupported control block level *hexnum* for *volume dsname*)

説明: このメッセージは、示された PDSE について、サポートされないレイアウトの制御ブロックがディレクトリー項目サービスによって返されたことを示します。制御ブロックが「DESB」の場合、PDSE の残りについ

てチェックサムおよび IDR 処理がスキップされます。「SMDE」の場合、処理は単一のメンバーについてのみスキップされます。

重大度: 08

CKF017I *type* 装置 *dev volume* へのパス *ch* が作動不能です (Path *ch* to *type* device *dev volume* not operational)

説明: このメッセージは、選択されたオンラインで作動可能な装置番号 *dev* (ボリューム通し番号 *volume*) に対するインストール済み物理チャネル (XA 以前) またはチャネル・パス (XA) *ch* が動作不能だったことを示します。これが通常の作業構成でない場合、通常よりも競合の多い、縮小された構成を測定しています。あるいは、これは VM において実行中の MVS/370 を指す場合もあります。

重大度: 04

CKF018I *parameter* パラメーターは非 XA システムで無効です。(*parameter* Parameter invalid in non-XA system.)

説明: 指定された *parameter* は XA 以前のシステムには適用されません。

重大度: 12

CKF019I *type* 装置 *dev volser* について BFLHFCHN が無効です。VTOC 処理がスキップされました (BFLHFCHN invalid for *type* device *dev volser*; VTOC processing skipped)

説明: 次のバッファー・リストの転送チェーン・ポインター (BFLHFCHN) が無効です。例えば、装置 *dev* について VTOC 情報が (追加で) 取得できませんでした。

重大度: 12

CKF020I サポートされない装置タイプ *type*、装置 *dev volume* のパス情報が取得できません (Path information not gotten for unsupported device *type type*, device *dev volume*)

説明: このメッセージは、装置タイプ *type* についての構成情報を要求しましたが、この装置タイプは zSecure Collect によって現在サポートされていないことを示します。3350、3380、3390、および互換性のある装置以外の DASD タイプへのサポートの要求については、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。

重大度: 08

CKF021I *type* 装置 *dev volume* のストレージ・ディレクター ID が使用不可です (**Storage director IDs unavailable for type device dev volume because unauthorized**)

説明: このメッセージは、装置番号 *dev* でボリューム通し番号が *volume* の物理ストレージ・ディレクター ID については、装置タイプが *type* のため、許可されたプログラムによってのみ取り出すことができることを示します。この結果、ストレージ・ディレクター情報が存在せず、構成の自動演えきが妨げられる可能性があります。

重大度: 08

CKF022I *type* 装置 *dev volume* へのパス *ch* についてストレージ・ディレクター ID が IOS によって返されません (**Storage director ID not returned by IOS for path ch to type device dev volume**)

説明: このメッセージは、ストレージ・ディレクター ID を検出するために必要な完全なセンス情報を、所有する IOS バージョンが返さなかったことを示します。障害は、装置番号 *dev* でボリューム通し番号 *volume* へのパス *ch* で発生しました。このデバイスのタイプは *type* です。zSecure Collect では、装置への他のパスについても同じ障害が発生すると想定し、これらのパスで入出力を試行しないため、このメッセージは 1 つのパスについてのみ発行されます。

重大度: 08

CKF023I *type* 装置 *dev volume* へのパス *ch* についてストリング・コントローラー ID が IOS によって返されません (**String controller ID not returned by IOS for path ch to type device dev volume**)

説明: このメッセージは、コントローラー ID が適切な場所に検出されなかったことを示します。このメッセージは、ストレージ・ディレクター ID も存在しない場合は発行されません。コントローラー情報のみを省略するソフトウェア・レベルは現在知られていません。情報の冗長性により、レポート上にその影響が見られない場合もあります。

重大度: 08

CKF024I *type* 装置 *dev volume* への *bs* 回の試行後もパス情報が不完全です。少なくともパス *ch* で情報がありません (**Path information still incomplete after bs tries on type device dev volume: missing at least path ch**)

説明: このメッセージは、*bs* 回の試行後も、zSecure Collect は装置へのすべてのパスについての入出力のスケジューリングに成功していないことを示します。このメッセージは、WAIT=NO および PATH=YES を指定または暗黙指定した場合にのみ発生します。結果の CKFREEZE 情報は不完全です。

重大度: 08

CKF025I *type* 装置 *dev volume* への *bn bs* 回のバースト試行後もパス情報が不完全です。少なくともパス *ch* がありません (**Path information still incomplete after -try bursts on type device dev volume: missing at least path ch**)

説明: このメッセージは、バースト間の WAIT 間隔が 0.5 秒で *bn* 回の *bs* 試行後も、zSecure Collect は装置へのすべてのパスについての入出力のスケジューリングに成功していないことを示します。これは非常に多く使用されている共用 DASD システムで発生したり、チャネル・ローテーションのない、空の度合いの高い XA 以前のシステムで発生したりすることがあります。バーストの数、バースト・サイズ、およびバースト間の待ち時間は、該当する BURSTxxxx パラメーターによって調整できます。

重大度: 08

CKF026I *type/mm* 装置 *dev volume* について *cccc/mm* へのパス *ch* で予期しない IOS 16 進戻りコード *rc*、CSW 状況 *hhhh* センス *ssss* (**Unexpected IOS return code rc hex, CSW status hhhh sense ssss on path ch to cccc/mm for type/mm device dev volume**)

説明: このメッセージは、EXCP の処理中に予期しないエラーが発生したことを示します。IOS 戻りコードは、IBM デバッグ・ハンドブック (IOB/IOSB) および該当する DFP マニュアルに記載されています。*cccc/mm* および *type/mm* は、それぞれ制御装置タイプ/モデルおよび装置タイプ/モデルで、SenseId CCW によって返されます。結果の CKFREEZE ファイルは不完全になる可能性が高いです。

重大度: 12

CKF026I 3350 装置 *dev volume* へのパス *ch* で予期しない **IOS 16** 進戻りコード *rc*、**CSW** 状況 *hhhh* センス *ssss* (**Unexpected IOS return code *rc* hex, CSW status *hhhh* sense *ssss* on path *ch* to 3350 device *dev volume***)

説明: このメッセージは、EXCP の処理中に予期しないエラーが発生したことを示します。IOS 戻りコードは、IBM デバッグ・ハンドブック (IOB/IOSB) および該当する DFP マニュアルに記載されています。結果の CKFREEZE ファイルは不完全になる可能性が高いです。

重大度: 12

CKF027I *type* 装置 *dev volser* **CCHHR=0000000000 DSN=*dsname* で無効な DSCB FMTID=X'*xx*' (Invalid DSCB FMTID=X'*xx*' on type device *dev volser* CCHHR=0000000000 DSN=*dsname*)**

説明: 指定されたボリュームの VTOC に、無効な DSCB (フォーマット X'F0' .. X'F6' を持つ) が含まれていました。有効なタイプは X'F0' .. X'F6' のみです。DSCB レコードは CKFREEZE ファイルに含まれますが、使用されません。報告された *dsname* はエラーの DSCB のデータ・セット名フィールド (キー領域) です。スペース・マップによって DSCB が使用されない場合、これは MVS に影響を及ぼしません。

重大度: 04

CKF028I *dev volser* の **SVC 99 RC=*n* DAIRFAIL** コード *xxxx xxxx* (**SVC 99 RC=*n* DAIRFAIL code *xxxx xxxx* on *dev volser***)

説明: 装置/*volser* が存在しない可能性があります。このメッセージの後、問題について IKJ メッセージが続きます。このエラーは、装置 *dev* の VTOC またはデータ・セットの動的割り振りまたは割り振り解除で発生しました。このメッセージには、SVC 99 (DYNALLOC) の完了後に、個別のテキスト・ユニットの内容の詳細を示す継続行があります。

重大度: 08

CKF029I **DASD** 装置 *dev* はオンラインですが、マウントされていません (**DASD Device *dev* online, but not mounted**)

説明: 装置 *dev* はパブリック、ストレージ、またはプライベートにマウントされていません。zSecure Collect

は VTOC および VVDS データ・セットの割り振りを試行しません。

重大度: 04

CKF030I 装置 *dev* ボリューム *volser* の *dsname* について **OPEN** が異常終了しました *xxx-rc* (**OPEN abend *xxx-rc* on device *dev volume volser* for *dsname***)

説明: *dsname* という名前のデータ・セットが、装置 *dev* の入力用に使えませんでした。VTOC は ** VTOC *volser* ** と示されます。VTOC についてエラーが発生した場合、ボリュームの VTOC と VVDS の両方が失われます。VVDS についてエラーが発生した場合、VTOC 情報は正しく読み取られています。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度: 08

CKF031I **CKFCOLL** が *sid* (*osname oslevel DFSMS release JES2 release CPU モデル model*) で実行します (**CKFCOLL runs on *sid* with *osname oslevel DFSMS release JES2 release CPU model model***)

CKF031I *site-specific identification string* が *where* **CPU ID CPUid** で実行中です (*site-specific identification string running on where CPU-id CPUid*)

CKF031I 最終レコードが書き込まれました。ID=*hh*、コンテンツの開始 *hexstring* (**Last record written: ID=*hh*, contents start *hexstring***)

説明: zSecure Collect が、示されたシステム (SMF id) およびオペレーティング・システムのリリース・レベルで、表示されたフォーカスおよび製品 ID において、示された CPU 上で実行中に、示されたレコードの書き込み後に異常終了しました (レコードが何も書き込まれていない場合、レコードの行は省略されます)。

重大度: 00

CKF032I 切り捨てられるレコードの数: *nn*

説明: このメッセージは、レコードが出力で切り捨てられたことを示します。問題がある場合は、レコード長を長くすることも可能です。ただし、ほとんどの目的において、必要な情報は BCS レコードの先頭にあるため、

通常、これらのレコードの切り捨てによって問題が生じることはありません。

重大度: 08

CKF033I モジュール **IGG019X1** がありません。
3350 装置の構成情報が入手できません
 (Module IGG019X1 missing, no
 configuration info for 3350 devices
 possible)

説明: このメッセージは、アペンデージ IGG019X1 が検出されなかったことを示します。

重大度: 08

CKF034I [**MONITOR** 間隔の前] **CKFCOLL** が
 使用した **CPU** 時間: *ss.t* 秒、経過時間:
ss 秒、収集したデータ: *m.kkk* **MB** (*m.kkk*
MB/s) ([**Before MONITOR interval**]
CKFCOLL used *ss.t* **CPU seconds**, *ss*
elapsed seconds, and collected *m.kkk*
MB (*m.kkk* **MB/s**))
 [エラー・トラップ・カウントは *number*
 です] ([**Error trap count is** *number*])
ddname volume dsname に *rectotal* 件のレ
 コードを書き込み済み (**Written** *rectotal*
records to *ddname volume dsname*)
 要求された領域: *r,rrr***KB**、付与された領
 域: *g,ggg+g,ggg* **KB**、ジョブ・ステップで
 の最大使用量: *u,uuu+u,uuuu* **KB** (**Region**
requested *r,rrr***KB**, **granted**
*g,ggg+g,ggg***KB max used in jobstep**
*u,uuu+u,uuuu***KB**)

説明: このメッセージは、使用された **TCB** 時間と実時間を詳しく示します。また、収集された (**CKFREEZE** ファイルに書き込まれた) データの量と有効なデータ転送速度の要約も示します。 **CHECK=Y** が指定された場合、これはデータ削減機能であるため、有効なデータ転送速度は誤解を招くほど低くなります。通常は、エラー・トラップ・カウントの数値がゼロ以外の値になります。このメッセージは、診断用としてのみ含まれます。**MONITOR** が要求された場合、このメッセージは 2 回 (モニター開始前に 1 回、プログラムの終了時に 1 回) 発行されます。プログラム終了時のメッセージには、要求された領域、認可された領域、および使用された領域が、16MB ラインの上下両方について表示されます。

重大度: 00

CKF035I 処理された **PDS** ディレクトリーの数: *nn*
 (**Number of PDS directories processed:**
nn)

説明: このメッセージは、**CKFREEZE** ファイルにコピーされた **PDS** (区分データ・セット) ディレクトリーの数を示します。

重大度: 00

CKF036I *devn volser* の情報が省略されました。非
APF の場合は **FACILITY**
STGADMIN.IFG.READVTOC.volser の
SAF READ アクセス権限が必要です
 (**Information omitted for** *devn volser*,
SAF READ access required on
FACILITY
STGADMIN.IFG.READVTOC.volser if
non-APF)

説明: このメッセージは、**VTOC** の読み取り試行の結果、システム異常終了 300、理由コード 6 が出されたことを示します。これは、名前の非表示がアクティブで、**VTOC** を読み取ることができなかったことを意味します。**RACF** システムでは、名前の非表示はコマンド **SETROPTS MLNAMES** でアクティブになります。名前の非表示がアクティブの場合、指定されたリソース名に対して **SAF** リソース・チェックが実行されています。

重大度: 04

CKF037I *action* 中の予期しない *abend condition*、
 装置 *devn volser* (**Unexpected abend**
condition devn volser during action)

説明: このメッセージは、指定されたアクションを実行しようとしたチャネル・プログラムについて、**EXCP** 中に異常終了が発生したことを示します。このメッセージが表示された場合は、回避できるかどうか確認するために、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKF038I *dsn* の割り振り中の予期しない *abend*
 (**Unexpected abend during allocate of**
dsn)

説明: このメッセージは、**VSAM** クラスターの割り振りの失敗 (および **VSAM** クラスターの自動再呼び出しの実行を含む場合あり) を示します。異常終了が発生しました。クラスターはスキップされます。プログラム

が正常に終了したと思われる場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF039I OS version DFSMS version JESn version VTAM version secp version RMF version TSO version HSM version [under VM/version release が稼働中] (Running OS version DFSMS version JESn version VTAM version secp version RMF version TSO version HSM version [under VM/version release])

説明: このメッセージは、zSecure Collect が情報を抽出する元のソフトウェアのリリース・レベルまたは状態を示します。バージョン番号の代わりにキーワード *inactive*、*active*、または *unknown* が表示される場合があります。これらはそれぞれ、製品はインストールされたがアクティブでない、アクティブであるがリリースが取得できなかった、または制御ブロックが存在するがレイアウトがサポートされていないことを示します。*secp* は検出されたセキュリティ製品で、RACF、ACF2、または TSS です。

重大度: 00

CKF040I dsn の LISTCAT 中に予期しない *abend* が発生しました (Unexpected *abend* during LISTCAT of dsn)

説明: このメッセージは、カタログで VSAM クラスタ一名の場所の検索に失敗したことを示します。異常終了が発生しました。クラスタはスキップされます。プログラムによって検索されたと思われる場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF041I 処理されたカタログの数: *nn* (Number of catalogs processed: *nn*)

説明: このメッセージは、OPEN が試行された ICF および HSM カタログの数を示します。

重大度: 00

CKF042I コピーされた BCS レコードの数: *nn*
(Number of BCS records copied: *nn*)

説明: このメッセージは、CKFREEZE ファイルにコピーされる BCS (基本カタログ構造) レコードの数を示します。

重大度: 00

CKF043I VVDS 情報が収集されず、カタログを高速にダンプできません (VVDS information not collected, catalogs cannot be dumped fast)

説明: このメッセージは、VVDS データ・セットにアクセスできなかったが、カタログ処理が要求された場合に発行されます。zSecure Collect では、カタログをダンプするための VVDS アクセスが必要です。

重大度: 00

CKF044I マスター・カタログの名前が *CAXWA* で検出されません。(Name of master catalog not found in *CAXWA*.)未接続カタログについて異常終了 913-0C が発生する可能性があります (Abend 913-0C may result for unconnected catalogs)

説明: このメッセージは、マスター・カタログ名またはボリューム通し番号を判別できなかったことを示します。結果として、接続されているカタログを判別できません。zSecure Collect は、処理されるディスク上に見つかるすべてのカタログを開こうとします。この結果、各未接続カタログについて異常終了 913-0C になります。

重大度: 12

CKF045I マスター・カタログ・ボリューム *volume* が選択されません。(Master catalog volume *volume* not selected.)未接続カタログについて異常終了 913-0C が発生する可能性があります (Abend 913-0C may result for unconnected catalogs)

説明: このメッセージは、処理されたすべてのディスク・ボリューム上でマスター・カタログが検出されなかったことを示します。したがって、ユーザー・カタログ・コネクター情報は zSecure Collect によって集計されません。zSecure Collect は、処理されるディスク上に見つかるすべてのカタログを開こうとします。この結果、各未接続カタログについて異常終了 913-0C になります。

重大度: 08

CKF046I **noimbed** および **dsname** のマルチボリューム索引のためにスローダウン・モードが起動されました。**(Slowdown mode invoked because noimbed and multi-volume index for dsname)**

説明: このメッセージは、NOIMBED に必要なマルチボリューム索引コンポーネントがクラスターにあることから、このクラスターについて通常の VSAM 処理が選択されたことを示します。

重大度: 00

CKF047I データ収集が **date time** に、**manufacturer type** モデル **model** 上の
ノード **nodename** **sysname** **sysname** **sid**
smfid **netid** **netid** で開始されました
[MVSCP conguration id xx] [logical partition LPARname] [virtual machine userid] [at sysid] [sysplex name] [rrsf RRSF_node](Data collection started on date time for node nodename sysname sysname sid smfid netid netid on a manufacturer type model model [MVSCP conguration id xx] [logical partition LPARname] [virtual machine userid] [at sysid] [sysplex name] [rrsf RRSF_node])

説明: このメッセージは、データ収集プロセスに関する環境情報を示しており、問題判別に役立つ場合があります。CKFREEZE データ・セットには、メッセージの最初の行がコメントとして含まれています。

メッセージの最初の行には、JES2 ノード名、GRS システム名、SMF ID、および VTAM® netid などの各種システム ID がリストされます。

2 行目に示されるプロセッサ指定は、CSRSI サービスによって返されるものです。このサービスがまだ使用できない古いマシンでは、タイプは内部 16 進表記 (devtype/model) です。VM システムでは、APF 許可で実行中の場合には実際のモデル・バイトが表示され、そうでない場合は FF になります。

3 行目には、MVSCP 構成 ID、論理区画名、VM 仮想計算機ユーザー ID、VM システム ID (CMS で右下隅に表示される)、SYSPLEX 名、および RRSF ローカル・ノード名を示すオプションの構成情報が表示される場合があります (該当する場合)。RRSF ローカル・ノード名は、z/OS 2.2 以降の場合にのみ表示されます。

重大度: 00

CKF048I *type dev volser componentname* の **ACB OPEN** に失敗しました。**rc=nn, code=nn**
クラスター **clustername (ACB OPEN failed for type dev volser componentname rc=nn, code=nn cluster clustername)**
string_returned_by_operating_system
(string_returned_by_operating_system)
explanation_of_known_return_codes
(explanation_of_known_return_codes)

説明: VSAM データ・セットを開くことができませんでした。戻りコードおよび理由コードを参照してください。*type* は以下のいずれかにすることができます。

- BCS は ICF カタログを示します。
- MCD は HSM MCDS を示します。
- BCD は HSM BCDS を示します。
- CKDS、PKDS、または TKDS は ICSF データ・セットを示します。
- RMM は DFSMS RMM 制御データ・セットを示します。

ICF カタログの ACB OPEN が試行されるのは、カタログが NOIMBED で定義されている場合か、DFP V3 以前のシステムで 16 を超えるエクステント以上を持つか、または DFP V3 以前のシステムで実行が承認されない場合です。

メッセージの 2 行目には、オペレーティング・システムが返した情報が含まれることがあります。メッセージの 3 行目は、既知の戻りコードの説明です。

重大度: 08

CKF049I 内部エラー **CKFCCHH RC=16 (Internal error CKFCCHH RC=16)**

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF050I *dev volser* の **reltrk DEBNMEXT=nnn** で **TTT** 変換が失敗しました **(TTT Conversion fails on reltrk DEBNMEXT=nnn on dev volser)**

説明: このメッセージは、示された相対トラック番号から絶対シリンダーおよびヘッド・アドレスへの変換に失敗したことを示します。要求されたトラックは、読み取られません。これは一般的に、データ・セットを維持するソフトウェアの新規バージョンなどが原因で、デー

CKF051I • CKF055I

タ・セットの内部構造が正しく理解されなかったことを意味します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF051I *ddname* で EXCP が失敗しました。
RC=hh、**IOBSEEK=address** 装置 *dev*
volser (**EXCP failed on *ddname*, RC=hh,
IOBSEEK=address device *dev volser*)**

説明: このメッセージは、示された装置およびアドレスでの予期しない入出力障害を示します。戻りコードは 16 進数の EXCP 戻りコードです。

重大度: 12

CKF051I (**ECKD**) EXCP が *ddname* で失敗しました。アドレス **CKFB: address**、**rc nnx**、**CSW=hhhhhhhhhhhhhhhh**、**IOBSEEK=address** 装置 *dev volser*
(**ECKD**) **EXCP failed on *ddname*,**
Address CKFB: address, rc nnx,
CSW=hhhhhhhhhhhhhhhh, IOBSEEK=address
device *dev volser*)

説明: このメッセージは、示された装置およびアドレスでの予期しない ECKD™ 入出力障害を示します。戻りコードは 16 進数の EXCP 戻りコードです。

重大度: 12

CKF051I マルチトラック読み取り EXCP が *ddname* で失敗しました。読み取り数 *hhhh*、アドレス **CKFB: address**、**rc nnx**、**CSW=hhhhhhhhhhhhhhhh**、**IOBSEEK=address** 装置 *dev volser*

説明: このメッセージは、示された装置およびアドレスでの予期しないマルチトラック読み取り入出力障害を示します。戻りコードは 16 進数の EXCP 戻りコードです。

重大度: 12

CKF052I **noimbed** および *catname* の *volume* 上の索引のためにスローダウン・モードが起動されました (**Slowdown mode invoked because noimbed and index on *volume* for *catname***)

説明: このメッセージは、データ・コンポーネントと異

なるボリューム上の索引を使用した高速の EXCP モードが NOIMBED をサポートしないため、要求された ICF、HSM、または RMM カタログ・ダンプが VSAM で試行されることを示します。

重大度: 00

CKF053I **APF** 許可されていないためスローダウン・モードが起動されました。データ・セット *volume catname* (**Slowdown mode invoked because not APF-authorized, data set *volume catname***)

説明: このメッセージは、高速の EXCP モードには APF 許可が必要であるが存在しないため、要求されたカタログ・ダンプは VSAM で試行されることを示します。バージョン 3 以下の DFP システム上で APF 許可なく ICF カタログを読み取るには、ALTER 権限が必要です。DFP バージョン 3 では ICF カタログを読み取るためにはいずれにしても APF 許可が必要で、メッセージ CKF064I が発行されます。HSM カタログを読み取るには READ 権限が必要です。

重大度: 00

CKF054I **rel track *tt* のデータ・セット *catname***
CA にはシーケンス・セット・レコードに *nn* の **CI** がありません (**Data set *catname* CA at rel track *tt* missing *nn* CIs in sequence set record**)

説明: このメッセージは、索引シーケンス・セット・レコードに記載される CI 数が、CA あたりの CI 数でなかったことを示します。エラー・メッセージに再現性がある場合、データ・セットに対して EXAMINE を実行してください。異常が検出されなかった場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKF055I *catalogname* の *dev volume componentname* について **ACB OPEN type** が異常終了しました *xxx-nn (explanation)* (**ACB OPEN type *abend* *xxx-nn* (explanation) for *dev volume componentname* of *catalogname***)

説明: このメッセージは、示された ICF、RMM、または HSM カタログを開こうとしたときの異常終了を示します。

重大度: 08

CKF056I *vol cluster* について **EXCP** でサポートするより多くのエクステンツが生じた (異常終了 **013-E4**) ためスローダウン・モードが起動されました (**Slowdown mode invoked because more extents than EXCP supports (abend 013-E4) for vol cluster**)

説明: EXCP OPEN によってサポートされるエクステンツの最大数は、DFSMS リリースに依存します。これは異常終了 013-E4 (もっと古いリリースでは 213-20) としてジョブ・ログに反映されます。この場合は、CKF030I メッセージは抑止されます。異常終了はインターセプトされ、このリリースについてはスローダウン・モードが起動されます。

重大度: 00

CKF057I *dev volser dsname* の *type* 異常終了 *xxx-nn (explanation) (type abend xxx-nn (explanation) on dev volser dsname)*

説明: 装置 *dev* の入力についてデータ・セット *dsname* を開くときにリカバリー不能な異常終了が発生しました。VTOC に対してエラーが発生した場合、VTOC とボリュームのすべてのデータ・セットが失われます。VVDS についてエラーが発生した場合、VTOC 情報は正しく読み取られています。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度: 08

CKF058I 組み込み SSR の予期しない物理レコード長 *decnum*、*catname* の索引ブロック・サイズ (**Unexpected physical record length *decnum* in imbedded SSR with index blksize *decnum* for *catname***)

説明: このメッセージは、組み込みの索引トラックから物理レコード (つまりブロック) が読み出されるときに使用されたブロック・サイズが、VVR の情報で示すブロック・サイズと異なっていたことを示します。結果は予測不能です。

重大度: 12

CKF059I **NOIMBED** はサポートされません。*volser* のデータ・セット *catname* はスキップされました (**NOIMBED not supported, data set *catname* on *volser* skipped**)

説明: このメッセージは、何らかの理由で索引の読み取

りに失敗したことを示します。その結果、NOIMBED データ・セットを処理できません。

重大度: 08

CKF060I *RBA hexnum* の **VVDS** スペース・マップ・エクステンションが無視されました。*hexnum* が予期されます (**VVDS space map extension at *RBA hexnum* ignored - expecting *hexnum***)

説明: zSecure Collect では VVDS 内でスペース・マップ・チェーンが順番に発生することが予期されます。

重大度: 12

CKF061I **VVDS** には **APF** 許可を使用してのみアクセスできます (**VVDS can only be accessed with APF authorization**)

説明: DFP V3 システムでは、VVDS の読み取りには APF 許可が必要です。

重大度: 04

CKF062I 接続済みカタログ *catname* が処理されるボリューム上で検出されません (**Connected catalog *catname* not found on volumes processed**)

説明: 処理されるマスター・カタログに、カタログ *catname* のコネクター項目が含まれていました。ただし、処理されるボリュームにカタログが検出されませんでした。カタログ情報が不完全な場合があります。

重大度: 08

CKF063I 予期しないエラー: マスター・カタログ **BCS** がマスター・カタログ・ボリュームで検出されません。 (**Unexpected error: Master cat BCS not found on mastercat volume.**)異常終了 **913-0C** が発生する場合があります (**Abend 913-0C may occur**)

説明: このメッセージは、何らかの理由で、マスター・カタログが存在すると予想されたボリューム上にマスター・カタログが検出されなかったことを示します。その結果、ユーザー・カタログが接続されているかどうかを判別できません。bypass-password 処理が使用されない場合、未接続カタログを開こうとしたことから異常終了 913-0C が発生します。

重大度: 08

CKF064I **APF** 許可なしにカタログをダンプできません - *catname* (**Catalog cannot be dumped without APF authorization - *catname***)

説明: DFP バージョン 3 以降のシステムでは、ICF カタログのダンプに APF 許可が必要です。

重大度: 08

CKF065I *datacomponent* の基本データ **VVR** が取得できないためスローダウン・モードが起動されました (**Slowdown mode invoked because primary data VVR not obtained for *datacomponent***)

説明: VSAM データ・セットを EXCP モードで読み取るには、zSecure Collect では VSAM ボリューム・レコード (VVR) が VVDS に存在する必要があります。このメッセージは、データ・コンポーネントの VVR が検出されなかった場合に発行されます。

重大度: 00

CKF066I *datacomponent* の **noimbed** および 1 次索引 **VVR** が取得できないためスローダウン・モードが起動されました (**Slowdown mode invoked because noimbed and primary index VVR not obtained for *datacomponent***)

説明: NOIMBED 属性を使用して EXCP モードで VSAM を読み取るには、zSecure Collect では索引の VSAM ボリューム・レコード (VVR) が VVDS に存在する必要があります。このメッセージは、インデックス・コンポーネントの VVR が発生しなかった場合に発行されます。

重大度: 00

CKF067I **rel trk nnn type key** の **CA** の **CI num** でデータ・セット *datacomponent* エラーが発生しました (**Data set *datacomponent* error at CI num in CA at rel trk nnn type key**)

説明: *key* は現行レコード・キー (データ・セット名)、*type* は以下のいずれかのエラー・タイプです。

last segment missing - record skipped

スパン・レコードについて、最終セグメントが制御域で検出されませんでした。レコードは CKFREEZE にコピーされません。

orphan inner segment skipped

スパン・レコード中間セグメントが見つかりましたが、レコードの最初のセグメントが制御域に検出されませんでした。セグメントは破棄されます。

updated during copy

スパン・レコードが見つかりましたが、セグメントの更新カウントが同じではありませんでした。これは、制御域に対する読み取り命令どうしの間にレコードが更新された場合に発生することがあります。レコードは CKFREEZE ファイル内で文字化けする場合があります。

orphan last segment skipped

スパン・レコードの最終セグメントが見つかりましたが、レコードの最初のセグメントが制御域で検出されませんでした。セグメントは破棄されます。

重大度: 04

CKF068I **CI** オフセット *xxxx* の **Cat rlen=xxxx(RDF=xxxxxx) > *datacomponent* の reltrk nnnnn の CA で使用される CI xxxxxx (Cat rlen=xxxx (RDF=xxxxxx) at CI offset *xxxx* > used CI xxxxxx of CA at reltrk nnnnn in *datacomponent*)**

説明: カタログ・レコード (*rlen*) のレコード長フィールドが、制御インターバル内で使用されているバイトの終点以降を指しています。

重大度: 08

CKF069I マルチボリューム・クラスター *dsname* についてスローダウン・モードが起動されました (**Slowdown mode invoked for multi-volume cluster *dsname***)

説明: このメッセージは、クラスターにマルチボリューム・データ・コンポーネントがあるため、このクラスターについて通常の VSAM 処理が選択されたことを示します。

重大度: 00

CKF070I *dev volume dataset* の *type* 異常終了 *xxx-nn (explanation)* (**type **abend** xxx-nn (explanation) on *dev volume dataset***)

説明: このメッセージは、示された PDS(E) の OPEN 中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度: 08

CKF071I 内部エラー IOBEXCP DEBNMEXT=0
(Internal error IOBEXCP
DEBNMEXT=0)

説明: このメッセージは予期しない状態を示します。空のデータ・セットに対して入出力が試行されました。このメッセージは抑止可能です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF072I 予期しない IOCINFO 戻りコード *rc* 理由コード *rr* (10 進数) (Unexpected IOCINFO return code *rc* reason code *rr* (decimal))

説明: このメッセージは、IOCINFO サービスが予期しない戻りコードを発行したことを示します。結果は予測不能です。

重大度: 08

CKF073I 動的構成変更が発生し、UCB スキャンが再開しました。ファイルに重複レコードが含まれている可能性があります (Dynamic configuration change occurred, UCB scan restarted - file may contain duplicate records)

説明: このメッセージは、UCBSCAN サービスが、すべての UCB のスキャン中に構成変更を指示したことを示します。スキャンは再開されますが、アプリケーションで重複情報がサポートされない場合、CKFREEZE ファイルが使用不能になる場合があります。この場合、zSecure Collect を再実行する必要があります。

重大度: 04

CKF074I 予期しない UCBSCAN 戻りコード *rc* 理由コード *rr* (10 進数) (Unexpected UCBSCAN return code *rc* reason code *rr* (decimal))

説明: このメッセージは、UCBSCAN サービスが予期しない戻りコードを発行したことを示します。

重大度: 12

CKF075I *dev volume* 装置タイプ *devtype* の予期しない EDTINFO 戻りコード *rc* 理由コード *rr* (10 進数) (Unexpected EDTINFO return code *rc* reason code *rr* (decimal) for *dev volume devtype devtype*)

説明: このメッセージは、装置の汎用装置タイプを取得しようとしているときに、EDTINFO サービスが予期しない戻りコードを発行したことを示します。フィールドには、デフォルト値を入れます。

重大度: 04

CKF076I *dev volume* について予期しない UCBSCAN 戻りコード *rc* 理由コード *rr* (10 進数) (Unexpected UCBSCAN return code *rc* reason code *rr* (decimal) on *dev volume*)

説明: このメッセージは、最終パス使用マスクを取得しようとしているときに、UCBSCAN サービスが予期しない戻りコードを発行したことを示します。

重大度: 12

CKF077I *dev volume* について予期しない UCBSCAN 戻りコード *rc* 理由コード *rr* (10 進数) (Unexpected UCBSCAN return code *rc* reason code *rr* (decimal) on *dev volume*)

説明: このメッセージは、UCB のアドレスのピンおよび取得を試行しているときに、UCBSCAN サービスが予期しない戻りコードを発行したことを示します。意図した許可済みの入出力機能は実行されません。

重大度: 12

CKF078I *dev volume* について予期しない UCBPIN UNPIN *rc rc* 理由コード *rr* (10 進数) (Unexpected UCBPIN UNPIN *rc rc* reason code *rr* (decimal) on *dev volume*)

説明: このメッセージは、許可された入出力操作の後で UCB の unpin (滞留解除) を試行しているときに、UCBPIN サービスが予期しない戻りコードを発行したことを示します。

重大度: 12

CKF080I 予期しない IXCQUERY 戻りコード *rc* 理由コード *rr* (10 進数) (Unexpected IXCQUERY return code *rc* reason code *rr* (decimal))

説明: このメッセージは、IXCQUERY サービスが予期

CKF081I • CKF087I

しない戻りコードを発行したことを示します。XCF シスプレックス・レコードがファイルから失われます。

重大度: 04

CKF081I 予期しない **IXCQUERY** 戻りコード *rc*
理由コード *rr* (10 進数) (**Unexpected**
IXCQUERY return code *rc* reason code
***rr* (decimal)**)

説明: このメッセージは、IXCQUERY サービスが予期しない戻りコードを発行したことを示します。XCF シスプレックス・レコードがファイルから失われます。

重大度: 04

CKF082I 予期しない **IXCQUERY type** 異常終了
xxx-nn (*explanation*) (**Unexpected**
IXCQUERY type *abend* *xxx-nn*
(*explanation*))

説明: このメッセージは IXCQUERY サービスが異常終了したことを示します。XCF シスプレックス・レコードがファイルから失われます。

重大度: 04

CKF083I *dev volser* のエクステント・サイズの差異
size **DEBNMTRK=num** (**Extent size**
discrepancy size DEBNMTRK=num on
dev volser)

説明: エクステントのトラック数の下位桁 2 バイトに予期しない差異があります。ソフトウェアでは DEBNMTRK を使用します (小さすぎる場合があります)。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKF084I *dev volser* の内部エラー **CKFCCHH**
RC=20 (**Internal error CKFCCHH**
RC=20 on *dev volser*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF085I *dev volser* の *reltrk* において **TTT** 変換結果 **CCC HHHH** *cccc hhhh* がエクステント *cccc hhhh* - *cccc hhhh* にありません
エクステント *nn* 範囲 *cccc hhhh* - *cccc hhhh* 開始 *reltrk* サイズ *trks* (**TTT**
conversion result CCC HHHH *cccc*
hhhh **not in extent** *cccc hhhh* - *cccc hhhh*
for *reltrk* on *dev volser* Extent *nn* range
cccc hhhh - *cccc hhhh* **start *reltrk* size**
trks)

説明: このメッセージは、示された相対トラック番号から絶対シリンダーおよびヘッド・アドレスへの変換に失敗したことを示します。要求されたトラックは、読み取られません。これは一般的に、データ・セットを維持するソフトウェアの新規バージョンなどが原因で、データ・セットの内部構造が正しく理解されなかったことを意味します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF086I メンバー *mem* (相対トラック *trk* **Rrec**)
が *dev volser dsn* サイズ *trks* トラック内に
ありません (**Member *mem* rel *trk* *trk***
****Rrec not in *dev volser dsn* size *trks* *trk*****)

説明: このメッセージは、PDS ディレクトリー・エントリーが、データ・セットの終点以降のメンバー開始 (相対トラックおよびレコード番号) を指していることを示します。考えられる原因は、データ・セットがコピーまたは復元操作中に切り捨てられたことです。

重大度: 04

CKF087I *dev volser dsn* のサイズ *trks* トラック内の
メンバー *mem* 相対トラック *trk* **Rrec**
内に **EOF** がありません (**Missing EOF**
in member *mem* rel *trk* *trk* **Rrec in *dev***
volser dsn* size *trks* *trk)

説明: このメッセージは、区分データ・セット内に物理的に存在する最後のメンバーが、ファイル終了マーカーの前で切り捨てられたことを示します。メンバーは、示された相対トラックおよびレコード番号で開始します。考えられる原因は、データ・セットがコピーまたは復元操作中に切り捨てられたことです。このメンバーのチェックサムはありません。

重大度: 04

CKF088I *dev volser dsn* のサイズ *trks* トラック内の *total* メンバーに *n* がありません
(Missing *n* out of *total* members in *dev volser dsn size trks trk*)

説明: このメッセージは、区分データ・セット・ディレクトリーが、データ・セット内に物理的に存在しないメンバーを参照したことを示します。考えられる原因は、データ・セットがコピーまたは復元操作中に切り捨てられたことです。

重大度: 04

CKF089I *DMSU volume datasetname* のレコード *nnn* に予期しない **DMS** サブファイル名 *name* (Unexpected **DMS** subfile name *name* at record of *DMSU volume datasetname*)

説明: DMSUNL= キーワードによって示されるデータ・セットに不明なサブファイル名が含まれています。これ以上、データ・セットは読み取れません。

重大度: 08

CKF090I *dev volume dataset* の *type* 異常終了 *xxx-nn* (explanation) (*typeabend xxx-nn* (explanation) on *dev volume dataset*)

説明: このメッセージは、示された TMC OPEN 中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度: 08

CKF091I *dsname* の **TRKCALC** が **RC=nn** 10 進数を返します (**TRKCALC** for *dsname* gives **RC=nn decimal**)

説明: TMC、VMF、または ACF のトラックあたりのブロック数の計算は、示された戻りコードで失敗しました。その結果、ブロックは読み取られません。

重大度: 08

CKF092I *type dev volume dataset, num* バイト/ブロック *num* ブロック/トラック *num* レコード/ブロック *num* トラックをオープンしました (**Opened** *type dev volume dataset, num by/bl num bl/tr num rc/bl num trk*)

説明: このメッセージは、*type* データ・セット (CA1 では TMC、CA-TLMS では VMF、FDR/ABR では

ABR) が開かれたばかりであることを示し、TMC/VMF を読み取るために使用された特性を表示します。このメッセージは、INFO オプションが指定された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF093I 予期しないブロック長 *nnn*、*type vol dataset* の相対トラック *nnn* **Rnn**
(Unexpected block length *nnn* at rel track *nnn Rnn* of *type vol dataset*)

説明: このメッセージは、読み取られたトラックに予期しないブロック・サイズが含まれていたことを示します。トラックの残りは、スキップされます。現在の相対トラック番号および物理レコード番号は 10 進数で表示されます。*type* には、TMC、VMF、または ABR を指定できます。

重大度: 08

CKF093I 予期しないブロック接頭部 "ttttttt"、ABR *vol dataset* の相対トラック *nnn* **Rnn**
(Unexpected block prefix "ttttttt" at rel track *nnn Rnn* of ABR *vol dataset*)

説明: このメッセージは、読み取った ABR トラックに予期しないブロック接頭部が含まれていたことを示します。現在の相対トラック番号および物理レコード番号は 10 進数で表示されます。

重大度: 08

CKF094I *type dev volume dataset* をクローズし、*nnn* トラックの読み取り、*nnn type* および *nnnn DSNB* レコードのコピーを実行しました (**Closed** *type dev volume dataset, read nnn tracks, copied nnn type and nnnn DSNB records*)

説明: この通知メッセージは、TMC/VMF/ABR データ・セットがクローズされたことを示し、CKFREEZE にコピーされたボリューム数およびデータ・セット・レコードを表示します。このメッセージは、INFO オプションが指定された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF095I サポートされない *type* ブロック・サイズ *nnn lrecl nnn*、*volume dataset*
(Unsupported *type* blocksize *nnn lrecl nnn* for *volume dataset*)

説明: *type* が TMC に等しい場合、このメッセージは、示されたデータ・セットのレコード・サイズ (*lrecl*)

が 200 および 340 (CA1 5.0) と異なっていたことを示します。type が VMF に等しい場合、このメッセージは、レコード・サイズが 500 と異なっていたことを示します。type が ABR に等しい場合、これはブロック・サイズが 32 バイトより小さかったことを示します。

重大度: 08

CKF096I *type dev volume dataset* の *type* 異常終了
xxx-nn (explanation) (type abend xxx-nn
(explanation) on type dev volume dataset)

説明: このメッセージは、示された *type* のデータ・セット (DMSUNL では DMSU、PDS/E ディレクトリーでは PDSE、DMS AUTHLIB では PDSM) の OPEN 中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度: 08

CKF097I *type dev volume dataset*、**blksz** *nnnn*、
lrecl *nnnn lasttrk nnnnn* をオープンしま
した (**Opened** *type dev volume dataset*、
blksz *nnnn*、**lrecl** *nnnn lasttrk nnnnn*)

説明: このメッセージは、示された *type* データ・セット (DMSUNL では DMSU、PDS/E ディレクトリーでは PDSE、または DMS AUTHLIB では PDSM) が開かれたばかりであることを示し、ブロック・サイズ、レコード長、および最終相対トラック番号 (10 進数) を表示します。このメッセージは、INFO オプションが指定された場合にのみ発行されます。

メッセージ 100 から 199

CKF100I **PDS** ディレクトリーの終点が *dev vol*
dsn にありません (**Missing PDS**
directory end in dev vol dsn)

説明: このメッセージは、区分データ・セット編成を持つと予想されたデータ・セットが適切な PDS ディレクトリーを持っていなかった (つまり、高い値のキーを持つレコードで終わった) ことを示します。考えられる原因は、データ・セットが一切 PDS でなかったか、コピーまたは復元操作が失敗したため PDS ディレクトリーの終点より前でデータ・セットが切り捨てられたことです。

重大度: 08

CKF101I *dsn* の **LISTCAT** 中の予期しない 10 進
数戻りコード *nn* (**Unexpected return**
code nn dec during LISTCAT of dsn)

重大度: 00

CKF098I **DMSU** *volume dataset* のレコード *nnn*
に予期しないレコード長 *n* を検出
(**Unexpected record length n at record**
nnn of DMSU volume dataset)

説明: 9 よりも小さいレコード長が見つかりました。これは DMS アンロードではサポートされません (各レコードは 8 バイトのサブファイル名で始まることが予期されています)。データ・セットの残りは、スキップされます。

重大度: 08

CKF099I *type dev volume dataset* をクローズし、
nnn 個のレコードの読み取り、*nnn* 個の
DSNINDEX レコードおよび *nnnn* 個の
RACFENC レコードのコピーを実行し
ました (**Closed** *type dev volume dataset*
read nnn records, copied nnn
DSNINDEX and nnnn RACFENC
records)

説明: この通知メッセージは、DMStype データ・セット (DMSUNL では DMSU、PDS/E ディレクトリーでは PDSE、または DMS AUTHLIB では PDSM) がクローズされたことを示し、読み取ったレコード数と、CKFREEZE にコピーされたデータ・セットおよび RACF プロファイルの数を示します。このメッセージは、INFO オプションが指定された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

説明: このメッセージは、カタログで VSAM クラスタ一名の場所の検索に失敗したことを示します。クラスタはスキップされます。プログラムによって検索されたとと思われる場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF102I *volume* 上の *type catname*、**BLK**
decnum、**CISZ** *decnum*、**CASZ** *decnum*
バイト、*num* **CI/CA**、*num* ブロッ
ク/**CA**、*num* トラック/**CA**、*nn* ブロック/
トラック、*nn* ブロック/**CI** (*type catname*
on volume **BLK** *decnum* **CISZ** *decnum*、
CASZ *decnum* **byte**、*num* **CI/CA**、*num*

bl/CA, numtr/CA, nn bl/trk, nn bl/CI)

説明: この通知メッセージは、直前に開かれた指定の *type* VSAM データ・セット (カタログでは BCS、HSM マイグレーション制御データ・セット では MCD、HSM バックアップ制御データ・セットでは BCD、DFSMS RMM 制御データ・セット では RMM) についての制御インターバル・サイズ、制御域のバイト数、ブロック数、およびトラック数、ならびにトラックあたりのブロック数と制御インターバルあたりのブロック数を提供します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF103I 組み込みなし - *volume* 上の索引
indexname、**BLK** *decnum* **CISZ** *decnum*
(No imbed - index *indexname* on
volume **BLK** *decnum* **CISZ** *decnum*)

説明: このメッセージは、開かれようとしている索引コンポーネントに NOIMBED 属性があるため、索引の処理が必要なことを示します。このメッセージは、索引コンポーネントのデータ・セット名と、物理ブロック・サイズおよび CI サイズを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF104I **IX** *dev volume catname* をクローズし、メモリー内 *decnum* バイトに索引を付けました - *indexname* **(Closed IX** *dev volume catname* **index incore** *decnum* **bytes -**
indexname)

説明: この通知メッセージは、クローズ前にカタログ索引コンポーネントから読み取ったバイト数を集計します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF105I *type dev volser catname* サイズ *num* トラック *datacomponent* をオープンしました
(Opened *type dev volser catname size*
num trk datacomponent)

説明: この通知メッセージには、正常に開かれたばかりの *type* データ・セット (CKF102I を参照) のデータ・コンポーネント内のトラック数が含まれます。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF106I マスター・カタログは *catname* です
(Master catalog is *catname*)

説明: この通知メッセージは、マスター・カタログの名前を示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF107I **ACB** *dev volume cluster* コンポーネント
dsname をオープンしました **(Opened**
ACB *dev volume cluster component*
dsname)

説明: この通知メッセージは、示された VSAM データ・セットに対して ACB が正常に開かれたことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF108I **ACB** *dev volume cluster* をクローズし、*decnum* レコードの *datacomponent* を読み取り、*decnum* レコードをコピーしました
(Closed ACB *dev volume cluster read*
decnum, copied decnum records
datacomponent)

説明: この通知メッセージは、示された VSAM データ・セットから読み取られたレコード数とコピーされたレコード数を示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF109I *dsntype dev volume dsname* をオープンしました [割り振りサイズ *nn* トラック]
(Opened *dsntype dev volume dsname* [
alloc size *nn trk*])

説明: この通知メッセージは、示された PDS(E) が正常に開かれたことを示し、PDS についてはトラック内のデータ・セットのサイズを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF110I **PDS** *dev volume dsname* をクローズし、*decnum* トラックの読み取り、*decnum* ディレクトリー・ブロックのコピー、*decnum* バイトのスキャンを実行しました
(*decnum* メンバー内) (Closed PDS *dev*
volume dsname read decnum trks, copied
decnum dir blks, scanned decnum byte

in *decnum* members)

説明: この通知メッセージは、示された PDS から読み取られたディレクトリー・トラックおよびブロックの数を示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF111I スケジューラーが *decnum* 個の入出力実行プログラムを割り振りました
(**Scheduler allocated *decnum* I/O executors**)

説明: この通知メッセージは、PARALLEL パラメーターによって導入された並列処理の数またはそのデフォルト値を表示します。このメッセージは、REPORT、または INFO オプションが選択された場合、またはデフォルトである場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF112I VTOC *dev volume* サイズ *decnum* トラックをオープンしました (**Opened VTOC *dev volume size decnum tracks***)

説明: この通知メッセージは、示されたボリュームに対して VTOC が正常に開かれたことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF113I VTOC *dev volume* をクローズし、*num* トラックの読み取り、および *decnum* DSCB のコピーを実行しました (**Closed VTOC *dev volume read num tracks, copied decnum DSCBs***)

説明: この通知メッセージは、クローズ前に VTOC から読み取ったトラックおよびレコードの数を集計します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF114I SYS1.VVDS.V*volume* サイズ *decnum* トラック、*nnn* ブロック/トラックをオープンしました (**Opened SYS1.VVDS.V*volume size decnum tracks, nnn blk/trk***)

説明: この通知メッセージは、示された VVDS が正常に開かれたこと、およびトラックあたりの 4KB ブロックの数を示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF115I SYS1.VVDS.V*volume* をクローズし、*num* トラックの読み取り、および *decnum* 個の NVR/VVR のコピーを実行しました
(**Closed SYS1.VVDS.V*volume read num tracks, copied decnum NVR/VVRs***)

説明: この通知メッセージは、クローズ前に VVDS から読み取ったトラックおよびレコードの数を集計します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF116I *type dev volume catname* をクローズし、*num* 個のトラックおよび *num* 個のレコードの読み取りと、*decnum/decnum* 個の非スパン/スパン・レコードのコピーを実行しました (**Closed *type dev volume catname read num trks, num records, copied decnum/decnum non/spanned records***)

説明: この通知メッセージは、クローズ前に *type* データ・セット (CKF102I を参照) のデータ・コンポーネントから読み取ったトラック数およびレコード数と、コピーしたトラック数およびレコード数 (非スパン・レコードとスパン・レコードの両方) を集計します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF117I コマンド "*command*" の CP 応答が切り捨てられました: *response* (**CP response truncated for command "*command*": *response***)

説明: このメッセージは、VM で実行中に発行された指定の CP コマンドの応答が、戻り域に入らなかったことを示します。応答の最初の 5 行が表示されます。その結果、コマンドによって収集された情報が CKFREEZE ファイルから失われる可能性があります。

重大度: 12

CKF118I コマンド "*command*" の CP 戻りコード *nn* : *response* (**CP return code *nn* on command "*command*": *response***)

説明: このメッセージは、VM で実行中に発行された指定コマンドに対し、CP が非ゼロの戻りコードを返したことを示します。その結果、コマンドによって収集された情報が CKFREEZE ファイルから失われます。

重大度: 12

CKF119I **Q Vnnnn** が **nnnn** のデータを返しました- おそらくサポートされない **VM** リリースです (**Q Vnnnn returns data for nnnn - possibly unsupported VM release**)

説明: MVS の XA リリースを VM で実行中に、zSecure Collect によって発行された QUERY VIRTUAL コマンドが、予期に反して別の装置から情報を返しました。この情報は処理されません。

重大度: 12

CKF120I 予期しない **IOS rc xx x**、**CSW stat xxxx sns xxxx id cccc/mm dddd/mm v/r=vv/rr dev dev volser during CCWname (Unexpected IOS rc xx x, CSW stat xxxx sns xxxx id cccc/mm dddd/mm v/r=vv/rr dev dev volser during CCWname)**

説明: このメッセージは、示された装置上のタイプ **CCWname** の入出力操作が失敗したことを示します。チャネル状況ワードおよびセンス・コードの最初の 2 バイトが 16 進数で表示され、16 進数のコントローラ・タイプ **cccc** とモデル **mm** および装置タイプ **dddd** とモデル **mm** (センス ID によって返される)、および **ReadDeviceCharacteristics** によって返される仮想および物理コントローラ・タイプも表示されます。後半の情報は、3990 モデルおよび RAMAC 装置の正確な装置タイプおよびモードを判別するために必要です。考えられるハードウェア障害を検査します。直後に続くメッセージ **CKF144I** で詳細な診断情報が得られる場合があります。

重大度: 08

CKF121I *product* の予期しない **nil name** ポインタ - (**Unexpected nil name pointer in product**)

説明: このメッセージには 2 つのフォームがあります。1 番目のフォームは、指定された製品 (HSM、JES2、JES3、RMM、TLMS) についてアドレス・スペース内でクロスメモリー・サービスを使用して制御ブロック・チェーンへのアクセス中に、予期に反してゼロであることが検出されたポインタの名前を表示します。

重大度: 04

CKF121I *product* の予期しない **null ASID**
(**Unexpected null ASID for product**)

説明: このメッセージの 2 番目のフォームは、指定された製品 (HSM、JES2、JES3、RMM、TLMS) についてアドレス・スペース内でクロスメモリー・サービスを使用して制御ブロック・チェーンへのアクセス中に、アドレス・スペース ID が予期に反してゼロであることが検出されたことを示します。

重大度: 04

CKF122I 問い合わせた **TAPE** 装置の数: *nnn*
(**Number of TAPE devices interrogated: nnn**)

説明: このメッセージは **TAPE=YES** が指定または暗黙指定された場合に表示され、問い合わせのあった磁気テープ装置の数を表示します。

重大度: 00

CKF123I 装置 *nnnn* に対する **Q V mmm** 照会が *nnnn* のデータを返しました - おそらくサポートされない **VM** リリースです (**Q V mmm query for device nnnn returns data for nnnn - possibly unsupported VM release**)

説明: MVS の非 XA リリースを VM で実行中に、MVS の装置番号 *nnnn* の代わりに VM 装置番号 *mmm* に対して zSecure Collect によって発行された QUERY VIRTUAL コマンドが、予期に反して別の装置から情報を返しました。この情報は処理されません。

重大度: 12

CKF124I 非 **SMS** システム (**Non-SMS system**)

説明: この通知メッセージは、システムに **SMS** サブシステムが定義されていないことを示すために発行されます。

重大度: 00

CKF125I **SMS** が非アクティブです。

説明: この通知メッセージは、**SMS** サブシステムが定義されているが非アクティブであることを示すために発行されます。**SMS** 情報が **CKFREEZE** ファイルに記載されることはありません。

重大度: 04

CKF126I SMS IEFSSREQ RC=*nn* (10 進数) (要求 SSSA1TYP=*nn* (10 進数) に対して) (SMS IEFSSREQ RC=*nn* (decimal) for request SSSA1TYP=*nn* (decimal))

説明: このメッセージは、SMS サブシステム要求の失敗を示します。要求された SMS 情報が CKFREEZE ファイルから失われます。

重大度: 08

CKF127I SMS 戻りコード SSOBRETN=*nn* (10 進数) 理由コード SSSARSN=*nnnn* (10 進数) (要求 SSSA1TYP=*nn* (10 進数) に対して) (SMS return code SSOBRETN=*nn* (decimal) reason code SSSARSN=*nnnn* (decimal) for request SSSA1TYP=*nn* (decimal))

説明: このメッセージは、SMS 情報要求の失敗を示します。要求された SMS 情報が CKFREEZE ファイルから失われます。

重大度: 08

CKF128I SMS は要求 SSSA1TYP=*nn* (decimal) に対して理由コード SSSARSN=*nnnn* (10 進数) およびメッセージを返しました: *messages* (SMS returned reason code SSSARSN=*nnnn* (decimal) and messages for request SSSA1TYP=*nn* (decimal): *messages*)

説明: このメッセージは、SMS 情報要求が失敗した可能性があることを示します。SMS によって返された通知メッセージまたはエラー・メッセージがこのメッセージの後に続きます。要求された SMS 情報が CKFREEZE ファイルから失われる可能性があります。

重大度: 04

CKF129I 要求 SSSA1TYP=*nn* (10 進数) に対する予期しない SMS コール *type* 異常終了 *xxx-nn* (explanation) (Unexpected SMS call type abend *xxx-nn* (explanation) for request SSSA1TYP=*nn* (decimal))

説明: このメッセージは、SMS 情報要求中に発行された異常終了を示します。要求された SMS 情報が CKFREEZE ファイルから失われます。

重大度: 08

CKF130I SMS *type name* 構成 *description* (SMS *type name* configuration description)

説明: この通知メッセージは、タイプ *type* および名前 *name* の場合は SMS アクティブであることを示し、アクティブ構成のコメント (説明) フィールドを表示します。

重大度: 00

CKF131I LCU 選択は不可能です (LCU selection not possible)

説明: このメッセージは、LCU 選択が指定されましたが、LCU 情報がシステムから検出されなかったことを示します。実行は異常終了します。考えられる理由として、RMF がアクティブでないか、VM システムで実行中であるか、またはサポートされない RMF リリースであることなどがあります。

重大度: 12

CKF132I テープ管理システム CA1、TMSTMVT レベル TVT*xxxx* (Tape management system CA1, TMSTMVT level TVT*xxxx*)

説明: このメッセージは、CA1 がシステムでアクティブであることが検出されたことを示すとともに、CA1 TMSCKLVL プログラムが使用する形式と同じ形式で CA1 TMVT 制御ブロックのレベルを示します。

重大度: 00

CKF133I 収集される追加情報を選択するパラメータの前に FOCUS が存在する必要があります (FOCUS must precede parameters selecting additional information to be collected)

説明: このメッセージは、FOCUS が最初のパラメータでなく、各フォーカスにおいて許可されないパラメータを FOCUS パラメータの前に指定した場合に発行されます。FOCUS パラメータを前に移動してください。

重大度: 12

CKF134I コマンドは現行 FOCUS で無効です - *name* (Command not valid in current FOCUS - *name*)

説明: このメッセージは、現行のフォーカス組み合わせにおいて無効な機能が要求されたことを示します。コマンドの *name* を索引から検索して、制約事項を読むことができます。

重大度: 12

CKF135I *site-specific identification string* が *where CPU ID* で実行します。ソース・ファイル *ddname volser dsn (site-specific identification string* **Runs on where CPU-id, source file ddname volser dsn)**

説明: このメッセージは、サイト固有の識別ストリング、CPU ID、関連する製品番号および製品名を示します。

重大度: 00

CKF136I 装置 *dev* ボリューム *volser* の *dsname* について **CLOSE** が異常終了しました *xxx-rc (CLOSE abend xxx-rc on device dev volume volser for dsname)*

説明: *dsname* という名前のデータ・セットが、装置 *dev* でクローズできませんでした。VTOC は **** VTOC volser **** と示されます。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度: 08

CKF137I **ACB CLOSE** が *type dev volume datacomp* について失敗しました。**rc=nn code=code** クラスタ *dsname (ACB CLOSE failed for type dev volume datacomp rc=nn code=code cluster dsname)*

説明: VSAM データ・セットのデータ・コンポーネント *datacomp* をクローズできませんでした。コードの意味については、該当する DFP マニュアルを参照してください。

重大度: 08

CKF138I **GET RPL** *type dev volume datacomponent rc=nn* 理由 *=nnnn (nnnn レコードの後) (GET RPL type dev volume datacomponent rc=nn reason=nnnn after nnnn records)*

説明: このメッセージは、示された数のレコードの後の、VSAM GET マクロからの予期しない戻りコードおよび理由コード (10 進数) を示します。

重大度: 08

CKF139I **SYS1.VVDS.Vvolume** の **TRKCALC** から **RC=nn (10 進数)** が返されました (**TRKCALC for SYS1.VVDS.Vvolume gives RC=nn decimal**)

説明: VVDS についてのトラックあたりのブロック数の計算は失敗し、戻りコードが示されました。その結果、スペース・マップは使用されず、VVDS のすべてのトラックが読み取られます。

重大度: 08

CKF140I コピーされた **RACFENC D** レコードの数: *nnnn (Number of RACFENC D records copied: nnnn)*

説明: このメッセージは、DMS DMSFILES の RACFENC D サブファイルとアンロードされた DMSFILES データ・セットからコピーされたレコードの数を示します。RACFENC D サブファイルは、アーカイブまたはバックアップされたデータ・セットのデータ・セット名と、エンコード名を持つ対応する RACF プロファイルの関係を提供します。

重大度: 00

CKF141I コピーされた **DSNINDEX** レコードの数: *nnnn (Number of DSNINDEX records copied: nnnn)*

説明: このメッセージは、DMS DMSFILES の RACFENC D サブファイルとアンロードされた DMSFILES データ・セットからコピーされたレコードの数を示します。すべての保存されたデータ・セットおよびバックアップされたデータ・セットが含まれます。

重大度: 00

CKF142I コピーされた **MCD** レコードの数: *nnnnn (Number of MCD records copied: nnnnn)*

説明: このメッセージは、HSM マイグレーション制御データ・セットからコピーされたレコード数を示します。数値がゼロ以外の場合に表示されます。

重大度: 00

CKF143I コピーされた **BCD** レコードの数: *nnnnn (Number of BCD records copied: nnnnn)*

説明: このメッセージは、HSM バックアップ制御データ・セットからコピーされたレコード数を示します。数値がゼロ以外の場合に表示されます。

CKF144I • CKF151I

重大度: 00

CKF144I オリジナル **rc nnn sense xxxxxxxx**
xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx
xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx **(original rc**
nnx sense xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx
xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx xxxxxxxx
xxxxxxxx)

説明: このメッセージは、メッセージ CKF120I または CKF051I の後に、状況によって表示されます。これは、装置チェックなどの失敗したチャネル・プログラムに関連付けられたオリジナルの EXCP 戻りコードおよびセンス・コードを示します。ハードウェアの損傷または故障を検査してください。これらが見つからない場合、これらのメッセージを報告し、回避できるかどうかを調べるために、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKF145I **CKFREEZE LRECL=nnn** は最低 **23472** である必要があります。**BLKSIZE** として ハーフ/フル・トラックを使用し、**LRECL 4** 以下を設定するか、**LRECL=X**、**RECFM=VBS** を設定してください (**CKFREEZE LRECL=nnn must at least be 23472, use half/full track as BLKSIZE and set LRECL 4 less, or use LRECL=X, RECFM=VBS**)

説明: このメッセージは、CKFREEZE ファイルの最大レコード長が不十分であることを示します。JCL を検査し、LRECL を指定していなかった場合、BLKSIZE を確認してください。いずれも指定していなかった場合は、BLKSIZE の指定を試みます。これを指定できない場合は、両方の指定を試みてください。両方を指定して SMS がアクティブの場合、ご使用のサイトのストレージ管理者に連絡して、ACS ルーチンで不十分なオーバーライド LRECL の発生を回避できるかを調べてください。

重大度: 12

CKF146I コピーされた **TMC** ボリューム・レコードの数: **nnnn (Number of TMC volume records copied: nnnn)**

説明: このメッセージは、CA1 TMC (磁気テープ管理カタログ) からコピーされたボリューム・レコードの数を示します。

重大度: 00

CKF147I コピーされた **DSNB** レコードの数: **nnnn (Number of DSNB records copied: nnnn)**

説明: このメッセージは、CA1 TMC (磁気テープ管理カタログ) からコピーされた 2 次データ・セット・レコードの数 (データ・セット名ブロック) を示します。

重大度: 00

CKF148I レベル **v.r.m** の **DMS** レコード (**DMS records at level v.r.m**)

説明: このメッセージは、DMSFILES レコード内に見つかった最も大きい DMS リリース番号を示します。

重大度: 00

CKF149I 問い合わせた **SWCH** 装置の数: **nnn (Number of SWCH devices interrogated: nnn)**

説明: このメッセージは SWCH=YES が指定または暗黙指定された場合に表示され、問い合わせのあった ESCON ディレクターの数を表示します。

重大度: 00

CKF150I *dev volser dsname* の *type* 異常終了
xxx-nn (explanation) (type abend xxx-nn
(explanation) on dev volser dsname)

説明: このメッセージは、DMSFILES データ・セットの OPEN が、示された異常終了コードで失敗したことを示します。このデータ・セットから CKFREEZE ファイルに記載される情報はありません。

重大度: 08

CKF151I *dsname* の **TRKCALC** から **RC=nn (10 進数)** が返されました (**TRKCALC for dsname gives RC=nn decimal**)

説明: DMSFILES データ・セットについてのトラックあたりのブロック数の計算は、示された戻りコードで失敗しました。その結果、ブロックは読み取られません。

重大度: 08

CKF152I DMSF *dev volume dataset*, *nnn* バイト/ブロック、*nn* ブロック/トラック、*nnn* バイト/トラック、*nnnn* トラックをオープンしました (**Opened DMSF *dev volume dataset*, *nnn* by/bl *nn* bl/tr *nnn* by/tr *nnnn* trk**)

説明: このメッセージは、DMSFILES データ・セットがちょうど開かれたことを示し、DMSFILES データ・セットを読み取るために使用された特性を表示します。このメッセージは、INFO オプションが指定された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF153I データ・セットのサポートされない
DMSFILES フォーマット - *volser dsname*
(**Dataset has unsupported DMSFILES
format - *volser dsname***)

説明: このメッセージは、示されたデータ・セットが、DMSFILES データ・セットのサポートされたレイアウトに準拠しないことを示します。具体的には、制御レコードに正しい制御ブロック ID が含まれていません。データ・セットはこれ以上、処理されません。

重大度: 08

CKF154I データ・セットにはブロック・サイズ
nnnn が予期されていますが、*volser
dsname* の *nnnn* です (**Dataset expects
blksize *nnnn* but is *nnnn* for *volser
dsname***)

説明: このメッセージは、DMSFILES データ・セットが DMS 制御レコード内に含む物理ブロック・サイズが、VTOC 内のフォーマット 1 DSCB の物理ブロック・サイズと異なることを示します。データ・セットはこれ以上、処理されません。

重大度: 08

CKF155I DMSF *vol dataset* の相対トラック *nnn*
Rnn の予期しないブロック長 *nnn*
(**Unexpected block length *nnn* at rel
track *nnn* *Rnn* of DMSF *vol dataset***)

説明: このメッセージは、読み取られた DMSFILES トラックに予期しないブロック・サイズが含まれていたことを示します。データ・セットの残りは、スキップされます。

重大度: 08

CKF156I DMSFILES エラー: RBA *xxxxxxx* およ
び長さ *nnnnn* の参照が、最後の相対トラ
ック *nnnn* より後を指しています
(**DMSFILES error: reference to RBA
xxxxxxx and length *nnnnn* points
beyond last rel track *nnnn***)

説明: このメッセージは、DMSFILES データ・セットの読み取り中のエラーを示します。索引項目またはファイル制御ブロックが、相対バイト・アドレス (16 進数) に存在し、F1 DSCB で示すデータ・セットの最終使用トラックを超える長さ (10 進数) を持つブロックを指定します。最終使用トラックよりも後のブロックは読み取られません。

重大度: 08

CKF157I DMSFILES エラー: RBA *xxxxxxx* の論
理ブロックの末尾の *nnnn* バイトがあり
ません (**DMSFILES error: missing *nnnn*
bytes at the end of logical block at
RBA *xxxxxxx***)

説明: このメッセージは、ファイル終了処理に入ったとき、zSecure Collect が論理ブロックを完了するための追加のバイトを予期したことを示します。

重大度: 08

CKF158I DMSFILES エラー: BLK RBA *xxxxxxx*
を検出しましたが、予期しないサブファイ
ル *name* です。相対トラック *nnn* *Rnn*
(**DMSFILES error: found BLK RBA
xxxxxxx but unexpected subfile *name*
rel trk *nnn* *Rnn***)

説明: このメッセージは、DSNINDEX または RACFENC D 索引によって指示されるブロックが、指定された RBA で読み取られましたが、DSNINDEX および RACFENC D とは異なるサブファイルのレコードを含んでいたことを示します。現在の相対トラック番号および物理レコード番号は 10 進数で表示されます。

重大度: 08

CKF159I DMSFILES エラー: IND RBA *xxxxxxx*
を検出しましたが、予期しないサブファイ
ル *name* です。相対トラック *nnn* *Rnn*
(**DMSFILES error: found IND RBA
xxxxxxx but unexpected subfile *name*
rel trk *nnn* *Rnn***)

説明: このメッセージは、DSNINDEX または RACFENC D FCB によって指示される索引ブロックが、指定された RBA で読み取られましたが、

CKF160I • CKF166I

DSNINDEX および RACFENCD とは異なるサブファイルの索引を含んでいたことを示します。現在の相対トラック番号および物理レコード番号は 10 進数で表示されます。

重大度: 08

CKF160I **DMSFILES エラー: RBA xxxxxxxx を検出しましたが、BLK または IND 接頭部ではありません。相対トラック nnn Rnn (DMSFILES error: found RBA xxxxxxxx but not a BLK or IND prefix, at rel trk nnn Rnn)**

説明: このメッセージは、DSNINDEX または RACFENCD の FCB または索引によって指示されるブロックが、指定された RBA で読み取られましたが、BLK または IND 接頭部を含んでいなかったことを示します。現在の相対トラック番号および物理レコード番号は 10 進数で表示されます。

重大度: 08

CKF161I **DMSFILES エラー: RBA xxxxxxxx がブロック境界で検出されませんでした、RBA xxxxxxxx 相対トラック nnn Rnn (DMSFILES error: RBA xxxxxxxx not found on block boundary, at RBA xxxxxxxx rel trk nnn Rnn)**

説明: このメッセージは、DSNINDEX または RACFENCD の FCB または索引によって指示される論理ブロックの開始 RBA が、物理ブロック境界で検出されなかったことを示します。現在の RBA、相対トラック番号、および物理レコード番号が 10 進数で表示されます。

重大度: 08

CKF162I **DMSFILES エラー: RBA xxxxxxxx で開始するブロックがありません (DMSFILES error: missed block(s) starting at RBA xxxxxxxx)**

説明: このメッセージは、ファイル終了処理に入ったとき、zSecure Collect が、指定された RBA (DSNINDEX または RACFENCD の FCB または索引によって指示される) で開始する追加情報を予期したことを示します。

重大度: 08

CKF163I **DMSF dev volume dataset をクローズし、nnn トラックの読み取り、nnn 個の DSNINDEX および nnnn 個の RACFENCD レコードのコピーを実行しました (Closed DMSF dev volume dataset, read nnn tracks, copied nnn DSNINDEX and nnnn RACFENCD records)**

説明: この通知メッセージは、DMSFILES データ・セットがクローズされたことを示し、CKFREEZE にコピーされたデータ・セットおよび RACF プロファイル・レコードの数が表示されます。このメッセージは、INFO オプションが指定された場合にのみ発行されません。

重大度: 00

CKF164I **DMSFILES エラー: name サブファイルが FCB に検出されません (DMSFILES error: name subfile not found in FCBs)**

説明: このメッセージは、zSecure Collect がファイル制御ブロック内で指定されたサブファイル定義を検出できなかったことを示します。サブファイルからの情報は CKFREEZE ファイルから失われます。

重大度: 08

CKF165I **DMSFILES エラー: FCB に IND/BLK RBA が存在しないか無効です (DMSFILES error: no or invalid IND/BLK RBA in FCBs)**

説明: このメッセージは、zSecure Collect が DSNINDEX および RACFENCD ファイル制御ブロック内で有効な RBA を検出できなかったことを示します。この DMSFILES データ・セットから CKFREEZE ファイルにコピーされる情報はありません。

重大度: 08

CKF166I **抑止されるメッセージ番号は 0..999 の範囲である必要があります (Message number to be suppressed must be in range 0..999)**

説明: メッセージ抑止コマンド SUPMSG およびそのエイリアスの形式は、コンマで区切って括弧で囲んだ 10 進数のリストであるか、単一の数値です。ブランクのままではない可能性があります。

重大度: 12

CKF167I 予期されるデータ・セット *volume dsname* についてボリュームがマウントされていません (**Volume not mounted for expected data set *volume dsname***)

説明: このメッセージは、zSecure Collect が示されたデータ・セットから情報を抽出する必要があったが、ボリュームがマウントされていなかったことを示します。

重大度: 04

CKF168I ボリューム *volume dsname* の予期されるデータ・セットについてリストアが成功しませんでした (**Restore not successful for expected data set on volume *volume dsname***)

説明: このメッセージは、zSecure Collect が示されたデータ・セットから情報を抽出する必要があったが、OPEN の試行に成功しなかったことを示します。このメッセージ・テキストは RESTORE=YES または RECALL=YES が指定または暗黙指定されている場合にのみ発生します。

重大度: 04

CKF168I **RESTORE=NO** および予期されるデータ・セットがボリューム *volume dsname* ではありません (**RESTORE=NO and expected data set not on volume *volume dsname***)

説明: このメッセージの形式は、zSecure Collect が示されたデータ・セットから情報を抽出する必要があったが、データ・セットが VTOC から検出されず、RESTORE=NO (RECALL=NO と同じ) が指定または暗黙指定されていたことを示します。

重大度: 04

CKF169I 要求されたデータ・セット *volume dsname* についてボリュームが (除外されたか) マウントされていません (**Volume [excluded or] not mounted for requested data set *volume dsname***)

説明: このメッセージは、データ・セットについてアクションを要求したが、ボリュームがマウントされていなかったか、SELECT および EXCLUDE コマンドによって除外されていたことを示します。

重大度: 08

CKF170I ボリューム *volume dsname* の要求されたデータ・セットについてリストアが成功しませんでした (**Restore not successful for requested data set on volume *volume dsname***)

説明: このメッセージは、データ・セットについてアクションを要求したが、OPEN の試行に成功しなかったことを示します。このメッセージ・テキストは、RESTORE=YES (RECALL=YES と同じ) が指定されたか、または暗黙的に示された場合にのみ発生する可能性があります。

重大度: 08

CKF170I **RESTORE=NO** および要求されたデータ・セットがボリューム *volume dsname* ではありません (**RESTORE=NO and requested data set not on volume *volume dsname***)

説明: このメッセージの形式は、データ・セットについてアクションを要求したが、データ・セットが VTOC から検出されず、RESTORE=NO が指定または暗黙指定されていたことを示します。

重大度: 08

CKF171I 任意のボリュームの予期されるデータ・セットについてリストアが成功しませんでした - *dsname* (**Restore not successful for expected data set on any volume - *dsname***)

説明: このメッセージは、zSecure Collect が示されたデータ・セットから情報を抽出する必要があったが、ALLOCATE の試行に成功しなかったことを示します。このメッセージ・テキストは、RESTORE=YES が指定されたか、または暗黙的に示された場合にのみ発生する可能性があります。

重大度: 04

CKF171I **RESTORE=NO** および予期されるデータ・セットが任意のボリュームにありません *dsname* (**RESTORE=NO and expected data set not on volume *dsname***)

説明: このメッセージの形式は、zSecure Collect が示されたデータ・セットから情報を抽出する必要があったが、データ・セットが任意の VTOC から検出されず、RESTORE=NO (RECALL=NO と同じ) が指定または暗黙指定されていたことを示します。

CKF172I • CKF176I

重大度: 04

CKF172I 任意の (含まれていた) ボリュームの要求されたデータ・セットについてリストアが成功しませんでした - *dsname* (**Restore not successful for requested data set on any [included] volume - *dsname***)

説明: このメッセージは、データ・セットについてアクションを要求したが、データ・セットがボリュームから検出されなかったか、ボリュームが SELECT および EXCLUDE ステートメントによって含められなかったことを示します。このメッセージ・テキストは、RESTORE=NO が指定されたか、または暗黙的に示された場合にのみ発生する可能性があります。

重大度: 08

CKF172I **RESTORE=NO** および要求されたデータ・セットが任意の (含まれていた) ボリューム *dsname* にありません (**RESTORE=NO and requested data set not on any [included] volume *dsname***)

説明: このメッセージの形式は、VSAM データ・セットについてアクションを要求したが、SELECT および EXCLUDE ステートメントによって含められた任意の VTOC からデータ・セットが検出されず、RESTORE=NO が指定または暗黙指定されていたことを示します。

重大度: 08

CKF173I 予期される **VSAM** データ・セット *volume dsname* についてボリュームがマウントされていません (**Volume not mounted for expected VSAM data set *volume dsname***)

説明: このメッセージは、zSecure Collect が示された VSAM データ・セットから情報を抽出する必要があったが、ボリュームがマウントされていなかったことを示します。

重大度: 04

CKF174I ボリューム *volume dsname* の予期される **VSAM** データ・セットについてリストアが成功しませんでした (**Restore not successful for expected VSAM data set on volume *volume dsname***)

説明: このメッセージは、zSecure Collect が示された VSAM データ・セットから情報を抽出する必要があったが、OPEN の試行に成功しなかったことを示します。

このメッセージ・テキストは、RESTORE=YES (RECALL=YES と同じ) が指定されたか、または暗黙的に示された場合にのみ発生する可能性があります。

重大度: 04

CKF174I **RESTORE=NO** および予期される **VSAM** データ・セットがボリューム *volume dsname* にありません (**RESTORE=NO and expected VSAM data set not on volume *volume dsname***)

説明: このメッセージの形式は、zSecure Collect が示された VSAM データ・セットから情報を抽出する必要があったが、データ・セットが VTOC から検出されず、RESTORE=NO (RECALL=NO と同じ) が指定または暗黙指定されていたことを示します。

重大度: 04

CKF175I 要求された **VSAM** データ・セット *volume dsname* についてボリュームが (除外されたか) マウントされていません (**Volume [excluded or] not mounted for requested VSAM data set *volume dsname***)

説明: このメッセージは、VSAM データ・セットについてアクションを要求したが、ボリュームがマウントされていなかったか、SELECT および EXCLUDE コマンドによって除外されていたことを示します。

重大度: 08

CKF176I ボリューム *volume dsname* の要求された **VSAM** データ・セットについてリストアが成功しませんでした (**Restore not successful for requested VSAM data set on volume *volume dsname***)

説明: このメッセージは、VSAM データ・セットについてアクションを要求したが、OPEN の試行に成功しなかったことを示します。このメッセージ・テキストは、RESTORE=YES (RECALL=YES と同じ) が指定されたか、または暗黙的に示された場合にのみ発生する可能性があります。

重大度: 08

CKF176I **RESTORE=NO** および要求された **VSAM** データ・セットがボリューム *volume dsname* にありません (**RESTORE=NO and requested VSAM data set not on volume *volume dsname***)

説明: このメッセージの形式は、VSAM データ・セットについてアクションを要求したが、データ・セットが VTOC から検出されず、RESTORE=NO (RECALL=NO と同じ) が指定または暗黙指定されていたことを示します。

重大度: 08

CKF177I 任意のボリュームの予期される **VSAM** データ・セットについてリストアが成功しませんでした - *dsname* (**Restore not successful for expected VSAM data set on any volume - *dsname***)

説明: このメッセージは、zSecure Collect が示された VSAM データ・セットから情報を抽出する必要があったが、ALLOCATE の試行に成功しなかったことを示します。このメッセージ・テキストは、RESTORE=YES が指定されたか、または暗黙的に示された場合にのみ発生する可能性があります。

重大度: 04

CKF177I **RESTORE=NO** および予期される **VSAM** データ・セットが任意のボリューム *dsname* にありません (**RESTORE=NO and expected VSAM data set not on volume *dsname***)

説明: このメッセージの形式は、zSecure Collect が示された VSAM データ・セットから情報を抽出する必要があったが、データ・セットが任意の VTOC から検出されず、RESTORE=NO が指定または暗黙指定されていたことを示します。

重大度: 04

CKF178I 任意の (含まれていた) ボリュームの要求された **VSAM** データ・セットについてリストアが成功しませんでした - *dsname* (**Restore not successful for requested VSAM data set on any [included] volume - *dsname***)

説明: このメッセージは、VSAM データ・セットについてアクションを要求したが、ALLOCATE 試行に成功しなかったか、ボリュームが SELECT および EXCLUDE ステートメントによって含められなかったことを示します。このメッセージ・テキストは、RESTORE=YES (RECALL=YES と同じ) が指定されたか、または暗黙的に示された場合にのみ発生する可能性があります。

重大度: 08

CKF178I **RESTORE=NO** および予期された **VSAM** データ・セットが任意の (含まれていた) ボリューム *dsname* にありません (**RESTORE=NO and expected VSAM data set not on volume *dsname***)

説明: このメッセージの形式は、VSAM データ・セットについてアクションを要求したが、SELECT および EXCLUDE ステートメントによって含められた任意の VTOC からデータ・セットが検出されず、RESTORE=NO (RECALL=NO と同じ) が指定または暗黙指定されていたことを示します。

重大度: 08

CKF179I サポートされない **MPFT** レベル *xx* (**Unsupported MPFT level *xx***)

説明: このメッセージは、メッセージ処理機能について現在サポートされているものよりも新しい制御ブロック・レイアウトが見つかったことを示します。メッセージ抑止についての情報は CKFREEZE ファイルから失われます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF180I 装置 *dev volume* に **VTOC** がありません (**Device *dev volume* has no VTOC**)

説明: このメッセージは、最後の IPL または VARY コマンド時点において、示されたボリュームに VTOC がなかったことを示します。このボリュームへの処理はスキップされました。

重大度: 04

CKF181I 装置 *dev volume* のトラック 0 レコード *n* に **VTOC** が存在します - サポートされません (**Device *dev volume* has VTOC on track 0 record *n* - not supported**)

説明: このメッセージは、示されたボリュームには、トラック 0 の示されたレコードに VTOC があることを示します。zSecure Collect ではこのフォーマットは認識されません。このボリュームへの処理はスキップされました (VTOC はダンプされません)。

重大度: 04

CKF182I この実行のオプション:
 FOCUS=(focus)
 IO=Y/N,TCPIP=Y/N, DASD=Y/N,
 TAPE=Y/N, SWCH=Y/N, PATH=Y/N,
 VTOC=Y/N, VVDS=Y/N, PDS=Y/N,
 CAT=Y/N/MCAT, MCD=Y/N, BCD=Y/N,
 DMS=Y/N, ABR=Y/N, TMC=Y/N,
 RMM=Y/N, VMF=Y/N, UNIX=Y/N
 [,UNIXCLIENT=Y/N] RECALL=Y/N
 [,AUTOMOUNT=Y/N, UNIXACL=Y/N],
 SHARED=Y/N, OFFLINE=Y/N,
 SMS=Y/N, STATS=Y/N, IDR=Y/N,
 CHECK=Y/N, SCAN=Y/N,
 PARALLEL=NONE/PATHGROUP/PATH
 [,NO]REPORT[,ALLRECS]
 [,WAIT=Y/N[,BURSTS=num,
 BURSTWAIT=num,BURSTSIZE=num]]
 [,NO]KEY0, [NO]BYPASS, [NO]SIO,
 [NO]XMEM, [NO]XMDSN, [NO]DIAG,
 [NO]UID0[,UNCONNECTED]
 [,SLOWDOWN] [,FREE]
 [,MONITOR=num] [,INTERVAL=num]],
 ENQ=Y/N, DDLIMIT=num,
 IOTIMEOUT=nn, PDSEBUFSIZE=num,
 SIGVER=Y/N, XTIO=Y/N, MOD=Y/N,
 NJE=Y/N, CICS=Y/N, IMS=Y/N,
 MQ=Y/N, DB2=Y/N, DB2CAT=Y/N,
 [,NO]DB2ADM, CKDS=Y/N,
 PKDS=Y/N, TKDS=Y/N,
 SERIALIZATION(NOENQ|
 ENQ(SYSDSN/CKRDSN/
 SYSDSN,CKRDSN)
 [,WAIT[,MAXWAIT(nn)]],
 FAIL[,VOLSER][,UNIT])

説明: このメッセージは、現在有効な基本オプション
 (他のオプションとの組み合わせでないオプション) をリ
 ストします。

重大度: 00

CKF183I 装置 *dev volume* の CP 形式の VTOC
 はサポートされません (Device *dev*
volume CP-formatted VTOC not
 supported)

説明: このメッセージは、ボリュームには、(VM で使
 用するための) CP 形式のボリュームと同じ位置に
 VTOC があることを示します。このボリュームへの処理
 はスキップされました (VTOC はダンプされません)。

重大度: 04

CKF184I 装置 *dev volume* の AIX 形式の VTOC
 はサポートされません (Device *dev*
volume AIX-formatted VTOC not
 supported)

説明: このメッセージは、ボリュームには、
 (AIX/ESA® で使用するための) AIX 形式のボリューム
 と同じ位置に VTOC があることを示します。このボリ
 ユームへの処理はスキップされました (VTOC はダンプ
 されません)。

重大度: 04

CKF185I *dev volume dsname* ディレクトリーの相対
 トラック *nnn* の読み取りエラー (Error
 reading rel trk *nnn* in *dev volume*
dsname directory)

説明: このメッセージは、PDS ディレクトリー内のト
 ラックの処理中に入出力エラーが発生したことを示しま
 す。

重大度: 08

CKF185I *dev volume dsname (member)* 内の相対ト
 ラック *nnn* の読み取りエラー (Error
 reading rel trk *nnn* in *dev volume*
dsname(member))

説明: このメッセージは、PDS メンバー内のトラック
 の処理中に入出力エラーが発生したことを示します。

重大度: 08

CKF186I 予期しない CSVAPF 戻りコード
 xxxxxxxx (16 進数)、理由コード
 xxxxxxxx (16 進数) (Unexpected
 CSVAPF return code xxxxxxxx hex,
 reason code xxxxxxxx hex)

説明: このメッセージは、CSVAPF サービスが予期し
 ない戻りコードを返したことを示します。電子サポート
 Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けら
 れた使用可能な保守を探してください。該当する保守が
 見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへ
 の連絡』に記載されている手順に従って問題を報告して
 ください。

重大度: 08

CKF187I 予期しない CSVDYNL 戻りコード
 xxxxxxxx (16 進数)、理由コード
 xxxxxxxx (16 進数) (Unexpected
 CSVDYNL return code xxxxxxxx hex,
 reason code xxxxxxxx hex)

説明: このメッセージは、CSVDYNL サービスが予想しない戻りコードを返したことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF188I 予想しない CSVDYNL 戻りデータ
(Unexpected CSVDYNL return data)

説明: このメッセージは、CSVDYNL サービスが予想しないデータを戻したことを示します (セットなし)。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF189I *module1* と *module2* のポインターが同じため終了します。ASID=aaaa tag=xx and ASID=bbbb tag=yy (Exit same ptr for *module1* and *module2* ASID=aaaa tag=xx and ASID=bbbb tag=yy)

説明: このメッセージは、同じアドレスに存在することを表明する 2 つのモジュール大分類名が検出されたことを示します。いずれか 1 つの名前のみが CKFREEZE ファイル内での「正式な」名前です。

重大度: 04

CKF190I VVDS *volser* には *bcsname* 用の索引がないためスローダウン・モードが起動されました (Slowdown mode invoked because VVDS *volser* has no index for *bcsname*)

説明: VVDS にエラーが検出されました (IDCAMS DIAGNOSE について表示されます)。このエラーによって、高速入出力ルーチンが使用できなくなりました。代わりにスローダウン・モードが起動されました。

重大度: 00

CKF191I NOCLOSE は PARM ストリングでのみ有効です (NOCLOSE only valid in PARM string)

説明: このメッセージは、NOCLOSE パラメーター

は、パラメーター・ストリング内に存在しない限り機能しないことを示します。

重大度: 16

CKF192I NODCBE は PARM ストリングでのみ有効です (NODCBE only valid in PARM string)

説明: このメッセージは、NODCBE パラメーターは、パラメーター・ストリング内に存在しない限り機能しないことを示します。

重大度: 16

CKF193I NODUMP は PARM ストリングでのみ有効です (NODUMP only valid in PARM string)

説明: このメッセージは、NODUMP パラメーターは、パラメーター・ストリング内に存在しない限り機能しないことを示します。

重大度: 16

CKF194I xxxx メモリーについての IARV64 REQUEST=LIST からの予想しない戻りコード hhhhhhhh (Unexpected return code hhhhhhhh from IARV64 REQUEST=LIST for xxxx memory)

説明: IARV64 REQUEST=LIST マクロが戻りコード hhhhhhhh で失敗しました。メッセージの xxxx は XSHR または XCOM です。IARV64 REQUEST=LIST は 64 ビット・メモリー・オブジェクトについての情報を取得するために使用されます。CKFCOLL が情報を要求するメモリー・オブジェクトには 2 つのタイプがあります。これらは、共有メモリー・オブジェクト (zSecure では XSHR オブジェクトという) と、共通メモリー・オブジェクト (zSecure では XCOM オブジェクトという) です。このエラーの結果、共有メモリー・オブジェクトまたは共通メモリー・オブジェクトについての情報が CKFREEZE ファイルから失われる可能性があります。

ユーザーの処置: このエラーは、サポートされないオペレーティング・システム上で zSecure を実行したことか、オペレーティング・システムへの最近の保守が IARV64 に影響したことが原因の可能性があります。また、メモリーの破損も原因となる場合があります。エラーについて詳しくは、IARV64 の戻りコードを参照してください。これは「MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference」マニュアル(SA23-1371 から SA23-1375)に記載されています。引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、

このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF195I IARV64 REQUEST=LIST 処理での tttt 異常終了 xxx-nn (説明)。(tttt abend xxx-nn (description) in IARV64 REQUEST=LIST processing.) xxxx 情報がありません (xxxx info missing)

説明: IARV64 REQUEST=LIST マクロの処理中に異常終了が発生しました。メッセージ内の項目は以下を示します。

- tttt はシステムまたはユーザーで、異常終了のタイプです。
- description は異常終了の説明です。
- xxxx は XSHR または XCOM です。

IARV64 REQUEST=LIST は 64 ビット・メモリー・オブジェクトについての情報を取得するために使用されます。CKFCOLL が情報を要求するメモリー・オブジェクトには 2 つのタイプがあります。これらは、共有メモリー・オブジェクト (zSecure では XSHR オブジェクトという) と、共通メモリー・オブジェクト (zSecure では XCOM オブジェクトという) です。このエラーの結果、共有メモリー・オブジェクトまたは共通メモリー・オブジェクトについての情報が CKFREEZE ファイルから失われる可能性があります。

ユーザーの処置: このエラーは、サポートされないオペレーティング・システム上で zSecure を実行したことか、そのオペレーティング・システムへの最近の保守が IARV64 に影響したことが原因の可能性があります。また、メモリーの破損も原因となる場合があります。エラーについて詳しくは、IARV64 の戻りコードを参照してください。これは「MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference」(SA23-1371 から SA23-1375) の一連のマニュアルに記載されています。引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF196I 予期しない IXCCPLX 処理 type の異常終了 xxx-nn (explanation)(Unexpected IXCCPLX processing type abend xxx-nn (explanation))

説明: このメッセージは、IXCCPLX の処理中に異常終了が発生したことを示します。結合データ・セット定義レコードがファイルから失われます。

重大度: 04

CKF197I IEEQEMCS 中の予期しない type の異常終了 xxx-nn (explanation)(Unexpected type abend xxx-nn (explanation) during IEEQEMCS)

説明: このメッセージは、IEEQEMCS の実行中に予期しない異常終了状態が発生したことを示します。これにはシステム・ダンプが伴うことがあります。EMCS コンソールに関する情報が CKFREEZE ファイルから失われます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKF198I 予期しない IEEQEMCS RC=nn RSN=nn (Unexpected IEEQEMCS RC=nn RSN=nn)

説明: このメッセージは、IEEQEMCS サービスによって予期しない戻りコードおよび理由コードが返されたことを示します。EMCS コンソールに関する情報が CKFREEZE ファイルから失われます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKF199I サポートされない UCM レベル xx (Unsupported UCM level xx)

説明: このメッセージは、コンソールの分析について現在サポートされているものよりも新しい制御ブロック・レイアウトが見つかったことを示します。コンソールに関する情報が CKFREEZE ファイルから失われます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM

サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

メッセージ 200 から 299

CKF200I *type* データ・セット *volser datasetname*
の **OBTAIN** 戻りコード *rc* (**OBTAIN**
return code *rc on type data set volser*
datasetname)

説明: このメッセージは、データ・セット *datasetname* (*type* データ・セットとなることが予想される) が MVS の **OBTAIN** サービスによって検出できなかったことを示します。サービスが返す戻りコードは *rc* です。

重大度: 00

CKF201I 1 つ以上の **APF** 許可機能へのアクセスが
否認されました - **FOCUS** を調整するか
APF 許可を除去してください (**Access**
denied to one or more APF authorized
features - adjust FOCUS or drop APF
authorization)

説明: このメッセージは、該当するリソースについてユーザーの権限が不十分であることを示します。ユーザーは要求された機能を変更するか、該当する *CKF.focus* リソースへの **READ** 許可を取得するか、または **APF** 許可を除去する (許可されていない **STEPLIB** を追加するなどによる) 必要があります。

重大度: 12

CKF202I リソース・プロファイルは
FOCUS=AUDIT* の使用を許可しません
- **class CKF.AUDIT (Resource profile**
does not permit use of
FOCUS=AUDIT* - class CKF.AUDIT)

説明: このメッセージは、示されたリソースに対してユーザーが持っている権限が不十分であることを示します (**SAF** 戻りコード 8)。AUDIT* は **AUDITACF2**、**AUDITRACF**、または **AUDITTSS** を意味します。

重大度: 12

CKF203I 空の *type dev volser cluster* をスキップし
ます (**Skipping empty type dev volser**
cluster)

説明: タイプが *type* の **VSAM** データ・セット (**CKDS**、**PKDS**、または **TKDS**) は、高使用 **RBA** が 0 であるため、スキップされました。

重大度: 00

CKF204I リソースが定義されていません - **class**
profile (Resource not defined - class
profile)

説明: このメッセージは、示されたプロファイルが検出できないことを示します (クラスがアクティブな場合は **RACF** 戻りコード 4)。メッセージ **CKF211I** が続きます。

重大度: 00

CKF205I **ESM** 戻りコード *nnnnnnnn* (16 進数)、
理由コード *nnnnnnnn* (16 進数) **class**
profile (ESM return code *nnnnnnnn hex,*
reason code *nnnnnnnn hex class profile)*

説明: このメッセージは、**SAF** による **RACROUTE REQUEST=AUTH** パラメーター・リストの最初の 2 つのフルワードで返される **ESM** 戻りコードおよび理由コードを示します。一般的に、意味は追加のメッセージで説明されるか、戻りコード 8 の場合は、ジョブ・ログの **RACF** によって発行される **ICH408I** メッセージで説明されます。このメッセージは主にデバッグ目的のためのものです。理由コードの意味は **ESM** の資料に記載されています。

重大度: 12

CKF206I **ESM** がインストールされていません。許
可検査ができません (**ESM not installed,**
no authorization check possible)

説明: このメッセージは、**RACSTAT** マクロの戻りコード 24 で示されるように、リソース・アクセス制御がシステムに存在しないことを示します。すべての操作要求が許可されます。

重大度: 00

CKF207I **ESM** が非アクティブです。許可検査がで
きません (**ESM inactive, no**
authorization check possible)

説明: このメッセージは、リソース・アクセス制御がシステムでアクティブでないことを示します。すべての操作要求が許可されます。

重大度: 00

CKF208I SAF クラス *class* が CDT で定義されていません。許可検査ができません (SAF class *class* not defined in CDT, no authorization check possible)

説明: このメッセージは、示されたリソース・クラスが SAF クラス記述子テーブルに定義されていないことを示します。すべての操作要求が許可されます。

重大度: 00

CKF209I SAF クラス *class* がアクティブではありません。許可検査ができません (SAF class *class* not active, no authorization check possible)

説明: このメッセージは、示されたリソース・クラスの保護がシステムで活動化されていないことを示します。このメッセージの後には、許可検査が要求されたフォーカスを示すメッセージ CKF210I または CKF214I が続きます。

重大度: 00

CKF210I クラス *class* の許可検査は FOCUS=*focus* を使用するようにアクティブになる必要があります (Authorization checking for class *class* must be active to use FOCUS=*focus*)

説明: このメッセージは、セキュリティ・リソースによって特別に許可されている場合を除き、ユーザーについて FOCUS=*focus* によって特別に要求された保護監査情報を zSecure Collect が収集しないことを示しています。*focus* は ALERT*、AUDIT*、または QRADAR* が可能です。リソースを検査できるようにするには、示された *class* をアクティブにする必要があります。

重大度: 12

CKF211I リソース・プロファイルは FOCUS=AUDIT* を使用するために存在する必要があります - class CKF.AUDIT (Resource profile must be present to use FOCUS=AUDIT* - class CKF.AUDIT)

説明: このメッセージは、セキュリティ・リソースによって特別に許可されている場合を除き、ユーザーについて FOCUS=AUDIT* によって特別に要求された監査情報を収集することを zSecure Collect が拒否することを説明します。リソースを検査できるようにするには、リソースを扱うプロファイルを定義する必要があります。

重大度: 12

CKF212I 境界より上の常駐ディレクトリーの読み取り中の予期しない code (Unexpected code reading above-bar resident directory)

説明: 境界より上の ACF2 常駐ディレクトリーを読み取ろうとしているときに、異常終了 code が発生しました。

ユーザーの処置: このメッセージが今後表示されないようにできるかどうかを確認するには、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKF213I 境界より上の常駐ディレクトリー規則の読み取り中の予期しない code (Unexpected code reading above-bar resident directory rules)

説明: 境界より上の ACF2 常駐規則を読み取ろうとしているときに、異常終了 code が発生しました。

ユーザーの処置: このメッセージが今後表示されないようにできるかどうかを確認するには、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKF214I クラス *class* の許可検査は FOCUS=*focus* を使用するようにアクティブになる必要があります (Authorization checking for class *class* must be active to use FOCUS=*focus*)

説明: このメッセージは、セキュリティ・リソースによって特別に許可されている場合を除き、ユーザーについて FOCUS=*focus* によって特別に要求された保護済みの監査情報を収集することを zSecure Collect が拒否することを説明します。リソースを検査できるようにするには、示されたクラスをアクティブにする必要があります。*focus* は ADMIN* または VISUAL が可能です。

重大度: 12

CKF215I リソース・プロファイルは
FOCUS=ADMIN* を使用するために存在
 する必要があります - *class CKF.ADMIN*
(Resource profile must be present to
use FOCUS=ADMIN* - class
CKF.ADMIN)

説明: このメッセージは、セキュリティー・リソースに
 よって特別に許可されている場合を除き、ユーザーにつ
 いて任意の ADMIN* FOCUS 指定によって特別に要求
 された監査情報を収集することを zSecure Collect が拒
 否することを説明します。リソースを検査できるように
 するには、リソースを扱うプロファイルを定義する必要
 があります。

重大度: 12

CKF216I リソース・プロファイルは
FOCUS=ADMIN* の使用を許可しません
 - *class CKF.ADMIN (Resource profile*
does not permit use of
FOCUS=ADMIN* - class CKF.ADMIN)

説明: このメッセージは、示されたリソースに対してユ
 ーザーが持っている権限が不十分であることを示します
 (SAF 戻りコード 8)。

重大度: 12

CKF217I DD 名 *ddname* を解放します (**Free**
ddname ddname)

説明: DEBUG または INFO がアクティブである場合
 に、DD 名の FREE がいつ試行されているかを理解す
 るために役立つように発行されるメッセージです。

重大度: 00

CKF221I 予期しない CSVDYNEX 戻りコード *nnn*
 理由コード *nnn* (10 進数) (**Unexpected**
CSVDYNEX return code nnn reason
code nnn (decimal))

説明: このメッセージは、CSVDYNEX LIST サービス
 が失敗した場合に発行されます。戻りコードはご使用の
 MVS システムのマクロ CSVEXRET に記述されます。
 戻りコードが 8 で理由コードが 2052 (10 進数) の場
 合、これは呼び出し元が APF 許可を受けておらず、
 FACILITY CSVDYNEX.LIST の READ 許可を持たなかつ
 たことを意味します。

重大度: 04

CKF222I RMF がアクティブでないか VM で実行
 中ではありません - LCU の選択が無効で
 す (**RMF not active or running under**
VM - LCU selection invalid)

説明: このメッセージは、LCU 処理に使用される
 RMF 制御ブロックが検出できなかった場合に発行され
 ます。これは、RMF が存在しないシステムか、サービ
 ス・プロセッサ診断命令を許可しない VM リリース
 において発生する可能性があります。

重大度: 16

CKF224I *dev volume dsname(member)* 内のサポート
 されない IDENTIFY IDR データ
(Unsupported IDENTIFY IDR data in
***dev volume dsname(member)*)**

説明: このメッセージは、指定されたプログラム・オブ
 ジェクトについての IDENTIFY IDR データのフォーマ
 ットが認識できなかったことを示します。このプログラ
 ム・オブジェクトについて、PTF レベル情報が失われる
 か不完全になる可能性があります。

重大度: 04

CKF225I スキャン対象の SVC 番号は 0..255 の範
 囲である必要があります (**SVC number**
to scan for must be in range 0..255)

説明: このメッセージは、0 から 255 の範囲にない値
 を持つリスト項目が SCANSVC パラメーターに含まれ
 ている場合に発行されます。

重大度: 12

CKF226I コピーされた RMM 制御レコードの数:
nnn (**Number of RMM control records**
copied: nnn)

説明: このメッセージは、RMM=YES が指定または暗
 黙指定された場合に表示され、RMM 制御データ・セッ
 トからコピーされたレコードの数を表示します。

重大度: 00

CKF227I 検査されたディスク・データ・レコード:
nnn MB、*nnn* メンバー (**Disk data**
records checked: nnn MB in nnn
members)

説明: このメッセージは、CHECK=YES が指定または
 暗黙指定された場合に表示され、チェックサム・アルゴ
 リズムによって読み取りおよび合計されたデータのメガ
 バイト数と、このデータを含む PDS メンバーの数を表
 示します。

重大度: 00

CKF228I *dev volume dsname(member)* 内のサポート
されない **IDENTIFY IDR** データ
(Unsupported IDENTIFY IDR data in
dev volume dsname(member))

説明: このメッセージは、指定されたロード・ライブラリー・メンバーについての **IDENTIFY IDR** データのフォーマットが認識できなかったことを示します。このメンバーについて、PTF レベル情報が失われるか不完全になる可能性があります。

ユーザーの処置: データ収集のパラメーターを指定する場合は、CKFCOLL バッチ JCL に PARM= パラメーターの指定を含めてください。

重大度: 04

CKF229I *dev volume dsname* 相対トラック *nnnn*
の **PDS** ディレクトリー・ブロック・キー/データ長が **8/256** でなく *kk/nnn* (**PDS**
dirblk key/data len kk/nnn instead of
8/256 for dev volume dsname rel track
nnnn)

説明: このメッセージは、指定されたロード・ライブラリー・メンバーについてのディレクトリー・ブロックのフォーマットがサポートされなかったことを示します。トラックの残りは、スキップされます。おそらくデータ・セットに **DSORG=PO** が存在しますが、初期化されたディレクトリーがありません。

重大度: 08

CKF230I コピーされた **TLMS** 基底レコード: *nnn*
(Number of TLMS base records
copied: nnn)

説明: このメッセージは、VMF=YES が指定または暗黙指定された場合に表示され、**TLMS** ボリューム・マスター・ファイルからコピーされたボリューム基底レコードの数を表示します。

重大度: 00

CKF231I コピーされた **TLMS** データ・セット・セル: *nnn* (**Number of TLMS data set**
cells copied: nnn)

説明: このメッセージは、VMF=YES が指定または暗黙指定された場合に表示され、**TLMS** ボリューム・マスター・ファイルからコピーされたデータ・セット・レコードの数を表示します。

重大度: 00

CKF232I コピーされた **ABR** アーカイブ・レコードの数: *nnn* (**Number of ABR archive**
records copied: nnn)

説明: このメッセージは、ABR=YES が指定または暗黙指定された場合に表示され、**ABR** アーカイブ制御ファイルからコピーされたレコードの数を表示します。

重大度: 00

CKF233I 予期しない **CSRSI** 戻りコード *xxxxxxx*
(Unexpected CSRSI return code
xxxxxxx)

説明: このメッセージは、**CSRSI** サービスが予期しない戻りコードを返したことを示します。その結果、ダンプされる CPU 詳細情報が少なくなります。

重大度: 00

CKF234I 有効なデータがトラック *nnn* に検出され
ません (**No valid data found on track**
nnn)

説明: このメッセージは、トラックに対して入出力が実行されたがトラックから何も検出されなかったことを示します。これは通常の状態ではありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF235I **MON** メッセージ *nnn: text* (**MON msg**
nnn: text)

説明: このメッセージは、**MONITOR** の処理中に示されます。数値 *nnn* は適切な zSecure Collect メッセージに対応します。説明については、該当する **CKFnnnI** メッセージを参照してください。

重大度: 08

CKF236I *text* における **CKFCMON** 内部エラー
(CKFCMON internal error on text)

説明: このメッセージは、**MONITOR** の処理中に示されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF237I ERBSMF I 処理中の *type* 異常終了
xxx-nn (explanation) (type abend xxx-nn
(explanation) during ERBSMF
processing)

説明: このメッセージは、ERBSMF I、つまり RMF インターフェイス・モジュールが MONITOR 処理中に異常終了した場合に表示されます。明らかな原因が見つからない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF238I *parm* は 1440 (1 日) より小さい必要があります
(parm must be less than 1440 (1
day))

説明: MONITOR または INTERVAL パラメーターが 1440 より大きい分数で指定されました。どちらのパラメーターも 1 日より小さくする必要があります。

重大度: 12

CKF242I 動的終了情報が省略されました。非 APF
の場合は FACILITY クラス・エンティティ
CSVDYNEX.LIST について SAF
READ アクセス権限が必要です
(Dynamic exit info omitted, SAF
READ access required on FACILITY
class entity CSVDYNEX.LIST if
non-APF)

説明: このメッセージは、CSVDYNEX LIST サービスが失敗した場合に発行されます。CSVDYNEX の戻りコードは 8 で理由コードは 2052 (10 進数) でした。これはご使用の MVS システムのマクロ CSVEXRET に記述されます。これは、呼び出し元が APF 許可を受けておらず、FACILITY CSVDYNEX.LIST の READ 許可を持たなかったことを意味します。

重大度: 04

CKF243I リソース・プロファイルは
FOCUS=QRADAR* を使用するために存
在する必要があります - *class*
CKF.QRADAR (Resource profile must
be present to use FOCUS=QRADAR* -
class CKF.QRADAR)

説明: このメッセージは、セキュリティー・リソースによって特別に許可されている場合を除き、ユーザーについて任意の QRADAR* FOCUS 指定によって特別に要

求された監査情報を zSecure Collect が収集しないことを示しています。リソースを検査できるようにするには、リソースを扱うプロファイルを定義する必要があります。AUDIT* フォーカスも指定または暗黙指定された場合、CKF.QRADAR のチェックは実行されません。

重大度: 12

CKF244I リソース・プロファイルは
FOCUS=QRADAR* の使用を許可しま
せん - *class CKF.QRADAR (Resource*
profile does not permit use of
FOCUS=QRADAR - class*
CKF.QRADAR)

説明: このメッセージは、示されたリソースについてユーザーの権限が不十分であることを示します (SAF 戻りコード 8)。AUDIT* フォーカスも指定または暗黙指定された場合、CKF.QRADAR のチェックは実行されません。その場合、CKF.AUDIT の許可も十分です。

重大度: 12

CKF245I 予期しないブロック長 *nnn*、*type vol*
dataset の相対トラック *nnn Rnn*
(Unexpected block length *nnn* at rel
track *nnn Rnn* of *type vol dataset*)

説明: このメッセージは、読み取られたトラックに予期しないブロック・サイズが含まれていたことを示します。トラックの残りは、スキップされます。現在の相対トラック番号および物理レコード番号は 10 進数で表示されます。*type* には、TMC または VMF を指定できます。このメッセージは、報告されたブロック長がレコード長の整数倍であるため、最終ブロックについてブロックが有効であったはずにもかかわらず、最終ブロックが有効でなかった場合に TMC または VMF についてのみ発行されます。

重大度: 08

CKF246I CA の空のトラックがスキップされま
せん。CI 内に 32 を超えるブロックが存在
します - *nn* ブロック/CI クラスタ
dsname (Empty tracks in CA not
skipped, more than 32 blocks in CI -
nn blk/CI cluster dsname)

説明: このメッセージは、内部入出力最適化アルゴリズムは制御インターバルあたり 32 個の物理ブロックしかサポートしないため、処理を完了できなかったことを示します。その代わりに、一部のトラックが空であったとしても制御域のすべてのトラックを常に読み取ります。これにより入出力パフォーマンスが少し低下しますが、データの損失を示すわけではありません。

CKF247I • CKF254I

重大度: 04

CKF247I *volser* の *catname* についての無効な索引
レコード・ヘッダー (**Invalid index
record header for *catname* on *volser***)

説明: このメッセージは、垂直ポインター・マスクが
CI ポインターの数と競合する場合に発生します。

重大度: 08

CKF248I 装置 *dev* ボリューム *volser* の *dsname* に
ついて **OPEN** の異常終了 **213-04(OPEN
abend 213-04 on device *dev* volume
volser for *dsname*)**

説明: *dsname* という名前のデータ・セットが、装置
dev の入力用に関けませんでした。zSecure Collect が
このメッセージを (CKR030I の代わりに) 発行するの
は、ユーザーが明示的に示していない APF ライブラリ
を検索したが、そのライブラリーは明らかに *volser*
上に物理的に存在しない場合です。zSecure Audit for
RACF によって作成される機密性レポートにはこのこと
が適切に表示され、この状態によって任意のレポートが
無効化されると推測する理由は何もありません。

重大度: 04

CKF249I **CA** の空のトラックがスキップされませ
ん。**CA** 内に **2048** を超えるブロックが存
在します **CA - *nnn* ブロック/CA クラス
ター *dsname* (Empty tracks in CA not
skipped, more than 2048 blocks in CA
- *nnn* blk/CA cluster *dsname*)**

説明: このメッセージは、内部入出力最適化アルゴリズム
は制御域あたり 2048 個の物理ブロックしかサポート
しないため、処理を完了できなかったことを示します。
その代わり、一部のトラックが空であったとしても制御
域のすべてのトラックを常に読み取ります。これにより
入出力パフォーマンスが少し低下しますが、データの損
失を示すわけではありません。CA あたり 2048 ブロ
ックを超えるというのはブロック化因数が極めて非効率
なことを意味するため、データ・セットをブロック化し
直すかどうかを検討してください。

重大度: 04

CKF250I *vol dsname* の相対トラック *nnn* における
extentsize の **VSAM** エクステンツ・スラ
ック *n* トラックをスキップします
(**Skipping VSAM extent slack *n* trk of
extentsize at rel trk *nnn* in *vol dsname*)**)

説明: このメッセージは、VSAM データ・セットがエ

クステンツの最後にスラック・スペースを持つことを示
します。これはスキップされました。必要な場合、デー
タ・セットを再割り振りして無駄なスペースを再利用
し、このメッセージを除去することができます。再割り
振り後も引き続き問題が発生する場合は、電子サポート
Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けら
れた使用可能な保守を探してください。該当する保守が
見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへ
の連絡』に記載されている手順に従って問題を報告して
ください。

重大度: 00

CKF251I *vol dsname* についてスローダウン・モー
ドが起動されました (**Slowdown mode
invoked for *vol dsname***)

説明: このメッセージは、VSAM データ・セットが遅
い方式で読み取られますが、理由についての具体的なエ
ラー・メッセージが得られないことを示します。

重大度: 00

CKF252I **ACF2** アンロード・ファイル *ddname* の
オープンに失敗しました (**Open failed
for ACF2 Unload file *ddname***)

説明: このメッセージは、示された ACF2 アンロー
ド・ファイルを開くことができなかったことを示しま
す。

重大度: 00

CKF253I *dev volser dsname* の *type* 異常終了
*xxx-nn (explanation) (type abend xxx-nn
(explanation) on dev volser dsname)*

説明: 示されたボリュームおよび装置のデータ・セット
dsname をオープン中に、OPEN 異常終了で処理できな
い異常終了が発生しました。

重大度: 08

CKF254I *dev volser dsname* の *type* 異常終了
*xxx-nn (explanation) (type abend xxx-nn
(explanation) on dev volser dsname)*

説明: 示されたボリュームおよび非 DASD 装置のデー
タ・セット *dsname* をオープン中に、OPEN 異常終了
で処理できない異常終了が発生しました。

重大度: 08

CKF255I *dev volser dsname* の *type* 異常終了
xxx-nn (explanation) (type abend xxx-nn
(explanation) on dev volser dsname)

説明: 示されたボリュームおよび装置の DASD カタログ索引 *dsname* をオープン中に、OPEN 異常終了で処理できない異常終了が発生しました。

重大度: 08

CKF256I 拡張フォーマット *vol dsname* のためスロ
 ードダウン・モードが起動されました
(Slowdown mode invoked because
Extended Format vol dsname)

説明: このメッセージは、VSAM データ・セットが拡張フォーマットのデータ・セットのため、遅い方式で読み取られることを示します。

重大度: 00

CKF257I **RACROUTE** *type* 異常終了 *xxx-nn*
(explanation) (RACROUTE type abend
xxx-nn (explanation))

説明: 予期せぬ RACROUTE 異常終了が発生しました。

重大度: 08

CKF258I **STATUS=ACCESS** はこのユーザーに対
 して許可されていません (システム異常終
 了 047) (**STATUS=ACCESS not**
allowed for this user (system abend
047))

説明: 現行の zSecure Collect の非 APF 実行は、RACROUTE STATUS=ACCESS 呼び出しの実行を許可されたログオン ID では実行されません。これは、zSecure Collect 環境について記述する SAFDEF レコードで、以下のように NOAPFCHK キーワードを使用することによって対処できます。

```
INSERT SAFDEF.apf PROGRAM(CKFCOLL)
RB(CKFCOLL)
NOAPFCHK RACROUTE
(REQUEST=AUTH,CLASS=DATASET,
STATUS=ACCESS)
```

重大度: 00

CKF259I 入出力バッファに使用可能なストレージ
 がありません (**No storage available for**
I/O buffer)

説明: zSecure Collect には適切なサイズの入出力バッ

ファを作成するために使用できるストレージが十分にありませんでした。これにより、プログラムが終了します。この問題を回避するには、zSecure Collect 実行用に大きい領域を割り振ってください。

重大度: 12

CKF260I UCBSCAN が装置 *hhhh volser* を返し
 ません (**UCBSCAN does not return**
device hhhh volser)

説明: このメッセージは、UCBSCAN サービスが示された装置についての情報を返さなかったことを示します。意図した許可済みの入出力機能は実行されません。これは zSecure Collect 実行中の動的変更が原因の場合があります。別の実行でもこのエラーが繰り返される場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKF261I *dev volser dsname* で索引の読み取り中に
 破損した長さが検出されました
(Corrupted length found while reading
IX on dev volser dsname)

説明: 示されたデータ・セットの索引を読み取っているときに、競合する長さ指定が検出されました。これは通常、データ・セットの破損を示します。このデータ・セットの追加処理はスキップされます。

重大度: 08

CKF262I クラスター名でもコンポーネント名でもあ
 りません -- *dsn* (**Not a cluster or**
component name -- dsn)

説明: このメッセージは、ある名前が VSAM クラスター名またはデータ・コンポーネント名として渡されましたが、クラスター名でもデータ・コンポーネント名でもないことを示します。

重大度: 08

CKF263I *dsn* の LISTCAT VOL 中の予期しない
 10 進数戻りコード *nn* (**Unexpected**
return code nn dec during LISTCAT
VOL of dsn)

説明: このメッセージは、カタログで VSAM データ・コンポーネント名の場所の検索に失敗したことを示します。コンポーネントはスキップされます。プログラムに

よって検索されたと思われる場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF264I *dsn* の LISTCAT VOL 中の予期しない
type 異常終了 xxx-nn (explanation)
(Unexpected type abend xxx-nn
(explanation) during LISTCAT VOL of
dsn)

説明: このメッセージは、カタログで VSAM データ・コンポーネント名の場所の検索に失敗したことを示します。異常終了が発生しました。コンポーネントはスキップされます。プログラムによって検索されたと思われる場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF267I *volume dname(member)* のプログラム・オブジェクト・ヘッダーの予期しない見出し
eye catcher (Unexpected eye catcher eye
catcher for program object header of
volume dname(member))

説明: 示されたプログラム・オブジェクトには不明なレイアウトがあります。このメンバーについてのチェックサムおよび IDR 処理はスキップされます。

重大度: 08

CKF268I *volume dname(member)* についてプログラム・オブジェクト・ヘッダーの長さ
hexnum がブロック・サイズ hexnum よりも長いです (Program object header
length hexnum larger than blocksize
hexnum for volume dname(member))

説明: PDSE についてのチェックサムおよび IDR 処理では、プログラム・オブジェクトの完全なヘッダーが、読み取られる最初のブロックの範囲内に存在する必要があります。そうでない場合は、処理はスキップされます。

重大度: 08

CKF269I *volume dname(member)* のサポートされない
プログラム・オブジェクト・レベル
hexnum (Unsupported program object
level hexnum for volume
dname(member))

説明: 示されたプログラム・オブジェクトには不明なレイアウトがあります。このメンバーについてのチェックサムおよび IDR 処理はスキップされます。

重大度: 08

CKF270I PDSE 処理には BPAM が必要です
(PDSE processing requires BPAM)

説明: NOBSAMBPAM が PARM ストリングに指定され、プログラムで BPAM を使用しないことが指定されました。ところが、PDSE 用のチェックサム処理および IDR 処理には BPAM が必要です。この処理はすべての PDSE についてスキップされます。

重大度: 08

CKF271I NOBSAMBPAM は PARM ストリング
でのみ有効です (NOBSAMBPAM only
valid in PARM string)

説明: このメッセージは、NOBSAMBPAM パラメーターは、パラメーター・ストリング内に存在しない限り機能しないことを示します。

重大度: 16

CKF272I RACSTAT の予期しない
RC. (RACSTAT unexpected
RC.)CLASS='class' SAFRC=safrc
RACFRC=racfrc RSNCODE=rsn

説明: RACROUTE REQUEST=STAT 呼び出しを使用してシステムから動的クラス記述子テーブルを取得中に、プログラムはエラーを示す戻りコードを受け取りました。zSecure Collect は動的 CDT の処理を停止します。エラーの原因を判別するには、「Security Server RACF RACROUTE マクロ解説書」で戻りコードを調べてください。

CDT の処理の途中でエラーが発生した場合 (class はすべてブランク以外となります)、zSecure Collect は CDT の一部を CKFREEZE ファイルに保管します。この部分的な動的 CDT が zSecure Admin and Audit によって使用されます。何らかのクラス設定が返される前にエラーが発生した場合 (この方が可能性が高い)、zSecure Collect は動的 CDT を保管しません。この場合、zSecure Admin and Audit は静的 CDT を使用して処理を実行します。

重大度: 04

CKF273I *ddname volser dsname(member) - 問題記述 (ddname volser dsname(member) - problem description)*

説明: プログラム・オブジェクトの IDRDATA の処理中に、プログラムに予期しない状態が発生しました。問題記述に IDRDATA が切り捨てられたことが示された場合、プログラム・オブジェクトにはバッファに入れられた量 (PDSEBUFSIZE パラメーターによって制御される) よりも多くの IDRDATA が含まれていたことになります。この場合、CKFREEZE に書き込まれた IDRDATA は、示されたメンバーについて不完全になります。その他の問題記述の値はプログラム・オブジェクトの不明なレイアウトを示し、その場合、このメンバーについてのすべての IDRDATA 情報は CKFREEZE ファイルから失われます。

重大度: 04

CKF274I *ddname volser dsname(member) のコード・サイズが 0 です (ddname volser dsname(member) has code size 0)*

説明: 示されたプログラム・オブジェクトは、バインダー・クラス B_TEXT に実際に何も含んでいません。このメンバーの場合、チェックサム処理が非常に速く完了します。この通知メッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF275I **PDSE バッファ・サイズ decnum は 1 から 1024 の間である必要があります (PDSE buffer size decnum must lie between 1 and 1024)**

説明: PDSEBUFSIZE パラメーターは、1 から 1024 (両端の値を含む) の範囲の値のみ受け入れます。

重大度: 16

CKF276I **CKFREEZE ファイルを開くことができませんでした (CKFREEZE file could not be opened)**

説明: プログラムは CKFREEZE ファイルのオープンに失敗しました。CKFREEZE DD ステートメントが存在すること、および割り振りパラメーターが正しいことを確認してください。

重大度: 12

CKF277I *CCW opcode 中に装置 dev volser が nn 秒以内に応答しません (Device dev volser does not respond within nn seconds during CCW opcode)*

説明: このメッセージは、示されたタイプの入出力で割り込みの欠落が検出されたことを示します。これが APF 許可で実行中の装置に対する最初の入出力 (SenseId) だった場合、SVC 99 でボリュームを動的に割り振る試行は行われず、実行はハングすることなく継続します。この実行が APF 許可でないか、これが SenseId 入出力でない場合、この実行は、オペレーティング・システムによって実行される後続処理でハングする可能性があります。

重大度: 08

CKF278I *CCW opcode 中に装置 dev volser が ddname について nn 秒以内の応答を停止しました (Device dev volser has stopped responding within nn seconds on ddname during CCW opcode)*

説明: このメッセージは、既にオープンしたデータ・セットのトラック読み取りについて、欠落した割り込みが検出されたことを示します。実行は復旧を試行しますが、データ・セットのクローズもおそらくハングします。

重大度: 08

CKF279A **ボリューム VOLUME のハング・テストを終了するために「U」で応答しました (Respond 'U' to terminate hang test on volume VOLUME)**

説明: このオペレーター・コンソールの WTOR は、エラー・リカバリー動作をテストするために DEBUGHANGVOLUME パラメーターが使用されたことを示します。

CKF280I **IFAEDLIS 呼び出しの予期しない戻りコード rc、使用可能な情報はダンプされませんでした。(Unexpected returncode rc in IFAEDLIS call, no enable information dumped.)**

説明: IFAEDLIS サービスの呼び出しに失敗したため、このシステム上の製品および機能の使用可能化に関する情報が収集できませんでした。戻りコードはご使用の MVS システムのマクロ IFAEDIDF に記述されます。

重大度: 08

CKF281I ACF2 常駐リソース規則が処理されません。(ACF2 resident resource rules are not processed.)

説明: プログラムは APF を実行していないため、フェッチ保護ストレージの情報にアクセスできません。

重大度: 00

CKF282I リソース・プロファイルは **FOCUS=ALERT** を使用するために存在する必要があります - **CLASS CKF.ALERT (Resource profile must be present to use FOCUS=ALERT - CLASS CKF.ALERT)**

説明: このメッセージは、セキュリティー・リソースによって特別に許可されている場合を除き、ユーザーについて任意の **ALERT* FOCUS** 指定によって特別に要求された監査情報を収集することを zSecure Collect が拒否することを説明します。リソースを検査できるようにするには、リソースを扱うプロファイルを定義する必要があります。 **AUDIT* フォーカス** も指定または暗黙指定された場合、**CKF.ALERT** のチェックは実行されません。

重大度: 12

CKF283I リソース・プロファイルは **FOCUS=ALERT** の使用を許可しません - **class CKF.ALERT (Resource profile does not permit use of FOCUS=ALERT - class CKF.ALERT)**

説明: このメッセージは、示されたリソースに対してユーザーが持っている権限が不十分であることを示します (SAF 戻りコード 8)。 **AUDIT*** も指定または暗黙指定された場合、**CKF.ALERT** のチェックは実行されません。その場合、**CKF.AUDIT** の許可も十分です。

重大度: 12

CKF284I リソース・プロファイルは **FOCUS=TCIM*** を使用するために存在する必要があります - **class CKF.TCIM (Resource profile must be present to use FOCUS=TCIM* - class CKF.TCIM)**

説明: このメッセージは、セキュリティー・リソースによって特別に許可されている場合を除き、ユーザーについて任意の **TCIM* FOCUS** 指定によって特別に要求された監査情報を zSecure Collect が収集しないことを示しています。リソースを検査できるようにするには、リソースを扱うプロファイルを定義する必要があります。 **AUDIT* フォーカス** も指定または暗黙指定された場合、

CKF.TCIM の検査は実行されません。

重大度: 12

CKF285I リソース・プロファイルは **FOCUS=TCIM*** の使用を許可しません - **class CKF.TCIM (Resource profile does not permit use of FOCUS=TCIM* - class CKF.TCIM)**

説明: このメッセージは、示されたリソースについてユーザーの権限が不十分であることを示します (SAF 戻りコード 8)。 **AUDIT* フォーカス** も指定または暗黙指定された場合、**CKF.TCIM** のチェックは実行されません。その場合、**CKF.AUDIT** の許可も十分です。

重大度: 12

CKF286I リソース・プロファイルは **FOCUS=VISUAL** を使用するために存在する必要があります - **class CKF.VISUAL (Resource profile must be present to use FOCUS=VISUAL - class CKF.VISUAL)**

説明: このメッセージは、セキュリティー・リソースによって特別に許可されている場合を除き、ユーザーについて **FOCUS=VISUAL** によって特別に要求された監査情報を収集することを zSecure Collect が拒否することを説明します。リソースを検査できるようにするには、リソースを扱うプロファイルを定義する必要があります。 **FOCUS=ADMINRACF** も指定または暗黙指定された場合、**CKF.VISUAL** のチェックは実行されません。

重大度: 12

CKF287I リソース・プロファイルは **FOCUS=VISUAL** の使用を許可しません - **class CKF.VISUAL (Resource profile does not permit use of FOCUS=VISUAL - class CKF.VISUAL)**

説明: このメッセージは、示されたリソースに対してユーザーが持っている権限が不十分であることを示します (SAF 戻りコード 8)。 **FOCUS=ADMINRACF** も指定または暗黙指定された場合、**CKF.VISUAL** のチェックは実行されません。その場合、**CKF.ADMIN** の許可も十分です。

重大度: 12

CKF288I **STORAGEGC** は **PARM** ストリングでのみ有効です (**STORAGEGC only valid in PARM string**)

説明: このメッセージは、STORAGEGC パラメーターは、パラメーター・ストリング内に存在しない限り機能しないことを示します。

オペレーターの応答: STORAGEGC パラメーターを指定する場合は、バッチ JCL の PARM= パラメーターに ALLOCATE コマンドを含めてください。

重大度: 16

CKF289I エントリー・ポイント *address* が *control block module[/module]* のエクステントがありません (**Entry point address not in extent for control block module[/module]**)

説明: 示されたストレージ内モジュールを記述する LPDE または CDE 制御ブロックを検査中に、モジュールのエントリー・ポイントが、モジュールが存在すると通知されているストレージ範囲の外側であることが検出されました。この状態はほとんどの場合、フロントエンドの副次的結果です。この状態では、モジュールが存在する場所を判別する方法がないため、CKFREEZE に書き込まれるこのルーチンに関する情報は不完全です。

重大度: 04

CKF290I **LICENSE** は **FOCUS** およびライセンス済みパラメーターより前にある必要があります (**LICENSE must precede FOCUS and licensed parameters**)

説明: このメッセージは、LICENSE データ・セット名の指定は、ライセンス済みパラメーターのあらゆる使用または FOCUS キーワードよりも前にある必要があることを示します。このキーワードは現在は非推奨で、機能しないことに注意してください。

重大度: 12

CKF291I **SERIALIZATION** オプション *option1* および *option2* は相互に排他的です (**SERIALIZATION options *option1* and *option2* are mutually exclusive**)

説明: ENQ 要求を即時に満たすことができない場合に WAIT と FAIL の両方を実行することはできません。プログラムが ENQ を発行することと、ENQ を発行しないこと (NOENQ) を同時に要求することはできません。

重大度: 16

CKF292I **MAXWAIT** のサポートされない値 *nn*: 1..59 の範囲にありません (**Unsupported value *nn* for MAXWAIT: not in the range 1..59**)

説明: SERIALIZATION=(MAXWAIT) は、1 から 59 (両端の値を含む) の範囲の値のみサポートします。

重大度: 16

CKF293I 許可されていないプログラムです。 (**Program not authorized.**) APF 逐次化オプション UNIT、VOLSER、ENQ (SYSDSN)、および MAXWAIT は使用不可に設定されます (**Disabled APF serialization options UNIT, VOLSER, ENQ(SYSDSN), and MAXWAIT**)

説明: UNIT、VOLSER、ENQ(SYSDSN)、または MAXWAIT のうち少なくともいずれか 1 つのパラメーターを使用して SERIALIZATION が指定されました。装置または volser が使用可能になるまで動的割り振りを待機するには APF 権限が必要です。QNAME SYSDSN の ENQ を要求する場合や、ENQ 要求が指定可能になるまで待機する最大時間を指定する場合も同じことが言えます。プログラムはこの権限を持たないため、装置または volser を待機せず、SYSDSN の ENQ を要求せず、MAXWAIT に指定された値を無視します。

重大度: 04

CKF294I シンボル *symbol* が不明で、空白として扱われました。 (**Symbol *symbol* was unknown, treated as empty.**) [IF の結果: *result*] ([IF result: *result*])

説明: テスト済みのシンボルは Static System Symbol テーブルから検出できず、SMFID でもありませんでした。IF ステートメントを解決するためには、空ストリングを含めることが考慮されます。また、IF ステートメントは *result* (true または false) に評価されます。実行の早期に構文エラーまたは資格付与エラーが検出された場合、IF の正しい評価が保証できないため、メッセージの後半部分は表示されません。

重大度: 00

CKF295I IF ステートメントの評価が正しくない可能性があります (**IF statements might not evaluate correctly**)

説明: このメッセージの前に CKF000I メッセージが入り、symt 制御ブロック (Static System Symbol テーブル) に対処するエラーを示します。このテーブルが完全

に読み取られませんでした。入力 of IF ステートメントが正しく解決されない可能性があります。このエラーは IF ステートメントが入力に存在する場合にのみ発行され、抑止可能です。このエラーが常に発生する場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF296I シンボル *symbol* が「*value*」に解決されました。(Symbol *symbol* resolved to "*value*".) IF の結果: *result* (IF result: *result*)

説明: テスト済みシンボルは *value* 値を持つことが検出されました。また、IF ステートメントは *result* (**true** または **false**) に評価されます。実行の早期に構文エラーまたは資格付与エラーが検出された場合、IF の正しい評価が保証できないため、このメッセージは発行されません。

重大度: 00

CKF297I 割り振りの数: 静的 *sss* 動的 *nnn*、解放 *fff*、TIOT SIZE(*ss*) のために許可される最大 *mmm* (Number of allocations: static *sss* dynamic *nnn*, freed *fff*, max allowed *mmm* due to TIOT SIZE(*ss*))

説明: このメッセージは、存在した静的 DDName 割り振りの数、動的割り振りに対して実行された SVC 99 呼び出しの数、および最大値に到達しようとしていたため空きスペースを作る目的で個別に解放されたファイルの数を示します。最大値は PARMLIB メンバー ALLOCxx の TIOT SIZE() パラメーター (これは DDNames に使用可能な物理バイト数を決定しますが、これは DDName あたりの (候補となる) volser 数によって異なります) と、程度はずっと低くなりますが、可能な未使用ファイル数を決定する実際の DYNAMNBR によって決定されます。zSecure Collect は解放するファイルを常に割り振り解除するため、未使用 DDNames

を作成することはありません。TIOT SIZE と DDNames の数の間の関係は、おおむね次のようになります。

- SIZE(16) は 819 の ddnames
- SIZE(32) は 1635 の ddnames
- SIZE(64) は 3273 の ddnames

TIOT SIZE の詳細については、「z/OS MVS Initialization and Tuning Reference」の ALLOCxx parmlib メンバーを参照してください。

重大度: 00

CKF298I DDname スロットが必要です。[*ddname* の早期解放 [*vol*] *dsn* | 解放しない] (Need DDname slot, [premature free of *ddname* [*vol*] *dsn* | nothing to free])

説明: このメッセージは、不十分な TIOT サイズが原因となる緊急の問題を警告します。ファイルが割り振り解除されたことをメッセージが示す場合 (*ddname* の早期解放 [*vol*]、このファイルは (パフォーマンスおよび DFHSM などの別のプログラムとの逐次化の理由で) 割り振ったままにした方がよかったファイルです。「解放しない」ことをメッセージが示す場合、zSecure Collect の今回の実行または後続の実行は、「IKJ56866I FILE *ddname* ALLOCATED NOT DATA SET, CONCURRENT ALLOCATIONS EXCEEDED」などのメッセージを出して簡単に失敗する可能性があります (余裕が 10 ファイルより少ない)。全体像を把握するには、SYSPRINT の最後に表示されるメッセージ 297 を参照してください。

重大度: 04

CKF299I DDname スロットが必要です。*ddname* を解放します (Need DDname slot, freeing *ddname*)

説明: このメッセージは、INFO 要求に応答して発行され、DD 名 (TIOT) スロットの通常の再使用を反映しています。

重大度: 04

メッセージ 300 から 399

CKF300I BPX1GMN が失敗しました。rc=*hexrc* 理由=*reason* (BPX1GMN failed rc=*hexrc* reason=*reason*)

説明: このメッセージは、BPX1GMN の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾

子、2 つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。

重大度: 08

CKF301I **BPX1OPD** が失敗しました。rc=hexrc 理由=reason、'path' 深さ depth (**BPX1OPD failed rc=hexrc reason=reason for 'path' depth depth**)

説明: このメッセージは、BPX1OPD の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子、2 つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。

重大度: 08

CKF302I **BPX1RD2** が失敗しました。rc=hexrc 理由=reason パス 'path' (**BPX1RD2 failed rc=hexrc reason=reason path 'path'**)

説明: このメッセージは、BPX1RD2 の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子、2 つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。デバッグ目的で、UIO 制御ブロックの 16 進ダンプが印刷されます。この領域は BPXYFUIO マクロによってマップされ、「UNIX System Services Assembler Callable Services」マニュアルで説明されています。

重大度: 08

CKF303I **BPX1CLD** が失敗しました。rc=hexrc 理由=reason パス 'path' (**BPX1CLD failed rc=hexrc reason=reason path 'path'**)

説明: このメッセージは、BPX1CLD の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子、2 つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。

重大度: 08

CKF304I **BPX1CHD** が失敗しました。rc=hexrc 理由=reason、path の前 (**BPX1CHD failed rc=hexrc reason=reason for .. before path**)

説明: このメッセージは、BPX1CHD の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子、2 つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。

重大度: 08

CKF305I **BPX1CHD** が失敗しました。rc=hexrc 理由=reason、'path' 深さ depth (**BPX1CHD failed rc=hexrc reason=reason for 'path' depth depth**)

説明: このメッセージは、BPX1CHD の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子、2 つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。

重大度: 08

CKF306I 予期しない現行の深さ depth、dirdepth 'path' (**Unexpected current depth depth for dirdepth 'path'**)

説明: このメッセージは、ネスティング・レベル dirdepth における示されたディレクトリーの読み取りがスケジュールされたことを示します。ただし、現行のネスティング・レベルは必要なネスティング・レベルと異なります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF307I コピーされた UNIX ディレクトリー項目の数: nn、nn ディレクトリーから、nn ファイル・システム (**Number of Unix directory entries copied: nn from nn directories in nn file systems**)

説明: このメッセージは、UNIX=Y が指定または暗黙指定された場合に表示され、zSecure Collect によって読み取られてダンプされた UNIX ディレクトリーの数を表示します。

重大度: 00

CKF308I **OMVS** が非アクティブです。

説明: この通知メッセージは、このシステムでは UNIX システム・サービスがアクティブでないことを示します。

重大度: 00

CKF309I **BPX1RDX** が失敗しました。**rc=hexrc** 理由=*reason*、'*path*' (**BPX1RDX failed rc=hexrc reason=reason on '*path*'**)

説明: このメッセージは、BPX1RDX の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子、2 つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。

重大度: 08

CKF310I **BPX1RDL** が失敗しました。**rc=hexrc** 理由=*reason*、'*path*' (**BPX1RDL failed rc=hexrc reason=reason on '*path*'**)

説明: このメッセージは、BPX1RDL の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子、2 つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。

重大度: 08

CKF311I **BPX1GMN** が失敗しました。
retval=retval rc=rc 理由=*reason*、装置
number (**BPX1GMN failed retval=retval
rc=rc reason=reason for device number**)

説明: このメッセージは、示された装置について BPX1GMN の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは 2 つのハーフワードで構成されています。1 つ目は理由コード修飾子、2 つ目は理由コードです。戻りコードと理由コードの両方を使用して、発生した問題を説明します。これらのコードは「UNIX System Services メッセージおよびコード」マニュアルに記載されています。

重大度: 08

CKF312I **Symlink** が '*target*' の自動マウント・ポイント '*mountpoint*' をクロスしました :
(**Symlink crosses automount point
'*mountpoint*' for '*target*'**)

説明: この通知メッセージは、*target* への symlink を処理中に、自動マウント・ポイントがパスされたことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF313I '*target*' の装置 *device* に追加の **MNTE** が
必要です (**Extra MNTE needed for
device *device* of '*target*'**)

説明: この通知メッセージは、*device* の *target* ディレクトリーの内容を読み取るために、追加のマウント・ポイント制御ブロックが必要なことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF314I **DIRSRCH (x)** はディレクトリー '*target*'
では許可されません (**DIRSRCH (x) not
allowed on directory '*target*'**)

説明: zSecure Collect は *target* ディレクトリーを検索することが許可されませんでした。このディレクトリーの内容についてダンプされる情報はありません。

重大度: 00

CKF315I **OPENDIR (r)** はディレクトリー '*target*'
では許可されません (**OPENDIR (r) not
allowed on directory '*target*'**)

説明: zSecure Collect は *target* ディレクトリーを開くことが許可されませんでした。このディレクトリーの内容についてダンプされる情報はありません。

重大度: 00

CKF316I **UNIX** 処理中の *type* 異常終了 *xxx-nn*
(*explanation*) (**type *abend* *xxx-nn*
(*explanation*) during Unix processing**)

説明: このメッセージは、UNIX の処理中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。UNIX ファイル・システム情報が完全でない可能性があります。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度: 08

CKF317I 内部エラー: '*directory*' の **MNTP** があ
りません (**Internal error: no MNTP for
'*directory*'**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF318I CATALOG OBTAIN の 16 進数戻りコード *rc*、'*target*' の自動マウントがおそらく失敗しました (CATALOG OBTAIN return code hex *rc* probably failed automount of '*target*')
 説明: *target* ディレクトリーへの CATALOG OBTAIN 中にエラーが発生しました。このディレクトリーの内容についてダンプされる情報はありません。
 重大度: 00

CKF319I '*target*' の自動マウントを試行しました (Automount attempted for '*target*')
 説明: この通知メッセージは、示されたディレクトリーの自動マウントが試行されたことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。
 重大度: 00

CKF320I *geteuid* 中の *type* 異常終了 *xxx-nn* (*explanation*) - UNIX=Y 処理を実行できません (*type* **abend** *xxx-nn* (*explanation*) during *geteuid* - unable to perform UNIX=Y processing)
 説明: このメッセージは、*geteuid* の処理中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。UNIX ファイル・システム情報はダンプされません。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。
 重大度: 08

CKF321I 有効な UID 0 に切り替えました (Switched to effective UID 0)
 説明: この通知メッセージは、*seteuid* 0 呼び出しに成功したことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。
 重大度: 00

CKF322I 有効な UID *uid* に切り替えました (Switched to effective UID *uid*)
 説明: この通知メッセージは、*seteuid uid* 呼び出しに成功したことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。
 重大度: 00

CKF323I *Seteuid* 0 が失敗しました。rc=*hexrc* 理由=*reason* (Seteuid 0 failed rc=*hexrc* reason=*reason*)
 説明: このメッセージは、*seteuid* 0 コマンドの実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子、2 つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。UNIX 情報は一部のみダンプされます。
 重大度: 04

CKF324I *Seteuid uid* が失敗しました。rc=*hexrc* 理由=*reason* (Seteuid *uid* failed rc=*hexrc* reason=*reason*)
 説明: このメッセージは、*seteuid uid* コマンドの実行中にエラーが発生したことを示します。これは、zSecure Collect が有効な UID の 0 で実行を継続することを意味します。理由コードは 2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子、2 つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。
 重大度: 08

CKF325I AUTOMOUNT=N およびディレクトリー '*target*' がマウントされていません (AUTOMOUNT=N and directory not mounted '*target*')
 説明: この通知メッセージは、ディレクトリーがマウントされず、AUTOMOUNT=NO が指定されたため、ディレクトリー *target* の内容がダンプされないことを示します。
 重大度: 00

CKF326I MNTE 装置 *number* DIRP *path* のスケジュール (Schedule MNTE device *number* DIRP *path*)
 説明: この通知メッセージは、示されたパスにマウントされたディレクトリーの読み取りがスケジュールされたことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。
 重大度: 00

CKF327I スケジュール **stat()** リンク **DIRP target**
(Schedule stat() link DIRP target)

説明: この通知メッセージは、ターゲットに指定されたディレクトリーについて、読み取りがスケジュールされたことを示します。このメッセージは、DEBUG オプションが使用可能にされた場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF328I **DIRP path** 深さ **depth** で開始しました
(Start on DIRP path depth depth)

説明: この通知メッセージは、zSecure Collect がネスティング・レベル **depth** において、示されたディレクトリーの読み取りを開始したことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF329I ディレクトリー装置 **device** の '**target**' 読
 み取りを延期しました **(Postpone dir**
device device for 'target')

説明: この通知メッセージは、**device** の **target** ディレクトリーの読み取りを延期したことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF330I **device volume ddname** からの出口 **exit** の
LOAD 中の **type** 異常終了 **xxx-nn**
(explanation) (type abend xxx-nn
(explanation) during LOAD of exit exit
from device volume ddname)

説明: このメッセージは、示された **exit** の **LOAD** 中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度: 08

CKF330I **device** からの出口 **exit** の **LOAD** によ
 って返された **type** 異常終了 **xxx-nn**
(explanation) (type abend xxx-nn
(explanation) returned by LOAD of exit
exit from device)

説明: このメッセージは、出口の **LOAD** が異常終了から復旧したことを示します。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレ

ンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度: 08

CKF331I **device volume ddname** からの出口 **exit** の
DELETE 中の **type** 異常終了 **xxx-nn**
(explanation) (type abend xxx-nn
(explanation) during DELETE of exit
exit from device volume ddname)

説明: このメッセージは、示された **exit** の **DELETE** 中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度: 08

CKF332I **BPX1PCT:** 集合のリストに失敗しまし
 ました。 **(BPX1PCT: List aggregates**
failed.)RC=rc 理由=**reason** (**RC=rc**
reason=reason)

説明: このメッセージは、BPX1PCT の「添付された集合名のリスト (List Attached Aggregate Names)」機能の実行中にエラーが発生したことを示します。これは必ずしも間違いではありません。このメッセージは、例えば zFS ファイル・システムが実行中でないシステムでも生成されることがあります。指定される理由コードは 2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子です。2 つ目は理由コードです。これについては、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルに説明があります。

重大度: 04

CKF333I **BPX1PCT:** 集合状況のリストに失敗しま
 した。 **(BPX1PCT: List aggregate status**
failed.) RC=rc 理由=**reason** (**RC=rc**
reason=reason)

説明: このメッセージは、BPX1PCT の「集合状況のリスト (List Aggregate Status)」機能の実行中にエラーが発生したことを示します。指定される理由コードは 2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子です。2 つ目は理由コードです。これについては、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルに説明があります。

重大度: 08

CKF334I **BPX1PCT:** ファイル・システムのリストに失敗しました。(BPX1PCT: List file systems failed.) RC=*rc* 理由=*reason* (RC=*rc* reason=*reason*)

説明: このメッセージは、BPX1PCT の「ファイル・システム名のリスト (List File System Names)」機能の実行中にエラーが発生したことを示します。指定される理由コードは 2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子です。2 つ目は理由コードです。これについては、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルに説明があります。

重大度: 08

CKF335I **BPX1PCT:** ファイル・システム状況のリストに失敗しました。(BPX1PCT: List file system status failed.) RC=*rc* 理由=*reason* (RC=*rc* reason=*reason*)

説明: このメッセージは、BPX1PCT の「ファイル・システム状況のリスト (List File System Status)」機能の実行中にエラーが発生したことを示します。指定される理由コードは 2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子です。2 つ目は理由コードです。これについては、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルに説明があります。

重大度: 08

CKF336I 予期しない DESERV
return_code_description
reason_code_description (Unexpected
DERSERV return_code_description
reason_code_description)

説明: ディレクトリー・エントリー・サービスの呼び出しによって、示された予期しないエラーが返されました。問題の PDSE についてのすべてのチェックサムおよび IDR 処理はスキップされます。INFO オプションを指定すると、問題を起こした PDSE を判別するための十分な情報を SYSPRINT 内で取得できます。

重大度: 08

CKF337I タスクは APF 許可ではありませんが、APF 許可が必要です (Task is not APF authorized, but APF authorization needed)

説明: このメッセージは、APF キーワードが指定されて、許可が必須だと考慮されるときに、プログラムが許可を取得できなかったことを警告します。結果の CKFREEZE には zSecure Collect の ID レコードのみが含まれます。詳しくは、ご使用の zSecure 製品の

ユーザー・リファレンス・マニュアルで使用可能な zSecure Collect の資料の『許可または非許可 (Authorized or unauthorized?)』のセクションを参照してください。

重大度: 12

CKF338I コピーされた UNIX ACL レコードの数: *num* 個のアクセス ACL、*num* 個のディレクトリー・デフォルト ACL、*num* 個のファイル・デフォルト ACL (Number of UNIX ACL records copied: *num* access ACLs, *num* directory default ACLs, *num* file default ACLs)

説明: このメッセージは、UNIXACL=Y が指定または暗黙指定された場合に表示され、zSecure Collect によってダンプされた UNIX ACL レコードの数を表示します。

重大度: 00

CKF339I BPX1PIO が失敗しました。rc=*hexrc* 理由=*reason* ('path' のタイプ *type* について) (BPX1PIO failed rc=*hexrc* reason=*reason* for type *type* on 'path')

説明: このメッセージは、BPX1PIO の実行中にエラーが発生したことを示します。理由コードは、2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子、2 つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。表示される *type* は、アクセス ACL の場合は 1、ファイル・モデル ACL の場合は 2、ディレクトリー・モデル ACL の場合は 3 となることができます。

重大度: 08

CKF340I MNTP 装置 *device* mountpoint の DIRP (DIRP for MNTP device *device* mountpoint)

説明: この通知メッセージは、示された *mountpoint* および *device* のディレクトリーが読み取られることを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF341I 装置 *device* FS 名 *file_system_name* の空のパス名 MNTE (Empty pathname MNTE for device *device* FS name *file_system_name*)

説明: このメッセージは、w_getmntent (BPX1GMN) サービスが空のパス名 (MNTENTMOUNTPOINT) を返したことを示します。これが発生するのは、zSecure Collect を実行中のユーザーが、マウント・ポイントの 1 つ以上のディレクトリーに対して検索許可を持たないか、ファイル・システムが非同期でマウントされている場合です。マウント・ポイント項目が書き込まれますが、装置はこれ以上処理されません。結果の CKFREEZE から生成される UNIX マウント・レポートには、レポートされるファイル・システムについてマウント・ポイントが空であると表示されます。UNIX ファイル・レポートにはファイル・システムが何も表示されません。

重大度: 04

CKF342I DIRP *target* 深さ *depth* のスケジュール (Schedule DIRP *target* depth *depth*)

説明: この通知メッセージは、ネスティング・レベル *depth* における示された *target* ディレクトリーの読み取りがスケジュールされたことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF343I 深さ *depth* への正常な cd .. (Successful cd .. to depth *depth*)

説明: この通知メッセージは、ネスティング・レベル *depth* への上部ディレクトリーへの切り替えが正常に実行されたことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF344I 深さ *depth* への正常な cd *target* (Successful cd *target* depth *depth*)

説明: この通知メッセージは、ネスティング・レベル *depth* の *target* へのディレクトリーの切り替えが正常に実行されたことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF345I opendir '*target*' に成功しました (Success opendir '*target*')

説明: この通知メッセージは、*target* でのディレクトリーのオープンが正常に実行されたことを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF346I closedir '*target*' を実行します (Perform closedir '*target*')

説明: この通知メッセージは、*target* ディレクトリーのクローズが実行されることを示します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF347I 重複パス名、MNTE 装置 *device1* および *device2*、FS 名 *file_system_name*、マウント・ポイント *mountpoint* (Duplicate pathname MNTE devices *device1* and *device2* FS name *file_system_name* mountpoint *mountpoint*)

説明: このメッセージは、2 番目の装置 *device2* が最初の装置 *device1* と同じマウント・ポイントにマウントされたことを示します。示されたファイル・システムについての 2 番目の装置は処理されません。zSecure Audit は、メッセージ CKR1064 でこの条件に再度フラグを立てる可能性があります。

重大度: 08

CKF348I 装置 *device* マウント・ポイント *mountpoint* の重複した MNTE (Duplicate MNTE for device *device* mountpoint *mountpoint*)

説明: このメッセージは、示された *device* のマウント項目が 2 度検出されたことを示します。これは 1 度だけ処理されます。zSecure Audit は、メッセージ CKR1064 でこの条件に再度フラグを立てる可能性があります。

重大度: 04

CKF349I BPX1LST が失敗しました。rc=*hexrc* 理由=*reason* ('*pathname*' 深さ *depth* について) (BPX1LST failed rc=*hexrc* reason=*reason* for '*pathname*' depth *depth*)

説明: 示されたパス名への lstat() 呼び出しが失敗しました。理由コードは、2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子、2 つ目は理由コードです。これは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルで説明されています。ディレクトリーは処理されません。

重大度: 08

CKF350I 'mountpoint' に対する実行中に装置番号 *olddev* が *newdev* に変更されました
(Device number *olddev* changed to *newdev* during run for 'mountpoint')

説明: 示されたマウント・ポイントに対する `lstat()` 呼び出しが返した装置番号は、ファイル・システム・ダンプがスケジュールされたときに表示された装置番号と異なります。これは正常にサポートされません。zSecure レポートには、古い装置番号およびその古い装置番号に関連付けられたマウント情報と一緒に、新しい装置番号に関連付けられたファイルが表示されます。この問題が繰り返し発生する場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF351I 装置番号 *dev* が 'mountpoint' に割り当てられました (Device number *dev* assigned to 'mountpoint')

説明: この通知メッセージは、zSecure Collect の実行開始時にマウント・ポイント・テーブルに存在せず、その親ディレクトリーにも表示されなかったマウント・ポイントが見つかったことを示します。これは通常、シンボリック・リンクが自動マウント・ポイントを、アンマウントされたディレクトリーにクロスする場合に発生します。このメッセージは、INFO オプションが選択された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKF352I ZFS ファイル・システムが開始していません。(The ZFS file system has not been started.)

説明: このメッセージは、有効な ZFS システムが検出されなかったことを示します。したがって、ZFS ファイル・システムおよび集合に関するデータはダンプされません。

重大度: 00

CKF353I PC LPA は共通ストレージ内でなく、*address* ターゲット ASID *address space ID* です (PC LPA not in common storage, but at *address target ASID address space ID*)

説明: PC (プログラム呼び出し) ルーチンに渡される潜在パラメーター・アドレスは共通ストレージ内にありません。潜在パラメーターの値はダンプされません。

重大度: 00

CKF354I *function* 処理中の *type* 異常終了 *xxx-nn*
(*explanation*) (*type* **abend** *xxx-nn*
(*explanation*) during *function* processing)

説明: このメッセージは、*function* の処理中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。*function* は、ZFS 集合処理の場合は WRTAGGR になり、照会構成処理の場合は WRTCNGF になります。ZFS 集合またはシスプレックス共有に関する情報が完全ではない可能性があります。共通の異常終了コードについては、該当する zSecure 製品の「ユーザー・リファレンス・マニュアル」で、zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度: 08

CKF355I BPX1PIO は *returnedtype* ACL を返しました - *requestedtype* ACL に修正しました
(BPX1PIO returned a *returnedtype* ACL - corrected to a *requestedtype* ACL)

説明: `w_pioctl` サービス (BPX1PIO) によって返された ACL は、要求された ACL タイプと一致しませんでした。これは例えば、z/OS イメージにおいて IBM APAR OW57201 のサービスが適用されていない場合に発生する可能性があります。zSecure Collect は、レコード内で ACL タイプを要求されたタイプに設定してから ACL を CKFREEZE ファイルに書き込むことによって、このエラーを修正しようとします。これによって、zSecure が CKR1761 を発行することが回避される場合があります。表示される *types* は、アクセス ACL、ファイル・モデル ACL、ディレクトリー・モデル ACL それぞれについて **access**、**fdefault**、**default** です。

重大度: 04

CKF356I データ・セット *volser dsn* への読み取り権限がありません (No READ access to data set *volser dsn*)

説明: このメッセージは、示された非 VSAM データ・セットに対してユーザーが読み取り権限を持たないため、このデータ・セットの処理がスキップされることを示します。

重大度: 04

CKF357I EXIT 要求のためタスクが終了します
(Task terminating due to EXIT request)

説明: 入力 of 構文解析中に EXIT ステートメントが読み取られました。プログラムは EXIT ステートメントに指定された戻りコードで終了します。このメッセージの

CKF358I • CKF375I

重大度は、EXIT ステートメントの RC パラメーターに指定される値と等しくなります。

重大度: 変数

CKF358I RC は 0 から 99 までの間の数値である必要があります (RC should be a number between 0 and 99)

説明: EXIT コマンドの RC キーワードが指定されましたが、サポートされる範囲に該当しませんでした。ゼロより小さい数値と 99 より大きい数値はサポートされません。

重大度: 16

CKF359I マスター・カタログをダンプできません。他のメッセージを参照してください (Unable to dump master catalog, see other messages)

説明: プログラムは要求されたマスター・カタログのダンプを実行せずに終了しました。原因については、DAIRFAIL メッセージ (例えば「IKJ56866I FILE ddname ALLOCATED NOT DATA SET, CONCURRENT ALLOCATIONS EXCEEDED」) を見直してください。また、下の CKF297I を探し、DDname の数が問題になっていないか確認してください。CKF298I の発生も、TIOT サイズの問題を指すことがあります。

重大度: 08

CKF360I ボリューム *dsname* の RLS のためのスロウダウン・モードが起動されました (Slowdown mode invoked because of RLS for volume *dsname*)

説明: 指定された VSAM クラスターにレコード・レベル共有 (RLS) が設定されているため、より高速な EXCP 処理ではなく通常の VSAM 処理がこのクラスターに対して使用されました。

重大度: 00

CKF361I *volser dsn(mem)* のシグニチャー検証 *action* (Signature verification action for *volser dsn(mem)*)

説明: SIGVER=YES パラメーターによってシグニチャー検証が要求され、ライブラリー内の名前付きモジュールが検証に失敗したか (*action=fails*) 検証に成功しました (*action=success*)。

ユーザーの処置: 検証に失敗した場合、オペレーター・メッセージ ICH44x を参照するか、newlist type=smf

レポートを実行して type=80、event=86(1:7) を選択することによって失敗に関する追加情報を取得します。失敗の考えられる原因には以下のものが含まれます。

- モジュールのシグニチャーが正しくない。
- モジュールにシグニチャーが存在しないが、プログラムの RACF プロファイルはシグニチャーを必要としている。
- モジュールには有効なシグニチャーが存在するが、証明書チェーンが無効である。

重大度: 00

CKF362I シグニチャー検証をサポートしないシステム上では SIGVER=YES は無効です (SIGVER=YES is invalid on a system that does not support signature verification)

説明: CKFCOLL が実行中の現行のシステムではシグニチャー検証をサポートしないため、SIGVER=YES パラメーターによって要求されるシグニチャー検証をシステム上で実行できません。

ユーザーの処置: SIGVER=YES パラメーターを削除して CKFCOLL ジョブを再実行します。

重大度: 12

CKF372I z/OS のサポートされないバージョン *vv.rr.mm* を実行しています。結果は予測不能です。アップグレードしてください (Running an unsupported version *vv.rr.mm* of z/OS, results are unpredictable - please upgrade)

説明: このメッセージは、zSecure がサポートされていないオペレーティング・システム・レベルで実行されていることを示します。結果は予測不能です。zSecure を適切なバージョンにアップグレードしてください。

重大度: 04

CKF375I 予期しない IEFPRMLB 結果です。RC *hexrc* RSN *hexreason* (Unexpected IEFPRMLB result, RC *hexrc* RSN *hexreason*)

説明: IEFPRMLB サービスが、予期に反して示された *return* および *reason codes* を返しました。これによって、IPL 後に活動化される parmlib 連結に関する情報が失われる可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に

記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF376I **Parmlib** データ・セット *dsname* がボリューム *volume* から検出されません
(**Parmlib data set *dsname* not found on volume *volume***)

説明: 示された parmlib データ・セットが、予期されたボリュームから検出されませんでした。データ・セットを復元するための試行は行われず、このデータ・セットの追加処理はスキップされます。

重大度: 04

CKF377I **DD/DDPREF/DSN/DSNPREF** キーワードは 1 つだけ指定する必要があります
(**Exactly one DD/DDPREF/DSN/DSNPREF keyword should be specified**)

説明: CHECK= ステートメントが読み込まれましたが、このステートメントは YES/NO を指定せず、単一のキーワード DD、DDPREF、DSN、または DSNPREF を含んでいませんでした。コマンド・パラメーターを修正し、ジョブを再試行してください。

重大度: 12

CKF378I *OS_level* で **TCP/IP** スタック構成データを収集できません (**TCP/IP stack configuration data cannot be collected on *OS_level***)

説明: zSecure Collect は、z/OS V1R11 以降が実行中のシステムでのみ、TCP/IP スタック構成データを収集できます。

ユーザーの処置: zSecure を実行中の z/OS システムが V1R10 以下の場合、zSecure Collect 呼び出しの zSecure Collect TCPIP パラメーターを NO に設定することでこのメッセージを回避できます。このパラメーターの設定については、「IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF: ユーザー・リファレンス・マニュアル」の『zSecure Collect for z/OS』を参照してください。

重大度: 00

CKF379I **DSNPREF=dsnref** の **LISTCAT** 中の予期しない *abend* (**Unexpected *abend* during LISTCAT of DSNPREF=dsnref**)

説明: このメッセージは、カタログ内の示された接頭部と一致するデータ・セット名の検索に失敗したことを示

します。異常終了が発生しました。この CHECK ステートメントは無視されます。プログラムによってデータ・セットが検索されたと思われる場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKF380I **DSNPREF=dsnref** の **LISTCAT** 中の予期しない 10 進数戻りコード *nn*
(**Unexpected return code *nn* dec during LISTCAT of DSNPREF=dsnref**)

説明: このメッセージは、カタログ内の示された接頭部と一致するデータ・セット名の検索に失敗したことを示します。この CHECK ステートメントは無視されます。プログラムによってデータ・セットが検索されたと思われる場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKF381I **CHECK statement** と一致するデータ・セットがありません (**No matching data sets for CHECK statement**)

説明: 示されたステートメントと一致したデータ・セットが検出されませんでした。プログラムによってデータ・セットが検索されたと思われる場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF382I **DD/DDPREF** は **DSORG=** をサポートしません (**DD/DDPREF do not support DSOrg=**)

説明: CHECK ステートメントでは、DD キーワードおよび DDPREF キーワードと組み合わせた追加の DSOrg 選択はサポートされません。コマンド・パラメーターを修正し、ジョブを再試行してください。

重大度: 12

CKF383I 磁気テープ・データ・セットを使用した
DD *ddname* 連結はサポートされません
(DD *ddname* concatenations with tape
data sets are not supported)

説明: 示された *ddname* は少なくとも 1 つの磁気テープ・データ・セットを含む連結です。これはサポートされません。各 DD ステートメントが DASD データ・セットの連結を含むか、単一の磁気テープ・データ・セットを含むような方法で連結を分割し、ジョブを再試行してください。

重大度: 12

CKF384I 単一メンバーの DD *ddname* チェックサムはサポートされません (DD *ddname*
checksum of a single member is not
supported)

説明: 示された *ddname* には、PDS(E) の単一メンバーの割り振りが含まれています。これはサポートされません。割り振りステートメントからメンバー指定を削除し、ジョブを再試行してください。チェックサムは、PDS(E) のすべてのメンバーについてだけでなく、データ・セット全体についても計算されます。

重大度: 12

CKF385I リソース・チェックに SAF クラス *class*
を使用します (Using SAF class *class* for
resource checks)

説明: 示されたリソース・クラスは、サイト・モジュールで以前構成されたものです。IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド の『付録 A. サイト・モジュール』を参照してください。

重大度: 00

CKF386I IFAQUERY 戻り域が小さすぎる。*nnn*
個のログ・ストリーム・レコードを省略し
ました。(Omitted *nnn* log stream
records.)

説明: 2 回目の呼び出しで *required length* を渡した後も、SMF ログ・ストリーム・データを保管するためのスペースが十分ではありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF387I IFAQUERY からの予期しない戻りコード。
(Unexpected return code from
IFAQUERY.)SMF ログ・ストリーム情報は
収集されません。(SMF log stream
information is not collected.)
rc=*hhhhhhhhhh* (16 進数)
rsn=*hhhhhhhhhh* (16 進数)
(*rc*=*hhhhhhhhhh* hex *rsn*=*hhhhhhhhhh*
hex)

説明: SMF ログ・ストリーム・データの取得に失敗しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKF388I 予期しない IXGCONN 接続、RC
xxxxxxx (16 進数) 理由 *yyyyyyyy* (16 進
数)、データ・セットはストリーム名に対
して失われます。(Unexpected
IXGCONN connect RC *xxxxxxx* hex
reason *yyyyyyyy* hex; data sets will be
missing for stream name.)

説明: このメッセージは、SMF ログ・ストリームへの接続の失敗を示します。このログ・ストリームをバックアップするデータ・セット名は、機密データと分析レポートには含まれません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF389I 予期しない IXGQUERY RC *xxxxxxx*
(16 進数) 理由 *yyyyyyyy* (16 進数)、デー
タ・セットはストリーム名に対して失われ
ます。(Unexpected IXGQUERY RC
xxxxxxx hex reason *yyyyyyyy* hex; data
sets will be missing for stream name.)

説明: このメッセージは、正常に接続された SMF ログ・ストリームからの情報を取得できなかったことを示します。このログ・ストリームをバックアップするデータ・セット名は、機密データおよび分析レポートから失われます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF390I ストリーム名に対して予期しない
IXGCONN 切断、RC xxxxxxxx (16 進
 数)、理由 yyyyyyyyyy(16 進数)
(Unexpected IXGCONN disconnect RC
 xxxxxxxx hex reason yyyyyyyyyy hex for
 stream name)

説明: このメッセージは、正常に接続された SMF ログ・ストリームからの切断の失敗を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 04

CKF391I stream name の **IXGCONN** 接続中での
 type 異常終了 code-reason (explanation)
 (type abend code-reason (explanation)
 during **IXGCONN connect for stream**
 name)

説明: このメッセージは、SMF ログ・ストリームへの接続の失敗を示します。このログ・ストリームをバックアップするデータ・セット名は、機密データおよび分析レポートから失われます。異常終了を解決できない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF392I stream name の予期しないログ・ストリー
 ム DSN フォーマット dsname
(Unexpected log stream DSN format
 dsname for stream name)

説明: このメッセージは、ログ・ストリームのデータ・セット名のフォーマットが認識されないため、これ以上分析されないことを示します。このログ・ストリームをバックアップするデータ・セット名は、機密データおよび分析レポートから失われます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF393I stream name の "level" の LISTCAT 中
 の予期しない RC nn (10 進数)
(Unexpected RC nn dec during
 LISTCAT of "level" for stream name)

説明: このメッセージは、ログ・ストリーム・データ・セットについての任意の VSAM クラスター名を検出しようとしたときの失敗を示します。このログ・ストリームをバックアップするデータ・セット名は、機密データおよび分析レポートから失われます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF394I stream name の "level" の LISTCAT 中
 の type 異常終了 code-reason (explanation)
 (type abend code-reason (explanation)
 during LISTCAT of "level" for stream
 name)

説明: このメッセージは、ログ・ストリーム・データ・セットについての VSAM クラスター名を検出しようとしたときの失敗を示します。このログ・ストリームをバックアップするデータ・セット名は、機密データおよび分析レポートから失われます。異常終了を解決できない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF395I IEFSSREQ SSI=54 から予期しない戻り
 コードを受け取りました。(An
 unexpected return code was received
 from IEFSSREQ SSI=54.)
 Subsys=jjjj, R15=nn, SSOBRETN=ss.
 (Subsys=jjjj, R15=nn, SSOBRETN=ss.)

説明: サブシステム jjjj の IEFSSREQ 要求タイプ 54 が、レジスター 15 について nn、SSOBRETN について ss で終了しました。変数は以下のようになります。

- jjjj は照会されるサブシステムの名前。
- nn は IEFSSREQ から返される R15 の値。
- ss は IEFSSREQ によって返される SSOBRETN の値。

このエラーが発生した場合、IEFSSREQ SSI=54 の結果を含むレコードは CKFREEZE データ・セットに書き込まれません。

z/OS バージョン 1.8 以降を実行中の場合、このエラーは JES2 出口処理に関連する追加のエラーとなることもあります。これらの出口を処理するためには、zSecure Collect プログラム CKFCOLL では、JES2 動的出口がサポートされるかどうか認識されている必要があります。通常、IEFSSREQ への呼び出しは、JES2 動的出口がサポートされているかどうかを判別するのに使用される JES2 レベルについての情報を返します。この情報が返されない場合、CKFCOLL は JES2 動的出口がサポートされているかどうかを判別できない可能性があるため、出口を処理するときにエラーが生成される場合があります。

ユーザーの処置: このエラーは、サポートされないオペレーティング・システム上で zSecure を実行したことか、そのオペレーティング・システムへの最近の保守が IEFSSREQ サービスに影響したことが原因の可能性があります。このエラーについて詳しくは、「z/OS MVS Using the Subsystem Interface (SA38-0679)」に記載されている IEFSSREQ および SSOBRETN の戻りコードの値を参照してください。問題を解決できない場合は、電

子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF399I TCP/IP スタック *name* 構成を読み取るための *amount* のストレージの *action* ができませんでした (**Could not action amount of storage to read TCP/IP stack name configuration**)

説明: *action*=obtain の場合、zSecure Collect には TCP/IP スタック *name* の構成データを読み取るために使用可能なストレージが十分にありません。この問題を回避するには、zSecure Collect 実行用に大きい領域を割り振ってください。

action=release の場合、zSecure は TCP/IP スタックの読み取りに使用するストレージをリリースできませんでした。内部処理で問題が発生した可能性があります。

重大度: 08

メッセージ 400 から 499

CKF400...CKF499 *message*

説明: これらのメッセージは、このマニュアルに記載されていないデバッグ・コマンドの結果として発行されません。

重大度: 00

メッセージ 500 から 599

CKF500I INDD、OUTDD、および ERRDD は、*ddname* 行 *number* の **PARM** スtring *type "value"* 内でのみ有効です。(**INDD, OUTDD, and ERRDD only valid in PARM string type "value" at *ddname* line number**)

説明: INDD、OUTDD、および ERRDD パラメーターは呼び出しパラメーター (JCL の PARM キーワード) としてのみ使用でき、入力ファイルのコマンドとして使用できません。

重大度: 16

CKF501I TCP/IP スタック・イメージを取得できません。(TCP/IP stack images cannot be retrieved.)GETIBMOPT: RC=xxxxxxx ERRNO:yyyyyyyyy (GETIBMOPT:

RC=xxxxxxx ERRNO:yyyyyyyyy)

説明: このメッセージは、EZASMI 呼び出しにおける GETIBMOPT 機能の失敗によってトリガーされ、xxxxxxx は戻りコード、yyyyyyyyy はエラー番号を示します。

ユーザーの処置: 以下の手順を実行します。

1. ERRNO 戻りコードとして入力される 16 進値を、16 進形式から 10 進形式に変換します。例えば、16 進値 ERRNO=000027EA は 10 進値 10218 に変換されます。
2. ご使用の z/OS バージョンの z/OS インフォメーション・センターに移動します。
3. 「Communications server」をクリックします。
4. 「IP Sockets Application Programming Interface Guide and Reference」>「Appendixes」>「Appendix B.

socket call error return codes」>「**Additional return codes**」と展開します。

5. 「**Sockets extended ERRNOs**」をクリックします。
6. エラー・コードのリストから、対応する 10 進値の説明を見つけます。

エラー・コードは「*Communications Server IP* ソケット・アプリケーション・プログラミング・インターフェースのガイドとリファレンス」(SA88-5363) から検索できます。

重大度: 08

CKF502I 処理される VTOC データ・セットの数:
number (Number of VTOC data sets processed: number)

説明: このメッセージは、スキャンまたは収集された VTOC データ・セットの数を示します。SHARED=NO の場合、これには、非共有 DASD 装置、およびシステムに該当する特定の構成情報を含む共有 DASD 装置が含まれます。SHARED=NO とともに INFO を組み込むと、データ・セットの詳細を示す CKF601I または CKF602I メッセージが発行されます。

重大度: 00

CKF503I コピーされた CKDS キー・ラベルの数:
decnum (Number of CKDS key labels copied: decnum)

説明: この通知メッセージは、CKFREEZE データ・セットにコピーされた CKDS レコード・キー・ラベル・セクションの数を示します。

重大度: 00

CKF504I コピーされた PKDS キー・ラベルの数:
decnum (Number of PKDS key labels copied: decnum)

説明: この通知メッセージは、CKFREEZE データ・セットにコピーされた PKDS レコード・キー・ラベル・セクションの数を示します。

重大度: 00

CKF505I *type volser cluster* の予期しない可変長レコード *recno* をスキップします
(**Skipping unexpected non-fixed record *recno* of *type volser cluster***)

説明: *type* データ・セットが固定フォーマットであるとヘッダーで記述されている可変長レコードを、コード

が検出しました。レコードはスキップされます。

ユーザーの処置: このメッセージについて詳しくは、電子サポート Web サイトを検索してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF506I *type volser cluster* の予期しない非 **varlen** レコード *recno* をスキップします
(**Skipping unexpected non-varlen record *recno* of *type volser cluster***)

説明: *type* データ・セットが可変長フォーマットであるとヘッダーで記述されている固定長レコードを、コードが検出しました。レコードはスキップされます。

ユーザーの処置: このメッセージについて詳しくは、電子サポート Web サイトを検索してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF507I *type volser cluster* の予期しない非 **KDSR** レコード *recno* をスキップします
(**Skipping unexpected non-KDSR record *recno* of *type volser cluster***)

説明: *type* データ・セットが KDSR フォーマットであるとヘッダーで記述されている非 KDSR レコードを、コードが検出しました。レコードはスキップされます。

ユーザーの処置: このメッセージについて詳しくは、電子サポート Web サイトを検索してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF508I **PKDS *volser cluster* の予期しないヘッダー・レコード・バージョン *ver***
(**Unsupported header record version *ver* of PKDS *volser cluster***)

説明: コードが ICSF PKDS ヘッダー・レコードでサポートされないバージョン番号を検出しました。そのデータ・セットはスキップされます。

ユーザーの処置: このメッセージについて詳しくは、電子サポート Web サイトを検索してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポ

ートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF509I CKDS *volser cluster* のサポートされないヘッダー・レコード・バージョン *ver*
(**Unsupported header record version**
ver of CKDS volser cluster)

説明: コードが ICSF CKDS ヘッダー・レコードでサポートされないバージョン番号を検出しました。そのデータ・セットはスキップされます。

ユーザーの処置: このメッセージについて詳しくは、電子サポート Web サイトを検索してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF511I TKDS *volser cluster* のサポートされないヘッダー・レコード・バージョン *ver*
(**Unsupported header record version**
ver of TKDS volser cluster)

説明: コードが ICSF TKDS ヘッダー・レコードでサポートされないバージョン番号を検出しました。そのデータ・セットはスキップされます。

ユーザーの処置: このメッセージについて詳しくは、電子サポート Web サイトを検索してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF540I スワップされた **ASID** *asid jobname* のアドレス・スペース・データが収集されません (**Address space data not collected for swapped ASID** *asid jobname*)

説明: このメッセージは、示されたアドレス・スペースがスワップアウトされ、アドレス・スペースからデータを取得できない場合に発行されます。このアドレス・スペースからの情報は、CKFREEZE データ・セットから欠落しています。この CKFREEZE データ・セットを使用して作成される zSecure レポートは、不完全なものになる可能性があります。このことは特に、示されたアドレス・スペースで (サブ) システム・タイプのタスクを実行している場合に当てはまります。

重大度: 04

CKF541I DD 名 **CKFDS001** についてのオープン・エラー *abend code* (**OPEN ERROR**
abend code for DDNAME CKFDS001)

説明: この診断メッセージは、MQ QMGR 領域の STEPLIB から取得されたデータ・セットを開く際に障害が発生した場合に出されます。これらのデータ・セットは、必要な接続モジュールをプリロードするために使用されます。プログラムは続行しますが、後で失敗するおそれがあります。

ユーザーの処置: 異常終了コードを検査して、エラーの原因を示す内容がないか調べてください。

重大度: 08

CKF542I アクセスする権限がないため、MQ QMGR に接続できませんでした:
QMGR-name (**Could not connect to MQ QMGR because not authorized to access:** *QMGR-name*)

説明: CKFCOLL プログラムを実行しているユーザーに、示された QMGR に接続するための十分な権限がありません。これは通常、MQCONN リソース・クラス内のプロファイル *QMGR-name.BATCH* によって制御されます。

ユーザーの処置: CKFCOLL を実行しているユーザーが必要な権限を持っていることを確認してください。

重大度: 08

CKF543I 接続モジュールが使用不可のため、MQ QMGR に接続できませんでした:
QMGR-name (**Could not connect to MQ QMGR because connection modules not available:** *QMGR-name*)

説明: MQ QMGR への接続のセットアップ中に、複数のモジュールが STEPLIB またはリンク・リストから動的にロードされました。必須モジュールが見つかりませんでした。プログラムは、次の MQ 領域の処理を続けます。

重大度: 08

CKF544I 接続に QMGR を使用できないため、MQ QMGR に接続できませんでした:
QMGR-name (**Could not connect to MQ QMGR because QMGR not available for connection:** *QMGR-name*)

説明: MQ QMGR への接続のセットアップ中に、QMGR が使用不可あることが MQ によって報告されました。これはおそらく、QMGR の初期化を完了でき

なかったことが原因です。例えば、QMGR が、キュー共有グループに接続するために DB2 サブシステムを待機していることなどが原因です。プログラムは、次の MQ 領域の処理を続けます。

重大度: 08

CKF545I MQ QMGR QMGR-name, RC=retcode-reascode に接続できませんでした (Could not connect to MQ QMGR QMGR-name, RC=retcode-reascode)

説明: CKFCOLL プログラムが、示されている QMGR に接続できませんでした。プログラムは、次の MQ 領域の処理を続けます。

ユーザーの処置: 追加情報については、16 進数の理由コードを確認してください。理由コードは、「WebSphere MQ for z/OS: メッセージおよびコード」に記載されています。

重大度: 08

CKF546I MQ QMGR QMGR-name の module-name をプリロード中にエラーが発生しました (Error preloading module-name for MQ QMGR QMGR-name)

説明: MQ QMGR への接続のセットアップ中に、複数のモジュールが STEPLIB またはリンク・リストから動的にロードされました。CKFCOLL プログラムは、MQ QMGR 領域の STEPLIB からこれらのモジュールをプリロードしようとします。示されているモジュールのプリロードが失敗しました。プログラムは続行しますが、他の何らかの方法を使用してモジュールを見つけることができない場合、プログラムは後で失敗するおそれがあります。

重大度: 08

CKF547I MQ QMGR QMGR-name に steplib がありません (MQ QMGR QMGR-name does not have steplib)。モジュールがプリロードされていません。

説明: MQ QMGR への接続のセットアップ中に、複数のモジュールが STEPLIB またはリンク・リストから動的にロードされました。CKFCOLL プログラムは、MQ QMGR 領域の STEPLIB からこれらのモジュールをプリロードしようとします。示された QMGR 領域に STEPLIB DD ステートメントがないため、プリロードが試行されません。プログラムは続行しますが、後で接

続モジュールを見つけることができない場合、失敗するおそれがあります。

重大度: 0

CKF548I CKFWMQ は、MQ QMGR QMGR-name に対して以下の steplib を使用します (CKFWMQ will use the following steplib for MQ QMGR QMGR-name)
使用された Steplib データ・セット:
(Steplib data sets used):
DSN=QMGR-steplib-datasetname

説明: この診断メッセージは、DEBUG が要求されたか、または必要なモジュールのプリロードが失敗したことが原因で発行されます。

重大度: 0

CKF549I MQ QMGR steplib 割り振りエラー (MQ QMGR steplib allocation error)。QMGR-name

説明: 示された QMGR の STEPLIB DD 名に現在割り振られているデータ・セットの割り振り中にエラーが発生しました。付随するメッセージを検査して、障害の原因を分析してください。

重大度: 08

CKF550I QMGR QMGR-name の MQ 情報が要求されました (The MQ information is requested for QMGR QMGR-name)

説明: この診断メッセージは、DEBUG が要求されたために発行されました。MQ 関連情報の収集が進行中であることを示しています。

重大度: 0

CKF551I MQ action QMGR QMGR-name error-information

説明: この診断メッセージは、MQ QMGR 領域から情報を取得するプロセスのステップが失敗した場合に発行されます。エラー情報には、エラーの説明や、16 進数の戻りコードおよび理由コード (RC=retcode-reascode) が含まれている場合があります。

API の完了コードおよび理由コードは、IBM Knowledge Center (www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSFKSJ_9.0.0/com.ibm.mq.tro.doc/q040700_.htm) に記載されています。

重大度: 08

CKF552I アドレス・スペース *jobname ASID asid* にアクセスできません - **ALESERV rc=retcode (Cannot access address space jobname ASID asid - ALESERV rc=retcode)**

説明: CKFCOLL プログラムはジョブの専用領域にアクセスできませんでした。これは MQ=YES オプションが要求された場合に発生することがあります。ALESERV ADD マクロの戻りコードは z/OS インフォメーション・センターの「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 第 1 巻」に記載されています。

重大度: 04

CKF553I POINT RPL *type dev volume datacomponent rc=nn reason=nnnn*

説明: このメッセージは、VSAM POINT マクロからの予期しない戻りコードおよび理由コード (10 進数) を示します。

重大度: 8

CKF554I IFAQUERY 戻り域が小さすぎる。SMF フラッド・ポリシー・レコードを省略しました。(Omitted SMF Flood policy records.)

説明: SMF フラッド・ポリシー・データの保管に必要な長さを渡すために 2 回目の呼び出しが発行されましたが、データを保管するためのスペースが十分ではありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 8

CKF555I IFAQUERY からの予期しない戻りコード。(Unexpected return code from IFAQUERY.)SMF フラッド・ポリシー情報は失われます。(SMF flood policy information will be missing.)
rc=hhhhhhhhhhh (16 進数)
rsn=hhhhhhhhhhh (16 進数)
(rc=hhhhhhhhhhh hex rsn=hhhhhhhhhhh hex)

説明: 使用可能なスペースが小さすぎるため、SMF フラッド・ポリシー・データを返せませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する

保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKF556I ASID *asid jobname* のサポートされない MQ リリース *release* です (Unsupported MQ release *release for ASID asid jobname*)。SYSP の長さ = 256 を想定します (Assume SYSP length = 256)。

説明: MQ のリリースが認識されません。このリリースの MQ によって生成される SYSP 制御ブロックの長さが不明です。長さは 256 バイトと想定されます。この値が正しくない場合、さらに、メッセージ CKF559I が発行される場合があります。

重大度: 04

CKF557I アドレス・スペース *jobname ASID asid* にアクセスできません - **ALESERVE rc=rc (Cannot access address space jobname ASID asid - ALESERVE rc=rc)**

説明: zCollect はジョブの専用領域にアクセスできませんでした。これは CICS=YES zCollect オプションが要求された場合に発生することがあります。ALESERV ADD マクロの戻りコードは z/OS インフォメーション・センターの「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 第 1 巻」に記載されています。

重大度: 00

CKF558I MQ データ収集 ASID *asid jobname* 中の *abend (abend during MQ data collection ASID asid jobname)*

説明: このメッセージは、示された MQ アドレス・スペースから情報を収集しようとしているときに、予期しない条件が発生したことを示しています。

ユーザーの処置: *jobname* がサポートされている MQ サブシステムおよびリリースであるか確認してください。そのようになっている場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF559I MQ データ収集 *jobname* 中の *abend*
(*abend during MQ data collection*
jobname)

説明: このメッセージは、示された MQ アドレス・スペースから情報を収集しようとしているときに、予期しない条件が発生したことを示しています。

ユーザーの処置: *jobname* がサポートされている MQ サブシステムおよびリリースであるか確認してください。そのようになっている場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF560I 問い合わせた CICS 領域の数: *nnn* トランザクション: *nnn* プログラム: *nnn*
(**Number of CICS regions interrogated:**
nnn Transactions: nnn Programs: nnn)

説明: これは、処理された CICS 領域の総数と、見つかったトランザクションおよびプログラムの総数を示す通知メッセージです。

重大度: 00

CKF561I 問い合わせた IMS 領域の数: *nnn* トランザクション: *nnn* PSB: *nnn* (**Number of IMS regions interrogated: *nnn* Transactions: *nnn* PSBs: *nnn***)

説明: これは、処理された IMS 領域の総数と、見つかったトランザクションおよび PSB の総数を示す通知メッセージです。

重大度: 00

CKF562I *OS_level* で CS リゾルバー・データを収集できません (**CS Resolver data cannot be collected on *OS_level***)

説明: z/OS V1R12 以前で zSecure を実行している場合、zSecure Collect TCPIP パラメーターを NO に設定することで、このメッセージを回避できます。このパラメーターの設定については、『IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF: ユーザー・リファレンス・マニュアル』の『zSecure Collect for z/OS』を参照してください。

重大度: 00

CKF563I リゾルバー NMI エラー *UNIX error*
(**Resolver NMI error *UNIX error***)

説明: このメッセージは、EZBREIFR 呼び出しにおける失敗によってトリガーされます。

ユーザーの処置: EZBREIFR サービスの戻りコードおよび理由コードを「*Communications Server IP Programmer's Guide and Reference*」(SC27-3659) で調べてください。

重大度: 08

CKF564I CS リゾルバー構成を読み取るための *amount* のストレージの *action* ができませんでした (**Could not action amount of storage to read CS Resolver configuration**)

説明: *action*=obtain の場合、zSecure Collect には CS リゾルバーの構成データを読み取るために使用可能なストレージが十分にありません。この問題を回避するには、zSecure Collect 実行用に大きい領域を割り振ってください。 *action*=release の場合、zSecure は CS リゾルバーの構成の読み取りに使用するストレージをリリースできませんでした。内部処理で問題が発生した可能性があります。

重大度: 08

CKF565I BPX1PCT 照会構成オプションの失敗。戻り値=*nn* 戻りコード=*nn* 理由コード=*nn*
(**BPX1PCT Query Config Option failed Return Value=*nn* Return Code=*nn* Reason Code=*nn***)

説明: このメッセージは、BPX1PCT の「照会構成 (Query Config)」機能の実行中にエラーが発生したことを示します。この機能は、zFS シスプレックスの状況を判別するために使用されます。指定される理由コードは 2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子です。2 つ目は理由コードです。これについては、「*UNIX System Services* メッセージおよびコード」に説明があります。このメッセージが発生する場合、SYSPLEX_MODE の値はブランクです。

重大度: 04

CKF566I DSN *dsn* が RLS 制御されているかどうかを判別できません。(**Unable to determine if DSN *dsn* is RLS controlled.**) LISTCAT 戻りコード *rc*
(**LISTCAT return code *rc***)

説明: このメッセージは、*dsn* データ・セットが RLS

によって制御されているかどうかを CKFCOLL が判別できなかったことを示します。zSecure は、データ・セットについて LISTCAT コマンドを発行し、出力に「RLS in use」(RLS が使用中) と表示されるかどうかを確認することによって、RLS がアクティブかどうかを判別します。

ユーザーの処置: データ・セットが RLS 制御されており、収集エラーの原因になっている場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 04

CKF567I Nil ポインターが *jobname* から *id* にアクセスしようとした (**Nil pointer trying to access id from jobname**)

説明: このメッセージは、ストレージ制御ブロックから CKFREEZE レコードを作成しようとしたときに、予期しない条件が発生したことを示しています。*id* は、アクセスされた制御ブロックの種類を示します。

ユーザーの処置: *jobname* がサポートされているサブシステムおよびリリースであるか確認してください。サポートされている場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF568I *jobname* ASID *asid* にアクセス中に *abend* が発生しました (**abend accessing jobname ASID asid**)

説明: このメッセージは、示されたアドレス・スペースが CICS アドレス・スペースかどうかを判別しようとして、そうである場合に、関連する CICS 領域情報を見ようとしたときに、予期しない条件が発生したことを示しています。

ユーザーの処置: *jobname* がサポートされているサブシステムおよびリリースであるか確認してください。サポートされている場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF569I *jobname* から *id* にアクセス中に *abend* が発生しました (**abend trying to access id from jobname**)

説明: このメッセージは、ストレージ制御ブロックから CKFREEZE レコードを作成しようとしたときに、予期しない条件が発生したことを示しています。*id* は、アクセスされた制御ブロックの種類を示します。

ユーザーの処置: *jobname* がサポートされているサブシステムおよびリリースであるか確認してください。サポートされている場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF570I 応答指令信号を送られた DB2 領域の数: *nn*

説明: この要約メッセージは、zCollect の実行中に処理された DB2 領域の数を示します。

重大度: 00

CKF571I モジュール *xxxxxxx* のロード中のエラー。DB2 サブシステム *yyyy* リリース *zzzz* について DB2 システム・テーブルのアンロードが終了しました (**Error loading module xxxxxx DB2 system table unload terminated for DB2 subsystem yyyy release zzzz**)
使用された Steplib データ・セット: (Steplib data sets used):
DSN=aaa.aaaa (DSN=aaa.aaaa)

説明: zSecure Collect は、DB2 モジュールをロードしようとしているときにエラーを受け取りました。この DB2 リリースと関連した各 DB2 サブシステムについて、DB2 システム・カタログ・テーブルのアンロードのプロセスは終了しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF572I DB2 steplib 割り振りエラー。(DB2 steplib allocation error.) *yyyy* リリース *zzzz* について **DB2 システム・テーブルのアンロードが終了しました (DB2 system table unload terminated for DB2 subsystem *yyyy* release *zzzz*)**
 使用された **Steplib データ・セット:**
(Steplib data sets used:)
DSN: *yyyy.yyyy* (DSN: *yyyy.yyyy*)

説明: zSecure Collect は、指定された DB2 steplib データ・セットを割り振ろうとしているときにエラーを受け取りました。この DB2 リリースと関連した各 DB2 サブシステムについて、DB2 システム・カタログ・テーブルのアンロードのプロセスは終了しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF573I DB2 アンロード・エラー。(unload error.) **SYSADM ユーザー ID** *xxxxxxx* の長さが 8 文字を超えています
(SYSADM userid *xxxxxxx* greater than 8 characters in length.)
DB2 システム *yyyy* の処理は終了しました。(Processing of DB2 system *yyyy* terminated.)

説明: 指定された DB2 サブシステムのインストール SYSADM ユーザー ID は 8 文字を超えています。8 文字を超えるユーザー ID は、役割ベースの SYSADM ユーザー ID です。zSecure はその DB2 システム・カタログ・テーブルをアンロードできなかったため、指定された DB2 サブシステムの処理は終了しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF574I RACROUTE VERIFY CREATE エラー RACF RC (16 進数) *xxxxxxx* RACF 理由 (16 進数) *yyyyyyyy* (RACROUTE VERIFY CREATE error RACF RC (hex) *xxxxxxx* RACF reason (hex) *yyyyyyyy*)

DB2 サブシステム *zzzz* について DB2 テーブルのアンロードが終了しました (DB2 table unload terminated for DB2 subsystem *zzzz*)

説明: zSecure Collect が「RACROUTE VERIFY CREATE」を発行したときにエラーを受け取りました。指定された DB2 サブシステムについて、DB2 システム・カタログ・テーブルのアンロードは終了しました。

ユーザーの処置: 戻りコードと理由コードを使用して、RACROUTE が失敗した理由を判別してください。問題を修正できない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF575I DSNUTILB について ATTACH が失敗しました。RC=*xxxxx*。DB2 サブシステム *yyyy* リリース *zzzzz* について、DB2 システム・テーブルのアンロードが終了しました (ATTACH failed for DSNUTILB RC=*xxxxx* DB2 system table unload terminated for DB2 subsystem *yyyy* release *zzzzz*)
 使用された **Steplib データ・セット:**
(Steplib data sets used:)
DSN: *aaaa.aaaa*

説明: zSecure Collect は、DB2 システム・カタログ・テーブルをアンロードするために DSNUTILB を開始しようとしているときにエラーを受け取りました。指定された DB2 サブシステムについて、DB2 システム・カタログ・テーブルのそれ以上の処理は終了しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF576I DB2 テーブルをアンロードするための DSNUTILB への ATTACH 中の予期しない *xxxxx* (Unexpected *xxxxx* during ATTACH of DSNUTILB to UNLOAD DB2 tables)

説明: zSecure Collect は、DB2 システム・カタログ・テーブルをアンロードするための DSNUTILB への ATTACH 中にエラーを受け取りました。DB2 システム

CKF577I • CKF583I

ム・カタログ・テーブルのそれ以上の処理は終了しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF577I **DD 名 CKFDS001** についてのオープン・エラー *xxxxx* (**OPEN ERROR** *xxxxx* for DDNAME CKFDS001)

説明: zSecure Collect は、DB2 steplib データ・セットをオープンしているときにエラーを受け取りました。割り振られた DB2 steplib データ・セットについて詳しくは、メッセージ CKF572I を参照してください。DB2 システム・カタログ・テーブルのそれ以上の処理は終了しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF578I **DB2** サブシステム *subsys* のテーブル *tablename* から *nnn* 個のレコードが処理されました (**nnn records processed from table** *tablename* for DB2 subsystem *subsys*)

説明: この通知メッセージは、DB2 カatalog・テーブルから処理されたレコードの総数を示しています。

重大度: 00

CKF579I 応答指令信号を送られた MQ 領域の数: *number* (**Number of MQ regions interrogated:** *number*)

説明: これは、処理された MQ 領域の総数を示す通知メッセージです。

重大度: 00

CKF580I **DB2** サブシステム *yyyyy* の DB2 テーブル *aaaaaaaa* のアンロード中のエラー (**Error unloading the DB2 table** *aaaaaaaa* for DB2 subsystem *yyyyy*) 使用された Steplib データ・セット: (Steplib data sets used:)

DSN: *yyyyy.yyyy* (**DSN:** *yyyyy.yyyy*)

説明: zSecure Collect は、DB2 テーブルをアンロードしようとしているときにエラーを受け取りました。この DB2 アンロードと関連したエラー・メッセージについて DSNPRT DD が割り振られている場合は、その DD を参照してください。

ユーザーの処置: DSNPRT 内のメッセージを調べて、DB2 テーブルのアンロードの問題を解決してください。エラーの原因が DSNOUT 上での B37/D37 エラーであった場合は、収集 JCL での DSNOUT の割り振り方法について、「ユーザー・リファレンス・マニュアル」の『DB2 テーブルのアンロード (DB2 table unloads)』を参照してください。

重大度: 08

CKF581I **BPX1SYC:** システム構成オプションの判別に失敗しました。 (**Determine system configuration options failed.**) RC=*rc* 理由=*reason* (**RC=rc reason=reason**)

説明: BPX1SYC の「システム構成オプションの判別」機能の実行中にエラーが発生しました。理由コードは、2 つのハーフワードで構成されます。1 つ目は理由コード修飾子です。2 つ目は理由コードです。これについては、「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルに説明があります。

ユーザーの処置: 「UNIX System Services メッセージおよびコード」にある、指示された理由コードを調べてください。

重大度: 08

CKF582I コピーされた TKDS トークン/証明書レコードの数: *decnum* (**Number of TKDS token/cert records copied:** *decnum*)

説明: この通知メッセージは、CKFREEZE データ・セットにコピーされた TKDS レコードの数を示します。

重大度: 00

CKF583I **JES2, ASID** *asid* へのアクセス中の *type* の異常終了 *xxx-nn* (*explanation*) (**type abend** *xxx-nn* (*explanation*) **accessing** JES2, ASID *asid*)

説明: このメッセージは、JES2 アドレス・スペースのデータへのアクセス中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度: 08

CKF584I JES2 PSO、ASID *asid* へのアクセス中の
type の異常終了 *xxx-nn* (*explanation*)
(type abend xxx-nn (explanation)
accessing JES2 PSO, ASID asid)

説明: このメッセージは、JES2 PSO データ・スペースのデータへのアクセス中に復旧不能な異常終了が発生したことを示します。共通の異常終了コードについては、お使いの zSecure 製品のユーザー・リファレンス・マニュアルの zSecure Collect の文書を参照してください。

重大度: 08

CKF585I アドレス・スペース JES2、ASID *asid* に
 アクセスできません - ALESERV rc=*rc*
**(Cannot access address space JES2,
 ASID *asid* - ALESERV rc=*rc*)**

説明: CKFCOLL プログラムは JES2 の専用領域にアクセスできませんでした。ALESERV ADD マクロの戻りコードは、z/OS インフォメーション・センターの「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference, Vol. 1」に記載されています。

重大度: 08

CKF586I JES2 PSO、ASID *asid* のデータ・スペースに
 アクセスできません - ALESERV
 rc=*rc* **(Cannot access data space for
 JES2 PSO, ASID *asid* - ALESERV
 rc=*rc*)**

説明: CKFCOLL プログラムは、JES2 PSO データ・スペースにアクセスできませんでした。ALESERV ADD マクロの戻りコードは、z/OS インフォメーション・センターの「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference, Vol. 1」に記載されています。

重大度: 08

CKF587I OMVS カーネル・アドレス・スペース
jobname ASID asid にアクセスできません - ALESERV rc=*rc* **(Cannot access
 address space *jobname ASID asid* -
 ALESERV rc=*rc*)**

説明: zSecure Collect は、UNIX プロセスに関する情報を収集しているときに、OMVS カーネル・ジョブの専用領域にアクセスできませんでした。ALESERV ADD マクロの戻りコードは z/OS インフォメーション・センターの「z/OS MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference, Vol. 1」に記載されています。

重大度: 08

CKF588I OMVS カーネル・アドレス・スペース
jobname ASID asid にアクセス中の異常
 終了 **(Abend accessing OMVS kernel
 address space *jobname ASID asid*)**

説明: このメッセージは、OMVS カーネル・アドレス・スペースかどうかの判別を試みていて、そうである場合に、UNIX プロセスについての関連情報を見つけようとしているときに、予期しない条件が発生したことを示します。

ユーザーの処置: *jobname* が OMVS カーネル・タスクであるかどうか確認してください。そのようになっている場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF589I OMVS カーネル・アドレス・スペース
jobname ASID asid にプロセス情報が見
 つけられませんでした **(Process
 information not found in OMVS
 kernel address space *jobname ASID
 asid*)**

説明: このメッセージは、UNIX プロセスに関する情報が含まれている制御ブロックが見つからなかったことを示します。

ユーザーの処置: *jobname* が OMVS カーネル・タスクであるかどうか確認してください。そのようになっている場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF590I OMVS カーネル・アドレス・スペース
jobname ASID asid のプロセス情報テー
 ブルが空です **(Process information table
 in OMVS kernel address space *jobname
 ASID asid* is empty)**

説明: このメッセージは、UNIX プロセスに関する情報が含まれている制御ブロックが見つかったが、プロセス情報が含まれていないか、レイアウトがサポートされていないことを示します。

ユーザーの処置: *jobname* が OMVS カーネル・タスク

CKF591I • CKF600I

であるかどうか確認してください。そのようになっている場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF591I アドレス・スペース *jobname ASID asid* にアクセスできません - **ALESERV rc=rc (Cannot access address space *jobname ASID asid* - ALESERV rc=rc)**

説明: zCollect は、アドレス・スペースのアクティブ・ジョブに関する情報を収集しているときに、ジョブの専用領域にアクセスできませんでした。ALESERV ADD マクロの戻りコードは z/OS インフォメーション・センターの「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 第 1 巻」に記載されています。

重大度: 08

CKF592I *jobname ASID asid* にアクセス中の異常終了 (**Abend accessing *jobname ASID asid***)

説明: このメッセージは、アドレス・スペースのアクティブ・ジョブに関する情報を収集しようとしているときに、予期しない条件が発生したことを示しています。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKF593...CKF596 *message*

説明: これらのメッセージは、このマニュアルに記載されていないデバッグ・コマンドの結果として発行されません。

メッセージ 600 から 699

CKF600...CKF699 *message*

説明: この範囲に含まれるメッセージは、DEBUG または INFO 要求に応答して発行されます。INFO に応答するメッセージのみが記載されています。

CKF600I 以下のボリュームのスキャン中
type dsn
... (Scanning volumes for

重大度: 00

CKF597I アドレス・スペース *jobname ASID asid* にアクセスできません - **ALESERV rc=retcode (Cannot access address space *jobname ASID asid* - ALESERV rc=retcode)**

説明: zCollect はジョブの専用領域からデータを取得できませんでした。ALESERV ADD マクロの戻りコードは z/OS インフォメーション・センターの「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書 第 1 巻」に記載されています。

重大度: 00

CKF598I スワップされた **ASID *asid***
***jobname=jobname* の JFCB が収集されません (JFCBs not collected for swapped *ASID asid jobname=jobname*)**

説明: このメッセージは、示されたアドレス・スペースがスワップアウトされ、割り振られたデータ・セットに関するデータを取得できない場合に発行されます。このアドレス・スペースからの情報は、CKFREEZE データ・セットから欠落しています。この CKFREEZE データ・セットを使用して作成される zSecure レポートは、不完全なものになる可能性があります。

重大度: 04

CKF599I **ASID *asid* *jobname=jobname* へのアクセス中の異常終了 *abend info* (Abend *abend info* during access *ASID asid jobname=jobname*)**

説明: このメッセージは、アドレス・スペース *asid* 内の示された *jobname* 用に割り振られたデータ・セットの情報を取得しようとして失敗したことを示します。

重大度: 08

type dsn
...)

説明: このメッセージは、DEBUG または INFO,SHARED=NO に応答して発行されます。これは、当初はボリューム通し番号を持っていなかったデータ・セット要求を示します。

重大度: 00

CKF601I 以下の VTOC *volser* のスキャン中
 type dsn
 ... (Scanning VTOC *volser* for
 type dsn
 ...)

説明: このメッセージは、DEBUG または INFO,SHARED=NO に応答して発行されます。これは、SHARED=NO が要求された場合のこの特定の非共有ボリュームの VTOC へのデータ・セット属性要求を示します。

重大度: 00

CKF602I 以下の VTOC *volser* の収集中
 type dsn
 ... (Collecting VTOC *volser*
 type dsn
 ...)

説明: このメッセージは、DEBUG または INFO,SHARED=NO に応答して発行されます。これは、このボリュームのすべての VTOC データを収集するための要求を示し、オプションとして特定のデータ・セット属性要求のリストを含みます。

重大度: 00

CKF603I 以下の VVDS *volser* のスキャン中
 type dsn
 ... (Scanning VVDS *volser* for
 type dsn
 ...)

説明: このメッセージは、DEBUG または INFO,SHARED=NO に応答して発行されます。これは、SHARED=NO が要求された場合のこの特定の非共有ボリュームの VVDS へのデータ・セット属性要求を示します。

重大度: 00

CKF604I 以下の VVDS *volser* の収集中
 type dsn
 ... (Collecting VVDS *volser*
 type dsn
 ...)

説明: このメッセージは、DEBUG または INFO,SHARED=NO に応答して発行されます。これは、このボリュームのすべての VVDS データを収集するための要求を示し、オプションとして特定のデータ・セット属性要求のリストを含みます。

重大度: 00

メッセージ 700 から 799

CKF700I 内部エラー: CKFALLOC が無効な状態で
 呼び出されました (Internal error:
 CKFALLOC called in invalid state)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 700 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF701I **CKFAXCP: dev volume** のデータ域が大き
 すぎます。- ユーザー異常終了 701
 (CKFAXCP: data areas too large, on
 dev volume - user abend 701)

説明: このメッセージは内部エラーを示します。入出力ドライバーに渡されたチャネル・プログラムによって要求されたデータ域が大きすぎます。ユーザー異常終了 701 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合

は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 28

CKF702I *dev volume* の入出力ルーチン *type* 異常
 終了 *xxx-nn (explanation)* - ユーザー異常
 終了 702 (I/O routine *type* abend
 *xxx-nn (explanation)*on *dev volume* - user
 abend 702)

説明: このメッセージは内部エラーを示します。入出力ドライバーに渡されたチャネル・プログラムによって要求されたデータ域が大きすぎます。ユーザー異常終了 702 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 28

CKF703I **CKFCAT** が無効な状態で呼び出されまし
 た (CKFCAT called in invalid state)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。

CKF704I • CKF711I

ユーザー異常終了 703 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF704I 内部エラー: IOXC *ioxcvol-key* 上の BCS *bcsvol* (Internal error: BCS *bcsvol* on IOXC *ioxcvol-key*)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。カタログはスキップされます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF705I 内部エラー: CKFPATH が無効な状態で呼び出されました (Internal error: CKFPATH called in invalid state)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 705 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF706I CKFPDS(E) が無効な状態で呼び出されました (CKFPDS(E) called in invalid state)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 706 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF707I 内部エラー: 間違った IOXC での PDS (Internal error: PDS on wrong IOXC)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。PDS はスキップされます。電子サポート Web サイト

を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF708I CKFSCHED 内部エラー: ハングした入出力実行プログラム (CKFSCHED Internal error: hung I/O executor)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 708 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF709I 内部エラー: CKFVTOC が無効な状態で呼び出されました (Internal error: CKFVTOC called in invalid state)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 709 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF710I 内部エラー: CKFVVDS が無効な状態で呼び出されました (Internal error: CKFVVDS called in invalid state)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 710 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF711I *dev volume* の入出力後にアドレス *xxxxxxx* での 4K SQA の FREEMAIN が戻りコード *nn* (16 進数) で失敗しました - ユーザー異常終了 711 (FREEMAIN for 4K SQA at address *xxxxxxx* failed with return code *nn* hex after I/O on

dev volume- user abend 711)

説明: このメッセージは、zSecure Collect が指定されたアドレスの 4KB SQA 領域を開放することに失敗したことを示します。これ以上の SQA 汚染を防ぐために、プログラムではユーザー異常終了 711 を発行します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 28

CKF712I 予期しない GETMAIN 戻りコード *nn*
(16 進数) (Unexpected GETMAIN
return code *nn* hex)

説明: このメッセージは、zSecure Collect が、VM DIAGNOSE バッファに対するページ調整済み作業域を取得することに失敗したことを示します。診断は発行されません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF713I 予期しない PGSER/PGFIX 戻りコード
nnnn (16 進数) (Unexpected
PGSER/PGFIX return code *nnnn* hex)

説明: このメッセージは、PGFIX (非 XA) または PGSER (XA) サービスについて、予期しない戻りコードが見つかったことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF714I 予期しない PGSER/PGFREE 戻りコード
nnnn (16 進数) (Unexpected
PGSER/PGFREE return code *nnnn* hex)

説明: このメッセージは、PGFREE (非 XA) または PGSER (XA) サービスについて、予期しない戻りコードが見つかったことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF715I CKFAXVM が予期しない *type* 異常終了
xxx-nn (*explanation*) から復旧しました
(CKFAXVM recovered from unexpected
type abend *xxx-nn* (*explanation*))

説明: このメッセージは、VM 診断処理中に予期しない異常終了が発生したことを示します。VM 情報が失われる可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF716I CKFAXVM 内部エラー: AXVM ポイン
ター *xxxxxxx* (アドレス *xxxxxxx*) が無
効です (CKFAXVM internal error:
AXVM pointer *xxxxxxx* at address
xxxxxxx invalid)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF717I CKFCAT の無効な VSAM データ・セッ
ト・タイプ *type* (CKFCAT invalid
VSAM data set type *type*)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF718I CKFTMC が無効な状態で呼び出されまし
た (CKFTMC called in invalid state)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 718 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF719I 内部エラー: 間違った IOXC の *type*
(Internal error: *type* on wrong IOXC)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。*type* データ・セット (TMC/VMF/ABR) はスキップされます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF720I CKFDSN が無効な状態で呼び出されました (CKFDSN called in invalid state)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 720 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF721I 内部エラー: 間違った IOXC の *type*
(Internal error: *type* on wrong IOXC)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。示されたタイプのデータ・セット (DMSUNL では DMSU、PDS/E ディレクトリーでは PDSE、AUTHLIB では PDSM) はスキップされます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF722I CKFDMSF が無効な状態で呼び出されました (CKFDMSF called in invalid state)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。ユーザー異常終了 722 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF723I 内部エラー: 間違った IOXC の *type*
(Internal error: *type* on wrong IOXC)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。タイプ *type* のデータ・セットはスキップされます。タイプは DMSFILES の場合は DMSF が指定される場合があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF724I ID=cccc (CBVER ID=cccc) について
CBVER RESET がありません (CBVER
RESET missed for ID=cccc at CBVER
ID=cccc)

CKF724I *proc* の後に CBVER RESET がありません (Missing CBVER RESET after *proc*)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF725I 内部エラー: *type* device volume dataset の
後の予期しない連結 (Internal error:
unexpected concatenation after *type*
device volume dataset)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF726I 内部エラー: 磁気テープとの連結用に
ADD DDD が呼び出されました (Internal
error: ADD DDD called for concatenation
with tape)

説明: このメッセージは重大な内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF729I *function NMI* 呼び出しエラー TCP/IP
 tcpipstackname RC rc RSN reasoncode
 (function NMI call error TCP/IP
 tcpipstackname RC rc RSN reasoncode)

説明: このメッセージは、NMI 要求が予期しない戻りコード (rc) で失敗したことを示します。

ユーザーの処置: 以下の方法で、戻りコードの説明を確認してください。

1. ご使用の z/OS のバージョンに応じた z/OS Internet Library を参照し、「**z/OS Information Centers**」の下で z/OS のバージョンをクリックします。
2. 「**z/OS Communications Server**」->「**IP Programmer's Guide and Reference**」を選択します。戻りコードは、『**Network management interfaces**』に記載されています。

重大度: 08

メッセージ 800 から 899

CKF874I **RECFM=V(BS) RDW** *hex* が、レコード
 n ddname volser dsname で **LRECL=lrecl**
 を超えています (**RECFM=V(BS) RDW**
 hex exceeds LRECL=lrecl at record n
 ddname volser dsname)

説明: このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

CKF875I **RECFM=V(BS) BDW** *hex* が、レコード
 n ddname volser dsname で
 BLKSIZE=blksize を超えています
 (**RECFM=V(BS) BDW** *hex exceeds*
 BLKSIZE=blksize at record n *ddname*
 volser dsname)

メッセージ 900 から 999

CKF900I *debug message*

説明: これは IBM ソフトウェア・サポートのみに関係するデバッグ・メッセージであり、一般出荷可能なソフトウェア・バージョンでは表示されません。

重大度: 00

CKF906I **REAL** ストレージ *identifier* の読み取り中の *Type* 異常終了 *xxx-nn (explanation)*
 (*Type abend xxx-nn (explanation) reading*
 REAL storage identifier)

説明: このエラー・メッセージは、実ストレージから情報を取得しようとしたとき、異常終了が発生したことを示します。*identifier* が LST の場合、いずれかのリンケ

ージ・セカンド・テーブル (Linkage Second Table) が (全体として) 読み取れなかったことを示します。このデータに基づくプログラム呼び出しレポートは不完全になります。

重大度: 04

CKF907I **DYNALLOC** トレース: SVC 99 戻りコード *nn* - meaning (**DYNALLOC trace: SVC 99 return code *nn* - meaning**)

説明: このメッセージは、DEBUG か、DAIRFAIL がメッセージ・テキストを返さなかった場合に失敗した SVC99 が原因で発生します。これには、SVC 99 (DYNALLOC) の完了後に、個別のテキスト・ユニットの内容の詳細を示す継続行があります。

重大度: 00

CKF910I **HLENQ** 状況レポート *identifier* (**HLENQ status report *identifier***)

説明: これらのメッセージは、DEBUG の応答として発行されます。

重大度: 00

CKF911I *service RC=rc* (16 進数) *RSN=rsn* (16 進数) [*qname-scope rname* の場合]:
explanation (*service RC=rc hex RSN=rsn hex* [*for qname-scope rname*]: *explanation*)

説明: 示されたサービスへの呼び出し (ENQ または ISGENQ) が RC=0 で完了しませんでした。このメッセージは必ずしもアクションの必要性を示すものではなく、例えば APF 許可プログラムが未許可の QNAME CKRDSN に対して ENQ を発行することがあります。したがって、このメッセージは単なる通知と考えてください。

重大度: 00

CKF912I **STIMERM** エラー: *explanation* (**STIMERM error: *explanation***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF913I 逐次化ですべての ENQ を取得できませんでした (**Serialization could not obtain all ENQs**)

説明: プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得できず、続行できません。ENQ を取得できなかったリソースは、先行メッセージ CKF911I で識別されます。

重大度: 16

CKF913I 逐次化で重大なエラーが発生しました (**Serialization encountered a serious error**)

説明: プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得しようとしたましたが、予期しない状態が発生しました。実行を続行できません。先行メッセージ CKF911I を探して 失敗の正しい原因を識別してください。

重大度: 16

CKF913I 逐次化ですべての ENQ が取得されました (**Serialization has obtained all ENQs**)

説明: プログラムは、すべての要求されたりソースの ENQ を正常に取得しました。

重大度: 00

CKF913I 逐次化で ENQ の待機を開始します (**Serialization starts waiting for ENQs**)

説明: プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得しようとしたましたが、すべてのリソースが即時に使用可能というわけではありませんでした。プログラムは、残りのリソースが使用可能になるのを待機します。先行メッセージ CKF911I を探して 即時に使用可能でなかったリソースを識別してください。

重大度: 04

CKF913I 逐次化の WAIT がタイムアウトになりました (**Serialization WAIT timed out**)

説明: プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得しようとしたましたが、すべてのリソースが即時に使用可能というわけではありませんでした。SERIALIZATION コマンドの MAXWAIT サブパラメーターで指定された分数待機した後も、要求された 1 つ以上のリソースが使用できませんでした。プログラムは待機を中止して実行を打ち切ります。先行メッセージ CKF911I を探して 使用できないリソースを識別してください。

重大度: 16

CKF914I 中間の HLLQDEQ ID=*id* または HLLQDEQ ALL が指定されていない複数の HLLQENQ ACTION=*xxx*,ID=*id* 呼び出しはサポートされていません
(Multiple HLLQENQ ACTION=*xxx*,ID=*id* calls without an intervening HLLQDEQ ID=*id* or HLLQDEQ ALL are not supported)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF915I UNIX レコード *nn* 書き込み失敗 RC *nn* [meaning] 理由 *qqqq rrrrx* [meaning] ファイル *ddname path* (UNIX write record *nn* failed RC *nn* [meaning] reason *qqqq rrrrx* [meaning] file *ddname path*)

説明: このメッセージは、BPX1WRV 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrx* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度: 16

CKF919I 負の長さ *length* のレコードが *ddname* のレコード *recno* の後ろに送信されました
(Record with negative length *length* directed to *ddname* behind record *recno*)

説明: 無効なレコードが出力ルーチンに渡されました。代わりに空のレコードが書き込まれました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF923I TSO/E 端末からの入力はサポートされません - *ddname*(Input from a TSO/E terminal is not supported - *ddname*)

説明: 行モードの TSO/E 端末からの入力はサポートされません。

重大度: 20

CKF924I DD *ddname* DSN *dsn* の無効なブロック・サイズ: *blksize* (DD *ddname* DSN *dsn* invalid block size: *blksize*)

説明: *ddname* が (OPEN を使用して) 正しく開いた後は、*ddname* が DUMMY デバイスでない限り、その DCB は正のブロック・サイズを示す必要があります。

重大度: 16

CKF925I メンバー *member* DDname *ddname* DSname *dsn* Problem description
(Member *member* DDname *ddname* DSname *dsn* Problem description)

説明: プログラムは示されたメンバーを見つけようとしたとき、FIND SVC からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。2 行目の問題記述に、問題の正しい性質が説明されます。

重大度: 08

CKF931I or CKV931I *proc*: バッファー・オーバーラン - *dln=destinationlength*
sln=sourcelength:: data (*proc*: Buffer overrun - *dln=destinationlength*
sln=sourcelength:: data)

説明: フォーマット・プロシージャー *proc* でバッファー・オーバーランが発生しました。このメッセージの後、ユーザー異常終了 931 が続きます。ユーザー異常終了 931 は SUPPRESS FMTABEND (「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」で SUPPRESS コマンドの FMTABEND オプションを参照) または SUPPRESS MSG=931 を指定することによって抑止可能です。ただし、出力が破損したり他のエラーが発生したりする可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKF942I or CKV942I 製品コード *code* の環境が一致しません (**Environment mismatch for product code *code***)

説明: このメッセージは、識別された製品コードを示す *code* がインストールされたが、それが適切な環境で稼働していないことを示します。例えば、製品コードの中には、z/OS 下の UNIX タスクのみ、z/OS 下の 非 UNIX タスクのみ、および z/VM のみに限定されるものがあります。

重大度: 00

CKF944I or CKV944I UNIX *type* のクローズ RC *nn* [*meaning*] 理由 *qqq rrrr x* [*meaning*] ファイル *ddname path* (**UNIX *type* close RC *nn* [*meaning*] reason *qqq rrrr x* [*meaning*] file *ddname path***)

説明: このメッセージは、BPX1CLO 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

type は、「wronly」または「rdonly」のいずれかです。

重大度: 16

CKF945I or CKV945I UNIX *action* が失敗しました。RC *nn* [*meaning*] 理由 *qqq rrrr x* [*meaning*] ファイル *ddname path* (**UNIX *action* failed RC *nn* [*meaning*] reason *qqq rrrr x* [*meaning*] file *ddname path***)

説明: このメッセージは、BPX1OPN または BPX1FCT 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

action は **wronly open**、**fcntl filetag**、または **rdonly open** です。

重大度: 16

CKF947I or CKV947I *filedesc off* の読み取りが失敗しました RC *nn* [*meaning*] 理由 *qqqq rrrr x* [*meaning*] ファイル *ddname path* (**(Reading *filedesc off* failed RC *nn* [*meaning*] reason *qqqq rrrr x* [*meaning*] file *ddname path*)**)

説明: このメッセージは、示された戻りコード (10 進数) と、理由コード修飾子 *qqqq* と理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割された理由コードで、BPX1RED (UNIX 読み取り) 呼び出しが失敗したことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度: 16

CKF948I or CKV948I 製品コード *code* の使用可能化情報が壊れています (**Enablement information corrupt for product code *code***)

説明: このメッセージは、製品のインストールまたはライセンスに問題があることを示します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、インストールが正常に行われたことを確認してください。

重大度: 16

CKF949I or CKV949I 製品コード *code* がインストールされましたが、非 APF 登録の制限を超えました (**Product code *code* installed and non-APF registration limit exceeded**)

説明: このメッセージは、非 APF プログラムによる製品登録の MVS 制限を超えたため、インストール済みの製品を登録できない場合に発行されます。

重大度: 00

CKF950I or CKV950I 製品コード *code* のコードはインストールされていません (**Code not installed here for product code *code***)

説明: このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしていることを示します。

重大度: 16

CKF955I or CKV955I *program task heap* ストレージ
要求エラー: サイズが正の値ではありません
(*program task heap STORAGE*
REQUEST ERROR: SIZE NOT
POSITIVE)

説明: このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKF963I or CKV963I あいまいな *name "value"*
(**Ambiguous name "value"**)

説明: このメッセージは、あいまいな省略形が入力されたことを示します。つまり、省略された値は 2 つ以上の異なるキーワードの意味を持つ可能性があります。目的のキーワードをより詳細に指定してください。

重大度: 16

CKF964I or CKV964I **PDS(E)** データ・セット *dsn* への書き込みにはメンバー名が必要です
(**Member name required for writes to**
PDS(E) data set dsn)

説明: このメッセージは、示されたデータ・セットに対して、必要なメンバー名が指定されていないことを示します。

重大度: 16

CKF967I or CKV967I **RECFM=F** は、**LRECL=X** および **RECFM=VBS** が設定されたデータ・セット *dsn* に対して無効です
(**RECFM=F invalid for**
LRECL=X,RECFM=VBS preferred data
set dsn)

説明: このメッセージは、設定によって長さ制限のない可変長スパン・レコードを受け取るファイルで **RECFM=F** データ・セットが見つかったことを示します。非スパン・レコードおよびレコード長が制限されたレコードに対する下位互換性は維持されますが、コードは **RECFM=F** レコードに書き込めません。

重大度: 16

CKF968I or CKV968I **IFAEDDRG** が失敗しました
RC nn (10 進数) (IFAEDDRG failed
RC nn decimal)

説明: このメッセージは、以前に登録済みの製品の登録が失敗したことを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKF969I or CKV969I *dsn* の入出力エラー: *description*
(**I/O error for dsn: description**)

説明: このメッセージは、*dsn* についての通常の QSAM または BSAM 入力処理中に入出力エラーが発生したことを示します。命令は続行されますが、入出力エラーによって情報が失われることから異常終了またはその他のエラー・メッセージが後に続く場合があります。

重大度: 08

CKF970I or CKV970I *program task heap* フリー・ストレージ・エラー (**FREE STORAGE**
ERROR): message

説明: このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKF971I or CKV971I この *field* の最大長は *len* です。*file* の行 *n* (**Maximum length for**
this field is len at file line n)

説明: 入力に含まれている複数行ストリングが長すぎます。ストリングの最大長はメッセージに示されます。

重大度: 16

CKF972I or CKV972I *product* の使用可能化情報がありません (**Enablement information missing for product**)

説明: このメッセージは、ロード・モジュールが完全でないために製品が稼働できないことを示します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、製品のインストールを完了させるように依頼してください。

重大度: 16

CKF973I or CKV973I IBM セキュリティー製品コード *code* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product code code disabled or not installed**)

説明: このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしているか、または製品がこのシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できないことを示します。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKF974I or CKV974I IBM セキュリティー *product* が要求されたフォーカスに対して使用不可になっているか、ここではインストールされていません (**IBM Security product disabled or not installed here for requested focus**)

説明: 製品がインストールされていないか、または要求されたフォーカスが、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKF975I or CKV975I IBM セキュリティー *product* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product disabled or not installed**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKF976I or CKV976I *product* 製品または機能のコードまたは使用可能化がありません (**Code or enablement for product product or feature is missing**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKF976I or CKV976I IBM セキュリティー *product or feature* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product or feature disabled or not installed here**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKF977I or CKV977I 製品所有者('IBM CORP')

ID(id) 名前('name') 機能('feature') バージョン (version) リリース (release) 変更 (modification) がインストール済みです
(Installed PRODUCT OWNER('IBM CORP') ID(id) NAME('name') FEATURE('feature') VER(version) REL(release) MOD(modification))
 [製品 action RC rc 10 進数] ([Product action RC rc decimal])

説明: このメッセージは、インストール済みの製品の DEBUG に応答して発行されます。action は、"registration" または "status" になります。戻りコードはそれぞれ IFAEDREG または IFAEDSTA に対するもので、「MVS プログラミング：プロダクト登録」に記載されています。製品登録が適用されない場合は継続行が表示されません (例えば、CKF979I のため)。

重大度: 00

CKF978I or CKV978I 製品コード code が PARMLIB で無効化されました (Product code code has been disabled in PARMLIB)

説明: このメッセージは、z/OS PARMLIB 内の IFAPRDxx の項目によって、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名に対して無効になっている製品について DEBUG への応答として発行されます。

ユーザーの処置: 製品を他の場所で実行するか、システム・プログラマーに使用可能化を依頼してください。

重大度: 00

CKF979I or CKV979I 製品コード code は他の製品によって暗黙に指定されています (Product code code implied by other)

説明: このメッセージは、製品ライセンスがより包括的なライセンスによって暗黙的に与えられているため、その製品が登録されない場合に、DEBUG に応答して発行されます。

重大度: 00

CKF980I jobname の fieldname へのアクセス試行中の Type 異常終了 xxx-nn (explanation) (Type abend xxx-nn (explanation) trying to access fieldname in jobname)

説明: このエラー・メッセージは、クロスメモリー・サービスを介して指定されたフィールドを取得しようとしたとき、異常終了が発生したことを示します。一般的な

原因は、独自のメッセージ・テキストに同じメッセージ番号を付けることです。

重大度: 04

CKF980I アドレス・スペース jobname のスワップアウトが原因で fieldname が省略された (Omitted fieldname because address space jobname swapped out)

説明: このエラー・メッセージは、クロスメモリー・サービスを介して指定されたフィールドを取得しようとしたとき、05D 異常終了が発生したことを示します。これはアドレス・スペースがスワップアウトしたことを意味します。CKFCOLL では現在、他のアドレス・スペースのスワップインを発生させません (スワップイン要求によるシステムの停止を回避するため)。実動システムでは通常、CKFCOLL が確認するアドレス・スペースをスワップ不可として定義します。したがって、このメッセージはほとんどの場合、テスト・システムか、テスト・サブシステム用の実動システム (テスト DB2 など) で表示されます。アドレス・スペースがスワップアウトしているとき PC 呼び出しはユーザーにも使用できないことを知っておくと、PC 呼び出しの監査目的で役に立ちます。

重大度: 04

CKF981I or CKV981I 無効な type "value" (Invalid type "value")

説明: このメッセージは、テキスト value がコンテキスト type で有効な値でないことを示します。

重大度: 16

CKF982I or CKV982I 内部エラー: ddname の行 number におけるエラー・コードが不明です (Internal error: unknown error code at ddname line number)

説明: 入力パーサー・エラー・ルーチンで無効なエラー・コードが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKF983I or CKV983I *type"value"* ではなくリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターが予期されています (*ddname* 行 *number*)
(**Expecting list separator/terminator instead of type"value" at ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力パーサーが現在のリストについて、リスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターを予期していたことを示します (これはコンテキストによって、コンマ、空白、または行の終わりとなる場合があります)。代わりに、示されているトークン・タイプ *type* (およびテキストがある場合は *value*) が検出されました。入力パーサーは、現在のリストで有効なリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターが検出されるまで、すべての入力をスキップします。

重大度: 16

CKF984I or CKV984I 無効な *type* リスト・エレメント・タイプ *type "value"* (*ddname* 行 *number*) (**Invalid type list element type "value" at ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力パーサーが指定されたタイプのリスト・エレメントを予期したが、このコンテキストのリスト・エレメントとしてサポートされないタイプのトークンを検出したことを示します。問題のあるテキスト *value* がある場合は、そのテキストもこのメッセージにリストされます。入力パーサーは、現在のリストで有効なリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターが検出されるまで、すべての入力をスキップします。

重大度: 16

CKF985I or CKV985I *ddname* の行 *number* に必須リスト・エレメント/パラメーター「*value*」がありません (**Required list element/parameter "value" missing at ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力パーサーによって、リスト内の示された行に必要なパラメーターまたはエレメントがないことが検出されたことを示します。

重大度: 16

CKF986I or CKV986I *ddname* の行 *number* でパラメーター *value* が重複しています (**Duplicate parameter value at ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力パーサーによって、示された行にパラメーターまたはリスト・エレメント *value*

が重複して出現することが検出されたことを示します。

重大度: 16

CKF987I or CKV987I 構文エラー: *type1* が予期されましたが、*ddname* の行 *number* の *"value"* では *type2* となっています (**Syntax error: type1 expected instead of type2 at "value" on ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力パーサーが、現行コンテキストで特定のトークン・タイプ *type1* を予期したことを示します。示された入力行では、これの代わりに、トークン・タイプ *type2* が (テキスト *value* がある場合はそのテキストで) 検出されました。

重大度: 16

CKF988I or CKV988I 構文エラー: *"c"* が予期されましたが、*ddname* の行 *number* の *"value"* では *type* となっています (**Syntax error: "c" expected instead of type at "value" on ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力パーサーが、現行コンテキストで特定の文字「*c*」(おそらく区切り文字) を予期したことを示します。示された入力行では、これの代わりに、トークン・タイプ *type* が (テキスト *value* がある場合はそのテキストで) 検出されました。

重大度: 16

CKF989I or CKV989I 予期しないタイプ [*"value"*] [*element* について] *ddname* の行 *number* (**Unexpected type ["value"] [for element] at ddname line number**)

CKF989I *ddname* の行 *number* の予期しない *type* [*"value"*] で EOL にスキップします (**Skipping to EOL at unexpected type ["value"] at ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力パーサーが特定のトークン・タイプのいずれかを予期したが、異なるトークン・タイプが検出されたことを示します。問題のあるテキスト値がある場合は、そのテキスト値と、それが読み取られたエレメントもこのメッセージにリストされます。パーサーは次のトークンから続行するか、行の末尾に直接スキップします。

重大度: 12

CKF991I 予期しない [type|nil] ポインター。場所:
procedure - ユーザー異常終了 991
(Unexpected [type|nil] pointer in
procedure - **user abend 991)**

説明: このメッセージは、プログラムの予期しない状態を示します。プログラムはユーザー異常終了 991 で終了します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKF992I or CKV992I ABNEXIT/STXIT/ESTAE 戻り
コード *rc* (ABNEXIT/STXIT/ESTAE
return code *rc*)

説明: このメッセージは、プログラムが異常終了リンケージの確立に失敗したことを示します。

重大度: 04

CKF993I or CKV993I *program* タスク *taskname* *type*
に対する診断ダンプが抑止されました。異常
終了 *xxx* (**DIAGNOSTIC DUMP**
SUPPRESSED FOR *program* **TASK**
taskname *type* **ABEND** *xxx*)

説明: このメッセージは、プログラムの異常終了出口により診断要約ダンプの作成が試行されなかったことを示します。これは、印刷ファイルに関連する再帰的な異常終了状態を防ぐ目的で行われます。タスク名は、メインタスクまたはプログラム内の唯一のタスクの場合は PROGRAM です。マルチタスキング・プログラムの場合、*program* は、サブタスクの 1 つを示す可能性があります。

CKF995I or CKV995I LRECL が無効です。区分データ・セットに対して置き換えはされていません (**LRECL invalid; not overruled for partitioned data set**)

説明: このメッセージは、印刷ファイルのオープン・ルーチンによって検出された出力ファイルのレコード長が無効だったことを示します。これは、物理的順次データ・セットの正しい長さによって変更されるはずでしたが、既存の PDS メンバーをアクセス不能にすることがないように、区分データ・セットに対して変更は行われませんでした。無効なレコード長によって後続の 013 または 002 異常終了 (アベンド) が発生する可能性があります。

CKF996I or CKV979I MFREE: スタック *name* のブロック内で長さが見つかりません
(MFREE: NO LENGTH FOUND IN
BLOCK FOR STACK *name*)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 04

CKF997I or CKV997I スタック・エラー - ポップされたエレメントがスタック *name* の最上部にありません (**STACK ERROR - ELEMENT POPPED IS NOT ON TOP OF STACK** *name*)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKF998I or CKV998I *program* のスタック *tasklevel* *stackname* でスタック・オーバーフローが発生しました (**STACK OVERFLOW FOR STACK** *tasklevel* *stackname* **IN** *program*)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKF999I or CKV999I *program* 内のタスク *taskname* のヒープ *heapname* のストレージが不足しています - 領域を増やしてください
(STORAGE SHORTAGE FOR TASK
taskname **HEAP** *heapname* **IN** *program* **-**
INCREASE REGION)

説明: このメッセージは、プログラムに追加のストレージ

ジが必要であることを示します。ヒープ名が LOWHEAP の場合、要求は 16MB ライン以下のストレージに対するものです。

ユーザーの処置: メッセージ CKF034I を調べて、要求された領域と、ジョブ・ステップに付与された権限を判別してください。JOB または STEP カードの REGION 値を増やしてください。また、STORAGEGC コマンドを使用することも有益な場合がありますが、これにより CPU 使用量が増加します。問題のヒープが LOWHEAP だった場合は、このラインより下に使用可能なストレージが十分にありませんでした。このラインより上に十分なストレージがなく、LOWHEAP ストレージが代わりに使用された場合は、REGION を増やすことが依然として役立つ場合があります。このラインより下で実際にストレージが不足している場合は、PARALLEL オプションを使用して入出力並列処理を削減するか、または FREE オプションを使用して直ちに割り振りの解放を強制的に実行します。

重大度: 16

第 3 章 CKG メッセージ

この章では、メインフレームで CKGRACF プログラムにより発行されるメッセージについて説明します。CKGRACF プログラムは、zSecure Admin の一部です。待機コマンド (一時アクセスのような)、スケジュールの取り消しまたは再開、ユーザー・データ・フィールド、および RACF プロファイルの更新を必要とするその他の各種機能の処理に使用されます。このプログラムは、zSecure Visual でも使用されます。CKG メッセージのメッセージ接頭部の形式は、CKGnnnI です。この nnn はメッセージ番号です。メッセージ ID の後に、重大度コードが示されます。プログラムは、検出された最高位の重大度コードを完了コードとして返します。

CKGRACF のメッセージ番号の一般的な意味は次のとおりです。

100-399	状況または要約情報を示す通常のメッセージ。
400-499	DEBUG コマンドによるデバッグ・メッセージ
500-599	状況または要約情報を示す通常のメッセージ。
600-699	実行中に発生したエラー状態。
700-799	コマンドの実行前、入力の解析中に発生したエラー。
800-899	アーキテクチャー・サブコンポーネントによって発行されるメッセージ。
900-999	アーキテクチャー・サブコンポーネントによって発行されるメッセージ。

CKGRACF 重大度コード、つまり完了コードの一般的な意味は次のとおりです。

00	状況または要約情報を示す通常のメッセージ。
04	警告： コマンドが予期しない結果となる可能性がある状況が発生しました。例えば、デフォルト・パスワードを適用する待機コマンドが実行されたが、待機中にデフォルト・パスワードが変更されている場合などです。
08	処理中にエラー状態が発生しました。例えば、プロファイルが見つからなかったか、アクセスが否認された場合などです。
12	コマンド入力の構文エラー、または RACF データベースの USR データの形式が無効です。
16	資格付与の問題、または無効なファイル/サポートされていないファイルが CKGRACF に接続されました。
20	RACF データベースでサポートされていない状態が検出されたか、またはインストール・エラーが発生しました。
24	CKGRACF で内部エラー、または他の予期しない/サポートされない条件が検出されました。

メッセージはサブセクションに記載され、3 桁のメッセージ番号でグループ化されています。

メッセージ 100 から 199

CKG100I CKRSITE モジュールの内容: *contents*
(Contents of CKRSITE module:
contents)

説明: このメッセージは、SHOW CKRSITE コマンドの結果として出力されます。*contents* には、CKRSITE モジュールの該当する部分が表示されます。

重大度: 00

CKG101I ユーザー *user* の権限要件は *setting* です
(Authority requirement for user *user* is
setting)

説明: このメッセージは、AUTHORITY LIST コマンドの結果として出力されます。ユーザー *user* の複数権限要件が表示されます。

重大度: 00

CKG102I ユーザー *user* の権限要件はシステム・デフォルト (*setting*) です (Authority
requirement for user *user* is the
system default (*setting*))

説明: このメッセージは、AUTHORITY LIST コマンドの結果として出力されます。ユーザー *user* に適用されるシステム全体のデフォルトの複数権限要件が表示されます。

重大度: 00

CKG103I *field* の値は *value* です (*field is value*)

説明: このメッセージは、FIELD LIST コマンドの結果として出力されます。示されている *field* の値が表示されます。

重大度: 00

CKG104I 索引「*index*」を持つユーザー・データ・エレメントが見つかりませんでした (No
userdata elements with index '*index*'
found)

説明: このメッセージは、USRDATA LIST コマンドの結果として出力されます。USR フィールドに、示されている *index* を持つエントリーが含まれていないことが示されます。

重大度: 00

CKG105I 索引「*index*」のユーザー・データの値は
「*value*」です (Userdata with index
'*index*' is '*value*')

説明: このメッセージは、USRDATA LIST コマンドの結果として出力されます。示されている *index* を持つ 1 つの USR エントリーの USRDATA 部分が表示されます。

重大度: 00

CKG106I 次のコマンドを開始します: *command*
(Starting command: *command*)

説明: このメッセージは、各コマンドの開始時に出力されます。次に実行される *command* が表示されます。

重大度: 00

CKG107I コマンドが結果コード *code* で終了しました
(Command ended with result code
code)

説明: このメッセージは、正常に終了しなかったコマンドの終了時に発行されます。コマンドの結果 (*code*) が表示されます。この結果コードは、499 ページの『第 7 章 CKX メッセージ』に示されている CKX 戻りコードと同一です。このコマンドは、前の CKG106I メッセージにリストされます。

重大度: *code*

CKG108I 重大なコマンド・エラーが発生しました。
CKGRACF を終了しています (Serious
command error; terminating
CKGRACF)

説明: このメッセージは、8 よりも大きな結果コード (重大な処理エラー、RACF エラー、または内部エラーを示す結果コード) で終了したコマンドの終了時に発行されます。CKGRACF コマンド処理が終了しました。これ以降のコマンドは実行されません。このコマンドは、前の CKG106I メッセージにリストされます。

重大度: 00

CKG109I *user* の新しい【デフォルト】パスワードを入力してください (Please enter new
[default] password for user *user*)

説明: このメッセージは、ユーザー *user* の新規パスワードまたは新規デフォルト・パスワードの入力を求めます。

重大度: 00

CKG110I ユーザー *user* の新規 [デフォルト] パスワードをもう一度入力してください
(Please reenter new [default] password for user *user*)

説明: このメッセージは、ユーザー *user* の新規パスワードまたは新規デフォルト・パスワードを再度入力するよう求めます。

重大度: 00

CKG111I 最も大きな結果コードは *value* でした
(Highest result code was *value*)

説明: このメッセージは、コマンド処理完了後に発行され、実行されたコマンド・ストリームにおいて最も大きなコマンド結果コードを示します。1 以上の結果コードを戻すコマンドごとに、メッセージ CKG107I が発行されます。

重大度: *value*

CKG112I CKGRACF 予約済みユーザー・データ・エントリーが検出されませんでした (No CKGRACF-reserved userdata entries found)

説明: このメッセージは、LIST コマンドが CKGRACF 予約済み USR エントリーを検出できなかったことを示します。

重大度: 00

CKG113I *author* により *date time* にデフォルト・パスフレーズが設定されました (Default password phrase set by *author* at *date time*)

説明: このメッセージは、ターゲット・ユーザーのデフォルト・パスフレーズが設定されたことを示します。それには、コマンドを発行したユーザーと、デフォルト値が設定された日時が含まれています。デフォルト・パスフレーズはこのメッセージには示されません。

重大度: 00

CKG115I *author* により *date time* にデフォルト・パスワードが設定されました (Default password set by *author* at *date time*)

説明: このメッセージは、ターゲット・ユーザーのデフォルト・パスワードが設定されたことを示します。この設定を行ったユーザーと、設定日時が示されます。デフォルト・パスワードはこのメッセージには示されません。

重大度: 00

CKG116I ユーザー *user* により *date time* に、*date* の *schedule* に *type* アクションがスケジュールされました。理由: *reason* ユーザー *user* により *date time* に削除されました。削除の理由: *reason* (Scheduled type action for schedule on *date* by user on *date time* Reason: *reason* Deleted by user on *date time* Delete reason: *reason*)

説明: このメッセージは LIST コマンドにより出力され、1 つのスケジュール済み取り消し/再開アクションを示します。オプションの継続メッセージは、取り消し/再開の理由を示します。消去アクションの場合、スケジュール済みアクションを削除したユーザーを示します。

重大度: 00

CKG117I --- 取り消し/再開の全体的な状況 --- *date* から取り消し、*date* から再開 (--- Overall revoke/resume status --- Revoke from *date* Resume from *date*)

説明: このメッセージは LIST コマンドにより出力されます。スケジュール済みアクションの後に出力されます。継続メッセージには、ユーザーの取り消し/再開の全体的なスケジュールが示されます。

重大度: 00

CKG118I アテンションにより停止しました (Stopped due to attention)

説明: このメッセージは、アテンションにより CKGRACF が停止したことを示します。このメッセージは、実行中に ATTN キーが押されたコマンドの終了時にのみ発行されます。コマンドが途中で停止することはありません。

重大度: 00

CKG119I コマンド要求はキューに入れられました (Command request has been queued)

説明: このメッセージは、複数権限ユーザー ID に対する USER REQUEST コマンドがキューに入れられたことを示します。このコマンドは、実行前に別のユーザーによる承認が必要です。

重大度: 00

CKG120I スケジュールされているアクションが原因で、ユーザー *user* は再開されませんでした (**User *user* not resumed due to scheduled actions**)

説明: このメッセージは、示されている *user* に対してスケジュールされていたアクションが、ユーザーを取り消す必要があることを示しているため、このユーザー ID に対する USER RESUME コマンドがこのユーザー ID を再開しなかったことを示します。ユーザーを再開する必要がある場合は、USER SCHEDULE コマンドを使用してスケジュールされている取り消し/再開アクションを変更してください。

重大度: 08

CKG121I 削除後にユーザー *user* の状況が *status* に設定されました (**User *user* set to *status* after wipe**)

説明: このメッセージは、過去の日付に適用されたスケジュール済みアクションに対する USER SCHEDULE WIPE コマンドによって、示されている *user* の取り消し状況が *status* (取り消しまたは再開) に設定されたことを示します。これは、全体的なスケジュールが変更されたか、または以前の ALTUSER REVOKE または ALTUSER RESUME コマンドがスケジュール済み取り消し状態によってオーバーライドされたことが原因である可能性があります。

重大度: 0

CKG122I 削除後にユーザー *user* の状況が *status* のままでした (**User *user* left *status* after wipe**)

説明: このメッセージは、過去の日付に適用されたスケジュール済みアクションに対する USER SCHEDULE WIPE コマンドによって、示されている *user* の取り消し状況が変更されず、*status* (取り消しまたは再開) のままであることを示します。これは、全体的なスケジュールが変更されなかったか、または以前に実行された ALTUSER REVOKE または ALTUSER RESUME コマンドが変更された全体的なスケジュールに従っていることが原因である可能性があります。

重大度: 00

CKG123I ユーザー *user* の状況が削除後に取り消しのままか、または RESUME のために再開のままになっています (**User *user* left revoked after wipe, resumed due to RESUME**)

説明: このメッセージは、過去の日付に適用されたスケ

ジュール済みアクションに対する USER SCHEDULE WIPE コマンドによって、示されている *user* の取り消し状況が変更されず、取り消しのままであることを示します。ただし、同じ USER コマンドの後続の RESUME サブコマンドでは、ユーザーの取り消し状況が再開に設定されます。

重大度: 00

CKG126I ASK/REQ に対して実行できるコマンドは PERMIT/CONNECT/REMOVE/DELDSD/RDELETE のみです (**Only PERMIT/CONNECT/REMOVE/DELDSD/RDELETE allowed for ASK/REQ**)

説明: ASK/REQ (およびキューイング) でサポートされているコマンドは PERMIT/CONNECT/REMOVE/DELDSD/RDELETE のみです。このメッセージは、これ以外の RACF コマンドが指定されている場合に発行されます。

重大度: 08

CKG127I プロファイル *class profile* をロックできませんでした (**Failed to lock profile *class profile***)

説明: 指定されたターゲット・プロファイルのロックが失敗しました。プロファイル・データを読み取ることができず、コマンドを実行できません。

重大度: 08

CKG128I 待機コマンドの処理でエラーが発生しました (**Error in handling of queued command**)

説明: 待機コマンドの次のステージを処理しようとしたときにエラーが発生しました。

重大度: 08

CKG129I コマンドを保管できませんでした (**Failed to store command**)

説明: 待機コマンドの書き込みが失敗しました。このエラーは複数の原因によって発生することがあります (プロファイルに書き込みできない、プロファイルの USRDATA フィールドがフルなど)。

重大度: 08

CKG130I プロファイル *class profile* をアンロックできませんでした (**Failed to unlock profile class profile**)

説明: 指定されたターゲット・プロファイルを解放できませんでした。このプロファイルがアンロックされていない場合、その他のプログラムがこのプロファイルを使用することはできません。

重大度: 12

CKG131I 待機コマンドの処理でエラーが発生しました (**Error in handling of queued command**)

説明: 待機コマンドの次のステージを処理しようとしたときにエラーが発生しました。

重大度: 08

CKG132I **CKGRACF** 待機コマンド・エントリーが見つかりませんでした (**No CKGRACF queued command entries found**)

説明: このメッセージは、LIST コマンドが、リストされているプロファイル内で CKGRACF により作成され

た待機コマンド・エントリーを検出しなかったことを示します。

重大度: 00

CKG133I **CKGRACF** スケジュール・データ・エントリーが見つかりませんでした (**No CKGRACF schedule data entries found**)

説明: このメッセージは、LIST コマンドが、リストされているプロファイル内で CKGRACF により作成されたスケジュール・エントリーを検出しなかったことを示します。

重大度: 00

CKG135I *parameter* は **PARM** ストリングでのみ有効です (*parameter only valid in PARM string*)

説明: *parameter* NOCLOSE、NODUMP、または TEXTPIPE は、インクルード・ファイルではなくパラメーター・ストリングでのみ有効です。

重大度: 12

メッセージ 400 から 499

CKG400I *message*

説明: 各種デバッグ・コマンドの結果ですが、これらのコマンドについてはこのマニュアルでは説明しません。

重大度: 00

CKG401I 要求=**audit: SAF RC (16 進数) value; RACF RC (16 進数) value; RACF 理由 (16 進数) value (Request=audit: SAF RC (hex) value; RACF RC (hex) value; RACF reason (hex) value)**

説明: このメッセージは DEBUG SAFRC コマンドが原因で発行され、RACROUTE REQUEST=AUDIT 呼び出しの SAF および RACROUTE 結果コード/理由コードを示します。すべての値が 16 進数で表されます。

重大度: 00

CKG402I *class resource* への *level* アクセスを検査します (**Checking for level access to class resource**)

説明: このメッセージは DEBUG RACHECK コマンドが原因で発行され、検査されるアクセス・レベルのリソース名を示します。

重大度: 00

CKG403I 要求=**type: SAF RC (hex) value; RACF RC (16 進数) value; RACF 理由 (16 進数) value (Request=type: SAF RC (hex) value; RACF RC (hex) value; RACF reason (hex) value)**

説明: このメッセージは DEBUG SAFRC コマンドが原因で発行され、RACROUTE REQUEST= *type* 呼び出しの SAF および RACROUTE 結果コード/理由コードを示します。すべての値が 16 進数で表されます。

重大度: 00

CKG404I 要求=**extract,user: SAF RC (16 進数) value; RACF RC (16 進数) value; RACF 理由 (16 進数) value (Request=extract,user: SAF RC (hex) value; RACF RC (hex) value; RACF reason (hex) value)**

説明: このメッセージは DEBUG SAFRC コマンドが原因で発行され、ユーザー・プロファイルに対する RACROUTE REQUEST=EXTRACT 呼び出しの SAF および RACROUTE 結果コード/理由コードを示します。すべての値が 16 進数で表されます。

重大度: 00

CKG405I 要求=**extract,owner: SAF RC (16 進数)**
value; **RACFRACF RC (16 進数)**
valuevalue; RACFRACF 理由 (16 進数)
value (Request=extract,owner: SAF RC
(hex) value; RACF RC (hex) value;
RACF reason (hex) value)

説明: このメッセージは DEBUG SAFRC コマンドが原因で発行され、プロファイル所有者の検出を試行した RACROUTE REQUEST=EXTRACT 呼び出しの SAF および RACROUTE 結果コード/理由コードを示します。すべての値が 16 進数で表されます。

重大度: 00

CKG406I 要求=**extract,encrypt: SAF RC (16 進数)**
value; RACFRACF RC (16 進数)
valuevalue; RACFRACF 理由 (16 進数)
value (Request=extract,encrypt: SAF RC
(hex) value; RACF RC (hex) value;
RACF reason (hex) value)

説明: このメッセージは DEBUG SAFRC コマンドが原因で発行され、パスワードの暗号化を試行した RACROUTE REQUEST=EXTRACT,TYPE=ENCRYPT 呼び出しの SAC および RACROUTE 結果コード/理由コードを示します。すべての値が 16 進数で表されます。

重大度: 00

CKG407I **ICHEINTY type RC (16 進数) value; 理**
由 (16 進数) value (explanation)
(ICHEINTY type RC (hex) value; reason
(hex) value (explanation))

説明: このメッセージは DEBUG ICHEINTY コマンドが原因で発行され、プロファイルの読み取りを試行し、失敗した ICHEINTY 呼び出しの ICHEINTY 結果コードおよび理由コードと簡易説明を示します。すべての値が 16 進数で表されます。このメッセージは、クラスおよびプロファイル名を示す CKG661I の直後に出力されます。

重大度: 00

CKG408I **ICHEINTY CKGIWRT 書き込み RC (16**
進数) value; 理由 (16 進数) value
(explanation) (ICHEINTY CKGIWRT
write RC (hex) value; reason (hex) value
(explanation))

説明: このメッセージは DEBUG ICHEINTY コマンド

が原因で発行され、プロファイル書き込みを試行し、失敗した ICHEINTY 呼び出しの ICHEINTY 結果コードおよび理由コードと簡易説明を示します。すべての値が 16 進数で表されます。このメッセージは、クラスおよびプロファイル名を示す CKG662I の直後に出力されます。

重大度: 00

CKG409I **ICHEINTY type 削除 RC (16 進数)**
value; reason (16 進数) value
(explanation) (ICHEINTY type delete RC
(16 hex) value; reason (hex) value
(explanation))

説明: このメッセージは DEBUG ICHEINTY コマンドが原因で発行され、プロファイル削除を試行し、失敗した ICHEINTY 呼び出しの結果コードおよび理由コードと簡易説明を示します。すべての値が 16 進数で表されます。このメッセージは、クラスとプロファイル名を示す CKG663I の直後に出力されます。

重大度: 00

CKG410I 要求=**verify,create: RAF RC (16 進数)**
value; RACF RC (16 進数) value; RACF
理由 (16 進数) value
(Request=verify,create: RAF RC (hex)
value; RACF RC (hex) value; RACF
reason (hex) value)

説明: このメッセージは、DEBUG SAFRC がアクティブな場合に発行されます。

重大度: 00

CKG411I 要求=**verify,delete: RAF RC (16 進数)**
value; RACF RC (16 進数) value; RACF
reason (16 進数) value
(Request=verify,delete: RAF RC (hex)
value; RACF RC (hex) value; RACF
reason (hex) value)

説明: このメッセージは、DEBUG SAFRC がアクティブな場合に発行されます。

重大度: 00

CKG415I *class profile の id のアクセス権限を検査*
しています (Checking access for id on
class profile)

説明: このメッセージは、リソースに対するユーザーまたはグループのアクセス権限を検査中であることを示します。

重大度: 00

CKG416I RACF プロファイル: class profile (RACF profile: class profile)

説明: このメッセージは、DEBUG RACHECK が活動化され、この中に RACHECK に一致するプロファイルが含まれている場合に発行されます。

重大度: 00

CKG417I user はリソース所有者です [ではありません] (user is [not] resource OWNER)

説明: このメッセージは、ユーザーが、これより前に出力される CKG415I メッセージにより示されているリソースの所有者である [ではない] ことを示します。

重大度: 00

CKG418I user はリソース HLQ です [ではありません] (user is [not] resource HLQ)

説明: このメッセージは、ユーザー ID が、これより前に出力される CKG415I メッセージにより示されるリソースの HLQ に相当する [相当しない] ことを示します。

重大度: 00

CKG419I user は user attribute です (user is user attribute)

説明: このメッセージは、ユーザーが SPECIAL、OPERATIONS、AUDITOR、ROAUDIT であることを示します。

重大度: 00

CKG420I user が SPECIAL[, OPERATIONS、AUDITOR、または ROAUDIT] ではありません (user is not SPECIAL[, OPERATIONS、AUDITOR、or ROAUDIT])

説明: このメッセージは、ユーザーが SPECIAL でないことを示します。リソースへの読み取りアクセス権限が求められる場合、このメッセージはユーザーが OPERATIONS、AUDITOR、または ROAUDIT ではないことも示します。リソースは前の CKG415I メッセージによって示されます。

重大度: 00

CKG421I user は、リソース・グループ所有者チェーンの group の group attribute です (user is group attribute in group in the resource group owner chain)

説明: このメッセージは、ユーザーがリソース・グループ所有者チェーンのグループの GROUP SPECIAL、GROUP OPERATIONS、または GROUP AUDITOR であることを示します。リソースは前の CKG415I メッセージによって示されます。

重大度: 00

CKG422I user が、リソース・グループ所有者チェーンの GROUP SPECIAL[, GROUP OPERATIONS、または GROUP AUDITOR] ではありません。 (user is not GROUP SPECIAL[, GROUP OPERATIONS、or GROUP AUDITOR] in the resource group owner chain)

説明: このメッセージは、ユーザーがリソース・グループ所有者チェーンのグループの GROUP SPECIAL ではないことを示します。リソースへの読み取りアクセス権限が求められる場合、このメッセージはユーザーがリソース・グループ所有者チェーンの 任意のグループの GROUP OPERATIONS または GROUP AUDITOR ではないことも示します。リソースは前の CKG415I メッセージによって示されます。

重大度: 00

CKG423I user は、リソース HLQ グループ所有者チェーンの group の group attribute です (user is group attribute in group in the resource HLQ group owner chain)

説明: このメッセージは、ユーザーがリソース HLQ グループ所有者チェーンのグループの GROUP SPECIAL、GROUP OPERATIONS、または GROUP AUDITOR であることを示します。リソースは前の CKG415I メッセージによって示されます。

重大度: 00

CKG424I user が、リソース HLQ グループ所有者チェーンの GROUP SPECIAL[, GROUP OPERATIONS、または GROUP AUDITOR] ではありません。 (user is not GROUP SPECIAL[, GROUP OPERATIONS、or GROUP AUDITOR] in the resource HLQ group owner chain)

説明: このメッセージは、ユーザーがリソース HLQ

グループ所有者チェーンの任意のグループの GROUP SPECIAL ではないことを示します。リソースへの読み取りアクセス権限が求められる場合、このメッセージはユーザーがリソース HLQ グループ所有者チェーンの任意のグループの GROUP OPERATIONS または

GROUP AUDITOR ではないことも示します。リソースは前の CKG415I メッセージによって示されます。

重大度: 00

メッセージ 500 から 599

CKG500I 接続取り消し/再開を **UNTIL/FOR/LEN** と組み合わせて使用することはできません (**Connect revoke/resume is not supported in combination with UNTIL/FOR/LEN**)

説明: REVOKE、NOREVOKE、RESUME、および NORESUME パラメーターは、一時コマンド (UNTIL/LEN/FOR が指定されているコマンド) の CONNECT コマンドで使用することはできません。

重大度: 08

CKG501I 接続情報を読み取ることができません (**Unable to read connect information**)

説明: CKGRACF が、接続プロファイルの接続情報を読み取ることができませんでした。このプロファイルで文字化けが発生している可能性があります。

重大度: 08

CKG502I *class* は *command* の有効なクラスではありません (**class not a valid class for command**)

説明: *command* コマンドに USER/GROUP/CONNECT を指定しようとしてしました。

重大度: 12

CKG503I *command* の *class profile* プロファイルが見つかりませんでした (**class profile profile for command not found**)

説明: *command* コマンドのプロファイルが見つかりませんでした。このプロファイルは (適切に) 指定されていませんでした。完全修飾総称プロファイルの場合は、総称プロファイルを指定していることを確認してください。

重大度: 08

CKG504I *command* の *class profile* プロファイルが見つかりませんでした (**class profile profile for command not found**)

説明: *command* コマンドのプロファイルが見つかりま

せんでした。このプロファイルは (適切に) 指定されていませんでした。

重大度: 08

CKG505I 待機コマンドを解析できませんでした (**Failed to parse queued command**)

説明: 読み取り時に、既に保管されている待機コマンドを解析できませんでした。キューに入れられた後に変更されていました。

重大度: 12

CKG506I **CMD** サブコマンドはサポートされていません (**CMD subcommand not supported**)

説明: CMD に指定した RACF コマンドはサポートされていません。

重大度: 12

CKG507I **CMD** サブコマンド解析エラー (**CMD subcommand parsing error**)

説明: CMD に指定された RACF コマンドの構文が誤っています。このコマンドの構文を確認してください。

重大度: 12

CKG508I **IKJPARS** の内部エラー (**Internal error in IKJPARS**)

説明: 指定された RACF コマンドの解析中にエラーが発生しました。このコマンドの構文を確認してください。

重大度: 20

CKG509I パラメーターの入力を求めるプロンプトを出すことができませんでした (**Could not prompt for parameters**)

説明: CMD に指定された RACF コマンドにはさらに入力が必要ですが、非対話式セッションではこの入力が行われませんでした。

重大度: 12

CKG510I ATTN が押されました (ATTN pressed)

説明: 指定された RACF コマンドの解析中に ATTN キーが押されました。

重大度: 12

CKG511I 不明な RACF 解析エラー (Unknown RACF parse error)

説明: パーサーまたは CKGRACF に対して不明な RACF コマンドの解析中にエラーが発生しました。

重大度: 20

CKG512I UNTIL/FOR/LEN が指定されている場合は FROM は使用できません (FROM not allowed for UNTIL/FOR/LEN)

説明: 一時コマンド (UNTIL/LEN/FOR が指定されているコマンド) では、PERMIT コマンドの FROM パラメーターはサポートされていません。CMD AT を使用してリバース・コマンドをユーザー自身が要求してください。

重大度: 12

CKG513I UNTIL/FOR/LEN が指定されている場合は WHEN はサポートされていません (WHEN is not supported with UNTIL/FOR/LEN)

説明: 一時コマンド (UNTIL/LEN/FOR が指定されているコマンド) では、プロファイルの条件付きアクセス・リストの変更はサポートされていません。CMD AT を使用してリバース・コマンドをユーザー自身が要求してください。

重大度: 12

CKG514I UNTIL/FOR/LEN が指定されている場合は RESET は使用できません (RESET not allowed for UNTIL/FOR/LEN)

説明: 一時コマンド (UNTIL/LEN/FOR が指定されているコマンド) では、アクセス・リストのリセットは許可されていません。追加の CMD コマンドを使用してリバース・コマンドを発行してください。

重大度: 12

CKG515I UNTIL/FOR/LEN では 1 つの ID のみがサポートされています (Only one ID supported for UNTIL/FOR/LEN)

説明: 一時コマンド (UNTIL/LEN/FOR が指定されて

いるコマンド) では、PERMIT コマンドの ID() パラメーターには ID を 1 つのみ指定できます。複数の CMD コマンドを発行してください。

重大度: 12

CKG516I クラス DATASET および PROGRAM ではアクセス権限 EXECUTE のみ許可されています (Access EXECUTE only allowed for classes DATASET and PROGRAM)

説明: クラス DATASET および PROGRAM では、PERMIT コマンドのアクセス権限レベル EXECUTE のみが許可されています。

重大度: 08

CKG517I CONNECT/REMOVE では 1 つのユーザー ID のみがサポートされています (Only one userid supported for CONNECT/REMOVE)

説明: CONNECT または REMOVE コマンドのユーザー ID パラメーターには 1 つのユーザー ID のみを指定できます。複数の CMD コマンドを発行してください。

重大度: 12

CKG518I UNTIL/FOR/LEN は PERMIT/CONNECT/REMOVE では使用できますが、command では使用できません (UNTIL/FOR/LEN only allowed with PERMIT/CONNECT/REMOVE, and not with command)

説明: UNTIL/FOR/LEN でサポートされているコマンドは PERMIT/CONNECT/REMOVE のみです。

重大度: 12

CKG530I INDD、OUTDD、および ERRDD はパラメーター・ストリングでのみ有効です。(INDD, OUTDD, and ERRDD only valid in the parameter string.)

説明: PARM ストリング外部で INDD、OUTDD、または ERRDD のオカレンスが検出されました。

重大度: 12

CKG569I 指定された ID *id* は **USER** でも **GROUP** でもありません (**Specified ID *id* not USER or GROUP**)

説明: ACCESS コマンドに指定されたユーザー ID がユーザーでもグループでもありませんでした。構文は CKGRACF ACCESS <id> <class> <resource> です。

重大度: 08

CKG570I クラス *class* がアクティブではありません (**Class *class* is not active**)

説明: クラスがアクティブではないため、要求された ACCESS が未決定です。この場合は、ほとんどのアプリケーションがアクセスを許可されます。

重大度: 00

CKG571I クラス *class* が **RACFRACF** に対して定義されていません (**Class *class* is not defined to RACF**)

説明: クラスがクラス記述子テーブルに定義されていないため、要求された ACCESS が未決定です。この場合は、ほとんどのアプリケーションがアクセスを許可されます。

重大度: 00

CKG572I **RACF** が非アクティブです。

説明: RACF がアクティブではないため、要求された ACCESS が未決定です。この場合は、ほとんどのアプリケーションがアクセスを許可されます。

重大度: 00

CKG573I **RACF** が非アクティブであり、クラス *class* がアクティブではありません (**RACF is inactive and class *class* is not active**)

説明: RACF とクラスが非アクティブであるため、要求された ACCESS が未決定です。この場合は、ほとんどのアプリケーションがアクセスを許可されます。

重大度: 00

CKG574I **RACF** がインストールされていないか、または十分なレベルではありません (**RACF is not installed, or has an insufficient level**)

説明: RACF がインストールされていないか、CKGRACF 照会に対応できる十分なレベルにないた

め、要求された ACCESS が未決定です。この場合は、ほとんどのアプリケーションがアクセスを許可されます。

重大度: 00

CKG575I サポートされない **STAT** 戻りコード。
(**Unsupported STAT return code.)SAF (16 進数) *nn*; RACF (16 進数) *nn* (SAF (hex) *nn*; RACF (hex) *nn*)**)

説明: 要求された ACCESS が未決定です。クラスに対して RACSTAT 呼び出しが実行されましたが、戻りコードに組み込み変換処理がありません。この場合は、ほとんどのアプリケーションがアクセスを許可されます。

重大度: 00

CKG576I 現行状況: *status* (**Current status: *status***)

説明: このメッセージは、異常終了が発生した場合に出力されます。コマンド処理中に、このメッセージに続いてメッセージ CKG952I が出力されることがあります。*status* は、異常終了時点でのプログラムのおおよそのアクティビティーを示します。

重大度: 00

CKG577I 現行コマンド: *command* (**Current command: *command***)

説明: このメッセージは、コマンド処理中に異常終了が発生した場合に出力されます。このメッセージは、メッセージ CKG951I に続いて出力されます。*command* は、処理中の現行コマンドを示します。

重大度: 00

CKG578I *class profile* に **TVTOC** が含まれていません (***class profile* contains a TVTOC**)

説明: ACCESS コマンドからこの予期しない応答が出力されました。

重大度: 00

CKG579I *class profile* に **TVTOC** が含まれている可能性があります、現時点では含まれていません (***class profile* can contain a TVTOC, but currently does not**)

説明: ACCESS コマンドからこの予期しない応答が出力されました。

重大度: 00

CKG580I *class profile* に **TVTOC** が含まれていません (*class profile does not contain a TVTOC*)

説明: ACCESS コマンドからこの予期しない応答が出されました。

重大度: 00

CKG581I **RRSF** 伝搬のために[新規 | デフォルト] パスフレーズが準備されました ([**New | Default**] **password phrase prepared for RRSF propagation**)

説明: このメッセージは、パスワード同期パッケージが管理下にあり、このパッケージにパスフレーズを平文で渡す必要があると CKGRACF が判断したことをユーザーに通知します。同期できるコマンドは PWSET PHRASE および PWSET PASSWORD のみです。待機 PWSET PHRASE コマンドのパスフレーズは、固定キーを使用して双方向暗号化 (ハッシュ化) されています。このようなコマンドが完了する時点で、そのパスフレーズが暗号化解除され、ENCRYPT=YES が指定された平文として送信されます。

重大度: 00

CKG582I *type* には *class profile* への *level* アクセス権限があります (*type has level access to class profile*)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。ユーザーまたはグループ (*type*) の、クラス *class* 内の指定された *profile* へのアクセス・レベルは *level* です。

重大度: 00

CKG583I *class profile* が無保護です。
PROTECTALL(WARNING) モードです (*class profile is unprotected, protectall in warning mode*)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。指定されているリソースの総称プロファイルがなく、RACF が PROTECTALL(WARNING) モードで稼働しているため、ユーザーまたはグループはデータ・セットに自由にアクセスできます。警告メッセージが発行されますが、アクセスは許可されます。唯一の例外として、個別データ・セット・プロファイルがある場合、リソースは実際には保護されていることがあります。現行 ACCESS コマンドでは、個別データ・セット・プロファイルはサポートされていません。

重大度: 00

CKG584I *class profile* は **PROTECTALL(FAIL)** モードで保護されています (*class profile is protected by protectall fail mode*)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。指定されているリソースの総称プロファイルがなく、RACF が PROTECTALL(FAIL) モードで稼働しているため、ユーザーやグループはデータ・セットにアクセスできません。唯一の例外として、個別データ・セット・プロファイルがある場合、リソースは実際にはアクセス可能であることがあります。現行 ACCESS コマンドでは、個別データ・セット・プロファイルはサポートされていません。

重大度: 00

CKG585I **noprotectall** であるため *class profile* が保護されていません (*class profile is unprotected because of noprotectall*)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。指定されているリソースの総称プロファイルがなく、RACF が NOPROTECTALL モードで稼働しているため、ユーザーまたはグループはデータ・セットに自由にアクセスできます。唯一の例外として、個別データ・セット・プロファイルがある場合、リソースは実際には保護されていることがあります。現行 ACCESS コマンドでは、個別データ・セット・プロファイルはサポートされていません。

重大度: 00

CKG586I *class profile* の保護は **SAF** により決定されませんでした。アプリケーションにより決定されます。 (**protection undecided by SAF, application decides**)

説明: 要求された ACCESS が未決定です。クラスはアクティブですが、一致するプロファイルが見つかりませんでした。この場合、アプリケーションによってアクセスが許可される場合と許可されない場合があります。

重大度: 00

CKG587I *type* には *class profile* への権限がありません (*type is not authorized to class profile*)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。ユーザーまたはグループはリソースにアクセスできません。

重大度: 00

CKG588I *type* にはボリューム *volser* を使用する権限がありません (***type is not authorized to use volume volser***)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。ユーザーまたはグループはリソースにアクセスできません。

重大度: 00

CKG589I *type* には *class profile* を使用する権限がありません (***type is not authorized to use class profile***)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。ユーザーまたはグループ (*type*) はリソースにアクセスできません。

重大度: 00

CKG590I *type* にはカタログされていないデータ・セットを開く権限がありません (***type is not authorized to open non-cataloged dataset***)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。CATDSNS 設定が原因で、ユーザーまたはグループ (*type*) はリソースにアクセスできません。

重大度: 00

CKG591I システムが安定状態の場合、*type* には権限がありません (***type is not authorized when system is in tranquil state***)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。システムが MLQUIET 安定状態であるため、ユーザーまたはグループ (*type*) はリソースにアクセスできません。

CKG592I *type* には *class profile* への EXECUTE アクセス権限があります (***type has EXECUTE access to class profile***)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。一般に、このメッセージが表示されることはありません。

重大度: 00

CKG593I *class profile seclabel* はユーザーにより支配されていません (***class profile seclabel not dominated by user***)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。リソースの *seclabel* はユーザーに支配されているものではないため、ユーザーまたはグループ (*type*) はリソースにアクセスできません。

重大度: 00

CKG594I ユーザーは *class profile seclabel* を支配できません (***class profile seclabel cannot be dominated by user***)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。リソースの *seclabel* はユーザーに支配されているものではないため、ユーザーまたはグループ (*type*) はリソースにアクセスできません。

CKG595I *class profile* に必要な *saclabel* が欠落しています (***class profile required seclabel missing***)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。リソースまたはユーザーのいずれか一方に *seclabel* があり、もう一方に *saclabel* がないため、ユーザーまたはグループ (*type*) はリソースにアクセスできません。

重大度: 00

CKG596I REQUEST=VERIFY は出口で失敗しました (***REQUEST=VERIFY was failed by exit***)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。サイト出口により CKGRACF のセキュリティ環境を確立できないため、アクセス権限検査が失敗しました。

重大度: 00

CKG597I *type* は取り消されています (***type has been revoked***)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。CKGRACF のセキュリティ環境を確立できないため、アクセス権限検査が失敗しました。これは、ユーザーが現在取り消されていることが原因で発生します。

重大度: 00

CKG598I *type* の *seclabel* がないか、または *seclabel* が十分ではありません (***type has insufficient or no seclabel***)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。CKGRACF のセキュリティ環境を確立できないため、アクセス権限検査が失敗しました。これは、ユーザー *saclabel* がないか、または十分でないために発生します。

重大度: 00

CKG599I サポートされていない AUTH 戻りコード: SAF RC (16 進数) *nn*; RACF RC (16 進数) *nnnn*; RACFRACF 理由 (16 進数) *nnnn*; クラス *class*; プロファイル *profile* (Unsupported AUTH return code: SAF RC (hex) *nn*; RACF RC (hex) *nn*; RACF reason (hex) *nn*; Class *class*; Profile *profile*)

説明: これは ACCESS コマンドへの応答です。これは、CKGRACF によりテキスト・メッセージに変換されない SAF および RACF の戻りコードのキャッチオール・メッセージです。

重大度: 00

メッセージ 600 から 699

CKG600I プロファイル *class profile* が見つかりませんでした (Profile *class profile* not found)

説明: 示されているプロファイルは、現行コマンドのターゲットとして指定されていますが、存在していません。現行コマンドを実行できません。RACROUTE 戻りコードを表示するには、DEBUG RACROUTE を使用します。メッセージ CKG404I (USER プロファイルの場合) または CKG405I (その他のすべてのプロファイル・タイプ) に RACROUTE,request=EXTRACT 戻りコードが示されています。

重大度: 08

CKG601I プロファイル *class profile* の所有者 (ID=*owner*) が見つかりません (Owner of profile *class profile* (ID=*owner*) not found)

説明: 示されているプロファイルの所有者は *owner* ですが、これはユーザー ID でもグループ ID でもありません。これは、RACF データベースのエラーを示します。VERIFY PERMIT コマンドを実行してください。

重大度: 04

CKG602I プロファイル *class profile* が原因で所有者がループしています (Profile *class profile* leads to owner loop)

説明: 示されているプロファイルの所有者であるグループの所有者ツリーが原因で、ループが発生しています。これは、RACF データベースのエラーを示します。VERIFY GROUPTREE コマンドを実行してください。

重大度: 20

CKG603I *class profile* の有効範囲プロファイルが長すぎます (Scope profile too long for *class profile*)

説明: 示されているプロファイルの有効範囲リソース名は 255 文字を超えるため構成できません。示されてい

るプロファイルに対する有効範囲検査は常に失敗します。これを解決するには、RACF データベース内のグループ・ツリー構造を簡素化してください。

重大度: 08

CKG604I *file* の行 *n* のコマンドのコマンド・リソース *class resource* へのアクセス *access* が否認されました (Access *access* to command resource *class resource* denied for command at file line *n*)

説明: 入力ファイル *file* の行 *n* にあるコマンドへのアクセスでは、コマンド・リソース *resource* への *access* アクセス権限が必要でした。アクセスが否認されました。コマンドは実行されません。

重大度: 08

CKG605I プロファイル *class profile* は、*file* の行 *n* のコマンドの有効範囲内にありません (Profile *class profile* not in scope for command at file line *n*)

説明: 両方の SCP プロファイルの検査後に、入力ファイル *file* の行 *n* にあるコマンドのターゲット・プロファイル *class profile* へのアクセスが否認されました。このコマンドは実行されません。このメッセージの原因を判別するには、IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF を使用している場合には SETUP TRACE の「Show CKGRACF command flow」を使用します。または、CKGRACF DEBUG コマンドを直接使用します。これにより、実行されるアクセス権限検査が表示されるので、状況を確認することができます。さらに、追加権限を要求できる場合もあります。

重大度: 08

CKG606I *file* の行 *n* にあるコマンドの *class profile* および索引「*index*」のユーザー・データにアクセスできませんでした (**Access to userdata failed for class profile and index 'index' for command at file line *n***)

説明: 入力ファイル*file* の行 *n* にあるコマンドのターゲット・プロファイル *class profile* の示されている *index* を持つ USR エントリーにアクセスしようとしたところ、アクセスが否認されました。USRDATA コマンドは実行されません。

重大度: 08

CKG607I パスワード・ヒストリーに *type* パスワードが含まれています (**type password occurs in password history**)

説明: *type* により指定された新規パスワードまたは新規デフォルト・パスワードが、ユーザーのパスワード・ヒストリーに含まれています。新規パスワードまたはデフォルト・パスワードは設定されません。

重大度: 08

CKG608I ファイル *ddname* データ・セット *dsname* の組み込みメンバー *member* のオープンが失敗しました (**Open failed for imbedded member member of file *ddname* dataset *dsname***)

説明: このメッセージは、メンバーに対して INCLUDE または IMBED コマンドが発行されたが、ファイルに割り振られたデータ・セットでそのメンバーを開けなかったことを示します。ジョブ・ログで MVS/DFP メッセージまたは異常終了コードを調べてください。

重大度: 12

CKG609I 組み込みファイル *ddname* データ・セット *dsname* のオープンが失敗しました (**Open failed for imbedded file *ddname* dataset *dsname***)

説明: このメッセージは、ファイルに対して INCLUDE または IMBED コマンドが発行されたが、そのファイルを開けなかったことを示します。ジョブ・ログでメッセージまたは異常終了コードを調べてください。

重大度: 12

CKG610I *field* に対する *action* アクションが失敗しました (**action action for field failed**)

説明: このメッセージは、FIELD コマンドで *field* に対する *action* が失敗したことを示します。

重大度: 08

CKG611I PWCONVERT コマンドが否認されました - ユーザーが SPECIAL ではありません (**PWCONVERT command refused - user not SPECIAL**)

説明: このメッセージは、ユーザーに SPECIAL 権限がないために PWCONVERT コマンドが実行されなかったことを示します。

重大度: 08

CKG612I ユーザー *user* のパスワードはハッシュ化されません (**Password for user *user* is not hashed**)

説明: このメッセージは、ターゲット・ユーザー *user* の現行パスワードがハッシュ化されていないために、このターゲット・ユーザーに対する PWCONVERT コマンドが実行されなかったことを示します。

重大度: 08

CKG613I ユーザー *user* のパスワードを変換できませんでした (**Could not convert password for user *user***)

説明: このメッセージは、ターゲット・ユーザー *user* のハッシュ化解除されたパスワードをインストール済み環境の暗号化方式で暗号化できなかったために、このターゲット・ユーザーに対する PWCONVERT コマンドが実行されなかったことを示します。これは、インストール済み環境のパスワード暗号化出口 ICHDEX01 または ICHDEX11 が原因である可能性があります。DEBUG SAFRC を使用して RACROUTE 戻りコードを確認してください。メッセージ CKG406I i に、RACROUTE 暗号化戻りコードが示されています。

重大度: 08

CKG614I RDELETE コマンドが否認されました - ユーザーが SPECIAL ではありません (**RDELETE command refused - user not SPECIAL**)

説明: このメッセージは、ユーザーに SPECIAL 権限がないために RDELETE コマンドが実行されなかったことを示します。

重大度: 08

CKG615I 「*authority*」要件を持つユーザー *user* に対して無効なコマンド・アクション; *file* の行 *n* のコマンド (**Command action invalid for user *user* with '*authority*' requirement; command at file line *n***)

説明: このメッセージは、USER コマンドが、複数権限要件 *authority* を持つユーザー *user* に対して無効な待機コマンド・アクションとともに使用されたことを示します。

重大度: 08

CKG616I デフォルトの [パスワード | パスフレーズ] が見つかりません - プロンプトが出されます (**No default [password | password phrase] found - prompting**)

説明: このメッセージは、USER PWSET DEFAULT コマンドまたは USER PWSET DEFAULT PHRASE コマンドが発行されたが、デフォルトのパスワードまたはパスフレーズが見つからなかったことを示します。(これは、同じ USER コマンドの USER PWDEFAULT DELETE コマンドが原因である可能性があります。) CKGRACF は、新規のパスワードまたはパスフレーズの入力を求めるプロンプトを出そうとします。これが失敗すると、メッセージ CKG618I が発行されます。

重大度: 00

CKG617I デフォルトの [パスワード | パスフレーズ] の入力を求めるプロンプトを出す操作が失敗しました (**Prompting for default [password | password phrase] password failed**)

説明: このメッセージは、USER PWDEFAULT PROMPT コマンドまたは USER PWDEFAULT PROMPT PHRASE コマンドが発行されたことを示します。CKGRACF はデフォルトのパスワードまたはパスフレーズの入力を求めるプロンプトを出そうとしましたが、失敗しました。これは、ユーザーのプロファイル設定 (例: PROFILE NOPROMPT) が原因である可能性があります。USER コマンドは実行されません。

重大度: 08

CKG618I [パスワード | パスフレーズ] の入力を求めるプロンプトを出す操作が失敗しました (**Prompting for [password | password phrase] password failed**)

説明: このメッセージは、USER PWSET PROMPT コマンドまたは USER PWSET PROMPT PHRASE コマンドが発行されたが、デフォルトのパスワードまたはパスフレーズが見つからなかったことを示します。

CKGRACF はパスワードまたはパスフレーズの入力を求めるプロンプトを出そうとしましたが、失敗しました。これは、ユーザーのプロファイル設定 (例: PROFILE NOPROMPT) が原因である可能性があります。USER コマンドは実行されません。

重大度: 08

CKG619I 前の [パスワード | パスフレーズ] を読み取ることができませんでした (**Could not read previous [password | password phrase]**)

説明: このメッセージは、USER PWSET PREVIOUS コマンドまたは USER PWSET PREVIOUS PHRASE コマンドが発行されたが、KDFAES が有効でないときに前のパスフレーズが作成されたなどの理由で、前のパスワードまたはパスフレーズを読み取ることができなかったことを示します。USER コマンドは実行されません。

重大度: 08

CKG620I REQUEST オプションを指定して要求されたコマンドは既にキューに入っています (**Requested command was already in queue**)

説明: このメッセージは、REQUEST オプションが指定された USER コマンドが使用されたが、要求されたコマンドは既にターゲット・コマンド・キューに入れていたことを示します。要求が許可されるには、以前の待機コマンドが完了、否認、または停止される必要があります。CONNECT および REMOVE のターゲット・プロファイルは USER プロファイルではなく GROUP プロファイルである点に注意してください。

重大度: 08

CKG620 REQUEST/ASK オプションを指定して要求されたコマンドは既にキューに入っています (**Requested/asked command was already in queue**)

説明: このメッセージは、REQUEST または ASK オプションが指定された USER コマンドが使用された

が、要求されたコマンドは既にターゲット・コマンド・キューに入れられていたことを示します。要求が許可されるには、以前の待機コマンドが完了、否認、または停止される必要があります。CONNECT および REMOVE のターゲット・プロファイルは USER プロファイルではなく GROUP プロファイルである点に注意してください。

重大度: 08

CKG621I コマンドがキュー内で見つかりませんでした (**Command not found in queue**)

説明: このメッセージは、WITHDRAW、SECOND、または COMPLETE オプションを指定した USER コマンドが使用されたが、要求されたコマンドがユーザーのコマンド・キューで見つからなかったか、既に非アクティブにされていたことを示します。

重大度: 08

CKG622I 索引「*index*」のユーザー・データを置換できませんでした。古いデータが見つかりませんでした (**Could not replace userdata with index 'index': old data not found**)

説明: このメッセージは、示されている索引 *index* の USR エントリーに対する USRDATA REPLACE コマンドが失敗したことを示します。古い値を持つエントリーがありませんでした。

重大度: 08

CKG623I *type* パスワードは、パスワード規則では許可されていません (**type password not allowed by password rules**)

説明: このメッセージは、*type* により示される新規パスワードまたは新規デフォルト・パスワードが、システムのどのパスワード規則にも一致しなかったことを示します。新規パスワードまたは新規デフォルト・パスワードは使用されません。

重大度: 08

CKG624I PWDX 出口で異常終了が発生しました - これ以降抑止されます (**ABEND in PWDX exit - suppressed from now on**)

説明: このメッセージは、インストール済み環境の新規パスワード出口 ICHPWX01 の呼び出し中に異常終了が発生したことを示します。現在の CKGRACF 実行中に、この出口が再度呼び出されることはありません。

重大度: 08

CKG625I パスワードの入力を求めるプロンプトを出すことができませんでした (**Could not prompt for password**)

説明: このメッセージは、新規パスワードの入力/再入力を求めるプロンプトが失敗したことを示します。これは、ユーザーのプロファイル設定 (例: PROFILE NOPROMPT) が原因である可能性があります。

重大度: 08

CKG626I パスワードが同一ではありません - プロンプトが再度出されます (**Passwords are not identical - prompting again**)

説明: このメッセージは、プロンプトで入力されたパスワードと再入力されたパスワードが一致しないことを示します。パスワードの入力を求めるプロンプトが再度出されます。プロンプト操作を終了するには、空のパスワードを 2 回入力します。

重大度: 00

CKG627I 理由が USRDATA に収まりません。切り捨てられます。 (**Reason does not fit in USRDATA; truncated**)

説明: このメッセージは、キューに入れられる USER SCHEDULE コマンドに指定された理由フィールドが、USRDATA 繰り返しグループに収まらないことを示します。理由において、収まる部分は組み込まれますが、収まらない部分は失われます。このメッセージが出力されるのは、アクティブまたはバックアップ RACF データベースが再構造化データベースではない場合のみです。

重大度: 04

CKG628I アクション「*requested-action*」は許可されていません。最終アクション「*action*」; 権限「*setting*」 (**Action '*requested-action*' not allowed; last action '*action*'; authority '*setting*'**)

説明: このメッセージは、待機コマンド・アクション *requested-action* が指定されたことを示します。複数権限要件 *setting* を持つユーザー ID に対して行われた、示されている直前の *action* の後では、このアクションは許可されません。

重大度: 08

CKG629I アクション「*requested-action*」は許可されていません。「*action*」アクションを実行しました。**(Action 'requested-action' not allowed; you performed 'action')**

説明: このメッセージは、待機コマンド・アクション *requested-action* が指定されたことを示します。ユーザーは示されている *action* を以前に実行したため、このアクションは許可されません。待機コマンドの各コマンド・アクションは、異なるユーザーによって実行される必要があります。

重大度: 08

CKG630I アクションは許可されていません。コマンドの有効期限が切れています **(Action not allowed; command has expired)**

説明: このメッセージは、待機コマンド・アクションが指定されているが、待機コマンドの有効期限が切れているため、このアクションは許可されないことを示します。

重大度: 08

CKG631I 索引「*index*」の CKGRACF 予約エンタリーが不明なエンタリーです **(Unknown CKGRACF-reserved entry with index 'index')**

説明: このメッセージは、LIST コマンドが、示されている *index* で不明な CKGRACF 予約 USR エントリーを検出したことを示します。これは、CKGRACF 以外で行われた設定、または試用版インストール中などに、新しいリリースの CKGRACF リリースによって行われた設定が原因である可能性があります。このようなエンタリーを削除するには、WIPE UNDEFINED を使用します。

重大度: 08

CKG632I 索引「*index*」のユーザー・データ・エレメントを削除できませんでした。**(Could not delete userdata elements with index 'index'.)**

説明: このメッセージは、USRDATA コマンドが示されている *index* の USR エントリー・エレメントを削除できなかったことを示します。このようなエレメントが見つからなかったか、または USR エントリーに指定されている USRDATA 値が一致していませんでした。

重大度: 08

CKG633I *file* の行 *n* のコマンドに対し、スケジュール「*schedule*」へのアクセスが否認されました **(Access to schedule 'schedule' denied for command at file line n)**

説明: USER SCHEDULE コマンドに対し、示されている *schedule* へのアクセスが否認されました。

重大度: 08

CKG634I 権限設定の形式が誤っています **(Authority setting has a wrong format)**

説明: このメッセージは、正しくない形式の複数権限設定が検出されたことを示します。このメッセージは、CKGRACF のバグか、または対象ユーザー ID の USR フィールドが非互換の異なるコマンドによって変更されたことを示している場合があります。

AUTHORITY DELETE または WIPE AUTHORITY を使用して、ターゲット・ユーザー ID から複数権限設定を削除してください。エラーが再度発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKG635I デフォルトの [パスワード | パスフレーズ] 設定の形式が誤っています **(Default [password | password-phrase] setting has a wrong format)**

説明: このメッセージは、正しくない形式のデフォルト・パスワード設定またはデフォルト・パスフレーズ設定が検出されたことを示します。このメッセージは、CKGRACF の問題、または対象ユーザー ID の USR フィールドが非互換の、別のコマンドによって既に変更されていることを示している場合があります。USER PWDEFAULT DELETE [PASSWORD | PHRASE] コマンドを使用して、対象ユーザー ID から正しくない設定を削除してみてください。メッセージがパスワード設定に言及している場合は、WIPE DEFAULTPW サブコマンドを使用して、対象ユーザー ID のデフォルト・パスワードを削除してみることもできます。エラーが再度発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKG636I フィールド「*description*」に対して指定された長さ *size* が正しくありません
(**Wrong length size specified for field 'description'**)

説明: このメッセージは、示されている置換対象または削除対象 *description* のフィールドに対して指定された値のサイズ(示されている *size*) が正しくないことを示します。このメッセージが FIELD コマンドに関係している場合は、指定可能なサイズについて「zSecure Admin and Auditユーザー・リファレンス・マニュアル」の『CKGRACF FIELD のフィールド』という表を参照してください。このメッセージが USER RECREATE コマンドに関係している場合は、指定可能なサイズについて「zSecure Admin and Auditユーザー・リファレンス・マニュアル」の『CKGRACF USER RECREATE のオプション』という表を参照してください。*description* が「password」である場合、このメッセージは最初(または唯一)の ENCRYPTED_PASSWORD の値を示します。

重大度: 08

CKG637I フィールド「*description*」は使用できません。(Field '*description*' not available.)

説明: このメッセージは、示されている *description* のフィールド(表示対象、置換対象、または削除対象)が使用できないことを示します。FIELD コマンドの実行結果としてこのメッセージが出力されたものでない場合は、内部エラー状態を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKG638I フィールド「*description*」の値が一致しません (Values for field '*description*' do not match)

説明: 置換対象または削除対象の示されている *description* のフィールドが、指定された値に一致しません。これは FIELD コマンドの実行結果として発行されます。

重大度: 08

CKG639I 待機コマンドの形式が誤っています (Queued command has a wrong format)

説明: このメッセージは、形式が正しくない待機コマンドが検出されたことを示します。このメッセージは、

CKGRACF のバグか、または対象ユーザー ID の USR フィールドが非互換の異なるコマンドによって変更されたことを示している場合があります。WIPE QUEUE を使用して、ターゲット・ユーザー ID から待機コマンドを削除してください。エラーが再度発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKG640I ユーザー *user* の *type* パスワードを暗号化できませんでした (Could not encrypt *type* password for user *user*)

説明: このメッセージは、(*type* により示される) 新規パスワードまたは新規デフォルト・パスワードが、インストール済み環境の暗号化方式を使用して暗号化できなかったために、ターゲット・ユーザー *user* に対する USER コマンドが実行されなかったことを示します。これは、インストール済み環境のパスワード暗号化出口 ICHDEX01 または ICHDEX11 が原因である可能性があります。DEBUG SAFRC を使用して RACROUTE 戻りコードを確認してください。メッセージ CKG406I に、RACROUTE 暗号化戻りコードが示されています。

重大度: 08

CKG641I *type* パスワードは新規パスワード出口では許可されていません (*type* password not allowed by new-password exit)

説明: このメッセージは、*type* により示される新規パスワードまたは新規デフォルト・パスワードが、インストール済み環境の新規パスワード出口 ICHPWX01 で許可されなかったことを示します。新規パスワードまたは新規デフォルト・パスワードは使用されません。

重大度: 08

CKG642I スケジュール済みアクションの形式が誤っています (Scheduled action has a wrong format)

説明: このメッセージは、スケジュールされているが形式が誤っている取り消し/再開アクションが検出されたことを示します。このメッセージは、CKGRACF のバグか、または対象ユーザー ID の USR フィールドが非互換の異なるコマンドによって変更されたことを示している場合があります。WIPE SCHEDULE を使用して、ターゲット・ユーザー ID からスケジュール済みアクションを削除してください。エラーが再度発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセ

ージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKG643I アクションを実行しない場合は **ENTER** を 2 回押してください (**Press enter twice for no action**)

説明: これはエラーを示すメッセージではありません。これはパスワード・プロンプトが出される前に出力され、**Enter** を 2 回押すとパスワード・プロンプトを終了できることを示します。

重大度: 00

CKG644I パスワードが入力されませんでした (**No password entered**)

説明: このメッセージは、プロンプトで 2 つの空のパスワードが入力されたことを示します。これによりプロンプトが終了します。パスワードが入力されなかったため、**USER** コマンドは実行されません。

重大度: 08

CKG645I キューに入れられている間に、前の [パスワード | パスフレーズ] が変更されました (**Previous [password | password phrase] changed during queuing**)

説明: この警告メッセージは、キューに入れられた **USER PWSET PREVIOUS** コマンドの実行中に、そのコマンドがキューに入れられている間に前のパスワードまたはパスフレーズが変更されていたことが検出されたことを示します。**USER** コマンドは、そのコマンドが要求されて、最初にキューに入れられた時点での、前のパスワードまたはパスフレーズの値を使用します。

重大度: 04

CKG646I キューに入れられている間に、デフォルトの [パスワード | パスフレーズ] が変更されました (**Default [password | password phrase] changed during queuing**)

説明: この警告メッセージは、キューに入れられた **USER PWSET DEFAULT** コマンド、**USER PWRESET** コマンド、または **USER PHRESET** コマンドの実行中に、そのコマンドがキューに入れられている間にデフォルトのパスワードまたはパスフレーズが変更または削除されていたことが検出されたことを示します。**USER** コ

マンドは、そのコマンドが要求されて、最初にキューに入れられた時点での、デフォルトのパスワードまたはパスフレーズの値を使用します。

重大度: 04

CKG647I フィールド「*field*」は読み取り専用です (**Field "field" is read only**)

説明: **ICHEINTY** から予期しない戻りコードが返されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKG648I パスワードの変更内容が *package* パートナー・ノードに送信されません (**Password change will not be sent to package partner nodes**)

説明: この警告は、示されているサブシステムにより同期される **RACF** ノードでは、変更内容が使用可能でないことを示します。同期されるコマンドは **PWSET PASSWORD** と **PWSET PHRASE** のみです。

重大度: 04

CKG649I **RRSF** 伝搬のために *type* パスワードが準備されました (**type password prepared for RRSF propagation**)

説明: このメッセージは、パスワード同期パッケージが管理下にあり、このパッケージにパスワードを平文で渡す必要があると **CKGRACF** が判断したことをユーザーに通知します。同期できるコマンドは **PWSET PASSWORD** と **PWSET PHRASE** のみです。待機 **PWSET PASSWORD** コマンドのパスワードは、固定キーを使用して双方向暗号化 (ハッシュ化) されています。このようなコマンドが完了する時点で、そのパスワードは暗号化解除され、**ENCRYPT=YES** が指定された平文として送信されます。

重大度: 00

CKG650I 将来の日付のタイム・スタンプが検出されました (**Encountered timestamp from future date**)

説明: このメッセージは、待機コマンドに将来の日付のタイム・スタンプが含まれていることを示します。このメッセージは、**CKGRACF** のバグか、または対象ユーザー ID の **USR** フィールドが非互換の異なるコマンド

によって変更されたことを示している場合があります。WIPE QUEUE を使用して、ユーザー ID から待機コマンドを削除してください。エラーが再度発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKG651I 不明な待機コマンド・コードが検出されました (Encountered unknown queued-command code)

説明: このメッセージは、待機コマンドに不明なデータが含まれていることを示します。このメッセージは、CKGRACF のバグか、または対象ユーザー ID の USR フィールドが非互換の異なるコマンドによって変更されたことを示している場合があります。WIPE QUEUE を使用して、ユーザー ID から待機コマンドを削除してください。エラーが再度発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKG652I 不明な待機コマンド状況が検出されました (Encountered unknown queued-command status)

説明: このメッセージは、待機コマンドに不明な状況フラグが含まれていることを示します。このメッセージは、CKGRACF のバグか、または対象ユーザー ID の USR フィールドが非互換の異なるコマンドによって変更されたことを示している場合があります。WIPE QUEUE を使用して、ユーザー ID から待機コマンドを削除してください。エラーが再度発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKG653I デフォルトの [パスワード | パスフレーズ] が使用できません (No default [password | password phrase] available)

説明: デフォルトのパスワードまたはパスフレーズが使

用できないため、USER PWRESET コマンドまたは USER PHRESET コマンドが失敗しました。これは、同じ USER コマンドの PWDEFAULT DELETE サブコマンドが原因であるか、またはターゲット・ユーザーにデフォルト・パスワードまたはデフォルト・パスフレーズが設定されていないことが原因である可能性があります。

重大度: 08

CKG654I 待機コマンドのパスワードが不明な暗号化方式で双方向暗号化されています (Password in queued command two-way encrypted with unknown method)

説明: このメッセージは、待機コマンドに使用不可能なデータが含まれていることを示します。このメッセージは、CKGRACF のバグか、または対象ユーザー ID の USR フィールドが非互換の異なるコマンドによって変更されたことを示している場合があります。WIPE QUEUE を使用して、ユーザー ID から待機コマンドを削除してください。エラーが再度発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKG656I PWDX を変更するには、同じ FIELD コマンドで PASSWORD を変更する必要があります (A PWDX change requires a PASSWORD change in the same FIELD command)

説明: ADD、SET、または REPLACE アクションを指定した FIELD コマンドが PWDX フィールドを指定する場合、同じコマンドが PASSWORD フィールドも指定する必要があります。

重大度: 12

CKG657I PHRASEX を変更するには、同じ FIELD コマンドで PHRASE を変更する必要があります (A PHRASEX change requires a PHRASE change in the same FIELD command)

説明: ADD、SET、または REPLACE アクションを指定した FIELD コマンドが PHRASEX フィールドを指定する場合、同じコマンドが PHRASE フィールドも指定する必要があります。

重大度: 12

CKG658I **KDFAES**がこのシステムではサポートされていないため、フィールド *field* は許可されません (**Field field is not allowed because KDFAES is not supported on this system**)

説明: このシステムでは、KDFAES はサポートされていません。したがって、PWDX フィールドおよび PHRASEX フィールドを FIELD コマンドで使用することはできません。

重大度: 12

CKG659I **IRRSPW00: SAF RC (16 進数) safr;**
RACF RC (16 進数) racfr; **RACF 理由**
(16 進数) racfreas (IRRSPW00: SAF RC
(hex) safr; **RACF RC (hex) racfr;**
RACF reason (hex) racfreas)

説明: 呼び出し可能サービス IRRSPW00 でエラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKG660I *PWSET option* オプションは許可されません。まず **NOPROTECTED** を使用してください (**PWSET option option not allowed - use NOPROTECTED first**)

説明: USER PWSET コマンドを使用して、保護ユーザーのパスワードおよびパスフレーズを変更することはできません。ユーザーのパスワードまたはパスフレーズを変更する前に、USER *userid* PWSET NOPROTECTED コマンドを使用して、対象ユーザー ID の保護状況を解除してください。

重大度: 08

CKG661I *class profile* からプロファイル・データを読み取ることができませんでした (**Could not read profile data from class profile**)

説明: このメッセージは、示されている *profile* (の一部) を読み取ることができなかったことを示します。プロファイルは存在しますが、特定のセグメントが欠落している可能性があります。例えば、BINDPW フィールドが指定されているが、プロファイルに PROXY セグメントがない場合などです。DEBUG ICHEINTY を使用して詳細情報を確認してください。

重大度: 08

CKG662I *class profile* にプロファイル・データを書き込むことができませんでした (**Could not write profile data to class profile**)

説明: このメッセージは、示されている *profile* を更新できなかったことを示します。これは、ターゲット・プロファイルが存在しないか、または CKGRACF USRDATA エントリーが多数あるためにプロファイルが大きすぎるのが原因である可能性があります。DEBUG ICHEINTY を使用して詳細情報を確認してください。

プロファイルが大きすぎる場合は、WIPE コマンドの実行後に、関連するコマンドを再追加することを検討してください。詳しくは、IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF: ユーザー・リファレンス・マニュアルの WIPE コマンドの説明を参照してください。

複数のプロファイルについてこのメッセージが発行される場合、または定期的にこのメッセージが発行される場合は、CKGRACF が期限切れのコマンドを監査目的でプロファイルに保持する期間が長すぎるのが考えられます。この設定は、SHOW CKRSITE コマンドによって検査できます。SHOW コマンドについては、IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF: ユーザー・リファレンス・マニュアルを参照してください。

「CKRSITE Keep Command」パラメーターの値の変更については、「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

重大度: 08

CKG663I プロファイル *class profile [vol(volser)]* を削除できませんでした (**Could not delete profile class profile [vol(volser)]**)

説明: このメッセージは、示されている *profile* を削除できなかったことを示します。これは、ターゲット・プロファイルが存在しないために発生した可能性があります。DEBUG ICHEINTY を使用して詳細情報を確認してください。

重大度: 08

CKG664I プロファイル *class profile* が見つかりませんでした (**Profile class profile not found**)

説明: このメッセージは、示されている *profile* が見つからなかったことを示します。プロファイルが存在していない可能性があるか、またはタイプ入力エラーの可能性もあります。DEBUG ICHEINTY を使用して詳細情報を確認してください。

重大度: 08

CKG665I コマンドの索引「*profile*」および *class* の **CKGAUTH** を判別できません (**Unable to determine CKGAUTH for class and index "profile" for command**)

説明: 指定されたプロファイルの内部複数権限要件を判別できませんでした。

重大度: 00

CKG666I **UNTIL** の日付が過去の日付であるため、時間指定の一時コマンドを実行できません (**Unable to execute timed temporary command because UNTIL date is already past**)

説明: 一時コマンドが AT の日付から UNTIL の日付までにわたる期間にスケジュールされていましたが、UNTIL の日付までに実行されませんでした。今後このコマンドを実行することはできず、コマンドは強制的に期限切れになります。

重大度: 08

CKG667I **RACF** コマンド実行が失敗しました (**RACF command execution failed**)

説明: 待機コマンドを REFRESH 中に実行できませんでした。つまり、一時コマンドを取り消すことができない可能性があります。失敗したコマンドについて、手でプロファイルを調べてください。

重大度: 08

CKG668I コマンド *command* をリバースできません (**Unable to reverse command *command***)

説明: 示されているコマンドは一時的に発行される予定でした。しかし、コマンドの意味をリバースする操作が失敗しました。リバースは手動で行う必要があります。

重大度: 08

CKG669I プロシージャ *name* で内部エラーが発生しました。理由: *reason* (**Internal error in procedure *name*; reason: *reason***)

説明: このメッセージは、内部エラーが発生したことを示します。プロシージャ *name* と *reason* (存在する場合) を書きとめ、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKG670I コマンド *command* の索引 *index* と *class prefix* の **racfdata** へのアクセスが失敗しました (**Access to racfdata failed for class *prefix* and index *index* for command *command***)

説明: racfdata プロファイルでは、ユーザーによる特定の RACF パラメーターまたは値の指定が許可されていません。*index* はパラメーターを示します。索引について詳しくは、「IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF: ユーザー・リファレンス・マニュアル」を参照してください。

重大度: 08

CKG671I コマンドは既に削除されています (**Command already deleted**)

説明: これは、例えば有効期限切れなどで、複数の同一コマンドを削除する必要がある場合に発生します。

重大度: 04

CKG672I スケジュール済みイベントは既に削除されています。 (**Scheduled event already deleted.**)

説明: このメッセージは、重複するスケジュール済みイベントが削除されていることを示します。

重大度: 04

CKG673I **IMBED** パラメーター **FILEDESC/PATH** と **DD/MEM** を同時に指定することはできません (**IMBED parameters FILEDESC/PATH mutually exclusive with DD/MEM**)

説明: このメッセージは、FILEDESC/PATH パラメーターが DD/MM パラメーターと組み合わせて使用されていることを示します。

重大度: 12

CKG674I 質問 *Qnn* への回答が、不明な関数を使用してハッシュ化されています (**Answer to question *Qnn* hashed with unknown function**)

説明: 質問 *Qnn* への回答が、不明な関数を使用してハッシュ化されているため、その形式が不明です。

重大度: 08

CKG675I 質問 *Qnn* は *question* です (**Question *Qnn* is question**)

説明: このメッセージは質問 *nn* を示します。

重大度: 00

CKG676I 質問による認証が失敗しました (**Authentication by questions failed**)

説明: 一部の回答が正しくありません。

重大度: 08

CKG677I 質問による認証が正常に完了しました (**Authentication by questions succeeded**)

説明: すべての回答が正しい内容です。

重大度: 00

CKG678I 質問 *Qnn* をリストできませんでした (**Could not list question *Qnn***)

説明: 質問 *nn* は存在しないため、リストできません。

重大度: 04

CKG679I 質問 *Qnn* を削除できませんでした (**Could not delete question *Qnn***)

説明: 質問 *nn* は存在しないため、削除できません。

重大度: 08

CKG680I 質問 *Qnn* を検査できませんでした (**Could not verify question *Qnn***)

説明: 質問 *nn* は存在しないため、検査できません。

重大度: 08

CKG681I ユーザー・プロファイルまたはグループ・プロファイル *profile* が見つかりませんでした (**User or group profile *profile* not found**)

説明: ユーザー・プロファイルまたはグループ・プロファイル *profile* は存在しません。

重大度: 04

CKG682I パスフレーズの変更内容が *package* パートナー・ノードに送信されません。

(Password phrase change will not be sent to *package* partner nodes.)

説明: このメッセージは、示されているサブシステムにより同期される RACF ノードでは、変更内容が使用可能にならないことを示します。同期されるコマンドは、PWSET PHRASE および PWSET PASSWORD のみです。

重大度: 04

CKG683I パスフレーズの文字数が最小文字数未満です (**Password phrase has fewer than minimum characters**)

説明: 新規パスフレーズ出口 (ICHPWX11) が存在する場合、パスフレーズの最小文字数は 9 文字です。ICHPWX11 が存在しない場合、パスフレーズの最小文字数は 14 文字です。

重大度: 08

CKG684I [新規 | デフォルト] パスフレーズに、同じ文字が 3 文字以上連続して使用されています。([**New | Default**] **password phrase contains more than 2 consecutive characters that are identical.**)

説明: パスフレーズには同じ文字を 3 文字以上連続して使用することはできません。

重大度: 08

CKG685I [新規 | デフォルト] パスフレーズには、2 文字以上の英字を含める必要があります。([**New | Default**] **password phrase must contain at least 2 alphabetic characters.**)

説明: パスフレーズには、2 文字以上の英字 (A から Z または a から z) を含める必要があります。

重大度: 08

CKG686I [新規 | デフォルト] パスフレーズには、2 文字以上の英字以外の文字を含める必要があります。([**New | Default**] **password phrase must contain at least 2 non-alphabetic characters.**)

説明: パスフレーズには、2 文字以上の英字以外の文字 (数字、句読点、または特殊文字) を含める必要があります。

重大度: 08

CKG687I [新規 | デフォルト] パスフレーズにユーザー ID が含まれています。([New | Default] password phrase contains the user ID.)

説明: パスフレーズには、連続した大文字または小文字でユーザー ID を含めることはできません。

重大度: 08

CKG688I 新規パスフレーズ出口で異常終了が発生しました - これ以降は抑止されます。
(ABEND in new-password-phrase exit - suppressed from now on.)

説明: インストール済み環境の新規パスフレーズ出口 ICHPWX11 の呼び出し中に異常終了が発生しました。現在の CKGRACF 実行中に、この出口が再度呼び出されることはありません。

重大度: 08

CKG689I 待機コマンドのパスフレーズが不明な暗号化方式で双方向暗号化されています。
(Password phrase in queued command two-way encrypted with unknown method.)

説明: 待機コマンドに使用不可能なデータが含まれています。このメッセージは、CKGRACF のバグか、または対象ユーザー ID の USR フィールドが非互換の異なるコマンドによって変更されたことを示している場合があります。WIPE QUEUE を使用して、ユーザー ID から待機コマンドを削除してください。エラーが再度発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKG690I ユーザー *user* の [新規 | デフォルト] パスフレーズを暗号化できませんでした。
(Could not encrypt [New | Default] password phrase for user *user*.)

説明: 新規パスフレーズを暗号化できなかったため、ターゲット・ユーザー *user* に対する USER コマンドは実行されませんでした。DEBUG SAFRC を使用して RACROUTE 戻りコードを確認してください。メッセージ CKG406I に、RACROUTE 暗号化戻りコードが示されています。

重大度: 08

CKG691I パスフレーズ・ヒストリーに [新規 | デフォルト] パスフレーズが含まれています。([New | Default] password phrase occurs in password phrase history.)

説明: ユーザーのパスフレーズ・ヒストリーに新規パスフレーズが含まれています。新規パスフレーズは設定されません。

重大度: 08

CKG692I [新規 | デフォルト] パスフレーズが、新規パスフレーズ出口で許可されていません。([New | Default] password phrase not allowed by new-password-phrase exit.)

説明: 新規パスフレーズが、インストール済み環境の新規パスフレーズ出口 ICHPWX11 により許可されていませんでした。この新規パスフレーズは使用されません。

重大度: 08

CKG693I RACLINK ID(*userid*)
UNDEFINE(*node.id*) が失敗しました - アソシエーションが見つかりませんでした
(RACLINK ID(*userid*)
UNDEFINE(*node.id*) failed - no association found)

説明: *userid* プロファイルで、ローカル・ノードのユーザー *userid* とノード *node* のユーザー *id* の間のユーザー ID アソシエーションが見つかりませんでした。このため、指定されたアソシエーションは未定義にされませんでした。

重大度: 08

CKG694I [NOPASSWORD | NOPHRASE] オプションは許可されません。まず [PHRASE | PASSWORD] を追加するか、または PROTECTED を使用してください
([NOPASSWORD | NOPHRASE] option not allowed - add a [PHRASE | PASSWORD] first or use PROTECTED)

説明: USER PWSET NOPASSWORD コマンドはパスワードなしで、USER PWSET NOPHRASE コマンドはパスフレーズなしで、ユーザーを作成します。

ユーザーの処置: 他のフィールドに値を割り当てるか、

または USER PWSET *userid* PROTECTED コマンドを使用してユーザーを保護状態にしてください。

重大度: 08

CKG695I **SERVERTOKEN=*name* のアクティブなサーバーがありません (There is no server active with SERVERTOKEN=*name*)**

説明: SERVERTOKEN=*name* を使用して zSecure Server にアクセスしようとしたが、指定されたサーバー・トークンを持つアクティブなサーバーを見つけられませんでした。

ユーザーの処置: ISPF ユーザー・インターフェースの実行時に SETUP RUN でサーバー・トークンが正しいかどうかを確認してください。トークンが正しい場合は、サーバーがまだ稼働していることを確認します。サーバーが稼働していない場合は、再始動してください。

重大度: 0

CKG696I **サーバーへのクライアント接続に失敗しました RC=*decnum* (Client connection to server failed RC=*decnum*)**

説明: zSecure Server にアクセスしようとしたが、指示された戻りコードで失敗しました。サーバー・アクセスを必要とする 1 つ以上のフィールドが指定されていた場合は、それらのフィールドを検査できませんでした。

戻りコード値:

- 2 前のサーバー・エラー CKN メッセージを参照してください。このメッセージの前に、サーバーの ZSECSYS 名が示されます。
- 4 バッファにすべては適合しなかった
- 8 サポートされない関数
- 12 クライアントとして許可されていない呼び出し元
- 16 無効なパラメーター

ユーザーの処置: このメッセージの前の CKN* サーバー・メッセージを探し、そのガイダンスに従ってください。2 よりも大きい戻りコードの場合は、サーバーを再始動して、問題がなくなったかどうかを確認してください。

重大度: 00

CKG697I **デフォルト・パスフレーズを設定できるのは、KDFAES アルゴリズムを使用している場合のみです。(Default password phrase can only be set when using the KDFAES algorithm.)**

説明: PWDEFAULT PHRASE サブコマンドがサポートされるのは、KDFAES パスワード・ハッシュ・アルゴリズムが使用されている場合のみです。現在のパスワード・アルゴリズムは、SETOPTS

PASSWORD(ALGORITHM(KDFAES)) コマンドを使用して変更できます。

重大度: 08

CKG698I **KDFAES がこのシステムではサポートされていないため、USER RECREATE [password | password phrase] 拡張は使用できません (No USER RECREATE [password | password phrase] extension is allowed because KDFAES is not supported on this system)**

説明: このシステムでは、KDFAES はサポートされていません。そのため、パスワードまたはパスワード・フレーズの後にパスワード拡張またはパスワード・フレーズ拡張がある場合に、USER RECREATE コマンドに ENCRYPTED_PASSWORD または ENCRYPTED_PHRASE のオプションを指定することはできません。

重大度: 08

CKG699I ***user* の最終使用時刻が設定されたか、ユーザー ID が使用されました (Last-use time of *user* has been set or the user ID has been used)**

説明: USER RECREATE コマンドがユーザー ID *user* に適用されましたが、*user* の最終使用時刻は ALTUSER コマンド、CKGRACF コマンド、またはユーザー ID の使用によって設定されました。最終使用時刻が設定されたユーザー ID に USER RECREATE コマンドを適用することはできません。詳しくは、「IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF ユーザー・リファレンス・マニュアル」の CKGRACF USER コマンドの説明を参照してください。

重大度: 08

メッセージ 700 から 799

CKG700I *file* の行 *number* では、*type* の「*value*」ではなく 10 進数値が必要でした
(Expected decimal value instead of type "*value*" at file line *number*)

説明: このメッセージは、10 進数の値が予期される場所で 10 進数以外の値が検出されたことを示します。

重大度: 12

CKG701I 値 *value* (10 進数) は大きすぎます
(Value *value* (decimal) too large)

説明: このメッセージは、読み取られた値が大きすぎるためにフィールドに収まらないことを示します。*value* は、10 進数値への変換後に読み取られた値を示します。

重大度: 12

CKG702I 値 *value* (10 進数) が最小値 *minimum* 未満です (Value *value* (decimal) less than minimum *minimum*)

説明: このメッセージは、読み取られた値が、示されているフィールドの最小値よりも小さいことを示します。*value* は、10 進数値への変換後に読み取られた値を示します。

重大度: 12

CKG703I 値 *value* (10 進数) は最大値 *maximum* を超えています (Value *value* (decimal) larger than maximum *maximum*)

説明: このメッセージは、読み取られた値が、示されているフィールドの最大値を超えていることを示します。*value* は、10 進数値への変換後に読み取られた値を示します。

重大度: 12

CKG704I スtring *string* の「*character*」変換中にエラーが発生しました (Error during '*character*' conversion of string *string*)

説明: このメッセージは、String をバイナリー、10 進数、または 16 進数から変換中にエラーが発生したことを示します。*character* は、試行された変換のタイプを示します。これが示されない場合は、変換中に異常終了が発生しています。

重大度: 12

CKG705I 無効な変換文字「*character*」(Invalid conversion character '*character*')

説明: このメッセージは、引用符付きStringの後に続く変換文字が現行コマンドではサポートされていないことを示します。現行コマンドでサポートされている唯一の変換文字は、「X」(16 進数からの変換) と「C」(大文字/小文字の維持) です。

重大度: 12

CKG706I 長さ *length* のStringは、予期されているサイズ *size* を超えています (String with length *length* is longer than expected size *size*)

説明: このメッセージは、読み取られたStringの長さが示されている *length* であったことを示します。このStringは大きすぎるため、最大サイズが *size* のフィールドに収まりません。

重大度: 12

CKG707I *file* の行 *number* ではキーワード「*keyword*」は使用できません (Keyword '*keyword*' not allowed at file line *number*)

説明: このメッセージは、現行コマンドの有効オプションとして認識されているキーワードが検出されたが、このキーワードは現行位置には指定できないことを示します。

重大度: 12

CKG708I キーワード「*keyword one*」と「*keyword two*」を同時に *file* の行 *number* に指定することはできません (Keywords '*keyword one*' and '*keyword two*' are mutually exclusive at file line *number*)

説明: このメッセージは、現行コマンドのオプションとして有効であるが、同時に指定できない 2 つのキーワードが検出されたことを示します。示されている位置は、2 番目のキーワードの位置です。

重大度: 12

CKG709I クラス「*class*」は *file* の行 *number* には指定できません (Class '*class*' not allowed at file line *number*)

説明: このメッセージは、現行コマンドで使用できないクラスが指定されていることを示します。

重大度: 12

CKG710I 「string」は有効なユーザー/グループ ID ではありません。サイズが 8 を超えています。 ('string' is not a valid user/groupid, size > 8)

説明: このメッセージは、8 文字よりも長い無効なユーザー ID またはグループ ID が指定されていることを示します。

重大度: 12

CKG711I 無効なプロファイル・タイプ「character」です (Invalid profile type 'character')

説明: このメッセージは、RDELETE または USRDATA コマンドに無効な変換文字が指定されていることを示します。これらのコマンドで有効な変換文字は「D」(個別) または「G」(総称) です。RDELETE コマンドで有効な変換文字は、「C」(大/小文字を維持) および「X」(16 進数からの変換) です。

重大度: 12

CKG712I インターバル値が SETROPTS 最大値 maximum を超えています (Interval value larger than SETROPTS maximum maximum)

説明: このメッセージは、USER コマンドに指定されている間隔が、SETROPTS PASSWORD(INTERVAL) コマンドにより設定されるシステム定義の最大値を超えていることを示します。

重大度: 12

CKG713I キーワード「keyword」はバッチ・モードまたは APPC モードでは使用できません (Keyword 'keyword' not allowed in batch or APPC mode)

説明: 指定されたキーワードは、バッチ・モードでは使用できません。

重大度: 12

CKG714I PWDEFAULT のデフォルト・オプション「PROMPT」は、バッチ・モードまたは APPC モードでは使用できません (PWDEFAULT default option 'PROMPT' not allowed in batch or APPC mode)

説明: USER PWDEFAULT コマンドのデフォルト・オプションは、バッチ・モードでは使用できません。

重大度: 12

CKG715I CNG* USRNM 値は予約されています (CNG* USRNM values are reserved)

説明: USRDATA コマンドに CNG で始まる索引値が指定されています。この索引は CKGRACF による使用のために予約されており、USRDATA コマンドを使用してアクセスすることはできません。CKGRACF 設定をリストするには、LIST コマンドを使用します。

重大度: 12

CKG716I 開始日は終了日より前の日付でなければなりません (Start-date must be earlier than end-date)

説明: USER SCHEDULE コマンドでは、指定する開始日が指定する終了日より前の日付でなければなりません。

重大度: 08

CKG717I 左マージンが右マージンを超えることはできません (Left margin cannot exceed right margin)

説明: MARGINS(x,y) コマンドでは、x (左マージン) が y (右マージン) を超えることはできません。

重大度: 12

CKG718I 入力エラーが原因で CKGRACF が終了しました (CKGRACF terminated due to input errors)

説明: 前のメッセージに、プログラム・パラメーターまたはコマンド入力ファイルのエラーが示されています。CKGRACF は、入力の構文が誤っている場合はコマンドを実行しません。エラーを訂正し、プログラムを再実行してください。

重大度: 12

CKG719I スケジュール日として本日以降の日付を指定する必要があります (Schedule date must be today or in the future)

説明: USER SCHEDULE REQUEST コマンドでスケジュール日として過去の日付を指定しました。要求されるスケジュール日は、本日以降の日付でなければなりません。無効な形式で入力された日付はゼロ (01JAN1900) として読み取られるため、このような日付が原因でこのメッセージが発行されることがある点に注意してください。

重大度: 12

CKG720I 日付「*date*」は無効です (**Invalid date 'date'**)

説明: 指定された日付の形式が無効であったか、または無効な日付でした。日付の形式は 01jan2000 (ISO 日付) または 2001/365 (ユリウス日付) です。うるう年以外の年の 2 月 29 日は、無効な日付です。

重大度: 12

CKG721I 個別データ・セット・プロファイルは使用できません (**Discrete dataset profiles not allowed**)

説明: USRDATA コマンドで、データ・セット・プロファイルに対して「D」変換文字を指定しました。個別データ・セット・プロファイルの「USR」フィールドは CKGRACF でサポートされていません。

重大度: 12

CKG722I パスワード要求にはパスワード値を指定する必要があります (**Password value must be specified for password request**)

説明: 要求に USER PWSET PASSWORD コマンドまたは USER PWDEFAULT PASSWORD コマンドを指定しました。この場合、PASSWORD オプションの後の括弧内にパスワード値を指定する必要があります (例: PASSWORD(SECRET))。パスワード値は、REQUEST 以外のアクションではオプションです。

重大度: 12

CKG723I CLASS *class* に指定できるオプションは QUEUE および TAG のみです (**Only option QUEUE or TAG allowed with CLASS class**)

説明: USER 以外のすべてのクラスの場合、LIST コマンドに指定できるオプションは QUEUE と TAG のみです。これらのクラスのデフォルトは QUEUE オプションです。

重大度: 12

CKG724I CMD にコマンドが指定されていません (**No command specified for CMD**)

説明: CMD コマンドのコマンド行で RACF コマンドが見つかりませんでした。

重大度: 12

CKG725I 本日より前の日付を開始日にするできません (**Start-date cannot be earlier than today**)

説明: CMD コマンドの AT に、過去の日付を指定しました。

重大度: 08

CKG726I アクティブなコマンドが指定されていないため、CKGRACF が終了しました (**No active commands specified, CKGRACF terminated**)

説明: CKGRACF への入力にアクティブなコマンドを指定しませんでした。非アクティブ・コマンドは、DEBUG、INCLUDE、および SUPPRESS です。

重大度: 12

CKG727I *command* コマンドには 1 つ以上のオプションが必要です (**At least one option is required for the command command**)

説明: コマンド *command* には 1 つ以上のオプションが必要ですが、指定されていません。

重大度: 12

CKG728I PWNO* キーワードを指定する場合は、追加キーワードが必要です (**PWNO* keywords require an additional keyword**)

説明: このメッセージは、PWNOEXIT、PWNOHIST、またはPWNORULE が USER コマンドの唯一のキーワードとして定義されている場合に発行されます。これらのキーワードを指定する場合は、この指定が有効となるために別のキーワード (PWSET など) が必要です。

重大度: 12

CKG729I 日付値「*value*」の 2 桁の年があいまいです (**Date value 'value' 2-digit year is ambiguous**)

説明: この抑止可能メッセージは、2 桁の年が検出されたことを示します。デフォルトでは、2000 年問題関連の混乱を避けるため、これは許可されていません。これが後方互換性に関する問題の場合は、このメッセージを抑止することができます。この場合、2 桁の年はすべて 20 世紀の年として解釈されます (後方互換性のため、この 2 桁の値の前に 19 が付きます)。

重大度: 12

CKG730I 日付「*date*」が 2069 年より後の日付です
(Date '*date*' is beyond the year 2069)

説明: このメッセージは、2069 年よりも後の日付が検出されると発行されます。このような日付の原因としてはタイプミスが考えられます。

重大度: 04

CKG731I 質問 ID が必要でした (Question identifier expected)

説明: QUESTION アクション (SET、VERIFY、LIST、またはDELETE) の後に単語が指定されている場合、この単語は質問 ID *Qnn* でなければなりません (*nn* は 100 未満の負でない整数)。

重大度: 12

CKG732I パスフレーズ要求にはパスフレーズ値を指定する必要があります。(Password phrase value must be specified for password phrase request.)

説明: 要求に USER PWSET PHRASE コマンドを指定しました。この場合、PHRASE オプションの後の括弧内にパスフレーズ値を指定する必要があります (例: PHRASE('This is a secret'))。パスフレーズ値は、REQUEST 以外のアクションではオプションです。

重大度: 12

CKG733I フィールド *field* は z/OS *v.r* 以下ではサポートされていません - このフィールドは無視されます (Field *field* not supported on z/OS *v.r* and below - field ignored)

説明: USER プロファイルの *field* フィールドは、z/OS バージョン *v* リリース *r* 以下ではサポートされていません。CKGRACF FIELD コマンドを使用してこのフィールドを読み取る操作または設定する操作は無視されます。

重大度: 04

CKG734I パスワード・ストリングが 8 バイトを超えています (Password string longer than 8 bytes)

説明: CKGRACF USER PWDEFAULT コマンドまたは CKGRACF USER PWSET コマンドに入力されたパスワードが 8 バイトを超えています。RACF では長さが 8 バイト以下のパスワードがサポートされています。短いパスワードを選択してください。

重大度: 12

CKG735I CMS では CKGRACF は稼働しません (CKGRACF does not run under CMS)

説明: CKGRACF は z/OS でのみ稼働します。z/OS でこのメッセージが表示される場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKG736I 無効な複数権限要件 *value* (Invalid multiple-authority requirement *value*)

説明: CKRSITE モジュールで設定された複数権限要件に、不明な値 *value* が設定されています。これは、インストールでのエラーを示します。

重大度: 20

CKG737I 待機コマンドの有効期間 (*value*) が監査期間 (*value*) よりも大きくなっています (Queued command expiration time (*value*) larger than auditing period (*value*))

説明: 待機コマンドの有効期間と CKRSITE モジュールで設定されている監査期間が競合しています。これは、インストールでのエラーを示します。

重大度: 20

CKG738I *explanation*; RACROUTE REQUEST=STAT の戻りコード:
SAFRC=*safrc* RACFRC=*racfrc*
RSNCODE=*rsncode* (*explanation*);
RACROUTE REQUEST=STAT returned with SAFRC=*safrc* RACFRC=*racfrc* RSNCODE=*rsncode*)

説明: CKRSITE モジュールで設定されているクラスが使用可能かどうかを判別する RACROUTE REQUEST=STAT 呼び出しが、RACF またはクラスが使用可能でないことを示しています。*explanation* には、メッセージ (16 進数) に示されている戻りコードの判読可能な形式の説明が示されます。

重大度: 20

CKG739I 1.8 以上の RACF が必要です (RACF >= 1.8 required)

説明: 1.8 より前の RACF バージョンがアクティブです。CKGRACF を使用するには、RACFバージョン 1.8 以上が必要です。

重大度: 20

CKG740I CKGRACF は APF 許可で実行する必要があります (CKGRACF must run APF-authorized)

説明: CKGRACF は APF 許可で実行する必要があります。これは、PARMLIB メンバー IKJTSOxx の TSO 許可コマンド・リスト (AUTHCMD) に CKGRACF を含めないことが原因となる場合もあります。TSO PARMLIB コマンドを使用することによって、IPL を実行せずにこのメンバーへの変更を活動化できます。PARMLIB コマンドについて詳しくは、「TSO/E システム・プログラミング・コマンド解説書」を参照してください。

重大度: 20

CKG741I TCB または ASXB からの ACEE が見つかりませんでした (No ACEE could be found from TCB or ASXB)

説明: CKGRACF は、現行ユーザーの ACEE を検出できませんでした。

重大度: 20

CKG742I CKGPRINT および SYSTERM が割り振られず、TSO がありません。CKGRACF は終了しました。(Neither CKGPRINT nor SYSTERM allocated and no TSO; CKGRACF terminated)

説明: このメッセージは、CKGPRINT と SYSTERM が割り振られない場合に出力されます。この場合 CKGRACF は出力を生成できないため、コマンドの解析または実行前に終了します。

出力を TSO 端末に直接送信するには、CKGRACF コマンドの前に TSO コマンド ALLOC FILE(CKGPRINT) DA(*) を実行してください。後で FREE FILE(CKGPRINT) を使用して CKGPRINT を解放できます。

重大度: 16

CKG743I SYSTERM が割り振られていません (No SYSTERM allocated)

説明: このメッセージは、SYSTERM が割り振られていない場合に発行されます。すべての出力は CKGPRINT に出力されます。

重大度: 00

CKG744I プロファイル名の位置 *position* に無効文字 *character* が含まれています (Profile name contains invalid character *character at position position*)

説明: プロファイル名の入力ストリングに、プロファイル名で使用できない文字が含まれているため、この入力ストリングは無効です。

重大度: 12

CKG745I パスフレーズは単一引用符で囲む必要があります。(Password phrase must be enclosed in single quotes.)

説明: PWSET PHRASE オプションではパスフレーズ値を単一引用符で囲む必要があります (例: PHRASE('This is a secret')). 単一引用符をパスフレーズの一部として使用する場合、それぞれの単一引用符を二重にして使用する必要があります (例: PHRASE('This is a ''quoted'' secret')).

重大度: 12

CKG746I パスフレーズの文字数が *maximum* 文字を超えています。(Password phrase has more than *maximum* characters.)

説明: パスフレーズの最大文字数は *maximum* 文字です。

重大度: 12

CKG747I パスフレーズの文字数が *minimum* 文字未満です (Password phrase has fewer than *minimum* characters)

説明: パスフレーズの最小文字数は *minimum* 文字です。

重大度: 12

CKG748I UNDEF パラメーターは「(NODE_NAME.USERID)」でなければなりません (UNDEF parameter must be '(NODE_NAME.USERID)')

説明: USER *userid* RACLINK UNDEF コマンドの UNDEF パラメーターの後に、(*node.id*) 以外の値が指定されていました。UNDEF(*node.id*) にはスペースを含めてはならない点に注意してください。ノード *node* とユーザー *id* の間に 1 つのドット (.) が必要です。

重大度: 12

CKG749I CKGRACF コマンドは NODE() とともに使用する場合にのみ許可されています
(CKGRACF command only allowed with NODE())

メッセージ 800 から 899

CKG834I..CKG836I *message*

説明: これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 0

CKG837I *address* の CKGSRVIN の IDENTIFY RC=*n* (IDENTIFY RC=*n* for CKGSRVIN at *address*)

説明: このメッセージは、示されたアドレスで示されたモジュール名を設定する IDENTIFY サービスの失敗を示します。

ユーザーの処置: IDENTIFY サービスについては、MVS 資料を参照してください。

重大度: 12

CKG841I 重大な *function* エラー [*msg*] PC RC=*n* - ユーザー異常終了 841 を発行します
(Severe *function* error [*msg*] PC RC=*n* - issuing user abend 841)

説明: リモート・ノードからの読み取り中 (SRVIN) またはリモート・ノードへの書き込み中 (SRVOU) に、サーバーのプログラム呼び出しインターフェースからエラー状態が返されました。*function* は SRVIN または SRVOU であり、メッセージ・タイプ *msg* が示される場合もあります。

ユーザーの処置: サーバーがアクティブであることを確認してから、サーバーを再始動して再試行してください。

説明: CKGRACF CMD コマンド内では、別の zSecure ノードに送信する目的でのみ、ネストされた CKGRACF コマンドが許可されています。そのためには、CKGRACF CMD コマンドの NODE(*node*) オプションが必要です。

重大度: 12

重大度: 16

CKG842I SPECPROC から、範囲外の長さが返されました R0=xxxxxxx - ユーザー異常終了 842 を発行します (SPECPROC returned length out of range R0=xxxxxxx - issuing user abend 842)

説明: このメッセージは、zSecure Server に関連する内部インターフェースの 1 つが予期しない長さを受け取り、異常終了を発行したことを示します。

ユーザーの処置: IBM サポート・サイトで、このメッセージを検索してください。解決策が投稿されていない場合は、ローカル側およびリモート側の SYSPRINT を収集して、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKG845I *module* CKNSRVIR キュー *file* メッセージ *type* 送信元 *zsecsys* 長さ *length* 理由 *zsecsys2* ファイル *file2* の待機中 (*module* CKNSRVIR queue *file* message *type* from *zsecsys* length *length* because waiting on *zsecsys2* file *file2*)

説明: このメッセージは、DEBUG CKNSRVIR_POST ステートメントによって要求された場合にのみ書き込まれます。このメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 0

CKG846I *module CKNSRVIR* リターン・キュー
file メッセージ *type* 送信元 *zsecsys* 長さ
length (module CKNSRVIR return
queued file message type from zsecsys
length length)

説明: このメッセージは、DEBUG CKNSRVIR_POST ステートメントによって要求された場合にのみ書き込まれます。このメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 0

CKG851I ローカル CKNSERVE サーバーが使用できなくなります (ユーザー異常終了 214
 (x'0D6')) (Local CKNSERVE server no
 longer available (user abend 214
 (x'0D6')))

説明: zSecure Server プログラムが終了シーケンスを実行している間に、このプログラムへのプログラム呼び出しが試行されました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。この問題に関するサポートが必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKG874I RECFM=V(BS) RDW *hex* が、レコード
n ddname volser dsname で LRECL=*lrecl*
 を超えています (RECFM=V(BS) RDW
hex exceeds LRECL=lrecl at record n

ddname volser dsname)

説明: このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

CKG875I RECFM=V(BS) BDW *hex* が、レコード
n ddname volser dsname で
 BLKSIZE=*blksize* を超えています
 (RECFM=V(BS) BDW *hex exceeds*
 BLKSIZE=*blksize* at record *n ddname*
volser dsname)

説明: このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。ブロック記述子ワード (BDW) は 16 進数で示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは BDW を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

メッセージ 900 から 999

CKG904I ファイル *file vol dsn(member)* を読み取る
 には無条件アクセス権限が必要です
 (Unconditional access is required to
 read from file *file vol dsn(member)*)

説明: SYSIN 入力として、条件付き (PADS) アクセス権限のみが付与されているデータ・セットが要求されました。このタイプのデータを読み取るには、無条件読み取りアクセス権限が必要です。そのデータ・セットは処理されません。

重大度: 12

CKG905I ファイル *ddname* データ・セット *dsn* から
 の読み取りにはメンバー名が必要です
 (A member name is required to read
 from file *ddname* data set *dsn*)

説明: PDS(E) データ・セットを参照する組み込みステートメントが指定されていましたが、このデータ・セットから読み取るメンバーが指定されていませんでした。組み込みステートメントに正しいメンバーを追加して、照会を再実行依頼してください。

重大度: 12

CKG907I **DYNALLOC** トレース: SVC 99 戻りコード *nn* - *meaning* (**DYNALLOC trace: SVC 99 return code** *nn* - *meaning*)

説明: このメッセージは、SVC99 の失敗により、DAIRFAIL がメッセージ・テキストを返さなかった場合に発行されます。これには、SVC 99 (DYNALLOC) の完了後に、個別のテキスト・ユニットの内容の詳細を示す継続行があります。

重大度: 00

CKG915I **UNIX** レコード *nn* 書き込み失敗 **RC** *nn* [**meaning**] 理由 *qqqq rrrrx* [**meaning**] ファイル *ddname path* (**UNIX write record** *nn* **failed RC** *nn* [**meaning**] **reason** *qqqq rrrrx* [**meaning**] **file** *ddname path*)

説明: このメッセージは、BPX1WRV 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrx* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度: 16

CKG919I 負の長さ *length* のレコードが *ddname* のレコード *recno* の後ろに送信されました (**Record with negative length** *length* **directed to** *ddname* **behind record** *recno*)

説明: 無効なレコードが出力ルーチンに渡されました。代わりに空のレコードが書き込まれました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKG931I *proc*: バッファオーバーラン - **dln=destinationlength sln=sourcelength:: data** (*proc*: **Buffer overrun - dln=destinationlength sln=sourcelength:: data**)

説明: フォーマット・プロシージャ *proc* でバッファオーバーランが発生しました。このメッセージの後、ユーザー異常終了 931 が続きます。ユーザー異常終了 931 は SUPPRESS FMTABEND (「zSecure CARLa コ

マンド・リファレンス」で SUPPRESS コマンドの FMTABEND オプションを参照) または SUPPRESS MSG=931 を指定することによって抑止可能です。ただし、出力が破損したり他のエラーが発生したりする可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKG934I 値 *value* が大きすぎます (**Value** *value* **too large**)

説明: このメッセージは、入力パーサーが受け取った数値が大きすぎたことを示します。入力パーサーにより処理可能な最大値は 2147483647 です。

重大度: 12

CKG938I アテンションが繰り返されています。C (続行) T (終了) または A (異常終了) を入力してください - (**Repeated ATTN, enter C(ont) T(erminate) or A(bend) -**)

説明: この対話式プロンプトは、アテンションが繰り返された後で、プログラムを終了または異常終了するためのオプションを提供します。

CKG939I アテンションが繰り返されたために終了しました (**Terminated due to repeated attention**)

説明: CKR938I プロンプトで T を選択した場合に出力されるメッセージです。

重大度: 16

CKG942I 製品コード *code* の環境が一致しません (**Environment mismatch for product code** *code*)

説明: このメッセージは、識別された製品コードを示す *code* がインストールされたが、それが適切な環境で稼働していないことを示します。例えば、製品コードの中には、z/OS 下の UNIX タスクのみ、z/OS 下の 非 UNIX タスクのみ、および z/VM のみに限定されるものがあります。

重大度: 00

CKG944I UNIX *type* のクローズ RC *nn* [meaning]
理由 *qqq rrrr x* [meaning] ファイル
ddname path (UNIX *type* close RC *nn*
[meaning] reason *qqq rrrr x* [meaning]
file *ddname path*)

説明: このメッセージは、BPX1CLO 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

type は「wronly」または「rdonly」のいずれかです。

重大度: 16

CKG945I UNIX *action* が失敗しました。 RC *nn*
[meaning] 理由 *qqq rrrr x* [meaning] ファイル
ddname path (UNIX *action* failed
RC *nn* [meaning] reason *qqq rrrr x*
[meaning] file *ddname path*)

説明: このメッセージは、BPX1OPN または BPX1FCT 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。 *action* は「wronly open」、「fcntl filetag」、または「rdonly open」です。

重大度: 16

CKG947I *filedesc off* の読み取りが失敗しました
RC *nn* [meaning] 理由 *qqqq rrrr x*
[meaning] ファイル *ddname path*
(Reading *filedesc off* failed RC *nn*
[meaning] reason *qqqq rrrr x* [meaning]
file *ddname path*)

説明: このメッセージは、示された戻りコード (10 進数) と、理由コード修飾子 *qqqq* と理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割された理由コードで、BPX1RED (UNIX 読み取り) 呼び出しが失敗したことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度: 16

CKG948I 製品コード *code* の使用可能化情報が壊れています (Enablement information corrupt for product code *code*)

説明: このメッセージは、製品のインストールまたはライセンスに問題があることを示します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、インストールが正常に行われたことを確認してください。

重大度: 16

CKG949I 製品コード *code* がインストールされましたが、非 APF 登録の制限を超えました (Product code *code* installed and non-APF registration limit exceeded)

説明: このメッセージは、インストールされたものの、非 APF プログラムによる製品登録の MVS 限度を超えていたために登録できない製品の DEBUG LICENSE に応答して発行されます。

ユーザーの処置: CKGRACF を許可された状態で実行する必要があります。

重大度: 00

CKG950I 製品コード *code* のコードはインストールされていません (Code not installed here for product code *code*)

説明: このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしていることを示します。

重大度: 16

CKG951I モジュール *modulett* のロード試行中にシステム異常終了 *code (desc)* が発生しました (system abend *code (desc)* trying to load module *modulett*)

説明: このメッセージは、モジュールのロードに失敗したことと、その理由を示します。異常終了 806 は、モジュールが見つからなかったことを意味します。異常終了 306 は、制御された環境が存在するが、ロード対象のモジュールがプログラム制御されていないなかったことを意味する可能性があります。

重大度: 08

CKG955I *program task heap* ストレージ要求エラー:
サイズが正の値ではありません (*program
task heap STORAGE REQUEST
ERROR: SIZE NOT POSITIVE*)

説明: このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKG962A アテンションによりコマンドが終了しました (**Command terminated by attention**)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、ATTN キーを押すことでコマンドを終了したことを示します。

重大度: 10

CKG962B コマンドはバックグラウンドではサポートされていません (**Command not supported in background**)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO サービス機能を通してコマンドを実行できなかったことを示します。これは、PARMLIB メンバー IKJTSOxx の TSO 許可コマンド・リスト (AUTHCMD) に CKGRACF を含めないことが原因となる場合もあります。TSO PARMLIB コマンドを使用することによって、IPL を実行せずにこのメンバーへの変更を活動化できます。PARMLIB コマンドについて詳しくは、「TSO/E システム・プログラミング・コマンド解説書」を参照してください。

重大度: 16

CKG962C コマンドは失敗しました *abend code*
(**Command failed *abend code***)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、示された *abend code* でコマンドが異常終了したことを示します。

重大度: 12

CKG962E TSO/E 環境で実行されていません (**Not running in a TSO/E environment**)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、コマンド環境が TSO/E でないため、TSO コマンドを実行できなかったことを示します。

重大度: 16

CKG962F コマンドは失敗しました。戻りコード
code (10 進数) (**Command failed, return
code *code* (decimal)**)

説明: このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。これは、コマンドに失敗して、示された結果コード が返されたことを示しています。このメッセージの前のメッセージが CKG740I の場合、CKG740I の説明を参照してください。その他すべての状況の場合、実行されたコマンドを判別し、該当するマニュアルを確認して可能性のある戻りコードを調べてください。RACF コマンドの場合、戻りコードは「RACF コマンド言語解説書」に記載されています。

重大度: 08

CKG962I IKJTSOEV モジュールが見つかりません
でした (**IKJTSOEV module not found**)

説明: TSO 環境を確立しようとしたましたが、TSO 環境初期化ルーチン IKJTSOEV が見つかりませんでした。通常、IKJTSOEV はリンク・リストにあります。このため、TSO コマンド実行試行時に検出された場合は戻りコード 20 が返され、それ以外の場合は 8 が返されます。

重大度: 08

CKG962 IKJTSOEV 戻りコード *xx* 理由コード
yy サービス理由コード *zz* (10 進数)
(**IKJTSOEV return code *xx* reason code
yy service reason code *zz* (decimal)**)

説明: TSO コマンドの実行試行時に検出される場合は戻りコード 20 が返されます。

重大度: 08

CKG962 *command* の SVC 220 戻りコード *hh* (16
進数) (**SVC 220 return code *hh* (hex)
on *command***)

説明: RACF コマンドまたは CMS コマンドの実行試行時に検出される場合は、戻りコード 20 が返されます。

重大度: 08

CKG962L コマンドが許可ライブラリーで見つかりませんでした。(Command could not be found in an authorized library.)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドが見つからなかったため、コマンドを実行できなかったことを示します。通常、これは CKGRACF 許可コンポーネント呼び出しの失敗です。失敗した理由は、CKGRACF がリンク・リスト内の許可ライブラリーに含まれていないか、または APF 許可 STEPLIB で見つからなかったためです。CKGRACF が含まれているライブラリーが APF 許可ライブラリーであるかどうかを確認してください。

重大度: 16

CKG962M コマンドが失敗した可能性があります。戻りコード *n* (Command may have failed, return code *n*)

説明: このメッセージは、コマンドが 4 以下でゼロ以外の戻りコードを返したことを示します。このメッセージでは、最小戻りコードは 4 になります。このエラーが部分的な失敗または警告のいずれであるかは、コマンドによって異なります。

重大度: 04

CKG962N APF モードからのコマンドは許可されていません - *command* (Command not allowed from APF mode - *command*)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、示されたコマンドが TSO AUTHCMD リスト内になく、APF 許可プログラムから呼び出される安全なコマンドの組み込みリストにもないことを示します。このコマンドをユーザー自身が要求した場合は、APF 許可のない状態で実行するか、または IKJEFT01 を使用して実行してください。組み込み関数に対する応答としてこのメッセージが返された場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKG962O コマンドが TSO スタックをフラッシュしました - 出力トラップ・ファイルを閉じるために再ログオンが必要で (Command has flushed TSO stack - relogon required to close output trap file)

説明: このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。これは通常、後続のコマンド出力が CKGPRINT ファイルに書き込まれないことを意味します。これは、CKGRACF 終了後に行モードで表示されるか、または失われる可能性があります。z/OS のリリースによっては、通常の動作を復元するには ISPF を終了してから再度開始するだけでよいことがあります。最悪の場合は、再ログオンが必要となります。

重大度: 00

CKG962P % を介した CLIST 処理はサポートされていません (CLIST processing through % not supported)

説明: このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。% 演算子を使用して CLIST を実行しようとしたことを示します。CLIST の実行はサポートされていません。

重大度: 16

CKG962S IKJEFTSR が失敗しました。戻りコード *error* 理由コード *reason* (IKJEFTSR fails return code *error* reason code *reason*)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドを実行できなかったことを示します。示されているエラー・コードと理由 コードがコマンドから返されました。

重大度: 16

CKG962T コマンドが失敗しました ATTACH *rc rc* (10 進数) (Command failed, ATTACH *rc rc* (decimal))

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドを付加できなかったことを示します。

重大度: 16

CKG962U 許可環境から許可されていない関数を呼び出すことはできません (Unauthorized functions cannot be invoked from an authorized environment)

説明: このメッセージは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKG962W コマンドが見つかりません (**Command not found**)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドが見つからなかったため、コマンドを実行できなかったことを示します。通常、これは CKGRACF 許可コンポーネント呼び出しの失敗です。失敗した理由は、CKGRACF がリンク・リスト内の許可ライブラリーに含まれていないか、または APF 許可 STEPLIB で見つからなかったためです。CKGRACF が含まれているライブラリーが APF 許可ライブラリーであるかどうかを確認してください。

重大度: 16

CKG962X コマンド名の構文エラー (**Syntax error in the command name**)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドの名前が構文的に正しくなかったため、コマンドを実行できなかったことを示します。

重大度: 16

CKG963I 名前があいまいです: 「*value*」 (**Ambiguous name "value"**)

説明: このメッセージは、あいまいな省略語 (複数のキーワードを示す可能性がある省略値など) が入力されたことを示します。目的のキーワードをより詳細に指定してください。

重大度: 12

CKG968I IFAEDDRG が失敗しました RC *nn* (10 進数) (**IFAEDDRG failed RC *nn* decimal**)

説明: このメッセージは、以前に登録済みの製品の登録が失敗したことを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKG969I *dsn* の入出力エラー: *description* (**I/O error for *dsn*: *description***)

説明: このメッセージは、*dsn* についての通常の QSAM または BSAM 入力処理中に入出力エラーが発生したことを示します。命令は続行されますが、入出力

エラーによって情報が失われることから異常終了またはその他のエラー・メッセージが後に続く場合があります。

重大度: 08

CKG970I *program task heap* フリー・ストレージ・エラー (**FREE STORAGE ERROR**): *message*

説明: このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKG971I *file* の行 *n* におけるこの *field* の最大長は *len* です (**Maximum length for this field is *len* at file line *n***)

説明: 入力に含まれている複数行ストリングが長すぎます。複数行ストリング (出力タイトルおよび引用符付きストリング) の最大サイズは *len* ですが、この最大サイズを超えました。

重大度: 12

CKG972I *product* の使用可能化情報がありません (**Enablement information missing for *product***)

説明: このメッセージは、ロード・モジュールが完全でないために製品が稼働できないことを示します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、製品のインストールを完了させるように依頼してください。

重大度: 16

CKG973I IBM セキュリティ製品コード *code* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product *code* *code* disabled or not installed**)

説明: このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしているか、または製品がこのシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できないことを示します。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKG974I IBM セキュリティー *product* が要求されたフォーカスに対して使用不可になっているか、ここではインストールされていません **IBM Security product disabled or not installed here for requested focus**

説明: 製品がインストールされていないか、または要求されたフォーカスが、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKG975I IBM セキュリティー *product* が使用不可になっているか、インストールされていません **(IBM Security product disabled or not installed)**

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKG976I 製品コード *code* のコードまたは使用可能化がありません **(Code or enablement for product code *code* is missing)**

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。

い。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKG976 IBM セキュリティー *product or feature* が使用不可になっているか、インストールされていません **(IBM Security product or feature disabled or not installed here)**

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKG977I 製品所有者('IBM CORP') ID(*id*) 名前 ('*name*') 機能('feature') バージョン (*version*) リリース (*release*) 変更 (*modification*) がインストール済みです **(Installed PRODUCT OWNER('IBM CORP') ID(*id*) NAME('name') FEATURE('feature') VER(*version*) REL(*release*) MOD(*modification*))**
[製品 *action* RC *rc* 10 進数] ([**Product action RC *rc* decimal**])

説明: このメッセージは、インストール済みの製品の DEBUG LICENSE に応答して発行されます。*action* は、"registration" または "status" になります。戻りコードはそれぞれ IFAEDREG または IFAEDSTA に対するもので、「MVS プログラミング: プロダクト登録」に記載されています。製品登録が適用されない場合は継続行が表示されません (例えば、CKG979I のため)。

重大度: 00

CKG978I 製品コード *code* が PARMLIB で無効化されました **(Product code *code* has been disabled in PARMLIB)**

説明: このメッセージは、z/OS PARMLIB 内の IFAPRDxx の項目によって、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名に対して無効になっている製品について DEBUG LICENSE への応答として発行されます。

ユーザーの処置: 製品を他の場所で実行するか、システム・プログラマーに使用可能化を依頼してください。

重大度: 00

CKG979I 製品コード *code* は他の製品によって暗黙に指定されています (**Product code *code* implied by other**)

説明: このメッセージは、製品ライセンスがより包括的なライセンスによって暗黙的に与えられているため、その製品が登録されない場合に、DEBUG LICENSE に応答して発行されます。

重大度: 00

CKG981I *type* 「*value*」が無効です (**Invalid *type* "*value*"**)

説明: このメッセージは、テキスト *value* がコンテキスト *type* で有効な値でないことを示します。

重大度: 12

CKG982I 内部エラー: *ddname* の行 *number* におけるエラー・コードが不明です (**Internal error: unknown error code at *ddname* line *number***)

説明: 入力パーサー・エラー・ルーチンで無効なエラー・コードが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKG983I *ddname* の行 *number* では、リスト区切り文字/終了文字として *type* 「*value*」ではなく *typ1* が必要です (**Expecting *typ1* list separator/terminator instead of *type* "*value*" at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、入力パーサーが、示されたタイプの現行リストのリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーター (コンテキストに応じてコンマ、空白、行末など) を予期したことを示します。代わりに、示されているトークン・タイプ *type* (およびテキストがある場合は *value*) が検出されました。入力パーサーは、現在のリストで有効なリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターが検出されるまで、すべての入力をスキップします。

重大度: 12

CKG984I *ddname* の行 *number* で無効な *type* リスト・エレメント・タイプ *type* 「*value*」が検出されました (**Invalid *type* list element *type* "*value*" at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、入力パーサーが指定されたタイプのリスト・エレメントを予期したが、このコンテキストのリスト・エレメントとしてサポートされないタイプのトークンを検出したことを示します。問題のあるテキスト *value* がある場合は、そのテキストもこのメッセージにリストされます。入力パーサーは、現在のリストで有効なリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターが検出されるまで、すべての入力をスキップします。

重大度: 12

CKG985I *ddname* の行 *number* に必須リスト・エレメント/パラメーター「*value*」がありません (**Required list element/parameter "*value*" missing at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、入力パーサーによって、リスト内の示された行に必要なパラメーターまたはエレメントがないことが検出されたことを示します。

重大度: 12

CKG986I *ddname* の行 *number* でパラメーター *value* が重複しています (**Duplicate parameter *value* at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、入力パーサーによって、示された行にパラメーターまたはリスト・エレメント *value* が重複して出現することが検出されたことを示します。

重大度: 12

CKG987I 構文エラー: *ddname* の行 *number* の「*value*」では、*type2* ではなく *type1* が必要でした (**Syntax error: *type1* expected instead of *type2* at "*value*" on *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、入力パーサーが、現行コンテキストで特定のトークン・タイプ *type1* を予期したことを示します。示された入力行では、これの代わりに、トークン・タイプ *type2* が (テキスト *value* がある場合はそのテキストで) 検出されました。

重大度: 12

CKG988I 構文エラー: *ddname* の行 *number* の「*value*」では、*type* ではなく「*c*」が必要でした (**Syntax error: "c" expected instead of typeat "value" on *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、入力パーサーが、現行コンテキストで特定の文字「*c*」(おそらく区切り文字)を予期したことを示します。示された入力行では、これの代わりに、トークン・タイプ *type* が (テキスト *value* がある場合はそのテキストで) 検出されました。

重大度: 12

CKG989I 予期しないタイプ ["*value*"] [*element* について] *ddname* の行 *number* (**Unexpected type ["value"] [for element] at *ddname* line *number***)

CKG989 *ddname* の行 *number* の予期しない *type* ["*value*"] で EOL にスキップします (**Skipping to EOL at unexpected type ["value"] at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、入力パーサーが特定のトークン・タイプのいずれかを予期したが、異なるトークン・タイプが検出されたことを示します。問題のあるテキスト値がある場合は、そのテキスト値と、それが読み取られたエレメントもこのメッセージにリストされます。パーサーは次のトークンから続行するか、行の末尾に直接スキップします。

重大度: 12

CKG991I 予期しない [*type*|nil] ポインター。場所: *procedure* - ユーザー異常終了 991 (**Unexpected [*type*|nil] pointer in *procedure* - user abend 991**)

説明: このメッセージは、プログラムの予期しない状態を示します。プログラムはユーザー異常終了 991 で終了します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKG992I ABNEXIT/STXIT/ESTAE 戻りコード *rc* (ABNEXIT/STXIT/ESTAE return code *rc*)

説明: このメッセージは、プログラムが異常終了リンケージの確立に失敗したことを示します。

重大度: 04

CKG993I *program* タスク *taskname* *type* に対する診断ダンプが抑止されました。異常終了 *xxx* (**DIAGNOSTIC DUMP SUPPRESSED FOR *program* TASK *taskname* type ABEND *xxx***)

説明: このメッセージは、プログラムの異常終了出口により診断要約ダンプの作成が試行されなかったことを示します。これは、印刷ファイルに関連する再帰的な異常終了状態を防ぐ目的で行われます。タスク名は、メインタスクまたはプログラム内の唯一のタスクの場合は PROGRAM です。マルチタスキング・プログラムの場合、*program* は、サブタスクの 1 つを示す可能性があります。

CKG994I 最終レコードがファイルの終わりで切り捨てられました。 *ddname* (**Last record truncated by end-of-file *ddname***)

説明: このメッセージは、複数セグメントのレコードの途中で RECFM=VBS 入力ファイルの終わりに達したことを示します。

重大度: 16

CKG995I LRECL が無効です。区分化されているため置き換えられませんでした (**LRECL invalid; not overruled because partitioned**)

説明: このメッセージは、印刷ファイルのオープン・ルーチンによって検出された出力ファイルのレコード長が無効だったことを示します。これは、物理的順次データ・セットの正しい長さによって変更されるはずでしたが、既存の PDS メンバーをアクセス不能にすることがないように、区分データ・セットに対して変更は行われませんでした。無効なレコード長が原因で、この後に 013 または 002 の異常終了が発生する可能性があります。

CKG996I MFREE: スタック *name* のブロック内で長さが見つかりません (**MFREE: NO LENGTH FOUND IN BLOCK FOR STACK *name***)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 04

CKG997I スタック・エラー - ポップされたエレメントがスタック *name* の最上部にありません (**STACK ERROR - ELEMENT POPPED IS NOT ON TOP OF STACK *name***)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKG998I *program* のスタック *tasklevel stackname* でスタック・オーバーフローが発生しました (**STACK OVERFLOW FOR STACK *tasklevel stackname* IN *program***)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKG999I *program* 内のタスク *taskname* のヒープ *heapname* のストレージが不足しています - 領域を増やしてください (**STORAGE SHORTAGE FOR TASK *taskname* HEAP *heapname* IN *program* - INCREASE REGION**)

説明: このメッセージは、プログラムに追加のストレージが必要であることを示します。このメッセージの後に

は、ユーザー異常終了 16 が続きます。ヒープ名が LOWHEAP または SYSSTACK の場合、この要求は 16 MB ラインより下のストレージに対して出されます。この名前が MAINHEAP の場合、この要求はあらゆる場所のストレージに対して出されます。領域 (バッチ・ジョブの場合) または SIZE (TSO コマンドの場合) を増やしてから、再試行してください。

重大度: 16

第 4 章 CKN メッセージ

この章では、CKNSERVE プログラムで発行されるメッセージについて説明します。CKNSERVE プログラムは zSecure Server です。zSecure Server (通常は、システムあたり 1 つ配置) は、CKRCARLA、CKX、および CKGRACF からの要求にリモートで応じることができるピア・ノードからなるネットワークを形成します。

CKNSERVE プログラムで使用される重大度レベル・コードを以下に示します。

- I** 通知メッセージ。
- W** 警告メッセージ。タスクは続行されますが、エラーが発生しました。
- E** エラー・メッセージ。タスクはすぐに終了する場合も、続行を試みる場合があります。
- S** 重大なエラー・メッセージ。
- A** アクション・メッセージ。状態を修正するには、オペレーターの操作が必要です。

CKN メッセージ番号は、以下のカテゴリーに従ってグループ化されています。

- 100-399 状況または要約情報を示す通常のメッセージ。
- 400-499 DEBUG コマンドによるデバッグ・メッセージ
- 500-599 状況または要約情報を示す通常のメッセージ。
- 600-699 実行中に発生したエラー状態。
- 700-799 コマンドの実行前、入力の解析中に発生したエラー。
- 800-899 アーキテクチャー・サブコンポーネントによって発行されるメッセージ。
- 900-999 アーキテクチャー・サブコンポーネントによって発行されるメッセージ。

CKNSERVE 重大度コード、つまり完了コードの一般的な意味は次のとおりです。

- 00** 状況または要約情報を示す通常のメッセージ。
- 04** 警告: 予期しない結果がコマンドで生じる恐れのある状況が発生しました。
- 08** 処理中にエラー状態が発生しました。
- 12** コマンド入力に構文エラーがあるか、または USR データの形式が無効です。
- 16** ライセンスに問題があるか、またはファイルが無効もしくはサポートされていません。
- 20** サポートされない条件が見つかったか、またはインストールでエラーが発生しました。
- 24** CKNSERVE で内部エラー、または他の予期しない/サポートされない条件が検出されました。

CKN000I **gethostname** から取得したローカル・ホスト名は *HOSTNAME* です (**Local hostname obtained from gethostname is HOSTNAME**)

説明: このメッセージは、gethostname サービスから戻されたローカル・ホスト名を示します。必要な ZSECSYS 構成ステートメントがサーバーで使用されていない場合は、これが問題になる場合があります。

重大度: 00

CKN001I **BPX1HST gethostname** が失敗しました *unix error (BPX1HST gethostname failed unix error)*

説明: このメッセージは、サーバーがローカル・ホスト名を取得できなかったことを示します。zSecure Server は、この名前がないと作動できません。

ユーザーの処置: TCP/IP 構成を確認してください。グローバル・デフォルトがあることを確認するか、または TCPIPDATA ファイルを接続してください。これらのいずれかが指定されている場合は、ガイダンスとして「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルを参照してください。

重大度: 12

CKN002I ホスト名の **BPX1GAI getaddrinfo** が失敗しました *unix error (BPX1GAI getaddrinfo for hostname failed unix error)*

説明: このメッセージは、サーバーが正規ドメイン名を取得できなかったことを示します。zSecure Server は、この名前がないと作動できません。

ユーザーの処置: TCP/IP 構成を確認してください。グローバル・デフォルトがあることを確認するか、または TCPIPDATA ファイルを接続してください。これらのいずれかが指定されている場合は、ガイダンスとして「UNIX System Services メッセージおよびコード」のマニュアルを参照してください。

重大度: 12

CKN003I 正規ドメイン名は *DNAMNAME* です (**Canonical domain name is DNAMNAME**)

説明: このメッセージは、getaddrinfo サービスで戻される正規ドメイン名を示します。必要な ZSECSYS 構成ステートメントがサーバーで使用されていない場合は、これが問題になる場合があります。CKNIN 入力ファイルで OPTION OWNSYS を指定しない場合、サーバー

は、この名前に一致する最初の ZSECSYS をその IPADDR パラメーターに選択します。

重大度: 00

CKN004I **BPX1SOC system TCP** ソケット・ファミリー *ai_family abend (BPX1SOC system TCP socket family ai_family abend)*

説明: このメッセージは、示されたファミリー・タイプのソケットを取得できなかったことを示します。設定済みのタイプは 19 (AF_INIT6) です。ただし、これが非アクティブの場合は、ファミリー 2 (AF_INET) へのフォールバックが必要です。ソフトウェアは、19 (AF_INIT6) または 2 (AF_INET) 以外のソケット・ファミリーは受け入れません。system は、ZSECSYS 名または「Server」という語のいずれかです。

ユーザーの処置: 原因とアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度: 12

CKN005I **BPX1SOC system TCP** ソケットが失敗しました - *unix error* ファミリー *ai_family* ソケット・タイプ *ai_socktype (BPX1SOC system TCP socket failed - unix error family ai_family socktype ai_socktype)*

説明: このメッセージは、示されたファミリー・タイプのソケットを取得できなかったことを示します。設定済みのタイプは 19 (AF_INIT6) です。ただし、これが非アクティブの場合は、ファミリー 2 (AF_INET) へのフォールバックが必要です。ソフトウェアは、19 (AF_INIT6) または 2 (AF_INET) 以外のソケット・ファミリーは受け入れません。system は、ZSECSYS 名または「Server」という語のいずれかです。

ユーザーの処置: 原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度: 12

CKN006I *system TCP* ソケット・ファミリー *ai_family* がストリーム・ソケット *SOCKDESC* を設定しました (**system TCP socket family ai_family established stream socket SOCKDESC**)

説明: この通知メッセージは、特定のソケット記述子番号が設定されたシステムを示します。これを使用して、ソケット番号を含む後続のエラー・メッセージを特定のシステムにリンクできます。system は、ZSECSYS 名または「Server」という語のいずれかです。

重大度: 00

CKN007I ポート *PORT* ソケット *SOCKDESC* に対する **BPX1BND** バインド呼び出し *abend* (**BPX1BND bind call for port *PORT* socket *SOCKDESC* *abend***)

説明: このメッセージは、バインド呼び出しにより、示されたソケットの示されたポートにリスナーを設定するときに、異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置: 原因とアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度: 12

CKN008I ポート *PORT* ソケット *SOCKDESC* に対する **BPX1BND** バインド呼び出しが失敗しました *unix error* (**BPX1BND bind call for port *PORT* socket *SOCKDESC* failed *unix error***)

説明: このメッセージは、バインド呼び出しにより、示されたソケットの示されたポートにリスナーを設定するときに、UNIX エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置: 原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度: 12

CKN009I サーバー・ソケット *SOCKDESC* はポート *PORT* にバインドされました (**Server socket *SOCKDESC* bound to port *PORT***)

説明: このメッセージは、示されたポート番号を *listen* するために使用されるソケット番号を示します。

重大度: 00

CKN010I ソケット *SOCKDESC* 上での **BPX1LSN** *listen* *abend* (**BPX1LSN listen on socket *SOCKDESC* *abend***)

説明: このメッセージは、示されたソケットに対する *listen* 呼び出し中に異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置: 原因とアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度: 12

CKN011I ソケット *SOCKDESC* 上での **BPX1LSN** *listen* が失敗しました *unix error* (**BPX1LSN listen failed on socket *SOCKDESC* *unix error***)

説明: このメッセージは、示されたソケットに対する *listen* 呼び出し中に UNIX エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置: 原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度: 12

CKN012I サーバーがソケット *SOCKDESC* のポート *PORT* を *listen* しています。最大キュー項目数は *BACKLOG* です (**Server now listening on socket *SOCKDESC* to port *PORT* with max queue depth *BACKLOG***)

説明: このメッセージは、サーバーが、示されたソケット番号を使用して示されたポートを *listen* していることを示します。

重大度: 00

CKN013I ソケット *SOCKDESC* 上での **BPX1AIO** 受諾 *abend* (**BPX1AIO accept on socket *SOCKDESC* *abend***)

説明: このメッセージは、示されたソケットに対する *asyncio* 受諾呼び出し中に異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置: 原因とアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度: 12

CKN014I ソケット *SOCKDESC* 上での **BPX1AIO** 受諾が失敗しました *unix error* (**BPX1AIO accept failed on socket *SOCKDESC* *unix error***)

説明: このメッセージは、示されたソケットに対する *asyncio* 受諾呼び出し中に UNIX エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置: 原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度: 12

CKN015I CKNCOMR は、WKQR *address* 上の不明な WKQRTYPE=*xx* です (CKNCOMR unknown WKQRTYPE=*xx* on WKQR *address*)

説明: このメッセージは、不明な要求タイプが通信タスクで受信されたことを示します。

ユーザーの処置: これが既知の問題であり、特定のフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKN016I ソケット SOCKET 上での BPX1AIO 接続 *abend* (BPX1AIO connect on socket SOCKET *abend*)

説明: このメッセージは、示されたソケットに対する *asyncio* 接続呼び出し中に異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置: 原因とアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度: 12

CKN017I ソケット SOCKET 上での BPX1AIO 接続が失敗しました *unix error* (IPADDRESS のポート *PORT*) (BPX1AIO connect failed on socket SOCKET *unix error port PORT of IPADDRESS*)

説明: このメッセージは、示されたポートおよび IP アドレスの示されたソケットに対する *asyncio* 接続呼び出し中に UNIX エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置: 原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度: 12

CKN018I ソケット SOCKDESC 上での BPX1AIO 受信 *abend* (BPX1AIO receive on socket SOCKDESC *abend*)

説明: このメッセージは、示されたソケットに対する

asyncio 受信呼び出し中に異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置: 原因とアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度: 12

CKN019I ソケット SOCKDESC 上での BPX1AIO 受信が失敗しました *unix error* (BPX1AIO receive failed on socket SOCKDESC *unix error*)

説明: このメッセージは、示されたソケットに対する *asyncio* 受信呼び出し中に UNIX エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置: 原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度: 12

CKN020I ソケット SOCKDESC 上での *number* バイトの *TYPE* メッセージの BPX1AIO 送信 *abend* (BPX1AIO send *number byte TYPE msg on socket SOCKDESC abend*)

説明: このメッセージは、示されたソケット上での示されたメッセージ・タイプに対する *asyncio* 送信呼び出し中に異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置: 原因とアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度: 12

CKN021I ソケット SOCKDESC 上での *NUMBER* バイトの *TYPE* メッセージの BPX1AIO 送信が失敗しました *unix error* (BPX1AIO send *NUMBER byte TYPE msg failed on socket SOCKDESC unix error*)

説明: このメッセージは、示されたソケット上での示されたメッセージ・タイプに対する *asyncio* 送信呼び出し中に UNIX エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置: 原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度: 12

CKN022I ソケット *SOCKDESC* 上での送信が失敗しました *unix error*、ソケットを閉じます
(**Send failed on socket *SOCKDESC* *unix error* , closing socket**)

説明: このエラーは、このサーバーからピア・サーバーへの通信リンクをブロックするファイアウォール・アクションによって発生した可能性があります。ピア・サーバーが管理ノードであり、このサーバーが管理対象ノードである場合、接続が成功すれば、これは必ずしも問題ではありません。これが問題の場合は、少なくとも管理ノードから管理対象ノードへの 1 方向で接続を確立できるように 1 つ以上のファイアウォールを構成する必要があります。

ユーザーの処置: 原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度: 04

CKN023I ソケット *SOCKDESC* が閉じているため、送信が失敗しました (**Send failed because socket *SOCKDESC* closed**)

説明: このメッセージは、スケジュール済みの送信アクションの準備が整ったが、ソケットが閉じていたことを示します。この原因としては、サーバーがシャットダウンしたか、またはファイアウォールが接続を終了したことが考えられます。

ユーザーの処置: ローカル・サーバーもリモート・サーバーもシャットダウンしていなかった場合は、このソケットの接続先のノードに関するエラーが構成メンバーにないかどうかと、接続パスが依然として機能していることを確認してください。

重大度: 08

CKN024I ソケット *SOCKDESC* 上での受信が失敗しました *unix error* (**Receive failed on socket *SOCKDESC* *unix error***)

説明: このメッセージは、示されたソケットに対する送信呼び出し中に UNIX エラーが発生したことを示します。これは、パス内のファイアウォール・アクションによって発生した可能性があります。ただし、他の接続がまだ存在している場合、または接続が必要なクライアントが存在しない場合は、問題とはなりません。

ユーザーの処置: クライアントに関する問題がない場合は、メッセージを無視してください。クライアントがアクティブでなければならない場合は、UNIX システム・コードの資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。

重大度: 04

CKN025I ソケット *SOCKDESC* が閉じているため、受信が失敗しました (**Receive failed because socket *SOCKDESC* closed**)

説明: このメッセージは、スケジュール済みの受信アクションの準備が整ったが、ソケットが閉じていたことを示します。この原因としては、サーバーがシャットダウンしたか、またはファイアウォールが接続を終了したことが考えられます。

ユーザーの処置: ローカル・サーバーもリモート・サーバーもシャットダウンしていなかった場合は、このソケットの接続先のノードに関するエラーが構成メンバーにないかどうかと、接続パスが依然として機能していることを確認してください。

重大度: 08

CKN026I ソケット *SOCKDESC* 上でメッセージ長が負のフィールド *hexnum* を受信しました (**Negative message length field *hexnum* received on socket *SOCKDESC***)

説明: このメッセージはプロトコル・エラーを示します。別のプロトコルを使用するサービスがサーバーと接続したことが考えられます。

ユーザーの処置: 示されたソケットで接続したユーザーを特定してください。また、ソケットでポート番号が処理対象に正しく構成されていることを確認してください。

重大度: 08

CKN027I ソケット *SOCKDESC* で不明なメッセージ *ID TYPE* を受信しました。「*string*」を開始します (**Unknown message id *TYPE* received on socket *SOCKDESC* starts "*string*"**)

説明: このメッセージはプロトコル・バージョン・エラーを示します。現在のサーバーのバージョンと互換性のない、より新しい zSecure Server がサーバーと接続したことが考えられます。

ユーザーの処置: このソケットで接続したユーザーを特定してください。また、ソケットでポート番号が処理対象に正しく構成されていることを確認してください。

重大度: 08

CKN028I サポートされない *TYPE* レベル *xx* が *xx* の代わりにソケット *SOCKDESC* で受信されました (**Unsupported *TYPE* level *xx* instead of *xx* received on socket *SOCKDESC***)

説明: このメッセージはプロトコル・バージョン・エラーを示します。現在のサーバーのバージョンと互換性のない、より新しい zSecure Server がサーバーと接続したことが考えられます。

ユーザーの処置: 構成されているすべてのサーバーが、互換性のあるレベルであることを確認してください。例えば、より緩やかなアップグレード・パスに従ってください。

重大度: 08

CKN029I 予期しない *TYPE* 長さ *length found* が *length expected* の代わりにソケット *SOCKDESC* で受信されました (**Unexpected *TYPE* length *length found* instead of *length expected* received on socket *SOCKDESC***)

説明: このメッセージはプロトコル・エラーを示します。別のプロトコルを使用するサービスがサーバーと接続したことが考えられます。

ユーザーの処置: このソケットで接続したユーザーを特定してください。また、ソケットでポート番号が処理対象に正しく構成されていることを確認してください。これが zSecure Server の場合は、バージョンに互換性があることを確認してください。バージョンに互換性があると記載されている場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKN030I ソケット *SOCKDESC* に対して、無効なメッセージ *ID type*、長さ *length* で **CKNRMSG** が呼び出されました (**CKNRMSG called with invalid message id type len length for socket *SOCKDESC***)

説明: このメッセージはソフトウェアの問題を示します。

ユーザーの処置: サーバー CKNPRINT 出力を保存します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページ

の『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKN031I **BPX1CLO** でソケット *sockdesc* を閉じることができませんでした *unix error* (**BPX1CLO failed close socket *sockdesc* *unix error***)

説明: このメッセージは、ソケットを閉じるときに発生した問題を示します。

ユーザーの処置: 「UNIX System Services メッセージおよびコード」資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。

重大度: 04

CKN032I ドメインに対する **BPX1FAI freeaddrinfo** が失敗しました *unix error* (**BPX1FAI freeaddrinfo for domain failed *unix error***)

説明: このメッセージは、freeaddrinfo 呼び出し中に UNIX エラーが発生したことを示します。サーバー操作への影響はないと考えられます。

ユーザーの処置: CKNPRINT ファイルを保存して 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKN033I *IPADDR* に対する **BPX1GAI getaddrinfo** ZSECSYS が失敗しました *unix error* (**BPX1GAI getaddrinfo ZSECSYS failed *unix error* for *IPADDR***)

説明: このメッセージは、示された IP アドレスに対する getaddrinfo 呼び出し中に UNIX エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置: 原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度: 08

CKN034I **ZSECSYS ZSECSYS getaddrinfo** により *IPADDR* が *NUMIP* に解決されます (**ZSECSYS ZSECSYS getaddrinfo resolves *IPADDR* to *NUMIP***)

説明: この通知メッセージは、どの IP アドレスを使用して、示された ZSECSYS への接続が試行されるかを示します。

重大度: 00

CKN035I CKNCLNR は、WKQR *address* 上の不明な WKQRTYPE=*xx* です (CKNCLNR unknown WKQRTYPE=*xx* on WKQR *address*)

説明: このメッセージは、不明な要求タイプが通信タスクで受信されたことを示します。

ユーザーの処置: これが既知の問題であり、特定のフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKN036I ソケット SOCKDESC 上で zsecsys への接続が失敗しました *unix error* (Connect to zsecsys failed on socket SOCKDESC *unix error*)

説明: このメッセージは、示されたサーバーへの接続呼び出しが失敗したことを示します。サーバー構成ファイルが不正確であるか、必要なネットワーク・リンクがダウンしているか、またはリモート・サーバーがアクティブでない可能性があります。

ユーザーの処置: リモート・サーバーがアクティブであるかどうかを確認して、アクティブでない場合はリモート・サーバーを再始動してください。エラーについて詳しくは、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度: 12

CKN037I zsecsys=ZSECSYS zsecnode=ZSECNODE smfid=*name* から接続を試みましたが、これらが構成ファイルに定義されていません (Attempt to connect from zsecsys=ZSECSYS zsecnode=ZSECNODE smfid=*name* but not defined in configuration file)

説明: このメッセージは、示されたリモート・サーバーがローカル・サーバーと接続したが、サーバーがサーバ

ー構成ファイルに定義されていないことを示します。

ユーザーの処置: リモート・サーバーで接続する場合は、サーバー構成を更新してください。サーバー構成が正しい場合は、非認識 (無許可) サーバーがローカル・サーバーにアクセスするために許可されたリモート・サーバーを模倣しようとしているのかどうかを判別してください。

重大度: 08

CKN038I 接続先の IPADDR は zsecsys=ZSECSYS zsecnode=ZSECNODE smfid=*name* ですが、構成ファイルで定義されている SYSNAME/ZSYSNODE ではありません (IPADDR connected to is zsecsys=ZSECSYS zsecnode=ZSECNODE smfid=*name* but not SYSNAME/ZSYSNODE as defined in configuration file)

説明: このメッセージは、ローカル・サーバーがリモート・サーバーに接続しているが、接続から戻された名前がローカル・サーバーの構成ファイルで定義された名前とは異なることを示します。

ユーザーの処置: この接続が機能することを確認してください。機能する場合は、構成ファイルの 1 つまたは両方を変更してください。

重大度: 08

CKN040I ZSECNODE 名 (ZSECNODE) の定義が重複しています (Duplicate ZSECNODE NAME(ZSECNODE) definition)

説明: このメッセージは、サーバー構成ファイルにエラーがあることを示します (ZSECNODE が複数回定義されています)。

ユーザーの処置: ノード定義のいずれかを変更または削除してください。

重大度: 12

CKN041I ZSECSYS 名 (ZSECSYS) の定義が重複しています (Duplicate ZSECSYS NAME(ZSECSYS) definition)

説明: このメッセージは、サーバー構成ファイルにエラーがあることを示します (ZSECSYS 名が複数回定義されています)。ZSECSYS 名は固有でなければなりません。

ユーザーの処置: システム定義のいずれかを変更または削除してください。

重大度: 12

CKN042I **ZSECNODE** 名 (**ZSECSYS** が定義されていません (**NO ZSECNODE NAME(ZSECSYS) defined**))

説明: このメッセージは、ZSECSYS ステートメントが、まだ定義されていない ZSECNODE を参照した場合に発行されます。ZSECNODE を定義してから、ZSECNODE を参照する ZSECSYS ステートメントを定義する必要があります。

ユーザーの処置: ZSECNODE ステートメントを移動または追加するか、もしくはノード名の誤りを修正してください。

重大度: 12

CKN044I 有効な **ZSECSYS** がパラメーターに定義されていません (**No valid ZSECSYS defined in parameters**)

説明: サーバー構成ファイルには、ZSECNODE ステートメントと ZSECSYS ステートメントを含める必要があります。有効な ZSECSYS ステートメントが見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 有効なサーバー構成ファイルを作成します。

重大度: 12

CKN045I **OPTION OWNSYS** で指定する **ZSECSYS** に **ZSECSYS** ステートメントがありません (**ZSECSYS statement missing for ZSECSYS specified on OPTION OWNSYS**)

説明: ZSECSYS ステートメントが欠落しているのが見つかりました。または **OPTION OWNSYS** に誤りが含まれています。

ユーザーの処置: 定義された ZSECSYS を **OWNSYS** が参照するようにサーバー構成ファイルを修正してください。

重大度: 12

CKN046I 独自の **ZSECSYS** の **IPADDR** がドメイン名と異なります (**IPADDR for own ZSECSYS differs from domain name**)

説明: このメッセージは、現在のシステムの正規名が、**OPTION OWNSYS** 上のシステムの **SECSYS** ステートメントの **IPADDR** に一致していないことを示します。この不一致により、リモート・システムは、現行システムに接続できない可能性があります。

ユーザーの処置: 現行システム名の **DNS** 名を確認し

て、構成ファイルを更新してください。

重大度: 04

CKN047I ポート番号 **IPPORT** は無効です。1 から 65535 の間にしてください (**Port number IPPORT not possible, must be in range 1..65535**)

説明: IP ポートの指定が無効です。この数値は 1 から 65535 の間でなければなりません。

ユーザーの処置: **IPPORT** の指定を修正してください。

重大度: 12

CKN048I 抑止するメッセージ番号は、0 から 999 の間にしてください (**Message number to be suppressed must be in range 0...999**)

説明: **OPTION MSGSUP** の指定に無効なメッセージ番号が含まれています。この数値は 0 から 999 の間でなければなりません。

ユーザーの処置: **MSGSUP** の指定を修正してください。

重大度: 12

CKN050I サーバーには、**z/OS 1.9** 以降が必要です。

説明: このメッセージは、サポートされる **z/OS** リリース上で **zSecure Server** が実行されていないことを示します。このメッセージは抑止できますが、このように **zSecure Server** を実行することはサポートされないことに注意してください。

ユーザーの処置: このシステム上で **zSecure Server** を使用する必要がある場合は、**z/OS** リリースをサポートされるリリースにアップグレードしてください。

重大度: 16

CKN051I サーバーは、**APF** 許可がある状態で実行してください (**Server must run APF authorized**)

説明: クライアント通信をセットアップして、**RACF** 情報を取得するには、サーバーに **APF** 許可が必要です。このメッセージは抑止できますが、サーバーを **APF** 許可なしで実行すると、非クライアント・エンドポイント・サーバーとしての機能が非常に制限されます。そのため、**APF** 許可なしでの実行は、サポートされていません。

ユーザーの処置: ロード・ライブラリーを APF リストに追加してください。

重大度: 16

CKN052I サーバー・トークン *SERVERTOKEN* を使用するサーバーは、既にアクティブのようです (**Server with servertoken *SERVERTOKEN* seems to be active already**)

説明: このメッセージは、サーバーが既に稼働しており、示されたサーバー・トークンを使用していることを示します。これはサポートされません。特定のサーバー・トークンを使用するサーバーは、いつの時点でも、システムあたり 1 つしかアクティブにできません。

ユーザーの処置: 同一システム上で並列サーバーを開始する場合は、サーバー・トークンを変更してください。サーバーを再始動する場合は、最初のサーバー・インスタンスを停止してください。

重大度: 16

CKN054I 予期しない *IEANTRT* 戻りコード *rc* が戻されました (**Unexpected *IEANTRT* return code *rc***)

説明: このメッセージには、z/OS 名前トークン要求サービスからの予期しない戻りコードがリストされます。

ユーザーの処置: サーバーの再始動を試行してください。問題が引き続き発生する場合は、*IEANTRT* 戻りコードの資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。問題を解決できない場合は、これが既知の問題であり、該当するフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKN055I サーバー・トークン *token* は、互換性のないバージョン *version* 用に定義されています。このサーバーは *version* を使用しています (**Servertoken *token* is defined for an incompatible version *version* this server uses *version***)

説明: このメッセージは、互換性のないバージョンのサーバー・トークンが見つかったことを示します。

ユーザーの処置: 別のサーバー・トークンを使用するか、または別のバージョンのクライアント・ソフトウェアを使用してください。

重大度: 16

CKN056I サーバー・トークン *token* を使用する IPL の後、*CKNSERVE* が最初に始動します (***CKNSERVE* first start after IPL with servertoken *token***)

説明: このメッセージは、示されたサーバー・トークンについて、システムに新しい名前トークンが追加されたことを示します。

重大度: 00

CKN057I *SYSEVENT DONTSWAP* が失敗しました。戻りコード *rc* (***SYSEVENT DONTSWAP* failed, return code *rc***)

説明: このメッセージには、*SYSEVENT DONTSWAP* 呼び出しからの予期しない戻りコードがリストされます。

ユーザーの処置: サーバーの再始動を試行してください。問題が引き続き発生する場合は、*SYSEVENT* 戻りコードの資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。

重大度: 16

CKN058I サーバー・トークンからの既存の *LX* *heXLX* を使用中 (**Using existing *LX* *heXLX* from servertoken**)

説明: この進行通知メッセージは、サーバーで再利用されているリンケージ索引を示します。

重大度: 00

CKN059I 新しい *LX* の取得中 (**Obtaining new *LX***)

説明: この進行通知メッセージは、サーバーでリンケージ索引が必要であることを示します。

重大度: 00

CKN060I 新しい *LX* *hex lx* を取得しました (**Obtained new *LX* *hex lx***)

説明: この進行通知メッセージは、サーバーが取得した新しいリンケージ索引を示します。

重大度: 00

CKN061I *address* の CKNSVPC の IDENTIFY
RC=decrc (IDENTIFY RC=decrc for
CKNSVPC at *address*)

説明: このメッセージには、IDENTIFY 呼び出しからの予期しない戻りコードがリストされます。

ユーザーの処置: サーバーの再始動を試行してください。問題が引き続き発生する場合は、これが既知の問題であり、該当するフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。それ以外の場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKN062I 新しい ET の取得中 (Obtaining new ET)

説明: この進行通知メッセージは、サーバーでエントリー・テーブルが必要であることを示します。

重大度: 00

CKN063I トークン TOKEN を持つ新しい ET を取得しました (Obtained new ET with token TOKEN)

説明: この進行通知メッセージは、サーバーが取得した新しいエントリー・テーブル・トークンを示します。

重大度: 00

CKN064I アドレス・スペースが ET に接続されました (Address spaces now connected to ET)

説明: この進行通知プロセスは、クライアントがプログラム呼び出しを通じてサーバーに接続できるようになったことを示します。

重大度: 00

CKN065I NAMETOKEN の作成中に予期しない IEANTCR 戻りコード decrc が発生しました (Unexpected IEANTCR return code decrc creating NAMETOKEN)

説明: このメッセージには、永続的なサーバー名トークンの作成を試行している間に発生した、z/OS 名前トークン作成サービスからの予期しない戻りコードが示されます。

ユーザーの処置: サーバーの再始動を試行してください。問題が引き続き発生する場合は、IEANTCR 戻りコードの資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。問題を解決できない場合は、これが既知の問題であり、該当するフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。それ以外の場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKN066I 永続的なサーバー名トークン
NAMETOKEN が正常に作成されました
(Persistent server name token
NAMETOKEN created successfully)

説明: この進行通知メッセージは、作成された永続的な名前トークンを示します。

重大度: 00

CKN067I NAMETOKEN の作成中に予期しない IEANTCR 戻りコード decrc が発生しました (Unexpected IEANTCR return code decrc creating NAMETOKEN)

説明: このメッセージには、非永続的なサーバー名トークンの作成を試行している間に発生した、z/OS 名前トークン作成サービスからの予期しない戻りコードが示されます。

ユーザーの処置: サーバーの再始動を試行してください。問題が引き続き発生する場合は、IEANTCR 戻りコードの資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。問題を解決できない場合は、これが既知の問題であり、該当するフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。それ以外の場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKN068I 非永続的なサーバー名トークン
NAMETOKEN が正常に作成されました
(Non-persistent server name token
NAMETOKEN created successfully)

説明: この進行通知メッセージは、作成された非永続的な名前トークンを示します。

重大度: 00

CKN069I エントリー・テーブルの削除中
(Removing Entry Table)

説明: この進行通知メッセージは、サーバーがエントリー・テーブルの削除を試みていることを示します。

重大度: 00

CKN070I 接続が存在している間にエントリー・テーブルが削除されました (Entry Table removed while connections existed)

説明: この進行通知メッセージは、サーバーがエントリー・テーブルを削除したが、接続が依然としてアクティブであることを示します。これにより、例えば、クライアントで 0D6 異常終了が発生する場合があります。

重大度: 00

CKN072I エントリー・テーブルが正常に削除されました (Entry Table removed successfully)

説明: この進行通知メッセージは、サーバーがエントリー・テーブルを削除したが、アクティブな接続がなかったことを示します。

重大度: 00

CKN073I SYSEVENT OKSWAP が失敗しました。
戻りコード *decr* (SYSEVENT OKSWAP failed, return code *decr*)

説明: このメッセージには、SYSEVENT OKSWAP 呼び出しからの予期しない戻りコードがリストされます。サーバーへの影響はない可能性があります。

ユーザーの処置: サーバーの再始動を試行して、エラーが再度発生するかどうかを確認してください。

重大度: 04

CKN080I *address2* での *address1* 長さ *length1* へのコピー、または *address4* からの *address3* 長さ *length2* の書き込みで問題が発生しました - *abend* (Problem copying to *address1* len *length1* at *address2* writing *address3* len *length2* from *address4* - *abend*)

説明: このメッセージは、サーバーによる PC 呼び出しで渡されたバッファ・アドレスまたは長さが無効であったことを示します。

ユーザーの処置: 呼び出しの問題を修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を探してください。

重大度: 08

CKN081I 無効な PLIST ポインターが渡されました
address - abend (Invalid PLIST pointer passed *address - abend*)

説明: このメッセージは、サーバーによる PC 呼び出しで渡されたパラメーター・リスト・アドレスが無効であったことを示します。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKN082I 無効な BUFLN ポインターが渡されました
address - abend (Invalid BUFLN pointer passed *address - abend*)

説明: このメッセージは、サーバーによる PC 呼び出しで渡されたバッファ長アドレスが無効であったことを示します。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKN083I 無効なトークン・ポインターが渡されました
address - abend (Invalid token pointer passed *address - abend*)

説明: このメッセージは、サーバーによる PC 呼び出しで渡されたトークン・アドレスが無効であったことを示します。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポート

への連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKN084I *jobname ASID asid ユーザー userid から無効なトークンまたは期限切れのトークンが渡されました address cbid (Invalid or expired token passed address cbid from jobname ASID asid user userid)*

説明: このメッセージは、サーバーが PC 呼び出しで渡されたトークンを認識していないことを示します。クライアントの稼働中にサーバーを再始動すると、まれにこの現象が発生する場合があります。クライアント終了要求を送信してから別の要求 (リモート・ファイルのクローズなど) を送信しても、この現象が発生する場合があります。

ユーザーの処置: サーバーを再始動した場合は、無視してクライアント操作を再開してください。それ以外の場合は、呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKN085I *期限切れのトークン (old client number) が jobname ASID asid ユーザー userid から渡されました。現在は new client number です (Expired token passed old client number now new client number from jobname ASID asid user userid)*

説明: このメッセージは、サーバーが PC 呼び出しで渡されたトークンを認識していないことを示します。クライアントの稼働中にサーバーを再始動すると、まれにこの現象が発生する場合があります。

ユーザーの処置: サーバーを再始動した場合は、無視してクライアント操作を再開してください。それ以外の場合は、呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKN086I *渡されるトークンはジョブ jobname ASID asid TCB tcb-address ユーザー userid に属しています。呼び出し元は jobname ASID asid TCB tcb-address ユーザー userid です (Token passed belongs to job jobname ASID asid TCB tcb-address user userid; caller is jobname ASID asid TCB tcb-address user userid)*

説明: このメッセージは、別のクライアントに属するクライアント番号が PC 呼び出しでサーバーに渡されたことを示します。クライアントの稼働中にサーバーを再始動すると、まれにこの現象が発生する場合があります。

ユーザーの処置: サーバーを再始動した場合は、無視してクライアント操作を再開してください。それ以外の場合は、呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKN087I *jobname ASID asid ユーザー userid から無効なトークンが渡されました address - abend (Invalid token passed address - abend from jobname ASID asid user userid)*

説明: このメッセージは、サーバーが PC 呼び出しで渡されたトークンを認識していないことを示します。クライアントの稼働中にサーバーを再始動すると、まれにこの現象が発生する場合があります。クライアント終了要求を送信してから別の要求 (リモート・ファイルのクローズなど) を送信しても、この現象が発生する場合があります。

ユーザーの処置: サーバーを再始動した場合は、無視してクライアント操作を再開してください。それ以外の場合は、呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKN088I ユーザー ID が見つからず、識別できません (**No userid found, cannot identify**)

説明: このメッセージは、PC 呼び出しを発行している作業単位の SAF ユーザー ID をサーバーが識別できないことを示します。したがって、アクセスは拒否されます。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKN089I トークンの更新中にエラーが発生しました
address - abend (Error updating token
address - abend)

説明: このメッセージは、サーバーがトークンを更新できないことを示します。原因としては、トークンがキー 8 のストレージに配置されていないことが考えられます。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKN090I 無効な **FUNCTION** ポインターが渡されました *address - abend (Invalid*
FUNCTION pointer passed address -
abend)

説明: このメッセージは、サーバーによる PC 呼び出しで渡された関数ポインターが無効であったことを示します。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKN091I サポートされない **FUNCTION** レベル *xx* が *yy* の代わりに *jobname ASID asid* ユーザー *userid* から受信されました
(Unsupported FUNCTION level xx
instead of yy received from jobname
ASID asid user userid)

説明: このメッセージは、PC 呼び出しに渡された関数のバージョンがサーバーでサポートされないことを示します。サポートされない組み合わせで新しいクライアントと古いサーバーを使用していることが考えられます。

ユーザーの処置: より新しいサーバーに接続するか、またはより古いクライアントを使用してください。

重大度: 08

CKN092I 予期しない **FUNCTION** の長さ *len1* が *len2* の代わりに *jobname ASID asid* ユーザー *userid* から受信されました
(Unexpected FUNCTION length len1
instead of len2 received from jobname
ASID asid user userid)

説明: このメッセージは、サーバーによる PC 呼び出しで渡された、示された関数のメッセージの長さが無効であったことを示します。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムを修正するか、呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKN093I **ZSECSYS** **ZSECSYS** はサーバーに定義されていません。 *jobname ASID asid* ユーザー *userid* からの呼び出し (**ZSECSYS**
ZSECSYS not defined to server; call
from jobname ASID asid user userid)

説明: このメッセージは、サーバーの構成ファイルで定義されていないサーバー名にアクションが送信されたことを示します。

ユーザーの処置: クライアントで別のターゲット・システムを指定するか、またはご希望のシステムの定義でサーバー構成ファイルを更新して、サーバーを再始動してください。

重大度: 04

CKN094I タスク *task IEAVAPE* が失敗しました
RC=dec (Task task IEAVAPE failed RC=dec)

説明: このメッセージは、一時停止エレメントの割り振りに失敗したことを示します。

ユーザーの処置: サーバーを再始動して、クライアント・アクションのやり直しを試みてください。問題が引き続き発生する場合は、IEAVAPE 戻りコードの資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。問題を解決できない場合は、これが既知の問題であり、該当するフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。それ以外の場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKN095I タスク *task IEAVPSE* が失敗しました
RC=dec (Task task IEAVPSE failed RC=dec)

説明: このメッセージは、一時停止エレメントでの待機に失敗したことを示します。

ユーザーの処置: サーバーを再始動して、アクションのやり直しを試みてください。問題が引き続き発生する場合は、IEAVPSE 戻りコードの資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。問題を解決できない場合は、これが既知の問題であり、該当するフィックスが提供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。それ以外の場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKN096I タスク *task IEAVDPE* が失敗しました
RC=dec (Task task IEAVDPE failed RC=dec)

説明: このメッセージは、一時停止エレメントの割り振り解除に失敗したことを示します。

ユーザーの処置: サーバーを再始動して、アクションのやり直しを試みてください。問題が引き続き発生する場合は、IEAVDPE 戻りコードの資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。問題を解決できない場合は、これが既知の問題であり、該当するフィックスが提

供されているかどうかを確認してください。既知の問題の場合、該当のフィックスを適用してください。それ以外の場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKN097I タスク *task* インスタンス **TCB address** がクライアント *client number* ジョブ *jobname ASID asid* ユーザー *userid* からの要求 *function* を認識しませんでした
(Task task instance TCB address unrecognized request function from client client number job jobname ASID asid user userid)

説明: このメッセージは、PC 呼び出しに渡された要求がサーバーでサポートされないことを示します。サポートされない組み合わせで新しいクライアントと古いサーバーを使用していることが考えられます。

ユーザーの処置: より新しいサーバーのサーバー・トークンを使用するか、またはより古いクライアントを使用してください。

重大度: 08

CKN098I **ZSECNODE** **ZSECNODE** はサーバーに定義されていません。 *jobname ASID asid* ユーザー *userid* からの呼び出し
(ZSECNODE ZSECNODE not defined to server; call from jobname ASID asid user userid)

説明: このメッセージは、サーバー構成ファイルで定義されていないサーバー・ノードにアクションが送信されたことを示します。

ユーザーの処置: クライアントで別のターゲット・ノードを指定するか、またはご希望のノードの定義でサーバー構成ファイルを更新して、サーバーを再始動してください。

重大度: 04

CKN099I **ZSECSYS** **ZSECSYS** は、ノード **ZSECNODE** の一部ではありません。
jobname ASID asid ユーザー *userid* からの呼び出し **(ZSECSYS ZSECSYS not part of node ZSECNODE, call from jobname ASID asid user userid)**

説明: このメッセージは、サーバーの構成ファイルで定

義されていないサーバー名とノードの組み合わせにアクションが送信されたことを示します。示された ZSECSYS は、示された ZSECNODE のメンバーでなければなりません。

ユーザーの処置: クライアントで別のターゲット・システムまたはノードを指定するか、もしくはご希望のシステムに一致する定義でサーバー構成ファイルを更新して、サーバーを再始動してください。

重大度: 04

メッセージ 100 から 199

CKN100I 予期しない STIMERM SET RC=*nn*
(Unexpected STIMERM SET RC=*nn*)

説明: このメッセージは、STIMERM サービスが予期しない戻りコードを受信したことを示します。

ユーザーの処置: 該当する z/OS MVS 資料を参照して、そのガイダンスに従ってください。

重大度: 16

CKN101I *console* ユーザー *userid* *command* から
START コマンドを受信しました
(START command received from
console user userid command)

説明: この通知メッセージは、示された定位置パラメーターでオペレーターの START コマンドを受信したことを示します。

重大度: 00

CKN102I *console* ユーザー *userid* *command* から
STCOM コマンドを受信しました
(STCOM command received from
console user userid command)

説明: この通知メッセージは、示されたキーワード・パラメーターでオペレーターの START コマンドを受信したことを示します。

重大度: 00

CKN103I *console* ユーザー *userid* *command* から
MODIFY コマンドを受信しました
(MODIFY command received from
console user userid command)

説明: この通知メッセージは、示されたオペレーターの MODIFY コマンドを受信したことを示します。

重大度: 00

CKN104I *console* ユーザー *userid* から **STOP** コマンドを受信しました (STOP command received from *console user userid*)

説明: この通知メッセージは、オペレーターの STOP

コマンドを受信したことを示します。

重大度: 00

CKN105I 予期しない QEDIT RC=*nn* (Unexpected QEDIT RC=*nn*)

説明: このメッセージは、QEDIT サービスが予期しない戻りコードを受信したことを示します。

ユーザーの処置: 該当する z/OS MVS 資料を参照してください。

重大度: 08

CKN106I *abend* のため、クリーンアップして終了します (Cleanup and terminating due to *abend*)

説明: このメッセージは、メインタスクの異常終了が代行受信され、リソースのクリーンアップが実行されていることを示します。クリーンアップは、OPTION NOCLEANUP で抑止できますが、そうした場合、アドレス・スペースが再利用できなくなる場合があります。

ユーザーの処置: 「z/OS MVS システム・コード」で異常終了を参照して、原因とアクションを確認してください。

重大度: 16

CKN108I CKNRCLR は、WKQR *address* 上の不明な WKQRTYPE=*nn* です (CKNRCLR unknown WKQRTYPE=*nn* on WKQR *address*)

説明: このメッセージは、不明な要求タイプがリモート・クライアント・ハンドラー・タスクで受信されたことを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKN109I タスク *TASK* は、**END** 後の **ALLOC** を無視します (**Task TASK ignoring ALLOC after END**)

説明: このメッセージは、既に終了しているクライアントの **ALLOC** 要求がリモート・サーバーに渡されたことを示します。クライアントの稼働中にサーバーをシャットダウンすると、まれにこの現象が発生する場合があります。

ユーザーの処置: サーバーがシャットダウン中だった場合は、このメッセージを無視してクライアントの操作を再開してください。それ以外の場合は、呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度: 08

CKN0110I タスク *TASK* は、ソケット *SOCKET* からの **END** 後の **DOIO** を無視します (**Task TASK ignoring DOIO after END from socket SOCKET**)

説明: このメッセージは、既に終了しているクライアントの入出力要求がリモート・サーバーに渡されたことを示します。クライアントの稼働中にサーバーをシャットダウンすると、まれにこの現象が発生する場合があります。

ユーザーの処置: サーバーがシャットダウン中だった場合は、このメッセージを無視してクライアントの操作を再開してください。それ以外の場合は、呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度: 08

CKN111I タスク *TASK* は、ソケット *SOCKDESC* からの未初期化クライアント *CLNTNO* の **DOIO** を無視します (**Task TASK ignoring DOIO for non-initialized client CLNTNO from socket SOCKDESC**)

説明: このメッセージは、**ALLOC** 要求を受信していないクライアントの入出力要求がリモート・サーバーに渡されたことを示します。クライアントの稼働中にローカル・サーバーをシャットダウンすると、まれにこの現象が発生する場合があります。

ユーザーの処置: サーバーを再始動した場合は、メッセージを無視してクライアント操作を再開してください。それ以外の場合は、呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サ

ポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度: 08

CKN112I 未構成の **ZSECSYS** からソケット *SOCKDESC* 上で **ALLO** (割り振り) を受信しました - 無視します (**ALLO (allocate) received from unconfigured ZSECSYS on socket SOCKDESC - ignored**)

説明: このメッセージは、未確認の接続で **ALLOC** 要求を受信したことを示します。このメッセージには以前のメッセージが付随していて、そこから問題の原因を推定できます。

ユーザーの処置: サーバー構成ファイルを変更して、示されたシステムを定義してください。

重大度: 08

CKN113I 未構成の **ZSECSYS** からソケット *SOCKDESC* 上で **DOIO** を受信しました - 無視します (**DOIO received from unconfigured ZSECSYS on socket SOCKDESC - ignored**)

説明: このメッセージは、未確認の接続で入出力要求を受信したことを示します。このメッセージには以前のメッセージが付随していて、そこから問題の原因を推定できます。

ユーザーの処置: サーバー構成ファイルを変更して、示されたシステムを定義してください。

重大度: 08

CKN114I 未構成の **ZSECSYS** からソケット *SOCKDESC* 上で **ENDC** を受信しました - 無視します (**ENDC received from unconfigured ZSECSYS on socket SOCKDESC - ignored**)

説明: このメッセージは、未確認の接続でエンド・クライアント要求を受信したことを示します。このメッセージには以前のメッセージが付随していて、そこから問題の原因を推定できます。

ユーザーの処置: サーバー構成ファイルを変更して、示されたシステムを定義してください。

重大度: 08

CKN115I CKNDOIR は、WKQR address 上の不明な WKQRTYPE=xx です (CKNDOIR unknown WKQRTYPE=xx on WKQR address)

説明: このメッセージは、不明な要求タイプがリモート・ワーカー・タスクで受信されたことを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKN116I USERID RC=hexnum RSN=hexnum 16 進数について、RACF 初期化が失敗しました。ZSECSYS ジョブ JOBNAME ユーザー USERID クライアント CLNTNO に通知します (RACF initialization failed for USERID RC=hexnum RSN=hexnum hex; notifying ZSECSYS job JOBNAME user USERID client CLNTNO)

説明: このメッセージは、リモート・マップ実行ユーザー ID で初期化が失敗し、示された SAF 戻りコードと理由コードが戻されたことを示します。

ユーザーの処置: RACROUTE REQUEST=VERIFY について、Security Server RACROUTE の資料で、示された SAF 戻りコードと理由コードを確認してください。

重大度: 08

CKN117I タスク再始動の限度に達しました。シャットダウンします (Task restart limit reached, shutting down)

説明: このメッセージは、サーバー・タスクが失敗した後、タスクの再始動を繰り返し、最大再始動限度まで達したことを示します。サーバーはシャットダウンします。

ユーザーの処置: CKNPRINT とジョブ・ログで最初のエラーを示すメッセージを確認し、それらのメッセージのガイダンスに従ってください。

重大度: 16

CKN118I タスク CKNCOMT の再始動が開始されました (Task CKNCOMT restart initiated)

説明: サーバー通信タスクが非アクティブであることが

検出され、再始動が試行されています。

ユーザーの処置: CKNPRINT とジョブ・ログで最初のエラーを示すメッセージを確認し、それらのメッセージのガイダンスに従ってください。

重大度: 08

CKN119I タスク CKNCLNT の再始動が開始されました (Task CKNCLNT restart initiated)

説明: ローカル・クライアント・ハンドラー・タスクが非アクティブであることが検出され、再始動が試行されています。

ユーザーの処置: CKNPRINT とジョブ・ログで最初のエラーを示すメッセージを確認し、それらのメッセージのガイダンスに従ってください。

重大度: 08

CKN120I タスク CKNRCLT の再始動が開始されました (Task CKNRCLT restart initiated)

説明: リモート・クライアント・ハンドラー・タスクが非アクティブであることが検出され、再始動が試行されています。

ユーザーの処置: CKNPRINT とジョブ・ログで最初のエラーを示すメッセージを確認し、それらのメッセージのガイダンスに従ってください。

重大度: 08

CKN121I ZSECSYS クライアント CLNTNO ジョブ JOBNAME ユーザー USERID から受信したファイル CLNT_DDNM の要求が重複しています (Duplicate request for file CLNT_DDNM received from ZSECSYS client CLNTNO job JOBNAME user USERID)

説明: このメッセージは、同一のクライアント・ファイル名について 2 つの ALLOC 要求を受信したことを示します。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度: 08

CKN122I ZSECSYS クライアント *nn* ジョブ
JOBNAME **ASID** *ASID* ユーザー
USERID の *clientdd* に *serverdd dsname*
member が割り振られました (**Allocated**
serverdd dsname member to clientdd of
ZSECSYS **client** *nn job* JOBNAME
ASID *ASID user* *USERID*)

説明: この通知メッセージは、リモート・クライアント
に対するサーバー・サイド・データ・セットの割り振りが
成功したことを示すために発行されます。

重大度: 00

CKN123I ZSECSYS クライアント *nn* ジョブ
JOBNAME **ASID** *ASID* ユーザー
USERID から受信したファイル *clientdd*
の要求はサポートされません
(**Unsupported request for file** *clientdd*
received from ZSECSYS client *nn job*
JOBNAME **ASID** *ASID user* *USERID*)

説明: このメッセージはプロトコル・エラーを示しま
す。

ユーザーの処置: サーバーのバージョンでクライアント
のバージョンがサポートされることを確認してくださ
い。サポートされない場合は、下位レベルのバージョン
をアップグレードするか、または別のサーバーを使用し
てください。

重大度: 08

CKN124I ZSECSYS クライアント *nn* ジョブ
JOBNAME **ASID** *ASID* ユーザー
USERID から受信した *clientdd* に対する
入出力要求 (**alloc** を除く) が失敗しまし
た (**I/O request but alloc failed for**
clientdd received from ZSECSYS client
nn job JOBNAME **ASID** *ASID user*
USERID)

説明: このメッセージはプロトコル・エラーを示しま
す。

ユーザーの処置: 障害に関する 1 つ以上のメッセージ
を検索して、そこから続行してください。メッセージが
記録されていない場合は、クライアントを再始動してや
り直してください。それで解決しない場合は、サーバー
を再始動してやり直してください。それでも解決しない
場合は、クライアントのプロトコル・エラーを修正して
ください。

重大度: 08

CKN125I ZSECSYS クライアント *nn* ジョブ
JOBNAME **ASID** *ASID* ユーザー
USERID から、*clientdd* に対する入出力
要求 (**alloc** は除く) を受信しました (**I/O**
request without alloc for clientdd
received from ZSECSYS client *nn job*
JOBNAME **ASID** *ASID user* *USERID*)

説明: このメッセージはプロトコル・エラーを示しま
す。

ユーザーの処置: 障害に関する 1 つ以上のメッセージ
を検索して、そこから続行してください。メッセージが
記録されていない場合は、クライアントを再始動してや
り直してください。それで解決しない場合は、サーバー
を再始動してやり直してください。それでも解決しない
場合は、クライアントのプロトコル・エラーを修正して
ください。

重大度: 08

CKN126I ZSECSYS クライアント *nn* ジョブ
JOBNAME **ASID** *ASID* ユーザー
USERID から受信した *clientdd* の代わり
に *serverdd abend* を開こうとしました
(**Open serverdd abend for clientdd**
received from ZSECSYS client *nn job*
JOBNAME **ASID** *ASID user* *USERID*)

説明: このメッセージは、示されたクライアント・ファ
イルの代わりに、サーバー上にある示された DD 名を
開こうとしている間に、異常終了が発生したことを示し
ます。

ユーザーの処置: 「MVS システム・コード」を参照し
て、示された異常終了コードについて調べ、そのガイダ
ンスに従ってください。

重大度: 08

CKN127I ZSECSYS クライアント *nn* ジョブ
JOBNAME **ASID** *ASID* ユーザー
USERID から受信した *clientdd* を開けま
せませんでした (**Open failed for clientdd**
received from ZSECSYS client *nn job*
JOBNAME **ASID** *ASID user* *USERID*)

説明: このメッセージは、示されたクライアント・ファ
イルをサーバー上で開けなかったことを示します。

ユーザーの処置: 要求中のデータ・セットに関するメッ
セージをサーバー・ジョブ・ログで探してください。

重大度: 08

CKN128I ZSECSYS クライアント *nn* ジョブ
JOBNAME ASID ASID ユーザー
USERID から受信したファイル *clientdd*
でレコードを取得しようとしたが、フ
ァイルが開いていません (**Get for
unopened file *clientdd* received from
ZSECSYS client *nn* job JOBNAME
ASID ASID user USERID**)

説明: このメッセージは、クライアントからのプロトコ
ル・エラーを示します。クライアント・アプリケーションは、正常に開けな
かったファイルからレコードを取得しようとした。

ユーザーの処置: オープンの異常終了のメッセージまたは
オープン失敗のメッセージを探して、そのガイダンスに従ってください。

重大度: 08

CKN129I Alloc で ZSECSYS/NODE が欠落してい
ます。JOBNAME ASID ASID ユーザー
USERID からの呼び出し (**Alloc missing
ZSECSYS/NODE; call from JOBNAME
ASID ASID user USERID**)

説明: このメッセージは、サーバーが受信した割り振り
要求にターゲット・システムまたはノードが指定されて
いなかったことを示します。これは、クライアント API
エラーです。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムを修正してくだ
さい。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポ
ート Web サイトでメッセージ ID を検索してくださ
い。

重大度: 04

CKN130I ノード ZSECNODE は現在接続されてい
ません。JOBNAME ASID ASID ユーザー
USERID からの呼び出し (**Node
ZSECNODE not currently connected;
call from JOBNAME ASID ASID user
USERID**)

説明: このメッセージは、現在使用できないリモート・
サーバーへのアクセスが試行されたことを示します。

ユーザーの処置: 後でやり直すか、または接続を作成で
きなかつた理由を確認して、原因を取り除いてくださ
い。

重大度: 04

CKN131I システム ZSECSYS は現在接続されてい
ません。JOBNAME ASID ASID ユーザー
USERID からの呼び出し (**System
ZSECSYS not currently connected; call
from JOBNAME ASID ASID user
USERID**)

説明: このメッセージは、現在使用できないリモート・
サーバーへのアクセスが試行されたことを示します。

ユーザーの処置: 後でやり直すか、または接続を作成で
きなかつた理由を確認して、原因を取り除いてくださ
い。あるいは、ZSECSYS の代わりに ZSECNODE を使
用して、ノード上のアクティブ・システムを検出でき
るようにしてください。

重大度: 04

CKN132I ソケット SOCKDESC 上で ZSECSYS か
ら既に存在しないクライアント *nn* 向け
のメッセージ・データを受信しました
(**Message DATA received from
ZSECSYS on socket SOCKDESC for
client *nn* that is no longer present**)

説明: このメッセージは、サーバーの使用中にプロトコ
ル・エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムを調べて、サー
バーと対話しているときの待ち時間が長すぎないこと
を確認してください。

重大度: 04

CKN133I USERID *abend* について、RACF 初期化
が失敗しました (**RACF initialization
failed for USERID *abend***)

説明: リモート・クライアントのパートナー (ピア) ユ
ーザー ID であるローカル・ユーザー ID で
RACROUTE REQUEST=VERIFY のときに、異常終了
が発生しました。

ユーザーの処置: 「MVS システム・コード」を参照し
て、示された異常終了コードについて調べ、そのガイ
ダンスに従ってください。

重大度: 08

CKN134I タスク TASK は、初期化が失敗した後の
ALLOC を無視します (**Task TASK
ignores ALLOC after failed
initialization**)

説明: このメッセージは、サーバーの使用中にプロトコ
ル・エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムを修正してください。失敗後は、呼び出しを中止することを検討してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度: 04

CKN135I *address FUNCTION* 長さ *hexlen* からのコピーに問題があります - *abend (Problem copying from address FUNCTION len hexlen - abend)*

説明: このメッセージは、呼び出し元のストレージにデータを戻している間に異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置: 「MVS システム・コード」を参照して、示された異常終了コードについて調べ、そのガイドンスに従ってください。

重大度: 08

CKN136I *JOBNAME ASID ASID* ユーザー *USERID* からの *clientdd* に対して、**alloc** なしでオープン/取得/クローズします (**Open/get/close without alloc for clientdd from JOBNAME ASID ASID user USERID**)

説明: このメッセージは、サーバー使用時のプロトコル・エラーを示します。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度: 08

CKN137I *ddname dataset* から *number* 件のレコードを読み取りました (**Read number records from ddname dataset**)

説明: このメッセージは、リモート・クライアントに代わってこのデータ・セットから読み取ったレコード件数を示します。

重大度: 00

CKN138I 通信タスクの状況 **SCKD** *address (Communication task status SCKD address)*
ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN139I *TASK* サブタスクの状況 **TSKD** *address (TASK subtask status TSKD address)*
ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN140I メインタスクの状況 **RACF** *address (Main task status RACF address)*
ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN141I メインタスクの状況 **ZNOD** *address (Main task status ZNOD address)*
ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN142I メインタスクの状況 **ZSYS** *address (Main task status ZSYS address)*
ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN143I メインタスクの状況 **ZSCS** *address (Main task status ZSCS address)*
ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN144I メインタスクの状況 **DNAM address**
(Main task status DNAM address)
 ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN145I メインタスクの状況 **INFO address (Main task status INFO address)**
 ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN146I ZSECSYS **CLNT address** のクライアント・ハンドラー・タスクの状況 **(Client handler task status for ZSECSYS CLNT address)**
 ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN147I ZSECSYS クライアント **nn LFIL address** のローカル・ファイル名の状況 **(Local file name status for ZSECSYS client nn LFIL address)**
 ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN148I SYSNAME **RCLN address** のリモート・クライアント・ハンドラー・タスクの状況 **(Remote client handler task status for SYSNAME RCLN address)**
 ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN149I 作業キューのヘッダー **WKQH address**
(Work queue header WKQH address)
 ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN150I 作業キューのエレメント **WKQR address type status (Work queue element WKQR address type status)**
 ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN151I 待機エレメント **WKQR address type status (Wait element WKQR address type status)**
 ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN152I クライアントの状況 **RLNK address**
(Client status RLNK address)
 ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN153I ZSECSYS クライアント **NO RFIL address** のクライアント・ハンドラー・タスクの状況 **(Client handler task status for ZSECSYS client NO RFIL address)**
 ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN154I 失敗しているサーバーをクライアント *nn* に通知します (**Notify client *nn* of failing server**)

説明: このメッセージは、クライアントが待っていたが完了できなかった要求に対する代理応答として、待機クライアントに送信されます。

ユーザーの処置: サーバーを再始動するか、またはサーバーが再始動されるまで待機して、やり直してください。

重大度: 00

CKN155I 停止しているサーバーをクライアント *nn* に通知します (**Notify client *nn* of stopping server**)

説明: このメッセージは、クライアントが待っていた要求に対する代理応答として、待機クライアントに送信されます。サーバーがオペレーターから STOP 要求を受信したので、この要求を完了できませんでした。

ユーザーの処置: サーバーを再始動するか、またはサーバーが再始動されるまで待機して、やり直してください。

重大度: 00

CKN156I サーバーの停止中 - ソケット *SOCKDESC* の待機がキャンセルされました (**Server stopping - socket *SOCKDESC* wait cancelled**)

説明: このメッセージは、クライアントが待っていた要求に対する代理応答として、待機クライアントに送信されます。サーバーがオペレーターから STOP 要求を受信したので、この要求を完了できませんでした。

ユーザーの処置: サーバーを再始動するか、またはサーバーが再始動されるまで待機して、やり直してください。

重大度: 00

CKN157I サーバーが失敗しています - ソケット *SOCKDESC* の待機がキャンセルされました (**Server failing - socket *SOCKDESC* wait cancelled**)

説明: このメッセージは、クライアントが待っていたが完了できなかった要求に対する代理応答として、待機クライアントに送信されます。

ユーザーの処置: サーバーを再始動するか、またはサー

バーが再始動されるまで待機して、やり直してください。

重大度: 00

CKN158I **SYSNAME(name) SYSPLEX(name) [LPARNAME(name)] [VMUSERID(name)] [HWNAME(name)]** 上の *activity (activity on SYSNAME(name) SYSPLEX(name) [LPARNAME(name)] [VMUSERID(name)] [HWNAME(name)])*
CPU-id CPUId (CPU-id CPUId)
 製品コード *codes Products (Product codes codes Products)*

説明: このメッセージは、システム、シスプレックス、LPAR、VM ユーザー ID、稼働しているハードウェア、およびインストールされて IFAPRDxx によってこのプログラムでは使用不可になっていない IBM Security zSecure スイート製品を示します。製品コードの説明については、いずれかの zSecure Admin and Audit のユーザー・リファレンス・マニュアルでライセンス名の表を参照してください。「製品」セクションの各行には、製品 ID と特定の製品機能の完全な名前が示されています (例: コード AUDITRACF の場合は、5655-N17 IBM Security zSecure Audit for RACF)。activity は、使用している呼び出し環境に応じて Runs または UNIX になります。

重大度: 00

CKN159I **CKRSITE** モジュールのコンテンツ:
(Contents of CKRSITE module:)
 クラス: *setting (Class: setting)*

説明: このメッセージは、OPTION DEBUG コマンドに応答して発行されます。setting には、関連するクラス名が表示されます (XFACILIT など)。

重大度: 00

CKN160I 接続が除去されました。ソケット *SOCKDESC* の待機がキャンセルされました (**Connection dropped socket *SOCKDESC* wait cancelled**)

説明: このメッセージは、リモート・サーバーの接続が失われ、一時停止しているクライアントが解放されたことを示します。

ユーザーの処置: ネットワーク接続を復元して、操作を再試行してください。

重大度: 00

CKN161I **zSecure Server** *zsecnode/zsecsys* トークン *servertoken* シャットダウンが完了しました (**zSecure Server** *zsecnode/zsecsys* **token** *servertoken* **shutdown complete**)

説明: このメッセージは、メインタスクのシャットダウンの準備が整い、終了していることを示します。

重大度: 00

CKN162I ソケット *sockdesc* 上での *zsecnode/zsecsys* *sysplex.clone.sysname* *njenode.smfid* *rrsfnode* との間の接続がセキュアでないため拒否されました (**Unsecured connection rejected on socket** *sockdesc* **from/to** *zsecnode/zsecsys* *sysplex.clone.sysname* *njenode.smfid* *rrsfnode*)

説明: リモート・サーバーとの間での接続が試行されましたが、接続が AT-TLS によって保護されていませんでした。サーバーでは、非セキュア接続は許可されません。非セキュア接続を許可するには、OPTION ステートメントを使用します。

ユーザーの処置: ポリシー・エージェントを備えたサーバー間で AT-TLS 保護をセットアップしてください。詳しくは、「インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

重大度: 00

CKN163I *zsecnode/zsecsys* *sysplex.clone.sysname* *njenode.smfid* *rrsfnode* との間のソケット *sockdesc* 上の接続は [非セキュア|セキュア|自己] です (**[Unsecured|Secured|Self] connection on socket** *sockdesc* **from/to** *zsecnode/zsecsys* *sysplex.clone.sysname* *njenode.smfid* *rrsfnode*)

説明: このメッセージは、zSecure Server がピア zSecure Server またはそれ自体に対して正常に接続を確立したことを示します。

重大度: 00

CKN164I クライアント *number* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* (**Client** *number* **job** *jobname* **user** *userid*)

説明: このメッセージは、ローカル・クライアント・プログラムが zSecure Server に対して最初に要求を出すときにレコードに書き込まれます。クライアント要求が同じトークンを渡し、同じ *userid* および *jobname* から発行され、サーバーが再始動していない場合、クライア

ントは、同じクライアントと見なされます。

重大度: 00

CKN165I **zSecure Server** *zsecnode/zsecsys* で、*zsecnode/zsecsys* への最後の接続が失われました (**zSecure Server** *zsecnode/zsecsys* **lost last connection to** *zsecnode/zsecsys*)

説明: このメッセージは、パートナー zSecure Server に対する最後の TCP 接続が除去されたことを示します。新しい割り振り要求を受信するまで、接続は除去されたままとなります。

重大度: 00

CKN166I **IEFSSREQ SSI=54, Subsys=subsys** から予期しない戻りコードを受信しました。
R15=rc, SSOBRETN=rsn (An unexpected return code was received from IEFSSREQ SSI=54, Subsys=subsys, R15=rc, SSOBRETN=rsn)

説明: サブシステム *subsys* の IEFSSREQ 要求タイプ 54 が終了し、Register 15 には戻りコード *rc*、SSOBRETN フィールドには理由コード *rsn* が設定されました。各変数の意味を以下に示します。

- *subsys* は、照会されているサブシステムの名前です (JES2 または JES3)。
- *rc* は、IEFSSREQ から戻される Register 15 の値です。
- *rsn* は、SSOBRETN から取得される IEFSSREQ 理由コードです。

IEFSSREQ を使用してサブシステム要求を発行すると、エラーが発生した場合に CKN166I メッセージが生成されます。

z/OS バージョン 1.8 以降を実行している場合は、JES ノード処理に関連するその他のエラーが発生する場合があります。通常、IEFSSREQ を呼び出すと、JES2 専用ノードまたは JES3 ホーム・ノードを含む 1 次 JES2 または JES3 サブシステムに関する情報が戻されます。この情報が戻されない場合、CKNSERVE は、ローカル JES ノードの名前を判別できません。

ユーザーの処置: このエラーは、サポートされないオペレーティング・システム上で zSecure を実行したり、IEFSSREQ サービスに影響を与える恐れのある保守をオペレーティング・システムに対して最近行ったりした場合に発生することがあります。このエラーについて詳しくは、「z/OS MVS Using the Subsystem Interface (SA38-0679)」に記載されている IEFSSREQ および SSOBRETN の戻りコードの値を参照してください。問

題を解決できない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKN167I JES ノード、**Subsys=***subsys version* の特定中にエラーが発生しました (**Error locating JES node, Subsys=***subsys version*)

説明: CKN167I メッセージは、IEFSSREQ サブシステム要求から JES ノードを判別できない場合に発行されます。各変数の意味を以下に示します。

- *subsys* は、JES2 または JES3 1 次サブシステムの名前です。
- *version* は、JES2 または JES3 のバージョンです (例: SP 1.8.0)。

ユーザーの処置: このエラーは、IEFSSREQ サービスに影響を与える恐れのある保守をオペレーティング・システムに対して最近行った場合に発生することがあります。1 次 JES2 または JES3 サブシステムが初期化されていることを確認してから、zSecure マルチシステム・サーバーの再始動を試行してください。問題を解決できない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKN168I *subsys* ノードは *node* です (**subsys node is node**)

説明: マルチシステム・サーバーの初期化時に JES ノードが解決されるとこの通知メッセージが発行されます。各変数の意味を以下に示します。

- *subsys* は、1 次サブシステムの名前です (JES2 または JES3)。
- *node* は、専用ノードの名前 (JES2) またはホーム・ノードの名前 (JES3) です。

重大度: 00

CKN169I エンド・クライアント要求 **CKNE** の後の要求 *id* を無視します (**Ignoring request id after an end-client request CKNE**)

説明: このメッセージは、既に終了しているクライアントの示された要求タイプがローカル・サーバーに渡され

たことを示します。これは、例えば、リモート・ファイルのクローズ要求がエンド・クライアント要求の後に送信された場合に発生することがあります。

ユーザーの処置: 無視するか、または呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度: 04

CKN170I **BPX1CLO** は、**listen** 中のソケット **SOCKDESC** を閉じることができませんでした **UNIX_ERROR (BPX1CLO failed close listening socket SOCKDESC UNIX_ERROR)**

説明: このメッセージは、ソケットを閉じる試みが失敗したことを示します。

ユーザーの処置: 原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度: 04

CKN171I *ddname volser dsname* から *number* 件のレコードを読み取った後にクローズします (**Close after reading number records from ddname volser dsname**)

説明: このメッセージは、示されたデータ・ソースから読み取られたレコードの件数を示します。

重大度: 00

CKN172I *clntddnm* を 2 回開くことはできません。*zsecsys* クライアント *number* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* による要求 (**Cannot open clntddnm twice; request by zsecsys client number job jobname user userid**)

説明: このメッセージは、同一のクライアント・ファイル名について 2 つのオープン要求を受信したことを示します。

ユーザーの処置: 呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度: 08

CKN173I *client-userid* では、*target-userid* へのユーザー ID マッピングは許可されません。
zsecsys ジョブ *jobname* ユーザー *client-userid* クライアント *client-id* に通知します (**Userid mapping not allowed for *client-userid* to *target-userid*, notifying *zsecsys* job *jobname* user *client-userid* client *client-id***)

説明: *target-userid* には、*client-userid* に対する承認済みの PEER または MANAGED-BY アソシエーションがありません。 *target-userid* の使用は拒否されます。

ユーザーの処置: ユーザー ID マッピングを定義する CKNUMAP プロファイルを追加するか、または RACLINK を通じてユーザー ID アソシエーションを設定してください。

重大度: 08

CKN174I *client-userid* のユーザー ID マッピングは実装されていません。 *zsecsys* ジョブ *jobname* ユーザー *client-userid* クライアント *client-id* に通知します (**Userid mapping not implemented for *client-userid*, notifying *zsecsys* job *jobname* user *client-userid* client *client-id***)

説明: *client-userid* には、ターゲット・システム上で使用するユーザー ID を判別するマッピング・プロファイルがありません。データ・アクセスとコマンド実行は拒否されます。

ユーザーの処置: ユーザー ID マッピングを定義する CKNUMAP プロファイルを追加するか、または RACLINK を通じてユーザー ID アソシエーションを設定してください。

重大度: 08

CKN175I [CKNADMIN | CKNUMAP] プロファイルの RACF EXTRACT に失敗しました *abendcode*(**RACF EXTRACT of [CKNADMIN | CKNUMAP] profile failed *abendcode***)

説明: USERID マッピング情報を取得して検査する RACF 抽出関数が失敗しました。メッセージに CKNUMAP が含まれている場合、処理は ID マッピングを使用して続行します。メッセージに CKNADMIN が含まれている場合、処理は ZSECNODE ユーザー ID なしで続行します。

ユーザーの処置: ZSECNODE ユーザー ID については、「インストールおよびデプロイメント・ガイド」の追加のセキュリティ手段を参照してください。

重大度: 08

CKN176I タスク *task* は、ソケット *sockdesc* が失われた後の DOIO は無視します (**Task *task* ignoring DOIO after lost socket *sockdesc***)

説明: このメッセージは、リモート・サーバーへの接続が失われたために、サーバーがリモート入出力要求を破棄していることを示します。

ユーザーの処置: リモート・サーバーが再始動したら、照会を再度実行してください。

重大度: 08

CKN177I タスク *task* は、ソケット *sockdesc* が失われた後の ALLO は無視します (**Task *task* ignoring ALLO after lost socket *sockdesc***)

説明: このメッセージは、リモート・サーバーへの接続が失われたために、サーバーがリモート・ファイル割り振り要求を破棄していることを示します。

ユーザーの処置: リモート・サーバーが再始動したら、照会を再度実行してください。

重大度: 08

CKN178I *zsecsys* クライアント *n* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* の *localfile* のリモート *type* ファイル *rmtfile* *dsname* [*member*] (**Remote *type* file *rmtfile* *dsname* [*member*] for *localfile* of *zsecsys* client *n* job *jobname* user *userid***)

説明: この通知メッセージは、示されたクライアント・ローカル・ファイル名からリモート・コマンド画面を送信するために使用されるリモート・ファイル名を示します。

重大度: 00

CKN179I CKNDOIA は、WKQR *address* 上の不明な WKQRTYPE=*xx* です (**CKNDOIA unknown WKQRTYPE=*xx* on WKQR *address***)

説明: このメッセージは、ルーチン CKNDOIA で予期しない条件が見つかったことを示します。タスクは、ユーザー異常終了 179 で終了します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されて

いる手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKN180I *zsecsys* クライアント *n* ジョブ *jobname*
 ユーザー *userid* から受信したファイル
localfile に書き込もうとしましたが、フ
 ァイルが開いていません (**Put for**
unopened file localfile received from
zsecsys client n job jobname user userid)

説明: このメッセージは、プロトコル・エラーを示しま
 す。開いていないファイルについて、PUT I/O を受信
 しています。

ユーザーの処置: クライアント・プログラムを停止して
 再始動してください。問題が引き続き発生する場合は、
 ローカル・サーバーとリモート・サーバーを再始動して
 ください。それでも問題が引き続き発生する場合は、ク
 ライアント・プログラムを修正してください。クライア
 ントが IBM ソフトウェアの場合は、IBM サポート
 Web サイトでこのメッセージを検索してください。

重大度: 08

CKN181I *zsecsys* クライアント *n* ジョブ *jobname*
 ユーザー *userid* から受信したファイル
localfile に書き込もうとしましたが、フ
 ァイルがサポートされていません (**Put for**
unsupported file localfile received from
zsecsys client n job jobname user userid)

説明: このメッセージは、プロトコル・エラーを示しま
 す。PUT I/O をサポートしないファイル・タイプにつ
 いて、PUT I/O を受信しています。

ユーザーの処置: クライアント・プログラムを修正して
 ください。クライアントが IBM ソフトウェアの場合
 は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセ
 ージに関連付けられた使用可能な保守を探してくださ
 い。該当する保守が見つからない場合は、707 ページ
 の『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に
 従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKN182I *ZSECSYS* クライアント *n* ジョブ
jobname ユーザー *userid* がファイル
remotefile 経由で *m* 件のレコードをリモ
 ート・プログラムに渡しました
 (**ZSECSYS client n job jobname user**
userid passed m records to remote
program via file remotefile)

説明: この通知メッセージは、示されたりリモート・フ
 ァイルに関して何件のレコードがクライアントからリモ

ート・プログラムに渡されたのかを示します。

重大度: 00

CKN183I ファイル *ddname* での入出力時に
jobname ASID xxxx ユーザー *userid* から
 サーバー *zsecsys* への接続が失われました
 (**Connection lost to server zsecsys**
during I/O on file ddname; from
jobname ASID xxxx user userid)

説明: このメッセージは、示されたファイル名での入
 出力操作中にリモート・サーバーへの接続が失われたこ
 とを示します。

ユーザーの処置: ターゲットの *zsecsys* または
zsecnode への接続が再確立されるまで待ってから (リ
 モート・サーバーの再始動を要求するか、またはシステ
 ムにターゲット *zsecnode* で別の *zsecsys* を選択させま
 す)、照会を再度実行してください。

重大度: 08

CKN184I *type* のアクセス検査中に失敗しました
abendcode (**Failure during type access**
verification abendcode)

説明: 示されたりソース・タイプへのアクセスの検査を
 試みている間に異常終了が発生しました。

リソース・タイプの取り得る値は、CKNADMIN また
 は DIRECT です。

CKNADMIN

サイト SAF クラス・プロファイル
 CKNADMIN.TONODE.*zsecnode* を参照してく
 ださい。

DIRECT

RRSFDATA プロファイル *DIRECT.rrsfnode* を
 参照してください。

ユーザーの処置: 異常終了の原因と可能なアクションを
 判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参
 照してください。

重大度: 08

CKN185I *zsecnode* へのアクセスが許可されていま
 せん。**RRSFDATA DIRECT.zsecnode** へ
 のアクセス権が不十分です。 **RC=retcode**
RN=reascde ジョブ *jobname* ユーザー
userid クライアント *clientid* (**Not**
authorized to access zsecnode ,
insufficient access to RRSFDATA
DIRECT.zsecnode RC=retcode RN=reascde
job jobname user userid client clientid)

説明: 示された *userid* には、RRSFDATA
DIRECT.*zsecnode* リソースへの十分なアクセス権があり
ません。*zsecnode* に送信されるデータ・セットとコマ
ンドは許可されません。

ユーザーの処置: 示された SAF 戻りコードと理由コ
ードを Security Server RACROUTE の資料で確認して
ください。示されたノードにコマンドを経路指定する許可
がユーザーに必要な場合は、ユーザーに許可を与えてく
ださい。

重大度: 08

CKN186I **CKNADMIN** のアクセスの検証中に失敗
しました *abendcode*。使用は許可されませ
ん (**Failure during CKNADMIN access
verification *abendcode*, disallow use**)

説明: 現行ノードへのアクセスを制御する
CKNADMIN リソースへのアクセスを検証しようと
している間に異常終了が発生しました。システムへのアク
セスは許可されません。

ユーザーの処置: 異常終了の原因と可能なアクションを
判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参
照してください。

重大度: 08

CKN187I *source-node* から *current-node* へのアクセ
スは許可されません。 **RC=retcde**
RSN=reascde ジョブ *jobname* ユーザー
userid クライアント *clientid* (**Not
authorized to access *current-node* from
source-node RC=retcde RSN=reascde job
jobname user *userid* client *clientid***)

説明: 示された *userid* には、クライアント・ノードへ
のアクセスを制御するリソース

CKNADMIN.FROMNODE *zsecnode* への十分なアクセ
ス権がありません。*current-node* に送信されるデータ・
セットとコマンドは許可されません。

ユーザーの処置: 示された SAF 戻りコードと理由コ
ードを Security Server RACROUTE の資料で確認して
ください。示されたノードにコマンドを経路指定する許可
がユーザーに必要な場合は、ユーザーに許可を与えてく
ださい。または、実際に存在するユーザー ID に
CKNUNMAP マッピングを追加してください。

重大度: 08

CKN188I **RACLINK** データの **RACF** による取得
が失敗しました *abendcode*。使用は許可さ
れません (**RACF Retrieval of
RACLINK data failed *abendcode*,
disallow use**)

説明: ユーザー ID マッピング・データの取得を試み
ている間に異常終了が発生しました。**RACLINK** ユーザ
ー ID アソシエーションは使用されません。システムに
送信されるデータ・セットとコマンドは許可されませ
ん。

ユーザーの処置: 異常終了の原因と可能なアクションを
判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参
照してください。

重大度: 08

CKN189I ファイル *CLNTDDNM* に対する **ALLOC**
の処理中にサーバー *ZSECSYS* への接続
が失われました。ジョブ *jobname* ユーザ
ー *userid* クライアント *clientno*
(**Connection lost to server *ZSECSYS*
during ALLOC of file *CLNTDDNM*,
job *jobname* user *userid* client *clientno***)

説明: このメッセージは、ALLOC 要求時、ネットワー
ク接続が失敗するか、またはサーバーがシャットダウン
もしくはサーバーに他の問題が発生したことが原因で、
リモート (ターゲット) サーバーへの接続が失われたこ
とを示します。

ユーザーの処置: 接続を再確立した後、またはリモ
ート・サーバーを再始動した後にアクションをやり直して
ください。

重大度: 08

CKN190I *program* が終了しました *abend* (**program
ended *abend***)

説明: このメッセージは、クライアントに代わって始動
したプログラムが、示された異常終了で終了したことを
示します。

ユーザーの処置: 異常終了の原因と可能なアクションを
判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参
照してください。

重大度: 04

CKN191I *program* が終了しました、**RC number**
(**program ended RC number**)

説明: この通知メッセージは、クライアントに代わって

始動したプログラムが、示された戻りコードで終了したことを示します。

重大度: 00

CKN192I msgno msgno に対するクライアント clientno のジョブ jobname の ASID asid の待ち時間 (n 分) が長すぎます。解放を試行しています (**Excessive wait time n minutes for client clientno job jobname ASID asid for msgno msgno; attempting release**)

説明: このメッセージは、クライアントがリモート・サーバーからの応答を待機していましたが、待機時間が長すぎることを示します。アクションは終了します。このアクションでは、後続のエラー・メッセージが発生する場合があります。

ユーザーの処置: ローカル・サーバーおよびリモート・サーバーの CKNPRINT とジョブ・ログを調べてください。何か問題が示されていた場合は、その問題に関連するサーバーを再始動してください。

重大度: 04

CKN193I ZSECSYS クライアント clientno ジョブ jobname ユーザー userid の CLNTDDNM について、**TYPE=type** 指定「string」は無効です (**Invalid TYPE=type specification "string" for CLNTDDNM of ZSECSYS client clientno job jobname user userid**)

説明: このメッセージはプロトコル・エラーを示します。より新しいバージョンのプロトコルを使用するクライアントがサーバーに接続したことが考えられます。

ユーザーの処置: クライアントとサーバーが、互換性のあるレベルであることを確認してください。場合によっては、別のサーバー・トークンを使用して、必要なレベルをサポートするサーバーに接続してください。

重大度: 08

CKN194I ZSECSYS クライアント clientno ジョブ jobname ユーザー userid の CLNTDDNM に対して、あまりにも多くのファイルが同時に提供されています (**Too many files at the same time for CLNTDDNM of ZSECSYS client clientno job jobname user userid**)

説明: このメッセージは、同じリモート・プログラム・インスタンスに対して、サポートされない数の情報要求が経路指定されていることを示します。

ユーザーの処置: 照会を簡素化することを試みてください。

重大度: 08

CKN195I ZSECSYS クライアント clientno ジョブ jobname ユーザー userid の CLNTDDNM について、**TYPE=CKFREEZE** 指定「string」は無効です (**Invalid TYPE=CKFREEZE specification "string" for CLNTDDNM of ZSECSYS client clientno job jobname user userid**)

説明: このメッセージはプロトコル・エラーを示します。より新しいバージョンのプロトコルを使用するクライアントがサーバーに接続していることが考えられます。

ユーザーの処置: クライアントとサーバーが、互換性のあるレベルであることを確認してください。場合によっては、別のサーバー・トークンを使用して、必要なレベルをサポートするサーバーに接続してください。

重大度: 08

CKN196I **TYPE=CKFREEZE spec**、または ZSECSYS クライアント clientno ジョブ jobname ユーザー userid の CLNTDDNM に対して、リモート・サーバー・ファイル名 RMTFILE が割り振られていません。 (**Remote server file name RMTFILE not allocated for TYPE=CKFREEZE spec or CLNTDDNM of ZSECSYS client clientno job jobname user userid**)

説明: このメッセージは、示された CKFREEZE ファイルについて、サーバーから割り振りが欠落していることを示します。

ユーザーの処置: サーバーを再始動します。これで問題が訂正されない場合は、呼び出し側プログラムを修正してください。呼び出し元が IBM ソフトウェアの場合は、サポート Web サイトでメッセージ ID を検索してください。

重大度: 08

CKN197I **TYPE=CKFREEZE spec**、または ZSECSYS クライアント clientno ジョブ jobname ユーザー userid の CLNTDDNM について、リモート・サーバー・ファイル名 RMTFILE が使用されています (**Remote server file name RMTFILE used for TYPE=CKFREEZE spec or CLNTDDNM of ZSECSYS client clientno**)

job jobname user userid)

説明: この通知メッセージは、クライアントからの CKFREEZE 要求を満たすために使用されているリモート・ファイルを示します。

重大度: 00

CKN198I サーバーを停止します。program が終了しました **abend_or_RC (Stopping server because program ended abend_or_RC)**

説明: このメッセージは、異常終了またはゼロ以外の戻りコードで、必要なタスクが終了したことを示します。サーバーはシャットダウンします。

ユーザーの処置: ローカル・サーバーおよびリモート・サーバーのジョブ・ログと CKNPRINT を調べてくださ

メッセージ 200 から 299

CKN200I *dsname* へのアクセスは許可されません。*profile* へのアクセス権が不十分です。**RC=hexrc RSN=hexrsn (16 進数)**。クライアント *clientno* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* **(Not authorized to access dsname, insufficient access to profile RC=hexrc RSN=hexrsn hex; client clientno job jobname user userid)**

説明: 示された *profile* に対する許可が存在しません。したがって、*dsname* へのアクセスは許可されません。このメッセージは、クライアント・ユーザー ID または ZSECNODE ユーザー ID のいずれかを表示することがあります。ZSECNODE ユーザー ID は、一致する CKNADMIN.FROMNODE プロファイルの APPLDATA から取得されます。ユーザー ID が指定された場合、ユーザー ID はこの ZSECNODE からのユーザーがどのデータ・セットを使用できるかを制御するために使用されます。

ユーザーの処置: RACROUTE REQUEST=AUTH について、Security Server RACROUTE の資料で、示された SAF 戻りコードと理由コードを確認してください。

重大度: 08

CKN201I *system* クライアント *clientno* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* からの *dstype* *dsname* の使用は許可されません **(Not authorized to use dstype dsname from system client clientno job jobname user userid)**

説明: このメッセージは、タイプ *dstype* の *dsname* にアクセスする権限が不足していることを通知するために

い。何か問題があった場合は解決して、その問題に関連するサーバーを再始動してください。

重大度: 16

CKN199I CKNDSN のアクセス検査中に失敗しました **abend (Failure during CKNDSN access verification abend)**

説明: RACROUTE REQUEST=AUTH 許可検査中に異常終了が発生しました。アクセスは許可されません。

ユーザーの処置: 異常終了の原因と可能なアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度: 08

クライアントに渡されます。このメッセージは、クライアント・ユーザー ID または ZSECNODE ユーザー ID のいずれかに、*dsname* への十分なアクセス権限がない場合に発行されることがあります。

ユーザーの処置: 詳細な情報が必要な場合は、リモート・サーバーの CKNPRINT で CKN200I または CKN199I を探してください。

重大度: 08

CKN202I ZSECSYS クライアント *clientno* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* の CLNTDDNM に RMTDDNM *dsname* [*member*] を割り振れませんでした **(Allocate failed RMTDDNM dsname [member] to CLNTDDNM of ZSECSYS client clientno job jobname user userid)**

説明: このメッセージは、リモート・サーバーでの割り振りが失敗した場合にクライアントに渡されます。

ユーザーの処置: 詳細な情報が必要な場合は、リモート・サーバーの CKNPRINT ファイルで、このメッセージの前にある IKJ* メッセージを探して、そのガイダンスに従ってください。

重大度: 08

CKN203I **OPTION** *name* は、**PARM** スtringでのみ有効です **(OPTION name only valid in PARM string)**

説明: 示されたオプションは、PARM Stringでのみ指定できます。CKNIN ファイルでは指定できません。

ユーザーの処置: オプションを PARM スtringに移動して、操作を再試行してください。

重大度: 12

CKN204I WKQH address の応答キュー (Answer queue for WKQH address)
ダンプ

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN205I class ('resource') の許可中に異常終了しました: **abend (ABEND authorizing class ('resource'): abend)**

説明: 示されたりソースに対する RACROUTE REQUEST=AUTH で、示された異常終了が検出されました。

ユーザーの処置: 異常終了の原因と可能なアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度: 08

CKN206I zsecnode/zsecsys sysplexclone.sysname
njenode.smfid rrsfnode との間のソケット
SOCKDESC 上の [非セキュア|セキュア]
接続は許可されません
**[(Unsecured|Secured) connection not
authorized on socket SOCKDESC
[from|to] zsecnode/zsecsys
sysplexclone.sysname njenode.smfid rrsfnode)**

説明: リモート・サーバーとの間での接続が試行されましたが、接続が AT-TLS によって保護されていませんでした。サーバー・タスクは、非セキュア例外リソース「CKNADMIN.INSECURE.secsys」に対して許可されていません。

ユーザーの処置: ポリシー・エージェントを備えたサーバー間で AT-TLS 保護をセットアップしてください。詳しくは、「インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

重大度: 08

CKN207I zsecnode/zsecsys sysplexclone.sysname
njenode.smfid rrsfnode との間のソケット
SOCKDESC 上のパートナー **cert** 名が無効です **(Partner cert name invalid on
socket SOCKDESC [from|to])**
zsecnode/zsecsys sysplexclone.sysname
njenode.smfid rrsfnode)

説明: ピア証明書の ALTNAME エクステンションのホスト名 DOMAIN の名前の値 (証明書ホスト名) が ZSECSYS 名に一致しませんでした。証明書は、パートナー・サーバーが本当の ZSECSYS パートナー・ノードであり、なりすましのアタッカーではないことの証明として使用されます。そのため、これは識別と認証の失敗を示します。また、この認証および識別機能を無効にするために使用できる例外リソース

「CKNADMIN.CERTOKAY.secsys」に対する許可もありませんでした。

ユーザーの処置: 適切な (ローカル) 鍵リングの適切な (リモート) ZSECSYS 名の証明書を生成してください。詳しくは、「インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

重大度: 08

CKN208I ソケット・アクティブ WKQR address
type status **(Socket active WKQR
address type status)**

説明: このメッセージは、問題が発生したときに書き込まれる要約ダンプの一部です。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN209I CKFREEZE ddname は、依然として使用中です。 **(CKFREEZE ddname still in
use.)** リフレッシュは遅延されます
(Refresh delayed)

説明: 自動スナップショット・ファイルのリフレッシュが必要ですが、ファイルが依然として使用中です。

ユーザーの処置: このメッセージが 1 回だけ表示された場合は、無視してください。問題が引き続き発生する場合は、サーバーを再始動してください。それで解決しない場合は、クライアント対話の完了を遅延させている可能性のある問題を CKNPRINT 出力で探して、問題を解決してください。

重大度: 08

CKN210I ZSECSYS クライアント *number* ジョブ *jobname* ユーザー *user* がファイル *remotedd* をクローズしました (ZSECSYS client *number* job *jobname* user *user* closed file *remotedd*)

説明: このメッセージは、プログラムが既に終了したりリモート CKRCALRA から、リモート・ファイルについてのクローズ要求を受け取ったことを示します。これはクライアントの終了直前に通常発生します。

重大度: 00

CKN211I RETRYINTERVAL *interval* は 0 とするか、1 分から 1440 分までとする必要があります (RETRYINTERVAL *interval* must be 0 or between 1 and 1440 minutes)

説明: 指定した RETRYINTERVAL 値が、有効な範囲内にありません。自動再試行を非アクティブにするには 0 を指定します。サーバー間の失敗した通信の再試行を行うまでの期間を定義するには、最低 1 分から最大 1440 分までの値を指定します。

ユーザーの処置: 入力を訂正し、操作を再試行してください。

重大度: 12

CKN212I zSecure サーバー *zsecnode/zsecsys* トークン *servertoken* は、ポート *n* を listen しています (zSecure Server *zsecnode/zsecsys* token *servertoken* now listening on port *n*)

説明: このメッセージは、サーバーがピア・サーバーからの接続を listen していることを示します。このメッセージは、出力メッセージおよび WTO の両方として発行されます。

重大度: 00

CKN213I zSecure サーバー *zsecnode/zsecsys* トークン *servertoken* が停止中 *abend* (zSecure Server *zsecnode/zsecsys* token *servertoken* stopping *abend*)

説明: このメッセージは、サーバーが異常終了状態に応答して停止中であることを警告します。このメッセージは、出力メッセージおよび WTO の両方として発行されます。

重大度: 16

CKN214I クライアント *n* ジョブ *jobname* ASID *asid* ユーザー *userid* からのテスト PC 異常終了要求 (Test PC abend request from client *n* job *jobname* ASID *asid* user *userid*)

説明: 呼び出し側プログラムのエラー・リカバリーをテストするために PC ルーチンからユーザー異常終了 214 が発行されます。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKN215I zsecsys クライアント *clientno* ジョブ *jobname* ユーザー *userid* の長すぎるアイドル時間 *nn* 分。終了をシミュレートします (Excessive idle time *nn* minutes for zsecsys client *clientno* job *jobname* user *userid*; simulating end)

説明: リモート・クライアントから対話を受け取らなかった時間が *nn* 分を超えました。このサーバーに保持されているエンキューおよびリソースを解放するために、エンド・クライアント・アクションがシミュレートされます。このメッセージは、リモート・クライアントが 10 分以上サイレントの場合にのみ発行されます。

ユーザーの処置: ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 08

CKN216I READALL アクセス権限検査中の異常終了、*abendcode*、アクセス権なしと想定します (ABEND during READALL access check *abendcode* assume no access)

説明: XFACILITY リソース・クラス内の CKR.READALL リソースに対する実行ユーザー ID のアクセス検査中に予期しない状況が発生しました。zSecure サーバーは CKRCARLA クライアントに対し、ユーザーには CKR.READALL リソースへの十分なアクセス権限がないことを通知します。

ユーザーの処置: 「Security Server RACF メッセージおよびコード」マニュアルの異常終了コードを参照してください。

重大度: 08

CKN217 ノード・ユーザー ID *node-userid* が *cert-userid* と一致しません (Node *userid* *node-userid* does not match *cert-userid*)

説明: 一致する CKNADMIN.FROMNODE プロファ

イルから取得された ZSECNODE ユーザー ID が、ノードの証明書に関連付けられたユーザー ID と一致しません。接続は拒否されて通信は停止します。

ユーザーの処置: 一致する CKNADMIN.FROMNODE プロファイルの APPLDATA で指定された ZSECNODE ユーザー ID が正しいことを確認してください。ノードの証明書に関連付けられている RACF ユーザー ID が正しいことを確認してください。これらのユーザー ID の指定について詳しくは、「インストールおよびデプロイメント・ガイド」の AT-TLS を使用したセキュア通信の設定に関するセクションを参照してください。

重大度: 08

CKN218I **BPX1OPT setsockopt TCP_KEEPALIVE**
 がソケット *sockdesc* で失敗しました
 unix_error (BPX1OPT setsockopt
 TCP_KEEPALIVE failed on socket
 sockdesc unix_error)

説明: このメッセージは、TCP KEEPALIVE ソケット・オプションを ZSECSYS RETRYINTERVAL に設定する *setsockopt* 呼び出しの間に UNIX エラーが発生したことを示します。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置: 原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度: 08

CKN219 **BPX1OPT setsockopt SO_KEEPALIVE**
 のアクティブ化がソケット *sockdesc* で失敗
 しました *unix_error (BPX1OPT*
 setsockopt SO_KEEPALIVE active
 failed on socket sockdesc unix_error)

説明: このメッセージは、接続を定期的にテストすることを要求する *setsockopt* 呼び出しの間に、UNIX エラーが発生したことを示します。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置: 原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度: 08

CKN220 **BPX1OPT setsockopt TCP_NODELAY**
 のアクティブ化がソケット *sockdesc* で失
 敗しました *unix_error (BPX1OPT*
 setsockopt TCP_NODELAY active
 failed on socket sockdesc unix_error)

説明: このメッセージは、接続でメッセージを遅延しないことを要求する *setsockopt* 呼び出しの間に、UNIX エラーが発生したことを示します。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置: 原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度: 08

CKN221 **BPX1OPT setsockopt SO_REUSEADDR**
 のアクティブ化がソケット *sockdesc* で失
 敗しました *unix_error (BPX1OPT*
 setsockopt SO_REUSEADDR active
 failed on socket sockdesc unix_error)

説明: このメッセージは、ポートを再使用可能にすることを要求する *setsockopt* 呼び出しの間に、UNIX エラーが発生したことを示します。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置: 原因およびアクションを判別するには、UNIX システム・コードの資料を参照してください。

重大度: 08

CKN222I *userid* について **RACF ACEE** のクリーン
 アップに失敗しました。 **RC=retcode**
 RSN=reascde (16 進数)、*sysname* ジョブ
 jobname ユーザー *userid* クライアント
 clientno (**RACF ACEE clean up failed**
 for userid RC=retcode RSN=reascde hex
 for sysname job jobname user userid
 client clientno)

説明: ユーザー *userid* のセキュリティ環境の削除が成功しませんでした。メッセージには、RACROUTE REQUEST=VERIFY ENVIR=DELETE に対する戻りコードと理由コードに加え、このセキュリティ環境が作成されたりモート・ユーザー ID の識別番号が表示されます。

ユーザーの処置: 「Security Server RACF RACROUTE マクロ解説書」で RACROUTE 関数の戻りコードと理由コードを調べてください。

重大度: 08

CKN223I ネゴシエーションされた TLS 暗号 *cipher*
 が **NIST 800-131A** に準拠していません
 (**Negotiated TLS cipher cipher is not**
 compliant with NIST 800-131A)

説明: このメッセージは、ネゴシエーションされた

TLS 暗号 *cipher* が、NIST 特別刊行物 800-131A に準拠していないことを示します。

ユーザーの処置: 暗号の説明については、「z/OS Cryptographic Services System SSL Programming」のトピック『**Cipher Suite Definitions**』を参照してください。TTLSCipherParms ステートメントを使用して、AT-TLS ポリシー・ルール内で NIST 800-131A に準拠した暗号のリストを指定してください。

重大度: 04

CKN224I ZSECSYS クライアント *nn* ジョブ *JOBNAME* ユーザー *USERID* から受信した **CARLA** ファイルに対する **REREAD** 要求は無効です (**Invalid REREAD request on CARLA file received from ZSECSYS client nn job JOBNAME user USERID**)

説明: このメッセージは、クライアントからのプロトコル・エラーを示します。クライアント・アプリケーションは、2 パス・モードがサポートされていないファイルを再読み取りしようとしてしました。

重大度: 08

CKN225I ZSECSYS クライアント *nn* ジョブ *JOBNAME* ユーザー *USERID* から受信した **CKX** 出力ファイルに対する **REREAD** 要求は無効です (**Invalid REREAD request on CKX output file received from ZSECSYS client nn job JOBNAME user USERID**)

説明: このメッセージは、クライアントからのプロトコル・エラーを示します。クライアント・アプリケーションは、2 パス・モードがサポートされていないファイルを再読み取りしようとしてしました。

重大度: 08

CKN226I ZSECSYS クライアント *nn* ジョブ *JOBNAME* ユーザー *USERID* から受信した、開いていないファイル *DDNAME* に対する **REREAD** 要求は無効です (**Invalid REREAD request for unopened file DDNAME received from ZSECSYS client nn job JOBNAME user USERID**)

説明: このメッセージは、クライアントからのプロトコル・エラーを示します。クライアント・アプリケーションは、正常に開けなかったファイルを再読み取りしようとしてしました。

ユーザーの処置: オープンの異常終了のメッセージまたはオープン失敗のメッセージを探して、そのガイダンスに従ってください。

重大度: 08

CKN227I システム日付が *date* に変わりました (**System date changed to date**)

説明: このメッセージは、システム日付を記録するために CKNPRINT 出力ファイルに出力されます。これは、タイム・スタンプ・オプションが設定されなかった場合に特に便利です。

重大度: 00

CKN228I CKNDSN UPDATE のアクセス検査中に失敗しました *abend* (**Failure during CKNDSN UPDATE access verification abend**)

説明: RACROUTE REQUEST=AUTH 許可検査中に異常終了が発生しました。アクセスは許可されません。

ユーザーの処置: 異常終了の原因と可能なアクションを判別するには、「z/OS MVS システム・コード」を参照してください。

重大度: 08

メッセージ 600 から 899

CKN600...CKN699 *message*

説明: CKN600 から CKN699 の範囲のメッセージは、内部エラー・メッセージであり、個々に文書化はされていません。この範囲内のメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKN700...CKN799 *message*

説明: CKN700 から CKN799 の範囲のメッセージは、トレース・メッセージであり、個々に文書化はされていません。この範囲内のメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKN874I **RECFM=V(BS) RDW** *hex* が、レコード *n ddname volser dsname* で **LRECL=lrecl** を超えています (**RECFM=V(BS) RDW** *hex exceeds LRECL=lrecl at record n ddname volser dsname*)

説明: このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

CKN875I **RECFM=V(BS) BDW** *hex* が、レコード *n ddname volser dsname* で **BLKSIZE=blksize** を超えています (**RECFM=V(BS) BDW** *hex exceeds BLKSIZE=blksize at record n ddname volser dsname*)

説明: このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述

子ワードが DCB パラメーターに一致しません。ブロック記述子ワード (BDW) は 16 進数で示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは BDW を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

CKN893I *task ep* の接続を試みました。タスク *task* TCB *addr* **ATTACH RC=n 10 進数** (**Task task TCB addr ATTACH RC=n dec attempting to attach task ep**)

説明: このメッセージは、*task* という名前のタスクの示された TCB インスタンスから新しいタスク *task ep* の接続に失敗したことを示します。

ユーザーの処置: ATTACH 戻りコードの説明を確認して、適切なアクションを実行してください。例えば、戻りコードがストレージ不足を示している場合があります。

重大度: 16

CKN894I タスク *task* TCB *taskaddr* による *task ep* インスタンス TCB *subtaskaddr* の切り離し。RC=*nn* 10 進数 (**Task task TCB taskaddr DETACH of task ep instance TCB subtaskaddr RC=nn dec**)

説明: このメッセージは、タスク *task* の示された所有インスタンス TCB *taskaddr* が、サブタスク *task ep* の示された TCB インスタンスを正しく削除することに失敗したことを示します。RC 値は、ゼロ以外の DETACH 戻りコードです。

ユーザーの処置: DETACH 戻りコードの説明を確認して、適切なアクションを実行してください。

重大度: 04

CKN895I タスク *task* TCB *addr* サブタスク *task ep* インスタンス TCB *subtaskaddr* が失敗しました *abend* (**Task task TCB addr subtask task ep instance TCB subtaskaddr failed abend**)

説明: このメッセージは、示された異常終了コードで

DETACH タスクが失敗したことを示します。この失敗は、*task* という名前のタスクの示されたマザー TCB インスタンスの *task ep* のドーター・タスク・インスタンス TCB *subtaskaddr* で発生しました。

ユーザーの処置: 異常終了コードの意味を確認して、適切なアクションを実行してください。例えば、戻りコードがストレージ不足や入力/出力ファイル関連の失敗を示している場合があります。これがユーザー異常終了コードの場合は、ユーザー異常終了コードと同じ 10 進数のメッセージ番号を持つジョブ・ログまたはシステム・ログの出力ファイルまたは WTO にメッセージが存在するはずです。ユーザー異常終了コードが 16 の場合、メッセージ番号は異なる場合があります (例えば、999)。メッセージを調べて、そのガイダンスに従ってください。

重大度: 04

CKN896I タスク *task* TCB *addr* ゼロ ECB 待機
(Task *task* TCB *addr* zero ECB wait)

説明: これは、ソフトウェア内の問題を示す内部エラー・メッセージです。

ユーザーの処置: CKNPRINT を保存して 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKN897I HMALLOC 呼び出しエラー: *task2* からの非スレッド・セーフ *task1 heap*
(HMALLOC CALL ERROR:
NON-THREADSAFE *task1 heap* from
task2)

説明: これは、ソフトウェア内の問題を示す内部エラー・メッセージです。

ユーザーの処置: SYSPRINT および他の関連するファイルを保存して、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKN898I *program* 再帰的な異常終了が発生しました
(*program* Recursive abend percolated)

説明: この WTO メッセージは、再帰的な異常終了状態が発生したことを警告します。要約ダンプを提供する試み、またはリカバリーの試みは、失敗することが考えられます。

ユーザーの処置: 最初の異常終了を解決してください。

重大度: I

メッセージ 900 から 999

CKN900I *task taskaddr* の IDENTIFY RC=*rc*
(IDENTIFY RC=*rc* for *task taskaddr*)

説明: IDENTIFY サービスは、示された *task* に対して示された *rc* を返しました。

重大度: 00

CKN931I *proc*: バッファオーバーラン -
 dln=destinationlength sln=sourcelength::
 data (proc: Buffer overrun -
 dln=destinationlength sln=sourcelength::
 data)

説明: フォーマット・プロシージャ *proc* でバッファオーバーランが発生しました。このメッセージの後、ユーザー異常終了 931 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

ユーザー異常終了 931 は SUPPRESS FMTABEND (「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」で SUPPRESS コマンドの FMTABEND オプションを参照) または SUPPRESS MSG=931 を指定することによって抑止可能です。ただし、出力が破損したり他のエラーが発生したりする可能性があります。

重大度: 24

CKN941I プログラムに対する診断ダンプが抑止されました。グローバル領域または
 GLBLREG GARBLE AT xxxxxxxx が理由です (DIAGNOSTIC DUMP
 SUPPRESSED FOR program BECAUSE
 GLOBAL AREA OR GLBLREG
 GARBLE AT xxxxxxxx)

説明: この WTO メッセージは、診断ダンプがない理由を示します。問題を分析するには、通常のダンプが必要です。

重大度: I

CKN955I *program task heap* ストレージ要求エラー:
 サイズが正の値ではありません (*program*
 task heap STORAGE REQUEST
 ERROR: SIZE NOT POSITIVE)

説明: このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16

が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKN968I IFAEDDRG が失敗しました RC *nn* (10
 進数) (IFAEDDRG failed RC *nn*
 decimal)

説明: このメッセージは、以前に登録済みの製品の登録が失敗したことを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKN969I *dsn* の入出力エラー: *description* (I/O
 error for *dsn*: *description*)

説明: このメッセージは、*dsn* についての通常の QSAM または BSAM 入力処理中に入出力エラーが発生したことを示します。命令は続行されますが、入出力エラーによって情報が失われることから異常終了またはその他のエラー・メッセージが後に続く場合があります。

重大度: 08

CKN970I *program task heap* フリー・ストレージ・
 エラー (FREE STORAGE ERROR):
 message

説明: このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKN972I *product* の使用可能化情報がありません
(**Enablement information missing for product**)

説明: このメッセージは、ロード・モジュールが完全でないために製品が稼働できないことを示します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、製品のインストールを完了させるように依頼してください。

重大度: 16

CKN973I IBM セキュリティ製品コード *code* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product code *code* disabled or not installed**)

説明: このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしているか、または製品がこのシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できないことを示します。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKN974I IBM セキュリティ *product* が要求されたフォーカスに対して使用不可になっているか、ここではインストールされていません (**IBM Security product disabled or not installed here for requested focus**)

説明: 製品がインストールされていないか、または要求されたフォーカスが、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKN975I IBM セキュリティ *product* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product disabled or not installed**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKN976I *product* 製品または機能のコードまたは使用可能化がありません (**Code or enablement for product product or feature is missing**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKN976 IBM セキュリティ *product or feature* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product or feature disabled or not installed here**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKN977I 製品所有者('IBM CORP') ID(*id*) 名前 ('*name*') 機能('feature') バージョン (*version*) リリース (*release*) 変更 (*modification*) がインストール済みです (**Installed PRODUCT OWNER('IBM CORP') ID(*id*) NAME('name')**)

FEATURE('feature') VER(version)
REL(release) MOD(modification))
[製品 *action* RC *rc* 10 進数] ([Product
action RC *rc* decimal])

説明: このメッセージは、インストール済みの製品の
DEBUG に応答して発行されます。*action* は、
"registration" または "status" になります。戻りコード
はそれぞれ IFAEDREG または IFAEDSTA に対するもの
で、「MVS プログラミング：プロダクト登録」に記載
されています。製品登録が適用されない場合は継続行
が表示されません (例えば、CKN979I のため)。

重大度: 00

CKN978I 製品コード *code* が PARMLIB で無効化
されました (Product code *code* has
been disabled in PARMLIB)

説明: このメッセージは、z/OS PARMLIB 内の
IFAPRDxx の項目によって、現在のシステム名、シス
プレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハー
ドウェア名に対して無効になっている製品について
DEBUG への応答として発行されます。

ユーザーの処置: 製品を他の場所で実行するか、シス
テム・プログラマーに使用可能化を依頼してください。

重大度: 00

CKN979I 製品コード *code* は他の製品によって暗黙
に指定されています (Product code *code*
implied by other)

説明: このメッセージは、製品ライセンスがより包括
的なライセンスによって暗黙的に与えられているため、そ
の製品が登録されない場合に、DEBUG に応答して発行
されます。

重大度: 00

CKN991I 予期しない [type|nil] ポインター。場所:
procedure - ユーザー異常終了 991
(Unexpected [type|nil] pointer in
procedure - user abend 991)

説明: このメッセージは、プログラムの予期しない状態
を示します。プログラムはユーザー異常終了 991 で終
了します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照し
て、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を
探してください。該当する保守が見つからない場合は、
707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されて
いる手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKN992I ABNEXIT/STXIT/ESTAE 戻りコード *rc*
(ABNEXIT/STXIT/ESTAE return code
rc)

説明: このメッセージは、プログラムが異常終了リンケ
ージの確立に失敗したことを示します。

重大度: 04

CKN993I *program* タスク *taskname* *type* に対する診
断ダンプが抑止されました。異常終了 *xxx*
(DIAGNOSTIC DUMP SUPPRESSED
FOR *program* TASK *taskname* *type*
ABEND *xxx*)

説明: このメッセージは、プログラムの異常終了出口に
より診断要約ダンプの作成が試行されなかったことを示
します。これは、印刷ファイルに関連する再帰的な異常
終了状態を防ぐ目的で行われます。タスク名は、メイ
ンタスクまたはプログラム内の唯一のタスクの場合は
PROGRAM です。マルチタスキング・プログラムの場
合、*program* は、サブタスクの 1 つを示す可能性があ
ります。

CKN998I *program* のスタック *tasklevel* *stackname*
でスタック・オーバーフローが発生しまし
た (STACK OVERFLOW FOR STACK
tasklevel *stackname* IN *program*)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示しま
す。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が
続きます。電子サポート Web サイトを参照して、この
メッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してく
ださい。該当する保守が見つからない場合は、707 ペ
ージの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手
順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKN999I *program* 内のタスク *taskname* のヒープ
heapname のストレージが不足しています
- 領域を増やしてください (STORAGE
SHORTAGE FOR TASK *taskname*
HEAP *heapname* IN *program* -
INCREASE REGION)

説明: このメッセージは、プログラムに追加のストレ
ージが必要であることを示します。ヒープ名が
LOWHEAP の場合、要求は 16MB ライン以下のストレ
ージに対するものです。

ユーザーの処置: メッセージ CKF034I を調べて、要求
された領域と、ジョブ・ステップに付与された権限を判
別してください。JOB または STEP カードの REGION
値を増やしてください。また、STORAGEGC コマンド

を使用することも有益な場合がありますが、これにより CPU 使用量が増加します。問題のヒープが LOWHEAP だった場合は、このラインより下に使用可能なストレージが十分にありませんでした。このラインより上に十分なストレージがなく、LOWHEAP ストレージが代わりに使用された場合は、REGION を増やすことが依然として役立つ場合があります。このラインより下で実際にストレージが不足している場合は、PARALLEL オプションを使用して入出力並列処理を削減するか、または FREE オプションを使用して直ちに割り振りの解放を強制的に実行します。

重大度: 16

第 5 章 CKR メッセージ

zSecure Suite のいくつかの製品のメインプログラムは、CARLa Auditing and Reporting Language (CARLa) で作成されたスクリプトで駆動します。この理由から、これはよく「CARLa エンジン」と呼ばれます。これは RACF、SMF、および他のタイプの情報を処理します。このプログラムは、zSecure Admin、zSecure Audit、zSecure Alert、zSecure Visual、zSecure Adapters for SIEM、および zSecure Manager for RACF z/VM に組み込まれています。

このプログラムは『CKRCARLa プログラム』と呼ばれることもあります。現行リリースで、実際の CKRCARLa プログラムは、実作業を実行するために CKR4Z プログラムまたは CKR8Z196 プログラムのいずれかを呼び出すスタブ・プログラムです。これらのプログラムは、「31 ビット・アドレッシング」および「64 ビット・アドレッシング」CARLa エンジンと呼ばれることもあります。

この章では、CARLa エンジンがメインフレーム上で発行するメッセージを説明しています。これらのメッセージの接頭部には、CKRnnnn または CKRnnnI 形式の固有メッセージ ID が付きます。ここで、nnnn および nnn は固有のメッセージ値を示します。メッセージ ID の後に、重大度コードが示されます。

注: CARLa エンジンからの戻りコードは通常、返されたすべてのメッセージの戻りコードのうち最も大きい値に設定されます。OPTION NOWARNING がコーディングされる場合、プログラムからの戻りコード 04 は 00 にリセットされます。

CARLa エンジンの重大度コードと完了コードの一般的な意味は以下のとおりです。

- 00 状況または要約情報を示す通常のメッセージ、または決定事項を示すメッセージ。
- 04 一般的な警告、つまり VERIFY または REPORT 処理の結果として検出されるエラー条件の可能性があります。このエラー条件の除去を試みるには、zSecure によって生成されるコマンドを使用します (CKRCMD が割り振られた場合)。
- 08 VERIFY または REPORT 処理の結果として通常検出されるエラー条件。このエラーを除去するために zSecure が生成できるコマンドはありません。
- 12 コマンド入力の構文エラー。
- 16 zSecure に関連する資格の問題または無効/非サポート・ファイル。
- 20 セキュリティー・データベース、VTOC、または VVDS、あるいはボリューム共有で検出された非サポート条件。
- 24 zSecure で検出された内部エラーなどの予期しないサポートされない条件。
- 32 使用された RETURN または JUMP キー。

メッセージはサブセクションに記載され、3 桁のメッセージ番号でグループ化されています。

メッセージ 0 から 99

CKR0000 入力エラーにより *program* が終了しました (*program terminated due to input errors*)

説明: 前のメッセージは、パラメーターまたはコマンド入力ファイルのエラーを示しています。コマンド入力が構文的に正しくない場合、プログラムはコマンドを実行しません。エラーを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

重大度: 12

CKR0001 抑制された UNLOAD, SHOW, (SORT)LIST, DISPLAY, (D)SUMMARY, REPORT, VERIFY, COPY, REMOVE, MOVE, または MERGE が指定されていません (No unsuppressed UNLOAD, SHOW, (SORT)LIST, DISPLAY, (D)SUMMARY, REPORT, VERIFY, COPY, REMOVE, MOVE or MERGE specified)

説明: 出力を生成するコマンドが指定または暗黙指定されていません。LICENSE パラメーター条件が満たされていないためにすべての NEWLIST が抑制された場合も、このメッセージが発行される可能性があります。

ユーザーの処置: メッセージに示されたいずれかのコマンドを指定するか、要求する機能の資格が実際に当該システムで付与されていることを確認してください。

重大度: 12

CKR0002 出力ファイルを開くことができませんでした (**Output file open failed**) - [redirected virtualdd] *ddname* [*path* | *dsname volser*]

説明: 示されたファイル (CKRUNLOU、CKRCMD など) の OPEN が失敗しました。バッチ・ジョブを実行している場合は、ジョブ・ログを参照して異常終了コードと理由コードを確認してください (異常終了コードはおそらく 013 です)。異常終了コードと理由コードがない場合は、おそらく DDname が割り振られていません。TSO を対話式で実行していて、異常終了コードが端末にリストされていない場合は、PROFILE WTPMSG を指定して再試行してください。CKR0002 メッセージ内の *ddname* フィールドには、不要情報が含まれる場合があります。異常終了コードと理由コードの意味は、MVS システム・メッセージおよびコードのマニュアルにあります。このメッセージには、

2 つの DD 名が示される場合があります。1 つは実際の *ddname* で、もう 1 つは CARLa で参照される dd=パラメーター (*virtualdd*) です。

重大度: 16

CKR0003 入力用のファイル *ddname volser dsn* を開くことができませんでした (**Open for input failed on file *ddname volser dsn***)

説明: 示されたファイルと任意の ALLOC DD=*ddname* コマンドの DD ステートメントを確認してください。エラーを訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

重大度: 16

CKR0004 [complex] *pads ddname volume dsn* の処理が開始されました (**Processing started for [complex] *pads ddname volume dsn***) システム *name* 上で *date time* にプログラム *program v.l.m date time* ジョブ *name* によってアンロードされました [割り当てられた複合システム名 *complex*] (**Unloaded by program *program v.l.m date time job name at date time on system name* [Complex name *complex assigned*]**)
ソース *type* データ・セット *i* は *volume datasetname* でした (**Source type dataset *i* was volume datasetname**)
*databaseformat*テンプレート・レベル *level* (***databaseformattemplate level level***)

説明: このメッセージは、アンロードされたセキュリティー・データベースを作成したプログラムのバージョン、データベースがアンロードされた日時、およびアンロードが実行されたシステムの SMF ID を示します。ファイルに含まれているアンロードされた RACF または ACF2 データ・セットごとに、オリジナルのボリュームとデータ・セット名がリストされます。ACF2 の場合、データ・セットの *type* (LID、RULE、または INFO) も示されます。RACF の場合、データベース・フォーマットが最終行に ***formattype database format release*** の形式で示されます。ここで、*formattype* は **Restructured** または **Non-restructured**、*release* (存在する場合は **RACF release FMID** (旧リリースの場合は *v.r.m*) の形式になります。テンプレート *level* (存在する場合は) には、テンプレートを最後に変更した FMID または APAR 番号に続いて、リリース・レベルおよび APAR レベルの数値標識が示されます (この情報がある場合)。このメッセージに *pads* を示すテキスト **PADS**

が含まれている場合は、データベースへのアクセスがこのプログラムによる条件付きアクセス権限によって許可されたことを意味します。この場合、プログラムの機能はユーザーの有効範囲までに制限されます。このメッセージに *pads* を示すテキスト **program pathing** が含まれている場合は、データベースへのアクセスがこのプログラムによる条件付きアクセス権限によって許可されたことを意味します。

重大度: 00

CKR0005 *complex* に対して読み取られたプロファイルの数 *nnnnnn*、選択されたプロファイルの数 *yyyy (pp%) (nnnnnn profiles read, yyyy profiles selected (pp%) for complex)*

説明: このメッセージは、プロファイル入力フェーズの最後に書き込まれます。このフェーズでは、SELECT、EXCLUDE、LIST、および UNLOAD コマンドが処理され、他のコマンドのために情報が格納されます。RACF データベースで使用されているプロファイルの総数のほか、SELECT および EXCLUDE コマンドによって選択されたプロファイルの数もリストされます。これは、NEWLIST コマンドの有効範囲内の SELECT および EXCLUDE には適用されません。

重大度: 00

CKR0006 *ddname [path | volser dsname]* で切り捨てられたプロファイルの数 *nn (nn profiles truncated on ddname [path | volser dsname])*

説明: 出力ファイル *ddname* のレコード長が不十分なため、プロファイルが切り捨てられました。このため、アンロードされたファイルに対して後続処理が行われる場合、切り捨てられたプロファイルに関して誤ったエラー・メッセージが出される可能性があります。ただし、必ずしもこのようになるとは限りません。例えば、VERIFY CONNECT コマンドを試行または暗黙指定すると、切り捨てられたグループ・プロファイルが原因で誤ったエラー・メッセージが発生しますが、データベースの冗長性により、一般にはそれ以外の問題は発生しません。

このメッセージは、zSecure Admin UNLOAD ファイルの現行のレコード長に対してプロファイルの長さが長すぎるときに発行されます。この原因を修正するには、次の LRECL 指定で UNLOAD ファイルを割り振ってください。

LRECL=X,RECFM=VBS

ブロック化可変スパン (VBS) レコード・フォーマット

では、UNLOAD レコードはより多くの物理レコードにまたがることができます。

重大度: 08

CKR0007 ファイルが空です (**File is empty**) - *ddname volume dsn*

説明: 指定された TYPE=UNLOAD ファイルは割り振られましたが、レコードが含まれていませんでした。

重大度: 16

CKR0008 *type* レコードの前にファイルの終わりに達しました (**End-of-file before type record**) - *ddname volume dsn*

説明: 指定された TYPE=UNLOAD ファイルにはいくつかの状況レコードが含まれていましたが、示されたレコード・タイプが存在しませんでした。示された *type* は、ICB (最初の RACF データベース・レコードの場合)、CRDB (発信元データベース・レコードの場合)、または FDR (ACF2 FDR レコードの場合) になります。おそらくアンロードが失敗したか、システム・カタログが旧バージョンのアンロード・データ・セットを指しています (この問題について考えられる原因については、CKR0014 を参照してください)。

重大度: 16

CKR0009 **SYSNAME(name) SYSPLEX(name) [LPARNAME(name)] [VMUSERID(name)] [HWNAME(name)]** 上の *siteidentifier activity (siteidentifier activity on SYSNAME(name) SYSPLEX(name) [LPARNAME(name)] [VMUSERID(name)] [HWNAME(name)])*
CPU-id CPUid (CPU-id CPUid)
 製品コード *codes Products (Product codes codes Products)*

説明: このメッセージは、サイト固有のストリング、システム、シスプレックス、LPAR、VM ユーザー ID、稼働しているハードウェア、およびインストールされて IFAPRDxx によってこのプログラムでは使用不可になっていない IBM Security zSecure スイート製品を示しています。製品コードの説明については、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」に記載されているライセンス名の表を参照してください。「製品」セクションの各行には、製品 ID と特定の製品機能の完全な名前が示されています (例: コード AUDITRACF の場合は、5655-N17 IBM Security zSecure Audit for RACF)。activity は、使用している呼び出し環境に応じて Runs または UNIX になります。

重大度: 00

CKR0010 **OPEN** の異常終了 *hhh-hh* 対象ファイル *ddname* (**OPEN abend hhh-hh on file ddname**)

説明: 示されたファイル (CKRACFnn、またはリダイレクトされたデータベース DD 名) の OPEN が失敗しました。バッチ・ジョブを実行している場合は、ジョブ・ログを参照して異常終了コードと理由コードを確認してください (異常終了コードはおそらく 013 です)。TSO を対話式で実行していて、異常終了コードが端末にリストされていない場合は、PROFILE WTPMSG を指定して再試行してください。CKR0010 メッセージ内の *ddname* フィールドには、おそらく不要情報が含まれています。

重大度: 16

CKR0011 入出力エラー: *synadaf message* (I/O error: *synadaf message*)

説明: CKRACFnn ファイルのいずれかで入出力エラーが発生しました。割り振られたファイルが確かに RACF データベースで、RECFM=F および LRECL=1024 (再構成されていないデータベースの場合) または LRECL=4096 (再構成されたデータベースの場合) が設定されていることを確認してください。VM システムでは、OS でフォーマットされたミニディスク上のデータベースでこのエラーが発生する可能性もあります。この場合は、データベースを CMS でフォーマットされた一時ミニディスクにコピーし、このコピーを処理することで、データベースを処理できます。

重大度: 16

CKR0012 90 を超える RACF データ・セットは並列処理できません - 分割実行を使用してください (**More than 90 RACF data sets parallel not supported - use separate runs**)

説明: このバージョンのプログラムは、90 を超えるデータ・セットを同時に処理できません。ALLOC DB= コマンドを使用して、90 以下のデータ・セットを処理対象として選択してください。サイトで 90 を超えるデータ・セットを処理する必要がある場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKR0013 ファイル *unload-ddname* または *db-ddname* が事前割り振りされていません (**No file unload-ddname or db-ddname preallocated**)

説明: 暗黙的割り振りモードで、RACF プロファイルのソースが検出されませんでした。通常は、現在の RACF データベースが動的に割り振られますが、CMS システム上または RACF がアクティブでない MVS システム上で実行しています。処理したいデータベースを明示的に CKRACF01 ファイルに (データベースが分割されている場合は CKRACFnn ファイルにも) 明示的に割り振るか、ALLOC TYPE=RACF または ALLOC TYPE=UNLOAD コマンドを使用してください。

重大度: 16

CKR0014 ファイルが **CRCF** レコードで始まっています (File does not start with **CRCF** record) - *ddname volume dsn*

説明: このメッセージは、CKRUNLIN ファイル (つまりセキュリティ・データベースの UNLOAD ファイル) に無効な情報が含まれていることを示しています。一般的な理由は以下の 2 つです。

- UNLOAD データ・セットが zSecure によって記入されていない
- UNLOAD データ・セットに互換性のない/無効な DCB 特性が含まれている

ISPF オプション 3.2 を使用して DCB 情報を見ると、これを確認できます。以下のようにになっているはずで

```
Organization . . . . : PS
Record format . . . . : VBS
Record length . . . . : 32768
Block size . . . . . : 27998
```

レコード・フォーマット U またはデータ・セット編成 PO がある場合は、インストール済み環境におそらく ACS ルーチン (つまりデフォルトのデータ・セット特性を設定するための SMS ルーチン) があり、最後の修飾子に文字 LOAD が含まれているデータ・セットがロード・モジュール・データ・セットになることが、そのルーチンで想定されています。CKRJCPYR の JCL で DCB 特性を指定することをお勧めします。

```
//CKRUNLOU DD ....,
//      DSORG=PS,RECFM=VBS,LRECL=X,BLKSIZE=27998
```

重大度: 16

CKR0015 *[complex]* 1 次 RACFDB db ファイル
ddname データ・セット *dsname* を
volume 上で開くことができませんでした
**(Open failed of [complex] primary
 RACF DB db file ddname data set
 dsname on volume)**

説明: 詳しくは、CKR0002 および CKR0010 を参照してください。

重大度: 16

CKR0016 *[complex]* 2 次 RACFDB db ファイル
ddname データ・セット *dsname* を
volume 上で開くことができませんでした
**(Open failed of [complex] secondary
 RACF DB db file ddname data set
 dsname on volume)**

説明: 詳しくは、CKR0002 および CKR0010 を参照してください。

重大度: 16

CKR0017 *[complex]* DB db pads *ddname volume
 datasetname* の処理が開始されました
**(Processing started for [complex] DB db
 pads ddname volume datasetname)**

CKR0017 ファイル *ddname complex* に
databaseformat release テンプレート・レベル
level があります **(File ddname complex
 has databaseformat release template level
 level)**

説明: 示されたファイルの TYPE=RACF データ・セットが正常に開き、データベースの入力が開始されました。データベース・フォーマットは 2 行目に *formattype* データベース・フォーマット *release* の形式で示されます。ここで、*formattype* は **restructured** または **non-restructured**、*release* (存在する場合) の形式は **RACF release FMID** (旧リリースの場合は *v.r.m*) になります。テンプレート *level* (存在する場合) には、テンプレートを最後に変更した FMID または APAR 番号に続いて、リリース・レベルおよび APAR レベルの数値標識が示されます (この情報がある場合)。このメッセージに *pads* を示すテキスト **PADS** が含まれている場合は、データ・セットへのアクセスがこのプログラムによる条件付きアクセス権限によって許可されたことを意味します。この場合、プログラムの機能はユーザーの有効範囲までに制限されます。

重大度: 00

CKR0018 *ddname volume datasetname* の範囲がありません **(No extents present for ddname
 volume datasetname)**

説明: 示されたファイルは正常に開きましたが、範囲がありませんでした (データ・セットが空です)。

重大度: 16

CKR0019 CKRACF01 が事前割り振りされている場合、ALLOC PRIMARY/BACKUP/ACTIVE/INACTIVE/DB は無効です (ALLOC PRIMARY/BACKUP/ACTIVE/INACTIVE/DB invalid if CKRACF01 pre-allocated)

説明: 事前割り振りデータベースに加え、暗黙的割り振りモードの ALLOCATE コマンドがコマンドに含まれていました。ALLOCATE コマンドを削除するか、CKRACFC01 ファイルを削除してください。

重大度: 16

CKR0020 *Type* の入力が終了しました。LIMIT *lim* に達しました (*Type input terminated, LIMIT lim reached*)

説明: LIMIT コマンドで指定した OUT または IN の限度に達しました。プロファイルまたはレコード (*type*) はこれ以上読み取られません。

重大度: 00

CKR0021 サポートされない BAM フォーマット: 奇数ニブル上の最初のブロック、ブロック番号 *nnnn*、データベース *num*
(Unsupported BAM format: 1st block on odd nibble, block number nnnn, database num)

説明: ブロック可用性マップ (BAM) の入力中に、サポートされないフォーマットが検出されました (ニブルは 4 ビットで、非 RDS フォーマットで 1 つのブロックのセグメントを記述します)。それ以外のエラーが検出されず、このエラーが再発する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0022 サポートされない **BAM** フォーマット:
最後の **BAM** ブロック以外の奇数 # ブロ
ック - ブロック番号 *nnnn db num*
(**Unsupported BAM format: odd # blks**
in other than last BAM block - block
number *nnnn db num*)

説明: ブロック可用性マップ (BAM) の入力中に、サポ
ートされないフォーマットが検出されました。それ以外
のエラーが検出されず、このエラーが再発する場合は、
電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージ
に関連付けられた使用可能な保守を探してください。該
当する保守が見つからない場合は、707 ページの
『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従
って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0023 **QSAM** を使用した入力用に、ファイル
ddname データ・セット *dsn* を *vol* 上で
開くことができませんでした (**OPEN for**
input with QSAM failed for file
ddname dataset dsn on vol)

説明: BDAMQSAM 処理の使用 (現在、これはデフ
ォルト・モードです)、BDAM 処理の終了後に、QSAM
処理を使用してデータ・セットを再度開くことができま
せませんでした。発生した問題を示す他のエラー・メッセ
ージが発行されている可能性があります。

重大度: 16

CKR0024 索引マーカーがブロック境界にありません
:
ddname ブロック *nnnn* セグメント・オ
フセット *off* (**Index marker not on**
block boundary: *ddname block nnnn*
segment offset *off*)

説明: RACF データベースで、ブロック内の最初以外
のセグメントで索引ブロックが始まるのが検出されま
した。このフォーマットはサポートされません。この問
題が再発する場合は、IRRUT200 を実行してください。
エラーが明らかにならない場合は、電子サポート Web
サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使
用可能な保守を探してください。該当する保守が見つか
らない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連
絡』に記載されている手順に従って問題を報告してくだ
さい。

重大度: 20

CKR0025 索引ブロックの長さが無効です: *ddname*
ブロック *nnnn* 長さ *len* (**Index block**
with invalid length: *ddname block*
nnnn length len)

説明: RACF データベースで、長さが 1024 (非 RDS
の場合) または 4096 (RDS の場合) でない索引ブロッ
クが含まれていることが検出されました。このフォー
マットはサポートされません。電子サポート Web サイト
を参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能
な保守を探してください。該当する保守が見つからない
場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記
載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0026 プロファイルの 2 番目のセグメントでフ
ァイルの終わりに達しました: *ddname* ブ
ロック *nnnn* セグメント・オフセット *off*
(**End of file in 2nd segment of profile:**
ddname block nnnn segment offset off)

説明: RACF データベースの指定された位置でプロフ
ァイルが読み取られましたが、データ・セットの終わ
りで完了しませんでした。電子サポート Web サイトを参
照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保
守を探してください。該当する保守が見つからない場合
は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載さ
れている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0027 プロファイル継続ではなく未使用のセグメ
ント: *ddname* ブロック *nnnn* セグメン
ト・オフセット *off* (**Unused segment**
instead of profile continuation: *ddname*
block nnnn segment offset off)

説明:

RACF データベース内の指定された位置でプロファイル
が読み取られましたが、物理プロファイル長フィールド
に従って完了していないにもかかわらず、ブロック可用
性マップは次のセグメントが使用されていないことを示
しています。この問題は、読み取りの実行中にデータベ
ース上で更新アクティビティが発生したために起きる
場合があります。同じ場所でこの問題が再発する場合
は、IRRUT200 を実行してデータベースを分析してくだ
さい。それでもエラーが明らかにならない場合や、問題
が断続的に発生して煩わしい場合は、電子サポート
Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けら
れた使用可能な保守を探してください。該当する保守が
見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへ

の連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0028 ファイル *ddname* がプロファイル用に *nn* ブロック (ブロックの場所 *nnnn* セグメント・オフセット *off*) 拡張されましたが、あと *yyy* セグメントが必要です
(File *ddname* extended *nn* block for profile at blk *nnnn* segment offset *off* needs *yyy* segments extra)

説明: RACF データベース内の指定された位置 *nnnn/off* でプロファイルが読み取られましたが、データ・セットの論理的な終わり (つまり BAM ブロックに従った終わり) で完了しませんでした。完全なプロファイルを得るために、データベースの論理的な終わりが自動的に *nn* ブロック拡張されました。データベースの読み取り中に大きな新規レコードが RACF データベースに追加された場合は、これが発生する可能性があります。

重大度: 20

CKR0029 セグメント・タイプ *X'hh'* はサポートされていません - *ddname* ブロック *nnnn* セグメント・オフセット *off* (Segment type *X'hh'* not supported - *ddname* block *nnnn* segment offset *off*)

説明: 不明なデータベース・セグメント・タイプが検出されました。この問題が同じ場所で再発する場合は、IRRUT200 を実行してください。これで構造エラーが明らかにならない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0030 サポートされないテンプレート *addr*, *hexvalue* *len ll* 検索対象 *fldname* エンティティ・タイプ *n* ICB 場所 *addr*
(Unsupported template *addr*, *hexvalue* *len ll* searching *fldname* in entity type *n* ICB at *addr*)

説明: テンプレートを使用したプロファイルのスキャン中に、サポートされない種類のテンプレートが検出されました。エラーが再発する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連

絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0031 インストール・オプションによって制限付きモードがアクティブになっています。ユーザー *userid* (Restricted mode active by installation option; user *userid*)

説明: このメッセージは、制限付きモードがアクティブな状態で製品がインストールされたことを示しています。制限付きモードの設定は、CKRSITE モジュールのインストール・オプションによって指定されます。CKRSITE モジュールおよびインストール・オプションについて詳しくは、「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。接続されているセキュリティ・データベースでユーザー *userid* が持っているアクセス権限に基づいて出力が制限されます。

重大度: 00

CKR0031 *pads*により制限付きモードがアクティブになっています。ユーザー *userid* (Restricted mode active because of *pads*; user *userid*)

説明: このメッセージは、プログラムに付与された読み取りアクセス権限により、1 つまたはいくつかの入力ファイルしか処理できなかったことを示しています。この場合は、制限付きモードの処理が自動的にアクティブになります。このメッセージには、テキスト **PADS** または *pads* を示すテキスト **program pathing** が含まれます。接続されているセキュリティ・データベースでユーザー *userid* が持っているアクセス権限に基づいて出力が制限されます。

重大度: 00

CKR0031 制限付きモードがアクティブになっています。ユーザー *userid* には *class* CKR.READALL に対する **READ** アクセス権限がありません (Restricted mode active, user *userid* no READ access to *class* CKR.READALL)

説明: CKRSITE モジュールで指定されたクラスの CKR.READALL リソースを扱うプロファイルを使用して、完全なデータベースを読み取ることができるユーザー (READ アクセス権限) と、制限付きモードで実行するユーザー (対象プロファイルあり、NONE アクセス権限) を定義することができます。現在のユーザーには READ アクセス権限がありません。接続されているセキ

CKR0031

ユリティー・データベースでユーザー *userid* が持っているアクセス権限に基づいて出力が制限されます。CKRSITE モジュールおよびインストール・オプションについて詳しくは、「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

重大度: 00

CKR0031 無制限モードがアクティブになっています。ユーザー *userid* には *class* **CKR.READALL** に対する **READ** アクセス権限があります (**Unrestricted mode active, user *userid* READ access to class CKR.READALL**)

説明: CKRSITE モジュールで指定されたクラスの CKR.READALL リソースを扱うプロファイルを使用して、完全なデータベースを読み取ることができるユーザー (READ アクセス権限) と、制限付きモードで実行するユーザー (対象プロファイルあり、NONE アクセス権限) を定義することができます。現在のユーザーには READ アクセス権限があります。CKRSITE モジュールおよびインストール・オプションについて詳しくは、「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

重大度: 00

CKR0031 無制限モードがアクティブになっています。ユーザー *userid* (**Unrestricted mode active; user *userid***)

説明: このメッセージは、インストール・オプション RESTRICT を使用して製品がインストールされていないため、製品のデフォルトにより無制限モードに設定されていること、プログラムに読み取りアクセス権限が付与されていなくても入力ファイルを処理できること、および CKRSITE モジュールで指定されたクラスの CKR.READALL リソースを扱うプロファイルが定義されていないことを示しています。CKRSITE モジュールおよびインストール・オプションについて詳しくは、「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

重大度: 00

CKR0031 [シミュレーション | リモート・ノード | シミュレーションおよびリモート・ノード] による制限モードですが、ユーザー *userid* は特権 **[SPECIAL] [AUDITOR] [ROAUDIT]** を持っています (**Restricted mode by [simulation | remote node | simulation and remote node], although user *userid* has privilege [SPECIAL] [AUDITOR] [ROAUDIT]**)

説明: このメッセージは、SIMULATE RESTRICT コマンドが存在したか、制限モードを必要とするリモート・ノードがあったか、それら両方であることを示します。実行しているユーザー ID の示された特権をオーバーライドします。接続されているセキュリティ・データベースでユーザー *userid* が持っているアクセス権限に基づいて出力が制限されます。CKRSITE モジュールおよびインストール・オプションについて詳しくは、「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

重大度: 00

CKR0031 [シミュレーション | リモート・ノード | シミュレーションおよびリモート・ノード] による制限モードですが、ユーザー *userid* は *class profile* に対する **READ** アクセス権限を持っています (**Restricted mode by [simulation | remote node | simulation and remote node], although user *userid* READ access to class profile**)

説明: このメッセージは、SIMULATE RESTRICT コマンドが存在したか、制限モードを必要とするリモート・ノードがあったか、それら両方であることを示します。実行しているユーザー ID の、示されたリソースに対する READ 特権をオーバーライドします。接続されているセキュリティ・データベースでユーザー *userid* が持っているアクセス権限に基づいて出力が制限されます。CKRSITE モジュールおよびインストール・オプションについて詳しくは、「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

重大度: 00

CKR0031 ユーザー *userid* に対する [シミュレーション | リモート・ノード | シミュレーションおよびリモート・ノード] による制限モードですが、プロファイル *class profile* がありません (**Restricted mode by [simulation | remote node | simulation and remote node] for user *userid*, although no profile class profile**)

説明: このメッセージは、SIMULATE RESTRICT コマンドが存在したか、制限モードを必要とするリモート・ノードがあったか、それら両方であることを示します。これは、すべての入力ソースに対する無条件読み取り許可など、あらゆる考慮事項に優先します。示されたプロファイルが存在せず、かつクラスのデフォルト RC が 4 であるため、別の方法でこれらがテストされたことになります。接続されているセキュリティー・データベースでユーザー *userid* が持っているアクセス権限に基づいて出力が制限されます。CKRSITE モジュールおよびインストール・オプションについて詳しくは、「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

重大度: 00

CKR0031 無制限モードがアクティブになっています。ユーザー *userid* は特権 [SPECIAL] [AUDIT] [ROAUDIT] を持っています (**Unrestricted mode active; user *userid* has privilege [SPECIAL] [AUDIT] [ROAUDIT]**)

説明: 照会を実行しているユーザーが現在の (実行) システムでシステム全体の属性 SPECIAL、AUDIT、および ROAUDIT のうち 1 つ以上を持つため、この照会は無制限モードで実行されます。

これらの属性は、CKR.READALL リソースを検査する前にテストされます。

CKRSITE モジュールおよびインストール・オプションについて詳しくは、「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

重大度: 00

CKR0032 ファイル *ddname* が割り振られていません (**File *ddname* not allocated**)

説明: PRINT コマンドで要求されたファイル名の割り振りが検出されませんでした。JCL を確認してください。

重大度: 12

CKR0033 [*complex*] DB *db datasetname* で使用中のセグメントの数 *number* (256 バイト中)、空いているセグメントの数 *number* (*pp%* 使用)、索引での使用 *pp%*。([*complex*] DB *db datasetname* has *number* segments (of 256 byte) in use, *number* segments free (*pp%* used) Index uses *pp%*.)Unusedspace。readmethod を使用。(Using readmethod.) Statistics

説明: このメッセージは、RACF データ・セットの内容について報告しています。各セグメントは 256 バイトです。空きスペースがデータベースの終わりにあるか (使用されない)、データベースを通してフラグメント化されている可能性があります。すべてのスペースがフラグメント化されている場合、Unusedspace には「空きスペースが完全にフラグメント化されています (**Free space completely fragmented**)」というテキストが示されます。それ以外の場合は、「*pp%* 以上のスペースが未使用 (**Space beyond *pp%* never used**)」が示されます。データ・セットは索引を使用せずに読み取られるため、readmethod は、BDAMQSAM、multitrack ECKD EXCP、または full-track EXCP になります。いずれかの EXCP メソッドが使用された場合は、次のフォーマットで 3 番目の行が表示されます。「*number* IO 中、合計 *number* から *number* ブロックが読み取られました (Read *number* blocks from a total of *number* in *number* IOs)」。キャッシュ・ヒットは *pp%* でした (Cache hit was *pp%*)」。

重大度: 00

CKR0034 ID *id* のアクションが要求されましたが、オカレンスが検出されませんでした (**Action for id *id* requested, but no occurrences were found**)

説明: 移動する許可または通知が存在しないため、示されたユーザーまたはグループの REMOVE または MOVE コマンドの結果、何のコマンドも生成されませんでした。タイプ入力エラーまたはデータベースの一部を除外する SELECT ステートメントがないかどうかを確認してください。

重大度: 00

CKR0035 場所 *ddname* レコード *nnnnn*、オリジナル DB seq *i* RBA *hexnum* 対象複合システム *complex* (at *ddname* record *nnnnn*, originally DB seq *i* RBA *hexnum* for *complex* *complex*)

説明: このメッセージは、前のエラー・メッセージが発生した TYPE=UNLOAD ファイル内の場所を示しています。

重大度: 00

CKR0036 場所 *ddname* ブロック *nnnn* セグメント・オフセット *i* DB seq *j* RBA
hexnum 対象複合システム *complex* (at *ddname* block *nnnn* segment offset *i* DB seq *j* RBA *hexnum* for complex *complex*)

説明: このメッセージは、前のエラー・メッセージが発生した TYPE=RACF ファイル内の場所を示しています。

重大度: 00

CKR0037 DD 名 *ddname* ソース=*source*
DSN=*dsname* 状況=ERR の割り振りに失敗しました (Allocation failed for DDNAME *ddname* source=*source* DSN=*dsname* status=ERR)

説明: 要求されたデータ・セットが ACF2 によって ERR とマークされていたため、アクティブ ACF2 (バックアップ) データ・セットの動的割り振りの試行時に、割り振りが失敗したことがプログラムによって検出されました。これは暗黙的に、データ・セットが存在しないため、ACF2 自体がデータ・セットを割り振ることができなかったことを示しています。*ddname* は、割り振りが失敗したデータ・セットのタイプを示しています。

重大度: 16

CKR0038 警告: 複合システム *complex* の RACF 範囲テーブルが不明で、SUPPRESS ICHRRNG が暗黙指定されています (Warning: RACF Range Table for complex *complex* unknown, SUPPRESS ICHRRNG implied)

説明: このメッセージは、セキュリティ複合システム *complex* の正しい CKFREEZE ファイルが欠落していたか、このファイルに必要な範囲テーブルが含まれていなかったことを示しています。プログラムは、すべてのプロファイルが正しい RACF データ・セット内にあるものとして処理します。

重大度: 00

CKR0039 *product* は *cc.c* CPU 秒、[*u,uuu +uu.uuu KB* [*+uuuu MB*],] を使用し、実時間で *ss* 秒を費やしました (*product* used *cc.c* CPU seconds, [*u,uuu +uu.uuu KB* [*+uuuu MB*],] and took *ss* wall clock seconds)
[REGIONX によって] 要求された領域は *rr,rrr[+rr,rrrr] KB*、[*source* によって] 付与された領域は *g,ggg+gg,gggg KB* + *gggg MB* です (Region requested [by REGIONX] *rr,rrr[+rr,rrrr] KB*, granted *g,ggg+gg,gggg KB* + *gggg MB* [by *source*])
ステップで使用された最大量は、*uu,uuu+uu,uuu KB* + *uuuu MB* です (Max used in job step *uu,uuu+uu,uuu KB* + *uuuu MB*)
[エラー・トラップ・カウントは *number* です] ([Error trap count is *number*])

説明: このメッセージは、リソースの使用量と、この実行の経過時間を示します。実行が失敗で終了した場合は、ストレージ部分が省略されます。TSO ユーザーの場合は、zSecure 出力画面を対話式で表示している間に、TSO で他の ISPF 論理画面上で実行された処理が CPU 秒に含まれます。CKR4Z (31 ビット) の CARLa エンジンで実行した場合は、最初の行に高いメモリー使用率が表示されないことに注意してください。

メッセージの 2 行目には、ユーザーが要求した領域と、インストールによってジョブ・ステップに権限付与された領域がリストされます。要求された領域サイズが JCL JOB ステートメントの REGIONX キーワードによって指定された場合、「by REGIONX」標識と、16MB 境界より下と 16MB 境界より上の要求された領域サイズも出力されます。領域サイズは *below* + *above* + *high* でフォーマットされます。

below

これは、16 MB 境界よりも下の領域です (キロバイト単位)。

above

これは、16 MB 境界よりも上で 2GB 境界よりも下の領域です (キロバイト単位)。

high

これは、2 GB 境界よりも上の領域です (メガバイト単位)。

source

これは、2 GB 境界よりも上のアドレス・スペース・メモリー制限 (MEMLIMIT) のソースです。

メッセージの 3 行目には、ジョブ・ステップ中に使用された実際の最大値が示されます。これには、ジョブ・ステップで実行された他のタスクがすべて含まれます。つまり、TSO ユーザーの場合は、TSO および ISPF ストレージと、ログオン以降に ISPF 論理画面で実行されたその他のタスクがすべて含まれます。

エラーがトラップされた場合、4 行目には、「エラー・トラップ・カウントは *number* です (**Error trap count is *number***)」が示されます。

重大度: 00

CKR0040 **RACF 標識が設定されていますが、*volser datasetname* の個別プロファイルが見つかりませんでした (**RACF indicator set but no discrete profile found for *volser datasetname***)**

説明: このメッセージは、VERIFY INDICATED コマンドが原因で発行されます。

このエラー状態を解決するため、ADDSO NOSET に続いてプロファイルの DELDSO で構成されるコマンド・シーケンスが生成されます。

重大度: 04

CKR0041 **個別プロファイルが見つっていますが、RACF 標識が設定されていません *volser datasetname* (**Discrete profile found but RACF indicator not set *volser datasetname***)**

説明: このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。エラー状態を解決するために、DELDSD NOSET コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0042 **個別プロファイルは存在しますが、ボリューム上にデータ・セットがありません (**Discrete profile present but no dataset on volume**) *volser datasetname***

説明: このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。エラー状態を解決するために、DELDSD NOSET コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0043 **個別プロファイルは存在しますが、ボリュームがマウントされていません (**Discrete profile present but volume not mounted**) *volser datasetname***

説明: このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。エラー状態を解決するために、DELDSD NOSET コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0044 **PROGRAM *dsn/vol* は廃止されています (**PROGRAM *dsn/vol* obsolete**) *complex program - volser dsname Reason***

説明: このメッセージは、VERIFY PROGRAM 関数によって発行されます。この理由は、複合システム内のいずれかのシステムで、示されたデータ・セットが、示されたボリューム上に存在しないためです。システムごとに、以下の詳細説明のいずれかを示す *Reason* 行が続きます。

- *syst volser* システム上にボリュームがマウントされていません (**Volume is not mounted on system *syst volser***)
- *syst volser* システム上で VTOC を読み取ることができません (**VTOC is not readable on system *syst volser***)
- データ・セットは、*syst volser dsname* のボリューム上に存在しません (**Data set does not exist on volume of *syst volser dsname***)
- データ・セットは *syst volser dsname* のボリューム上で区分されていません (**Data set is not partitioned on volume of *syst volser dsname***)

複合システムに CKRCMD ファイルが割り振られている場合は、廃止されたメンバーをプロファイルから削除するために、RALTER DELMEM コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0045 **廃止された許可 *identity* 不明なプログラム *program - volser datasetprofile* (**Obsolete permit *identity* unknown program *program - volser datasetprofile***)**

説明: このメッセージは、RACF が基本プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の

VERIFY PADS コマンド が原因で発行されます。プログラムが条件付きアクセス・リスト上で定義されていますが、一致するプログラム・プロファイルが存在しません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0046 *event* 許可 *identity* が非 **VSAM** のアクセス・リストにあります (*event permit identity in access list of non-VSAM*)
volser datasetname

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、PERMIT DELETE VOL() コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0047 **PROGRAM dsn/vol** は予備であり、ボリュームなしの **dsn** によって扱われます (**PROGRAM dsn/vol redundant, covered by dsn w/o vol**) *complex program - volser dsname*

説明: このメッセージは、VERIFY PROGRAM 関数によって発行されます。この理由は、示されたボリューム固有の PROGRAM プロファイル・メンバーが、ボリューム指定のない PROGRAM プロファイル・メンバーによって扱われる (したがって予備になる) ためです。複合システムに CKRCMD ファイルが割り振られている場合は、廃止されたメンバーをプロファイルから削除するために、コメント化された RALTER DELMEM コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0048 *event* 許可 *identity* がアクセス・リストの **VSAM** プロファイルにあります (*event permit identity in access list VSAM profil volser datasetname*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、PERMIT DELETE VOL() コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0049 重複する範囲が **ICHRRNG** 複合システム *complex* キー *key* にあります (**Duplicate range in ICHRRNG complex complex key key**)

説明: このメッセージは、RACF 範囲テーブルが同じ範囲内で 2 回検出されたことを示しています。プログラムは最初の定義を使用し、後続の定義は無視します。

重大度: 08

CKR0050 *event* 許可 *identity* がアクセス・リストの総称 **DATASET datasetname** にあります (*event permit identity in access list generic DATASET datasetname*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、PERMIT GENERIC DELETE コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0051 日付値 "*value*" の 2 桁の年があいまいです (**Date value "*value*" 2-digit year is ambiguous**)

説明: この抑止可能メッセージは、2 桁の年が検出されたことを示します。デフォルトでは、2000 年問題関連の混乱を避けるため、これは許可されていません。これが後方互換性に関する問題の場合は、このメッセージを抑止することができます。この場合、2 桁の年はすべて 20 世紀の年として解釈されます (これらには接頭部 19 が付き、後方互換があります)。カットオフされる日付や期間は *newlist type* と *fieldname* に依存し、後方互換性がないため、使用されません。

重大度: 12

CKR0052 *event* 許可 *identity* がアクセス・リストのモデル **DATASET datasetname** にあります (*event permit identity in access list model DATASET datasetname*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が

Copy または **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、PERMIT DELETE コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0053 *ddname* の行 *number* にあるフィールド *field* の値 "*value*" の 2 桁の年があいまいです (**Field field value "value" 2-digit year ambiguous at ddname line number**)

説明: この抑止可能メッセージは、newlist type=RACF で 2 桁の年が検出されたことを示しています。デフォルトでは、2000 年問題関連の混乱を避けるため、これは許可されていません。これが後方互換性に関する問題の場合は、このメッセージを抑止することができます。この場合、2 桁の年はすべて 20 世紀の年として解釈されます (これらには接頭部 19 が付き、後方互換があります)。カットオフされる日付や期間は newlist type と fieldname に依存し、後方互換性がないため、使用されません。

重大度: 12

CKR0054 *event* 許可 *identity* 一般リソース・プロファイル *class* *progrname* (**event permit identity general resource profile class progrname**)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、PERMIT DELETE コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0055 *event* 所有者 *identity* 対象の非 **VSAM DATASET** プロファイル *volser* *datasetname* - *newowner* を作成してください (**event owner identity of non-VSAM DATASET profile volser datasetname - make newowner**)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Replace** になった場合に発行されます。このエラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() OWNER() コマンドが生成され

ます。新規所有者は *identity* と同一でない限り、プロファイルの HLQ になります。この場合は、DEFAULT OWNER= コマンドで指定された名前が付きます。選択された新規所有者はメッセージ内に表示されます。

重大度: 04

CKR0056 *event* 所有者 *identity* 対象の **VSAM DATASET** プロファイル *volser* *datasetname* - *newowner* を作成してください (**event owner identity of VSAM DATASET profile volser datasetname - make newowner**)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() OWNER() コマンドが生成されます。新規所有者は *identity* と同一でない限り、プロファイルの HLQ になります。この場合は、DEFAULT OWNER= コマンドで指定された名前が付きます。選択された新規所有者はメッセージ内に表示されます。

重大度: 04

CKR0057 *event* 所有者 *identity* 対象の総称 **DATASET** プロファイル *datasetname* - *newowner* を作成してください (**event owner identity of generic DATASET profile datasetname - make newowner**)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Replace** になる場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD GENERIC OWNER() コマンドが生成されます。新規所有者は *identity* と同一でない限り、プロファイルの HLQ になります。この場合は、DEFAULT OWNER= コマンドで指定された名前が付きます。選択された新規所有者はメッセージ内に表示されます。

重大度: 04

CKR0058 *event* 所有者 *identity* 対象のモデル **DATASET** プロファイル *datasetname* - *newowner* を作成してください (**event owner identity of model DATASET profile datasetname - make newowner**)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンド

が原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Replace** になる場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD OWNER() コマンドが生成されます。新規所有者は *identity* と同一でない限り、プロファイルの HLQ になります。この場合は、DEFAULT OWNER= コマンドで指定された名前が付きま。選択された新規所有者はメッセージ内に表示されます。

重大度: 04

CKR0059 *event* 所有者 *identity* 一般リソース・プロファイル *prognam*e - *newowner* を作成してください (*event owner identity general resource profile prognam*e - *make newowner*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Replace** になる場合に発行されます。エラー状態を解決するために、RALTER OWNER() コマンドが生成され、DEFAULT OWNER= で選択されたデフォルトの所有者が設定されます。選択された新規所有者はメッセージ内に表示されます。

重大度: 04

CKR0060 *event* 所有者 *identity* 対象のユーザー *userid* - *newowner* を作成してください (*event owner identity on user userid* - *make newowner*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTUSER OWNER() コマンドが生成され、DEFAULT OWNER= で選択されたデフォルトの所有者が新規所有者として設定されます。選択された新規所有者はメッセージ内に表示されます。

重大度: 04

CKR0061 *event* グループ *group* 上の所有者 *identity* - *newowner* を作成します (*event owner identity on group group* - *make newowner*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、

REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTGROUP OWNER() コマンドが生成され、選択されたデフォルトの所有者が新規所有者として設定されます。選択された新規所有者はメッセージ内に表示されます。

重大度: 04

CKR0062 *event* 所有者 *identity* 接続対象 *userid* 接続先 *group* (*event owner identity connect userid to group*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、CONNECT OWNER() コマンドが生成され、接続グループが新規所有者として設定されます。

重大度: 04

CKR0063 *event* 所有者 *identity* 一般リソース・プロファイル *class key* (*event owner identity general resource profile class key*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Replace** になる場合に発行されます。エラー状態を解決するために、RALTER OWNER() コマンドが生成され、選択されたデフォルトの所有者が設定されます。

重大度: 04

CKR0064 *event* 許可 *identity* 一般リソース・プロファイル *class key* (*event permit identity general resource profile class key*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、PERMIT DELETE コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0065 グループ *group* 上でユーザー ID *userid* が欠落しています (**Missing userid userid on group group**)

説明: このメッセージは、VERIFY CONNECT コマンドが原因で発行されます。これは、示されたユーザー ID が示された GROUP プロファイルの USERID 繰り返しグループにないか、このようなグループ・プロファイルが全くないことを示しています。また、このグループは汎用でないか、グループが汎用であっても、この接続に SPECIAL、OPERATIONS、または AUDITOR の接続属性があるか、USE 以外の接続権限があります。接続情報は RACF データベース内の 3 か所にあり、特定の部分が欠落していた場合は、これらの各場所にメッセージ CKR0065、CKR0066、または CKR0067 が発行されます。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度: 08

CKR0066 ユーザー *userid* 上でグループ *group* が欠落しています (**Missing group group on user userid**)

説明: このメッセージは、VERIFY CONNECT コマンドが原因で発行されます。これは、示されたグループが示された USER プロファイルの CONGRPNM 繰り返しグループにないか、このようなユーザー・プロファイルが全くないことを示しています。接続情報は RACF データベース内の 3 か所にあり、特定の部分が欠落していた場合は、これらの各場所にメッセージ CKR0065、CKR0066、または CKR0067 が発行されます。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度: 08

CKR0067 グループ *group* への接続 *userid* が欠落しています (**Missing connect userid to group group**)

説明: このメッセージは、VERIFY CONNECT コマンドが原因で発行されます。これは、示されたグループが示された USER プロファイルの CGGRPNM 繰り返しグループにないか、このようなユーザー・プロファイルが全くないことを示しています。接続情報は RACF データベース内の 3 か所にあり、特定の部分が欠落していた場合は、これらの各場所にメッセージ CKR0065、CKR0066、または CKR0067 が発行されます。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度: 08

CKR0068 *event ID - identity* が *number* 回参照されました (**event id - identity referenced number times**)

説明: このメッセージは、未定義または削除/コピーされた *identity* ごとに、VERIFY PERMIT コマンドまたは MOVE/REMOVE/COPY PERMIT/USER/GROUP/NOTIFY コマンドによって検出された誤った参照について要約したものです。

重大度: 00

CKR0069 *volser clustername* 上のクラスター宛てに指定されていない **ctlg** 項目がどのシステムにもありません (**No system has non-directed ctlg entry for cluster on volser clustername**)

説明: このメッセージは、ボリューム *volser* 上に少なくとも 1 つのコンポーネントを持つクラスター *clustername* がカタログに入れられ、ボリューム *volser* を共有するどのシステムでも、このクラスターにアクセスするには STEPCAT または JOBCAT DD ステートメントが必要であることを示しています。さらに、どのシステム上にも最初の修飾子に対する別名がありません。そうでない場合は、代わりにメッセージ CKR0294 が発行されます。

重大度: 04

CKR0070 コンポーネント名が **VTOC** で 2 回検出されました (**Component name found twice in VTOC**) - *volser datasetname*

説明: VTOC 内で同一フォーマットの 1 DSCB キーを 2 つ使用することはできません。このエラーが再発する場合は (最初に zSecure Collect を再実行してください)、VTOC 索引 (存在する場合) を使用してどちらのキーが使用中かを判別し、他方のキーの DSCB を別の名前 (データを保持したい場合) またはフォーマット 0 DSCB に変更することで、この状態を解決できる可能性があります。DSCB を変更する場合は、VTOC 索引を再作成する必要があります。

重大度: 08

CKR0071 コンポーネント名が **VTOC** ではなく **VVDS** で検出されました (**Component name found in VVDS but not in VTOC**) - *volser datasetname*

説明: zSecure Collect による VTOC の読み取りと VVDS の読み取りの間に、システムによってアクションが実行された結果、偶発的に発生する場合があります (VVDS を開くのにかなりの時間がかかります)。同じコ

ンポーネントでこのメッセージが再発する場合は (最初に zSecure Collect を再実行してください)、問題があります。VVDS で IDCAMS DIAGNOSE 関数を実行してください。DELETE CLUSTER コマンドまたは DELETE VVR コマンドが役立つ場合があります。

重大度: 08

CKR0072 クラスタ名の中のボリュームでもカタログが検出されませんでした (**Catalog not found on any volume for cluster name**) *datasetname*

説明: このメッセージは CKR0073 と共に発行され、VVDS が指しているカタログが CKFREEZE ファイルで検出されなかったことを示しています。このメッセージには、現在使用不可になっているカタログに入れられたクラスタ名がリストされます。通常の検索シーケンスによって使用可能な別のカタログにデータ・セットが入れられた場合は、問題にする必要はありません。

重大度: 04

CKR0073 どのシステムのどのボリュームでもカタログが検出されませんでした (**Catalog not found on any volume on any system**) *datasetname*

説明: このメッセージは、VVDS から示されたカタログへの参照が検出されたことを示すために発行されます。現在使用不可になっているカタログに入れられたクラスタ名は、個別の CKR0072 メッセージと CKR0169 メッセージによってリストされます。

重大度: 08

CKR0074 VVDS の個別プロファイルが存在します (DFP では使用されていません) (**Discrete profile for VVDS present (not used by DFP)**) *volser datasetname*

説明: DFP は、VVDS に対する操作について RACF に問い合わせません。代わりに、これを開くには、APF 許可が必要となります。このため、VVDS プロファイルは、VVDS のアクセス要件について *false* のピクチャーを提示します。純粋な RACF/DFP の組み合わせの場合は、データの誤解を避けるため、これを削除してください。ただし、ご使用の非 IBM ストレージ管理製品が DASDVOL クラスを正しく使用しており、VVDS データ・セット・プロファイルを使用していないことを検証してください。

重大度: 04

CKR0075 アクセス不能なデータ・セット (**RACF** 標識付き、プロファイルなし) *volser datasetname* (**Inaccessible data set (RACF indicated and no profile)**) *volser datasetname*)

説明: 示されたデータ・セットは存在しますが、どの (個別または総称) プロファイルでも保護されていません。このメッセージは、VERIFY PROTECTALL 機能によって発行されます。このデータ・セットは標識付き (このデータ・セットが個別プロファイルによって保護されることを RACF に通知する VTOC 内の DSCBIND ビットがオンになっている) ため、個別プロファイルが予期されます。インストール済み環境で、ユーザー・データ・セットにアクセスできるのがそのユーザー自身だけであり、そのため PERMIT も監査要件も登録する必要がない場合は、この状況を容認できることがあります。このエラー状態を解決するために、ADDSD NOSET コマンドが生成されます。ただし、VERIFY INDICATED も指定されていた場合は除きます。この場合、該当するコマンド・シーケンスと共に、メッセージ CKR0040 が既に発行されています (CKR0040 を参照)。プロファイルを追加するだけでは不十分な可能性があるので注意してください。この場合は、必要に応じてアクセス・リストを拡張するか、代わりに総称プロファイルを使用してください。

重大度: 04

CKR0076 無保護データ・セット (**RACF** 標識なし、非総称) *volser datasetname* (**Unprotected data set (not RACF indicated, no generic)**) *volser datasetname*)

説明: このメッセージは、NOPROTECTALL 環境または PROTECTALL(WARN) 環境での VERIFY PROTECTALL コマンドが原因で発行されます。コマンドが生成されません。

重大度: 08

CKR0077 総称プロファイルに一致するデータ・セットがありません (**Generic profile without matching data sets**) *datasetname*

説明: 示された総称プロファイルは、どのデータ・セットも保護していないと思われます。このメッセージは、VERIFY NOTEEMPTY 関数が原因で発行され、CKRCMD 内のプロファイル用に DELDSD GENERIC コマンドが付随します。プロファイルが有効な関数を実行していてもこのメッセージが発行される状況はいくつか考えられます。割り振りを禁止する場合、一時的にのみ存在するデータ・セットを保護する場合 (おそらく周

期的なバッチ実行中、あるいは TSO ユーザーによって定期的にデータ・セットが作成され、削除される)、VERIFY NOTEMPTY の実行で入力として最近の CKFREEZE データ・セットが使用されなかった場合などが考えられます。例えばバッチ・ジョブの実行中などに一時ファイルの存在を確認する場合は、空のプロファイル削除する前に、SMF レポートと JCL ライブラリー検索を使用することをお勧めします。検証後、CKRCMD の結果を実行する前に、エディターを使用して不要なコマンドを削除することができます。

重大度: 04

CKR0078 予備の 非 VSAM DATASET プロファイル (**Redundant non-VSAM DATASET profile**) *volser datasetname*

説明: このメッセージは、REMOVE REDUNDANT コマンドが原因で発行されます。生成されたコマンドは DELDSD VOL() です。

重大度: 04

CKR0079 予備の VSAM データ・セット・プロファイル (**Redundant VSAM data set profile**) *volser datasetname*

説明: このメッセージは、REMOVE REDUNDANT コマンドが原因で発行されます。生成されたコマンドは DELDSD VOL() です。

重大度: 04

CKR0080 予備の TAPE データ・セット・プロファイル (**Redundant TAPE data set profile**) *volser datasetname*

説明: このメッセージは、REMOVE REDUNDANT コマンドが原因で発行されます。生成されたコマンドは DELDSD VOL() です。

重大度: 04

CKR0081 予備の MODEL データ・セット・プロファイル (**Redundant MODEL data set profile**) *datasetname*

説明: このメッセージは、REMOVE REDUNDANT コマンドが原因で発行されます。生成されたコマンドは DELDSD です。

重大度: 04

CKR0082 アクセス不能なデータ・セット (標識なし、非総称) (**Inaccessible dataset (not indicated and no generic)**) *volser datasetname*

説明: このメッセージは、PROTECTALL(FAIL) 環境での VERIFY PROTECTALL コマンドが原因で発行されます。コマンドが生成されません。

重大度: 04

CKR0083 予備の総称データ・セット・プロファイル (**Redundant generic data set profile**) *datasetname*

説明: このメッセージは、REMOVE REDUNDANT コマンドが原因で発行されます。生成されたコマンドは DELDSD です。

重大度: 04

CKR0084 コンポーネント名が VVDS ではなく VTOC で検出されました (**Component name found in VTOC but not in VVDS - volser datasetname**)

説明: zSecure Collect による VTOC の読み取りと VVDS の読み取りの間に、システムによってアクションが実行された結果、偶発的に発生する場合があります (VVDS を開くのにかなりの時間がかかります)。最初に、IBM zSecure Collect を再実行してください。同じコンポーネントでこのメッセージが再発する場合は、問題があります。VVDS で IDCAMS 関数を実行してください。

重大度: 08

CKR0085 ボリューム *volser datasetname* 上の 1 つのカatalogで重複するクラスター項目が検出されました (**Duplicate cluster entry found in 1 catalog on volume volser datasetname**)

説明: このメッセージは、構成入力ファイル CKFREEZE にボリューム *volser* 上のカatalogのカatalog・ダンプが含まれ、同じクラスター項目 *datasetname* が 2 回出現することを示しています。これは、同じカatalogのダンプが含まれた 2 つの CKFREEZE ファイルを連結すると起こる可能性があります。

重大度: 08

CKR0086 *volser datasetname* 上でカタログに入れられたクラスターに対する所有権セルが検出されませんでした (**Ownership cell not found for cluster cataloged on *volser datasetname***)

説明: このメッセージは、構成入力ファイル CKFREEZE にボリューム *volser* 上のカタログのカタログ・ダンプと、クラスター項目 *datasetname* が含まれているが、そのクラスター項目の所有権セルが検出されなかったことを示しています。CKFREEZE ファイルのレコード長が、カタログ・レコードに対して十分かどうかを確認してください。

重大度: 08

CKR0087 詳細メッセージの数 (**Number of detail messages is**) *nnn*

説明: このメッセージは、続けて発行される詳細メッセージの総数を要約したものです。

重大度: 00

CKR0088 ID ベースの抑止または制限要求 - 抑止された詳細メッセージの数 *nnn* (**ID based suppress or limit request(s) - *nnn* detail message(s) suppressed**)

説明: このメッセージは、SUPPRESS ID= コマンドと LIMIT ID= コマンドによって抑止されたメッセージの数を要約したものです。なお、これら 2 つのコマンドは、VERIFY コマンドと REMOVE コマンドによって実行される処理ではなく (この場合は、適用可能であれば SELECT QUAL= を使用します)、発行されるメッセージの数を制限するに過ぎません。

重大度: 00

CKR0089 接続されたどのカタログ (*volser datasetname* 上のコンポーネント) にもクラスターがありません (**Cluster not in any connected catalog, component on *volser datasetname***)

説明: 示されたクラスター (*datasetname*) が MVS 制御ブロックまたは VVDS から参照されましたが、どのシステム上のマスター・カタログに接続されたどのカタログにも、このクラスターが含まれていませんでした。このボリュームを共有しているシステムの CKFREEZE ファイルを含めていなかったか、ご使用のシステムのいずれかのマスター・カタログが、先に古いカタログとの同期を行わずに切り替えられた可能性があります。このクラスターへは、通常はアクセスできなくなります。

重大度: 08

CKR0090 *volser* の抑止要求 - 抑止された詳細メッセージの数 *nnn* (***volser* suppress request - *nnn* detail message(s) suppressed**)

説明: このメッセージは、ボリュームごとの SUPPRESS VOL= コマンドの結果を要約したものです。

重大度: 00

CKR0091 *volser* のメッセージ限度を超えました - 抑止された詳細メッセージの数 *nnn* (***volser* message limit exceeded - *nnn* detail message(s) suppressed**)

説明: このメッセージは、ボリュームごとの LIMIT MSG= コマンドの結果を要約したものです。

重大度: 08

CKR0092 *volser* には *complex* [*version*] 内にプロファイルのない RACF 標識付きデータ・セットが *nnn* 個あります (***volser* has *nnn* RACF indicated data set(s) without profile in *complex* [*version*]**)

説明: このメッセージは、ボリュームごとの VERIFY INDICATED コマンドの結果を要約したものです。

重大度: 00

CKR0093 *volser* には *complex* [*version*] 内に非 RACF 標識付きデータ・セットの個別プロファイルが *nnn* 個あります (***volser* has *nnn* discrete profile(s) for non-RACF indicated data sets in *complex* [*version*]**)

説明: このメッセージ (および CKR0094 と CKR0095) は、ボリュームごとの VERIFY ONVOLUME コマンドの結果を要約したものです。

重大度: 00

CKR0094 *volser* には *complex* [*version*] 内のボリューム上にデータ・セットがない個別プロファイルが *nnn* 個あります (***volser* has *nnn* discrete profile(s) without data set on the volume in *complex* [*version*]**)

説明: このメッセージ (および CKR0093 と CKR0095) は、ボリュームごとの VERIFY ONVOLUME コマンドの結果を要約したものです。

重大度: 00

CKR0095 *volser* には個別プロファイルが *nnn* 個ありますが、*complex [version]* 内のボリュームがマウントされていません (*volser has nnn discrete profile(s) but volume not mounted in complex [version]*)

説明: このメッセージ (および CKR0093 と CKR0094) は、ボリュームごとの VERIFY ONVOLUME コマンドの結果を要約したものです。

重大度: 00

CKR0096 *volser* には *complex [version]* 内に *nnn* 個のアクセス不能データ・セットがあります (**RACF** 標識付き、プロファイルなし) (*volser has nnn inaccessible data set(s) (RACF indicated, no profile) in complex [version]*)

説明: このメッセージ (および CKR0097 と CKR0098) は、ボリュームごとの VERIFY PROTECTALL コマンドの結果を要約したものです。

重大度: 00

CKR0097 *volser* には *complex [version]* 内に *nnn* 個のアクセス不能データ・セットがあります (標識なし、プロファイルなし) (*volser has nnn inaccessible data set(s) (not indicated, no profile) in complex [version]*)

説明: このメッセージ (および CKR0096 と CKR0098) は、PROTECTALL(FAIL) 環境にあるボリュームごとの VERIFY PROTECTALL コマンドの結果を要約したものです。

重大度: 00

CKR0098 *volser* には *complex [version]* 内に *nnn* 個の無保護データ・セットがあります (標識なし、プロファイルなし) (*volser has nnn unprotected data set(s) (not indicated, no profile) in complex [version]*)

説明: このメッセージ (および CKR0097 と CKR0098) は、NOPROTECTALL 環境または PROTECTALL(WARN) 環境にあるボリュームごとの VERIFY PROTECTALL コマンドの結果を要約したものです。

重大度: 00

CKR0099 カタログ *catalog name* に対して抑止されたメッセージの数 *nnn* (*nnn messages suppressed for catalog catalog name*)

説明: このコマンドは、SUPPRESS CAT= コマンドまたは LIMIT MSG= コマンドの結果を要約したものです。

重大度: 00

メッセージ 100 から 199

CKR0100 ID=*name* の要求が重複しています
(Duplicate request for ID=*name*)

説明: 1 つの ID に対し、両立しない特定の要求が複数出されました。重複を削除し、競合する要求ごとに個別実行を使用してください。

重大度: 12

CKR0101 REPORT PERMIT/SCOPE=*id* が重複しています (Duplicate REPORT PERMIT/SCOPE=*id*)

説明: 示されたコマンド内で 1 つの ID が 2 回出現しています。重複を削除してください。

重大度: 12

CKR0102 パラメーター
OUTOFGROUP、NONDEFAULT、および (NON)REDUNDANT は同時に使用できません (The parameters OUTOFGROUP, NONDEFAULT and (NON)REDUNDANT are mutually exclusive)

説明: これらの REPORT オプションごとに、個別実行を使用してください。

重大度: 12

CKR0103 処理対象のフィールド "*fldname*" がどのテンプレートでも検出されませんでした (Field "*fldname*" to be processed not found in any template)

説明: LIST、SORTLIST、DISPLAY、または (D)SUMMARY コマンドで要求したフィールドは、NEWLIST TYPE=RACF 組み込みフィールドではなく、またどのタイプのエンティティのテンプレートでも検出されませんでした。zSecure CARLa コマンド・リファレンスの『CARLa コマンド言語』に関する章でスペルを確認してください。

重大度: 12

CKR0103 処理対象のフィールド "*fldname*" が不明です (Field "*fldname*" to be processed unknown)

説明: LIST、SORTLIST、DISPLAY、または (D)SUMMARY コマンドで要求したフィールドは、組み込みフィールドではありません。zSecure CARLa コマンド・リファレンスの『CARLa コマンド言語』に関する

る章でスペルを確認してください。

重大度: 12

CKR0104 SCAN または FIELDVALUE と共に FIELD を指定する必要があります (FIELD must be specified with either SCAN or FIELDVALUE)

説明: 選択基準として使用するフィールドと、正確なまたはサブストリングのスキャン値の両方を指定する必要があります。

重大度: 12

CKR0105 ボリューム "*volser*" が複数回指定されています (Volume "*volser*" specified more than once)

説明: 同じ関数に対して同じボリュームが複数回指定されました。おそらく、エディターの繰り返しコマンドを使用し、それを別のボリュームに変更する意図だったと思われます。

重大度: 12

CKR0106 カタログ "*catname*" が複数回指定されています (Catalog "*catname*" specified more than once)

説明: 同じ関数に対して同じカタログが複数回指定されました。おそらく、エディターの繰り返しコマンドを使用し、それを別の名前に変更する意図だったと思われます。

重大度: 12

CKR0107 パラメーター PROFILE、MASK/FILTER、MATCH、および BESTMATCH は同時に使用できません (The parameters PROFILE, MASK/FILTER, MATCH and BESTMATCH are mutually exclusive)

説明: SELECT または EXCLUDE コマンドで指定できる、プロファイル・キーに基づく選択オプションは 1 つのみです。

重大度: 12

CKR0108 左マージンが右マージンを超えることはできません (場所 *ddname* の行 *number*) (Left margin cannot exceed right margin at *ddname* line *number*)

説明: MARGINS(*x,y*) コマンドでは、*x* (左マージン) が *y* (右マージン) を超えることはできません。この問題が発生した *dataset* と行 *number* は、可能であれば指定されます。

重大度: 12

CKR0109 **PAGEBY=** の前に **BY=** が必要です (**BY= must precede PAGEBY=**)

説明: PAGEBY 値は BY リストの最初に指定する必要があります、BY リストは PAGEBY オプションの前に指定する必要があります。

重大度: 12

CKR0110 **PAGEBY** と **BY** の組み合わせはプロファイルごとのページを暗黙指定しています (**PAGEBY and BY combination implies page per profile**)

説明: 指定または暗黙指定された BY と PAGEBY パラメーターの組み合わせでは、プロファイルごとに改ページが行われます。これはおそらく本来の意図ではないと思われます。

重大度: 12

CKR0111 **DB=1** はマスター・データベースなので、*ddname* の行 *number* の *token* の前に含める必要があります (**DB=1 must be included because it is the master database before token at ddname line number**)

説明: マスター・データベースには使用される RACF オプションが含まれているため、選択するデータベースに必ず含める必要があります。

重大度: 12

CKR0112 *ddname* の行 *number* の *token* の前の DB 番号は、1 から 64 までの範囲のみがサポートされます (**DB numbers only supported in range 1.64 before token at ddname line number**)

説明: シーケンス番号による選択で利用できるのは、シーケンス番号 1 から 64 のみです。これより大きなシーケンス番号を使用するには、CKRACFnn ファイルを事前割り振りする必要があります。

重大度: 12

CKR0113 **LIST** コマンドの後に少なくとも 1 つのパラメーターを指定するか、**NEWLIST** を **LIKELIST** ターゲットにする必要があります (**LIST commands must be followed by at least one parameter or NEWLIST must be a LIKELIST target**)

説明: LIST コマンドは、オペランドなしでは指定できません。これを行うと、選択された各プロファイルまたは各レコードの行が空になってしまうためです。このルールの例外となるは、LIST コマンドが含まれる NEWLIST が LIKELIST のターゲットとなる場合です。この場合はおそらく、NEWLIST によって OUTLIM がゼロに設定されます。

重大度: 12

CKR0114 フィールド *field* の値選択は *ddname* の行 *number* ではサポートされません (**Value selection for field *field* not supported at *ddname* line number**)

説明: 指定されたフィールドには、内部コーディングされたフィールド値があります。このタイプはサポートされておらず、使用できるのは出力の場合のみです。

重大度: 12

CKR0115 *option* が有効となるのは **USER/PERMIT=** の後のみです (*option* only valid behind **USER/PERMIT=**)

説明: 示されたオプションが有効となるのは、COPY、MOVE、REMOVE のオプション **USER=** または **PERMIT=** の後のみです。おそらく、パラメーターの順序を変更するだけで済みます。

重大度: 12

CKR0116 *option* が有効となるのは **USER/GROUP=** の後のみです (*option* only valid behind **USER/GROUP=**)

説明: 示されたオプションが有効となるのは、COPY、MOVE、REMOVE のオプション **USER=** または **GROUP=** の後のみです。おそらく、パラメーターの順序を変更するだけで済みます。

重大度: 12

CKR0117 *option* が有効となるのは **(RE)MOVE TOGROUP=** の後のみです (*option* only valid behind **(RE)MOVE TOGROUP=**)

説明: 示されたオプションが有効となるのは、MOVE または REMOVE のオプション **TOGROUP=** の後のみ

CKR0118 • CKR0126

です。おそらく、パラメーターの順序を変更するだけで済みます。

重大度: 12

CKR0118 *option* が有効となるのは
USER/GROUP/NOTIFY/PERMIT= の後
のみです (*option only valid behind*
USER/GROUP/NOTIFY/PERMIT=)

説明: 示されたオプションが有効となるのは、
COPY、MOVE、REMOVE のオプション **USER=** また
は **GROUP=** の後のみです。おそらく、パラメーターの
順序を変更するだけで済みます。

重大度: 12

CKR0119 *option* が有効となるのは **USER=** の後の
みです (*option only valid behind*
USER=)

説明: 示されたオプションが有効となるのは、
COPY、MOVE、REMOVE のオプション **USER=** の
後のみです。おそらく、パラメーターの順序を変更する
だけで済みます。

重大度: 12

CKR0120 *option* を **COPY** と共に使用するのは無効
です (*option not valid with COPY*)

説明: 示されたオプションが有効となるのは **MOVE** また
は **REMOVE** コマンドの後のみであり、**COPY** の後
では無効となります。

重大度: 12

CKR0121 **NEWLIST** の後の印刷オプションは
(**(SORT)LIST**) の前に指定する必要があります
(**Print options behind NEWLIST**
must be specified before the
(SORT)LIST)

説明: **NEWLIST** コマンドの有効範囲内では、印刷オプ
ションと選択オプションは

LIST、**SORTLIST**、**DISPLAY**、または (**D**)**SUMMARY**
コマンドの前に指定する必要があります。コマンドの順
序を変更して、ジョブを再実行してください。

重大度: 12

CKR0122 **NEWLIST** の後の選択は (**(SORT)LIST** また
は (**D**)**SUMMARY** の前に指定する必
要があります (**Selection behind**
NEWLIST must be specified before
the (SORT)LIST or (D)SUMMARY)

説明: **NEWLIST** コマンドの有効範囲内では、印刷オプ
ションと選択オプションは

LIST、**SORTLIST**、**DISPLAY**、または (**D**)**SUMMARY**
コマンドの前に指定する必要があります。コマンドの順
序を変更して、ジョブを再実行してください。

重大度: 12

CKR0124 フィールド *field* 値 "*value*" は *ddname* の
行 *number* では無効です。
DDMMYYYY、**YYYY-MM-DD**、**YYYY/**
DDD、**TODAY**、**DUMPDATE**、オプシ
ョンの接尾部 "**-nn**" を使用してください
(**Field field value "value" invalid at**
ddname line number Use DDMMYYYY,
YYYY-MM-DD, YYYY/DDDD, TODAY,
DUMPDATE, optionally suffixed)

説明: 日付が予期されていますが、フォーマットが認識
されません。このプログラムでは、ISO フォーマットの
日付 (例: 01OCT1999)、ユリウス日付 (例: 1999/274)、
および 2 つのキーワード **TODAY** と **DUMPDATE** が
サポートされています。これらのキーワードに接尾部
-xx を付けると、**xx** 日前の日付 (例: **TODAY-7**) を指定
できます。さらに、値 **NEVER** を指定して、日付なし
を指定することもできます。

注: すべての日付フィールドが **DUMPDATE** をサポー
トするわけではありません。例えば、証明書フィールド
CERTSTRT および **CERTEND** では指定できません。

重大度: 12

CKR0125 抑止するメッセージ番号を **0..1999** の範囲
で指定してください (**Message number**
to be suppressed must be in range
0..1999) - mnnn)

説明: このメッセージは、メッセージ番号の検証が失敗
したことを示しています。接頭部 **CKR** なしの 10 進数
を 1 つ入力するか、またはこのような複数の数値をコ
ンマで区切り、括弧で囲んでリストとして指定してくだ
さい。

重大度: 12

CKR0126 *type "value"* の前にある日付値が無効です
(場所 *ddname* の行 *number*) (**Invalid**
date value before type "value" at
ddname line number)

説明: このメッセージは、入力で示された場所より前に
検出された日付の値が正しくないことを示します。この
原因としては、無効な月の名前、年の形式、日番号、無
効なセパレーターなどが考えられます。有効な日付フォ

ーマットについては、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」で日付フィールドのパラメーターに関する説明を参照してください。

重大度: 12

CKR0127 アクセス値 **ALTER-*x*** は *type "value"* の前では予期されていません (場所 *ddname* の行 *number*) (**The access value ALTER-*x* was not expected before type "value" at ddname line number**)

説明: このメッセージは、プログラムが前のトークンを、示されたアクセス値 ALTER-O、ALTER-Q、または ALTER-S と解釈したが、この値はこのコンテキストでは適用されないということを示しています。

重大度: 12

CKR0128 *type "value"* ではなく関係演算子または **"(" が予期されています (場所 *ddname* の行 *number*) (Expecting relational operator or "(" instead of type "value" at ddname line number)**

説明: このメッセージは、プログラムが前のトークンをフィールド名と解釈したため、フィールド値をテストする式の残り部分を予期していることを示しています。おそらく、示されたストリングの直前のキーワードの入力ミスと思われます。

重大度: 12

CKR0129 値リストが有効となるのは **"="** または **"<>"** と共に使用した場合のみです - *ddname* の行 *number* の delimiter **"value"** の前 (**Value list only valid with "=" or "<>" - before delimiter "value" at ddname line number**)

説明: このメッセージは、「より小」または「より大」を含む関係演算子と共に値リストを指定したことを示しています。これらの関係演算子は、単一値を指定する場合のみ使用し、値リストと一緒に使用しないでください。

重大度: 12

CKR0130 *ddname volume dsn* の **OPEN** が失敗しました (**OPEN failed for ddname volume dsn**)

説明: 詳しくは、CKR0002 および CKR0010 を参照してください。

重大度: 16

CKR0131 ファイルが空です (**File empty**) - *ddname volume dsn*

説明: 詳しくは、CKR0002 および CKR0010 を参照してください。

重大度: 16

CKR0132 構成の読み取り対象システム *name* **iplvol** *volume* 読み取り元 *pads file volume dsn* 実行対象 OS *version* **activeproducts** 作成したプログラム *programe* ジョブ *jobname* 日時 *dd mmm yyyy hh:mm:ss:cc* (*runtype*) (**Reading configuration for system name iplvol volume from pads file volume dsn running OS version activeproducts created by program programe job jobname at dd mmm yyyy hh:mm:ss:cc (runtype)**)

説明: このメッセージは、MVS システムの CKFREEZE ファイルが作成された時期、場所、方法、および作成が実行されたオペレーティング・システムとそのバージョンを示しています。 *activeproducts* にリストされる可能性のある製品は、 *DFP version JES2 version ESM version TSO version HSM version* です。ここで、*ESM*は **RACF**、**ACF2**、**TSS** のいずれか、*DFP*は **DFP** または **DFSMS** になります。 *DFSMS* の場合は、バージョン番号の後にアクティブ・コンポーネントがリストされる場合があります (例: *DFSMS 2.10.0 hsm rmm*)。使用される可能性のある *runtype* は **APF** または **non-APF** です。 *non-APF* の場合は、CKFREEZE に情報が含まれません。このメッセージに *pads* を示すテキスト **PADS** が含まれている場合は、データ・セットへのアクセスがこのプログラムによる条件付きアクセス権限によって許可されたことを意味します。この場合、プログラムの機能はユーザーの有効範囲までに制限されます。

重大度: 00

CKR0132 構成の読み取り対象システム *name* 読み取り元 *pads file volume dsn* 作成したプログラム *programe* ジョブ *jobname* 場所 *ddmmmyyyy hh:mm:ss.fffff* (**Reading configuration for system name from pads file volume dsn created by programe job jobname at ddmmmyyyy hh:mm:ss.fffff**)

説明: このメッセージは、VM システムの CKFREEZE ファイルが作成された時期、場所、方法を示しています。このメッセージに *pads* を示すテキスト **PADS** が含まれている場合は、データ・セットへのアクセスがこ

のプログラムによる条件付きアクセス権限によって許可されたことを意味します。この場合、プログラムの機能はユーザーの有効範囲までに制限されます。

重大度: 00

CKR0133 **VERIFY PERMIT** および
COPY/MOVE/REMOVE は同時に使用できません (**VERIFY PERMIT and COPY/MOVE/REMOVE are mutually exclusive**)

説明: VERIFY PERMIT コマンドと COPY/MOVE/REMOVE コマンドの両方を指定することはできません (両方のコマンドは内部で同じメソッドを使用するため)。

重大度: 12

CKR0134 デフォルトのシステム・ビューポイント *name1* が検出されませんでした。代わりに *name2* を使用します。

説明: このメッセージは、DEFAULT SYSTEM=*name1* コマンドが指定されたが、プログラムによって読み取られた CKFREEZE ファイル内にシステム *name1* がないことを示しています。代わりに *name2* を使用して、操作が続行されます。

重大度: 04

CKR0135 ファイル *ddname* 上の *system* の後にあるシステム *sysid* データの連結は無効です。システムごとに個別の **CKRCKFnn** ファイルを使用してください (**Concatenation of system *sysid* data behind system on file *ddname* invalid, use separate CKRCKFnn file for each system**)

説明: このメッセージは、1 つの入力ファイル内に 2 つの連結された CKFREEZE データ・セットが検出されたことを示しています。これはサポートされません。個別の DD 名または複数の ALLOC TYPE=CKFREEZE コマンドを使用してください。このメッセージは、複数の zSecure Collect ジョブが同じデータ・セットに書き込まれた場合にも発行される可能性があります。

重大度: 16

CKR0136 **VSAM** プロファイル上の間接 **volser** は複数のシステムではサポートされません (**Indirect volser on VSAM profile not supported for multiple systems**) - *datasetname*

説明: このメッセージは、間接 ('*****') を持つ個別 VSAM データ・セット・プロファイルがデータベースに含まれていることを示しています。このプログラムでは、複数のシステムを使用する場合はこれがサポートされません。間接 **volser** は、プロファイルが (別々のシステムにある) 複数のデータ・セットを同時に扱う場合があることを暗黙的に指定します。

重大度: 08

CKR0137 フィールド *name* 値はアクセス権限でも権限でもありません - "*value*" (場所 *ddname* の行 *number*) (**Field name value is not an access or authority - "*value*" at *ddname* line number**)

説明: このメッセージは、プログラムが NONE、READ、EXECUTE、UPDATE、ALTER、USE、CREATE、CONNECT、JOIN のいずれかを予期していることを示しています。

重大度: 12

CKR0138 監査アクセス権限は **ALTER、CONTROL、UPDATE、READ、NONE** のいずれかでなければなりません - "*value*" (場所 *ddname* の行 *number*) (**Audit access must be ALTER, CONTROL, UPDATE, READ, or NONE - "*value*" at *ddname* line number**)

説明: このメッセージは、フィールドに指定された値が、プログラムで予期されたフィールド・タイプと一致しなかったことを示します。

重大度: 12

CKR0139 監査イベントは **ALL、SUCCESS、FAILURE、NONE** のいずれかでなければなりません - "*value*" 場所 *ddname* の行 *number* (**Audit event must be ALL, SUCCESS, FAILURE, or NONE - "*value*" at *ddname* line number**)

説明: このメッセージは、フィールドに指定された値が、プログラムで予期されたフィールド・タイプと一致しなかったことを示します。

重大度: 12

CKR0140 外部グループを参照しているプロファイルの数は *number* です (*complex version*)
(**Number of profiles referring outside group is *number* for *complex version***)

説明: このメッセージは、REPORT OUTOFGROUP コマンドによってリストされたプロファイルの数を要約したものです。

重大度: 00

CKR0141 検出されたデフォルト以外のプロファイルの数は *number* です (*complex version*)
(**Number of non-default profiles found is *number* for *complex version***)

説明: このメッセージは、REPORT NONDEFAULT コマンドによってリストされたプロファイルの数を要約したものです。

重大度: 00

CKR0142 テストされた *xxxx* 個のプロファイルのうち予備の数は *yyyy* (*pp%*) です (*complex version*) (**Of the *xxxx* profiles tested *yyyy* are redundant (*pp%*) for *complex version***)

説明: このメッセージは、REPORT NONREDUNDANT または REPORT REDUNDANT コマンドによって予備と見なされたプロファイルの数を示しています。さらに、予備のテストが行われたプロファイルの総数とこの数が比較されます。

重大度: 00

CKR0143 選択された有効範囲内のプロファイルおよび修飾子の数は *number* です (*complex version*) (**Number of profiles and qualifiers in selected scope is *number* for *complex version***)

説明: このメッセージは、REPORT SCOPE= または REPORT PERMIT= コマンドによってリストされたプロファイルおよび修飾子の数を要約したものです。

重大度: 00

CKR0144 MOD が有効となるのは TYPE=CKRCMD/OUTPUT と共に使用した場合のみです - *ddname* の行 *number* (**MOD only valid with TYPE=CKRCMD/OUTPUT - at *ddname* line *number***)

説明: CKRCMD または OUTPUT 以外の TYPE を持つ ALLOC ステートメント上で MOD が指定されました。これはサポートされません。MOD を ALLOC ステートメントから削除してください。

重大度: 12

CKR0145 MOD を VOL/UNIT/MEMBER/FILEDESC/PATH/GETPROC と同時に使用することはできません - *ddname* の行 *number* (**MOD mutually exclusive with VOL/UNIT/MEMBER/FILEDESC/PATH/GETPROC - at *ddname* line *number***)

説明: ALLOC MOD パラメーターは、上記のどのパラメーターとも組み合わせることができません。MOD を削除するか、サポートされないパラメーターを除外してください。

重大度: 12

CKR0146 FILEDESC と VOL/UNIT および OUTPUT または CKRCMD 以外の TYPE は同時に使用できません - 場所 *ddname* の行 *number* (**FILEDESC mutually exclusive with VOL/UNIT and TYPE other than OUTPUT or CKRCMD - at *ddname* line *number***)

説明: FILEDESC を指定できるのは、ALLOC TYPE=OUTPUT または TYPE=CKRCMD 上のみです。また、VOL および UNIT とともに使用できません。

重大度: 12

CKR0147 PATH/GETPROC を VOL/UNIT と同時に使用することはできません - *ddname* の行 *number* (**PATH/GETPROC mutually exclusive with VOL/UNIT - at *ddname* line *number***)

説明: UNIX パス名を指定する場合は、ボリューム通し番号も装置名も指定できません。

重大度: 12

CKR0148 *event stuser identity* 一般リソース・プロファイル **STARTED profile (*event stuser identity* general resource profile STARTED profile)**

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が Undefined になり、REMOVE PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が Remove

になった場合に発行されます。つまり、未定義の *identity* が、示された *STARTED profile* の *STDATA* セグメントの *STUSER* フィールドにあることを意味します。この状態を解決するため、このフィールドをプロファイルから削除するための *RALT* コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0149 *event stgrp identity* 一般リソース・プロファイル **STARTED profile (event stgrp identity general resource profile STARTED profile)**

説明: このメッセージは、*VERIFY PERMIT* コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、*REMOVE PERMIT/GROUP* コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。つまり、未定義の *identity* が、示された *STARTED profile* の *STDATA* セグメントの *STGROUP* フィールドにあることを意味します。この状態を解決するため、このフィールドをプロファイルから削除するための *RALT* コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0150 **STARTED** プロファイル *profile* が呼び出したユーザー *id* はグループ *group* に接続されていません - "*user*"が使用されます (**STARTED profile profile revoked user id not connected to group group - "*user*" is used.**)

説明: このメッセージは、*VERIFY STC* コマンドによって作成されます。これは、*STARTED* クラスの示された *profile* に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、*STDATA* セグメント内の *STUSER* フィールドで指定されたユーザー *id* が *STGROUP* フィールドで指定された *group* に接続されていない問題です。このため、未定義のユーザー ID *user* が使用されます。さらに、ユーザー *id* が取り消されるため、最初の問題が解決した後でも、開始タスクが低い権限で実行されてしまい、(CKR0575 に示すような) 操作性の問題が発生する可能性があります。このメッセージはプロファイル・レベルのエラーを示しますが、望ましい解決策が不明なため、コマンドは生成されません。

重大度: 08

CKR0151 **STARTED** プロファイル *profile* が呼び出したユーザー *id* はグループ *group* に接続されていません - "*user*"が *procedure volume dataset* に使用されます (**STARTED profile profile revoked user id not connected to group group - "*user*" is used for procedure volume dataset**)

説明: このメッセージは、*VERIFY STC* コマンドによって作成されます。これは、*STARTED* クラスの示された *profile* に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、*STDATA* セグメント内の *STUSER* フィールドで指定されたユーザー *id* が *STGROUP* フィールドで指定された *group* に接続されていない問題です。このため、未定義のユーザー ID *user* が使用されます。さらに、ユーザー *id* が取り消されるため、最初の問題が解決した後でも、開始タスクが低い権限で実行されてしまい、(CKR0575 に示すような) 操作性の問題が発生する可能性があります。 *profile* の最初の修飾子が総称であり、ユーザー *id* または *group* が **=MEMBER** として指定されているため、*procedure* として評価されています。そのため、主となる問題はプロファイル・レベルの状態に関するものではなく、コマンドは生成されません。

重大度: 08

CKR0152 **STUSER** が **STARTED** プロファイル *profile* で指定されていません - **ICHRIN03** が使用されます - ユーザー ID *id* は **STGROUP** となっています - *newgroup* に変更されました (**No STUSER specified on STARTED profile profile - ICHRIN03 is used - and user id id as STGROUP - changed to newgroup**)

説明: このメッセージは、*VERIFY STC* コマンドによって作成されます。これは、*STARTED* クラスの示された *profile* に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、*STDATA* セグメント内の *STUSER* フィールドが含まれていない問題です。もう 1 つは、*STGROUP* フィールドに有効なグループ ID ではなくユーザー名 *id* が含まれている問題です。最初の状態は重大であるため、示されたプロファイルは無視され、開始プロシージャ・テーブル **ICHRIN03** が代わりに使用されます。この状態は意図的なものである可能性があるため、この状態を解決するためのアクションは試行されません。2 番目の問題については、解決するためのコマンドが生成されます。 *newgroup* が **group(=MEMBER)** の場合は、プロファイルの最初の修飾子が有効なグループ ID になり、*STGROUP* フィー

ルドはそのメンバーの名前を使用するように設定されます。それ以外の場合は、*newgroup* が **NOGROUP** になり、**STGROUP** フィールドが **STDATA** セグメントから削除されます。したがって (後で指定されるユーザーの) デフォルト・グループが使用されることになります。2 番目の状態を解決した後の新規実行では、CKR0564 のみが返されるはずです。

重大度: 08

CKR0153 **STUSER** が **STARTED** プロファイル *profile* で指定されていません - **ICHRIN03** が使用されます - 未定義の **STGROUP** *id* - *newgroup* に変更された (No **STUSER** specified on **STARTED** profile *profile* - **ICHRIN03** is used - and undefined **STGROUP** *id* - changed to *newgroup*)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、**STARTED** クラスの示された *profile* に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、**STDATA** セグメント内の **STUSER** フィールドが含まれていない問題です。もう 1 つは、**STGROUP** フィールドに有効なグループ ID ではなく値 *id* が含まれている問題です。最初の状態は重大であるため、示されたプロファイルは無視され、開始プロシージャ・テーブル **ICHRIN03** が代わりに使用されます。この状態は意図的なものである可能性があるため、この状態を解決するためのアクションは試行されません。2 番目の問題については、解決するためのコマンドが生成されます。*newgroup* が **group(=MEMBER)** の場合は、プロファイルの最初の修飾子が有効なグループ ID になり、**STGROUP** フィールドはそのメンバーの名前を使用するように設定されます。それ以外の場合は、*newgroup* が **NOGROUP** になり、**STGROUP** フィールドが **STDATA** セグメントから削除されます。したがって (後で指定されるユーザーの) デフォルト・グループが使用されることになります。2 番目の状態を解決した後の新規実行では、CKR0564 のみが返されるはずで

重大度: 08

CKR0154 **STARTED** プロファイル *profile* に含まれているグループ ID *id* が **STUSER**、ユーザー ID *id2* が **STGROUP** になっています - "user" が使用されます - *action* の対象 *newuser newgroup note* (**STARTED** profile *profile* contains group id *id* as **STUSER** and user id *id2* as **STGROUP** - "user" is used - action to *newuser newgroup note*)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、**STARTED** クラスの示された *profile* に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、**STDATA** セグメント内の **STUSER** フィールドに有効なユーザー ID ではなくグループ名 *id* が含まれている問題です。もう 1 つは、**STGROUP** フィールドに有効なグループ ID ではなくユーザー名 *id2* が含まれている問題です。これらのエラーの結果として、プロファイルで指定されたユーザーとグループが無視され、未定義のユーザー ID *user* が代わりに使用されます。誤った指定を削除するためのコマンドが生成されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なユーザーまたはグループの場合は、それぞれ *newuser* または *newgroup* がメンバー名を使用する **=MEMBER** に設定されます。それ以外の場合は、それぞれフィールドが削除されることを示す **NOUSER** および **NOGROUP** に設定されます。*newuser* が **user(=MEMBER)** (したがって *newgroup* が **NOGROUP**) の場合は、ID が両方とも修正され、*action* が **correct** になりますが、*note* に「ただし、それでもユーザー ID が呼び出されます (**but userid still revoked**)」と示される可能性があります。つまり、開始タスクが低い権限で実行されてしまい、(CKR0575 に示すような) 操作性の問題が発生する可能性があります。*newuser* が **NOUSER** の場合は、*action* が **change** になり、*note* は示されません。提示された変更の後もプロファイルは明らかに使用できないため、**RACF** は開始プロシージャ・テーブル **ICHRIN03** でフォールバックし、後続の VERIFY STC でこのプロファイルに対して CKR0564 が発行されます。

重大度: 08

CKR0155 **STARTED** プロファイル *profile* に含まれているグループ ID *id* が **STUSER** で、さらに未定義の **STGROUP** *id2* が含まれています - "user" が使用されます - *action* の対象 *newuser newgroup note* (**STARTED** profile *profile* contains group id *id* as **STUSER** and undefined **STGROUP** *id2* - "user" is used - action to *newuser newgroup note*)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、**STARTED** クラスの示された *profile* に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、**STDATA** セグメント内の **STUSER** フィールドに有効なユーザー ID ではなくグループ名 *id* が含まれている問題です。もう 1 つは、**STGROUP** フィールドに有効なグループ ID ではなく値 *id2* が含まれている問題です。これらのエラーの結果として、プロファイルで指定されたユーザーとグループが無視され、未定義のユーザー ID *user* が代わりに使用されます。誤った

指定を削除するためのコマンドが生成されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なユーザーまたはグループの場合は、それぞれ *newuser* または *newgroup* がメンバー名を使用する **=MEMBER** に設定されます。それ以外の場合は、それぞれフィールドが削除されることを示す **NOUSER** および **NOGROUP** に設定されます。*newuser* が **user(=MEMBER)** (したがって *newgroup* が **NOGROUP**) の場合は、ID が両方とも修正され、*action* が **correct** になりますが、*note* に「ただし、それでもユーザー ID が呼び出されます (but userid still revoked)」と示される可能性があります。つまり、開始タスクが低い権限で実行されてしまい、(CKR0575 に示すような) 操作性の問題が発生する可能性があります。*newuser* が **NOUSER** の場合は、*action* が **change** になり、*note* は示されません。提示された変更の後もプロファイルは明らかに使用できないため、RACF は開始プロシージャー・テーブル ICHRIN03 でフォールバックし、後続の VERIFY STC でこのプロファイルに対して CKR0564 が発行されます。

重大度: 08

CKR0156 **STARTED** プロファイル *profile* に未定義の **STUSER** *id* があり、ユーザー ID *id2* が **STGROUP** になっています - "*user*" が使用されます - *action* の対象 *newuser newgroup note* (**STARTED profile profile has undefined STUSER id and user id id2 as STGROUP - "*user*" is used - action to newuser newgroup note**)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、STARTED クラスの示された *profile* に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、STDATA セグメント内の **STUSER** フィールドに有効なユーザー ID ではなく値 *id* が含まれている問題です。もう 1 つは、**STGROUP** フィールドに有効なグループ ID ではなくユーザー名 *id2* が含まれている問題です。これらのエラーの結果として、プロファイルで指定されたユーザーとグループが無視され、未定義のユーザー ID *user* が代わりに使用されます。誤った指定を削除するためのコマンドが生成されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なユーザーまたはグループの場合は、それぞれ *newuser* または *newgroup* がメンバー名を使用する **=MEMBER** に設定されます。それ以外の場合は、それぞれフィールドが削除されることを示す **NOUSER** および **NOGROUP** に設定されます。*newuser* が **user(=MEMBER)** (したがって *newgroup* が **NOGROUP**) の場合は、ID が両方とも修正され、*action* が **correct** になりますが、*note* に「ただし、それでもユーザー ID が呼び出されます (but userid still revoked)」と示される可能性があります。つまり、開始タスクが低い権限で実行されてしまい、(CKR0575 に示

すような) 操作性の問題が発生する可能性があります。*newuser* が **NOUSER** の場合は、*action* が **change** になり、*note* は示されません。提示された変更の後もプロファイルは明らかに使用できないため、RACF は開始プロシージャー・テーブル ICHRIN03 でフォールバックし、後続の VERIFY STC でこのプロファイルに対して CKR0564 が発行されます。

重大度: 08

CKR0157 **STARTED** プロファイル *profile* に未定義の **STUSER** *id* と未定義の **STGROUP** *id2* があります - "*user*" が使用されます - *action* の対象 *newuser newgroup note* (**STARTED profile profile has undefined STUSER id and undefined STGROUP id2 - "*user*" is used - action to newuser newgroup note**)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、STARTED クラスの示された *profile* に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、STDATA セグメント内の **STUSER** フィールドに有効なユーザー ID ではなく値 *id* が含まれている問題です。もう 1 つは、**STGROUP** フィールドに有効なグループ ID ではなく値 *id2* が含まれている問題です。これらのエラーの結果として、プロファイルで指定されたユーザーとグループが無視され、未定義のユーザー ID *user* が代わりに使用されます。誤った指定を削除するためのコマンドが生成されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なユーザーまたはグループの場合は、それぞれ *newuser* または *newgroup* がメンバー名を使用する **=MEMBER** に設定されます。それ以外の場合は、それぞれフィールドが削除されることを示す **NOUSER** および **NOGROUP** に設定されます。*newuser* が **user(=MEMBER)** (したがって *newgroup* が **NOGROUP**) の場合は、ID が両方とも修正され、*action* が **correct** になりますが、*note* に「ただし、それでもユーザー ID が呼び出されます (but userid still revoked)」と示される可能性があります。つまり、開始タスクが低い権限で実行されてしまい、(CKR0575 に示すような) 操作性の問題が発生する可能性があります。*newuser* が **NOUSER** の場合は、*action* が **change** になり、*note* は示されません。提示された変更の後もプロファイルは明らかに使用できないため、RACF は開始プロシージャー・テーブル ICHRIN03 でフォールバックし、後続の VERIFY STC でこのプロファイルに対して CKR0564 が発行されます。

重大度: 08

CKR0158 **STARTED** プロファイル *profile* にはユーザー ID である **STGROUP =MEMBER** があり、**STUSER id2** が取り消されます - "user" が *procname volume dsn* システム *system subsystem* に使用されます (**STARTED profile profile has STGROUP =MEMBER, which is a userid, and revoked STUSER id2 - "user" is used for procname volume dsn system system subsystem**)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、STARTED クラスの示された *profile* に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、STDATA セグメント内の STGROUP フィールドに **=MEMBER** が含まれているが、ボリューム *volume* 上の示されたデータ・セット *dsn* にある JCL を持つサブシステム *subsystem* の示されたプロシージャー *procname* が有効なグループ ID ではなく、ユーザー ID であるため、未定義のユーザー ID *user* が使用される問題です。もう 1 つは、STUSER フィールドで指定されたユーザー ID が取り消されるため、最初の問題が解決した後でも、開始タスクが低い権限で実行されてしまい、(CKR0575 に示すような) 操作性の問題が発生する可能性があります。*profile* の最初の修飾子は総称であるため、他のプロシージャーにも適用される場合があります。これにより、この状態を解決する方法を確定することはできず、コマンドは生成されません。

重大度: 08

CKR0159 **STARTED** プロファイル *profile* には未定義の **STGROUP =MEMBER** があり、**STUSER id2** が取り消されます - "user" が *procname volume dsn* システム *system subsystem* に使用されます (**STARTED profile profile has STGROUP =MEMBER, which is undefined, and revoked STUSER id2 - "user" is used for procname volume dsn system system subsystem**)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、STARTED クラスの示された *profile* に 2 つの個別の問題があることを示しています。1 つは、STDATA セグメント内の STGROUP フィールドに **=MEMBER** が含まれているが、ボリューム *volume* 上の示されたデータ・セット *dsn* にある JCL を持つサブシステム *subsystem* の示されたプロシージャー *procname* が有効なグループ ID ではなく、RACF に対して未定義であるため、未定義のユーザー ID *user* が使用される問題です。もう 1 つは、STUSER フィールドで指定されたユーザー ID が取り消されるため、最初

の問題が解決した後でも、開始タスクが低い権限で実行されてしまい、(CKR0575 に示すような) 操作性の問題が発生する可能性があります。*profile* の最初の修飾子は総称であるため、他のプロシージャーにも適用される場合があります。これにより、この状態を解決する方法を確定することはできず、コマンドは生成されません。

重大度: 08

CKR0160 サポートされない **RACF** データベースのブロック・サイズ *nnnnn* (**1024** または **4096** でなければなりません) 対象ファイル *ddname dsname* (**Unsupported RACF database blksize nnnnn (must be 1024 or 4096) on file ddname dsname**)

説明: 読み取り対象のデータベースのブロック・サイズはサポートされていません。この問題は、データベースを別のシステムに送信した際に、正しいブロック・サイズを明示的に要求せずにそのシステムでデータベースを受信した場合に起こる可能性があります。この場合、このシステムは別のブロック・サイズを選択します。

重大度: 16

CKR0161 セグメント名がテンプレート内にありません - *name* 対象エンティティ・タイプ *xx* (**Segment name not in templates - name for entity type xx**)

説明: 再構成データベース内のプロファイルの読み取り時に使用されたセグメント名が、示されたエンティティ・タイプのテンプレートで検出できませんでした。このメッセージの後に、詳しい分析に役立つプロファイルの正確なソース・ロケーションが示されます。

重大度: 16

CKR0162 *key* の基本セグメントでエンティティ・タイプが検出されませんでした (**Entity type not found in BASE segment of key**)

説明: 再構成データベースにあるプロファイルの基本セグメントのエンティティ・タイプが、プロファイル内の予期された場所で検出されませんでした。RACF コマンドを使用して通常はこのプロファイルを表示できる場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR0163 エンティティー・タイプ **user** が想定されます - *key* のセグメント *segname* (**Entity type user assumed - segment *segname* of *key***)

説明: このメッセージは、非基本セグメントが検出されたが、そのエンティティー・タイプを判別できなかったことを示しています。このメッセージが発行されるのは、DEBUG SEGMENT が発行された場合のみです。RACF 1.9 以上の場合、この問題が発生する可能性があるのは USER または GROUP プロファイルの DFP セグメントのみです。ほとんどの場合、これらは同じ (つまり アクセサー ID として) 扱われるため、これは実際には問題となりません。ただし、LIST を CLASS と共に要求すると、誤ってクラスが USER と示される可能性があります。

重大度: 00

CKR0164 セグメント名 *segname* がエンティティー・タイプ *xx* のセグメント・テーブル内にありません (**Segment name *segname* not in segment table for entity type *xx***)

説明: 再構成データベース内のプロファイル・セグメントの読み取り時に使用されたセグメント名が、示されたエンティティー・タイプのセグメント・テーブルで検出できませんでした。このメッセージの後に、詳しい分析に役立つプロファイルの正確なソース・ロケーションが示されます。

重大度: 16

CKR0165 エンティティー・タイプ *xx* のテンプレートが検索されませんでした (**Template not found for entity type *xx***)

説明: 再構成された RACF データベース内のプロファイルの読み取り時に、示されたエンティティー・タイプが使用されましたが、ICB には示されたエンティティー・タイプのテンプレート・ポインターが含まれていませんでした。このメッセージの後に、詳しい分析に役立つプロファイルの正確なソース・ロケーションが示されます。

重大度: 16

CKR0166 条件付きアクセス・リストが *class key* で不明なクラス "*class*" を参照しています (**Conditional access list refers to unknown class "*class*" in *class key***)

説明: 再構成された RACF データベース内の一般リソース・プロファイルに条件付きアクセス・リストが含ま

れていましたが、クラス記述子テーブルで検出されないクラスへの参照がこのリストに含まれています。このメッセージは、"*class*" あたり 1 回だけ示されます。

重大度: 08

CKR0167 条件付きアクセス・リスト内のグループ化リソースはサポートされていません (**Grouping resource in conditional access list not supported**) - *class key*

説明: 再構成データベース内の一般リソース・プロファイルに、グループ化 *class* への参照を持つ条件付きアクセス・リストが含まれていました。条件付きアクセス・リスト内で使用できるのは、非グループ化クラスのみです。

重大度: 16

CKR0168 *complex* 上の最大プロファイル長は *class key* に対して *nnnnn* バイトです (**Maximum profile length on *complex* is *nnnnn* bytes for *class key***)

説明: この情報メッセージは、示された複合システム上の RACF データベースで検出された最大プロファイル長を詳述するものです。この情報を利用すると、問題がどれだけ迫っているかを判断できます。非再構成データベースの場合、最大長は 64KB です。

重大度: 00

CKR0169 クラスター保護を決定できません (どのカタログまたは **VVDS** にもありません) *clustername* (**Cluster protection undecidable (not in any catalog or VVDS) *clustername***)

説明: VVDS またはカタログ情報が欠落しているため、示されたクラスターをレポート内で正しく表すことができません。このメッセージは、SUPPRESS VSAM_SHORTCUT を行うことで除去または削減できることがあります。

重大度: 08

CKR0170 制限モードでの選択は、制限付きフィールド *field* ではできません (場所 *ddname* の行 *number*) (**Selection in restricted mode is not allowed on restricted field *field* at *ddname* line *number***)

説明: プログラムが制限モードまたは PADS モードで稼働している場合は、示されたフィールドでの選択はできません。CKR0031 メッセージに示された理由によ

り、あるいは SIMULATE RESTRICT が指定されたため、プログラムは制限モードで実行中です。この状態は、構文エラー (重大度 12) と見なされます。ALLOWRESTRICT 修飾子によって、照会を実行する必要があることが明示されている場合は、示されたフィールドが欠落していると思なされることを知らせる警告 (重大度 4) としてこのメッセージが発行されます。このフィールドに適用される制限は、BUILTIN と RACF を使用してズームインした後、基本コマンド FIELD からの出力の「Restrictions」列で見ることができます。ただし、このコマンドも制限モードで発行されていることが条件です (これを実現するには、SETUP PREAMBLE で SIMULATE RESTRICT を使用します)。

注: 制限が OWNER または CKGOWNR を対象としており、制限付きフィールドが SELECT ステートメントで使用された場合は、メッセージ 458 ページの『CKR2463』が代わりに発行されます。

重大度: 04 または 12

CKR0171 クラスが記述子テーブルにありません。デフォルトのプロパティが想定されます
(Class not in descriptor table, default properties assumed) - class

説明: 示されたクラス (または、非 RDS データベースではそのクラスの 4 文字の接頭部) がデータベース内にありますが、クラス記述子テーブル内にはありません。このため、プログラムはこのクラスのプロパティを認識できず、このクラスを誤って使用する可能性があります。この問題は、例えば別のシステムから RACF データベースを処理する場合や、クラス記述子テーブルからクラスを削除する前に、そのクラスに含まれるプロファイルすべてを削除しなかった場合などに発生する可能性があります。このメッセージの後には、問題のクラスで最初に検出されたプロファイルが示されます。すべてのプロファイルを検索するには、SELECT CLASS= コマンドを使用します。

重大度: 08 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR0172 ICHCNX00 が返した修飾子は内部フォーマットでは "qual1" ですが、dsname の外部フォーマットでは "qual2" になります (ICHCNX00 returns qualifier "qual1" for internal but "qual2" for external format of dsname)

説明: インストール・システム出口で、データ・セット名の内部フォーマットと外部フォーマットについて異なる修飾子が返されましたが、このどちらもデータ・セット名の最初の修飾子と等しくありません。プログラムは

外部フォーマットを選択します。このメッセージは、コマンド SUPPRESS MSG=172 で抑制できます。

重大度: 16 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR0173 ICHCNX00 が返した修飾子は内部フォーマットでは "qual1" ですが、dsname の外部フォーマットでは "qual2" になります (ICHCNX00 returns qualifier "qual1" for internal but "qual2" for external format of dsname)

説明: インストール・システム出口で、データ・セット名の内部フォーマットと外部フォーマットについて異なる修飾子が返されました。プログラムは外部フォーマットを選択します。このメッセージは、DEBUG QUAL コマンドが発行された場合にのみ発行されます。

重大度: 00

CKR0174 BCS system volume dsn 内の UCAT 別名 alias に n>1 アソシエーションのサポートがありません (No support for n>1 associations in UCAT alias alias in BCS system volume dsn)

説明: このメッセージは、ユーザー・カタログの別名項目で予期しない条件が検出されたことを示しています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0175 BCS system volume dsn 内の usercat 別名 alias に、サポートされない数の修飾子が含まれています (Unsupported number of qualifiers in usercat alias alias in BCS system volume dsn)

説明: このメッセージは、カタログ内の別名項目に含まれる修飾子が 4 個を超えていることを示しています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0176 BCS レコード・クラスター *dsname* に予期しないボリューム・セル *volser* が含まれています (**Unexpected volume cell *volser* in BCS record cluster *dsname***)

説明: このメッセージは、ICF カタログ・レコードで予期しない条件が検出されたことを示しています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 04

CKR0177 カタログ情報が欠落しているため、**VERIFY NONEMPTY** が複合システム *complex* 上で実行されませんでした (**VERIFY NONEMPTY not performed on complex *complex* due to missing catalog information**)

説明: このメッセージは、VSAM データ・セットに関するカタログ情報が、示された複合システムの CKFREEZE ファイルから欠落していたことを示しています。この原因としては、これらのファイルが APF 許可なしに作成されたことが考えられます。

VERIFY NONEMPTY はこの情報の完全性に左右されるため、処理が拒否されます。

重大度: 08

CKR0178 システム *name* の CKFREEZE ファイルが **SIMULATE SHARED VOLUME= *volser*** コマンドにありません (**No CKFREEZE file for system *name* in SIMULATE SHARED VOLUME= *volser* command**)

説明: このメッセージは、使用したシステム名が CKFREEZE ファイル内で見つからなかったことを示します。おそらく、システム名の入力ミスか、CKFREEZE ファイルを割り振り忘れたものと思われます。

重大度: 12

CKR0179 システム *system* 上のボリューム *volume* に関する共有情報が矛盾しています (**Conflicting share information for volume *volume* on system *system***)

説明: SIMULATE コマンドが、指定されたシステム/ボリュームの組み合わせに関して矛盾しています。

重大度: 12

CKR0180 システム *name* の CKFREEZE ファイルが **SIMULATE (NON)SHARED SYSTEM=*name*** コマンドにありません (**No CKFREEZE file for system *name* in SIMULATE (NON)SHARED SYSTEM=*name* command**)

説明: このメッセージは、使用したシステム名が CKFREEZE ファイル内で見つからなかったことを示します。おそらく、システム名の入力ミスか、CKFREEZE ファイルを割り振り忘れたものと思われます。

重大度: 12

CKR0181 サブパラメーターが不明です (**Unknown subparameter**) - *parm*

説明: このメッセージは、指定されたパラメーターをプログラムが認識できない (少なくともこの場所にはない) ことを示しています。

重大度: 12

CKR0182 フィールド *name* のフラグ値は **GLOBAL、GENERAL、または SPECIFIC** でなければなりません - "*value*" (場所 *ddname* の行 *number*) (**Field *name* flag value must be GLOBAL, GENERAL or SPECIFIC - "*value*" at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、フィールド *name* に指定できる値が GLOBAL、GENERAL、SPECIFIC のみであることを示しています。

重大度: 12

CKR0183 シミュレーションはサポートされていません (**Simulation not supported**) - *parm*

説明: このメッセージは、指定されたパラメーターは認識されたが、シミュレーションにはサポートされないことを示しています。

重大度: 12

CKR0184 オプション **SHARED** と **NONSHARED** は矛盾します (**Conflicting options SHARED and NONSHARED**)

説明: このメッセージは、すべてのシステムにあるすべてのボリュームを、共有と非共有の両方として定義しようとしたことを示しています。

重大度: 12

CKR0185 **SIMULATE SHARE VOL=list** に、システム *system* がボリュームを共有する相手のシステム名を含めてください

(SIMULATE SHARE VOL=list should include the system names system system has to share the volume(s) with)

説明: このメッセージは、ボリュームに対してシステム・リストを指定する場合、そのボリュームを共有するシステムのリストを含める必要があることを示しています。システムを 1 つだけ指定しても、共有関係の定義には不十分です。そのボリュームをすべて のシステム間で共有したい場合は、SYSTEM パラメーターを完全に省く必要があります。

重大度: 12

CKR0186 システム *system* 上のボリューム *name* に関する **SHARE/NONSHARE** が矛盾しています **(Conflicting SHARE/NONSHARE for volume name on system system)**

説明: このメッセージは、システム *system* 内のボリューム *name* を、異なる SIMULATE コマンドで共有と非共有の両方として定義しようとしたことを示しています。

重大度: 12

CKR0187 フィールド *name* の値ストリング・タイプがサポートされていません - '*value*' 場所 *ddname* の行 *number* **(Field name value string type not supported - '*value*' at *ddname* line number)**

説明: 有効なストリング・タイプは、X (16 進数)、B (ビット (マスク))、C (文字ストリング (タイプの省略と同じ)) のみです。

重大度: 12

CKR0188 フィールド *name* の値が無効です - ビット・ストリングに含めることのできる値は 0、1、または . のみです - '*value*' (場所 *ddname* の行 *number*) **(Field name value invalid - bit string may only contain 0, 1, or . - '*value*' at *ddname* line number)**

説明: このメッセージは、タイプ B (ビット・マスク) のストリングに無効文字が含まれていることを示しています。ビットに対する完全一致突き合わせの場合は 0

または 1、意識しない場合はドット「.」を指定してください。

重大度: 12

CKR0189 フィールド *name* のフラグ値は **FORCE** または **NOFORCE** でなければなりません - '*value*' (場所 *ddname* の行 *number*) **(Field name flag value must be FORCE or NOFORCE - '*value*' at *ddname* line number)**

説明: このメッセージは、XRF SOFF フラグに指定された値が適切でないことを示しています。

重大度: 12

CKR0190 フィールド *name* の値が無効です - 最大ビット・ストリング長は 32 です (場所 *ddname* の行 *number*) **(Field name value invalid - maximum bit string length is 32 at *ddname* line number)**

説明: このメッセージは、2 進数で 32 桁を超えるビット・マスク入力ストリングを使用しようとしたことを示しています。これはサポートされません。

重大度: 12

CKR0191 フィールド *name* のフラグ値は 16 進数、2 進数、YES、NO、ON、OFF、ビット・マスクのいずれかでなければなりません '*value*' (場所 *ddname* の行 *number*) **(Field name flag value must be hex, binary, YES, NO, ON, OFF, or a bit mask '*value*' at *ddname* line number)**

説明: このメッセージは、フラグ・フィールドの値が認識されなかったことを示しています。

重大度: 12

CKR0192 **PAGELEN=nn** を 5 より大きい値にするか、ページ・セパレーターを抑止する場合は 0 にしてください **(PAGELEN=nn must be larger than 5, or 0 to suppress page separators)**

説明: このメッセージは、PAGELENGTH に指定した値が無効であることを示しています。ページ長には、すべてのページ・ヘッダーとタイトルが含まれます。これらは各ページに印刷されるため、最小ページ長は 5 (トピック・タイトル、タイトル、サブタイトル、空の行、列ヘッダー) になります。ヘッダーが不要な場合は、NOPAGE を指定します。NEWLIST/SORTLIST あた

りヘッダーを 1 つだけ使用したい場合は、
PAGELENGTH=0 を指定します。

重大度: 12

CKR0193 *activereason* 使用システム *name* **iplvol**
volume 稼働 **OS** *operating system* *release*
リリース *prod release* (**activereason using**
system *name* **iplvol** *volume* **running**
operating system *release* **with** *prod release*)

説明: このメッセージは、アクティブなシステム設定が使用されていることを示しています。 *activereason* にテキスト「**[F=BASE]** 構成ファイルがありません (**No [F=BASE] configuration file**)」が含まれている場合は、CKFREEZE ファイルがないことがこの理由です。 *activereason* に「アクティブ構成 (**Active configuration**)」と示される場合は、明示的な割り振り要求がこの理由です。通常は CKFREEZE ファイルから取得されるシステム制御ブロックに関する必須情報 (RACF データベースを処理する場合は RACF クラス記述子テーブルなど) は、現行システムから取得されます。このメッセージには、セキュリティー製品 *prod* (RACF、ACF2、または TSS) とそのリリース・レベルも示されます。

重大度: 00

CKR0194 カタログ *catname* にある *dsname* のコネクター項目にボリューム・セルがありません (**Volume cell missing from connector entry for dsname in catalog catname**)

説明: このメッセージは、ICF カタログ・レコードで予期しない条件が検出されたことを示しています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0195 **SIMULATE RESTRICT** はこのシステムでは使用できません (**SIMULATE RESTRICT not possible on this system**)

説明: このメッセージは、現在のユーザー ID が定義されていない RACF データベースでは、制限付き PADS モードをシミュレートできないことを示しています。

重大度: 12

CKR0196 *ddname* *volume* *dsn* への **PADS** アクセス中にはアンロードできません (**Unload not allowed during PADS access to ddname volume dsn**)

説明: このメッセージは、プログラムが制限モードまたは PADS モードで稼働しており、アンロード・ファイルを作成できないことを示しています。これを行うと、権限の有効範囲を超える情報を表示できてしまうためです。なお、「有効範囲内」のプロファイルでも、表示の「有効範囲内」でない情報が含まれています。これは、その情報へのアクセス権限が RACF 自体によって与えられていないためです。

重大度: 12

CKR0196 *ddname* *volume* *dsn* へのプログラム・パス指定アクセス中にはアンロードできません (**Unload not allowed during program pathing access to ddname volume dsn**)

説明: このメッセージは、プログラムが制限モードまたはプログラム・パス指定モードで稼働しており、アンロード・ファイルを作成できないことを示しています。これを行うと、権限の有効範囲を超える情報を表示できてしまうためです。なお、「有効範囲内」のレコードでも、表示の「有効範囲内」でない情報が含まれています。これは、その情報へのアクセス権限が ACF2 自体によって与えられていないためです。

重大度: 12

CKR0197 構成データ・セットへの **PADS** アクセスではアンロードできません (**Unload not allowed with PADS access to configuration dataset**)

説明: このメッセージは、プログラムが制限モードまたは PADS モードで稼働しており、アンロード・ファイルを作成できないことを示しています。CKFREEZE ファイルへの PADS アクセスの場合、これは厳密には必要とは限りませんが、正確にどの入力ファイルに PADS モードでアクセスしたかに関係なく、プログラムに設定される動作の制限モードは 1 つのみです。

重大度: 12

CKR0197 構成データ・セットへのプログラム・パス指定アクセスではアンロードできません (**Unload not allowed with program pathing access to configuration dataset**)

説明: このメッセージは、プログラムが制限モードまたはプログラム・パス指定モードで稼働しており、アンロ

ード・ファイルを作成できないことを示しています。
CKFREEZE ファイルへのプログラム・パス指定アクセスの場合、これは厳密には必要とは限りませんが、正確にどの入力ファイルにプログラム・パス指定モードでアクセスしたかに関係なく、プログラムに設定される動作の制限モードは 1 つのみです。

重大度: 12

CKR0198 制限モードではオプションを使用できません (**Option not allowed in restricted mode**) - *option*

説明: このメッセージは、プログラムが制限モードまたは PADS モードで稼働しており、示されたオプションまたはコマンドはアクセス制御決定に影響を与える可能性があるため使用できないことを示しています。

通常、このメッセージは重大度 12 で発行されます。
option が DEBUG other than RESTRICT PERFORM DICT

メッセージ 200 から 299

CKR0200 重複する **NONVSAM** プロファイル・ボリューム *volser* データ・セット *datasetname* があります (**Duplicate NONVSAM profile volume *volser* dataset *datasetname***)

説明: 2 つの同一のプロファイル・キーが同じボリュームで見つかりました。これは RACF データベース内の異常です。プログラムでは、最初のプロファイルだけが使用されます。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度: 20

CKR0201 重複する **TAPEDSN** プロファイル・ボリューム *volser* データ・セット *datasetname* があります (**Duplicate TAPEDSN profile volume *volser* dataset *datasetname***)

説明: 2 つの同一のプロファイル・キーが同じボリュームで見つかり、両方が **DSTYPE=TAPE** でした。これは RACF データベース内の異常です。プログラムでは、最初のプロファイルだけが使用されます。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度: 20

CKR0202 重複する **VSAM** プロファイル・ボリューム *volser* クラスタ *datasetname* があります (**Duplicate VSAM profile volume *volser* cluster *datasetname***)

CPIC ACTION OUNIT の場合、このメッセージの重大度はゼロになります。

重大度: 12 または 0

CKR0199 **REPORT [SCOPE|PERMIT]=idname** は使用できません。ID が複合システム *complex version* 上の有効範囲内にありません (**REPORT [SCOPE|PERMIT]=idname not allowed, id is not in your scope on complex *complex version***)

説明: このメッセージは、プログラムが制限モードまたは PADS モードで稼働しており、権限の有効範囲外と見なされるユーザーまたはグループについては有効範囲レポートおよび許可レポートを要求できないことを示します。

重大度: 12

説明: 2 つの同一のプロファイル・キーが同じボリュームで見つかり、両方が **DSTYPE=VSAM** でした。これは RACF データベース内の異常です。プログラムでは、最初のプロファイルだけが使用されます。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度: 20

CKR0203 重複する **MODEL** プロファイル *datasetname* があります (**Duplicate MODEL profile *datasetname***)

説明: 2 つの同一のプロファイル・キーが見つかり、両方が 1 つのモデル・データ・セットに対するものでした。これは RACF データベース内の異常です。プログラムでは、最初のプロファイルだけが使用されます。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度: 20

CKR0204 重複する総称データ・セット・プロファイル・ベース *datasetname* があります (**Duplicate generic dataset profile base *datasetname***)

説明: 2 つの同一のプロファイル・キーが見つかり、両方が 1 つの総称データ・セット・プロファイルに対するものでした。これは RACF データベース内の異常です。最初のプロファイルのみが使用され、この状態を除去するためのサポートは存在しません。

重大度: 20

CKR0205 *field* がプロファイル *datasetname* 内で見つかりませんでした。複合システム *complex version* (***field not found in profile datasetname complex complex version***)

説明: ここで、*field* は DSTYPE または MODELNAM となります。示されたデータ・セット・プロファイル内で、指定されたフィールドを検索中に、プロファイルの終わりに達したか、テンプレートにフィールドが含まれていませんでした。エラーが再発する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0206 重複する GLOBAL プロファイル *classname* があります。複合システム *complex version* (***Duplicate GLOBAL profile classname complex complex version***)

説明: 示されたクラスの 2 つの同一の GLOBAL プロファイルが見つかりました。これは RACF データベース内の異常です。最初のプロファイルのみが使用され、この状態を除去するためのサポートは存在しません。

重大度: 20

CKR0207 プロファイル *identity* 複合システム *complex version* のモデル名の長さ *length* が長すぎます (***Model name length length too long on profile identity complex complex version***)

説明: ユーザー・プロファイルまたはグループ・プロファイルのモデル・プロファイル名の長さが *length* 文字です。モデル・プロファイルの最大長は、44 文字から高位修飾子の接頭部 (ユーザー ID または グループ ID の後にドットが付いたもの) の長さを引いたものです。

プログラムはこの状態のサポートを提供しません。

重大度: 20

CKR0208 *field* が *type* プロファイル内で見つかりませんでした。複合システム *complex version* (***field not found in type profile.complex complex version***)

説明: ここで、*type* は DATASET または GENERAL となり、*field* は UNIVACS, UACC, FLAG1, AUDIT,

AUDITQS, AUDITQF, GAUDITQS, または GAUDITQF となります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0209 *identity* が USER および GROUP の両方として定義されています (***identity defined as both USER and GROUP***)

説明: 示された *identity* が、クラス USER およびクラス GROUP 内のプロファイルとして見つかりました。この状態を処理するためのサポートは存在しません。

重大度: 20

CKR0210 USER "*identity*" が二重に定義されています (***USER "identity" doubly defined***)

説明: 同一のキーを持つ 2 つのユーザー・プロファイルが検出されました。同じデータベースの 2 つのコピーを 1 回の実行で結合した可能性があります。

重大度: 20

CKR0211 GROUP "*identity*" が二重に定義されています (***GROUP "identity" doubly defined***)

説明: 同一のキーを持つ 2 つのグループ・プロファイルが検出されました。同じデータベースの 2 つのコピーを 1 回の実行で結合した可能性があります。

重大度: 20

CKR0212 数値またはフラグ・フィールド *fldname* が、プロファイル *key* でサポートされる長さ (4 バイト) を超えています (***Numeric or flag field fldname exceeds supported length (4 byte) for profile key***)

説明: このメッセージは、SELECT または EXCLUDE 処理中に、示されたフィールドのフィールド長が 4 バイトを超えているプロファイルが検出されたことを示します。プログラムは、すべての数値フィールドの長さが 4 バイト以下であると想定します。

重大度: 20

CKR0213 システム *name* のマスター・カタログが
欠落しています (**Missing master catalog
for system name**)

説明: このメッセージは、示されたシステムのマスター・カタログのカタログ・ダンプが CKFREEZE ファイルに含まれていなかったか、どのカタログがマスター・カタログであるかが明確でなかったことを示します。

重大度: 16

CKR0214 選択されたオプションには **CKFREEZE**
ファイルが必要です (**CKFREEZE file
required for selected options**)

説明: このメッセージは、CKFREEZE ファイルの存在を必要とするプログラム・ファンクションが要求されたことを示します。しかし、割り振られた CKFREEZE または CKRCKF0n ファイルが見つかりませんでした。

重大度: 12

CKR0215 マスクされたフィールド *field* にアクセス
するには、非 **PADS** 実行が必要です
(**Non-PADS run required to access
masked field field**)

説明: このメッセージは、プログラムが制限モードまたは PADS モードで作動しているため、データベース・テンプレート内で *masked* としてマークが付けられているフィールドへのアクセスを要求できないことを示します。

重大度: 12

CKR0216 *event* 許可 *identity* *whenclass*
whenprofile(1-15) *class* *key* (**event permit
identity whenclass whenprofile(1-15) class
key**)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。これは、*identity* が、一般リソース・プロファイルの条件付きアクセス・リスト内で見つかったことを示します。条件付き許可のキーの最初の 15 文字のみが表示されます。(RE)MOVE または VERIFY の場合は、条件付き許可を削除するための PERMIT DELETE WHEN(...()) コマンドが生成されます。COPY の場合は、条件付き許可を作成するための PERMIT WHEN(...()) コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0217 *field* にアクセスするには、監査権限が必
要です (**Audit authority required to
access field**)

説明: このメッセージは、プログラムが制限モードまたは PADS モードで作動しているため、AUDITOR またはグループ AUDITOR 属性を持つユーザーのために予約されているフィールドへのアクセスを要求できないことを示します。ALLOWRESTRICT 修飾子はこのメッセージの重大度を 4 まで低下させるため、プログラムは照会を終了できます。問題のフィールドはブランクとして表示されます。

重大度: 12 または 04

CKR0218 フィールド *field* (長さ *field-length*) は、タ
ーゲット行の長さ *line-length* より
number 文字だけ長くなります - *ddname*
の行 *number* (**Field field of length
field-length extends number chars
beyond target line length line-length -
ddname line number**)

説明: このメッセージは、最大長 *line-length* の出力行バッファに入れられるよりも多くのフィールドを要求したことを示します。示されたフィールド (長さ *field-length*) は、出力行の終了位置を *number* 文字超えます。要求されたフィールドは、自動的に切り捨てられます。

重大度: 12

CKR0219 **ICHCNX00** 出口異常終了 *sssuuu*。
SUPPRESS ICHCNX00 をアクティブ化
しています (**ICHCNX00 exit abend
sssuuu now activating SUPPRESS
ICHCNX00**)

説明: このメッセージは、現行システムの RACF 出口 ICHCNX00 の呼び出し中に異常終了状態がインターセプトされたことを示します。これは、出口が監視プログラム状態、キー・ゼロ操作、またはその他の許可された機能を要求する場合によく発生します。異常終了コードは、システム異常終了 *sss* (16 進数) またはユーザー異常終了 *uuu* (16 進数) でした。実行の残りの部分では、この出口への呼び出しは抑止されます。

重大度: 16

CKR0220 *fieldname location* の日付の長さはサポートされていません。複合システム *complex version* (**Unsupported date length for *fieldname location* complex *complex version***)

説明: このメッセージは、可変長日付フィールドをサポートされない長さでフォーマットしようとする発行されます。メッセージには、テンプレートからのフィールド名が示され、この状態が見つかったプロファイルがフォーマット **profile key** またはフォーマット **connect user to group** で示されます。

重大度: 20

CKR0221 警告: プログラム・プロファイルは存在しますが、プログラム制御がシステム *sys* でアクティブではありません。複合システム *complex version* (**Warning: program profiles present but program control not active in system *sys* complex *complex version***)

説明: このメッセージは、PROGRAM 保護に関連するレポートが要求されたことを示します。プロファイルはクラス PROGRAM 内で見つかりましたが、システム全体オプション SETROPTS WHEN(PROGRAM) が有効ではありません。これは、SIMU-LATE SETROPTS WHEN(PROGRAM) コマンドを組み込まない限り、プロファイルは RACF によって使用されないこと、および REPORT AC1 出力と REPORT PADS 出力に表示されないことを意味します。

重大度: 00

CKR0222 *event* グループ *name* の上位グループ *identity - name* を作成します (*event supgrp identity of group name - make name*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。上位グループ・フィールドは、ALG コマンドによって、示されたグループに変更されます。

重大度: 04

CKR0223 PRINT/NEWLIST 出力ファイルが無効です - *file* (**Invalid PRINT/NEWLIST output file - *file***)

説明: このメッセージは、示されたファイル名または DD 名が、NEWLIST または PRINT コマンドのターゲットとして無効であることを示します。指定できない予約済み DD 名は、CKRUNLIN、CKRUNLOU、STEPLIB、SYSABEND、SYSUDUMP、SYSMDUMP、CKRCARLA、CKRTSPRT、XMLIN、XMLOUT、CKRACF*、CKRSMF*、およびこれらのファイルを宛先変更したすべてのターゲットです。詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の OPTION コマンドの説明を参照してください。

重大度: 12

CKR0224 *nn* 個のプロファイルおよび *nn* 個のセグメントが読み取られ、*nn* 個のプロファイルおよび *nn* 個のセグメントが選択されました (*complex [version]*) (*nn%*) (*nn profiles and nn segments read, nn profiles and nn segments selected (nn%) for complex [version]*)

説明: このメッセージは、再構造化データ・セットでのみ発行され、プロファイル (基本セグメント) および非基本セグメントが読み取られた数および選択された数を示します。パーセンテージは、プロファイルと非基本セグメントの合計に基づきます。マージのみを使用する実行で選択される数は、ゼロになります。他の TYPE=RACF newlists、reports、または verify コマンドが使用された場合、選択されるプロファイル/セグメントの数はコマンドによって決定されます。

重大度: 00

CKR0225 DMS デフォルト設定がサポートされていません - 複合システム *complex* システム *system* 上の *ppppppppvv* (**DMS default setting not supported - *ppppppppvv* on complex *complex* system *system***)

説明: このメッセージは、DMS パラメーター *ppppppppvv* の示された設定 *v* がサポートされないことを示します。結果は予測不能になることがあります。これは、実際のパラメーター値が CKFREEZE ファイル内で欠落していた場合に、示されたパラメーター設定が (DMS 内のデフォルトであるため) プログラムによってデフォルトとして想定されたために発生することがあります。

重大度: 16

CKR0226 **sysid が無効です (4 文字以下である必要
があります) (Invalid sysid (must be
lower or equal to 4 characters))**

説明: このメッセージは、条件付きアクセス・リスト項目内で 4 文字を超えるシステム名が見つかったことを示します。これはサポートされません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR0227 **length は n..32767 の範囲内である必要が
あります (length must be in range
n..32767)**

説明: このメッセージは、指定されたページまたは行の長さ *length* が、許容範囲である 0..32767 (PL の場合) または 1..32767 (LL の場合) の間にないことを示します。出力のページ番号付けを禁止する場合は、PL=0 または NOPAGE を使用する必要があります。

重大度: 12

CKR0228 **修飾子 (SUB/TOP)TITLE は、
WRAP/MORE/HOR と組み合わせるこ
とはできません - フィールド *field*、*ddname*
の行 *number* (Modifiers
(SUB/TOP)TITLE cannot be combined
with WRAP/MORE/HOR - field *field* at
ddname line *number*)**

説明: このメッセージは、概要行の繰り返しフィールドの表示を変更する修飾子が指定されたが、これはページ・タイトルではサポートされないことを示します。

重大度: 12

CKR0229 **修飾子 (SUB/TOP) TITLE を同時に使用
することはできません - フィールド
field、*ddname* の行 *number* (Modifiers
(SUB/TOP) TITLE are mutually
exclusive - field *field* at *ddname* line
number)**

説明: フィールドは、タイトルまたはトップ・タイトルの一部である必要があります。しかし、フィールドを 2 回指定し、それぞれに修飾子の 1 つを付与することができます。

重大度: 12

CKR0230 **修飾子 PAGE は、PAGE のない変数フ
ィールドの後では許可されません - フィ
ールド *field*、*ddname* の行 *number*
(Modifier PAGE not allowed after
variable field without PAGE - field
field at *ddname* line *number*)**

説明: 値が変更されたときにページ境界を決定するフィールドは、ページ修飾子を持たないフィールドよりもソート階層内で上位にある必要があります。

重大度: 12

CKR0231 **(SUB/TOP)TITLE は、出力行でフィール
ドの前に出現する必要があります - フィ
ールド *field*、*ddname* の行 *number*
((SUB/TOP)TITLE must occur before
fields on output line - field *field* at
ddname line *number*)**

説明: ページ・タイトル内で報告されるフィールドは、(トップ) タイトル修飾子を持たないフィールドよりもソート階層内で上位にある必要があります。

重大度: 12

CKR0232 **KEY は、表示でキー以外のフィールドの
前に出現する必要があります - フィールド
field、*ddname* の行 *number* (KEY must
occur before any non-key fields on
display - field *field* at *ddname* line
number)**

説明: KEY 修飾子は、表示の左側にある連続する列のセット内でのみ使用できます。これは、水平にスクロールできない表示の部分を定義します。

重大度: 12

CKR0233 **修飾子 (SUB/TOP)TITLE は、長さ 0 で
は無効です - フィールド *field*、*ddname*
の行 *number* (Modifiers
(SUB/TOP)TITLE not valid with length
0 - field *field* at *ddname* line *number*)**

説明: ページ・タイトル内で報告されるフィールドは、固定長を持つ必要があります。

重大度: 12

CKR0234 ***option* 修飾子は LIST コマンドでは無効
です。ddname の行 *number* の token の前
で SORTLIST を使用してください
(option modifier invalid on LIST
command, use SORTLIST before *token*)**

at *ddname* line *number*)

説明: PAGE、SUBTITLE、TITLE、または TOPTITLE 修飾子を使用する場合は、SORTLIST を使用してください。

重大度: 12

CKR0235 非 VSAM DATASET プロファイル *volume datasetname* 上の通知 *identity* を *newnotify* に置き換えます (**Replace notify identity on VSAM DATASET profile *volume datasetname* - with *newnotify***)

説明: このメッセージは、(RE)MOVE NOTIFY/ PERMIT/USER, NEWNOTIFY= コマンドが原因で発行されます。応答として、通知フィールドを変更するための ALTDSD NOTIFY() コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0236 VSAM DATASET プロファイル *volume datasetname* 上の通知 *identity* を *newnotify* に置き換えます (**Replace notify identity on VSAM DATASET profile *volume datasetname* - with *newnotify***)

説明: このメッセージは、(RE)MOVE NOTIFY/ PERMIT/USER, NEWNOTIFY= コマンドが原因で発行されます。応答として、通知フィールドを変更するための ALTDSD NOTIFY() コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0237 総称 DATASET プロファイル *datasetname* 上の通知 *identity* を *newnotify* に置き換えます (**Replace notify identity on generic DATASET profile *datasetname* - with *newnotify***)

説明: このメッセージは、(RE)MOVE NOTIFY/ PERMIT/USER, NEWNOTIFY= コマンドが原因で発行されます。応答として、通知フィールドを変更するための ALTDSD NOTIFY() コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0238 モデル DATASET プロファイル *datasetname* の通知 *identity* を *newnotify* に置き換えます (**Replace notify identity of model DATASET profile *datasetname* - with *newnotify***)

説明: このメッセージは、(RE)MOVE NOTIFY/

PERMIT/USER, NEWNOTIFY= コマンドが原因で発行されます。応答として、通知フィールドを変更するための ALTDSD NOTIFY() コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0239 通知 *identity* を *id2* プロファイル *class key* に変更します (**Change notify identity to *id2* profile *class key***)

説明: このメッセージは、(RE)MOVE NOTIFY/ PERMIT/USER, NEWNOTIFY= コマンドが原因で、PROGRAM または GLOBAL プロファイルに対して発行されます。応答として、通知フィールドを変更するための RALTER NOTIFY() コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0240 BCS RACF 標識が設定されていますが、個別 VSAM プロファイルがありません *volser clustername* (**BCS RACF indicator set but no discrete VSAM profile *volser clustername***)

説明: このメッセージは、VERIFY INDICATED コマンドが原因で発行されます。

重大度: 04

CKR0241 個別 VSAM プロファイルがありますが、BCS RACF 標識が設定されていません *volser clustername* (**Discrete VSAM profile but BCS RACF indicator not set *volser clustername***)

説明: このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。示されたボリュームは、示されたクラスターの RACF 標識ビットがオフに設定された所有権セルを含んだカタログ (BCS) のボリュームです。エラー状態を解決するために、DELDSD NOSET コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0242 個別 VSAM プロファイルが存在しますが、クラスターが見つかりません *volser clustername* (**Discrete VSAM profile present but no cluster found *volser clustername***)

説明: このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。示されたボリュームは、クラスターを含まなかったカタログのボリュームです。エラー状態を解決するために、DELDSD NOSET コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0243 個別 **VSAM** プロファイルがあります
が、**BCS** ボリュームがマウントされてい
ません *volser clustername (Discrete
VSAM profile but BCS volume not
mounted volser clustername)*

説明: このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマ
ンドが原因で発行されます。プロファイルは、マウント
されていないボリュームを示しています。エラー状態を
解決するために、DELDSD NOSET コマンドが生成さ
れます。

重大度: 04

CKR0244 テープ **DATASET** プロファイル *volser
datasetname* 上の通知 *identity* を
newnotify に置き換えます (**Replace
notify identity on tape DATASET
profile volser datasetname - with
newnotify**)

説明: このメッセージは、(RE)MOVE NOTIFY/
PERMIT/USER, NEWNOTIFY= コマンドが原因で発行
されます。応答として、通知フィールドを変更するた
めの ALTDSD NOTIFY() コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0245 *event* テープ **DATASET** プロファイル
volser datasetname の修飾子 *identity* -
DELDSD を出力します (*event qualif
identity of tape DATASET profile volser
datasetname - output DELDSD*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンド
が原因で *event* が **Undefined** になり、
REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で
event が **Remove** になった場合に発行されます。これ
は、データ・セット・プロファイルの最初の修飾子が未
定義か、または削除されることを示します。状態を解決
するために、DELDSD VOL() コマンドが生成されま
す。SUPPRESS コマンドを使用すると、このメッセー
ジとアクションが抑止される場合があります。

重大度: 04

CKR0246 *event* 非 **VSAM DATASET** プロファイ
ル *volser datasetname* の修飾子 *identity* -
DELDSD を出力します (*event qualif
identity of non-VSAM DATASET
profile volser datasetname - output
DELDSD*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンド
が原因で *event* が **Undefined** になり、
REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で
event が **Remove** になった場合に発行されます。これ
は、データ・セット・プロファイルの最初の修飾子が未
定義か、または削除されることを示します。状態を解決
するために、DELDSD VOL() コマンドが生成されま
す。SUPPRESS コマンドを使用すると、このメッセー
ジとアクションが抑止される場合があります。

重大度: 04

CKR0247 *event* **VSAM DATASET** プロファイル
volser datasetname の修飾子 *identity* -
DELDSD を出力します (*event qualif
identity of VSAM DATASET profile
volser datasetname - output DELDSD*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンド
が原因で *event* が **Undefined** になり、
REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で
event が **Remove** になった場合に発行されます。これ
は、データ・セット・プロファイルの最初の修飾子が未
定義か、または削除されることを示します。状態を解決
するために、DELDSD VOL() コマンドが生成されま
す。SUPPRESS コマンドを使用すると、このメッセー
ジとアクションが抑止される場合があります。

重大度: 04

CKR0248 *event* 総称 **DATASET** プロファイル
datasetname の修飾子 *identity* - **DELDSD**
を出力します (*event qualif identity of
generic DATASET profile datasetname -
output DELDSD*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンド
が原因で *event* が **Undefined** になり、
REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で
event が **Remove** になった場合に発行されます。これ
は、データ・セット・プロファイルの最初の修飾子が未
定義か、または削除されることを示します。状態を解決
するために、DELDSD コマンドが生成されます。
SUPPRESS コマンドを使用すると、このメッセージと
アクションが抑止される場合があります。

重大度: 04

CKR0249 *event* モデル **DATASET** プロファイル
datasetname の修飾子 *identity* - **DELDSD**
を出力します (*event qualif identity of
model DATASET profile datasetname -
output DELDSD*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンド

が原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。これは、データ・セット・プロファイルの最初の修飾子が未定義か、または削除されることを示します。状態を解決するために、DELDSO コマンドが生成されます。SUPPRESS コマンドを使用すると、このメッセージとアクションが抑止される場合があります。

重大度: 04

CKR0250 マルチボリューム個別プロファイルがありますが、**RACF** 標識がありません *volser datasetname (Multivolume discrete profile but no RACF indicator volser datasetname)*

説明: このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD DELVOL コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0251 マルチボリューム個別プロファイルがありますが、データ・セットが見つかりません *volser datasetname (Multivolume discrete profile but dataset not found volser datasetname)*

説明: このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD DELVOL コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0252 マルチボリューム個別プロファイルがありますが、ボリュームがマウントされていません *volser datasetname (Multivolume discrete profile but volume not mounted volser datasetname)*

説明: このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD DELVOL コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0253 *volume clustername* に関するカタログがダンプされていないため、クラスター標識が不明です **(Cluster indicator unknown due to undumped catalog on volume clustername)**

説明: 示されたクラスターを VVDS に従ってカタログしたカタログが、カタログ・ダンプ内に存在しなかった

ため、プログラムは、クラスターが RACF 標識付きだったかどうかを判別できませんでした。

重大度: 08

CKR0254 GDG モデルが存在するため、個別プロファイルは使用されません *volser datasetname (Discrete profile not used because GDG model present volser datasetname)*

説明: このメッセージは、VERIFY ONVOLUME コマンドが原因で発行されます。これは、GDG 生成のための個別プロファイルが存在するが、その GDG ベース名のための非 VSAM またはモデルの個別プロファイルも同時に存在し、GDG モデル化がアクティブであることを示します。エラー状態を解決するために、DELDSO NOSET コマンドが生成されます。ただし、生成が GDG から既にロールオフしている場合、コマンドは拒否され、エラー・メッセージ "NOT FOUND IN CATALOG" が発行されることがあります。この場合、プロファイルは、コマンドを発行する前にシステム全体 MODEL(GDG) オプションを非アクティブにすることによってのみ削除できます。

重大度: 04

CKR0255 *event* 非 VSAM DATASET プロファイル *volser datasetname* 上の通知 *identity (event notify identity on non-VSAM DATASET profile volser datasetname)*

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() NONOTIFY コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0256 *event* VSAM DATASET プロファイル *volser datasetname* 上の通知 *identity (event notify identity on VSAM DATASET profile volser datasetname)*

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、

ALTDSD VOL() NONOTIFY コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0257 *event* 総称 **DATASET** プロファイル
datasetname 上の通知 *identity* (*event*
notify identity on generic DATASET
profile datasetname)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD NONOTIFY コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0258 *event* モデル **DATASET** プロファイル
datasetname の通知 *identity* (*event* **notify**
identity of model DATASET profile
datasetname)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD NONOTIFY コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0259 *event* 通知 *identity* 一般リソース・プロフ
 アイル *class name* (*event* **notify identity**
general resource profile class name)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、RALT NONOTIFY コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0260 *event* メンバー *identity* 一般リソース・プ
 ロファイル *class key* (*event* **member**
identity general resource profile class
key)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンド

が原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。このメッセージは、NODES リソース・クラスに関してのみ発行されます。この状態を解決するために、プロファイル全体を削除する RDEL コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0261 不明な *identity* 一般リソース・プロファ
 イル *class key* を持つキーです (**Key**
with unknown identity general resource
profile class key)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT または (RE)MOVE PERMIT/USER コマンドが原因で発行されます。このメッセージは、何らかの修飾子をユーザー ID またはグループにすることができるリソース・クラス (例えば、VMMDISK、VMBATCH、DLFDATA、JESJOBS、NODES、JESSPOOL、PROPCNTL、VMEVENT、VMXEVENT など) に対してのみ発行されます。状態を解決するために、プロファイルを削除するための RDEL コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0262 *event* ユーザー *identity* -
BPX.DEFAULT.USER 内の **OMVS** デフ
 オルト **UID** を定義します (*event* **user**
identity - defines OMVS default UID
in BPX.DEFAULT.USER)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除される *identity* が OMVS デフォルト UID を定義していること、およびエラー状態が解決されないことを意味します。このエラー状態は、デフォルト GID 指定が存在し、削除されない場合には、解決されません。保持されるべきデフォルト GID 指定がなかった場合には、指定を削除することによって状態が解決され、代わりに CKR0298 が発行されたはずです。

重大度: 08

CKR0263 *event* 通知 *identity* 一般リソース・プロフ
 アイル *class key* (*event* **notify identity**
general resource profile class key)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER

コマンドが原因で *event* が **Replace** になった場合に発行されます。状態を解決するために、通知フィールドを削除するための RALTER NONOTIFY コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0264 *event* 非 **VSAM DATASET** プロファイル *volser datasetname* 上の **R-ownr identity (event R-ownr identity on non-VSAM DATASET profile volser datasetname)**

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除されるはずの *identity* が、DFP セグメントの RESOWNER フィールドで見つかったことを意味します。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() NODFP コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0265 *event* **VSAM DATASET** プロファイル *volser datasetname* 上の **R-ownr identity (event R-ownr identity on VSAM DATASET profile volser datasetname)**

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除されるはずの *identity* が、DFP セグメントの RESOWNER フィールドで見つかったことを意味します。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() NODFP コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0266 *event* 総称 **DATASET** プロファイル *datasetname* 上の **R-ownr identity (event R-ownr identity on generic DATASET profile datasetname)**

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除されるはずの *identity* が、DFP セグメントの RESOWNER フィールドで見つかったことを意味します。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() NODFP コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0267 *event* モデル **DATASET** プロファイル *datasetname* の **R-ownr identity (event R-ownr identity of model DATASET profile datasetname)**

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除されるはずの *identity* が、DFP セグメントの RESOWNER フィールドで見つかったことを意味します。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() NODFP コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0268 *event* 許可 *identity whenclass whenprofile(1-15) class key (event permit identity whenclass whenprofile(1-15) class key)*

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。これは、*identity* が、一般リソース・プロファイルの条件付きアクセス・リスト内で見つかったことを示します。条件付き許可のキーの最初の 15 文字のみが表示されます。この状態を解決するために、PERMIT DELETE WHEN(...()) コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0269 *event* 許可 *identity SYSID smfid PROGRAM profile (event permit identity SYSID smfid PROGRAM profile)*

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。これは、*identity* が、PROGRAM プロファイルの条件付きアクセス・リスト WHEN(SYSID(*smfid*)) 節内で見つかったことを示します。この状態を解決するために PERMIT DELETE WHEN(SYSID(*smfid*)) コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0270 *event* 許可 *identity* *whenclass*
whenprofile(1-15) PROGRAM profile
(event permit identity whenclass
whenprofile(1-15) PROGRAM profile)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。これは、*identity* が、WHEN(SYSID(...)) 以外の PROGRAM プロファイルの条件付きアクセス・リスト節内で見つかったことを示します。条件付き許可のキーの最初の 15 文字のみが表示されます。この状態を解決するために、PERMIT DELETE WHEN(...()) コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0271 *event* テープ **dsn** *volser datasetname* のアクセス・リスト内の許可 *identity (event permit identity in access list of tape dsn volser datasetname)*

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、PERMIT DELETE VOL() コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0272 *id2* と共に **raclink node.id** を削除します
- RACLINK UNDEFINE を出力します
(Remove raclink node.id with id2 - output RACLINK UNDEFINE)

説明: このメッセージは、REMOVE USER= コマンドが原因で発行されます。id2 を削除するには、その raclink を最初に削除する必要があるため、それぞれに RACLINK UNDEFINE が生成されます。

重大度: 00

CKR0273 *event* テープ **DATASET** プロファイル
volser datasetname の所有者 *identity - newowner* を作成します (*event owner identity of tape DATASET profile volser datasetname - make newowner*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Replace** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() OWNER() コマンドが生成されます。新規所有者は *identity* と同一でない限り、プロファイルの HLQ になります。この場合は、DEFAULT OWNER= コマンドで指定された名前が付きます。選択された新規所有者はメッセージ内に表示されます。

重大度: 04

CKR0274 *event* テープ **DATASET** プロファイル
volser datasetname 上の通知 *identity (event notify identity on tape DATASET profile volser datasetname)*

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() NONOTIFY コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0275 アクセス不能なクラスター (**RACF** 標識付き、プロファイルなし) *volser datasetname (Inaccessible cluster (RACF indicated and no profile) volser datasetname)*

説明: このメッセージは、VERIFY PROTECTALL コマンドまたは VERIFY INDICATED コマンドが原因で発行されます。エラー状態を解決するために、ADDSD NOSET コマンドが生成されますが、これは VERIFY INDICATED が指定されていない 場合に限ります。プロファイルを追加するだけでは不十分な可能性があるので注意してください。この場合は、必要に応じてアクセス・リストを拡張するか、代わりに総称プロファイルを使用してください。

重大度: 04

CKR0276 無保護クラスター (非 RACF 標識付き、総称なし) *volser datasetname*
(**Unprotected cluster (not RACF-indicated, no generic) volser datasetname**)

説明: このメッセージは、NOPROTECTALL 環境または PROTECTALL(WARN) 環境での VERIFY PROTECTALL コマンドが原因で発行されます。コマンドが生成されません。

重大度: 08

CKR0277 *event* テープ DATASET プロファイル *volser datasetname* 上の **R-ownr identity** (*event R-ownr identity on tape DATASET profile volser datasetname*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除されるはずの *identity* が、DFP セグメントの RESOWNER フィールドで見つかったことを意味します。エラー状態を解決するために、ALTDSD VOL() NODFP コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0278 ユーザー *identity* の取り消しが要求されました (**Revoke for user identity requested**)

説明: このメッセージは、(RE) MOVE USER=, REVOKE コマンドが原因で発行されます。応答として、ALTUSER REVOKE コマンドが生成されます。

重大度: 00

CKR0279 要求に従ってユーザー *identity* をグループ *identity* に接続します - **CONNECT** を出力します (**Connect user identity to group identity as requested - output CONNECT**)

説明: このメッセージは、MOVE USER=, TOGROUP= コマンドが原因で発行されます。応答として、CONNECT コマンドが生成されます。

重大度: 00

CKR0280 以前のデフォルトが削除されるため、*identity* のデフォルト・グループが *identity* になります (**Default group of identity becomes identity because removing former default**)

説明: このメッセージは、MOVE USER=, TOGROUP= コマンドが原因で発行されます。応答として、ALTUSER DFLTGRP() コマンドが生成されます。

重大度: 00

CKR0281 要求に従ってユーザー *identity* を *identity* から削除します - **REMOVE** を出力します (**Remove user identity from identity as requested - output REMOVE**)

説明: このメッセージは、MOVE USER=, TOGROUP= コマンドが原因で発行されます。応答として、REMOVE コマンドが生成されます。

重大度: 00

CKR0282 アクセス不能クラスター (非標識付き、総称なし) *volser datasetname* (**Inaccessible cluster (not indicated and no generic) volser datasetname**)

説明: このメッセージは、PROTECTALL(FAIL) 環境での VERIFY PROTECTALL コマンドが原因で発行されます。コマンドが生成されません。

重大度: 04

CKR0283 要求に従ってユーザー ID *identity* グループ *identity* を削除します - **DELUSER** を出力します (**Delete userid identity group identity as requested - output DELUSER**)

説明: このメッセージは、REMOVE USER= コマンドが原因で発行されます。応答として、DELUSER コマンドが生成されます。

重大度: 00

CKR0284 深さ *depth* のグループ *identity* を削除します - **DELGROUP** を出力します (**Delete group identity of depth depth - output DELGROUP**)

説明: このメッセージは、REMOVE GROUP= コマンドが原因で発行されます。応答として、示された *depth*

を持つ、示されたグループについて、DELGROUP コマンドが生成されます。

重大度: 00

CKR0285 通知 *identity* 一般リソース・プロファイル *class key* を *newnotify* に置き換えます
(**Replace notify identity general resource profile class key by newnotify**)

説明: このメッセージは、(RE)MOVE NOTIFY/PERMIT/USER, NEWNOTIFY= コマンドが原因で発行されます。応答として、通知フィールドを変更するための RALTER NOTIFY() コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0286 *volser datasetname* 上のクラスター・コンポーネントの **VTOC** および **VVDS** 項目がありません (**No VTOC and no VVDS entry for cluster component on volser datasetname**)

説明: このメッセージは、クラスター・コンポーネントがカタログ項目またはシステム制御ブロックによって参照されているが、VTOC または VVDS 内で見つからなかった場合に発行されます。

重大度: 08

CKR0287 *seq* のアーカイブ *volser datasetname* での復元不能データ・セット、標識付き、総称なし (**Non-restorable dataset, indic, no generic at archive volser datasetname of seq**)

説明: このメッセージは、DMSFILES データ・セットに含まれる DSNINDEX および RACFENC D レコードに対応するデータ・セット *datasetname* のバージョンが、アーカイブ操作の時点で RACF 標識付きであり、個別プロファイルによって保護されていたが、その個別 RACF プロファイル (エンコードされた名前付き) が RACF データベース内で見つからなくなった場合に発行されます。DMS 資料によると、これは、最初に DSNINDEX レコードを変更しないとデータ・セットを復元できないことを意味します。zSecure Collect を繰り返し実行した後もこのメッセージが発生する場合は、DMS の資料 (RACFCHK1 など) の手順に従って、DMS と RACF 間の関係を調整してください。

重大度: 08

CKR0288 *seq* の *volser datasetname* の復元不能データ・セット、**RACFENC D** レコードが欠落しています (**Non-restorable data set, RACFENC D record missing for volser datasetname of seq**)

説明: このメッセージは、DMSFILES データ・セットに含まれる DSNINDEX レコードに対応するデータ・セット *datasetname* のバージョンが、アーカイブ操作の時点で RACF 標識付きであり、個別プロファイルによって保護されていたが、対応する RACFENC D レコードを含んでいない場合に発行されます。DMS 資料によると、これは、最初に DSNINDEX レコードを変更しないとデータ・セットを復元できないことを意味します。zSecure Collect を繰り返し実行した後もこのメッセージが発生する場合は、DMS の資料 (RACFCHK1 など) の手順に従って、DMS と RACF 間の関係を調整してください。

重大度: 08

CKR0289 *seq* の *datasetname* の孤立 **RACFENC D** レコード、**DSNINDEX** レコードが欠落しています (**Orphan RACFENC D record, DSNINDEX record missing for datasetname of seq**)

説明: このメッセージは、DMSFILES データ・セットに含まれる RACFENC D レコードに対応する示されたデータ・セットのバージョンが、対応する DSNINDEX レコードを含んでいない場合に発行されます。これは、現行プログラムでは検査されない「孤立」個別プロファイルに対応している可能性があります。zSecure Collect を繰り返し実行した後もこのメッセージが発生する場合は、DMS の資料 (RACFCHK1 など) の手順に従って、DMS と RACF 間の関係を調整してください。

重大度: 08

CKR0290 *seq* のアーカイブ非標識付きデータ・セット *volser datasetname* での個別プロファイル (**Discrete profile at archive non indicated data set volser datasetname of seq**)

説明: このメッセージは、DMSFILES データ・セット内の DSNINDEX レコードが、示されたデータ・セットのバージョンが (アーカイブ操作中に) 非標識付きであると同時に個別プロファイルによって保護されていたことを示している場合に発行されます。この矛盾するビット設定は、プログラムによってサポートされません。

重大度: 08

CKR0291 *seq* の *volser datasetname* で **RACFENC**D
レコードが見つかりましたが、
DSNINDEX 個別フラグがオフです
(**RACFENC**D record found but
DSNINDEX discrete flag off volser
datasetname of seq)

説明: このメッセージは、(当初はボリューム *volser* 上にあった) データ・セット *datasetname* のバージョンの DMSFILES データ・セット内で **RACFENC**D レコードが見つかったが、アーカイブの時点でデータ・セットが個別プロファイルによって保護されていなかったことを示す **DSNINDEX** レコードもある場合に発行されます。この矛盾するビット設定は、プログラムによってサポートされません。

重大度: 08

CKR0292 接続されたカタログがどのボリュームでも
見つかりません *datasetname* (**Connected**
catalog not found on any volume
datasetname)

説明: このメッセージは、システムのマスター・カタログの 1 つに含まれる **usercatalog** コネクター項目が指すカタログ *datasetname* が見つからなかった場合に発行されます。

重大度: 08

CKR0293 ボリュームが *volser datasetname* 上のクラ
スター・コンポーネントのどのシステムに
もマウントされていません (**Volume not**
mounted on any system for cluster
comp on volser datasetname)

説明: このメッセージは、カタログまたはシステム制御ブロックが参照する VSAM コンポーネントのボリュームが、どの **CKFREEZE** ファイル内にも存在しなかった場合に発行されます。

重大度: 08

CKR0294 クラスタはカタログされていますが、ど
のシステム *volser datasetname* 上でも適切
なカタログではありません (**Cluster**
cataloged but not in proper ctlg on
any system volser datasetname)

説明: このメッセージは、このクラスタがカタログ内に存在するが、**CKFREEZE** が提供されているどのシステム上でも直接アクセスできないために発行されます。これは、マスター・カタログ内に、クラスタの HLG またはクラスタの DS 名の **ALIAS** がないためです。これは、これらのシステム上でこのクラスタにア

クセスするには、**STEP**CAT/**JO**BCAT 割り振りを使用するバッチ・ジョブが必要であることを意味します。**ALIAS** が正しく定義されている別のシステムからクラスタにアクセスする予定がない場合は、別名を定義するか、クラスタを削除する必要があります。この状態が意図的なものである場合は、**SUPPRESS MSG=294** コマンドを使用して、レポートからメッセージを抑止できます。

重大度: 04

CKR0295 1 つのシステム *volser datasetname* 上に 2
つのクラスタのコンポーネント部品
(**Component part of two clusters on**
one system volser datasetname)

説明: これは、カタログでの保守問題を指します。同じ VSAM コンポーネントが、1 つのシステム上の 2 つの (マスターまたは接続) カタログ内で定義されています。このシステムで正しい定義はどちらか、およびもう 1 つの定義が別のシステム上で使用されていないかどうかを調査する必要があります。カタログの 1 つからコンポーネント (またはクラスタ全体) をアンカタログして、このエラーを修正できます。

重大度: 08

CKR0296 ロード・モジュールのない **PROGRAM**
プロファイルがありますが、情報が欠落し
ています *complex program Reason*
(**PROGRAM profile w/o load module**
but info missing complex program
Reason)

説明: このメッセージは、示された **PROGRAM** プロファイルが複合システム内のシステムからのロード・モジュールをカバーしているように見えないが、それを確認するのに必要な情報が欠落しているために、**VERIFY PGMEXIST** 機能によって発行されます。このメッセージの後に、1 つ以上の *Reason* 行と、以下の詳細説明のいずれかが示されます。

- **CKFREEZE** 内に、**volser** のないデータ・セット *dsname* を検索するための、すべての **VT**OC がありません。
- **CKFREEZE** 内に、任意のシステムのデータ・セット *dsname* を検査する **Mig.** カタログがありません。
- マイグレーション済みデータ・セット *syst dsname* で **PDS** ディレクトリーを使用できません。
- **CKFREEZE** 内に、データ・セット *syst volser* を検査する **VT**OC がありません。
- **CKFREEZE** 内に、データ・セット *syst volume dsname* を検査する **Mig.** カタログがありません。

- マイグレーション済みデータ・セット *syst volume dsname* で **PDS** ディレクトリーを使用できません。
- データ・セット *syst volser dsname* で **CKFREEZE** 内に **PDS** ディレクトリーがありません。

zSecure Admin または Audit for RACF を使用している場合、欠落している VTOC、欠落しているマイグレーション・カタログ、および欠落している PDS ディレクトリー情報について詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の VERIFY PGMEXIST, PROGRAMNONEMPTY, PROGRAMNOTEMPTY, PGMNONEMPTY, PGMNOTEMPTY コマンドの資料を参照してください。CKRCMD ファイルが複合システムに割り振られると、PROGRAM プロファイルを削除するためのコメント化された RDELETE コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0297 廃止 **PROGRAM**、ロード・モジュールがライブラリー内にありません *complex program (Obsolete PROGRAM, load module not in libraries complex program)*

説明: このメッセージは、示された PROGRAM プロファイルが複合システム内のどのシステムからのロード・モジュールもカバーしていないために、VERIFY PGMEXIST 機能によって発行されます。CKRCMD ファイルが複合システムに割り振られると、PROGRAM プロファイルを削除するための RDELETE コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0298 *event* ユーザー *identity* - **BPX.DEFAULT.USER** 内の **OMVS** デフォルト **UID** を定義します - **RALTER** を出力します (*event user identity - defines OMVS default UID in BPX.DEFAULT.USER - output RALTER*)

メッセージ 300 から 399

CKR0300 テープ・ボリューム *vvvvvv* は **TAPEVOL** プロファイル *key1* および *key2* の一部です。複合システム *complex version (Tape volume vvvvvv part of TAPEVOL profile key1 as well as key2 complex complex version)*

説明: このメッセージは、ボリューム通し番号が複数の TAPEVOL プロファイルの一部である場合に発行されま

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除される *identity* が OMVS デフォルト **UID** を定義していること、および指定を削除することでエラー状態が解決されることを意味します。デフォルト **GID** の指定があった場合は、それも削除されます。別個のメッセージは表示されません。削除されるべきでないデフォルト **GID** 指定があった場合には、エラー状態が解決不能と見なされ、代わりに CKR0262 が発行されたはずです。

重大度: 04

CKR0299 *event* グループ *identity* - **BPX.DEFAULT.USER** 内の **OMVS** デフォルト **GID** を定義します - **RALTER** を出力します (*event group identity - defines OMVS default GID in BPX.DEFAULT.USER - output RALTER*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除される *identity* が OMVS デフォルト **GID** を定義していること、および指定を削除することでエラー状態が解決されることを意味します。これは、デフォルト **UID** 指定が保持されるべきであることも意味します。そうでない場合は、代わりに CKR0298 が発行されたはずです。

重大度: 04

す。これは、分割されたデータベースおよび正しくない範囲テーブルを使用して実行した場合に発生することがあります。

重大度: 20

CKR0301 *event* 許可 *identity whenclass whenprofile(1-15) - volume dsname (event permit identity whenclass*

whenprofile(1-15) - volume dsname)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。これは、*identity* が、個別データ・セット・プロファイルの条件付きアクセス・リスト内で見つかったことを示します。条件付き許可のキーの最初の 15 文字のみが表示されます。この状態を解決するために、PERMIT DELETE WHEN(...()) コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0302 *event* 許可 *identity* *whenclass*
whenprofile(1-15) データ・セット *dsname*
(event permit identity whenclass
whenprofile(1-15) dataset dsname)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になった場合に発行されます。これは、*identity* が、総称データ・セット・プロファイルの条件付きアクセス・リスト内で見つかったことを示します。条件付き許可のキーの最初の 15 文字のみが表示されます。この状態を解決するために、PERMIT DELETE WHEN(...()) コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0303 *event* 許可 *identity* *whenclass*
whenprofile(1-15) モデル *dsname* (*event*
permit *identity* *whenclass*
whenprofile(1-15) model dsname)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になり、REMOVE REDUNDANT_PERMIT コマンドが原因で *event* が **Redundant** になった場合に発行されます。これは、*identity* が、モデル・データ・セット・プロファイルの条件付きアクセス・リスト内で見つかったことを示します。条件付き許可のキーの最初の 15 文字のみが

表示されます。この状態を解決するために、PERMIT DELETE WHEN(...()) コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0304 ボリューム *volser datasetname* のスクラッチ状況に関するテープ情報が矛盾しています (**Tape information inconsistent on scratch status for volume *volser datasetname***)

説明: このメッセージは、*volser* の 1 つのテープ・カタログ項目はこれがスクラッチ・ボリュームであることを示し、もう 1 つの項目はそうでないことを示す場合に発行されます。これはスクラッチ・ボリュームとして扱われます。

重大度: 08

CKR0305 カタログ項目がテープ管理システム *volser datasetname* ファイル *seq* と矛盾しています (**Catalog entry conflicts with tape management system *volser datasetname file seq***)

説明: このメッセージは、ICF カタログとテープ・カタログが、同じボリューム通し番号上の同じファイル・シーケンス番号に対して異なるデータ・セット名を示す場合に発行されます。テープ・カタログが正しいと見なされ、ICF カタログ項目は無視されます。

重大度: 8

CKR0306 TVTOC 項目がテープ管理システム *volser datasetname* ファイル *seq* と矛盾しています (**TVTOC entry conflicts with tape management system *volser datasetname file seq***)

説明: このメッセージは、RACF データベース内の TVTOC 項目とテープ・カタログ項目が、同じボリューム通し番号上の同じファイル・シーケンス番号に対して異なるデータ・セット名を示す場合に発行されます。テープ・カタログが正しいと見なされ、TVTOC 項目は無視されます。

重大度: 08

CKR0307 ファイル *volser datasetname* ファイル *seq* のテープ管理情報が矛盾しています (**Conflicting tape management information for file *volser datasetname file seq***)

説明: このメッセージは、2 つのテープ・カタログ項目が、同じボリューム通し番号上の同じファイル・シーケンス番号に対して異なるデータ・セット名を示す場合に発行されます。どちらが正しいかを判別する方法はありません。

重大度: 08

CKR0308 カタログ項目の **fileseq** が他のカタログ項目 **volser datasetname** ファイル **seq** と同じです (**Catalog entry same fileseq as other catalog entry volser datasetname file seq**)

説明: このメッセージは、2 つの ICF カタログ項目が、同じボリューム通し番号上の同じファイル・シーケンス番号に対して異なるデータ・セット名を示す場合に発行されます。どちらが正しいかを判別する方法はありません。

重大度: 08

CKR0309 カタログ項目が **TVTOC volser datasetname** ファイル **seq** と矛盾しています (**Catalog entry conflicts with TVTOC volser datasetname file seq**)

説明: このメッセージは、ICF カタログと RACF データベース内の TVTOC 項目が、同じボリューム通し番号上の同じファイル・シーケンス番号に対して異なるデータ・セット名を示す場合に発行されます。TVTOC が正しいと見なされ、ICF カタログ項目は無視されます。

重大度: 08

CKR0310 先行ボリュームのポインターを追加するとループが作成されます。**volser datasetname** は **vol2** に先行します。**source** を読み取っています (**Adding previous volume pointer would create a loop volser datasetname previous vol2, reading source**)

説明: このメッセージは、**vol2** が **volser** の直接の先行ボリュームとして宣言されたが、**volser** が **vol2** に既に先行している場合に発行されます。**source** は、TVTOC (RACF データベースの処理中にエラーが検出されたことを示します) または **CKFREEZE** (ICF およびテープ・カタログの処理中にエラーが検出されたことを示します) のいずれかです。新規リンクは確立されません。すべての TVTOC 項目が最初に処理されます。

重大度: 08

CKR0311 テープ管理情報がボリューム・チェーニングに関して矛盾しています **volser datasetname** 先行 **vol2** (**Conflicting tape management info on volume chaining volser datasetname previous vol2**)

説明: このメッセージは、2 つのテープ管理カタログ項目が、同じボリューム通し番号に対して異なる先行ボリュームを示す場合に発行されます。どちらが正しいかを判別する方法はありません。

重大度: 08

CKR0312 TVTOC チェーニングがテープ管理システムと矛盾しています **volser datasetname** 先行 **vol2** (**TVTOC chaining conflict with tape management system volser datasetname previous vol2**)

説明: このメッセージは、示されたボリューム通し番号の先行ボリュームに関して、RACF データベース内の TVTOC 項目がテープ管理カタログと矛盾する場合に発行されます。テープ管理カタログが正しいと見なされ、TVTOC 項目は無視されます。

重大度: 08

CKR0313 カタログ項目が先行ボリュームに関して一致しません **volser datasetname** 先行 **vol2** (**Catalog entries disagree on the previous volume of volser datasetname previous vol2**)

説明: このメッセージは、2 つの ICF カタログ項目が、同じテープ・ボリューム通し番号に対して異なる先行ボリュームを示す場合に発行されます。どちらが正しいかを判別する方法はありません。**vol2** は無視されたリンクです。

重大度: 08

CKR0314 カタログ・ボリューム・チェーニングがテープ管理と矛盾しています、**volser datasetname** 先行 **vol2** (**Catalog vol chaining conflicts with tape management volser datasetname previous vol2**)

説明: このメッセージは、示されたボリューム通し番号の先行ボリュームに関して、ICF カタログ項目がテープ管理カタログと矛盾する場合に発行されます。テープ管理カタログが正しいと見なされ、カタログ項目からの情報は無視されます。

重大度: 08

CKR0315 カタログ・ボリューム・チェーニングが
TVTOC と矛盾しています *volser*
datasetname 先行 *vol2* (**Catalog vol**
chaining conflicts with TVTOC *volser*
datasetname previous vol2)

説明: このメッセージは、示されたボリューム通し番号
の先行ボリュームに関して、ICF カタログ項目が RACF
データベース内の TAPEVOL TVTOC 項目と矛盾する
場合に発行されます。TVTOC が正しいと見なされ、カ
タログ項目からの情報は無視されます。

重大度: 08

CKR0316 組み込み ISPF 変数が見つかりません -
name, ddname の行 *number* (**Imbedded**
ISPF variable not found - name at
ddname line number)

説明: このメッセージは、ISPF 変数に対して
INCLUDE または IMBED コマンドが発行されたが、
暗黙的な関数プール、共有変数プール、またはプロファ
イル変数プール内に変数が存在しなかったことを示しま
す。

重大度: 12

CKR0317 オープンに失敗しました [*type* 異常終了
rc-rr (interpretation)]、組み込みファイル
ddname データ・セット *dsname, ddname2*
の行 *number* (**Open failed [*type* abend**
***rc-rr (interpretation)*]** for imbedded file
ddname dataset dsname at ddname2 line
number)

説明: このメッセージは、ファイルに対して
INCLUDE または IMBED コマンドが発行されたが、
そのファイルを開けなかったことを示します。異常終了
が発生した場合、異常終了コード、理由コード、および
解釈が示されます。ジョブ・ログで追加情報を持つメッ
セージを確認します。このメッセージに異常終了情報が
ない場合は、その前の CKR メッセージに障害の理由が
示されているはずです。

重大度: 12

CKR0318 ICHRIN03 総称項目が最後の項目ではあ
りません、*sys* 項目 "*procname userid*
grpname" を無視しました (**ICHRIN03**
generic entry is not the last one,
ignored *sys* entry "*procname userid*
***grpname*"**)

説明: このメッセージは、示されたシステム *sys* 上の
開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 のコンテン

ツ内のエラーを示します。総称項目は、RACF によって
総称項目として処理される最後の項目である必要があり
ます。ICHRIN03 内の総称項目が最後の項目ではない可
能性があります。

重大度: 08

CKR0319 ICHRIN03 総称項目が任意のユーザーの
成りすましを許容します、*sys* 項目
"*procname userid grpname*" (**ICHRIN03**
generic entry allows masquerading any
user *sys* entry "*procname userid*
***grpname*"**)

説明: このメッセージは、示されたシステム *sys* 上の
開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 のコンテン
ツの望ましくない影響を示します。総称項目は、開始タ
スク・プロシージャ・ライブラリーまたは JES2 パラ
メーター・データ・セットへの UPDATE アクセス権を
持つユーザーに対して、成りすますユーザー ID と同じ
名前を持つプロシージャ・メンバーを作成すること
で、システム内の任意のユーザーとして成りすますこと
を許容します。推奨される総称項目の形式は、開始タス
クとして実行することを許可されるユーザー ID のみを
含むように明確に指定された非ブランクのグループ名
を、総称項目に組み込むことです。

重大度: 08

CKR0320 オプションは NEWLIST の後でのみ有効
です - *option, ddname line* (**Option only**
valid behind NEWLIST - *option* at
ddname line)

説明: このメッセージは、示された *option* が
BUNDLE、OPTION、または PRINT コマンド上に組み
込まれていたが、このオプションは NEWLIST 上での
み許可されることを意味します。例は
RDS、NONRDS、および RETAIN です。ほとんどの
PRINT のオプションは NEWLIST コマンド上でも許可
されることに注意してください。

重大度: 12

CKR0321 ICHRIN03 未定義ユーザー *id* プロシー
ジャー *procname volume dsn status*
system subsystem (**ICHRIN03 undefined**
user *id* procedure *procname volume dsn*
status system subsystem)

説明: このメッセージは、サブシステム *subsystem* 内
のプロシージャ *procname* で、開始プロシージャ・
テーブル ICHRIN03 と、システム *system* 上の RACF
データベースが一致しないことを示します。*status* が
system である場合、示されたプロシージャ・ライブ

ライブラリー内の示されたプロシージャーは、RACF データベース内で定義されていないユーザー ID にマップされています。そのため、プロシージャーは、デフォルト権限の未定義 RACF ユーザー "*" で実行されます。*status* が **fallbk** である場合、示されたプロシージャーでは同じ問題が発生しますが、現在では使用されていません。プロシージャー・ライブラリーが示されていない場合、その名前によるタスクはありません。ライブラリーが示されている場合、タスクは STARTED クラス内の有効なプロファイルによってカバーされるため、ICHRIN03 を使用しません。

重大度: 08

CKR0322 **ICHRIN03** 未定義グループ *id* プロシージャー *procname volume dsn status system subsystem (ICHRIN03 undefined group id procedure procname volume dsn status system subsystem)*

説明: このメッセージは、サブシステム *subsystem* 内のプロシージャー *procname* で、開始プロシージャー・テーブル ICHRIN03 と、システム *system* 上の RACF データベースが一致しないことを示します。*status* が **system** である場合、示されたプロシージャー・ライブラリー内の示されたプロシージャーは、RACF データベース内で定義されていない接続グループにマップされています。そのため、プロシージャーは、デフォルト権限の未定義 RACF ユーザー "*" で実行されます。*status* が **fallbk** である場合、示されたプロシージャーでは同じ問題が発生しますが、現在では使用されていません。プロシージャー・ライブラリーが示されていない場合、その名前によるタスクはありません。ライブラリーが示されている場合、タスクは STARTED クラス内の有効なプロファイルによってカバーされるため、ICHRIN03 を使用しません。

重大度: 08

CKR0323 **ICHRIN03** *uid* から グループ *id* への接続がありません、プロシージャー *procname volume dsn status system subsystem (ICHRIN03 no connect uid to group id proc procname volume dsn status system subsystem)*

説明: このメッセージは、サブシステム *subsystem* 内のプロシージャー *procname* で、開始プロシージャー・テーブル ICHRIN03 と、システム *system* 上の RACF データベースが一致しないことを示します。*status* が **system** である場合、示されたプロシージャー・ライブラリー内の示されたプロシージャーは、RACF データベース内で接続が定義されていないユーザー ID/グループの組み合わせにマップされています。そのため、プロシ

ージャーは、デフォルト権限の未定義 RACF ユーザー "*" で実行されます。*status* が **fallbk** である場合、示されたプロシージャーでは同じ問題が発生しますが、現在では使用されていません。プロシージャー・ライブラリーが示されていない場合、その名前によるタスクはありません。ライブラリーが示されている場合、タスクは STARTED クラス内の有効なプロファイルによってカバーされるため、ICHRIN03 を使用しません。

重大度: 08

CKR0324 **ICHRIN03** はグループ *id* をユーザーとして含みます - *procname volume dsn status system subsystem (ICHRIN03 contains group id as user - procname volume dsn status system subsystem)*

説明: このメッセージは、サブシステム *subsystem* 内のプロシージャー *procname* で、開始プロシージャー・テーブル ICHRIN03 と、システム *system* 上の RACF データベースが一致しないことを示します。*status* が **system** である場合、示されたプロシージャー・ライブラリー内の示されたプロシージャーは、RACF データベース内でユーザーとしてではなくグループとして定義されているユーザー ID にマップされています。そのため、プロシージャーは、デフォルト権限の未定義 RACF ユーザー "*" で実行されます。*status* が **fallbk** である場合、示されたプロシージャーでは同じ問題が発生しますが、現在では使用されていません。プロシージャー・ライブラリーが示されていない場合、その名前によるタスクはありません。ライブラリーが示されている場合、タスクは STARTED クラス内の有効なプロファイルによってカバーされるため、ICHRIN03 を使用しません。

重大度: 08

CKR0325 **ICHRIN03** はユーザー ID *id* をグループとして含みます - *procname volume dsn status system subsystem (ICHRIN03 contains userid id as group - procname volume dsn status system subsystem)*

説明: このメッセージは、サブシステム *subsystem* 内のプロシージャー *procname* で、開始プロシージャー・テーブル ICHRIN03 と、システム *system* 上の RACF データベースが一致しないことを示します。*status* が **system** である場合、示されたプロシージャー・ライブラリー内の示されたプロシージャーは、RACF データベース内でグループとしてではなくユーザーとして定義されているグループ名にマップされています。そのため、プロシージャーは、デフォルト権限の未定義 RACF ユーザー "*" で実行されます。*status* が **fallbk** である場合、示されたプロシージャーでは同じ問題が発生しますが、現在では使用されていません。プロシージャー・ラ

イブラリーが示されていない場合、その名前によるタスクはありません。ライブラリーが示されている場合、タスクは STARTED クラス内の有効なプロファイルによってカバーされるため、ICHRIN03 を使用しません。

重大度: 08

CKR0326 開始タスクはデフォルト権限を使用して実行されます *procname volume dsn status system subsystem (Started task runs with default authority procname volume dsn status system subsystem)*

説明: *status* が **system** である場合、このメッセージは、サブシステム *subsystem* のプロシージャー *procname* に対してシステム *system* 上でデフォルト RACF ユーザー (USER=*) を使用して実行される開始タスクを識別します。これは正しい操作であることがあります (タスクが、アクセスされるデータ・セットの UACC よりも上位のアクセス権を必要としない場合)。その一方で、この権限を使用して (必要な権限なしで) 開始された場合に失敗する多数のプロシージャーが識別されることがよくあります。*status* が **fallbk** である場合、示されたプロシージャーでは同じ問題が発生しますが、現在では使用されていません。プロシージャー・ライブラリーが示されていない場合、その名前によるタスクはありません。ライブラリーが示されている場合、タスクは STARTED クラス内の有効なプロファイルによってカバーされるため、ICHRIN03 を使用しません。後者に該当する潜在的な問題に関心がない場合は、SUPPRESS FALLBACK をコマンド入力に追加します。デフォルトのユーザー ID に関するすべてのメッセージを抑止するには、SUPPRESS ID=* (ICHRIN03 の場合) および SUPPRESS ID=+++++++ (STARTED クラスの場合) をコマンド入力に追加します。このメッセージのみを抑止するには、SUPPRESS MSG=326 をコマンド入力に追加します。

重大度: 00

CKR0327 *sys* **ICHRIN03** 項目が未使用です (**subsys** に該当プロシージャーなし)
procname (sys ICHRIN03 entry unused (subsys no proc) procname)

説明: このメッセージは、開始済みプロシージャー・テーブル ICHRIN03 と、アクティブ・プロシージャー・ライブラリーが一致しないことを示します。ICHRIN03 内の示されたプロシージャー名は、システム内の開始タスクで使用される MSTR および JES2 プロシージャー・ライブラリー内のどのプロシージャーもカバーしません。注: このメッセージは、無許可ライブラリーからの zSecure Collect を実行して生成された CKFREEZE ファイルが使用されている場合にも発行されることがあ

ります。zSecure Collect が APF 許可プログラムとして実行される場合、クロスメモリー機能を使用して、STCPROC (または STCPROC がない場合は PROC00) に割り振られるデータ・セットを検出します。その後、これらの各 proclib の PDS ディレクトリーを読み取ります。無許可の実行で PDS データ・セットのディレクトリーをダンプするように zSecure Collect に指示するのでは不十分であることに注意してください。これらのデータ・セットは proclib として認識されないからです。

重大度: 08

CKR0328 廃止許可 *identity* 不明なプログラム
program - モデル datasetprofile 内 (Obsolete permit identity unknown program program - in model datasetprofile)

説明: このメッセージは、RACF が基本プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムが条件付きアクセス・リスト上で定義されていますが、一致するプログラム・プロファイルが存在しません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0329 廃止許可 *identity* 不明なプログラム
program 総称 datasetprofile (Obsolete permit identity unknown program program genericdatasetprofile)

説明: このメッセージは、RACF が基本プログラム・セキュリティ・モード (RACF z/OS 1.4 より前のリリース、または以降の RACF リリースで明示的に定義) で稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムが条件付きアクセス・リスト上で定義されていますが、一致するプログラム・プロファイルが存在しません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0330 オープンに失敗しました [*type* 異常終了 *rc-rr (interpretation)*], 組み込みメンバー *member*、ファイル *ddname* データ・セット *dsname*、*ddname2* の行 *number* (**Open failed [*type* abend rc-rr (interpretation)] for imbedded member member of file ddname dataset dsname at ddname2 line number**)

説明: このメッセージは、メンバーに対して

INCLUDE または IMBED コマンドが発行されたが、ファイルに割り振られたデータ・セットでそのメンバーを開けなかったことを示します。異常終了が発生した場合、異常終了コード、理由コード、および解釈が示されます。ジョブ・ログで追加情報を持つメッセージを確認します。このメッセージに異常終了情報がない場合は、その前の CKR メッセージに障害の理由が示されているはずです。

重大度: 12

CKR0331 **STC** デフォルト権限 - **procname** はグループ *procname volume dsn* システム *system subsystem* です (**STC default authority - procname is a group** *procname volume dsn system system subsystem*)

説明: このメッセージは、開始プロシージャ・テール ICHRIN03 内の総称項目と、システム *system* 上の RACF データベースの間で、サブシステム *subsystem* 内の特定のプロシージャ・ライブラリー・メンバー *procname* が一致しないことを示します。示されたプロシージャ・ライブラリー内の示されたプロシージャは、RACF データベース内でユーザーとしてではなくグループとして定義されているユーザー ID にマップされています。そのため、プロシージャは、開始時に未定義 RACF ユーザー "*" を割り当てられます。

重大度: 08

CKR0332 **STC** は *user* の *group* への接続を取り消しました - *procname volume dsn status system subsystem* (**STC revoked connect user to group - procname volume dsn status system subsystem**)

説明: *status* が **system** である場合、このメッセージは、システム *system* 上の開始できないプロシージャを示します。ボリューム *volume* 上の示されたプロシージャ・ライブラリー *dsn* 内のサブシステム *subsystem* のプロシージャ *procname* は、RACF データベース内で接続が定義されているユーザー ID/グループの組み合わせにマップされていますが、接続が取り消されました。したがって、プロシージャは開始できません。*status* が **fallbk** である場合、示されたプロシージャでは同じ問題が発生しますが、現在は使用されていません。プロシージャ・ライブラリーが示されていない場合、その名前によるタスクはありません。ライブラリーが示されている場合、タスクは STARTED クラス内の有効なプロファイルによってカバーされるため、ICHRIN03 を使用しません。

重大度: 08

CKR0333 開始タスク・ユーザー ID *userid* プロシージャ *procname volume dsn status system subsystem* を取り消しました (**Revoked started task uid userid procedure procname volume dsn status system subsystem**)

説明: *status* が **system** である場合、このメッセージは、システム *system* 上の開始できないプロシージャを示します。ボリューム *volume* 上の示されたプロシージャ・ライブラリー *dsn* 内のサブシステム *subsystem* のプロシージャ *procname* は、RACF データベース内で定義されているユーザー ID にマップされていますが、ユーザー ID が取り消されました。したがって、プロシージャは開始できません。*status* が **fallbk** である場合、示されたプロシージャでは同じ問題が発生しますが、現在は使用されていません。プロシージャ・ライブラリーが示されていない場合、その名前によるタスクはありません。ライブラリーが示されている場合、タスクは STARTED クラス内の有効なプロファイルによってカバーされるため、ICHRIN03 を使用しません。

重大度: 08

CKR0334 プロシージャ *procname volume dsn* システム *system subsystem* に対して JCL メンバーが非表示です (重複) (**JCL member hidden (duplicate) for procedure procname volume dsn system system subsystem**)

説明: このメッセージは、開始できないプロシージャ・メンバーを示します。ボリューム *volume* 上の示されたプロシージャ・ライブラリー *dsn* 内のサブシステム *subsystem* の示されたプロシージャ *procname* は、連結の一部であるため、開始できません。連結内でその前にあるライブラリーで、同じメンバーが定義されています。したがって、この JCL メンバーは開始できません。

重大度: 00

CKR0335 *id1* を *id2* にコピー、個別リソース *class key* が追加されます (**Copy id1 to id2 adds discrete resource class key**)

説明: このメッセージは、*id1* 用の類似した既存のプロファイルを模倣して、*id2* に固有の個別一般リソース・プロファイルを追加するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度: 04

CKR0336 *id1* を *id2* にコピー、総称リソース *class key* が追加されます (**Copy *id1* to *id2* adds generic resource *class key***)

説明: このメッセージは、*id1* 用の類似した既存のプロファイルを模倣して、*id2* に固有の総称一般リソース・プロファイルを追加するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度: 04

CKR0337 *id1* を *id2* にコピー、総称 DATASET プロファイル *dsn* が追加されます (**Copy *id1* to *id2* adds generic DATASET profile *dsn***)

説明: このメッセージは、*id1* 用の類似した既存のプロファイルを模倣して、*id2* に固有の総称データ・セット・プロファイルを追加するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度: 04

CKR0338 *id1* を *id2* にコピー、モデル DATASET プロファイル *dsn* が追加されます (**Copy *id1* to *id2* adds model DATASET profile *dsn***)

説明: このメッセージは、*id1* 用の類似した既存のプロファイルを模倣して、*id2* に固有のモデル・データ・セット・プロファイルを追加するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度: 04

CKR0339 新規総称 DATASET プロファイル *dsn* の所有者 *id1* を置き換えます - *id2* を作成します (**Replace owner *id1* of new generic DATASET profile *dsn* - make *id2***)

説明: このメッセージは、*id2* に固有の総称データ・セット・プロファイルの所有者を *id1* から *id2* に変更するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度: 04

CKR0340 新規モデル DATASET プロファイル *dsn* の所有者 *id1* を置き換えます - *id2* を作成します (**Replace owner *id1* of new model DATASET profile *dsn* - make *id2***)

説明: このメッセージは、*id2* に固有のモデル・データ・セット・プロファイルの所有者を *id1* から *id2* に変更するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度: 04

CKR0341 テープ DATASET プロファイル *volser dsn* の *id* のコピーはサポートされません (**Unsupported copy *id* for tape DATASET profile *volser dsn***)

説明: このメッセージは、ユーザー固有またはグループ固有の個別プロファイルをコピーするコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されなかったことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度: 08

CKR0342 非 VSAM DATASET プロファイル *volser dsn* の *id* のコピーはサポートされません (**Unsupported copy *id* non-VSAM DATASET profile *volser dsn***)

説明: このメッセージは、ユーザー固有またはグループ固有の個別プロファイルをコピーするコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されなかったことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。COPY が名前変更操作の準備として発行された場合、データ・セットの RENAME は、個別プロファイルの名前変更を自動的に実行します。

重大度: 08

CKR0343 VSAM DATASET プロファイル *volser dsn* の *id* のコピーはサポートされません (**Unsupported copy *id* for VSAM DATASET profile *volser dsn***)

説明: このメッセージは、ユーザー固有またはグループ固有の個別プロファイルをコピーするコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されなかったことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。COPY が名前変更操作の準備として発行された場合、データ・セットの RENAME は、個別プロファイルの名前変更を自動的に実行します。

重大度: 08

CKR0344 プロファイル *class key* のメンバーの *id* のコピーはサポートされません
(**Unsupported copy id for member of profile class key**)

説明: このメッセージは、示されたプロファイルのメンバー・リスト内のユーザー固有項目の関数をコピーするコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されなかったことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度: 08

CKR0345 コマンド入力で暗黙指定されたグループはユーザーです - *id* (**Group implied in command input is a user - id**)

説明: このメッセージは、ID *id* がグループであることを暗黙指定するコマンドが指定されたことを示します。しかし、*id* は、RACF データベース内でユーザー ID として定義されています。ほとんどのコマンドは、これ以上処理されません。

重大度: 12

CKR0346 コマンド入力で暗黙指定されたユーザーはグループです - *id* (**User implied in command input is a group - id**)

説明: このメッセージは、ID *id* がユーザー ID であることを暗黙指定するコマンドが指定されたことを示します。しかし、*id* は、RACF データベース内でグループとして定義されています。ほとんどのコマンドは、これ以上処理されません。

重大度: 12

CKR0347 *event* 所有者 *id1* を *id2* にリソース *class key* 内で置き換えます (**event owner id1 by id2 in resource class key**)

説明: このメッセージは、*id2* に固有の一般リソース・プロファイルの所有者を *id1* から *id2* に変更するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY コマンドの結果として発行されます。

重大度: 04

CKR0348 *parameter* は **TOUSER** の後にある必要があります (**parameter must come behind TOUSER**)

説明: COPY または MOVE コマンド上のパラメーターの順序が無効です。示されたパラメーターは、TOUSER パラメーターの後でのみ有効です。

重大度: 12

CKR0349 *parameter* は **COPY** の後でのみ有効です (**parameter only valid behind COPY**)

説明: このパラメーターは、現行の MOVE または REMOVE コマンド上では無効であり、COPY コマンド上でのみ有効です。

重大度: 12

CKR0350 複合システム *complex [version]* 上で処理された許可/参照の数は *number* です (**Number of permits/references processed on complex [version] is number**)

説明: このメッセージは、ユーザーおよびグループに対する許可およびその他の参照が処理された数を示します。これは、ご使用のデータベースおよび処理された IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF コマンドの複雑度の測定のために使用できます。

重大度: 00

CKR0351 *event* グループ *name* 上の所有者 *identity - name* を作成します (**event owner identity on group name - make name**)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。所有者および上位グループ・フィールドは両方とも、ALG コマンドによって、示されたグループに変更されます。

重大度: 04

CKR0352 要求に従ってユーザー *id1* をグループ *id2* に追加します - **ADDUSER** を出力します (**Add user id1 to group id2 as requested - output ADDUSER**)

説明: このメッセージは、ユーザー ID *id1* をそのデフォルト・グループとなるグループ *id2* に追加するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY USER= コマンドの結果として発行されます。

重大度: 00

CKR0353 要求に従ってグループ *id1* をグループ *id2* に深さ *depth* で追加します - **ADDGROUP** を出力します (**Add group *id1* to group *id2* at depth *depth* as requested - output ADDGROUP**)

説明: このメッセージは、グループ *id1* を *id2* のサブグループとして追加するコマンドが CKRCMD ファイル内に生成されたことを示します。このメッセージは、COPY USER= コマンドの結果として発行されます。

重大度: 00

CKR0354 *parameter* は **USER=** または **COPY PERMIT/GROUP=** の後でのみ有効です (***parameter* only valid behind USER= or COPY PERMIT/GROUP=**)

説明: このパラメーターは現行の MOVE または REMOVE コマンド上では無効であるか、あるいはパラメーターの順序が無効です。

重大度: 12

CKR0355 **PERMIT/USER/GROUP/NOTIFY** は、コマンドごとに 1 回出現できる相互に排他的なオペランドです (**PERMIT/USER/GROUP/NOTIFY are mutually exclusive operands that can occur once per command**)

説明: 示されたオペランドは、MOVE、REMOVE、または COPY コマンドごとに 1 つのみ許可されます。

重大度: 12

CKR0356 要求によってすべての接続が省略されるため、要求されたユーザー *userid* を追加しません - **TOGROUP** を指定してください (**Not adding user *userid* as requested because all connects omitted by request - specify TOGROUP**)

説明: このメッセージは、ユーザー *userid* に対して COPY 要求が指定されたが、要求によって (例えば、FROMGROUP パラメーターまたは SELECT コマンドを使用して) すべての接続が省略されるため、ユーザーを追加できなかったことを示します。ユーザー ID を追加するには、少なくとも 1 つの接続グループが必要です。

重大度: 12

CKR0357 プロシージャ名はユーザー ID ではありません - デフォルトを使用します *procname volume dsn* システム *system subsystem* (**Procedure name not a userid - uses default *procname volume dsn system system subsystem***)

説明: このメッセージは、ボリューム *volume* 上のデータ・セット *dsn* にある JCL を持つシステム *system* 上のサブシステム *subsystem* の開始プロシージャ *procname* に関するものです。このメッセージは、総称項目 "*" = を通じて開始プロシージャ・テーブル内で暗黙指定されたユーザー ID が、システム *system* 上の RACF データベース内で定義されていないため、デフォルト RACF ユーザー (USER=*) を使用して実行される開始タスクを識別します。これは正しい操作であることがあります (タスクが、アクセスされるデータ・セットの UACC よりも上位のアクセス権を必要としない場合)。その一方で、この権限を使用して (必要な権限なしで) 開始された場合に失敗する多数のプロシージャが識別されることがよくあります。デフォルトのユーザー ID に関するすべてのメッセージを抑止するには、SUPPRESS ID=* (ICHRIN03 の場合) および SUPPRESS ID=+++++++ (STARTED クラスの場合) をコマンド入力に追加します。このメッセージのみを抑止するには、SUPPRESS MSG=357 をコマンド入力に追加します。

重大度: 00

CKR0358 **ICHRIN03** 総称項目は特権ありです *sys* 項目 "*procname userid grpname*" (**ICHRIN03 generic entry is privileged *sys* Entry "*procname userid grpname*"**)

説明: このメッセージは、示されたシステム *sys* 上の開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 の機能が望ましくないことを示します。総称項目には特権属性があり、プロシージャ・ライブラリーに新規に追加されたすべての開始タスクの実行時に、アクセス制御決定を監査なしでバイパスできます。通常、この属性は、いくつかの選択されたタスクでのみ必要とされる属性であり、ほとんどすべての開始タスクで必要とされる属性ではありません。

重大度: 08

CKR0359 **ICHRIN03** 総称項目はトラステッドです *sys* 項目 "*procname userid grpname*" (**ICHRIN03 generic entry is trusted *sys* Entry "*procname userid grpname*"**)

説明: このメッセージは、示されたシステム *sys* 上の開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 の機能が望

ましくないことを示します。総称項目にはトラステッド属性があり、プロシージャー・ライブラリーに新規に追加されたすべての開始タスクの実行時に、アクセス制御決定をバイパスできます。通常、この属性は、いくつかの選択されたタスクでのみ必要とされる属性であり、ほとんどすべての開始タスクで必要とされる属性ではありません。

重大度: 08

CKR0360 **GROUP** は **MOVE** の後では無効です
(**GROUP invalid behind MOVE**)

説明: このパラメーターは、MOVE コマンド上では無効です。ユーザーを移動するか、許可または通知を置き換えるには、USER、PERMIT、または NOTIFY を使用します。

重大度: 12

CKR0361 **MOVE USER/PERMIT** では
TOGROUP が必要です (**TOGROUP**
required with MOVE USER/PERMIT)

説明: パラメーター TOGROUP が、MOVE コマンドから欠落しています。ユーザーを移動する先のグループを指定するには、このパラメーターを使用します。

重大度: 12

CKR0362 ユーザー ID *userid* の削除は要求されて
いませんが、すべての接続の削除が暗黙指
定されています (**Delete of userid *userid***
not requested, but removal of all
connects implied)

説明: ユーザー ID およびグループの REMOVE または MOVE コマンドの結果として、示されたユーザー ID のすべての接続が削除されます。しかし、このユーザー ID の REMOVE は要求されませんでした。ユーザー ID は、生成されたコマンドによって削除されません。ユーザーの TOGROUP を指定するか、ユーザーの REMOVE を追加するか、現行コマンドを変更することができます。ISPF インターフェースを使用して実行するときに、'Delete all USERS connected to GROUP' オプションを使用することもできます。

重大度: 12

CKR0363 *parameter* は **PERMIT=** の後でのみ有効
です (**parameter only valid behind**
PERMIT=)

説明: 示されたパラメーターは現行コマンド上では無効

であるか、あるいはパラメーターの順序が正しくありません。

重大度: 12

CKR0364 セキュリティー・レベル *nn* の名前が重
複しています。"*name1*" および "*name2*"、
複合システム *complex version* (**Duplicate**
name for security level *nn* "*name1*" and
"*name2*" complex *complex version*)

説明: セキュリティー・レベルの名前を定義するクラス SECDATA 内の SECLEVEL プロファイルのメンバー・リストに、同じレベルに対する複数の名前が含まれています。これは、データベースに複数の SECLEVEL プロファイルがある場合に発生することがあります。

重大度: 20

CKR0365 複合システム *complex version* 内でセキ
ュリティー・カテゴリー *nn* の名前が重複
しています。"*name1*" および "*name2*"
(**Duplicate name for security category**
***nn* "*name1*" and "*name2*" in complex**
complex version)

説明: セキュリティー・カテゴリーの名前を定義するクラス SECDATA 内の CATEGORY プロファイルのメンバー・リストに、カテゴリーの同じ内部表現に対する複数の名前が含まれています。これは、データベースに複数の CATEGORY プロファイルがある場合に発生することがあります。

重大度: 20

CKR0366 以下のプロファイルにはデータ・ルールが
指定されていません - 現在の設定が使用
されます: (**The following profiles have**
no data rule specified - current
settings used:)

説明: このメッセージは、コロンの後に続くプロファイルがソースと現行データベースの両方に存在し、それらに含まれているデータが異なることを示します。しかし、データ・ポリシーを規定するマージ規則が見つかりませんでした。

重大度: 08

CKR0367 以下のプロファイルには権限ルールが指定
されていません - ソースの設定が使用さ
れます: (**The following profiles have**
no auth rule specified - source
settings used:)

説明: このメッセージは、コロンの後に続くプロファイルがソースと現行データベースの両方に存在し、それらに含まれているセキュリティ関連データが異なることを示します。しかし、権限ポリシーを規定するマージ規則が見つかりませんでした。

重大度: 08

CKR0368 以下のユーザーには権限ルールが指定されていません - 取り消し状況は予測不能です: **(The following users have no auth rule specified - revoke status unpredictable)**

説明: このメッセージは、コロンの後に続くプロファイルがソースと現行データベースの両方に存在し、それらに含まれているセキュリティ関連データが異なることを示します。しかし、権限ポリシーを規定するマージ規則が見つかりませんでした。

重大度: 08

CKR0369 *number* 個のログオン ID レコードが読み取られました (*complex [version]*) (*number logonid records read for complex [version]*)

説明: このメッセージは、ACF2 ログオン ID データベースでのみ発行され、読み取られたレコードの数を示します。

重大度: 00

CKR0370 *field* への間接フィールド参照はサポートされません、*ddname* の行 *number* **(Indirect field reference to field is not supported at ddname line number)**

説明: 示された間接参照 *from:field* はサポートされません。

重大度: 12

CKR0371 : 演算子によるフィールド参照は LIST コマンドでは無効です、**SORTLIST/DISPLAY** を使用してください - *type "value"*、*ddname* の行 *number* **(Field reference by : operator invalid on LIST command, use SORTLIST/DISPLAY - type "value" at ddname line number)**

説明: NEWLIST TYPE=RACF 内で、間接フィールド参照 *from:field* は、SORTLIST および DISPLAY コマンドでのみ有効であり、LIST コマンドでは無効です。

重大度: 12

CKR0372 フォーマット **SECLEVEL** および **CATEGORY** は LIST コマンドでは無効です、**SORTLIST** を使用してください - *type "value"*、*ddname* の行 *number* **(Formats SECLEVEL and CATEGORY invalid on LIST command, use SORTLIST - type "value" at ddname line number)**

説明: セキュリティ・レベルまたはカテゴリーのフォーマットは、SORTLIST および DISPLAY コマンドでのみ有効であり、LIST コマンドでは無効です。

重大度: 12

CKR0373 スキャン演算子: は "**=**" または "**<>**" がある場合にのみ有効です - *ddname* の行 *number* の *delimiter "value"* の前 **(Scan operator : only valid with "=" or "<>" - before delimiter "value" at ddname line number)**

説明: フィールド値スキャン演算子: は、フィールド値コンパレータが等号または不等号を示す場合にのみ有効です。

重大度: 12

CKR0374 スtring・タイプ *t* のフィールド・スキャンはサポートされません **(Field scan for string type t is not supported)**

説明: 文字スリングのみをスキャンできます。

重大度: 12

CKR0375 フィールド *name* 値 "*value*" の選択の変換エラー、*ddname* の行 *number* **(Conversion error for selection of field name value "value" at ddname line number)**

説明: 示された値は、フィールド *name* で必要な内部フォーマットに変換できませんでした。

重大度: 12

CKR0376 フィールド *name* で修飾子 *modifier* が無効です、*ddname* の行 *number* **(Modifier modifier invalid for field name at ddname line number)**

説明: 出力修飾子 (例えば、EXPLODE または SCOPE)

は、フィールド *name* または出力フォーマットでは使用できません。

重大度: 12

CKR0377 **TTR** 変換ルーチンが *ddname volser dsname* の *track Rn* で失敗しました
(**TTR Conversion routine fails on track Rn for ddname volser dsname**)

説明: このメッセージは、EXCP モード処理中の失敗を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

このメッセージは、コマンド BDAMQSAM を入力に追加することにより回避できます。

重大度: 20

CKR0378 **PROFLIST** は、以前に定義された **NEWLIST NAME=** パラメーターを参照する必要があります (**PROFLIST must refer to a previously defined NEWLIST NAME= parameter**)

説明: PROFLIST は、先行する NEWLIST の名前をその値として受け入れます。渡された値は、NEWLIST の NAME として定義されていませんでした。

重大度: 12

CKR0379 *option* は **NEWLIST** コマンドの有効範囲内でのみ有効です (**option only valid in scope of a NEWLIST command**)

説明: 示されたオプションは、NEWLIST に続くコマンドでのみ指定できます。

重大度: 12

CKR0380 ユーザー *userid* のアクションが要求されましたが、ユーザー ID が定義されていません (**Action for user userid requested, but userid not defined**)

説明: ユーザーが存在しないため、示されたユーザーの REMOVE、MOVE、または COPY コマンドを正常に完了できません。タイプ入力エラーまたはデータベースの一部を除外する SELECT ステートメントがないかどうかを確認してください。

重大度: 12

CKR0381 グループ *grpid* のアクションが要求されましたが、グループが定義されていません
(**Action for group grpid requested, but group not defined**)

説明: グループが存在しないため、示されたグループの REMOVE または COPY コマンドを正常に完了できません。タイプ入力エラーまたはデータベースの一部を除外する SELECT ステートメントがないかどうかを確認してください。

重大度: 12

CKR0382 *name* フィールドは **LIST** コマンドでは無効です、**SORTLIST** を使用してください
- *ddname* の行 *number* (**name field invalid on LIST command, use SORTLIST - at ddname line number**)

説明: フィールド *name* は、SORTLIST および DISPLAY コマンドでのみ有効であり、LIST コマンドでは無効です。

重大度: 12

CKR0383 複合システム *complex [version]* の RACF データベースをユーザー ID *userid* なしで処理するには、非 **PADS** アクセス権が必要です (**Non-PADS access required to process RACF database of complex complex [version] without your userid**)

説明: 制限アクセス・モードの場合、処理するセキュリティ・データベースに、現行システム上のユーザー ID と同じユーザー ID が含まれている必要があります。示された複合システムのセキュリティ・データベース内で、そのようなユーザー ID が見つかりませんでした。実行は終了します。

重大度: 12

CKR0383 複合システム *complex [version]* の ACF2 データベースをログオン ID *logonid* なしで処理するには、無制限アクセス権が必要です (**Unrestricted access required to process ACF2 database of complex complex [version] without your logonid**)

説明: 制限アクセス・モードの場合、処理するセキュリティ・データベースに、現行システム上のログオン ID と同じログオン ID が含まれている必要があります。示された複合システムのセキュリティ・データベース内で、そのようなログオン ID が見つかりませんでした。実行は終了します。

重大度: 12

CKR0384 制限フィールド *field* にアクセスするには、非 **PADS** 実行が必要です
(**Non-PADS run required to access restricted field field**)

説明: このメッセージは、プログラムが制限モードまたは PADS モードで作動しているため、通常は RACF コマンドによって表示できないフィールドへのアクセスを要求できないことを示します。この状態は、構文エラー (重大度 12) と見なされます。ただし、ALLOWRESTRICT 修飾子によって、照会を実行する必要があることが明示されている場合を除きます。後者の場合は、示されたフィールドに対して出力が生成されないことを知らせる警告 (重大度 4) としてこのメッセージが発行されます。

重大度: 04 または 12

CKR0385 *event* メンバー *resource(1-33) class profile*
(*event member resource(1-33) class profile*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。これは、ID が、グループ化クラス内の一般リソース・プロファイルの個別メンバー内で見つかったことを示します。メンバー・リソース名の最初の 33 文字のみが表示されます。この状態を解決するために、RALT DELMEM(...()) コマンドまたは RALT ADDMEM(...()) コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0386 *event* メンバー *resource(1-33) class profile*
(*event member resource(1-33) class profile*)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。これは、ID が、グループ化クラス内の一般リソース・プロファイルの総称メンバー内で見つかったことを示します。メンバー・リソース名の最初の 33 文字のみが表示されます。この状態を解決するために、RALT DELMEM(...()) コマンドまたは RALT ADDMEM(...()) コマンドが生成されます。

重大度: 04

226 メッセージ・ガイド

CKR0387 *event* メンバー *resource(1-33) GLOBAL DATASET (event member resource(1-33) GLOBAL DATASET)*

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Remove** になり、COPY PERMIT/USER/GROUP コマンドが原因で *event* が **Copy** または **Replace** になった場合に発行されます。これは、ID が、GLOBAL DATASET プロファイルのメンバーとして存在するデータ・セット名内で見つかったことを示します。メンバー・リソース名の最初の 33 文字のみが表示されます。この状態を解決するために、RALT DELMEM(...()) コマンドまたは RALT ADDMEM(...()) コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0388 ISPLINK モジュールが欠落しています、変数が使用できません - *varname*、*ddname* の行 *number* (**ISPLINK module missing, variable not available - varname at ddname line number**)

説明: IMBED または INCLUDE ステートメントが ISPF 変数からの入力を実行しましたが、ISPF インターフェイス・モジュール ISPLINK が見つかりませんでした。

重大度: 12

CKR0389 ISPLINK モジュールが欠落しています、ISPF 機能を実行できません (**ISPLINK module missing, no ISPF functions possible**)

説明: コマンドが ISPF 機能を実行しましたが、ISPF インターフェイス・モジュール ISPLINK が見つかりませんでした。BLDL にも見つからず、CKRCARLA ロード・モジュールにもリンクされていません。

重大度: 12

CKR0390 アクティブな ISPF 環境がありません、ISPF 機能は実行できません (**No active ISPF environment, no ISPF functions possible**)

説明: コマンドが ISPF 機能を実行しましたが、ISPLINK 戻りコードは、ISPF コマンドを実行できないことを示しています。

重大度: 12

CKR0391 重複する NEWLIST NAME=*name*、*ddname* の行 *number*、*ddname2* の行 *number2* で既に定義されています
(Duplicate NEWLIST NAME=*name* at *ddname* line *number*, already defined at *ddname2* line *number2*)

説明: 2 つの NEWLIST が同じ NAME=*name* パラメーターを持っています。これは許可されません。

重大度: 12

CKR0392 NEWLIST の有効範囲内の UNLOAD では、DDNAME パラメーターが必要です
(DDNAME parameter required on UNLOAD in the scope of a NEWLIST)

説明: UNLOAD コマンドが NEWLIST コマンドの有効範囲内で使用される場合、出力ファイルは、DDNAME= パラメーターまたはそれと同等の (DD=、FILE=、F=) を使用して指定する必要があります。

重大度: 12

CKR0393 DEBUG オプションが無効です - *option*
(Invalid DEBUG option - *option*)

説明: 無効な DEBUG オプションが使用されました。

重大度: 12

CKR0394 1 つのサブシステム内で 16 個を超える SMF 出口はサポートされません - システム *system-name* (More than 16 SMF exits per subsystem not supported - system *system-name*)

説明: システム *system-name* には、1 つ以上の SMF サブシステム内で 16 個を超える SMF 出口があります。これは MVS および zSecure の現行バージョンではサポートされません。

重大度: 16

CKR0395 修飾子 WRAP を *format* フォーマットと組み合わせることはできません - フィールド *name*、*ddname* の行 *number*
(Modifier WRAP cannot be combined with the *format* *format* - field *name* at *ddname* line *number*)

説明: このメッセージは、WRAP または WORDWRAP の使用でのエラーを示します。これらの

出力修飾子は、示された出力フォーマットの列では使用できません。

重大度: 12

CKR0396 総数 *nn* 個の項目を含む *nn* 個のルール・レコードが読み取られました
(complex [*version*]) (*nn* rule records containing a total of *nn* entries read for complex [*version*])

説明: このメッセージは、ACF2 ルール・データベースでのみ発行され、読み取られたレコードの数およびそれらのレコード内に存在したルール行の総数を示します。

重大度: 00

CKR0397 フィールド *name* (長さ *field-length*) が、行の長さ *line-length* に合わせて *new-length* に切り捨てられました、*ddname* の行 *number* (Field *name* of length *field-length* truncated to *new-length* to fit in line length *line-length* at *ddname* line *number*)

説明: このメッセージは、フィールド *name* が出力行に入りきらなかったため、行の長さに合わせて切り捨てられたことを示します。これはエラー状態を示すものではありません。

重大度: 00

CKR0398 *type "value"* の前で、マージされた NEWLISTS の最大数 255 を超えています、*ddname* の行 *number* (Maximum of 255 merged NEWLISTSs exceeded before *type "value"* at *ddname* line *number*)

説明: MERGELIST と ENDMERGE のペアの間の NEWLIST ステートメントの数が 255 を超えています。NEWLIST の数を少なくするか、レポートをいくつかの MERGELIST/ENDMERGE ペアに分割してください。

重大度: 12

CKR0399 SUMMARY は、NEWLIST 本体の最後のコマンドである必要があります、NEWLIST ごとに 1 つのみ許可されます
(SUMMARY must be the last command in a NEWLIST body, only one per NEWLIST)

説明: このメッセージは、同じ NEWLIST 内で

SUMMARY または DSUMMARY コマンドの後に、LIST ファミリーからの別のコマンドがあったことを示します。これは許可されません。

重大度: 12

メッセージ 400 から 499

CKR0400 **AND** では前の文節が必要です。(AND requires prior clause)

説明: 入力データで構文エラーが検出されました。プログラムでは、SELECT または EXCLUDE コマンドの AND/OR リストで AND が検出されましたが、前の文節がないと判断されています。

重大度: 12

CKR0401 **OR** では前の文節が必要です。(OR requires prior clause)

説明: 入力データで構文エラーが検出されました。プログラムでは、SELECT または EXCLUDE コマンドの AND/OR リストで OR が検出されましたが、前の文節がないと判断されています。

重大度: 12

CKR0402 **NOT** 節には *type* 「*value*」ではなく括弧が必要です。*ddname*、行 *number*。(NOT clause expects parentheses instead of *type* "*value*" at *ddname* line *number*)

説明: このメッセージは、プログラムが SELECT または EXCLUDE コマンドで前のトークンを NOT と解釈し、節を括弧で囲む必要があることを示します。

重大度: 12

CKR0403 **LIKELIST** は、前に定義されている **NEWLIST** *type=type* **NAME=** パラメーターを参照する必要があります。(LIKELIST must refer to a previously defined NEWLIST *type=type* **NAME=** parameter)

説明: このメッセージは、同じタイプ (*type* で示されているタイプ) の既存の NEWLIST 名を参照していない LIKELIST が使用されたことを示します。LIKELIST ターゲットは、入力データで前に指定された、同じタイプの NEWLIST の名前である必要があります。参照されている NEWLIST 内に、LIST、SORTLIST/DISPLAY、または (D)SUMMARY コマンドが必要です。このメッセージを抑止すると、先行する NEWLIST を参照していないすべての LIKELIST 節は、すべてのレコードを選択します。

重大度: 12

CKR0404 *value* ではなく有効な年の値が必要です。(Expected valid year value instead of *value*)

説明: このメッセージは、範囲外の SELECT または EXCLUDE コマンドの YEAR キーワードの値を指定したことを示します。有効な年の値は、0 から 99 (暗黙的に 1900 が加算される) の範囲か、1900 以上の値です。

重大度: 12

CKR0405 *type* での範囲エラー (Range error in *type*)

説明: このメッセージは、SELECT または EXCLUDE コマンドで、無効な *type* の範囲 (コロンで区切った 2 つの値) を指定したことを示します。範囲の開始値は、終了値以下である必要があります。唯一の例外は、曜日の範囲です。曜日の範囲では、開始値と終了値が異なる値である必要があります (曜日の範囲ではラップア라운드を処理できます)。

重大度: 12

CKR0406 ストリング *string* の変換中のエラー (Error during conversion of string *string*)

説明: このメッセージは、ストリング *string* を、16 進数、10 進数、または 2 進数から変換する際にエラーが発生したことを示します。指定した変換タイプで無効な文字が *string* に含まれているかどうかを確認してください。

重大度: 12

CKR0407 *value* ではなく有効な日付の値が必要です。(Expected valid monthday value instead of *value*)

説明: このメッセージは、SELECT または EXCLUDE コマンドで MONTHDAY キーワードの範囲外の値を指定したことを示します。有効な日付値は、1 から 31 の範囲です。

重大度: 12

CKR0408 不明なイベント名 *name* (Unknown event name *name*)

説明: このメッセージは、SELECT または EXCLUDE コマンドで EVENT キーワードの不明なイベント名を指定したことを示します。名前イベントを指定するか、イベント番号を使用してください。

重大度: 12

CKR0409 サブstring選択は、=、<>、および != のみ許可されます (**Substring selection only allowed with =, <> and !=**)

説明: このメッセージは、<、>、<=、または >= の関係演算子がサブstring・スキャン (関係演算子の後のコロン「:」で指定) で使用されたことを示します。これは許可されません。サブstring・スキャンには、等価演算子と不等価演算子のみが定義されています。

重大度: 12

CKR0410 値リストは、=、<>、および != のみ許可されます (**Value list only allowed with =, <> and !=**)

説明: このメッセージは、<、>、<=、または >= の関係演算子に続いて、値リストの開始を示す左括弧が指定されたことを示します。これは許可されません。値リストには、等価演算子と不等価演算子のみが定義されています。

重大度: 12

CKR0411 *value* ではなく有効な時間の値が必要です (**Expected valid time value instead of value**)

説明: このメッセージは、SELECT または EXCLUDE コマンドの TIME キーワードの範囲外の値を指定したことを示します。有効な時間値は 0000 から 2359 の範囲です。60 以上の分の値は許可されません。注意: TIME=10:00 を指定すると、0010 から 0000 の (無効な) 時刻範囲が指定されることになります。代わりに、TIME=1000 を使用してください。

重大度: 12

CKR0412 stringが、規定のサイズ *value* を超えています (**String longer than expected size value**)

説明: このメッセージは、SELECT または EXCLUDE コマンドのこのキーワードに許可される長さを超えるstring値を指定したことを示します。このキーワードに許可される最大長は、メッセージで示されています。

重大度: 12

CKR0413 FIELDVAL タイプ *type* では、リストは許可されません (**List not allowed for FIELDVAL type type**)

説明: このメッセージは、NEWLIST TYPE=SMF FIELDVAL タイプ MASK1 または MASK2 で値リストを使用したことを示します。これらの FIELDVAL タイプは、単一値の場合のみ使用できます。

重大度: 12

CKR0414 *type* の空リストが無視されました (**Ignored empty list of type**)

説明: この警告メッセージは、SELECT または EXCLUDE コマンドにキーワードは指定されているが、*type* 値または値リストが指定されていないことを示します。zSecure はキーワードを無視し、入力処理を続行します。リストに無効値のみが含まれる場合にも、このメッセージが発生することがあります。

重大度: 00

CKR0415 *eventname* の構文解析中に、重複イベント *event* が検出されました (**Duplicate event event while parsing eventname**)

説明: 「select event<>」節の構文解析中に、示されている *event* が 2 回指定されていることが検出されました。2 番目に指定されていたのは *eventname* でした。多くの場合、これは、イベントが名前と番号の両方で指定されたか、事前定義イベント・グループの一部として指定された (ALLSVC など) 場合に発生します。競合している他の *eventname* 指定が不明な場合、*eventname* 指定を節の先頭に移動して、照会を再実行してください。この結果発行される CKR0415 メッセージで、競合している他の *eventname* が示されます。重複指定が意図的なものである場合 (event<>(ALLSVC(success),RACINIT (warning)) など)、2 つのうち一方を、選択内容における別の event<> 節に移動する必要があります。

重大度: 12

CKR0416 重複したタイプ番号 *value* (**Duplicate type number value**)

説明: このメッセージは、SELECT または EXCLUDE コマンドの TYPE キーワードの値リストで、タイプ・コードが 2 回使用されていることを示します。

重大度: 12

CKR0417 *ddname* 行 *number* の *type* 「*value*」の前に (または =, ^= または <> の関係演算子が必要です (**Expected (or =, ^= or <> relational operator before type "value" at ddname line number**))

説明: このメッセージは、プログラムが、SELECT または EXCLUDE コマンドで、関係演算子 =, ^=、または <>、あるいは値リストの左括弧を検出しなかったことを示します。より大/より小を示す演算子、およびフィールド比較演算子は、ここでは許可されません。

重大度: 12

CKR0418 SMF 入力が終了しました。SMFIN による制限値に達しました。(**SMF input terminated, limit SMFIN reached**)

説明: このメッセージは、LIMIT コマンドの SMFIN パラメーターにより定義された入力制限値に達したため、zSecure Audit が SMF レコードの読み取りを停止したことを示します。このメッセージは単なる通知であり、エラーを示すものではありません。

重大度: 00

CKR0419 SMF 入力が終了しました。すべての OUTLIM による制限値に達しました。(**SMF input terminated, all OUTLIM limits reached**)

説明: このメッセージは、すべての TYPE=SMF の NEWLISTS について、NEWLIST コマンドの OUTLIM パラメーターで定義された出力制限値に達したため、zSecure Audit が SMF レコードの読み取りを停止したことを示します。

重大度: 00

CKR0420 警告: 複合システム *complex* について、ALLOC NJENODE= *node1* が CKFREEZE ノード *node2* と異なります。(**Warning: ALLOC NJENODE= *node1* differs from CKFREEZE node *node2* for complex *complex***)

説明: 実際のノードではなく、ALLOC ステートメント上の NJE ノードが使用されます。これは、ノードが、ALLOC ステートメントで指定されている名前而现在呼び出されていることが確実にない限り、コマンドが生成された対象のノードに、コマンドがルーティングされないことを意味します。

重大度: 00

CKR0421 パターン *pattern* は許可されません。*ddname*、行 *number*。(**Pattern pattern not allowed at ddname line number**)

説明: このメッセージは、ワイルドカード文字が含まれるストリングが使用されており、これは許可されないことを示します。例えば、パターン検索のサブストリング・スキャンやフィールドではサポートされません。

重大度: 12

CKR0422 目的の節に *operator* が続いています。(**Expected clause following operator**)

説明: このメッセージは、選択節が *operator* で終了していることを示します。*operator* は、AND または OR です。AND または OR には、別の選択節を続ける必要があります。

重大度: 12

CKR0423 *type* 値のリストは許可されません。(**List of type values not allowed**)

説明: このメッセージは、SELECT または EXCLUDE コマンドの *type* (TIME または DATETIME) キーワードで値リストが使用されていることを示します。これは許可されません。代わりに、値の範囲 (コロンで区切った 2 つの値) か、OR で連結された複数の節を使用してください。

重大度: 12

CKR0424 警告: AND/OR の使用法が不明確です。括弧を使用して、意図するグループ化を指定してください。(**Warning: Ambiguous AND/OR usage, please use parentheses to indicate desired grouping**)

説明: このメッセージは、SELECT/EXCLUDE または WHERE 節が不明確であったため、左から右に解決されることを示します。これはユーザーの意図と異なる可能性があります。AND/OR 節の両側に括弧を使用して、目的のグループ化を指定してください。

重大度: 04

CKR0425 処理対象のフィールド「*field-name*」は、NEWLIST TYPE=*list-type* では無効です。*ddname*、行 *number*。(**Field "field-name" to be processed not valid for NEWLIST TYPE=*list-type* at ddname line number**)

説明: LIST、SORTLIST、DISPLAY、または

SUMMARY コマンドで要求した出力フィールドが、タイプ *list-type* の NEWLIST に対して定義されていません。スペルを確認してください。*list-type* と *deftype* が同じである場合、それ自体は *newlist* タイプではないが、DEFTYPE ステートメントで定義されている *newlist* でエラーが発生したことを示します。

重大度: 12

CKR0426 **CKASMF** における不明な記述子タイプ
hex-value (**Unknown descriptor type**
hex-value in CKASMF)

説明: このメッセージは、SMF レコード内のフィールドの選択において内部エラーが発生したことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR0427 *nn* SMF レコードが読み取られ、*nn*
SMF レコードが選択されました
(*nn*%). (*nn* SMF records read, *nn* SMF
records selected (*nn*%))

説明: このメッセージは、読み取られた SMF レコード数と、選択されたレコード数および割合を示します。

重大度: 00

CKR0428 [*reason*] 入力の **OPEN** が失敗しました。
ddname volser datasetname. ([*reason*]
input OPEN failed *ddname volser*
datasetname)

説明: このメッセージは、*ddname* が割り振られたが、入力のために開くことができなかったことを示します。*ddname* の DD ステートメントを確認し、エラーを修正してジョブを再実行依頼してください。示されている *type* は、ファイルが必要とされる *newlist* タイプです。これは、**SMF**、または **DEFTYPE** ステートメントで定義されている *newlist* タイプの名前です。**DEFTYPE** タイプのファイルの場合、ファイル内容の自動的な範囲処理はサポートされません。そのため、ファイルに対する無条件アクセス権限が必要です。ファイルが、PADS を利用してのみ読み取ることができる場合は、そのことが理由により示されます。

重大度: 16

CKR0429 SMF アンロードの **OPEN** が失敗しました。
ddname volser datasetname. (**SMF**
unload OPEN failed *ddname volser*
datasetname)

説明: このメッセージは、*ddname* が割り振られたが、出力のために開くことができなかったことを示します。*ddname* の DD ステートメントを確認し、エラーを修正してジョブを再実行依頼してください。

重大度: 16

CKR0430 *type* 入力ファイルを開くことができません
でした。(**No** *type* **input files could**
be opened)

説明: このメッセージは、DD 名が割り振られていないか、割り振られているどの DD 名も入力用に開くことができなかったために、*newlist* タイプ *type* の入力ファイルを開くことができなかったことを示します。DD ステートメントを確認し、ジョブを再実行依頼してください。示されている *type* は、**SMF**、または **DEFTYPE** ステートメントで定義されている *newlist* タイプの名前です。

ALLOCATE SMF ACTIVE が指定され、アクティブな SMF 記録なしでシステムが実行された場合にも、このメッセージが発生することがあります。

重大度: 12

CKR0431 ビット・フィールド *string* の変換中のエ
ラー (**Error in conversion of bitfield**
string)

説明: このメッセージは、ビット・フィールドの変換中にエラーが発生したことを示します。ビット・フィールドは、文字 0、1、および「.」(無指定) で構成できません。

重大度: 12

CKR0432 フィールド・タイプ *type* は、フィールド
field ではサポートされません。(**Field**
type *type* **not supported for field** *field*)

説明: このメッセージは、示されている *field* が、**SELECT/EXCLUDE** 処理に使用されたことを示します。このフィールドは、現行の **NEWLIST** タイプでの出力のみに使用できます。このエラー・メッセージが発生する可能性がある **NEWLIST** タイプは、ストリング、ビット・フィールド、および数値の選択をサポートします。時間帯など、一部のフィールド・タイプは、出力のみに使用できます。

重大度: 12

CKR0433 前に NEWLIST が指定されていない SUMMARY および LIST タイプ・コマンドは、*program* 製品コード *code* ではサポートされません (SUMMARY and LIST type commands without a prior NEWLIST are not supported for *program product code code*)

説明: プログラムが RACF データベースを読み取ることができる設定になっていない限り、SUMMARY、DSUMMARY、DISPLAY、LIST、および SORTLIST コマンドは、NEWLIST のコンテキスト内でのみ有効です。

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM 製品の使用中にこのエラーが発生する場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKR0434 *ddname* の行 *number* では、*type* の「*value*」ではなく 10 進数値が必要でした (Expected decimal value instead of *type "value" at ddname line number*)

説明: このメッセージは、10 進数の値が予期される場所で 10 進数以外の値が検出されたことを示します。

重大度: 12

CKR0435 値 *number* (10 進数) が、最大値 *maximum* を超えています。 (Value *number* (decimal) above maximum of *maximum*)

説明: このメッセージは、大きすぎてフィールドに収まらない数値が読み取られたことを示します。zSecure は、10 進数 *number* を読み取ったか、または 10 進数値 *number* を持つ引用符付きストリングを (16 進数または 2 進数から) 変換しました。

重大度: 12

CKR0436 DDNAME キーワードの意味が変更されました。代わりに SMFDD を使用してください。*ddname*、行 *number*。 (Meaning of DDNAME keyword has changed, use SMFDD instead - at *ddname line number*)

説明: このメッセージは、照会で

NEWLIST TYPE=SMF キーワード DDNAME が使用されたことを示します。このキーワードの意味は変更されています。代わりに SMFDD を使用してください。

重大度: 12

CKR0437 ユーザー・アテンション要求により、SMF 入力が終了しました。 (SMF input terminated by user attention request)

説明: このメッセージは、ユーザーがアテンション・キーを押したために、NEWLIST TYPE=SMF の入力処理が終了したことを示します。既に処理されたレコードの出力が生成されます。

重大度: 00

CKR0438 SMF 入力 that 終了しました。メモリー不足です。 (SMF input terminated: out of memory)

説明: このメッセージは、プログラムでメモリー不足が発生したために、NEWLIST TYPE=SMF の入力処理が終了したことを示します。既に処理されたレコードの出力が生成されます。さらに入力処理を行うには、より制限的な SELECT/EXCLUDE ステートメントを作成するか、REGION サイズを増加させます。

重大度: 08 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR0439 ALLOW および LOG の PERMISSIONS は、PREVENT と同時に指定することはできません。 (PERMISSIONS of ALLOW and LOG are mutually exclusive with PREVENT)

説明: 少なくとも同じ PERMISSIONS キーワードでは、PREVENT のアクセス・レベルでの ACF2 データ・セット・アクセス規則の選択は、他のアクセス・レベルでの選択と組み合わせることはできません。

重大度: 12

CKR0440 選択/除外処理では、フィールド「*field-name*」は使用できません。代わりに「*field-name2*」を使用してください。 (Field '*field-name*' may not be used for select/exclude processing, use '*field-name2*' instead)

説明: このメッセージは、NEWLIST TYPE=SMF の選択節が、出力のみに使用できるフィールド *field-name* を使用しようとしたことを示します。場合によっては、代

わりのフィールド *field-name2* が提示されることがあります。

重大度: 12

CKR0441 比較演算では、フィールド「*field*」は使用できません。**(Field '*field*' may not be used in compare operations)**

説明: 示されている *field* は、NEWLIST TYPE=SMF でのフィールド間比較演算では使用できません。通常のフィールド値比較は許可されます。

重大度: 12

CKR0442 リソース削除: マイグレーション済み関連名 **MIGRAT *dsname* catalog (Resource deletion: Migrated related name MIGRAT *dsname* catalog)**

説明: このメッセージは、HSM MCDS 内に存在するマイグレーション済みデータ・セット名に、削除される高位修飾子があることを示します。ただし、これは別のデータ・セット名の関連名であり、通常は同じ最初の修飾子を持ちます。この名前のカatalog内の非 VSAM 項目は、ベース名の削除時に HSM によって自動的に削除されます。特定のコマンドは生成されません。

重大度: 00

CKR0443 *event appdat identity* 一般リソース・プロフィール *class key (event appdat identity general resource profile class key)*

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドが原因で *event* が **Undefined** になり、REMOVE PERMIT/USER コマンドが原因で *event* が **Remove** になった場合に発行されます。これは、削除対象の ID が APPLDATA フィールドにあることを意味します。このメッセージは、TMEADMIN クラスについてのみ発行されます。この状態を解決するために、プロフィール全体を削除する RDEL コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR0444 SUMMARY/DSUMMARY では ACL フィールドは無効です。USERID を使用してください。*ddname*、行 *number*。**(ACL field invalid on SUMMARY/DSUMMARY, use USERID - at *ddname* line *number*)**

説明: このメッセージは、特殊目的のフィールド ACL で要約を実行できないことを示します。

重大度: 12

CKR0444 SUMMARY/DSUMMARY では *field* フィールドは無効です。*ddname*、行 *number*。**(field field invalid on SUMMARY/DSUMMARY - at *ddname* line *number*)**

説明: このメッセージは、特殊目的のフィールド *field* で要約を実行してはならないことを示します。

重大度: 12

CKR0445 静的システム・シンボルの拡張が長すぎます: *hex* **(Expansion for static system symbol too long: *hex*)**

説明: このメッセージは、システム・シンボル・テーブルの予期しないレイアウトが検出されたことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0446 静的システム・シンボルの拡張がレコードを超えています: *hex* **(Expansion for static system symbol exceeds record: *hex*)**

説明: このメッセージは、システム・シンボル・テーブルの予期しないレイアウトが検出されたことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0447 静的シンボルの名前が長すぎます: *hex* **(Name of static symbol too long: *hex*)**

説明: このメッセージは、システム・シンボル・テーブルの予期しないレイアウトが検出されたことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0448 静的システム・シンボルの名前がレコードを超えています: *hex* (**Name of static system symbol exceeds record: hex**)

説明: このメッセージは、システム・シンボル・テーブルの予期しないレイアウトが検出されたことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0449 重複した静的システムシンボル定義: *var* は既に *val*。 *dupval* は無視されました。
(**Duplicate static system symbol definition: var already val ; dupval ignored.**)

説明: このメッセージは、重複したシステム・シンボル定義が検出されたことを示します。新しい値は無視されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0450 *type pads* ファイル *ddname volser dsn* の処理が開始されました。(**Started processing type pads file ddname volser dsn**)

説明: このメッセージは、SMF または Top Secret セキュリティ ATF 入力ファイル *ddname* の処理が開始されたことを示します。また、テキスト PADS による *pads* で、条件付きアクセスによりデータへのアクセスが許可されていることを示す場合もあります。その場合、zSecure Audit は、機能をユーザーの適用範囲に制限します。

重大度: 00

CKR0451 DD 名 *ddname* およびレコード番号 *recno* での SMF 処理 (**SMF processing at DDname ddname and RecNo recno**)

説明: このメッセージは、異常終了が発生した場合に出力されます。これは、異常終了時に処理されていたレコードの DD 名およびレコード番号を示します。

重大度: 00

CKR0452 以下のシステムについて、SMF レコードが処理されました。 *version complex-name system-name*、 *start-date start-time* から *end-date end-time note* まで。 (**SMF records were processed for the following systems: version complex-name system-name from start-date start-time to end-date end-time note**)

説明: SMF 処理が完了した後、この複数行メッセージが出力されます。これは、検出されたシステム ID ごとに、処理された最初のレコードおよび最後のレコードの日時を示します。SMF ID に関連付けられている CKFREEZE ファイルが存在しなかった場合、テキスト「(CKFREEZE ファイルがない)」とともに *note* が示されることがあります。*note* は、処理されたレコードの数を示す場合もあります。このメッセージは単なる通知であり、エラーを示すものではありません。

重大度: 00

CKR0453 静的システム・シンボル・テーブルがスキップされました: *num* 個の項目が要求されましたが、レコードが小さすぎます。
(**Static system symbol table skipped : num entries claimed, but record too small**)

説明: このメッセージは、システム・シンボル・テーブルの長さが、CKFREEZE レコードの長さとは適合しなかったことを示します。CKFREEZE データ・セットに対して、より大きい LRECL を指定して zSecure Collect を再実行してください。最大値になっている場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0454 SMFCACHE ジョブ・タグ・システムが有効ですが、意味がありません。無効にされました。(**SMFCACHE job tag system enabled but not useful - now disabled**)

説明: このメッセージは、ジョブ・タグ・システムを有効にしても意味がないため、オフになったことを示します。JOBID、USER、GROUP、および TERMINAL キーワードが、選択 (SELECT、EXCLUDE) または表示 (LIST、SORTLIST、DISPLAY) コマンドで使用されていませんでした。

重大度: 00

CKR0455 SMFCACHE は size KB を使用しましたが、skipped-number レコードをスキップする必要がありました。また、full-number ジョブ・タグのうち number について、cached-number レコードがまだキャッシュされています。(SMFCACHE used size KB but had to skip skipped-number records and still had cached-number records cached for number out of full-number job tags)

説明: このメッセージは、SMF 処理中にジョブ・タグ・システムがオンになったことを示します。また、使用されているメモリー量、キャッシュがフルであったためにスキップされたレコードの数、最終レコードの読み取り後に未完了のままになっていたレコードの数、未完了のジョブ・タグの数、およびジョブ・タグの全体数も出力されます。詳しくは、SMFCACHE コマンドを参照してください。未完了のままになっていたレコードおよびスキップされたレコードは、RACF 情報なしで処理されています。

重大度: 00

CKR0456 SMFCACHE によるジョブ・タグ job-tag の処理が未完了です。cached-num レコードがキャッシュされ、skipped-num 個がスキップされました。(SMFCACHE incomplete job tag job-tag with cached-num records cached and skipped-num skipped)

説明: このメッセージは、SMFCACHE VERBOSE によるものです。SMF 処理の終了時に未完了であるジョブ・タグごとに、これらのメッセージの 1 つが出力されます。影響されるジョブ、ファイルの終わりでキャッシュされたレコードの量、およびキャッシュがフルであったためにスキップされたレコードの量が示されます(これらの量のレコードは、RACF 情報なしで処理されています)。

重大度: 00

CKR0457 SMFCACHE によるジョブ・タグ job-tag の処理が完了しています。cached-num レコードがキャッシュされ、skipped-num 個がスキップされました。(SMFCACHE completed job tag job-tag with cached-num records cached and skipped-num skipped)

説明: このメッセージは、SMFCACHE VERBOSE に

よるものです。完了しており、いくつかのレコードをキャッシュしたすべてのジョブ・タグについて、これらのメッセージの 1 つが出力されます。skipped-num は、キャッシュがフルであったためにスキップされたレコードの量を示します。このようなレコードは、RACF 情報なしで処理されています。

重大度: 00

CKR0458 SMF RACF コマンド item 表示が切り捨てられました。ddname、レコード number。(SMF RACF command item display truncated at ddname record number)

説明: 示されている表示内容は、このバッファーには大きすぎます。item で示されているように、これはコマンドまたはコマンド・パラメーター表示である場合があります。

重大度: 08

CKR0459 ICHNVCV00 シミュレート (system=sys) 内部エラー: message (ICHNVCV00 simulate (system=sys) internal error: message)

説明: このメッセージは、命名規則テーブル ICHNVCV00 のシミュレーションで障害が発生したことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKR0460 水平フォーマットとダンプ・フォーマットを 1 つのフィールドで組み合わせることはできません。field、ddname、行 number。(Horizontal and dump format cannot be combined on one field - field at ddname line number)

説明: DUMP 出力修飾子と HORIZONTAL 出力修飾子は、組み合わせることができません。

重大度: 12

CKR0461 number SMF [type rectype] レコードが、date time からシステム system-id 上で失われています。(number SMF [type rectype] records were lost on system system-id from date time)

説明: タイプ 7 の SMF レコードが処理されると、このメッセージが出力されます。これは、SMF ファイルを生成したシステムで SMF レコードが失われたことを示します。zSecure Audit または SMF 処理におけるエラーを示すものではありません。rectype が存在する場合、SMF レコード・フラグディング・オプションにより、タイプ rectype のレコードはドロップされています。いくつかのレコードが失われたため、zSecure Audit への入力が無完了である場合があります。レコード欠落中に発生したイベントは監査できません。

重大度: 00

CKR0462 ddname line number の type 「value」の前に (または =, !=, <>, ==, !=, or <<>> の関係演算子が必要です。
(Expected (or =, !=, <>, ==, !=, or <<>> relational operator before type "value" at ddname line number)

説明: このメッセージは、zSecure が、SELECT コマンドまたは EXCLUDE コマンドにおいて、関係演算子 =, !=, または <>, フィールド比較演算子 ==, <<>>, または !=, あるいは値リストの左括弧を検出できなかったことを示します。より大/より小を示す演算子は、ここでは許可されません。

重大度: 12

CKR0463 ddname 行 number の type 「value」の前に (または =, !=, <>, <, >, <=, あるいは >= の関係演算子が必要です
(Expected (or =, !=, <>, <, >, <=, or >= relational operator before type "value" at ddname line number)

説明: このメッセージは、zSecure が、SELECT コマンドまたは EXCLUDE コマンドにおいて、関係演算子 =, !=, <>, <, >, <=, または >=, あるいは値リストの左括弧を検出できなかったことを示します。フィールド比較演算子は、ここでは許可されません。追加情報については、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の『SELECT/EXCLUDE - フィールド比較』の資料を参照してください。

重大度: 12

CKR0464 サブストリング・オフセットは >= 1 である必要があります。(Substring offset must be >= 1)

説明: このメッセージは、zSecure が、SELECT または EXCLUDE コマンドにおいて、無効なサブストリング・オフセットを検出したことを示します。

SUBSTRING 操作では、少なくとも 1 つのオフセット

(2 番目の SUBSTRING パラメーター) が必要です。

重大度: 12

CKR0465 サブストリング maxlen はゼロにできません。(Substring maxlen may not be zero)

説明: このメッセージは、zSecure が、SELECT または EXCLUDE コマンドにおいて、無効なサブストリング最大長を検出したことを示します。例えば、SUBSTRING(field,offset,maxlen) のように、最大長が SUBSTRING 操作で指定されている場合、最大長は少なくとも 1 でなければなりません。フィールドの末尾まで完全に選択する (例えば、SUBSTRING(field,offset)) 場合、最大長は除外してください。

重大度: 12

CKR0466 サブストリング endpos を開始位置より前に置くことはできません。(Substring endpos may not be before start)

説明: このメッセージは、zSecure が、SELECT または EXCLUDE コマンドにおいて、無効なサブストリング終了位置を検出したことを示します。例えば、SUBSTRING(field,offset:endpos) のように、最大長が SUBSTRING 操作で指定されている場合、終了位置は開始位置 (オフセット) 以上である必要があります。SUBSTRING(field,offset) のように、フィールドの末尾まで選択する場合は、終了位置を省略してください。

重大度: 12

CKR0467 operations は、format フィールド name では許可されません。ddname、行 number。
(operations not allowed with format field name at ddname line number)

説明: このメッセージは、正しくないフォーマットのフィールド値に指定された操作演算を zSecure が検出したことを示します。EXTRACTDN 操作は、X.509-DN フォーマットの識別名にのみ適用できます。その他の操作は、文字フォーマットのフィールドにのみ適用できます。

注: フィールド値の操作関数がネストされている場合は、表示されるフォーマットが中間結果になっていることがあります。例えば、EXTRACTDN 実行後の結果フォーマットは Char であるため、関数を 1 回だけ適用できます。

重大度: 12

CKR0468 DDNAME *ddname* は NOA 状況であり、クラスター名 *cluster name* が FDR で定義されていません。割り振りが失敗しました。(DDNAME *ddname* is in NOA status, and cluster name *cluster name* is not defined in the FDR - allocation failed)

説明: アクティブ ACF2 バックアップ・データ・セットの動的割り振りを試行中に、プログラムは、そのデータ・セットが ACF2 開始 JCL の DD DUMMY 指定で指定変更されていたために、ACF2 により割り振られなかったことを検出しました。以降、ACFDR で定義されている適切な ACF2 データベースからデータ・セット名を取得しようとしたときに、プログラムは、現在アクティブなデータベース・クラスターが ACFDR で定義されていないこと、または指定のクラスターに、*ddname* により指定された機能について定義されたデータ・セットが存在しないことを検出しました。これは、プログラムが、割り振るデータ・セットを判別できないことを意味します。

重大度: 16

CKR0469 比較フィールドは、両方とも繰り返すことはできません。[- *field1* および *field2*], *ddname*、行 *number*。(Compare fields may not both be repeated [- *field1* and *field2*] at *ddname* line *number*)

説明: このメッセージは、プログラムが SELECT または EXCLUDE コマンドで無効な比較演算を検出したことを示します。2 つのフィールドを比較する場合 (フィールド定数比較ではなくフィールド間比較)、最大で 1 つのフィールドのみ、繰り返しグループ・フィールドにできます。比較演算で、2 つの繰り返しフィールドの比較が試行されましたが、これはサポートされません。

重大度: 12

CKR0470 比較対象のフィールドは同じフォーマットである必要があります。[- *field1* および *field2*], *ddname*、行 *number*。(Fields to be compared must have the same format [- *field1* and *field2*] at *ddname* line *number*)

説明: このメッセージは、プログラムが SELECT または EXCLUDE コマンドで無効な比較演算を検出したことを示します。2 つのフィールドを比較する場合 (フィールド定数比較ではなくフィールド間比較)、両方のフィールドは同じフォーマットである必要があります (両方とも文字フォーマットまたは両方とも数値など)。比較演算で、異なるフォーマットを持つ 2 つのフィールドの

比較が試行されましたが、これはサポートされません。

重大度: 12

CKR0471 SMS 管理ボリュームにおける重複したデータ・セット *volser dsname* (Duplicate data set on SMS managed volumes *volser dsname*)

説明: ライブラリー・バージョンの比較中に、複数の SMS 管理ボリュームにおいて同じデータ・セット名が検出されました。これはサポートされません。

重大度: 08

CKR0472 データ・セット *dsname* について、SMS 管理への変換が想定されました。(Conversion to SMS managed assumed for data set *dsname*)

説明: 複数の CKFREEZE ファイルのライブラリー・バージョンの比較中に、データ・セット名が、最初は非 SMS 管理ボリューム上で検出され、その後 SMS 管理ボリューム上で検出されました。ボリュームまたはデータ・セットが SMS に変換されたと想定されます。

重大度: 00

CKR0473 READ 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *dsname* ではありません。プロファイルを変更します。(READ-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *dsname* - change profile)

説明: Trusted Computing Base の機密データ・パーツを使用したデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。他のデータ・セットに対する影響を最小限に抑えつつ、保護を必要なレベルに調整するコマンドが生成されます。これを行うために、完全修飾総称が使用されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度: 04

CKR0474 READ 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *volser dsname* ではありません。(READ-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *volser dsname*)

説明: Trusted Computing Base の機密データ・パーツを使用したデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して機密として

指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。個別プロファイルの保護を必要なレベルに調整するコマンドが生成されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度: 04

CKR0475 **UPDATE** 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *dsname* ではありません。プロファイルを変更します。(**UPDATE-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *dsname* - modify profile**)

説明: Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して更新に対して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。他のデータ・セットに対する影響を最小限に抑えつつ、保護を必要なレベルに調整するコマンドが生成されます。これを行うために、完全修飾総称が使用されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度: 04

CKR0476 **UPDAT** 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *volser dsname* ではありません。プロファイルを変更します。(**UPDAT-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *volser dsname* - modify profile**)

説明: Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して更新に対して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。個別プロファイルの保護を必要なレベルに調整するコマンドが生成されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度: 04

CKR0477 **ALTER** 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *dsname* ではありません。プロファイルを変更します。(**ALTER-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *dsname* - modify profile**)

説明: Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して ALTER アクセスに対して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。通

常、これは ICF カタログに制限されています。他のデータ・セットに対する影響を最小限に抑えつつ、保護を必要なレベルに調整するコマンドが生成されます。これを行うために、完全修飾総称が使用されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度: 04

CKR0478 **ALTER** 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *volser dsname* ではありません。プロファイルを変更します。(**ALTER-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *volser dsname* - modify profile**)

説明: Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して ALTER アクセスに対して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。通常、これは ICF カタログに制限されています。個別プロファイルの保護を必要なレベルに調整するコマンドが生成されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度: 04

CKR0479 機密データ・セットに対するグローバル・アクセスが CS1 準拠の *volser dsname* ではありません。(**Global access to sensitive dataset not CS1-compliant *volser dsname***)

説明: Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。これは、グローバル・アクセス・テーブルを利用して付与されているアクセス権限のレベルが高すぎるためです。グローバル・アクセス・テーブルを、許可される最高レベルに調整するコマンドが生成されます。これは、ユーザーに対するデータ・セットの可用性が低下することを意味します。

重大度: 04

CKR0480 **READ** 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *volser dsname* ではありません。プロファイルを追加します。(**READ-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *volser dsname* - add profile**)

説明: Trusted Computing Base の機密データ・パーツを使用したデータ・セット、または

SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。当該データ・セットをカバーする現行の総称プロファイルを使用して、新たな完全修飾総称プロファイルを作成するコマンドが生成されます。新規プロファイルの保護は、必要なレベルに調整されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度: 04

CKR0481 **UPDAT** 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *volser dsname* ではありません。プロファイルを追加します。
(UPDAT-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *volser dsname* - add profile)

説明: Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して更新に対して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。当該データ・セットをカバーする現行の総称プロファイルを使用して、新たな完全修飾総称プロファイルを作成するコマンドが生成されます。新規プロファイルの保護は、必要なレベルに調整されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度: 04

CKR0482 **ALTER** 機密 DATASET 保護が CS1 準拠の *volser dsname* ではありません。プロファイルを追加します。
(ALTER-sensitive DATASET protection not CS1-compliant *volser dsname* - add profile)

説明: Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して ALTER アクセスに対して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。通常、これは ICF カタログに制限されています。当該データ・セットをカバーする現行の総称プロファイルを使用して、新たな完全修飾総称プロファイルを作成するコマンドが生成されます。新規プロファイルの保護は、必要なレベルに調整されます。これは、UACC の削減を意味する場合があります。

重大度: 04

CKR0483 **READ** 機密データ・セットが無保護 *volser dsname* です。プロファイルを追加します。(READ-sensitive data set unprotected *volser dsname* - add profile)

説明: Trusted Computing Base の機密データ・パーツを使用したデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。新たな完全修飾総称プロファイルを作成するコマンドが生成されます。新規プロファイルの保護は、必要なレベルに設定されます。

重大度: 04

CKR0484 **UPDATE** 機密データ・セットが無保護 *volser dsname* です。プロファイルを追加します。(UPDATE-sensitive data set unprotected *volser dsname* - add profile)

説明: Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して更新に対して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。新たな完全修飾総称プロファイルを作成するコマンドが生成されます。新規プロファイルの保護は、必要なレベルに設定されます。

重大度: 04

CKR0485 **ALTER** 機密データ・セットが無保護 *volser dsname* です。プロファイルを追加します。(ALTER-sensitive data set unprotected *volser dsname* - add profile)

説明: Trusted Computing Base の一部を含むデータ・セット、または SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用して ALTER アクセスに対して機密として指定されたデータ・セットが、CS1 (Commercial Security 1) 保護プロファイルの規定に従って保護されていません。通常、これは ICF カタログに制限されています。新たな完全修飾総称プロファイルを作成するコマンドが生成されます。新規プロファイルの保護は、必要なレベルに設定されます。

重大度: 04

CKR0486 **FIELDVAL** は、Select/Exclude 処理のみに使用できます。*ddname*、行 *number*。
(FIELDVAL may only be used for Select/Exclude - at *ddname* line *number*)

説明: NEWLIST TYPE=SMF 内の FIELDVAL フィー

ルドは、SELECT/EXCLUDE 処理のみに使用できません。LIST、SORTLIST、または (D)SUMMARY コマンドで使用されており、これは許可されません。

重大度: 12

CKR0487 定義されている変数 *name* (**type=type**) が **boolean/as/true** ではないため、節で使用できません。(**Defined variable name (type=type) is not boolean/as/true, may not be used in clause**)

説明: 示されている変数が SELECT/EXCLUDE または WHERE 節で使用されていますが、ブールまたはフィールド・ベースの定義ではありませんでした。これは許可されません。

重大度: 12

CKR0488 Newlist [name=name] **type=type** が、*reason* の理由で、*ddname* の行 *number* で抑止されました (**Newlist [name=name] type=type suppressed for reason at ddname line number**)

説明: 示された NEWLIST は、以下に示される理由で抑止されました。

制限モード

ユーザーが、UNRESTRICTED オプションが指定された NEWLIST を制限モードで実行しました。

監査員でない

システム全体の監査員ではないユーザーが、RESTRICT_AUDITOR オプションが指定された NEWLIST を実行しました。

抑止されていない NEWLIST の処理は続行されます。

重大度: 00

CKR0489 システム *system* の NEWLIST **TYPE=PPT** 要求は、ライブ・システムまたは非 **APF CKFREEZE** ではサポートされません。(**NEWLIST TYPE=PPT request for system system not supported for live system or non-APF CKFREEZE**)

説明: 示されている *system* の NEWLIST **TYPE=PPT** が、出力を生成できませんでした。この NEWLIST タイプでは、zSecure Collect の APF 許可実行により生成された CKFREEZE ファイルが必要です。

重大度: 00

CKR0490 \$CAT サイズ *size* (10 進数) は、**newlist type=JOBCLASS** でサポートされません。(**\$CAT size size (decimal) not supported in newlist type=JOBCLASS**)

説明: NEWLIST **TYPE=JOBCLASS** は、検出された JES2 \$CAT テーブル・サイズをサポートしません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。示されている *size*、ご使用の MVS、および JES2 レベルが含まれるエラー・レポートを送信してください。

重大度: 16

CKR0491 繰り返しサブストリングは **TYPE=RACF** 節では許可されません。変数 *name*。(**Repeated substring not allowed in TYPE=RACF clause - variable name**)

説明: NEWLIST **TYPE=RACF** 節では、ネストされたサブストリング要求は許可されません。

重大度: 12

CKR0492 **TYPE=RACF** 選択節でのフィールド値の操作または検索は許可されません。変数 *name*。(**Field value manipulation or lookup not allowed in TYPE=RACF select clause - variable name**)

説明: この変数の DEFINE に類似のフィールド値操作または他のフィールド値の操作もある場合、NEWLIST **TYPE=RACF** の select/exclude ステートメントでは、特定のフィールド値操作 (CONVERT、PARSE、WORD) およびフィールド検索が許可されません。SUBSTRING の使用は許可されません。

ユーザーの処置: すべての操作を 1 つの DEFINE に移動してください。

重大度: 12

CKR0493 ブール変数 *name* は、比較の右側としては使用できません。(**Boolean variable name may not be used as right-hand side of compare**)

説明: ブール変数は SELECT ステートメントで使用できますが、フィールド間比較の右側では使用できません。

重大度: 12

CKR0494 サブストリング操作は、ブール変数 *name* では許可されません。**(Substring operation not allowed on boolean variable *name*)**

説明: サブストリング関数は、タイプ BOOLEAN の定義済み変数に対して実行できません。

重大度: 12

CKR0495 ファイル *ddname* でのアンロードの連結はサポートされません。最初のアンロード後に停止します。**(Concatenation of unloads in file *ddname* is not supported - stopping after 1st one)**

説明: 複数のアンロードは個別の DD 名に割り振る必要があります。これらは連結できません。

重大度: 12

CKR0496 警告: *complex* のデータベースが、システム *system [version]* からの設定で処理されました **(Warning: database for *complex* processed with settings from system *system [version]*)**

説明: *complex* の RACF データベースが、参照のためにストレージ内設定が使用されている *system* と一致しません。(このメッセージは、FUNCTION=MAIN または FUNCTION=BASE にのみ関係します。)

重大度: 00

CKR0497 制限モードでは、*complex [version]* 以外の他のシステムの設定を使用することは許可されません。**(Restricted mode does not allow using settings from any other**

メッセージ 500 から 599

CKR0500 変数 *variable (type=type)* の定義 (*ddname*、行 *number*) が、*ddname*、行 *number* の定義と競合しています。**(Define for variable *variable (type=type)* at *ddname* line *number* conflicts with define at *ddname* line *number*)**

説明: このエラー・メッセージは、同じ名前を持つ 2 つの統計変数が、同じ NEWLIST 内で定義されていたことを示します。これは許可されません。

重大度: 12

system than *complex [version]*)

説明: *complex* の RACF データベースが、参照のためにストレージ内設定が使用されている *system* と一致しません。これは制限モードでは許可されません。

重大度: 12

CKR0498 警告: *complex* のデータベースが、*system* の設定で処理されました。**(Warning: database for *complex* processed with settings from *system*)**

説明: *complex* の RACF データベースが、参照のためにストレージ内設定が使用されている *system* と一致しません。(このメッセージは FUNCTION=MERGE にのみ関係します。)

ユーザーの処置: COMPLEX キーワードと VERSION キーワードを使用して使用中の実際の構成を表すことにより、入力データ・セットを明示的に区分してください。

重大度: 00

CKR0499 *component* クラスター *name* について、VVDS レコードに無効なセルがあります。**(Invalid cell in VVDS record for component cluster *name*)**

説明: 構文解析で、予期しない VVDS セルの終了が検出されました。

重大度: 08

CKR0501 変数 *variable (type=type)* の定義 (*ddname*、行 *number*) が、*ddname*、行 *number* の定義を指定変更しています。**(Define for variable *variable (type=type)* at *ddname* line *number* overrides define at *ddname* line *number*)**

説明: この警告メッセージは、前の NEWLIST 内で定義されている統計変数と同じ名前の統計変数が、NEWLIST 内で定義されていたことを示します。古い定義は、新しい定義で指定変更されます。これは意図しない動作である可能性があります。

重大度: 00

CKR0502 **DISPLAY** に、繰り返しフィールドまたは詳細フィールドのみが含まれています。
newlist の第 1 レベルの表示は空になります。*ddname*、行 *number*。(**DISPLAY only contains repeat or detail fields, 1st level display would be empty for newlist at *ddname* line *number***)

説明: このエラー・メッセージは、**DISPLAY** コマンドに、第 1 レベルの表示で表示できるフィールドが含まれていなかったことを示します。これは許可されません。非繰り返しフィールドまたは非詳細フィールドを **DISPLAY** コマンド内に指定してください。**NEWLIST** パラメーター **DETAIL** を指定した場合、少なくとも 1 つの非繰り返しフィールドで出力修飾子 **NODETAIL** を使用してください。

重大度: 12

CKR0503 *ddname* 行 *number* の *token* の前でしきい値の指定が重複しています (**Duplicate threshold specification before *token* at *ddname* line *number***)

説明: このエラー・メッセージは、同じフィールドに対して複数のしきい値出力修飾子が使用されていることを示します。これは許可されません。

重大度: 12

CKR0504 マージされた **newlist** 内の要約が無効です。*ddname*、行 *number*。(**Summary invalid in merged newlist at *ddname* line *number***)

説明: 現行バージョンの zSecure では、**SUMMARY** コマンドは、マージされた **NEWLIST** では使用できません。

重大度: 12

CKR0505 レベル *number* の複合要約には、繰り返しグループ値「*field-name*」を含めることはできません。*ddname*、行 *number*。
(**Compound summary at level *number* cannot contain repeat group value "*field-name*" at *ddname* line *number***)

説明: 現行バージョンの zSecure では、複合要約キーは非繰り返しグループで構成されている必要があります。このエラー・メッセージは、タイプ *field-name* の繰り返しグループ・フィールドが複合要約キーの一部であることを示します。

重大度: 12

CKR0506 *ddname*、行 *number* の変数 *name* が、検索で定義されています。**type=RACF LIST** コマンドでは無効です。(**Variable *name* at *ddname* line *number* defined with lookup - invalid with type=RACF LIST commands**)

説明: 変数 *name* が、検索演算子を使用して定義されていました。NEWLIST TYPE=RACF の場合、そのような変数を **LIST** コマンドで使用することはできません。代わりに、**SORTLIST** または **DISPLAY** を使用してください。

重大度: 12

CKR0507 アスタリスク・リスト演算子は、**SUMMARY** コマンドでのみ有効です。
(**Asterisk list operator is only valid on SUMMARY commands**)

説明: このエラー・メッセージは、アスタリスク (*) リスト演算子が、**LIST**、**SORTLIST**、または **DISPLAY** コマンドで使用されていることを示します。これは、**SUMMARY** または **DSUMMARY** コマンドでのみ使用できます。

重大度: 12

CKR0508 **ENDMERGE** が欠落しています。
(**ENDMERGE missing**)

説明: このエラー・メッセージは、マージされた **NEWLIST** が開始されているが、終了されていないことを示します。

重大度: 12

CKR0509 **MERGEST** なしで **ENDMERGE** が使用されています。(**ENDMERGE without MERGEST**)

説明: このエラー・メッセージは、**ENDMERGE** コマンドが検出されたが (通常はマージされた **NEWLIST** を終了する)、マージされた **NEWLIST** を開始するための、前の **MERGEST** コマンドが見つからなかったことを示します。

重大度: 12

CKR0510 ターゲット・フィールド *field-name* (**type=type**) が、定義 *statistic-name* について未定義です。*ddname*、行 *number*。
(**Target field *field-name* (type=type) undefined for define *statistic-name* at *ddname* line *number***)

説明: このエラー・メッセージは、存在しない、または定義されていないターゲット・フィールドを指定した統計変数が定義されていたことを示します。

重大度: 12

CKR0511 ENDBUNDLE の前に ENDMERGE が欠落しています。(ENDMERGE missing before ENDBUNDLE)

説明: このエラー・メッセージは、ENDBUNDLE コマンドが、BUNDLE - MERGELIST - ENDBUNDLE のシーケンスの中で検出されたことを示します。このシーケンスの中に ENDMERGE コマンドが含まれている必要があります。

重大度: 12

CKR0512 ddname、行 number で検出されたターゲット・フィールド field-name (type=type) に、定義 statistic-name に必要な where 節がありません。ddname、行 number。(Target field field-name (type=type) found at ddname line number does not have the required where clause for define statistic-name at ddname line number)

説明: このエラー・メッセージは、別の変数のターゲットとして定義されている統計変数に、WHERE 節がないことを示します。ターゲット変数の目的は WHERE 節の共有であるため、ターゲットにはこの節が必要です。

重大度: 12

CKR0513 IBM Security zSecure 製品コード code について、function の使用はライセンス交付を受けていません。(Use of function is not licensed for IBM Security zSecure product code code)

説明: 示されている機能 (コマンドまたはパラメーター) は、使用されている製品についてのライセンス交付を受けていません。例えば、IBM Security zSecure Admin が、z/OS システム上で zSecure Audit なしで実行されている場合、この構成は、NEWLIST TYPE=SMF コマンドを使用するためのライセンス交付を受けていません。製品の codes については、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」に記載されている NEWLIST LICENSE パラメーターの説明を参照してください。

重大度: 12

CKR0514 ddname、行 number の変数 statistic-name が、Boolean、Subselect、または As として定義されていません。LIST コマンドでは無効です。(Variable statistic-name at ddname line number not defined as Boolean, Subselect, or As - invalid on LIST commands)

説明: このエラー・メッセージは、要約統計変数が、LIST、SORTLIST、または DISPLAY コマンドで使用されていることを示します。これは許可されません。これらの変数は、(D)SUMMARY を指定した場合のみに使用できます。

重大度: 12

CKR0515 ターゲット target-variable に既に存在するため、定義 statistic-name (type=type) の WHERE 節は無効です。ddname、行 number。(WHERE clause invalid for define statistic-name (type=type) at ddname line number because target target-variable already has one)

説明: このエラー・メッセージは、ターゲット変数が指定された統計変数にも、独自の WHERE 節があることを示します。これは許可されません。ターゲット変数に WHERE 節がある場合、自動的に継承され、指定変更できません。異なる WHERE 節を指定した 2 つの変数を作成するには、両方に WHERE 節を指定して 2 つの個別定義を作成し、ターゲット変数から WHERE 節を削除します。

重大度: 12

CKR0516 要約レベル number には、少なくとも 1 つの要約キーが必要です。キーは、定義済みの変数または検索にすることはできません。ddname、行 number の newlist。(Summary level number must have at least one summary key and key cannot be a defined var or lookup - newlist at ddname line number)

説明: このエラー・メッセージは、示されている NEWLIST の (D)SUMMARY コマンドに、キー変数なしで要約レベルが指定されていたことを示します。これは、上端 (左端) の要約レベルでのみ許可されます。有効な要約キー変数はフィールドであり、定義されている統計および検索変数ではありません。

重大度: 12

CKR0517 列の長さが **0** であり、行の最後でないか、あるいは列の長さが可変性であるため、**WRAP** は無効です。 *ddname*、行 *number* のフィールド *field-name*。 (**WRAP invalid because column length 0 and not the last in line or column floating - field field-name at ddname line number**)

説明: このエラー・メッセージは、WRAP 出力修飾子が、行の最後でない列に対して指定変更の長さゼロと組み合わせて使用されたか、指定変更の長さ 0 (可変長) を持つ別の列が行に存在していたことを示します。

FIELD(WRAP,0) の目的は、出力行の残り部分を埋めることであるため、これは行の最後の列に対してのみ許可されます。

重大度: 12

CKR0518 **NEWLIST option** では **LIST** は許可されません。 (**LIST not allowed for NEWLIST option**)

説明: このエラー・メッセージは、NEWLIST option を指定して LIST コマンドが使用されたことを示します。これは、示されている NEWLIST オプションでは許可されません。代わりに SORTLIST または DISPLAY を使用してください。

重大度: 12

CKR0519 (**D**)SUMMARY でのみ許可されるオプションです。 *ddname*、行 *number* の *option-name*。 (**Option only allowed for (D)SUMMARY - option-name at ddname line number**)

説明: このエラー・メッセージは、要約オプション *option-name* が、LIST、SORTLIST、または DISPLAY コマンドで使用されたことを示します。示されているオプションは、SUMMARY および DSUMMARY コマンドでのみ使用できます。

重大度: 12

CKR0520 *ddname*、行 *number* のマージされた **NEWLIST** では、**NEWLIST** と同じ **LIST** ファミリー・メンバーを使用する必要があります。 *ddname*、行 *number*。 (**Merged NEWLIST at ddname line number must use same LIST family member as NEWLIST at ddname line number**)

説明: MERGELIST/ENDLIST ペア内のすべての NEWLIST では、同じ出力コマンド (DISPLAY または

SORTLIST) を使用する必要があります。示されている 2 つの newlist では、これに該当しませんでした。

重大度: 12

CKR0521 制限モードの **NEWLIST TYPE=SMF** で、**SUPPRESS CKFREEZE** が無視されました。 (**SUPPRESS CKFREEZE ignored for restricted mode NEWLIST TYPE=SMF**)

説明: NEWLIST TYPE=SMF が制限モードで使用される場合 (NEWLIST SCOPE または SIMULATE RESTRICT での PADS モード)、SUPPRESS CKFREEZE コマンドは使用できません。このコマンドでは、ユーザーが VSAM コンポーネントの制限検査を回避できてしまうためです。IOCONFIG は、CKFREEZE の別名です。

重大度: 00

CKR0522 プログラムがアテンションで終了しました。 (**Program was terminated by attention**)

説明: ATTN キーが押されたため、プログラムが停止しました。

重大度: 12

CKR0523 *num* 個のエレメントを持つグループ・ツリー・ループ。 *type1 id1* に、所有者として *type2 id2* が存在します。 (**Group tree loop with num elements type1 id1 has type2 id2 as owner**)

説明: このメッセージは、VERIFY GROUPTREE コマンドが原因で発行されます。このメッセージは、グループ・ツリー内のループのサイズを示します。継続メッセージは、ループ内のすべてのユーザーおよびグループを示します。 *type* はユーザーまたはグループ、 *id* は RACF ユーザー ID またはグループ ID を示します。

重大度: 08

CKR0524 プログラムがストレージ不足により終了しました。 *keyword* を増加させてください。 (**Program was terminated due to storage shortage - increase keyword**)

説明: ストレージ (メモリー) 不足により、プログラムが停止しました。 *keyword* の値 (REGION または MEMLIMIT) は、増加させると効果的である可能性が最も高いパラメーターを示します。

ユーザーの処置: *keyword* サイズを増加させて、プログ

ラムを再実行してください。

重大度: 12

CKR0525 CKRSITE モジュールの内容: *contents*
(Contents of CKRSITE module:
contents)

説明: このメッセージは、SHOW CKRSITE コマンドの結果として出力されます。*contents* には、CKRSITE モジュールの該当する部分が表示されます。

重大度: 00

CKR0526 複合システム *complex* について、
CKRSITE クラス *class* が CDT 内で見
つかりません。(CKRSITE class *class* not
found in CDT for complex *complex*)

説明: このメッセージは、CKGRACF プロファイルに
使用されているクラス (CKRSITE モジュールで設定さ
れているもの) が、クラス記述子テーブルで見つからな
かったことを示します。原因として可能性が高いのは、
インストール・エラーです。

重大度: 12

CKR0527 フィールド *field* の副選択はサポートされ
ません。(Subselect of field *field* not
supported)

説明: このメッセージは、変数が、示されている *field*
の副選択として定義されているが、このフィールドの副
選択はサポートされていないことを示します。現行バー
ジョンの zSecure では、副選択が許可されるフィール
ドは、ACL、CUSTOM_DATA、および USR のみで
す。詳しくは、DEFINE コマンドを参照してください。

重大度: 12

CKR0528 「group」内の「field」の副選択は許可さ
れません。(Subselect of "field" in
"group" not allowed)

説明: このメッセージは、*group* の副選択
(ACL、CUSTOM_DATA、または USR) において、副
選択でサポートされていない *field* が使用されたことを
示します。サポートされているフィールドの表につい
ては、DEFINE コマンドを参照してください。

重大度: 12

CKR0529 無効な ACCESS VALUE 「*value*」
(*ddname*、行 *number*) (Invalid ACCESS
VALUE "*value*" at *ddname* line *number*)

説明: 示されている *ddname* で指定されたアクセス
value が無効です。

重大度: 12

CKR0530 *kind* は、PARM ストリング *type*
「*value*」でのみ有効です。*ddname*、行
number。(kind only valid in PARM
string type "*value*" at *ddname* line
number)

説明: ALLOCATE コマンドの *kind* パラメーターは、
パラメーター・ストリングに入れて指定する必要があり
ます。*kind* パラメーターは、以下のいずれかの値になり
ます。

ERRDD
INDD
LETRAPOFF
LETRAPON
NOBSAMPAM
NOCLEANUP
NOCLOSE
NODCBE
NODUMP
NOESTAE
NOLE
OUTDD
STORAGEGC
TEXTPIPE
UMASK

ユーザーの処置: このパラメーターを指定する場合は、
バッチ JCL の PARM= パラメーターに ALLOCATE
コマンドを含めてください。

重大度: 12

CKR0531 展開済みフィールド「*field*」の要約は許可
されません。*ddname*、行 *number*。
(Summary of exploded field "*field*" not
allowed at *ddname* line *number*)

説明: EXPLODE 出力修飾子は、(D)SUMMARY コマ
ンドでは使用できません。RESOLVE および
EFFECTIVE 出力修飾子 (EXPLODE とは異なるタイプ)
も使用できません。

重大度: 12

CKR0532 警告: 変数 *field* (**type=type**) のグローバル定義 (*ddname*、行 *number*) が、*ddname*、行 *number* のローカル定義を指定変更しています。(**Warning: global define for variable field (type=type) at ddname line number overrides local define at ddname line number**)

説明: この警告メッセージは、示されている変数 *field* のローカル定義が、グローバル定義によって指定変更されたことを示します。

重大度: 00

CKR0533 システム *system* では、ストレージ内リソース規則ディレクトリーに関するレポートはサポートされません。(**Reporting on the in-storage resource rule directories is not supported for system system**)

説明: 必要な情報がフェッチ保護ストレージ内に存在するため、アクセスできません。部分的な回避策として、zSecure Collect の APF 実行により作成される CKFREEZE を割り振る方法があります。ただし、そのような CKFREEZE には、一部のリソース選択規則ディレクトリーに関する情報のみが含まれているため、この方法を行った場合でもレポートは未完了になります。

重大度: 04

CKR0534 フィールドの後に、インデント・ベース *base* が見つかりません。*ddname*、行 *number*。(**Indent base base not found behind field at ddname line number**)

説明: INDENT 出力修飾子によって使用されている、示された *base* フィールドが、同じ (SORT)LIST または DISPLAY コマンドで指定されていませんでした。インデントされたフィールドの後で指定する必要があります。NONDISPL 出力修飾子を使用して、この *base* フィールドが出力されないようにすることができます。

重大度: 12

CKR0535 グループ *group* の作成が要求されましたが、グループは既に定義されています。(**Create of group group requested, but group already defined**)

説明: このメッセージは、COPY または MOVE コマンドにより追加される示された *group* が、既に定義されており、ADDGROUP コマンドは生成されないことを示します。

重大度: 12

CKR0536 ユーザーID *user* の作成が要求されましたが、ユーザーは既に定義されています。(**Create of userid user requested, but user already defined**)

説明: このメッセージは、COPY または MOVE コマンドにより追加される示された *user* が、既に定義されており、ADDUSER コマンドは生成されないことを示します。

重大度: 12

CKR0537 グループ *id* について、グループのネストの最大の深さ 255 を超えました。**VERIFY GROUPTREE** を実行してグループ・ループを検査してください。(**Maximum group nesting depth of 255 exceeded at group id - run VERIFY GROUPTREE to check for group loops**)

説明: グループ・ツリーの深さの処理中に、示されているグループについて、最大の深さ 255 に達しました。これは、グループ・ツリー構造内のループが原因である可能性があり、VERIFY GROUPTREE を使用することで確認できます。また、グループ・ツリーの深さが 255 グループを超えている場合にも発生する可能性があります。この状態は、IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF ではサポートされません。

重大度: 16

CKR0538 グループ **SYS1** が見つかりません。**SELECT/EXCLUDE** ステートメントを確認してください。(**Group SYS1 not found, check SELECT/EXCLUDE statements**)

説明: このメッセージは、VERIFY GROUPTREE コマンドが原因で発行されたもので、グループ **SYS1** が見つからなかったことを示します。VERIFY コマンドは処理されませんでした。このメッセージは、グループ **SYS1** を除外したグローバル SELECT/EXCLUDE 処理によるものである可能性があります。この処理によるものではない場合、グループ **SYS1** は必要であるため、RACF データベース内に深刻な問題があることを意味します。

重大度: 12

CKR0539 指定されたタイプでは、**ALLOC PRIMARY/BACKUP/INACTIVE** は無効です。*ddname*、行 *number* の *token* より前。**(ALLOC PRIMARY/BACKUP/INACTIVE invalid for specified type - before token at ddname line number)**

説明: このメッセージは、ALLOC コマンドが無効であることを示します。コマンドで指定されているタイプでは、オプション PRIMARY、BACKUP、INACTIVE はすべて無効です。有効なオプションは ACTIVE のみです。

重大度: 12

CKR0540 ファイル *ddname* に対する **OPEN abend-type (OPEN abend-type on file ddname)**

説明: 示されている *ddname* を持つ TYPE=CKFREEZE ファイルを開く際に、示されている *type* の異常終了が発生しました。

重大度: 16

CKR0541 ファイル *ddname* に対する **OPEN abend-type (OPEN abend-type on file ddname)**

説明: 示されている *ddname* を持つ TYPE=UNLOAD ファイルを開く際に、示されている *type* の異常終了が発生しました。

重大度: 16

CKR0542 **CONNECT** フィールドは参照で使用する必要があります。*ddname*、行 *number*。**(CONNECT field must be used in a lookup - at ddname line number)**

説明: The CONNECT フィールドは、(SORT)LIST または (D)SUMMARY コマンドにおいてそれ自体で使用することはできません。使用される場合、グループ・プロファイルを表示する際は USERID への間接参照に基づいて指定し、ユーザー・プロファイルを表示する際は CONGRPNM または CGGRPNM への間接参照に基づいて指定する必要があります。

重大度: 12

CKR0543 7 件を超える JES サブシステムはサポートされません。*ddname* システム *smfid* [*version*] [*-generation*] で **VERIFY/REPORT STC** にエラーがあります **(More than 7 JES subsystems not supported - VERIFY/REPORT STC in error for ddname system smfid [version] [-generation])**

説明: このメッセージは、**VERIFY STC** コマンドまたは **REPORT STC** コマンド、あるいは newlist タイプ COMPLIANCE、ID、または TRUSTED により生成されます。システムが、7 を超える JES2 または JES3 サブシステムで分析されたことを示します。zSecure ではこれをサポートしていません。示されたシステムに対する開始タスク、STC または TSO プロシーチャー・ライブラリーについて要求されたレポートは、誤っているか不完全です。

重大度: 16

CKR0544 **LX** が高すぎます。**(LX too high!)** LXAT 索引=*index* (**16** 進数)、LX=*val* (**16** 進数)、ジョブ名 *jobname*。最大値は *val2* (**10** 進数) です **(LXAT index=*index* (hex) for LX=*val* (hex) jobname jobname; maximum is val2 (dec))**

説明: このメッセージは、NEWLIST TYPE=PC (プログラム呼び出しレポート) によって生成されます。内部エラー、または CKFREEZE ファイルでの不整合を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0545 システム *system* の NEWLIST TYPE=PC 要求が行われましたが、使用可能な PC データがありません。**(NEWLIST TYPE=PC request for system system, but no PC data available.)** 原因は、CKFREEZE が古いか、または APF 以外の CKFREEZE である可能性があります **(Perhaps old or non-APF CKFREEZE)**

説明: このメッセージは、NEWLIST TYPE=PC (プログラム呼び出しレポート) によって生成されます。示されている *system* についてプログラム呼び出しレポートが要求されたが、そのプログラム呼び出しデータを使用できなかったことを示します。使用されている CKFREEZE ファイルを確認してください。プログラム

呼び出しレポートでは、zSecure Audit などを使用した、zSecure Collect の APF 許可実行が必要です。

重大度: 00

CKR0546 **SYSTEM** *system* について、**NEWLIST TYPE=PC CKFREEZE** データが不完全です。**(NEWLIST TYPE=PC CKFREEZE data incomplete for SYSTEM *system*)**

説明: このメッセージは、NEWLIST TYPE=PC (プログラム呼び出しレポート) によって生成されます。当該システムの CKFREEZE が、ASN および LX の再利用サポートに対応した最新の zSecure Collect で構成されていないことを示します。以前の z/OS リリースを実行するシステムで発行された場合、これは、内部エラーまたは CKFREEZE ファイルでの不整合を示します。

重大度: 20

CKR0547 **NEWLIST TYPE=MSG** が要求されましたが、**MPFT** が見つかりません。古い **CKFREEZE** である可能性があります。**(NEWLIST TYPE=MSG requested but no MPFT found. Possibly old CKFREEZE)**

説明: このメッセージは、NEWLIST TYPE=MSG (MPF レポート) によって生成されます。MPF レポートが要求されたが、当該 MPF データが使用可能でなかったことを示します。使用されている CKFREEZE ファイルを確認してください。MPF レポートでは、zSecure Audit などを使用した、zSecure Collect の APF 許可実行が必要です。

重大度: 04

CKR0548 **NEWLIST TYPE=MSG** が要求されましたが、**MPFTENTY** が見つかりません。**(NEWLIST TYPE=MSG requested but no MPFTENTY found)**

説明: このメッセージは、NEWLIST TYPE=MSG (MPF レポート) によって生成されます。MPF レポートが要求されたが、当該 MPF データが使用可能でなかったことを示します。使用されている CKFREEZE ファイルを確認してください。MPF レポートでは、zSecure Audit などを使用した、zSecure Collect の APF 許可実行が必要です。

重大度: 04

CKR0549 **NEWLIST TYPE=MSG** では **CKFREEZE** が必要です。**(NEWLIST TYPE=MSG requires CKFREEZE)**

説明: このメッセージは、NEWLIST TYPE=MSG (MPF レポート) によって生成されます。MPF レポートが要求されたが、CKFREEZE ファイルが使用されていないことを示します。MPF レポートでは CKFREEZE ファイルが必要です。使用している JCL または入力ファイル・セットを確認してください。

重大度: 08

CKR0550 **NEWLIST TYPE=MSG** で、予期しない **MPFTVRSN** *version* が検出されました。*version2* が必要です。**(NEWLIST TYPE=MSG unexpected MPFTVRSN *version*, expected *version2*)**

説明: このメッセージは、NEWLIST TYPE=MSG (MPF レポート) によって生成されます。内部エラー状態を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。使用している MVS レベルと、示されている両方のバージョン番号を報告してください。

重大度: 20

CKR0551 必要な **MPFT** は *amount1* ですが、*amount2* が検出されました。**(Expected MPFTs: *amount1*; got *amount2*)**

説明: このメッセージは、NEWLIST TYPE=MSG (MPF レポート) によって生成されます。内部エラー状態を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0552 *system* について、使用可能な **SMF** サブシステム情報はありません。**(No SMF subsystem information available for *system*)**

説明: このメッセージは、NEWLIST TYPE=SMFOPT (SMF サブシステム・オプション・レポート) によって生成されます。示されている *system* について、SMF サブシステム情報を使用できなかったことを示します。CKFREEZE ファイルを確認してください。このレポー

トでは、zSecure Audit などを使用した、zSecure Collect の APF 許可実行が必要です。

重大度: 08

CKR0553 ディレクトリーとリソース規則が、システム *system* で *nnnn* バイトを使用しています (**Directories and resource rules use nnnn bytes for system system**)

説明: このメッセージは、プログラムがストレージ内 ACF2 リソース規則ディレクトリーおよびリソース・ルール・セットの作業用コピーを作成するのに必要なストレージの量を示します。

重大度: 00

CKR0554 TCP/IP インターフェース接続が失敗しました。エラー・コードは *code* です。
(**TCP/IP interface connection failed, error code code**)

説明: zSecure を TCP/IP インターフェースに接続しようとしたときに、障害が発生しました。エラー・コードは、z/OS インフォメーション・センターの『**z/OS Communications Server: IP and SNA Codes**』に記載されています。ここにリストされていないコードは、『**z/OS UNIX System Services Messages and Codes**』に戻りコードとして記載されています。

ご使用の z/OS バージョンのインフォメーション・センターにアクセスするには、z/OS Internet Library を参照してください。

重大度: 04

CKR0555 ビット・マスクを空にしたり、2048 より長くしたりすることはできません。
(**Bitmask cannot be empty or longer than 2048**)

説明: CARLa ステートメントに、空のビット・マスク値、または 2048 より長いシンボルのビット・マスク値が含まれています。

ユーザーの処置: CARLa スクリプトを確認し、修正してください。

重大度: 12

CKR0556 ビット・マスクは許可されません。
(**Bitmask is not allowed**)

説明: CARLa ステートメントに、許可されないビット・マスク値が含まれています。

ユーザーの処置: CARLa スクリプトを確認し、修正してください。

重大度: 12

CKR0557 無効な IP アドレスまたはネットワーク接頭部「*string*」が *ddname* の行 *number* にあります (**Invalid IP address or network prefix 'string' at ddname line number**)

説明: このメッセージは、CARLa スクリプトに、無効な IP アドレスまたはネットワーク接頭部の指定 (IPv4 または IPv6 のいずれか) があることを示します。

ユーザーの処置: 対応する CARLa スクリプトを調整して、有効な IP アドレスまたはネットワーク接頭部の指定を行ってください。ネットワーク接頭部は、IP アドレス、スラッシュ文字 (/)、および接頭部の長さを示す整数で構成されます。IPv4 アドレスの場合、接頭部の長さは最大 32 文字にすることができます。IPv6 アドレスの場合、接頭部の長さは最大 128 文字にすることができます。

重大度: 12

CKR0558 CKRRMRG - ロギング中に正しくない見出し *eyecatcher* が検出されました。
(**CKRRMRG - Illegal eyecatcher eyecatcher during logging**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0559 CKRRMRG - Nil ポインターが検出されました。(CKRRMRG - Nil pointer found)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0560 STARTED クラス内にプロファイルは存在しますが、クラスがアクティブではありません。ICHRIN03 が使用されます。
(**Profiles in STARTED class exist, but**

class not active - ICHRIN03 is used.)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内のプロファイルは存在するが、クラスがアクティブでないことを示します。この結果、プロファイルは無視され、代わりに開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 が使用されます。

重大度: 00

CKR0561 STARTED クラスはアクティブですが、プロファイルが見つかりません。
ICHRIN03 が使用されます。(STARTED class active, but no profiles found - ICHRIN03 is used)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラスがアクティブであるが、プロファイルが含まれていないことを示します。この結果、代わりに開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 が使用されます。

重大度: 00

CKR0562 ALLOC PRIMARY/BACKUP/ACTIVE/INACTIVE/SMF は、他のソース ID と組み合わせることはできません。
ddname、行 *number*。(ALLOC PRIMARY/BACKUP/ACTIVE/INACTIVE/SMF cannot be combined with other source identifiers - at *ddname line number*)

説明: ストレージ内の制御ブロックから取得されたデータ・ソースを参照する ALLOC ステートメントは、同時に外部データ・ソースを指すことはできません。

重大度: 12

CKR0563 STARTED プロファイル *profile* に **STDATA** セグメントがありません。
ICHRIN03 が使用されます。*newuser note* に対する *action*。(STARTED profile *profile* has no STDATA segment - ICHRIN03 is used - action to *newuser note*)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* に、STDATA セグメントが含まれていないことを示します。この結果、示されているプロファイルは無視され、代わりに開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 が使用されます。STUSER 指定 *newuser* を使用して、STDATA セグメントを作成するためのコマ

ンドが生成されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なユーザー ID である場合、*newuser* は **user(=MEMBER)**、*action* は **correct** となり、その後でプロファイルは使用可能になりますが、「ただし、ユーザー ID は取り消されている」に注意しなければならない場合があります。これは、開始タスクが下位の権限で実行され、問題が発生する可能性があることを意味します (CKR0575 で示されています)。プロファイルの最初の修飾子が有効なユーザー ID でない場合、*newuser* は **NOUSER**、*action* は **change** となり、このプロファイルに対する以降の VERIFY STC では、CKR0564 が発行されます。

重大度: 08

CKR0564 STARTED プロファイル *profile* に **STUSER** が指定されていません。
ICHRIN03 が使用されます。(No STUSER specified on STARTED profile *profile* - ICHRIN03 is used)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* に、STDATA セグメント内の STUSER フィールドが含まれていないことを示します。この結果、示されているプロファイルは無視され、代わりに開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 が使用されます。この状態は意図的なものである可能性があるため、この状態を解決するためのアクションは試行されません。

重大度: 08

CKR0565 STARTED プロファイル *profile* に、**STUSER** としてグループ ID *group* が含まれています。「*user*」が使用されます。
newuser note に対する *action*。(STARTED profile *profile* contains group id *group* as STUSER - "*user*" is used - action to *newuser note*)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* に、STDATA セグメント内の STUSER フィールドの有効なユーザー ID が含まれていないが、グループ名 *id* は含まれていることを示します。この結果、プロファイルで指定されているユーザーは無視され、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。エラーのある指定を削除するためのコマンドが生成されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なユーザーである場合、*newuser* はメンバー名を使用するように **user(=MEMBER)** に設定され、*action* は **correct** となりますが、「ただし、ユーザー ID は取り消されている」に注意しなければならない場合があります。これは、開始タスクが下位の権限で実行され、問題が発生す

る可能性があることを意味します (メッセージ CKR0575 で示されています)。プロファイルの最初の修飾子が有効なユーザーでない場合、フィールドが削除対象であることを示すために **NOUSER** に設定され、*action* は **change** となり、*note* はありません。提示された変更の実行後、このプロファイルは使用不能となり、RACF は開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 でフォールバックし、このプロファイルに対する以降の VERIFY STC では、CKR0564 が発行されます。

重大度: 08

CKR0566 **STARTED** プロファイル *profile* に、未定義の **STUSER** *id* があります。「*user*」が使用されます。*newuser note* に対する *action*。(STARTED profile profile has undefined STUSER id - "user" is used - action to newuser note)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、STARTED クラス内の指定された *profile* の STDATA セグメントの **STUSER** フィールドで、ユーザー ID *id* が有効でないことを示します。この結果、プロファイルで指定されているユーザーは無視され、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。エラーのある指定を削除するためのコマンドが生成されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なユーザーである場合、*newuser* はメンバー名を使用するように **user(=MEMBER)** に設定され、*action* は **correct** になります。ただし、*note* は「ただし、ユーザー ID は取り消されている」を指定する場合があります。これは、開始タスクが下位の権限で実行され、(メッセージ CKR0575 で示されるような) 問題が発生する可能性があることを意味します。プロファイルの最初の修飾子が有効なユーザーでない場合、フィールドが削除対象であることを示すために、*newuser* は **NOUSER** に設定され、*action* は **change** に設定され、*note* は指定されません。提示された変更の実行後、このプロファイルは使用不能となり、RACF は開始プロシージャ・テーブル ICHRIN03 でフォールバックし、このプロファイルに対する以降の VERIFY STC では、CKR0564 が発行されます。

重大度: 08

CKR0567 **STARTED** プロファイル *profile* に、グループ ID である **STUSER =MEMBER** があります。*procname volume dsn* システム *system subsystem* に対して「*user*」が使用されます (**STARTED profile profile has STUSER =MEMBER, which is a groupid - "user" is used for procname**

volume dsn system system subsystem)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* に、STDATA セグメント内の **STUSER** フィールドの値 **=MEMBER** が含まれているが、ボリューム *volume* 上の示されているデータ・セット *dsn* 内にある **JCL** を持つサブシステム *subsystem* の示されたプロシージャ *procname* が有効なユーザー ID ではなく、グループ ID であることを示します。この結果、プロシージャ名はユーザー ID としては使用されず、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。*profile* の最初の修飾子は総称であるため、他のプロシージャにも適用される場合があります。これにより、この状態を解決する方法を確定することはできず、コマンドは生成されません。

重大度: 08

CKR0568 **STARTED** プロファイル *profile* に、未定義の **STUSER =MEMBER** があります。*procname volume dsn* システム *system subsystem* に対して「*user*」が使用されます (**STARTED profile profile has STUSER =MEMBER, which is undefined - "user" is used for procname volume dsn system system subsystem**)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* に、STDATA セグメント内の **STUSER** フィールドの値 **=MEMBER** が含まれているが、ボリューム *volume* 上の示されているデータ・セット *dsn* 内にある **JCL** を持つサブシステム *subsystem* の示されたプロシージャ *procname* が有効なユーザー ID でないことを示します。この結果、プロシージャ名はユーザー ID としては使用されず、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。*profile* の最初の修飾子は総称であるため、他のプロシージャにも適用される場合があります。これにより、この状態を解決する方法を確定することはできず、コマンドは生成されません。

重大度: 08

CKR0569 **STARTED** プロファイル *profile* に、**STUSER** と **STGROUP =MEMBER** の両方があります。「*user*」が使用されます。*deletions* に対する *action*。(STARTED profile profile has both STUSER and STGROUP =MEMBER - "user" is used - action to deletions)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されて

いる *profile* において、STDATA セグメント内の STUSER と STGROUP の両方のフィールドに値 **=MEMBER** があることを示します。どのプロシージャ名でも、ユーザー ID とグループ ID の両方に同時に一致することは不可能であるため、これはプロファイル・レベルのエラーを意味します。この結果、プロファイル内の指定は無視され、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。プロファイルの最初の修飾子が個別の修飾子である場合、これがユーザー ID と一致するのか、グループ ID と一致するのか、または両方と一致しないのかが検査されます。それぞれ、*deletions* には **NOGROUP** または **NOUSER**、あるいはその両方が含まれ、削除対象の指定内容を示します。プロファイルの最初の修飾子が総称である場合、このような検査を行うことはできず、*deletions* は **NOGROUP** となります。これは、問題を解決できる可能性がある唯一の方法です (一部のマッチング・プロシージャの場合)。問題が確実に修正された場合 (個別の最初の修飾子が有効なユーザー ID と一致する場合) のみ、*action* は **correct** となります。それ以外の場合は、**change** となります。

重大度: 08

CKR0570 **STARTED** プロファイル *profile* に、**STGROUP** としてユーザー ID *id* が含まれています。「*user*」が使用されます。*newgroup note* に対する *action*。
(**STARTED profile profile contains userid id as STGROUP - "user" is used - action to newgroup note**)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラスの *profile* に、STDATA セグメント内の STGROUP フィールドの有効なグループ ID ではなく、無効なユーザー ID *id* が含まれていることを示します。この結果、プロファイルで指定されているユーザーは無視され、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。エラーのある指定を削除するためのコマンドが生成されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なグループである場合、*newgroup* はメンバー名を使用するように **group(=MEMBER)** に設定されます。そうでない場合は、フィールドが削除対象であることを示すために **NOGROUP** に設定されます。Note は、ユーザー ID *id* および *newgroup* に関する追加の問題を示します。Note は存在しないか、以下のいずれかの値を持っている可能性があります。

ただし、接続されていない (**but still unconnected**)
=MEMBER は有効なグループだったが、それでも (CKR0574 で示されるように) プロファイル指定が無視される。

ただし、ユーザー ID は取り消されている (**but userid still revoked**)

開始タスクが下位の権限で実行されたが、まだ (CKR0575 で示されるような) 問題が発生した可能性がある。

ただし、接続されていない、ユーザー ID は取り消されている (**but still unconnected, userid still revoked**)

両方の問題が残っている場合 (CKR0150)。

ユーザー ID の取り消し状況にかかわらず、結果のプロファイル指定が使用可能となる場合 (欠落している接続なし)、*action* は **correct** となります。それ以外の場合、**change** となります。

重大度: 08

CKR0571 **STARTED** プロファイル *profile* に、未定義の **STGROUP id** があります。
「*user*」が使用されます。*newgroup note* に対する *action*。(STARTED profile profile has undefined STGROUP id - "user" is used - action to newgroup note)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* に、STDATA セグメント内の STGROUP フィールドの有効なグループ ID が含まれていないが、値 *id* は含まれていることを示します。この結果、プロファイルで指定されているユーザーは無視され、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。エラーのある指定を削除するためのコマンドが生成されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なグループである場合、*newgroup* はメンバー名を使用するように

group(=MEMBER) に設定されます。プロファイルの最初の修飾子が有効なグループでない場合、フィールドが削除対象であることを示すために **NOGROUP** に設定されます。Note は、ユーザー ID *id* および *newgroup* に関する追加の問題を示します。「ただし、接続されていない (**but still unconnected**)」は、**=MEMBER** は有効なグループであるが、プロファイル指定は無視されることを示します (CKR0574 で示されています)。「ただし、ユーザー ID は取り消されている」は、開始タスクが下位の権限で実行され、問題が発生する可能性があることを意味します (CKR0575 で示されています)。両方の問題が残っている場合、または存在しない可能性がある場合は、「ただし、接続されていない、ユーザー ID は取り消されている (**but still unconnected, userid still revoked**)」となります (CKR0150)。ユーザー ID の取り消し状況にかかわらず、結果のプロファイル指定が使用可能となる場合 (欠落している接続なし)、*action* は **correct** となります。それ以外の場合、**change** となります。

重大度: 08

CKR0572 **STARTED** プロファイル *profile* に、ユーザー ID である **STGROUP =MEMBER** があります。 *procname volume dsn* システム *system subsystem* に対して「user」が使用されます (**STARTED profile profile has STGROUP =MEMBER, which is a userid - "user" is used for procname volume dsn system system subsystem**)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。 STARTED クラス内の、示されている *profile* に、STDATA セグメント内の STGROUP フィールドの値 **=MEMBER** が含まれているが、ボリューム *volume* 上の示されているデータ・セット *dsn* 内にある JCL を持つサブシステム *subsystem* の示されたプロシージャ *procname* が有効なグループ ID ではなく、ユーザー ID であることを示します。この結果、プロフィールで指定されているユーザー ID は使用されず、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。 *profile* の最初の修飾子は総称であるため、他のプロシージャにも適用される場合があります。これにより、この状態を解決する方法を確定することはできず、コマンドは生成されません。

重大度: 08

CKR0573 **STARTED** プロファイル *profile* に、未定義の **STGROUP =MEMBER** があります。 *procname volume dsn* システム *system subsystem* に対して「user」が使用されます (**STARTED profile profile has STGROUP =MEMBER, which is undefined - "user" is used for procname volume dsn system system subsystem**)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。 STARTED クラス内の、示されている *profile* に、STDATA セグメント内の STGROUP フィールドの値 **=MEMBER** が含まれているが、ボリューム *volume* 上の示されているデータ・セット *dsn* 内にある JCL を持つサブシステム *subsystem* の示されたプロシージャ *procname* が有効なグループ ID でないことを示します。この結果、プロフィールで指定されているユーザー ID は使用されず、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。 *profile* の最初の修飾子は総称であるため、他のプロシージャにも適用される場合があります。これにより、この状態を解決する方法を確定することはできず、コマンドは生成されません。

重大度: 08

CKR0574 **STARTED** プロファイル *profile* ユーザー *id* が、グループ *group* に接続されていません。「user」が使用されます。
(**STARTED profile profile user id not connected to group group - "user" is used**)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。 STARTED クラス内の、示されている *profile* に、有効なユーザーおよびグループが含まれているが、ユーザー *id* はグループ *group* に接続されていないことを示します。この結果、プロフィールで指定されているユーザー ID は使用されず、代わりに未定義のユーザー ID *user* が使用されます。このメッセージはプロフィール・レベルのエラーを示しますが、望ましい解決策が不明なため、コマンドは生成されません。

重大度: 08

CKR0575 **STARTED** プロファイル *profile* でユーザー ID *user* が取り消されています。下位のアクセス権限で実行されます。
(**STARTED profile profile has revoked userid user - executes with reduced access**)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。 STARTED クラス内の、示されている *profile* に、有効なユーザーおよびグループが含まれているが、そのユーザー *user* は取り消されていることを示します。この結果、プロフィールで指定されているユーザー ID は使用されますが、開始タスクは下位のアクセス権限で実行されるため、問題が発生する可能性があります。このメッセージはプロフィール・レベルのエラーを示しますが、望ましい解決策が不明なため、コマンドは生成されません。

重大度: 08

CKR0576 **STARTED** プロファイルが見つかりません。 **ICHRIN03** が使用されます - *procname volume dsn* システム *system subsystem* (**No STARTED profile found, ICHRIN03 is used - procname volume dsn system system subsystem**)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。ボリューム *volume* 上の示されているデータ・セット *dsn* 内にある JCL を持つサブシステム *subsystem* の示されているプロシージャ *procname* が、STARTED クラスのプロファイルと一致しないことを示します。この結果、代わりに開始プロシージャ・テーブル **ICHRIN03** が使用されます。

重大度: 00

CKR0577 **STARTED** プロファイル *profile* が、開始済みプロシージャーによって使用されていません。(STARTED profile profile not used by any started procedure)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* が、いずれのプロシージャーにも使用されていないことを示します。プロファイルが予備である可能性があります。

注: 許可されていないライブラリーから zSecure Collect を実行することで作成された CKFREEZE ファイルが使用されている場合にも、このメッセージが発行される場合があります。zSecure Collect が APF 許可プログラムとして実行される場合、クロスメモリー機能を使用して、STCPROC (または STCPROC がない場合は PROC00) に割り振られるデータ・セットを検出します。その後、これらの各 proclib の PDS ディレクトリーを読み取ります。無許可の実行で PDS データ・セットのディレクトリーをダンプするように zSecure Collect に指示するのでは不十分であることに注意してください。これらのデータ・セットは proclib として認識されないからです。

重大度: 00

CKR0578 **STARTED** プロファイル *profile* ユーザー *id* が、グループ *group* に接続されていません。procname volume dsn システム *system subsystem* に対して「user」が使用されます (STARTED profile profile user id not connected to group group - "user" is used for procname volume dsn system system subsystem)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。これは、ボリューム *volume* 上のデータ・セット *dsn* にある JCL を持つシステム *system* 上のサブシステム *subsystem* のプロシージャー *procname* に適用されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* における問題を示しています。STDATA セグメント内の STUSER フィールドのユーザー *id* が、STGROUP フィールド内のグループに接続されていないため、未定義のユーザー ID *user* が使用されます。*profile* の最初の修飾子が総称であり、ユーザー *id* または *group* が **=MEMBER** として指定されているため、*procedure* として評価されています。そのため、主となる問題はプロファイル・レベルの状態に関するものではなく、コマンドは生成されません。

重大度: 08

CKR0579 **STARTED** プロファイル *profile* でユーザー ID **=MEMBER** が取り消されています。*procedure volume dataset* では下位のアクセス権限で実行されます。

(STARTED profile profile has revoked userid =MEMBER - reduced access for procedure volume dataset)

説明: このメッセージは、VERIFY STC コマンドによって作成されます。STARTED クラス内の、示されている *profile* に、STDATA セグメント内の STUSER フィールドの値 **=MEMBER** が含まれており、*procedure* を使用する必要があることを示します。ただし、*procedure* は有効なユーザー ID ですが、取り消されているため、開始タスクは下位の権限で実行され、問題が発生する可能性があります。*profile* の最初の修飾子は総称であるため、問題はプロファイル・レベルの状態に関するものではありません。コマンドは生成されません。

重大度: 08

CKR0580 システム *system* の TSO ユーザー *user* は、RACF パスワード制御の影響を受けません。*volume dataset*。(TSO user user on system system not subject to RACF password control - volume dataset)

説明: このメッセージは、VERIFY TSOALLRACF コマンドによって作成されます。指定された *system* において、示されている *user* が、示されている UADS *data set* に含まれているが、有効な RACF ユーザー ID ではないことを示します。この結果、UADS データ・セットで指定されているパスワードを使用して、このユーザー ID でログオンできます。RACF 制御の影響は受けません。

重大度: 08

CKR0581 システム *system* の TSO ユーザー *user* に、TSO セグメントがありません。*volume dataset*。(TSO user user on system system does not have a TSO segment - volume dataset)

説明: このメッセージは、VERIFY TSOALLRACF コマンドによって作成されます。指定された *system* において、示されている *user* が、示されている UADS *data set* に含まれており、これは有効な RACF ユーザー ID であるが、TSO セグメントが存在しないことを示します。このユーザー ID は RACF 制御の影響を受けませんが、その TSO 属性は、RACF データベースではなく UADS データ・セットから取得されます。

重大度: 08

CKR0582 指定されたタイプでは、**ALLOC SMF** は無効です。*ddname*、行 *number* の *token* より前。**(ALLOC SMF invalid for specified type - before token at ddname line number)**

説明: このメッセージは、ALLOC コマンドが無効であることを示します。新規の構文コマンドでは、コマンドごとに 1 つの入力ソースのみ記述できます。

重大度: 12

CKR0583 **VSMLIST** 戻りコード *value* (**VSMLIST return code value**)

説明: 稼働中の MVS システムが検証され、VSMLIST サービスが、サポートされない戻りコードを返した場合に、このメッセージが発行される場合があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。示されている *value* と、使用している MVS レベルを報告してください。

重大度: 08

CKR0584 システム *system* はパスワードのハッシュ処理を使用しています。**(System system uses password hashing)**

説明: このメッセージは、VERIFY PASSWORD コマンドによって作成されます。指定された *system* において、使用されているパスワード暗号化方式はハッシュ処理であることを示します。RACF データベースに対する READ アクセス権限を持つユーザー、または RACF データベースのコピー/バックアップ権限を持つすべてのユーザーが、すべてのパスワードをデコードできる可能性があります。

重大度: 00

CKR0585 取り消されたユーザーに不十分なパスワードが設定されています。*user*。**(Revoked user with weak password - user)**

説明: このメッセージは、VERIFY PASSWORD コマンドによって作成されます。示されている、取り消された *user* に、不十分な DES 暗号化パスワードが設定されていることを示します。パスワードは、このメッセージには含まれません。

重大度: 00

CKR0586 ユーザーに不十分なパスワードが設定されています。*user*。**(User with weak password - user)**

説明: このメッセージは、VERIFY PASSWORD コマンドによって作成されます。示されている非取り消し *user* に、不十分な DES 暗号化パスワードが設定されていることを示します。パスワードは、このメッセージには含まれません。

重大度: 00

CKR0587 取り消されたユーザーにハッシュ処理パスワードが設定されています。*user*。**(Revoked user with hashed password - user)**

説明: このメッセージは、VERIFY PASSWORD コマンドによって作成されます。示されている、取り消された *user* に、容易にデコードできるハッシュ処理パスワードが設定されていることを示します。パスワードは、このメッセージには含まれません。

重大度: 00

CKR0588 ユーザーにハッシュ処理パスワードが設定されています。*user*。**(User with hashed password - user)**

説明: このメッセージは、VERIFY PASSWORD コマンドによって作成されます。示されている非取り消し *user* に、容易にデコードできるハッシュ処理パスワードが設定されていることを示します。パスワードは、このメッセージには含まれません。

重大度: 00

CKR0589 パスワード結果要約の確認 (複合システム *complex* [*version*]) **(Verify password result summary complex complex [version])**

取り消されたユーザーにハッシュ処理パスワードが設定されています: *num1*

(Revoked users with hashed password: num1)

非取り消しユーザーにハッシュ処理パスワードが設定されています: *num2*

(Non-revoked users with hashed password: num2)

取り消されたユーザーに不十分な DES パスワードが設定されています: *num3*

(Revoked users with weak DES password: num3)

非取り消しユーザーに不十分な DES パ

スワードが設定されています: *num4*
**(Non-revoked users with weak DES
 password: num4)**

説明: このメッセージは、VERIFY PASSWORD コマンドによって作成されます。ハッシュ処理パスワードまたは不十分な DES 暗号化パスワードを持つ、検出された取り消しユーザーおよび非取り消しユーザーの数の要約が示されます。

重大度: 00

CKR0590 パスワードの検証では、アンロードではなく **RACF** データベースが必要です (複合システム *complex [version]*) **(Verify password requires RACF database, not unload for complex complex [version])**

説明: このメッセージは、VERIFY PASSWORD コマンドによって作成されます。VERIFY PASSWORD コマンドが、「実際の」RACF データベース (1 次、バックアップ、またはコピー) ではなく、アンロードされた RACF データベースで使用されたことを示します。アンロードされたデータベースにはパスワード情報が含まれていないため、パスワード検証を実行できません。

重大度: 00

CKR0591 *system* の ICHNCV00 構文解析での警告: *warning*、規則 *convention-name type*、節 *number*. **(Warning in ICHNCV00 parse for system : warning in convention convention-name type clause number)**

説明: このメッセージは、ICHNCV00 機能はサポートされているが、いくつかの制限付きでシミュレートされることを示します。 *warning* は、サポートされない機能のタイプを示します。 *type* および *number* で示されているように、この機能は SELECT 節または ACTION 節内の規則 *convention-name* で使用されています。このとき、RACGPID および RACUID 機能の使用のために、このメッセージが発行されます。これは抑制することができます。

重大度: 04

CKR0592 *system* の ICHNCV00 構文解析でのエラー: *error*、規則 *convention-name type*、節 *number*. **(Error in ICHNCV00 parse for system: error in convention convention-name type clause number)**

説明: このメッセージは、ICHNCV00 を構文解析できなかったか、ICHNCV00 機能がサポートされていないことを示します。これにより、テーブルはシミュレート

されません。 *error* は問題を示しています。機能がサポートされない場合、*type* および *number* で示されているように、メッセージには、オプションで規則 *convention-name*、SELECT 節または ACTION 節が示されます。このメッセージは抑制することができます。

重大度: 04

CKR0593 構文解析エラーのため、ICHNCV00 は使用されません。 **(ICHNCV00 not used because of parse errors)**

説明: このメッセージは、ICHNCV00 を構文解析できなかったか、zSecure がサポートしていない機能を使用したために、ICHNCV00 が使用されないことを示します。問題を示す、1 つ以上の CKR0592 メッセージが先行しています。

重大度: 00

CKR0594 システム *system*: **zSecure** は、*date time* の ICHNCV00 を使用をシミュレートできません *not. suppressed* 再構成された ICHNCV00 ソース・コードが *contents* に続きます **(System system: using ICHNCV00 of date time Cannot be simulated by zSecure suppressed Reconstructed ICHNCV00 source code follows contents)**

説明: このメッセージは、SHOW ICHNCV00 コマンドによって生成されます。2 番目の行は、zSecure が命名規則テーブルをシミュレートできるかどうかをレポートします。この場合、*not* は省略され (**not** ではない)、必要に応じて追加の行の *suppressed* が「ただし、**SUPPRESS ICHNCV00** によって抑止 (**But was suppressed by SUPPRESS ICHNCV00**)」として示される場合があります。

重大度: 00

CKR0595 ICHNCV00 シミュレーションでは、長さ *size* の修飾子はサポートされません。 **(Qualifier of length size not supported in ICHNCV00 simulation)**

説明: このメッセージは、ICHNCV00 のシミュレーション中に生成されます。ソース・データ・セット名が、示されている *size* (ゼロであるか 8 より大きい) の修飾子を使用したことを示します。zSecure では、データ・セット名は変換されません。

重大度: 00

CKR0596 次の空の修飾子より後の割り当てはサポートされません。システム *system*
(Assignment beyond next empty qualifier not supported system *system*)

説明: このメッセージは、ICHNCV00 のシミュレーション中に生成されます。命名規則テーブルに、使用中の最後の修飾子および未使用の最初の修飾子より後で出力修飾子 UQ に対して割り当てを行うアクションがあり、データ・セット名には差異が残ることを示します。zSecure は、データ・セット名を変換しません。

重大度: 00

CKR0597 指定されたタイプでは、ALLOC PRIMARY/BACKUP/ACTIVE/INACTIVE は無効です。ddname、行 number の token より前。(ALLOC PRIMARY/BACKUP/ACTIVE/INACTIVE invalid for specified type - before token at ddname line number)

説明: このメッセージは、ALLOC コマンドが無効であることを示します。現行の入力ソース標識が、これをサポートしないタイプを指定して使用されました。

重大度: 12

メッセージ 600 から 699

CKR0600 BUNDLE なしの ENDBUNDLE (ENDBUNDLE without BUNDLE)

説明: このエラー・メッセージは、ENDBUNDLE コマンド (通常は NEWLIST のバンドルを終了する) が検出されたが、バンドルを開始するための BUNDLE コマンドが、その前に検出されなかったことを示します。

重大度: 12

CKR0601 BUNDLE のネストは許可されていないため、ddname の行 number で、BUNDLE に対して ENDBUNDLE が欠落している箇所を確認してください (Nested BUNDLE not allowed, check missing ENDBUNDLE for BUNDLE at ddname line number)

説明: このエラー・メッセージは、2 つの BUNDLE コマンドの間に ENDBUNDLE がないことが検出されたことを示します。BUNDLE コマンドをネストすることはできません。

重大度: 12

CKR0598 値「none」は、他の scan_inst 値と同時に使用することはできません。(The value "none" is mutually exclusive with other scan_inst value)

説明: 指示スキャン・フィールドの SELECT の値 NONE が、他の指示スキャン値を使用したリストで使用されています。これは許可されません。代わりに、明示的 OR を使用してください。

重大度: 12

CKR0599 BUNDLEBY=field の DEFINE は、ステートメントに対するタイプ AS である必要があります。ddname、行 number (DEFINE for BUNDLEBY=field must be of type AS for statement at ddname line number)

説明: 変数が BUNDLEBY 値として使用される場合、DEFINE AS で定義された変数である必要があります。要約統計、ブール、または SMF フィールドを使用することはできません。

重大度: 12

CKR0602 ddname の行 number で、BUNDLE の前に ENDMERGE を実行してください (Issue ENDMERGE before BUNDLE at ddname line number)

説明: このエラー・メッセージは、BUNDLE コマンドが、MERGELIST - BUNDLE のシーケンスの中で検出されたことを示します。このシーケンスの中に ENDMERGE コマンドが含まれている必要があります。BUNDLE - ENDBUNDLE のシーケンスの中に MERGELIST - ENDMERGE を組み込むことは可能ですが、その逆を行うことはできません。

重大度: 12

CKR0603 ddname の行 number で、BUNDLE に DISPLAY を組み込むことはできません (BUNDLE cannot contain DISPLAY - at ddname line number)

説明: このエラー・メッセージは、DISPLAY コマンドが BUNDLE - ENDBUNDLE 内で検出されたことを示します。BUNDLE コマンドは、印刷出力用であるため、対話式的表示は許可されません。

重大度: 12

CKR0604 BUNDLE または NEWLIST に BUNDLEBY がありませんが、これは *ddname* の行 *number* で必要です (BUNDLEBY not on BUNDLE or NEWLIST but required at *ddname* line *number*)

説明: BUNDLE - ENDBUNDLE コマンドでは、BUNDLE またはバンドル内の各 NEWLIST に、BUNDLEBY パラメーターが必須です。この場合、このパラメーターが欠落しています。

重大度: 12

CKR0605 ユーザー定義 SMF フィールドの数は 32767 を超えてはなりません (More than 32767 user-defined SMF fields not possible)

説明: このメッセージは、SMF レポートのユーザー定義フィールド数の内部制限に達したことを示します。DEFINE SMF_FIELD、SMF_SECTION、または RACF_SECTION コマンドの数を減らしてください。

重大度: 12

CKR0606 *field* は Select/Exclude/Define-As でのみ使用できます - *ddname* の行 *number* (*field* may only be used in Select/Exclude/Define-As - at *ddname* line *number*)

説明: 示された *field* (SMF_FIELD、SMF_SECTION、または RACF_SECTION) が、出力コマンドで使用されていました。これらのフィールド (ユーザー定義の SMF フィールドを作成するために使用される) は、出力コマンドに直接使用することはできません。ただし、これらのフィールドを DEFINE コマンドで使って新しい変数を作成し、その変数を出力コマンドで使用することは可能です。

重大度: 12

CKR0607 *database class profile* 基本セグメントが、複合システム *complex* にありません (*database class profile base segment missing in complex complex*)

説明: マージ中に、指定されたプロファイルに基本セグメントがないことが検出されました。Database は、「現行 (Current)」または「ソース (Source)」です。このプロファイルは、マージ・プロセスでスキップされます。現行フェーズが完了すると、プログラムは停止します。このメッセージは、select および exclude を指定した結果である可能性があります。次に、示されたプロ

ファイルが損傷しているかどうかを確認する必要があります。プロファイルが損傷していない場合、プロファイル自体の正確性を確認し、不完全なプロファイルを修正または削除するアクションを実行します。

重大度: 12

CKR0608 ALLOC での使用は DSN/DSNPREF/CMSFILE/PATH/FILEDESC/GETPROC/INMEM/CDP のいずれかに限られています - *ddname* の行 *number* (Use only one of DSN/DSNPREF/CMSFILE/PATH/FILEDESC/GETPROC/INMEM/CDP on ALLOC - at *ddname* line *number*)

説明: ALLOCATE コマンドで指定できるのは、DSN、DSNPREF、CMSFILE、PATH、FILEDESC、GETPROC、INMEM、および CDP パラメーターのうち、最大で 1 つのみです。

重大度: 12

CKR0609 ALLOC は、*ddname* の行 *number* の *token* の前で特定のファイル形式のキーワードと特定のオプション形式のキーワードの両方を使用しています (ALLOC uses both specific file format and specific option format keywords - before *token* at *ddname* line *number*)

説明: ALLOCATE コマンドには、オプション形式とファイル形式という 2 つの異なる形式があります。それぞれの形式では、その形式で有効なキーワードがあり、他方の形式を表すキーワードと混在させることはできません。この 2 つの形式については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスの ALLOCATE コマンドの文書で説明されています。

重大度: 12

CKR0610 ファイル形式の ALLOC は、*ddname* の行 *number* の *token* の前に明示的な TYPE および入力ソース指定が必要です (ALLOC in file format requires explicit TYPE and input source specification - before *token* at *ddname* line *number*)

説明: ALLOCATE コマンドには、オプション形式とファイル形式という 2 つの異なる形式があります。後者の形式を SMF キーワード (一度に両方の形式を指定する) を指定しないで使用する場合、TYPE キーワードおよび DD、DSN、CMSFILE、PATH、FILEDESC、PRIMARY、BACKUP、ACTIVE、または INACTIVE のいずれか 1 つのキーワードが必

要です。この 2 つの形式については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスの ALLOCATE コマンドの文書で説明されています。

重大度: 12

CKR0612 **Tapevol profile** のボリュームが同等ではありません (**Tapevol profile volumes not equal**)

説明: 言及された tapevol プロファイルのマージ中に、ソース・バージョンと現行バージョンのボリューム・リストが同等でないことが明らかになりました。プロファイルはマージされません。

重大度: 04

CKR0613 2 つ以上のセキュリティ・データベースの複合システム名がありません。ALLOC ステートメントで **COMPLEX=** を指定してください (**Complex names missing for two or more security databases, specify COMPLEX= on ALLOC statement**)

説明: プログラムは、割り降られたセキュリティ・データベースにデフォルトの COMPLEX 名を割り当てようとしたが、どの複合システムをどのデータベースに割り当てるか判別できませんでした。TYPE=RACF のすべての ALLOC ステートメントに COMPLEX パラメーターを指定してください。

重大度: 12

CKR0614 警告: **unload ddname1** および **ddname2** が同じシステム **system** に適用されています (**Warning: unload ddname1 and ddname2 apply to same system system**)

説明: 2 つの複合システムが、同じ名前前で定義されていることが明らかになりました。これは、同じ複合システム名の 2 つのデータベースの情報が表示されるため、表示で混乱が生じる可能性があることを意味しています。これは、ALLOC COMPLEX パラメーターを指定しないで TYPE=UNLOAD 入力ファイルを使用した場合にのみ発生することがあります。COMPLEX パラメーターを指定して再実行してください。

重大度: 00

CKR0615 入力システム構成の概要 (デフォルト・システム **system** 複合システム **complex**) (**Input system structure overview (default system system complex complex)**)

説明: このメッセージは、割り振られたファイルとその用途の概要を示しています。このメッセージは主に、zSecure が、複数のシステムのさまざまな種類のファイル (UNLOAD、CKFREEZE) をグループ化する方法を判別するために使用されます。

この複合メッセージ行は、レポート・ヘッダーに使用される複合システムのタイム・スタンプを示します。稼働中の RACF データベースを自動的に割り振る暗黙的な割り振りの場合、*prod* にはシステムのタイプ、RACF、および稼働中のデータベースのファイル名が表示されます。明示的な割り振りの場合、*prod* には **????** と表示され、ファイル名はブランクのままになります。

それぞれの入力ファイルがどのように使用されるかの詳細については、継続メッセージに示されます。

CKFREEZE ファイルまたは稼働中のシステムのシステム名の前に等号 (=) が付いている場合があります。これは、このシステムが主に別の複合システム (そこでは等号は付かない) に割り当てられているが、この複合システムにも使用されているという意味です。つまり、例えば、先頭に等号を付けてシステムが表示されている場合、このシステム ID を持つ SMF レコードには複合システム名が割り当てられないことを暗に示しています。

バージョ ン	複合シ テム	機能	製品	システム
<i>ver</i>	<i>complex</i>	<i>func</i>	<i>prod</i>	<i>system</i>

タイム・ス タンプ	ファイル名	Volser	DS 名
<i>timestamp</i>	<i>filename</i>	<i>volser</i>	<i>dsname</i>

重大度: 00

CKR0616 システム **name** 複合システム **complex** の **product** セキュリティ・データベースがありません。制限モードでは許可されません (**Missing product security database for system name complex complex - not allowed in restricted mode**)

説明: このメッセージは、制限モード (aka PADS) 実行では、示されたシステム **name** に対して、使用可能な **product** セキュリティ・データベース (RACF、ACF2、または TSS) がないことを示します。このため、制限モードの実行は不可能です。

重大度: 12

CKR0617 警告: システム *name* 複合システム *complex* の *product* セキュリティー・データベースがありません (**Warning: missing product security database for system name complex complex**)

説明: このメッセージは、1 つ以上のレポートでセキュリティ情報が必要であるが、示されたシステム *name* に対して、使用可能な *product* セキュリティー・データベース (RACF、ACF2、または Top Secret) がないことを示します。この情報を必要とするレポートは不完全である可能性があります、他のレポートは影響を受けません。

重大度: 04

CKR0618 制限モードでは、*product* システム *system* [*version*] を *product2* 複合システム *complex* によって保護されているものとして処理することは許可されません (**Processing product system system [*version*] as if protected by product2 complex complex is not allowed in restricted mode**)

説明: このメッセージは、示されたシステム *system* に対して、使用可能な *product* セキュリティー・データベース (RACF、ACF2、または TSS) がないことを示します。通常、複合システム *complex* 用の示された *product2* セキュリティー・データベースが代わりに使用されますが、これは制限モードでは許可されません。

重大度: 12

CKR0619 制限モードでは、システム *name* ファイル *ddname* の **COMPLEX=complex** をオーバーライドすることは許可されません (**Overriding COMPLEX=complex for system name file ddname not allowed in restricted mode**)
ただし、ZSECNODE、RRSF ノード、SYSPLEX、SYSNAME、または SMF ID と等しい場合を除きます (**unless equal to ZSECNODE, RRSF node, SYSPLEX, SYSNAME, or SMF id**)

説明: このメッセージは、示されたファイルに使用されている複合システムをオーバーライドするために、ALLOCATE コマンド上で COMPLEX= ステートメントが使用されたことを示します。このオーバーライドは、このパラメーターの値が ZSECNODE、RRSF ノード、SYSPLEX、SYSNAME、または SMF ID と等しい場合を除き、制限モードでは許可されません。

重大度: 12

CKR0620 *kind* データベースに ID *name* がありません (**kind database does not have id name**)

説明: このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (**Source**)」または「現行 (**Current**)」) データベースの構造上のエラーを示します。ID *name* (SYS1 または IBMUSER) を検出できませんでした。これは、データベースの構造上のエラーか、グローバル SELECT ステートメントまたはグローバル EXCLUDE ステートメントが原因である可能性があります。マージするプロファイルは、グローバル SELECT ステートメントではなく、MERGE/ENDMERGE ブロック内の SELECT ステートメントによって選択される必要があります。

重大度: 12

CKR0621 *kind* ID *name* は、参照されていますが定義されていません。ユーザーと見なします (**kind id name referred to but not defined - assume user**)

説明: このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (**Source**)」または「現行 (**Current**)」) データベースの構造上のエラーを示します。示された *name* の ID が、(所有者、デフォルト・グループ、上位グループとして、またはユーザー・グループ接続で) 参照されていますが検出できませんでした。回避策として、IBM Security zSecure Admin は、これをユーザーと見なします。これは、データベースの構造上のエラーか、グローバル SELECT ステートメントまたはグローバル EXCLUDE ステートメントが原因である可能性があります。マージするプロファイルは、グローバル SELECT ステートメントではなく、MERGE/ENDMERGE ブロック内の SELECT ステートメントによって選択される必要があります。

重大度: 04

CKR0622 *kind* ID *name* がユーザーとグループの両方として定義されています (**kind id namedefined as both user and group**)

説明: このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (**Source**)」または「現行 (**Current**)」) データベースの構造上のエラーを示します。示された *name* の ID は、ユーザーとグループの両方として認識されています。これは、データ

ベースの構造上のエラーが原因であり、ID をマージする前に修復する必要があります。グローバル EXCLUDE コマンドを使用することによって、この問題を回避できる可能性があります。

重大度: 12

CKR0623 *kind* ID *name* には所有者がいません。
SYS1 と見なします (*kind id name has no owner - assume SYS1*)

説明: このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (**Source**)」または「現行 (**Current**)」) データベースの構造上のエラーを示します。示された *name* の ID が検出されましたが、所有者を判別できませんでした。回避策として、IBM Security zSecure Admin は、所有者が SYS1 であるものと見なします。これは、データベースの構造上のエラーか、グローバル SELECT ステートメントまたはグローバル EXCLUDE ステートメントが原因である可能性があります。マージするプロファイルは、グローバル SELECT ステートメントではなく、MERGE/ENDMERGE ブロック内の SELECT ステートメントによって選択される必要があります。

重大度: 04

CKR0624 *kind* ユーザー *name* には、デフォルト・グループおよび接続がありません (*kind user name has no default-group and no connects*)

説明: このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (**Source**)」または「現行 (**Current**)」) データベースの構造上のエラーを示します。示された *name* のユーザーに対して、デフォルト・グループを検出することができず、フォールバックとして機能する他の接続を検出することもできませんでした。これは、データベースの構造上のエラーか、グローバル SELECT ステートメントまたはグローバル EXCLUDE ステートメントが原因である可能性があります。マージするプロファイルは、グローバル SELECT ステートメントではなく、MERGE/ENDMERGE ブロック内の SELECT ステートメントによって選択される必要があります。

重大度: 12

CKR0625 *kind* グループ *name* の上位グループがありません。**SYS1** と見なします (*kind group name has no superior-group - assume SYS1*)

説明: このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (**Source**)」または「現行 (**Current**)」) データベースの構造上のエラーを示します。示された *name* のグループが検出されましたが、上位グループを判別できませんでした。回避策として、IBM Security zSecure Admin は、上位グループが SYS1 であるものと見なします。これは、データベースの構造上のエラーか、グローバル SELECT ステートメントまたはグローバル EXCLUDE ステートメントが原因である可能性があります。マージするプロファイルは、グローバル SELECT ステートメントではなく、MERGE/ENDMERGE ブロック内の SELECT ステートメントによって選択される必要があります。

重大度: 04

CKR0626 *kind* グループ *name* には **supgrp<>owning** グループがあり、所有者を **supgrp** に設定する必要があると見なしています (*kind group name has supgrp<>owning group, assuming owner should be set to supgrp*)

説明: このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (**Source**)」または「現行 (**Current**)」) データベースの構造上のエラーを示します。示された *name* のグループが検出されましたが、このグループには上位グループおよび所有者とは異なるグループがあります。回避策として、zSecure Audit は、上位グループを所有者としても使用する必要があると見なします。これは、データベースの構造上のエラーが原因です。

重大度: 04

CKR0627 *kind* データベースに構造上のエラーがあります。**VERIFY CONNECT, PERMIT** を実行してください (*kind database has structural errors - please run VERIFY CONNECT,PERMIT*)

説明: このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行され、*kind* (ソースまたは**Current**®) データベースの構造上のエラーが、先行メッセージで診断されたことを示します。VERIFY PERMIT および/または VERIFY CONNECT を実行してください。

重大度: 00

CKR0628 TVTOC マージはサポートされていません (TVTOC merge not supported)

説明: マージ中に、TVTOC を持つ一部の TAPEVOL プロファイルがソース・データベースと現行データベースの両方に存在することが検出されました。このメッセージは、このようなプロファイルがマージされないことを警告するために出されます。

重大度: 04

CKR0629 *kind* データベースは **ID name** を持ちますが、*user/group* ではありません (*kind database has id name but is not a user/group*)

説明: このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (**Source**)」または「現行 (**Current**)」) データベースの構造上のエラーを示します。ID *name* (SYS1 または IBMUSER) が検出されましたが、その種類が正しくありません (SYS1 の場合は *group*、IBMUSER の場合は *user*)。これは、データベースの構造上のエラーか、グローバル SELECT ステートメントまたはグローバル EXCLUDE ステートメントが原因である可能性があります。マージするプロファイルは、グローバル SELECT ステートメントではなく、MERGE/ENDMERGE ブロック内の SELECT ステートメントによって選択される必要があります。

重大度: 12

CKR0630 2 つのマージ・ソース・データベースは許可されません (Two merge sources not allowed)

説明: このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行され、2 つのソース RACF データベースが検出されたことを示します。マージには、厳密に 1 つのソース・データベースと 1 つの現行データベースが必要です。RACF データベースとその機能の概要については、前の CKR0615 メッセージを参照してください。

重大度: 12

CKR0631 2 つのマージ現行データベースは許可されません (Two merge currents not allowed)

説明: このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンに

よって発行され、2 つの現行 RACF データベースが検出されたことを示します。マージには、厳密に 1 つのソース・データベースと 1 つの現行データベースが必要です。RACF データベースとその機能の概要については、前の CKR0615 メッセージを参照してください。

重大度: 12

CKR0632 マージにはソース・データベースおよび現行データベースが必要です (Merge requires source and current)

説明: このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行され、ソース・データベースも現行データベースも検出されず、データベースがまったく検出されなかったことを示します。マージには、厳密に 1 つのソース・データベースと 1 つの現行データベースが必要です。RACF データベースとその機能の概要については、前の CKR0615 メッセージを参照してください。

重大度: 12

CKR0633 これらの **src** グループには **SUPGROUP** 規則がありますが、選択されていません: *group ids* (These src groups have a **SUPGROUP** rule but are not selected: *group ids*)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、MERGERULE SOURCEID SUPGROUP コマンドが指定された複数のグループが検出されました。しかし、マージする対象のグループが選択されていません。これはエラーです。マージ対象のグループを選択するか、このグループの MERGERULE コマンドを省略してください。

重大度: 12

CKR0634 *kind* ユーザー *name* には、接続 *group* を使用するデフォルト・グループがありません (*kind user name has no default-group, using connect group*)

説明: このメッセージは、IBM Security zSecure Admin データベース・マージ・チェック・ルーチンによって発行されるもので、*kind* (「ソース (**Source**)」または「現行 (**Current**)」) データベースの構造上のエラーを示します。示された *name* のユーザーが検出されましたが、デフォルト・グループを判別できませんでした。回避策として、IBM Security zSecure Admin は、*group* への既存の接続を使用します。これは、データベースの構造上のエラーか、グローバル SELECT ステートメントまたはグローバル EXCLUDE ステートメントが原因である可能性があります。マージするプロファイ

ルは、グローバル SELECT ステートメントではなく、MERGE/ENDMERGE ブロック内の SELECT ステートメントによって選択される必要があります。

重大度: 04

CKR0635 マージの内部エラー: *description* (**MERGE internal error: *description***)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に内部エラーが発生しました。示された *description* を書き留めて、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR0636 マージ・フェーズ *number* でエラーが発生し、予定より早く停止しました (**Errors in merge phase *number* - stopped early**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベース・マージのパス *number* 中にエラーが発生しました。このエラーは、以前のメッセージで説明されていました。これらのエラーのために、IBM Security zSecure Admin データベースのマージを続行できなくなり、停止しました。

重大度: 12

CKR0637 マージには、ローカルの現行 RACF データベースが必要です (**Merge requires a local current RACF database**)

説明: マージが指定されましたが、マージ先の適切なデータベースが指定されていませんでした。zSecure サーバー・ネットワークを介して、非ローカル・データベースにマージすることはできません。

重大度: 12

CKR0638 マージには、ローカルの RACF ソース・データベースが必要です (**Merge requires a local RACF source database**)

説明: マージが指定されましたが、マージ元の適切なデータベースが指定されていませんでした。zSecure サーバー・ネットワークを介して、非ローカル・データベースからマージすることはできません。

重大度: 12

CKR0639 CKREFRI: コマンド・バッファオーバーフロー (**CKREFRI: command buffer overflow**)

説明: このメッセージは、1 つ以上のクラスが SETROPTS REFRESH コマンドから除外されたことを示します。

重大度: 08

CKR0640 以下の **src ID** は、規則を持っていますが、定義されていません: *ids* (**The following src ids have a rule but are not defined: *ids***)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、存在しないユーザー ID またはグループ ID を指定する複数の MERGERULE SOURCEID コマンドが検出されました。これはエラーです。ユーザー ID またはグループ ID を訂正するか、示された ID の MERGERULE コマンドを省略してください。

重大度: 12

CKR0641 これらの **src** には **RENAME** がありますが、選択されていないため、現行データベースに存在しません: *ids* (**These src ids have a RENAME, are not selected, and do not exist in current: *ids***)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、複数の MERGERULE SOURCEID RENAME コマンドが検出されました。示された ID は、SOURCE システム上の有効なユーザー ID およびグループ ID ですが、マージ対象として選択されていないため、コマンドを SOURCE ID に適用できません。RENAME オプションで指定された新しい名前が CURRENT システムに存在しておらず、マージ中に作成されることもないため、示された ID (例えばアクセス・リスト上の ID) への参照にコマンドを適用できません。これはエラーです。マージ対象のユーザー ID またはグループ ID を選択するか、示された ID の MERGERULE コマンドを省略してください。

重大度: 12

CKR0642 以下の現行 **ID** は、> 1 **rename** のターゲットです: *ids* (**The following current ids are the target of > 1 rename: *ids***)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、複数の MERGERULE SOURCEID RENAME コマンドが検出されました。これらのコマンドのいくつかで、SOURCE ID を、同一の CURRENT ID に名前変更しました。これは許可されません。ただ

し、SOURCE データベースを複数回マージすることによって、所期の効果を実現できます。

重大度: 12

CKR0643 以下のユーザーに **SUPGROUP** 規則が適用されています: *ids* (**The following users have a SUPGROUP rule: ids**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、ユーザーを SOURCEID として指定している複数の MERGERULE SOURCEID SUPGROUP コマンドが検出されました。これは許可されません。SUPGROUP オプションは、グループに対してのみ適用できます。MERGERULE コマンドを訂正してください。

重大度: 12

CKR0644 SYS1 に対する **SUPGROUP** 規則は許可されません: (**A SUPGROUP rule for SYS1 is not allowed:**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、マージ後に SYS1 という名になるグループに対して上位グループを指定している複数の MERGERULE SOURCEID SUPGROUP コマンドが検出されました。これは許可されません。SYS1 は上位グループを持つことはできません。src-id は元のグループ名 (名前変更前) を示し、cur-id は SYS1 になります。

元	新
src-id	cur-id

重大度: 12

CKR0645 以下の現行 ID は、src+rename のターゲットです: *ids* (**The following current ids are the target of src+rename: ids**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、複数の MERGERULE SOURCEID RENAME コマンドが検出されました。これらの 1 つ以上のコマンドで、SOURCE ID が CURRENT ID に名前変更されましたが、この ID は、名前変更されなかった選択した SOURCE ID のターゲットでもあります。これは許可されません。ただし、SOURCE データベースを複数回マージすることによって、所期の効果を実現できます。

重大度: 12

CKR0646 以下のユーザーが **SUPGROUP** として指定されました: *ids* (**The following users were specified as a SUPGROUP: ids**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、ユーザーを SUPGROUP として指定している複数の MERGERULE SOURCEID SUPGROUP コマンドが検出されました。これは許可されません。SUPGROUP オプションでは、グループを新しい上位グループとして指定する必要があります。ただし、MERGERULE SOURCEID OWNER オプションを使用して、ユーザーをグループの所有者として指定することができます。MERGERULE コマンドを訂正してください。

重大度: 12

CKR0647 以下のグループがソース内で検出されました。これらは、現行システムのユーザーです: (**Following groups found in source. They are users in current:**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、マージ対象として選択された複数のグループの名前が、(おそらく名前変更後に) CURRENT システム上のユーザーの名前と同じであることが検出されました。これは許可されません。src-id 列はユーザーをリストし、cur-id 列はマージ後の新しい名前をリストします。MERGERULE コマンドを訂正してください。

ソース	現行
src-id	cur-id

重大度: 12

CKR0648 以下のユーザーがソース内で検出されました。これらは、現行システムのグループです: (**Following users found in source. They are groups in current:**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、マージ対象として選択された複数のユーザーの名前が、(おそらく名前変更後に) CURRENT システム上のグループの名前と同じであることが検出されました。これは許可されません。src-id 列はユーザーをリストし、cur-id 列はマージ後の新しい名前をリストします。MERGERULE コマンドを訂正してください。

ソース	現行
src-id	cur-id

重大度: 12

CKR0649 ID が所有者として定義されていますが、定義/選択されていません: *ids* (**Ids defined as owner, but not defined/selected: ids**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、マージ後に欠落するユーザーまたはグループを指定している複数の MERGERULE SOURCEID OWNER コマンドが検出されました。これはエラーです。MERGERULE コマンドを訂正してください。

重大度: 12

CKR0650 ID が SupGroup として定義されていますが、定義/選択されていません: *ids* (**Ids defined as supgroup, but not defined/selected: ids**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 2)、マージ後に欠落するグループを指定している複数の MERGERULE SOURCEID SUPGROUP コマンドが検出されました。これはエラーです。MERGERULE コマンドを訂正してください。

重大度: 12

CKR0651 以下のグループが SupGroup ループを構成しています: *groups* (**The following groups are part of a supgroup loop: groups**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 3)、マージ後のグループ・ツリー構造が、示されたグループのループを構成することが判別されました。これはエラーであり、MERGERULE SOURCEID SUPGROUP コマンドを指定または訂正することによって修正する必要があります。

重大度: 12

CKR0652 以下のグループはソース専用です。これらのグループのソース専用上位グループが選択されていません: (**The following groups are source-only; their src-only supgrp is not selected:**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 3)、複数のグループがマージ対象として選択されていること、および SOURCE データベースにのみ存在することが検出されました。さらに、SUPGROUP コマンドが指定されておらず、SOURCE システム上の上位グループがマージ対象として選択されていませんでした。これはエラーであり、ソースの上位グループを選択するか、グループを選択しないか、

MERGERULE SOURCEID SUPGROUP コマンドを指定することによって修正する必要があります。

元	新	元の上位
<i>src-grp</i>	<i>cur-grp</i>	<i>src-supgroup</i>

重大度: 12

CKR0653 以下のグループには、競合する上位グループがあり、コマンドがありません: (**The following groups have conflicting supgrps, and no command:**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 3)、複数のグループがマージ対象として選択されていること、および SOURCE および CURRENT の両方のデータベースにのみ存在することが検出されました。さらに、上位グループが異なっていました。ソースの上位グループもマージ対象として選択されており、この競合を解決するコマンドが指定されていませんでした。これはエラーであり、以下のような各種の方法で修正できます。(1) 選択基準を変更する。(2) MERGERULE SOURCEID SUPGROUP コマンドを指定する。(3) MERGERULE SOURCEID DATA コマンドを指定する。(4) MERGERULE DEFAULT DATA コマンドを指定する。

ソース	現行	元のソ	元の名前変	現行の上位
		ース	更	ループ
<i>src-grp</i>	<i>cur-grp</i>	<i>src-s</i>	<i>renamed-src</i>	<i>cur-supgroup</i>

重大度: 12

CKR0654 グループ SYS1 が名前変更され、上位グループが指定されていませんでした (**Group SYS1 was renamed, and no superior group was specified**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 3)、SOURCE データベースのグループ SYS1 が、MERGERULE SOURCEID RENAME コマンドを使用して名前変更されたことが検出されました。しかし、新しいグループが CURRENT データベースにまだ存在しておらず、新しい上位グループが指定されていませんでした。これはエラーであり、MERGERULE SOURCEID コマンドを使用して修正できます。

重大度: 12

CKR0655 これらのソース専用ユーザーには所有者がありますが、その所有者は選択されていません **(These src-only users have an owner that is not selected:)**

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 4)、ソース・データベース上にのみ存在する 1 人以上のユーザーに、現行データベースに存在せず、マージ対象としても選択されていない所有者がいることが検出されました。さらに、MERGERULE SOURCEID OWNER コマンドが指定されていません。所有者を判別できないため、これはエラーです。適切な所有者を指定するか、ユーザーのマージ対象の所有者を選択してください。

ソース	現行	ソース所有者
<i>src-user</i>	<i>cur-user</i>	<i>src-owner</i>

重大度: 12

CKR0656 これらのユーザーの所有者が競合しており、コマンドがありません: **(These users have conflicting owners, no command:)**

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 4)、ソース・システムと現行システムの両方に存在する 1 人以上のユーザーの所有者が競合していることが検出されました。さらに、MERGERULE SOURCEID OWNER、MERGERULE SOURCEID DATA、または MERGEID DEFAULT DATA コマンドが指定されていませんでした。所有者を判別できないため、これはエラーです。

ソース	現行	ソースの所有者	現行の所有者
<i>src-user</i>	<i>cur-user</i>	<i>src-own</i>	<i>current-owner</i>

重大度: 12

CKR0657 以下の接続には競合する属性があり、Auth 規則がありません: **(The following connects have conflicting attrs and no auth rule:)**

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 5)、1 つ以上のユーザーとグループの接続の属性が、ソース・バージョンと現行バージョンで競合していることが検出されました。さらに、競合を解決する MERGERULE SOURCEID AUTHORITY または MERGERULE DEFAULT AUTHORITY が指定されていませんでした。これはエラーです。メッセージには、競合するユーザーとグループの接続ごとに、ソース・デ

ータベースと現行データベース上のユーザーおよびグループの名前がリストされます。

ソース・ユーザー	Src-grp	現行ユーザー	現行グループ
<i>s-user</i>	<i>s-group</i>	<i>c-user</i>	<i>c-group</i>

重大度: 12

CKR0658 以下のユーザーには、マージ後の接続がありません: **(The following users have no connects after the merge:)**

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 6)、1 人以上のユーザーがマージ後にグループ接続を持たないことが検出されました。これはエラーであり、以下 の方法で修正する必要があります。(1) ユーザーを選択解除する。(2) 1 つ以上の接続グループを選択する。(3) ユーザーの名前を CURRENT システムに既に存在するユーザーの名前に変更する。

ソース	現行	Src-dfltgrp
<i>src-id</i>	<i>cur-id</i>	<i>source defaultgroup</i>

重大度: 12

CKR0659 以下のユーザーには **dfltgrp** がいないため、> 1 が接続をコピーしました: **(The following users have no dfltgrp, and > 1 copied connect:)**

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 6)、1 人以上のユーザーがマージ後のグループ接続を 2 つ以上持つことが検出されましたが、ソース・デフォルト・グループがマージされず、デフォルト・グループを判別できませんでした。これはエラーであり、以下のような様々な方法で修正できます。(1) ユーザーを選択解除する。(2) マージ対象のソース defaultgroup を選択する。(3) ユーザーの名前を CURRENT システムに既に存在するユーザーの名前に変更する。

ソース	現行	Src-dfltgrp
<i>src-id</i>	<i>cur-id</i>	<i>source defaultgroup</i>

重大度: 12

CKR0660 以下のユーザーには 2 つの **dfltgrp** 候補があります: **(The following users have two dfltgrp candidates:)**

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマジ中に (パス 6)、1 人以上のユーザーが 2 つのデフォルト・グループ候補を持っていること、および競合を解決できる MERGERULE SOURCEID DATA または MERGERULE DEFAULT DATA コマンドが指定されていないことが検出されました。これはエラーです。

ソース	現行	Src-dflt	現行のデフォルト
<i>src-id</i>	<i>cur-id</i>	<i>src-dflt</i>	<i>current defaultgroup</i>

重大度: 12

CKR0661 警告: *product* システム *name* が、複合システム *name2* [version] の *product2* データベースによって保護されているものとして処理されました **(Warning: product system name now processed as if protected by product2 database of complex name2 [version])**

説明: このメッセージは、示されたシステム *name* に対して、使用可能な *product* セキュリティー・データベース (RACF、ACF2、または TSS) がないことを示します。複合システム *name2* 用の、示された *product2* セキュリティー・データベースが、代わりに使用されます。

重大度: 00

CKR0662 警告: 複合システム *name* 用の **RACF** クラス記述子テーブルが不明です。現行システム **CDT** を使用します **(Warning: RACF Class Descriptor Table for complex name unknown, using current system CDT)**

説明: このメッセージは、示されたシステム *name* 用の **RACF** クラス記述子テーブル (CDT) が見つからなかったことを示します。現行システム **CDT** が代わりに使用されます。

重大度: 00

CKR0663 開始タスク情報がありません。 **ICHRIN03** がシステム *name* の *ddname* にありません。複合システム *complex* [version] **(Started task info missing, ICHRIN03 not in ddname for system name complex complex [version])**

説明: このメッセージは、**VERIFY/REPORT STC** によって発行されます。これは、**STARTED** クラスの処理は続行されるが、示されたシステム *name* のフォールバック開始タスク情報がないことを示します。レポートが不完全である可能性があります。

重大度: 08

CKR0664 **RACF DB** の 2 パス **BDAMQSAM** 読み取りはサポートされていません。複合システム *name* には **UNLOAD** を使用してください (または、**BDAMQSAM** を使用しないでください) **(Two-pass BDAMQSAM read of RACF db not supported, use an unload [or no BDAMQSAM] for complex name)**

説明: **RACF** データベースは (**UNLOAD** とは対照的に) 2 パス読み取りに使用することはできません。代わりに、**UNLOAD** を使用してください (または、実行時に **BDAMQSAM** コマンドを含めないでください)。これは、操作の対象となるグループ構造を知る必要がある **ANYSUPGROUP** などのフィールドを照会内で指定したことや、**NEWLIST TYPE=RACF** の選択でルックアップを使用したこと (これには、所有権の関係などを事前に認識しておく必要があります) が原因で発生する場合があります。

重大度: 12

CKR0665 **UNLOAD COMPLEX=** パラメーターは、**NEWLIST TYPE=type** では無効です **(UNLOAD COMPLEX= parameter not valid for NEWLIST TYPE=type)**

説明: **UNLOAD** ステートメントの **COMPLEX** パラメーターは、アンロードする複合システム・セキュリティ・データベースを示すことが目的です。アンロード・ファイルに含めることができるのは 1 つの複合システムの情報のみですが、**NEWLIST** は複数の複合システムの情報をプリントできます。**COMPLEX** パラメーターは、非セキュリティ・データベース **NEWLIST** に対しては意味がないため、このエラー・メッセージが表示されます。

重大度: 12

CKR0666 システム *system* 複合システム *complex* **NJE** ノード *node* に、フリー **CKRCMD** ファイル *ddname volume dsn* が割り当てられています **(System system complex complex NJE node node has been assigned free CKRCMD file ddname volume dsn)**

説明: コマンド生成は、複合システムごとに行われます。各複合システムには、独自の出力ファイルが必要です (コマンドを正しい複合システムに送信する必要があります)。これらのメッセージは、どの TYPE=CKRCMD ファイルが、どの複合システムに使用されたかを示します。

重大度: 00

CKR0667 クラスのない余分な **CNSX** があります - ファイル *ddname volume dsn* (**Extra CNSX without class- file ddname volume dsn**)

説明: 入力ソースのクラス記述子テーブルに含まれているクラス記述子が、CDT 拡張 (CNSX) レコードよりも少なくなっています。データベース・アンロード・ファイルでレコードが切り捨てられたか、より重大な事柄が発生している可能性があります。ファイルに DCB 属性 RECFM=VBS,LRECL=X が指定されていることを確認してください。

重大度: 16

CKR0668 クラス *name* で **CNSX** のファイル *ddname* が一致しません (**Class name CNSX mismatch file ddname**)

説明: 入力ソースのクラス記述子テーブルに含まれている CNSX ポインターが、CDT 拡張 (CNSX) レコードと異なっています。データベース・アンロード・ファイルでレコードが切り捨てられたか、より重大な事柄が発生している可能性があります。ファイルに DCB 属性 RECFM=VBS,LRECL=X が指定されていることを確認してください。

重大度: 16

CKR0669 クラス *name* 以降で **CNSX** がファイル *ddname volume dsn* にありません。ダウン・レベル・リリースでアンロードされた可能性があります (**Class name and higher miss CNSX on file ddname volume dsn - probably unloaded with downlevel release**)

説明: アンロード・ファイルに、示されたクラスで始まるクラス記述子テーブル拡張 (CNSX) レコードがありません。レポートが誤りである可能性があります。

重大度: 16

CKR0669 クラス *name* 以降で **CNSX** がファイル *ddname* にありません。ダウン・レベル **CNFCOLL** は **RACF 2.2** をサポートしていません (**Class name and higher miss CNSX on file ddname - downlevel CNFCOLL does not support RACF 2.2**)

説明: CKFREEZE ファイルに、示されたクラスで始まるクラス記述子テーブル拡張 (CNSX) レコードがありません。レポートが誤りである可能性があります。

重大度: 16

CKR0670 **RCVT** と **CNST** のリリースが非互換です。NEWLIST TYPE=CLASS が不完全です。system に適切な **CKFREEZE** を割り振ってください (**Incompatible RCVT and CNST release - NEWLIST TYPE=CLASS incomplete - allocate proper CKFREEZE for system**)

説明: 同一のシステムで、RACF 2.2 以降の unload および CKFREEZE と、これ以前のレベルの RACF の unload および CKFREEZE とを安全に混在させることはできません。このため、NEWLIST TYPE=CLASS 出力を信頼することはできません。一貫性のある入力セット (例えば、同一システム上で生成された unload および CKFREEZE など) を使用してください。

重大度: 16

CKR0671 **UNLOAD** の DDNAME=*ddname* が無効です (**DDNAME=ddname is invalid on UNLOAD**)

説明: unload のターゲットとして、他の目的のために予約されているファイル名を指定しました。DDNAME パラメーターで、別のファイル名を指定してください。

重大度: 12

CKR0672 許可される **MERGE** は 1 つのみです。前のコマンドは無視されました (**Only one MERGE allowed - previous ignored**)

説明: 複数の MERGE 入力コマンドが指定されました。最後に指定されたコマンドのみが使用されます。複数の RACF データベース・マージ・ジョブは、複数回に分けて実行する必要があります。

重大度: 04

CKR0673 ソース ID *id* のキーワード *keyword* の値が重複しています (**Duplicate value for keyword *keyword* for source id *id***)

説明: MERGE 入力コマンドで、オプション *keyword* を設定するために MERGERULE SOURCEID=*id* ステートメントが使用されていました。しかし、このオプションは、先行する MERGERULE コマンドで既に同じ ID に設定されています。これはエラーです。

重大度: 12

CKR0673 リソース・クラス *class* のキーワード *keyword* の値が重複しています (**Duplicate value for keyword *keyword* for resource class *class***)

説明: MERGE 入力コマンドで、オプション *keyword* を設定するために MERGERULE SOURCECLASS=*class* ステートメントが使用されていました。しかし、このオプションは、先行する MERGERULE コマンドで既に同じ一般リソース・クラスに設定されています。これはエラーです。

重大度: 12

CKR0674 ENDMERGE なしで EOF に達しました。ENDMERGE が指定されたものと見なします (**EOF without ENDMERGE... ENDMERGE assumed**)

説明: MERGE 入力コマンドで、入力が MERGE コマンドの読み取り後、ENDMERGE コマンドの読み取り前に終了しました。終了のための ENDMERGE が指定されたものと見なします。

重大度: 04

CKR0675 警告: ALLOC TYPE=CKRCMD FILE=*ddname* COMPLEX=*name* の複合システムは処理されませんでした (**Warning: complex not processed for ALLOC TYPE=CKRCMD FILE=*ddname* COMPLEX=*name***)

説明: 示された複合システム用の CKRCMD 出力ファイルが指定されましたが、この複合システムは入力セット内で見つかりませんでした。出力ファイルは使用されません。

重大度: 00

CKR0676 これらのグループの OWNER パラメータは、**supgroup** と同じではありません (**These groups have an OWNER pararameter that is not equal to the supgroup:**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 4)、1 つ以上のグループに MERGERULE SOURCEID OWNER コマンドが指定されていることが検出されました。これらのコマンドは、グループを新しい所有者として指定していますが、指定された所有者が前のパスで判別された上位グループと同じではありませんでした。これはエラーです。目的の所有者を上位グループとして指定するか、ユーザーを所有者として使用してください。

ソース	現行	新しい上位	所有者パラメータ
<i>src-grp</i>	<i>cur-grp</i>	<i>supgrp</i>	<i>owner specified</i>

重大度: 12

CKR0677 以下のソース専用プロファイルで、現行所有者が見つかりませんでした (**For the following source-only profiles no current owner could be found:**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 7)、1 つ以上のデータ・セットまたは一般リソース・プロファイルが、ソース・データベースにのみあることが検出されました。さらに、現行データベース上でこれらのプロファイルの所有者が見つかりませんでした。ソース所有者はマージされなかったために現行データベースに存在しません。また、高位修飾子が現行データベース上の有効な ID ではありません。これはエラーです。多くの場合、示された所有者をマージ対象として選択するか、プロファイルの高位修飾子用の MERGERULE SOURCEID OWNER コマンドを指定することによって解決できます。

ソース所有者	クラス	プロファイル
<i>owner</i>	<i>class</i>	<i>プロファイル</i>

重大度: 12

CKR0678 以下のプロファイルには、ポリシーが設定されていなかったために未解決のアクセス・リストがあります (**The following profiles have an unresolved access list because no policy was set:**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 8)、1 つ以上のデータ・セットまたは一

一般リソース・プロファイルのアクセス・リストに、解決できない相違が含まれていることが検出されました。これはエラーです。プロファイルの高位修飾子用の MERGERULE SOURCEID AUTHORITY コマンドを指定するか、MERGERULE DEFAULT AUTHORITY コマンドを指定することによって解決できます。

クラス 現行のプロファイル名
class プロファイル

重大度: 12

CKR0679 警告: *number* 回出現したアクセス・リスト ID のマージ中に未定義の ID 「*id*」をスキップしました (**Warning: skipped undefined id "*id*" during merge of access list Id occurred *number* times**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 8)、RACF データベースに存在しないアクセス・リスト ID が検出されました。このアクセス・リスト項目はマージされません。このメッセージは無視できます。VERIFY PERMIT を実行して、RACF データベースをクリーンアップします。

重大度: 04

CKR0680 プロファイル *discrete-name* の非基本セグメントをスキップします (**Skipping non-base segments for profiles *discrete-name***)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に、複数の個別プロファイルの名前が同じでした。さらに、非基本セグメントが検出されました。非基本セグメントは、基本セグメントに割り当てることができないため、スキップされます。

重大度: 04

CKR0681 一般リソース・クラス *name* が、ソース・システムにのみ存在します (**General resource class *name* is only present on the source system**)
(プロファイルはマージされていません)
ignored

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 1)、マージ対象として選択されているプロファイルが含まれている一般リソース・クラス *name* が検出されました。しかし、このクラスは、ソース・システムにのみ存在します。プロファイルはマージされません。クラスにマージ規則が指定されていた場合は、3 行目の *ignored* が、MERGERULE

SOURCECLASS=class ignored という形式で表示されます。

重大度: 00

CKR0682 一般リソース・クラス *name* は、現行システムではなく、ソース・システム上で汎用です (**SETROPTS GENERIC が CKRCMD に書き込まれました**)
(**General resource class *name* is generic on the source system, not on the current (SETROPTS GENERIC written to CKRCMD)**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 1)、マージ対象として選択されている汎用プロファイルが含まれている一般リソース・クラス *name* が検出されました。しかし、このクラスの汎用処理は、ソース・システム上でのみアクティブになっています。このクラス用の SETROPTS GENERIC コマンドが、CKRCMD に書き込まれました。これが望ましくない場合は、このクラスをデータベース・マージから除外してください。

重大度: 00

CKR0683 一般リソース・クラス *name* が、現行システムではなく、ソース・システム上でアクティブになっています (**General resource class *name* is active on the source system, not on the current**)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 1)、マージ対象として選択されているプロファイルが含まれている一般リソース・クラス *name* が検出されました。しかし、このクラスは、ソース・システム上でのみアクティブになっています。プロファイルはマージされますが、現行システム上で実用的な機能を果たすことはありません。

重大度: 00

CKR0684 ID *name* の条件付きアクセス・リスト項目が無効です。プロファイルをスキップしました: *class key* (**Invalid conditional access list entry for id *name* - skipped Profile: *class key***)

説明: IBM Security zSecure Admin データベースのマージ中に (パス 8)、ユーザーまたはグループ *name* の条件付きアクセス・リスト項目に不要情報が含まれていることが検出されました。このような無効な項目を作成する可能性のある RACF PTF レベルが、過去に存在していました。プロファイルはマージされますが、現行シス

テム上で残りのアクセス・リストが失われる可能性があります。

重大度: 08

CKR0685 ファイル *filename* の有効な行の長さ *nn* が、NEWLIST DD=CKRCMD に使用された最初の CKRCMD の行の長さ *mm* と矛盾しています (**File filename effective linelength nn conflicts with first CKRCMD linelength mm used for NEWLIST DD=CKRCMD**)

説明: CKRCMD 出力を使用して複数のセキュリティ複合システムのデータベースを処理する場合、出力が書き込まれるファイルは 1 つのみではありません。複合システムごとに 1 つの TYPE=CKRCMD ファイルに自動的にリダイレクトされます。NEWLIST 定義は、行の長さに依存します (依存させることができます)。このため、有効な行の長さが、これらすべての TYPE=CKRCMD ファイルで同一である必要があります。この要件は、NEWLIST DD=CKRCMD を使用しない場合は当てはまりません。

重大度: 12

CKR0686 ACF2_CHANGE *num* がレコードの終わりを超えて読み取りを行っています (**ACF2_CHANGE num reads beyond end-of-record**)

説明: ログオン ID または Infostorage の変更用の ACF2 SMF レコードが、レコードの終わりを越えた情報を要求しました。レコードが切り捨てられた可能性があります。

重大度: 08

CKR0687 一部の ACF2_CHANGE 値が省略されました (**Some ACF2_CHANGE values omitted**)

説明: ログオン ID または Infostorage の変更用の ACF2 SMF レコードに、内部 zSecure Audit バッファに収まりきらない情報が含まれていました。一部の繰り返しグループの値が失われます。

重大度: 08

CKR0688 *xx* は不明な ACFATYPE です (**Unknown ACFATYPE xx**)

説明: ACF2 SMF レコードに、フィールド ACFATYPE のサポートされない値が含まれていまし

た。サポートされない値は、16 進数で指定されていました。

重大度: 20

CKR0689 *xx* は不明な ACF2 サブタイプです (**Unknown ACF2 subtype xx**)

説明: ACF2 SMF レコードに、サポートされない値が ACSMFREC の値 (レコード・サブタイプ) として含まれていました。サポートされない値は、16 進数で指定されていました。

重大度: 20

CKR0690 ACF2 mode=*xxx* はサポートされていません (**Unsupported ACF2 mode=xxx**)

説明: ACF2 SMF レコードに、サポートされない値が ACVMFTF の値として含まれていました。サポートされない値は、16 進数で指定されていました。

重大度: 20

CKR0691 進行状況 *module - description* (In *module - description*)

説明: これはマージ・プロセスの進行標識です。

重大度: 00

CKR0692 ファイル *file* の追加スナップショットが *timestamp* に作成されました (**File file additional snapshot was created at timestamp**)

説明: このメッセージは、TYPE=CKFREEZE 入力ファイルに、2 つの連結されたシステム・スナップショットが含まれていたことを示します。この 2 番目のスナップショットは、IBM Security zSecure によって無視されます。

重大度: 00

CKR0693 マージ・ソースの 2 パス読み取りが活性化されています (**Two-pass read of merge source activated**)

説明: このメッセージは、メモリ使用量を最小限にするためにマージ・ソース・データベースを 2 回読み取る必要があることを示します。通常、これは、操作の対象となるグループ構造を知る必要がある ANYSUPGRP などの選択フィールドが原因です。

重大度: 00

CKR0694 フィールド *fieldaddr fieldname* のフォーマット *outputformat* は、変更の場合はサポートされていません。定義されている場所 : *ddname* の行 *number* (**Field *fieldaddr* *fieldname* format *outputformat* not supported for modify - defined at *ddname* line *number***)

説明: フィールドは原則として変更可能ですが、使用されていた出力フォーマットが変更用にサポートされていません。オーバーライド・フォーマットを指定していなかった場合、これは内部エラーです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0695 繰り返しコマンド数の安全限度である 50 を超えました (**Safety limit of 50 repeat commands exceeded**)

説明: MERGE コマンド生成は、コマンドを 16KB の断片に自動的に分割します。このような分割が 50 回行われた後も、コマンドは完了しませんでした。内部エラーが存在する可能性が非常に高いため、コマンド生成が中止されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR0696 マージ *function* の **CKRCMD** がありません (**No CKRCMD for merge function**)

説明: マージが要求されましたが、指定されたデータベ

ース機能 (ソースまたは現行) 用のコマンドを生成するためのファイルがありませんでした。

重大度: 08

CKR0697 *nn* は不明なエンティティ・タイプです (**Unknown entity type *nn***)

説明: プロファイル・キャッシュ・メカニズムが、サポートされないエンティティ・タイプを検出しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0698 重複する接続です *user / group* (**Duplicate connect *user / group***)

説明: プロファイル・キャッシュ・メカニズムが、非 RDS RACF データベース内で重複する接続を検出しました。

重大度: 20

CKR0699 クラス *class* に **MERGERULE SOURCECLASS** が指定されましたが、ソース **CDT** 内でクラスが検出されませんでした (**MERGERULE SOURCECLASS specified for class *class* but class not found in source CDT**)

説明: MERGERULE SOURCECLASS が、ソース・データベースのクラス記述子テーブルに存在しないクラスに指定されました。クラス名が正しく指定されていることを確認してください。

重大度: 12

メッセージ 700 から 799

CKR0700 最初のボリュームのカatalog項目が矛盾しています (ファイル *seq volser datasetname* 最初のボリューム *vol2*) (**First volume catalog entries conflict, file *seq volser datasetname first vol2***)

説明: このメッセージは、2 つの ICF カタログ項目がそれぞれ示している、*datasetname* (テープ・ボリューム *volser* 上のシーケンス番号 *seq*) の最初のボリュームが、異なっている場合に発行されます。どちらが正しい

かを判別する方法がありません。*vol2* は無視されたリンクです。

重大度: 08

CKR0701 最初のボリュームがテープ管理で矛盾しています (ファイル *seq volser datasetname* 最初のボリューム *vol2*) (**First volume conflict in tape mgmnt for file *seq volser datasetname first vol2***)

説明: このメッセージは、2 つのテープ・カタログ項目

がそれぞれ示している、*datasetname* (ボリューム *volser* 上のシーケンス番号 *seq*) の最初のボリュームが、異なっている場合に発行されます。どちらが正しいかを判別する方法がありません。*vol2* は無視されたリンクです。

重大度: 08

CKR0702 最初のボリュームがテープ管理/TVTOC で矛盾しています (ファイル *seq volser datasetname* 最初のボリューム *vol2*) (**First volume conflict tape mgmnt/TVTOC, file *seq volser datasetname first vol2***)

説明: このメッセージは、RACF データベース内の TVTOC 項目が、*datasetname* (ボリューム *volser* 上のシーケンス番号 *seq*) の最初のボリュームに関して、テープ管理カタログと矛盾する場合に発行されます。テープ管理カタログが正しいと見なされ、TVTOC の指示 (*vol2*) が無視されます。

重大度: 08

CKR0703 最初のボリュームがテープ管理/カタログで矛盾しています (ファイル *seq volser datasetname* 最初のボリューム *vol2*) (**First volume conflict tape mgmnt/catlg, file *seq volser datasetname first vol2***)

説明: このメッセージは、ICF カタログ項目が、*datasetname* (ボリューム *volser* 上のシーケンス番号 *seq*) の最初のボリュームに関して、テープ管理カタログと矛盾する場合に発行されます。テープ管理カタログが正しいと見なされ、ICF カタログの指示 (*vol2*) が無視されます。

重大度: 08

CKR0704 最初のボリュームがテープ管理と矛盾しています (ファイル *seq volser datasetname* 最初のボリューム *vol2*) (**First volume conflict with tape mgmnt, file *seq volser datasetname first vol2***)

説明: このメッセージは、情報ソース (おそらく ICF カタログであるが、TVTOC の場合も考えられる) が、*datasetname* (ボリューム *volser* 上のシーケンス番号 *seq*) の最初のボリュームに関して、テープ管理カタログと矛盾する場合に発行されます。テープ管理カタログが正しいと見なされ、もう一方の指示 (*vol2*) が無視されます。

重大度: 08

CKR0705 最初のボリュームがカタログと矛盾しています (ファイル *seq volser datasetname* 最初のボリューム *vol2*) (**First volume conflict with catalog for file *seq volser datasetname first vol2***)

説明: このメッセージは、情報ソース (おそらく ICF カタログであるが、TVTOC の場合も考えられる) が、*datasetname* (ボリューム *volser* 上のシーケンス番号 *seq*) の最初のボリュームに関して、ICF カタログ項目と矛盾する場合に発行されます。最初の情報が正しいものと見なされ、新しい ICF 情報 (*vol2*) が無視されます。

重大度: 08

CKR0706 最初のボリュームがカタログ/TVTOC で矛盾しています (ファイル *seq volser datasetname* 最初のボリューム *vol2*) (**First volume conflict catalog/TVTOC for file *seq volser datasetname first vol2***)

説明: このメッセージは、ICF カタログ項目が、*datasetname* (ボリューム *volser* 上のシーケンス番号 *seq*) の最初のボリュームに関して、RACF データベース内の TVTOC 項目と矛盾する場合に発行されます。TVTOC 情報が正しいと見なされ、ICF カタログの指示 (*vol2*) が無視されます。

重大度: 08

CKR0707 マルチボリューム・リンク・テーブル内のカウントに誤りがあります (複合システム *volser* カウント *count*) (**Erroneous count in multi-volume link table, complex *volser count count***)

説明: このメッセージは、次のリンク・テーブル内の *volser* で始まる複合システムに定義されている 2 次ボリュームの数を宣言している *count* フィールドが、1 より小さいか、最大値を超えている場合、つまり、*count* が 5 (TLMS 基底レコードの場合) または 32 (TLMS マルチボリューム・レコードの場合) より大きい場合に発行されます。このレコード内のマルチボリューム・リンク情報は無視されます。

重大度: 08

CKR0708 複合システム *volser* のマルチボリューム・テーブル内のシーケンス番号が不正です (シーケンス番号 *vseq*) (**Bad sequence number in multi-volume table of complex *volser sequence number vseq***)

説明: このメッセージは、*volser* で始まる TLMS 複合システムの 2 次ボリュームを定義するテーブル内の項

目に、2 より小さいボリューム・シーケンス番号 *vseq* が含まれている場合に発行されます。このような項目はスキップされます。

重大度: 08

CKR0709 TLMS ボリューム *volser* に対する
CONVERSION *abend-type*
(CONVERSION *abend-type* **for TLMS**
volume *volser*)

説明: このメッセージは、ボリューム *volser* の TLMS 基底レコードを表す CKFREEZE 項目のボリューム・シーケンスまたはボリューム・カウント・フィールドのパック 10 進から 2 進への変換が失敗した場合に発行されます。このレコード内のマルチボリューム情報は無視されます。

重大度: 20

CKR0710 マルチボリューム複合システム *volser* シーケンス番号 *vseq* でボリューム・シーケンスが矛盾しています。*vol2* が無視されます (**Volume sequence conflict in multi-volume complex** *volser* **sequence number** *vseq* **ignored** *vol2*)

説明: このメッセージは、*vol2* が *volser* で始まるマルチボリューム複合システムの *vseq* 番目のボリュームとして識別されたが、別のボリュームが既に識別されていた場合に発行されます。新しいリンク情報が無視されます。

重大度: 08

CKR0711 2 次ボリュームが非スクラッチ複合システム *volser* ボリューム *vol2* でスクラッチになっています (**Secondary volume is scratch in nonscratch complex** *volser* **volume** *vol2*)

説明: このメッセージは、*vol2* が、非スクラッチ・ボリューム *volser* で始まる複合システムでスクラッチ 2 次ボリュームになっている場合に発行されます。

重大度: 08

CKR0712 最初とされるボリュームが、*vol2* によって参照される複合システム *volser* への関与を否定しています (**Alleged first volume denies involvement in complex** *volser* **referenced by** *vol2*)

説明: このメッセージは、非スクラッチ・ボリューム *vol2* が、*volser* で始まる TLMS 複合システムにリンク

されていたが、*volser* がマルチボリューム複合システムの先頭として基底レコードによって認識されなかった場合、または基底レコードが検出されなかった場合に発行されます。

重大度: 08

CKR0713 TLMS マルチボリューム複合システム *volser* に孤立 2 次ボリュームがあります (孤立ボリューム *vol2*) (**Orphan secondary volume in TLMS multi-volume complex** *volser* **orphan volume** *vol2*)

説明: このメッセージは、非スクラッチ・ボリューム *vol2* が、TLMS 複合システムの先頭として別のボリューム *volser* を参照しているが、適切なリンク情報が検出されなかった場合に発行されます。

重大度: 08

CKR0714 マルチボリューム複合システムに 2 次ボリュームがありません (*volser* カウント *count*) (**Multi-volume complex without any secondary volumes** *volser* **count** *count*)

説明: このメッセージは、ボリューム *volser* がマルチボリューム複合システムの先頭として識別されたが、有効なリンク情報が検出されなかった場合に発行されます。*count* は、*volser* の基底レコードに示されているボリューム・カウントです。

重大度: 08

CKR0715 マルチボリューム複合システムに 2 次ボリュームがありません (*volser* シーケンス番号 *vseq*) (**Missing secondary volume in multi-volume complex** *volser* **sequence number** *vseq*)

説明: このメッセージは、*volser* がマルチボリューム複合システムの先頭として識別され、何らかのリンク情報が検出されたが、中間ボリュームがない場合に発行されます。

重大度: 08

CKR0716 非 VSAM データ・セットが VTOC ではなく VVDS 内で検出されました - *volser datasetname* (**Non-VSAM data set found in VVDS but not in VTOC -** *volser datasetname*)

説明: zSecure Collect による VTOC の読み取りと

VVDS の読み取りの間に、システムによってアクションが実行された結果、偶発的に発生する場合があります (VVDS を開くのにかなりの時間がかかります)。このメッセージが同じデータ・セットで再度表示される場合 (まず、もう一度 zSecure Collect を実行してください) には、問題が存在します。VVDS で IDCAMS DIAGNOSE 関数を実行してください。DELETE NVR コマンドが役立つ場合があります。

重大度: 08

CKR0717 非 VSAM データ・セットが VVDS 内で複数回検出されました - *volser datasetname (Non-VSAM data set found in VVDS multiple times - volser datasetname)*

説明: データ・セットを削除するときに、非 VSAM SMS 管理データが、主に NVR で言及されているカタログを介して DELETE され、他のカタログから DELETE NOSCRATCH されます。このメッセージは、複数の NVR が検出されたため、生成されたコマンドには、単一のデータ・セット用の複数のカタログのための NOSCRATCH キーワードがないことを示します。つまり、1 つ以上のコマンドが失敗する可能性があります。生成されたコマンドを確認する場合は、十分に注意してください。

重大度: 08

CKR0718 リソースの削除: DELETE 非 VSAM *volser datasetname catalogname (Resource deletion: DELETE non-VSAM volser datasetname catalogname)*

説明: このメッセージは、*datasetname* と呼ばれる非 VSAM データ・セットに対して DELETE が生成されたことを示します。*catalogname* が デフォルト・カタログと等しい場合は、カタログ・キーワードは指定されませんでした。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログを対象とします。

重大度: 00

CKR0719 リソースの削除: DELETE 非 VSAM NOSCRATCH *volser datasetname catalogname (Resource deletion: DELETE non-VSAM NOSCRATCH volser datasetname catalogname)*

説明: このメッセージは、*datasetname* と呼ばれる非 VSAM データ・セットに対して DELETE NOSCRATCH が生成されたことを示します。*catalogname* が デフォルト・カタログと等しい場合は、カタログ・キーワードは指定されませんでした。そうで

ない場合は、このコマンドは表示されたカタログを対象とします。

重大度: 00

CKR0720 リソースの削除: SUPPRESS del *n-vsam noscr volser datasetname catalogname (Resource deletion: SUPPRESS del n-vsam noscr volser datasetname catalogname)*

説明: このメッセージは、もし DELETE NOSCRATCH コマンドの生成を許可していたのであれば、DELETE NOSCRATCH が、*datasetname* と呼ばれる非 VSAM データ・セット用に生成されていたはずであることを示します。*catalogname* が デフォルト・カタログと等しい場合は、カタログ・キーワードが指定されていなかったこととなります。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログを対象とします。

重大度: 00

CKR0721 リソースの削除: DELETE クラスター *datasetname catalogname (Resource deletion: DELETE cluster datasetname catalogname)*

説明: このメッセージは、*datasetname* と呼ばれる VSAM クラスターに対して DELETE が生成されたことを示します。*catalogname* が デフォルト・カタログと等しい場合は、カタログ・キーワードは指定されませんでした。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログを対象とします。

重大度: 00

CKR0722 リソースの削除: DELETE クラスター NOSCRATCH *datasetname catalogname (Resource deletion: DELETE cluster NOSCRATCH datasetname catalogname)*

説明: このメッセージは、*datasetname* と呼ばれる VSAM クラスターに対して DELETE NOSCRATCH が生成されたことを示します。*catalogname* が デフォルト・カタログと等しい場合は、カタログ・キーワードは指定されませんでした。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログを対象とします。

重大度: 00

CKR0723 リソースの削除: SUPPRESS delete クラスター NOSCRATCH *datasetname catalogname (Resource deletion: SUPPRESS delete cluster NOSCRATCH datasetname catalogname)*

説明: このメッセージは、もし DELETE NOSCRATCH コマンドの生成を許可していたのであれば、DELETE NOSCRATCH が、*datasetname* と呼ばれる VSAM クラスター用に生成されていたはずであることを示します。 *catalogname* が デフォルト・カタログと等しい場合は、カタログ・キーワードが指定されていなかったこととなります。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログを対象とします。

重大度: 00

CKR0724 リソースの削除: DELETE
GENERATIONDATAGROUP
datasetname catalogname (Resource deletion: DELETE GENERATIONDATAGROUP datasetname catalogname)

説明: このメッセージは、*datasetname* と呼ばれる GDG に対して DELETE GENERATIONDATAGROUP が生成されたことを示します。 *catalogname* が デフォルト・カタログと等しい場合は、カタログ・キーワードは指定されませんでした。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログを対象とします。

重大度: 00

CKR0725 リソースの削除: DELETE ALIAS
aliasname catalogname (Resource deletion: DELETE ALIAS aliasname catalogname)

説明: このメッセージは、*aliasname* と呼ばれるカタログ別名に対して DELETE ALIAS が生成されたことを示します。 *catalogname* が **master catalog** と等しい場合は、カタログ・キーワードが指定されていなかったため、コマンドはアクティブなマスター・カタログに対して実行されます。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログ (通常は非アクティブなマスター・カタログ) を対象とします。

重大度: 00

CKR0726 リソースの削除: DELETE 非 VSAM
DSCB *volser datasetname reason (Resource deletion: DELETE non-VSAM DSCB from volser datasetname reason)*

説明: このメッセージは、適切な DELETE がなかったため、ボリューム *volser* 上にある *datasetname* と呼ばれる非 VSAM データ・セットの DSCB を削除するために、コマンド・シーケンス ALLOCATE - FREE DELETE が生成されたことを示します。これは、データ・セットがデフォルト・システム上でカタログされて

いても、接続されているカタログには存在しない場合 (*reason* は **unconnected catalog**)、デフォルト・システムで共有されていない DASD 上のカタログ内にのみ存在する場合 (*reason* は **remote catalog not shared**)、またはカタログ項目が検出されなかった場合 (*reason* は **not in any catalog anywhere**) に発生します。

重大度: 00

CKR0727 リソースの削除: 孤立非 VSAM DSCB
 が保持されています *volser datasetname reason (Resource deletion: orphan non-VSAM DSCB kept volser datasetname reason)*

説明: このメッセージは、適切な DELETE がなかったため、もしコマンド・シーケンス ALLOCATE - FREE DELETE の生成を許可していたのであれば、ボリューム *volser* 上にある *datasetname* と呼ばれる非 VSAM データ・セットの DSCB を削除するために、そのコマンド・シーケンスが生成されていたはずであることを示します。これは、データ・セットがデフォルト・システム上でカタログされていても、接続されているカタログには存在しない場合 (*reason* は **unconnected catalog**)、デフォルト・システムで共有されていない DASD 上のカタログ内にのみ存在する場合 (*reason* は **remote catalog not shared**)、またはカタログ項目が検出されなかった場合 (*reason* は **not in any catalog anywhere**) に発生します。

重大度: 00

CKR0728 カタログ項目が先行ボリュームに関して一致しません *diskvolser datasetname* 先行
vol2 (Catalog entries disagree on the previous volume of diskvolser datasetname previous vol2)

説明: このメッセージは、2 つの ICF カタログ項目が、同一のディスク・ボリューム通し番号について、先行ボリュームとして異なるものを示している場合に発行されます。どちらが正しいかを判別する方法はありません。 *vol2* は無視されたリンクです。

重大度: 08

CKR0729 カタログ項目の最初のボリュームが、他の
diskvolser datasetname で 2 次ボリューム
 になっています (**First volume of catalog entry is secondary in other diskvolser datasetname**)

説明: このメッセージは、1 つの ICF カタログ項目ではディスク・ボリューム *diskvolser* が *datasetname* の最初のボリュームであることを示しているが、別のカタロ

グ項目ではそのディスク・ボリュームが 2 次ボリュームであることを示す場合に発行されます。最初に検出された項目が正しいと見なされ、もう一方の項目は無視されます。

重大度: 08

CKR0730 リソースのコピー: **DEFINE ALIAS**
aliasname catalogname (Resource copying:
DEFINE ALIAS *aliasname catalogname)*

説明: このメッセージは、*aliasname* と呼ばれるカタログ別名に対して **DEFINE ALIAS** が生成されたことを示します。*catalogname* が **master catalog** と等しい場合は、カタログ・キーワードが指定されていなかったため、別名はアクティブなマスター・カタログ内で定義されます。そうでない場合は、このコマンドは表示されたカタログ (通常は非アクティブなマスター・カタログ) を対象とします。新しい別名は、コピーされた別名 (表示されていない) と同じカタログに関連付けられます。

重大度: 00

CKR0731 **RACFVARS** プロファイル・キーの先頭に「&」がありません: *profilename*、複合システム *complex version* (**RACFVARS profile key has no leading '&':**
profilename complex complex version)

説明: クラス **RACFVARS** 内で不明なフォーマットの一般リソース・プロファイルが検出されました。

重大度: 04

CKR0732 **CKFREEZE** が存在せず、リソース管理コマンドが生成されていません (**No CKFREEZE present, no resource management commands are generated**)

説明: このメッセージは、もし **CKFREEZE** が存在していたのであれば、リソースに関する特定のタイプのコマンドが生成されていたはずであることを示します。管理は、リソースの削除コマンドかリソースのコピー・コマンドの一方のみが生成されていたのであれば削除またはコピーと等しく、両方のコマンドが生成されていたのであれば削除およびコピーと等しくなります。このメッセージは **CKRCMD** ファイルにもエコー出力されます。このメッセージは、これらの機能が明示的に抑止されている場合または暗黙指定されていない場合は発行されません。

重大度: 00

CKR0733 **VSM** 領域で矛盾があります: *address* が *type1 name1* および *type2 name2* になっています (**VSM area conflict: address is type1 name1 and type2 name2**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR0734 組み込みが失敗しました。ファイル *ddname1* が *ddname2* の行 *number* で割り振られませんでした (**Imbed failed, file ddname1 not allocated at ddname2 line number**)

説明: このメッセージは、指定された *ddname* *ddname1* を割り振ることができなかったため、外部データ・ソースを組み込めなかったことを示します。

重大度: 12

CKR0735 **IMBED** パラメーター **FILEDESC/PATH** は、*ddname* の行 *number* で **DD/MEM** と相互に排他的です (**IMBED parameters FILEDESC/PATH mutually exclusive with DD/MEM at ddname line number**)

説明: 組み込みステートメントに入れることができる外部データ・ソースは 1 つのみです。

重大度: 12

CKR0737 要求された新しい所有者 *owner* が、複合システム *complex* 上で未定義です (**Requested new owner owner is undefined on complex complex**)

説明: このメッセージは、ユーザーのコピー・アクションで指定された所有者が、言及された複合システムで定義されていない場合に発行されます。

重大度: 12

CKR0738 要求された新しいデフォルト・グループ *group* が、複合システム *complex* で未定義です (**Requested new default group group is undefined on complex complex**)

説明: このメッセージは、ユーザーのコピー・アクションで指定されたデフォルト・グループが、言及された複合システムで定義されていない場合に発行されます。

重大度: 12

CKR0739 リソースの削除: **DELETE** マイグレーション済みクラスター **MIGRAT dsname catalog (Resource deletion: DELETE migrated cluster MIGRAT dsname catalog)**

説明: このメッセージは、HSM MCDS に存在するマイグレーション済み VSAM クラスター・データ・セット名に、削除すべき高位修飾子があることを示します。**DELETE PURGE** コマンドが、自動復元なしの削除を実現するために生成されました。

重大度: 00

CKR0740...CKR0777 *message*

説明: この範囲のメッセージはすべて、内部の整合性検査の結果として生成される内部エラー・メッセージです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0778 **PROTECTED** パラメーターは、**NEWPASSWORD** または **NEWPHRASE** パラメーターと一緒に使用できません。(The **PROTECTED** parameter cannot be used with either the **NEWPASSWORD** or **NEWPHRASE** parameters.)

説明: **PROTECTED** パラメーターを指定すると、ログオンに使用できないユーザー ID をセットアップすることができます。**NEWPASSWORD** および **NEWPHRASE** パラメーターは、ユーザーID のパスワードまたはパスフレーズを設定するために使用されません。

ユーザーの処置: パスワードまたはパスフレーズを持つユーザー ID をセットアップする場合は、**PROTECTED** パラメーターを削除してください。ログオンに使用できないユーザー ID をセットアップする場合は、**NEWPASSWORD** または **NEWPHRASE** パラメーターを削除してください。

重大度: 12

CKR0779...CKR0785 *message*

説明: この範囲のメッセージはすべて、内部の整合性検査の結果として生成される内部エラー・メッセージです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0786 **CKRXINIT.CKRDIDID: ID** フィルター名の長さが **246** を超えています - *name (CKRXINIT.CKRDIDID: Identity filter name is longer than 246 - name)*

説明: ユーザー・プロファイルの **DMAPNAME** フィールドに、サポートされる最大長を超える **ID** フィルター参照が含まれています。**RACMAP_REGISTRY** フィールドで、値が失われる可能性があります。

重大度: 20

CKR0787 *message*

説明: この内部エラー・メッセージは、内部の整合性検査の結果として生成されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0788 ユーザー *userid* の所有者フィールドに入力されていません (**Owner field for user userid not filled in**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0789...CKR0791 *message*

説明: この範囲のメッセージはすべて、内部の整合性検査の結果として生成される内部エラー・メッセージです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0792 使用されている領域がプロファイルの途中で終わっています: *ddname* ブロック *blockno* セグメント・オフセット *segno*
(End of used area in middle of profile: *ddname* block *blockno* segment offset *segno*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0793 *complex* について、データベースが *ddname1* と *ddname2* で競合しています - 固有の複合システム名を指定してください (Database conflict for *complex* between *ddname1* and *ddname2* - specify unique complex names)

説明: 同じ複合システム名に対して複数のセキュリティ・データベースが検出されました。これは、明示的に指定された複合システム名と同じデフォルトの複合システム名が (例えば、ZSECSYS から) 派生されたことが原因となっている可能性があります。

ユーザーの処置: 必ず、セキュリティ・データベースごとに固有の複合システム名を使用してください。

重大度: 16

CKR0794 **CKROUBU** 範囲エラー、**TLHVIX=num1**
BUHD#TLHD=num2 (CKROUBU range error, **TLHVIX=num1**
BUHD#TLHD=num2)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0795 **BUNDLEBY** が見つかりません
(BUNDLEBY not found)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0796 **CKACMEM:** 使用可能なデータ・セット・コンテキストがありません
(CKACMEM: No dataset context available)

説明: このメッセージは、zSecure Audit ライブラリー更新レポートの内部エラー条件を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0797 **CKACMEM:** *dataset volume* の TVOL がありません (CKACMEM: No TVOL for *dataset volume*)

説明: このメッセージは、zSecure Audit ライブラリー更新レポートの内部エラー条件を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0798 **CKACMEM:** *dataset volume* の CVOL がありません (CKACMEM: No CVOL for *dataset volume*)

説明: このメッセージは、zSecure Audit ライブラリー更新レポートの内部エラー条件を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0799 **CKACMEM:** **CFIXB** がありません
dataset volume (CKACMEM: No CFIxB
dataset volume)

説明: このメッセージは、zSecure Audit ライブラリー更新レポートの内部エラー条件を示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守

が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

メッセージ 800 から 899

CKR0800...CKR0802 *message*

説明: これらのメッセージは、アーキテクチャー・サブコンポーネントからのメッセージです。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKR0803 **ddname** *data.set.name* で指定されている、OS によってフォーマットされた **RACF DB** が無効です (**Invalid OS formatted RACF DB specified for ddname** *data.set.name*)

説明: このメッセージは、VM インストール・プロセスの一部として上記で指定された RACF データベース・データ・セットが存在しないか、OS によってフォーマットされた RACF データベース・ファイルではないことを示します。VM インストール済み環境を調べて、指定したオプションが正しいことを確認してください。

重大度: 16

CKR0804 OS によってフォーマットされた **RACF DB** のエクステント数が *nn* で、これはエラーです。エクステントの数が 1 つの場合のみ処理可能です (**Error OS formatted RACF DB has nn extents. Only able process if it has 1 extent**)

説明: このメッセージは、VM インストール・プロセスの一部として上記で指定された RACF データベース・データ・セットが存在しないか、OS によってフォーマットされた RACF データベース・ファイルではないことを示します。VM インストール済み環境を調べて、指定したオプションが正しいことを確認してください。

重大度: 16

CKR0805 デバイス *nnnn* **cc=mm R15=nn** で入出力エラー (**I/O error on device** *nnnn* **cc=mm R15=nn**)

説明: このメッセージは、OS によってフォーマットされた RACF データベースのセンス情報を返すために **DIAG A8** を発行しようとして、入出力エラーが発生したことを示します。エラー・レポートを IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。

重大度: 08

CKR0806 **ddname** *fn ft fm/data.set.name* で **FILEDEF** エラー **RC=nn (FILEDEF error RC=nn for ddname** *fn ft fm/data.set.name*)

説明: このメッセージは、CMS ファイル (*fn ft fm*) または OS によってフォーマットされた RACF データベース (*data.set.name*) 用の **FILEDEF** コマンドを発行しようとして、エラーが発生したことを示します。エラー・レポートを IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。

重大度: 08

CKR0807 内部エラー **CKRCCHH RC=16 (Internal error CKRCCHH RC=16)**

説明: この内部メッセージは、無効な相対トラック番号が **CKRCCHH** ルーチンに渡されたことを示します。エラー・レポートを IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。

重大度: 08

CKR0808 *ppp* 用の **TTT** 変換結果 **CCCC HHHH** *nnnn* が、*mmmm - 00000* のエクステント内にありません。エクステント 0 の範囲は *qqqq - rrrr* です (**TTT conversion result CCCC HHHH** *nnnn* **not in extent** *mmmm - 00000 for ppp* **Extent 0 range** *qqqq - rrrr*)

説明: 相対トラック・アドレスの絶対トラック・アドレスへの変換を試行中に、**CKRCCHH** ルーチンでエラーが発生されました。このエラーは、相対トラックが、OS によってフォーマットされた RACF データベースのエクステント外にあったことを示します。エラー・レポートを IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。

重大度: 24

CKR0809 *ddname* 上の *procedure* 呼び出しタイプ *type* が *recno* 個のレコードの後で、次のように報告しています: (*procedure call type type on ddname after record recno reports:*)
msg

説明: レコードを書き込む、名前が示されているプロシージャが、非ゼロの戻りコードと説明 *msg* を発行しました。 *recno* は、前に正常に書き込まれたレコードの数を示しています。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR0810...CKR0836 *message*

説明: これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 0

CKR0837 *address* の CKRSRVIN の IDENTIFY RC=*n* (IDENTIFY RC=*n* for CKRSRVIN at *address*)

説明: このメッセージは、示されたアドレスで示されたモジュール名を設定する IDENTIFY サービスの失敗を示します。

ユーザーの処置: 「IDENTIFY サービス」については、MVS 資料を参照してください。

重大度: 12

CKR0838...CKR0839 *message*

説明: これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKR0841 重大な *function* エラー [*msg*] PC RC=*n* - ユーザー異常終了 841 を発行します (Severe function error [*msg*] PC RC=*n* - issuing user abend 841)

説明: リモート・ノードからの読み取り中 (SRVIN) またはリモート・ノードへの書き込み中 (SRVOU) に、サーバーのプログラム呼び出しインターフェースからエラー状態が返されました。*function* は SRVIN または SRVOU であり、メッセージ・タイプ *msg* が示される場合もあります。

ユーザーの処置: サーバーがアクティブであることを確認してから、サーバーを再始動して再試行してください。

重大度: 16

CKR0842 SPECPROC から、範囲外の長さが返されました R0=xxxxxxx - ユーザー異常終了 842 を発行します (SPECPROC returned length out of range R0=xxxxxxx - issuing user abend 842)

説明: このメッセージは、zSecure Server に関連する内部インターフェースの 1 つが予期しない長さを受け取り、異常終了を発行したことを示します。

ユーザーの処置: ローカル側およびリモート側の SYSPRINT を収集して、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR0843 FILEDATA=RECORD レコード *recno* は *bytes* バイト (16 進数) で、*max_bytes* バイトを超えています。ファイル *ddname path* を閉じます (FILEDATA=RECORD record *recno* has bytes bytes (hex), exceeding max_bytes bytes; closing file *ddname path*)

説明: このメッセージは、FILEDATA=RECORD フォーマットの UNIX ファイル *path* のレコード *recno* が *bytes* バイトあることを示します。この値は、許容される最大バイト数 *max_bytes* を超えています。これは、ファイルが破損していることを示します。したがって、ファイルからこれ以上のレコードの読み取りは行われません。ファイルは閉じられます。

重大度: 08

CKR0844 最後の **FILEDATA=RECORD** レコードが、ファイルの終わりで切り捨てられています *ddname path (Last FILEDATA=RECORD record truncated by end-of-file ddname path)*

説明: このメッセージは、レコードの途中で **FILEDATA=RECORD** フォーマットの UNIX ファイル *path* でファイルの終わりに達したことを示します。これは、ファイルが破損していることを示します。

重大度: 08

CKR0845 *module CKNSRVIR* キュー *file* メッセージ *type* 送信元 *zsecsys* 長さ *length* 理由 *zsecsys2* ファイル *file2* の待機中 (*module CKNSRVIR queue file message type from zsecsys length length because waiting on zsecsys2 file file2*)

説明: このメッセージは、**DEBUG CKNSRVIR_POST** ステートメントによって要求された場合にのみ書き込まれます。このメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 0

CKR0846 *module CKNSRVIR* リターン・キュー *file* メッセージ *type* 送信元 *zsecsys* 長さ *length* (*module CKNSRVIR return queued file message type from zsecsys length length*)

説明: このメッセージは、**DEBUG CKNSRVIR_POST** ステートメントによって要求された場合にのみ書き込まれます。このメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 0

CKR0847 *message*

説明: このメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。このメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKR0848 **DTISPF.FMTVXML** が呼び出されましたが、まだ有効化されていません (**DTISPF.FMTVXML called but not yet enabled**)

説明: このメッセージは、XML 出力の文字をエスケープするルーチンで問題が発生したことを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。分析のためにこの問題を再現する方法をお知らせください。

重大度: 24

CKR0849...CKR0850 *message*

説明: これらのメッセージは、アーキテクチャー・サブコンポーネントからのメッセージです。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKR0851 ローカル **CKNSERVE** サーバーが使用できなくなります (ユーザー異常終了 **214 (x'0D6')**) (**Local CKNSERVE server no longer available (user abend 214 (x'0D6'))**)

説明: zSecure Server プログラムが終了シーケンスを実行している間に、このプログラムへのプログラム呼び出しが試行されました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。この問題に関するサポートが必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKR0874 **RECFM=V(BS) RDW** *hex が、レコード*
n ddname volser dsname で **LRECL=lrecl**
 を超えています (**RECFM=V(BS) RDW**
hex exceeds LRECL=lrecl at record n
ddname volser dsname)

説明: このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

CKR0875 **RECFM=V(BS) BDW** *hex が、レコード*
n ddname volser dsname で
BLKSIZE=blksize を超えています
(RECFM=V(BS) BDW hex exceeds
BLKSIZE=blksize at record n ddname
volser dsname)

メッセージ 900 から 999

CKR0900 *debug message*

説明: これは IBM ソフトウェア・サポートのみに関係するデバッグ・メッセージであり、一般出荷可能なソフトウェア・バージョンでは表示されません。

重大度: 00

CKR0901 **DTISPF 内部エラー: MX#B >**
DTLNLEN (DTISPF internal error:
MX#B > DTLNLEN)

説明: このメッセージは、表示のフォーマットに問題があることを示します。予期しないデータが表示される場合があります。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。分析のためにこの問題を再現する方法をお知らせください。

重大度: 24

説明: このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。ブロック記述子ワード (BDW) は 16 進数で示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは BDW を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

CKR0876...CKR0899 *message*

説明: これらのメッセージは、アーキテクチャー・サブコンポーネントからのメッセージです。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKR0902 **ENDDTPRO エラー: 書き込みが**
DTLNLEN を超えました (ENDDTPRO
error: written beyond DTLNLEN)

説明: このメッセージの後、ユーザー異常終了 902 が続きます。これは、問題が発生したためにプログラムが終了することを示します。

ユーザーの処置: 入力に DEBUG コマンドがないことを確認してから再試行してください。DEBUG オプションがなくても引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0904 ファイル *file vol dsn(member)* を読み取る
 には無条件アクセス権限が必要です
(Unconditional access is required to
read from file vol dsn(member))

説明: 条件付き (PADS) アクセスのみが付与されたデ

ータ・セットが、SYSIN or XMLIN 入力で要求されました。このタイプのデータを読み取るには、無条件読み取りアクセス権限が必要です。そのデータ・セットは処理されない。

重大度: 12

CKR0905 ファイル *ddname* データ・セット *dsn* からの読み取りにはメンバー名が必要です
(A member name is required to read from file *ddname* data set *dsn*)

説明: PDS(E) データ・セットを参照する組み込みステートメントが指定されていましたが、このデータ・セットから読み取るメンバーが指定されていませんでした。組み込みステートメントに正しいメンバーを追加して、照会を再実行依頼してください。

重大度: 12

CKR0907 DYNALLOC トレース: SVC 99 戻りコード *nn* - meaning (DYNALLOC trace: SVC 99 return code *nn* - meaning)

説明: このメッセージは、DEBUG SVC99 が原因で、または失敗した SVC99 (DAIRFAIL がメッセージ・テキストを返さなかった) が原因で発行されます。これには、SVC 99 (DYNALLOC) の完了後に、個別のテキスト・ユニットの内容の詳細を示す継続行があります。

重大度: 00

CKR0908 *nn* から *mm* への CCSID 変換が失敗し、フォールバックは行われませんでした (CCSID conversion from *nn* to *mm* fails and no fallback)

説明: CCSID 変換が失敗しました (詳しくは、CKR0917 を参照)。フォールバックが SUPPRESS MSG=917 によって許可または強制されましたが、この特定の CCSID ペアではフォールバック・サポートがありません。このメッセージは、CCSID のペアごとに 1 回だけ発行されます。

重大度: 16

CKR0908 *nn* から *mm* への CCSID 変換で、z/OS V1R2 以降が必要であるためシステム異常終了 019-00 が発生しました (CCSID conversion from *nn* to *mm* system abend 019-00 because z/OS V1R2 or higher is required)

説明: 要求された機能または入力で Unicode サービスが必要ですが、このオペレーティング・システム・レベル

では使用できません。したがって、変換サービスがシステム異常終了 019 理由コード 0 (「ダウン・レベルのシステム」) を発行しました。フォールバックは不能です。続いて、プログラムがもう一度 S019-00 異常終了で終了する場合があります。

重大度: 16

CKR0909 *nn* から *mm* への CCSID 変換で、単純な下位 128 文字の変換にフォールバックします (CCSID conversion from *nn* to *mm* fallback to simple low-128 character translation)

説明: CCSID 変換が失敗しました (詳しくは、CKR0917 を参照)。UTF-8 出力用の明示的な要求がなかったか、メッセージ 917 が明示的に抑止されたために、フォールバックが行われます。フォールバックとは、単純な ASCII 変換が行われることを意味します。これは、下位 128 の ASCII 文字と等価ではない UTF-8 文字があれば、その文字は (UTF-8 文字の長さに応じて) 1 つ以上のドットとして表示されるという意味です。このフォールバック・モードでは、名前全体がドットのみで構成される場合があります。このメッセージは、CCSID のペアごとに 1 回だけ発行されます。

重大度: 00

CKR0910 HLENQ 状況レポート *identifier* (HLENQ status report *identifier*)

説明: これらのメッセージは、DEBUG ENQ に対応して発行されます。

重大度: 00

CKR0911 service RC=*rc* (16 進数) RSN=*rsn* (16 進数) [*qname-scope rname* の場合]:
explanation (service RC=*rc* hex RSN=*rsn* hex [for *qname-scope rname*]: explanation)

説明: 示されたサービス (ENQ または ISGENQ) に対する呼び出しが、RC=0 で完了しませんでした。これは、APF 許可プログラムが無許可 QNAME CKRDSN に対して ENQ を発行したなどの、まったく無害な理由で発生する可能性があります。したがって、このメッセージは単なる通知とと考えてください。

重大度: 00

CKR0912 STIMERM エラー: *explanation* (STIMERM error: *explanation*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください

い。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0913 逐次化ですべての ENQ を取得できませんでした (**Serialization could not obtain all ENQs**)

説明: プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得しようとしたが、予期しない状態が発生しました。先行メッセージ CKR0911 で、ENQ を取得できなかったリソースが識別されました。

重大度: 16

CKR0913 逐次化で重大なエラーが発生しました (**Serialization encountered a serious error**)

説明: プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得しようとしたが、予期しない状態が発生しました。実行を続行できません。先行メッセージ CKR0911 を探して、この障害の正確な原因を特定してください。

重大度: 16

CKR0913 逐次化ですべての ENQ が取得されました (**Serialization has obtained all ENQs**)

説明: プログラムは、すべての要求されたリソースの ENQ を正常に取得しました。

重大度: 00

CKR0913 逐次化で ENQ の待機を開始します (**Serialization starts waiting for ENQs**)

説明: プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得しようとしたが、すべてのリソースが即時に使用可能というわけではありませんでした。プログラムは、残りのリソースが使用可能になるのを待機します。先行メッセージ CKR0911 を探して、直ちに使用可能になっていなかったリソースを特定してください。

重大度: 04

CKR0913 逐次化の WAIT がタイムアウトになりました (**Serialization WAIT timed out**)

説明: プログラムは要求されたすべてのリソースについて ENQ を取得しようとしたが、すべてのリソース

が即時に使用可能というわけではありませんでした。

OPTION SERIALIZATION コマンドの MAXWAIT サブパラメーターで指定された分数待機しましたが、1 つ以上の必要なリソースがまだ使用不可になっています。プログラムは待機を中止して実行を打ち切ります。先行メッセージ CKR0911 を探して、使用不可になっているリソースを特定してください。

重大度: 16

CKR0914 中間の HLLQDEQ ID=id または HLLQDEQ ALL が指定されていない複数の HLLQENQ ACTION=xxx,ID=id 呼び出しはサポートされていません (**Multiple HLLQENQ ACTION=xxx,ID=id calls without an intervening HLLQDEQ ID=id or HLLQDEQ ALL are not supported**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0915 UNIX レコード nn 書き込み失敗 RC nn [meaning] 理由 qqqq rrrrx [meaning] ファイル ddname path (**UNIX write record nn failed RC nn [meaning] reason qqqq rrrrx [meaning] file ddname path**)

説明: このメッセージは、BPX1WRV 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 qqqq および理由コード rrrr (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM UNIX System Services のマニュアルを使用してください。

重大度: 16

CKR0915 レコード nn のデフレートが失敗しました RC nn meaning、ファイル ddname pathname (**Deflate record nn failed RC nn meaning, file ddname pathname**)

説明: このメッセージは、圧縮ルーチンで重大なエラーが検出されたことを示します。ユーザー異常終了 915 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されて

いる手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR0916 *nn* から *nn* への CCSID 変換の警告
RC=nn 理由 *rrrrrrrr* x *meaning* [ソース
nnn ターゲット *nnn* に残されている長さ
] [推測される長さ>16MB ソース
xxxxxxx ターゲット *xxxxxxx*](CCSID
 conversion from *nn* to *nn* warning
RC=nn reason *rrrrrrrr* x *meaning*
 [Length left for source *nnn* target *nnn*]
 [Suspect length>16MB source *xxxxxxx*
 target *xxxxxxx*])

説明: このメッセージは、示された CCSID 間での文字
 エンコードの変換で障害が発生したことを示します。

1208 は UTF-8 を表します。37、1140、1147 は標準の
 EBDIC エンコードです。一般に、小さすぎる列に印刷
 したり (UTF-8 表記は EBCDIC 表記より幅が広がる
 場合がある)、SET UNI コマンドの進行中に (例えば、
 新しい変換テーブルをロードするために) 変換を試みた
 ことが原因となります。重大度は 4 で、プログラムは
 操作を続行します。

このメッセージの後に、推測される長さについての副次
 的な行とユーザー異常終了 916 が続く場合があります
 す。このような場合は、電子サポート Web サイトを参
 照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保
 守を探してください。該当する保守が見つからない場合
 は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載さ
 れている手順に従って問題を報告してください。このメ
 ッセージ (および異常終了) は抑止可能です。

重大度: 04

CKR0917 *nn* から *nn* への CCSID 変換エラー
RC=nn 理由 *nnnn* x *meaning* [推測され
 る長さ>16MB ソース *nnn* ターゲット
nnn] (CCSID conversion from *nn* to *nn*
 error **RC=nn** reason *nnnn* x *meaning*
 [Suspect length>16MB source *nnn*
 target *nnn*])

説明: このメッセージは、示された CCSID 間での文字
 エンコードの変換で重大な障害が発生したことを示しま
 す。1208 は UTF-8 を表します。37、1140、1147 は標
 準の EBDIC エンコードです。一般に、示された
 CCSID 間の変換に必要な適切な変換イメージがないこ
 と、または変換イメージをロードするための SET UNI
 が (z/OS の下位リリースで) まったく行われていない
 ことが原因となります。

ご使用のシステムの Unicode サポート担当者に連絡し
 なければならない場合があります。

このメッセージの後に、推測される長さについての副次
 的な行とユーザー異常終了 917 が続く場合があります
 す。このような場合は、電子サポート Web サイトを参
 照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保
 守を探してください。該当する保守が見つからない場合
 は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載さ
 れている手順に従って問題を報告してください。

このメッセージ (および異常終了) は抑止可能です。メ
 ッセージを抑止する場合は、基本 ASCII 変換へのフォ
 ールバックが試行されますが、すべての非 US 文字は 1
 つ以上のドットに変換されます。出力ファイルに
 ENCODING=UTF-8 が指定されている場合は、出力が
 UTF-8 標準に準拠することが保証されない という意味
 で、抑止は推奨されません。

このメッセージの重大度は、フォールバックが試行され
 る予定であった場合は 4、ENCODING=UTF-8 が指定
 されていたためにフォールバックが許可されていなかっ
 た場合は 16 です。このメッセージが SUPPRESS
 MSG=917 コマンドによって明示的に抑止される場合、
 ENCODING=UTF-8 要求がある場合でも、ASCII 変換
 へのフォールバックが試行されます。フォールバックが
 試行される場合は、メッセージ CKR0908 または
 CKR0909 が発行されます。

重大度: 04 または 16

CKR0918 CCSID 変換に未初期化アンカーが渡され
 ました (Uninitialized anchor passed to
 CCSID conversion)

説明: このメッセージは、最初にエンコードを決定する
 ことなく変換が要求された場合のプログラム障害を示し
 ます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッ
 セージに関連付けられた使用可能な保守を探してくださ
 い。該当する保守が見つからない場合は、707 ページ
 の『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に
 従って問題を報告してください。

ユーザー異常終了 918 が発行されます。このメッセー
 ジ (および異常終了) は抑止可能ですが、結果は予測不
 可能です。

重大度: 24

CKR0919 負の長さ *length* のレコードが *ddname* の
 レコード *recno* の後ろに送信されました
 (Record with negative length *length*
 directed to *ddname* behind record *recno*)

説明: 無効なレコードが出力ルーチンに渡されました。
 代わりに空のレコードが書き込まれました。電子サポー
 ト Web サイトを参照して、このメッセージに関連付け
 られた使用可能な保守を探してください。該当する保守

が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0920 **DELDUP:** エレメント・サイズは *size* です - **DICT** オプションは無視されました (**DELDUP: Element size is *size* - DICT option ignored**)

説明: NODUP オプションが指定または暗黙指定されたフィールドが正しく処理されませんでした。ストレージ不足と思われます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0921 **DELDUP:** エレメント・サイズを **0** にして呼び出されました (**DELDUP: Called with element size 0**)

説明: NODUP オプションが指定または暗黙指定されたフィールドが正しく処理されませんでした。フィールドはソートされません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0922 **DELDUP: NIL** ポインターで呼び出されました (**DELDUP: Called with NIL pointer**)

説明: NODUP オプションが指定または暗黙指定されたフィールドが正しく処理されませんでした。フィールドはソートされません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0923 **TSO/E** 端末からの入力はサポートされません - **ddname(Input from a TSO/E terminal is not supported - ddname)**

説明: 行モードの TSO/E 端末からの入力はサポートされません。

重大度: 20

CKR0924 **DD ddname DSN dsn** の無効なブロック・サイズ: **blksize (DD ddname DSN dsn invalid block size: blksize)**

説明: ddname が正常に OPEN された後、その DCB は、ddname が DUMMY デバイスである場合以外はその値のブロック・サイズを示している必要があります。

重大度: 16

CKR0925 メンバー *member* **DDname ddname DSname dsn** 問題記述 (**Member member DDname ddname DSname dsn Problem description**)

説明: プログラムは示されたメンバーを見つけようとしたとき、FIND SVC からゼロ以外の戻りコードを受け取りました。2 行目の問題記述に、問題の正しい性質が説明されます。

重大度: 16

CKR0926 モジュール *module* の **LOAD** は失敗しました (**LOAD of module module failed**)

説明: プログラムは、示されたモジュールが使用可能であることを予期していました。しかし、このモジュールが見つかりませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR0927 *procedure* に対する **CEEPIPI(call_sub)** が失敗しました: *reason* (**CEEPIPI(call_sub) to procedure failed: reason**)

説明: これは、LE を介してサブルーチン呼び出しできなかったことを示す内部エラーです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0928 LE 環境を **established** | **terminated** できませんでした。RC *rc* (**LE environment could not be established** | **terminated**, RC *rc*)

説明: Language Environment® 処理での内部エラーです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR0929 *ddname* 上の *procedure* 呼び出しタイプ *type* が、*recno* 個のレコードの後で、次のように報告しています: *msg* (*procedure call type type on ddname after record recno reports: msg*)

説明: 指定されたプロシージャ (ALLOCATE GETPROC= ステートメントで使用されている) が、*msg* という説明付きでゼロ以外の戻りコードを発行しました。*msg* に C2P メッセージ番号が含まれている場合は、「IBM Security zSecure Alert: ユーザー・リファレンス・マニュアル」を調べてください。それ以外の場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。*recno* は、正常に取得されたレコードの数を示します。

重大度: 08

CKR0930 ブロック数が等しくありません - *ddname* の情報が欠落している可能性があります (**Block count unequal - information may be missing for ddname**)

説明: このメッセージは、テープからの読み取り時に発生する可能性があります。これは、*ddname* に割り振られている 1 つ以上のテープのボリューム終了処理中に、DCB に記録されているブロック数がテープのトレーラー・ラベルのブロック数と異なっていることを示しています。読み取られた情報が不完全である可能性があります。

重大度: 08

CKR0931 *proc*: バッファオーバーラン - **dln=destinationlength sln=sourcelength:: data (proc: Buffer overrun - dln=destinationlength sln=sourcelength:: data)**

説明: フォーマット・プロシージャ *proc* でバッファオーバーランが発生しました。このメッセージの後、ユーザー異常終了 931 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

ユーザー異常終了 931 は SUPPRESS FM TABEND (「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」で SUPPRESS コマンドの FM TABEND オプションを参照) または SUPPRESS MSG=931 を指定することによって抑止可能です。ただし、出力が破損したり他のエラーが発生したりする可能性があります。

重大度: 24

CKR0932 *proc*: *address*: **hash=storedhash** のディクショナリー項目は、*value* に対して *actualhash* になっている必要があります (*proc*: **Dictionary entry at address: hash=storedhash, should be actualhash for value**)

説明: 指定されたディクショナリー項目が損傷していることが、*proc* によって示されています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0933 **DICTDEL: address. hash32 avll avlr bc llll** に対する **LISTDEL** が **RC=rc** を返しました (**DICTDEL: LISTDEL for address. hash32 avll avlr bc llll returned RC=rc**)

説明: 示された *address* にあり、表示された特性を持つディクショナリー項目の削除要求が、ゼロ以外の戻りコード *rc* を返しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0934 値 *value* が大きすぎます (**Value *value* too large**)

説明: このメッセージは、入力パーサーが受け取った数値が大きすぎたことを示します。入力パーサーにより処理可能な最大値は 2147483647 です。

重大度: 12

CKR0935 *Dictionary Statistics*

説明: これらのメッセージは、DEBUG DICT に対応して発行され、ディクショナリー参照メカニズムのパフォーマンスを判別するために使用できます。

重大度: 00

CKR0937 *string* 長さ *length* で *routine* 内部エラー (**routine internal error for string length *length***)

説明: 示された特性を持つディクショナリー項目を追加しようとして、示された *routine* が失敗しました。

routine が DICTNEW の場合、これは既に存在する項目を追加する要求である可能性があります。ユーザー異常終了 937 が発行されます。このメッセージおよび異常終了は SUPPRESS MSG=937 で抑止できます。引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR938I アテンションが繰り返されています。C (続行) T (終了) または A (異常終了) を入力してください - (**Repeated ATTN, enter C(ont) T(erminate) or A(bend) -**)

説明: この対話式プロンプトは、アテンションが繰り返された後で、プログラムを終了または異常終了するためのオプションを提供します。

CKR0939 アテンションが繰り返されたために終了しました (**Terminated due to repeated attention**)

説明: CKR0938 のプロンプトで T を選択した場合に書き込まれるメッセージです。

重大度: 16

CKR0940 レコード *decnum* の後に、負の長さ *hexnum* のレコードを *ddname* に書き込むことを要求しました - ユーザー異常終了 940 (**Request to write record with negative length *hexnum* to *ddname* behind record *decnum* - userabend 940**)

説明: このメッセージは、ソフトウェアの問題、または誤った DD 名に入力ファイルを接続しようとしたことを示します。ユーザー異常終了 940 が発行されます。このメッセージは抑止可能であり、レコードはスキップされます。ただし、結果の出力ファイルは、再利用できない可能性があり、後続のエラーが発生する場合があります。IBM ソフトウェア・サポートから指示された場合を除き、このメッセージは抑止しないことをお勧めします。

ユーザーの処置: 割り振りと、接続されたデータ・セットの妥当性を検査してください。検査してもエラーが分からない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。関連する文書を提出してください。

重大度: 16

CKR0942 製品コード *code* の環境が一致しません (**Environment mismatch for product code *code***)

説明: このメッセージは、識別された製品コードを示す *code* がインストールされたが、それが適切な環境で稼働していないことを示します。例えば、製品コードの中には、z/OS 下の UNIX タスクのみ、z/OS 下の非 UNIX タスクのみ、および z/VM のみに限定されるものがあります。

重大度: 00

CKR0943 TEXTPIPE のファイル数が 10 を超えています。ファイル *name* をスキップします (**More than 10 files for TEXTPIPE, skipping file *name***)

説明: ALLOC TEXTPIPE の現在の実装では、パイプに入れるファイル数が最大で 10 に制限されています。示されたファイルは「正常に」、つまり *textpipe* にリダイレクトされずに処理されます。

重大度: 16

CKR0944 **UNIX** *type* のクローズ **RC nn** [meaning]
理由 *qqq rrrr x* [meaning] ファイル
ddname path (**UNIX type close RC nn**
[meaning] **reason** *qqq rrrr x* [meaning]
file *ddname path*)

説明: このメッセージは、BPX1CLO 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、*IBM Unix System Services* のマニュアルを使用してください。

type は「wronly」または「rdonly」のいずれかです。

重大度: 16

CKR0945 **UNIX** *action* が失敗しました。 **RC nn**
[meaning] 理由 *qqq rrrr x* [meaning]
specification (**UNIX action failed RC nn**
[meaning] **reason** *qqq rrrr x* [meaning]
specification)

説明: このメッセージは、示された戻りコード (10 進数) と、理由コード修飾子 *qqq* と理由コード *rrrr* (ともに 16 進数形式) に分割された理由コードで、BPX1CLO, BPX1FCA, BPX1FCR, BPX1FCT, BPX1FST, BPX1OPN, BPX1PIP, BPX1RED, BPX1SPN, BPX1WAT, または同等の BPX4* 呼び出しが失敗したことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、*IBM UNIX System Services* のマニュアルを使用してください。

action は「wronly open」、「fchattr
filefmt」、「fstat」、「fchaudit」、「fcntl
filetag」、「rdonly open」、「pipe for
spawn」、「close of pipe FD *xnn* after
spawn」、「close of local pipe FD *xnn* for spawn
cleanup」、「close of local pipe FD *xnn* before
wait」、「read of pipe FD *xnn* after
spawn」、「spawn」、「wait on spawn subprocess」
のいずれかです。

重大度: 4 または 16

CKR0946 **Unix** レコードはバッファ・サイズ
buflength を超えています - 分割します
(**Unix record larger than buffer size**
buflength-split)

説明: このメッセージは、元々は非常に大きかったレコ

ードが、今は 2 つの別個のレコードとして処理されていることを警告します。

重大度: 04

CKR0947 **filedesc** *off* の読み取りが失敗しました
RC nn [meaning] 理由 *qqqq rrrr x*
[meaning] ファイル *ddname path*
(**Reading filedesc off failed RC nn**
[meaning] **reason** *qqqq rrrr x* [meaning]
file *ddname path*)

説明: このメッセージは、示された戻りコード (10 進数) と、理由コード修飾子 *qqqq* と理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割された理由コードで、BPX1RED (UNIX 読み取り) 呼び出しが失敗したことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、*IBM Unix System Services* のマニュアルを使用してください。

重大度: 16

CKR0948 製品コード *code* の使用可能化情報が壊れ
ています (**Enablement information**
corrupt for product code *code*)

説明: このメッセージは、製品のインストールまたはライセンスに問題があることを示します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、インストールが正常に行われたことを確認してください。

重大度: 16

CKR0949 製品コード *code* がインストールされまし
たが、非 **APF** 登録の制限を超えました
(**Product code** *code* **installed and**
non-APF registration limit exceeded)

説明: このメッセージは、インストールされたものの、非 **APF** プログラムによる製品登録の **MVS** 限度を超えていたために登録できない製品の **DEBUG LICENSE** に応答して発行されます。

重大度: 00

CKR0950 製品コード *code* のコードはインストール
されていません (**Code not installed**
here for product code *code*)

説明: このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしていることを示します。

重大度: 16

CKR0951 モジュール *module* のロード時にシステム異常終了 *code (desc)* が発生しました
(**system abend code (desc) trying to load module module**)

説明: このメッセージは、モジュールのロードに失敗したと、その理由を示します。異常終了 806 は、モジュールが見つからなかったことを意味します。異常終了 306 は、制御された環境が存在するが、ロード対象のモジュールがプログラム制御されていなかったことを意味する可能性があります。

重大度: 08

CKR0953 *nn* レコード後の *vol* 上の *dd dsn* で
action **RPL** エラー **rc=nn** 理由=*nn* (*action*
RPL error rc=nn reason=nn for dd dsn on vol after nn records)

説明: このメッセージは、示された VSAM データ・セットの読み取りに失敗したことを示します。

重大度: 16

CKR0954 *vol* 上の *dd dsn* で *action* **ACB** エラー
rc=nn コード=*nn* (*action* **ACB error rc=nn code=nn for dd dsn on vol**)

説明: このメッセージは、示された VSAM データ・セットの読み取りに失敗したことを示します。

重大度: 16

CKR0955 *program task heap* ストレージ要求エラー:
サイズが正の値ではありません (*program task heap*
STORAGE REQUEST ERROR: SIZE NOT POSITIVE)

説明: このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR0959 *type* **PQUERY** 領域 **DTAREA** パネル
panel 戻りコード *rc* (*type* **PQUERY area DTAREA on panel panel return code rc**)

説明: ISPF を再始動しても引き続き問題が発生する場

合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR0960 *command* が書き込まれました (**Written command**)

説明: このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。これは、示された *command* が CKRTSPRT に正常に書き込まれたことを意味します。

重大度: 00

CKR0960 *command; command2* が正常に実行された (**Successful command; command2**)

説明: このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。これは、示された *command* (複数の場合もある) が正常に実行されたことを意味します。

重大度: 00

CKR0960 *command; command2* で **TSOCMD RC=code (10 進数) (TSOCMD RC=code (decimal) for command; command2)**

説明: このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。これは、示された *command* (複数の場合もある) が実行されたが、示された結果 *code* が返されたことを意味します。通常、これはコマンドでエラーが発生したことを示します。この RC は、499 ページの『第 7 章 CKX メッセージ』で説明されている CKX 戻りコードと同じです。

重大度: 00

CKR0961 *function* が失敗しました - *error message*
(**function failed - error message**)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、ISPF 関数 (BROWSE または LMFREE) が失敗したことを意味します。この関数によって返されたエラー・メッセージが含まれます。

重大度: 00

CKR0961 **LINIT** が失敗しました - *error message*
(**LINIT failed - error message**)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、ISPF LINIT 関数が失敗したことを意味

CKR0962 • CKR962F

します。この関数によって返されたエラー・メッセージが含まれます。

重大度: 12

CKR0962 IKJTSOEV モジュールが見つかりませんでした (IKJTSOEV module not found)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO/E 環境モジュールが検出されなかったために TSO/E 環境を確立できなかったことを示します。これは、TSO リリースが古いことが原因となっている場合があります。このため、TSO コマンド実行試行時に検出された場合は戻りコード 20 が返され、それ以外の場合は 8 が返されます。

重大度: 08

CKR0962 IKJTSOEV 戻りコード *cc* 理由コード *rr* サービス理由コード *src* (10 進数) (IKJTSOEV return code *cc* reason code *rr* service reason code *src* (decimal))

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、示された戻りコードおよび理由コードで TSO/E 環境モジュールが失敗したために TSO/E 環境を確立できなかったことを示します。

重大度: 08

CKR0962 SVC 202 戻りコード *cc* (SVC 202 return code *cc*)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、CMS コマンドを実行できなかったことを示します。

重大度: 08

CKR962A アテンションによりコマンドが終了しました (Command terminated by attention)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、ATTN キーを押すことでコマンドを終了したことを示します。

重大度: 08

CKR962B コマンドはバックグラウンドではサポートされていません (Command not supported in background)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO サービス機能を通してコマンドを実行できなかったことを示します。これは、PARMLIB メンバー IKJTSOxx の TSO 許可コマンド・リスト

(AUTHCMD) に CKGRACF を含めないことが原因となる場合もあります。TSO PARMLIB コマンドを使用することによって、IPL を実行せずにこのメンバーへの変更を活動化できます。PARMLIB コマンドについて詳しくは、「TSO/E システム・プログラミング・コマンド解説書」を参照してください。

重大度: 08

CKR962C コマンドは失敗しました *abend code* (Command failed *abend code*)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、示された *abend code* でコマンドが異常終了したことを示します。

重大度: 08

CKR962D メモリー不足 (Out of memory)

説明: UNIX システム・サービスの spawn でメモリー不足状態が発生しました。

ユーザーの処置: REGION (場合によっては MEMLIMIT) を増加させてください。

重大度: 8

CKR962E TSO/E 環境で実行されていません (Not running in a TSO/E environment)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、コマンド環境が TSO/E でないため、TSO コマンドを実行できなかったことを示します。

重大度: 08

CKR962F コマンドは失敗しました。戻りコード *code* (10 進数) (Command failed, return code *code* (decimal))

説明: このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。これは、コマンドに失敗して、示された結果コード が返されたことを示しています。このメッセージの前のメッセージが CKG740I の場合、CKG740I の説明を参照してください。その他すべての状況の場合、実行されたコマンドを判別し、該当するマニュアルを確認して可能性のある戻りコードを調べてください。RACF コマンドの場合、戻りコードは「RACF コマンド言語解説書」に記載されています。

重大度: 08

CKR962G **CKGRACF** コマンドで警告が発生しました。戻りコード 4 (**CKGRACF command produced a warning; return code 4**)

説明: CKGRACF コマンドは正常に実行されましたが、警告メッセージが発生しました。

重大度: 08

CKR962H **spawn** に失敗しました (**Spawn failed**)

説明: UNIX システム・サービスの spawn に失敗しました。

ユーザーの処置: 正確なエラー状態について詳しくは、SYSPRINT または CKXPRINT を参照してください。

重大度: 8

CKR962I パイプを使用できません (**Pipe unavailable**)

説明: UNIX システム・サービスのパイプを使用できません。

重大度: 8

CKR962J **TSOXUSS RC=xxxxxxxxxx**

説明: UNIX システム・サービス・インターフェースが失敗し、16 進戻りコード *xxxxxxxxxx* を返しました。

重大度: 8

CKR962K 待機に失敗しました (**Wait failed**)

説明: UNIX システム・サービスのサブプロセス待機に失敗しました。

重大度: 8

CKR962L コマンドが許可ライブラリーで見つかりませんでした。 (**Command could not be found in an authorized library.**)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドが見つからなかったため、コマンドを実行できなかったことを示します。通常、これは CKGRACF 許可コンポーネント呼び出しの失敗です。失敗した理由は、CKGRACF がリンク・リスト内の許可ライブラリーに含まれていないか、または APF 許可 STEPLIB で見つからなかったためです。CKGRACF が含まれているライブラリーが APF 許可ライブラリーであるかどうかを確認してください。

重大度: 08

CKR962M コマンドが失敗した可能性があります。戻りコード <n> (**Command may have failed, return code <n>**)

説明: このメッセージは、コマンドが 4 以下でゼロ以外の戻りコードを返したことを示します。このメッセージでは、最小戻りコードは 4 になります。このエラーが部分的な失敗または警告のいずれであるかは、コマンドによって異なります。

重大度: 08

CKR962N **APF** モードからのコマンドは許可されていません - **command** (**Command not allowed from APF mode - command**)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、示されたコマンドが TSO AUTHCMD リスト内になく、APF 許可プログラムから呼び出される安全なコマンドの組み込みリストにもないことを示します。このコマンドをユーザー自身が要求した場合は、APF 許可のない状態で実行するか、または IKJEFT01 を使用して実行してください。このメッセージが関数に応答して発行されている場合は、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。

CKR962O コマンドが **TSO** スタックをフラッシュしました - 出力トラップ・ファイルを閉じるために再ログオンが必要です (**Command has flushed TSO stack - relogon required to close output trap file**)

説明: このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。一般に、これは後続のコマンド出力が SYSPRINT ファイルに書き込まれないことを意味します。コマンド出力が失われるか、zSecure の終了後に行モードで表示される可能性があります。z/OS のリリースによっては、通常の動作を復元するには ISPF を終了してから再度開始するだけでよいことがあります。最悪の場合は、再ログオンが必要になることもあります。

CKR962P % を介した **CLIST** 処理はサポートされていません (**CLIST processing through % not supported**)

説明: このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。% 演算子を使用して CLIST を実行しようとしたことを示します。CLIST の実行はサポートされていません。

重大度: 08

CKR962Q 引用符エラー (Quoting error)

説明: UNIX システム・サービスのコマンド・パラメーターの引用符を解釈できません。

重大度: 8

CKR962S IKJEFTSR が失敗しました。戻りコード *error* 理由コード *reason* (IKJEFTSR fails return code *error* reason code *reason*)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドを実行できなかったことを示します。示されているエラー・コードと理由 コードがコマンドから返されました。

重大度: 08

CKR962T コマンドが失敗しました ATTACH rc rc (10 進数) (Command failed, ATTACH rc rc (decimal))

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドを付加できなかったことを示します。

重大度: 08

CKR962U 許可環境から許可されていない関数を呼び出すことはできません (Unauthorized functions cannot be invoked from an authorized environment)

説明: このメッセージは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR962V コマンドがありません (No command)

説明: UNIX システム・サービス・コマンドがヌル・ストリングです。

重大度: 8

CKR962W コマンドが見つかりません (Command not found)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドが見つからなかったため、コマンドを実行できなかったことを示します。通常、これは CKGRACF 許可コンポーネント呼び出しの失敗で

す。失敗した理由は、CKGRACF がリンク・リスト内の許可ライブラリーに含まれていないか、または APF 許可 STEPLIB で見つからなかったためです。CKGRACF が含まれているライブラリーが APF 許可ライブラリーであるかどうかを確認してください。

重大度: 08

CKR962X コマンド名の構文エラー (Syntax error in the command name)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドの名前が構文的に正しくなかったため、コマンドを実行できなかったことを示します。

重大度: 08

CKR962Y 動的 TSO 環境では許可コマンドはサポートされていません - 代わりに IKJEFT01 から呼び出してください (Authorized commands not supported in dynamic TSO environment - call from IKJEFT01 instead)

説明: これは、無許可環境で実行される CMD オプションを指定した NEWLIST が原因です。CMD オプションを使用する場合は、APF 許可環境が必要です。例えば、TSO モニター・プログラム IKJEFT01 で実行するか、zSecure Alert で実行してください。zSecure Audit メインプログラム CKRCARLA 自体を APF 許可としてインストールしないでください。CMD オプションの代わりに、出力をファイルに書き込み、後続のジョブ・ステップでプロシーチャー C2RCXTSO を実行することもできます。

重大度: 08

CKR0963 *name* が不明確です: 「*value*」 (Ambiguous *name* "*value*")

説明: このメッセージは、あいまいな省略語 (複数のキーワードを示す可能性がある省略値など) が入力されたことを示します。目的のキーワードをより詳細に指定してください。

重大度: 12

CKR964I PDS(E) データ・セット *dsn* への書き込みにはメンバー名が必要です (Member name required for writes to PDS(E) data set *dsn*)

説明: このメッセージは、示された *dsn* を持つデータ・セットに対して、必要なメンバー名が指定されてい

ないことを示します。プログラムは、ユーザー異常終了 964 を出します。

CKR965I メンバー *mem* は PDS(E) でのみ使用できます。*dsn* には使用できません
(Member *mem* can only be used with PDS(E); not for *dsn*)

説明: このメッセージは、示された *dsn* を持つデータ・セットに対して、指定されたメンバー名 (*mem*) が許可されなかったことを示します。プログラムは、ユーザー異常終了 965 を出します。

CKR966I 端末ファイル *ddname* でメンバー *mem* を使用することはできません (Cannot use member *mem* on terminal file *ddname*)

説明: このメッセージは、示された *ddname* を持つ端末出力ファイルに対して、指定されたメンバー名 (*mem*) が許可されなかったことを示します。プログラムは、ユーザー異常終了 966 を出します。

CKR967I RECFM=F は、LRECL=X および RECFM=VBS が設定されたデータ・セット *dsname* に対して無効です (RECFM=F invalid for LRECL=X,RECFM=VBS preferred data set *dsname*)

説明: このメッセージは、示された *ddname* を持つ出力ファイルに対して、指定された固定レコード・フォーマットが許可されなかったことを示します。これは、示されたデータ・セットに対してはサポートされません。プログラムは、ユーザー異常終了 967 を出します。

CKR0968 IFAEDDRG が失敗しました RC *nn* (10 進数) (IFAEDDRG failed RC *nn* decimal)

説明: このメッセージは、以前に登録済みの製品の登録が失敗したことを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR0969 入出力エラー: *description*
[optional 2nd line of *description*]
ddname volser dsn[(member)]
[*volser dsn*]... (I/O error for: *description*)
[optional 2nd line of *description*]
ddname volser dsn[(member)]
[*volser dsn*]...)

説明: このメッセージは、示されたいずれかのデータ・セットに対する通常の QSAM、BSAM、または BPAM 入力処理中に入出力エラーが発生したことを示します。命令は続行されますが、入出力エラーによって情報が失われることから異常終了またはその他のエラー・メッセージが後に続く場合があります。

このメッセージには、DFP SYNADAF 呼び出しから返された診断データが 1 行か 2 行示されます。DFP SYNADAF には、この診断データに関する詳細情報が含まれています。その後に、DD 名およびデータ・セットの連結が続きます。BPAM の場合は、そのいずれかのデータ・セットのメンバー名も示されます。

重大度: 8

CKR970I *program task heap* フリー・ストレージ・エラー (FREE STORAGE ERROR):
message

説明: このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR0971 *file* の行 *n* におけるこの *field* の最大長は *len* です (Maximum length for this field is *len* at file line *n*)

説明: 入力に含まれている複数行ストリングが長すぎます。複数行ストリング (印刷タイトルまたは引用符付きストリング) の最大サイズ *len* を超えました。

重大度: 12

CKR0972 *product* の使用可能化情報がありません (Enablement information missing for *product*)

説明: このメッセージは、ロード・モジュールが完全で

ないために製品が稼働できないことを示します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、製品のインストールを完了させるように依頼してください。

重大度: 16

CKR0973 IBM セキュリティー製品コード *code* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product code *code* disabled or not installed**)

説明: このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしているか、または製品がこのシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できないことを示します。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKR0974 IBM セキュリティー *product* が要求されたフォーカスに対して使用不可になっているか、ここではインストールされていません (**IBM Security product disabled or not installed here for requested focus**)

説明: 製品がインストールされていないか、または要求されたフォーカスが、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKR0975 IBM セキュリティー *product* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product disabled or not installed**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな

IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKR0976 製品コード *code* のコードまたは使用可能化がありません (**Code or enablement for product code *code* is missing**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKR0976 IBM セキュリティー *product or feature* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product or feature disabled or not installed here**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

CKR0977 製品所有者('IBM CORP') ID(*id*) 名前 ('*name*') 機能('feature') バージョン (*version*) リリース (*release*) 変更 (*modification*) がインストール済みです (**Installed PRODUCT OWNER('IBM CORP') ID(*id*) NAME('name') FEATURE('feature') VER(*version*) REL(*release*) MOD(*modification*)**)
[製品 *action* RC *rc* 10 進数] ([**Product action RC *rc* decimal**])

説明: このメッセージは、インストール済みの製品の DEBUG LICENSE に応答して発行されます。 *action*

は、"registration" または "status" になります。戻りコードはそれぞれ IFAEDREG または IFAEDSTA に対するもので、「MVS プログラミング：プロダクト登録」に記載されています。製品登録が適用されない場合は継続行が表示されません (例えば、CKR0979 のため)。

重大度: 00

CKR0978 製品コード *code* が PARMLIB で無効化されました (**Product code *code* has been disabled in PARMLIB**)

説明: このメッセージは、z/OS PARMLIB 内の IFAPRDxx の項目によって、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名に対して無効になっている製品について DEBUG LICENSE への応答として発行されます。

ユーザーの処置: 製品を他の場所で実行するか、システム・プログラマーに使用可能化を依頼してください。

重大度: 00

CKR0979 製品コード *code* は他の製品によって暗黙に指定されています (**Product code *code* implied by other**)

説明: このメッセージは、製品ライセンスがより包括的なライセンスによって暗黙的に与えられているため、その製品が登録されない場合に、DEBUG LICENSE に応答して発行されます。

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM 製品をご使用の場合、これは発行されてはならないメッセージです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKR0981 *type* 「*value*」が無効です (**Invalid type "*value*"**)

説明: このメッセージは、テキスト *value* がコンテキスト *type* で有効な値でないことを示します。

重大度: 12

CKR0982 内部エラー: *ddname* の行 *number* におけるエラー・コードが不明です (**Internal error: unknown error code at *ddname* line *number***)

説明: 入力パーサー・エラー・ルーチンで無効なエラー・コードが検出されました。電子サポート Web サ

イトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR0983 *ddname* の行 *number* では、リスト区切り文字/終了文字として *type* 「*value*」ではなく *type1* が必要です (**Expecting *type1* list separator/terminator instead of type "*value*" at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、入力パーサーが、示されたタイプの現行リストのリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーター (コンテキストに応じてコンマ、空白、行末など) を予期したことを示します。代わりに、示されているトークン・タイプ *type* (およびテキストがある場合は *value*) が検出されました。入力パーサーは、現在のリストで有効なリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターが検出されるまで、すべての入力をスキップします。

重大度: 12

CKR0984 *ddname* の行 *number* で無効な *type* リスト・エレメント・タイプ *type* 「*value*」が検出されました (**Invalid type list element type *type* "*value*" at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、入力パーサーが指定されたタイプのリスト・エレメントを予期したが、このコンテキストのリスト・エレメントとしてサポートされないタイプのトークンを検出したことを示します。問題のあるテキスト *value* がある場合は、そのテキストもこのメッセージにリストされます。入力パーサーは、現在のリストで有効なリスト・セパレーターまたはリスト・ターミネーターが検出されるまで、すべての入力をスキップします。

重大度: 12

CKR0985 *ddname* の行 *number* に必須リスト・エレメント/パラメーター「*value*」がありません (**Required list element/parameter "*value*" missing at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、入力パーサーによって、リスト内の示された行に必要なパラメーターまたはエレメントがないことが検出されたことを示します。

重大度: 12

CKR0986 *ddname* の行 *number* で [token "value" の前の] パラメーター *value* が重複しています (**Duplicate parameter value [before token "value"] at ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力パーサーによって、示された行にパラメーターまたはリスト・エレメント *value* が重複して出現することが検出されたことを示します。

重大度: 12

CKR0987 構文エラー: *type1* が予期されましたが、*ddname* の行 *number* の "value" では *type2* となっています (**Syntax error: type1 expected instead of type2 at "value" on ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力パーサーが、現行コンテキストで特定のトークン・タイプ *type1* を予期したことを示します。示された入力行では、これの代わりに、トークン・タイプ *type2* が (テキスト *value* がある場合はそのテキストで) 検出されました。

重大度: 12

CKR0988 構文エラー: "c" が予期されましたが、*ddname* の行 *number* の "value" では *type* となっています (**Syntax error: "c" expected instead of type at "value" on ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力パーサーが、現行コンテキストで特定の文字「c」(おそらく区切り文字) を予期したことを示します。示された入力行では、これの代わりに、トークン・タイプ *type* が (テキスト *value* がある場合はそのテキストで) 検出されました。

重大度: 12

CKR0989 *ddname* の行 *number* で予期しない *type* [「value」] が [element に対して] 検出されました (**Unexpected type ["value"] [for element] at ddname line number**)

CKR0989 *ddname* の行 *number* の予期しない *type* ["value"] で EOL にスキップします (**Skipping to EOL at unexpected type ["value"] at ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力パーサーが特定のトークン・タイプのいずれかを予期したが、異なるトークン・タイプが検出されたことを示します。問題のあるテキスト値がある場合は、そのテキスト値と、それが読み取られたエレメントもこのメッセージにリストされます。パ

ーサーは次のトークンから続行するか、行の末尾に直接スキップします。

重大度: 12

CKR0990 *ddname* の行 *number* の「value」で、*type* ではなく = または (が予期されていた (**Expecting = or (instead of type at "value" on ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力パーサーが「=」または「(」を予期していたが、代わりに別のトークン・タイプが検出されたことを示します。問題のあるテキスト値がある場合は、そのテキストもこのメッセージに組み込まれます。

重大度: 12

CKR0991 予期しない [type|nil] ポインター。場所: *procedure* - ユーザー異常終了 991 (**Unexpected [type|nil] pointer in procedure - user abend 991**)

説明: このメッセージは、プログラムの予期しない状態を示します。プログラムはユーザー異常終了 991 で終了します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR0992 ABNEXIT/STXIT/ESTAE 戻りコード *rc* (**ABNEXIT/STXIT/ESTAE return code rc**)

説明: このメッセージは、プログラムが異常終了リンケージの確立に失敗したことを示します。

重大度: 04

CKR993I *program* タスク *taskname type* に対する診断ダンプが抑止されました。異常終了 *xxx* (**DIAGNOSTIC DUMP SUPPRESSED FOR program TASK taskname type ABEND xxx**)

説明: このメッセージは、プログラムの異常終了出口により診断要約ダンプの作成が試行されなかったことを示します。これは、印刷ファイルに関連する再帰的な異常終了状態を防ぐ目的で行われます。タスク名は、メインタスクまたはプログラム内の唯一のタスクの場合は PROGRAM です。マルチタスキング・プログラムの場

合、*program* は、サブタスクの 1 つを示す可能性があります。

CKR0994 最終レコードがファイルの終わりで切り捨てられました。*ddname* (**Last record truncated by end-of-file *ddname***)

説明: このメッセージは、複数セグメントのレコードの途中で RECFM=VBS 入力ファイルの終わりに達したことを示します。

重大度: 16

CKR995I LRECL が無効です。区分データ・セットであるため置き換えられませんでした (**LRECL invalid; not overruled because partitioned data set**)

説明: このメッセージは、印刷ファイルのオープン・ルーチンによって検出された出力ファイルのレコード長が無効だったことを示します。これは、物理的順次データ・セットの正しい長さによって変更されるはずでしたが、既存の PDS メンバーをアクセス不能にすることがないように、区分データ・セットに対して変更は行われませんでした。無効なレコード長が原因で、この後に 013 または 002 の異常終了が発生する可能性があります。

CKR996I MFREE: スタック *name* のブロック内で長さが見つかりません (**MFREE: NO LENGTH FOUND IN BLOCK FOR STACK *name***)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 04

CKR997I スタック・エラー - ポップされたエレメントがスタック *name* の最上部にありません (**STACK ERROR - ELEMENT POPPED IS NOT ON TOP OF STACK *name***)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページ

の『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR998I *program* のスタック *tasklevel stackname* でスタック・オーバーフローが発生しました (**STACK OVERFLOW FOR STACK *tasklevel stackname* IN *program***)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR999I *program* 内のタスク *taskname* のヒープ *heapname* のストレージが不足しています - *keyword* を増やしてください (**Storage shortage for task *taskname* heap *heapname* in *program* - increase *keyword***)

説明: このメッセージは、プログラムに追加のストレージが必要であることを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。ヒープ名が LOWHEAP または SYSSTACK の場合、この要求は 16 MB ラインより下のストレージに対して出されます。この名前が MAINHEAP の場合、この要求はあらゆる場所のストレージに対して出されます。この名前が SMFCACHE の場合、zSecure Audit ジョブ・タグ・システムが使用したメモリーは多すぎます。SMFCACHE コマンドを参照してください。MAINHEAP および SMFCACHE の場合、CPU 使用量は増えることとなりますが、ALLOC STORAGEEGC コマンドを使用すると効果的です。*keyword* の値 (REGION または MEMLIMIT) は、増加させると効果的である可能性が最も高いパラメータを示します。

重大度: 16

メッセージ 1000 から 1099

CKR1000 **ALLOC PRIMARY/BACKUP および ACTIVE/INACTIVE は、互いに排他的な組み合わせです - ddname の行 number の token の前 (ALLOC PRIMARY/BACKUP and ACTIVE/INACTIVE are mutually exclusive pairs - before token at ddname line number)**

説明: このメッセージは、ALLOC コマンドが無効であることを示します。1 つのコマンドで、オプションの PRIMARY と BACKUP を同時に使用することはできません。1 つのコマンドで、オプションの ACTIVE と INACTIVE を同時に使用することはできません。

重大度: 12

CKR1001 **MASKTYPE=ACF2 は、TYPE=RACF では無効です - ddname の行 number の token (MASKTYPE=ACF2 invalid with TYPE=RACF - token at ddname line number)**

説明: このメッセージは、newlist に明示的な masktype が指定されたことを示します。ただし、ACF2 マスクを NEWLIST TYPE=RACF に使用することはできません。

重大度: 12

CKR1002 **[complex] [program pathing] databasetype ddname volume dsn に対する処理が開始しました (Processing started for [complex] [program pathing] databasetype ddname volume dsn)**

説明: データ・セットのオープンが示されたデータベース・タイプの示されたファイルに対して成功し、データベースの入力が開始されました。

重大度: 00

CKR1003 **":" statement に含まれる "where" の NLS テーブル var に構文エラーがあります (Syntax error in NLS table var at "where" in ":" statement)**

説明: PANEL ステートメントに無効な構文が含まれています。ステートメント に含められる行数は、最大 5 行です。

重大度: 12

CKR1004 **CKRACTS: var len len に対する VDEFINE 戻りコード n (CKRACTS: VDEFINE return code n for var len len)**

説明: 示された戻りコードにより、PANEL ステートメントに対する ISPF VDEFINE サービスが失敗しました。

重大度: 12

CKR1005 **フィールド field は、panel の現行の表示レベルでは使用できません (Field field not available on current display level for panel)**

説明: このメッセージは、NLS テーブルに定義された行コマンドの PANEL ステートメントがフィールドを要求したが、そのフィールドは newlist の表示ステートメントに存在しないことを示します。

重大度: 12

CKR1006 **ACFCDSP abend (explanation)**

説明: これは、L 行コマンドで ACF2 データベース・レコードの表示用フォーマット設定を試行中に、異常終了が代行受信されたことを示します。

重大度: 16

CKR1007 **USER "id" が二重に定義されています (USER "id" doubly defined)**

説明: このメッセージは、1 つのログオン ID に対して 2 つのログオン ID レコードが検出されたことを示します。これは、データベースの割り振りに問題があることを示します。ALLOC TYPE=ACF2LID ステートメントを調べて、適切なデータ・セットが DD 名に割り振られていることを確認してください。

重大度: 20

CKR1008 **RULE "key" が二重に定義されています (RULE "key" doubly defined)**

説明: このメッセージは、1 つのデータ・セット・アクセス規則に対して 2 つの規則レコードが検出されたことを示します。これは、データベースの割り振りに問題があることを示します。ALLOC TYPE=ACF2RULE ステートメントを調べて、適切なデータ・セットが DD 名に割り振られていることを確認してください。

重大度: 20

CKR1009 稼働中の ACF2 *type* データベースの読み取りは、このリリースではサポートされません。代わりにバックアップ・データベースを使用します (**Reading the live ACF2 *type* database not supported in this release, using backup database instead**)

説明: このメッセージは、コマンド ALLOC TYPE=ACF2INFO PRIMARY または ALLOC TYPE=ACF2RULE PRIMARY はこのリリースでは失敗することを示します。バックアップ・データベースが代わりに使用されます。

重大度: 00

CKR1010 システム *sys* クラスター *cluster* の CKFREEZE DSN 情報がありません (**CKFREEZE DSN info missing for system *sys* cluster *cluster***)

説明: このメッセージは、カタログ処理が試行されたが、システム内の指定されたクラスターのデフォルト・カタログが見つからなかったことを示します。このエラーは、メッセージ CKR0213 (マスター・カタログの欠落) の後に発生するか、誤って SHARED=NO CKFREEZE ファイルだけを使用していることが原因で発生する場合があります。その場合は、示されたクラスターのマスター・カタログ内の別名が指すユーザー・カタログを含むファイルが存在しません。この場合は、カタログ・スナップショットの欠落を示す CKR0292 メッセージも出力されます。このメッセージは、複数のデータ・センターからの CKFREEZE ファイルを分析するときに、DASD 共有が正しく設定されていない場合にも発生する場合があります。例えば、UCB が共有として生成されているために、カタログ・ボリュームがデフォルトで共有に設定される場合などです。また、このメッセージは、特定時点の比較に必要な ALLOC VERSION= を使用せずに、同一システムの複数の特定時点スナップショットを分析するときにも発生する場合があります。

ユーザーの処置: 共有されているディスク、および単に HCD で共有として生成されたディスク (実際には共有されていない場合でも) のすべてに対応できる、十分な数の SHARED=YES CKFREEZE ファイルを使用して実行していることを確認してください。複数の特定時点を分析するときは、ALLOC VERSION= を指定してください。newlist type=dasdvoll を実行して、想定されているボリューム共有を調べてください。ボリュームが実際には共有されていないにもかかわらず、HCD で UCB が SHARED として生成されているために、正しくない共有が想定されている場合は、それらのボリューム

ム通し番号について、適切な SIMULATE SHARED ステートメントを追加してください。最新のディスクでは、通常、ボックスのシリアル番号によって共有のあいまいさが解消されていますが、S390 エミュレーション製品の中には、DASD ボックスの通し番号の固有性が適切にシミュレートされていないものがあります。この場合は、SIMULATE SHARED ステートメントを使用する必要が生じることがあります。また、IO=NO と指定して作成される CKFREEZE には、DASD ボックスのシリアル番号自体が含まれていません。

注: このメッセージは抑止できますが、結果は保証されません。

重大度: 20

CKR1011 *system* には *cluster* 内の *component* のカタログがありません (**No catalog on system for component in cluster**)

説明: カタログ情報がありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1012 要約のための十分なストレージがありません。*keyword* を増やしてください (**Not enough storage for summary - Increase *keyword***)

説明: 要約の作成中に、ストレージ不足の状態が発生しました。*keyword* の値 (REGION または MEMLIMIT) は、増加させると効果的である可能性が最も高いパラメーターを示します。

ユーザーの処置: *keyword* を増やすか、照会または要約を単純化してください。

重大度: 16

CKR1013 システム *sys* のレコード *n* に対する SIM SMF 要求が重複しています (**Duplicate SIM SMF request for system *sys* record *n***)

説明: このメッセージは、同じ SMF システム ID およびレコード番号に対して 2 つの SIMULATE コマンドが指定されたことを示します。

重大度: 12

CKR1014 **SIMULATE SMF** にはシステム *smfid* の **CKFREEZE** ファイルが必要です
(**SIMULATE SMF requires a CKFREEZE file for system *smfid***)

説明: このメッセージは、SYSTEM=*smfid* を設定した SIMULATE SMF コマンドが指定されたが、該当する SMFid の CKFREEZE が見つからなかったことを示します。SIMULATE コマンドは無視されます。システムの CKFREEZE を割り振るか、SYSTEM=*smfid* パラメーターを削除して、すべてのシステムに有効になるように SIMULATE コマンドを変更してください。

重大度: 00

CKR1015 **C2ARULE** 内にタグがありません (**Zero TAG in C2ARULE**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1016 正数ではない規則項目番号が要求されました (**Requested rule entry number is not positive**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1017 **C2ARULE:** レコード・タイプ *type* はサポートされません (**C2ARULE: Unsupported record type *type***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1018 **C2ARULE:** レコード *record* 内のレコード・バージョン *number* はサポートされません (**Unsupported record version *number* in record *record***)

説明: 不明なレイアウトのアクセス規則レコードが検出

されました。このエラー・メッセージの後に、問題のレコードの 16 進ダンプが続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1019 **C2ARULE:** 規則項目 # *number* が要求されましたが、この規則には *number* のエントリーしかありません (**C2ARULE: requested rule entry # *number* but this rule has only *number* entries**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1020 複合システム *complex* の **ACCVT** が見つかりません。デフォルトの **GSO** 設定が想定されます (**ACCVT not found for complex *complex* - default GSO settings assumed**)

説明: フィールドの処理中に、指定された複合システムの ACCVT が欠落していることが検出されました。ACCVT には、このフィールドの処理を正常に完了するために必要な情報が含まれます。このエラーが発生する可能性があるのは、CKFREEZE ファイルが関連付けられていない入力に対して UNLOAD を使用している場合です。この場合、zSecure Audit for ACF2 はデフォルトの設定が有効であると想定します。

重大度: 04

CKR1021 無効な **UID** スtring 記述子。
ANY_UID_STRING が **UID** として処理されます (**Invalid UID string descriptor - ANY_UID_STRING treated as UID**)

説明: 旧バージョンの zSecure Collect によって作成された CKFREEZE を使用しています。UID スtring のレイアウトを記述する情報が不完全なため、多値 UID スtring を使用しているのかどうか、および使用している場合には UID スtring のどの部分に多値フィールドが含まれているのかを判断できません。プログラムは、多値 UID スtring を使用していないと想定して、処理を続行します。

重大度: 04

CKR1022 *fieldname* の FDE が見つかりません。
ANY_UID_STRING が **UID** として処理
 されます (**FDE not found for fieldname**
- ANY_UID_STRING treated as UID)

説明: ANY_UID_STRING 疑似フィールドの処理中に、UID スtringを構成するフィールドのいずれかのフィールド定義項目がないことが検出されました。そのため、ACF2 6.2 多値 UID スtring・フィーチャーが使用されているのかどうかを判別できません。したがって、プログラムは判別試行を停止し、ANY_UID_STRING を標準の一価 UID として処理します。

重大度: 04

CKR1023 **C2AFLD** 内にタグがありません (**Zero tag in C2AFLD**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1024 **TAG tag** が **FDE** 境界内にありません (**0,number**) (**TAG tag out of FDE bounds (0,number)**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1025 **C2AFLD** 内に無効なレコード・タイプ *xx* があります (**Invalid record type xx in C2AFLD**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1026 **LIKELIST** は、**BESTMATCH** パラメーターが設定された選択を参照することはできません - *ddname* の行 *number* の *token* の前 (**A LIKELIST cannot refer to a select with a BESTMATCH parameter - before token at ddname line number**)

説明: このメッセージは、LIKELIST パラメーターで参照されている *newlist* が、その選択の中で、許可されていない BESTMATCH パラメーターを使用していることを示します。

重大度: 12

CKR1027 **BESTMATCH** パラメーターは、*ddname* の行 *number* の **EXCLUDE** と一緒に使用できません (**The BESTMATCH parameter cannot be used in combination with EXCLUDE - at ddname line number**)

説明: BESTMATCH パラメーターを除外処理に使用することはできません。

重大度: 12

CKR1028 **BESTMATCH** パラメーターと一緒に使用できる **SELECT** は 1 つだけです (**Only one SELECT allowed in combination with a BESTMATCH parameter**)

説明: BESTMATCH パラメーターを複数の (暗黙的に論理和演算された) 選択ステートメントと組み合わせて使用することはできません。

重大度: 12

CKR1029 **LID** データベースは、**CKFREEZE** または現行の **ACF2** システムからの **FDE** 情報がなければ処理できません (**LID database cannot be processed without FDE information from CKFREEZE or current ACF2 system**)

説明: zSecure Audit for ACF2 がログオン ID データベースを処理するには、フィールド定義項目からの情報が必要ですが、FDE が見つかりませんでした。これが発生する可能性があるのは、ACF2 がアクティブではなく、必要な情報を含む CKFREEZE ファイルが割り振られていないシステム上で ACF2 ログオン ID データベースのコピーを (アンロードではなく) 処理する場合です。

重大度: 12

CKR1030 **C2ALFD2** 内に考えられない **TLHD** タイプ *number* があります (**Impossible TLHD type number in C2ALFD2**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1031 フィールド "*fieldname*" に、*ddname* の行 *number* の複合システム *complex* に有効な定義がありません (**Field "*fieldname*" has no valid definition for complex complex at *ddname* line number**)

説明: このメッセージは、示されたフィールドのフィールド定義項目が見つからなかったことを示します。

重大度: 12

CKR1032 **SELECT** および **EXCLUDE** ステートメントは、**NEWLIST** ステートメントの前では無効です (**SELECT and EXCLUDE statements are invalid before a NEWLIST statement**)

説明: zSecure Audit for ACF2 の場合、**SELECT** および **EXCLUDE** コマンドは、**NEWLIST** のコンテキスト内でのみ有効です。

重大度: 12

CKR1033 タグ *number* の **C2ALFDE** 内に配列添字エラーがあります。LFDE の要素は *0,number* です (**Array index error in C2ALFDE for tag number; LFDE dimensions are 0,number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1034 **BESTMATCH** パラメーターは、**OR** 関数と一緒に使用できません。 *ddname* の行 *number* (**The BESTMATCH parameter cannot be used together with an OR function - at *ddname* line number**)

説明: **BESTMATCH** パラメーターを (明示的) **OR** ス

テートメントと組み合わせて使用することはできません。

重大度: 12

CKR1035 *recordtype* レコードが欠落しています - *ddname volume dsn (recordtype record missing - *ddname volume dsn*)*

説明: このメッセージは、アンロードの処理中に、極めて重要なレコードの欠落が検出されたことを示します。アンロードはおそらく失敗しました。

重大度: 16

CKR1036 フィールド "*fldname*" は **SUBSELECT** 節にのみサポートされます (**Field "*fldname*" is only supported for SUBSELECT clauses**)

説明:

DEFINE、SELECT、LIST、SORTLIST、DISPLAY または (D)SUMMARY コマンドに指定したフィールドは、どのエンティティー・タイプのテンプレートにも見つかりませんでした。したがって、このフィールドは **SUBSELECT** 節にのみサポートされる組み込みフィールドです。RACF を対象に zSecure を実行している場合、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の RACF プロファイルの資料に記述されている **TEMPLATE** コマンドを利用して、要求したフィールドのスペリングと使用法を確認できます。

重大度: 12

CKR1037 明示的割り振りモード: **CKRCMD** が参照されましたが、1 つも割り振られていません (**Explicit allocation mode: CKRCMD referred, but none allocated**)

説明: 1 つ以上の **ALLOC** ステートメントが検出されたため、明示的割り振りモードが有効です。これは、暗黙的に割り振られたファイルはなく、ファイル (**CKRCMD** を含む) は明示的に割り振られたはずであることを意味します。明示的に割り振られた **CKRCMD** ファイルはありませんが、それでもまだ、**CKRCMD** が **NEWLIST (F=CKRCMD)** のターゲットとして参照されています。1 つ以上の **CKRCMD** ファイル (処理対象の複合システムごとに 1 つ) に対する **ALLOC** ステートメントを追加してください。

重大度: 12

CKR1038 コンテンツ・ノード *value* に **SLGN** タグがありません (**Zero SLGN tag in contents node value**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1039 *ddname* の行 *number* の *field* で日付変換エラーが発生しました。*value* の日付変換エラーです (**Date conversion error for field at ddname line number Date conversion error for value**)

説明: このメッセージは、入力で示された場所より前に検出された日付の値が正しくないことを示します。無効な月の名前、年の形式、日番号、または無効なセパレーターが原因である可能性があります。

重大度: 12

CKR1040 *ddname* の行 *number* の *field* にはサポートされない入力タイプです (**Unsupported input type for field at ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力で示された場所より前に検出されたフィールドが、SELECT/EXCLUDE 処理には使用できないタイプであることを示します。

重大度: 12

CKR1041 *ddname* の行 *number* のフラグ・フィールド *field* には無効な値です (**Invalid value for flag field field at ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力で示された場所より前に検出されたサイト定義のフラグ・フィールドが正しく指定されていないことを示します。サイト定義のフラグ・フィールドは、field=ON、field=YES、field=OFF または field=NO を指定した場合にのみ、SELECT/EXCLUDE 処理に使用できます。

重大度: 12

CKR1042 *ddname* の行 *number* の 10 進数入力 *value* は無効です (**Invalid decimal input value at ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力で示された場所より前に検出された値が有効な 10 進数でないことを示します。

入力が長すぎるのが原因となっている可能性があります。

重大度: 12

CKR1043 長さ *value* は、*ddname* の行 *number* の 16 進数フィールドにはサポートされません (**Length value not supported for hexadecimal fields at ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力で示された場所より前に検出された値がサポートされない長さであることを示します。SELECT/EXCLUDE 処理にサポートされるのは、長さ 256 バイト以下の 16 進数フィールドです。これよりも長いフィールドはサポートされません。

重大度: 12

CKR1044 *ddname* の行 *number* の 16 進数入力 *value* は無効です (**Invalid hexadecimal input value at ddname line number**)

説明: このメッセージは、入力で示された場所より前に検出された値が有効な 16 進数でないことを示します。

重大度: 12

CKR1045 *ddname* の行 *number* の入力タイプ *value* は使用できません (**Impossible input type value at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1046 複合システムに依存するノードにデータがありません (**No data in complex-dependent node**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1047 **newlist** タイプ *value* には、複合システムへの依存関係はサポートされません
(**Complex dependency not supported for newlist type *value***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1048 フォーマット・タイプ *value* には、複合システムへの依存関係はサポートされません (**Complex dependency not supported for format type *value***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1049 不明な疑似フィールドです (**TAG=*value***)
(**Unknown pseudo field; TAG=*value***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKR1050 **CKRPUTV:** 行の出力エレメントが多すぎます (**CKRPUTV: too many output elements on line**)

説明: 単一の出力レコードに、数百万の出力エレメントが含まれているようです。このレコードには、新しい出力は書き込まれません。この状態はある程度、ストレージ不足のように扱われますが、処理は続行できます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR1051 **CKRPUTV:** *ddname* の行 *number* に定義された繰り返しグループ *fieldaddr fieldname* のエレメントが多すぎます
(**CKRPUTV: too many elements in repeat group *fieldaddr fieldname* defined at *ddname* line *number***)

説明: 示された繰り返しグループの単一のインスタンスに、数百万の項目が含まれているようです。この繰り返しグループには、新しい出力は書き込まれません。この状態はある程度、ストレージ不足のように扱われますが、処理は続行できます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR1053 フォーマット *format* は、*acl-type* フィールドでのみ使用できます - *ddname* の行 *number* の *name* (**Format *format* can only be used with the *acl-type* field - *name* at *ddname* line *number***)

説明: 示されたフォーマットは、ACL フィールドまたは ACF2_ACL フィールド、あるいはこれらのフィールドに基づく定義済み変数でのみ機能します。

重大度: 12

CKR1054 複合システム *complex* にはデフォルトの所有者 *owner* が定義されていません
(**Default owner *owner* is undefined on complex *complex***)

説明: このメッセージは、DEFAULT OWNER= コマンドで指定された 所有者 が、メッセージに示された *complex* に定義されていない場合に、この所有者を含む RACF コマンドが生成されると発行されます。これは複合システムごとに 1 度だけ表示されます

重大度: 12

CKR1055 *event* 通知 *identity* 機能クラス・プロファイル *profile* (***event* notify *identity* facility class *profile* *profile***)

説明: このメッセージは、VERIFY PERMIT コマンドでの未定義に相当する *event*、および REMOVE USER コマンドでの除去に相当する *event* で発行されます。これは、除去対象の *ID* が、メッセージに示された OnePass マッピング・プロファイルの NOTIFY フィールドに存在していたことを意味します。エラー状態を

解決するために、プロファイルを除去するための RDEL コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1056 修飾子 **FIRSTONLY** を **MORE** と同時に使用することはできません - *ddname* の行 *number* のフィールド *name* (**Modifier FIRSTONLY is mutually exclusive with MORE - field name at ddname line number**)

説明: **FIRSTONLY** 修飾子は、繰り返しグループが単一の項目に削減されることを暗黙に示すため、繰り返しグループ修飾子 **MORE** との組み合わせには意味がありません。

重大度: 12

CKR1057 *ddname* の行 *number* のフィールド *name* の要約で、修飾子 **FIRSTONLY** と **SORT** を同時に使用することはできません (**Modifier FIRSTONLY cannot be combined with SORT on a summary for field name at ddname line number**)

説明: 要約処理には、前もって繰り返しグループを単一の項目に削減する必要があります。つまり、事前ソートを行う必要があることを意味します。これは、特定の条件下では、ルックアップおよび制限処理などの特定のフィールド操作との組み合わせではサポートされません。フィールドが、明示的 CARLa に実際に指定または暗黙指定されていない内部 **SORT** 修飾子を持つ可能性はあります。RACF を対象に zSecure を使用している場合、詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の NODUP システム全体のオプションに関する資料を参照してください。

重大度: 12

CKR1058 *fieldaddr fieldname* の **WRAP** バッファ用のストレージが残っていません。
function を使用不可にしました。定義位置: *ddname* 行 *number* (**No storage left for WRAP buffer for fieldaddr fieldname - function disabled - defined at ddname line number**)

説明: 示されたフィールドでは、示された機能のための特別な処理が必要です。この機能は次のいずれかです。

- **WRAP** (**WRAP** または **WORDWRAP** 修飾子を受け入れるため)
- フォーマット変換
- DBCS 対応の切り捨て

ユーザーの処置: プログラムに使用可能なストレージを増やします。

重大度: 08

CKR1059 *fieldname1* の繰り返しグループ制限はサポートされません - *ddname* の行 *number* のフィールド *fieldname2* (**Repeat group restriction for fieldname1 is not supported - field fieldname2 at ddname line number**)

説明: このメッセージは、部分的に制限されたフィールドに対して制限モードで発生する可能性があります。これは、現行バージョンでは *fieldname1* の部分的制限をサポートしないことを意味します。したがって、*fieldname2* は空の列になります。(Fieldname2 は要求されたフィールドで、*fieldname1* は実際のデータベース・フィールドです。*fieldname2* が定義済み変数の場合、この 2 つは異なる可能性があります。)

重大度: 04

CKR1060 **VERIFY STC** と **COPY/MOVE/REMOVE** を同時に使用することはできません (**VERIFY STC and COPY/MOVE/REMOVE are mutually exclusive**)

説明: **VERIFY STC** コマンドと **COPY/MOVE/REMOVE** コマンドの両方を指定することはできません。

重大度: 12

CKR1061 *option* は **COPY GROUP TOGROUP** の後でのみ有効です (*option only valid behind COPY GROUP TOGROUP*)

説明: 指定されたオプションは、**COPY GROUP=TOGROUP=** コマンドの後でのみ有効です。おそらく、パラメーターの順序を変更するだけで済みます。

重大度: 12

CKR1062 グループ *groupid* の削除は抑止されます。これはまだ、**DATASET** プロファイルの **HLQ** です (**Delete group groupid suppressed, still HLQ for DATASET profiles**)

説明: このメッセージは、指定されたコマンドを実行した場合、示された *groupid* が削除される結果となることを示します。しかし、RACF データベースには、この ID を持つデータ・セット・プロファイルが **HLQ** とし

て残っています (おそらく SUPPRESS DELDSD コマンドの結果)。DELGROUP はこのインスタンスでは失敗することになるため、抑止されます。

重大度: 04

CKR1063 **NEWDATA は COPY TOUSER/TOGROUP の後でのみ有効です (NEWDATA only valid behind COPY TOUSER/TOGROUP)**

説明: このメッセージは、NEWDATA キーワードが予期しない位置で検出されたことを示します。これは、COPY USER TOUSER または COPY GROUP TOGROUP 構造の後でのみ有効です。おそらく、コマンド・キーワードを指定する順序を変更するだけで済みます。

重大度: 12

CKR1064 **CKRCFV: システム system 複合システム complex で UNIX 装置 dev が重複しています (CKRCFV: Duplicate UNIX device dev in system system complex complex)**

説明: 検出された CKFREEZE レコードに含まれるマウント・ポイントは、この system 上の別のファイル・システムに既に使用されている装置番号に関連付けられています。このマウント・レコードは無視され、新しいファイル・システム・ダンプは開始されません。

重大度: 20

CKR1065 **DDname の行 number の type "value" の前の masktype が混合引用符で囲まれています (masktype in mixed quotes before type "value" at DDname line number)**

説明: マスクが一致しない開始引用符と終了引用を使用して指定されているようです。例えば、単一引用符 (') で始まり、二重引用符 (") で終わっているなどです。masktype は、拡張属性マスクまたはアクセス・インテント・マスクにすることができます。

重大度: 12

CKR1066 **masktype は DDname の行 number の行境界 - type "value" を越えてはなりません (masktype cannot exceed line boundary - type "value" at DDname line number)**

説明: 示されたマスクのタイプが行境界をまたがっているようです。masktype は、拡張属性マスクまたはアクセス・インテント・マスクにすることができます。

重大度: 12

CKR1067 **masktype: 二重の +/- が DDname の行 number の type "value" で見つかりました (masktype: double +/-; found type "value" at DDname line number)**

説明: 構文解析対象のマスク・タイプは、「+」と「-」を使用して、それぞれ「オン」、「オフ」にする属性のリストを指定します。この 2 つの標識が、その間に属性が指定されていない状態で検出されました。masktype は、拡張属性マスクまたはアクセス・インテント・マスクにすることができます。マスクではなく、固定サイズの属性設定のリストを指定するには、引用符を指定しないでください。代わりに、例えば --s- だけを使用します。

重大度: 12

CKR1068 **masktype: =, +, または - が予期されません。DDname の行 number で type "value" が検出されました (masktype: =, + or - expected; found type "value" at DDname line number)**

説明: 構文解析対象のマスク・タイプは、「+」と「-」を使用して、それぞれ「オン」、「オフ」にする属性のリストを指定するか、または「=」を使用して正確な属性のリストを指定しますが、これらの標識が見つかりませんでした。masktype は、拡張属性マスクまたはアクセス・インテント・マスクにすることができます。マスクではなく、固定サイズの属性設定のリストを指定するには、引用符を指定しないでください。代わりに、例えば ap-- だけを使用します。

重大度: 12

CKR1069 **masktype に予期されない文字が含まれています。DDname の行 number で type "value" が検出されました (Unexpected character in masktype; found type "value" at DDname line number)**

説明: 示された文字は、構文解析対象のマスク・タイプとして認識されません。masktype は、拡張属性マスクまたはアクセス・インテント・マスクにすることができます。前者の場合に有効な属性文字は、a、p、s、および l です。後者の場合に有効な属性文字は、d、r、w、および x です。さらに、「+」、「-」、および「=」は「オン」、「オフ」として有効な標識であり、マスクは引用符で囲む必要があります。ブランクは無視されます。

重大度: 12

CKR1070 DDname の行 number の type "value" の前に内部で矛盾する masktype があります
(**Internally inconsistent masktype before type "value" at DDname line number**)

説明: 構文解析されたマスクは、構文的には正しくても、意味的には矛盾します。すなわち、1 つ以上の属性を「オン」にするとともに「オフ」にもするように要求されています。masktype は、拡張属性マスクまたはアクセス・インテント・マスクにすることができます。

重大度: 12

CKR1071 DDname の行 number の type "value" の前の masktype が「+」または「-」で終わっています (masktype ends with + or - before type "value" at DDname line number)

説明: 構文解析対象のマスク・タイプは、「+」と「-」を使用して、それぞれ「オン」、「オフ」にする属性のリストを指定します。最後にあるこのような標識の後に属性が続いていない状態で、終了引用符が検出されました。masktype は、拡張属性マスクまたはアクセス・インテント・マスクにすることができます。

重大度: 12

CKR1072 OMVS HOME に、複合システム complex version のユーザー userid には無効な値が含まれています: home (OMVS HOME contains invalid value for user userid in complex complex version: home)

説明: 示されたユーザー ID の OMVS セグメント内の HOME フィールド値では、ユーザーが z/OS Unix システム・サービスにログオンできません。このことは構文から明らかです。つまり、home が「/」で開始しておらず、「.」でも「./」でもありません。

重大度: 04

CKR1073 CKAOUNIX.CKASDIR: SDIR を構築するためのメモリーがありません
(CKAOUNIX.CKASDIR: No memory to build SDIRs)

説明: メモリーが不足している可能性があります。REGION のサイズを大きくするか、照会を制限してください。このエラーの結果、UNIX 処理で適切なサブディレクトリ検索用の構成を構築することができません。TYPE=UNIX の newlist では、HOME_OF フィールドが空になり、AUDITCONCERN が不完全になる可能性、AUDITPRIORITY が低すぎる可能性、および DEPTH と ATTR が誤っている可能性があります。

TYPE=TRUSTED の newlist からの出力も不完全になる可能性があります。

重大度: 08

CKR1074 CKAOUNIX.CKATHOM: アソシエーションを構築するためのメモリーがありません。ホーム・ディレクトリは判別されません (CKAOUNIX.CKATHOM: No memory to build associations, home directories are not determined)

説明: メモリーが不足している可能性があります。REGION のサイズを大きくするか、照会を制限してください。このエラーの結果、UNIX 処理でユーザーのホーム・ディレクトリを判別することができません。TYPE=UNIX の newlist では、HOME_OF フィールドが空になり、AUDITCONCERN が不完全になる可能性、AUDITPRIORITY が低すぎる可能性、および DEPTH と ATTR が誤っている可能性があります。TYPE=TRUSTED の newlist からの出力も不完全になる可能性があります。

重大度: 08

CKR1075 CKAOUNIX.CKAQMNT: QMNT を構築するためのメモリーがありません
(CKAOUNIX.CKAQMNT: No memory to build QMNTs)

説明: メモリーが不足している可能性があります。REGION のサイズを大きくするか、照会を制限してください。このエラーの結果、UNIX 処理で適切なマウント・ポイント修飾子検索用の構成を構築することができません。TYPE=UNIX の newlist では、HOME_OF フィールドが空になり、AUDITCONCERN が不完全になる可能性、および AUDITPRIORITY が低すぎる可能性があります。TYPE=TRUSTED の newlist からの出力も不完全になる可能性があります。

重大度: 08

CKR1076 CKAOUNIX.CKAQMNT: ADDINOD のメモリー不足エラーが発生しました。ホーム・ディレクトリは決定されません (CKAOUNIX.CKAQMNT: Out of memory error in ADDINOD, home directories are not determined)

説明: メモリーが不足している可能性があります。REGION のサイズを大きくするか、照会を制限してください。このエラーの結果、UNIX 処理でユーザーのホーム・ディレクトリを判別することができません。TYPE=UNIX の newlist では、HOME_OF フィールドが空になり、AUDITCONCERN が不完全になる可能

性、および AUDITPRIORITY が低すぎる可能性があります。TYPE=TRUSTED の newlist からの出力も不完全になる可能性があります。

重大度: 08

CKR1077 コマンド・タイプ・ファイル *ddname* はファイル・オプション *fileoption* をサポートしません... (**Command type file *ddname* does not support file options *fileoption* ...**)

説明: 示されたコマンド出力 DD 名 (CKR2PASS (2パスの CARLa コマンドの場合) または CKRCMD (TSO コマンド出力の場合) にできます) は、示されたファイル・オプションをサポートしません。このオプションは、UTF-8 (Unicode)、COMPRESS=GZIP、および MAXPAGE (ページ数の制限) を組み込むことができます。

重大度: 12

CKR1078 **FOCUS** は 資格の確認を必要とするパラメーターの前になければなりません (**FOCUS must precede parameters requiring entitlement checks**)

説明: このメッセージは、フォーカスが決定された後に LIMIT FOCUS コマンドが発行されたことを示します。フォーカスは、プログラムの実行に使用されるフォーカスを認識しなければならない最初のパラメーターで決定されます。そのようなパラメーターの例は、特定の製品コードに対してのみ資格を与えられる、newlist タイプの NEWLIST TYPE=*type* です。

ユーザーの処置: コマンドを入力先のほうに移動してください。

重大度: 12

CKR1079 **CKAUNIX.CKAINOX: INOX** を構築するためのメモリーがありません。UNIX ファイル名のルックアップは行われません (**CKAUNIX.CKAINOX: No memory to build INOXes, UNIX file name lookups are not performed.**)

説明: メモリーが不足しています。このエラーの結果、UNIX 処理で適切な Inode 検索用の構成を構築することができません。TYPE=SMF の newlist では、RECORDDESC が不完全になる可能性があります、UNIX_PATHNAME は空になる可能性があります。

ユーザーの処置: REGION のサイズを増加させるか照会を制限して、問題が解決されるかどうか調べてください。

重大度: 08

CKR1080 フォーマット *formatname* を *fieldname1* フィールドと一緒に使用することはできません - *ddname* の行 *number* の *fieldname2* (**Format *formatname* cannot be used with the *fieldname1* field - *fieldname2* at *ddname* line *number***)

説明: *field1* の内部表現で利用できるのは、このフィールドの特殊なフォーマットのみです。(Fieldname2 は要求されたフィールドで、*fieldname1* は実際の基本フィールドです。*fieldname2* が定義済み変数の場合、この 2 つは異なる可能性があります。)

重大度: 12

CKR1081 **SCOPE=** と **notPROFLIST** チェーニングを同時に使用することはできません - *DDname* の行 *number* の **newlist name** (**SCOPE= mutually exclusive with notPROFLIST chaining - newlist name at *DDname* line *number***)

説明: SCOPE=id パラメーターが指定された newlist *name* は、PROFLIST= または NOTPROFLIST= パラメーターも指定しており、それ自体が PROFLIST=*name* または NOTPROFLIST=*name* 指定のターゲットです。この組み合わせはサポートされません。

重大度: 12

CKR1082 *ddname* の行 *number* の token の前に、**TYPE=** パラメーターが欠落した **DEFTYPE** があります (**DEFTYPE missing TYPE= parameter before token at *ddname* line *number***)

説明: DEFTYPE ステートメントには TYPE= の指定を含める必要があります。

重大度: 12

CKR1083 *ddname* の行 *number* の **DEFTYPE ABBREV2=abbrev2** は、予約された *reserve reason* です (**DEFTYPE ABBREV2=abbrev2 is reserved reserve reason at *ddname* line *number***)

説明: 示されたロケーションに指定された *abbrev2* は、別の省略形と競合します。これは、定義済みの newlist または内部処理に使用される値の省略形、あるいは別の DEFTYPE に指定された ABBREV2 である可能性があります。前者の競合タイプは、常に国別文字 (\$、#、または @) を ABBREV2 に含めることによって

回避できます。後者の競合が発生した場合は、この照会の DEFTYPE 指定を確認して修正する必要があります。

重大度: 12

CKR1084 *ddname* の行 *number* の *token* の前に *nnn* を超える **DEFTYPE** ステートメントを使用することはできません (**No more than *nnn* DEFTYPE statements allowed before token at *ddname* line number**)

説明: このメッセージは、ユーザー定義 *newlist* タイプの数に関する内部制限を超えたことを示します。DEFTYPE ステートメントの数を減らしてください。

ユーザーの処置: 現行の制限 (*newlist* タイプ数 256) がご使用のインストール済み環境で問題になる場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKR1085 *ddname1* の行 *number1* と *ddname2* の行 *number2* のタイプ *name* の **DEFTYPE** が重複しています (**Duplicate DEFTYPE for type name at *ddname1* line *number1* and at *ddname2* line *number2***)

説明: ユーザー定義の *newlist* タイプには、実行ごとに 1 つの定義のみが許可されます。

重大度: 12

CKR1086 *ddname* の行 *number* のタイプ *name* が未定義です (**Undefined type name at *ddname* line *number***)

説明: *newlist* タイプ名が不明です。DEFTYPE ステートメントが欠落している可能性があります。

重大度: 12

CKR1087 *ddname* の行 *number* の **ALLOC TYPE=name** が未定義です (**Undefined ALLOC TYPE=name at *ddname* line *number***)

説明: 割り振りタイプ名が不明です。DEFTYPE ステートメントが欠落している可能性があります。

重大度: 12

CKR1088 **type=name pads** ファイル *ddname volser dsn* の処理が開始しました (**Started processing type=name pads file *ddname volser dsn***)

説明: このメッセージは、示された *newlist* タイプに対する処理が、示されたデータ・セットの読み取りを開始したことを示します。このメッセージに *pads* を示すテキスト PADS が含まれている場合は、データ・セットへのアクセスがこのプログラムによる条件付きアクセス権限によって許可されたことを意味します。

重大度: 00

CKR1089 *number type* レコードが読み取られ、*number2 type* レコードが選択されました (*p%*) (***number type records read number2 type records selected (p%)***)

説明: このメッセージは、入力フェーズの最後に、タイプ *type* に対して書き込まれます。これは、その NEWLIST タイプの出力に対して読み取られて選択されたレコードの数を示します。ルックアップは別の NEWLIST タイプの一部として出力されるため、選択カウントではルックアップを考慮しません。ルックアップの場合、すべてのレコードが読み取られますが、ルックアップ・ターゲット・フィールドのみが保管されます。

重大度: 00

CKR1090 **CKRPUTV.CKRPTCLS: fieldaddr** *fieldname* の **RPTY** を割り振るには十分なメモリーがありません。TLST *recordaddr* (**CKRPUTV.CKRPTCLS: Not enough memory to allocate RPTY for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr**)

説明: 非常に大きな繰り返しグループ *field* を保管できませんでした。このフィールドは、示された *record* 内で空になります。

重大度: 08

CKR1091 フィールド *field* の長さゼロのオーバーライドは、*ddname* の行 *number* の表示行の最後のフィールドでのみ有効です (**Overriding length zero on field field only valid on last field in display line at *ddname* line *number***)

説明: 表示では、行の最後のフィールドでのみ、長さゼロのオーバーライドを使用できます。このフィールドが、画面上の行の残りのスペースを使用します。

重大度: 12

CKR1092 クラス *class* の **CKR.READALL** が定義されていません。(CKR.READALL in class *class* not defined.)デフォルトを使用します。(Using defaults.)

説明: ユーザーにデータベース全体の読み取りを許可するのか、またはそのユーザーの有効範囲内のデータに限り、アクセスを許可するのかを決定するには、通常、CKR.READALL リソースをカバーするプロファイルが使用されます。そのようなプロファイルが定義されていないか、*class* が誤って指定されています。そのため、CKRSITE 領域内のデータ、またはデータベースでユーザーが持つアクセスのタイプ (PADS/non-PADS) に基づいて、制限付き/制限なしの決定が行われます。詳しくは、「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components」について: インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

重大度: 00

CKR1093 *databasetype* **RACF DB** を割り振ることができません。(databasetype **RACF DB cannot be allocated.**) システム上に存在しません。(Not present on system.)

説明: 示されたデータベースがアクティブ・システムに存在しないため、このデータベースを使用できませんでした。システム構成を確認して、既存のデータベースを指定してください。

重大度: 12

CKR1094 **CKROUNIT: modifier** は、行の先頭フィールドにのみ指定できます。(CKROUNIT: modifier can only be specified on first field on a line.) *DDname* の行 *number* の *field*

説明: CONDPAGE および NOTEMPTY 修飾子は、出力行全体に影響します。そのため、行の先頭フィールドでのみ受け入れられます。

重大度: 12

CKR1095 **CKATUID:** ストレージ不足により、フィールド *fieldname* は入力されません。(CKATUID: Storage shortage, field *fieldname* is not filled in.)

説明: メモリが不足している可能性があります。REGION のサイズを大きくするか、照会を制限してください。このエラーの結果、UNIX 処理で適切な RACF ID 検索用の構成を構築することができません。TYPE=UNIX の newlist では、示されたフィールドが空になり、UNIX_ACL が不完全になります。

type=SMF の newlist では、RECORDDESC が不完全になる可能性があります。TYPE=TRUSTED の newlist からの出力も不完全になる可能性があります。*fieldname* は **OWNER** または **GROUP** になる可能性があります。これはそれぞれ、UID を RACF ユーザーに変換できないこと、GID を RACF グループに変換できないことを意味します。

重大度: 08

CKR1096 マスク・タイプ監査フラグ・ストリング *string* での *errordesc* (*errordesc* in **mask-type audit flags string string**)

説明: UNIX 監査フラグ・フィールドのマスク・タイプ指定ストリングで構文エラーが検出されました。正しい構文について詳しくは、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで UNIX フィールド に関するセクションを参照してください。*errordesc* は、例えば *r=s,f* のように、2 番目の「+」、「-」、または「=」がその前に属性がない状態で検出された場合には「演算子の重複指定 (Duplicate operator specification)」となります。*string* が書き込み、読み取り、または実行に対して「=」指定を使用し、同じアクセス・タイプに対して「+」または「-」指定も使用している場合、あるいは複数の「=」、複数の「+」、複数の「-」を指定している場合には、「読み取りの重複設定 (Duplicate setting for read)」、「書き込みの重複設定 (Duplicate setting for write)」、または「実行の重複設定 (Duplicate setting for exec)」となります。また、すべてのアクセス・タイプで指定が重複する場合には「重複設定 (Duplicate setting)」となります。「+」、「-」、または「=」が先行していない監査設定指標が検出されると、「演算子未指定 (No operator specified)」となります。構文的には正しくても、意味的には矛盾している指定の場合 (つまり、1 つ以上のフラグを「オン」および「オフ」にするように要求された場合)、「無効な真と偽の同時選択 (Select on true AND false invalid)」となります。

重大度: 12

CKR1097 マスク・タイプ・ファイル・モード・ストリング *string* での *errordesc* (*errordesc* in **mask-type file mode string string**)

説明: UNIX ファイル・モード・フィールドのマスク・タイプ指定 *string* で構文エラーが検出されました。*errordesc* は、単一のマスクに「u」、「g」、または「o」の特定節と非特定節の両方が検出された場合には「>型付きおよび汎用の指定 (Typed and generic specification)」となります。2 番目の「+」、「-」、または「=」がその前に属性がない状態で検出された場合 (例えば、*g=r,w*) には「演算子の重複指定 (Duplicate operator specification)」となります。所有者、グルー

ブ、他のアクセス・グループ、またはすべてのアクセス・グループを示す「u」、「g」、「o」、または「a」のうちの少なくとも 1 つが先行していない「+」、「-」または「=」が検出された場合には「演算子のターゲット未指定 (No target for operator specified)」となります。*string* が「=」で所有者、グループ、または他のグループを指定するとともに「+」または「-」で同じアクセス・グループを指定している場合、または複数の「=」を指定している場合には「グループ u の重複使用 (Duplicate use of group u)」、「グループ g の重複使用 (Duplicate use of group g)」または「グループ o の重複使用 (Duplicate use of group o)」となります。複数の「+」または「-」を指定している場合には「グループ *group* に対する *operand* の重複使用 (Duplicate use of operand for group *group*)」となります。「+」、「-」、または「=」が先行していないアクセス・タイプが検出されると、「演算子未指定 (No operator specified)」となります。他のグループに対して「s」(setuid/setgid) が指定または暗黙指定されている場合には、「グループ o に無効な s (s is not valid for group o)」となります。所有者またはグループ・アクセス・グループに対してスティッキー・ビットが指定または暗黙指定されている場合には、それぞれ「グループ u に無効な t (t is not valid for group u)」、「グループ g に無効な t (t is not valid for group g)」となります。構文的には正しくても、意味的には矛盾している指定の場合 (つまり、1 つ以上のフラグを「オン」および「オフ」にするように要求された場合)、「無効な真と偽の同時選択 (Select on true AND false invalid)」となります。

正しい構文の追加情報については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで *Unix* フィールド に関するセクションを参照してください。

重大度: 12

メッセージ 1100 から 1199

CKR1100 *ddname volser dsname* での **OBTAIN RC=nn (OBTAIN RC=nn on *ddname volser dsname*)**

説明: このメッセージは、ディスク・ボリューム通し番号 *volser* の VTOC から *dsname* の DSCB を取得できなかったことを示します。必要な場合にはデータ・セットを復元するか、データ・セット名を修正してください。すべて正しい場合には、プリアンブルでコマンド BDAMQSAM を指定して、この問題の解決を試みてください。

重大度: 16

CKR1098 *specificationtype-type objecttype* スtring *string* での正しくない *expected* (Illegal *expected in specificationtype-type objecttype string string*)

説明: 示された種類の指定に構文エラーが検出されました。*expected* は、文字または値になります。

specificationtype は、マスク、8 進数、またはテキストになります。*objecttype* は、ファイル・モード、汎用ファイル・モードまたは監査フラグになります。*objecttype generic file mode* は、アクセス・タイプの「非特定」指定タイプを意味します。

正しい構文について詳しくは、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで *Unix* フィールド に関するセクションを参照してください。

重大度: 12

CKR1099 *Specificationtype-type objecttype* スtring には、*DDname* の行 *number* の *type "value"* の前に長さ *required* が必要です (*Specificationtype-type objecttype string should have length required before type "value" at DDname line number*)

説明: 示された種類の指定での長さは、検出された長さとは異なる固定長です。*Specificationtype* は、8 進数またはテキストになります。*objecttype* は、ファイル・モードまたは監査フラグになります。

正しい構文の追加情報については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで *Unix* フィールド に関するセクションを参照してください。

重大度: 12

CKR1101 *ddname volser dsname* での予期されない **IOS rc hlhx, CSW stat stat sns sense cmd op (Unexpected IOS rc hlhx, CSW stat stat sns sense cmd op for *ddname volser dsname*)**

説明: このメッセージは、示された戻りコード、状況、およびセンス情報で EXCP が失敗したことを示します。データ・セットに問題がない場合には、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。プリアンブルでコマンド BDAMQSAM を指定して、この問題の解決を試みてください。

重大度: 20

CKR1102 *ddname volser dsname の CCHHR cc hh r rel blk nnn* での予期されないファイル終了 (**Unexpected end-of-file at CCHHR cc hh r rel blk nnn for ddname volser dsname**)

説明: このメッセージは、ブロック可用性マップ (BAM) が指定する最終ブロックの前のトラックに到達する前に、ファイル終了マーカーが検出されたことを示します。これは、前のメッセージで示された入出力失敗に続くエラーである可能性があります。データ・セットに問題がない場合には、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。プリアンブルでコマンド BDAMQSAM を指定して、この問題の解決を試みてください。

重大度: 20

CKR1103 *ddname volser dsname の CCHHR cchhr rel blk nnn* での予期されないブロック長 *bb* (**Unexpected block length bb at CCHHR cchhr rel blk nnn for ddname volser dsname**)

説明: このメッセージは、示された相対ブロック番号で、VTOC に指定されたブロック・サイズとは異なるブロック長が検出されたことを示します。データ・セットに問題がない場合には、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。プリアンブルでコマンド BDAMQSAM を指定して、この問題の解決を試みてください。

重大度: 20

CKR1104 **BAM** に準拠して使用中のブロックが空です - *ddname* ブロック *blkno* セグメント・オフセット *offset* (**Empty block in use according to BAM - ddname block blkno segment offset offset**)

説明: 示されたブロックには、BAM ではデータが含まれていると示されていましたが、データは含まれていませんでした。照会を再度実行して問題が解決されない場合は、IRRUT200 を実行してください。IRRUT200 で問題が検出されない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な

保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR1105 *RXNE index rel blk block* での予期されない長さ (**Unexpected len in RXNE index rel blk block**)

説明: このメッセージは、非 RDS 索引の処理中に検出された長さが短すぎることを示します。照会を再度実行して問題が解決されない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、おそらく SUPPRESS INDEX を指定することによって回避できます。

重大度: 16

CKR1106 予期されるデータ・ブロック *ddname* ブロック *block* が見つかりませんでした (**Expected data block not found ddname block block**)

説明: このメッセージは、示された RACF *data set* 内の *block* は実際には索引ブロックですが、索引はこれをデータ・ブロックと示していたことを示します。照会を再度実行して問題が解決されない場合は、IRRUT200 を実行してください。IRRUT200 で問題が検出されない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、おそらく SUPPRESS INDEX を指定することによって回避できます。

重大度: 20

CKR1107 *key* の *ddname* の *rel blk block* で索引が競合しています (**Index conflict on rel blk block on ddname for key**)

説明: このメッセージは、RACF *data set* 内の *block* が、索引と、その索引によるデータ・ブロックの両方を指していたことを示します。照会を再度実行して問題が解決されない場合は、IRRUT200 を実行してください。IRRUT200 で問題が検出されない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告して

ください。この問題は、おそらく SUPPRESS INDEX を指定することによって回避できます。

重大度: 16

CKR1108 *key* の *ddname* の **rel blk block** で索引が競合しています (**Index conflict on rel blk block on ddname for key**)

説明: このメッセージは、RACF *data set* 内の *block* が、索引と、その索引によるデータ・ブロックの両方を指していたことを示します。照会を再度実行して問題が解決されない場合は、IRRUT200 を実行してください。IRRUT200 で問題が検出されない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、おそらく SUPPRESS INDEX を指定することによって回避できます。

重大度: 16

CKR1109 想定されるエンティティー・タイプ・グループ - *key* のセグメント *segment* (**Entity type group assumed - segment segment of key**)

説明: このメッセージは、エンティティー・タイプのユーザーまたはグループを判別できない非基本セグメントが検出されたことを示します。このメッセージが発行されるのは、DEBUG SEGMENT が指定されている場合のみです。

重大度: 00

CKR1110 索引が空きスペース *ddname* ブロック *block* セグメント・オフセット *segment* を指しています (**Index points to free space ddname block block segment offset segment**)

説明: このメッセージは、示された RACF *data set* の索引がブロック可用性マップでは未使用になっているデータ *block* を指していることを示します。照会を再度実行して問題が解決されない場合は、IRRUT200 を実行してください。IRRUT200 で問題が検出されない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、おそらく SUPPRESS INDEX を指定することによって回避できます。

重大度: 08

CKR1111 予期されない 16 進数 *xx* のアクセス・レベル (**Unexpected access level hex xx**)

説明: マージ処理中に、無効なアクセス・レベルが検出されました。原因として、データベース内のレコードが破損している可能性があります。

重大度: 16

CKR1112 *userid/groupid* には予期されない 16 進数 *xx* の CONNECT 権限 (**Unexpected CONNECT authority hex xx for userid/groupid**)

説明: マージ処理中に、無効な CONNECT 権限が検出されました。原因として、データベース内のレコードが破損している可能性があります。

重大度: 16

CKR1113 データ・セット *name* に修飾子はありませんが、単一修飾子であるため、スキップされます (**Data set name has but a single qualifier - skipped**)

説明: アクセス規則とデータ・セットの突き合わせ中に、単一修飾子のみで構成された名前のデータ・セットが検出されました。これはサポートされません。処理がスキップされるのは、このデータ・セットに対してのみです。

重大度: 20

CKR1114 データ・セット *name* は、HLQ の長さが 8 文字を超えているためスキップされます (**Data set name has a HLQ of more than 8 characters long - skipped**)

説明: アクセス規則とデータ・セットの突き合わせ中に、長さ 8 文字を超える高位修飾子からなる名前のデータ・セットが検出されました。ACF2 規則ではこのデータ・セットを保護できないため、このデータ・セットでの以降の処理はスキップされます。

重大度: 20

CKR1117 CKRACTS: *var len len* に対する VDEFINE 戻りコード *n* (**CKRACTS: VDEFINE return code n for var len len**)

説明: 示された戻りコードにより、PANEL ステートメントに対する ISPF VDEFINE サービスが失敗しました。

重大度: 12

CKR1118 複合システム *complex* の UADS 情報が欠落しています。APF CKFREEZE が必要です (**Missing UADS information for complex *complex* - APF CKFREEZE needed**)

説明: ログオン ID が TSO にログオンできるかどうかをチェック中に、この質問に答えを出すには UADS 情報が必要であることがわかりました。しかし、これに該当する情報が使用できませんでした (APF 許可による zSecure Collect 実行によって作成された CKFREEZE ファイルが必要です)。プログラムは、ログオン ID は TSO にログオンできないと想定します。

重大度: 04

CKR1119 無効フィールド長 *length* が見つかりました。フィールド・オフセットは *offset* です (**Invalid field length *length* found; field offset is *offset***)

説明: ログオン ID レコード内の指定されたオフセットのフィールドに対し、無効な長さが返されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1120 エントリーの数は無効な長さです (**Number of entries invalid length**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1121 DSN マスクが見つかりませんでした (**DSN mask not found**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1122 無効なレコード長です (**Record length invalid length**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1123 CDSR が見つかりませんでした (**CDSR not found**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1125 レコード *key* 内のフィールド *tag* のオフセット *offset* は無効です (**Invalid offset *offset* for field *tag* in record *key***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1126 *key* に InfoStorage レコードのマークが付けられていません (***key* is not marked as an InfoStorage record**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1127 *key* はサポートされないタイプです (***key* is of an unsupported type**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1128 *key* のレイアウトが不明です - バージョン番号 *number* (**key has an unknown layout - version number *number***)

説明: 指定されたリソース規則に、サポートされないレイアウトがあります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1129 レコード *key* 内のフィールド *tag* のシーケンス番号 *number* は無効です (**Invalid Sequence Number *number* for field *tag* in record *key***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1130 *key* に要求された **RuleHeader** 行タイプは不明です (**Unknown RuleHeader line type requested for *key***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1131 レコード *key* の最初の項目が、フィールド *offset* の前の項目を参照しています (**First entry in record *key* refers to a previous one for field *offset***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1132 レコード "*key*" が二重に定義されています (**Record "*key*" doubly defined**)

説明: 示されたリソース規則は、同じセキュリティー複合システムで検出済みです。これは、データベースの割り振りに問題があることを示します。ALLOC TYPE=ACF2INFO ステートメントを調べて、適切なデータ・セットが DD 名に割り振られていることを確認してください。

重大度: 20

CKR1133 [*complex*] DB *db datasetname* について、取得対象の *number* の (256 バイトの) セグメントのうち、*pp%* を読み取りました。Unusedspace. ([*complex*] DB *db datasetname* read *pp%* to obtain *number* segments (of 256 byte) Unusedspace.) *readmethod* を使用。 (Using *readmethod*.) *number* の要求に対し、*number* の特殊ブロック、*number* の索引ブロック、および *number* のデータ・ブロックを使用。 (Used *number* special, *number* index, and *number* data blocks for *number* requests.) Statistics

説明: このメッセージは、RACF データ・セットの索引経路読み取りについてのレポートです。読み取るセグメントの数、このデータを取得するために実際に物理的に読み取られたパーセンテージを示します。パーセンテージは、一部のパーツを複数回読み取る必要があった場合には 100% を超える場合があります。空きスペースは、データベースの終わりにあるか (使用されることはありません)、データベースによってフラグメント化される場合があります。すべてのスペースがフラグメント化されている場合、Unusedspace には「空きスペースが完全にフラグメント化されています (Free space completely fragmented)」というテキストが示されます。それ以外の場合は、「*pp%* 以上のスペースが未使用 (Space beyond *pp%* never used)」が示されます。*readmethod* は、BDAM、索引付き ECKD EXCP、または 索引付き EXCP になります。いずれかの EXCP メソッドが使用された場合は、次のフォーマットで 4 番目の行が表示されます。「*number* の IO にある全 *number* のブロックのうち、*number* のブロックを読み取りました (If either EXCP method was used, a fourth line is shown in the format Read *number* blocks from a total of *number* in *number* IOs)」。キャッシュ・ヒットは *pp%* でした (Cache hit was *pp%*)」。

重大度: 00

CKR1134 DDname の行 *number* の **SIMULATE** 指定は、DDname の行 *number* のコマンドと競合します (**SIMULATE specification at DDname line number conflicts with the command at DDname line number**)

説明: 1 つの複合システムに対する複数の **SIMULATE CNGRACF** または **SIMULATE CKGRACF** コマンドは許可されません。また、複合システムを明示的に指定しない複数の **SIMULATE CNGRACF** または **SIMULATE CKGRACF** コマンドも許可されません。

重大度: 12

CKR1135 ddname の行 *number* の *element value* の *type* ルックアップが未定義です (**Undefined type lookup element value at ddname line number**)

説明: このメッセージは、間接参照が誤って指定されていることを示します。deftype ルックアップの構文は、FIELD:TYPE.KEY.TARGET となります。ここで、TYPE は DEFTYPE コマンドによって作成された newlist のタイプ、KEY および TARGET はこの同じ newlist タイプに定義済みのフィールドです。間接参照の詳しい解説については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで **DEFINE** コマンドのフィールド値の操作 に関する説明を参照してください。element は、**type**、**key**、または **target** のいずれかとなります。これは、誤りのある構文要素を示します。**key** または **target type** の場合には、TYPE を反映します。

重大度: 12

CKR1135 ddname 行 *number* の *token* の前で *element value* の検索が未定義です (**Undefined lookup element value before token at ddname line number**)

説明: このメッセージは、MAILTO= が誤って指定されていることを示します。構文は MAILTO=:TYPE.TARGET となります。ここで、TYPE は DEFTYPE コマンドによって作成された newlist のタイプ、TARGET はその newlist タイプに定義済みのフィールドです。zSecure CARLa コマンド・リファレンスで、**OPTION** コマンドの MAILTO に関する説明を参照してください。element は、**type** または **target** となります。これは、誤りのある構文要素を示します。

重大度: 12

CKR1136 フィールド **LID** が見つかりませんでした (**Field LID not found**)

説明: zSecure Audit for ACF2 はログオン ID を保管できません。このエラーが発生する可能性があるのは、ACF2 がアクティブではなく、必要な情報を含む CKFREEZE ファイルが割り振られていないシステム上で ACF2 ログオン ID データベースのコピーを処理する場合です。アンロード処理の場合、これは致命的エラーとなります。

重大度: 20

CKR1137 *number type* のレコードが処理され、*number2 (p%)* のレコードが選択されました [*presel (nn%)* のレコードが事前選択されました] (**number type records processed, selected number2 (p%), preselected presel (nn%)**)

説明: このメッセージは、newlist の *type number* のレコードが読み取られ、そのうち *number2* のレコードが実際に選択されたことを示します。オプションとして、このメッセージは、事前選択されたレコードの数を、数値および合計に対するパーセンテージとして示すことがあります。

重大度: 00

CKR1138 レコード "**key**" はディレクトリーのようです: "**id**" (**Record "key" appears to be a directory: "id"**)

説明: 示された構造化 InfoStorage レコードのレイアウトは矛盾します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1139 *program* は *cc.c* CPU 秒、*nn,nnnKB* を使用し、実時間で *ss* 秒を費やしました (**program used cc.c CPU seconds, nn,nnnKB, and took ss wall clock seconds**)

説明: このメッセージは、大部分の処理が完了した後、newlist 出力処理が開始される前に発行されます。この実行でのリソース使用量および経過時間を示します。このメッセージの主な用途は、ISPF インターフェースでのリソース使用量を測定することです。その理由は、SYSPRINT の終了に発行される、このメッセージに相当する CKR0039 には、ユーザーが ISPF 表示を調べてい

る間の全思考時間、ISPF 表示からの全リソース消費量 (再帰照会やその他の ISPF コマンドなど) がすべて含まれるため、リソース使用量を測定するにはそれほど有効ではないためです。

重大度: 00

CKR1140 システム *system* の最大システム数 *max* を超えています (**Maximum number of *max* systems exceeded for system *system***)

説明: このメッセージは、システム数 (I/O 構成) に関する内部制限を超えたことを示します。CKFREEZE の ALLOCATE ステートメントの数を減らしてください。現行の制限 (有効構成数 100) がご使用のインストール済み環境で問題になる場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKR1141 複合システム *complex* の最大複合システム数 *max* を超えています (**Maximum number of *max* complexes exceeded for complex *complex***)

説明: このメッセージは、複合システム (セキュリティ・データベース) 数に関する内部制限を超えたことを示します。該当するデータベースの ALLOCATE ステートメントの数を減らしてください。現行の制限 (セキュリティ・データベース数 100) がご使用のインストール済み環境で問題になる場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKR1142 ルックアップ *type.key.target* の **key=key** のエントリーが重複および競合しています。値 "*value1*" が保持され、レコード *number* での値 "*value2*" は無視されます。 (**Duplicate and conflicting entry for key=key in lookup *type.key.target* Value "*value1*" retained, value "*value2*" from record *number* ignored.**)

説明: タイプ *type* のファイルの読み取り中に、ルックアップのキー・フィールドとして使用されるフィールド *key* エントリーが重複していることが検出されました。

この場合、重複するエントリー *value1* および *value2* は異なる値を指定します。 *value1* のみが、ルックアップの表示用に保管されます。重複するエントリーが検出され、*value1* および *value2* が同一の場合、メッセージ CKR2363 が発行されます。

重大度: 00

CKR1143 ワード数は1 以上でなければなりません (**Word number must be >= 1**)

説明: WORD(*field,number,delimiter*) 式に含まれる *number* が正しく指定されていません。

重大度: 12

CKR1144 *ddname* の行 *number* の BUNDLEMAILTO 関数が正しくありません (**Illegal BUNDLEMAILTO function at *ddname* line *number***)

説明: 無効な BUNDLEMAILTO 値が指定されました。これは、BUNDLEBY 基本フィールドと組み合わせた一連の field value 操作関数でなければなりません。詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」で BUNDLE コマンドに関する説明を参照してください。

重大度: 12

CKR1145 BUNDLEMAILTO は *ddname* の行 *number* の BUNDLE コマンドでのみ有効です (**BUNDLEMAILTO is only valid on the BUNDLE command at *ddname* line *number***)

説明: BUNDLEMAILTO キーワードが、このキーワードをサポートしないコマンドに指定されました。

重大度: 12

CKR1146 PAS 属性には *ddname* の行 *number* の *token* の前に KEY 修飾子が必要です (**PAS attribute requires KEY modifier before *token* at *ddname* line *number***)

説明: ポイント・アンド・シュート (PAS) 修飾子は、KEY 修飾子も設定されたフィールド (つまり、表示からスクロールオフできないフィールド) でのみサポートされます。

重大度: 12

CKR1148 **CKRCFV:** システム *system* 複合システム *complex* に別の **DMSFILES** ダンプが検出されました。 *volume dsname* はスキップされます (**CKRCFV: Encountered another DMSFILES dump for system *system* complex *complex* - skipped *volume dsname***)

説明: このメッセージは、プログラムが単一システムで複数 DMSFILES ダンプを検出し、どの DMSFILES ダンプを使用するかを決定できないときに発行されます。現行のプログラム出力に悪影響はありません。

重大度: 004

CKR1149 *ddname* の行 *number condition* の **ALLOC** コマンドは、前のコマンドにより無視されます (**ALLOC command at *ddname* line *number condition* a previous one - ignored**)

説明: ACTIVE または INACTIVE セキュリティー・データベースに対する示された ALLOC コマンドが、メッセージに示されているように、前の ALLOC コマンドと重複しているか、前のコマンドと両立しません。後者の場合、示されたコマンドが PRIMARY セキュリティー・データベースを割り振ることを指定 (または暗黙指定) しているのに対し、前のコマンドは BACKUP を指定していたか、あるいはその逆となっています。コマンドは、無視されます。

重大度: 00

CKR1150 レコード "*key*" が二重に定義されています (**Record "*key*" doubly defined**)

説明: 示された構造化 InfoStorage レコードは、同じセキュリティ複合システムで検出済みです。これは、データベースの割り振りに問題があることを示します。ALLOC TYPE=ACF2INFO ステートメントを調べて、適切なデータ・セットが DD 名に割り振られていることを確認してください。

重大度: 20

CKR1151 *field* <Asymmetric AREMFLG> *flag*

説明: サポートされないレイアウトの ACF2 SMF レコードが検出されました。SMF レコードが壊れている可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1151 *field* <*id*: 解読不能 AREMFLG>*flag* (*field* <*id*: unintelligible AREMFLG> *flag*)

説明: サポートされないレイアウトの ACF2 SMF レコードが検出されました。SMF レコードが壊れている可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1152 警告: 複合システム *name* の動的解析テーブルは不明です。現行システムの DPT を使用します (**Warning: Dynamic parse table for complex *name* unknown, using current system DPT**)

説明: このメッセージは、示された複合システム名の動的解析テーブル (DPTB) が見つからなかったことを示します。現行システムの DPTB が代わりに使用されます。DPTB は、この複合システムにカスタム・フィールドを使用できるかどうかを定義します。

重大度: 00

CKR1153 ENDBUNDLE が欠落しています (**ENDBUNDLE missing**)

説明: このメッセージは、BUNDLE は開始されたが、終了しなかったことを示します。

重大度: 12

CKR1154 複合システム *complex* のタイプ *type* の割り振りが重複しています (**Duplicate allocation of type *type* for complex *complex***)

説明: ACF2 複合システム内で割り当てられるデータ・セットは、各 *type* (LID、規則、および Infostorage) につき、1 つです。照会の割り振りステートメントを確認してください。

重大度: 12

CKR1155 *field* ではなく、監査機能コードが予想されます (**Expected Audit Function Code instead of *field***)

説明: 番号または監査機能コード標識 (引用符なし) が指定されていなければなりません。

重大度: 12

CKR1156 出力ファイルのアンロードに **RECFM=U** を指定することはできません - [(リダイレクトされた **CKRUNLOU**)] *ddname [path | volser dsname]* (**Unload output file cannot have RECFM=U - [(redirected CKRUNLOU)] ddname [path | volser dsname]**)

説明: RECFM=U を指定したデータ・セットへの UNLOAD はサポートされません。UNLOAD データを別のフォーマットのデータ・セットに出力して、再試行してください。

重大度: 16

CKR1157 副選択節の中に **LIKELIST** を指定することはできません (**LIKELIST cannot be specified in a subselect clause**)

説明: 副選択節の中に **LIKELIST** 節を指定することは許可されていません。

重大度: 12

CKR1158 "*subselectclause*" 内の "*field*" の副選択は、**SELECT** ステートメントでは許可されません (**Subselect of "field" in "subselectclause" not allowed in SELECT statement**)

説明: **SELECT** ステートメントの副選択節では、許可されないフィールドがいくつかあります。これらのフィールドの値は、データベースの読み取りが完了するまで判断できないためです。例えば、**ACL** フィールド **USER** および **GROUP** を使用することはできません。これは、アクセス・リストに、一致するプロファイルに関連付けなければタイプを判断できない **ID** が含まれているためです。これらのフィールドの代わりに、**ID** を使用してください。

重大度: 12

CKR1159 **SELECT** ステートメントの副選択節の中でのルックアップは許可されません - *ddname* の行 *number* の type "*value*" の前 (**Lookup not allowed in subselect clause in SELECT statement - before type "value" at ddname line number**)

説明: **SELECT** ステートメントの副選択節の中では、ルックアップが禁止されています。これは、データベースの読み取りが完了してからでないと、ルックアップを実行できないためです。

重大度: 12

CKR1160 修飾子 **SORT** は繰り返しフィールドのみ適用されます。*ddname* の行 *number* の *field* には有効ではありません (**Modifier SORT applies to repeated fields only - not useful for field at ddname line number**)

説明: **SORT** は繰り返しグループ修飾子であり、*field* は繰り返しフィールドではありません。したがって、これは無視されます。

重大度: 04

CKR1161 *scope record: NextKey* ネスト・レベルの深さを超えています (*scope record: NextKey nesting level depth exceeded*)

説明: **ACF2** 有効範囲レコードは、最大 10 の **NextKey** ネスト・レベルをサポートします。このメッセージに示された有効範囲レコードは、この最大値を超えているレコードです。このレコードに対する以降の処理は打ち切られます。

重大度: 04

CKR1162 *fieldname fieldvalue* には考えられない長さの値 *value* です (**Impossible length value value for fieldname fieldvalue**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1163 *scope record: 可能性の低い NextKey* の数です (*scope record: improbable number of NextKeys*)

説明: 示された有効範囲レコードには、複数の **NextKey** があるようです。これは、論理的に不可能です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1164 *datasetname* のサイズが 2 GB を超えています。(datasetname exceeds 2 GB in size.) これは RACF データベース破壊の原因となる可能性があります。(This could be a cause for RACF database corruption.)

説明: RACF データ・セットのサイズは 2 GB に制限されています。これよりも大きいデータ・セットは、データベース破壊の原因となる可能性があります。示されたデータ・セットは 2 GB を超えています。重大度 8 は、2 GB 境界より上のスペースが使用されているため、RACF データベース破壊が発生する可能性が大きいことを示します。重大度 4 は、このスペースが使用されていないことを示します。

重大度: 04 または 08

CKR1165 修飾子 **UNIVERSAL** は、*ddname* の行 *number* のフィールド *field* には無効です (Modifier UNIVERSAL invalid for field field at ddname line number)

説明: このメッセージは、UNIVERSAL 修飾子が、この修飾子の使用をサポートしないフィールドで使用されていることを示します。この修飾子をサポートするのは、ACL および CONNECTS のようなフィールドのみです。

重大度: 12

CKR1166 *ddname* の行 *number* のタイプ 「*value*」の前で予期されていたのは *type* アクセス・レベルではありません (A type access level was not expected before type "value" at ddname line number)

説明: このメッセージは、プログラムは前のトークンをタイプ *type* のアクセス・レベルとして解釈したが、このコンテキストでは、このタイプは適用できないと考えられることを示します。タイプは UNIX、ACF2、有効範囲、モジュール、または DEFINE にできます。UNIX および ACF2 アクセスの値は、newlist タイプ TRUSTED での選択にのみ使用します。有効範囲の値は、newlist タイプ TRUSTED および REPORT_SCOPE での選択にのみ使用します。モジュールの値は、newlist タイプ REPORT_AC1 および REPORT_PADS での選択にのみ使用します。DEFINE アクセスの値は、newlist タイプ ACCESS および RACF_ACCESS でのみ使用されます。

重大度: 12

CKR1166 *ddname* の行 *number* のタイプ "*value*" の前で予期されていたのはアクセス・レベル *value* ではありません (The access value value was not expected before type "value" at ddname line number)

説明: このメッセージは、プログラムは前のトークンをアクセス値 *value* として解釈したが、このコンテキストでは、この値は適用できないと考えられることを示します。HIDDEN は、newlist タイプ REPORT_STC での選択にのみ使用されます。QUALOWN は、newlist タイプ REPORT_SCOPE、ACCESS、および RACF_ACCESS でのみ使用されます。OWNER は、newlist タイプ

TRUSTED、REPORT_REDUNDANCY、REPORT_SENSITIVE、REPORT_NONDEFAULT、REPORT_OUFOFGROUP、および REPORT_PROFILE でのみ使用されます。値 ADD、A-READ、DELETE、D-READ、ADD-DEL、および AD-READ は、newlist タイプ TRUSTED および REPORT_SCOPE でのみ使用されます。

重大度: 12

CKR1166 *ddname* の行 *number* のタイプ "*value*" の前で予期されていたのは **CONNECT** 権限ではありません (A CONNECT authority was not expected before type "value" at ddname line number)

説明: このメッセージは、プログラムは前のトークンを CONNECT 権限として解釈したが、このコンテキストでは、この値は適用できないと考えられることを示します。CONNECT 権限は、NEWLIST TYPE=RACF_ACCESS でのみ使用されます。

重大度: 12

CKR1167 ディレクトリー・レイアウト *number* は不明です。空の SSCP が想定されます (Unknown directory layout number - empty SSCP assumed)

説明: ACF2 常駐有効範囲の構造を分析中に、プログラムが不明なレイアウト ID を持つ有効範囲ディレクトリーを検出しました。異常終了を防ぐために、ディレクトリーの処理は完全にスキップされます。これは実質的に、すべての SCPLIST が空であると見なされることを暗黙に示します。これにより、有効範囲の設定された管理者に対してプログラムが使用不可能になります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM

サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1168 ディレクトリー・レイアウトの不明な ID - 番号 (**Unknown directory layout for identifier - number**)

説明: アンロードの作成中に、プログラムが不明なレイアウト ID を持つ有効範囲ディレクトリーを検出しました。プログラムは続行を試みますが、正しい出力が生成される保証はありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1169 *ddname* 行 *number* の *token* の前の時間値が正しくありません (**Illegal time value before token at ddname line number**)

説明: このメッセージは、時間を認識できない DATETIME フォーマットの値を読み取ると発行されます。

重大度: 12

CKR1170 *ddname* 行 *number* の *token* の前の日付値の継続が無効です (**Invalid continuation of date value before token at ddname line number**)

説明: このメッセージは、日付部分の後に文字が残っている DATETIME フォーマットの値を読み取ると発行されます。

重大度: 12

CKR1171 **newlist** フィールドおよび不明瞭なエンティティに起因する、セグメント・タイプ明確化のための格納要求 (**Request storing for segment typing due to newlist field and ambiguous entity**)

説明: このメッセージは、セグメントのエンティティ・タイプを明確化するために RACF 再構成データベースにすべてのユーザーとグループが格納される場合に、DEBUG SEGMENT によってトリガーされます。この特定のメッセージは、正しいエンティティ・タイプが判別されていることに依存するフィールドを必要とする LIST ファミリー・ステートメントがある場合に発行されます。

重大度: 00

CKR1172 **newlist** 選択に起因する、セグメント・タイプ明確化のための格納要求 (**Request storing for segment typing due to newlist selection**)

説明: このメッセージは、セグメントのエンティティ・タイプを明確化するために RACF 再構成データベースにすべてのユーザーとグループが格納される場合に、DEBUG SEGMENT によってトリガーされます。この特定のメッセージは、SELECT ステートメント自体が明確化されたエンティティ・タイプを必要とする場合に発行されます。

重大度: 00

CKR1173 グローバル **SELECT** は、セグメント・タイプ明確化のための格納が必要ないことを示します。 (**Global select indicates no storing for segment typing is needed.**)

説明: このメッセージは、セグメントのエンティティ・タイプを明確化するために RACF 再構成データベースにすべてのユーザーとグループを格納する必要がない場合に、DEBUG SEGMENT によってトリガーされます。このメッセージがオーバーライドする可能性があるのは、メッセージ CKR1171、CKR1172、CKR1304、または CKR1305 です。これが一般的に発生するのは、グローバル SELECT と内部 (newlist) SELECT が実際には関連を持っていない場合です。

重大度: 00

CKR1174 現行システムでは **RRSF** コマンド伝搬がアクティブになっています。 (**RRSF command propagation is active on CURRENT system.**) コマンドの最大サイズは 5000 バイトに削減されます (**Reducing maximum command size to 5000 bytes.**)

説明: RRSF コマンド伝搬では、伝搬されるコマンドのサイズが 5000 バイトに制限されます。現行システムでは RRSF コマンド伝搬がアクティブになっているため、コマンドの最大サイズは 16 キロバイトから 5000 バイトに削減されます。

重大度: 00

CKR1175 *user2* の CP ディレクトリー内に予期されないミニディスク *user1 dev* があります (**Unexpected minidisk *user1 dev* in CP directory for *user2***)

説明: このメッセージは、VM CKFREEZE ファイル内で CP ディレクトリーが予期しないレイアウトになっていることを意味します。製品がこの状態をサポートするべきだとお考えの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR1176 CP ディレクトリー内に予期されないミニディスク *user1 dev* があります (**Unexpected minidisk *user1 dev* in CP directory**)

説明: このメッセージは、VM CKFREEZE ファイル内で CP ディレクトリーが予期しないレイアウトになっていることを意味します。製品がこの状態をサポートするべきだとお考えの場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR1177 CP ディレクトリーが欠落していたため、**VERIFY NONEMPTY/ONVOLUME** は複合システム *complex* で実行されませんでした (**VERIFY NONEMPTY/ONVOLUME not performed on complex *complex* due to missing CP directory**)

説明: このメッセージは、VM CKFREEZE ファイルが欠落しているか、または CP ディレクトリー情報が含まれていないことを意味します。これを必要とする関数は実行されません。

重大度: 08

CKR1178 ボリューム *volume user.dev* のミニディスクでは **VMMDISK** プロファイルは保護されません (**No VMMDISK profile protection for minidisk on volume *volume user.dev***)

説明: このメッセージは、VM CP ディレクトリーにミニディスク定義と一致するプロファイルがなく、使用可

能な HCPRWA 情報がない場合に、**VERIFY PROTECTALL** によって発行されます。この状態を修正するためのコマンドは生成されません。したがって、ユーザー自身がアクセス要件を確認する必要があります。VM によって行われるデフォルトのアクションは、HCPRWA モジュール内の **SYSSEC** マクロにコード化された内容によって定義されます。

重大度: 08

CKR1179 一致するミニディスクがない汎用 **VMMDISK** プロファイルです。 *profile* (**Generic VMMDISK profile without matching minidisks *profile***)

説明: このメッセージは、**VERIFY NONEMPTY** または **VERIFY ALLNOTEMPTY** が、そのコマンドに従ってプロファイルが廃止されることを示すために発行します。プロファイルを除去するために、**RDELETE RACF** コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1180 個別の **VMMDISK** プロファイルですが、ミニディスクが定義されていません。 *profile* (**Discrete VMMDISK profile but no minidisk defined *profile***)

説明: このメッセージは、ミニディスクが存在しなかったため、プロファイルが廃止されることを示すために **VERIFY ONVOLUME** によって発行されます。プロファイルを除去するために、**RDELETE RACF** コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1181 *field* にはサポートされない **FDE: FLAGS=SPECIAL** (**Unsupported FDE for *field*: FLAGS=SPECIAL**)

説明: 示されたフィールドには、そのフィールド定義項目によると、非標準処理要件があります。これは、サイト定義のフィールドにはサポートされません。

重大度: 20

CKR1182 *field* にはサポートされない **FDE: HEADER=NONE** (**Unsupported FDE for *field*: HEADER=NONE**)

説明: サイト定義の多値ビット・フィールドはサポートされません。

重大度: 20

CKR1183 *field* にはサポートされない FDE: DYNAMEL ではない (X)VL (Unsupported FDE for *field*: (X)VL, but not DYNAMEL)

説明: 示された多値フィールドは、可変長のエントリーを持つフィールドとして定義されていますが、このフィールドには各エントリーの実際の長さを示す手段がありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1184 *field* にはサポートされない FDE: STATUS=PSEUDO (Unsupported FDE for *field*: STATUS=PSEUDO)

説明: 現在サポートされる疑似フィールドは、ログオン ID レコードの UID スtringのみです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1185 *field* にはサポートされない FDE: 長さ = 0 (Unsupported FDE for *field*: length = 0)

説明: 一般に長さがゼロ・バイトの FDE 定義フィールドは、選択基準として使用できません。SORTLIST ステートメントなどで使用しても、同じく無効です。

重大度: 20

CKR1186 *field* にはサポートされない FDE: リモート・デフォルト値 (Unsupported FDE for *field*: remote default value)

説明: FDE に正しいデフォルト値が存在しないフィールドはサポートされません。

重大度: 20

CKR1187 *field* にはサポートされない FDE: サポートされないタイプ: *type* - *type(hex)* (Unsupported FDE for *field*: unsupported TYPE: *type* - *type(hex)*)

説明: 示されたフィールドには、8 つの ACF2 定義データ型 (バイナリー、文字、パック 10 進数、時間、ビ

ット・フラグ、TOD スタンプ、16 進数、または暗号化) が 1 つもありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1188 *field* には矛盾する FDE: TYPE=BIT、FLAGS=MULTI (Inconsistent FDE for *field*: TYPE=BIT, FLAGS=MULTI)

説明: サイズが 1 ビットに定義されたビット・フラグ型のフィールドは、複数の値を持つことができません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1189 *field* には矛盾する FDE: FLAGS=MULTI、STATUS=PSEUDO (Inconsistent FDE for *field*: FLAGS=MULTI, STATUS=PSEUDO)

説明: 多値 ACF2 疑似フィールドはサポートされません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1190 *field* には矛盾する FDE: (X)VL ではない DYNAMEL (Inconsistent FDE for *field*: DYNAMEL, but not (X)VL)

説明: 示された多値フィールドには、それぞれの値に長さバイトがありますが、これらの値の長さは一定しています。正しいフィールド定義かもしれませんが、現時点ではサポートされていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1191 *field* には矛盾する FDE:
TYPE=PACKED、LENGTH > 16
(Inconsistent FDE for field:
TYPE=PACKED, LENGTH > 16)

説明: パック 10 進数フィールドは、16 バイトを超える長さにはできません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1192 *field* に複数の値がありません (*field does not HAVE multiple values*)

説明: 示されたフィールドは多値フィールドとして定義されていません。しかし、最初の値以外の値に対する要求が検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1193 *field* には矛盾する AMULTFLD:
AMULTCUR < 0 (Inconsistent
AMULTFLD for field: AMULTCUR <
0)

説明: 示された多値フィールドの値の数が負の数値になっています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。エラーの原因となったレコードを識別するには、DEBUG FIELD を使用します。DEBUG コマンドの追加情報については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスを参照してください。

重大度: 20

CKR1194 *field* には矛盾する AMULTFLD: 要求された値 # > AMULTCUR (**Inconsistent AMULTFLD for field: requested value # > AMULTCUR**)

説明: 示された多値フィールドには、要求された値の数だけの値がありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載さ

れている手順に従って問題を報告してください。エラーの原因となったレコードを識別するには、DEBUG FIELD を使用します。DEBUG コマンドの追加情報については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスを参照してください。

重大度: 20

CKR1195 *field* には矛盾する AMULTFLD:
AMULTCUR > FDEMVMAX
(Inconsistent AMULTFLD for field:
AMULTCUR > FDEMVMAX)

説明: 示された多値フィールドに、そのフィールド定義項目で許可されている値より多くの値が定義されています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。エラーの原因となったレコードを識別するには、DEBUG FIELD を使用します。DEBUG コマンドの追加情報については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスを参照してください。

重大度: 20

CKR1196 *field* には矛盾する AMULTFLD:
AMULTOFF の過去のレコード
(Inconsistent AMULTFLD for field:
AMULTOFF past record)

説明: 示されたフィールドの多値フィールド・ヘッダーは ACF2 データベース・レコードに存在しますが、実際の値は存在しません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。エラーの原因となったレコードを識別するには、DEBUG FIELD を使用します。DEBUG コマンドの追加情報については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスを参照してください。

重大度: 20

CKR1197 *field: DYNAMEL* が過去のレコード終了
 を実行しています (*field: DYNAMEL*
running past record end)

説明: 要求されたフィールドの値は、多値フィールド・ヘッダーでは存在すると示されていますが、ACF2 データベース・レコードには物理的に存在しません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポ

ートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。エラーの原因となったレコードを識別するには、DEBUG FIELD を使用します。DEBUG コマンドの追加情報については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスを参照してください。

重大度: 20

CKR1198 *field:* 固定 MV の過去のレコード終了
(*field: fixed MV past record end*)

説明: 要求されたフィールドの値は、多値フィールド・ヘッダーでは存在すると示されていますが、ACF2 データベース・レコードには物理的に存在しません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報

告してください。エラーの原因となったレコードを識別するには、DEBUG FIELD を使用します。DEBUG コマンドの追加情報については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスを参照してください。

重大度: 20

CKR1199 **IMBED NODUP は FILEDESC/PATH**
パラメーターをサポートしません
(**IMBED NODUP does not support the**
FILEDESC/PATH parameters)

説明: IMBED コマンドで、NODUP パラメーターが FILEDESC または PATH パラメーターと組み合わせて使用されています。これはサポートされません。

重大度: 12

メッセージ 1200 から 1299

CKR1200 **ERRORMAILTO、**
SMTPMAILFROM、FROM、
または **REPLYTO** のない *keyword* は無効です (*keyword invalid without*
ERRORMAILTO or SMTPMAILFROM
or FROM or REPLYTO)

説明: E メール・メッセージを生成するために、キーワード MAILTO (MT) および BUNDLEMAILTO (BMT) が使用されています。これらのキーワードを使用する場合、有効な SMTP ヘッダーを作成するには、示されたキーワードの 1 つ以上に有効な値が不可欠です。

重大度: 12

CKR1201 フォーマット *outfrmt* のフィールドは、1 つのレコードまたは詳細表示あたり 1 つだけ変更できます - *ddname* の行 *number* の *name*、または *parm* ストリング内の *name* (**Fields with format outfrmt can only be modifiable once per record or detail display - name at ddname line number or - name in parm string**)

説明: 同じ表示に、フィールド *name* のオカレンスが 2 つ以上あり、どちらのオカレンスも変更可能となっています。これは、フォーマットが CHAR または ASIS でない限り、許可されません。これは、レコード・レベルの表示、または詳細表示にも適用される可能性があります。フィールドを 1 回だけ表示するか、1 つのオカレンスを除くすべてのオカレンスに NOMODIFY 修飾子を追加してください。

重大度: 12

CKR1202 繰り返しグループ・フィールド *name* は、1 つの詳細表示あたり 1 つだけ変更可能として表示できます - *ddname* の行 *number* の *name*、または *parm* ストリング内の *name* (**Repeat group field name can only be displayed as modifiable once per detail display -name at ddname line number or - name in parm string**)

説明: 詳細表示に、繰り返しグループとして定義されたフィールド *name* のオカレンスが 2 つ以上あり、どちらのオカレンスも変更可能となっています。これはサポートされません。繰り返しグループ行にフィールドを 1 回だけ表示するか、1 つのオカレンスを除くすべてのオカレンスに NOMODIFY 修飾子を追加してください。

重大度: 12

CKR1203 **ID identity** の **DATASET** プロファイル *datasetprofile* で使用されているプログラム・プロファイル *program* に、**BASIC** または **MAIN** が指定されていません (**BASIC or MAIN not specified on program profile program used in DATASET profile datasetprofile for ID identity**)

説明: このメッセージは、RACF が拡張警告プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムは条件付きアクセス・リストに定義されていて、対

応する固有のプロファイルが定義されていますが、そのプロファイルに APPLDATA('MAIN') または APPLDATA('BASIC') がありません。RACF は拡張警告モードで稼働するため、コメント化された RALTER PROGRAM APPLDATA('MAIN') コマンドが生成されます。示されたプログラムを条件付きアクセス・リストに定義する必要があると決定した場合は、このコマンドのコメントを外して実行できます。詳しくは、『zSecure CARLa コマンド・リファレンス』の『VERIFY PADS』を参照してください。

重大度: 04

CKR1204 ID identity の DATASET プロファイル *datasetprofile* で使用されているプログラム *program* に固有のプログラム・プロファイルが見つかりませんでした (No specific program profile found for program *program* used in DATASET profile *datasetprofile* for ID identity)

説明: このメッセージは、RACF が拡張警告プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムが条件付きアクセス・リストに定義されています。対応する固有のプログラム・プロファイルは見つかりませんが、このプログラム用の非特定プログラム・プロファイルはあります。RACF は拡張警告モードで稼働するため、固有でないプロファイルを固有のプロファイルにコピーするためのコマンドと APPLDATA('MAIN') を追加するためのコマンドがコメント化されて生成されます。示されたプログラムを条件付きアクセス・リストに定義する必要があると決定した場合は、このコマンドのコメントを外して実行できます。詳しくは、『zSecure CARLa コマンド・リファレンス』の『VERIFY PADS』を参照してください。

重大度: 04

CKR1205 ID identity の DATASET プロファイル *volser datasetprofile* で使用されているプログラム・プロファイル *program* 用の非特定プロファイルが見つかりませんでした (No non-specific profile found for program profile *program* used in DATASET profile *volser datasetprofile* for ID identity)

説明: このメッセージは、RACF が拡張警告プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムが条件付きアクセス・リスト上で定義されていますが、一致するプログラム・プロファイルが存在しません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去す

るためのコマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1206 ID identity の汎用 DATASET プロファイル *datasetprofile* で使用されているプログラム・プロファイル *program* 用の非特定プロファイルが見つかりませんでした (No non-specific profile found for program profile *program* used in generic DATASET profile *datasetprofile* for ID identity)

説明: このメッセージは、RACF が拡張警告プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムが条件付きアクセス・リスト上で定義されていますが、一致するプログラム・プロファイルが存在しません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1207 ID identity の DATASET プロファイル *datasetprofile* で使用されているプログラム・プロファイル *program* 用の非特定プロファイルが見つかりませんでした (No non-specific profile found for program profile *program* used in DATASET profile *datasetprofile* for ID identity)

説明: このメッセージは、RACF が拡張警告プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムが条件付きアクセス・リスト上で定義されていますが、一致するプログラム・プロファイルが存在しません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1208 ID identity の DATASET プロファイル *volser datasetprofile* で使用されているプログラム・プロファイル *program* に、BASIC または MAIN が指定されていません (BASIC or MAIN not specified on program profile *program* used in DATASET profile *volser datasetprofile* for ID identity)

説明: このメッセージは、RACF が拡張プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムは条件付きアクセス・リストに定義されていて、対応する固有のプログラム・プロファイルが定義されてい

ますが、そのプログラム・プロファイルに
APPLDATA('MAIN') または APPLDATA('BASIC') が
定義されていません。エラー状態を解決するために、
WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1209 ID identity の汎用 DATASET プロファイル *datasetprofile* で使用されているプログラム・プロファイル *program* に、
BASIC または **MAIN** が指定されていません (**BASIC or MAIN not specified on program profile *program* used in generic DATASET profile *datasetprofile* for ID identity**)

説明: このメッセージは、RACF が拡張プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の
VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムは条件付きアクセス・リストに定義されていて、対応する固有のプログラム・プロファイルが定義されていますが、そのプログラム・プロファイルに
APPLDATA('MAIN') または APPLDATA('BASIC') が定義されていません。エラー状態を解決するために、
WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1210 ID identity の DATASET プロファイル *datasetprofile* で使用されているプログラム・プロファイル *program* に、**BASIC** または **MAIN** が指定されていません (**BASIC or MAIN not specified on program profile *program* used in DATASET profile *datasetprofile* for ID identity**)

説明: このメッセージは、RACF が拡張プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の
VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムは条件付きアクセス・リストに定義されていて、対応する固有のプログラム・プロファイルが定義されていますが、そのプログラム・プロファイルに
APPLDATA('MAIN') または APPLDATA('BASIC') が定義されていません。エラー状態を解決するために、
WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1211 ID identity の DATASET プロファイル *volser datasetprofile* で使用されているプログラム *program* に固有のプログラム・プロファイルが見つかりませんでした (**No specific program profile found for program *program* used in DATASET profile *volser datasetprofile* for ID identity**)

説明: このメッセージは、RACF が拡張プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の
VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムは条件付きアクセス・リストに定義されていて、対応する固有のプログラム・プロファイルが定義されていますが、そのプログラム・プロファイルに
APPLDATA('MAIN') または APPLDATA('BASIC') が定義されていません。エラー状態を解決するために、
WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1212 ID identity の汎用 DATASET プロファイル *datasetprofile* で使用されているプログラム *program* に固有のプログラム・プロファイルが見つかりませんでした (**No specific program profile found for program *program* used in generic DATASET profile *datasetprofile* for ID identity**)

説明: このメッセージは、RACF が拡張プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の
VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムは条件付きアクセス・リストに定義されていて、対応する固有のプログラム・プロファイルが定義されていますが、そのプログラム・プロファイルに
APPLDATA('MAIN') または APPLDATA('BASIC') が定義されていません。エラー状態を解決するために、
WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1213 ID identity の DATASET プロファイル *datasetprofile* で使用されているプログラム *program* に固有のプログラム・プロファイルが見つかりませんでした (**No specific program profile found for program *program* used in DATASET profile *datasetprofile* for ID identity**)

説明: このメッセージは、RACF が拡張プログラム・セキュリティ・モードで稼働している間の
VERIFY PADS コマンドが原因で発行されます。プログラムは条件付きアクセス・リストに定義されていて、対応

CKR1214 • CKR1219

応する固有のプログラム・プロファイルが定義されていますが、そのプログラム・プロファイルに APPLDATA('MAIN') または APPLDATA('BASIC') が定義されていません。エラー状態を解決するために、WHEN 節を除去するためのコマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1214 PIPE は *ddname* の行 *number* の PATH/FILEDESC でのみ有効です (PIPE is only valid on PATH/FILEDESC - at *ddname line number*)

説明: PIPE の指定は、PATH または FILEDESC 割り振りでのみ有効です。PIPE を除去するか、PATH または FILEDESC 割り振りに変更してください。

重大度: 12

CKR1215 GETPROC は *ddname* の行 *number* の TYPE=SMF、TYPE=ACCESS、または <deftype> でのみ有効です (GETPROC is only valid on TYPE=SMF, TYPE=ACCESS, or <deftype> - at *ddname line number*)

説明: GETPROC は、SMF、ACCESS、または DEFTYPE コマンドで定義された入力タイプ以外の入力タイプには無効です。さらに、GETPROC パラメーターは内部 IBM Security zSecure 用に意図されています。

重大度: 12

CKR1216 WTO/SNMP/SYSLOG/CMD は相互に排他的です - *ddname* の行 *number* (WTO/SNMP/SYSLOG/CMD are mutually exclusive - at *ddname line number*)

説明: newlist には、特殊な配信タイプ (つまり、CMD、SNMP、SYSLOG、または WTO) を 1 つだけ指定できます。

重大度: 12

CKR1217 PL/LL を WTO/SNMP/SYSLOG/CMD/XML と同時に使用することはできません - *ddname* の行 *number* (PL/LL mutually exclusive with WTO/SNMP/SYSLOG/CMD/XML - at *ddname line number*)

説明: SNMP、WTO、SYSLOG、CMD、および XML は、それぞれ固有の行およびページの長さを暗黙的に指定します。これらの値を変更することはできません。

重大度: 12

CKR1218 WTO が RC=rc (10 進数) で失敗しました。*ddname* の行 *number* の newlist (WTO failed RC=rc (dec) newlist at *ddname line number*)

説明: このメッセージは、示された newlist に対してオペレーター宛メッセージ (WTO) を発行中にエラーが発生したことを示します。このメッセージの後に、問題の WTO が示されます。

重大度: 04

CKR1219 SNMP トラップが失敗しました。*ddname* の行 *number* の msg newlist (SNMP trap failed msg newlist at *ddname line number*)

説明: newlist に対する SNMP トラップの送信に失敗しました。送信ルーチンが msg を報告しました。報告される可能性があるメッセージとその理由は以下のとおりです。

表 4. CKR1219 のメッセージ

メッセージ	説明
特定のタイプが欠落しています (missing specific type)	SNMP トラップ送信用の CARLa (sort)list の先頭行が、トラップの特定のタイプを示す整数で始まっていませんでした。
不明な変数: <i>variable1</i> , <i>variable2</i> , ... (unknown variable(s): <i>variable1</i> , <i>variable2</i> , ...)	一部のストリングが変数として認識されませんでした。原因として、CARLa (sort)list にタイプミスがあることが考えられます。
各変数を 1023 文字にトリミングしても、変数の合計長さが過剰です (total length of variables is too large, even after trimming each variable to 1023 characters)	各変数のコンテンツは 1023 文字を超えていませんでしたが、変数ストリングとそのコンテンツの合計サイズが最大値の 32000 バイトを超えていました。
SnmpEnc に失敗しました (SnmpEnc failed)	SNMP トラップをエンコードできませんでした。コミュニティ・ストリングにセミコロンが含まれているか、エンタープライズ・ストリングのフォーマットが誤っている可能性があります。

表 4. CKR1219 のメッセージ (続き)

メッセージ	説明
IBM-1047 から ISO8859-1 への変換に失敗しました。メモリが不足していました (IBM-1047 to ISO8859-1 conversion failed: not enough memory)	メモリ不足により、EBCDIC から ASCII に変換できませんでした。
IBM-1047 から ISO8859-1 へのコンバーターを開けません (Cannot open converter from IBM-1047 to ISO8859-1)	EBCDIC から ASCII への変換がサポートされませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。
ソケット・エラー: rc return code (16 進数)、理由 reason code (16 進数)、error message string (socket error: rc return code (hex), reason reason code (hex); error message string)	ソケットを作成できませんでした。詳しくは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」マニュアルを参照してください。
sendto エラー: rc return code (16 進数)、理由 reason code (16 進数)、error message string (sendto error: rc return code (hex), reason reason code (hex); error message string)	ソケットでデータを送信できませんでした。詳しくは、「UNIX System Services メッセージおよびコード」マニュアルを参照してください。

表 4. CKR1219 のメッセージ (続き)

メッセージ	説明
使用法: <specific> -c <community> -g <generic> -e <enterprise> (usage: <specific> -c <community> -g <generic> -e <enterprise>)	特定のトラップが指定された行の構文が誤っています。行は、特定のトラップ・フィールドを指定する整数で始まらなければなりません。その後にオプションで、「-c community」、「-g generic」(generic は、汎用トラップ・フィールドを指定する整数)、および「-e enterprise」(enterprise は、ドットで区切られた整数のリスト)を続けます。
<specific> は整数でなければなりません (<specific> must be an integer)	特定トラップ・フィールドに整数が指定されていません。
<generic> は整数でなければなりません (<generic> must be an integer)	汎用トラップ・フィールドに整数が指定されていません。
C ルーチン CKRTRAP の呼び出しに失敗しました (Call to C routine CKRTRAP failed)	ルーチン CKRTRAP を呼び出すことができませんでした。これはおそらく、LE 環境が欠落しているか、誤って設定されていることによる結果です。この実行に ALLOC NOLE が指定されていなかったことを確認してください。

重大度: 04

CKR1220 **GETHOSTNAME rc rc (10 進数)、
errno errno (16 進数) (GETHOSTNAME
rc rc (dec), errno errno (hex))**

説明: GETHOSTNAME 呼び出しが失敗しました。これにより、無効な SMTP HELO ステートメントおよび SNMP トラップという結果になる可能性があります。原因には、(他の理由のなかでも特に) TCP/IP リゾルバー・データが欠落していること、または UNIX 呼び出しを実行できないこと (例えば UID が提供されていないなど) が考えられます。

重大度: 08

CKR1221 *protocol destination [rc rc|earlier]* を解決できませんでした - *ddname* の行 *line* の **newlist newlist (Could not resolve protocol destination [rc rc|earlier] - newlist newlist at ddname line line)**

説明: 指定された newlist

(SNMPTO、SYSLOGTO、SYSLOGUDP、または SYSLOGTCP) の *protocol destination* キーワードに指定された *destination* を IP アドレスに解決できませんでした。SNMP トラップ (SNMP の場合) または UNIX の SYSLOG メッセージ (SYSLOG の場合) は、この宛先には送信されません。原因としては、指定が誤っていること、TCPIP が誤って構成されていること、ドメイン・ネーム・サーバー (DNS) が一時的に使用不可能であること、または SNMP 宛先が一時的に (動的) DNS がないことが考えられます。

earlier はこの newlist が以前の宛先と同じ宛先を指していることを示します。

重大度: 04

CKR1222 *field* ルックアップは選択でサポートされません - *ddname* の行 *number* (**field lookup not supported on select - at ddname line number**)

説明: 示されたフィールドは、SELECT 節でセキュリティ・データベース・ルックアップ・フィールドとして使用できません。SELECT 節のルックアップは、(ANY)SUPGROUP/OWNER/DFLTGRP に限定されます。

ユーザーの処置: このグループからのキーワードのみを指定するようにステートメントの SELECT 節を変更するか、デフォルト (RACF) 以外の newlist タイプを参照してください。

重大度: 12

CKR1223 *ddname* の行 *number* の *token* の前の **CLEANUP** および **NOCLEANUP** は、互いに排他的な組み合わせです (**CLEANUP and NOCLEANUP are mutually exclusive before token at ddname line number**)

説明: ALLOCATE コマンドでキーワード CLEANUP と NOCLEANUP を同時に使用することはできません。

重大度: 12

CKR1224 *ddname* の行 *line* のメールボックス指定 *token* が不完全です (**Incomplete mailbox specification token at ddname line line**)

説明: 示された *token* の前のメールボックス指定にエラーが検出されました。アドレス指定については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで説明されている RFC 2822 構文を参照してください。E メール・アドレス・リストが使用されている場合、DD 名は Rxxxxxxx の形式になります。ここで、xxxxxxx は 10 進数です。この場合、これが参照するのは、使用されている E メール・アドレス・リスト内のレコード番号です。使用された <deftype> を見つけるには、このメッセージの前に示される前回のメッセージ CKR1088 を参照してください。

重大度: 12

CKR1225 *ddname* の行 *number* の Eメール *name* が *address* に送信されました。件名: **subject (E-mail name at ddname line number sent to address, subject: subject)**

説明: これは、newlist *name* に対して要求された E メール・メッセージが、指定の入力ロケーションから生成されたことを示す通知メッセージです。これは、示された件名で *address* に送信されました。

重大度: 00

CKR1226 **ALLOC TYPE=esm ACTIVE** は、非 *esm* システムでは無効です - *ddname* の行 *number* (**ALLOC TYPE=esm ACTIVE is invalid on a non-esm system - at ddname line number**)

説明: 外部セキュリティ・マネージャー *esm* に対するアクティブなセキュリティ・データベースの割り振り要求を受信しました。その ESM は、このシステムではアクティブでないため、割り振りを行うことはできません。

重大度: 12

CKR1227 SNMP トラップが、*ddname* の行 *number* の *IPaddress* ポート *port* newlist を含めた *nr* 受信側に送信されました (**Sent SNMP trap to nr recipients, including IPaddress port port newlist at ddname line number**)

説明: このメッセージは、SNMP トラップが *newlist* に送信されたことを通知するために発行されます。

重大度: 00

CKR1228 *format* フォーマットの **NEWLIST TYPE=deftype** にはフィールド **"SYSTEM"** が必要です。 *ddname* の行 *number* の *fieldaddr fieldname* の時間帯は省略されます (**Field "SYSTEM" required in NEWLIST TYPE=deftype for format format - time zone omitted for fieldaddr fieldname at ddname line number**)

説明: DATETIMEZONE, SMFTIMESTAMPZONE, JAVA_SIMPLEDATE, および XSD_DATETIME の各フォーマットには、使用する時間帯を判別するためのシステムが必要です。DEFTYPE newlist の場合、使用するシステムの SMFid となるフィールド SYSTEM を定義する必要があります。日時形式について詳しくは、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで説明している LIST コマンドのフォーマット名 を参照してください。

重大度: 04

CKR1229 フォーマット *format* は、**SUMMARY/BUNDLEBY** ではサポートされません - *ddname* の行 *number* の *fieldaddr fieldname* の時間帯は省略されます (**Format format not supported on SUMMARY/BUNDLEBY - time zone omitted for fieldaddr fieldname at ddname line number**)

説明: DATETIMEZONE、XSD_DATETIME、JAVA_SIMPLEDATE および SMFTIMESTAMPZONE フォーマットで使用する時間帯は、各レコードに対応するシステムによって決定されます。SUMMARY の場合、この値はあいまいです。DATETIMEZONE 形式および SMFTIMESTAMPZONE 形式について詳しくは、ご使用の zSecure CARLa コマンド・リファレンスで説明している『LIST コマンドのフォーマット名』を参照してください。

重大度: 04

CKR1230 *ddname* の行 *line* のメールボックス・アドレス *token* にローカル部分がありません (**Missing local part of mailbox address token at ddname line line**)

説明: 示された *token* の前のメールボックス指定にローカル部分 (ユーザー名) がありませんでした。アドレス指定については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで説明されている RFC 2822 構文を参照してください。E メール・アドレス・リストが使用されている場合、DD 名 は Rxxxxxxx の形式になります。ここで、xxxxxxx は 10 進数です。この場合、これが参照するの

は、使用されている E メール・アドレス・リスト内のレコード番号です。使用された <deftype> を見つけるには、このメッセージの前に示される前回のメッセージ CKR1088 を参照してください。

重大度: 12

CKR1231 *ddname* の行 *line* のメールボックス・アドレス *token* にドメインがありません (**Missing domain in mailbox address token at ddname line line**)

説明: 示された *token* の前のメールボックス指定にドメインがありませんでした。アドレス指定については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで説明されている RFC 2822 構文を参照してください。E メール・アドレス・リストが使用されている場合、DD 名 は Rxxxxxxx の形式になります。ここで、xxxxxxx は 10 進数です。この場合、これが参照するのは、使用されている E メール・アドレス・リスト内のレコード番号です。使用された <deftype> を見つけるには、このメッセージの前に示される前回のメッセージ CKR1088 を参照してください。

重大度: 12

CKR1232 *ddname* の行 *number* の **NEWLIST NAME=name** は抑止されます。 *ddname2* の行 *number* の **newlist** を使用します (**Suppressing NEWLIST NAME=name at ddname line number, using the one at ddname2 line number**)

説明: このメッセージは、FIRST_PER_NAME オプションにより NEWLIST が抑止されていたことを示します。メッセージは、この名前を持つ NEWLIST の代わりに使用される newlist を識別します。

この NEWLIST が MERGELIST の一部である場合、次の両方の条件が真であれば、ENDMERGE の後にメッセージ CKR2338 が続きます。

- 抑止された NEWLIST が MERGELIST 内の最初の NEWLIST である。
- 使用された出力コマンドが DISPLAY または SORTLIST である。

重大度: 00

CKR1233 **C2ARULE:** レコード *key* が壊れています : 無効なトレーラー・オフセット (**C2ARULE: record key corrupted: invalid trailer offset**)

説明: 示されたアクセス・ルール・レコードに予期しないレイアウトがあります。破損している可能性があります

す。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1234 レコード *key* のトレーラー・オフセットは無効です (**Record key has an invalid trailer offset**)

説明: 示されたりソース規則レコードのレイアウトは予期されません。破損している可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1235 間隔 *number* が *time* に開始されました (**Start of interval number at time**)

説明: このメッセージは、ソフトウェア・コードによるファイルの終わり条件を受信した後に、処理の新しいパスが開始したことを示します。

重大度: 00

CKR1236 MAILFONTSIZE は 1 から 7 の範囲内でなければなりません (**MAILFONTSIZE must be in range 1..7**)

説明: MAILFONTSIZE は、ブラウザのデフォルト・フォントが 12 ポイントに設定されている場合、8、10、12、14、18、24、26 ポイント・サイズに対応する 1 から 7 の範囲の数値にする必要があります (ユーザーはこれを変更できます)。

重大度: 12

CKR1237 WTO/SNMP/SYSLOG/CMD を E メールと同時に使用することはできません-
ddname の行 *number*
(**WTO/SNMP/SYSLOG/CMD are mutually exclusive with e-mail - at *ddname* line number**)

説明: newlist には、特殊な配信タイプ (つまり、E メール、CMD、SYSLOG、SNMP、または WTO) を 1 つだけ指定できます。

重大度: 12

CKR1238 C2REMAIL の割り振りに失敗しました。
(**Allocation of C2REMAIL failed.**)ライター: "*writer*" クラス: "*class*" NJENode: "*node*" (Writer: "*writer*" Class: "*class*" NJENode: "*node*")

説明: C2REMAIL DD の割り振り中にエラーが発生しました。SMTPWRITER、SMTPCLASS および SMTPNJENODE パラメーターの値が有効であるかどうかを確認してください。

重大度: 16

CKR1239 WTO が発行されました。*ddname* の行 *number* の newlist (**WTO issued newlist at *ddname* line number**)

説明: このメッセージは、示された newlist の WTO が正常に発行されたことを示します。このメッセージの後に、問題の WTO が示されます。

重大度: 00

CKR1240 *ddname* の行 *number* の Newlist
[*name=name*] *type=type* に、解決済み
SNMP 宛先が含まれていませんでした -
suppressed (**Newlist [*name=name*]
type=type at *ddname* line *number* did not contain a resolved SNMP destination - suppressed**)

説明: 指定された newlist の出力は宛先 SNMP または SYSLOG に送信されることになっていました。しかし、指定された宛先には到達できません。newlist 出力は抑止されています。宛先変更された出力がデフォルトのシステム・ファイルに送信されている場合は、そのファイルで newlist 情報を確認できます。SNMP のデフォルトは C2RSNMP で、SYSLOG のデフォルトは C2RSYSLG です。

出力テストを容易にするために SNMPTOFILE または SYSLOGTOFILE も指定されている場合には、newlist は抑止されません。

ユーザーの処置: newlist 出力を生成したプログラムで、SYSLOGTO=、SYSLOGUDP=、SYSLOGTCP=、または SNMPTO= パラメーターを更新して、システムがアクセスできる有効な IP アドレスを指定してください。有効なアドレスが指定されている場合には、システム管理者に連絡して、宛先に到達できない理由を確認してください。

重大度: 08

CKR1241 SNMP は VM の下ではサポートされません (SNMP is not supported under VM)

説明: VM の下で SNMP トラップを発行するためのサポートはまだありません。このことがご使用のインストール済み環境で問題になる場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKR1242 16 進数ストリングを 255 文字より長くすることはできません (Hexadecimal string cannot be longer than 255)

説明: 入力に、テキストから 16 進数に変換されることとなるストリングが含まれており、そのストリングの長さが 255 バイトを超えていました。これはサポートされません。

重大度: 12

CKR1243 メールボックス・アドレスのフレーズを、*ddname* の行 *number* の 512 文字の *token* より長くすることはできません (*ddname line number*)

説明: E メール・アドレス指定で使用するフレーズは、512 文字を超える長さにはできません。示された *token* の前に、誤ったフレーズが検出されました。アドレス指定については、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで説明されている RFC 2822 構文を参照してください。E メール宛先ファイルが使用されている場合、DD 名は Rxxxxxx の形式になります。ここで、xxxxxx は 10 進数です。a decimal number. この場合、これが参照するのは、使用されている E メール宛先ファイル内のレコード番号です。使用された <deftype> を見つけるには、このメッセージの前に示される前回のメッセージ CKR1088 を参照してください。

重大度: 12

CKR1244 OUTPUTFORMAT=outputformat は、MAILTO と組み合わせた場合にのみ有効です - *ddname* の行 *number* (OUTPUTFORMAT=outputformat is only valid in combination with MAILTO - at *ddname line number*)

説明: 出力フォーマット *outputformat* は、E メール送信される *newlist* にのみサポートされます。

OUTPUTFORMAT の指定を変更または削除するか、正しい E メールのパラメーターを指定してください。

重大度: 12

CKR1245 タイプ *type* からの (フィールド *field* への) 暗黙的ルックアップは、*ddname* の行 *number* ではサポートされません (Implicit lookup from type *type* to (field *field*) is not supported at *ddname line number*)

説明: 示された *newlist* タイプからのセキュリティ・データベースに対するオブジェクト・タイプのルックアップはサポートされません。サポートされるソース・タイプのリストは、REPORT_SCOPE、SMF、RACF、TRUSTED です。

重大度: 12

CKR1246 *mailoption* は、*ddname* の行 *number* の BUNDLE に含まれる個別の NEWLIST レベルでは有効ではありません (*mailoption* is not valid on the individual NEWLIST level within a BUNDLE at *ddname line number*)

説明: BUNDLE 内の NEWLIST は、まとめて 1 つとして扱われます。代わりに、BUNDLE の前にある BUNDLE ステートメントまたは OPTION ステートメントに *mailoption* を指定してください。

重大度: 12

CKR1247 *mailto* は、*ddname* の行 *number* の BUNDLE 内では有効ではありません (*mailto* is not valid within a BUNDLE at *ddname line number*)

説明: BUNDLE は MAILTO をサポートしません。代わりに、BUNDLEMAILTO を使用してください。

重大度: 12

CKR1248 構文 "(HOR[*len*])" は推奨されません。これは "HOR([*len*]),0)" に相当します (Deprecated syntax "(HOR[*len*])" is equivalent to "HOR([*len*]),0)")

説明: このメッセージは、フィールドまたは定義済み変数の最初の HORIZONTAL 修飾子が検出され、その指定が古い構文を使用していて、WRAP や明示的な長さ 0 を伴っていない場合に発行されます。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の『LIST コマンド -

CKR1249 • CKR1252

繰り返しフィールド出力修飾子』の説明を参照してください。

重大度: 00

CKR1249 構文 "(HOR[,len2])" は推奨されません。これは、ここでは "HOR(len1)" に相当します。ddname の行 num に定義された *variablename* (**Deprecated syntax** "(HOR[,len2])" evaluates to "HOR(len1))" here - *variablename* defined at ddname line num)

説明: このメッセージは、定義済み変数に 2 番目の HORIZONTAL 修飾子が検出されると発行されます。つまり、先行の DEFINE ステートメントに既に HORIZONTAL 修飾子があるということです。さらに、その指定が古い構文を使用していて、明示的な長さ 0 を伴っていないか、ゼロ以外の列の長さが暗黙指定されているかのどちらかで、かつ、WRAP が (DEFINE にも、ローカル・オーバーライドとしても) 指定されていない場合に発行されます。HORIZONTAL 修飾子について詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の『LIST コマンド - 繰り返しフィールド出力修飾子』を参照してください。同等の式は、変数の DEFINE ステートメントに依存することに注意してください。

重大度: 00

CKR1250 **PROGRAM** データ・セット名は廃止されています。complex program - dsname Reason (**PROGRAM data set name is obsolete** complex program - dsname Reason)

説明: このメッセージは、ボリュームに固有でない PROGRAM メンバーに対する VERIFY PROGRAM 関数によって発行されます。その理由は、複合システム名のどのシステムにも、示されたデータ・セット名が実存する区分データ・セットに解決されるボリュームがないためです。このメッセージの後に、1 つ以上の Reason 行と、以下の詳細説明のいずれかが示されます。

- 区分データ・セットは、dsname のどのシステムの、どのボリュームにも存在しません (**Partitioned data set does not exist on any volume any system dsname**)
- syst volser システム上にボリュームがマウントされていません (**Volume is not mounted on system syst volser**)
- syst volser システム上で VTOC を読み取ることができません (**VTOC is not readable on system syst volser**)

- データ・セットは、システム syst volser dsname 上に存在しません (**Data set does not exist on system syst volser dsname**)
- データ・セットはシステム syst volser dsname 上で区分されていません (**Data set is not partitioned on system syst volser dsname**)

複合システムに CKRCMD ファイルが割り振られている場合は、廃止されたメンバーをプロファイルから削除するために、RALTER DELMEM コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1251 **PROGRAM dsn** は廃止されている可能性があります。情報がありません。complex program - dsname Reason (**PROGRAM dsn may be obsolete but info is missing** complex program - dsname Reason)

説明: このメッセージは、ボリュームに固有でない PROGRAM メンバーに対する VERIFY PROGRAM 関数によって発行されます。その理由は、複合システム名のどのシステムにも、示されたデータ・セット名が実存する区分データ・セットに解決されるボリュームが見当たらないためです。このメッセージの後に、1 つ以上の Reason 行と、以下の詳細説明のいずれかが示されます。

- CKFREEZE 内に、volser のないデータ・セット dsname を検索するための、すべての VTOC がありません。
- CKFREEZE 内に、任意のシステムのデータ・セット dsname を検査する Mig. カタログがありません。

欠落した VTOC および欠落したマイグレーション・カタログについて詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の VERIFY PROGRAM の説明を参照してください。複合システムに CKRCMD ファイルが割り振られている場合は、廃止されたメンバーをプロファイルから削除するために、コメント化された RALTER DELMEM コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1252 **PROGRAM IPL** ボリューム・エントリ — dsn/***** は廃止されています。complex program - ***** dsname Reason (**PROGRAM IPL volume entry dsn/***** obsolete** complex program - ***** dsname Reason)

説明: このメッセージは、VERIFY PROGRAM 関数に

によって発行されます。その理由は、複合システムのどのシステムでも、示されたデータ・セット名が IPL ボリュームに実在する区分データ・セットに解決されないためです。システムごとに、以下の詳細説明のいずれかを示す *Reason* 行が続きます。

- データ・セットはシステム *syst volser dsname* の IPL ボリューム上にありません。(Data set not on IPL volume of system *syst volser dsname*)
- データ・セットは *syst volser dsname* の IPL ボリューム上で区分されていません。(Data set is not partitioned on IPL volume of *syst volser dsname*)

複合システムに CKRCMD ファイルが割り振られている場合は、廃止されたメンバーをプロファイルから削除するために、*RALTER DELMEM* コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1253 **PROGRAM IPL** ボリューム・エントリ *dsn/****** は廃止されたようです。
*complex program - ***** dsname Reason*
(PROGRAM IPL vol entry *dsn/**** appears obsolete *complex program - ***** dsname Reason*)**

説明: このメッセージは、*VERIFY PROGRAM* 関数によって発行されます。その理由は、複合システム内には、示されたデータ・セット名が IPL ボリュームに実在する区分データ・セットに解決されるシステムが見当たりませんが、その一方で、1 つ以上のエラー条件が検出されたためです。システムごとに、以下の詳細説明のいずれかを示す *Reason* 行が続きます。

- IPL ボリュームは、システム *syst volser* 上でアンマウントされた可能性があります (**IPL volume appears unmounted on system *syst volser***)
- VTOC は *syst volser* の IPL ボリュームに対して読み取り不可能になっているようです。(VTOC appears unreadable for IPL volume of *syst volser*)
- データ・セットはシステム *syst volser dsname* の IPL ボリューム上にありません。(Data set not on IPL volume of system *syst volser dsname*)
- データ・セットは *syst volser dsname* の IPL ボリューム上で区分されていません。(Data set is not partitioned on IPL volume of *syst volser dsname*)

複合システムに CKRCMD ファイルが割り振られている場合は、廃止されたメンバーをプロファイルから削除するために、コメント化された *RALTER DELMEM* コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1254 **PROGRAM *dsn/******** は未使用ですが、情報がありません。*complex program - ***** dsname Reason*

説明: このメッセージは、*VERIFY PROGRAM* 関数によって発行されます。その理由は、複合システム内には、示されたデータ・セット名が IPL ボリュームに実在する区分データ・セットに解決されるシステムが見当たらず、エラー条件が検出されなかったためです。システムごとに、以下の詳細説明のいずれかを示す *Reason* 行が続きます。

- IPL ボリュームは、システム *syst volser* 上でアンマウントされた可能性があります (**IPL volume appears unmounted on system *syst volser***)
- VTOC は *syst volser* の IPL ボリュームに対して読み取り不可能になっているようです。(VTOC appears unreadable for IPL volume of *syst volser*)
- VTOC が IPL ボリューム *syst volser* の CKFREEZE 内にありません。(VTOC not present in CKFREEZE for IPL volume *syst volser*)
- データ・セット *syst volser dsname* をチェックするための *Mig. catlg* が CKFREEZE 内にありません。(Mig. catlg not in CKFREEZE to check data set *syst volser dsname*)
- データ・セットはシステム *syst volser dsname* の IPL ボリューム上にありません。(Data set not on IPL volume of system *syst volser dsname*)
- データ・セットは *syst volser dsname* の IPL ボリューム上で区分されていません。(Data set is not partitioned on IPL volume of *syst volser dsname*)

RACF を対象に *zSecure* を使用している場合、欠落した VTOC および欠落したマイグレーション・カタログについて詳しくは、「*zSecure CARLa* コマンド・リファレンス」の *VERIFY PGMEXIST* の説明を参照してください。複合システムに CKRCMD ファイルが割り振られている場合は、廃止されたメンバーをプロファイルから削除するために、コメント化された *RALTER DELMEM* コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1255 **PROGRAM *dsn/vol*** は廃止されていますが、情報がありません。*complex program - volser dsname Reason* (**PROGRAM *dsn/vol* obsolete, but missing information *complex program - volser dsname Reason***)

説明: このメッセージは、*VERIFY PROGRAM* 関数によって発行されます。その理由は、複合システム内には、示されたデータ・セット名が示されたボリュームに

実在する区分データ・セットに解決されるシステムが見当たらないためです。システムごとに、以下の詳細説明のいずれかを示す *Reason* 行が続きます。

- *syst volser* システム上にボリュームがマウントされていません (**Volume is not mounted on system *syst volser***)
- *syst volser* システム上で **VTOC** を読み取ることができません (**VTOC is not readable on system *syst volser***)
- **VTOC** は **CKFREEZE *syst volser*** 内にありません (**VTOC is not present in CKFREEZE *syst volser***)
- データ・セット *syst volser dsname* をチェックするための **Mig. catlg** が **CKFREEZE** 内にありません。 (**Mig. catlg not in CKFREEZE to check data set *syst volser dsname***)
- データ・セットは、*syst volser dsname* のボリューム上に存在しません (**Data set does not exist on volume of *syst volser dsname***)
- データ・セットは *syst volser dsname* のボリューム上で区分されていません (**Data set is not partitioned on volume of *syst volser dsname***)

RACF を対象に zSecure を使用している場合、欠落した VTOC および欠落したマイグレーション・カタログについて詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の VERIFY PGMEXIST の説明を参照してください。複合システムに CKRCMD ファイルが割り振られている場合は、廃止されたメンバーをプロファイルから削除するために、コメント化された RALTER DELMEM コマンドが生成されます。

重大度: 04

CKR1256 開始プロシージャー・テーブル切り捨て - *number1* エントリー宣言、*number2* 読み取り - システム *system* 複合システム *complex* (**Started Procedure Table truncated - *number1* entries declared, *number2* read - system *system* complex *complex***)

説明: 示された *system* の CKFREEZE 内にある開始プロシージャー・テーブルのイメージが不完全です。その結果、NEWLIST TYPE=SPT によって生成される出力は少なくなります (例えば、AU.S RACF 制御 - STCTABLE)。

重大度: 08

CKR1257 開始プロシージャー・テーブル切り捨て - *number1* エントリー宣言、*number2* 読み取り - システム *system* [*version*] [*-generation*] 複合システム *complex* [*version*] (**Started Procedure Table truncated - *number1* entries declared, *number2* read - system *system* [*version*] [*-generation*] complex *complex* [*version*]**)

説明: 示された *system* の CKFREEZE 内にある開始プロシージャー・テーブルのイメージが不完全です。その結果、NEWLIST TYPE=COMPLIANCE/ID/TRUSTED/R_STC、REPORT STC によって生成される出力が少なくなり、VERIFY STC の結果が正しくない可能性があります。

重大度: 08

CKR1258 <*ddname*> <*vol*> <*dsn*> の CKFREEZE レコード <*yyyy*> の実効レコード長が 0 です (**Effective record length 0 at CKFREEZE record <*yyyy*> of <*ddname*> <*vol*> <*dsn*>**)

説明: このメッセージは、CKFREEZE ファイルに、実効レコード長が 0 の無効なレコードが含まれていたことを示します。通常、原因は 2 つのうちのいずれかです。ファイルが完全な CKFREEZE ファイルでないか、あるいは LRECL=X,RECFM=VBS ファイルを適切にサポートしないユーティリティによって移送または圧縮解除されています。その場合には、情報が欠落することになります。当初ファイルが作成されたシステム上で元のファイルを分析して、そのファイルではこのメッセージが発生しないことを確認することをお勧めします。これが確認できた場合は、ユーティリティが原因です。ユーティリティが分析前のファイルに触れることなく、正常な zSecure Collect 実行によって作成されたファイルでこのメッセージが発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッセージは抑止可能ですが、その場合にはおそらく情報が欠落し、その結果、無効なレポートになるか、内部エラー・メッセージが発行される可能性があることに注意してください。

重大度: 16

CKR1259 **UNLOAD** は **NEWLIST TYPE=type** には無効です (**UNLOAD not valid for NEWLIST TYPE=type**)

説明: UNLOAD ステートメントは、この NEWLIST タイプにはサポートされません。DEFTYPE が定義された NEWLIST タイプには、代わりに LIST RECORD を使用できます。

重大度: 12

CKR1260 *word* ではなく、**NO** または **10** 進数が予期されます (**Expected NO or decimal number instead of word**)

説明: 示されたワードは、ここでは認識されません。10 進数または NO (引用符なし) が指定されていない必要ありません。

重大度: 12

CKR1261 **CKRPRTFL:** *ddname* の行 *number* の *fieldaddr fieldname* のフォーマット *outputformat* に合わせ、*recordaddr* の値の長さ *longlength* が **65535** に切り捨てられました (**CKRPRTFL: Value length longlength in recordaddr truncated to 65535 for format outputformat for fieldaddr fieldname at ddname line number**)

説明: 示された *output format* は、65535 を超える入力長をサポートしません。示された *record* の *field* に設定された値 *long length* は、出力フォーマット・ルーチンを呼び出す前に切り捨てられました。結果の出力は、予期された出力とは異なる場合があります。

重大度: 08

CKR1262 値 **"None"** を他の理由値と同時に使用することはできません - *ddname* の行 *num* の *token* の前 (**The value "None" is mutually exclusive with other Reason values - before token at ddname line num**)

説明: RACF 理由フィールドの SELECT に、値 NONE が他の RACF 理由値と一緒に使用されていました。これは許可されません。代わりに、明示的 OR を使用してください。

重大度: 12

CKR1263 *fieldaddr fieldname* が変更不可能になりました - *ddname* 行 *number* のフォーマット *outputformat* の表示レベルでの連結内 (*fieldaddr fieldname* **made nonmodifiable - in concatenation on display level with format outputformat at ddname line number**)

説明: 示された *field* のフォーマットでは、連結内での変更がサポートされません。このフィールドは、レコードまたは要約表示レベルでの連結内に出現します。フィールドを変更可能に復元するには、そのフィールドを連結の外に出してください。このメッセージを回避するには、明示的な NOMODIFY 修飾子をフィールドに追加します。

重大度: 00

CKR1264 *fieldaddr fieldname* が変更不可能になりました - *ddname* の行 *number* のフォーマット *outputformat* の詳細表示での連結内 (*fieldaddr fieldname* **made nonmodifiable - in concatenation on detail display with format outputformat at ddname line number**)

説明: 示された *field* のフォーマットでは、連結内での変更がサポートされません。このフィールドは、詳細表示レベルでの連結内に出現します。フィールドを変更可能に復元するには、そのフィールドを連結の外に出してください。このメッセージを回避するには、明示的な NOMODIFY 修飾子をフィールドに追加します。

重大度: 00

CKR1265 *fieldaddr fieldname* が変更不可能になりました - *ddname* の行 *number* の **WRAP** が設定された詳細表示での連結内 (*fieldaddr fieldname* **made nonmodifiable - in concatenation on detail display with WRAP at ddname line number**)

説明: 示された *field* には WRAP または WORDWRAP 修飾子があるため、該当する変更は連結内でサポートされません。このフィールドは、詳細表示レベルでの連結内に出現します。フィールドを変更可能に復元するには、そのフィールドを連結の外に出してください。このメッセージを回避するには、明示的な NOMODIFY 修飾子をフィールドに追加します。

重大度: 00

CKR1266 フィールド *fieldaddr2 fieldname2* が散在しています。 *ddname* の行 *number* の連結 *fieldaddr1 fieldname1* が表示レベルで変更不可能になりました (**Scattered field *fieldaddr2 fieldname2* - concatenation *fieldaddr1 fieldname1* made nonmodifiable on display level at *ddname* line number**))

説明: 示された *field1* で始まる連結の一部となっている *field2* は、変更可能なレコードまたは要約表示レベルで複数回出現しています。これはサポートされない組み合わせです。その結果、連結全体が変更不可能になります。連結内でこのフィールドを変更可能に復元するには、同じ表示レベルにある他のインスタンスに NOMODIFY 修飾子を追加してください。連結の残りの項目を変更可能に復元するには、*field2* に NOMODIFY 修飾子を追加してください。

重大度: 00

CKR1267 フィールド *fieldaddr2 fieldname2* が散在しています。 *ddname* の行 *number* の連結 *fieldaddr1 fieldname1* が詳細表示で変更不可能になりました (**Scattered field *fieldaddr2 fieldname2* - concatenation *fieldaddr1 fieldname1* made nonmodifiable on detail display at *ddname* line number**))

説明: 示された *field1* で始まる連結の一部となっている *field2* は、変更可能な詳細表示レベルで複数回出現しています。これはサポートされない組み合わせです。その結果、連結全体が変更不可能になります。連結内でこのフィールドを変更可能に復元するには、同じ表示レベルにある他のインスタンスに NOMODIFY 修飾子を追加してください。連結の残りの項目を変更可能に復元するには、*field2* に NOMODIFY 修飾子を追加してください。

重大度: 00

CKR1268 修飾子 **DETAIL**、**NODETAIL**、および **BOTH** は相互に排他的です - *ddname* の行 *number* のフィールド *fieldname* (**Modifiers *DETAIL*, *NODETAIL* and *BOTH* are mutually exclusive - field *fieldname* at *ddname* line number**))

説明: これらの修飾子はそれぞれに、DISPLAY ステートメント内でフィールドまたはリテラルを出現させる表示レベルを制御するため、組み合わせることはできません。

重大度: 12

CKR1269 修飾子 *modifier2* が修飾子 *modifier1* をオーバーライドします - *ddname* の行 *number* の *definedvariable* (**Modifier *modifier2* overrides modifier *modifier1* - *definedvariable* at *ddname* line number**))

説明: 示された *modifier1* が、示された DEFINE ステートメントに指定されました。このデフォルトは、ここで *definedvariable* に使用されている *modifier2* によってオーバーライドされます。この 2 つの属性は結合されません。

重大度: 00

CKR1270 詳細フィールド *fieldname1* から概要へのルックアップは、*ddname* の行 *number* の *fieldname2* にはサポートされません (**Lookup from detail field *fieldname1* to overview is not supported for *fieldname2* at *ddname* line number**))

説明: 基本フィールド *field1* に必要となる特殊な処理は、詳細レベルが生成されるときにのみ行われます。基本の値は、概要レベルが生成される時点では使用できないため、このルックアップはサポートされません。基本フィールドを使わずに概要でのルックアップを可能にするには、詳細レベルの *field1* のオカレンスの前に、このフィールドの新しいオカレンスを挿入して、NONDISPL 修飾子が設定された DISPLAY ステートメントに組み込んでください。

重大度: 12

CKR1271 CUA の属性 *attribute2* が CUA の属性 *attribute1* をオーバーライドします - *ddname* の行 *number* の *definedvariable* (**CUA attribute *attribute2* overrides CUA attribute *attribute1* - *definedvariable* at *ddname* line number**))

説明: 示された *attribute1* が、示された DEFINE ステートメントに指定されました。このデフォルトは、ここで *definedvariable* に使用されている *attribute2* によってオーバーライドされます。この 2 つの属性は結合されません。

重大度: 00

CKR1272 予期しない CSRSI 戻りコード *xxxxxxx*
(Unexpected CSRSI return code
xxxxxxx)

説明: このメッセージは、CSRSI サービスが予期しない戻りコードを返したことを示します。その結果、稼働中のシステムの CPU モデル詳細情報を表示することはできません。

重大度: 00

CKR1273 フィールド *name* のフラグ値は **UPPER** または **ASIS** でなければなりません - *ddname* の行 *number* の "*value*" (Field name flag value must be UPPER or ASIS - "*value*" at *ddname* line *number*)

説明: このメッセージは、フィールド名の場合、SELECT ステートメントに指定できる値は UPPER および ASIS のみであることを示します。

重大度: 12

CKR1274 フィールド *field* の値は **DISALLOWED** または **ALLOWED** でなければなりません - *ddname* の行 *number* の "*value*" (Field *field* value must be DISALLOWED or ALLOWED - "*value*" at *ddname* line *number*)

説明: このメッセージは、*field* (CDTGEN (別名 CLASS_GENERIC_ALLOWED) または CDTGENL (別名 CLASS_GENLIST_ALLOWED)) の場合、SELECT ステートメントに指定できる値は DISALLOWED (別名 NO または OFF) および ALLOWED (別名 YES または ON) のみであることを示します。

重大度: 12

CKR1275 **MACCHECK** の値は、**NORMAL**、**REVERSE**、または **EQUAL** でなければなりません - *ddname* の行 *number* の "*value*" (MACCHECK value must be NORMAL, REVERSE, or EQUAL - "*value*" at *ddname* line *number*)

説明: このメッセージは、フィールド CDTMAC の場合、SELECT ステートメントに指定できる値は NORMAL、REVERSE、または EQUAL のみであることを示します。

重大度: 12

CKR1276 制限モードでの選択は、*ddname* の行 *number* の *type* 節では許可されません (Selection in restricted mode is not allowed with *type* clause at *ddname* line *number*)

説明: プログラムが制限モードまたは PADS モードで実行しているときには、示されたタイプの節での選択は許可されません。CKR0031 メッセージに示された理由により、あるいは SIMULATE RESTRICT が指定されたため、プログラムは制限モードで実行中です。この状態は、構文エラー (重大度 12) と見なされます。ALLOWRESTRICT 修飾子によって、照会を実行する必要があることが明示されている場合は、示されたフィールドが欠落していると見なされることを知らせる警告 (重大度 4) としてこのメッセージが発行されます。CKR0170 も参照してください。

重大度: 04 または 12

CKR1277 タイプ *type1* への暗黙的ルックアップは、*ddname* の行 *number* の *type2* からサポートされません (Implicit lookup to *type type1* not supported from *type type2* at *ddname* line *number*)

説明: オブジェクト属性のルックアップは、この newlist タイプの組み合わせにはサポートされません。

重大度: 12

CKR1278 タイプ *type1* への明示的ルックアップは、*ddname* の行 *number* のフィールド *field* のタイプ *type2* からは許可されません (Explicit lookup to *type type1* not supported from *type type2* through field *field* at *ddname* line *number*)

説明: タイプ *type2* から示されたタイプ *type1* への ID ルックアップは、サポートされません。RACF を対象に zSecureを使用している場合、許可されるターゲット・タイプは RACF のみです。ACF2 を対象に zSecure を使用している場合、これは実際には ACF2 セキュリティー・データベースの ACF2_LID 情報のルックアップということになります。

重大度: 12

CKR1279 **BESTMATCH** パラメーターは、*ddname* の行 *number* の **newlist** コンテキストでのみ使用できます (The BESTMATCH parameter can only be used in a newlist context at *ddname* line *number*)

説明: BESTMATCH パラメーターが、グローバル

SELECT (つまり、最初の NEWLIST ステートメント) で使用されていました。これはサポートされません。SELECT ステートメントを正しい NEWLIST TYPE=RACF に移動してください。

重大度: 12

CKR1280 グループ *groupid* の接続リストのユーザー *userid* が重複しています。複合システム *complex version* (**Duplicate user userid in connect list of group groupid complex complex version**)

説明: 示された GROUP プロファイルの USERID フィールドに、示されたユーザー ID が複数回含まれています。これは RACF データベース内の異常です。RACF は最初の接続項目のみを使用し、zSecure は RACF が使用する項目のみを表示します。ただし、選択の際には両方の接続項目が考慮されるため、予期しない出力になる可能性があります。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度: 04

CKR1281 定義済み変数 *variable (type=type)* は **boolean/as/true** でないため、*ddname* の行 *number* のルックアップ・ターゲットとして使用されない可能性があります (**Defined variable variable (type=type) is not boolean/as/true, may not be used as lookup target at ddname line number**)

説明: このメッセージは、不適切なタイプの変数が (明示的) ID ルックアップのルックアップ・ターゲットとして使用されていたことを示します。許可されるタイプは、BOOLEAN、AS、および TRUE のみです。

重大度: 12

CKR1282 定義済み変数 *variable (type=type)* は **boolean/as/true** でないため、*ddname* の行 *number* のルックアップ・ターゲットとして使用されない可能性があります (**Defined variable variable (type=type) is not boolean/as/true, may not be used as lookup target at ddname line number**)

説明: このメッセージは、不適切なタイプの変数が (暗黙的) オブジェクト・プロパティ・ルックアップのルックアップ・ターゲットとして使用されていたことを示します。許可されるタイプは、BOOLEAN、AS、および TRUE のみです。

重大度: 12

CKR1283 *ddname* 行 *number* の *token* の前にルックアップ・フィールドが予期されています (**Expecting lookup field before token at ddname line number**)

説明: このメッセージは、ルックアップの指定が予期されていたが、検出されたフィールド名が空白であったか、欠落していたことを示します。

重大度: 12

CKR1284 *ddname* の行 *number* の *name* の前のフィルター比較で使用できるのは、=、<>、および ^= のみです (**Filter comparison only allowed with =, <>, and ^= before name at ddname line number**)

説明: フィールドを比較するために使用できるのは、=、<>、または ^= 演算子を使用したフィルターのみです。

重大度: 12

CKR1285 列幅 *width* は **DUMP(n)** には不十分です。*width2* が必要です - *ddname* の行 *number* のフィールド *fieldname* (**Column width width insufficient for DUMP(n), width2 required - field fieldname at ddname line number**)

説明: DUMP(n) のフォーマット設定には、ダンプ・オフセット、セパレーター、および 1 つ以上のフルワードが入るだけのスペースが必要です。DUMP フォーマットについて詳しくは、zSecure CARLa コマンド・リファレンスで説明している LIST コマンドのフォーマット名を参照してください。

重大度: 12

CKR1286 有効範囲でフィルタリングされる繰り返しグループ・フィールド *field* は、*ddname* の行 *number* のルックアップ・キーとして使用できません (**Scope-filtered repeat group field field cannot be used as lookup key at ddname line number**)

説明: このメッセージは、項目レベルの有効範囲処理が必要な繰り返しグループ・フィールドは、ルックアップ・キーとしてサポートされないことを示します。

重大度: 12

CKR1287 **RACLIST** の値は、
ALLOWED、REQUIRED、または
DISALLOWED でなければなりません -
ddname の行 *number* の "*value*"
(RACLIST value must be ALLOWED,
REQUIRED, or DISALLOWED -
"value" at ddname line number)

説明: このメッセージは、フィールド CDTRACL の場合、SELECT ステートメントで指定できる値は ALLOWED、REQUIRED、および DISALLOWED のみであることを示します。

重大度: 12

CKR1288 **UACC** の値は、
ALTER、CONTROL、UPDATE、
READ、ACEE、
または **NONE** でなければなりません -
ddname の行 *number* の "*value*" (**UACC**
value must be ALTER, CONTROL,
UPDATE, READ, ACEE, or NONE -
"value" at ddname line number)

説明: このメッセージは、フィールド CDTUACC の場合、SELECT ステートメントで指定できる値は ALTER、CONTROL、UPDATE、READ、ACEE、および NONE のみであることを示します。

重大度: 12

CKR1289 <*dsn* または *path*> には **DD** 名番号
00-99 が残っていません (**No DDname**
number 00-99 left for <dsn or path>)

説明: このメッセージは、特定のファイル・タイプ (DD 名の接頭部) でサポートされる最大自動割り振り数に達していることを示します。SE.1 のファイル・セット数を削減するか、追加する必要があるファイルに対する独自の DD 名を設定した追加 ALLOC ステートメントを手動で作成してください。

重大度: 12

CKR1290 *address* 以下のアドレスを持つ項目が、
NUCMAP 内に見つかりませんでした
(No entry with address less than or
equal to address found in the
NUCMAP)

説明: プログラムはアドレス *address* のモジュールを nucleus マップで検索しましたが、見つかりませんでした。このメッセージを受け取ったが、その理由が分からない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探して

ください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1291 重複する **SECLABEL** プロファイル
seclabel があります。複合システム
complex version (**Duplicate SECLABEL**
profile seclabel complex complex version)

説明: 示された *seclabel* は 2 回定義されています。これは RACF データベース内の異常です。プログラムでは、最初のプロファイルだけが使用されます。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度: 20

CKR1292 **RACSTAT** の予期しない
RC. (RACSTAT unexpected
RC.)CLASS='class' SAF RC=safrc RACF
RC=racfr RC=rsncode=rsn

説明: RACROUTE REQUEST=STAT 呼び出しを使用してシステムから動的クラス記述子テーブルを取得中に、プログラムはエラーを示す戻りコードを受け取りました。zSecure Audit は動的 CDT の処理を停止します。エラーの原因を判別するには、「Security Server RACF RACROUTE マクロ解説書」で戻りコードを調べてください。

このエラーが CDT 処理の途中で発生した場合 (*class* のすべてがブランクになっていない場合)、zSecure Audit は、引き続き部分的 CDT を使用することに注意してください。クラス設定が返される前にエラーが発生した場合 (この場合のほうが高い可能性があります)、zSecure Audit はフォールバックして静的 CDT を使用します。このメッセージは抑止可能です。

重大度: 16

CKR1293 **CERTIFICATE_TRUSTED** の値は、
NOTRUST/No、TRUST/Yes、または
HIGHTRUST/Hi でなければなりません
- *ddname* の行 *number* の "*value*"
(CERTIFICATE_TRUSTED value must
be NOTRUST/No, TRUST/Yes, or
HIGHTRUST/Hi - "value" at ddname
line number)

説明: CERTIFICATE_TRUSTED フィールドに指定できる値は、NOTRUST (または No)、TRUST (または、TRUSTED あるいは Yes)、および HIGHTRUST (または、HIGH あるいは Hi) のうち、いずれか 1 つだけで

す。有効な値を SELECT ステートメントに指定してください。

重大度: 12

CKR1294 *ddname dsname* [別名 *dsname*] の割り振りに失敗しました (**Allocation failure for *ddname dsname* [for alias *dsname*]**)

説明: 示されたデータ・セットに対する動的割り当てが失敗しました。失敗の正確な原因に関する診断情報は、DAIRFAIL による先行メッセージに含まれています。処理は打ち切られます。

重大度: 16

CKR1295 **CKAOUNIX.CKATSEC: TSEC ACL を作成するためのメモリーが残っていません (CKAOUNIX.CKATSEC: No memory left to build TSEC ACLs)**

説明: メモリーが不足している可能性があります。REGION のサイズを大きくするか、照会を制限してください。このエラーの結果、UNIX 処理で各種 SECLABEL へのアクセス権限を判別することができません。TYPE=UNIX newlist では、HOME_OF、AUDITCONCERN、および AUDITPRIORITY フィールドに誤った出力または不完全な出力が示される可能性があります。TYPE=TRUSTED の場合は、一部の考慮事項がレポートされない可能性があります。

重大度: 08

CKR1296 **CKFREEZE ファイルではありません - *ddname volume dsn* (Not a CKFREEZE file - *ddname volume dsn*)**

説明: このメッセージは、TYPE=CKFREEZE ファイルの割り当ては行われたが、データ・セットのコンテンツが CKFREEZE レイアウトに準拠しているものでも、アンロードでもないことを示します。

重大度: 16

CKR1297 **UNLOAD が CKFREEZE ファイルとして割り当てられました - *ddname volume dsn* (UNLOAD allocated as CKFREEZE file - *ddname volume dsn*)**

説明: このメッセージは、TYPE=CKFREEZE ファイルの割り当ては行われたが、データ・セットのコンテンツから、これは実際には TYPE=UNLOAD データ・セットであることを示します。CARLa、JCL、または SE.1

の入力ファイルのセットで、一部の行が交換された可能性があります。

重大度: 16

CKR1298 *ddname* の行 *number* の要約キーに設定された NONDISPL により、**SORTLIST/DISPLAY** は表示されません (**SORTLIST/DISPLAY invisible because of NONDISPL on summary key(s) at *ddname line number***)

説明: このメッセージは、要約レベルのいずれかに表示不可要約キーしかなく、それがその要約レベルとその下にあるすべての要約レベルに対する出力抑止要求として解釈されていることを示します。SORTLIST/DISPLAY の出力は、階層では最下位の要約レベルの下にあるため、この出力も同じく抑止されます。したがって、SORTLIST/DISPLAY 要求は受け入れられません。SORTLIST/DISPLAY ステートメントを削除するか、要約キーから NONDISPL 標識を除去してください。

重大度: 12

CKR1299 ユーザー *userid* の接続リストでグループ *groupid* が重複しています (**Duplicate group *groupid* in connect list of user *userid***)

説明: 示された USER プロファイルの CGGRPNM フィールドに、示されたグループ ID が複数含まれています。これは RACF データベース内の異常です。RACF は最初の接続項目のみを使用し、zSecure は RACF が使用する項目のみを表示します。ただし、選択の際には両方の接続項目が考慮されるため、予期しない出力になる可能性があります。この状態を除去するためのサポートはありません。

重大度: 04

メッセージ 1300 から 1399

CKR1300 予期されない索引項目 ID *hexid ddname*
rel blk blknum オフセット *hexnum* テー
 ブル *hexnum lvl level* (**Unexpected**
index entry id hexid ddname rel blk
blknum offset hexnum table hexnum lvl
level)

説明: サポートされない ID を持つ予期されない種類の項目が RACF データベース索引で見つかりました。SUPPRESS INDEX コマンドを CARLa ストリームに追加することで、この問題を回避できる可能性があります。これは、ISPF インターフェース内から SETUP PREAMBLE の下で指定できます。

RACF ユーティリティ IRRUT200 が不整合またはエラーを警告しない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

不整合がレポートされる場合は、IRRUT400 を使用して RACF データベースを再編成してください。

重大度: 16

CKR1301 *source sourcename* のアクティブ・セグメント・テーブルが無効です (**Invalid active segment table for source sourcename**)

説明: ストレージ内の RACF データベース・テンプレートのイメージが含まれるレコードを処理中に、予期されない状態が検出されました。*source* が **system** である場合、レコードは CKFREEZE から提供されました。そうでない場合は、UNLOAD からのレコードです。プログラムは、必要な場合には別のソースからテンプレートを取得しますが、これらのテンプレートは必ずしも最新のテンプレートであるとは限りません。

重大度: 04

CKR1302 複合システム *complex* は *source sourcename* テンプレート・レベル *template level comparison* の *template type* テンプレートを使用します (**Complex complex uses template type templates of source sourcename template level template level comparison**)

説明: このメッセージは、どのテンプレートを使用して、示された複合システムの RACF データベースを処理するかを示します。*template type* が **database** の場

合、*source* および *sourcename* はそれぞれ **complex** および **complex** となります。この場合、メッセージはテンプレート・レベルの詳細を提供しません。この情報は、この複合システムに関する先行の CKR0004 に含まれます。*template type* が **incore** の場合、*source* は、(稼働中の設定または CKFREEZE のいずれかから取得されたテンプレートであることを示す) **system**、または (一般に、UNLOAD から取得されたテンプレートであることを示す) **complex** となります。いずれの場合も、*template level* は RACF リリース・レベルと最後にテンプレートを変更した APAR レベルを示し、その後にそれぞれに相当する数値 (この情報が使用可能な場合) を示します。このメッセージは、メモリー内のテンプレートがデータベース・テンプレートと等しいかどうかを示します。メモリー内のテンプレートはデータベース・テンプレートよりも新しい場合にのみ使用されるため、メッセージには通常、(DB とは異なります (**different from DB**)) と示されます。

重大度: 00

CKR1303 ID ルックアップ・フィールドが多すぎます。制限数は約 8000 です (**Too many id lookup fields, limit is around 8000**)

説明: このメッセージは、ユーザーまたはグループを対象に保管するには、ルックアップ・フィールドが多すぎること示します。文字フィールドでの制限数は約 8000 です。ルックアップ・ターゲットとして使用している定義ステートメントの数を削減してください。

重大度: 12

CKR1304 *newlist* 除外に起因する、セグメント・タイプ明確化のための格納要求 (**Request storing for segment typing due to newlist exclude**)

説明: このメッセージは、セグメントのエンティティ・タイプを明確化するために RACF 再構成データベースにすべてのユーザーとグループが格納される場合に、DEBUG SEGMENT によってトリガーされます。この特定のメッセージは、SELECT ステートメント自体にはエンティティ・タイプが明確になっている必要はないが、USER および GROUP を組み込む必要があるため、EXCLUDE ステートメントで使用されているフィールドに、エンティティ・タイプの明確化が必要になる場合に発行されます。

重大度: 00

CKR1305 **where** 節に起因する、セグメント・タイプ明確化のための格納要求 (**Request storing for segment typing due to where clause**)

説明: このメッセージは、セグメントのエンティティ・タイプを明確化するために RACF 再構成データベースにすべてのユーザーとグループが格納される場合に、DEBUG SEGMENT によってトリガーされます。この特定のメッセージは、定義済み変数に、明確なエンティティ・タイプを必要とする WHERE 節が含まれる場合に発行されます。

重大度: 00

CKR1306 グローバルな除外には、セグメント・タイプ明確化のための格納が必要です (**Global exclude needs storing for segment typing**)

説明: このメッセージは、セグメントのエンティティ・タイプを明確化するために RACF 再構成データベースにすべてのユーザーとグループが格納される場合に、DEBUG SEGMENT によってトリガーされます。この特定のメッセージは、グローバルな EXCLUDE ステートメントに、明確なエンティティ・タイプを必要とするフィールドが含まれる場合 (例えば、EXCLUDE CLASS=USER SEGMENT=OMVS) に発行されます。

重大度: 00

CKR1307 *esm datasource ddname volser dsn(member)* を読み取るためのライセンス交付を受けていません (**Not licensed to read esm datasource ddname volser dsn(member)**)

説明: *datasource* が **unload** の場合、このメッセージは、外部セキュリティ・マネージャー *esm* を実行中のシステムで作成された UNLOAD を読み取ろうとしたことを示します。このタイプの UNLOAD を検査するためのライセンス交付は受けていません。正しい IFAPRDxx メンバーで実行していることを確認するか、問題の UNLOAD を照会から除去してください。
datasource が **remote database** の場合、このメッセージは zSecure Server ネットワークを介して割り振られたセキュリティ・データベースを参照します。

重大度: 16

CKR1308 *ddname* の行 *number* の DEFTYPE *parameter* に国別文字が含まれていません (**DEFTYPE parameter does not contain a national character at ddname line number**)

説明: 示された位置の DEFTYPE コマンドの *parameter* (TYPE または ABBREV2 にすることが可能) に、国別文字 (\$、#、または @) が含まれていません。通常はこれが問題になることはありませんが、将来、新しい TYPE または ABBREV2 値が IBM Security zSecure で事前定義されるときに、競合が発生する可能性があります。このメッセージは、NOWARN パラメーターを DEFTYPE 指定に追加することで抑止できます。

重大度: 04

CKR1309 DDNAME *ddname* は既に *dsn* に割り当てられています - *inputdd* の行 *number* (**DDNAME ddname has already been assigned to dsn - at inputdd line number**)

説明: 示された *ddname* に対して複数の ALLOC コマンドを発行しました。これらのコマンドのうちの 2 つ (またはそれ以上) が、DSN/CMSFILE/PATH パラメーターを指定しています。これらのパラメーター値の最初の値が *dsn* として示され、2 番目の ALLOC コマンドの位置が *inputdd* の行 *number* に示されます。照会の ALLOC ステートメントを修正してから、再実行してください。

重大度: 12

CKR1310 CONNECT ルックアップは DEFINE でサポートされません - *ddname* の行 *number* (**CONNECT lookup not supported on DEFINE - at ddname line number**)

説明: これは、DEFINE ステートメントでは :CONNECT ルックアップがサポートされないことを示します。これを使用できるのは、SORTLIST または DISPLAY ステートメントのみです (例えば、"SORTLIST KEY USERID USERID:CONNECT")。

重大度: 12

CKR1311 タイプ *type* は、*ddname* の行 *number* の組み込み **newlist** で既に使用されています (**Type type already used by builtin newlist at ddname line number**)

説明: 示された位置の DEFTYPE コマンドに指定された TYPE=*type* は、IBM Security zSecure に事前定義された **newlist** タイプと競合します。このような性質の競合を回避するために、DEFTYPE TYPE= の名前には常に国別文字 (\$、#、または @) を含めてください。

重大度: 12

CKR1312 **CKRSTPMB:** 無効なメンバーの長さ *xx* :
program - member 複合システム *complex*
version (**CKRSTPMB: Invalid member**
length *xx* : *program - member* complex
complex version)

説明: PROGRAM プロファイル *program* のメンバ
 ー・リストを保管中に、長さが *xx* (16 進数) の項目
member が検出されました。この長さは、有効な項目を
 含めるには短すぎます。このメンバー・リスト項目は無
 視されます。

重大度: 20

CKR1313 フィールド *fieldname* からのルックアップ
 は *ddname* の行 *number* でサポートされ
 ません (**Lookup through field *fieldname***
not supported at *ddname* line *number*)

説明: ターゲット *newlist* タイプのルックアップ・キ
 ーの指定は、*deftype* ルックアップにのみサポートされ
 ます。

重大度: 12

CKR1314 *complex DB nn ddname volser dsn* で順次
 モードに切り替え中 *switchreason*
 現時点までに *number* の特殊ブロック、
number の索引ブロック、および *number*
 のデータ・ブロック (現行キュー長
number のうち) の読み込みを完了。
 現時点までに *number* のブロック (合計
number の *number* 入出力のうち) の読み
 込みを完了 (**Switching to sequential**
mode *switchreason* on complex DB *nn*
ddname volser dsn
So far read *number* special, *number*
index, and *number* data blocks of
current queue length *number*
So far read *number* blocks from a total
of *number* in *number* IOs)

説明: このメッセージは、プログラムが、索引付き入出
 力の継続により、この RACF データ・セットを単純に
 順次処理する場合よりも応答時間が長くなると预期して
 いることを示します。この決定は、RACF データベース
 内の RACF データ・セットごとに個別に行われます。

switchreason が クライアントによる要求 (**as requested**
by client) の場合、この決定は照会の論理分析の結果で
 あり、CKRCARLA インスタンスが zSecure Server ネ
 ットワークを介してデータベース・サーバーとして稼働
 している場合にのみ生成されます。ローカル・クライア

ント・インスタンスは、入出力を開始する前に、この決
 定を行います。

switchreason が 多数の要求 (**due to high number of**
requests) の場合、これは、キューに入れられた実際の
 入出力数に基づく動的決定です。

この動作を (デバッグおよびパフォーマンス分析のため
 に) 抑止する場合は、コマンド SUPPRESS
 INDEXCUTOFF (可能な場合にのみ索引付き入出力を実
 行) または SUPPRESS INDEX (常に順次入出力を実行)
 を使用できます。索引付き入出力のカットオフ・ポイン
 トは、LIMIT INDEXBIAS を使用して変更できます。詳
 しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の
 SUPPRESS および LIMIT コマンドの説明を参照してく
 ださい。

注: これらのコマンドは、CARLa を読み取る
 CKRCARLA インスタンスにのみ適用されます。ローカ
 ル・クライアントとリモート・データベース・サーバ
 ーのインスタンスには、それぞれ独自の入力コマンドがあ
 ります。

重大度: 00

CKR1315 オプション *option* は
FILEFORMAT=XML と両立しません -
ddname の行 *number* のフィールド
fieldname (**Option *option* incompatible**
with FILEFORMAT=XML - field
fieldname* at *ddname* line *number)

説明: 示されたフィールド出力修飾子は、
 FILEFORMAT=XML と両立しません。修飾子ではな
 く、STRING となる場合もあります。その場合、XML
 エレメントが関連付けられていないため、リテラルがサ
 ポートされないことを示します。

重大度: 12

CKR1316 オプション *option* は
FILEFORMAT=XML と両立しません -
ddname の行 *number* (**Option *option***
incompatible with FILEFORMAT=XML
- at *ddname* line *number*)

説明: 示された NEWLIST オプションは、
 FILEFORMAT=XML と同時に使用することはできませ
 ん。

重大度: 12

CKR1317 *ddname* の行 *number* の **FILEFORMAT=XML** には **NEWLIST NAME** が必要です (**NEWLIST NAME is required with FILEFORMAT=XML at *ddname* line *number***)

説明: XML 出力は、NEWLIST NAME= パラメーターで定義されたエレメント名を持つ構造化 XML エレメントの形式になります。したがって、これがが必要です。

重大度: 12

CKR1318 *ddname* の行 *number* の **newlist newlist** に重複する XML フィールド・エレメント名 *name* があります (**Duplicate XML field element name *name* in newlist newlist at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、LIST または SORTLIST ステートメント内に、重複するフィールド名が指定または (別名処理により) 暗黙指定されていることを示します。この指定は FILEFORMAT=XML では不可能です。繰り返されたエレメント名が、繰り返しフィールドの値として使用されるためです。

重大度: 12

CKR1319 **NEWLIST NAME=name** は無効な XML 名です - *ddname* の行 *number* (**NEWLIST NAME=name invalid XML name - at *ddname* line *number***)

説明: XML 出力は、NEWLIST NAME= パラメーターで定義されたエレメント名を持つ構造化 XML エレメントの形式になります。したがって、XML 名の規則に従った名前でない限りなりません。つまり、名前を「XML」、数字、またはハイフンで開始することはできません。また、名前に国別文字を含めることもできません。

重大度: 12

CKR1320 *ddname* の行 *number* の XML フィールド・エレメント名 *name* は、*ddname* の行 *number* の **NAME=name** で設定されたレコード・エレメントと同じです (**XML field element name *name* at *ddname* line *number* same as record element set by NAME=name at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、FILEFORMAT=XML で使用されているフィールド名が、同じ出力ファイルに出力される **newlist** 名と同じであることを示します。XML 出力は、NEWLIST DD= パラメーターで定義されたルー

ト・エレメント名、NEWLIST NAME= パラメーターで定義されたエレメント名を持つレコード・レベルのサブエレメント、および (SORT)LIST フィールド名で定義されたフィールド・レベルのサブエレメントを持つ構造化 XML エレメントの形式になります。これらは、整形式 XML 文書内で同じにすることはできません。

重大度: 12

CKR1321 **BESTMATCH** パラメーターを *ddname* の行 *number* の **WHERE** 節で使用することはできません (**The BESTMATCH parameter cannot be used in a WHERE clause - at *ddname* line *number***)

説明: BESTMATCH パラメーターが、DEFINE ステートメントの WHERE 節で使用されていました。これはサポートされません。BESTMATCH パラメーターは、**newlist** の SELECT ステートメントでのみ使用できます。

重大度: 12

CKR1322 セグメント *segname* は複合システム *complex* ではサポートされません (**Unsupported segment *segname* in complex *complex***)

説明: このメッセージは、現行バージョンの zSecure ではサポートされない新規セグメント名が RACF データベース・テンプレートで検出されたことを示します。

重大度: 08

CKR1323 *ddname* の行 *number* の *token* で使用できる **EUdate** セパレーターは、*/*、*-*、またはブランクのみです (**EUdate separator can only be a */*, *-* or blank token at *ddname* line *number***)

説明: EUdate フォーマットで使用するセパレーターは、スラッシュ (*/*)、ダッシュ (*-*)、およびブランク () のみです。指定を確認して、照会を再実行依頼してください。

重大度: 12

CKR1324 オプション *option warningtext*。UTF-8 値が考えられます - *ddname* の行 *number* のフィールド *fieldname* (**Option *option warningtext* possible UTF-8 values - field *fieldname* at *ddname* line *number***)

説明: デフォルト以外の出力エンコード方式でレポート

を生成する場合、示されたフィールド出力修飾子は、Unicode の値が含まれる可能性のあるこのフィールドと両立しません。これが適用されるのは、INDENT、TITLE、および TOPTITLE です。このメッセージは、FILEOPTION ENCODING=EBCDIC がレポートに適用される場合は重大度 0 で発行され、エンコード方式を変更すると、この照会が機能しなくなることを通知します。その他の出力エンコード方式がアクティブの場合は、重大度 12 の構文エラーとして発行されます。

重大度: 00 または 12

CKR1325 オプション *option* は、出力ファイルに対して既に異なる形で設定されています。*ddname* の行 *number* の **newlist name** による予期されない変更です (**Option option already set differently for output file, unexpected change by newlist name at ddname line number**)

説明: 示されたオプションは、出力ファイルのプロパティです。同じファイルに書き込む複数の NEWLIST で、このプロパティを異なるように設定することはできません。このメッセージは通常、重大度 12 (構文エラー) で発行されます。ただし、原則としてファイル・プロパティにしなければならないが、複数の NEWLIST で異なる可能性があるオプションについては、重大度 4 (警告) で発行されます。これらのオプションは、NOPAGE、PAGELENGTH、OVERPRINT、MAXPAGE、PAGETEXT、および CAPS です。

一般に、出力ファイルのオプションを設定するには FILEOPTION ステートメントを使用し、DD= で NEWLIST または MERGELIST ステートメントの DD 名を参照して、OPTION または NEWLIST ステートメントでは上記のオプションを省略することをお勧めします。

CKR1325 メッセージは、後続の newlist のデフォルトを設定する OPTION パラメーターが FILEOPTION ステートメントで暗黙指定された内容と競合することが原因でよく発生します。

重大度: 04 または 12

CKR1326 FILEOPTION DD=*ddname* は、*ddname* の行 *number* の DD 名の最初の参照の前に配置する必要があります (**FILEOPTION DD=*ddname* must be positioned before first reference to DDname at ddname line number**)

説明: ファイル・オプションを使用した DD 名の参照

には、FILEOPTION ステートメントが続いていなければなりません。

重大度: 12

CKR1327 FILEOPTION の後のオプションは無効です - *ddname* の行 *number* の *option* (**Option not valid behind FILEOPTION - option at ddname line number**)

説明: FILEOPTION コマンドが参照できるのは出力ファイルのオプションのみです。NEWLIST オプションなど、その他のオプションは参照できません。有効なオプションとその正確な意味のリストについては、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」に記載されている FILEOPTION コマンドの説明を参照してください。

重大度: 12

CKR1328 大/小文字混合パスワードのサポートは、現行システムでは無効です (**Mixed case password support disabled on current system**)

説明: マージ操作のソース・データベースでは大/小文字混合パスワードが使用可能に設定されていますが、現行データベースでは使用可能に設定されていません。パスワードがソース・データベースから現行データベースにコピーされると、大/小文字混合パスワードを持つユーザーは、そのパスワードを使用してログインすることができなくなります。

重大度: 00

CKR1329 *ddname* の行 *number* の MERGELIST NAME=*name* は重複しています (**Duplicate MERGELIST NAME=*name* at ddname line number**)

説明: このメッセージは、2 つの mergelist 指定に同じ名前が含まれていることを示します。これは許可されません。MERGELIST 名は固有でなければなりません。

重大度: 12

CKR1330 *ddname* の行 *number* の **newlist name** が含まれる XML エLEMENT の *source* には MERGELIST NAME= が必要です (**MERGELIST NAME= required at source for XML element containing newlist name at ddname line number**)

説明: MERGELIST を組み合わせた FILEFORMAT=XML の場合、MERGELIST が

MERGEST と ENDMERGE の間に、個別の newlist を子として含む「共通」の XML エレメント名を定義します。この XML エレメントを出力できるようにするには、MERGEST に NAME= パラメーターを指定して、そのエレメント名を定義する必要があります。

重大度: 12

CKR1331 表示にソフト改行はサポートされません - *ddname* の行 *number* (**Soft newline not supported for display - at *ddname* line *number***)

説明: ソフト改行演算子 /n を使用できるのは、(SORT)LIST および SUMMARY コマンドのみです。DISPLAY または DSUMMARY コマンドでは使用できません。ハード改行演算子 / を使用するか、(SORT)LIST に変換してください。

重大度: 12

CKR1332 **CKROUNIT:** *ddname* の行 *number* では、単一の行で 50 を超えるソフト改行はサポートされません (**CKROUNIT: More than 50 soft newlines not supported on a single line at *ddname* line *number***)

説明: ハード改行 (/ 演算子) の間でサポートされるソフト改行演算子 /n のインスタンスは 50 のみです。

重大度: 12

CKR1333 *ddname* の行 *number* の値 *nn* は **MAXWAIT** にはサポートされません。1 から 59 の範囲の値ではありません (**Unsupported value *nn* for MAXWAIT: not in the range 1..59 at *ddname* line *number***)

説明: OPTION SERIALIZATION(MAXWAIT) は、1 から 59 までの範囲の値のみをサポートします。

重大度: 12

CKR1334 許可されていないプログラムです。 (**Program not authorized.**) APF 逐次化オプション UNIT、VOLSER、ENQ (SYSDSN)、および MAXWAIT は使用不可に設定されます (**Disabled APF serialization options UNIT, VOLSER, ENQ(SYSDSN), and MAXWAIT**)

説明: OPTION SERIALIZATION が、UNIT、VOLSER、ENQ(SYSDSN)、または MAXWAIT パラメーターの 1 つ以上と一緒に指定されています。

装置または volser が使用可能になるまで動的割り振りを待機するには APF 権限が必要です。QNAME SYSDSN の ENQ を要求する場合や、ENQ 要求が指定可能になるまで待機する最大時間を指定する場合も同じことが言えます。プログラムにはこの許可がないため、装置または volser を待機することも、SYSDSN で ENQ を要求することはありません。また、MAXWAIT に指定された値も無視します。

重大度: 04

CKR1335 **SERIALIZATION** オプション *option1* および *option2* を *ddname* の行 *number* で同時に使用することはできません (**SERIALIZATION options *option1* and *option2* are mutually exclusive at *ddname* line *number***)

説明: ENQ 要求を即時に満たすことができない場合に WAIT と FAIL の両方を実行することはできません。プログラムが ENQ を発行することと、ENQ を発行しないこと (NOENQ) を同時に要求することはできません。

重大度: 12

CKR1336 オプションは **OPTION** の後でのみ有効です - *ddname* の行 *lineno* の *parm* (**Option only valid behind OPTION - *parm* at *ddname* line *lineno***)

説明: このメッセージは、指定されたパラメーターはプログラムによって認識されるが、指定したコマンドでは有効でないことを示します。これは、OPTION の後でのみ有効です。

重大度: 12

CKR1337 メッセージ番号 *nnn* は *ddname* の行 *lineno* の **MSGRC** にはサポートされません (**Message number *nnn* not supported for MSGRC at *ddname* line *lineno***)

説明: このメッセージは、OPTION MSGRC は任意のメッセージ番号をサポートしないことを示します。サポートされているメッセージの一覧については、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」で、OPTION コマンドの MSGRC キーワードの説明を参照してください。

重大度: 12

CKR1338 メッセージ番号 *nnn* の重大度 *sss* が最大重大度の 99 を超えています。*ddname* の行 *lineno* の **MSGRC (Message number *nnn* severity *sss* exceeds maximum 99, MSGRC at *ddname* line *lineno*)**

説明: OPTION MSGRC でメッセージに割り当てることのできる最大重大度は 99 です。

重大度: 12

CKR1339 **NEWLIST FILEFORMAT=XML** ルート・エレメント名は **DD=** として指定する必要があります。省略することはできません - *ddname* の行 *number* (**NEWLIST FILEFORMAT=XML root element name must be specified as DD=, cannot be omitted - at *ddname* line *number***)

説明: XML 出力は、NEWLIST DD= パラメーターで定義されたルート・エレメント名を持つ構造化 XML エレメントの形式になります。DD= パラメーターが何らかの形で指定されている必要があります (最初の NEWLIST の前の OPTION として指定または newlist で暗黙指定されているか、あるいは MERGELIST で指定されている必要があります)。

重大度: 12

CKR1340 **NEWLIST DD=*name*** は無効な XML 名です - *ddname* の行 *number* (**NEWLIST DDname invalid XML name - at *ddname* line *number***)

説明: XML 出力は、NEWLIST DD= パラメーターで定義されたルート・エレメント名を持つ構造化 XML エレメントの形式になります。したがって、XML 名の規則に従った名前であればなりません。つまり、名前を「XML」、数字、またはハイフンで開始することはできません。また、名前に国別文字を含めることもできません。

重大度: 12

CKR1341 **NEWLIST NAME=*name*** で設定された XML エレメント名は、*ddname* の行 *number* の **DD=*name*** で設定されたルートと同じです (**XML element name set by NEWLIST NAME=*name* same as root set by DD=*name* at *ddname* line *number***)

説明: XML 出力は、NEWLIST DD= パラメーターで定義されたルート・エレメント名、および NEWLIST

NAME= パラメーターで定義されたエレメント名を持つレコード・レベルのサブエレメントを持つ構造化 XML エレメントの形式になります。これらは、整形形式 XML 文書内で同じにすることはできません。

重大度: 12

CKR1342 **newlist *name*** の *ddname* の行 *number* にある XML フィールド・エレメント名 *name* は、*ddname* の行 *number* の **DD=*name*** で設定されたルートと同じです (**XML field element name *name* at *ddname* line *number* in newlist *name* same as root set by DD=*name* at *ddname* line *number***)

説明: XML 出力は、NEWLIST DD= パラメーターで定義されたルート・エレメント名、NEWLIST NAME= パラメーターで定義されたエレメント名を持つレコード・レベルのサブエレメント、および (SORT)LIST フィールド名で定義されたフィールド・レベルのサブエレメントを持つ構造化 XML エレメントの形式になります。これらは、整形形式 XML 文書内で同じにすることはできません。

CKR1343 オプション *option* は **ENCODING=UTF-8** と両立しません - *ddname* の行 *number* (**Option *option* incompatible with ENCODING=UTF-8 - at *ddname* line *number***)

重大度: 12

このメッセージは、UTF-8 出力エンコード方式は示されたオプションと組み合わせて使用できないことを示します。

CKR1344 *ddname* の行 *number* の **FILEOPTION** にはファイル/DD の指定が必要です (**File/DD specification is required on FILEOPTION at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、FILEOPTION には、適用対象のファイルを示す FILE=/F=/DDNAME=/DD= の指定が必要であることを示します。

重大度: 12

CKR1345 **MERGELIST NAME=*name*** は無効な XML 名です - *ddname* の行 *number* (**MERGELIST NAME=*name* invalid XML name - at *ddname* line *number***)

説明: XML 出力は、MERGELIST NAME= パラメーターで定義されたエレメント名を持つ構造化 XML エレ

メントの形式になります。したがって、XML 名の規則に従った名前でない限りなりません。つまり、名前を「XML」、数字、またはハイフンで開始することはできません。また、名前に国別文字を含めることもできません。

重大度: 12

CKR1346 *ddname* の行 *number* の **NEWLIST NAME=name** で設定された XML エlement 名は、*ddname* の行 *number* の **MERGEST LIST NAME=name** で設定された Element と同じです (**XML element name set by NEWLIST NAME=name at ddname line number same as element set by MERGEST LIST NAME=name at ddname line number**)

説明: XML 出力は、MERGEST LIST NAME= パラメーターで定義されたオプション *mergest list* レベルの Element と、NEWLIST NAME= パラメーターで定義されたレコード・レベルのサブ Element を持つ構造化 XML Element の形式になります。これらは、整形形式 XML 文書内で同じにすることはできません。

重大度: 12

CKR1347 **MERGEST LIST NAME=name** で設定された XML Element 名は、*ddname* の行 *number* の **DD=ddname** で設定されたルートと同じです (**XML element name set by MERGEST LIST NAME=name same as root set by DD=ddname at ddname line number**)

説明: XML 出力は、NEWLIST DD= パラメーターで定義されたルート・Element 名、および MERGEST LIST NAME= パラメーターで定義された Element 名を持つオプション *mergest list* レベルのサブ Element を持つ構造化 XML Element の形式になります。これらは、整形形式 XML 文書内で同じにすることはできません。

重大度: 12

CKR1348 XML フィールド・Element 名 *name* は無効な XML 名です - *ddname* の行 *number* (**XML field element name name invalid XML name - at ddname line number**)

説明: XML 出力は、(SORT)LIST フィールド名で定義された Element 名を持つ構造化 XML Element の形式になります。したがって、XML 名の規則に従った名前でない限りなりません。つまり、名前を「XML」、数字、またはハイフンで開始することはできません。ま

た、名前に国別文字を含めることもできません。

重大度: 12

CKR1349 *ddname* の行 *number* の XML フィールド・Element 名 *name* は、*ddname* の行 *number* の **MERGEST LIST NAME=name** で設定された Element と同じです (**XML field element name name at ddname line number same as element set by MERGEST LIST NAME=name at ddname line number**)

説明: XML 出力は、MERGEST LIST DD= パラメーターで定義されたオプション *mergest list* レベルの Element 名、および (SORT)LIST フィールド名で定義された Element 名を持つフィールド・レベルのサブ Element を持つ構造化 XML Element の形式になります。これらは、整形形式 XML 文書内で同じにすることはできません。

重大度: 12

CKR1350 **FILEFORMAT=XML** は *ddname* の行 *number* の **DISPLAY** と両立しません (**FILEFORMAT=XML is incompatible with DISPLAY at ddname line number**)

説明: DD 名と行番号で示された NEWLIST には、その出力で対話式表示を作成するよう示されているため、FILEFORMAT=XML とは両立しません。

重大度: 12

CKR1351 **DSNPREF=pref** の LISTCAT 中の予期しない 10 進数戻りコード *nn* (**Unexpected return code nn dec during LISTCAT of DSNPREF=pref**)

説明: このメッセージは、カタログ SVC 26 から予期しない戻りコードを受け取ったことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKR1352 **DSNPREF=pref** の LISTCAT 中の予期しない *abend* (**Unexpected abend during LISTCAT of DSNPREF=pref**)

説明: このメッセージは、示されたカタログ検索の処理中に異常終了が発生したことを示します。

重大度: 12

CKR1353 **ALLOC DSNPREF=***prefix* が **DSN=***dsn* を追加します (**ALLOC DSNPREF=***prefix adds DSN=**dsn*)

説明: このメッセージは、DSNPREF パラメーターとの一致に基づいて ALLOC DSN= 要求が追加されたことを示します。このメッセージは、明示的に要求されたか、前に別の DSNPREF によって突き合わせられたことにより、ALLOC DSN= 要求が既に存在する場合には発行されないことに注意してください。

重大度: 00

CKR1354 **ALLOC DSNPREF** を **DD** と同時に使用することはできません - *ddname* の行 *number* (**ALLOC DSNPREF is mutually exclusive with DD - at *ddname* line *number***)

説明: DSNPREF のような汎用要求に対する DD 名の指定はサポートされません。一致するデータ・セット名ごとに個別の DD 名が生成されます。

重大度: 12

CKR1355 **RECFM=F** または **U** *ddname dsn* が指定された **SMF** ファイルはスキップされます (**Skipping SMF file with RECFM=F or U *ddname dsn***)

説明: ALLOC TYPE=SMF が実行された結果、SMF データ・セットの正しいレコード・フォーマットを持たないデータ・セットが生成されました。具体的には、RECFM=F および RECFM=U データ・セットは、SMF 読み取りプログラムではサポートされません。不適切なデータ・セットを自動的にスキップすることによって ALLOC TYPE=SMF DSNPREF= を利用しやすくするために、このメッセージの重大度は 8 に抑えられています。

重大度: 08

CKR1356 **ALLOC DELETE** は **TYPE=SMF/TYPE=ACCESS/deftype DSN=/DSNPREF=** でのみサポートされます - *ddname* の行 *number* (**ALLOC DELETE only supported with TYPE=SMF/TYPE=ACCESS/deftype DSN=/DSNPREF= - at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、現行の ALLOCATE ステートメントでは DELETE キーワードが許可されていない

ことを示します。このキーワードを使用できるのは、タイプが TYPE=SMF、TYPE=ACCESS、または DEFTYPE に定義されたデータ・セット名による割り振りのみです。

重大度: 12

CKR1357 *ddname dsn* の削除が要求されました (**Delete requested for *ddname dsn***)

説明: このメッセージは、示されたデータ・セットに割り振られた示されたファイルの最終処理が、ファイルの解放中に DELETE に変更されることを示します。

重大度: 00

CKR1358 **DSNPREF** を 43 より長くすることはできません - *ddname* の行 *number* の delimiter (**DSNPREF cannot be longer than 43 - delimiter at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、データ・セット接頭部の最大長は 43 文字であることを示します。44 文字の名前には DSN= を使用してください。

重大度: 12

CKR1359 *ddname volser dsn* では **SMF** を >32KB より大きくできないため、長さ *size* のレコード *number* はスキップされます (**Skipping record number of length *size* because SMF cannot be >32KB in *ddname volser dsn***)

説明: LRECL=X データ・セットから SMF を読み取り中に、どの SMF レコード・マッピングのレコード記述子ワードにも収まり切らないレコード長が検出されました。したがって、SMF レコードではないことが証明されたため、このレコードはスキップされます。

重大度: 08

CKR1360 **APF** モードで実行中。 *class* **CKR.CKRCARLA.APF** に対する **READ** アクセス (**Running in APF mode, READ access to *class* CKR.CKRCARLA.APF**)

説明: このメッセージは、(例えば、CKRCARLX または C2POLICE により) APF 許可をアクティブにした CKRCARLA が呼び出され、ユーザーが SAF により APF の使用を許可されたことを示します。SAF クラスは、CKRSITE モジュールに定義されたインストールです。

重大度: 00

CKR1361 クラス *class* の **CKR.CKRCARLA.APF** が定義されていません。
(CKR.CKRCARLA.APF in class *class* not defined.)APF モードは許可されません。**(APF mode disallowed.)**

説明: このメッセージは、(例えば、CKRCARLX または C2POLICE により) APF 許可をアクティブにした CKRCARLA が呼び出されたが、ユーザーが SAF により明示的に APF の使用を許可されなかったことを示します。これは許可されません。示された SAF リソースに対する許可を取得するか、CKRCARLA を直接呼び出してください (これは AC(0) を持つため、APF 許可なしで実行します)。SAF クラスは、CKRSITE モジュールに定義されたインストールです。

重大度: 12

CKR1362 APF モードは許可されません。*class* **CKR.CKRCARLA.APF** に対する読み取り権限がありません **(APF mode disallowed, no READ access to class CKR.CKRCARLA.APF)**

説明: このメッセージは、(例えば、CKRCARLX または C2POLICE により) APF 許可をアクティブにした CKRCARLA が呼び出されたが、ユーザーが SAF により明示的に APF の使用を拒否されたことを示します。示された SAF リソースに対する許可を取得するか、CKRCARLA を直接呼び出してください (これは AC(0) を持つため、APF 許可なしで実行します)。SAF クラスは、CKRSITE モジュールに定義されたインストールです。

重大度: 12

CKR1363 XML_STYLESHEET=IMBED には DDNAME= または MEMBER= を指定する必要があります - *ddname* の行 *number* (Need to specify DDNAME= or MEMBER= on XML_STYLESHEET=IMBED - at *ddname* line *number*)

説明: このメッセージは、コード化された XML_STYLESHEET=IMBED()ステートメントが DDNAME= または MEMBER= ステートメントを指定していないことを示します。少なくとも、いずれか 1 つを指定する必要があります。

重大度: 12

CKR1364 **SYSTEM** *system* の *type* **LXAT** レコードが壊れています (*type* **LXAT record corrupt on SYSTEM system**)

説明: 示されたシステムの CKFREEZE からの LXAT レコードが壊れていることが検出されました。newlist *type*=PC の LX フィールドで記述された構造化繰り返しグループで検出された情報が誤っている可能性があります。CKFREEZE の更新後に、このメッセージが再び発生した場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR1365 オプション *option* は **COMPRESS** と両立しません - *ddname* line (**Option option incompatible with COMPRESS - at *ddname* line**)

説明: このメッセージは、圧縮された出力ファイルとの組み合わせではサポートされないオプションまたはコマンドを示します。

重大度: 12

CKR1366 *original* の出力を *compressed* バイトに圧縮しました (係数 *factor*)、ファイル *ddname* *pathname* (**Compressed output from original to compressed bytes (factor factor), file *ddname* *pathname***)

説明: この抑止可能メッセージは、COMPRESS=GZIP 出力ファイルごとに、元のデータ・サイズと圧縮後のデータ・サイズ、および達成された減少係数をリストします。

重大度: 00

CKR1369 *complex* [*version*] に対して読み取った **InfoStorage** レコード数 *number*、リソース規則の合計項目数 *number* (*number* **InfoStorage records read for complex [*version*]; resource rules totalled *number* entries**)

説明: このメッセージは、ACF2 Infostorage データベースに対してのみ発行され、読み取ったレコード数と、読み取った Infostorage レコードのうち、リソース規則レコードに含まれる規則の行数を示します。

重大度: 00

CKR1370 エンティティ *e* の拡張テンプレート・ブロック *n* は、**seq s ddname volser dsname の ICBTEMP** に見つかりません
(**Extended template block *n* for entity *e* not found in ICBTEMP for seq s ddname volser dsname**)

説明: このメッセージは、テンプレート拡張子へのポインターがテンプレート・ブロックで検出されたが、対応する情報がテンプレート・ブロック配列になかったことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッセージは、平均時間では抑止できます。

重大度: 20

CKR1371 255 より長い汎用ストリング (Generic string longer than 255)

説明: 汎用が含まれ、255 文字より長いストリングが指定されました。これはサポートされません。照会を変更して、再実行依頼してください。

重大度: 12

CKR1372 アンロード出力 **LRECL=nnnn** は **23472** 以上でなければなりません。
LRECL=X,RECFM=VBS が優先されます。ファイル [(リダイレクトされた **CKRUNLOU**)] *ddname [path | volser dsname]* (**Unload output LRECL=nnnn must at least be 23472, LRECL=X,RECFM=VBS preferred file [(redirected CKRUNLOU)] ddname [path | volser dsname]**)

説明: このメッセージは、アンロードされるセキュリティー・データベースには、最小 23472 のレコード長が必要であることを示します。それでもレコードが切り捨てられる可能性があります。推奨される LRECL 指定は次のとおりです。

LRECL=X,RECFM=VBS

重大度: 16

CKR1374 ファイル *ddname volser dsname* のスタイル・シートを開くことができません
(**Cannot open stylesheet from file ddname volser dsname**)

説明: このメッセージは、

XML_STYLESHEET=IMBED() ステートメントで定義された XSLT スタイル・シートを開くことができないことを示します。ファイルが正しく割り振られていて、メンバーが存在することを確認してください。

重大度: 08

CKR1375 ファイル *ddname volser dsname* のスタイル・シート内に開始タグ **<xsl:stylesheet>** が見つかりません (**Cannot find open tag <xsl:stylesheet> in stylesheet from file ddname volser dsname**)

説明: XML_STYLESHEET=IMBED() ステートメントで指定された XSLT スタイル・シートには、**<xsl:stylesheet>** エレメントが含まれていないようです。zSecure が組み込み用に使用する XSLT スタイル・シートには、**<xsl:stylesheet>** 開始タグと **</xsl:stylesheet>** 終了タグがなければなりません。この 2 つが、個別の行で認識される単独エレメントであるためです。

重大度: 08

CKR1376 ファイル *ddname volser dsn* のスタイル・シート内に終了タグ **</xsl:stylesheet>** が見つかりません (**Cannot find close tag </xsl:stylesheet> in stylesheet from file ddname volser dsn**)

説明: XML_STYLESHEET=IMBED() ステートメントで定義された XSLT スタイル・シートには、**</xsl:stylesheet>** エレメントが含まれていないようです。zSecure が組み込み用に使用する XSLT スタイル・シートには、**<xsl:stylesheet>** 開始タグと **</xsl:stylesheet>** 終了タグがなければなりません。この 2 つが、個別の行で認識される単独エレメントであるためです。

重大度: 08

CKR1377 **XML_STYLESHEET=IMBED** は *ddname line number* の **XML_DTD** と両立しません (**XML_STYLESHEET=IMBED is incompatible with XML_DTD at ddname line number**)

説明: 組み込み XSLT スタイル・シートに DTD を含めることはできません。

重大度: 12

CKR1378 **PDS** *ddname volser dsn* からは、メンバー名を読み取る必要があります。重大度:
8 (A member name is required to read from PDS *ddname volser dsn* :severity: 8)

説明: XML_STYLESHEET=IMBED() ステートメントに指定されたデータ・セットは区分されていますが、メンバーが指定されていません。

CKR1379 **CERTIFICATE_KEYUSAGE** 値が誤っています - *ddname* の行 *number* の "*value*" (**CERTIFICATE_KEYUSAGE value incorrect - "*value*" at *ddname* line *number***)

説明: CERTIFICATE_KEYUSAGE フィールドで有効な値は、HANDSHAKE、DOCSIGN、DATAENCRYPT、CERTSIGN、digitalSignature、nonRepudiation、keyEncipherment、dataEncipherment、keyAgreement、keyCertSign、cRLSign、および encipherOnly のみです。照会を確認して、再実行依頼してください。

重大度: 12

CKR1380 **E** メールに **ENCODING=UTF-8** を使用できるのは、*ddname* の行 *number* に **OUTPUTFORMAT=ATTACH** が指定されている場合のみです (**ENCODING=UTF-8 for e-mail can only be used with OUTPUTFORMAT=ATTACH at *ddname* line *number***)

説明: UTF-8 エンコード・レポートは、添付としてのみ E メールで送信できます。

OUTPUTFORMAT=ATTACH を指定するか、ENCODING=UTF-8 を除去してください。

重大度: 12

CKR1381 **E** メールと通常のレポートの両方に同じ **DD** 名を使用することはできません - *ddname* の行 *number* (**The same DD *ddname* cannot be used both for e-mail and normal reporting - at *ddname* line *number***)

説明: 示された CARLa ステートメントは、前のステートメントと同じレポート DD 名を指定または暗黙指定していますが、これらの指定は両立しません。一方は E メール宛先を指定し、もう一方は通常のレポートを要求しているためです。

重大度: 12

CKR1382 制限モードでは、*ddname* の行 *number* の **SELECT** キーワード *keyword* は許可されません (**Restricted mode does not allow SELECT keyword *keyword* at *ddname* line *number***)

説明: プログラムが制限モードまたは PADS モードで実行しているときには、示されたキーワードによる選択は許可されません。CKR0031 メッセージに示された理由により、あるいは SIMULATE RESTRICT が指定されたため、プログラムは制限モードで実行中です。この状態は、構文エラー (重大度 12) と見なされます。ALLOWRESTRICT 修飾子によって、照会を実行する必要があることが明示されている場合は、示されたフィールドが欠落していると思なされることを知らせる警告 (重大度 4) としてこのメッセージが発行されます。CKR0170 も参照してください。

重大度: 04 または 12

CKR1383 ライセンス交付を受けていないため、**ALLOC TYPE=TSS_ATF** ファイルはスキップされます - *ddname volume dsn* (**ALLOC TYPE=TSS_ATF file skipped because not licensed - *ddname volume dsn***)

説明: 示されたデータ・セットに対する ALLOC TYPE=TSS_ATF ステートメントは無視されます。その理由は、IBM Security zSecure Audit for Top Secret がインストールされていないか、IFAPRDxx で使用不可に設定されているためです。

重大度: 00

CKR1384 *ddname* に **COMPRESS=GZIP** が要求されましたが、ファイル指定が不完全なため、無視されます (**COMPRESS=GZIP requested for *ddname* but file specification is incompatible - ignored**)

説明: このメッセージは、示された DD 名に対し GZIP 圧縮が指定されたが、問題のファイルは FILEDESC または PATH が指定された ALLOC コマンドによって割り振られなかったことを示します。出力は圧縮されません。

重大度: 04

CKR1385 **LRECL の不足により、XML ファイルが使用できない可能性があります - ddname volser dsn(member) (XML file may be unusable due to insufficient LRECL - ddname volser dsn(member))**

説明: 指定された XML 出力ファイル内の 1 つ以上の行が切り捨てられたことから、タグが欠落しているか、壊れている可能性があります。これにより、XML 文書が使用できない状態になっている可能性があります。ファイルに指定された LRECL を増やして (最悪の場合、プログラム自体が XML 出力に割り振るファイルの LRECL は 6600 です)、照会を再実行してください。

重大度: 08

CKR1386 **ddname の行 number の E メールと LIST 出力は両立しません (E-mail and LIST output are incompatible at ddname line number)**

説明: LIST 出力の E メール送信はサポートされません。代わりに、SORTLIST を使用してください。

重大度: 12

CKR1387 **ファイル・オプション CAPS は、ddname の行 number の XML または UTF-8 出力では使用できません (File option CAPS cannot be used with XML or UTF-8 output at ddname line number)**

説明: ファイル・オプション CAPS は、FILEFORMAT=XML または ENCODING=UTF-8 では使用できません。

重大度: 12

CKR1388 **ファイル・オプション NULLS は、ddname の行 number の XML 出力では使用できません (File option NULLS cannot be used with XML output at ddname line number)**

説明: ファイル・オプション NULLS は、XML 処理による制御文字の自動フィルタリングと競合します。このファイル・オプションを FILEFORMAT=XML で使用することはできません。

重大度: 12

CKR1389 **type データを読み取るには、非 PADS アクセス権限が必要です。file vol dsn(member) はスキップされます (Non-PADS access required to read type data, skipping file vol dsn(member))**

説明: 条件付き (PADS) アクセス権限のみが付与されたデータ・セットが、type 入力に要求されました。DEFTYPE データを読み取るには、無条件読み取りアクセス権限が必要です。そのデータ・セットは処理されない。

重大度: 08

CKR1390 **無制限 SMF には非 PADS アクセス権限が必要です。file vol dsn(member) はスキップされます (Non-PADS access required for unrestricted SMF, skipping file vol dsn(member))**

説明: 無制限モードでの SMF ファイルの読み取りには、無条件 READ アクセス権限が付与されたデータ・セットのみが有効です。示されたデータ・セットに付与されているのは、条件付き (PADS) READ のみです。そのデータ・セットはスキップされます。

重大度: 08

CKR1391 **未定義の区画 division または未定義のフィールド field (Undefined division division or undefined field field)**

説明: 区画 division のフィールド field に対する明示的要求は無効です。原因としては、該当するフィールドが要求された区画に定義されていないこと、または該当する区画が Infostorage レコード・タイプに定義されていないことが考えられます。常駐タイプ、区画、フィールド名の有効な組み合わせを確認するには、FDE 基本コマンドを使用できます。

重大度: 12

CKR1392 **フィールド field は常駐タイプ residence type に定義されていません (Field field not defined for residence type residence type)**

説明: 要求された常駐タイプに関連付けられたレコード構造ブロックに、要求されたフィールドのフィールド定義項目が見つかりませんでした。常駐タイプ、区画、フィールド名の有効な組み合わせを確認するには、FDE 基本コマンドを使用できます。

重大度: 12

CKR1393 フィールド *field* は常駐タイプ *residence type* および区画 *division* に定義されていません (**Field field not defined for residence type residence type and division division**)

説明: 要求された常駐タイプおよび区画のレコード構造ブロックには、要求されたフィールドのフィールド定義項目が含まれていません。常駐タイプ、区画、フィールド名の有効な組み合わせを確認するには、FDE 基本コマンドを使用できます。

重大度: 12

CKR1394 区画 *division* は常駐タイプ *residence type* に定義されていません (**Division division not defined for residence type residence type**)

説明: 要求された区画と常駐タイプの組み合わせは無効です。常駐タイプ、区画、フィールド名の有効な組み合わせを確認するには、FDE 基本コマンドを使用できます。

重大度: 12

CKR1395 常駐タイプ *residence type* は定義されていません (**Undefined residence type residence type**)

説明: 要求された常駐タイプは存在しません。常駐タイプ、区画、フィールド名の有効な組み合わせを確認するには、FDE 基本コマンドを使用できます。

重大度: 12

CKR1396 *number* 個の **InfoStorage** レコードがスキップされました (**complex [version] (number InfoStorage records skipped**

for complex [version])

説明: このメッセージは、ACF2 Infostorage データベースに対してのみ発行され、処理がスキップされたレコード数を示します。現行リリースではまだサポートされないサブタイプの Infostorage レコードに対しては、処理がスキップされます。

重大度: 00

CKR1398 複合システム *complex* には **FUNCTION=MERGE** 入力が存在しますが、**FUNCTION=MAIN** 入力はありません (**FUNCTION=MERGE input present for complex complex but FUNCTION=MAIN input is missing**)

説明: 複合システム *complex* には RACF データベースまたはアンロードが **MERGE** 入力ソースとして割り振られています。相当する **MAIN** データベースまたはアンロードが指定されていません。割り振りを確認して、照会を再実行してください。

重大度: 12

CKR1399 *ddname volser dsn* のシステム *system* レコード *number* の **QUAA** が壊れているか、切り捨てられています (**Corrupted/truncated QUAA for system system record number of ddname volser dsn**)

説明: CKFREEZE ファイルから取得した **QUAA** レコードは、CKFREEZE の **LRECL** が小さすぎるため切り捨てられます。

ユーザーの処置: **LRECL** サイズを大きくすることを検討してください。

重大度: 08

メッセージ 1400 から 1499

CKR1400 サポートされていないバージョン **vv.rr.mm** の **z/OS** 上で実行する場合の結果は予測不能です。アップグレードしてください (**Running on an unsupported version vv.rr.mm of z/OS, results are unpredictable - please upgrade**)

説明: このメッセージは、zSecure がサポートされていないオペレーティング・システム・レベルで実行されていることを示します。結果は予測不能です。zSecure を適切なバージョンにアップグレードしてください。

重大度: 04

CKR1401 サポートされなくなったバージョン **vv.rr.mm** の **z/OS** で実行すると、製品の一部の機能を実行できなくなる可能性があります (**Running on a no longer supported version vv.rr.mm of z/OS, some product features may fail**)

説明: このバージョンの zSecure は、それを実行しているオペレーティング・システム・レベルではサポートされていません。一部の (新しい) 製品機能を実行できない可能性があります。一方、一般的に古いレポートはそのまま使用し続けることができますが、実行できない場合のサポートはありません。

重大度: 04

CKR1402 サポートされていない OS 製品 *name* 上で実行する場合の結果は予想不能です
(Running on an unsupported OS product *name*, results are unpredictable)

説明: このバージョンの zSecure によって、現在のオペレーティング・システムは認識されておらず、サポートされていません。

重大度: 04

CKR1403 サポートされていないバージョン *vv.rr.mm* の z/OS を分析する場合の結果は予測不能です。アップグレードしてください (Analyzing an unsupported version *vv.rr.mm* of z/OS, results are unpredictable - please upgrade)

説明: このメッセージは、このバージョンの zSecure ではサポートされていないオペレーティング・システム・レベルからシステムのスナップショットを分析中であることを示します。結果は予測不能です。zSecure を適切なバージョンにアップグレードしてください。

重大度: 04

CKR1404 100 件の SMF データ・セットを処理しています。その後の実行用に *nnn* 個の ALLOC DSNPREF 一致が残されました (Processing 100 SMF data sets, *nnn* ALLOC DSNPREF matches left for a subsequent run)

説明: このメッセージは、TYPE=SMF での ALLOC DSNPPREF ステートメントが 100 件より多い数のデータ・セット名の一致を出力したことを示します。アルファベット順に最初の 100 セットのみが処理されます。

DELETE オペランドもオンの場合、その後の実行では続く 100 データ・セットが選出されます。最適な処理状態を確保するには、システムごとに、SMF データ・セット名のアルファベット順を SMF レコードの発生順と一致させる必要があります。

重大度: 08

CKR1405 処理可能な数を超過する SMF データ・セットが要求されたため、活動中 SMF が抑止されました (Live SMF suppressed because more SMF data sets requested than can be processed)

説明: DSNPREF 仕様に一致する TYPE=SMF データ・セットの中に、すべての活動中 SMF データ・セットと一緒に処理することができないデータ・セットがある限り、活動中 SMF の処理は抑止されます。この処理は、確実に SMF レコードを発生順に処理できるようにするために行われます (データ・セット名に発生順位が反映され、活動中 SMF より古い SMF レコードが含まれている場合)。

重大度: 08

CKR1406 *ddname* 行 *number* の *token* の前では 4 つを超える SUBSYS パラメーターはサポートされません (More than 4 SUBSYS parms not supported before *token* at *ddname* line *number*)

説明: ALLOC CARLa コマンドの SUBSYS キーワードは、4 つのサブパラメーターのみサポートします。それより多く必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKR1407 ALLOC SUBSYS は、*ddname* の行 *number* の PATH/FILEDESC/CMSFILE/GETPROC/SMFSTREAM/DSNPREF/INMEM/CDP ではサポートされません (ALLOC SUBSYS not supported with PATH/FILEDESC/CMSFILE/GETPROC/SMFSTREAM/DSNPREF/INMEM/CDP - at *ddname* line *number*)

説明: SUBSYS 仕様は、DSN= 以外の入力ソース指定と一緒に使用することはできません。

重大度: 12

CKR1408 IFAQUERY 戻り域が小さすぎる。*nnn* 個のログ・ストリーム・レコードを省略しました。(Omitted *nnn* log stream records.)

説明: 2 回目の呼び出しで *required length* を渡した後も、SMF ログ・ストリーム・データを保管するためのスペースが十分ではありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR1409 IFAQUERY からの予期しない戻りコード。(Unexpected return code from IFAQUERY.)SMF ログ・ストリーム情報は収集されません。(SMF log stream information is not collected.)
rc=hhhhhhhhhhh (16 進数)
rsn=hhhhhhhhhhh (16 進数)
(rc=hhhhhhhhhhh hex rsn=hhhhhhhhhhh hex)

説明: SMF ログ・ストリーム・データの取得に失敗しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR1410 ALLOC TYPE=SMFSTREAM は、ddname の行 number の PATH/FILEDESC/CMSFILE/GETPROC/DSNPREF/INMEM/CDP ではサポートされません (ALLOC TYPE=SMFSTREAM not supported with PATH/FILEDESC/CMSFILE/GETPROC/DSNPREF/INMEM/CDP - at ddname line number)

説明: TYPE=SMFSTREAM 仕様を DSN= 以外の入力ソース指定と一緒に使用することはできません。

重大度: 12

CKR1411 システム system のアクティブな SMF ログ・ストリームを判別できません (Cannot determine active SMF log streams for system system)

説明: SMF ログ・ストリームが使用されており、IBM Security zSecure が非 APF モードで稼働している間にアクティブ SMF 割り振りが要求された場合は、SMF ログ・ストリームの設定が保存されている CKFREEZE ファイルに接続する必要があります。CKFREEZE ファイルに接続していないか、そのファイルは古い zSecure Collect を使用して作成された CKFREEZE ファイルです。

重大度: 04

CKR1412 TYPE=ACCESS pads ファイル ddname volser dsn の処理を開始しました (Started processing TYPE=ACCESS pads file ddname volser dsn)

説明: このメッセージは、ACCESS 入力ファイル ddname の処理が開始されたことを示します。また、テキスト PADS による pads で、条件付きアクセスによりデータへのアクセスが許可されたことを示す場合もあります。

重大度: 0

CKR1413 ACCESS データを読み取るには非 PADS アクセス権限が必要です。file vol dsn(member) をスキップします (Non-PADS access required to read ACCESS data, skipping file vol dsn(member))

説明: ACCESS データ・セットは、無条件 READ アクセス権限が与えられている場合にのみ読み取ることができます。示されたデータ・セットに付与されているのは、条件付き (PADS) READ のみです。データ・セットの読み取りはスキップされます。

重大度: 8

CKR1414 TYPE=ACCESS の nn 個の ACCESS レコードを処理し、nn 個の ACCESS レコードを選択しました (nn%) (nn ACCESS records processed, nn ACCESS records selected for TYPE=ACCESS (nn%))

説明: このメッセージは、処理した ACCESS レコードの数と、選択された ACCESS レコードの数およびパーセンテージを示します。

重大度: 0

CKR1415 ライセンス交付を受けていないため、ALLOC TYPE=ACCESS ファイルをスキップしました - ddname volume dsn (ALLOC TYPE=ACCESS file skipped because not licensed- ddname volume dsn)

説明: IBM Security zSecure Admin がインストールされていないか IFAPRDxx で無効になっているため、示されたデータ・セットの ALLOC TYPE=ACCESS ステートメントは無視されます。

重大度: 0

CKR1416 *profile* の一貫性のない CFDEF 定義
(**Inconsistent CFDEF definitions for profile**)

説明: このメッセージは、データベースのマージ中に、ソース・データベースと現在のデータベースの両方に CFIELD プロファイルが存在することが判明したことを示します。その場合、マージするには、それらのプロファイルの各 CFDEFセグメントが同一である必要があります。示されたプロファイルの CFDEF セグメントは同一ではありません。

重大度: 08

CKR1417 *cccc* の代わりに予期されるカスタム
FIELD タイプ (**Expected Custom FIELD
Type instead of cccc**)

説明: CARLa で、次のような DEFINE ステートメントが見つかりました: DEFINE yourname SUBSELECT(CSTYPE=cccc)。値 *cccc* で予期される値は、Num、Char、Hex、または Flag ですが、実際の値はこれらの値ではありません。

ユーザーの処置: CARLa コードを修正し、正しいカスタム・フォーマット・タイプの値を指定してください。

重大度: 12

CKR1418 CFDEF のフィールド CFFIRST および
CFOTHER の値は、
ALPHA、ALPHANUM、ANY、
NONATBC、NONATNUM、
または NUMERIC でなければなりません - *ddname* の行 *number* での "*value*"
(**The value of CFDEF fields CFFIRST
and CFOTHER must be ALPHA,
ALPHANUM, ANY, NONATBC,
NONATNUM, or NUMERIC - "*value*"
at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、フィールドに指定された値が、プログラムで予期されたフィールド・タイプと一致しなかったことを示します。

ユーザーの処置: フィールドに適切な値を選択してください。

重大度: 12

CKR1419 CSTYPE の値は、
CHAR、NUM、FLAG、または HEX で
なければなりません - *ddname* の行
number での "*value*" (**CSTYPE value
must be CHAR, NUM, FLAG, or HEX**)

- "*value*" at *ddname* line *number*)

説明: このメッセージは、フィールドに指定された値が、プログラムで予期されたフィールド・タイプと一致しなかったことを示します。

ユーザーの処置: フィールドに適切な値を選択してください。

重大度: 12

CKR1420 UNLOAD 処理でのシステム異常終了コ
ード *code(text)*。(**system abend code
code(text) in UNLOAD processing.**) 処
理されていない動的構文解析テーブルで
す。(**Dynamic Parse Table not
processed.**)

説明: UNLOAD 処理時の動的構文解析テーブルの書き込み中に異常終了しました。これにより、他の UNLOAD 処理が影響を受けることはありません。ただし、結果の UNLOAD ファイルに書き込まれている動的構文解析テーブルは完全ではないため、カスタム・フィールドの検査で使用するとエラーや省略が発生する可能性があります。

ユーザーの処置: CKRCARLA からの JESLOG および SYSPRINT 出力を検討し、これが他のエラーまたはメッセージに関連付けられているかどうかを判断してください。問題を解決できない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 04

CKR1421 *newlist name source* で、10 行を超える
複数行 WTO 出力は抑止されました
(**Multi-line WTO output beyond line
10 was suppressed for newlist *name
source***)

説明: *newlist* により 10 行を超える複数行 WTO が作成されました。出力できるのは最大で 10 行であるため、超過した行は抑止されました。

重大度: 04

CKR1422 すべての SMF 処理が抑止されました。
(**All SMF processing suppressed.**)

説明: SMF 処理を明示的に抑止するために SUPPRESS SMF コマンドが使用されました。

重大度: 00

CKR1423 *ddname* の行 *number* の *type "value"* の前で、値の範囲は **=** でのみ許可されます - **(Value range only allowed with = before type "value" at ddname line number)**

説明: このメッセージは、値の範囲をサポートしない演算子を使用した値の範囲が検出されたことを示しています。値の範囲と一緒に使用できる演算子は、等価演算子のみです。

ユーザーの処置: 演算子を変更するか、範囲を使用しないでください。

重大度: 12

CKR1424 *ddname* の行 *line* で数値シンボル *name* が見つからず、デフォルトがありません。 **(No numeric symbolic namefound and no default at ddnameline line.)**

説明: パーサーはタイプ NUM の数値またはシンボル名を予期しますが、非数値のストリングが見つかりました。このステートメントより前の CARLa には、SYMBOLIC NUM *name=value* ステートメントがありませんでした。

シンボル名の大/小文字は区別されませんが、各名前の最大長は 24 です。CARLa で SYMBOLIC 定義の有無の両方を処理する必要がある場合は、*name* だけではなく、*name|value* などのように縦棒の後にデフォルト値を指定できます。

重大度: 12

CKR1425 パスフレーズは引用符で囲む必要があります。 **(Password phrase must be quoted.)**

説明: パスフレーズ値に、必須の引用符がありません。

ユーザーの処置: パスフレーズ値を更新して引用符を含めてください (例えば、'password phrase')。

重大度: 12

CKR1426 **NEWLIST TYPE=ip_newlist_type** 要求が発行されましたが、使用可能な TCP/IP スタック構成データがありません。 **(A NEWLIST TYPE=ip_newlist_type request was issued, but no TCP/IP stack configuration data are available.)**原因は、CKFREEZE が古いか、または APF 以外の CKFREEZE である可能性があります **(Might be caused by old or non-APF CKFREEZE)**

説明: このメッセージは、NEWLIST TYPE=ip_newlist_type によって生成されます。これは、TCP/IP スタック構成レポートの 1 つです。TCP/IP スタック構成レポートが要求されましたが、使用可能なスタック構成データがありませんでした。使用した CKFREEZE ファイルを確認してください。TCP/IP スタック構成レポートでは、zSecure Audit を含むフォークスで APF 許可 zSecure Collect を実行する必要があります。要求された情報を含んだ CKFREEZE ファイルを作成するためには、zSecure Collect のバージョンが最低でも 1.11 である必要があります。CKFREEZE ファイルを作成するために使用されたバージョンは、メッセージ CKR0132 の SYSPRINT で確認することができます。

重大度: 00

CKR1427 **NEWLIST TYPE=ip_newlist_type** CKFREEZE データが不完全か破壊されています **(NEWLIST TYPE=ip_newlist_type CKFREEZE data incomplete or corrupted)**

説明: このメッセージは、NEWLIST TYPE=ip_newlist_type によって生成されます。これは、TCP/IP スタック構成レポートの 1 つです。CKFREEZE ファイルが不完全か破壊されていることを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1428 **NEWLIST TYPE=ip_newlist_type** には **CKFREEZE** が必要です **(NEWLIST TYPE=ip_newlist_type requires CKFREEZE)**

説明: このメッセージは、NEWLIST TYPE=ip_newlist_type によって生成されます。これは、TCP/IP スタック構成レポートの 1 つです。TCP/IP スタック構成レポートが要求されましたが、CKFREEZE ファイルが使用されなかったことを示します。レポートには CKFREEZE ファイルが必要です。JCL または入力ファイルのセットを確認してください。

重大度: 08

CKR1429 *jobtag CICS 辞書が無効です。ddname 行
recno での <system> <date time> (jobtag
CICS dictionary invalid <system> <date
time> at ddname line recno)*

説明: このメッセージは、示された日時に書き込まれた *system* システムについて CICS 辞書レコードが無効であることを示しています。この CICS 辞書レコードは、同じに *jobtag* について書き込まれた CICS パフォーマンス・レコードと一致しません。

重大度: 12

CKR1430 *CICS SMF 辞書 system 切り捨て -
ddname の行 recno で辞書が無視されまし
た。(CICS SMF dictionary system
truncated - dictionary ignored at
ddname line recno.)*

説明: CICS パフォーマンス・レコード辞書を含む SMF レコードが切り捨てられました。これは、コピー先のデータ・セットに対して指定した LRECL が小さすぎる場合に発生することがあります。

重大度: 00

CKR1431 *FAILLOAD フィールドの値は
BADSIGONLY、ANYBAD、または
NEVER でなければなりません -
"badvalue" source (Field FAILLOAD
value must be BADSIGONLY,
ANYBAD, or NEVER - "badvalue"
source)*

説明: このメッセージは、FAILLOAD フィールドの値が認識されなかったことを示します。

ユーザーの処置: このメッセージにリストされた値のいずれかを指定するか、フィールドの参照を削除してください。

重大度: 12

CKR1432 *SIGAUDIT フィールドの値は、
BADSIGONLY、ANYBAD、
SUCCESS、ALL、
または NONE でなければなりません -
"badvalue" source (Field SIGAUDIT
value must be BADSIGONLY,
ANYBAD, SUCCESS, ALL, or NONE -
"badvalue" source)*

説明: このメッセージは、SIGAUDIT フィールドの値が認識されなかったことを示します。

ユーザーの処置: このメッセージにリストされた値のい

ずれかを指定するか、フィールドの参照を削除してください。

重大度: 12

CKR1433 *CKRSTORF.CKRSIDID: 重複 IDID エ
ントリー userid label flags filter、複合シ
ステム complex version
(CKRSTORF.CKRSIDID: Duplicate
IDID entry userid label flags filter
complex complex version)*

説明: 重複した配布 ID フィルター (RACMAP) が、示された *userid* に示された *label* でマッピングしていることが検出されました。重複は無視されます。このメッセージは抑制することができます。

重大度: 20

CKR1434 *CKFREEZE ファイル ddname システム
system [version] で FUNCTION=BASE
の場合、セキュリティ・データベース複
合システム complex では F=BASE にな
っている必要があります
(FUNCTION=BASE on CKFREEZE file
ddname system system [version] requires
F=BASE on security database complex
complex)*

説明: システムは比較対象の基準として指定されていますが、そのシステムのセキュリティ複合システムが指定されていません。比較プロセスでは、システムとそのセキュリティ複合システムの両方が必要です。

このメッセージは、複数の複合システムに同じ名前を付与しようとするとき (この場合は、CKR1472メッセージが生成されます) の副次作用として生成される可能性があります。

ユーザーの処置: メッセージ CKR1472 が CKR1434 と一緒に生成された場合は、最初に CKR1472 を解決します。次に、もう一度比較プロセスを実行して、CKF1434 メッセージを生成させたエラーが解決されたかどうかを確認します。

CKR1434 が単独で生成された場合は、セキュリティ・データベース割り振りステートメントに FUNCTION=BASE オプションを追加してください。

重大度: 12

CKR1435 *FUNCTION=BASE を複数のセキュリ
ティー・データベースで指定することはでき
ません。(FUNCTION=BASE cannot be
specified for more than one security
database.)*

説明: FUNCTION=BASE を指定することにより、比較関数で必ず比較対象とする「標準」セキュリティ・データベースを識別する必要があります。2 つのセキュリティ・データベースを基準として使用するように要求することはできません。指定できるのは、1 つのセキュリティ・データベース (例えば、UNLOAD) と、同じ複合システムにある基準としての 1 つのシステム (CKFREEZE) です。

ユーザーの処置: この指定によってセキュリティ・データベースが 1 つだけ残されるまで、FUNCTION=BASE を除去してください。

重大度: 12

CKR1436 **FUNCTION=BASE** を複数のシステムで指定することはできません。
(FUNCTION=BASE cannot be specified for more than one system.)

説明: FUNCTION=BASE を指定することにより、比較関数で必ず比較対象とする「標準」システムを識別する必要があります。2 つのシステムを基準として使用するように要求することはできません。指定できるのは、1 つのセキュリティ・データベース (例えば、UNLOAD) と、同じ複合システムにある基準としての 1 つのシステム (CKFREEZE) です。

ユーザーの処置: この指定によってセキュリティ・システムが 1 つだけ残されるまで、FUNCTION=BASE を除去してください。

重大度: 12

CKR1437 **COMPAREOPT BASE/BY/COMPARE** は *name source* フィールドでサポートされていません。(COMPAREOPT BASE/BY/COMPARE is not supported for field *name source*.)

説明: このフィールドでは比較がサポートされていません。

ユーザーの処置: 別のフィールドを使用してください。

重大度: 12

CKR1438 **FUNCTION=BASE** は **TYPE=CKFREEZE/UNLOAD/RACF/ACF2*/CKRCMD** の場合のみサポートされます - *ddname* 行 *number* の *token* の前でエラーが検出されました
(FUNCTION=BASE only supported for TYPE=CKFREEZE/UNLOAD/RACF/ACF2*/CKRCMD - error detected before token at *ddname* line *number*)

説明: このファイル・タイプは、比較の根拠として使用できません。FUNCTION=BASE を指定できるのは、セキュリティ・データベース、CKFREEZE ファイル、およびコマンド・ファイルの場合です。

ユーザーの処置: この TYPE には FUNCTION=BASE を指定しないでください。

重大度: 12

CKR1439 言語 *lng* は、*source* での **LANGUAGE** ステートメントでは無効です (**Language *lng* is not valid in the LANGUAGE statement at *source***)

説明: LANGUAGE ステートメントの構文解析中、英語 (ENG、ENU) は有効なオーバーライド言語ではありません。構文解析は続行されますが、実行はキャンセルされます。

ユーザーの処置: 別の言語を選択してください。

重大度: 12

CKR1440 *source2* での **LANGUAGE *ln2*** が *ln1* の最初の **LANGUAGE** ステートメントと一致しません (**LANGUAGE *ln2* at *source2* does not match the first LANGUAGE statement of *ln1***)

説明: LANGUAGE ステートメントの構文解析中、最初に検出された *lng1* 言語と異なる言語 *lng2* が見つかりました。構文解析は続行されますが、実行はキャンセルされます。CKRCARLA の各実行は 1 つの言語にのみ翻訳されます (あるいは翻訳されません)。

ユーザーの処置: 2 つの別々の実行で異なる言語への翻訳を実行してください。

重大度: 12

CKR1441 「*original*」の翻訳は *source* の「*translation2*」によってオーバーライドされた「*translation1*」でした (**Translation for "*original*" was "*translation1*" overridden by "*translation2*" at *source***)

説明: LANGUAGE ステートメントの構文解析中、同じストリングまたは値に対して複数の翻訳が見つかりました。最後の翻訳が優先されます。

ユーザーの処置: 最後の翻訳が意図するものであることを確認してください。

重大度: 00

CKR1442 このオカレンスは名前付きの **NEWLIST** セクションでのみ有効です。 *source* の **TYPE** セクションでは有効ではありません (**Occurrence only valid in named NEWLIST sections, not in TYPE section at source**)

説明: このオカレンスは、TYPE セクションの FIELD 節ではなく、LANGUAGE ステートメントの名前付き NEWLIST セクションの FIELD 節でのみ有効です。

ユーザーの処置: オカレンス指定子を除去するか、ステートメントを NEWLIST 節に移動してください。

重大度: 12

CKR1443 **LANGUAGE** ステートメントは、*source* のどの **NEWLIST** またはフィールド名を使用するよりも先に指定する必要があります (**LANGUAGE statements must precede the use of any NEWLIST or field name at source**)

説明: CARLa 入力での LANGUAGE ステートメントを使用できるのは、フィールド、newlist、またはより一般的には翻訳を必要とするストリングが関係する要素を最初に使用するよりも前だけです。

ユーザーの処置: LANGUAGE ステートメントを移動するか、CARLa 入力ストリームの最初のほうに組み込むか、または SETUP PREAMBLE で出力処理を実行する CARLa をオプション CO に含まれるメンバーに移動してください。

重大度: 12

CKR1444 *ddname volser dsn* のシステム *smfid* レコードで使用する複合システム *name* (**Complex name used for system *smfid* records in *ddname volser dsn***)

説明: このメッセージは、ACCESS 入力ファイル内のユーザーが表示することを許可されるシステム ID *smfid* が処理されるごとに 1 回、発行されます。このメッセージは、予期せぬ障害について理解する上で役立つように発行されます。例えば、入力名またはユーザー指定複合システム名のセットが不完全なまま、AM.8.2 でアクセス監視コマンドを生成しようとする、メッセージには、ファイル中のどの複合システム (RACF データベース) のアクセスに障害の原因があるかが示されます。ALLOC コマンドに VERSION が指定されていれば、このメッセージでは、複合システム名の後に VERSION が続いています。

ユーザーの処置: メニュー・オプション AM.8.2 からアクセス監視コマンドを実行しているときに予期せぬ障

害が発生した場合は、このメッセージを検討して問題点を検出してください。

重大度: 00

CKR1445 非対称鍵の使用値は、**(NO)SECUREEXPORT、(NO)HANDSHAKE**、またはそれらの値の組み合わせでなければなりません - *ddname* の行 *number* での「*value*」(**Asymmetric key usage value must be (NO)SECUREEXPORT, (NO)HANDSHAKE, or a combination of them - "value" at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、フィールドに指定された値が、プログラムで予期されたフィールド・タイプと一致しなかったことを示します。

ユーザーの処置: フィールドに適切な値を選択してください。

重大度: 12

CKR1446 対称鍵のエクスポート可能値は、**(BY)ANY、(BY)LIST**、または **(BY)NONE** でなければなりません - *ddname* の行 *number* での「*value*」(**Symmetric key exportable value must be (BY)ANY, (BY)LIST, or (BY)NONE - "value" at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、フィールドに指定された値が、プログラムで予期されたフィールド・タイプと一致しなかったことを示します。

ユーザーの処置: フィールドに適切な値を選択してください。

重大度: 12

CKR1447 *nn* SMF サブレコードが読み取られ、*nn* SMF サブレコードが選択されました (*nn*%) (***nn* SMF subrecords read, *nn* selected (*nn*%)**)

説明: このメッセージは、読み取った SMF サブレコードの数と、選択された SMF サブレコードの数およびパーセンテージを示します。

重大度: 00

CKR1448 重複した **COMPAREOPT TYPE=type NAME=name** 保持バージョン *source* (**Duplicate COMPAREOPT TYPE=type NAME=name retaining version source**)

説明: COMPAREOPT 定義は一度だけ使用できます。

ユーザーの処置: どちらか一方の名前を変更するか、一方の定義を削除してください。

重大度: 12

CKR1449 *source* でも使用されている重複した **COMPAREOPT** フィールド名 *name source* (**Duplicate COMPAREOPT field name name source also used source**)

説明: COMPAREOPT フィールド名リストには、多くて 1 つのフィールド名がリストされます。

ユーザーの処置: 重複した名前を削除してください。

重大度: 12

CKR1450 **COMPAREOPT NAME=DEFAULT** は予約された *source* です。
(**COMPAREOPT NAME=DEFAULT is reserved source.**)

説明: COMPAREOPT 名前 DEFAULT は自動生成用に予約されています。ALLOC FUNCTION=BASE と指定されて自動的に生成される可能性があります。

ユーザーの処置: 別の名前を選択してください。

重大度: 12

CKR1451 定義された *source* ではない **COMPAREOPT NAME=name type=type** (**COMPAREOPT NAME=name type=type not defined source**)

説明: PRINT/OPTION/NEWLIST によって参照される COMPAREOPT は、NEWLIST、DISPLAY、または SORTLIST ステートメントで必要になる前に、COMPAREOPT ステートメントで定義する必要があります。

ユーザーの処置: 「COMPAREOPT=」を使って名前を参照する前に、不足している COMPAREOPT ステートメントを追加してください。また、NEWLIST および COMPAREOPT の newlist "TYPE=" 仕様が一致する必要があります。

重大度: 12

CKR1452 *translation2* によってオーバーライドされた翻訳 *translation1* (**Translation translation1 overridden with translation2**)

説明: LANGUAGE ステートメントの構文解析中、同じストリングまたは値に対して複数の翻訳が見つかりました。最後の翻訳が優先されます。

ユーザーの処置: 最後の翻訳が意図するものであることを確認してください。

重大度: 00

CKR1453 **FORMAT** 名 *name* は *source* での言語翻訳でサポートされていません (**FORMAT name name is not supported for language translation at source**)

説明: 言語翻訳でサポートされていない FORMAT 名が検出されました。構文解析は続行されますが、実行はキャンセルされます。

ユーザーの処置: FORMAT 節を除去するか、フォーマット名を変更してください。

重大度: 12

CKR1454 **PREFIXLEN** は 0 または 29 から 70 の範囲内でなければなりません
(**PREFIXLEN must be 0 or in range 29...70**)

説明: 印刷オプション PREFIXLEN は、0 にするか、28 より大きく 71 より小さい値にする必要があります。

重大度: 12

CKR1455 セグメント全体のスキャンは制限モードでは許可されません - *ddname* の行 *number* (**Scan of entire segment is not allowed in restricted mode - at ddname line number**)

説明: 制限または PADS モードでプログラムを実行しているとき、プロファイル・セグメント全体のスキャンは許可されません。CKR0031 メッセージに示された理由により、あるいは SIMULATE RESTRICT が指定されたため、プログラムは制限モードで実行中です。この状態は、構文エラー (重大度 12) と見なされます。ALLOWRESTRICT 修飾子により、照会を実行する必要があることが明示的に指定されている場合は、スキャンを実行しても何も検出されないことを通知する警告 (重大度 4) としてこのメッセージが発行されます。CKR0170 も参照してください。

重大度: 04 または 12

CKR1456 **NEWLIST** 名の接尾部 *suffix* は無効です。*source* では、「.DISPLAY」が唯一の有効な接尾部です。**(NEWLIST name suffix *suffix* is invalid, ".DISPLAY" is the only valid suffix at *source*.)**

説明: NEWLIST 名に接尾部を付ける場合、有効な接尾部は「.DISPLAY」だけです。実行はキャンセルされます。

ユーザーの処置: 名前の接尾部を修正するか、または除去してください。

重大度: 12

CKR1457 **PREFIXLEN** 値 *val* は 0 または 29 から 70 の範囲内の *source* でなければなりません。**(PREFIXLEN value *val* must be 0 or in range 29..70 *source*.)**

説明: LANGUAGE ステートメントで指定する接頭部の長さは、0 にするか、28 より大きく 71 より小さい値にする必要があります。

ユーザーの処置: 29 以上 70 以下の値を指定するか、PREFIXLEN 仕様を LANGUAGE ステートメントから除去して、接頭部のデフォルト長さを印刷オプション PREFIXLEN の値にしてください。

重大度: 12

CKR1458 *field* での選択は **EXISTS** および **MISSING** でのみサポートされています - *ddname* の行 *number* **(Selection on *field* is only supported for EXISTS and MISSING - at *ddname* line *number*)**

説明: このフィールドは、EXISTS および MISSING 関数の SELECT 節でのみサポートされています。

重大度: 12

CKR1459 ログオン ID *logon_id* には、開始タスク *task_id* の *complex* [*version*] 内の割り当て先グループへのアクセス権限がありません。**(Logon ID *logon_id* has no access to the group that started task *task_id* is assigned to in *complex* [*version*])**

説明: GSO STC レコードは、ログオン ID データベース内で一致する STC ログオン ID が見つからない場合、開始タスクの ID に基づいてログオン ID およびオプションのグループ ID を割り当てます。CA ACF2 r12 では、関連付けられた GSO STC レコードで定義さ

れているグループ ID を開始タスクに割り当てる前に、検証呼び出しが行われ、STC レコードで定義されている割り当てられたログオン ID にグループ ID へのアクセス権限があるかどうか検査されます。ログオン ID に、割り当てられたグループ ID へのアクセス権限を付与するには、TGR リソース・タイプでリソース規則を書き込む必要があります。VERIFY STC' がその検証を行い、ログオン ID にグループ (グループが定義されている場合) へのアクセス権限がない場合にこのメッセージを発行します。

重大度: 04

CKR1461 要求された鍵から *class* の UTF-8 への変換で長さの超過 *length* が発生しました **(Converting requested key to UTF-8 for *class* yielded excessive length**
length)
requestedkey
convertedkey

説明: UTF-8 の鍵を使用するクラス (例えば、IDIDMAP) の選択ステートメントで、KEY=*requestedkey* 仕様が使用されました。索引付きデータベースの読み取りで、探している UTF-8 プロファイル・キーに要求を変換できませんでした。要求は EBCDIC で表示されるのに対し、変換結果は 16 進数で表示されます。

重大度: 12

CKR1462 **racmap *userid* ラベル *label* の除去 - 出力 RACMAP DELMAP (Remove racmap *userid* label *label* - output RACMAP DELMAP)**

説明: このメッセージは、REMOVE USER= コマンドが原因で発行されます。 *userid* を除去するためには、まずその ID マッピングを削除し、それぞれについて RACMAP DELMAP が生成されるようにする必要があります。

重大度: 00

CKR1463 不完全な **COMPAREOPT - TYPE** および **NAME** は必須の *source* です **(Incomplete COMPAREOPT - TYPE and NAME are required *source*)**

説明: COMPAREOPT ステートメントには、ステートメントを識別する名前とタイプの両方が必要です。一方または両方のパラメーターが欠落しています。

ユーザーの処置: 欠落しているパラメーターを追加してください。

重大度: 12

CKR1465 **DEFINE TYPE=*name** は、
COMPARE_RESULT、
COMPARE_CHANGES、
COUNT、
 および **SUMCOUNT source** でのみ許可
 されます (**Define TYPE=*name only**
allowed for COMPARE_RESULT,
COMPARE_CHANGES, COUNT, and
SUMCOUNT source)

説明: 指定された変数名での **DEFINE TYPE=*** はサポートされていないタイプです。TYPE=* では、指定されたタイプのみが許可されます。

ユーザーの処置: TYPE を適切なタイプに変更し、すべての適切なタイプごとに **DEFINE** ステートメントを繰り返してください。

重大度: 12

CKR1466 **DEFINE name TYPE= * source** では
WHERE 節は許可されません (**WHERE**
clause not allowed for define name
TYPE= * source)

説明: 指定された変数名の場合、**DEFINE TYPE=*** では **WHERE** 節は許可されません。TYPE=* では、指定されたタイプのみが許可されます。

ユーザーの処置: **WHERE** 節を除去するか、必要とされるすべてのタイプで **DEFINE** を繰り返し、明示的 **NEWLIST** タイプを指定してください。

重大度: 12

CKR1467 ルックアップのような関数は **DEFINE**
name TYPE=* source では許可されません
(Functions like lookup not allowed for
define name TYPE=* source)

説明: サブストリング、**WORD**、**LOOKUP**などの関数を指定して、指定された変数名で **DEFINE TYPE=*** が指定されました。これらの関数は TYPE=* では許可されません。

ユーザーの処置: 関数を除去するか、必要とされるすべてのタイプで **DEFINE** を繰り返す一方で、明示的 **NEWLIST** タイプを指定してください。

重大度: 12

CKR1468 警告: 変数 **name source** の **TYPE=*** 定義
 は **TYPE=type** 定義 **source2** をオーバーラ
 イドします (**Warning: TYPE=* define**
for variable name source overrides
TYPE=type define source2)

説明: この抑止可能なメッセージは、前の変数定義が **TYPE=*** 定義によって置き換えられることを警告するものです。以前の定義は前の **NEWLIST** で使用され続けている可能性があります。特定のタイプが指定された場合は、同じ変数名でのそのタイプのグローバル・タイプ固有 **DEFINE** もオーバーライドします。このメッセージは、グローバル変数が同じ名前です。インスタンス化されているすべての **NEWLIST** タイプで発行されます。その変数名に対するそれ以後の参照では、オーバーライドされた定義を使用しなくなります。

重大度: 00

CKR1469 **ddname** の行 **number** の **token** の前で
COMPAREOPT keyword1 を指定する必
 要があります (**COMPAREOPT keyword1**
must be specified before token at
ddname line number)

説明: **TYPE** は、**COMPAREOPT** ステートメントの **BY**、**COMPARE**、または **BASE** より前に指定する必要があります。NAME は **BASE** の前に指定する必要があります。

ユーザーの処置: **TYPE** および **NAME** キーワードを、**BY**、**COMPARE**、および **BASE** パラメーターの前に追加または移動してください。

重大度: 12

CKR1470 **origin** の行 **line** のフィールド **field** の値
invalid expression は有効な数式ではあり
 ません (**Field field value invalid**
expression is not a valid numeric
expression at origin line line)

説明: パーサーは、フィールド値に有効な数式が入っていることを予期しています。このコンテキストでは、10進数または数値シンボリック式のどちらかを使用できません。

重大度: 12

CKR1471 リソース・シミュレーション・クラス
class はサポートされていません - **source**
(Resource simulation class class is not
supported - source)

説明: リソース・シミュレーションでは、メンバー・リストに標準的ではない意味を割り当てるクラスはサポートされていません。この制限は、**CONNECT**、**DIGTNMAP**、**DIGTCERT**、**DIRACC**、**DIRAUTH**、**FSSEC**、**FSOBJ**、**GLOBAL**、**GMBR**、**GROUP**、**IDIDMAP**、**NDSLINK**、**NODES**、**NODMBR**、**NOTELINK**、**PMBR**、

PROGRAM、RACFVARS、RVARSMBR、SCDMBR、SECDATA、SECLABEL、SECLMBR、UNIXMAP、USER、VMDBR、VMEVENT、VMXEVENT、VXMBR などのクラスに適用されます。DATASET クラスはどちらの場合もサポートされていません。

ユーザーの処置: DATASET クラスの場合は、リソース・シミュレーションで SIMULATE SENSITIVE コマンドを使用できます。

重大度: 12

CKR1472 複合システム名に **FUNCTION=BASE** と **MAIN** の両方を含めることはできません
(Complex name cannot have both FUNCTION=BASE and MAIN)

説明: 同じセキュリティ・データベースの 2 つのバージョンを比較する場合は、異なる複合システム名を使用してください。同じ複合システム名を使用すると、データベースの一方のバージョンの出力をもう一方のバージョンの出力と区別できなくなります。

このメッセージにより、続いて CKR1434 メッセージが発行される可能性もあります。

ユーザーの処置: FUNCTION=BASE および (デフォルト関数) FUNCTION=MAIN で別の複合システム名を使用してください。

重大度: 12

CKR1474 **COMPARE** が欠落し、**COMPAREOPT TYPE=type NAME=name source** のデフォルトがありません (Missing COMPARE and no default for COMPAREOPT TYPE=type NAME=name source)

説明: 指示された COMPAREOPT ステートメントで COMPARE パラメーターが欠落しています。(The COMPARE parameter is missing on the indicated COMPAREOPT statement.)NEWLIST タイプにデフォルトの COMPARE 値が定義されていません。(A default COMPARE value is not defined for the newlist type.)

ユーザーの処置: COMPARE パラメーターを追加してください。

重大度: 12

CKR1475 *source* で予期されない短い **ACCESS** レコード (Unexpected short ACCESS record at source)

説明: このメッセージは、TYPE=ACCESS として指定された入力ファイルに、TYPE=ACCESS ファイルで許

可されるより短いレコードが含まれていることを示します。入力ファイルで検出されるエラーの数が多すぎる場合は、このメッセージに続いて CKR1477 メッセージが発行されます。

SUPPRESS コマンドを使用すると、このメッセージを抑止できます。

ユーザーの処置: TYPE=ACCESS の ALLOC ステートメント、または SETUP 入力ファイル・パネルで、適切なデータ・セットと TYPE を指定したことを確認してください。

重大度: 16

CKR1476 *source* でサポートされていない **ACCESS** レコード・タイプ *xx* (Unsupported ACCESS record type *xx* at source)

説明: このメッセージは、TYPE=ACCESS として指定された入力ファイルに、非認識のレコード ID *xx* が含まれていることを示します。検出されるエラーの数が多すぎる場合は、このメッセージに続いて CKR1477 メッセージが発行されます。

SUPPRESS コマンドを使用すると、このメッセージを抑止できます。

ユーザーの処置: TYPE=ACCESS の ALLOC ステートメント、または SETUP 入力ファイル・パネルで、適切なデータ・セットと TYPE を指定したことを確認してください。

重大度: 16

CKR1477 **TYPE=ACCESS** 入力でのエラーが多すぎます。*source* ではファイルの残りをスキップします (Excessive errors in TYPE=ACCESS input; skipping rest of file at source)

説明: このメッセージは、TYPE=ACCESS として指定されたファイルで 100 件を超えるエラーが検出されたことを示します。ファイルの残りはスキップされます。

SUPPRESS コマンドを使用すると、このメッセージを抑止できます。

ユーザーの処置: TYPE=ACCESS の ALLOC ステートメント、または SETUP 入力ファイル・パネルで、適切なデータ・セットと TYPE を指定したことを確認してください。

重大度: 16

CKR1478 **COMPARE_CHANGES** は **SUMMARY** でサポートされていません
(**COMPARE_CHANGES not supported on SUMMARY**)

説明: 比較プロセスの結果は **COMPARE_CHANGES** 変数によって戻されます。**COMPARE_CHANGES** 結果を報告するには、**SORTLIST** または **DISPLAY** コマンドを使用する必要があります。**SUMMARY** コマンドは使用できません。

重大度: 12

CKR1479 **SYSLOG** は **VM** ではサポートされていません (**SYSLOG is not supported under VM**)

説明: UNIX **SYSLOG** 受信側への **SYSLOG** メッセージの書き込みは、**z/VM** 環境で直接的にサポートされていません。

ユーザーの処置: **z/OS** 環境でこの **CARLa** を実行してください。

重大度: 12

CKR1480 **SYSLOG** アラート *n* **sockdesc m** の **sendto** に失敗しました **UNIX error, name source (Sendto for syslog alert n to sockdesc m failed UNIX error, name source)**

説明: 表示されたエラーにより **UNIX sendto** サービスが失敗したことを示します。

ユーザーの処置: エラーを訂正し、やり直してください。

重大度: 12

CKR1481 **sockdesc n** の **addr** ポート *port* への **SYSLOG** アラートの送信、*name source syslog_line (Sending syslog alert n to addr port port on sockdesc n, name source syslog_line)*

説明: アラートの宛先を示します。また、**SYSLOG** メッセージの **EBCDIC** エンコード方式も示します。ただし、情報は **UTF-8** フォーマットで送信されます。

addr フォーマットは、ソケット記述子を作成する場合の **IP** スタックに対応します。**IPv6** スタックが使用可能な場合、**IPv4** アドレスは **IPv6** ソケットにマッピングされ、次のフォーマットで表示されます:

::FFFF:n.n.n.n。ここで、*n.n.n.n* は **IPv4** アドレスです。以下の例は、**IPv4** と **IPv6** の異なるメッセージ・

フォーマットを示しています。

IPv6 スタックにマッピングされる **IPv4** アドレスのメッセージ:

CKR1481 00 Sending syslog alert 0 to ::FFFF:127.0.0.1 port 514 on sockdesc 0, IPV6V4 at SYSIN line 6

IPv6 スタックのメッセージ:

CKR1481 00 Sending syslog alert 0 to ::1 port 514 on sockdesc 0, IPV6V4 at SYSIN line 6

IPv4 スタックのメッセージ:

CKR1481 00 Sending syslog alert 0 to 127.0.0.1 port 514 on sockdesc 0, IPV4LCL at SYSIN line 6

重大度: 00

CKR1482 空の **SYSLOG** アラート *n, name source (Empty syslog alert n, name source)*

説明: **SYSLOG** メッセージの送信要求に空の行があるか、または行がまったくありません。

ユーザーの処置: **SYSLOG** メッセージの生成で使った **CARLa** を修正し、もう一度試してください。

重大度: 12

CKR1483 **SYSLOG** アラート *n* は行数が **1** 行を超えています。 *name source syslog_line_1 syslog_line_2 (Syslog alert n has more than 1 line, name source syslog_line_1 syslog_line_2)*

説明: **SYSLOG** アラートで送信される通知は最初の行だけです。

ユーザーの処置: アラートを変更して **1** 行に減らしてください。

重大度: 12

CKR1484 **SYSLOG** の **IPv4 family sockettype protocol** ソケット呼び出しに失敗しました **UNIX error (IPv4 family sockettype protocol socket call for syslog failed UNIX error)**

説明: **UNIX socket** サービスによる **IPv4** ソケットの設定が試みられましたが、この試みは示された診断情報を出力して失敗しました。

ユーザーの処置: **IBM Knowledge Center for z/OS** から入手可能な「**z/OS UNIX System Services Messages**

and Codes」リファレンス・マニュアルを参照してください。

重大度: 12

CKR1485 **IPv4 SYSLOG** ソケットのクローズに失敗しました *UNIX error (IPv4 syslog socket close failed UNIX error)*

説明: IPv4 ソケットのクローズが試みられましたが、この試みは示された診断情報を出力して失敗しました。

ユーザーの処置: z/OS インターネット・ライブラリーから入手可能な「z/OS UNIX System Services メッセージおよびコード」のリファレンス・マニュアルを参照してください。

重大度: 12

CKR1486 **SYSLOG** システム異常終了 *abend-reason (description)* の *ipstack family sockettype protocol* ソケット呼び出し (*ipstack family sockettype protocol socket call for syslog system abend abend-reason (description)*)

説明: IPv4 または IPv6 ソケット呼び出しに失敗したことを示します。*ipstack family sockettype protocol* アドレスは、作成されているソケットのタイプに応じて、IPv4 または IPv6 のどちらかになります。異常終了コードの追加情報については、z/OS インターネット・ライブラリー から入手可能な「Communications Server IP and SNA Codes」マニュアルを参照してください。

重大度: 12

CKR1487 *ipstack family sockettype protocol* **syslog sockdesc n** が作成されました (**Created ipstack family sockettype protocol syslog sockdesc n**)

説明: *ipstack family sockettype protocol* アドレスは、SYSLOG ソケット記述子で使用する IP ソケットに応じて、IPv4 または IPv6 のどちらかになります。IPv6 スタックを使用できない場合、ソケット記述子は IPv4 スタックを使用し、IPv4 アドレスに限定されます。以下の例は、IPv6 と IPv4 の異なるメッセージ・フォーマットを示しています。

```
CKR1487 00 Created IPv6 AF_INET6 DGRAM UDP syslog sockdesc 0
CKR1487 00 Created IPv6 AF_INET6 STREAM TCP syslog sockdesc 1
```

重大度: 00

CKR1488 **CMSMODE** は **DSN/DA/DATASET** でのみ有効です - *token AT ddname LINE number* の前 (**CMSMODE is only valid with DSN/DA/DATASET - before token AT ddname LINE number**)

説明: このメッセージは、z/VM の場合、RACF データベースの CARLa ALLOC ステートメントでは、CMSMODE パラメーターを使用するときに DSN、DA、または DATASET パラメーターを必要とすることを示します。

重大度: 12

CKR1489 **CMSMODE** は、**VOL/UNIT** と同時に指定できません - *token AT ddname LINE number* の前 (**CMSMODE is mutually exclusive with VOL/UNIT - before token AT ddname LINE number**)

説明: このメッセージは、z/VM の CARLa ALLOC ステートメントで、RACF データベース・データ・セットの CMSMODE パラメーターと一緒に、誤って V、VOL、VOLSER、VOLUME、U、または UNIT 割り振りパラメーターが指定されたことを示します。CMSMODE パラメーターは、ファイルを割り振るため、DSN、DA、または DATASET パラメーターとのみ一緒に使用できます。

重大度: 12

CKR1490 **VM** 環境の **DSN/DA/DATASET** では **CMSMODE** が必要です - *token AT ddname LINE number* の前 (**CMSMODE is required with DSN/DA/DATASET under VM - before token AT ddname LINE number**)

説明: このメッセージは、z/VM 環境の CARLa ALLOC ステートメントで、RACF データベース・データ・セットの CMSMODE パラメーターを指定しなかったことを示します。

重大度: 12

CKR1491 **VM** 環境では許可されない **MEMBER** 仕様 - *token AT ddname LINE number* の前 (**MEMBER specification not allowed under VM - before token AT ddname LINE number**)

説明: このメッセージは、z/VM 環境の CARLa ALLOC ステートメントで、RACF データベースの DSN、DA、または DATASET パラメーターに誤ってメンバーを指定したことを示します。

CKR1492 • CKR1497

重大度: 12

CKR1492 CMSMODE は VM でのみ有効です -
token AT ddname LINE number の前
(CMSMODE is only valid under VM -
before token AT ddname LINE number)

説明: このメッセージは、z/OS 環境の CARLa ALLOC ステートメントで、RACF データベース・データ・セットの CMSMODE パラメーターを誤って指定したことを示します。このパラメーターは、z/VM でのみ使用できません。

重大度: 12

CKR1493 複合システム *complex* に ACF2 SVC-A
を使用できません: *reason*。(Cannot use
ACF2 SVC-A for complex *complex*:
reason.)
dsn にフォールバックします (Falling
back to *dsn*)

説明: このメッセージは、プログラムがアクティブなログオン ID データベースへの IO を実行するのに ACF2 変更 SVC を使用できないことを示します。代わりに、バックアップ・データベースが使用されます。ACF2 SVC を使用できない理由はいくつかありますが、経験法則では、SVC の使用がサポートされるのは NEWLIST TYPE=ACF2LID の場合のみであり、LID または LID マスクには明示的な SELECT ステートメントが必要です。さらに、SELECT ステートメントは複雑すぎではいけません。

重大度: 00

CKR1494 サーバーへのクライアント接続に失敗しました RC=*decnum* (Client connection to
server failed RC=*decnum*)

説明: このメッセージは、CARLa 照会が zSecure Server にアクセスする必要があったが、示された戻りコードでサーバーへの接続試行が失敗したことを示します。例えば一部のフィールドが指定されているが、検査できなかった場合です。

このサーバーが照会に必要な場合は、メッセージ CKR2351 も表示されます。

戻りコード値:

- 2 前のサーバー・エラー CKN メッセージを参照してください。このメッセージの前に、サーバーの ZSECSYS 名が示されます。
- 4 バッファーにすべては適合しなかった
- 8 サポートされない関数

372 メッセージ・ガイド

12 クライアントとして許可されていない呼び出し元

16 無効なパラメーター

ユーザーの処置: このメッセージの前の CKN* サーバー・メッセージを検索して、そのガイダンスに従ってください。2 より大きい戻りコードの場合は、CKR1494 の情報および示された戻りコードについて、サポート・サイトを検索してください。サーバーを再始動して、問題が解決したかどうか確認してください。

重大度: 0

CKR1495 SERVERTOKEN=*name* のアクティブな
サーバーがありません (There is no
server active with
SERVERTOKEN=*name*)

説明: このメッセージは、CARLa 照会が zSecure Server にアクセスする必要があったが、示されたサーバー・トークンを持つアクティブ・サーバーを検出できなかったことを示します。

このサーバーが照会に必要な場合は、メッセージ CKR2351 も表示されます。

ユーザーの処置: ISPF ユーザー・インターフェースの実行時に SETUP RUN でサーバー・トークンが正しいかどうかを確認してください。トークンが正しい場合は、サーバーがまだ稼働していることを確認します。サーバーが稼働していない場合は、再始動してください。

重大度: 0

CKR1496 ACF2 からの予期しない RC : *msg*
(Unexpected RC from ACF2: *msg*)

説明: このメッセージは、プログラムがログオン ID データベースからレコードを読み取るために ACF2 変更 SVC を使用していたことを示します。このプロセス中に、詳細を提供するメッセージが付随した、ゼロ以外の戻りコード (失敗を示す) を ACF2 から受け取ります。メッセージのテキストをここに再現します。

重大度: 20

CKR1497 *zsec_parm* のローカル・ノードを解決できない (Unable to resolve local node for
zsec_parm)

説明: CKR1497 メッセージは、ZSECNODE または ZSECSYS パラメーターで「*」または「.」のどちらかが指定され、選択したサーバーのノード値またはシステム値のいずれもノード・テーブルで解決できない場合に発行されます。この場合、処理は続行されません。このメッセージが発行された場合は、通常、この時点でマル

チシステム・サーバーが要求を処理できないことを示します。

`zsec_parm` の設定は以下のいずれかにすることができます。

- ZSECNODE=.
- ZSECNODE=*
- ZSECSYS=.
- ZSECSYS=*

重大度: 12

CKR1498 オプション **DD** および **SYSLOG** は同時に使用することができません (**Options DD and SYSLOG are mutually exclusive**)

説明: NEWLIST ステートメントで DD (DDNAME,FILE,F) と SYSLOG の両方を指定することはできません。

ユーザーの処置: NEWLIST ステートメントで DD

メッセージ 1500 から 1599

CKR1500 *program* の無効な
\$ANYMISSINGMIGC: volser dsname
(Invalid \$ANYMISSINGMIGC in
program: volser dsname)

説明: このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1501 **CKRPUTV: ddname** の行 *number* で
fieldtype フィールド *fieldaddr fieldname* の
calltype 呼び出しが定義されました
(**CKRPUTV: calltype call for fieldtype**
field fieldaddr fieldname defined at
ddname line number)

説明: *fieldaddr fieldname* によって指定されたフィールドを再び保管することはできません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

(DDNAME,FILE,F) または SYSLOG パラメーターの一方が指定され、その両方が指定されていないことを確認します。

重大度: 12

CKR1499 **CKRSVPUT** 同期エラー - ファイル
ddname が開くのを待っていますが、
clientno の *ddname2* が見つかりました
(**CKRSVPUT sync error - waiting for**
file ddname open but finding ddname2
for clientno)

説明: このメッセージは、zSecure Server を介したリモート CKRCARLA との通信でエラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置: 同時に使用するリモート・ファイルの数を少なくしてください。

重大度: 20

CKR1502 **CKRPRMSG.CKRM385: メッセージ**
msgid に、*class profile* では予期されない
eyecatcher タイプのメンバー項目がありま
す (**CKRPRMSG.CKRM385: Message**
msgid has unexpected member entry of
type eyecatcher for class profile)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このエラーの場合に特に重要な情報は、*msgid* と、示された *profile* に実際にあるメンバー・リストです。*msgid* の最初の 4 文字は、部分的に失敗している関数を示します (例えば、VERIFY PERMIT の「VPRM」)。

重大度: 24

CKR1503 **E** メール送信された XML 文書 DD
ddname では **ENCODING=UTF-8** を使用
してください (**E-mailed XML document**
DD ddname should use
ENCODING=UTF-8)

説明: z/OS SMTP サーバーは EBCDIC からの E メールを自動的に ASCII に変換します。E メール送信された XML 文書でデフォルトの ENCODING=EBCDIC を使用すると、EBCDIC エンコードされた文書であることを示すヘッダーを含んだ ASCII 文書が作成されま

す。そのような XML 文書は、使用する XSLT プロセッサによって構文解析できない可能性があります。XML 文書では ENCODING=UTF-8 を使用することを推奨します。

重大度: 04

CKR1504 動的解析テーブルのストレージを取得できません。(Unable to obtain storage for Dynamic Parse Table.)Size=nnnnnnn、SYSTEM=ssssssss、DDNAME=ddddddddd (Size=nnnnnnn, SYSTEM=ssssssss, DDNAME=ddddddddd)

説明: CKFREEZE データ・セットまたは UNLOAD データ・セットを処理する間、ストレージを取得して動的解析テーブルを再構築することができませんでした。値 ssssssss および dddddddd により、処理中の CKFREEZE または UNLOAD データ・セットを識別できます。値 nnnnnn は、テーブルで要求されるストレージのサイズ (バイト単位) です。

このエラーは、CKFREEZE または UNLOAD データ・セットの読み取り中に発生しました。データ・セットで動的解析テーブルのレコードが見つかりましたが、レコードからテーブルを再構成する試みに失敗しました。このメッセージの結果として、この入力ファイルから動的解析テーブルは作成されません。これは、RACF カスタム・フィールドの処理に影響を与えます。

ユーザーの処置: このエラーは、CKFREEZE または UNLOAD データ・セットの破損が原因で発生したと考えられます。CKFREEZE または UNLOAD データ・セットがソートされている場合、または何らかの方法でレコードがドロップまたは変更されている場合は、この種類のエラーが発生する可能性があります。データ・セットが処理されているアドレス・スペースに割り振られているメモリーが不十分であるという可能性もあります。問題を解決できない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1505 動的解析テーブルのエラー (Errors in Dynamic Parse Table.)text、Table Part = nn、SYSTEM=ssssssss、DDNAME=ddddddddd (text, Table Part = nn, SYSTEM=ssssssss, DDNAME=ddddddddd)

説明: 動的解析テーブルの再構成中にエラーが発生しま

した。メッセージに示されるテキスト値は以下の値のいずれかになります。

- 「シーケンス・エラー (Sequence error)」は、検出されたレコードに順次レコード番号がないことを示します。
- 「アドレスの不一致 (Address mismatch)」は、レコードの中に一致するオリジナル・アドレスがないことを示します。
- 「長さの不一致 (Length mismatch)」は、レコードの中に予期される長さがないことを示します。
- 「ポインター・エラー (Pointer error)」は、内部ポインターの調整時に、内部アドレスがテーブル境界の外にあることが検出されたことを示します。
- 「バッファ・オーバーラン (Buffer overrun)」は、テーブルの作成時に、動的解析テーブルの領域の終わりを過ぎて書き込もうとする試みが検出されたことを示します。

値 nn は、最後に処理されたテーブルのセクションを識別します。値 ssssssss および dddddddd により、処理中のデータ・セットを識別できます。

このエラーは、CKFREEZE または UNLOAD データ・セットの読み取りおよび処理中に発生しました。ファイルに動的解析テーブルのレコードが見つかりましたが、レコードからテーブルを再構成する試みに失敗しました。このメッセージの結果として、この入力ファイルから動的解析テーブルは作成されません。これは、RACF カスタム・フィールドの処理に影響を与えます。

ユーザーの処置: このエラーは、CKFREEZE または UNLOAD データ・セットの破損が原因で発生したと考えられます。CKFREEZE または UNLOAD データ・セットがソートされている場合、または何らかの方法でレコードがドロップまたは変更されている場合は、この種類のエラーが発生する可能性があります。データ・セットが処理されているアドレス・スペースに割り振られているメモリーが不十分であるという可能性もあります。問題を解決できない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1506 8 文字より長い CSDATA キーワード名 name です。(CSDATA keyword name name longer than 8 characters.) キーワードを無視します。(Ignoring keyword.)

説明: 動的解析テーブルに 8 文字より長いカスタム・

フィールドがあります。このキーワードは無視されます。

重大度: 20

CKR1507 無効な CSTD の長さ *length* で呼び出された *procedure (procedure called with invalid CSTD length length)*

説明: カスタム・フィールド処理で内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1509 CKRMODE OTYPCSD 内部エラー。
(CKRMODE OTYPCSD Internal error.)Reason

説明: カスタム・フィールドの上書き処理で内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1510 不完全な INFO データが戻されました -
DNAM ブロック欠落 (Incomplete
INFO data returned- missing DNAM
block)

説明: このメッセージは、サーバーからのノード情報データで予期せぬ状態が戻されたことを示します。

ユーザーの処置: 情報が欠落していない場合は、このメッセージを無視してください。情報が欠落している場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 4

CKR1511 CKRFMT.C.PRTFLD: *fieldname source* の
無効な索引とともに呼び出されました
(CKRFMT.C.PRTFLD: Called with
invalid index for *fieldname source*)

説明: これは内部エラー・メッセージです。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照し

て、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1512 CKRINP@.VXMLTAB: ハッシュ文字変換
の戻り値が予期しない長さ *length* です。
'string' (CKRINP@.VXMLTAB:
Unexpected returned length *length* of
hash character translation 'string')

説明: XML 出力の文字を正しくエスケープするために、zSecure は CCSID 内のハッシュ文字の 16 進値を調べようとしていました。CCSID は、CARLa オプション MY_CCSID で指定されます。変換ルーチンが、ヌル・ストリング、または 1 バイトよりも長いストリングを返しました。これは予期されていません。

ユーザーの処置: MY_CCSID で使用されている CCSID が有効であること、および z/OS の Unicode に対するサポートがアクティブで、適切なテーブルがロードされていることを確認してください。

重大度: 24

CKR1513 *act_rec_length* バイトが CKFREEZE から
読み取られました。expected_rec_length が
期待されていました。(act_rec_length
bytes read from CKFREEZE,
expected_rec_length expected.) レコード:
CKFREEZE の *recid* (Record: *recid* of
CKFREEZE)

説明: 指定された CKFREEZE データ・セット (CKFREEZE) から読み取られたレコード (*recid*) について、実際の NMI レコードの長さが、期待される NMI レコードの長さと同じでない場合は、エラーが発生します。

ユーザーの処置: このメッセージを使用して、予期しないレコードの切り捨てまたは入出力エラーをトラブルシューティングしてください。

重大度: 08

CKR1514 CKRLKT: KEY_IMPLICIT ですが
LOOKUP_TLUR がありません
(CKRLKT: KEY_IMPLICIT but no
LOOKUP_TLUR)

説明: 予期しない状態が発生したため、プログラムは、ユーザー異常終了 1514 で終了します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照し

て、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1515 **SIM CLASS=class RESOURCE=resname**
 複合システム *complex* システム *system*
 で機密性「*senstype*」の **ACCESS=access**
 が重複しています (**Duplicate**
ACCESS=access for sensitivity "senstype"
on SIM CLASS=class
RESOURCE=resname complex complex
system system)

説明: このメッセージは、SIMULATE CLASS ステートメントが組み込みの機密性と競合している場合に発行されます。これは内部エラーです。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1516 予期しないオブジェクト・タイプ *type* です (**Unexpected object type type**)

説明: このメッセージは、内部エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1517 エラー: **SEGCBIT** フィールドに使用可能なスペースがなくなりました (**Error: no more space available in SEGCBIT field**)

説明: このメッセージは、破損した RACF データベースの使用、またはプログラムの内部エラーが原因で発行される場合があります。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1518...CKR1519 *message*

説明: この範囲のメッセージはすべて、内部の整合性検査の結果として生成される内部エラー・メッセージです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1520 バッファ *name* が *profilename* には小さすぎます (**Buffer name too small for profilename**)

説明: 指定されたバッファが行コマンド処理に使用されます。1 つのプロファイル名を含めるには小さすぎます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1521 内部エラー: **"text"** 不明なプロトコル、*ddname* の行 *line* の **newlist newlist** (**Internal error: "text" unknown protocol, newlist newlist at ddname line line**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1522 **CKROUNIT.CKRSADR** 内部エラー: *destination* の **SADP port** が *newlist source* にありません (**CKROUNIT.CKRSADR Internal error: SADP port for destination not located at newlist source**)

説明: このメッセージの後に、ユーザー異常終了 1522 が続きます。これは抑止できません。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1540 システム *system* の *callid* で **TMNT** なしの **QMNT: qualifier**
QMNTaddr. hexvalue (**QMNT without TMNT at callid for system system : qualifier**
QMNTaddr. hexvalue)

説明: マウント・ポイントの検索が正常に完了しました。マウント・ポイントは見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1554 *ddname* の **CKRXINIT.CKRDBPUT OPEN** で **RC=rc** が戻されました - **User ABEND 1554** を発行
(CKRXINIT.CKRDBPUT OPEN for ddname returned RC=rc - issuing USER ABEND 1554)

説明: このメッセージは、サーバーとして実行されている CKRCARLA インスタンスが、*ddname* で送信される RACF データについてクライアントと通信している間に重大エラーを受信したことを示します。この重大度のエラー (*rc* 12 以上) はリカバリーできません。サーバーはユーザー ABEND 1554 を発行して要約ダンプを生成します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1555 **RC=rc** を戻した *ddname* の **CKRXINIT.CKRDBPUT function - USER ABEND 1555** を発行します
(CKRXINIT.CKRDBPUT function for ddname returned RC=rc - issuing USER ABEND 1555)

説明: このメッセージは、サーバーとして実行されている CKRCARLA インスタンスが、*ddname* で送信されている RACF データについてクライアントと通信している間に重大エラーを受信したことを示します。この重大度のエラー (*rc* 12 以上) はリカバリーできません。サーバーはユーザー ABEND 1555 を発行して要約ダンプを生成します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1556 **CKRXINIT.CKRDBPUT: ddname** での不明な機能コード *code*
(CKRXINIT.CKRDBPUT: Unknown function code code for ddname)

説明: このメッセージは、サーバー CKRCARLA インスタンスからクライアントに RACF データを送信するルーチンが、*ddname* に関して解釈不能な機能要求によって呼び出されたことを示します。要求は無視されます。このメッセージの後は、メッセージ CKR0809 が続きます。これらのメッセージは抑止可能です。

重大度: 24

CKR1557 **CKROUNIT.TLSDINIT: UTF-8** への *fieldname1* の変換はサポートされていません - *ddname* の行 *number* でのフィールド *fieldname2*. (**CKROUNIT.TLSDINIT: Conversion of fieldname1 to UTF-8 is not supported - field fieldname2 at ddname line number.**)

説明: このメッセージは抑止可能です。この場合は変換が行われません。(Fieldname2 は要求されたフィールド、fieldname1 は実際のデータベース・フィールドです。それらは、fieldname2 が定義済み変数である場合には異なる可能性があります。)

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されて

いる手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1558 **CKROUNIT.TLSDINIT: EBCDIC** への *fieldname1* の変換はサポートされていません - *ddname* の行 *number* でのフィールド *fieldname2*. (**CKROUNIT.TLSDINIT: Conversion of *fieldname1* to EBCDIC is not supported - field *fieldname2* at *ddname* line *number*.**)

説明: このメッセージは抑止可能です。この場合は変換が行われません。(Fieldname2 は要求されたフィールド、fieldname1 は実際のデータベース・フィールドです。それらは、fieldname2 が定義済み変数である場合には異なる可能性があります。)

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1559 **CKRLKPP.CKRIDID: *fieldname1* の繰り返しグループ制限はサポートされていません - *ddname* の行 *number* で定義されているフィールド *fieldname2***
(CKRLKPP.CKRIDID: Repeat group restriction for *fieldname1* is not supported - field *fieldname2* defined at *ddname* line *number*)

説明: Fieldname2 は、生成されるレポートに空で表示されます。このメッセージは抑制することができます。(Fieldname2 は要求されたフィールド、fieldname1 は実際のデータベース・フィールドです。それらは、fieldname2 が定義済み変数である場合には異なる可能性があります。)

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1560 ファイル *file1* および *file2* への同時入出力はサポートされていません (**No support for simultaneous I/O to files *file1* and *file2***)

説明: このメッセージには、zSecure Server が、リモ

ート・サーバー上の異なる RACF データベースへの同時入出力をサポートしないことが示されます。プログラムはユーザー異常終了 1560 を発行します。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーあたり 1 つのセキュリティー・データベースのみにアクセスするように照会を変更してください。

重大度: 20

CKR1561 **CKRSVPUT は WKQR address type flags ではなく SVPUT を予期しています (CKRSVPUT expects SVPUT instead of WKQR address type flags)**

説明: これは内部エラー・メッセージです。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1562 **CKRSVPUT 予期せぬ関数 *nm* (CKRSVPUT unexpected function *nm*)**

説明: これは内部エラー・メッセージです。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 1562 が続きます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1563 **CKRSVPUT ファイル・レベル SVPUT WKQR address type flags ではない無効な WKQRTYPE (CKRSVPUT invalid WKQRTYPE *nm* instead of file level SVPUT WKQR address type flags)**

説明: これは内部エラー・メッセージです。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1564 ファイル *FILE1* および *FILE2* への同時入出力はサポートされていません (**No support for simultaneous I/O to files *FILE1* and *FILE2***)

説明: このメッセージには、zSecure Server が、1 つ以上のリモート・ファイルについて、異なる受信側への同時入出力をサポートしないことが示されます。プログラムはユーザー異常終了 1564 を発行します。

ユーザーの処置: ターゲット・サーバーあたり少ない数の同時入出力操作を実行するように照会を変更してください。

重大度: 20

CKR1565 不明な NDEI フォーマット - RRSF 情報が使用できません。 (**Unknown NDEI format - RRSF information is unavailable.**)

説明: RRSF 定義が読み取られませんでした。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR1566 DIRLIST パラメーター・エラー。 (**DIRLIST parameter error.**)ZERRMSG=*error_message* (**ZERRMSG=*error_message***)

説明: このメッセージは、DIRLIST サービスの呼び出し中に内部エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1567 アクセス I/O が停止しました (**ACCESS I/O stalled**)

説明: TYPE=ACCESS I/O スケジューラーが間違っています。このエラーの後、ユーザー異常終了 1567 が続きます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照し

て、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1587 CKAOUNIX.CKAFAID: 監査 ID *fileauditid* に対して無効なトークンを使用して後続の呼び出しが行われました。システム *system* 複合システム *complex* 索引 *index* (**CKAOUNIX.CKAFAID: Follow-on call with invalid token for auditid *fileauditid* system *system* complex *complex* index *index***)

説明: UNIX ファイル監査 ID を使用してパス名の判別が行われたときに予期しない状態が発生し、解決に失敗しました。解決は、SMF レポート内のパス名の品質を向上させるなどの目的で行われます。system 名と complex 名によって CKFREEZE が識別されます。このメッセージは抑制することができます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1596 CKRINLT: 無効な CALLTYPE *type* で呼び出されました (**CKRINLT: Called with invalid CALLTYPE *type***)

説明: newlist タイプ入力パーサーが間違っています。TYPE= 指定が認識されません。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1597 *procedure* パラメーター *eyecatcher* は *name* ではありません (***procedure parm eyecatcher not name***)

説明: *procedure* の呼び出しパラメーターの検証に失敗しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探して

ください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1598 *ddname* の行 *number* で *fieldname* のフォーマットは未解決です (**Format unresolved for *fieldname* at *ddname* line *number***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

メッセージ 1600 から 1699

CKR1600 *message*

説明: このメッセージは、デバッグ・オプションに 응답して発行されます。このメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKR1601 *jobtag* は、*ddname* 行 *recno* で
[derived|later] CICS 辞書 [<system>
<date time>] を使用します (*jobtag* uses
[derived|later] CICS dictionary
[<system> <date time>] at *ddname* line
recno)

説明: この通知メッセージは、*jobtag* のすべての CICS パフォーマンス・レコードによって使用される CICS パフォーマンス・レコード辞書を含むレコードを示します。**later** フラグ値は、このレコードが、CICS パフォーマンス・レコード自体よりも後に書き込まれたことを意味します。**derived** フラグ値は、SMF には *jobtag* について突き合わせる CICS 辞書が含まれていないことを意味します。この場合、辞書はパフォーマンス・レコードから派生します。派生した辞書の場合、メッセージはシステム日付、時刻、およびレコード番号を示しません。

重大度: 00

CKR1602..1697 *message*

説明: これらのメッセージは、デバッグ・オプションへ

重大度: 24

CKR1599 CKROUNIT 内部エラー: UTFDEFV
なしの UTFSLCT (CKROUNIT
internal error: UTFSLCT without
UTFDEFV)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

の応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKR1698 経過/CPU *x.xxxxxx/y.yyyyyy* の合計
e.aaaaa/c.ccccc メッセージ *mmmmmmmm*
(Elapsed/CPU *x.xxxxxx/y.yyyyyy* total
e.aaaaa/c.ccccc msg *mmmmmmmm*)

説明: このメッセージは、DEBUG PERFORM 要求への応答として書き込まれ、前の CKR1698 (最初のメッセージの場合はプログラムの開始) 以降の経過時間と CPU 時間、およびそれに続いてプログラムの開始以降の経過時間と CPU 時間の合計が記録されます。時間は、6 桁の秒数によりマイクロ秒の精度で表示されます。メッセージの最後には、ISPF 状況メッセージ番号が記録されます。そのプログラムが ISPF アプリケーションとして実行されていた場合は、SUPPRESS MSGTIMER をアクティブにしたときに画面に表示されるような、ISPF メッセージの実際の内容を示す継続行が示されます。CKR1698 メッセージと継続行は、SUPPRESS MSGTIMER 設定とは関係なく書き込まれます。ISPF アプリケーションの場合、経過時間には、ユーザーがコマンドが発行するまでのプログラムの待ち時間もすべて含まれます。

重大度: 00

CKR1699 *message*

説明: このメッセージは、デバッグ・オプションへの応

答です。このメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

メッセージ 1700 から 1799

CKR1700 C2ARULE: レコード *record* が破損しました: 再構成テーブルのオフセットアウト (**C2ARULE: record record corrupted: offset out of Reconstruction Table**)

説明: 示されたアクセス・ルール・レコードに予期しないレイアウトがあります。破損している可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1701 C2ARULE: レコード *record* が破損しました: 辞書のオフセットアウト (**C2ARULE: record record corrupted: offset out of Dictionary**)

説明: 示されたアクセス・ルール・レコードに予期しないレイアウトがあります。破損している可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1702 C2ARULE: レコード *record* が破損しました: データ領域のオフセットアウト (**C2ARULE: record record corrupted: offset out of Data area**)

説明: 示されたアクセス・ルール・レコードに予期しないレイアウトがあります。破損している可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1703 CKRPUTV.CKRPTCLS: *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr* *fieldname*、**TLST recordaddr** でステージング領域にある繰り返しグループ項目が多すぎます (**CKRPUTV.CKRPTCLS: Too many repeat group entries in staging area for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr defined at ddname line number**)

説明: 繰り返しグループ *field* を閉じようとするときに、予想外に多数の繰り返しグループ項目が検出されました。これは、早い段階の処理で防止すべきでした (CKR1051 を参照)。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。示された *record* のフィールドは空として表示されます。

重大度: 24

CKR1704 CKRPRMSG.CKRM301: メッセージ *msgid* に、**DATASET profile volume** では予期されないタイプ *eyecatcher* の **WHEN** 節があります (**CKRPRMSG.CKRM301: Message msgid has unexpected WHEN clause of type eyecatcher for DATASET profile volume**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このエラーの場合、特に重要な情報は、*msgid* と、示された *profile* に実際に含まれている **WHEN** 節です。*msgid* の最初の 4 文字は、部分的に失敗している関数を示します (例えば、**VERIFY PERMIT** の「**VPRM**」)。

重大度: 24

CKR1705 CKRPRMSG: メッセージ *msgid* に、*class profile* では予期されない *eyecatcher* タイプの **WHEN** 節があります (**CKRPRMSG: Message msgid has unexpected WHEN clause of type**

eyecatcher for class profile)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このエラーの場合、特に重要な情報は、*msgid* と、示された *profile* に実際に含まれている WHEN 節です。*msgid* の最初の 4 文字は、部分的に失敗している関数を示します (例えば、VERIFY PERMIT の「VPRM」)。

重大度: 24

CKR1706 CKRPRMSG.CKRWPGM: PROGRAM
profile のメッセージ *msgid* に *eyecatcher - hexvalue* タイプの予期されない WHEN 節があります (**CKRPRMSG.CKRWPGM: Message *msgid* for PROGRAM *profile* with unexpected WHEN clause of type *eyecatcher - hexvalue***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このエラーの場合、特に重要な情報は、*msgid* と、示された PROGRAM *profile* に実際に含まれている WHEN 節です。*msgid* の最初の 4 文字は、部分的に失敗している関数を示します (例えば、VERIFY PERMIT の「VPRM」)。

重大度: 24

CKR1707 CKRDDC: 未定義の呼び出しタイプ
hexvalue (**CKRDDC: Undefined calltype *hexvalue***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1708 CKRDDC: TSEG で未定義の
GENERAL SEGMENT *segment*
(CKRDDC: GENERAL SEGMENT
segment not defined in TSEG)

説明: 示されたセグメントが定義されていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サ

ポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1709 CKATUID: TUID ツリーで見つからない
RACFid UGID *ugid* です (CKATUID:
RACFid UGID *ugid* not found in TUID
tree)

説明: UNIX UID から RACF ユーザー ID への、または UNIX GID から RACF グループへのルックアップ・ツリーの作成中に問題が発生しました。このメッセージの後に、ユーザー異常終了 1709 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1710 CKRCFV: system complex でのディレクトリー・レベルのエラー: *directoryname* にあるデバイス *dev* の *currdepth* から *newdepth* (**CKRCFV: Directory level error in system complex: from *currdepth* to *newdepth* for device *dev* at *directoryname***)

説明: CKFREEZE レコードが検出されました。これは、処理中のファイル・システム・ダンプでは不可能なディレクトリー切り替えを示します。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* はファイル・システムのデバイス番号です。*directoryname* は切り替え先ディレクトリーの最後の修飾子です。

重大度: 20

CKR1711 CKRCFV: *directoryname* にあるデバイス
dev の *system complex* でのディレクトリー・ツリー・バックアップ問題 (あと *number* レベル) (**CKRCFV: Directory tree backup problem (*number* levels to go) in system complex for device *dev* at *directoryname***)

説明: ファイル・システム・ダンプでのディレクトリー切り替え時に問題が発生しました。電子サポート Web

サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* はファイル・システムのデバイス番号です。*directoryname* は切り替え先ディレクトリーの最後の修飾子です。

重大度: 24

CKR1712 **CKRCFV:** *directoryname* にあるデバイス *dev* の *system complex* での親ディレクトリー配置問題 (**CKRCFV: Parent directory locate problem in system complex for device dev at directoryname**)

説明: ファイル・システム・ダンプでのディレクトリー切り替え時に問題が発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* はファイル・システムのデバイス番号です。*directoryname* は切り替え先ディレクトリーの最後の修飾子です。

重大度: 24

CKR1713 **CKRCFV:** *directoryname* にあるデバイス *dev* の *system complex* でのディレクトリー項目配置問題 (**CKRCFV: Directory entry locate problem in system complex for device dev at directoryname**)

説明: ファイル・システム・ダンプでのディレクトリー切り替え時に問題が発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* はファイル・システムのデバイス番号です。*directoryname* は切り替え先ディレクトリーの最後の修飾子です。

重大度: 20

CKR1714 **CKRCFV:** *filename* にあるデバイス *dev* の *system complex* レコード *recno* でディレクトリー項目レコードが切り捨てられた (**CKRCFV: Directory entry record truncated in system complex record recno for device dev at filename**)

説明: UNIX ディレクトリー項目の切り捨てられた CKFREEZE レコードが検出されました。レコードはスキップされます。

system complex は CKFREEZE を示します。

recno は、スキップされるファイルのレコード番号です。

dev は、ファイル・システムのデバイス番号です。

filename はスキップされるファイルの (おそらく切り捨てられる) 最後の修飾子です。

重大度: 16

CKR1715 **CKRCFV:** *pathname* の *system complex* にある空の相対名 (**CKRCFV: Empty relative name in system complex at pathname**)

説明: UNIX ディレクトリー項目の CKFREEZE レコードで空の相対名が指定されていることが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*pathname* は、このレコードの絶対パス名です。

重大度: 20

CKR1716 **CKRCFV.CKRTDIRC:***system complex: mountpoint* で「.」なしの HFS ルート・ディレクトリー (**CKRCFV.CKRTDIRC: HFS root directory without '.' for system complex: mountpoint**)

説明: 処理中のファイル・システム・ダンプのルート・ディレクトリーを閉じるときに、「.」項目が処理されていないことが認められました (ルート・ディレクトリー自体の特性を記述)。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ルート・ディレクトリーとファイル・システムの残りの部分が破棄されます。*system* 名と *complex* 名によって

CKFREEZE が識別されます。*mountpoint* はファイル・システムのマウント・ポイントの絶対パス名です。

重大度: 20

CKR1717 **CKRCFV:** 現行ディレクトリー *system complex* のないリンク・レコード:
symlinkname (**CKRCFV: Link record but no current directory system complex: symlinkname**)

説明: symlink の CKFREEZE レコードが見つかりましたが、このシステムでディレクトリーは処理されていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*symlinkname* は、symlink の最後の修飾子です。

重大度: 20

CKR1718 **CKRCFV:** ディレクトリー *system complex* のディレクトリー項目が多すぎます: *pathname* (**CKRCFV: Too many directory entries in directory system complex: pathname**)

説明: 指定されたディレクトリーには、サポートされる許容ディレクトリー配列サイズより多くのディレクトリー項目があるように見えます (現在、100 万個以上)。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*pathname* は、問題ディレクトリーの絶対パス名です。

重大度: 20

CKR1719 **CKRCFV:** *symlinkname* の *system complex* でのリンク配置問題です (**CKRCFV: Link locate problem in system complex for symlinkname**)

説明: symlink の CKFREEZE レコードが見つかりましたが、指定された *symlinkname* はこのシステムで現在処理中のディレクトリーにあるディレクトリー項目ではありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、

707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*symlinkname* は、symlink の最後の修飾子です。

重大度: 20

CKR1720 **CKRCFV:** *linktarget* の *system complex* にリンクがないリンク・コンテンツ
(**CKRCFV: Link contents but no link in system complex for linktarget**)

説明: symlink コンテンツを含む CKFREEZE レコードが見つかりましたが、関係する symlink のレコードがありません (または、そのレコードが破棄されました。CKR1717 および CKR1719 を参照してください)。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*linktarget* は、symlink が評価するパス名です。

重大度: 20

CKR1721 **CKRCFV:** *pathname* の *system complex* にディレクトリー項目の属性がありません
(**CKRCFV: Directory entry attributes missing in system complex for pathname**)

説明: symlink コンテンツを含む CKFREEZE レコードが見つかりましたが、それに関連付けられたディレクトリー項目が不完全です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*pathname* は、symlink の絶対パス名です。

重大度: 20

CKR1722 **CKRCFV:** *system complex* で HFS が選択されていないディレクトリー項目:
filename (**CKRCFV: Directory entry but no HFS selected in system complex: filename**)

説明: UNIX ディレクトリー項目の CKFREEZE レコードが検出されましたが、そのシステムではファイル・システム・ダンプが何も開始されていません。電子サポ

ート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。そのレコードはスキップされ、次の明示的なファイル・システム・ダンプが開始されるより前に、ファイル・システム・ダンプの内部に属する後続の CKFREEZE レコードもすべてスキップされます。

system 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*filename* は、スキップされるファイルの最後の修飾子です。

重大度: 20

CKR1723 **CKRCFV:** デバイス *dev* の *system complex* でディレクトリーが選択されていないディレクトリー項目: *filename* (**CKRCFV: Directory entry but no directory selected in system complex for device dev: filename**)

説明: UNIX ディレクトリー項目の CKFREEZE レコードが検出されましたが、ディレクトリーが選択されていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* はファイル・システムのデバイス番号です。*filename* はスキップされるファイルの最後の修飾子です。

重大度: 20

CKR1724 **CKRCFV.CKRTDIRC:** *system complex* で HFS が選択されていないディレクトリー・クローズ - レコード *number* で認められました (**CKRCFV.CKRTDIRC: Directory close but no HFS selected for system complex - noticed at record number**)

説明: 現在の UNIX ディレクトリー処理の終了時に、ディレクトリーを追加するファイル・システムの指定が欠落していると見なされました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システムの残りの部分がある場合、それらはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*number* は、現在処理されている CKFREEZE にあるレコード番号です (または、

ファイルの終わりの状態を示す可能性もあります)。

重大度: 24

CKR1725 **CKRCFV.CKRTDIRC:** *system complex* の HFS がありません: *mountpoint* (**CKRCFV.CKRTDIRC: Missing HFS for system complex: mountpoint**)

説明: 現在の UNIX ディレクトリー処理の終了時に、ディレクトリーを追加するファイル・システムが欠落していると見なされました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システムの残りの部分はスキップされます。

system 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*mountpoint* は、それより下では情報が欠落する、ファイル・システムのマウント・ポイントを特定します。

重大度: 24

CKR1726 **CKRCFV:** *system complex* で、開始時に閉じられない前のディレクトリー: *pathname* (**CKRCFV: Previous directory not closed on open in system complex: pathname**)

説明: 新規 UNIX ディレクトリーの構成を開始するとき、前のディレクトリーが閉じられていないように見なされました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。前のディレクトリーは、この予期せぬ状態からの復旧をしようとして、処理を続行する前に閉じられます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*pathname* は、開かれるディレクトリーの絶対パス名です。

重大度: 24

CKR1727 プロファイル *key* に不正な **FLTRNAME** 値があります: *fieldvalue* (**Illegal FLTRNAME value in profile key: fieldvalue**)

説明: このメッセージは、示されたプロファイルの FLTRNAME フィールドに、発行者と件名の識別名を区別するために使用される文字 (16 進数の 4A) が含まれていなかったことを示します。これは、RACF データベースが破損した結果と考えられます。

重大度: 20

CKR1728 CKRFTRDN: 不正な呼び出しタイプ *type* (CKRFTRDN: Illegal call type *type*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1730 DD *dd* RecNo *number* タイプ *type* で不正に拡張された再配置セクション・タイプ *smftype* (Illegal extended relocate section type *smftype* in DD *dd* RecNo *number* type *type*)

説明: DD および、レコード番号によって示される SMF レコード (レコード・タイプ *smftype*) で、不正なデータ・タイプが検出されました。この拡張された再配置セクションはスキップされます。このレコードに関するすべてのレポートは、不完全である可能性があります。このメッセージは、通常、示されたレコードでの破損の結果によるものです。

重大度: 20

CKR1731 CKRPUTV.CKRPTSRT: *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname* のソート・ルーチンがありません (CKRPUTV.CKRPTSRT: Missing sort routine for *fieldaddr fieldname* defined at *ddname* line *number*)

説明: 示される繰り返しグループ・フィールドは特別なフォーマットに設定されており、特別なソート・ルーチンが必要ですが、指定されていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。繰り返しグループはソートされません。

重大度: 24

CKR1732 *module: ddname* の行 *number* で定義された無効な列 *fieldaddr fieldname* を指定して呼び出されました (module: Called with invalid column *fieldaddr fieldname* defined at *ddname* line *number*)

説明: ACL または CONNECTS 展開ルーチンで、渡された列のフォーマットが正しくないことが認められま

した。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1733 CKRXPLD: *ddname* の行 *number* で *fieldaddr fieldname* 列のストレージ不足が定義されました (CKRXPLD: Storage leak for column *fieldaddr fieldname* defined at *ddname* line *number*)

説明: ACL 展開ルーチンで、渡された列が、そこに格納されている展開された ACL を解放しないことが認められました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1734 CKRPUTV.CKRDELST: *ddname* の行 *number* で定義された *type* フィールド *fieldaddr fieldname* は別々に削除できません (CKRPUTV.CKRDELST: Cannot separately delete type field *fieldaddr fieldname* defined at *ddname* line *number*)

説明: 何も格納されていない列のフィールドを削除するために、レコード削除ルーチンが呼び出されました。*type* が **linked** の場合、その列は別の列の別名です。*type* が **internal** の場合、その列は補助列です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1735 *routine: ddname* の行 *number* で定義された *type* フィールド *fieldaddr fieldname* が呼び出されました (routine: Called for type field *fieldaddr fieldname* defined at *ddname* line *number*)

説明: サポートされていない列タイプの *routine* が呼び出されました。*type* が **linked** の場合、その列は別の列の別名です。*type* が **hidden** または **internal** の場合は、何も出力されないことになっています。*routine* は、CKRPUTV.CKRIRPT (繰り返しグループのオープ

ン) または CKRPUTV.CKRPTCLS (繰り返しグループのクローズ) になります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1736 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *ddname* の行 *number* で *type* フィールド *fieldaddr* *fieldname* のフラッシュが定義されました
(**CKRPRTFL.CKRGETV: Flush for type field fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明: キャッシュがない列のキャッシュをフラッシュするために値の取得ルーチンが呼び出されました。*type* が **linked** の場合、その列は別の列の別名です。*type* が **internal** の場合、その列は補助列です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1737 *procedure: class objectname* として予期されないプロファイル・タイプ *type*
(**procedure: Unexpected profile type type for class objectname**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このデータ・セットの TYPE=DSN に PROFILE フィールドがありません。

重大度: 24

CKR1738 **CKAOUDSN:** *TNVR address volume dsname* の TVOL がありません
(**CKAOUDSN: Missing TVOL for TNVR address volume dsname**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このデータ・セットの TYPE=DSN 内の次のフィールドは、誤って **false** またはブランクになっているか、欠落している可能性があります: IS_MOUNTED, IS_MIGRATED, IN_VTOC,

IN_VVDS, REAL_DSNAME, REAL_VOLUME, UNITTYPE, BOX_SERIAL.

重大度: 24

CKR1739 **CKAOUNIX:** 親がディレクトリーではありません - *filetype system TMNTaddr TDIRaddr DIREaddr filename ; dev directory* (**CKAOUNIX: Parent is not a directory - filetype system TMNTaddr TDIRaddr DIREaddr filename ; dev directory**)

説明: 「..」(親) 指定に続く UNIX パス名解決で、解決後の場所がディレクトリーではありませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1740 システム *system* の *callid* で **THFS** なしの **TMNT:** *mountpoint*
TMNTaddr. hexvalue (**TMNT without THFS at callid for system system : mountpoint**
TMNTaddr. hexvalue)

説明: 関連付けられたファイル・システムがないマウント・ポイントが検出されました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1741 **CKRCFV:** *system complex* で **HFS** が選択されていないディレクトリー切り替え:
directory (**CKRCFV: Directory switch but no HFS selected in system complex: directory**)

説明: UNIX ディレクトリー切り替えの CKFREEZE レコードが検出されましたが、*system* ではファイル・システム・ダンプが何も開始されていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。そのレコードはスキップされ、次の明示的

なファイル・システム・ダンプが開始されるより前に、ファイル・システム・ダンプの内部に属する後続の CKFREEZE レコードもすべてスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*directory* は、切り替え先ディレクトリーの最後の修飾子です。

重大度: 20

CKR1742 システム *system* の *callid* で **SDIR** 配列が欠落しています: *TMNTaddr TDIRaddr; mountpoint (Missing SDIR array at callid for system system: TMNTaddr TDIRaddr; mountpoint .)*

説明: 最上位レベルのサブディレクトリー検索構造を持たないファイル・システムが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1743 システム *system* の *callid* で内部ルートが欠落しています: *TMNTaddr; mountpoint (Missing inner root at callid for system system: TMNTaddr; mountpoint)*

説明: ルート・ディレクトリーなしのファイル・システムが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1744 システム *system* の *callid* で **TATT** が欠落しています: *TMNTaddr TDIRaddr DIREaddr filename ; dev directory (Missing TATT at callid for system system: TMNTaddr TDIRaddr DIREaddr filename ; dev directory)*

説明: 属性のない UNIX ファイルが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1745 **ADDTHOM:** システム *system* のマウント・ポイント *mountpoint* で **INODE** インデックスが欠落しています
(**ADDTHOM: Missing INODE index for system system mount point mountpoint**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。TYPE=UNIX newlist において、HOME_OF フィールドと

AUDITCONCERN が不完全で、示されたファイル・システムのファイルにおいて AUDITPRIORITY の値が低すぎる可能性があります。

重大度: 24

CKR1746 **ADDTHOM:** システム *system* のマウント・ポイント *mountpoint* で **INODE** インデックス項目 *inode* が欠落しています
(**ADDTHOM: Missing INODE index entry inode for system system mount point mountpoint**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。TYPE=UNIX newlist において、HOME_OF フィールドと

AUDITCONCERN が不完全で、報告された *inode* を含む示されたファイル・システムのファイルに対して AUDITPRIORITY の値が低すぎる可能性があります。

重大度: 24

CKR1747 *DIREaddr2 relativepathname* を処理する間、システム *system* の *DIREaddr1* からの *callid* で、**HFS** アップ・リンクが欠落していました (**Missing HFS up link at callid from DIREaddr1 on system system while processing DIREaddr2 relativepathname**)

説明: ルート・ディレクトリー項目 *DIRE1* をそのファイル・システムに関連させることができませんでした。これにより、*DIRE2* でのパス評価に失敗する可能性があります。さらに *ATTR*、*AUDITCONCERN*、および *AUDITPRIORITY* フィールドの出力が正しくなくなる可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの

707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1748 *DIREaddr2 relativepathname* を処理する間、システム *system* の *volume FSname* からの *callid* でアップ・リンクが欠落していました (**Missing up link at callid from volume FSname on system system while processing DIREaddr2 relativepathname**)

説明: 示されたファイル・システムは、予期されるとおりにこのシステムのいずれかのディレクトリーにマウントされたようには見なされませんでした。これにより、DIRE2 でのパス評価に失敗する可能性があり、さらに ATTR、AUDITCONCERN、および AUDITPRIORITY フィールドの出力が正しくなくなる可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1749 *program* の孤立インスタンス: *volser datasetname*、複合システム *complex [version]* (**Orphan instance in program : volser datasetname complex complex [version]**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1750 **CKRCFV: system complex** のマウント・ポイントが選択されていないマウント情報 - レコード *number* で認められました (**CKRCFV: Mount info but no mount point selected for system complex - noticed at record number**)

説明: 先行するマウント・ポイントに関連させることのできない、マウント・ポイント情報を含む CKFREEZE レコードが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*number* は、CKFREEZE が現在処理されているレコード番号です。

重大度: 20

CKR1751 **CKRCFV: filename** に *system complex* デバイス *dev* の現行ディレクトリーがない **UNIX ACL レコード (CKRCFV: UNIX ACL record but no current directory for system complex device dev at filename)**

説明: UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードが検出されましたが、処理中のディレクトリーはありませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* はファイル・システムのデバイス番号です。*filename* は ACL が属するファイルの最後の修飾子です。

重大度: 20

CKR1752 **CKRCFV: filename** にあるデバイス *dev* の *system complex* における **UNIX ACL 配置問題 (CKRCFV: UNIX ACL locate problem in system complex for device dev at filename)**

説明: 処理中のディレクトリーに属さない、UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* はファイル・システムのデバイス番号です。*filename* は ACL が属するファイルの最後の修飾子です。

重大度: 20

CKR1753 **CKRCFV: pathname** の *system complex* にディレクトリー項目の属性がありません (**CKRCFV: Directory entry attributes missing in system complex for pathname**)

説明: UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードが見つかりましたが、それに関連付けられたディレクトリー項目が不完全です。電子サポート Web サイトを参照し

CKR1754 • CKR1758

て、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*pathname* は、ACL が属するファイルの絶対パス名です。

重大度: 20

CKR1754 **CKRCFV:** *filename* でのデバイス *dev* の *system complex* で **UNIX ACL** レコード項目名が切り捨てられました (**CKRCFV: UNIX ACL record entry name truncated for system complex for device dev at filename**)

説明: UNIX ACL を含む切り捨て CKFREEZE レコードが検出されました。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*dev* はファイル・システムのデバイス番号です。*filename* は ACL が属するファイルの最後の修飾子です。

重大度: 16

CKR1755 **CKRCFV:** *system complex pathname* のマウント・ポイントが選択されていない **UNIX ACL** レコード (**CKRCFV: UNIX ACL record but no mount point selected for system complex pathname**)

説明: UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードが検出されましたが、処理中のファイル・システムはありませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*pathname* は、ACL が属するファイルの相対パス名です。

重大度: 24

CKR1756 **CKRCFV:** **UNIX ACL** レコードに *system complex pathname* では予期されない見出し *eyecatcher* があります (**CKRCFV: UNIX ACL record has unexpected eyecatcher eyecatcher for system complex pathname**)

説明: UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードが検出されましたが、ACL レコードが認識されませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセ

ージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*pathname* は、ACL が属するファイルの絶対パス名です。

重大度: 20

CKR1757 **CKRCFV:** **UNIX ACL** レコードに *system complex pathname* で予期されないバージョン *version* があります (**CKRCFV: UNIX ACL record has unexpected version version for system complex pathname**)

説明: UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードが検出されましたが、ACL レコード・バージョンが認識されませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*pathname* は、ACL が属するファイルの絶対パス名です。

重大度: 16

CKR1758 **CKRCFV:** **UNIX ACL** レコードに *system complex pathname* の **ACL** 項目がありません (**CKRCFV: UNIX ACL record has no ACL entries for system complex pathname**)

説明: UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードが検出されましたが、ACL レコードが小さすぎていずれの項目も含めることができませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レコードはスキップされます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*pathname* は、ACL が属するファイルの絶対パス名です。

重大度: 20

CKR1759 **CKRCFV:** *system complex pathname* で
UNIX ACL レコードが切り捨てられました
(**CKRCFV:** **UNIX ACL record**
truncated for system complex pathname)

説明: UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードが検出
されましたが、ACL レコードが小さすぎて、含むと宣
言した項目のすべてを含めることができませんでした。
レコードに実際に含まれている項目のみが処理されま
す。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識
別されます。*pathname* は、ACL が属するファイルの絶
対パス名です。

重大度: 16

CKR1760 **CKRCFV:** *system complex* デバイス *dev*
について、UNIX ACL レコードはある
が、現行ディレクトリーがない
(**CKRCFV:** **UNIX ACL record but no**
current directory for system complex
device dev)

説明: UNIX ACL を含む CKFREEZE レコードがマウ
ント・ポイントのルート自体に検出されましたが、対応
するディレクトリーを見つけることができませんでした。
C電子サポート Web サイトを参照して、このメッ
セージに関連付けられた使用可能な保守を探してくださ
い。該当する保守が見つからない場合は、707 ページ
の『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に
従って問題を報告してください。レコードはスキップさ
れます。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE
が識別されます。*dev* は、ファイル・システムのデバイ
ス番号です。

重大度: 24

CKR1761 **CKRCFV:** *pathname* の *system complex*
での重複 UNIX type ACL (**CKRCFV:**
Duplicate UNIX type ACL in system
complex for pathname)

説明: 指定されたタイプの UNIX ACL を含む 2 番目
の CKFREEZE レコードが、その同じファイルで見つかり
ました。タイプは、**access**、**default**、または **fdefault**
になります。電子サポート Web サイトを参照して、こ
のメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探して
ください。該当する保守が見つからない場合は、707
ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている
手順に従って問題を報告してください。レコードはス
キップされます。*system* 名と *complex* 名によって
CKFREEZE が識別されます。*pathname* はファイルの絶
対パス名です。

重大度: 20

CKR1762 内部エラー - データベース I/O が停止し
ました (**Internal error - database I/O**
stalled)

説明: 未処理の入出力は見つかりませんでしたが、アン
ロード複合システムでの入出力を待っています。電子サ
ポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連
付けられた使用可能な保守を探してください。該当する
保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポ
ートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報
告してください。

重大度: 24

CKR1763 内部エラー - データベース I/O が停止し
ました (**Internal error - database I/O**
stalled)

説明: 未処理の入出力は見つかりませんでしたが、アン
ロード以外の複合システムでの入出力を待っています。
電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージ
に関連付けられた使用可能な保守を探してください。該
当する保守が見つからない場合は、707 ページの
『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従
って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1764 内部エラー - データベース I/O が停止し
ました (**Internal error - database I/O**
stalled)

説明: 保留中の入出力で複合システムは見つかりません
でした。次に進みますが、これによって同期問題が発生
したり、プロファイルが選択されなかったりする可能性
があります。電子サポート Web サイトを参照して、こ
のメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探して
ください。該当する保守が見つからない場合は、707
ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている
手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1765 内部エラー - *ddname* の行 *number* で
fieldaddr fieldname の **OUTS** が定義され
ていません (**Internal error - no OUTS**
for fieldaddr fieldname defined at ddname
line number)

説明: このメッセージは、FIELD 制限処理に失敗した
ことを示します。電子サポート Web サイトを参照し
て、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を
探してください。該当する保守が見つからない場合は、
707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されて
いる手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1766 内部エラー - *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr1 fieldname1* による *fieldaddr2 fieldname2* の検索の **OUTS** がありません (**Internal error - no OUTS for fieldaddr1 fieldname1 lookup for fieldaddr2 fieldname2 defined at ddname line number**)

説明: このメッセージは、FIELD 制限処理に失敗したことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1767 内部エラー - *ddname* の行 *number* で定義された **display1 OUTF** *fieldaddr fieldname* の **OUTS** がありません (**Internal error- no OUTS for display1 OUTF fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明: このメッセージは、FIELD 制限処理に失敗したことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1768 内部エラー - *ddname* の行 *number* で定義された **display2 OUTF** *fieldaddr fieldname* の **OUTS** がありません (**Internal error- no OUTS for display2 OUTF fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明: このメッセージは、FIELD 制限処理に失敗したことを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1769 **CKRRDVAL** 内部エラー: 矛盾する呼び出し: *parameter area* (**CKRRDVAL internal error: inconsistent call: parameter area**)

説明: CKRRDVAL の呼び出しパラメーターの検証に失敗しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1770 *program* の孤立 IPLvol: *member*、複合システム *complex* [*version*] (**Orphan iplvol in program : member complex complex [version]**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1771 **CKRPRLST.DTMODS2:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname* の **OUD2** が見つかりませんでした (**CKRPRLST.DTMODS2: No OUD2 found for fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明: 詳細表示のフィールドの変更で使用するバッファ一長 (オーバーライド長は 0) を決定するときにエラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1772 プログラム・プロファイル *program:* *volser dsname* での重複した **vol/dsn** の組み合わせ、複合システム *complex version* (**Duplicate vol/dsn combination in program profile program: volser dsname complex complex version**)

説明: このメッセージは、VERIFY PROGRAM または VERIFY PGMEXIST 処理での内部エラーを示します。セキュリティー・データベース内の不整合を指す場合があります。電子サポート Web サイトを参照して、この

メッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR1773 *program: volser dsname* の **TVOL** がありません。複合システム *complex [version]*
(Missing TVOL for program: volser dsname complex complex [version])

説明: このメッセージは、VERIFY PROGRAM または VERIFY PGMEXIST 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1774 *program: volser dsname* で無効なインスタンス、複合システム *complex [version]*
(Invalid instance in program: volser dsname complex complex [version])

説明: このメッセージは、VERIFY PROGRAM または VERIFY PGMEXIST 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1775 *program: volser dsname* で無効な **\$NOVTOC (Invalid \$NOVTOC in program: volser dsname)**

説明: このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1776 *program: volser dsname* で無効な **\$ANYMISSINGVTOC (Invalid \$ANYMISSINGVTOC in program: volser dsname)**

説明: このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1777 *program: volser dsname* で無効な **\$NOVTOC (Invalid \$NOVTOC in program: volser dsname)**

説明: このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1778 *program: volser dsname* に **\$ANYMISSINGVTOC** または **\$ANYMISSINGMIGC** がありません
(Missing \$ANYMISSINGVTOC or \$ANYMISSINGMIGC in program: volser dsname)

説明: このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1779 *program: volser dsname* で無効な **\$NOTMOUNTED (Invalid \$NOTMOUNTED in program: volser dsname)**

説明: このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1780 *program: volser dsname* で無効な
\$VTOCUNREADABLE (Invalid in
program:volser dsname)

説明: このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1781 *program: volser dsname* で無効な
\$NOVTOC (Invalid \$NOVTOC in
program: volser dsname)

説明: このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1782 *program: volser dsname* で無効な
\$NOVTOC (Invalid \$NOVTOC in
program: volser dsname)

説明: このメッセージは、VERIFY PROGRAM 処理での内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1783 **CKROUNIT** 内部エラー - *fieldname*
ddname の行 *number* の **TLUD** なしの
OUTF\$SLFN\$LOOKUP (CKROUNIT
internal error - OUTF\$SLFN\$LOOKUP
without TLUD for *fieldname ddname*
line number)

説明: *fieldname* の処理中にリカバリー不能エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1784 非 **SLFN** 検索 *fieldname* (**Non-SLFN**
lookup *fieldname*)

説明: *fieldname* の検索が試みられましたが、必要な構造がありませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1785 **ADDTHOM:** システム *system* のマウン
 ト・ポイント *pathname* に、フリー
INODE インデックス項目 *inode* があ
 り
 ません (**ADDTHOM: No free INODE**
index entry *inode system system mount*
point *pathname*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。TYPE=UNIX newlist において、HOME_OF フィールドと

AUDITCONCERN が不完全で、報告された *inode* を含む示されたファイル・システムのファイルに対して AUDITPRIORITY の値が低すぎる可能性があります。

重大度: 24

CKR1786 *routine: IHOM hexaddr* デバイス *device*
 の **inode** *inode* の **THOM** がありません
 (*routine: No THOM for IHOM hexaddr*
dev *device inode* *inode*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。TYPE=UNIX newlist において、HOME_OF フィールドと

AUDITCONCERN が不完全で、報告された *inode* を含む示されたファイル・システムのファイルに対して AUDITPRIORITY の値が低すぎる可能性があります。

重大度: 24

CKR1787 **CKRCFV:** ファイル監査 **ID** がデバイス
dev: filename の *system complex* にある
inode と一致しません (**CKRCFV: File**
audit id mismatches inode in *system*
complex for device *dev: filename*)

説明: 示されたファイルがあるかどうか検査されたファ

イルに監査 ID に予期されないレイアウトがあります。ファイル監査 ID からこのファイル・システムのファイルへの検索は実行されません。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。*filename* は検査済みファイルの最後に識別された名前、示されたデバイスのルート・ディレクトリにあります。このメッセージが、サポートされていない z/OS リリースの zFS ファイル・システムに対して発行された場合、このメッセージは、重大度 0 (通知) で発行されます。それ以外の場合、このメッセージは、重大度 20 (サポートされない条件) で発行されます。その場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20 (または 0)

CKR1788 **CKRCFV:** システム *system complex* で固有ではないファイル・システム監査 ID *auditid* - デバイス *dev* の索引は除去されます (**CKRCFV: File system audit id *auditid* not unique on system *system complex* - device *dev* unindexed**)

説明: 示されたデバイス (ファイル・システム) の監査 ID が、前に検出された別のデバイスの監査 ID と同じになっています。ファイル監査 ID からこのファイル・システムのファイルへの検索は、失敗するか、他のデバイスを指す誤った結果を出力します。*system* 名と *complex* 名によって CKFREEZE が識別されます。

このメッセージは、複数の HFS ファイルまたは ZFS ファイルのファイル・システム監査 ID が同じであるときに発行される場合があります。z/OS 資料の「**zFS administration guide**」で zFS 監査 ID の概要を参照して、ご使用の z/OS UNIX 環境で固有監査 ID 機能を実装する方法のガイドラインを確認してください。RE.U.R の MOUNT レポートを使用して、デバイスに関する情報を調べることができます。OPTION MSGRC=(1788,rc) を使用して、メッセージの重大度を変更できます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR1789 **CKRCKGF.CKRUSRG:** 無効なタグ *tag (dec)* が呼び出されました (**CKRCKGF.CKRUSRG:Called for invalid tag *tag (dec)***)

説明: USR 副選択ルーチンで解読不能な要求が出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1790 **CKRSEL.CKRCOMFV:** 無効なタグ *tag (dec)* が呼び出されました (**CKRSEL.CKRCOMFV: Called for invalid tag *tag (dec)***)

説明: 通常の ACL (初期) 副選択ルーチンで、解読不能な要求が出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1791 **CKRSEL.CKRC2MFV:** 無効なタグ *tag (dec)* が呼び出されました (**CKRSEL.CKRC2MFV: Called for invalid tag *tag (dec)***)

説明: 条件付きの ACL (初期) 副選択ルーチンで、解読不能な要求が出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1792 *routine: ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname* にリテラルは格納されていません (***routine: No literal stored for fieldaddr fieldname defined at ddname line number***)

説明: 固定値が入力されるはずのフィールドのキャッシュが空になっています。フィールドは空のまま表示されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1793 **CKRPUTV.CKRDELST** *function:* 未完了の再ステージング - 現在は **TLST recordaddr (CKRPUTV.CKRDELST function: Unfinished restage - now at TLST recordaddr)**

説明: 示された *record* に対して示されたりスト削除 *function* を実行していたときに、先行する再ステージング機能が完了していなかったことが判明しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1794 **CKRPRTFL.CKRGETV** *function:* 未完了の再ステージング - 現在 *ddname* の行 *number* で *fieldaddr fieldname* が定義されました (**CKRPRTFL.CKRGETV function: Unfinished restage - now at fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明: 示された *field* に対して示された値取得 *function* を実行していたときに、先行する再ステージング機能が完了していなかったことが判明しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1795 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname* の再ステージングの準備はできていません (**CKRPRTFL.CKRGETV: Not ready for restage of fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明: 現在のプログラム状態では再ステージングが許可されないため、*field* の再ステージング要求は失敗しました。フィールドは空のまま表示されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1796 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr2 fieldname2* をステージングしながら、*fieldaddr1 fieldname1* を再ステージングすることはできません (**CKRPRTFL.CKRGETV: Cannot restage fieldaddr1 fieldname1 while staging fieldaddr2 fieldname2 defined at ddname line number**)

説明: ステージング領域が *field2* 用に使われているため、*field1* の再ステージング要求は失敗しました。*field1* は空のまま表示されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1797 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *ddname* の行 *number* で定義された *recordaddr2* をステージングしながら、レコード *recordaddr1* の *fieldaddr fieldname* を再ステージングすることはできません (**CKRPRTFL.CKRGETV: Cannot restage fieldaddr fieldname for record recordaddr1 while staging recordaddr2 defined at ddname line number**)

説明: 別のレコードで同じフィールドがまだステージングされているため、*field* の再ステージング要求は失敗しました。フィールドは空のまま表示されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1798 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname* のステージング領域がありません (**CKRPRTFL.CKRGETV: No staging area for fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明: 必要なステージング領域が割り振られていないため、*field* の再ステージング要求は失敗しました。フィールドは空のまま表示されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない

い場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1799 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *ddname* の行
number で定義された *fieldaddr fieldname*
のステージング領域が小さすぎます
(CKRPRTFL.CKRGETV: Staging area
too small for fieldaddr fieldname defined
at ddname line number)

メッセージ 1800 から 1899

CKR1800...CKR1899 *message*

説明: これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

説明: 必要とされているステージング領域が小さすぎるため、*field* の再ステージング要求は失敗しました。フィールドは空のまま表示されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

メッセージ 1900 から 1999

CKR1900 ゼロ以外の **RDJFCB** 戻りコード *rc*
RACFDB 複合システム *complex*
(Nonzero RDJFCB return code rc
RACFDB complex complex)

説明: RDJFCB SVC が、CKRACFnn ファイルの 1 つについてゼロ以外の戻りコード *rc* を返しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR1901 **CKREPNDP:** *complex version* の、TRID
でない **PERM\$OWN PERMXREF**
(CKREPNDP: PERM\$OWN PERMXREF
not TRID on complex version)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1902 **CKREPNDP:** *complex version* の、
NONDEFAULT である無効な
PERMXREF (CKREPNDP: PERMXREF
invalid with NONDEFAULT on
complex version)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1903 **CKROUGRP:** **OUTOFGROUP** である無
効な **PERMXREF**、*complex version*
(CKROUGRP: PERMXREF invalid with
OUTOFGROUP on complex version)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1904 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr* *fieldname*、**TLST recordaddr** の値ポインターが **NIL** です (**CKRPRTFL.CKRGETV: Value pointer is NIL for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr defined at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1905 **CKROURPT: PERMXREF** は **PERM** を指します (**CKROURPT: PERMXREF points to PERM**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1906 **nil CKRELEM** を指定して呼び出された **CKRSPERM** (**CKRSPERM called with nil CKRELEM**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1907 **CKRSTNVD: 2** 次ボリュームの空の **CKRELEM** (**CKRSTNVD: Secondary volume empty CKRELEM**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1908 **CKRSTPDA 2** 次ボリュームで空の **CKRELEM** が見つかりました (**CKRSTPDA Secondary volume finds empty CKRELEM**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1909 *routine: ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname* で **WHERE** 節が不適切に扱われています (**routine: WHERE clause improperly treated for fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明: 示されたフィールドは、WHERE 節が含まれている「後で処理される」フィールドです。この節の真の結果は適正に処理されませんでした。結果として生成される変数インスタンスはおそらく空です。*routine* は、エラー状態が認識された時点に応じて、**CKRPUTV** または **CKRPUTV.CKROUCLS** のいずれかになります。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1910 **CKRVPRM.CHKSTPR: VERIFY STC** がアクティブである **STARTED profile (ID id** に対するタイプ *type* の呼び出し) (**CKRVPRM.CHKSTPR: STARTED profile but VERIFY STC active; type type call for id id**)

説明: VERIFY STC もアクティブであるため、報告された **STARTED profile** に対して **STARTED** プロファイルの **VERIFY PERMIT** 処理を呼び出すべきでなかったことが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

**CKR1911 PERM なしの未定義 ID *identity*
(Undefined ID *identity* without PERM)**

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

**CKR1912 XREF なしの未定義 ID *identity* PERM
(Undefined ID *identity* PERM w/o
XREF)**

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

**CKR1913 CKRVPRM: *type* の PERMXREF 処理が
ありません (CKRVPRM: No
PERMXREF handling for *type*)**

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

**CKR1914 *volser datasetname* の不明なエラー・メッ
セージ *type* (Unknown error message
type for *volser datasetname*)**

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

**CKR1915 TRID TRCO *user/group* からグループが
欠落しています (TRID missing group
from TRCO *user/group*)**

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

**CKR1916 CKRFSTC: プロファイル *profile* のメン
バー *procedure* で *user* のデフォルト・グ
ループが見つかりません (CKRFSTC: no
default group found for *user* at
member *procedure* under profile *profile*)**

説明: 有効な STUSER ユーザーが指定されており、STGROUP が指定されていない STARTED *profile* に対して、タスク *procedure* の処理中にデフォルト・グループが見つからない場合に、この内部エラーが発行されます。VERIFY STC はこれ以降この状態を無視し、REPORT STC は使用されている未定義ユーザーを報告します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

**CKR1917 サポートされていない被比較数タイプ
bbbb (Unsupported comparand type
bbbb)**

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

**CKR1918 *ddname* 読み取りブロック *nnn* での早期
のファイル終了。計算された最後のブロッ
クは *mmm* (Premature end-of-file on
ddname reading blk *nnn* computed last
block is *mmm*)**

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

**CKR1919 内部エラー: *profile* で TGDAQUAL=0
(Internal error: TGDAQUAL=0 for
profile)**

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの

CKR1920 • CKR1927

の『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1920 CKRFLD *field* 検索中の内部エラー (CKRFLD internal error searching *field*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1921 CKRCFV: システム *system* の複合システム *complex* の UNIX デバイス *dev* でマウント・レコードが切り捨てられました (CKRCFV: Mount record truncated for UNIX device *dev* in system *system* complex *complex*)

説明: CKFREEZE マウント・レコードで、レコードに収まらない長さのマウント・ポイント・パスが指定されていることが検出されました。そのマウント・ポイント・パスは切り捨てられますが、処理は継続されます。

重大度: 16

CKR1922 CKRSTELM の呼び出しが無効です (CKRSTELM called invalidly)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1923 CKRSPERM1 非サポート - *field* (CKRSPERM1 unsupported - *field*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1924 CKRSPERM2 非サポート - *field* (CKRSPERM2 unsupported - *field*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1925 GET\$PMB: *volser* - *datasetname* で無効なプログラム *program* が参照されました (GET\$PMB: invalid program *program* referred for *volser* - *datasetname*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1926 無効な CKRELEM *type* が指定された CKRSTPMB、複合システム *complex* *version* (CKRSTPMB with invalid CKRELEM *type* *complex* *complex* *version*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1927 TNVD や TGDA ではなく、*xxxx* - *dsname vol* である TPMB の TNVR、システム *sys*、複合システム *complex* *version* (TNVR for TPMB not TNVD or TGDA but *xxxx* - *dsname vol* system *sys* *complex* *complex* *version*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1928 **TNVD** や **TGDA** ではなく、*xxxx - dsname vol* である **TNVR**、システム *sys*、複合システム *complex version* (**TNVR not TNVD or TGDA but xxxx - dsname vol system sys complex complex version**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1929 **CKRXINIT.CKRDIDID: TSEG** で **GENERAL BASE** が定義されていません (**CKRXINIT.CKRDIDID: GENERAL BASE not defined in TSEG**)

説明: 一般リソース・プロファイルの基本セグメントがこの RACF データベースで未定義のようです。索引付きデータベース読み取り処理では、**RACMAP_REGISTRY** フィールドに対する出力が完全であることは保証できません。**SUPPRESS INDEX** を指定して実行することにより、より完全な結果を出力できる可能性があります。

重大度: 20

CKR1930 **CKROURPT key** で **PERMWHEN** が欠落しています (**CKROURPT missing PERMWHEN on key**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1931 **CKROURPT key** で *type* の **PERMWHEN** サポートがありません (**CKROURPT no PERMWHEN support for type on key**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1932 **CKROURPT PERMWHEN** では *type1* が予期されていましたが、*type2* が見つかりました (**CKROURPT PERMWHEN expected type1 found type2**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1933 内部エラー: **mcat** は *system catvol catname* の *system* でも処理されました (**Internal error: mcat processed also on system for system catvol catname**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1934 *system cluster* には、接続された **ctlg catname** がありません (**No connected ctlg catname for system cluster**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1935 *system* のクラスター *name* の **ctlg catname** がない **Dircat (Dircat w/o ctlg catname for system cluster name)**

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1936 **TNVR** に **Sys** セクションがありません。スキップしました - *volume dsname* (**TNVR has no sys sections, skipped - volume dsname**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッ

CKR1937 • CKR1943

セージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1937 **CKROURPT** 不明なレポート・タイプ
type (CKROURPT Unknown report type type)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1938 *type hexlength #sys=number*
#cmplx=number でセクションが欠落しています - 異常終了 **1938** を発行します
(**Section missing for type hexlength**
#sys=number #cmplx=number - issuing
abend 1938)

説明: 古い CKFREEZE ファイルや不完全な CKFREEZE ファイルを分析しようとしている場合は、このメッセージが操作の妨げになっている可能性があります。そうでない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1939 データセット *volume dsname* の
DATASET プロファイルが複数あります
(**More than one DATASET profile for**
dataset volume dsname)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1940 予期されないプロファイル・タイプ *typ1*
および *typ2* のテープ・ボリューム、複合
システム *complex version* (**Tape volumes**
in unexpected profile type typ1 and
typ2 complex complex version)

説明: 予期されないプロファイル・タイプでボリューム通し番号が検出されました (例えば、総称 TAPEVOL プロファイル)。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1941 定義済みユーザー *id* のデフォルト・グループがありません。複合システム *complex*
[version] (**Missing default group for**
defined user id complex complex
[version])

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1942 **TNVD/TGDA/NOPR** ではなく、*type -*
volume dsname である **TNVR**、複合シス
テム *complex [version]* (**TNVR not**
TNVD/TGDA/NOPR but type - volume
dsname complex complex [version])

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1943 *type* 内部エラー: *string [ddname* および
RecNo number で発生] (*type internal*
error: string [at ddname and RecNo
number])

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1944 **CKRVPRM TRID** *address name* に対して無効な *id* (**CKRVPRM TRID** *address invalid id to name*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1945 **CKRACTM: CKRGETV** が、*ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr* *fieldname*、**TLST** *recordaddr*、トークン *token* で **RC=rc** を返しました (**CKRACTM: CKRGETV** returned **RC=rc** for *fieldaddr fieldname*; **TLST** *recordaddr*; **token** defined at *ddname line number*)

説明: action-on-modify ルーチンで、示されたフィールドの前の値を取得できませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。変更アクションは失敗します。

重大度: 24

CKR1946 *routine* でマージされた **TLST** は無効です (*routine merged TLST invalid*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1947 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *fieldaddr fieldname* に対する不明なキャッシュ方式 *xx*。 *ddname* の行 *number* で **TLST** *recordaddr* が定義されました (**CKRPRTFL.CKRGETV:** Unknown cache method *xx* for *fieldaddr fieldname*; **TLST** *recordaddr* defined at *ddname line number*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に

従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1948 **CKRCFV:** *system complex* から *mountpoint* への **HFS** 切り替え時のディレクトリー項目 (**CKRCFV: Directory entry during HFS switch for system complex to mountpoint**)

説明: 新規ファイル・システム・ダンプの開始が完了しないうちに、UNIX ディレクトリー項目の CKFREEZE レコードが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。

重大度: 20

CKR1949 **CKRCFV:** *system complex FSvolser FSdatasetname* の重複 **HFS** ダンプ (**CKRCFV: Duplicate HFS dump for system complex FSvolser FSdatasetname**)

説明: ファイル・システム・ダンプが検出されましたが、すでにそのファイル・システムのダンプは以前に行われています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このファイル・システム・ダンプはスキップされます。

重大度: 20

CKR1950 内部エラー - **beadcont** *address . hexvalue* * *char-value* *

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1951 **CKRPUTV.CKRPTCLS:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname*、**TLST recordaddr** で繰り返しクローズが無効です
(**CKRPUTV.CKRPTCLS: Invalid repeat close for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr defined at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。示された *record* の示された *field* は保管されません。

重大度: 24

CKR1952 **CKRPUTV:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname* でエレメントの長さが無効です *length* (**CKRPUTV: Invalid element length length for fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1953 **CKRPATT:** パターン *field* での **nil MGEN (CKRPATT: nil MGEN at pattern field)**

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1954 **CKRPRTFL:** *ddname* の行 *number* で定義されている *fieldaddr fieldname* のフォーマット *outputformat* が不明です
(**CKRPRTFL: Unknown format outputformat for fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページ

の『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1955 **CKRPUTV:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname* に対して、不明なストレージ方式 *xx* が要求されました
(**CKRPUTV: Unknown storage method xx requested for fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1956 **CKRPUTV:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname* に対して、不明な繰り返しグループ・ストレージ方式 *xx* が要求されました (**CKRPUTV: Unknown repeat group storage method xx requested for fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1957 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname*、**TLST recordaddr** での関数呼び出し *number* が不明です
(**CKRPRTFL.CKRGETV: Unknown function call number for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr defined at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1958 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr* *fieldname*、**TLST recordaddr**、**fn code**、*cachetoken* に対して、無効なトークン *token* が要求されました
(**CKRPRTFL.CKRGETV: Invalid token token requested for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr; defined at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1959 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr* *fieldname*、**TLST recordaddr** のリンクが **NIL** です (**CKRPRTFL.CKRGETV: Link is NIL for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr defined at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1960 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr1* *fieldname* から *fieldaddr2* へのリンク (**TLST recordaddr**、**flg flags**) のキャッシュが無効です (**CKRPRTFL.CKRGETV: Cache invalid for link from fieldaddr1 fieldname to fieldaddr2; TLST recordaddr; flg flags defined at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1961 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *ddname1* の行 *number1* および *ddname2* の行 *number2* で定義された *fieldname*、**TLST recordaddr**、**OUTF fieldaddr1** および *fieldaddr2* のストレージ方式 *xyxy* が不明です (**CKRPRTFL.CKRGETV: Unknown storage method xyxy for fieldname; TLST recordaddr; OUTFs fieldaddr1 fieldaddr2 defined at ddname1 line number1 at ddname2 line number2**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1962 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr* *fieldname*、**TLST recordaddr** の繰り返しグループ・アドレスが **NIL** です (**CKRPRTFL.CKRGETV: Repeat group address is NIL for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr defined at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1963 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr* *fieldname*、**TLST recordaddr** の繰り返しグループ項目の長さが **0** です (**CKRPRTFL.CKRGETV: Repeat group entry length 0 for fieldaddr fieldname; TLST recordaddr defined at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1964 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *fieldaddr fieldname* の *a b/c* 項目。 *ddname* の行 *number* で **TLST recordaddr** が定義されました (**CKRPRTFL.CKRGETV: a b/c entries in fieldaddr fieldname; TLST recordaddr defined at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1965 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *yy (zz)* を介した *fieldaddr fieldname* の *xx* の解凍に失敗しました。 *ddname* の行 *number* で **TLST recordaddr** が定義されました (**CKRPRTFL.CKRGETV: Decompress of xx for fieldaddr fieldname via yy (zz) failed; TLST recordaddr defined at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1966 *ddname volser dsn* の **RDW (len1)** と入力ルーチン (*len2*) の間で、**SMF** レコード *number* の長さに差異があります (**SMF record number length discrepancy between RDW (len1) and input routines (len2) in ddname volser dsn**)

説明: SMF 入力ルーチンによって返された長さが、SMF レコードの RDW で示される長さと異なります。レコードはスキップされます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1967 **CKRPRTFL.CKRGETV:** *ddname* の行 *number* で *fieldaddr fieldname: descriptor1; TLST recordaddr: descriptor2* のレコード記述子の不一致が定義されました (**CKRPRTFL.CKRGETV: Record descriptor mismatch for fieldaddr fieldname: descriptor1; TLST recordaddr: descriptor2 defined at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1968 **CKRPUTV:** *ddname* の行 *number* で *fieldaddr fieldname* で想定される *expected* と異なる長さ *actual* の項目が定義されました (**CKRPUTV: Entry length actual instead of expected for fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明: 示された *field* は、*expected* によって示される固定長の値を持つことになっていましたが、長さが *actual* の項目が検出されました。選択したストレージ方式では、項目を今すぐに保管することはできません。zSecure for RACF を実行している場合は、データベースで発生する問題のトラブルシューティングに関する情報について、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」に記載されている『VARLEN 出力修飾子』の資料を参照してください。データベースでエラーが検出されない場合、または別のプラットフォームで zSecure を実行している場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR1969 **CKROUNIT:** *ddname* の行 *number* で *fieldname* の不明な要約統計 *xx* (**CKROUNIT: Unknown summary statistic xx for fieldname at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1970 *routine:* 無効なりスト・ヘッダー - TLHD
*listaddr. hexvalue * charvalue * (routine:*
Invalid list header - TLHD *listaddr.*
*hexvalue * charvalue *)*

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1971 *routine:* 無効なりスト行 - TLST
*recordaddr. hexvalue * charvalue * (routine:*
Invalid list line - TLST *recordaddr.*
*hexvalue * charvalue *)*

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッセージの後に、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージが抑止される場合は、処理が続行されます。

重大度: 24

CKR1972 **CKRDEXB:** *ddname volser dsname* のキャッシュ *start-end* にない要求された **rel blk block (CKRDEXB: Requested rel blk block not in cache start-end for ddname volser dsname)**

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、SUPPRESS INDEX または BDAMQSAM を指定することによって回避できる可能性があります。

重大度: 24

CKR1973 **CKRSTPL.CKRCLST:** MERGELIST に関して 1 次 TLHD を入力する必要があります (**CKRSTPL.CKRCLST: For a MERGELIST the primary TLHD must be supplied**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページ

の『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このエラーが発生すると、出力レコードが正しくないソート順で表示されます。

重大度: 24

CKR1974 **CKRPUTV:** *ddname* の行 *number* で *fieldaddr1 fieldname1* への後でのコールで *fieldaddr2 fieldname2* へ繰り返しグループのオープンが定義されました
(CKRPUTV: Late call for fieldaddr1 fieldname1 but repeat group open for fieldaddr2 fieldname2 defined at ddname line number)

説明: 明らかに、2 つの繰り返しグループが同時に構成されています。これはサポートされておらず、*field1* への「ネストされた」呼び出しは無視されます。すなわち、値は破棄されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1975 **CKRXINIT:** キー/マスク/クラスがありません。 (**CKRXINIT: no key/mask/class**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、SUPPRESS INDEX または BDAMQSAM を指定することによって回避できる可能性があります。

重大度: 24

CKR1976 **CKRXINIT:** キーの長さが 0 です (**CKRXINIT: key has length 0**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、SUPPRESS INDEX または BDAMQSAM を指定することによって回避できる可能性があります。

重大度: 24

CKR1977 **CKRDIXB:** キャッシュ内に見つかりません (**CKRDIXB: in cache not found**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。この問題は、SUPPRESS INDEX または BDAMQSAM を指定することによって回避できる可能性があります。

重大度: 24

CKR1978 作動可能な RFDSの状態が *state* です (**Ready RFDS but state is state**)

説明: CPU ループを防止するために、ユーザー異常終了 1978 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1979 **CKRLKPP:** *ddname* の行 *number* で *fieldaddr fieldname* への指定されていない種類の繰り返しグループの制限が定義されました (**CKRLKPP: Unspecified kind of repeat group restriction for fieldaddr fieldnamedefined at ddname line number**)

説明: 示されたフィールドの処理中にエラーが発生しました。このフィールドは出力されません。このメッセージは抑制することができます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1980 **CKRLKPP:** *type* の *ddname* の行 *number* で *fieldaddr fieldname* への解読不能なリクエスト *xx* が定義されました (**CKRLKPP: Unintelligible request xxfor fieldaddr fieldname defined at ddname line number in type**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1981 **CKRPATT:** MTAB に未定義の総称タイプの追加が必要です (**CKRPATT: undefined generic type to be added to MTAB**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1982 **C2ARULE:** 最初の項目で逆方向参照が見つかりました (**C2ARULE: backward reference found at first entry**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1983 **CKRPUTV:** *ddname* の行 *number* で、後で処理されるフィールド *fieldaddr fieldname* への先行したコールが定義されました (**CKRPUTV: Early call for late field fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明: 示された *field* は後のステージングで構成されると想定されます。この呼び出しは無視されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1984 *routine:* 無効な列 - **OUTF fieldaddr. hexvalue * charvalue * (routine: Invalid column - OUTF fieldaddr. hexvalue * charvalue *)**

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージ

が抑止される場合は、処理が続行されます。

重大度: 24

CKR1985 **CKRPUTV:** *ddname* の行 *number* で *fieldaddr1 fieldname1* への後でのオープンで *fieldaddr2 fieldname2* への繰り返しグループのオープンが定義されました
(**CKRPUTV.CKRIRPT:** Late open for *fieldaddr1 fieldname1* but repeat group open for *fieldaddr2 fieldname2* defined at *ddname line number*)

説明: 繰り返しグループの作成と遅い列の構成のために使用された領域は *field1* に関して明示的にオープンされますが、最初に *field2* に関してクローズされるべきでした。*field2* へのクローズ処理が、この状態からのリカバリーを試みるため、要求されたオープン処理の前にここで実行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1986 **CKRPUTV.CKRPTSRT:** *ddname* の行 *number* で *fieldaddr fieldname* への予想されないエレメント・サイズ *size* が定義されました (**CKRPUTV.CKRPTSRT:** Unexpected element size *size* for *fieldaddr fieldname* defined at *ddname line number*)

説明: 繰り返しグループ *field* に何らかの不具合があります。現在の繰り返しグループはソートされません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1987 **CKRPUTV:** *ddname* の行 *number* で複数値の繰り返しなしフィールド *fieldaddr fieldname* が定義されました (**CKRPUTV:** Multi-valued non-repeat field *fieldaddr fieldname* defined at *ddname line number*)

説明: 1 件のレコードに対して明らかに複数の *field* 値が存在しますが、このフィールドは繰り返しフィールドではありません。2 次値は破棄されます。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1988 **CKRPUTV.CKRDELST function:** *ddname* の行 *number* で *fieldaddr fieldname* への出力用にまだオープンしているレコード *recordaddr* が定義されました
(**CKRPUTV.CKRDELST function:** Record *recordaddr* still open for output for *fieldaddr fieldname* defined at *ddname line number*)

説明: 示された削除リスト *function* により、まだ作成中のレコードが削除されます。すでに削除されているレコードへの後での書き込みは混乱を招く可能性があり、この状態からのリカバリーは複雑で不確実です。ユーザー異常終了 16 が発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1989 *routine: fieldaddr fieldname* を印刷するためのレコード記述子 *descriptor* の準備ができていません (***routine: Record descriptor descriptor not ready for printing fieldaddr fieldname***)

説明: 示された *field* を印刷する要求は受け入れられません。その列は現時点で印刷されるレコードが見当たらないレコード・タイプの一部です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1990 **CKRPUTV:** *ddname* の行 *number* で *fieldaddr fieldname* のためにすでに保管されているリテラルが定義されました
(**CKRPUTV:** Literal already stored for *fieldaddr fieldname* defined at *ddname line number*)

説明: 示された *field* 列はリテラルであるため、2 次値は予期されませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1992 **CKRCKGS:** *complex* に *userid* のデフォルト・グループがありません
(**CKRCKGS: No default group for *userid* in *complex***)

説明: 示された *complex* の示された *userid* のデフォルト・グループが欠落しているようです。この *userid* で CKG.SCP.ID リソース名を構成することはできません。CKGRACF 有効範囲決定がオフになっている可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1993 *procedure:* 予期せぬ **SCOP** *eyecatcher* [リソース *resource* の場合] (*procedure:*
Unexpected SCOP *eyecatcher* [for *resource* *resource*])

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1994 **CKRCKGS.CKRIMPL:** 無効な **USRC** (**len=len**) - *fieldaddr fieldname* での *data*、**TLST recordaddr** (**CKRCKGS.CKRIMPL:**
Invalid USRC (len=len) - data for *fieldaddr fieldname*; TLST recordaddr)

説明: 示された *record* の示された *field* にある *data* のフォーマットは、予期される **USRC** フォーマットではありません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1995 **CKRPUTV.CKRPTCLS:** *ddname* の行 *number*、**TLST recordaddr** で *fieldaddr fieldname* への無効な空の繰り返しクローズが定義されました
(**CKRPUTV.CKRPTCLS: Invalid empty repeat close for *fieldaddr fieldname* defined at *ddname* line *number*; TLST recordaddr**)

説明: 示された *field* は最初に保管され、その後空の列を生成して処理されましたが、これを行うためのストレージ方式の予防措置は何も行われませんでした。このメッセージの後に、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1996 **CKRPUTV.CKRDELST: MERGELIST**
エラー - **TLHD queryaddr ix queryindex**
TLST recordaddr ix recordindex
(**CKRPUTV.CKRDELST: MERGELIST**
error - **TLHD queryaddr ix queryindex**
TLST recordaddr ix recordindex)

説明: レコードの削除ルーチンの問題が **MERGELIST** で発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1997 **CKRLKUP:** *ddname* の行 *number* で定義された *fieldaddr fieldname*、**TLST recordaddr** 呼び出しタイプ *xx* に対して関数が指定されていません (**CKRLKUP: No function indicated for *fieldaddr fieldname*; TLST recordaddr call type *xx* defined at *ddname* line *number***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR1998 **CKRCFV:** *system complex* から *mountpoint* への **HFS** 切り替え時のディレクトリー切り替え (**CKRCFV: Directory switch during HFS switch for system complex to mountpoint**)

説明: 新規ファイル・システム・ダンプの開始が完了しないうちに、UNIX ディレクトリー切り替えの CKFREEZE レコードが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。

重大度: 20

メッセージ 2100 から 2199

CKR2167 **CKRCFV:** 以下のレコードの予期しない順序 *number* タイプ *type subtype* システム *system* [*version*]、*source* (**CKRCFV: Unexpected order for record number type type subtype system system** [*version*] of *source*)

説明: レコードの予期しない順序が CKFREEZE 内で検出されました。結果は予測不能です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR2168 **QUOTE_TRIGGER** 文字「X」はサポートされていません。その文字は、**UTF8** で長さ 1 が必要です (**QUOTE_TRIGGER character "X" unsupported, must have length 1 in UTF8**)

説明: 引用符トリガー文字は、EBCDIC と UTF8 のいずれでも長さが 1 バイトでなければならないため、使用できません。

重大度: 12

CKR2169 **DA/GR** ベースのルックアップ・フィールドが多すぎます (**Too many DA/GR-based lookup fields**)

説明: オブジェクトのルックアップ・フィールド数に関

CKR1999 **CKRCFV:** *system complex mountpoint* の **HFS** ルート前のディレクトリー切り替え (**CKRCFV: Directory switch before HFS root for system complex mountpoint**)

説明: ルート・ディレクトリーの内容はまだ確認されていませんが、UNIX ディレクトリー切り替えの CKFREEZE レコードが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。ファイル・システム・ダンプの残りはスキップされます。

重大度: 20

する内部制限に達しました。

ユーザーの処置: ルックアップの数を減らしてください。または、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKR2170 *targetfield* で **TLUV** ベースのルックアップ・フィールドが多すぎます (**Too many TLUV-based lookup fields - at targetfield**)

説明: オブジェクトのルックアップ・フィールド数に関する内部制限に達しました。

ユーザーの処置: ルックアップの数を減らしてください。または、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

CKR2171 **newlist** タイプ=*type* で、*num1* (*num2* のうち) が選択されました (**At newlist type=*type* selected num1 of num2**)

説明: このメッセージは、この **newlist** タイプの出力レコードの作成中にストレージ不足またはアテンション割り込みが発生したときに作成されていた **newlist** タイプを示します。このメッセージは、ストレージ不足が発

生したときにプログラムが **newlist** タイプ内のオブジェクトの処理をどこまで進めていたかを判別するのに役立ちます。場合によっては、このメッセージの前に、処理されていた特定の **newlist** を示すメッセージ CKR2172 が発行されます。

num1 は、割り込みの前に選択されたレコードの数です。

num2 は、割り込みの前に処理されたレコードの数です。

重大度: 00

CKR2172 **newlist** 名=*name* で、*number* が選択されました (**At newlist name=*name* selected *number***)

説明: このメッセージは、出力のこの部分の保管中にストレージ不足またはアテンション割り込みが発生したときに処理されていた **newlist** を示します。このメッセージは、ストレージ不足が発生したときにプログラムが処理をどこまで進めていたかを判別するのに役立ちます。多くの場合、このメッセージの後に、処理されていた **newlist** タイプを示すメッセージ CKR2171 が発行されます。

number は、割り込みの前に処理されたレコードの数です。

重大度: 00

CKR2173 **CKDS** キー・ラベルのあいまいなタイプ *type1* および *type2*、*label system* [*version*]、レコード *recno source* (**CKDS key label ambiguous type *type1* and *type2* for label system [*version*], record *recno source***)

説明: 固有のキー・ラベルを必要とするキー・タイプが、CKDS 内で重複する定義を持っていることが検出されました。無効な重複は、**newlist** タイプ出力に追加されません。固有のラベルを持つ必要があるキー・タイプは、DATA, DATAM, DATAMV, DATAXLAT, MAC, MACVER, および NULL です。

ユーザーの処置: CKDS 内で重複する定義を解決してください。

重大度: 08

CKR2174 **DEFSENS sensitivity**
CONCERN='concern' PRIO=prio2 は既に **PRIO=prio1 source1 - source2** と定義されています (**DEFSENS sensitivity CONCERN='concern' PRIO=prio2 but already PRIO=prio1 source1 - source2**)

説明: 機密性レベル/リスク・レベルの組み合わせに関連付けられている監査の考慮事項に割り当てられる監査の考慮事項の優先順位は、固有でなければなりません。この DEFSENS ステートメント上の指定が、前の DEFSENS ステートメントでの指定と競合しています。

ユーザーの処置: 機密性の名前を訂正するか、または優先順位の 1 つを調整してください。

重大度: 12

CKR2175 **ID=id** の優先順位 **PRIO=prio2** は、既に **PRIO=prio1 source1 - source2** が割り当てられているため、重複しています (**(Duplicate priority PRIO=prio2 for ID=id already PRIO=prio1 source1 - source2)**)

説明: この DEFSENS ステートメントで参照されている監査の考慮事項 ID には、別の優先順位が既に割り当てられています。

ユーザーの処置: 優先順位が異なる監査の考慮事項には、異なる監査の考慮事項 ID を使用してください。

重大度: 12

CKR2176 **DEFSENS sensitivity**
CONCERN='concern' PRIO=prio2 は既に **PRIO=prio1 source1 - source2** と定義されています (**DEFSENS sensitivity CONCERN='concern' PRIO=prio2 but already PRIO=prio1 source1 - source2**)

説明: 機密性レベル/リスク・レベルの組み合わせに関連付けられている監査の考慮事項に割り当てられる監査の考慮事項の優先順位は、固有でなければなりません。この DEFSENS ステートメント上の指定が、前の DEFSENS ステートメントでの指定と競合しています。どちらの DEFSENS ステートメントも **CLASS=** キーワードと **RESOURCE_TYPE** キーワードは指定していないため、この機密性とリスク・レベルの組み合わせに対してより具体的な割り当てがない、すべてのクラス向けのデフォルトが指定されています。

ユーザーの処置: 機密性の名前を訂正するか、またはどちらの DEFSENS ステートメントを削除するかを決定してください。

重大度: 12

CKR2177 **DEFSENS sensitivity**
CONCERN='concern' PRIO=prio2 は既に **PRIO=prio1 source1 - source2** と定義されています (**DEFSENS sensitivity CONCERN='concern' PRIO=prio2 but**

already *PRIO=prio1 source1 - source2*)

説明: 機密性レベル/リスク・レベルの組み合わせに関連付けられている監査の考慮事項に割り当てられる監査の考慮事項の優先順位は、固有でなければなりません。この DEFSENS ステートメント上の指定が、前の DEFSENS ステートメントでの指定と競合しています。どちらのステートメントにも CLASS (または RESOURCE_TYPE) の仕様があることに注意してください。

ユーザーの処置: 機密性レベルとリスク・レベルが同じ場合に優先順位を区別するには、監査に関する考慮事項のストリングを異なるものにしてください。そうしない場合には、いずれかの機密性または優先順位を調整してください。

重大度: 12

CKR2178 **DEFSENS** *sensitivity*
CONCERN='concern2' **CLASS=class**
source2
 は既に **CONCERN='concern1'** *source1* と定義されています (**DEFSENS** *sensitivity* **CONCERN='concern2'** **CLASS=class** *source2*
but already defined as
CONCERN='concern1' *source1*)

説明: 特定のクラスの機密性/リスク・レベルの組み合わせに割り当てる監査の考慮事項は、固有でなければなりません。この DEFSENS ステートメント上の指定が、前の DEFSENS ステートメントでの指定と競合しています。このエラーは、DEFSENS ステートメントに対して 1 回だけ発行されます。ただし問題は、示されているよりも多くのクラスに当てはまる可能性もあります。

ユーザーの処置: 特定の 1 クラスに対して、同じ機密性レベルとリスク・レベルの、異なる監査の考慮事項を割り当てたつもりであれば、DEFSENS ステートメントの CLASS キーワードまたは RESOURCE_TYPE キーワードを調整してください。そうでない場合は、機密性の名前を訂正してください。

重大度: 12

CKR2179 **DEFSENS** *sensitivity*
CONCERN='concern2' *source2*
 は既に **CONCERN='concern1'** *source1* と定義されています (**DEFSENS** *sensitivity* **CONCERN='concern2'** *source2*
but already defined as
CONCERN='concern1' *source1*)

説明: 特定のクラスの機密性/リスク・レベルの組み合

わせに割り当てる監査の考慮事項は、固有でなければなりません。この DEFSENS ステートメント上の指定が、前の DEFSENS ステートメントでの指定と競合しています。どちらの DEFSENS ステートメントも CLASS= キーワードと RESOURCE_TYPE キーワードは指定していないため、この機密性に対してより具体的な割り当てがない、すべてのクラス向けのデフォルトが指定されています。

ユーザーの処置: 特定の 1 クラスに対して、同じ機密性レベルとリスク・レベルの、異なる監査の考慮事項を割り当てたつもりであれば、CLASS キーワードまたは RESOURCE_TYPE キーワードを適切な DEFSENS ステートメントに追加してください。そうでない場合は、機密性の名前を訂正するか、または誤りの DEFSENS ステートメントを削除してください。

重大度: 12

CKR2180 **DEFSENS** には *token "value" source* の前に **ACCESS=** キーワードが必要です (**DEFSENS** *requires ACCESS=keyword, before token "value" source*)

説明: 単一の DEFSENS ステートメントが、機密性 (=object type) とリスク・アクセス・レベル (ACCESS=) の組み合わせのプロパティを定義しています。ACCESS レベルは必要です。

ユーザーの処置: この DEFSENS ステートメントを訂正するか、または削除してください。

重大度: 12

CKR2181 考慮事項の ID *id* は最初に *source1 - source2* で定義されているため重複しています (**Duplicate concern id id first defined** *source1 - source2*)

説明: この DEFSENS ステートメントで参照されている監査の考慮事項 ID には、別の監査の考慮事項テキストが既に割り当てられています。

ユーザーの処置: この ID を意図的に再利用したのであれば、監査の考慮事項が同一になるように修正してください。そうでない場合は、どちらかの監査の考慮事項に別の ID を割り当ててください。

重大度: 12

CKR2182 考慮事項の ID *id* は最初に *source1 - source2* で定義されているため重複しています (**Duplicate concern id id first defined** *source1 - source2*)

説明: この SIMULATE ステートメントで CONCERN

に割り当てられている監査の考慮事項 ID は、別の監査の考慮事項に既に割り当てられています。

ユーザーの処置: この ID を意図的に再利用したのであれば、監査の考慮事項が同一になるように修正してください。そうでない場合は、どちらかの監査の考慮事項に別の ID を割り当ててください。

重大度: 12

CKR2183 **SIMULATE CLASS/RESTYPE** には *token "value" source* の前に **RESOURCE** が必要です (**SIMULATE CLASS/RESTYPE requires RESOURCE, before token "value" source**)

説明: SIMULATE CLASS コマンドまたは SIMULATE RESOURCE_TYPE コマンドは、リソースを機密と指定するために使用されます。RESOURCE キーワードを指定しない場合には効果はありません。

ユーザーの処置: この SIMULATE ステートメントを訂正するか、または削除してください。同時にリソースを特定せずに特定の SENSITIVITY のプロパティを指定するには、DEFSENS ステートメントを使用します。

重大度: 12

CKR2184 **SIMULATE SENSITIVITY=sensitivity CONCERN='concern' PRIO=prio2** は既に **PRIO=prio1 source1 - source2** と定義されています (**SIMULATE SENSITIVITY=sensitivity CONCERN='concern' PRIO=prio2 but already PRIO=prio1 source1 - source2**)

説明: 機密性レベル/リスク・レベルの組み合わせに関連付けられている監査の考慮事項に割り当てられる監査の考慮事項の優先順位は、固有でなければなりません。この SIMULATE ステートメントでの指定が、前の DEFSENS ステートメントまたは SIMULATE ステートメントでの指定と競合しています。

ユーザーの処置: 機密性の名前を訂正するか、または優先順位の 1 つを調整してください。

重大度: 12

CKR2185 **ID=id** の優先順位 **PRIO=prio2** は、既に **PRIO=prio1 source1 - source2** が割り当てられているため、重複しています (**Duplicate priority PRIO=prio2 for ID=id already PRIO=prio1 source1 - source2**)

説明: この SIMULATE ステートメントで参照されて

いる監査の考慮事項 ID には、別の優先順位が既に割り当てられています。

ユーザーの処置: 優先順位が異なる監査の考慮事項には、異なる監査の考慮事項 ID を使用してください。

重大度: 12

CKR2186 **SIMULATE CLASS=class SENSITIVITY=sensitivity PRIO=prio2** は既に **PRIO=prio1 source1 - source2** と定義されています (**SIMULATE CLASS=class SENSITIVITY=sensitivity PRIO=prio2 but already PRIO=prio1 source1 - source2**)

説明: この SIMULATE CLASS ステートメントで指定されている監査に関する考慮事項の優先順位が、前の DEFSENS ステートメントでの指定と競合しています。

ユーザーの処置: クラスが異なり、機密性レベルが同じである場合に優先順位を区別するには、監査に関する考慮事項のストリングを異なるものにしてください。そうしない場合には、いずれかの機密性または優先順位を調整してください。

重大度: 12

CKR2187 **SIMULATE CLASS=class SENSITIVITY=sensitivity CONCERN='concern2' source2** は既に **CONCERN='concern1' source1** と定義されています (**SIMULATE CLASS=class SENSITIVITY=sensitivity CONCERN='concern2' source2 but already defined as CONCERN='concern1' source1**)

説明: 特定のクラスの機密性/リスク・レベルの組み合わせに割り当てる監査の考慮事項は、固有でなければなりません。この SIMULATE ステートメントでの指定が、前の DEFSENS ステートメントでの指定と競合しています。

ユーザーの処置: 特定の 1 クラスに対して、同じ機密性レベルとリスク・レベルの、異なる監査の考慮事項を割り当てたつもりであれば、CLASS キーワードまたは RESOURCE_TYPE キーワードを調整してください。そうでない場合は、機密性の名前を訂正してください。

重大度: 12

CKR2188 事前定義された機密性は *token "value"* *source* の前の **ACCESS/CONCERN/PRIO/ID** と相互排他的です (**Predefined sensitivity is mutually exclusive with ACCESS/CONCERN/PRIO/ID before token "value" source**)

説明: 事前定義された機密性を SENSITIVITY=*keyword* で使用する場合は、リスク・アクセス・レベルと監査の考慮事項の ID、優先順位、およびテキストが暗黙に指定されます。

ユーザーの処置: これらのキーワードを SIMULATE ステートメントから削除してください。

重大度: 12

CKR2189 **CKRCFD:** 以下のレコードの予想しない順序 *number* タイプ *type subtype* システム *system [version]*、*source* (**CKRCFD: Unexpected order for record number type type subtype system system [version] of source**)

説明: レコードの予想しない順序が CKFREEZE 内で検出されました。結果は予測不能です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR2190 重複する NJE ノード名 *name*、サブシステム *subs* システム *system [version]* (**Duplicate NJE node name name in subsystem subs system system [version]**)

説明: 1 つの JES サブシステムのノード定義内に予想しない重複するノード名があります。

重大度: 20

CKR2192 パラメーター *option* には、厳密に 1 つの 1 バイト文字 *source*が含まれている必要があります (**Parameter option must contain exactly one single-byte character source**)

説明: このメッセージは、示されたパラメーターが、1 バイトから成る 1 つの文字のみをサポートすることを示しています。

ユーザーの処置: 示されたパラメーターには、1 バイト

の文字を 1 つ選択してください。

重大度: 12

CKR2193 パラメータ *option* は、**NO/PREFIX** *source* 以外の **HEADER** と同時に使用することはできません (**Parameter option mutually exclusive with HEADER other than NO/PREFIX source**)

説明: このメッセージは、示されたパラメーターが HEADER=LEEF, CEF, CSV, TSOCMD などのヘッダーを規定する形式では禁止されていることを示します。

ユーザーの処置: このパラメーターをカスタマイズするには HEADER=NO または HEADER=PREFIX を使用してください。または、これ以上カスタマイズせずに、標準 HEADER 指定のいずれかを使用してください。

重大度: 12

CKR2194 アクセスが **ACF2** によって拒否されました: *msg* (**Access denied by ACF2: msg**)

説明: このメッセージは、プログラムがログオン ID データベースからレコードを読み取るために ACF2 変更 SVC を使用していたことを示します。このプロセス中に、詳細を提供するメッセージが付随した、戻りコード 4 (要求が拒否されたことを示す) を ACF2 から受け取りました。メッセージのテキストをここに再現します。

重大度: 04

CKR2195 レベルの共通接頭部修飾子の最大数は *maximum* です。 *number requested - chainaddr fieldname source* (**Maximum number of common prefix modifiers on a level is maximum; number requested - chainaddr fieldname source**)

説明: COMMON_PREFIX (CPFX) 修飾子を持つフィールドの数には構造的な制限があります (ある特定の表示レベルにおいて)。

chainaddr は、IBM ソフトウェア・サポート・スペシャリスト用の関連情報である場合があります。

fieldname はこの表示レベルに属する最初のフィールドの名前です。このフィールドには、*common_prefix* 修飾子自体はない場合があります。

source は、CARLa 入力場所を示します。そこでは、このレベルに属する最初のフィールドが、関連するレベルを識別するために定義されています。

ユーザーの処置: 共通接頭部修飾子を含むフィールドの数を減らします (特定の *newlist* 内の単一の要約レベルまたは表示レベル内)。

重大度: 12

CKR2196 テスト *name where* で、マージされたドメイン *domain where* に対するアサーションを行うオブジェクトのタイプを選択するには、*type:ASSERT* を指定する必要があります (**Need to specify *type:ASSERT* to select which type of objects to assert for merged domain *domain where* in test *name where***)

説明: このメッセージは、アサーションが必要なオブジェクトの *newlist* タイプを明確にする必要があることを示します。構文 *TEST name ASSERT* を使用できるのは単一タイプ・ドメインの場合のみであり、定義により、マージする複数の *newlist* タイプをカバーするドメイン・マージには使用できません。そのため、ドメイン・マージを伴うこのルールの場合、単語 *ASSERT* の前にドメインの *newlist* タイプを指定する必要があります。

ユーザーの処置: テストを *TEST name type:ASSERT* と指定してください。

重大度: 12

CKR2197 コンプライアンス規則ドメインでサポートされていない *Newlist* タイプ - *type* (**Newlist type not supported in compliance rule domains - type**)

説明: このメッセージは、*NEWLIST TYPE ASSERT*、*NEWLIST*、*COMPLIANCE*、*COMPLIANCE_RULE_SET*、*COMPLIANCE_OBJECT_TYPE*、*TYPE*、*CONCERN_TEXT*、*FIELD*、または *FIELD_OVERRIDE* の場合に発行され、規則ドメインでそれらのタイプを使用できないことを示します。

ユーザーの処置: 別の方法でレポートを作成してください。

メッセージ 2200 から 2299

CKR2200 入力ファイルのオープン *type* が異常終了しました *code-reason (stock description)* *file description* (**Input open typeabend code-reason (stock description) file description**)

説明: このメッセージは、入力ファイルを開けなかったことを示します。最も一般的な異常終了コードについてのストック説明が出力されます。異常終了コードと理由コードを検索するか、ジョブ・ログで関連する *IEC*、*ICH*、または *IRR* メッセージを調べることができます。

ファイル説明には、ファイル名およびデータ・セット名

416 メッセージ・ガイド

重大度: 12

CKR2198 *ASSERT* と *OTHERWISE* は同時に指定できません - *TEST name where* (**ASSERT and OTHERWISE are mutually exclusive - TEST name where**)

説明: このメッセージは、*TEST* ステートメントで *OTHERWISE* と *ASSERT* を組み合わせることはできないことを示します。ただし、*OTHERWISE* 節の中のテストでは *ASSERT* を使用できます (*TEST ... OTHERWISE (TEST name ASSERT)* など)。

ユーザーの処置: *TEST name where* ステートメントから *ASSERT* または *OTHERWISE* のいずれかを削除してください。

重大度: 12

CKR2199 *file* システム *system [version]* *ALLOC F=MAIN* 複合システムがありません。複合システム "*complex*" を追加します (*file system system [version] no ALLOC F=MAIN complex, adding complex "complex"*)

説明: このメッセージは、セキュリティ・データベースに対する *FUNCTION=MAIN ALLOC* ステートメントが見つからなかったこと、および *zSecure* が、示されたシステムの (セキュリティ・データベースなしの)「空の」複合システムの処理を継続することを示します。複合システム名が固有であることは保証されません。

ユーザーの処置: 別のことを意図していた場合は、適切な *FUNCTION=*、*COMPLEX=*、および *VERSION=* の各パラメーターを指定した *ALLOC* ステートメントを追加してください。

重大度: 00

または *UNIX* パス名が示され、*file description* がリモート・ファイルまたはストレージ・バッファのどちらであるかが示されます。

重大度: 16

CKR2201 *dsn* が *volume* 上の *realdsn* として検出されました (**Located dsn as realdsn on volume**)

説明: このメッセージは、ユーザーから渡されたデータ・セット名が実際には別名であったことを示します。実際のデータ・セット名とボリューム通し番号が示され

ます。以降の処理では、別名は実際のデータ・セット名に置き換えられます。

重大度: 00

CKR2202 競合するジョブ名 *jobname1* が **ASID** *asid* で見つかりました (**Conflicting jobname *jobname1* found for ASID *asid***)。ジョブ名 *jobname2* が、同じ **ASID** に対して以前に定義されています (**Jobname *jobname2* was previously defined for the same ASID**)。

説明: アドレス・スペース情報の処理中に、競合するジョブ名が検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR2203 **type=count** テストでは **OTHERWISE** テストをネストできません。位置: *token "value" source* の前 (**Nested OTHERWISE test incompatible with type=count test - before token "*value*" source**)

説明: *type=count* という形式のコンプライアンス **STANDARD** コマンドの **TEST** に指定された **OTHERWISE** 節でテストがネストしていました。この組み合わせはサポートされません。

ユーザーの処置: 必要なコンプライアンス・テストを別の順序で指定してください。

重大度: 12

CKR2204 **SITE_SEVERITY** *source* に **STANDARD** 名がありません (**Missing STANDARD name on SITE_SEVERITY *source***)。

説明: **RULE** または **RULE_SET** 名を指定する場合、**STANDARD()** キーワードを使用して **STANDARD** 名を識別する必要もあります。**RULE** 名および **RULE_SET** 名は、標準内でのみ固有です。

ユーザーの処置: **STANDARD** パラメーターを追加してください。

重大度: 12

CKR2205 **SITE_SEVERITY** ステートメント が *source* と *source2* で重複してます (**Duplicate SITE_SEVERITY statement *source*, also *source2***)。

説明: ルール、ルール・セット、標準、複合システム、またはシステムが別の **SITE_SEVERITY** ステートメントでも識別されました。

ユーザーの処置: **SITE_SEVERITY** ステートメントのいずれかを変更または削除してください。

重大度: 12

CKR2206 **RULE** または **RULE_SET** *source* が指定された **COMPLEX** または **STANDARD** を指定します (**Specify either COMPLEX or STANDARD with RULE or RULE_SET *source***)。

説明: **SITE_SEVERITY** ステートメントに相互に排他的な 2 つの形式があります。ルール (セット) の重大度を却下するか、セキュリティ・データベース (複合システム) に対してより高いか低い重要度を割り当てます。

ユーザーの処置: **SITE_SEVERITY** ステートメントを 2 つの **SITE_SEVERITY** ステートメントに分割するか、**STANDARD** の後に **RULE** または **RULE_SET** パラメーターを追加してください。

重大度: 12

CKR2207 **SITE_SEVERITY STANDARD** *name* の *source* が見つかりません (**SITE_SEVERITY STANDARD *name* not found *source***)。

説明: **SITE_SEVERITY** ステートメントが、見つからない標準名を参照しています。標準名には大/小文字の区別があることに注意してください。

ユーザーの処置: 標準名のスペルを確認してください。

重大度: 04

CKR2208 **SITE_SEVERITY RULE** "*name*" の *source* が見つかりません (**SITE_SEVERITY RULE "*name*" not found *source***)

説明: いずれの組み込みの標準にもないルール・セットを参照する **SITE_SEVERITY** ステートメントが見つかりました。これは、タイプ入力エラーか、この実行で標準が意図的に省略された可能性があります。

ユーザーの処置: 標準が意図的に省略されているのではない場合は、標準を追加するか、またはタイプ入力エラーを訂正してください。

重大度: 4

CKR2209 **SITE_SEVERITY RULE "name" の source が見つかりません (SITE_SEVERITY RULE "name" not found source)**

説明: いずれの組み込みの標準にもないルールを参照する SITE_SEVERITY ステートメントが見つかりました。これは、タイプ入力エラーか、この実行で標準が意図的に省略された可能性があります。

ユーザーの処置: 標準が意図的に省略されているのではない場合は、標準を追加するか、またはタイプ入力エラーを訂正してください。

重大度: 4

CKR2210 **ID userid: complex[version] の XSGP source group についてネスト・レベルの深さを超えました (Id userid: Nesting level depth exceeded for XSGP source group in complex[version])**

説明: ACF2 相互参照ソース・グループ・レコードは最大 25 個のネスト・レベルをサポートします。このメッセージに示されたレコードは、この最大値を超えています。このレコードに対する以降の処理は打ち切られます。

重大度: 20

CKR2211 **N/A テストは、OTHERWISE - testsource の後ではサポートされません (N/A test not supported behind OTHERWISE - testsource)**

説明: TEST N/A ステートメントは TEST OTHERWISE チェーンの一部にすることはできません。

ユーザーの処置: 各 N/A TEST は独自のルール内に配置してください。

重大度: 12

CKR2212 **SYSTEM にも COMPLEX にも基づいていないため、N/A はタイプ=type でサポートされません - test source (N/A not supported for type=type because not SYSTEM or COMPLEX based - test source)**

説明: TEST N/A 機能は、どのシステムおよび複合システムにルール・セットが適用されるかを定義します。示されている NEWLIST タイプは、SYSTEM フィールドも COMPLEX フィールドもキーの一部として含んでいないため、システムまたは複合システムに対するル

ル・セットの適用可能性に影響を及ぼすことはできません。

ユーザーの処置: 異なるドメイン NEWLIST タイプを使用するか、TEST N/A ではなく RULE EXEMPT 節を使用します。

重大度: 12

CKR2213 **N/A テストと非 N/A テストは、同じルール name source に含めることはできません (N/A tests and non-N/A tests cannot be in same rule name source)**

説明: ルールでは、TEST N/A ステートメントと他の TEST ステートメントを混用することはできません。これは、システムまたは複合システムの非適用可能性を決定するルールはすべて、あらゆるルール・セットから他のテストを行う前に、まず評価する必要があるためです。

ユーザーの処置: ルール・セットで TEST N/A と通常の TEST を結合するには、それらに異なるルール名を割り当てる必要があります。これらは同じルール・セットの一部にすることができます。

重大度: 12

CKR2214 **DOMAIN で SUMMARY を実行しない場合、N/A テストはカウント・テストでサポートされません - test source (N/A test not supported for count test without SUMMARY on the DOMAIN - test source)**

説明: TEST N/A 機能は、どのシステムおよび複合システムにルール・セットが適用されるかを定義します。SYSTEM または COMPLEX (あるいはその両方) で SUMMARY を実行せずに NEWLIST 用のレコードの数をテストする場合、それを特定のシステムまたは複合システムに結び付ける方法はありません。

ユーザーの処置: SUMMARY(SYSTEM COMPLEX VER COUNT) または SUMMARY(COMPLEX VER COUNT) 節を RULE DOMAIN の DOMAIN 指定に追加してください。

重大度: 12

CKR2215 **ddname1 行 number1 のルール・セット setname は、標準 stdname VER(version) 内の ddname2 行 number2 で既に定義されています (Rule set setname at ddname1 line number1 already defined at ddname2 line number2 in standard stdname VER(version))**

説明: RULE_SET は、STANDARD バージョン内で固有の名前を持っている必要があります。

ユーザーの処置: 指定された標準内で同じ名前を持つ 2 つのルール・セットのいずれかの名前を変更してください。

重大度: 12

CKR2216 機密性 "senstype" ACCESS=risk の不整合な CONCERN は無視されました
(Inconsistent CONCERN for sensitivity "senstype" ACCESS=risk ignored)

説明: このメッセージは、機密性タイプとリスク・レベルの組み合わせに対して複数の考慮事項のテキストが生成された場合に発行されます。格納される考慮事項のテキストは 1 つのみです。このメッセージの発行は非常にまれなケースであると予想されます。通常、メッセージ CKR2386 が代わりに発行されます。

ユーザーの処置: SIMULATE CLASS コマンドを確認して、すべての CONCERN テキストに対して固有の機密性タイプとアクセス・レベルの組み合わせを定義してください。SIMULATE CLASS コマンドが関係していない場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR2217 フィールド・タイプ type は、フィールド field ではサポートされません。(Field type type not supported for field field)

説明: このメッセージは、示されている field が、SELECT/EXCLUDE 処理に使用されたことを示します。このフィールドは、現行の NEWLIST タイプでの出力のみに使用できます。このエラー・メッセージが発生する可能性がある NEWLIST タイプは、ストリング、ビット・フィールド、および数値の選択をサポートします。時間帯など、一部のフィールド・タイプは、出力のみに使用できます。

重大度: 12

CKR2218 source 用の CKFCOLL パラメーター (CKFCOLL parameters for source)

説明: このメッセージは、SHOW CKFIN コマンドへの応答として発行され、CKFREEZE データ・セットご

とに CKFCOLL への入力パラメーターを後続の行に示します。

重大度: 0

CKR2219 source 内の system[version] 用の CKFCOLL メッセージ (CKFCOLL messages for system[version] in source)

説明: このメッセージは、SHOW CKFMSG コマンドへの応答として発行され、CKFREEZE データ・セットごとに、CKFCOLL によって発行されたメッセージを後続の行に示します。

重大度: 0

CKR2220 タイプ=type のライセンスがないシステムで CKFREEZE が作成されました - source (CKFREEZE created on system without type=type entitlement - source)

説明: このメッセージは、CKFCOLL を使用してスナップショットが取られたシステム上で、資格を与えていない NEWLIST タイプを CARLa スクリプトが要求した場合に発行されます。

ユーザーの処置: 資格がないレポートを実行しないでください。または、スナップショットを取るために CKFCOLL プログラムが実行されたシステムのライセンスを拡張して、CKFCOLL を再実行してください。

重大度: 16

CKR2221 サイトのバナー・ファイル ddname volser dsname を開くことができません (Cannot open site banner file ddname volser dsname)

説明: このメッセージは、SITE_BANNER オプションで指定されたサイト定義の USS テーブル・バナー・ファイルを開くことができないことを示します。ファイルが正しく割り振られているかどうか、およびメンバーが存在するかどうかを確認してください。

重大度: 16

CKR2222 ファイル ddname volser dsname からの読み取りにはメンバー名が必要です (A member name is required to read from file ddname volser dsname)

説明: PDS(E) データ・セットを参照する SITE_BANNER オプションが指定されていましたが、このデータ・セットから読み取られるメンバーが指定されていませんでした。SITE_BANNER オプションに正

しいメンバーを追加して、照会を再実行依頼してください。

重大度: 16

CKR2223 MSTR DD 名 *ddname* システム *smfid* [*version*] の連結数 *nnn* が、サポートされている最大数の 127 を超えています
(Concat number *nnn* of MSTR *ddname* *ddname* system *smfid* [*version*] larger than supported maximum 127)

説明: CKRCARLA プログラムは、MSTR DD 名の IEFPSI または IEFJOBS 連結で 127 個を超えるデータ・セットをサポートしません。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR2224 APF データ・セット *dsn* がボリューム *volser* の VTOC で SMS とマーク付けされましたが、システム *system version* ではボリュームは SMS 管理ではありません。メンバーがレポートに存在しない可能性があります (APF data set *dsn* marked SMS in VTOC for volume *volser* but volume not SMS managed on system *system version*; members might be missing in report)

説明: このメッセージは、ボリュームが SMS 管理ではないために、CKFREEZE ファイルがデータ・セットを非 APF としてマーク付けした場合に発行されます。ただし、データ・セットは最終的に APF 許可とみなされます。これは、データ・セットが SMS 管理のボリューム状況ではないものの、APF 状況を決定するフォーマット 1/8 DSCB のビットであるためです。以前の CKFREEZE ファイルの分析を向上させるために、CKRCARLA はデータ・セットを APF 許可とみなします。ボリューム状況の間違った使用が原因で、PDS ディレクトリーは CKFREEZE で自動的にダンプされません。その結果、R_AC1、R_PGM、R_PADS NEWLIST が不完全になる可能性があります。

このメッセージは、CARLa 照会にロード・モジュール分析が必要になり、DEBUG APF が指定されていた場合にのみ発行されます。

重大度: 4

CKR2225 システム *smfid* [*version*] では要求されたレポートに CKFREEZE ファイルが必要です (Requested report requires CKFREEZE file for system *smfid* [*version*])

説明: このメッセージは、VERIFY または NEWLIST が要求されましたが、示されたシステム用の CKFREEZE に接続されなかったことを示します。このメッセージは抑止可能ですが、メッセージを抑止すると、結果が予測不能になります。

ユーザーの処置: 適切な CFREEZE ファイルを割り振って、再実行してください。

重大度: 16

CKR2226 要求されたレポートの CKFREEZE *smfid* [*version*] が不完全です - source (CKFREEZE *smfid* [*version*] too incomplete for requested report - source)

説明: このメッセージは、VERIFY または NEWLIST が要求されましたが、VERIFY または NEWLIST の情報が不十分であり、示されたシステムで使用可能な CKFREEZE の内容が制限されていたことを示します。このバージョンは ALLOC VERSION キーワードで指定されたものです。システム ID に対して最新の CKFREEZE に関するものでない場合は、世代が表示されます。例えば、世代 -1 は最新のものの直前の CKFREEZE を意味します。

このメッセージは抑止可能ですが、メッセージを抑止すると、結果が予測不能になります。このメッセージの後には、不完全な情報の原因となった CKFCOLL オプションが示されます。オプションの先頭に 'shr' が付いている場合は、VERSION 内で、十分なオプションを持つ SHARED=Y CKFREEZE ファイルが検出されなかったことを意味します。例えば、'shr CAT<>YES' は、カタログの内容を表示するために使用できる SHARED=Y,CAT=Y CKFREEZE が割り振られていなかったことを意味します。

DASD のみの分析を可能にするためのテープ・カタログのみ欠落している場合、メッセージの重大度は 4 です。ただし、VERIFY NOTEMPTY を実行することにより、アンカログされたテープ・データ・セットをカバーするプロファイルを削除するためのコマンドが生成される場合があります。

ユーザーの処置: 必要な VERIFY 関数についての適切な内容を含めて CFREEZE ファイルを作成し (示されたオプションは指定しない)、それらの CFREEZE ファイルを割り振って再実行してください。すべての DASD

がシスプレックス内のメンバー間で共有されている場合は、1 つの SHARED=Y CKFREEZE ファイルを持つだけで十分であり、残りは SHARED=N にすることができます。

重大度: 16 または 4

CKR2227 **COMPLIANT、NONCOMPLIANT、N/A、および ASSERT は同時に使用できません - test source (COMPLIANT, NONCOMPLIANT, N/A and ASSERT are mutually exclusive - test source)**

説明: TEST N/A は、ルール・セットが適用されるシステムおよび複合システムを定義します。一方、TEST ASSERT は、手動アサーションが必要であることを示します。TEST COMPLIANT および TEST NONCOMPLIANT は、結果が準拠か非準拠かを明示的に定義します。これらのテスト機能は同時に使用することはできません。

ユーザーの処置: ルール・セットで TEST N/A と通常の TEST を結合するには、それらに異なるルール名を割り当てる必要があります。これらは同じルール・セットの一部にすることができます。アサーションは別個の TEST ステートメントに指定する必要があります。

重大度: 12

CKR2228 **DDNAME=ddname は E メールでは許可されていません (DDNAME=ddname not allowed for e-mail)。**
DDNAME=C2REMAIL を指定する必要があります (DDNAME=C2REMAIL required)。

説明: MAILTO オプションを使用して、C2REMAIL とは異なる *ddname* が指定されました。代わりに、C2REMAIL を使用してください。

重大度: 12

CKR2229 **SUMMARY はマージと結合できません。ドメイン domain where (SUMMARY cannot be combined with merge, domain domain where)**

説明: このメッセージは、DOMAIN 上の SUMMARY を、SELECT パラメーター上の複数の NEWLIST タイプと結合できないことを示します。

ユーザーの処置: DOMAIN から SUMMARY を削除するか、DOMAIN SELECT から NEWLIST タイプを削除してください。

重大度: 12

CKR2230 **ドメインのマージでサポートされるのは 2 つのタイプのみで、number はサポートされません。ドメイン domain where (Domain merge only supports 2 types, not number, domain domain where)**

説明: このメッセージは、ドメインと 2 つの NEWLIST タイプとのマージのみがサポートされ、それ以上はサポートされないことを示します。このメッセージは抑止可能ですが、抑止した場合、結果が予測不能になります。

重大度: 12

CKR2231 **パスワードでの特殊文字のサポートは、現行システムでは無効です (Password support for special characters not enabled on current system)**

説明: マージ操作のソース・データベースでは、パスワードでの特殊文字が許可されていますが、現行データベースでは許可されていません。パスワードがソース・データベースから現行データベースにコピーされると、特殊文字を含むパスワードを持つユーザーは、このパスワードを使用してログインすることができなくなります。

重大度: 0

CKR2232 **現行システムでは、KDFAES 暗号化はサポートされていません (Current system does not support KDFAES encryption)**

説明: マージ操作のソース・データベースでは、パスワードのハッシュ処理に KDFAES 暗号化アルゴリズムが使用されますが、現行データベースでは使用されません。パスワードをソース・データベースから現行データベースにコピーするコマンドは生成されません。

重大度: 0

CKR2233 **RETCONC: 監査に関する考慮事項に変数がありますが、考慮事項のテキストに変数が見つかりませんでした (RETCONC: Audit concern contains variables, however none were found in the concern text)**

説明: このメッセージは、サポートされていない状態を通知するものです。監査に関する考慮事項が変数を関連付けましたが、変数を考慮事項のテキストに置換できませんでした。コンテキストを把握するには、DEBUG NLS を指定して照会を再実行し、このメッセージの直前に発行される CKR1631 メッセージを調べてください。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。少なくとも、説明で触れた CKR1631 メッセージによる関連情報を報告してください。

重大度: 8

CKR2235 NOOVM キーワードは、NEWOVMUID、NEWOVMGID、NEWOVMPROGRAM、NEWOVMHOME、および NEWOVMFSROOT の各キーワードと同時に使用することはできません。(The NOOVM keyword is mutually exclusive with the NEWOVMUID, NEWOVMGID, NEWOVMPROGRAM, NEWOVMHOME, and NEWOVMFSROOT keywords.)

説明: NOOVM キーワードが COPY コマンドで使用されている場合は、NEWOVMUID、NEWOVMGID、NEWOVMPROGRAM、NEWOVMHOME、および NEWOVMFSROOT の各キーワードは使用できません。

ユーザーの処置: 該当するキーワードを除去して、COPY コマンドを再発行してください。

重大度: 12

CKR2236 アンロードの 2 パス読み取りがサーバーでサポートされていません。(Two-pass READ of unload not supported by server.) zSecure サーバーをアップグレードしてください。(Please upgrade the zSecure server.)

説明: このメッセージは、ローカル・サーバーまたはリモート・サーバーがリモート UNLOAD データ・セットの読み取りをサポートしていないことを示します。

ユーザーの処置: ローカル・サーバーまたはリモート・サーバーを、リモート UNLOAD データ・セットの 2 パス読み取りをサポートするレベルにアップグレードしてください。zSecure V2.2.0 以降では、リモート RACF データベースの 2 パス読み取りがサポートされています。

重大度: 12

CKR2237 RACFdb の 2 パス読み取りがサーバーでサポートされていません。(Two-pass READ of RACFdb not supported by server.) zSecure サーバーをアップグレードしてください。(Please upgrade the zSecure server.)

説明: このメッセージは、ローカル・サーバーまたはリモート・サーバーがリモート RACF データベースの読み取りをサポートしていないことを示します。

ユーザーの処置: ローカル・サーバーおよびリモート・サーバーを、リモート RACF データベースの 2 パス読み取りをサポートするレベルにアップグレードしてください。zSecure V2.2.0 では、リモート RACF データベースの 2 パス読み取りがサポートされています。

重大度: 12

CKR2238 複合システム *name* で、*count* 件の変数キー・プロファイル・セグメントをキャッシュするために、*metricspec* バイトの一時ストレージが使用されました (Complex *name* used *metricspec* bytes of transient storage for caching *count* variable-key profile segments)

説明: このメッセージは、プロファイル・キー内で RACF 変数名を持つプロファイル・セグメントを保管する際に、一時的に使用された仮想ストレージの量を示しています。これらのプロファイルは、各変数が解決されるまで、ストレージ内に保管されます。DEBUG DICT でストレージの使用をリストする際に、別のデータでこのストレージが再利用されていることがあります。

ユーザーの処置: 何も必要ありません。

重大度: 0

CKR2239 JSCBPGMN の不一致: ASID *program1* EXIT *program2* (システム *system* の ASID *nnnn*) (JSCBPGMN mismatch: ASID *program1* EXIT *program2* for ASID *nnnn* in system *system*)

説明: 2 つの内部データ構造間で、示されたアドレス・スペースについてのジョブ・ステップのプログラム名が一致しません。これは入力为正しくないことが考えられます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR2240 **NEWPHRASE** または **PROTECTED** は、**NOPASSWORD** とともに指定する必要があります (**NEWPHRASE or PROTECTED must be specified with NOPASSWORD**)

説明: **NOPASSWORD** が指定されているが **PROTECTED** パラメーターまたは **NEWPHRASE** パラメーターが指定されていない **COPY USER** ステートメントが検出されました。

重大度: 12

CKR2241 **NEWPASSWORD** を **NOPASSWORD** パラメーターとともに指定することはできません (**NEWPASSWORD cannot be used with NOPASSWORD parameter**)

説明: 相互に排他的である **NEWPASSWORD** パラメーターと **NOPASSWORD** パラメーターの両方が指定された **COPY USER** ステートメントが検出されました。

重大度: 12

CKR2242 **NOPASSWORD** は、**KDFAES** 対応システムよりも前のシステムで実行された場合、構文エラーの原因となる可能性があります (**NOPASSWORD might result in a syntax error if run on pre-KDFAES capable system**)

説明: **KDFAES** 対応システムよりも前のシステムで **NOPASSWORD** が指定された **COPY USER** ステートメントを実行すると、コマンドが失敗する可能性があります。

重大度: 4

CKR2243 **FAUDIT** は、**TYPE=OUTPUT** と **FILEDESC/PATH** の両方が指定されていて、**SVC99** が指定されていない場合のみ有効です (*ddname* の行 *number*) (**FAUDIT only valid with both TYPE=OUTPUT and FILEDESC/PATH, and not with SVC99 - at ddname line number**)

説明: 出力用にオープンする必要がある **UNIX** の **filedesc** または **UNIX** のパス名の場合、**ALLOC** ステートメントで指定できるのは **FAUDIT** だけです。また、このオプションは、**DYNALLOC** を使用して割り振られた **UNIX** ファイルではサポートされません。

重大度: 12

CKR2244 *type "value"* の前の監査フラグ・ストリングで引用符を使用することはできません (*DDname* の行 *number*) (**Quotes not supported in audit flags string before type "value" at DDname line number**)

説明: **ALLOC** パラメーターの **FAUDIT** では、文書化された構文のみ使用することができます。

重大度: 12

CKR2245 制限モードにより、有効範囲レポートと **myaccess/scope** に対して **SUPPRESS REASON=(WARN,NOPROFILE, SELFCONNECT,PWDCHANGE, CKGRACMAP,CKGRACDCERT)** が適用されます (**SUPPRESS REASON=(WARN,NOPROFILE, SELFCONNECT,PWDCHANGE, CKGRACMAP,CKGRACDCERT) for scope reports and myaccess/scope**)

説明: これは、**report scope**、**newlist scope=parameter**、**my access**、**my scope** のうち、いずれかの関数が制限モードで要求された場合に発行される通知メッセージです。制限モードで有効範囲レポートを実行すると、レポートに記録される情報量が少なくなることがあります。

間接アクセス機能の認識を許可する場合や、警告モードのプロファイルを検索する場合は、ユーザーの直接的な有効範囲外のオブジェクトの情報が必要になります。そのため、定義上、制限モードの場合は、出力がユーザーの直接的な有効範囲だけに制限され、間接アクセスの理由と警告モードが抑制されることになります。

重大度: 0

CKR2247 **UNIX** シンボリック・リンクの **\$SYSNAME** または **\$VERSION** 解決が失敗しました。システム *system dd ddname* の **OEXT** レコードが見つかりません (**\$SYSNAME or \$VERSION resolution for UNIX symbolic link failed. OEXT record not found for system system dd ddname**)

説明: 示されたシステムの、示された *dd* で割り振られている **CKFREEZE** ファイルに、**z/OS UNIX OEXT** 制御ブロック・レコードが含まれていません。このレコードは、**\$SYSNAME** または **\$VERSION** で始まるシンボリック・リンクを持つ **z/OS UNIX** パスを解決する

ために必要です。レポートは信頼できない可能性があります。

ユーザーの処置: OEXT に関するメッセージについて、zSecure Collect ジョブを確認してください。新しい CKFREEZE を最新レベルの CKFCOLL で作成してください。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 04

CKR2248 **UNIX シンボリック・リンクの \$SYSNAME 解決が失敗しました。システム *system dd ddname* のシンボル &SYSNAME が見つかりません (\$SYSNAME resolution for UNIX symbolic link failed. Symbol &SYSNAME not found for system *system dd ddname*)**

説明: 示されたシステムの、示された dd で割り振られている CKFREEZE ファイルに、&SYSNAME システム・シンボルの値が含まれていません。この値は、\$SYSNAME で始まるシンボリック・リンクを持つ z/OS UNIX パスの解決に必要です。レポートは信頼できない可能性があります。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 04

CKR2249 **\$SYSSYMA/ および \$SYSSYMR/ で始まるシンボリック・リンクはサポートされません。結果は予測できない可能性があります。システム *system dd ddname* (Symbolic links starting with \$SYSSYMA/ and \$SYSSYMR/ are not supported. Results may be unexpected. System *system dd ddname*)**

説明: z/OS UNIX ファイル・システム・データの処理中に、\$SYSSYMA/ および \$SYSSYMR/ で始まるターゲットがあるシンボリック・リンクが検出されました。このシンボリック・リンクはサポートされていません。レポートは信頼できない可能性があります。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照し

て、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 04

CKR2250 **UNIX シンボリック・リンクの \$VERSION 解決が失敗しました。システム *system dd ddname* の OPTN レコードが見つかりません (\$VERSION resolution for UNIX symbolic link failed. OPTN record not found for system *system dd ddname*)**

説明: 示されたシステムの、示された dd で割り振られている CKFREEZE ファイルに、BPXPRMxx メンバーからの値を持つ z/OS UNIX OPTN 制御ブロックが含まれていません。このレコードは、\$VERSION で始まるシンボリック・リンクを持つ z/OS UNIX パスを解決するために必要です。レポートは信頼できない可能性があります。

ユーザーの処置: OPTN に関するメッセージについて、zSecure Collect ジョブを確認してください。新しい CKFREEZE を最新レベルの CKFCOLL で作成してください。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 04

CKR2251 ***dsn* または *path* に一致する CKFREEZE ファイルがないため、*system1* を複合システム *complex version* デフォルト *system2* でシミュレートします (Simulating system *system1* with complex *complex version default system2* because no CKFREEZE file matching *dsn or path*)**

説明: この通知メッセージは、ACCESS レコードに *system1* が含まれており、このシステムに CKFREEZE が検出されず、複合システムからのデフォルト・システム *system2* の選択を指示する SIMULATE ACCESS_FALLBACK_DEFAULT が指定されている場合に出されます。これは COMPLEX= パラメーターが ALLOC TYPE=ACCESS ステートメントにある場合にのみ発行されます。

重大度: 0

CKR2252 システム *system* を *complex2 version2* の代わりに **COMPLEX/VERSION** *complex1 version1* でシミュレートします
(**Simulating system *system* with COMPLEX/VERSION *complex1 version1* instead of *complex2 version2***)

説明: このメッセージは、TYPE=ACCESS ファイルに対して COMPLEX= パラメーターまたは VERSION= パラメーターが受け入れられず、結果として SIM_ フィールドが空になるため、警告しています。代わりに、示されたデータベース (複合システムおよびバージョン) が使用されます。

ユーザーの処置: これが実行しようとしている内容であることを確認してください。

重大度: 0

CKR2253 *zsecnode zsecsys* でファイル *file* のリモート割り振りが失敗しました (**File *file* remote allocation failed on *zsecnode zsecsys***)

説明: このメッセージは、リモート・ファイルの割り振りに失敗したことを示します。

ユーザーの処置: ファイルに関する追加メッセージを探して詳細情報を調べ、ALLOC ステートメントを修正してください。

重大度: 16

CKR2254 CKFREEZE ベースの **newlist** タイプがないため、*system* からのライブ設定を使用して処理される *complex version* のデータベースのみを使用できます (**Database for *complex version* processed with live settings from *system*, only allowed because no CKFREEZE based newlist types**)

説明: このメッセージは、示された複合システムの CKFREEZE ファイルがなかったことを警告します。レコード・キーにシステム名が指定された NEWLIST TYPE の要求がなかったため、zSecure は比較を続行します。ライブ・システム設定は、複合システムのデフォルト・システムとして使用されます。これは制限モードであっても使用できます。

ユーザーの処置: データベースの提供元システム以外のシステムのライブ設定を使用すると、レポートで以下の問題が発生する場合があります。

- カスタム・データ・フィールドの誤り。

- 分割されたデータベースに適切な範囲テーブルを使用していないため、欠落しているか「非表示」のプロファイルが突然表示されたり非表示になったりする。

この状態が発生した場合は、F=BASE 割り振りに別の VERSION を持つ適切な CKFREEZE データ・セットを接続してください。

CKR2255 CKFREEZE ベースの **newlist** タイプがないため、*system* からの **F=BASE** ライブ設定を使用して処理される *complex version* のデータベースのみを使用できます (**Database for *complex version* processed with F=BASE live settings from *system*, only allowed because no CKFREEZE based newlist types**)

説明: このメッセージは、示された複合システムの CKFREEZE ファイルがなかったことを警告します。レコード・キーにシステム名が指定された NEWLIST TYPE の要求がなかったため、zSecure は比較を続行します。ライブ・システム設定は、複合システムのデフォルト・システムとして使用されます。これは制限モードであっても使用できます。

ユーザーの処置: データベースの提供元システム以外のシステムのライブ設定を使用すると、レポートで以下の問題が発生する場合があります。

- 誤ったカスタム・データ・フィールドが表示される。
- 分割されたデータベースに適切な範囲テーブルを使用していないため、欠落しているか「非表示」のプロファイルが突然表示されたり非表示になったりする。

この状態が発生した場合は、FUNCTION=BASE 割り振りに別の VERSION を持つ適切な CKFREEZE データ・セットを接続してください。

CKR2256 INMEM を 26 より長くすることはできません - *ddname* の行 *number* の **delimiter (INMEM cannot be longer than 26 - delimiter at *ddname* line *number*)**

説明: ALLOC TYPE=SMF INMEM=*rname* コマンドが使用され、SMFPRM*xx* で定義されたメモリー内リソースを指しています。リソース名の最大長は 26 文字です。

重大度: 12

CKR2257 IFAMQRY 戻り域が小さすぎます。
ReturnedImrs=value (IFAMQRY return area too small, ReturnedImrs=value)

説明: このメッセージは、予期しないほど多くの SMF INMEM リソース名が IFAMQRY サービスから返されたことを示します。結果が返された場合は、そのサブセットで処理を続行します。このメッセージは、返されたリソース名の数を示します。

ユーザーの処置: INMEM 定義の数を 32 以下に減らすか、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 8

CKR2258 IFAMQRY からの予期しない戻りコード。(Unexpected return code from IFAMQRY.) SMF INMEM 情報が見つかりません。(SMF INMEM information not found.) RC=rc (16 進数)、RSN=rsn (16 進数) (RC=rc hex, RSN=rsn hex)

説明: このメッセージは、SMF INMEM リアルタイム・インターフェースから情報を取得するのに失敗したことを示します。このメッセージの後に、QRPB パラメーター制御ブロックのダンプが出力されます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの意味については「z/OS MVS プログラミング: 高水準言語向け呼び出し可能サービス」の IFAMQRY に関する情報を参照してください。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR2259 INMEM rname が許可されました。SMF レコード・タイプ・マスク bitmask (INMEM rname allowed, SMF record type mask bitmask)

説明: この通知メッセージは、ALLOC コマンドで要求された INMEM リソース名が見つかり、許可されたことを示します。また、INMEM リソースの SMF タイプ・マスクもリストします。

重大度: 0

CKR2260 ALLOC INMEM=rname が見つからないか許可されていません (ALLOC INMEM=rname not found or not authorized)

説明: ALLOC ステートメントで INMEM リソース名が要求されましたが、見つからなかったか、ユーザーがリソース FACILITY IFA.rname に対する SAF 権限を持っていませんでした。

ユーザーの処置: リソース名のスペルを確認するか、SMFPRMxx PARMLIB メンバーと比較するか、リソースに対する SAF 権限を確認するか、z/OS リリースが INMEM をサポートしていることを確認してください。

重大度: 12

CKR2261 ALLOC INMEM には 64 ビット・プログラムが必要です (ALLOC INMEM requires 64 bit program)

説明: ALLOC INMEM= 指定は 64 ビット・ロード・モジュールから実行する必要があります。

ユーザーの処置: ハードウェアのレベルが z196 以上であることを確認してください。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の ALLOCATE に関するセクションに記載されている ALLOC PROGRAM パラメーターも参照してください。

重大度: 12

CKR2262 INMEM rname に対する IFAMCON からの予期しない戻りコード。RC=rc (16 進数)、RSN=rsn (16 進数) (Unexpected return code from IFAMCON for INMEM rname, RC=rc hex, RSN=rsn hex)

説明: このメッセージは、SMF INMEM リアルタイム・インターフェースへの接続に失敗したことを示します。戻りコードおよび理由コードの意味については「z/OS MVS プログラミング: 高水準言語向け呼び出し可能サービス」の IFAMCON に関する情報を参照してください。このメッセージの後に、CNPB パラメーター制御ブロックのダンプが出力されます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの意味については「z/OS MVS プログラミング: 高水準言語向け呼び出し可能サービス」の IFAMCON に関する情報を参照してください。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR2263 *clause source* で暗黙的に指定されたフィールド *field* について、制限付きモードでの選択により、**newlist [name]** へのアクセスが最小限に抑えられ、*level* になっています (**Selection in restricted mode raises minimum access on newlist [name] to level for field field implied in clause source**)

説明: 対象の制限付きフィールドが SELECT 節で暗黙的に指定されているため、指定された **newlist** の出力が、ユーザーが必要なアクセス権限を持っているレコードだけに自動的に制限されています。

重大度: 0

CKR2264 制限モードでの選択は、*clause source* で暗黙的に指定されたフィールド *field* では許可されません (**Selection in restricted mode not allowed on field field implied in clause source**)

説明: プログラムが制限モードまたは PADS モードで稼働している場合は、示されたフィールドでの選択はできません。CKR0031 メッセージに示された理由により、あるいは SIMULATE RESTRICT が指定されたため、プログラムは制限モードで実行中です。この状態は、構文エラー (重大度 12) と見なされます。ALLOWRESTRICT 修飾子によって、照会を実行する必要があることが明示されている場合は、示されたフィールドが欠落していることを見なされることを知らせる警告 (重大度 4) としてこのメッセージが発行されます。BUILTIN と RACF でズームインした後、基本コマンド FIELD からの出力の **Restrictions** 列に、このフィールドに適用される制限が表示されます。ただし、このコマンドも制限モードで発行されていることが条件です。(これを実現するには、SETUP PREAMBLE で SIMULATE RESTRICT を指定します)。

注: 制限の対象が OWNER または CKGOWNR で、制限付きフィールドが SELECT ステートメントで使用されている場合は、CKR2263 メッセージが代わりに発行されます。

重大度: 04 または 12

CKR2265 **likelist=name2 source** について、制限付きモードでの選択により、**newlist [name]** *source* へのアクセスが最小限に抑えられ、*level* になっています (**Selection in restricted mode raises minimum access on newlist [name] source to level for**

likelist=name2 source)

説明: **newlist name2** の出力が、このメッセージの前の CKR2263 メッセージまたは CKR2463 メッセージで通知された必要なアクセス権を持つユーザーのレコードだけに自動的に制限されています。この **newlist** では、その **newlist** を参照する LIKELIST SELECTION 節が指定されているため、同じ最小アクセス要件が適用されます。

重大度: 0

CKR2266 **NEWLIST name source** で **SEGMENT=segmentname** が指定されていますが、選択内容が一致していません (**SEGMENT=segmentname on NEWLIST name source but selection does not seem to match**)

説明: **newlist** が対象のセグメントに対して固有であると想定した場合、**SEGMENT=segmentname** の存在によって有効な選択の実行方法が決まります。後で SELECT ステートメントを分析した結果、**newlist** が対象のセグメントに対して実際に固有であるという結論には達しませんでした。別のセグメントに対して **newlist** が実際に固有である場合、このメッセージの戻りコードは 12 になります。制限モードの場合も、このメッセージの戻りコードは 12 になります。いずれの条件にも一致しない場合、このメッセージのデフォルトの戻りコードは 4 になります。OPTION MSGRC=(2266,rc) を指定すると、この戻りコードが影響を受けることがあります。このメッセージを抑止することはできません。CKR2267 も参照してください。

ユーザーの処置: この照会が対象のセグメントに対して固有ではない場合は、**NEWLIST** ステートメントから **SEGMENT=** パラメーターを削除してください。**SELECT** ステートメントが複雑なために分析が失敗した場合は、**CLASS=class SEGMENT=segment KEY=key** などではまるように書き換えてください (適切な場合)。その際、この文節の後に **OR** 条件を指定しないでください。

重大度: 04 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り) または 12

CKR2267 セグメント *segmentname* で、*fieldaddr fieldname (fieldname2 に基づく)* の複数の値が指定されています - 定義された *source* (**Multiple values for fieldaddr fieldname [based on fieldname2] in segment segmentname - defined source**)

説明: 指定された *field* の 1 件のレコードで、複数の値が存在しています。**NEWLIST** ステートメントで **SEGMENT=** の指定があり、それを使用して照会が用意

されました。このメッセージの前の CKR2266 メッセージでは、選択内容が対象セグメントに対して実際には固有ではないという警告が通知されています。現在のレコードは、別の *segmentname* セグメントに対するレコードです。このセグメント内では、対象のフィールドを正常に繰り返すことができます。2 次値は破棄されます。このメッセージは、*source* によって識別される特定の出力列に対して 1 回だけ発行されます。出力フィールドが、別の名前のフィールドに基づいて定義された変数である場合、その基となったフィールドが *field2* として表示されます。このメッセージは抑制することができません。

ユーザーの処置: CKR2266 を参照してください。

重大度: 04

CKR2268 INMEM *name* に対する IFAMGET からの予期しない戻りコード。RC=*rc* (16 進数)、RSN=*rsn* (16 進数) (Unexpected return code from IFAMGET for INMEM *name*, RC=*rc* hex, RSN=*rsn* hex)

説明: このメッセージは、SMF INMEM リアルタイム・インターフェース から次のレコードを取得するのに失敗したことを示します。このメッセージの後に、GET パラメーター・ブロック GTPB のダンプが出力されます。

ユーザーの処置: 戻りコードおよび理由コードの意味については「z/OS MVS プログラミング: 高水準言語向け呼び出し可能サービス」の IFAMGET に関する情報を参照してください。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR2269 INMEM *rname* が先頭から上書きされたため、SMF レコードをスキップしました。RESSIZMAX または *prio* を増加させてください (SMF records skipped due to INMEM *rname* wraparound, increase RESSIZMAX or prio)

説明: このメッセージは、すべての SMF レコードを渡すまでに SMF INMEM リアルタイム・インターフェース でバッファの折り返しが発生したことを示します。ログ・レコードとの整合性を確保するために、SMF のディスパッチング優先順位、コンシューマー・ジョブ (CKQRADAR など)、および TCPIP スタックのすべてを、多数の SMF レコードを書き込むタスクのディスパ

ッチング優先順位より高くするか、スベア・プロセッサ容量を確保しなければなりません。

重大度: 4

CKR2270 INMEM *name* に対する IFAMDSC からの予期しない戻りコード。RC=*rc* (16 進数)、RSN=*rsn* (16 進数) (Unexpected return code from IFAMDSC for INMEM *name*, RC=*rc* hex, RSN=*rsn* hex)

説明: このメッセージは、SMF INMEM リアルタイム・インターフェース からの切断に失敗したことを示します。このメッセージの後に、パラメーター制御ブロックのダンプが出力されます。

ユーザーの処置: 戻りコードの意味については「z/OS MVS プログラミング: 高水準言語向け呼び出し可能サービス」を参照してください。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR2271 PAGEALIGN は 1 から 255 までの範囲になければなりません (PAGEALIGN must be in range 1..255)

説明: 印刷オプション PAGEALIGN は、0 より大きく、256 より小さい値にする必要があります。

重大度: 12

CKR2272 無効な IP アドレス「*string*」が *ddname* の行 *number* にあります (Invalid IP address '*string*' at *ddname* line *number*)

説明: このメッセージは、CARLa スクリプトに、無効な IP アドレス (IPv4 または IPv6) があることを示します。

ユーザーの処置: 対応する CARLa スクリプトを調整して、有効な IP アドレスの指定を行ってください。

重大度: 12

CKR2273 セグメント・パラメーター *segment1* と *segment2* を同時に使用することはできません (Segment parameters *segment1* and *segment2* are mutually exclusive)

説明: SELECT コマンドまたは EXCLUDE コマンドにおいて、SEGMENT=*segment1*、SEG=*segment1*、S=*segment1*、または *segment1* パラメーターの後に *segment2* パラメー

ターを指定することはできません。

CKR2274 *volser ckds system [version]* のサポートされない **CKDS** ヘッダー・レコード・バージョン *nn*、レコード *recno ddname vol ckfreeze* (**Unsupported CKDS header record version nn for volser ckds system [version], record recno ddname vol ckfreeze**)

説明: ICSF CKDS ヘッダー・レコードは、プログラムがサポートしないバージョンを示します。メッセージには、CKFREEZE のレコード番号が示されます。CKDS データ・セットは処理されません。

ユーザーの処置: このメッセージについて詳しくは、電子サポート Web サイトを検索してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR2275 *volser pkds system [version]* のサポートされない **PKDS** ヘッダー・レコード・バージョン *nn*、レコード *recno ddname vol ckfreeze* (**Unsupported PKDS header record version nn for volser pkds system [version], record recno ddname vol ckfreeze**)

説明: ICSF PKDS ヘッダー・レコードは、プログラムがサポートしないバージョンを示します。メッセージには、CKFREEZE のレコード番号が示されます。PKDS データ・セットは処理されません。

ユーザーの処置: このメッセージについて詳しくは、電子サポート Web サイトを検索してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR2276 **OPTIMIZE=STORAGE** が指定されていますが、照会が有効ではありません (**OPTIMIZE=STORAGE specified but query not eligible**)

説明: この通知メッセージは、OPTION OPTIMIZE=STORAGE が明示的に指定されたが処理できない場合に発行されます。

重大度: 0

CKR2277 *volser tkds system [version]* のサポートされない **TKDS** ヘッダー・レコード・バージョン *nn*、レコード *recno ddname vol ckfreeze* (**Unsupported TKDS header record version nn for volser tkds system [version], record recno ddname vol ckfreeze**)

説明: ICSF TKDS ヘッダー・レコードは、プログラムがサポートしないバージョンを示します。メッセージには、CKFREEZE のレコード番号が示されます。TKDS データ・セットは処理されません。

ユーザーの処置: このメッセージについて詳しくは、電子サポート Web サイトを検索してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR2278 **ACCESS=** には **SENSITIVITY=** が必要です。位置: *token "value" source* の前 (**ACCESS= requires SENSITIVITY=, before token "value" source**)

説明: SENSITIVITY キーワードも存在する場合は (DATASET を除きます)、SIMULATE CLASS および SIMULATE RESTYPE は ACCESS キーワードのみを受け入れます。

ユーザーの処置: アクセス・リスク・レベルに関連した機密性を追加するか、リスク・レベルを削除してください。

重大度: 12

CKR2279 **CKAUNIX.CKASENIX: IRIXes** を構築するためのメモリがありません。UNIX ファイルは機密と認識されていません (**CKAUNIX.CKASENIX: No memory to build IRIXes, UNIX files not recognized as sensitive**)

説明: メモリーが不足しています。このエラーの結果、UNIX 処理で適切な機密ファイル検索用の構成を構築することができません。TYPE=UNIX で PRIV_* 繰り返しグループが空になっています。

ユーザーの処置: REGION のサイズを増加させるか照会を制限して、問題が解決されるかどうか調べてください。

重大度: 08

CKR2280 **CLASS='UNIXfile'c** の場合は
RESOURCE_LOCATION がサポートされません。位置: *source* の前
(RESOURCE_LOCATION not supported for CLASS='UNIXfile'c before source)

説明: SIMULATE CLASS='UNIXfile'c (または SIMULATE RESOURCE_TYPE=UNIXFILE) では RESOURCE_LOCATION を指定できません。

ユーザーの処置: SIMULATE コマンドから RESOURCE_LOCATION (または RESLOC) の指定を削除してください。

重大度: 12

CKR2281 **SIMULATE CLASS=class** は
ACCESS=access- source を許可しません
(SIMULATE CLASS=class does not allow ACCESS=access- source)

説明: 示されたクラスでは、示されたアクセス・レベルをサポートしていません。SIMULATE CLASS について詳しくは、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の『SIMULATE』を参照してください。

ユーザーの処置: クラスが UNIXfile である場合は、UPDATE を WRIT-NX に変更するか READ を READ-NX に変更してください。それ以外のクラスの場合は、UPDATE または READ を使用してください。CLASS キーワードを使用する場合は、UNIXfile を 'UNIXfile'c と指定して大/小文字の区別を保持する必要があります。代わりに RESOURCE_TYPE=UNIXFILE を指定することもできます。

重大度: 12

CKR2282 リソース名は **246** 文字以下でなければなりません。位置: *source* (**Resource name longer than 246 not expected before source**)

説明: SIMULATE CLASS ステートメントや SIMULATE RESOURCE_TYPE ステートメントで現在サポートされている長さを超えるリソース名を指定すると、このメッセージが発行されます。SAF リソースの場合のリソース名の最大長は 246 文字です。UNIXFILE リソースの場合のリソース名の最大長は 1023 文字です。

ユーザーの処置: 正しい CLASS および RESOURCE name を指定したことを確認してください。UNIX ファイルを指定しなければならない場合は、SIMULATE RESTYPE ステートメントを使用することを推奨します。UNIX ファイルの指定に SIMULATE CLASS を使用する場合は、ここ示されているとおり正確に

CLASS='UNIXfile'c と指定してください。

重大度: 12

CKR2283 **SIMULATE RESOURCE_TYPE=restype**
はサポートされていません - *source*
(SIMULATE RESOURCE_TYPE=restype is not supported - source)

説明: 現在、SIMULATE RESOURCE_TYPE=restype がサポートしているのは UNIXFILE のみです。

ユーザーの処置: SAF クラスの場合は、代わりに SIMULATE CLASS=class を使用してください。

重大度: 12

CKR2284 **BOOLEAN DEFINE name (type=type)**
source には **WHERE** 節が必要です
(WHERE clause required for BOOLEAN DEFINE name (type=type) source)

説明: ブール統計を評価するには条件が必要です。これは、DEFINE ステートメント上の WHERE 節自体でなければならないか、または、DEFINE .. BOOLEAN(*variable*) の場合、参照される変数に WHERE 節がなければなりません。

ユーザーの処置: WHERE 節が不要な場合、BOOLEAN を TRUE に変更します。そうでない場合は、必ず、WHERE 節を使用可能にしてください。

重大度: 12

CKR2285 長さ *len1* の IP アドレスは長さ *len2* に切り捨てられました - *address* (**IP address of length *len1* truncated to length *len2* - address**)

説明: このメッセージは、IP アドレスまたは DNS 名をバーの下に位置にコピーするときに切り捨てたことを示します。

ユーザーの処置: IP アドレス指定の誤っている部分を修正してください。

重大度: 8

CKR2286 **TYPE=RACF** の **DOMAIN_OPTION** の「**FLATTEN**」は、*token source* の前には使用できません (**DOMAIN_OPTION "FLATTEN" not allowed for TYPE=RACF before token source**)

説明: NEWLIST オプション FLATTEN は、TYPE=RACF ではサポートされていません。

ユーザーの処置: CARLa 照会、つまり、示された DOMAIN ステートメントの OPTION(RACF(..)) パラメーターを変更してください。

重大度: 12

CKR2287 オプション **FLATTEN(fieldname)** には有効な *source* がありません (**Option FLATTEN(fieldname) has no effect source**)

説明: 示された *fieldname* に対して NEWLIST オプション **FLATTEN** が指定されましたが、そのフィールドはフラット化の対象として適格ではありません。上位互換性のため、これは通常、禁止されてはいません。しかし、照会からの出力はその指定によって変更されません。OPTION MSGRC=(2287,rc) はメッセージの重大度に影響を与えるために使用され、メッセージ重大度は CKRCARLA プログラムの戻りコードに影響を与えます。このメッセージは有効な戻りコードに関係なく抑止可能です。

ユーザーの処置: この状態を解決することが望ましい場合は、CARLa 照会、つまり、示された DOMAIN ステートメントの OPTION(type(FLATTEN=*fieldname*)) パラメーターを変更するか、このオプションの前に SUPPRESS MSG=2287 コマンドを追加してください。

重大度: 04 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR2288 **TYPE=RACF source** では **FLATTEN** は許可されていません (**FLATTEN not allowed for TYPE=RACF source**)

説明: NEWLIST オプション **FLATTEN** は、**TYPE=RACF** ではサポートされていません。

ユーザーの処置: CARLa 照会を変更してください。

重大度: 12

CKR2289 オプション **FLATTEN(fieldname)** には有効な *source* がありません (**Option FLATTEN(fieldname) has no effect source**)

説明: 示された *fieldname* に対して NEWLIST オプション **FLATTEN** が指定されましたが、そのフィールドはフラット化の対象として適格ではありません。上位互換性のため、これは通常、禁止されてはいません。しかし、照会からの出力はその指定によって変更されません。OPTION MSGRC=(2289,rc) はメッセージの重大度に影響を与えるために使用され、メッセージ重大度は CKRCARLA プログラムの戻りコードに影響を与えます。

このメッセージは有効な戻りコードに関係なく抑止可能です。

重大度: 04 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR2290 オプションは **TYPE= - FLATTEN source** の後でのみ有効です (**Option only valid behind TYPE= - FLATTEN source**)

説明: NEWLIST オプション **FLATTEN(fieldname)** の変換処理は、フラット化されるフィールドが属するレポート・タイプによって異なります。NEWLIST での **TYPE=** の指定は、**FLATTEN(fieldname)** より前になければなりません。

ユーザーの処置: NEWLIST ステートメントの **TYPE=** パラメーターを **FLATTEN** パラメーターより前に移動してください (または、レポート・タイプがデフォルト値に設定されている場合は、**TYPE=** パラメーターを明示的に追加してください)。

重大度: 12

CKR2291 **DEFSENS ACCESS=level** は **CLASS='class'c - source** で許可されていません (**DEFSENS ACCESS=level not allowed with CLASS='class'c - source**)

説明: 示されたクラスでは、示されたリスク・アクセス・レベルはサポートされていません。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の **DEFSENS** コマンドに関する情報を参照してください。

ユーザーの処置: クラスが UNIXfile である場合は、UPDATE を WRIT-NX に変更するか READ を READ-NX に変更してください。それ以外のクラスの場合は、UPDATE または READ を使用してください。CLASS キーワードを使用する場合は、UNIXfile を 'UNIXfile'c と指定して大/小文字の区別を保持する必要があります。代わりに RESOURCE_TYPE=UNIXFILE を指定することもできます。単一の DEFSENS ステートメントで、UNIXfile と他のクラスとを混在させて、CLASS または RESTYPE の指定リストにより ACCESS レベルを指定することはしないでください。このメッセージは、DEFSENS ステートメントごとに 1 回限り発行されます。

重大度: 12

CKR2292 **DEFSENS source** での考慮事項 ID *id* は以前に **SIMULATE** 上で使用されていた (**Concern id *id* on DEFSENS source was used on SIMULATE before**)

説明: このメッセージは、この DEFSENS ステートメント

ントに指定されている ID が、以前に SIMULATE ステートメントに指定されていたことを示しています。DEFSENS に指定される考慮事項 ID は固有の監査の考慮事項および優先順位を識別しなければなりません、SIMULATE に指定される考慮事項 ID は相互に検証される (または記憶される) ことはありません。以前の SIMULATE ステートメントで、同じ ID を使用して別の監査に関する考慮事項を割り当てた可能性があります。

ユーザーの処置: 気にしない場合は、このメッセージを抑止することができます。十分な検証を確実に行うには、SIMULATE ステートメントの前に DEFSENS ステートメントを組み込んでください。

重大度: 04

CKR2293 DEFSENS RESOURCE_TYPE=restype はサポートされていません - source
(DEFSENS RESOURCE_TYPE=restype is not supported - source)

説明: 現在、DEFSENS RESOURCE_TYPE=restype がサポートしているのは UNIXFILE のみです。

ユーザーの処置: SAF クラスの場合は、代わりに DEFSENS CLASS=class を使用してください。

重大度: 12

CKR2294 PRIO は 2 から 9 の範囲内で、token "value" source の前にある必要があります (PRIO must be in range 2..9, before token "value" source)

説明: 監査に関する考慮事項の優先度は 2 から 9 の範囲である必要があります。値 2 はアプリケーション・レベル許可に該当します。一方、9 は上位の許可を示し、RACF、ACF2、または TSS をバイパスできる APF プログラムを変更できることに相当します。

ユーザーの処置: 優先順位を調整して、操作を再試行してください。

重大度: 12

CKR2295 DEFSENS sensitivity source でクラス名 class が重複しています (Duplicate class name class on DEFSENS sensitivity source)

説明: DEFSENS ステートメントでの CLASS= keyword で、同じクラスを 2 回リストしています。

ユーザーの処置: CLASS の指定を訂正してください。

重大度: 12

CKR2297 CONCERN には token "value" source の前に PRIO および CONCERN が必要です (Concern requires PRIO and CONCERN, before token "value" source)

説明: PRIO、CONCERN、または ID のいずれかのパラメーターを指定した場合には、PRIO パラメーターおよび CONCERN パラメーターが必要になります。

ユーザーの処置: 欠落しているパラメーターを追加して、操作を再試行してください。

重大度: 12

CKR2298 ユーザー定義の機密性タイプは token "value" source の前で「Site」で始まる必要があります (User-defined sensitivity type must start with "Site", before token "value" source)

説明: サイト機密性は「Site」の 4 文字で始まる必要があります。

ユーザーの処置: サイト機密性を定義したのであれば、「Site」で始まるように機密性を変更し、操作を再試行してください。事前定義された機密性タイプは、SIMULATE CLASS ステートメントでは使用できますが、DEFSENS ステートメントでは使用できません。

重大度: 12

CKR2299 サイト考慮事項 ID は token "value" source の前で「S」で始まる必要があります (Site concern ID must start with "S", before token "value" source)

説明: 組み込み考慮事項 ID と区別するために、考慮事項 ID は「S」で始まる必要があります。

ユーザーの処置: 文字「S」で始まるように ID を変更し、操作を再試行してください。

重大度: 12

メッセージ 2300 から 2399

CKR2300 **ALLOC TYPE=CKFREEZE**
ZSECNODE=zsecnode ACTIVE
[COMPLEX=complex] の追加 (Adding
ALLOC TYPE=CKFREEZE
ZSECNODE=zsecnode ACTIVE
[COMPLEX=complex])

説明: このメッセージは、示されたノードのリモート zSecure Server から、小さな最新 CKFREEZE が取得されることを示します。このアクションは、ALLOC ステートメントの入力セットに適切な代替入力がない場合に実行されます。

重大度: 0

CKR2301 **ALLOC TYPE=CKFREEZE**
ZSECSYS=zsecsys ACTIVE
[COMPLEX=complex] の追加 (Adding
ALLOC TYPE=CKFREEZE
ZSECSYS=zsecsys ACTIVE
[COMPLEX=complex])

説明: このメッセージは、メッセージに示されるリモート zSecure Server から、小さな最新 CKFREEZE が取得されることを示します。このアクションは、ALLOC ステートメントの入力セットに適切な代替入力がない場合に実行されます。

重大度: 0

CKR2302 *ddname volser dsname* に割り当てられた
複合システム名 *complex* (**Complex name**
complex assigned to ddname volser
dsname)

説明: このメッセージは、アンロード操作に割り当てられた複合システム名を示します。

重大度: 0

CKR2303 *danem volser dsname* に割り当てられた複
合システム名 *complex* (**Complex name**
complex assigned to danem volser
dsname)

説明: このメッセージは、アンロード・ファイルに割り当てられた複合システム名を示します。割り当ては一致するセキュリティ・データベース名に基づくものではありません。その場合は、代わりにメッセージ

CKR2347 が発行されます。

重大度: 0

CKR2304 *ddname* システム *system* [*version*] の
RACF データ・セット *volser dsname* に
対して複合システム *complex* が割り当て
られました (**Complex complex assigned**
for RACF data set volser dsname of
ddname system system [*version*])

説明: このメッセージは、示された RACF データ・セット名に基づくセキュリティ・データベース (複合システム) 名にスナップショットがリンクされたことを示します。

重大度: 0

CKR2305 複合システム *complex* がデフォルトで
ddname システム *system* [*version*] に割り
当てられました (**Complex complex**
assigned by default to ddname system
system [*version*])

説明: このメッセージは、デフォルト・システムがメインまたは基本機能のセキュリティ・データベースに割り当てられ、複合システム名とバージョンが継承されたことを示します。デフォルト・システムについては、DEFAULT コマンドを参照してください。

重大度: 0

CKR2306 複合システム *complex* **FUNC=MERGE**
がデフォルトで *ddname* システム *system*
[*version*] に割り当てられました
(**Complex complex FUNC=MERGE**
assigned by default to ddname system
system [*version*])

説明: このメッセージは、デフォルト・システムがセキュリティ・データベースに割り当てられ、複合システム名が継承されたことを示します。デフォルト・システムについては、DEFAULT コマンドを参照してください。

重大度: 0

CKR2307 ファイル *ddname* の **ALLOC** で命名され
たため、複合システム *complex* が追加さ
れました (**Complex complex added**
because named on ALLOC for file
ddname)

説明: このメッセージは、別のファイルにある明示的に固有の COMPLEX= パラメーターにより、複合システム (セキュリティ・データベースなし) が追加されたことを示します。

重大度: 0

CKR2308 *file* システム *system* [version] は通常機能の複合システム *complex* と一致します
(*file system system* [version] **matches normal function complex complex**)

説明: このメッセージは、複合システム名とバージョン名が一致するため、示されたスナップショット・ファイルがメインおよび基本機能の複合システムで 사용되는ことを示します。このバージョンは ALLOC VERSION キーワードで指定されたものです。システム ID に対して最新の CKFREEZE に関するものでない場合は、世代が表示されます。例えば、世代 -1 は最新のものの直前の CKFREEZE を意味します。

重大度: 0

CKR2309 **ALLOC TYPE=CKFREEZE ACTIVE** システム *system* は複合システム [version] *complex* を使用します (**ALLOC TYPE=CKFREEZE ACTIVE system system** [version] **uses complex complex**)

説明: このメッセージは、明示的に指定されたアクティブな ALLOC TYPE=CKFREEZE ACTIVE に割り当てられた複合システムを示します。

重大度: 0

CKR2310 *ddname* システム *system* [version] は任意の機能の複合システム *complex* と一致します (*ddname system system* [version] **matches any function complex complex**)

説明: このメッセージは、複合システム名とバージョン名が一致するため、示されたスナップショットが示された複合システム名にリンクされることを示します。

重大度: 0

CKR2311 セキュリティー **db** *volser dsname* の非マージ複合システム *complex* は *ddname* システム *system* [version] と一致します
(**Non-merge complex complex for security db volser dsname matches ddname system system** [version])

説明: このメッセージは、示されたセキュリティー・データベース・データ・セット名に基づくメインまたは基本機能のセキュリティー・データベース (複合システム) 名にスナップショットがリンクされたことを示します。

重大度: 0

CKR2312 **RACF** データ・セット *volser dsname* の非マージ複合システム *complex* は *ddname* システム *system* [version] と一致します
(**Non-merge complex complex for RACF data set volser dsname matches ddname system system** [version])

説明: このメッセージは、示された RACF データ・セット名に基づくメインまたは基本機能の RACF セキュリティー・データベース (複合システム) 名にスナップショットがリンクされたことを示します。

重大度: 0

CKR2313 *ddname* システム *system* [version] は通常機能の複合システム *complex* と一致します (*ddname system system* [version] **matches normal function complex complex**)

説明: このメッセージは、複合システム名とバージョン名が一致するため、示されたスナップショットが示された複合システム名にリンクされることを示します。

重大度: 0

CKR2314 リモート・データベース *complex* での順次モードに切り替えられました
(**Switched to sequential mode on remote database complex**)

説明: このメッセージは、サーバー・インスタンスが、示された *complex* でのデータベースの読み取りを順次モードに切り替えることを決定したときに、CKRCARLA クライアントで発行されます。このメッセージは、データベースの最後のデータ・セットに対する大量の要求がサーバー側にあることが原因で発行されるメッセージ CKR1314 に続いて発行されます。このメッセージは、クライアントが順次モードへの移行を開始する場合には発行されません。

重大度: 00

CKR2315 セキュリティー **db** *volser dsname* の複合システム *complex* は *ddname* システム *system* [version] と一致します (**Complex complex for security db volser dsname matches ddname system system** [version])

説明: このメッセージは、示されたセキュリティー・データ・セット名に基づいて、任意の機能のセキュリティー・データベース (複合システム) 名にスナップショットがリンクされたことを示します。

重大度: 0

CKR2316 **RACF データ・セット *volser dsname* の複合システム *complex* は *ddname* システム *system* と一致します (Complex complex for RACF data set *volser dsname matches ddname system system*)**

説明: このメッセージは、示された RACF データ・セット名に基づいて、任意の機能の RACF データベース (複合システム) 名にスナップショットがリンクされたことを示します。

重大度: 0

CKR2317 ***ddname* システム *system [version]* [-generation] の暗黙的な割り振りはデフォルトで複合システム *complex* に設定されます (*ddname system system [version]* [-generation] implicit allocation defaults to complex complex)**

説明: このメッセージは、それ以上に適切な一致がないため、示された複合システム名が示されたシステムに割り当てられたことを示します。このバージョンは ALLOC VERSION キーワードで指定されたものです。システム ID に対して最新の CKFREEZE に関するものでない場合は、世代が表示されます。例えば、世代 -1 は最新のものの直前の CKFREEZE を意味します。

重大度: 0

CKR2318 ***ddname* システム *system [version]* に一致するセキュリティ・データベースがありません。複合システム *complex* を作成します (*ddname system system [version] no matching security database, creating complex complex*)**

説明: このメッセージは、一致が見つからなかったため、示されたシステム・スナップショットを格納する新規複合システムが作成されたことを示します。

重大度: 0

CKR2319 ***ddname* デフォルト・システム *system [version]* は、デフォルト複合システム *complex* のデフォルト・システムと見なされました (*ddname default system system [version] considered default system for default complex complex*)**

説明: このメッセージは、デフォルト複合システムのデフォルト・システムが、デフォルト・システムと同等となるように変更されたことを示します。デフォルト・システムについて詳しくは、DEFAULT コマンドを参照してください。

重大度: 0

CKR2320 **ONLYAT オプションが指定され、生成された RACF コマンドに追加されます (ONLYAT option specified and will be appended to generated RACF commands)**

説明: メッセージ CKR2320 は、ONLYAT オプションを指定すると発行されますが、VERIFY PERMIT 処理でシステムの RRSF 状況を判別することはできません。

ユーザーの処置: このメッセージは、指定されたシステムの CKFREEZE ファイルにシステムがマルチシステム RRSF 構成に属することを示す情報が含まれていない (または、CKFREEZE ファイルがない) 場合に、メッセージ CKR2322 または CKR2323 と一緒に発行されます。それらのコマンドと関連のある推奨されるユーザー・アクションを参照してください。

重大度: 4

CKR2321 **CKFREEZE はシステム *xxxx* が RRSF 状況を判別するために必要です (CKFREEZE required for system *xxxx* to determine RRSF status)**

説明: メッセージ CKR2321 は、コマンドを処理し、そのコマンドがマルチシステム RRSF 構成に適用されるかどうかを判別するために、CKFREEZE ファイルが必要であることを警告するために発行されます。このメッセージの原因となる可能性があるコマンドには、VERIFY PERMIT、COPY、MOVE、および REMOVE などがあります。

ユーザーの処置: システムがマルチシステム RRSF 構成の一部でない場合、必要なアクションはありません。システムがマルチシステム RRSF 構成の一部になっている場合は、以下の修正手順のいずれかを実行できます。

- ONLYAT オプションを指定して、すべての cleanup コマンドが必要なシステムにのみ導かれるようにします。
- すべてのシステムの RACF データベースをマルチシステム RRSF 構成に含め、例えば VERIFY PERMIT で、RRSF 構成内の 1 つのシステムで未定義のユーザー ID が RRSF 構成内の別のシステムで定義されているかどうかを判別できるようにします。

注: ONLYAT オプションを使用するには、RACF 特殊属性が必要です。

重大度: 4

CKR2322 システム *xxxx* の **RRSF** 状況を判別できません (**Unable to determine RRSF status for system *xxxx***)

説明: メッセージ CKR2322 は、ONLYAT オプションが指定されても、このメッセージで指定されたシステムがマルチシステム RRSF 構成の一部かどうかを判別するための CKFREEZE ファイルが存在しない場合に、メッセージ CKR2320 と一緒に発行されます。

ユーザーの処置: システムがマルチシステム RRSF 構成の一部でない場合、必要なアクションはありません。システムがマルチシステム RRSF 構成の一部になっている場合は、以下の修正手順のいずれかを実行できます。

- ONLYAT オプションを指定して、すべての cleanup コマンドが必要なシステムにのみ導かれるようにします。
- すべてのシステムの RACF データベースをマルチシステム RRSF 構成に含め、RRSF 構成内の 1 つのシステムで未定義のユーザー ID が RRSF 構成内の別のシステムで定義されているかどうかを VERIFY PERMIT で判別できるようにします。

重大度: 4

CKR2323 CKFREEZE にシステム *xxxx* の **RRSF** 情報がありません (**No RRSF information for system *xxxx* in CKFREEZE**)

説明: メッセージ CKR2323 は、ONLYAT オプションが指定されても、このメッセージで指定されたシステムがマルチシステム RRSF 構成の一部かどうかを判別するための情報が CKFREEZE ファイルに含まれていない場合に、メッセージ CKR2320 と一緒に発行されます。

ユーザーの処置: これは警告メッセージにすぎません。このジョブで処理されるどのシステムにおいても不要な場合は、ユーザー入力から ONLYAT オプションを除去できます。

重大度: 4

CKR2324 可変長フィールド *field* は、*ddname* の行 *number* の表示行の最後のフィールドでのみ有効です (**Variable length field *field* only valid as last field in display line at *ddname* line *number***)

説明: デフォルトの出力長さが 0 のこのフィールド (フィールドはデフォルトで不定の長さまたは可変長を使用して出力されることを示す) は、行の最後のフィールドとしてのみ使用できます。このフィールドが、画面上

の行の残りのスペースを使用します。

ユーザーの処置: このフィールドを行のこの位置で使用するには、オーバーライドする長さを指定してください。

重大度: 12

CKR2325 他の **RRSF** システムで **ID** が定義されていても、**ID *xxxx*** のコマンドは生成されませんでした (**No commands generated for id *xxxx*, as id is defined on other RRSF systems**)

説明: メッセージ CKR2325 は、RRSF 構成内の別のシステムで未定義のユーザー ID が見つかり、ONLYAT オプションが指定されなかった場合に、メッセージ CKR0068 と一緒に発行されます。

ユーザーの処置: メッセージ CKR0068 に関連する推奨されるユーザー・アクションを参照してください。

重大度: 0

CKR2326 *ddname volser dsn* のシステム *system* レコード *number* の **GENERICANCHOR** データが切り捨てられます (**Truncated GENERICANCHOR data for system *system* record number of *ddname volser dsn***)

説明: CKFREEZE ファイルから取得した GENERICANCHOR データ・レコードは、CKFREEZE の LRECL が小さすぎるため切り捨てられます。

ユーザーの処置: LRECL サイズを大きくすることを検討してください。

重大度: 08

CKR2327 *ddname line number* の *token* の前では、ネストされた **INPUT_CONDITION** は許可されません (**Nested INPUT_CONDITION not allowed before token at *ddname line number***)

説明: 条件付きで組み込まれた出力フィールドを示す構造体は、別のそういった構造体内にネストされます。構造体内で許されるのは、フィールド、ルックアップ、改行演算子、連結演算子、および要約レベル演算子のみです。

ユーザーの処置: ネストされたテストの構造体を CARLa から削除してください。

重大度: 12

CKR2328 入力データが使い果たされました。
INPUT_CONDITION は、*ddname* のファイルの終わりが「」で閉じられていません (**Input exhausted;**
INPUT_CONDITION not closed by ']'
at end of file at ddname)

説明: 条件付きで組み込まれた出力フィールドを示す構造体が、括弧で適切に閉じられていません。

ユーザーの処置: 右括弧を使用して構造体を閉じることによって、CARLa を修正してください。

重大度: 12

CKR2329 警告 - コマンドは **RRSF** によって送信される可能性があります (**Warning - commands may be directed by RRSF**)

説明: このメッセージは、コマンドが **RRSF** によって送信されるかどうかをプログラムで判別できなかったことを示します。

ユーザーの処置: コマンドが **RRSF** ノード全体に対して意図する効果を及ぼすことを確認します。

重大度: 4

CKR2330 一時コマンド・ファイルを開くことができません: *reason*。(Cannot open temporary command file: *reason*.) コマンドのキューイングに戻ります
(Reverting to queueing the commands)

説明: 行コマンド処理で、「Action on command」設定が「Execute」であると判断されましたが、必要な **CKRTCMD** 一時コマンド・ファイルを割り振ることも開くこともできませんでした。メッセージは、コマンドが実行されずにキューに入れられたことを示します。

ユーザーの処置: 理由は「**ALLOC TYPE=CKRTCMD** ステートメントが欠落しています (Missing **ALLOC TYPE=CKRTCMD** statement)」または「*ddname* の **OPEN** 呼び出しに失敗しました (**OPEN** call for *ddname* failed)」場合があります。IBM 提供の **zSecure** パネルおよび **REXX** コードを使用する場合はいずれの問題も発生しません。この種類の環境を自分自身でセットアップする場合、適切な **DD** 名を使用してこの **ALLOC** ステートメントを指定するようにしてください。

重大度: 4

CKR2331 一時コマンド・ファイルを開くことができません: *reason*。(Cannot open temporary command file: *reason*.) Result

説明: 行コマンド処理で、「Action on command」設定が「Execute」であると判断されましたが、必要な **CKRTCMD** 一時コマンド・ファイルを割り振ることも開くこともできませんでした。これは以下のいずれかの結果の原因になることがあります。

- コマンドが実行されずにキューに入れられる (重大度 4)。
- コマンドを再帰的照会から読み取ることができず、失われる (重大度 16)。

ユーザーの処置: 理由は「**ALLOC TYPE=CKRTCMD** ステートメントが欠落しています (Missing **ALLOC TYPE=CKRTCMD** statement)」または「*ddname* の **OPEN** 呼び出しに失敗しました (**OPEN** call for *ddname* failed)」場合があります。IBM 提供の **zSecure** パネルおよび **REXX** コードを使用する場合はいずれの問題も発生しません。この種類の環境を自分自身でセットアップする場合、適切な **DD** 名を使用してこの **ALLOC** ステートメントを指定するようにしてください。

重大度: 4 または 16

CKR2332 *ddname* の行 *number* の *token* の前の **ALLOC TYPE=CKRTCMD** は **DD** パラメーターのみサポートします (**ALLOC TYPE=CKRTCMD supports only the DD parameter before token at ddname line number**)

説明: **ALLOC TYPE=CKRTCMD DD=ddname** ステートメントは追加パラメーターをサポートしません。

ユーザーの処置: 誤ったパラメーターを削除してください。

重大度: 12

CKR2333 **ALLOC TYPE=CKRTCMD** ステートメントが欠落しています - 一時コマンド・ファイルを開くことができません - **FORALL** コマンドはキューに入れられます (**Missing **ALLOC TYPE=CKRTCMD** statement - cannot open temporary command file - **FORALL** commands will be queued**)

説明: **FORALL** 処理で、「Action on command」設定は (通常のコマンド用の)「Execute」であることが検出

されましたが、必要なコマンド・ファイルが割り振られませんでした。

ユーザーの処置: このエラーは、IBM 提供の zSecure パネルを使用している場合は発生しません。この種類の環境を自分自身でセットアップする場合、必要な ALLOC ステートメントを指定するようにしてください。

重大度: 4

CKR2334 DD=ddname の OPEN 呼び出しに失敗しました - FORALL コマンドは complex 用のキューに入れられます (OPEN call for DD=ddname failed - FORALL commands will be queued for complex)

説明: FORALL 処理において、「Action on command」設定が「Execute」であることが検出され、必要な CKRTCMD コマンド・ファイルが検出されましたが、ファイルのオープンに失敗しました。このメッセージは、コマンドが実行されずにキューに入れられることの通知です。

重大度: 4

CKR2335 ddname 行 number の NEWLIST [NAME=name] が suppressstype 処理に因るものであるとき、ddname 行 number の NEWLIST [NAME=name] が抑止される可能性があります - オプションは異なります (NEWLIST [NAME=name] at ddname line number may be suppressed when NEWLIST [NAME=name] at ddname line number is due to suppressstype processing - options differ) [この実行では、暗黙の抑止が適用されます (In this run implied suppression applies)]

説明: このメッセージは、MERGELIST ステートメントの有効範囲内にある 2 次の NEWLIST ステートメントが次の場合に発行されます。つまり、newlist オプション LICENSE=list、ESM=list、SEGMENT=segment、UNRESTRICTED、RESTRICT_AUDITOR、RDS、および NONRDS の差異により、2 次の NEWLIST それ自体が抑止されないときに、MERGELIST 内の最初の NEWLIST (および結果として MERGELIST 全体) が抑止される可能性があることを暗示するときです。

オプションであるメッセージの 2 行目 (この実行では、暗黙の抑止が適用されます (In this run implied suppression applies)) は、個別の 2 次の NEWLIST を抑止するための条件は満たされていないが、

MERGELIST がこの実行で実際に抑止される場合にのみ出力されます。

メッセージの suppressstype 部分には、ヘッダー NEWLIST を抑止するが、2 次の NEWLIST は抑止しないキーワードが表示されます。

注:

- いくつかの NEWLIST タイプは UNRESTRICTED モードでのみ許可されます。それらには、CARLa に明示的なキーワードがない場合でも、そのようなものとしてフラグを付けることができます。
- この警告は、現在サポートされている RACF データベースに存在するセグメントについても、SEGMENT=segment について発行されることがあります。
- OPTION MSGRC=(2335,rc) はメッセージの重大度に影響を与えるために使用され、メッセージ重大度は CKRCARLA プログラムの戻りコードに影響を与えます。このメッセージは有効な戻りコードに関係なく抑止可能です。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」にある MERGELIST ステートメントについての情報を参照してください。

重大度: 4 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR2336 ddname の行 number のヘッダー NEWLIST [NAME=name] が TYPE=type - concerns のとき、ddname の行 number のメンバー NEWLIST [NAME=name] は TYPE=type です (Member NEWLIST [NAME=name] TYPE=type at ddname line number while header NEWLIST [NAME=name] at ddname line number has TYPE=type - concerns)

説明: このメッセージは、MERGELIST ステートメントの有効範囲内で使用される newlist タイプの間の差異についての考慮事項に言及するために発行されます。次の考慮事項があります。

- RACF ソースが割り振られないか、SUPPRESS RACF が使用された場合、TYPE=RACF 出力は抑止されます。
- newlist タイプは、リアルタイム・モードでの実行中にそれらの入力なくなると、動的に抑止される場合があります (CKRCARLa が zSecure Alert (C2POLICE) または zSecure アクセス・モニター (C2PACMON) エンジンから呼び出される場合など)。

言及される *concerns* は、ソフト EOF コンテキストで安全でない (not safe in soft-EOF context)、RACF ソースがない場合に抑止される (will be suppressed when no RACF source)、または RACF ソースがないため抑止される (suppressed due to no RACF source) のいずれかが可能です。最初の 2 つの考慮事項は通常重大度 0 で発行され、最後の考慮事項は通常は重大度 4 で発行されます。この実行が、動的な「ソフト EOF」コンテキストで発生する場合、重大度は 12 です。OPTION MSGRC=(2336,rc) は、メッセージの重大度を固定された数値に変更するために使用できます。このメッセージは戻りコードに関わらず常に抑止可能です。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」にある MERGELIST ステートメントについての情報を参照してください。潜在的な差異が後で実行中に実際の差異になる場合、メッセージ CKR2337 が発行されます。

重大度: 0 または 4 または 12 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR2337 *ddname* 行 *number* のメンバー **NEWLIST [NAME=*name*]** は、*ddname* 行 *number* の **NEWLIST [NAME=*name*]** が抑止されたため、実質的に抑止されました (**Member NEWLIST [NAME=*name*] at *ddname* line *number* effectively suppressed because NEWLIST [NAME=*name*] at *ddname* line *number* is suppressed**)

説明: このメッセージは、動的な「ソフト EOF」コンテキスト (zSecure Alert で実行中の場合など) において、MERGELIST の最初の NEWLIST の newlist タイプについての出力がなくなったが、MERGELIST の別の NEWLIST の出力がそうでない場合に発行されます。

LIST コマンドを使用しない MERGELIST の場合、最初の (「ヘッダー」) NEWLIST が抑止されるとすべての出力が抑止されます。残りの間隔では、この MERGELIST について追加の出力は生成されません。OPTION MSGRC=(2337,rc) は、メッセージの重大度を変更するために使用できます。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」にある MERGELIST ステートメントについての情報を参照してください。

重大度: 0 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR2338 *ddname* の行 *number* の **MERGELIST [NAME=*name*]** は、最初の **NEWLIST** が抑止されたため抑止されました (**MERGELIST [NAME=*name*] at *ddname* line *number* suppressed because**

the first NEWLIST is suppressed)

説明: このメッセージは、LIST コマンドを使用しない MERGELIST ステートメントの有効範囲内の最初の NEWLIST についてメッセージ CKR1232 が発行されたときに、ENDMERGE で発行されます。このメッセージは、他の NEWLIST ステートメントの出力も抑止されることを警告します。

重大度: 4

CKR2339 **SEGMENT** パラメーター値 *segmentname* が不明です - *ddname* の行 *number* (**The SEGMENT parameter value *segmentname* is unknown - at *ddname* line *number***)

説明: 指定されたセグメント名は、zSecure の現行リリースに RACF データベース・セグメントとして認識されません。

ユーザーの処置: 値が間違っていて指定されている場合、CARLa を調整してください。独自のセグメントを追加したか、古いリリースの zSecure を新しい RACF データベースと一緒に実行している場合、このメッセージを抑止するか (SUP MSG=2339)、OPTION MSGRC=(2339,rc) を使用して重大度を通知または警告レベルに下げてください。

重大度: 12 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

CKR2340 *ddname* システム *system* [*version*] は、複合システム *complex* のデフォルト・システムと見なされました (***ddname* system *system* [*version*] considered default system for complex *complex***)

説明: このメッセージは、示された複合システムのデフォルト・システムとして、どのシステムを使用するかを決定を示します。

重大度: 0

CKR2341 *ddname* システム *system* [*version*] は、複合システム *complex2* [*version*] に類似した複合システム *complex1* のデフォルト・システムと見なされました (***ddname* system *system* [*version*] considered default system for complex *complex1* similar to complex *complex2* [*version*]**)

説明: このメッセージは、機能またはバージョンが異なる可能性がある類似の複合システムに基づいて、示された複合システムのデフォルト・システムとして、どのシステムを使用するかについての決定を示します。

重大度: 0

CKR2342 *ddname* システム *system* [*version*] は、**SMF ID** が一致するため、複合システム *complex* のデフォルト・システムと見なされました (***ddname system system* [*version*] considered default system for complex *complex* because SMF id matches**)

説明: このメッセージは、SMF ID または VM システム名に基づいて、示された複合システムのデフォルト・システムとして、どのシステムを使用するのかについての決定を示します。

重大度: 0

CKR2343 警告: RACF データ・セット *volser dsname* は既に複合システム *complex1* として認識されています。複合システム「**dupn**」を *ddname* システム *system* [*version*] に割り当てます (**Warning: RACF data set *volser dsname* already known as complex *complex1*, assigning complex "dupn" to *ddname system system* [*version*]**)

説明: このメッセージは、入力ファイルに同じ複合システム用の情報ソースが複数含まれていることを警告します。したがって、別の「**dupn**」複合システム名が重複セキュリティ・データベースに割り当てられました。

重大度: 0

CKR2344 警告: デフォルト・システムの複合システム名 *complex1* が重複しています。複合システム「**dupn**」を *ddname* システム *system* [*version*] に割り当てます (**Warning: duplicate complex name *complex1* for default system, assigning complex "dupn" to *ddname system system* [*version*]**)

説明: このメッセージは、入力ファイルに同じ複合システム用の情報ソースが複数含まれていることを警告します。したがって、別の「**dupn**」複合システム名が重複セキュリティ・データベースに割り当てられました。

重大度: 0

CKR2345 *ddname* デフォルト・システム *system* [*version*] が複合システム名 *complex* と一致しました (***ddname default system system* [*version*] matched complex name *complex***)

説明: このメッセージは、一致する複合システム名とバージョン名に基づいて、示されたセキュリティ・データベースでデフォルト・システムが割り当てられたことを示します。

重大度: 0

CKR2346 *ddname* システム *system* [*version*] が複合システム名 *complex* と一致しました (***ddname system system* [*version*] matched complex name *complex***)

説明: このメッセージは、一致する複合システム名とバージョン名に基づいて、示されたセキュリティ・データベースで示されたシステム・スナップショットが割り当てられたことを示します。

重大度: 0

CKR2347 複合システム *complex* は、セキュリティ DB *volser secdb dsname* が *ddname* システム *system* と一致するため、*unload ddname volser unload dsname* に割り当てられました (**Complex *complex* assigned to *unload ddname volser unload dsname* because security db *volser secdb dsname* matches *ddname system system***)

説明: このメッセージは、示されたセキュリティ・データベースが示されたスナップショット・ファイルに含まれるため、示されたアンロード・データ・セットが示された複合システム名に割り当てられたことを示します。

重大度: 0

CKR2348 システム (SMF ID) *system ddname volser dsname* のシステム *num ID (System num identification for system (SMF id) system ddname volser dsname)* システム名 *sysname* シスプレックス *sysplex クローン cc (Sysname sysname sysplex sysplex clone cc)* クローン *cc* ハードウェア *hwname* ボリューム・ユーザー *userid (clone cc hw hwname vm user userid)* *rrsf rrsfnode nje njenode*

説明: この情報メッセージは、示されたスナップショット・ファイルで検出されたシステム識別を示します。これにより、複合システム名の割り当てと通常コマンドのルーティングで使用されるロジックを理解できます。

重大度: 0

CKR2349 *ddname* システム *system* [*version*] は、複合システム *complex* のデフォルト・システムと見なされました (***ddname system system [version] considered default system for complex complex***)

説明: このメッセージは、示された複合システムのデフォルト・システムとして ACTIVE CKFREEZE を使用する決定を示します。

重大度: 0

CKR2350 CKRSVPUT では *clientfile* 用にサイズの大きなバッファ・ファイル *rmtfile* が必要です - 長さ *length* のレコードをスキップしました (***CKRSVPUT need larger buffer file rmtfile for clientfile - skipping record with length length***)

説明: このメッセージは、メカニズムでサポートしない、予期されない長いレコードが検出されたことを示します。

ユーザーの処置: 分析したファイルがサポートされるセキュリティ・データベース、SMF、または CKFREEZE ファイルである場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR2351 必要なサーバー接続を使用できません (***A required server connection is not available***)

説明: このメッセージは、CARLa 照会で zSecure Server が必要とされるが、現在構成されているサーバー・トークンではサーバーに到達できないことを示します。

ユーザーの処置: ローカルの zSecure Server へのアクセス方法の詳細についてメッセージ CKR1494 および CKR1495を参照し、ガイダンスに従ってください。

重大度: 12

CKR2352 複合システム *complex* に範囲テーブル・シーケンス番号 *seqno* の RACF データ・セットがありません - 範囲 *startkey* (***No RACF data set for range table sequence number seqno in complex complex - range startkey***)

説明: このメッセージは、示された複合システムでは、範囲テーブルの特定のキー範囲に一致する RACF データ・セットが RACF データベースに存在しないことを示します。キー範囲の先頭が示されます。ご使用の製品にこの機能が組み込まれている場合は、範囲テーブル・レポート (メニュー・オプション「AU.S」-「RACF 制御」-「RANGE」) を見て、使用される範囲テーブルに関する理解を深めることができます。

ユーザーの処置: 複合システムの割り振りを確認してください。CKFREEZE がデータベース・ソースに属さないか、ALLOC ステートメントで指定されている RACF データ・セットが RACF データベースにあるものすべてではない可能性があります。

重大度: 0

CKR2353 ALLOC TYPE=CKFREEZE
ZSECNODE=zsecnode ZSECSYS=zsecsys
ACTIVE [COMPLEX=complex] の追加
(Adding ALLOC TYPE=CKFREEZE
ZSECNODE=zsecnode ZSECSYS=zsecsys
ACTIVE [COMPLEX=complex])

説明: このメッセージは、示されたノードに関してリモート zSecure Server から、小さな最新 CKFREEZE が取得されることを示します。これは、ALLOC ステートメントの入力セットに適切な代替入力がない場合に実行されます。

重大度: 0

CKR2354 ZSECSYS/ZSECNODE を使用した
ALLOC SMF は無効です - *ddname* 行
number の *token* の前 (***ALLOC SMF
invalid with ZSECSYS/ZSECNODE -
before token at ddname line number***)

説明: ZSECSYS および ZSECNODE パラメーターは、明示的な割り振りステートメントでのみ許可されます。

ユーザーの処置: SMF の代わりに TYPE=SMF を使用してください。

重大度: 12

CKR2355 デフォルト・システムの複合システム *name* には、メイン・システムとしてのシステム *system* [*version*] が必要です
(Default system's complex name must have that system *system* [*version*] as the main system)

説明: この情報メッセージは、複合システムのデフォルト・システムが、どのシステムをデフォルト・システムとしてベースにし変更されたのかを示します。

ユーザーの処置: これが意図された構成ではない場合は、DEFAULT ステートメントでデフォルト・システムを変更できます。

重大度: 0

CKR2356 DATASET で LOGOPTIONS(NEVER) がアクティブ (LOGOPTIONS(NEVER) active for DATASET)

説明: このメッセージは、VERIFY SENSITIVE に応答して発行されます。これは、クラス・レベルの DATASET プロファイルで LOGOPTIONS(NEVER) が有効であることを示します。個々のプロファイルのログ・オプションを調整するためにコマンドが発行されることがありますが、グローバル設定が変更されるまで、それらの影響はありません。

重大度: 4

CKR2357 SYSLOG オプションでは SYSLOGUDP/SYSLOGTCP/ SYSLOGTOFILE 指定も必要です (SYSLOG option also requires SYSLOGUDP/SYSLOGTCP/ SYSLOGTOFILE specification.)

説明: NEWLIST ステートメントで SYSLOG オプションを指定する場合は、SYSLOGTO/ SYSLOGUDP、SYSLOGTCP、または SYSLOGTOFILE も指定する必要があります。

ユーザーの処置: SYSLOGTO/ SYSLOGUDP、SYSLOGTCP、または SYSLOGTOFILE オプションも必ず指定してください。これらのオプションにより、SYSLOG の宛先を示します。

重大度: 12

CKR2358 ファイル *filename* は、*zsecspec* 上のマップ済みユーザー ID *id* について READALL です (File *filename* READALL for mapped userid *id* on *zsecspec*)

説明: この通知メッセージは、示されたりモート・ノード・マップ済みユーザー ID は、リモート・ノード上の CKR.READALL への READ アクセス権限を持つことを示しています。このファイルについては、制限モードの動作は不要です。

重大度: 0

CKR2359 ファイル *filename* は *zsecspec* 上のマップ済みユーザー ID *id* を使用する制限モードです (File *filename* restricted mode using mapped userid *id* on *zsecspec*)

説明: この通知メッセージは、示されたりモート・ノード・マップ済みユーザー ID が CKR.READALL への READ アクセス権限を持たないため、制限付きモードが活動化されたことを示しています。したがって、示されたユーザー ID は、要求されたファイルに対する全アクセス権限を持ちません。

重大度: 0

CKR2360 SUPPRESS ACCESS_GDG_VERSION が *nnn* 件のデータ・セット名にマップされました (nn%) (SUPPRESS ACCESS_GDG_VERSION mapped *nnn* data set names (nn%))

説明: このメッセージは、GDG 生成が固定ストリング「GnnnnVnn」で置き換えられた場合の入力 TYPE=ACCESS レコードの数を示します。このアクションは、統合された出力データ・セット内の固有の組み合わせの数を削減します。この形式のデータ削減は、サイトで以下を使用しない場合に安全に実行できます。

- 個々の GDG 生成のための個別の RACF DATASET プロファイル。
- GDG 生成の最後の修飾子としての G22%%V00 などの汎用修飾子。

ユーザーの処置: アクションがエラーの原因にならない場合、ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKR2361 SUPPRESS ACCESS_JESSPOOL_JOB/DSID が *nnn* 件の JESSPOOL 名にマップされました (nn%) (SUPPRESS ACCESS_JESSPOOL_JOB/DSID mapped *nnn* JESSPOOL names (nn%))

説明: このメッセージは、JOBID または DSID (先頭文字を除く) が小文字の「x」文字による固定ストリングで置き換えられた場合の入力 TYPE=ACCESS レコードの数を示します。このアクションは、統合された出力データ・セット内の固有の組み合わせの数を削減します。

この形式のデータ削減は、ご使用のサイトで以下を制御する汎用指定のみを使用する場合に安全に実行できません。

- JOBID の 2 番目から 8 番目までの文字。
- RACF JESSPOOL プロファイルの D で始まる DSID 修飾子。

ユーザーの処置: アクションがエラーの原因にならない場合、ユーザーのアクションは不要です。

重大度: 00

CKR2362 **TYPE=xxxxxxx** のリモート割り振りは不要です。(Remote allocations for **TYPE=xxxxxxx not required.**) 割り振りは抑止されます (**Allocations suppressed**)

説明: このメッセージは、セキュリティー・データベースが不要なため、1 つ以上のリモートの RACF または ACF2 データベースの割り振りが抑止されたことを示すために発行されます。

データベース・タイプに指定される値 (TYPE=xxxxxxx) は、以下のいずれかが可能です。

- RACF
- ACF2
- ACF2LID
- ACF2RULE
- ACF2INFO

ユーザーの処置: アクションは不要です。

重大度: 00

CKR2363 ルックアップ *type.key.target* の **key=key** の等しいエントリーが重複しています。
record の値「*value*」 (**Duplicate but identical entry for key=key in lookup type.key.target Value "value" in record**)

説明: タイプ *type* のファイルの読み取り中に、ルックアップのキー・フィールドとして使用されるフィールド *key* エントリーが重複していることが検出されました。この場合、重複するエントリーは同一の値を指定します。この値のみが、ルックアップの表示用に保管されます。重複するエントリーが検出されたが値が異なる場合、メッセージ CKR1142 が発行されます。

重大度: 00

CKR2364 変換 **type=type** は *ddname* 行 *number* ではサポートされません (**Conversion type=type is not supported at ddname line number**)

説明: CONVERSION ステートメントでサポートされない型が指定されています。

ユーザーの処置: CARLa スクリプトの指定された場所にあるサポートされない CONVERSION 型を修正してください。

重大度: 12

CKR2365 変換 *name* が、*ddname* 行 *number* に指定されていません (**Conversion name is not specified at ddname line number**)

説明: CONVERSION ステートメントに必須の *name* パラメーターが欠落しています。

ユーザーの処置: CARLa スクリプトの指定された場所にある CONVERSION ステートメントに *name* パラメーターを指定してください。

重大度: 12

CKR2366 変換アクション (**REPLCHAR**) が指定されていません。*ddname*、行 *number*。
(**Conversion action (REPLCHAR) is not specified at ddname line number**)

説明: CONVERSION ステートメントに必須の *action list* パラメーターが欠落しています。zSecure バージョン 1.13 以前の製品バージョンでは、有効なパラメーターは REPLCHAR のみです。

ユーザーの処置: CARLa スクリプトの指定された場所にある CONVERSION ステートメントに *action list* パラメーターを指定してください。

重大度: 12

CKR2367 警告: *ddname* 行 *number* の変換 *name* (**type=type**) が、*ddname* 行 *number* で変換を指定変更しています。(Warning: **conversion name (type=type) at ddname line number overrides conversion at ddname line number**)

説明: CARLa スクリプト内で以前定義された別の CONVERSION ステートメントと同じ *type* および *name* を持つ CONVERSION ステートメントが CARLa スクリプト内で検出されました。(The CONVERSION statement was encountered in the CARLa script with the same *type* and *name* as another CONVERSION

statement that was defined earlier in the CARLa script.)後者のステートメントが前者のステートメントを指定変更します。

ユーザーの処置: 後者のステートメントを使用すると誤解を招くレポートが生成される場合は注意が必要なことがあります (間違った変換が適用されることがあります)。

重大度: 04

CKR2368 *タイプ type の変換 name が未定義です。ddname、行 number。 (Conversion name of type type at ddname line number is undefined)*

説明: (D)SUMMARY ステートメントが、CARLa スクリプトで以前定義されていない変換を参照しています。

ユーザーの処置: 指定された変換 *name* が CARLa スクリプト内で以前定義されていることを確認し、変換 *type* が *newlist* タイプと一致することを確認してください。

重大度: 12

CKR2369 *ddname 行 number の変換変数 name が無効です (Conversion variable name is invalid at ddname line number)*

説明: CONVERSION ステートメントの *action list* パラメーターに、未定義の変数が指定されました。

ユーザーの処置: CARLa スクリプトの指定された場所にある CONVERSION ステートメントの *action list* パラメーターに、サポートされる変数を指定してください。

重大度: 12

CKR2370 *ddname の行 number のサブストリング指定が無効です。 (Substring specification is not valid at ddname line number)*

説明: CONVERSION ステートメントの *action list* パラメーター内で使用されている SUBSTRING 関数を持つ *start index/length* 引数が原因で、サブストリングは受け入れ可能なフィールド値の範囲を超えています。サポートされるフィールド値の最大長は 246 文字です。

ユーザーの処置: CARLa スクリプトの CONVERSION ステートメントの *action list* パラメーター内で使用されている SUBSTRING 関数の *start index/length* 引数を修正してください。

重大度: 12

CKR2371 変換型は **WHERE** 節よりも前にある必要があります。ddname、行 number。

(Conversion type must precede WHERE clause at ddname line number)

説明: CONVERSION ステートメント内で、変換型よりも前に **WHERE** 節があります。WHERE 節の評価は CONVERSION 型に依存するため、これは許可されません。

ユーザーの処置: CARLa スクリプトの CONVERSION ステートメントでは、型パラメーターが **WHERE** 節よりも前になるようにしてください。

重大度: 12

CKR2372 **NEWLIST TYPE=IP_RESOLVER** 要求が発行されましたが、使用可能な **CS** リゾルバー構成データがありません。 (**A NEWLIST TYPE=IP_RESOLVER request was issued, but no CS Resolver configuration data are available.**) 原因は、CKFREEZE が古いか、または **APF** 以外の **CKFREEZE** である可能性があります (**Perhaps old or non-APF CKFREEZE**)

説明: このメッセージは、NEWLIST TYPE=IP_RESOLVER によって生成されます。CS リゾルバー構成レポートが要求されましたが、使用可能な CS リゾルバー構成データがありませんでした。

ユーザーの処置: 使用されている CKFREEZE ファイルを確認してください。CS リゾルバー構成レポートでは、zSecure Audit などにフォーカスした、IBM Security zSecure Collect の **APF** 許可実行が必要です。要求された情報を含んだ CKFREEZE ファイルを作成するためには、zSecure Collect のバージョンが最低でも 1.13 である必要があります。CKFREEZE ファイルを作成するために使用されたバージョンは、SYSPRINT のメッセージ CKR0132 で確認することができます。

重大度: 00

CKR2373 **NEWLIST TYPE=IP_RESOLVER** CKFREEZE データが不完全か破壊されています (**NEWLIST TYPE=IP_RESOLVER CKFREEZE data incomplete or corrupted**)

説明: このメッセージは、NEWLIST TYPE=IP_RESOLVER によって生成されます。CKFREEZE ファイルが不完全か破壊されていることを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

CKR2374 **ALLOC TYPE=CKFREEZE ACTIVE**
[COMPLEX=name] [VERSION=name] の追加 (**Adding ALLOC TYPE=CKFREEZE ACTIVE [COMPLEX=name] [VERSION=name]**)

説明: このメッセージは、対応するシステム・スナップショット・ファイルを持たないアクティブなセキュリティ・データベースが割り振られたことを示しています。正しいセキュリティ設定とコマンド・ルーティングを保証するために、稼働中のシステムの割り振りステートメントが自動的に追加されました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

重大度: 00

CKR2375 **ALLOC TYPE=CKFREEZE ACTIVE** の追加 (**Adding ALLOC TYPE=CKFREEZE ACTIVE**)

説明: このメッセージは、システム・スナップショット・ファイルを持たないセキュリティ・データベースが割り振られたことを示しています。システム・レベル情報を指定するために、稼働中のシステムの割り振りステートメントが自動的に追加されました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

重大度: 00

CKR2376 変換はフィールド *fieldaddr fieldname source* ではサポートされません。
(Conversion is not allowed for field fieldaddr fieldname source)

説明: このメッセージは、変換アクションを指定されたフィールドに適用できないことを示しています。示されたフィールドは「後で」処理されるフィールドで、後のステージングで構成されます。変換はそのようなフィールドに対して許可されません。

ユーザーの処置: これは制約事項です。示されたフィールドの CONVERSION 修飾子を削除してください。

重大度: 12

CKR2377 システム *name* 複合システム *complex* の *product* セキュリティ・データベースがありません (**Missing product security database for system name complex complex**)

説明: このメッセージは、1 つ以上のレポートでこのセキュリティ情報が必要であるが、示されたシステム *name* に対して、使用可能な *product* セキュリティ・データベース (RACF、ACF2、または TSS) がないことを示します。この情報を必要とするレポートは不完全である可能性があります、他のレポートは影響を受けません。

重大度: 00

CKR2378 ログオン ID *identity* : 役割 *role* についてネスト・レベルの深さを超えました
(Logonid identity : Nesting level depth exceeded for role role)

説明: ACF2 役割レコードは最大 25 のネスト・レベルをサポートします。このメッセージに示された役割レコードは、この最大値を超えています。このレコードに対する以降の処理は打ち切られます。

重大度: 20

CKR2379 SENSITIVITY は RESOURCE よりも前にある必要があります。ddname の行 *number* の *type "value"* の前。
(SENSITIVITY must precede RESOURCE before type "value" at ddname line number)

説明: 機密性属性は CLASS= パラメーターと RESOURCE= パラメーターの間に存在する必要があります。

ユーザーの処置: パラメーターの順序を訂正して、操作を再試行してください。

重大度: 12

CKR2380 RESOURCE_LOCATION は RESOURCE よりも前にある必要があります。ddname の行 *number* の *type "value"* の前。**(RESOURCE_LOCATION must precede RESOURCE before type "value" at ddname line number)**

説明: リソースの場所は CLASS= パラメーターと RESOURCE= パラメーターの間に存在する必要があります。

ユーザーの処置: パラメーターの順序を訂正して、操作を再試行してください。

重大度: 12

CKR2381 **ACCESS** は **RESOURCE** よりも前にある必要があります。 *ddname* の行 *number* の *type "value"* の前。 (**ACCESS must precede RESOURCE before type "value" at ddname line number**)

説明: リスク・アクセス・レベル指定は CLASS= パラメーターと CONCERN= または RESOURCE= パラメーターの間に存在する必要があります。

ユーザーの処置: パラメーターの順序を訂正して、操作を再試行してください。

重大度: 12

CKR2382 **CONCERN** は **RESOURCE** よりも前にある必要があります。 *ddname* の行 *number* の *type "value"* の前。 (**CONCERN must precede RESOURCE before type "value" at ddname line number**)

説明: リスク・アクセス・レベル指定は CLASS= パラメーターと RESOURCE= パラメーターの間に存在する必要があります。

ユーザーの処置: パラメーターの順序を訂正して、操作を再試行してください。

重大度: 12

CKR2383 **PRIO** は **RESOURCE** よりも前にある必要があります。 *ddname* の行 *number* の *type "value"* の前。 (**PRIO must precede RESOURCE before type "value" at ddname line number**)

説明: 監査優先順位レベルの指定は CLASS= (または RESOURCE_TYPE=) パラメーターと RESOURCE= パラメーターの間に存在する必要があります。

ユーザーの処置: パラメーターの順序を訂正して、操作を再試行してください。

重大度: 12

CKR2384 **PRIO** は 2 から 9 の範囲にある必要があります。 *ddname* の行 *number* の *type "value"* の前。 (**PRIO must be in range 2..9, before type "value" at ddname line number**)

説明: 監査に関する考慮事項の優先度は 2 から 9 の範囲である必要があります。値 2 はアプリケーション・レベル許可に該当します。一方、9 は上位の許可を示し、RACF、ACF2、または TSS をバイパスできる APF プログラムを変更できることに相当します。

ユーザーの処置: 優先順位を調整して、操作を再試行してください。

重大度: 12

CKR2385 ID には *token "value" source* の前に **RESOURCE** がある必要があります (**ID must precede RESOURCE before token "value" source**)

説明: 監査の考慮事項 ID の指定は、CLASS= (または RESOURCE_TYPE=) パラメーターと RESOURCE= パラメーターの間に存在する必要があります。

ユーザーの処置: パラメーターの順序を訂正して、操作を再試行してください。

重大度: 12

CKR2386 *type "value"* の前にある **SENSITIVITY** が重複しています。 *ddname*、行 *number* (**Duplicate SENSITIVITY before type "value" at ddname line number**)

説明: リソースの機密性とリスク・レベルの組み合わせに関連付けられた CONCERN/PRIO は 1 つだけです。

ユーザーの処置: 重複した機密性の名前を変更するか、アクセス・レベルを訂正するか、重複したステートメントを削除してください。

重大度: 12

CKR2387 考慮事項には **PRIO/CONCERN/SENSITIVITY** が必要です。 *ddname* の行 *number* の *type "value"* の前。 (**Concern requires PRIO/CONCERN/SENSITIVITY, before type "value" at ddname line number**)

説明: PRIO、CONCERN、または ID のいずれかのパラメーターを指定した場合には、PRIO、CONCERN、および SENSITIVITY の各パラメーターがすべて必要になります。

ユーザーの処置: 欠落しているパラメーターを追加して、操作を再試行してください。

重大度: 12

CKR2388 *ddname* の行 *number* の *type "value"* の前にある機密性タイプは、事前定義されたものであるか、先頭が「Site」で始まる必要があります (**Sensitivity type must be predefined or start with "Site", before type "value" at ddname line number**)

説明: サイト機密性は「Site」の 4 文字で始まる必要があります。事前定義された機密性の詳細については、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の『事前定義された機密性タイプ』セクションを参照してください。

ユーザーの処置: サイト機密性を定義したのであれば、「Site」で始まるように機密性を変更し、操作を再試行してください。

事前定義された機密性を参照したつもりであれば、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」のセクション『SIMULATE SENSITIVE ステートメントに関連する事前定義された機密性タイプ』に示されているものにスペルを訂正してください。

重大度: 12

CKR2389 サイト考慮事項 ID は「S」で始まる必要があります。*ddname* の行 *number* の *type "value"* の前。(**Site concern ID must start with "S", before type "value" at ddname line number**)

説明: 組み込み考慮事項 ID と区別するために、考慮事項 ID は「S」で始まる必要があります。

ユーザーの処置: 文字「S」で始まるように ID を変更し、操作を再試行してください。

重大度: 12

CKR2390 修飾子索引は 1 以上でなければなりません (**Qualifier index must be >= 1**)

説明: QUALIFIER 関数に無効な修飾子インデックスが指定されました。値は 1 と等しいか、それより大きい整数である必要があります。

ユーザーの処置: QUALIFIER 関数の修飾子インデックスが正しいことを確認してください。

重大度: 12

CKR2391 *option* は *cmd* コマンドの複数の *object ID* ではサポートされません。(**option is not supported for multiple object identifiers in cmd command.**)

説明: *object* パラメーターに ID のリストが含まれてい

る場合、CARLa *cmd* コマンドについて *option* 指定は無効です。

ユーザーの処置: CARLa スクリプトを変更してください。

重大度: 12

CKR2392 *cmd* コマンドは、複数の *objectID* ではサポートされません。(**cmd command is not supported for multiple object identifiers.**)

説明: *object* に対する複数の ID の指定は、*cmd* コマンドでは許可されません。

ユーザーの処置: CARLa スクリプトを変更してください。

重大度: 12

CKR2394 オプション TOUSER/TOGROUP/TOPERMIT は、COPY USER TOUSER TOGROUP を除いて同時に使用できません (**Options TOUSER/TOGROUP/TOPERMIT are mutually exclusive except in COPY USER TOUSER TOGROUP**)

説明: オプション TOUSER、TOGROUP、および TOPERMIT は、COPY/MOVE/REMOVE CARLa コマンドでは同時に使用することはできません。唯一の例外は COPY USER コマンドで、TOUSER オプションと TOGROUP オプションの両方が許可されます。

ユーザーの処置: CARLa を修正し、対応するコマンドから同時に指定できないオプションを削除してください。

重大度: 12

CKR2395 ICHNCV00 変換は、*sysname "resource_name"* リソースではサポートされません (**ICHNCV00 conversion is not supported for sysname "resource_name" resource**)

説明: 命名規則テーブル ICHNCV00 は、指定された VSAM データ・セット (*resource_name*) の変換に失敗しました。これは、変換アクションは指定されたシステム (*sysname*) 上でサポートされないためです。

ユーザーの処置: ICHNCV00 変換は実行されなかったため、この状況では注意が必要なことがあります。

重大度: 04

CKR2396 フィールド *field* の **long 16** 進数の値 "*value*" が無効です。 *ddname*、行 *number* (**Field *field* long hex value "*value*" invalid at *ddname* line *number***)

説明: この行の SELECT または EXCLUDE ステートメントには、'FFFFFFF'X より大きい 16 進値を持つ節があります。比較されたフィールドは、'FFFFFFF'X と等しいか、それより小さい値のみを受け入れる数値フィールドです。

重大度: 12

CKR2397 フィールド **CUSTOM_DATA** は、行の単一フィールドとしてのみ有効です。 *ddname*、行 *number* (**Field **CUSTOM_DATA** only valid as single field on a line at *ddname* line *number***)

説明: CUSTOM_DATA フィールドは、行の唯一のフィールドである必要があります。

ユーザーの処置: CUSTOM_DATA フィールドが指定された行から追加フィールドを削除してください。

重大度: 12

CKR2398 **DIRLIST** は失敗しました。 (**DIRLIST failed.**)ZERRMSG=*error_message* (ZERRMSG=*error_message*)

メッセージ 2400 から 2499

CKR2400 *number1* **ACCESS** レコードは、入力で *number2* レコードに統合されました (縮小 *nn*%) (***number1* ACCESS records consolidated on input to *number2* records (reduction *nn*%)**)

説明: このメッセージは、新規フォーマットの TYPE=ACCESS ファイルの処理中に発行されます。メッセージは、達成されたデータ削減をレコード数で定量化します。

重大度: 00

CKR2401 **TYPE=ACCESS** ファイル *ddname volser dsname* から *number* 件のレコードを読み取りました (エラー *n* 件) (**Read *number* records (with *n* errors) from **TYPE=ACCESS** file *ddname volser dsname***)

説明: このメッセージは、示されたレコード数を読み取った後、示された入力ファイルを閉じるときに発行され

説明: このメッセージは、DIRLIST サービスの呼び出し中に重大エラーが発生したことを示します。

ユーザーの処置: JESLOG を検討し、このエラーが他のエラーまたはメッセージに関連付けられているかどうかを判断してください。問題を解決できない場合、電子サポート Web サイトを参照して、使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 04

CKR2399 ファイル *file volser dsname* の **ACCESS** ファイル・フォーマット **B** はサポートされません (**A** はサポートされます) (**Unsupported ACCESS file format B (A supported) for file *file volser dsname***)

説明: このメッセージは、指定された TYPE=ACCESS 入力ファイルが、このレベルのプログラムによってサポートされるフォーマットよりも新しいフォーマットを持つことを示しています。

ユーザーの処置: ソフトウェアをアップグレードするか、同じソフトウェア・レベルでデータ・セットを作成します。

重大度: 16

ます。ファイルについてエラーが発生した場合、エラー数をリストします。

重大度: 0

CKR2402 連結された入力ファイル *ddname volser dsname* から **TYPE=ACCESS UNLOAD** に連結できません (**Cannot consolidate to **TYPE=ACCESS UNLOAD** from concatenated input file *ddname volser dsname***)

説明: このメッセージは、高速連結の TYPE=ACCESS UNLOAD は、並列で読み取られた非連結の入力ファイルからのみ作成できることを示しています。示されたファイル名には、ACCESS ファイルの連結が含まれています。

重大度: 16

CKR2403 不完全な **TYPE=ACCESS** ファイル
*ddname volser dsname (Incomplete
TYPE=ACCESS file ddname volser
dsname)*

説明: このメッセージは、新規フォーマット
TYPE=ACCESS ファイルの末尾に通常書き込まれる特
殊なファイルの終わり (EOF) レコードが検出されなかつ
たことを示します。ファイルを作成したジョブが早期
終了し、不完全なファイルが発生した場合があります。

重大度: 8

CKR2404 **TYPE=ACCESS UNLOAD** は
SELECT/EXCLUDE をサポートしませ
ん。**LIST RECORD** を使用してください
(**TYPE=ACCESS UNLOAD does not
support SELECT/EXCLUDE, use LIST
RECORD**)

説明: このメッセージは、UNLOAD を伴う NEWLIST
TYPE=ACCESS ステートメントでは選択はサポートさ
れないことを示します。

ユーザーの処置: 代わりに NEWLIST NOPAGE と一
緒に LIST RECORD を使用して、目的の選択出力を得
るか、NEWLIST TYPE=ACCESS ステートメントと
UNLOAD ステートメントの間から SELECT ステート
メントおよび EXCLUDE ステートメントを除去してく
ださい。

重大度: 12

CKR2405 古いフォーマットのファイル *ddname
volser dsname* から **TYPE=ACCESS
UNLOAD** への高速統合を実行できませ
ん (**Cannot perform fast consolidation
to TYPE=ACCESS UNLOAD from
old-format file ddname volser dsname**)

説明: このメッセージは、示された古いフォーマットの
入力ファイルから高速統合の TYPE=ACCESS
UNLOAD を作成できないことを示しています。

ユーザーの処置: 最初に古いフォーマットのファイルを
新しいフォーマットに変換してください。SCKRCARL
メンバー C2PAMCVT を使用します。

重大度: 16

CKR2406 *number* 件の **ACCESS** レコードを選択
し、**newlist name** によって *number file*
の要約レコードが生成されました (削減
nn%) (**number selected ACCESS records
resulting in number file summary
records (reduction nn%) by newlist
name**)

説明: このメッセージは、示された newlist によって
達成された、計算された削減率を提供します。削減を生
成するには、1 レベル SUMMARY である必要があります。
これは、結果の要約行数と選択されたレコード数を
比較します。CARLa メンバー C2PAMCMP の場合、
計算によって、達成されたデータ削減がレコード数で示
されます。

選択によって達成された削減については、メッセージ番
号 CKR1414 を参照してください。入力統合によって達
成された削減については、メッセージ CKR2400 を参照
してください。

重大度: 00

CKR2407 **RACF** データベース・フォーマットでの
UNLOAD のエラー - **CRDB** が欠落して
います (**UNLOAD with RACF database
format error - CRDB is missing**)

説明: RACF データベース・アンロードで、RACF デ
ータベース・プロパティについて記述したレコードが
見つかりません。RACF データベース UNLOAD 処理
が失敗した可能性があるか、UNLOAD データ・セット
が破損しています。

ユーザーの処置: RACF データベースの UNLOAD 処
理を繰り返し、その後で UNLOAD データ・セットが
変更されていないことを確認してください。

重大度: 16

CKR2408 **SMF** サブタイプ *subtype* は、システム
SMFid のタイプ *type* ではサポートされ
ません (**SMF subtype subtype not
supported for type type in system
SMFid**)

説明: このメッセージは、予想外に大きいサポートされ
ない SMF サブタイプ番号が検出されたことを示してい
ます。

ユーザーの処置: このメッセージ ID に関連する情報
については、電子サポート Web サイトを参照してくだ
さい。

重大度: 16

CKR2409 有効な CKFREEZE がありません。システム初期化を終了します (**No valid CKFREEZE, terminating system initialization**)

説明: このメッセージは、少なくとも 1 つの CKFREEZE ファイルが割り振られたが、割り振られたファイルをいずれも使用できなかった場合に発行されます。照会は終了されました。割り振られた CKFREEZE ファイルについての実際の問題を判別するには、SYSPRINT の前の方のメッセージを探してください (例えば、CKR1258 が発生した可能性があります)。

重大度: 20

CKR2410 **PAGE/TITLE/RETAIN** 出力修飾子との組み合わせの要約レベルが多すぎます。
ddname の行 *number* の制限は 256 です (**Too many summary levels in combination with PAGE/TITLE/RETAIN output modifier(s), limit is 256 at ddname line number**)

説明: このメッセージは、出力フィールドについて、PAGE 修飾子、TITLE 修飾子、または RETAIN 修飾子と組み合わせた (D)SUMMARY CARLa ステートメントに対して定義された要約レベルが多すぎることを示します。

ユーザーの処置: 要約レベルの数を減らしてください。

重大度: 12

CKR2411 システム *system* 複合システム *complex* での *class* に対する予期しないデフォルト RC (**Unexpected default RC for class on system *system* complex *complex***)

説明: 示されたシステム上の示されたクラスのデフォルト戻りコードが通常の状態と異なります。UNIX ファイルについてのアクセス・シミュレーションではこの状態をサポートしません。UNIX および TRUSTED レポートには、実際に認可されているよりも多くのアクセス権限が表示されることもあります。

重大度: 4

CKR2412 *modifier* は、*ddname* の行 *number* の非ブール値フィールド *fieldname* でサポートされていません (**modifier not supported for non-boolean field *fieldname* at *ddname* line *number***)

説明: 示された *modifier* は、ブール値に評価されるフィールドまたは定義済み変数でのみ使用できます。示さ

れた *field* はブール型ではありません。

重大度: 12

CKR2413 *modifier* は、*ddname* の行 *number* で定義された変数 *fieldname* でサポートされていません (**modifier not supported for variable *fieldname* defined at *ddname* line *number***)

説明: 統計タイプ *modifier* は、ブール値に評価される *where* 節を含まないフィールドまたは定義済み変数でのみ使用できます。つまり、DEFINE のタイプが TRUE または BOOLEAN であるか、DEFINE のタイプが AS であり、その基盤となるフィールドはブール型である場合です。示された *variable* は、これらの基準を満たしません。

重大度: 12

CKR2414 *ddname* 行 *lineno* で定義された、WHERE 節のある変換は、*ddname* 行 *lineno* の選択句では許可されません (**Conversion with WHERE clause defined at *ddname* line *lineno* not allowed in selection clause at *ddname* line *lineno***)

説明: 入力パーサーは、サポートされていない、以下の状態を検出しました。

- 変換が SELECT/EXCLUDE ステートメントで間接的に (DEFINE...AS.. を使用して) 使用されている。
- 変換に WHERE 節がある。

ユーザーの処置: CARLa スクリプトを修正してください。

重大度: 12

CKR2415 セキュリティー・モニターは、ボリューム *volume* *user.dev* 上のミニディスクを保護しません (**Security monitor does not protect minidisk on volume *volume* *user.dev***)

説明: このメッセージは、次の場合に、VERIFY PROTECTALL によって発行されます。

- VM CP ディレクトリー内のミニディスク定義に一致するプロファイルがない場合。
- HCPRWA 情報が、未定 VMDISK アクションは DEFER であると示している場合。

この状態を修正するためのコマンドは生成されません。したがって、ユーザー自身がアクセス要件を確認する必要があります。

重大度: 8

CKR2416 ボリューム *volume user.dev* 上でミニディスク以外の **VMMDISK** プロファイルは保護されません (**No VMMDISK profile but minidisk protected on volume *volume user.dev***)

説明: このメッセージは、次の場合に、**VERIFY PROTECTALL** によって発行されます。

- VM CP ディレクトリー内のミニディスク定義に一致するプロファイルがない場合。
- HCPRWA 情報が、未定 **VMDISK** アクションは **FAIL** であると示している場合。

この状態を修正するためのコマンドは生成されません。したがって、アクセス要件を確認する必要があります。

重大度: 08

CKR2417 ボリューム *volume user.dev* 上のミニディスクのセキュリティー・モニターと関係なく、アクセスが許可されています (**Access allowed independently of security monitor for minidisk on volume *volume user.dev***)

説明: このメッセージは、次の場合に、**VERIFY PROTECTALL** によって発行されます。

- VM CP ディレクトリー内のミニディスク定義に一致するプロファイルがない場合。
- HCPRWA 情報が、未定 **VMDISK** アクションは **ALLOW** であると示している場合。

この状態を修正するためのコマンドは生成されません。したがって、ユーザー自身がアクセス要件を確認する必要があります。

重大度: 8

CKR2418 **DIAGNOSE A0-50** 処理中の *xxxx* (*xxxx* during **DIAGNOSE A0-50** processing)

説明: RACF 基本/バックアップ・データ・ファイルまたは稼働中 SMF データ・ファイルのどちらかを割り振るための情報を入手するために **DIAGNOSE A0** コマンドを実行中にエラーが発生しました。CKRCARLA 処理を終了します。

重大度: 8

CKR2419 *xxxx* 装置 *yyy* について **VMLINK** を発行中のエラー (**Error issuing VMLINK for *xxxx* device *yyy***)
MSG=ttttt

説明: z/VM で RACF 基本/バックアップ・データ・ファイルまたは 稼働中 SMF データ・ファイルのどちらかを割り振るために **VMLINK** コマンドを実行中にエラーが発生しました。指定された装置が、割り振られるファイルのタイプを決定します。

装置	ファイル・タイプ
200	基本 RACF データベース
300	バックアップ RACF データベース
301	稼働中 SMF データ・ディスク
302	稼働中 SMF データ・ディスク 2

メッセージ *ttttt* は、**VMLINK** コマンドから戻されたメッセージを示します。

重大度: 4

CKR2420 **[PRIMARY | BACKUP] RACF** データベースの割り振り中のエラー。 (**Error allocating [PRIMARY | BACKUP] RACF database.)**処理を終了します (**Processing terminated**)

説明: 基本またはバックアップ RACF データベースを割り振るための情報を入手するために **VMLINK** コマンドを発行中にエラーが発生しました。CKRCARLA 処理を終了します。メッセージ CKR2418 により詳細情報が提供されます。

重大度: 12

CKR2421 システム *system version complex volume dsn* について **MCDS** がもう 1 つ検出されました。最初のは *dsn* でした (**Encountered another MCDS for system *system version complex volume dsn*, first was *dsn***)
「**SIMULATE SHARED VOL=MIGRAT**」ステートメントを使用して、**MCDS** を共有するシステムを指定してください (**Use 'SIMULATE SHARED VOL=MIGRAT' statement to specify which systems share MCDS**)

説明: システムのデータ・セット情報を処理中に、複数

の DFSMShsm マイグレーション制御データ・セット (MCDS) が検出されました。zSecure では、MCDS を使用して、システム間でのマイグレーション (MIGRAT) ボリューム共有を判別します。複数のマイグレーション制御データ・セットが検出された場合、zSecure はシステム間での MIGRAT ボリューム共有を判別できません。

ユーザーの処置: MIGRAT を共有するシステムを明示的に指定するために、「SIMULATE SHARED VOL=MIGRAT」 CARLa ステートメントを追加してください。ISPF UI で SETUP PREAMBLE を使用すると、このステートメントを追加することができます。あるいは、SUPPRESS MSG=2421 を指定して、最初に検出された MCDS を使用することができます。

重大度: 20

CKR2422 HSM と ABR が両方とも *system version complex* 上にあり、ボリューム MIGRAT のボリューム共有を判別するために HSM MCDS を使用しています (HSM and ABR are both present on *system version complex*, using HSM MCDS for determining volume sharing for volume MIGRAT)

説明: DFSMShsm マイグレーション制御データ・セットと ABR アーカイブ制御ファイルの両方が検出されました。DFSMShsm MCDS の共有により、MIGRAT ボリューム共有が判別されました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

重大度: 00

CKR2423 VMCMD DIAG0A0.RACONFIG に対する読み取り権限がありません。クラス A でも、クラス B でもありません (No READ access to VMCMD DIAG0A0.RACONFIG, or not class A or B)

説明: ユーザーには、DIAGNOSE A0 コマンドを実行して、RACF 基本/バックアップまたは稼働中 SMF データ・ファイルのどちらかを割り振るための情報を入手する権限がありません。zSecure では、RACFVM デフォルト値を使用して、これらの z/VM ファイルを割り振ります。

重大度: 4

CKR2424 *file* 行 *number* のフォーマット *format* フィールド *field* の値 *value* が無効です (Invalid value *value* for format *format* field *field* at file line *number*)

説明: SELECT コマンドまたは EXCLUDE コマンドにフォーマット *format* を持つフィールド *field* に対して無効な値が指定されました。有効なフォーマット値は、「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の『TYPE=RACF 以外の NEWLIST タイプ用の SELECT および EXCLUDE』に記載されています。

重大度: 12

CKR2425 *ddname* 行 *number* の *token* の前に予期しない「)」があります (Unexpected ') before token at *ddname* line *number*)

説明: 入力で、左括弧と一致しない右括弧が検出されました。

ユーザーの処置: CARLa ジョブから無関係の右括弧を削除してください。

重大度: 12

CKR2426 LIST と同様のステートメントが使い果たされました。INPUT_CONDITION が、*ddname* 行 *number* の *token* の前で「)」で閉じられていません (LIST-like statement exhausted; INPUT_CONDITION not closed by ') before token at *ddname* line *number*)

説明: 条件付きで組み込まれた出力フィールドを示す構造体が、括弧で適切に閉じられていません。

ユーザーの処置: 右括弧を使用して構造体を閉じることによって、CARLa を修正してください。

重大度: 12

CKR2427 *ddname* 行 *number* の newlist type=*type* について自動比較が無視されました (Automatic compare ignored for newlist type=*type* at *ddname* line *number*)

説明: ALLOC ステートメントで FUNCTION=BASE を使用して自動比較が指定されていますが、この newlist タイプは自動比較をサポートしていません。newlist は、ALLOC ステートメントに FUNCTION=BASE が指定されていない場合と同様に処理されます。COMPARE_RESULT フィールドおよび COMPARE_CHANGES フィールドは使用できますが、ブランク値を戻します。COMPAREOPT SHOW 処理の

ため、フィルタリングは発生しません。

ユーザーの処置: この **newlist** が比較演算を実行することを明示的に要求するためには、独自の比較演算を定義する必要があります。「ユーザー・リファレンス・マニュアル」の比較処理に関するセクションを参照してください。

重大度: 0

CKR2428 デフォルトの比較では、*ddname* 行 *number* の **newlist type=type** に比較フィールドが必要です (**Default compare requires compare fields in newlist type=type at ddname line number**)

説明: NEWLIST ステートメントで COMPAREOPT=DEFAULT を使用して、この **newlist** タイプに比較が指定されました。しかし、このレポート・タイプにはデフォルトの比較は定義されていません。この **newlist** を使用して比較するためには、比較するフィールドを定義する COMPAREOPT ステートメントを作成してください。「BY」フィールドと「BASE」フィールドを指定することも必要です。

ユーザーの処置: 比較演算の作成については、「ユーザー・リファレンス・マニュアル」の比較処理に関するセクションを参照してください。

重大度: 12

CKR2429 異なる **VERSION=ver** ファイル *ddname* 行 *number* から **TYPE=ACCESS UNLOAD** に統合できません (**Cannot consolidate to TYPE=ACCESS UNLOAD from different VERSION=ver file ddname line number**)

説明: 複数のバージョンの同時高速統合はサポートされていません。単一の統合出力ファイルに複数のバージョンからの情報を含めることはできません。

ユーザーの処置: VERSION ごとに別個の実行を使用してください。

重大度: 16

CKR2430 **newlist** タイプ *type* が、*ddname2* line *number2* で既に使用されている *ddname1* line *number1* にあります (**Newlist type type at ddname1 line number1 already used at ddname2 line number2**)

説明: 各 **newlist** タイプは、SELECT 節または TEST 節で一度だけ指定できます。

ユーザーの処置: DOMAIN ステートメントで、2 つの

選択を結合して 1 つの SELECT TYPE() 節にしてください。TEST ステートメントで、2 つのテストを 2 つの TEST ステートメントに対して分割してください。

重大度: 12

CKR2431 *ddname1* 行 *number1* の **TEST testname** は、ルール *rulename* 内の *ddname2* 行 *number2* で既に定義されています (**Test testname at ddname1 line number1 already defined at ddname2 line number2 in rule rulename**)

説明: TEST には、OTHERWISE 節でネストされている場合でも、RULE を使用して独自の名前を付ける必要があります。

ユーザーの処置: 指定されたルールで同じ名前を持つ 2 つのテストの名前のいずれかを変更してください。

重大度: 12

CKR2432 *ddname1* 行 *number1* の **STANDARD name VER(version)** は、*ddname2* 行 *number2* で既に定義されています (**Standard name VER(version) at ddname1 line number1 already defined at ddname2 line number2**)

説明: STANDARD は、名前と VERSION の固有の組み合わせを持つ必要があります。

ユーザーの処置: 同じ名前とバージョンを持つ 2 つの STANDARD バージョンのいずれかの名前またはバージョンを変更してください。

重大度: 12

CKR2433 *ddname1* 行 *number1* のドメイン *name* は、標準 *stdname* **VER(version)** の *ddname2* 行 *number2* で既に定義されています (**Domain name at ddname1 line number1 already defined at ddname2 line number2 in standard stdname VER(version)**)

説明: DOMAIN は、STANDARD 内で固有の名前を持っている必要があります。

ユーザーの処置: 指定された標準内で同じ名前を持つ 2 つのドメインの名前のいずれかを変更してください。

重大度: 12

CKR2435 *ddname* 行 *number* のドメイン *name* 用に、パラメーター **SELECT** が存在している必要があります (**Parameter SELECT must be present for domain name at ddname line number**)

説明: ドメイン定義に、ドメインの内容を定義するパラメーターが含まれている必要があります。そのためには、ドメインが他のドメインの集合であることを指定するか、あるいはドメインを定義する TYPE 節および SELECTION 節を定義する SELECT パラメーターを指定する必要があります。

ユーザーの処置: ドメインを定義するために SUBDOMAIN パラメーターまたは SELECT パラメーターを追加してください。

重大度: 12

CKR2436 *ddname1* 行 *number1* のルール *rulename* は、標準 *stdname* **VER(version)** 内の *ddname2* 行 *number2* で既に定義されています (**Rule rulename at ddname1 line number1 already defined at ddname2 line number2 in standard stdname VER(version)**)

説明: RULE は、STANDARD バージョン内で固有の名前を持っている必要があります。

ユーザーの処置: 指定された標準内で同じ名前を持つ 2 つのルールの名前のいずれかを変更してください。

重大度: 12

CKR2438 「」を予期しています - 「」がないか、スキップしています (**Expecting) - skipping for)**)

説明: 構文エラーがあります。右括弧が欠落しています。コマンド・パーサーは、現行パラメーターを終了できる右括弧またはセミコロンを探すことにより、現行ネスティング・レベルでの解析の続行を試みます。見つかった場合に、それが意図した区切り文字でないことがあります。このスキップは、場合によっては、STANDARD コマンド・パーサー全体が終了しないようにするためのエラー・リカバリーとして実行されます。これは、行の継続用のコンマが欠落している問題か、あるいは許可されなくなった名前を使用していることが原因である可能性があります。

ユーザーの処置: 右括弧が適切な場所に指定されていることを確認してください。

重大度: 12

CKR2439 **SUMMARY** パラメーターは、ドメイン *domain* の *ddname* 行 *number* でマルチレベルであってはなりません (**SUMMARY parameter cannot be multi-level at ddname line number for domain domain**)

説明: DOMAIN での SUMMARY 指定には、1 レベルの要約統計のみ含めることができます。

ユーザーの処置: 追加の要約レベルを示す * を削除してください。

重大度: 12

CKR2440 ドメイン *name* が、*ddname* 行 *number* のルール *rulename* で使用される前に標準 *name* に定義されていません (**Domain name not defined in standard name before use in rule rulename at ddname line number**)

説明: RULE の指定で使用するドメインは、ここで使用される前に、同じ標準バージョンで DOMAIN ステートメントに定義されている必要があります。

ユーザーの処置: 参照されるドメインが、前もって標準バージョンで定義されていることを確認してください。

重大度: 12

CKR2441 ルール用には、*ddname2* 行 *number2* の *name2* ではなく、*ddname1* 行 *number1* の **ENDRULE** *name1* を予期しています (**Expecting ENDRULE name1 for rule at ddname1 line number1 instead of name2 at ddname2 line number2**)

説明: ENDRULE ステートメントに含まれている、現在アクティブなルール名は予期したものではありません。

ユーザーの処置: ENDRULE ステートメントのルール名または RULE ステートメントのルール名を修正するか、あるいはステートメントのネスティング・レベルを修正してください。

重大度: 12

CKR2442 標準用には、*ddname2* 行 *number2* の *name2* ではなく、*ddname1* 行 *number1* の **ENDSTANDARD** *name1* を予期しています (**Expecting ENDSTANDARD name1 for standard at ddname1 line number1 instead of name2 at ddname2 line number2**)

説明: ENDSTANDARD ステートメントに含まれている、現在アクティブな標準名は予期したものではありません。

ユーザーの処置: ENDSTANDARD ステートメントの標準名を修正するか、STANDARD ステートメントの名前を変更する、あるいはステートメントのネスティング・レベルを修正してください。

重大度: 12

CKR2443 *ddname1* 行 *number1* タイプ *type* のテスト *name* は、*ddname3* 行 *number3* のルール *rule* 用の *ddname2* 行 *number2* のルール・ドメイン *domain* の一部ではありません (**Test name at ddname1 line number1 type type not part of rule domain domain at ddname2 line number2 for rule rule at ddname3 line number3**)

説明: RULE と ENDRULE 間での各 TEST の指定が、RULE ステートメントで識別されている DOMAIN の SELECT パラメーターにある newlist タイプに適用される必要があります。

ユーザーの処置: ドメイン SELECT パラメーターまたは RULE DOMAIN パラメーター、あるいは TEST newlist タイプを変更してください。

重大度: 12

CKR2445 SET(*setname*) が指定されていますが、RULE_SET *setname* が存在しません (**SET(*setname*) has been specified, but no RULE_SET *setname* exists**)

説明: SET(*setname*) が RULE ステートメントで指定されましたが、同じ名前を持つ RULE_SET が存在しません。

重大度: 12

CKR2446 *ddname* の行 *number* で、OPTION は SELECT *name* の前になければなりません (**OPTION must precede SELECT *name* at *ddname* line *number***)

説明: DOMAIN ステートメントで OPTION キーワードが指定されている場合、SELECT キーワードの前になければなりません。

重大度: 12

CKR2447 システム・カーソルの最終設定: *sysname* [*version*] [-*generation*] *filename* (**System cursor last set to *sysname* [*version*] [-*generation*] *filename***)

説明: このメッセージは、システム・カーソルが設定された場合に、要約ダンプ出力の一部として発行されます。この情報を利用すると、処理されていた CKFREEZE ファイルを判別できます。

重大度: 0

CKR2448 複合システム・カーソルの最終設定: *complex* [*version*] (**Complex cursor last set to *complex* [*version*]**)

説明: このメッセージは、複合システム (セキュリティ・データベース) カーソルが設定された場合に、要約ダンプ出力の一部として発行されます。この情報を利用すると、処理されていたセキュリティ・データベースを判別できます。システム・カーソルを設定している場合は、一般に複合システム・カーソルが維持されないことに注意してください。

重大度: 0

CKR2449 ALLOC ステートメントに FUNCTION=MAIN 複合システムが指定されていません (**No FUNCTION=MAIN complex - ALLOC statements**)

説明: このメッセージは、明示的な ALLOC ステートメントに FUNCTION=MAIN 複合システムが指定されなかったか、暗黙の割り振りデフォルトによる FUNCTION=MAIN 複合システムの指定がなかったことを示します。

ユーザーの処置: FUNCTION を指定せずに ALLOC ステートメントを追加するか、明示的に FUNCTION=MAIN を指定してください。

重大度: 12

CKR2450 ファイル *ddname volser dsn* 内のシステム SMFid について CKFREEZE が見つかりませんでした (**No CKFREEZE file found for system SMFid in file *ddname volser dsn***)

説明: 一連の入力ファイルに CKFREEZE ファイルが存在していないシステム SMF ID が含まれている ACCESS レコードが読み取られました。

ユーザーの処置: 指示されたシステムの CKFREEZE ファイルを接続してください。例えば、ACCESS ファイルが変更されたことが原因で、そのような

CKFREEZE が存在しない場合は、SIMULATE ACCESS_FALLBACK_DEFAULT ステートメントを使用して、デフォルト・システムからの設定を使用できます。

重大度: 8

CKR2451 *ddname volser dsn* に一致する
CKFREEZE ファイルがないため、システム *name1* をデフォルト *name2* でシミュレートしています (**Simulating system *name1* with default *name2* because no CKFREEZE file matching *ddname volser dsn***)

説明: 一連の入力ファイルに CKFREEZE ファイルが存在していないシステム SMF ID が含まれている ACCESS レコードが読み取られました。SIMULATE ACCESS_FALLBACK_DEFAULT ステートメントが指定されているために、これらの ACCESS レコードにデフォルト・システムからの設定が使用されます。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

重大度: 0

CKR2452 許可されるのは単純選択節のみです。標準 *standard* 内のルール *rule* の *ddname* 行 *number* にあるテスト *testname* を単純化してください (**Only simple select clauses allowed; simplify test *testname* at *ddname* line *number* in rule *rule* in standard *standard***)

説明: COMPLIANCE newlist で、テスト節は、形式 *field operator value* の単純テストのみを使用して表されます。現行のテスト節は、これらの必要な 3 つの部分に分割できません。このメッセージは、RACF テスト節にのみ当てはまります。

ユーザーの処置: テストを複数のテストに分割するか、あるいはもっと単純な方法でテストを表現してください。

重大度: 12

CKR2453 許可されるのは単純選択節のみです。標準 *standard* 内のルール *rule* の *ddname* 行 *number* にあるテスト *testname* を単純化してください (**Only simple select clauses allowed; simplify test *testname* at *ddname* line *number* in rule *rule* in standard *standard***)

説明: COMPLIANCE newlist で、テスト節は、形式 *field operator value* の単純テストのみを使用して表され

ます。現行のテスト節は、これらの必要な 3 つの部分に分割できません。このメッセージは、非 RACF テスト節にのみ当てはまります。

ユーザーの処置: テストを複数のテストに分割するか、あるいはもっと単純な方法でテストを表現してください。

重大度: 12

CKR2454 システム *sysname*, *ddname vol dsn* の **CKFREEZE** からの DB2 カタログ情報が欠落しているためにレポートが不完全です (**Report incomplete because DB2 catalog information missing from CKFREEZE for system *sysname*, *ddname vol dsn***)

説明: CKFREEZE ファイルからの DB2 カタログ情報が欠落しており、その結果、DB2 レポートが欠落しています。

ユーザーの処置: すべての DB2 サブシステムがアクティブな状態で zSecure Collect プログラム (CKFCOLL) を再実行し、DB2=Y オプションおよび DB2CAT=Y オプションを指定して、DB2 カタログ情報を収集してください。

重大度: 08

CKR2455 *type*、GRANTEETYPE *xXX* は予想されていません (**Unexpected *type*, GRANTEETYPE *xXX***)

説明: このメッセージは、SYSIBM...AUTH DB2 テーブルのフィールド GRANTEETYPE で予期しない値が検出されたことを示しています。予期値は、(UTF8 文字セットの) ブランク、L、または P です。このメッセージは、抑止することができます。

ユーザーの処置: CKFREEZE ファイルが破損していないか、確認してください。ファイルの破損を確認できない場合は、DB2 AUTH テーブルに、*type* で指示されている 2 文字オブジェクト・タイプがないか調べてください。新しいタイプがある場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

重大度: 16

CKR2456 ドメイン *domain* の *ddname* 行 *number* タイプ *type* にあるテスト *testname* について カウント・フィールドが見つかりませんでした (**Count field not found for test *testname* at *ddname* line *number* type *type* of domain *domain***)

説明: SUMMARY が指定されたドメインの場合、COUNT 変数を定義して、テストに使用できる要約キーごとの追加のカウントを指定することが可能です。しかし、SUMMARY の指定で、COUNT フィールドが見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 指示された newlist type の DOMAIN SUMMARY 指定に COUNT フィールドを追加してください。

重大度: 12

CKR2457 *ddname line number* の抑止コマンドで標準 *standard* が見つかりませんでした
(Not found standard *standard* in suppress command at *ddname line number*)

説明: 入力に SUPPRESS STANDARD=*standard* ステートメントが見つかりましたが、その標準を定義する STANDARD ステートメントがありませんでした。SUPPRESS ステートメントは無視されます。

ユーザーの処置: 意図した標準で作業しているかどうか、あるいは標準名のミススペルではないか、確認してください。

重大度: 04

CKR2458 *ddname* の行 *number* の抑止コマンドで、どのバージョンの標準 *standard* にもルール [セット] *rule [set]* が見つかりません
(Not found rule *[set] rule [set]* in any version of standard *standard* in suppress command at *ddname line number*)

説明: この警告メッセージは、SUPPRESS STANDARD=*standard* RULE=*rule* ステートメントまたは SUPPRESS STANDARD=*standard* RULE_SET=*rule set* ステートメントが、指定された標準内に存在しない、名前指定された RULE または RULE_SET ステートメントを参照している場合に発行されます。SUPPRESS ステートメントは無視されます。

ユーザーの処置: 意図した標準バージョンで作業しているかどうか、および名前のスペルが正しいかどうかを確認してください。

重大度: 04

CKR2459 DDNAME/DD/FILE/F=*ddname* オーバーライドは、マージ・コンテキスト内でサポートされていません (DDNAME/DD/FILE/F=*ddname* override is not supported within merge context - at *ddname line number*)

説明: MERGELIST ステートメントと ENDMERGE ステートメントとの間の newlist にも指示されている DDNAME ステートメントがありますが、MERGELIST ステートメントに DDNAME オプションが指定されています。これはサポートされません。

ユーザーの処置: MERGELIST 操作作用に出力宛先を 1 つだけ使用するように CARLa コードを変更してください。

重大度: 12

CKR2460 DDNAME/DD/FILE/F=*ddname* [override] は、マージ・コンテキスト [,DDNAME/D/FILE/F=*ddname* is used] 内で無視されます - *ddname line number* で (DDNAME/DD/FILE/F=*ddname* [override] is ignored within merge context [,DDNAME/D/FILE/F=*ddname* is used] - at *ddname line number*)

説明: MERGELIST/ENDMERGE ペア間の newlist ステートメントで、最初の newlist ステートメントに指定された名前と異なるデータ・セット名を持つ DDNAME オプションが指定されています。これは、同じマージ・コンテキスト内では許可されません。最初の newlist に DDNAME が指定されている場合、それは、同じマージ・コンテキスト内のすべての後続 newlist ステートメントに使用されます。

ユーザーの処置: CARLa コードを確認し、修正してください。

重大度: 04

CKR2461 SMFID *smfid* の CKFREEZE がありません。リソース名は近似名です (No CKFREEZE for SMFID *smfid*, resource names approximated)

説明: 該当する CKFREEZE データ・セットがないため、SMF レコード内のデータ・セット名を、外部セキュリティ・マネージャーが使用するリソース名に正確に変換することができませんでした。プログラムでは、正確な方式に近い方式を使用しています。このシステムの SMF レコードを処理する際に、リソース名はデータ・セット名と同じであると見なされます。このメッセージは、*smfid* に示されているように、異なる SMFID

ごとに一度だけ発行されます。このシステムから処理された SMF レコードの数は、メッセージ CKR0452 に示されています。

重大度: 04

CKR2462 *ddname line number* に
SUPPRESS_IF_COMPARE と
COMPAREOPT=name の両方があります
(Both SUPPRESS_IF_COMPARE and
COMPAREOPT=name at ddname line
number)

説明: このメッセージは、SUPPRESS_IF_COMPARE キーワード (レポートが比較の適用範囲内にある場合にはレポートを抑止します) と、COMPAREOPT=name (比較を指定します) の両方が同じレポート上に明示的に存在する場合にのみ発行されます。これが許可されている場合でも、レポートについて真の出力を生成することはできません。SUPPRESS_IF_COMPARE は、自動 (暗黙) 比較の発生を条件付きで抑止するように作られています。

重大度: 04

CKR2463 フィールド *field source* について、制限付きモードでの選択により、**newlist [name] source** へのアクセスが最小限に抑えられ、*level* になっています (**Selection in restricted mode raises minimum access on newlist [name] source to level for field field source**)

説明: 指定された制限付きフィールドが select 節で参照されているために、示された newlist の出力が、ユーザーが必要なアクセス権限を持つレコードに自動的に制限されています。

重大度: 0

CKR2464 フィールド *fieldname* に対して選択された入力 *number* 文字を超えています。
(Selected input for field fieldname is longer than number characters.)

説明: フィールドで許可されている最大長を超えるストリングが指定されました。フィールド名と使用できる最大文字数がメッセージで示されています。

重大度: 12

CKR2465 **CSRCEsrv QUERY が失敗しました。**
RC=rc (CSRCEsrv QUERY failed,
RC=rc)

説明: 圧縮 DB2 SMF レコードに使用されるデータ解凍サービス (CSRCEsrv) に対する QUERY 要求が、戻りコード *rc* で失敗しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 04

CKR2466 *ddname volser dsn* 内の SMF レコード *recno* に対する **CSRCEsrv EXPAND** が失敗しました。**RC=rc (CSRCEsrv EXPAND failed for SMF record recno in ddname volser dsn, RC=rc)**

説明: データ解凍サービス (CSRCEsrv) が、*ddname volser dsn* 内の DB2 圧縮 SMF レコード *recno* を解凍できませんでした。エラー・コードが *rc* です。

ユーザーの処置: SMF レコードが破損していないことを確認してください。レコードに問題がない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 04

CKR2467 *nn* 個の [DB2 | CICS] 圧縮 SMF レコードが読み取られ、*nn* 個の [DB2 | CICS] 圧縮 SMF レコードが処理されました (*nn%*) (*nn* [DB2 | CICS] compressed SMF records read, *nn* [DB2 | CICS] compressed SMF records processed (*nn%*))

説明: このメッセージは、読み取られた DB2 または CICS 圧縮 SMF レコードの数と、その後の処理に向けて正常に解凍されたレコードの数およびパーセンテージを示します。このメッセージは、SMF データ・セット内に DB2 または CICS 圧縮 SMF レコードが存在し、それらのレコードに解凍対象のマークが付けられている場合にのみ発行されます。

ユーザーの処置: 読み取りレコード数が処理レコード数と同じである場合、ユーザーのアクションは不要です。

処理レコード数が読み取りレコード数と同じでない場合は、1 つ以上のレコードのデータ解凍に失敗しています。CKR2465 メッセージと CKR2466 メッセージによって、データ解凍の問題に関する詳細情報が提供されます。

重大度: 00

CKR2468 NOOMVS キーワードは、NEWOMVSUID、NEWOMVSGID、NEWOMVSPROGRAM、および NEWOMVSHOME の各キーワードと同時に使用できません。(The NOOMVS keyword is mutually exclusive with the NEWOMVSUID, NEWOMVSGID, NEWOMVSPROGRAM, and NEWOMVSHOME keywords.)

説明: NOOMVS キーワードが COPY コマンドで使用されている場合は、NEWOMVSUID、NEWOMVSGID、NEWOMVSPROGRAM、および NEWOMVSHOME の各キーワードを使用できません。

ユーザーの処置: 該当するキーワードを除去して、COPY コマンドを再発行してください。

重大度: 12

CKR2469 *ddname volser dsn* の解凍済みレコードの長さが 32K を超えるため、DB2 圧縮 SMF レコード *recno* をスキップします (Skipping DB2 compressed SMF record *recno* because expanded record length is >32K in *ddname volser dsn*)

説明: SMF レコード *recno* は圧縮 DB2 レコードのようです。しかし、示された解凍済みレコードが長すぎるため、このレコードは破損しているようです。このレコードはスキップされました。

ユーザーの処置: SMF レコードが破損していないことを確認してください。レコードに問題がない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 08

CKR2470 TYPE=ACCESS 入力の事前選択がアクティブです (TYPE=ACCESS input pre-selection active)

説明: この通知メッセージは、TYPE=ACCESS 入力レコードをアクセス制御シミュレーション・エンジンに渡す前に事前選択するパフォーマンス最適化が、アクティブになっていることを示します。その結果、メッセージ CKR1137 で報告されるアクセス・レコードの数が、全体の数ではなく、事前選択後の数になります。レコードの全体の数は、メッセージ CKR1414 に表示されます。

重大度: 0

CKR2471 TYPE=ACCESS 入力の事前選択は行われません (TYPE=ACCESS input no pre-selection)

説明: この通知メッセージは、TYPE=ACCESS レコードのパフォーマンス最適化を実行できないことを示します。

以下の条件が満たされる場合は、パフォーマンス最適化が行われません。

- TYPE=ACCESS に対するいずれかの SELECT ステートメントまたは EXCLUDE ステートメントに、アクセス・シミュレーションが必要なフィールド (SIM_ で始まるフィールド) が含まれている場合。
- SELECT ステートメントも EXCLUDE ステートメントが存在しない場合。

注: 完全なパフォーマンス最適化を実行できない場合は、CPU 時間を大幅に節約する部分選択が可能な場合があります。その説明については、メッセージ CKR2478 を参照してください。

重大度: 0

CKR2472 トークン *name* の TOKN シーケンス *seqid* をスキップします。レコード *number ddname volser dsname* (Skipping TOKN sequence *seqid* for token *name* record *number ddname volser dsname*)

説明: このメッセージは、システム内の示されたトークン名の ICSF TKDS (トークン・データ・セット) 内に、重複する TOKN タイプのレコードが見つかった場合に発行されます。このメッセージは、重複するレコードのシーケンス番号フィールドを示します。

重大度: 04

CKR2473 *location* に、10 進数としては無効な文字が含まれています (**Invalid character in decimal number at location**)

説明: 示された位置で指定されている値は、有効な 10 進数ではありません。

重大度: 12

CKR2474 警告: システム *sysname* の ASID *asid* は既に検出されています。CKFREEZE のレコード *rectype* (**Warning: ASID *asid* already found for system *sysname*, record *rectype* of CKFREEZE**)

説明: 同一システム (CKFREEZE データ・セット) 上で同一のアドレス・スペース ID (*asid*) が 2 回検出されました。

重大度: 04

CKR2475 警告: システム *sysname* のフィールド *field name* は既に検出されています。CKFREEZE のレコード *rectype* (**Warning: field *field name* already found for system *sysname*, record *rectype* of CKFREEZE**)

説明: 同一システム (CKFREEZE データ・セット) 上で同一のフィールド (*field name*) が 2 回検出されました。

重大度: 04

CKR2476 *ddname* の行 *number* にある *defined variable* が TRUE/BOOLEAN ではありません。*ddname* の行 *number* にある IFDEFINED と互換性がありません (**defined variable at *ddname* line number not TRUE/BOOLEAN - incompatible with IFDEFINED at *ddname* line number**)

説明: IFDEFINED(*field*) 操作内の指定された変数が、BOOLEAN タイプと TRUE タイプのいずれでもありません。IFDEFINED は、TRUE タイプと BOOLEAN タイプの定義済み変数のみ参照できます。

重大度: 12

CKR2477 *location* に 31 桁を超えるパック 10 進数があります (**Packed decimal number with more than 31 digits at location**)

説明: 示されたロケーションで指定された数値が 31 桁を超えています。IBM Security zSecure では、最大 31

桁の数値のパック 10 進数比較がサポートされています。

重大度: 12

CKR2478 TYPE=ACCESS 入力の事前選択の派生 (TYPE=ACCESS derived input pre-selection)

説明: TYPE=ACCESS の選択ステートメントおよび除外ステートメントの分析で、部分選択を早期に実行できることが示されました。早期の部分選択は、アクセス・シミュレーションの前に実行され、特に RACF アクセス・リストの項目が多い場合は、これによって CPU 時間を大幅に節約できることがあります。例えば、USERID および CLASS で選択を行うことで、リソースの使用量を削減できます。すべての SELECT ステートメントと EXCLUDE ステートメントの完全な早期評価を実行できる場合は、代わりにメッセージ CKR2470 が発行されます。

重大度: 00

CKR2479 RACF_ACCESS 用の TYPE=ACCESS 入力の事前選択 (TYPE=ACCESS input pre-selection for RACF_ACCESS)

説明: TYPE=RACF_ACCESS の選択および除外ステートメントの分析で、TYPE=ACCESS 入力レコードの読み取り時に、部分選択を早期に実行できることが示されました。早期の部分選択は、アクセス・シミュレーションの前に実行され、特に RACF アクセス・リストの項目が多い場合は、これによって CPU 時間を大幅に節約できることがあります。例えば、CLASS および COMPLEX で選択を行うことで、リソースの使用量を削減できます。すべての SELECT ステートメントと EXCLUDE ステートメントの完全な早期評価を実行できる場合は、代わりにメッセージ CKR2470 が発行されます。

重大度: 00

CKR2480 *num1* 個の ACCESS レコードが、事前選択によってシミュレーション前に *num2* 個のレコードに削減されました (削減率 *nn%*) (***num1* ACCESS records reduced by pre-select to *num2* records before simulation (reduction *nn%*)**)

説明: このメッセージは、TYPE=ACCESS レコードの読み取りで何らかの形の前選択がアクティブである場合に発行されます。このメッセージは、アクセス・シミュレーションおよび TYPE=ACCESS newlist 処理によって処理される入力レコード数が、事前選択によってどの程度削減されたかを示します。最初の数値は、統合後

に残ったアクセス・レコードの数を示します。2 番目の数値は、事前選択後に残ったレコードの数を示します。統合によって実現された削減については、メッセージ CKR2400 を参照してください。事前選択の形式を調べるには、メッセージ CKR2470、CKR2478、および CKR2479 を参照してください。事前選択が行われない場合は、メッセージ CKR2471 が発行されます。

重大度: 00

CKR2481 規則 *rule* 標準 *standard* の *source* におけるテスト *test* では、*field* 検索のベースに **TYPE=RACF** ではなく **TYPE=ID** を使用してください (**Use TYPE=ID not TYPE=RACF as base for field lookup in TEST test at source in rule rule standard standard**)

説明: このメッセージは、ベースとして RACF newlist を使用するユーザー・プロパティまたはグループ・プロパティの検索が試行されたときに、COMPLIANCE newlist に対して発行されます。そのような検索はサポートされていません。ベースとして ID newlist を使用する同様の検索はサポートされています。

ユーザーの処置: ドメインおよびテストの newlist タイプを RACF から ID に変更してください。ID newlist では、RACF newlist のフィールド KEY の代わりに、フィールド ID を使用してください。ID newlist では、フィールド CLASS を省略することはできません。必須プロパティについては、ID をベースとする検索を使用してください。

重大度: 12

CKR2482 *num* 個の **ACCESS** レコードが *ddname volser dsname* にアンロードされました (**num ACCESS records unload to ddname volser dsname**)

説明: このメッセージは、各 TYPE=ACCESS アンロード・データ・セットに書き込まれたレコードの数を示します。

重大度: 00

CKR2483 ドメイン *domain* のテスト *test source* タイプ *type* の **SUMMARY** に **SYSTEM** フィールドがありません。 (**SYSTEM field not on SUMMARY for test test source type type of domain domain**)

説明: このメッセージは、コンプライアンス・レポートで **SYSTEM** ごとにカウントが行われていないことについて警告しています。セキュリティ標準規則に準拠す

るためのコンプライアンス・レポートによるカウントが、レコード・キーの一部に **SYSTEM** が含まれるオブジェクト (newlist) タイプを対象としている場合、通常は **SYSTEM** ごとにカウントが行われます。

重大度: 04

CKR2484 ドメイン *domain* のテスト *test source* タイプ *type* の **SUMMARY** に **COMPLEX** フィールドがありません。 (**COMPLEX field not on SUMMARY for test test source type type of domain domain**)

説明: このメッセージは、コンプライアンス・レポートで **COMPLEX** ごとにカウントが行われていないことについて警告しています。セキュリティ標準規則に準拠するためのコンプライアンス・レポートによるカウントが、レコード・キーの一部に **COMPLEX** が含まれるオブジェクト (newlist) タイプを対象としている場合、通常は **COMPLEX** ごとにカウントが行われます。

重大度: 04

CKR2485 システム *system* 上でシミュレーション・モデル **CDT** クラス *class* が見つかりません。複合システム *complex version* (**Cannot find simulation model CDT class class on system system complex complex version**)

説明: このメッセージは、IBM 提供クラスに相当するクラスのモデル **CDT** 項目が見つからなかったために、SIMULATE SUBSYS コマンドを完了できないことを示しています。

重大度: 16

CKR2486 予期しない空の **ID** フィールド *fieldname* (**Unexpected empty ID field fieldname**)

説明: このメッセージは、空白の **ID** または 16 進ゼロの **ID** の発生元を調べるために役立つことがあります。このメッセージは、RACF データベースの示されたフィールドおよびプロファイルでの出現を識別します。このメッセージは抑止できます。

重大度: 04

CKR2487 *type "value"* の前にある **SIM SUBSYS DB2** が重複しています。*ddname* 行 *number* (**Duplicate SIM SUBSYS DB2 before type "value" at ddname line number**)

説明: 同じ **DB2** サブシステムに対して複数の

SIMULATE SUBSYS DB2 ステートメントが検出されました。指定できるオプションのセットは 1 つだけです。SYSPRINT ファイルの CKR2487 項目の上で、複数ある DB2 サブシステムの名前を確認できます。

重大度: 12

CKR2488 IBM class を基盤とする newclass のクラス記述子をシミュレートしています。複合システム complexversion (**Simulating class descriptor for newclass based on IBM class complex complex version**)

説明: SIMULATE SUBSYS コマンドを処理するために、示された IBM クラスのクラス記述子テーブルと同様の新しいクラス記述子テーブル項目が存在することが想定されました。

重大度: 00

CKR2489 class1 のシミュレートが class2 に伝搬されます。複合システム complex version (**Simulate for class1 propagates to class2 complex complex version**)

説明: このメッセージは、SIMULATE ステートメントの影響が、同じ POSIT 番号を持つ別のクラスにも拡張されることについて警告しています。

重大度: 00

CKR2490 ジョブ名 jobname の索引 index のポート port について、section 設定に関連付けられた **TelnetParm** セクションが見つかりません。システム sysname、ckfreeze のレコード recnum (**TelnetParm section related to section settings, not found for port port with index index for jobname jobname - system sysname, record recnum of ckfreeze**)

説明: 現在のジョブ名内に、同じポート番号およびポート索引の TelnetParm セクションが存在しないため、ALLOWAPPL、RESTRICTAPPL、ALLOW-RESTRICT APPL、DEFAULTAPPL、APPL LU GROUP、または USSTCP が破棄されました。ALLOW-RESTRICT APPL は、レコードが破損しているか正しくないときにのみ返されます。これはすなわち、RESTRICTAPPL セクションと ALLOWAPPL セクションのどちらであるかをプロシージャが識別できない場合です。

重大度: 08

CKR2491 NMI ヘッダー番号 recnumber が **Telnet** ヘッダー番号 ID rectnident と同じではありません。システム sysname、ckfreeze のレコード recnum (**NMI Header number recnumber not equal to Telnet Header number identifier rectnident for system sysname, record recnum of ckfreeze**)

説明: 現在の Telnet レコードに、Telnet ヘッダー ID とは異なるヘッダー番号が含まれています。レコードが破損しているか、レコードに誤ったデータが含まれている可能性があります。

重大度: 08

CKR2492 DDNAME(MEMBER) を DSN/DSNPREF/CMSFILE/INMEM/CDP と同時に使用することはできません - ddname の行 number (**DDNAME(MEMBER) is mutually exclusive with DSN/DSNPREF/CMSFILE/INMEM/CDP - at ddname line number**)

説明: ALLOC DD=DDNAME(MEMBER) パラメーターは、DSN、DSNPREF、CMS、INMEM、および CDP のどのファイル・パラメーターとも組み合わせることができません。

ユーザーの処置: CARLa スクリプトを確認し、修正してください。

重大度: 12

CKR2493 ddname の行 number の token の前では、**NEVER** による値の範囲が許可されません (**Value range not allowed with NEVER before token at ddname line number**)

説明: 時間値範囲に、その境界の 1 つとして NEVER 特殊値を含めることはできません。

重大度: 12

CKR2494 DOMAIN_OPTION 「option」が無効です。ddname の行 number の token より前の) のためにスキップします (**Invalid DOMAIN_OPTION "option" - skipping for) before token at ddname line number**)

説明: 示された値は、DOMAIN ステートメントの OPTION パラメーターの有効なキーワードではなく、

少なくとも現在の NEWLIST のコンテキスト内にありません。

重大度: 12

CKR2495 **DOMAIN OPTION** でサポートされない **NEWLIST** タイプ *type* です。*ddname* の行 *number* の *token* の前の) のためにスキップします (**Unsupported newlist type type on DOMAIN OPTION - skipping for) before token at ddname line number**)

説明: 示された NEWLIST タイプは、DOMAIN ステートメントの OPTION パラメーターでサポートされていません。

重大度: 12

CKR2496 警告: *complex* のデータベースが、システム *system* [*version*] の設定に一致しました (**Warning: database for complex matched with settings from system system** [*version*])

説明: 同じ名前を持つシステム上で UNLOAD が作成されているにも関わらず、*complex* の UNLOAD が、*system* に使用されるストレージ内設定の参照先である *system* に一致しません。(このメッセージは、FUNCTION=MAIN または FUNCTION=BASE にのみ関係します。)

ユーザーの処置: COMPLEX キーワードと VERSION キーワードを使用して使用中の実際の構成を表すことにより、入力データ・セットを明示的に区分してください。

重大度: 00

CKR2497 **F=BASE** のない **CKFREEZE** を複合システム *complex* [*version*] に使用することはできません (**No CKFREEZE without F=BASE available for complex complex** [*version*])

メッセージ 2500 から 2599

CKR2500 **CKRCUST.CKRCSTG:** 無効なタグ *nnnn* (*dec*) が呼び出されました (**CKRCUST.CKRCSTG: Called for invalid tag nnnn (dec)**)

説明: 内部エラーが発生し、予期せぬタグを処理するため、モジュール CKRCUST のルーチン CKRCSTG が

説明: F=BASE 関数が原因で、*complex* に割り当てることができるとの唯一の CKFREEZE がふさわしくありません。データベース処理には関連付けられたシステムが必要であるため、実行は終了します。

ユーザーの処置: COMPLEX キーワードと VERSION キーワードを使用して使用中の実際の構成を表すことにより、入力データ・セットを明示的に区分してください。

重大度: 12

CKR2498 **F=BASE** 複合システム *complex* [*version*] に使用できる **CKFREEZE** がありません (**No CKFREEZE available for F=BASE complex complex** [*version*])

説明: 実行中の CKFREEZE ファイルのいくつかは、他の複合システムに既に一致しています。データベース処理には関連付けられたシステムが必要であるため、実行は終了します。

ユーザーの処置: COMPLEX キーワードと VERSION キーワードを使用して使用中の実際の構成を表すことにより、入力データ・セットを明示的に区分してください。

重大度: 12

CKR2499 **F=BASE** が指定された **CKFREEZE** は最新野茂ではありません - *ddname* (**CKFREEZE with F=BASE is not most recent - ddname**)

説明: CKFREEZE に FUNCTION=BASE が指定されましたが、そのシステム/複合システム/バージョンの組み合わせが最新のものとないスナップショットでした。これはサポートされません。

ユーザーの処置: COMPLEX キーワードと VERSION キーワードを使用して使用中の実際の構成を表すことにより、入力データ・セットを明示的に区分してください。

重大度: 12

呼び出されました。値 *nnnn* は、処理するよう要求されたタグを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2501 **CKRSTLV TRID ILEN=*len2* フィールド *fieldname* に対する予期されない長さ *len1* (CKRSTLV unexpected len *len1* for TRID ILEN=*len2* field *fieldname*)**

説明: この内部エラーは、ID のルックアップ値の保管中に克服できない問題が発生したことを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2502 **DIFRPT 破損した VAL - V1address hexvalue V2 address hexvalue (DIFRPT corrupted VALs - V1address hexvalue V2 address hexvalue)**

説明: これは内部エラー・メッセージです。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2503 **RSB の再構成が *type idContents* に一致しません (RSB reconstruction mismatch for *type idContents*)**

説明: この内部エラーは、分析対象の ACF2 環境を理解するのに重要な制御ブロック構造をプログラムで再構成できない場合に生成されます。

type **complex** または **system** です。UNLOAD または CKFREEZE の内容に予期せぬレイアウトが検出されたかどうかを示します。

id 再構成できなかった制御ブロックを示します。複合システムまたはシステム名を示すこともあります。

Contents

実際に検出されたデータを示します。

ユーザーの処置: 適切な UNLOAD および CKFREEZE を割り振ったことを確認し、必要に応じて修正してください。それでも引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページ

の『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2504 **CKRLKFE 不明な SLFNTYPE= *type* (CKRLKFE unknown SLFNTYPE= *type*)**

説明: 選択ルックアップ処理中に予期しない関数型が検出されました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2505 **CKRINSU は *field* について基本 SUMA UTF を検出できません (CKRINSU cannot find base SUMA UTF for *field*)**

説明: この内部エラー・メッセージは、要約統計に関する予期しない状態が発生し、対処不能なことを示します。

ユーザーの処置: CARLa 照会を簡素化することを試みてください。問題が引き続き発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2506 内部エラー。自動比較では、*ddname line line* の **newlist type=*type*** に比較フィールドが必要です。 (**Internal error: automatic compare requires compare fields in newlist type=*type* at *ddname line line*.)**

説明: この newlist タイプの内部知識ベースに、矛盾が含まれています。これは、自動比較をサポートしていますが、比較対象となる出意義済みフィールドがありません。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。正しい比較指定を使用して COMPAREOPT ステートメントを作成すれば、この newlist はまだ比較に使用できます。比較演算の作成については、「ユーザー・リファレンス・マニュアル」の比較処理に関するセクションを参照してください。

重大度: 24

CKR2507 内部エラー。デフォルトの比較基本フィールド *field* はサポートされていません。
(Internal error: Default compare base field *field* not supported.) (COMPLEX and SYSTEM のみ ((Only COMPLEX and SYSTEM.)) Newlist type=*type*)

説明: この newlist タイプの内部知識ベースに、矛盾が含まれています。指示されたフィールドは、基本フィールドとして定義されていますが、基本フィールドとして許可されているのは COMPLEX フィールドと SYSTEM フィールドのみです。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。正しい比較指定を使用して COMPAREOPT ステートメントを作成すれば、この newlist はまだ比較に使用できます。比較演算の作成については、「ユーザー・リファレンス・マニュアル」の比較処理に関するセクションを参照してください。

重大度: 24

CKR2508 内部エラー。デフォルトの比較基本フィールド *field* が繰り返されています。
(Internal error: Default compare base field *field* is repeated.) Newlist type=*type*)

説明: この newlist タイプの内部知識ベースに、矛盾が含まれています。指示されたフィールドは、基本フィールドとして定義されていますが、そのフィールドが繰り返されています。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。正しい比較指定を使用して COMPAREOPT ステートメントを作成すれば、この newlist はまだ比較に使用できます。比較演算の作成に

ついては、「ユーザー・リファレンス・マニュアル」の比較処理に関するセクションを参照してください。

重大度: 24

CKR2509 CKRSTLV TLUR ILEN=*len2* フィールド *fieldname* に対する予期されない長さ *len1*
(CKRSTLV unexpected len *len1* for TLUR ILEN=*len2* field *fieldname*)

説明: この内部エラーは、オブジェクトのルックアップ値の保管中に克服できない問題が発生したことを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2511 SUMA *address* の内部エラー
SUMAILEN=0 (Internal error
SUMAILEN=0 for SUMA *address*)

説明: SUMMARY 処理中にエラーが発生しました。ユーザー異常終了 2511 が発行されて要約ダンプが生成され、実行が終了します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。要約ダンプを含む SYSPRINT ファイルを添付してください。

重大度: 24

CKR2513 ルール *rulename* 内の *ddname* 行 *number* にあるテスト *testname* 用のテスト・フィールド長 *num* は予期しないものです
(Unexpected test field length *num* for test *testname* at *ddname* line *number* in rule *rulename*)

説明: テスト対象となっている COUNT フィールドの長さが、1、2、3、または 4 ではありません。プログラムはこれを処理できる設計になっていません。ユーザー異常終了 2513 が発行されました。

ユーザーの処置: COUNT 変数の定義を変更するか、あるいはこのメッセージが誤って発行されたと考えられる場合は、電子サポート Web サイトでこのメッセージ番号または異常終了コードを検索して、解決策を見つけてください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2514 ルール *rulename* 内の *ddname* 行 *number* にあるテスト *testname* 用のテスト関係演算子 *num* は予期しないものです
(Unexpected test reloader *num* for test *testname* at *ddname* line *number* in rule *rulename*)

説明: 内部エラーが発生しました。テスト内の関係演算子フィールドはサポートされていない値です。ユーザー異常終了 2514 が発行されました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトでこのメッセージ番号または異常終了コードを検索して、解決策を見つけてください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2515 ルール *rulename* 内の *ddname* 行 *number* タイプ *type* に要約 COUNT 値
CKRGETV テスト *testname* がありません (No summary COUNT value
CKRGETV test testname at ddname line number type type in rule rulename)

説明: 内部エラーが発生しました。要約 COUNT 統計に対して値が存在している必要がありますが、見つかりませんでした。ユーザー異常終了 2515 が発行されました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトでこのメッセージ番号または異常終了コードを検索して、解決策を見つけてください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2516 **CKRPUTV** フィールド **SYSTEM** 値 *value* が、タイプ *type* の *system* の **CKRELEM_SYSTINDEX** と一致しません (CKRPUTV field **SYSTEM** value *value* does not match
CKRELEM_SYSTINDEX for *system* in *type type*)

説明: 内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトでこのメッセージ番号を検索して、解決策を見つけてください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2517 **CKFREEZE** またはコードの順序に関する問題 *cbid len #sys=n #cmplx=n #vers=n* - 異常終了 2517 を発行しています
(CKFREEZE or code order problem
cbid len #sys=n #cmplx=n #vers=n - issuingabend 2517)

説明: この内部エラー・メッセージは、CKFREEZE ファイル内のレコードがサポートされていない順序で処理されたことを示します。

ユーザーの処置: CKFREEZE ファイルを確認してください (ファイル転送エラーなど)。エレクトロニック・サポート Web サイトでエラー・メッセージ番号を検索してください。

重大度: 24

CKR2521 *Profile* は変換してはならないものでした (Profile should not have been translated)

説明: この内部エラー・メッセージは、MERGE 内部レコード構造内の不整合を示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2522 *Profile* はソース専用にするべきではありませんでした (Profile should not have been src-only)

説明: この内部エラー・メッセージは、MERGE 内部レコード構造内の不整合を示しています。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2523 CKRSELIN.CKRGETP: message

説明: この内部エラーは、SELECT 節または DEFINE WHERE 節のために作成された制御ブロック構造が無効であるとみなされたため、生成されました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2524 CKRLPUT で、field SUMA SUMAaddr に対して予期せず SUMAILEN=len1 < OUTFILEN=len2 になっていました (CKRLPUT unexpected SUMAILEN=len1 < OUTFILEN=len2 for field SUMA SUMAaddr)

説明: この内部エラーは、要約統計に関する予期しない状態が発生し、対処不能な場合に生成されます。このメッセージの後、ユーザー異常終了 2524 が続きます。

ユーザーの処置: このメッセージについて詳しくは、電子サポート Web サイトを検索してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2525 CKRSYDB に VERS 制御ブロックがありません。VERSION "ver"、システム system (CKRSYDB missing VERS control block for VERSION "ver", system system)

説明: このメッセージは、示されたシステムの ALLOC TYPE=CKFREEZE VERSION=name 指定に関する予期しない状態を示します。この後にユーザー異常終了 2525 が続きます。このメッセージは抑止できません。

ユーザーの処置: 別のことを意図していた場合は、適切な FUNCTION=、COMPLEX=、および VERSION= の各パラメーターを指定した ALLOC ステートメントを追加してください。

重大度: 24

CKR2526 CKRCIB がゼロの CIB で呼び出されました (CKRCIB called with zero CIB)

説明: この内部エラー・メッセージは、予期しないパラメーターを受信したことを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2527 エンティティー entities のセグメントの数が、number を超えています (Number of entity entities segments exceeds number)

説明: entities 内のセグメントの総数が、現在サポートされている最大値である number を超えています。

重大度: 20

CKR2587 SIM CLASS=class RESOURCE=resname 複合システム complex システム system で機密性「senstype」の ACCESS=access が重複しています (Duplicate ACCESS=access for sensitivity "senstype" on SIM CLASS=class RESOURCE=resname complex complex system system)

説明: このメッセージは、SIMULATE CLASS ステートメントが組み込みの機密性と競合している場合に発行されます。これは内部エラーです。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。

該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2588 CKROULST.CKRPTG#: NEWLIST name type type source にフィールドがない状態で繰り返しグループ name がフラット化されました。

説明: FLATTEN 処理の初期化に失敗しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2589 **CKRACT.CKRACTT:** *type* の宣言されていない結果 (**CKRACT.CKRACTT:**
Undeclared result for type)

説明: *newlist* タイプ (10 進数表示) が FORALL 基本コマンドによってサポートされているかどうかは不明です。FORALL は続行されますが、実際の置換は行われない可能性があります。このメッセージは抑制することができます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2591 **FORALL:** 予期された *X* または *XX* - *flags index linecommand* (**FORALL:**
Expected X or XX - flags index
linecommand)

説明: 表示での否定の選択 (なしまたは *X* / *XX..XX*) が FORALL 基本コマンドと結合されました。この要求を処理するときに内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。エラー発生時に表示で使用した行コマンドの詳細を報告してください。複数の異なる行コマンドを同時に使用した場合は、FORALL および選択行コマンドをこれらの他の行コマンドと組み合わせないようにすることで、このメッセージを回避できる可能性があります。

重大度: 24

CKR2592 **FORALL:** *XX* の終了なしでの *XX* の開始 (**FORALL:** *XX start without XX*
end)

説明: 表示での否定の選択 (なしまたは *X* / *XX..XX*) が FORALL 基本コマンドと結合されました。この要求を処理するときに内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。エラー発生時に表示で使用した行コマンドの詳細を報告してください。複数の異なる行コマンドを同時に使用した場合は、FORALL および選択行コマンドをこれらの他の行コマ

ンドと組み合わせないようにすることで、このメッセージを回避できる可能性があります。

重大度: 24

CKR2593 **FORALL:** 「*substring*」の後の不明な置換変数 *number* (**16** 進数) (**FORALL:**
Unknown substitution variable number
(hex) after "substring")

説明: 基本 FORALL コマンドを処理するときに内部エラーが発生しました。これは構文解析エラー (ISPF メッセージ CKRM991 が発行されます) ではありません。このメッセージの後に、このとき記録された構文解析結果とユーザー異常終了 2593 を示す一連のデバッグ・メッセージ (CKR2670) が続きます。

ユーザーの処置: このメッセージは抑止できます (空の代替メッセージが発生します)。IBM ソフトウェア・サポートに連絡する前に、SETUP PREAMBLE によってアクティブにされる DEBUG ACTION を使用して問題の再現を試みてください。これにより、CKR2670 メッセージの初期のシーケンスも示されます。

重大度: 24

CKR2594 **CKRXINIT.CKRDIXY:** サポートされていないマスク指定長さ *length - address:*
keyrequest (**CKRXINIT.CKRDIXY: Mask**
specification len length not supported -
address: keyrequest)

説明: データベース・サーバーとして実行されている CKRCARLA インスタンスが、255 文字より長いマスク指定を含むキー要求を受け取りました。キー要求項目は破棄されます。これにより、一部のデータがクライアントに戻されなくなる可能性があります。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置: この問題は、SUPPRESS INDEX を CARLa 照会に追加することによって回避できます。それでも引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。その場合、(サーバー側の DEBUG DBPUT(FULL) を介して示される) 送信されたキー要求と、(クライアント側の DEBUG INDEX を介して示される) 送信する必要があったキー要求についての情報が役立ちます。

重大度: 24

CKR2595 **CKRXINIT.CKRDIXY: MASK=** ですが
Key-key がありません - *address:*
keyrequest (**CKRXINIT.CKRDIXY:**
MASK= but no Key-key - *address:*
keyrequest)

説明: データベース・サーバーとして実行されている CKRCARLA インスタンスが、含まれていなかったマスク指定を宣言するキー要求を受け取りました。キー要求項目は破棄されます。これにより、一部のデータがクライアントに戻されなくなる可能性があります。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置: この問題は、SUPPRESS INDEX を CARLa 照会に追加することによって回避できます。それでも引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。その場合、(サーバー側の DEBUG DBPUT(FULL) を介して示される) 送信されたキー要求と、(クライアント側の DEBUG INDEX を介して示される) 送信する必要があったキー要求についての情報が役立ちます。

重大度: 24

CKR2596 **CKRXINIT.CKRDIXY: 項目の長さ *length***
がバッファ長 *length* - *address:*
***keyrequest* を超過しています**
(CKRXINIT.CKRDIXY: Entry *length*
***length* exceeds buffer *length* *length* -**
***address: keyrequest*)**

説明: データベース・サーバーとして実行されている CKRCARLA インスタンスが、要求の境界を超過する項目の長さを指定したキー要求を受け取りました。このキー要求および同じバッファ内でそれに続くすべてのキー要求は破棄されます。これにより、一部のデータがクライアントに戻されなくなる可能性があります。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置: この問題は、SUPPRESS INDEX を CARLa 照会に追加することによって回避できます。それでも引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。その場合、(サーバー側の DEBUG DBPUT(FULL) を介して示される) 送信されたキー要求と、(クライアント側の DEBUG INDEX を介して示さ

れる) 送信する必要があったキー要求についての情報が役立ちます。

重大度: 24

CKR2597 **CKRXINIT.CKRDIXY: 残りのバッファ**
長 *length* がキー入力に対して小さすぎま
す - *address: keyrequest*
(CKRXINIT.CKRDIXY: Remaining
buffer *length* *length* is too small for a
Key-entry - *address: keyrequest*)

説明: データベース・サーバーとして実行されている CKRCARLA インスタンスが、キー要求に対して小さすぎるキー要求バッファを受け取りました。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 2597 が続きます。

ユーザーの処置: この問題は、SUPPRESS INDEX を CARLa 照会に追加することによって回避できます。それでも引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。その場合、(サーバー側の DEBUG DBPUT(FULL) を介して示される) 送信されたキー要求と、(クライアント側の DEBUG INDEX を介して示される) 送信する必要があったキー要求についての情報が役立ちます。

重大度: 24

CKR2598 **CKRXINIT.CKRDIXY: Key-prefix-len**
length* が項目長さ *length* - *address:
***keyprefix* を超過しています**
(CKRXINIT.CKRDIXY: Key-prefix-len
***length* exceeds entry *length* *length* -**
***address: keyprefix*)**

説明: データベース・サーバーとして実行されている CKRCARLA インスタンスが、宣言されたキー接頭部を入れるには小さすぎるキー要求を受け取りました。キー要求項目は破棄されます。これにより、一部のデータがクライアントに戻されなくなる可能性があります。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置: この問題は、SUPPRESS INDEX を CARLa 照会に追加することによって回避できます。それでも引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。その場合、(サーバー側の DEBUG DBPUT(FULL) を介して示される) 送信されたキー要求

と、(クライアント側の DEBUG INDEX を介して示される) 送信する必要があったキー要求についての情報が役立ちます。

重大度: 24

CKR2599 **CKRXINIT.CKRDIXY:** 残りの項目長さ *length* が **Key-key** に対して小さすぎます
- *address: keyrequest*
(CKRXINIT.CKRDIXY: Remaining entry length *length* is too small for a Key-key - address: keyrequest)

説明: データベース・サーバーとして実行されている CKRCARLA インスタンスが、部分的な KEY/MASK 指定のキー要求を受け取りました。キー要求項目は破棄されます。これにより、一部のデータがクライアントに

戻されなくなる可能性があります。このメッセージは抑止可能です。

ユーザーの処置: この問題は、SUPPRESS INDEX を CARLa 照会に追加することによって回避できます。それでも引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。その場合、(サーバー側の DEBUG DBPUT(FULL) を介して示される) 送信されたキー要求と、(クライアント側の DEBUG INDEX を介して示される) 送信する必要があったキー要求についての情報が役立ちます。

重大度: 24

メッセージ 2600 から 2699

CKR2600...CKR2659 *message*

説明: これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答として生成されます。CKR26xx メッセージについての情報が必要で、メッセージ番号がこのセクションに明確に記載されていない場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKR2660 *dsnmemfm* に対して **DD=ddname** を再使用しています **(Reusing DD=ddname for dsnmemfm)**

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、CKRCARLA エンジンが、示されたデータ・セットにアクセスするために、追加の DD 名を割り振らずに、示された DD 名を使用していることを示します。

重大度: 00

CKR2661 *dsnmemfm* に対する **Wrngpfx DD=ddname (Wrngpfx DD=ddname for dsnmemfm)**

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、CKRCARLA エンジンは原則として、示された DD 名を使用して示されたデータ・セットにアクセスできますが、DD 名の接頭部が再使用可能な DD 名として

CKRCARLA エンジンによって割り当てられていないため、この方法は使用しないことを示します。

重大度: 00

CKR2662 事前割り振りされた *dsnmemfm ddname*
(Pre-allocated dsnmemfm ddname)

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、どのデータ・セット名がどの DD 名に事前割り振りされていることが判明したかを示します。

重大度: 00

CKR2663 **CKREFREE** を *ddnamelist* に設定します
(Set CKREFREE to ddnamelist)

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、UI を終了したとき、または異なるセットの入力データ・セットを選択したときに解放される UI に渡される DD 名のリストを示します。

重大度: 00

CKR2664 データ・セットが見つかりません。
dsname タイプ *hh* の **LOCATE RC=nn**
(Data set not found, LOCATE RC=nn for dsname type hh)

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、LOCATE サービスが、通常のカタログでデータ・セット名を解決することも検出することもできないことを示します。ここでは、これ以上のアクションは実行されま

せんが、おそらく後で DAIRFAIL メッセージが出されるか、または復元が行われます。いくつかの DASD 管理パッケージでは、LOCATE 用の復元を実行しない実際の SVC 99 中にデータ・セットを復元します。

重大度: 00

CKR2665 *dsnmemfm* に対して **DD=ddname** を再使用しています (**Reusing DD=ddname for dsnmemfm**)

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、CKRCARLA エンジンが、示された解決済みデータ・セット名にアクセスするために、追加の DD 名を割り振らずに、示された DD 名を使用していることを示します。

重大度: 00

CKR2666 *dsnmemfm* に対する **Wrngpfx DD=ddname (Wrngpfx DD=ddname for dsnmemfm)**

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、CKRCARLA エンジンは原則として、示された DD 名を使用して示された解決済みデータ・セット名にアクセスできますが、DD 名の接頭部が再使用可能な DD 名として CKRCARLA エンジンによって割り当てられていないため、この方法は使用しないことを示します。

重大度: 00

CKR2667 *dsname* の **CKRDSN** カウントを削減します (**Reduce CKRDSN count for dsname**)

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、データ・セットに対してデキューが要求されましたが、これはまだキュー名 CKRDSN の最後のデータ・セットではないことを示します。

重大度: 00

CKR2668 **CKRGFTR RC=rc DFTR: address** がパラメーター *parameters* を呼び出します (**CKRGFTR RC=rc DFTR: address call parms: parameters**)

説明: このメッセージは、デジタル証明書フィルターについての書きまたは行コマンドをサポートするために情報が検索されたときに、DEBUG ACTION に応答して発行されます。ゼロ以外の戻りコードは何らかのエラ

ーを示します。この情報により、ISPF 画面上の特定のエラー・メッセージの理由を説明できることがあります。戻りコードには、エンド・ユーザー・メッセージの詳細レベルより高いレベルの詳細が関連付けられます。DFTR アドレスがゼロの場合、情報は見つかりません。

重大度: 00

CKR2669...CKR2670 *message*

説明: これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答として生成されます。CKR26xx メッセージについての情報が必要で、メッセージ番号がこのセクションに明確に記載されていない場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKR2671 複合システム *complex* について **CKRCKX** を呼び出しました。**RC=rc (Called CKRCKX for complex complex RC=rc)**

説明: このメッセージは、FORALL 処理によって複合システム用の (一時的な) コマンド・ファイルが実行されたときに、DEBUG ACTION に応答して発行されます。これは原因となったサブルーチンから戻りコードを表示します。

重大度: 00

CKR2672 **VGET CKRDSETR RC=rc routing (VGET CKRDSETR RC=rc routing)**

説明: このメッセージは、FORALL 処理によってコマンド *routing* 設定が取得されたときに、DEBUG ACTION に応答して発行されます。

重大度: 00

CKR2673 **CKRCROD RC=rc zsecnode zsecnode RRSF ノード RRSFnode NJE ノード NJE node が複合システム complex について取得されました (CKRCROD RC=rc zsecnode zsecnode RRSF node RRSFnode NJE node NJE node obtained for complex complex)**

説明: このメッセージは、FORALL 処理によって複合システム用の効果的なコマンド・ルーティング・パラメ

ーターが取得されたときに、DEBUG ACTION に応答して発行されます。

重大度: 00

CKR2674...CKR2686 *message*

説明: これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答として生成されます。CKR26xx メッセージについての情報が必要で、メッセージ番号がこのセクションに明確に記載されていない場合、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKR2687 *dsname* に対して **CKRDSN** デキューを要求します (**Request CKRDSN dequeue for dsname**)

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG ENQ への応答として作成されます。このメッセージは、データ・セットに対してデキューが要求されたことを示します。これは、キュー名 CKRDSN の最後のデータ・セットであったため、デキュー要求が ISGENQ に渡されます。

重大度: 00

CKR2688 *dsname* に対して **SYSDSN** デキューを要求します (**Request SYSDSN dequeue for dsname**)

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG ENQ への応答として作成されます。このメッセージは、データ・セットに対してデキューが要求されたことを示します。これは、キュー名 SYSDSN の最後のデータ・セットであったため、デキュー要求が ISGENQ に渡されます。

重大度: 00

CKR2689 **CKRALDSN: dsname の DDFR ddname**を追加します (**CKRALDSN add DDFR ddname for dsname**)

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、示された DD 名を後で明示的に割り振り解除するための要求がキューに入れられたことを示します。

重大度: 00

CKR2690 **CKRCFREE: ddname の DDFR** がありません (**CKRCFREE no DDFR for ddname**)

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、示された DD 名を明示的 (早期) に割り振り解除する要求が存在しないことを示します。

重大度: 00

CKR2691 **CKRCFREE: DDFR** により *ddname* は既に解放されています (**CKRCFREE DDFR already freed ddname**)

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、示された DD 名を明示的に割り振り解除する要求が既に存在することを示します。

重大度: 00

CKR2692 **CKRDEQ: dsname の DSDQ** がありません (**CKRDEQ no DSDQ for dsname**)

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG ENQ への応答として作成されます。このメッセージは、エンキューが存在しないデータ・セットのデキューが要求されたことを示します。これは無視されます。

重大度: 00

CKR2693 **CKRENQ DSDQ dsname SYSDSN ENQ#=n** (**CKRENQ DSDQ dsname SYSDSN ENQ#=n**)

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG ENQ への応答として作成されます。このメッセージは、示されたデータ・セット名の SYSDSN 上にある新規エンキュー・カウントを示します。

重大度: 00

CKR2694 **CKASMCL: ddname の使用回数が *n* に削減されました** (**CKASMCL reduced use count ddname to n**)

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、DD 名を明示的に割り振り解除する要求が出されましたが、当該 DD 名が CKRCARLA の別の関数でまだ使用されていることを示します。

重大度: 00

CKR2695 **CKROUTYP:** *ddname* の使用回数が *n* に削減されました (**CKROUTYP reduced use count *ddname* to *n***)

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、DD 名を明示的に割り振り解除する要求が出されましたが、当該 DD 名が CKRCARLA の別の関数でまだ使用されていることを示します。

重大度: 00

CKR2696 **CKRCFREE:** *ddname* の使用回数が *n* に削減されました (**CKRCFREE reduced use count *ddname* to *n***)

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、DD

名を明示的に割り振り解除する要求が出されましたが、当該 DD 名が CKRCARLA の別の関数でまだ使用されていることを示します。

重大度: 00

CKR2697 **CKRFREE:** 既に解放されている *ddname* を解放するための要求が出されました (**CKRFREE request to free already freed *ddname***)

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG SVC99 への応答として作成されます。このメッセージは、DD 名を明示的に割り振り解除する要求が出されましたが、以前の要求によりこの DD 名は既に割り振り解除されています。

重大度: 00

メッセージ 2700 から 2799

CKR2700...CKR2799 *message*

説明: これらのメッセージは、DEBUG コマンドまたはオプションの指定に対する応答として発行されます。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

注: この範囲のメッセージの一部について、このセクションでより詳細に記載します。

CKR2721 *dsname* の SYSDSN カウントを削減します (**Reduce SYSDSN count for *dsname***)

メッセージ 2800 から 2899

CKR2800...CKR2837 *message*

説明: これらのメッセージは、DEBUG コマンドまたはオプションの指定に対する応答として発行されます。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

説明: このデバッグ・メッセージは、DEBUG ENQ への応答として作成されます。このメッセージは、データ・セットのデキューが要求されましたが、これはまだキュー名 SYSDSN の最後のデータ・セットではないことを示します。

重大度: 00

CKR2759 **DEBUG ABENDLATE** で異常終了が要求されました (**Abend requested with DEBUG ABENDLATE**)

説明: このコマンドは、DEBUG ABENDLATE コマンドへの応答として発行されます。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 2759 が続きます。

重大度: 00

CKR2838 *dsname* のボリューム・チェーンが破損しているように見えます。ボリューム *volser* を処理します (**Volume chain for *dsname* appears corrupt; processing volume *volser***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2839 データ・セット *dsname* を共有するため
に要求されたボリューム *volser* は使用不可です (**Volume *volser* not available for sharing requested for data set *dsname***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2840 サポートされていない UCM バージョン *nn* - **TYPE=CONSOLE** レコードが省略されました (**UCM version *nn* not supported - TYPE=CONSOLE records omitted**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 04

CKR2841 *message*

説明: このメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。このメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKR2842 *dsname volser* の **TNVR** が見つかりませんでした (**No TNVR found for *dsname volser***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2843 世代別データ・セットの名前セルが無効です - *entity* での世代 *nn*バージョン *vv* (**Generation data set name cell invalid - generation *nn* version *vv* for *entity***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2843 *entity* で世代別データ・セットの名前セルが欠落しています (**Generation data set name cell missing for *entity***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2844 *description* でサポートされないタグ値 *xxxxxxx* (**Unsupported tag value *xxxxxxx* for *description***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2845 ボリューム *volume* のデータ・セット *dsname* で認識されないプロファイル・タイプ *profile* (**Unrecognized profile type *profile* for data set *dsname* on volume *volume***)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2846...CKR2873 *message*

説明: これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKR2874 CKROURPT: メンバー STCPROC の TRID がありません (CKROURPT no TRID for member STCPROC)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2875 CKROURPT TSTCUSER=user ID=id (CKROURPT TSTCUSER=user ID=id)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2876 CKRMRGP がサポートされていないフィールド field をグループ化しました (CKRMRGP grouped field field not supported.)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2876 CKRTRNS 内部エラー (CKRTRNS Internal error)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2877 CKAOUJES での内部エラー状態 (Internal error condition in CKAOUJES)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2878 CKRDELDA: ボリューム volser は不明です (CKRDELDA: volume volser unknown)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2879 CKRDNVC が不明なメソッド method で呼び出されました - カタログ catalog から削除されていません dsname (CKRDNVC invoked with unknown method method - dsname not deleted from catalog catalog)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2880...CKR2887 *message*

説明: これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKR2889 CKACPXT 無効なコード *nm* (CKACPXT invalid code *nm*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2890 *field* の CKRMODC セグメントは未解決です (CKRMODC segment undetermined for *field*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2891 *field* の CKRACTM セグメントが見つかりませんでした (CKRACTM segment not found for *field*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2892 プログラム・メンバー・インスタンスが *program* 内にありません: *dsname volume* (システム *sys* 複合システム *complex version*) (Missing program member instance in *program* : *dsname volume* in system *sys* complex *complex version*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2893 CKRINPD 内部エラー (CKRINPD internal error)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページ

の『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2894 CKRXPLB でサポートされていないフォーマット - *xxxx* (Format not supported in CKRXPLB - *xxxx*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2895 CKRFLDP 非サポートの疑似フィールド・タグ *nnn* (10 進数) (CKRFLDP Unsupported pseudofield tag *nnn* (decimal))

説明: このメッセージは、オープンな SELECT または LIST ファミリー・ステートメントの DEFINE SUBSELECT 内でのみ有効なフィールドを使用することによって生成される可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2896 CVTMODF *long* 値を処理できません - *ddname* の行 *number* で *fieldaddr* *fieldname* の長さが定義されました *length* (CVTMODF Cannot handle long values - length *length* for *fieldaddr* *fieldname* defined at *ddname* line *number*)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2896 **CVTMODF** 内部エラー - *ddname* の行 *number* で *fieldaddr fieldname* の *field* の長さ 0 が定義されました (**CVTMODF Internal error - length zero for field for fieldaddr fieldname defined at ddname line number**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2897 **DTFMTL2** の呼び出しは無効です (**DTFMTL2 called invalidly**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッ

メッセージ 2900 から 2999

CKR2900...CKR2999 *message*

説明: これらのメッセージは、DEBUG コマンドまたはオプションの指定に対する応答として発行されます。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連

メッセージ 3000 から 3099

CKR3008 **START** コマンドを *console user userid* から受け取りました:
command (START command received from console user userid: command)

説明: このメッセージは、OPTION LISTEN_OPERATOR がアクティブである間にオペレーターから START コマンドを受信したことを印刷出力に記録します。場合によっては、ジョブ名またはオペレーターのユーザー ID がリストされます。

重大度: 00

CKR3009 **STCOM** コマンドを *console user userid* から受け取りました:
command (STCOM command received from console user userid: command)

説明: このメッセージは、OPTION LISTEN_OPERATOR がアクティブである間にオペレーターから STCOM コマンドを受信したことを印刷出力に記録します。場合によっ

セージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

CKR2898,CKR2899 *message*

説明: これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

ては、ジョブ名またはオペレーターのユーザー ID がリストされます。

重大度: 00

CKR3010 **MODIFY** コマンドを *console user userid* から受け取りました:
command (MODIFY command received from console user userid: command)

説明: このメッセージは、OPTION LISTEN_OPERATOR がアクティブである間にオペレーターから MODIFY コマンドを受信したことを印刷出力に記録します。場合によっては、ジョブ名またはオペレーターのユーザー ID がリストされます。

重大度: 00

CKR3011 *console* ユーザー *userid* から **STOP** コマンドを受信しました (**STOP command received from console user userid**)

説明: このメッセージは、OPTION LISTEN_OPERATOR がアクティブである間にオペレーターから STOP コマンド

CKR3012 • CKR3018

または P コマンドを受信したことを示します。場合によっては、ジョブ名またはオペレーターのユーザー ID がリストされます。SMF 処理を終了します。

重大度: 00

CKR3012 console ユーザー *userid* から **MODIFY STOP** コマンドを受信しました (**MODIFY STOP command received from console user *userid***)

説明: このメッセージは、OPTION LISTEN_OPERATOR がアクティブである間にオペレーターから MODIFY jobname,STOP コマンドを受信したことを示します。場合によっては、ジョブ名またはオペレーターのユーザー ID がリストされます。SMF 処理を終了します。

重大度: 00

CKR3013 console ユーザー *userid* から **MODIFY job,ATTN/CANCEL** コマンドを受信しました (**MODIFY job,ATTN/CANCEL command received from console user *userid***)

説明: このメッセージは、OPTION LISTEN_OPERATOR がアクティブである間にオペレーターから MODIFY jobname,ATTN コマンドまたは MODIFY jobname,CANCEL コマンドを受信したことを示します。場合によっては、ジョブ名またはオペレーターのユーザー ID がリストされます。プログラムに制御が戻ると、TSO ATTN の場合と同様にプログラムを終了します。

重大度: 00

CKR3014 SMF IMEM バッファー・オーバーフロー: *number* (**SMF IMEM buffer overflows: *number***)

説明: このメッセージは、OPTION LISTEN_OPERATOR がアクティブであり、プログラムが INMEM ソースからの SMFレコードを処理している間にオペレーターから MODIFY jobname,DISPLAY コマンドを受信したことを示します。すべてのレコードを処理するまでに SMF INMEM バッファーが先頭から上書きされた回数を示します。

重大度: 00

CKR3015 console ユーザー *userid* から不明な **MODIFY** コマンドを受信しました: *command* (**Unknown MODIFY command received from console user *userid*: *command***)

説明: このメッセージは、印刷出力とシステム・ログの

両方に出力され、OPTION LISTEN_OPERATOR がアクティブである間に認識できない MODIFY コマンドを検出したことを示します。場合によっては、ジョブ名またはオペレーターのユーザー ID がリストされます。

ユーザーの処置: コマンドの誤りを訂正し、再試行してください。

重大度: 00

CKR3016 CDP を使用するには APF 権限が必要です。位置: *source* (**APF authorization required for using CDP - at *source***)

説明: このメッセージは、ALLOC の Common Data Provider (CDP) 機能を使用できるのは APF 権限でエンジンが開始された場合のみ (CKRCARLX による場合など) であることを示します。

ユーザーの処置: STEPLIB ライブラリーの APF 権限を確認してください。権限が指定されていない場合は APF リストに追加してください。まだ実行していない場合は EXEC PGM=CKRCARLX を使用してください。

重大度: 12

CKR3017 Syslog レコードを作成しました: *number* (**Syslog records created: *number***)

説明: このメッセージは、MODIFY job,DISPLAY コマンドに対する応答として発行され、選択された NEWLIST SYSLOG 出力レコードの数を示します。出力コマンドが LIST である newlist の場合は、書き込まれています。出力コマンドが SORTLIST または DISPLAY である newlist の場合は、引き続き入力の完了を待機するため (その後にソートが完了できます)、まだ書き込まれていません。数が 0 の場合、メッセージは書き込まれません。

重大度: 00

CKR3018 INMEM を指定できるのは TYPE=SMF の場合のみです。位置: *source* (**INMEM only allowed for TYPE=SMF - at *source***)

説明: INMEM は NEWLIST TYPE=SMF の場合のために用意されています。他のタイプの場合は指定できません。

ユーザーの処置: INMEM を削除するか、NEWLIST TYPE を SMF に変更してください。

重大度: 12

CKR3019 CDP を指定できるのは **TYPE=SMF** の場合のみです。場所: *source* (**CDP only allowed for TYPE=SMF - at source**)

説明: CDP を使用できるのは NEWLIST TYPE=SMF の場合のみであり、他のタイプの場合は指定できません。

ユーザーの処置: CDP を削除するか、NEWLIST TYPE を SMF に変更してください。

重大度: 12

CKR3020 *jobname* ユーザー [*userid*] から **MODIFY job,RESTART** を受信しましたが、この操作は 31 ビット・モードのプログラムではサポートされません (**MODIFY job,RESTART received but not supported in 31 bit mode program, from jobname user [userid]**)

説明: このメッセージは、31 ビット版のプログラムでは RESTART オペレーター・コマンドが機能しないことの説明です。このメッセージは実行している CARLa の結果に影響しないため、重大度は 0 です。

ユーザーの処置: 64 ビット版のプログラムをサポートする最小ハードウェア・レベルを使用してください。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の ALLOCATE に関するセクションに記載されている ALLOC PROGRAM パラメーターも参照してください。

重大度: 00

CKR3021 状況 ****** BUSY ****** *status* (**Status **** BUSY **** status**)

説明: このメッセージは、MODIFY *jobname*,DISPLAY コマンドに対する応答として発行され、最後の状況チェックポイントが発生した個所を示します。ISPF、またはバッチの SYSPRINT の DEBUG PERFORM に示された最新の BUSY 進行状況メッセージを示します。

重大度: 00

CKR3022 予期しない QEDIT RC=*value* (**Unexpected QEDIT RC=***value*)

説明: このメッセージは、多数のオペレーター・コマンド・インターフェース・ブロックのスペースを予約するための QEDIT サービスが、示された 10 進数の戻りコードで失敗したことを示しています。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を

探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 8

CKR3023 *jobname* ユーザー [*userid*] から **MODIFY job,RESTART** を受信しました (**MODIFY job,RESTART received from jobname user [userid]**)

説明: このメッセージは、MODIFY *jobname*,RESTART コマンドに対する応答としてコンソールに発行されます。

重大度: 00

CKR3024 タスク・トークン **CKR.PSTATUS** で予期しない IEANTRT 戻りコード *value* が返されました (**Unexpected IEANTRT return code value on task token CKR.PSTATUS**)

説明: CKR.PSTATUS という名前のタスク・レベル・トークンを取得するときに予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 戻りコードを「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書」で調べてください。それでも解決しない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR3025 *timestamp* の **RESTART number** の後に、タスク・トークン **CKR.PSTATUS** からの *memorysize* の永続状態が復元されました (**Restored memorysize persistent state from task token CKR.PSTATUS after RESTART number at timestamp**)

説明: このメッセージは、RESTART のために保存された永続状態が復元されたことを示します。

number

永続状態のタスク名トークンが作成された後の再始動回数を示します。

timestamp

いつプログラムが再始動されたかを示します。

重大度: 00

CKR3026 タスク・トークン **CKR.PSTATUS** を作成するときに予期しない **IEANTCR** 戻りコード *value* が返されました
(Unexpected IEANTCR return code *value* creating task token CKR.PSTATUS)

説明: CKR.PSTATUS という名前のタスク・レベル・トークンを作成するときに予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 戻りコードを「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書」で調べてください。それでも解決しない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR3027 *where* に **RESTART_INTERVAL** が指定されていますが、31 ビット・モードではサポートされません
(RESTART_INTERVAL not supported in 31 bit mode, at *where*)

説明: このメッセージは、31 ビット・モードで RESTART 機能を使用しようとするときと発行されます。この動作は適切なハードウェア・レベルでのみサポートされます。「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」の ALLOCATE に関するセクションに記載されている ALLOC PROGRAM パラメーターも参照してください。

重大度: 12

CKR3028 永続状態の名前トークンは **CBID** バージョン *number1* ですが、**PSTA** バージョン *number2* が必要です (Persistent state name token is CBID version *number1* but expecting PSTA version *number2*)

説明: このメッセージは、タスクの名前トークンで予期しないレイアウトを検出した場合に発行されます。**CBID** は Control Block ID (制御ブロック ID) の頭文字です。

ユーザーの処置: タスクを終了し、新規タスク (TCB) の下でプログラムを開始してください。

重大度: 16

CKR3029 制限モードでは **RESTART** を使用できません (**RESTART not allowed in restricted mode**)

説明: このメッセージは、制限モードのときに永続状態からプログラムを再始動しようとしたことを示します。これは許可されません。

ユーザーの処置: 無制限で実行するか、再始動の指定を削除してください。

重大度: 16

CKR3030 タスク・トークン **CKR.PSTATUS** を削除するときに予期しない **IEANTDL** 戻りコード *value* が返されました
(Unexpected IEANTDL return code *value* deleting task token CKR.PSTATUS)

説明: CKR.PSTATUS という名前のタスク・レベル・トークンを削除するときに予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 戻りコードを「z/OS MVS プログラミング: アセンブラー・サービス解説書」で調べてください。それでも解決しない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKR3031 *jobname* ユーザー [*userid*] から **MODIFY job,RESTART** を受信しましたが、この操作は制限モードではサポートされません (**MODIFY job,RESTART received but not supported in restricted mode , from *jobname* user [*userid*]**)

説明: このメッセージは、制限モードでは RESTART オペレーター・コマンドを使用できないことの説明です。このメッセージは実行している CARLa の結果に影響しないため、重大度は 0 です。

重大度: 00

CKR3032 再始動 *number* のインターバル (*number* 分) が *timestamp* に開始します (**Restart *number* interval of *number* minutes starts at *timestamp***)

説明: このメッセージは、入力 CKFREEZE ファイルおよびセキュリティー・データベースが読み取られ、

SMF 処理を開始しようとするときに発行されます。インターバルのカウントを開始する時点を示します。

重大度: 00

CKR3033 **RESTART** *number* インターバルの終了を *timestamp* に検出しました (**RESTART** *number interval end detected at timestamp*)

説明: このメッセージは、再始動インターバルの終わりに達したときに発行されます。プログラムがブロッキング呼び出しで待機していたがインターバルが期限切れになった場合は、想定より遅れて発行される場合があります。

重大度: 00

CKR3034 ユーザー異常終了 3034 が **DEBUG** **ENDPROGABEND** によって要求されました (**User abend 3034 requested by DEBUG ENDPROGABEND**)

説明: このメッセージは、**DEBUG ENDPROGABEND** によって要求されたユーザー異常終了 3034 の直前に印刷出力の最終行として発行されます。

重大度: 00

CKR3035 **TCP** ソケット **sockdesc** のクローズに失敗しました: *n* **UNIXerror** (**TCP socket close failed sockdesc n UNIXerror**)

説明: これは **TCP** 接続のクローズに失敗したことを示しています。このメッセージは、**BPX1CLO** 呼び出しまたは **BPX4CLO** 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* と理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。

ユーザーの処置: **z/OS** インターネット・ライブラリーから入手可能な「**z/OS UNIX System Services** メッセージおよびコード」のリファレンス・マニュアルを参照してください。

重大度: 12

CKR3036 ドメイン・ネーム *source* に対して **CONFIG=name** を組み込みます: (**Imbedding CONFIG=name for domain name source:**)

説明: このメッセージは、**DD** 名 **CKA@CUST** からの

ドメイン構成メンバー *name* をプログラムが組み込む前に発行されます。

内部で生成された **IMBED** ステートメントには **NODUP** パラメーターが指定されるため、複数の **DOMAIN** に指定されている場合でもメンバーが読み取られるのは 1 回だけです。

重大度: 00

CKR3039 ソケット *num* 上で接続に失敗しました。
RC nn [*meaning*] 理由 *qqqq rrrrx*
[*meaning*]
[*IPaddress* の接続ポート *port* |
unexpected SOCKADDRLEN=len]
(**Connect failed on socket num RC nn**
[*meaning*] **reason qqqq rrrrx** [*meaning*]
[**contacting port port of IPaddress** |
unexpected SOCKADDRLEN=len])

説明: これはリモート・ポートへの接続の失敗を示します。ファイアウォールによって接続がブロックされているか、宛先サービスが利用できないか、ポートか **IP** アドレスが誤っている可能性があります。このメッセージは、**BPX1CON** または **BPX4CON** 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。

このメッセージの重大度は、これが再試行であるか初回の試行であるか、および環境がどのようなものであるかに応じたものになります。ジョブ・ステップ・プログラムは最初の試行に基づいて **RC 12** を戻します。

ユーザーの処置: **IBM Knowledge Center for z/OS** から入手可能な「**z/OS UNIX System Services Messages and Codes**」リファレンス・マニュアルで他の戻りコードや理由コードを探してください。**IP** アドレスとポート番号は正しく指定されています。宛先がポート上で実際に **listen** しているかどうかを確認してください。ブロックとトラフィックの間にファイアウォールがないことを確認してください。

重大度: 4 または 12

CKR3040 ソケット *num* の、*destination*、*family* アドレス *IPaddress* のポート *port* への接続が成功しました (**Connect on socket num succeeded to destination, port port of family address IPaddress**)

説明: これは、示されたソケット記述子番号から、**SYSLOGTCP** などの宛先キーワードで指定された

destination への TCP 接続が正常に実行されたことを記録します。ポート、ソケット・ファミリー、および解決された IP アドレスも示されます。

重大度: 00

CKR3041 *destination* のポート *port* への接続を待機しています (**Waiting for connection to port *port* for *destination***)

説明: これは、オペレーター・コンソールに表示される、重大な最終的アクション・オペレーター・メッセージです。このメッセージは、タスクが接続を待機して停止している間、15 分にわたって毎分破棄と表示が繰り返されます。*destination* は、SYSLOGTCP または類似のパラメーターで渡される宛先ストリングです。*port* は、デフォルトのポートの場合もあれば、*destination* ストリングで明示的に言及されているポートの場合もあります。

ユーザーがエラー状態を除去できる可能性もあるので、重大度は 4 です。

ユーザーの処置: 目標の受信側がアクティブであり、ポート上で *listen* していることを確認してください。問題を解決するためには、アプリケーションの再始動が必要な場合があります。トラフィックをブロックするファイアウォールがないことを確認してください。宛先またはポートで入力ミスがないことを確認してください。戻りコードや理由コードなどの詳細な診断情報については、プログラムの SYSPRINT のメッセージ CKR3039 を参照してください。

重大度: 04

CKR3042 *destination* のポート *port* への接続の再試行限度に達しました (**Retry limit reached for connect to port *port* for *destination***)

説明: このコンソール・メッセージは、複数の CKR3041 メッセージの後に発行され、プログラムが待機を中止して終了することを示します。

ユーザーの処置: 目標の受信側がアクティブであり、ポート上で *listen* していることを確認してください。問題を解決するためには、アプリケーションの再始動が必要な場合があります。トラフィックをブロックするファイアウォールがないことを確認してください。宛先またはポートで入力ミスがないことを確認してください。戻りコードや理由コードなどの詳細な診断情報については、プログラムの SYSPRINT のメッセージ CKR3039 を参照してください。

重大度: 16

CKR3043 *syslog* アラート *name* *sockdesc num* の TCP 書き込み失敗 **RC *nn* [*meaning*]** 理由 *qqqq rrrrx [*meaning*]*, *name source* (TCP write for *syslog* alert *name sockdesc num failed RC *nn* [*meaning*] *reason qqqq rrrrx [*meaning*]*, *name source*)*

説明: このメッセージは、例えば SYSLOGTCP に対する、TCP 接続のリカバリー不能な書き込み障害の診断情報を示します。

ユーザーの処置: 接続が正常に復旧したかどうかを確認してください。

重大度: 12

CKR3044 ソケット *num type* 上の接続が異常終了しました *code-reason (stock description)* (**Connect on socket *num type* abend *code-reason (stock description)***)

説明: このメッセージは、BPX1CON または BPX4CON IP 接続呼び出し中に予期しない異常終了が発生したことを示します。

ユーザーの処置: IBM Knowledge Center for z/OS から入手可能な『z/OS MVS System Codes』で、この異常終了コードに対する推奨アクションを調べてください。

重大度: 16

CKR3045 *destination* の *protocol* を *family* アドレス *IPaddress* のポート *port* に解決しました (**Resolved protocol for *destination* to port *port* of *family* address *IPaddress***)

説明: これは、宛先と *protocol* のデフォルト・ポートが IP アドレス構造に正常に変換されたことを示します。

重大度: 00

CKR3046 *syslog* アラート *name* *sockdesc num* の TCP 書き込み失敗 **RC *nn* [*meaning*]** 理由 *qqqq rrrrx [*meaning*]*, *name source* (TCP write for *syslog* alert *name sockdesc num failed RC *nn* [*meaning*] *reason qqqq rrrrx [*meaning*]*, *name source*)*

説明: このメッセージは、例えば SYSLOGTCP に対する、TCP 接続の潜在的にリカバリー可能な書き込み障害の診断情報を示します。再試行が成功したかどうかを把握するには、同じソケット番号 (*sockdesc*) についての後続のメッセージを探します。

接続を待機して再接続を試行することによりエラー状態が除去される可能性があるので、重大度は 4 です。

ユーザーの処置: 接続が正常に復旧したかどうかを確認してください。

重大度: 04

CKR3047 **RESTART_INTERVAL** の最小値は 10 分であり、*token "value" source* の前にある必要があります
(**RESTART_INTERVAL minimum is 10 minutes, before token "value" source**)

説明: OPTION RESTART_INTERVAL の指定値は 10 から 1440 分の範囲内でなければなりません (1440 分は 24 時間です)。

ユーザーの処置: 10 から 1440 の範囲内で値を選択してください。

重大度: 12

CKR3082 ID=UNDnnnnn の {考慮事項 "concerntext" への | 機密性 "sensitivity" への | シミュレートされたリスク・レベルへの} 割り当て (**Assigning ID=UNDnnnnn { to concern "concerntext" | to sensitivity "sensitivity"**)

メッセージ 3100 から 3199

CKR3100...CKR3199 *message*

説明: これらのメッセージは、DEBUG コマンドまたはオプションの指定に対する応答として発行されます。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

注: この範囲のメッセージの一部について、このセクションでより詳細に記載します。

CKR3112 オペレーター・コマンドを listen しています (**Now listening for operator commands**)

説明: このメッセージは、以下のようなオペレーター・コマンドをタスクが listen していることを示します。

STOP job

MODIFY job,DISPLAY

| for simulated risk level))

説明: このメッセージは、ID がなくて機密性が使用されている SIMULATE ステートメントまたは DEFSENS ステートメントからの CONCERN に対して、考慮事項のない機密性に対して、または考慮事項も機密性もないシミュレートされたリスク・レベルに対して発行されます。示された ID UNDDnnnnn は、この実行の出力に使用される可能性があります。ただし、他の CARLa ステートメントが照会に追加されるか、照会から削除されると、この ID は 変更される可能性があります。

デフォルトでは、このメッセージは通知メッセージ (RC 0) として発行されます。CARLa スクリプトの先頭または SETUP PREAMBLE に CARLa ステートメント OPTION MSGRC=(3082,12) を追加することで、このメッセージを構文エラー (実行を停止する) にプロモートすることができます。

ユーザーの処置: このメッセージをトリガーしたステートメントを確認し、適切なサイト固有 ID を追加することを検討してください。

重大度: 00 (OPTION ステートメントの MSGRC パラメーターによって変更されない限り)

MODIFY job,CANCEL

このメッセージは、DEBUG CIB コマンドに対する応答としてのみ発行されます。

重大度: 00

CKR3113 タスク・トークン **CKR.PSTATUS** は正常に削除されました (**Task token CKR.PSTATUS deleted successfully**)

説明: このメッセージは通常、RESTART ループの最後の反復の出力に示されます。このメッセージが発行されるのは、DEBUG RESTART が要求された場合のみです。

重大度: 00

CKR3114 SMF INMEM *rname* から正常に切断しました (**Successful disconnect from SMF INMEM *rname***)

説明: このメッセージは、示された SMF INMEM リソース *rname* からプログラムが切断したことを示します。このメッセージが発行されるのは、DEBUG RESTART が要求された場合のみです。

CKR3115

重大度: 00

CKR3115 タスク・トークン **CKR.PSTATUS** は正
常に作成されました (**Task token**
CKR.PSTATUS created successfully)

説明: このメッセージは通常、初回の RESTART の前に
書き込まれる初期プログラム出力の出力に示されます。
このメッセージが発行されるのは、DEBUG RESTART が要
求された場合のみです。

重大度: 00

第 6 章 CKV メッセージ

zSecure Collect は、以下の製品のコンポーネントです。

- zSecure Admin
- zSecure Audit
- zSecure Alert
- zSecure Adapters for SIEM
- zSecure Manager for RACF z/VM

zSecure Collect はシステム・データを収集し、そのデータを CKFREEZE データ・セットに保管します。これは、z/OS 製品については CKF 接頭部が付いたメッセージを発行し、z/VM 製品については CKV 接頭部が付いたメッセージを発行します。例えば、zSecure Admin and Audit を使用している場合は、メッセージ番号 CKF970I が表示される可能性があります。zSecure Manager for RACF z/VM によって発行される同じメッセージの番号は CKV970I となります。

z/OS プラットフォームと z/VM プラットフォームの間で共用される zSecure Collect メッセージは、5 ページの『第 2 章 CKF メッセージ』に記載されています。z/VM 製品に固有の zSecure Collect メッセージは、このセクションに記載されています。接頭部が CKV の特定のメッセージの説明を見つけるには、メッセージ番号 (CKV970I など) でこの資料を検索してください。

各メッセージ番号の形式は、CKVnnnI です (*nnn* は、メッセージ番号)。メッセージ ID に加え、重大度コードもプログラムによって発行されます。このコードは、プログラム完了コードから派生しており、検出された最高の重大度コードを示します。重大度コードには、以下のいずれかの値が含まれます。

- 00 状況または要約情報を示す通常のメッセージ。
- 04 異常な条件が見つかりました。情報が欠落する可能性があります。
- 08 要求された情報が失われる原因となる異常な状態が検出されました。後続の処理に影響が及ぶ場合があります。
- 12 zSecure Collect の処理中の予期しない状態です。
- 16 コマンド入力に構文エラーがあるか、またはライセンスに問題があります。
- 24 zSecure Collect で、内部エラーか、または他の予期しない/サポートされない状態が検出されました。
- 28 zSecure Collect で、内部エラーか、または他の予期しない/サポートされない状態が検出されました。システムを保護し、ダンプを強制的に実行するために、ユーザー異常終了が発行されます。

メッセージ 0 から 99

CKV000I IBM Security zSecure Collect for VM
バージョン *version* (IBM Tivoli zSecure
Collect for VM Version *version*)

説明: 製品の識別番号です。

重大度: 0

CKV001I *siteidentifier activity*

説明: このメッセージは、サイト固有のストリングを示します。

重大度: 0

CKV008I ディレクトリー情報に *u* 人のユーザー{*i*
identities}, と *n* 個のミニディスクが含ま
れています (**Directory information**
includes *u* users{, *i* identities}, and *n*
minidisks)

説明: 実行の要約情報です。

重大度: 0

CKV009I CKVCOLL が使用した CPU 時間: *ss.t*
秒、経過時間: *ss* 秒、収集したデータ:
m.kkk MB (*m.kkk* MB/s)。 *volume list* 上
の *dsn* に *rectotal* 件のレコードを書き込
み済み (**CKVCOLL used *ss.t* CPU**
seconds, *ss* elapsed seconds, and
collected *m.kkk* MB (*m.kkk* MB/s)
Written *rectotal* records to *dsn* on
volume list)

説明: このメッセージは、使用された CPU 時間と実
時間を示します。また、収集された (CKFREEZE ファ
イルに書き込まれた) データの量と有効なデータ転送速
度の要約も示します。

重大度: 0

CKV010I **SYSTEM** コマンドでシステム名を指定し
てください (**System name must be**
specified with SYSTEM command)

説明: ディレクトリー・ファイルを別のシステム (MVS
または VM) で分析する場合は、システム名が必要で
す。

重大度: 8

CKV011I 不明なコマンド *command* は無視されます
(**Unknown command *command* ignored**)

説明: SYSIN ファイル内の示されたコマンドは認識さ
れません。

重大度: 4

CKV012I 出力ファイルを開くのに失敗しました -
ddname fname ftype fmode (**Open of**
output file failed - *ddname fname ftype*
fmode)

説明: zSecure Collect は、CKFREEZE 出力ファイル
を開いているときにエラーを受け取りました。

ユーザーの処置: 考えられるエラーは、ファイル・モー
ドの指定が正しくないことが原因である可能性があります。
コンソール・ログに追加メッセージがないか調べ、
CKFREEZE ファイルに対して指定されたディスクが書
き込みモードで使用可能かどうかを確認してください。

重大度: 08

CKV013I 指定したユーザー・ディレクトリーは、空
であるか、または存在しません。
(**Specified user directory is empty or**
does not exist.)

説明: 入力コマンドを含むディレクトリーが空である
か、または存在しません。

ユーザーの処置: データ収集プロセス (CKVECOLL)
の実行に使用するコマンド入力を更新して、「VM
Directory file source」パラメーターに有効なディレクト
リー・ファイルを指定してください。「IBM Security
zSecure Manager for RACF z/VM: Manager for RACF
z/VM Installation and Deployment Guide」の『日次収集
プロセスのセットアップ (Setting up the daily collection
process)』を参照してください。

重大度: 04

CKV014I クラス B ユーザー ID 上で実行されてい
ません。構成データの収集は失敗します
(**Not running on Class B userid,**
configuration data collection will fail)

説明: CKVECOLL には、クラス BE ユーザー ID が
必要です。

重大度: 8

CKV015I クラス E ユーザー ID 上で実行されていません。デバイス・タイプ情報は不完全になります (**Not running on Class E userid, device type information will be incomplete**)

説明: CKVECOLL には、クラス BE ユーザー ID が必要です。

重大度: 4

CKV016I 370 仮想マシンを XA/ESA ハードウェア上で実行しています。構成データは不完全になります (**Running 370 virtual machine on XA/ESA hardware; configuration data will be incomplete**)

説明: VM/XA または VM/ESA 上で実行するとき、XA 対応の仮想マシンを使用することをお勧めします。370 マシンは重要な情報をすべて提供しますが、XA/ESA マシンはより詳細なパス情報を提供することがあります。

重大度: 4

CKV019I VM/xxx 370/XA モードでユーザー ID uid システム systemid ノード nodename を実行中 (**Running VM/xxx 370/XA mode userid uid system systemid node nodename**)

説明: VM システム上で実行しているときのシステムとユーザー ID を示します。

重大度: 0

CKV020I 入力コマンドにエラーがあります (複数の場合もあり)。プログラムは異常終了しました (**Error(s) in input commands, program aborted**)

説明: 入力コマンド内の構文エラーが原因で、実行は停止しました。

ユーザーの処置: 構文を訂正し、ジョブを再実行依頼してください。

重大度: 8

CKV021I システム system のディレクトリーの読み取り中 (**Reading directory for system system**)

説明: 現在ディレクトリーを読み取っています。継続メッセージは、ディレクトリー読み取りプロセスを示します。

重大度: 0

CKV022I ディレクトリー・テキスト・ファイルが DIRECT DD 名に割り振られていません。 (**Directory text file not allocated to DIRECT ddname.**) ミニディスク情報が欠落しています (**Minidisk info missing**)

説明: ディレクトリー情報が zSecure Collect に提供されていません。この情報がないと、他の zSecure 製品を使用した大部分の分析で、結果のファイルを使用できません。

重大度: 8

CKV023I 指定したゲスト userid がディレクトリーで見つかりません (**Specified guest userid not found in directory**)

説明: GUEST コマンドで指定したユーザー ID に対応する USER ステートメントまたは IDENTITY ステートメントがユーザー・ディレクトリーに含まれていません。指定したゲストについての情報を収集できません。

重大度: 8

CKV025I 重複するユーザー ID userid が見つかりました (**Duplicate userid userid found**)

説明: 示されたユーザー ID は、ユーザー・ディレクトリーで 2 回定義されています。

重大度: 4

CKV026I statement ステートメントの前に USER ステートメントがありません (**statement statement without preceding USER statement**)

説明: ディレクトリー内で構文エラーまたはサポートされない構造が検出されました。このメッセージの statement という語が取り得る値は、MDISK または DEDICATE です。

重大度: 4

CKV027I USER ステートメントが重複しているので、statement ステートメントは無視されます (**statement statement ignored for duplicate USER statement**)

説明: 最初に出現したユーザー ID からのミニディスク定義のみが使用されます。このメッセージの statement という語が取り得る値は、ACIGROUP、CLASS、DEDICATE、または MDISK のいずれかです。

重大度: 4

CKV028I ユーザー *user* の *statement* アドレス *xxxx* が重複しています (**Duplicate statement address xxxx for user user**)

説明: 同じユーザーについて、同じステートメントが 2 回見つかりました。このメッセージの *statement* という語が取り得る値は、DEDICATE または minidisk です。

重大度: 4

CKV030I 重複しているプロファイル *profile* がみつかりました (**Duplicate profile profile found.**)

説明: 同じ名前を持つ PROFILE 定義が USER DIRECT ファイル内で見つかりました。

重大度: 4

CKV031I *profile* はプロファイルではありません。 (**profile is not a profile.**)

説明: INCLUDE ステートメントのターゲットが、USER DIRECT ファイル内の PROFILE 定義を参照しませんでした。

重大度: 4

CKV032I プロファイル *profile* が見つかりませんでした (**Profile profile not found.**)

説明: INCLUDE ステートメントのターゲットが USER DIRECT ファイルで定義されていませんでした。

重大度: 4

CKV033I POOL により、重複したユーザー ID *userid* が作成されました。 (**POOL creates duplicate userid userid.**)

説明: POOL ステートメントによって定義されたユーザー ID は、USER DIRECT ファイルに既に存在しています。

重大度: 4

CKV034I STORAGEEGC は PARM ストリングでのみ有効です。 (**STORAGEEGC only valid in PARM string**)

説明: このメッセージは、STORAGEEGC パラメーターはパラメーター・ストリングに指定しない限り有効にならないことを示しています。

ユーザーの処置: z/VM で収集を実行し、ストレージ・ガーベッジを収集する必要がある場合は、以下のステートメントを発行できます。

ステートメント	注
CKVECOLL (STORAGEEGC	z/VM の ISPF または CMS 下で実行中かどうかを判別します。
OSRUN CKVCOLL PARM=STORAGEEGC	z/VM のネイティブ CMS 下で実行している場合に発行します。
ispexec 'SELECT PGM(CKVCOLL) PARM(STORAGEEGC)'	z/VM の ISPF 下で実行している場合に発行します。

重大度: 16

CKV079I *device-no* から読み取った結果、ゼロ以外の戻りコード *code* が戻されました [**SCSW=channel status word**] (**Reading from device-no resulted in nonzero return code code[SCSW=channel status word]**)

説明: 示されたデバイスから読み取りを行うことができませんでした。問題を診断するために、状況コードとオプションのデバイス・サブチャネル状況ワードが提供されます。

ユーザーの処置: 示されたデバイスの資料を参照して、入出力エラーのトラブルシューティングを行ってください。

重大度: 08

メッセージ 100 から 199

CKV110I 実デバイス *xxxx* について、チャンネル・パス *nn* は無視されます。 (**Channel path *nn* ignored for real device *xxxx*.**) サポートされる CHPID は、8 個のみです (**Only 8 CHPIDs supported**)

説明: 示されたデバイスについて、8 個を超えるチャンネル・パスが Q PATHS コマンドで報告されました。

重大度: 4

CKV112I Q PATHS に予期しないテキスト *text* がありました (**Unexpected text *text* in Q PATHS**)

説明: Q PATHS コマンドからの出力を構文解析できませんでした。「SETUP FILES (SE.1)」オプションを使用して、「DEBUG CP」オプションを有効にして zSecure Collect プログラム (CKVECOLL) を再実行してください。次に、結果の SYSPRINT を IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。「セットアップ」パネルで、リフレッシュする CKFREEZE ファイルを選択します。次に、「Optional parameter list for CKFREEZE creation」フィールドから「DEBUG CP」オプションを選択します。次に、REFRESH コマンドを発行して、出力を生成します。

また、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 4

CKV113I デバイス *xxx* の制御装置が見つかりませんでした (**No control unit found for device *xxx***)

説明: VM/SP システムの RDEVBLK に単一の制御装置 (RCUBLOK) ポインターが含まれていませんでした。これは回避しなければなりません。

重大度: 4

CKV114I Q DASD DETAILS *xxxx* コマンドから予期しない出力が生成されました。 (**Unexpected output from Q DASD DETAILS *xxxx* command.**)

説明: Q DASD DETAILS コマンドからの出力を構文解析できませんでした。「DEBUG CP」パラメーターを追加して CKVCOLL を再実行し、結果の SYSPRINT を

IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。追加説明については、メッセージ CKV112I を参照してください。

また、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 4

CKV115I Q DASD DETAILS *xxxx* の応答に不明なエレメント *text* があります (**Unknown element *text* in Q DASD DETAILS *xxxx* response**)

説明: Q DASD DETAILS コマンドからの出力を構文解析できませんでした。「DEBUG CP」パラメーターを追加して CKVCOLL を再実行し、結果の SYSPRINT を IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。追加説明については、メッセージ CKV112I を参照してください。

また、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 4

CKV116I Q NSS MAP ALL コマンドから予期しない出力が生成されました (**Unexpected output from Q NSS MAP ALL command**)

説明: Q NSS MAP ALL コマンドからの出力を構文解析できませんでした。「DEBUG CP」パラメーターを追加して CKVCOLL を再実行し、結果の SYSPRINT を IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。追加説明については、メッセージ CKV112I を参照してください。

また、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 4

CKV120I **Q NSS** 出力のサイズ修飾子 *M* が不明です (**Unknown size modifier *M* in Q NSS output**)

説明: Q NSS MAP ALL コマンドからの出力を構文解析できませんでした。「DEBUG CP」パラメーターを追加して CKVCOLL を再実行し、結果の SYSPRINT を IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。追加説明については、メッセージ CKV112I を参照してください。

また、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 4

CKV140I チャネル *list* 上のデバイスのセンス情報がありません (**No sense information for devices on channels *list***)

説明: 「COLLECT SENSE」を指定した場合、zSecure Collect (CKVECOLL) プログラムは、1 つ以上の読み取り構成データ CCW を 3990 コントローラーに発行することを試みます。このメッセージは、リストされたチャネル上のデバイスについて、センス・データを取得できなかったことを示しています。この問題を解決するには、メッセージ CKV141I にリストされたいずれかのデバイス上でミニディスクを割り振ります。このプロセスが必要になるのは、サブシステム ID が必要な場合に限られます。

重大度: 8

CKV141I デバイスは次のとおりです: *list of devices* (**Devices are: *list of devices***)

説明: メッセージ CKV140I を参照してください。

重大度: 8

CKV145I **Q CACHE *nnn*** コマンドから予期しない出力が生成されました (**Unexpected output from Q CACHE *nnn* command**)

説明: Q CACHE コマンドからの出力を構文解析できませんでした。デバイスがキャッシュされていない可能性があります。または、サポートされない形式の Q CACHE コマンドが検出されました。その場合は、「DEBUG CP」パラメーターを追加して CKVCOLL を再実行し、結果の SYSPRINT を IBM ソフトウェア・サポートに送信してください。このプロセスを完了する手順につい

て詳しくは、メッセージ CKV112I を参照してください。

また、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 4

CKV146I **VMCMD DIAG0A0.RACONFIG** に対する読み取り権限がありません。クラス **A** でも、クラス **B** でもありません (**No READ access to VMCMD DIAG0A0.RACONFIG, or not class A or B**)

説明: データ収集プロセス (CKVECOLL) を実行しているユーザー ID には、DIAG A0 サブコード 50 を発行する権限がありません。

重大度: 4

CKV147I **DIAGNOSE A0-50** 処理中の *abend*。(***abend* during DIAGNOSE A0-50 processing.**)

説明: DIAG A0 サブコード 50 呼び出し中に異常終了が発生しました。返されたコードについては、「z/VM CP Programming Services (SC24-6179)」を参照してください。

重大度: 8

CKV148I **RACF** はアクティブではありません。(**RACF is not active.**)

説明: DIAG A0 サブコード 50 呼び出しにより、RACF がアクティブではないと判別されました。

重大度: 4

CKV149I **DIAGNOSE A0-50** 呼び出しからの条件コード *n*。(**Condition code *n* from DIAGNOSE A0-50 call.**)

説明: DIAGNOSE A0 サブコード 50 が条件コード *n* を返しました。返されたコードについては、「z/VM CP Programming Services (SC24-6179)」を参照してください。

重大度: 4

CKV151I 照会 *command* に対する権限がありません
- *command* データは収集されません。

**(Not authorised to Query command -
command data will not be collected.)**

説明: データ収集プロセス (CKVECOLL) を実行しているユーザー ID には、*QUERY command* を発行する権限がありません。照会に対する応答は収集されません。

重大度: 8

CKV153I クラス E ユーザー ID で実行されていません。ネットワーク・データは収集されません **(Not running on Class E userid, network data will not be collected)**

説明: データ収集プロセス (CKVECOLL) を実行しているユーザー ID には、*DIAGNOSE 26C* を発行する権限がありません。VLAN データや仮想スイッチ・データは収集されません。

重大度: 4

CKV154I *DIAGNOSE 26C* 処理中の *abend*。
(abend during DIAGNOSE 26C processing.)

説明: *DIAG 26C* 呼び出し中に異常終了が発生しました。返されたコードについては、「*z/VM CP Programming Services (SC24-6179)*」を参照してください。

重大度: 8

CKV155I 診断 *26C-sc rc=rc - description*
(Diagnose 26C-sc rc=rc - description)

説明: *DIAGNOSE 26C* がゼロ以外の戻りコードを返しました。

以下のサブコード (*sc*)、戻りコード (*rc*)、および説明が返される可能性があります。(The following sub-codes (*sc*), return codes (*rc*), and descriptions can be returned.)

表 5. CKV155I のサブコード、戻りコード、および説明

サブコード	説明
08	仮想 LAN システム情報を照会します。
18	ゲスト LAN 情報を照会します。

表 5. CKV155I のサブコード、戻りコード、および説明 (続き)

サブコード	説明
20	仮想スイッチ情報を照会します。
24	仮想ポート情報、仮想 NIC 情報、またはハイパーソケット論理ポート情報を照会します。
戻りコード	説明
04	一致する VLAN データが見つかりませんでした。
04	一致するゲスト VLAN データが見つかりませんでした。
04	一致する仮想データが見つかりませんでした。
04	一致する仮想ポート・データが見つかりませんでした。
04	一致する仮想 NIC データが見つかりませんでした。
12	要求されたバージョンはサポートされていません。
16	バッファが小さすぎます。
20	バッファが大きすぎます。
24	パラメーター・リスト (parmlist) タイプが正しくありません。

重大度: 「説明」の下にある戻りコード (*rc*) の値を参照してください。

CKV156I *DIAGNOSE 4* 処理中の *abend*。 **(abend during DIAGNOSE 4 processing.)**

説明: *DIAG 4* 呼び出し中に異常終了が発生しました。*SYSCM* データ域は収集されません。返されたコードについては、「*z/VM CP Programming Services (SC24-6179)*」を参照してください。

重大度: 8

CKV157I VM リリースは SYSCM 収集用にサポートされていません。 (**Unsupported VM release for SYSCM collect.**)

説明: zSecure では、この z/VM のリリースについて SYSCM の収集をサポートしていません。SYSCM データ域は収集されません。

重大度: 8

CKV158I Class E ユーザー ID で実行していません。 (**Not running on Class E userid.**) SYSCM は収集されません。 (**SYSCM will not be collected.**)

説明: データ収集プロセス (CKVECOLL) を実行しているユーザー ID には、DIAGNOSE 4 を発行する権限がありません。SYSCM データ域は収集されません。

重大度: 8

CKV159I クラス E ユーザー ID で実行されていません。ネットワーク・データは収集されません (**Not running on Class E userid,**

network data will not be collected)

説明: データ収集プロセス (CKVECOLL) を実行しているユーザー ID には、DIAGNOSE 26C を発行する権限がありません。VLAN データや仮想スイッチ・データは収集されません。

重大度: 4

CKV199I デバイス *vdevno* 上で入出力エラーが発生しました。 **cc=condition code** 戻りコード **R15=value** (**I/O error on device vdevno cc=condition code return code R15=value**)

説明: 入出力要求 (診断 X'20' または X'A8') が失敗し、示された条件コードと戻りコードが戻されました。

重大度: 8

メッセージ 200 から 299

CKV200I MVS 上で構成データを収集できません (**Cannot collect configuration data on MVS**)

説明: CKVECOLL は、MVS または MVS ゲスト上で実行されているときは VM 構成データを収集しません。

重大度: 4

CKV265I ディレクトリー・ファイルを読み取りましたが、**USER** [または **IDENTITY**] ステートメントが見つかりませんでした - ディレクトリー・ファイルではない可能性があります (**Directory file read but no USER [or IDENTITY] statement found - probably not a directory file**)

説明: VM ディレクトリー・ファイルとして読み取られたファイルに、**USER** (または **IDENTITY**) ステートメントが一切含まれていません。有効な VM ディレクトリー・ファイルでない可能性があります。メッセージの「または **IDENTITY** (or **IDENTITY**)」の部分は、z/VM V6R2 以降で実行中のみ示されます。

ユーザーの処置: データ収集プロセス (CKVECOLL) の実行に使用するコマンド入力を更新して、「VM *Directory file source*」パラメーターに有効なディレクト

リー・ファイルを指定してください。「IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM: Manager for RACF z/VM Installation and Deployment Guide」の『日次収集プロセスのセットアップ (Setting up the daily collection process)』を参照してください。

重大度: 4

CKV265I ディレクトリー・ファイルを読み取りましたが、**USER** [または **IDENTITY**] ステートメントが見つかりませんでした - ディレクトリー・ファイルではない可能性があります (**Directory file read but no USER [or IDENTITY] statement found - probably not a directory file**)

説明: VM ディレクトリー・ファイルとして読み取られたファイルに、**USER** (または **IDENTITY**) ステートメントが一切含まれていません。有効な VM ディレクトリー・ファイルでない可能性があります。メッセージの「または **IDENTITY** (or **IDENTITY**)」の部分は、z/VM V6R2 以降で実行中のみ示されます。

ユーザーの処置: データ収集プロセス (CKVECOLL) の実行に使用するコマンド入力を更新して、「VM *Directory file source*」パラメーターに有効なディレクトリー・ファイルを指定してください。「IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM: Manager for RACF

z/VM *Installation and Deployment Guide*』の『日次収集プロセスのセットアップ (Setting up the daily collection process)』を参照してください。

重大度: 4

CKV266I ディレクトリー・ファイルを読み取りましたが、有効な **MDISK** ステートメントが見つかりませんでした - ディレクトリー・ファイルではないことが考えられます (**Directory file read but no valid MDISK statement found - probably not a directory file**)

説明: 読み取られた VM ディレクトリー・ファイルに

メッセージ 300 から 399

CKV306I ゲスト *userid* のフリー・デバイス *rdevno* が一時的に接続されます (**Free device rdevno of guest userid will be attached temporarily**)

説明: このメッセージは、*userid* 専用のディスク *rdevno* が現在フリーであり、構成情報を収集するために一時的に接続されることを示します。*userid* は GUEST コマンドで指定されました。

重大度: 0

CKV307I ユーザー ID *userid* にリンクまたは接続されているすべてのディスクを処理しています (**Processing all disks linked or attached to userid userid**)

説明: このメッセージは、GUEST コマンドを使用しない場合に出力されます。このメッセージは、このプログラムを実行中の VM ユーザー ID に現在リンクまたは接続されているすべてのディスクが処理されていることを示します。

重大度: 0

CKV308I *dasd vdev (volser)* 上の *vdev (volser)* としてリンクされているディスクのスキヤン中 (**Scanning disk linked as vdev (volser) on dasd vdev (volser)**)

説明: CKVECOLL プログラムの状況情報です。

重大度: 0

CKV309I (*dasd vdev (volser)* 上で) ユーザー ID *userid* のディスク *vdev* のスキヤン中 (**Scanning disk vdev of userid userid (on dasd vdev (volser))**)

MDISK ステートメントが含まれていないか、または MDISK ステートメントの前に USER ステートメントがありません。このファイルは、有効な VM ディレクトリー・ファイルではないことが考えられます。

ユーザーの処置: データ収集プロセス (CKVECOLL) の実行に使用するコマンド入力を更新して、「VM *Directory file source*」パラメーターに有効なディレクトリー・ファイルを指定してください。「IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM: Manager for RACF z/VM *Installation and Deployment Guide*」の『日次収集プロセスのセットアップ (Setting up the daily collection process)』を参照してください。

重大度: 4

説明: CKVECOLL プログラムの状況情報です。

重大度: 0

CKV310I ボリューム通し番号は *volser* です (**Volume serial number is volser**)

説明: CKVECOLL プログラムの状況情報です。

重大度: 0

CKV311I 完了。入出力数は *count* です (**....done, number of I/O-s is count**)

説明: このメッセージは、CKVECOLL プログラムの状況情報を示します。メッセージ CKV310I の続きです。このメッセージは、DEBUG DEVICE オプションが有効な場合にのみ発行されます。

重大度: 0

CKV312I VSAM カタログは *data set name* にあります (**VSAM catalog resides in data set name**)

説明: 示されたデータ・セットで VSAM マスターまたはユーザー・カタログが検出されました。カタログが読み取られます。このメッセージは、DEBUG DEVICE オプションが有効な場合にのみ発行されます。

重大度: 0

CKV313I 空の DSCB スロットの数: *count* (**Number of empty DSCB slots: count**)

説明: VTOC には、示された数の空の DSCB スロットが含まれています。このメッセージは、DEBUG DEVICE オプションが有効な場合にのみ発行されます。

重大度: 0

CKV320I *architecture devtype、count sizetype*

説明: デバッグの目的で、いくつかの *architecture* ディスク・パラメーターが報告されています。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。*architecture* の取り得る値は、CKD (*sizetype=tracks/cyl* の場合) FBA (*sizetype=tracks/cyl=blks/track* の場合) です。

重大度: 0

CKV321I **CKD** レコード *CCHHR = physical address* の取得中 (**Getting CKD record CCHHR = physical address**)

説明: 示されたアドレスを持つ物理 CDK レコードが参照されています。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。

重大度: 0

CKV322I バッファから **CKD** トラックを削除中 (**Removing CKD track out of buffer**)

説明: CKD トラックが最近参照されていないためトラック・バッファから削除されます。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。

重大度: 0

CKV323I **CKD** トラック *physical address* をディスクから読み取り中... (**Reading CKD track physical address from disk...**)

説明: CKD トラックがトラック・バッファになかったため、ディスクから CKD トラックを読み取っています。このメッセージは、メッセージ CKV324I に続きます。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。

重大度: 0

CKV324I ...*count* バイトを読み取りました (...*count bytes read*)

説明: このメッセージはメッセージ CKV323I の続きであり、読み取った物理的なバイト数を示します。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。

重大度: 0

CKV325I **FBA** ブロック *FBA block nr-FBA block nr* の取得中 (**Getting FBA blocks FBA block nr-FBA block nr**)

説明: 示されたアドレスを持つ物理的な FBA ブロックが参照されています。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。

重大度: 0

CKV326I バッファから **FBA** トラックを削除中 (**Removing FBA track out of buffer**)

説明: FBA トラックが最近参照されていないためトラック・バッファから削除されます。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。

重大度: 0

CKV327I **FBA** トラック *FBA block nr.* をディスクから読み取り中... (**Reading FBA track FBA block nr. from disk...**)

説明: FBA トラックがトラック・バッファになかったため、ディスクから FBA トラックを読み取っています。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。

重大度: 0

CKV328I カタログ・トラック・サイズ = *number of bytes* (**Catalog track size = number of bytes**)

説明: デバッグの目的で、カタログの低いキー範囲のデータ・レコードを含むトラックの物理トラック・サイズが報告されています。このメッセージは、DEBUG IO が設定されている場合にのみ出力されます。

重大度: 0

CKV329I **VTOC** 情報の収集中 (**Collecting VTOC information**)

説明: CKVECOLL プログラムの状況情報です。

重大度: 0

CKV330I **VSAM** カタログ情報の収集中 (**Collecting VSAM catalog information**)

説明: CKVECOLL プログラムの状況情報です。

重大度: 0

CKV340I 警告: ファイルのエクステントが **4096** を超えています *fn ft fm* (**Warning: More than 4096 extents for file *fn ft fm***)

説明: CMS ファイルに割り振られた CMS ブロック

は、zSecure Collect 出力ファイルの物理エクステントとして記述されます。サポートされるファイル・エクステントの数は、4096 に制限されています。

重大度: 8

メッセージ 400 から 499

CKV410I クラス **G** ユーザー **ID** で **VTOC**、**CMS** ディレクトリー、またはカタログを読み取れません (**Cannot read VTOC, CMS Directory, or Catalog on class G userid**)

説明: CKVECOLL には、クラス **BE** ユーザー **ID** が必要です。

重大度: 8

説明: **GUEST** コマンドで指定したユーザーのディスクに対する **CP LINK** コマンドまたは **ATTACH** コマンドが失敗しました。対応する **CP** メッセージが **SYSPRINT** ファイルに出力されます。

重大度: 4

CKV420I ユーザー **ID** *userid* のディスク *vdev* をリンクまたは接続できません (**Cannot link or attach disk *vdev* of *userid***)

メッセージ 700 から 799

CKV700I *Module* 内部エラー: *description* (**Module internal error: *description***)

説明: 示されたプログラム・モジュールが予期しない状態にあります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 8

ください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 8

CKV711I **VDEV** *vdevno* に対する診断 **E4** エラー・コード *rc* (**Diagnose E4 error code *rc* for VDEV *vdevno***)

説明: 示された仮想デバイスに対する診断 **X'E4'** 要求が失敗しました。このデバイスについて収集された情報は不完全です。

重大度: 8

CKV713I **CMS CDF** 形式はサポートされません (**CMS CDF format not supported**)

説明: CMS Conventional Disk Format は、現在サポートされていません。

重大度: 8

CKV714I ボリューム・ラベルが認識されません: *char string* (*hex string*) (**Unrecognized volume label: *char string* (*hex string*)**)

説明: 示されたボリューム・ラベルは、認識されませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 8

CKV712I ディスク・タイプ *device type* は、サポートされません (**Disk type *device type* not supported**)

説明: 示されたディスク・タイプは、現在サポートされていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探して

CKV715I ファイル・ディレクトリーのエラー
(*count* 個の **FST** を読み取れません)
(**Error in file directory (*count* FSTs not read)**)

説明: 示された数のファイル状況テーブル項目を処理できませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 8

CKV716I VTOC のエラー: **format-4 DSCB** が欠落しています (**Error in VTOC: missing format-4 DSCB**)

説明: 最初に要求された **format-4 DSCB** が見つかりませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 8

メッセージ 800 から 899

CKV826I *statement* ステートメントの前に **USER** ステートメントがありません (**statement statement without preceding USER statement**)

説明: ディレクトリー内で構文エラーまたはサポートされない構造が検出されました。このメッセージの *statement* という語が取り得る値は、ACIGROUP または CLASS です。このメッセージは、REPORT DIRECTORY が指定されたときのみ発行されます。

重大度: 0

CKV874I **RECFM=V(BS)** *RDW hex* が、レコード *n ddname volser dsname* で **LRECL=lrecl** を超えています (**RECFM=V(BS) RDW hex exceeds LRECL=lrecl at record n ddname volser dsname**)

説明: このメッセージは、**RECFM=V(B)(S)** データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (**RDW**) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、**RDW** を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能

CKV717I ボリュームあたり複数のカタログはサポートされません (**Multiple catalogs per volume not supported**)

説明: ボリュームには、複数の VSAM カタログを含めません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 8

CKV718I 警告: 水平エクステンション *ptr = hex*
(**Warning: horizontal extension ptr = hex**)

説明: ここでは、水平エクステンションは予期されませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 4

性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

CKV875I **RECFM=V(BS)** *BDW hex* が、レコード *n ddname volser dsname* で **BLKSIZE=blksize** を超えています (**RECFM=V(BS) BDW hex exceeds BLKSIZE=blksize at record n ddname volser dsname**)

説明: このメッセージは、**RECFM=V(B)(S)** データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。**BDW** (ブロック記述子ワード) は 16 進数で表示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは **BDW** を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もし

くは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

第 7 章 CKX メッセージ

CKX プログラムは、IBM Security zSecure Admin、IBM Security zSecure Audit、および IBM Security zSecure Visual、さらに IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM のプログラムによって使用されます。この章では、CKX プログラムにより発行されるメッセージについて説明します。

一部の CKX メッセージは、問題診断を支援する目的でファイルに出力されます。このメッセージ・ファイルを表示するには、ユーザー・インターフェースで CKXDEBUG コマンドを実行する必要があります。UI で CKXDEBUG ファイルを割り振るには、SETUP TRACE (SE.T) で「**Collect CKX diagnostic information**」オプションを設定します。

CKX メッセージのメッセージ接頭部の形式は CKXnnna です。この nnna は、メッセージ番号と修飾子です。修飾子が「I」の場合、メッセージ番号の後に重大度を示す数値コードが続きます。プログラムは、検出された最高位の重大度コードを完了コードとして返します。次に要約を示します。

- 0 すべてのコマンドが正常に完了したか (RC=0)、またはコマンドが見つかりませんでした。
- 4 すべてのコマンドが完了したが、RC が 0 より大きく 4 以下のコマンドが 1 つ以上ありました (メッセージ 962G または 962M が書き込まれます)。
- 8 すべてのコマンドが完了しましたが、4 よりも大きい RC のコマンドが 1 つ以上ありました (メッセージ 962F または 962I が書き込まれます)。
- 10 アテンションにより終了しました (一部のコマンドが実行されず、メッセージ 962A が書き込まれます)。
- 12 1 つ以上のコマンドが異常終了しました。アテンションが押されていない場合は、すべてのコマンドが試行されました (メッセージ 962V または 962C が書き込まれます)。
- 16 IKJEFTSR エラーまたは ATTACH エラーが発生したか、コマンドが見つかりませんでした (メッセージ 962B、962E、962L、962P、962S、962T、962U、962W、962X、または 962Y が書き込まれます)。
- 20 適用可能な TSO 環境または CMS 環境がありません (メッセージ 962I が書き込まれます)

メッセージ 0 から 99

CKX000I ISPF 操作 CKRDSETR=*value*
 CKROSETT=*token* CKRSECN=*zsecnode*
 CKRRRSF=*rrsfnode* CKRNJE=*njenode*
 (ISPF operation CKRDSETR=*value*
 CKROSETT=*token* CKRSECN=*zsecnode*
 CKRRRSF=*rrsfnode* CKRNJE=*njenode*)

説明: このメッセージは、CKX が ISPF アプリケーションとして稼働しており、ISPF 変数 CKRDSETR からコマンド・ルーティング設定を取得し、CKROSETT からサーバー・トークンを取得したことを示します。

重大度: 0

CKX001I LMINIT が失敗しました - *error message*
 (LMINIT failed - *error message*)

説明: このメッセージは、コマンド出力の表示準備に使用された ISPF LMINIT サービスが失敗し、示されている長い ISPF メッセージが発行されたことを示します。

ユーザーの処置: このメッセージの ISPF ガイダンスを検索してください。

重大度: 12

CKX002I CMSCALL BROWSE 失敗 RC=*nn*
 (CMSCALL BROWSE failed RC=*nn*)

説明: このメッセージは、CMS でのコマンド出力表示試行操作が、示されている CMSCALL 戻りコードで失敗したことを示します。

重大度: 12

CKX003I NORMAL のデフォルト: AT(*node*,*user*)
 (Normal defaults to AT(*node*,*user*))

説明: これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。

重大度: 0

CKX004I NORMAL のデフォルト: ZSECNODE=
 (Normal defaults to ZSECNODE=)

説明: これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。

重大度: 0

CKX005I NORMAL のデフォルト: ローカルのみ
 (Normal defaults to local only)

説明: これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。

重大度: 0

CKX006I ローカル・モードが選択されました
 (Local mode selected)

説明: これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。この場合、CKRDSETR が ASK または LOCAL に設定されていなかったために、コマンド経路が選択されました。

重大度: 0

CKX007I 宛先はローカル・システムにリダイレクト
 されました (Destination redirected to
 Local system)

説明: このメッセージは、コマンド・ルーティングが ASK だったが、サーバー通信が不可能であったために、デフォルトの LOCAL になったことを示します。このメッセージは、ISPF アプリケーションとして稼働していない場合のみ書き込まれます。ISPF アプリケーションとして稼働している場合は、代わりに ISPF メッセージ CKR872 が表示されます。

重大度: 4

CKX008I ファイル入力 DD=*ddname* (File input
 DD=*ddname*)

説明: このメッセージは、DD 命令が認識され、示されているファイル名のファイルからコマンドが読み取られることを示します。

重大度: 0

CKX009I NORMAL のデフォルト: NJENODE=
 (Normal defaults to NJENODE=)

説明: これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。

重大度: 0

CKX010I NORMAL はローカルのみです (Normal
 means local only)

説明: これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。

重大度: 0

CKX011I NORMAL は AT(*node*,*user*) です
 (Normal means AT(*node*,*user*))

説明: これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。

重大度: 0

CKX012I NORMAL は ZSECNODE= です
(Normal means ZSECNODE=)

説明: これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。

重大度: 0

CKX013I NORMAL は NJENODE= です
(Normal means NJENODE=)

説明: これは、どのコマンド経路が NORMAL に選択されたかを説明する診断メッセージです。

重大度: 0

CKX014I SERVERTOKEN= が設定されているアク
ティブなサーバーがありません (There is
no server active with
SERVERTOKEN=)

説明: このメッセージは、示されているサーバー・トークンを持つサーバーが見つからなかったことを示します。ISPF で実行中の場合の重大度は 0 です。この場合、ISPF メッセージ CKR870 が表示されます。

重大度: 0 または 4

CKX015I サーバーへのクライアント接続に失敗しま
した RC= (Client connection to server
failed RC=)

説明: このメッセージは、サーバー・トークンが検出されたが、サーバーに接続できなかったことを示します。ISPF で実行中の場合の重大度は 0 です。この場合、ISPF メッセージ CKR871 が表示されます。

重大度: 0 または 4

CKX016I NORMSEL=s 標準宛先は node です
(NORMSEL=s Normal destination is
node)

説明: これは、標準宛先に関する決定内容を記述する診断メッセージです。

重大度: 0

CKX017I NORMAL はローカルです (Normal
means local)

説明: これは、標準パスがローカル・システムであると判明したことを記述する診断メッセージです。

重大度: 0

CKX018I CMSCALL EXECIO 失敗 RC=nn
(CMSCALL EXECIO failed RC=nn)

説明: このメッセージは、CMS での EXECIO を使用した空の RACF DATA A ファイルの作成試行が、示されている CMSCALL 戻りコードで失敗したことを示します。

重大度: 12

メッセージ 800 から 899

CKX809I...CKX836I *message*

説明: これらのメッセージは、デバッグ・オプションへの応答です。これらのメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 0

CKX837I *address* の CKXSRVIN の IDENTIFY RC=*n* (IDENTIFY RC=*n* for CKXSRVIN at *address*)

説明: このメッセージは、示されたアドレスで示されたモジュール名を設定する IDENTIFY サービスの失敗を示します。

ユーザーの処置: 「IDENTIFY サービス」については、MVS 資料を参照してください。

重大度: 12

CKX841I 重大な *function* エラー [*msg*] PC RC=*n* - ユーザー異常終了 841 を発行します (Severe *function* error [*msg*] PC RC=*n* - issuing user abend 841)

説明: リモート・ノードからの読み取り中 (SRVIN) またはリモート・ノードへの書き込み中 (SRVOU) に、サーバーのプログラム呼び出しインターフェースからエラー状態が返されました。*function* は SRVIN または SRVOU であり、メッセージ・タイプ *msg* が示される場合もあります。

ユーザーの処置: サーバーがアクティブであることを確認してから、サーバーを再始動して再試行してください。

重大度: 16

CKX842I SPECPROC から、範囲外の長さが返されました R0=*hexnum* - ユーザー異常終了 842 を発行します (SPECPROC returned length out of range R0=*hexnum* - issuing user abend 842)

説明: このメッセージは、zSecure Server に関連する内部インターフェースの 1 つが予期しない長さを受け取り、異常終了を発行したことを示します。

ユーザーの処置: IBM サポート・サイトで、このメッ

セージを検索してください。解決策が投稿されていない場合は、ローカル側およびリモート側の SYSPRINT を収集して、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKX845I *module* CKNSRVIR キュー *file* メッセージ *type* 送信元 *zsecsys* 長さ *length* 理由 *zsecsys2* ファイル *file2* の待機中 (*module* CKNSRVIR queue *file* message *type* from *zsecsys* length *length* because waiting on *zsecsys2* file *file2*)

説明: このメッセージは、DEBUG CKNSRVIR_POST ステートメントによって要求された場合のみ書き込まれます。このメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 0

CKX846I *module* CKNSRVIR リターン・キュー *file* メッセージ *type* 送信元 *zsecsys* 長さ *length* (*module* CKNSRVIR return queued *file* message *type* from *zsecsys* length *length*)

説明: このメッセージは、DEBUG CKNSRVIR_POST ステートメントによって要求された場合のみ書き込まれます。このメッセージに関する情報が必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 0

CKX851I ローカル CKNSERVE サーバーが使用できなくなります (ユーザー異常終了 214 (x'0D6')) (Local CKNSERVE server no longer available (user abend 214 (x'0D6')))

説明: zSecure Server プログラムが終了シーケンスを

実行している間に、このプログラムへのプログラム呼び出しが試行されました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。この問題に関するサポートが必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 00

CKX874I **RECFM=V(BS) RDW** *hex* が、レコード *n ddname volser dsname* で **LRECL=lrecl** を超えています (**RECFM=V(BS) RDW** *hex exceeds LRECL=lrecl at record n ddname volser dsname*)

説明: このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

メッセージ 900 から 999

CKX907I **DYNALLOC** トレース: **SVC 99** 戻りコード *nn* - *meaning* (**DYNALLOC trace: SVC 99 return code** *nn* - *meaning*)

説明: このメッセージは、SVC99 の失敗により、DAIRFAIL がメッセージ・テキストを返さなかった場合に発行されます。これには、SVC 99 (DYNALLOC) の完了後に、個別のテキスト・ユニットの内容の詳細を示す継続行があります。

重大度: 0

CKX915I **UNIX** レコード *nn* 書き込み失敗 **RC** *nn* [*meaning*] 理由 *qqqq rrrrx* [*meaning*] ファイル *ddname path* (**UNIX write record** *nn failed RC* *nn* [*meaning*] **reason** *qqqq rrrrx* [*meaning*] **file** *ddname path*)

説明: このメッセージは、BPX1WRV 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrx* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もしくはは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

CKX875I **RECFM=V(BS) BDW** *hex* が、レコード *n ddname volser dsname* で **BLKSIZE=blksize** を超えています (**RECFM=V(BS) BDW** *hex exceeds BLKSIZE=blksize at record n ddname volser dsname*)

説明: このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。ブロック記述子ワード (BDW) は 16 進数で示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは BDW を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もしくはは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

Services のマニュアルを使用してください。

重大度: 16

CKX931I *proc*:バッファオーバーラン - **dln=destinationlength sln=sourcelength:: data (proc: Buffer overrun - dln=destinationlength sln=sourcelength:: data)**

説明: フォーマット・プロシージャ *proc* でバッファオーバーランが発生しました。このメッセージの後、ユーザー異常終了 931 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

ユーザー異常終了 931 は SUPPRESS FMTABEND (「zSecure CARLa コマンド・リファレンス」で SUPPRESS コマンドの FMTABEND オプションを参照) または SUPPRESS MSG=931 を指定することによって抑止可能です。ただし、出力が破損したり他のエラーが発生したりする可能性があります。

重大度: 24

CKX944I **UNIX** *type* のクローズ **RC** *nn* [*meaning*]
理由 *qqq rrrr x* [*meaning*] ファイル
ddname path (**UNIX** *type* **close** **RC** *nn*
[*meaning*] **reason** *qqq rrrr x* [*meaning*]
file *ddname path*)

説明: このメッセージは、BPX1CLO 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

type は「wronly」または「rdonly」のいずれかです。

重大度: 16

CKX945I **UNIX** *action* が失敗しました。 **RC** *nn*
[*meaning*] 理由 *qqq rrrr x* [*meaning*] ファイル
ddname path (**UNIX** *action* **failed**
RC *nn* [*meaning*] **reason** *qqq rrrr x*
[*meaning*] **file** *ddname path*)

説明: このメッセージは、BPX1OPN または BPX1FCT 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

action は **wronly open**、**fcntl filetag**、または **rdonly open** です。

重大度: 16

CKX947I **filedesc** *off* の読み取りが失敗しました
RC *nn* [*meaning*] 理由 *qqqq rrrr x*
[*meaning*] ファイル *ddname path*
(**Reading filedesc** *off* **failed** **RC** *nn*
[*meaning*] **reason** *qqqq rrrr x* [*meaning*]
file *ddname path*)

説明: このメッセージは、示された戻りコード (10 進数) と、理由コード修飾子 *qqqq* と理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割された理由コードで、BPX1RED (UNIX 読み取り) 呼び出しが失敗したことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

び理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度: 16

CKX960 *message*

説明: このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。同等のメッセージ CKR0960 を参照してください。

CKX961 *message*

説明: このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。同等のメッセージ CKR0961 を参照してください。

CKX962 *message*

説明: このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。同等のメッセージ CKR0962 を参照してください。

CKX962A アテンションによりコマンドが終了しました (**Command terminated by attention**)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、ATTN キーを押すことでコマンドを終了したことを示します。

重大度: 10

CKX962B コマンドはバックグラウンドではサポートされていません (**Command not supported in background**)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO サービス機能を通してコマンドを実行できなかったことを示します。これは、PARMLIB メンバー IKJTSOxx の TSO 許可コマンド・リスト (AUTHCMD) に CKGRACF を含めないことが原因となる場合もあります。TSO PARMLIB コマンドを使用することによって、IPL を実行せずにこのメンバーへの変更を活動化できます。PARMLIB コマンドについて詳しくは、「TSO/E システム・プログラミング・コマンド解説書」を参照してください。

重大度: 16

CKX962C コマンドは失敗しました *abend code*
(**Command failed** *abend code*)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、示された *abend code* でコマンドが異常終了したことを示します。

重大度: 12

CKX962E **TSO/E 環境で実行されていません (Not running in a TSO/E environment)**

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、コマンド環境が TSO/E でないため、TSO コマンドを実行できなかったことを示します。

重大度: 16

CKX962F コマンドは失敗しました。戻りコード *code* (10 進数) (**Command failed, return code *code* (decimal)**)

説明: このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。これは、コマンドに失敗して、示された結果コード が返されたことを示しています。このメッセージの前のメッセージが CKG740I の場合、CKG740I の説明を参照してください。その他すべての状況の場合、実行されたコマンドを判別し、該当するマニュアルを確認して可能性のある戻りコードを調べてください。RACF コマンドの場合、戻りコードは「RACF コマンド言語解説書」に記載されています。

重大度: 08

CKX962G **CKGRACF コマンドで警告が発生しました。戻りコード 4 (CKGRACF command produced a warning; return code 4)**

説明: CKGRACF コマンドは正常に実行されましたが、警告メッセージが発生しました。

重大度: 4

CKX962I **IKJTSEV モジュールが見つかりませんでした (IKJTSEV module not found)**

説明: TSO 環境を確立しようとしたますが、TSO 環境初期化ルーチン IKJTSEV が見つかりませんでした。通常、IKJTSEV はリンク・リストにあります。このため、TSO コマンド実行試行時に検出された場合は戻りコード 20 が返され、それ以外の場合は 8 が返されます。

重大度: 8

CKX962I **IKJTSEV 戻りコード *xx* 理由コード *yy* サービス理由コード *zz* (10 進数) (IKJTSEV return code *xx* reason code *yy* service reason code *zz* (decimal))**

説明: TSO コマンドの実行試行時に検出される場合は戻りコード 20 が返されます。

重大度: 8

CKX962I *command* の SVC 220 戻りコード *hh* (16 進数) (**SVC 220 return code *hh* (hex) on *command***)

説明: RACF コマンドまたは CMS コマンドの実行試行時に検出される場合は、戻りコード 20 が返されます。

重大度: 8

CKX962L コマンドが許可ライブラリーで見つかりませんでした。 (**Command could not be found in an authorized library.**)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドが見つからなかったため、コマンドを実行できなかったことを示します。通常、これは CKGRACF 許可コンポーネント呼び出しの失敗です。失敗した理由は、CKGRACF がリンク・リスト内の許可ライブラリーに含まれていないか、または APF 許可 STEPLIB で見つからなかったためです。CKGRACF が含まれているライブラリーが APF 許可ライブラリーであるかどうかを確認してください。

重大度: 16

CKX962M コマンドが失敗した可能性があります。戻りコード *n* (**Command may have failed, return code *n***)

説明: このメッセージは、コマンドが 4 以下でゼロ以外の戻りコードを返したことを示します。このメッセージでは、最小戻りコードは 4 になります。このエラーが部分的な失敗または警告のいずれであるかは、コマンドによって異なります。

重大度: 4

CKX962N **APF モードからのコマンドは許可されていません - *command* (Command not allowed from APF mode - *command*)**

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、示されたコマンドが TSO AUTHCMD リスト内になく、APF 許可プログラムから呼び出される安全なコマンドの組み込みリストにもないことを示します。このコマンドをユーザー自身が要求した場合は、APF 許可のない状態で実行するか、または IKJEFT01 を使用して実行してください。組み込み関数に対する応答としてこのメッセージが返された場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポート

への連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CKX962O コマンドが TSO スタックをフラッシュしました - 出力トラップ・ファイルを閉じるために再ログオンが必要です
(Command has flushed TSO stack - relogin required to close output trap file)

説明: このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。これは通常、後続のコマンド出力が CKRTSPRT ファイルに書き込まれないことを意味します。コマンド出力が失われるか、zSecure の終了後に行モードで表示される可能性があります。z/OS のリリースによっては、通常の動作を復元するには ISPF を終了してから再度開始するだけでよいことがあります。最悪の場合は、再ログオンが必要になることもあります。

重大度: 0

CKX962P % を介した CLIST 処理はサポートされていません (CLIST processing through % not supported)

説明: このメッセージは、コマンド実行モジュールによって発行されます。% 演算子を使用して CLIST を実行しようとしたことを示します。CLIST の実行はサポートされていません。

重大度: 16

CKX962S IKJEFTSR が失敗しました。戻りコード *error* 理由コード *reason* (IKJEFTSR fails return code error reason code reason)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドを実行できなかったことを示します。示されているエラー・コードと理由コードがコマンドから返されました。

重大度: 16

CKX962T コマンドが失敗しました ATTACH rc rc (10 進数) (Command failed, ATTACH rc rc (decimal))

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドを付加できなかったことを示します。

重大度: 16

CKX962U 許可環境から許可されていない関数を呼び出すことはできません (Unauthorized functions cannot be invoked from an authorized environment)

説明: このメッセージは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKX962W コマンドが見つかりません (Command not found)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドが見つからなかったため、コマンドを実行できなかったことを示します。通常、これは CKGRACF 許可コンポーネント呼び出しの失敗です。失敗した理由は、CKGRACF がリンク・リスト内の許可ライブラリーに含まれていないか、または APF 許可 STEPLIB で見つからなかったためです。CKGRACF が含まれているライブラリーが APF 許可ライブラリーであるかどうかを確認してください。

重大度: 16

CKX962X コマンド名の構文エラー (Syntax error in the command name)

説明: このメッセージはコマンド実行モジュールによって発行され、TSO コマンドの名前が構文的に正しくなかったため、コマンドを実行できなかったことを示します。

重大度: 16

CKX962Y 動的 TSO 環境では許可コマンドはサポートされていません - 代わりに IKJEFT01 から呼び出してください
(Authorized commands not supported in dynamic TSO environment - call from IKJEFT01 instead)

説明: これは、APF 以外および IKJEFT01 以外の環境から APF コマンドを実行しようとするとき発生します。APF ライブラリーまたは IKJEFT01 内部から CKX を実行してください。

重大度: 20

CKX991I 予期しない [type|nil] ポインター。場所:
procedure - ユーザー異常終了 991
(Unexpected [type|nil] pointer in
procedure - **user abend 991)**

説明: このメッセージは、プログラムの予期しない状態を示します。プログラムはユーザー異常終了 991 で終了します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

CKX992I **ABNEXIT/STXIT/ESTAE** 戻りコード *rc*
(ABNEXIT/STXIT/ESTAE return code
rc)

説明: このメッセージは、プログラムが異常終了リンケージの確立に失敗したことを示します。

重大度: 04

第 8 章 CQT メッセージ

この章では、zSecure CICS Toolkit のモジュール CQTPMSGE で発行されるメッセージについて説明します。どのメッセージも、CQT という 3 文字の接頭部で始まります。

メッセージ 0 から 99

CQT000 ツールキットのサブタスクがアクティブではありません (**The Toolkit subtasks are not active**)

説明: zSecure CICS Toolkit のサブタスクがまだ開始されていません。

zSecure CICS Toolkit が RACF データベースにアクセスするためには、サブタスクが接続されている必要があります。このエラーは、通常、CICS の初期化時に発生します。

CICS 開始ログを参照して、エラー・メッセージがないか確認してください。例えば、CQTPLT00 が実行されなかったか (CICS リソース定義および DFHPLTPI を確認してください)、または CQTPATCH が正しく定義されていない可能性があります。

zSecure CICS Toolkit SVC が正しくインストールされていないか、SVC を使用する権限が領域に付与されていないか (CICS 領域のユーザー ID には FACILITY クラス内の TOOLKIT.SVC に対する READ アクセス権限が必要です)、サブタスク・モジュール (CQTSxxxx) が (DFHRPL ではなく) CICS steplib にないか、zSecure CICS Toolkit が PARMLIB の IFAPRDxx によって無効になっている可能性があります。

CQT001 プログラム (*program*) が使用できません。 (**(Program (program) not available.)**)
別の関数を選択してください (**Please select a different function**)

説明: zSecure CICS Toolkit がモジュール *program* に制御を渡そうとしたときに、選択した関数が失敗しました。

CICS PPT 定義を参照して、すべての zSecure CICS Toolkit プログラムが定義されていること、それらが RPL にあること、およびそれらが有効になっていることを確認してください。

CQT002 無効な DFLTGRP (**Invalid DFLTGRP**)

説明: ユーザー ID に指定されている DFLTGRP (デフォルト・グループ) が存在しません。既存の RACF グループを指定してください。

CQT003 TSQUEUE 名が指定されていません (**(TSQUEUE name not specified)**)

説明: 出力データを CICS 一時ストレージ・キューに返すためのフラグが設定されていますが、TSQUEUE 名が指定されていません。

有効な TSQUEUE 名を指定するか、または出力データを TSQUEUE に返さないようにしてください。

CQT004 TSQUEUE *tsqueue* の権限がありません。 (**(Not authorized for TSQUEUE *tsqueue*.)**)

説明: 端末ユーザーには、指定された TSQUEUE を操作するための十分なアクセス権限がありません。CICS ログを参照して、追加情報がないか確認してください。

CQT006 有効な RACF サインオンを実行しませんでした (**(You have not performed a valid RACF signon)**)

説明: CICS領域で RACF USERID を使用した有効なサインオンが実行されませんでした。

どの zSecure CICS Toolkit 関数を使用する場合でも、まず有効な RACF USERID を使用してサインオンを実行する必要があります。

有効なサインオンを実行したにもかかわらず、このメッセージが返された場合は、トランザクション・ダンプを取得し、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CQT007 CQTPCNTL をロードできません。
(Unable to load CQTPCNTL.)CICS リ
ソース定義を確認してください (Check
the CICS resource definitions)

説明: CQTPCNTL をロードしようとしたときに、エラーが検出されました。

CICS リソース定義で CQTPCNTL を参照して、このモジュールが定義され、有効になっていることを確認してください。また、DFHRPL を介してこのモジュールを使用できることを確認してください。

CQT008 commarea アドレス/長さがゼロです
(Commarea address/length is zero)

説明: zSecure CICS Toolkit に渡された commarea アドレスまたは長さがゼロです。

API または 2 回目以降の RTMM 呼び出しで zSecure CICS Toolkit を呼び出すときには、commarea が必要です。zSecure CICS Toolkit を API から呼び出している場合は、アプリケーション・プログラムが有効な commarea を渡していることを確認してください。2 回目以降の RTMM 呼び出しでこのエラーが発生している場合は、CEDF を使用して、commarea が渡されているかどうかを判別してください。渡されていない場合は、そのエラーの原因 (例えばストレージの問題など) を判別してください。引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CQT009 更新するユーザー ID を入力してください
(Enter userid to be updated)

説明: 変更するユーザー ID を入力してください。これは有効な RACF ユーザー ID であることが必要です。また、そのユーザー ID に対するアクセス権限を持っている必要があります。

ユーザー ID へのアクセス権限は、そのユーザー ID のデフォルト・グループに基づきます。AUSR.dfltgrp に対するアクセス権限を持っている必要があります (dfltgrp は、ユーザーID のデフォルト・グループです)。

CQT010 無効な権限です。(Invalid authority.) U (使用)、C (作成)、N (接続)、J (結合) のいずれかである必要があります (Must be U (Use); C (Create); N (Connect); J(Join))

説明: 指定した権限のタイプが正しくありません。

U、C、N、J のいずれかを指定する必要があります。

CQT011 ユーザーをこのグループ RC
CONN.grpname に接続する権限がありません
(You are not authorised to
connect users to this group RC
CONN.grpname)

説明: アクセス権限のないグループを指定しました。RC は、CONN.grpname に対するアクセス権限検査からの RACF 戻りコードです。

CONN.grpname へのアクセス権限が必要です (grpname は、グループの名前です)。

CQT012 無効なグループ名 (Invalid group name)

説明: グループ名が入力されていません。

グループ名を入力して、関数を完了する必要があります。有効なグループ名を入力してください。

CQT013 SPECIAL オペランドは Y または N である必要があります (SPECIAL operand must be Y or N)

説明: SPECIAL に対する指定が無効です。

このフィールドの有効なエントリーは Y と N だけです。

CQT014 OPERATIONS オペランドは、Y または N である必要があります
(OPERATIONS operand must be Y or N)

説明: OPERATIONS に対する指定が無効です。

このフィールドの有効なエントリーは Y と N だけです。

CQT015 PF1=切り替え 3=オプション変更
ENTER=次 CLEAR=メインメニュー
(PF1=Toggle 3=Chgopts ENTER=Next
CLEAR=Main Menu)

説明: 通知メッセージ。

検索オプションを変更するには PF03 を押します。次のプロファイルを表示するには ENTER を押します。メインメニューに移動するには CLEAR を押します。

CQT016 ユーザー ID とグループ名を入力してください (**Enter userid and group name**)

説明: USERID と GROUP 名を必要とする関数を選択しました。

要求に応じてUSERID と GROUP 名を入力してください。

CQT017 このグループ RC REMV.grpname からユーザーを削除する権限がありません (**You are not authorized to remove users from this group RC REMV.grpname**)

説明: アクセス権限のないグループを指定しました。RC は、REMV.grpname に対するアクセス権限検査からの RACF 戻りコードです。

REMV.grpname へのアクセス権限が必要です (grpname は、グループの名前です)。

CQT018 ユーザー ID を入力してください (**Enter userid**)

説明: ユーザー ID を必要とする関数を選択しました。

有効な USERID を入力してください。

CQT019 ユーザー・プロファイルの定義は失敗しました。データ・セキュリティに通知してください (**Inform data security**)

説明: ADDUSER でエラーが発生しました。

ユーザーを RACF データベースに追加しようとしたときに、zSecure CICS Toolkit がエラー条件を検出しました。このことをデータ・セキュリティ管理者に報告してください。RACF データベースに問題がある可能性があります。

CQT020 追加するユーザーの詳細を入力してください。 (**Enter details of user to be added.**)

説明: ADDUSER 関数を選択しました。

追加するユーザーに関連する情報を入力してください。

CQT021 無効なユーザー IDです。 (**Invalid userid.**)英字、数字、#、\$、および @ のみを使用する必要があります (**Must be letters, numbers, #, \$ or @**)

説明: 入力したユーザー ID は無効です。

ユーザー ID は、RACF 命名規則に準拠し、英字、数

字、および国別文字の #、\$、@ だけで構成されている必要があります。

CQT022 無効な名前です。 (**Invalid name.**) 英字、数字、#、\$、および @ のみを使用する必要があります (**Must be letters, numbers, #, \$ or @**)

説明: 入力した名前は無効です。

名前には、1 つ以上の文字が含まれている必要があります。

CQT023 曜日標識は、Y または N である必要があります (**Day indicator must be Y or N**)

説明: アクセスの曜日の指定が正しくありません。

ユーザーがどの曜日にシステムにアクセスできるかを指定する場合、ユーザーにシステムへのアクセスを許可する曜日に対しては Y を入力し、ユーザー・アクセスを制限する曜日に対しては N を入力する必要があります。他の値はすべて無効です。

CQT024 FROM と TILL の時刻は、どちらも 0000 であるか、または 0001 から 2359 の範囲である必要があります (**FROM and TILL times must BOTH be 0000, or range from 0001 thru 2359**)

説明: 指定した時刻が正しくありません。

ユーザーがログオンできる時刻を指定するときは、FROM と TILL のどちらの時刻も 0001 (深夜 0 時) から 2359 (午後 11:59) である必要があります。特殊値 0000 は、ログオン時刻に制限がないことを示します。

CQT025 無効なグループです。 (**Invalid group.**) 英字、数字、#、\$、および @ のみを使用する必要があります (**Must be letters, numbers, #, \$ or @**)

説明: 入力したグループ名は無効です。

ユーザー ID は、RACF 命名規則に準拠し、英字、数字、および国別文字の #、\$、@ だけで構成されている必要があります。

CQT026 ユーザーをこのグループに追加する権限がありません (**You are not authorised to add users to this group**)

説明: アクセス権限のないグループを指定しました。

ADUS.dfltgrp へのアクセス権限が必要です (dfltgrp はグループの名前です)。

CQT027 無効な権限です。(**Invalid authority.**) U (使用) または C (作成) である必要があります。(**must be U (Use) or C (Create).**) 再入力してください (**Please re-enter**)

説明: このユーザーの権限は無効です。

デフォルト・グループに対するこのユーザーの権限を指定するときは、U または C を入力する必要があります。他の値はすべて無効です。

CQT028 **RACRF=safreturn RACR0=safreason
RF=rr R0=re RSC = (resclass) LAST =
(last_res)**

説明: zSecure CICS Toolkit により、どの関数に対する権限もないと判断されました。

このトランザクションにより、使用する権限がある zSecure CICS Toolkit 関数が検査され、どの関数の使用も許可されていないと判断されました。zSecure CICS Toolkit 関数にアクセスできるはずである場合は、データ・セキュリティ管理者に連絡してください。

zSecure CICS Toolkit は、RACROUTE REQUEST=FASTAUTH を発行して権限を確認します。その応答は、次のようになりました。

RACRF = The SAF return code in register 15
RACR0 = The SAF reason code in register 0
RF = The RACF return code in register 15
R0 = The RACF reason code in register 0
RSC = The RACF resource class used in the
RACROUTE
LAST = The last resource name checked

戻りコードおよび理由コードは、どの zSecure CICS Toolkit 関数の使用も許可されていない理由を判別するために使用できます。RCHK トランザクション (zSecure CICS Toolkit 検証プログラムのデフォルト名) を使用する権限がある場合は、このトランザクションを実行して、zSecure CICS Toolkit のインストールを検証できます。RCHK トランザクションの使用中に PF1 を押すと、zSecure CICS Toolkit 関数定義と、ご使用のユーザー ID におけるそれぞれの定義の SAF/RACF 戻りコード/理由コードを表示できます。

CQT029 ユーザー ID/グループ名と、リソースを入力してください (**Enter userid/group name and resource**)

説明: PERMIT を行う USERID または GROUP と、そのユーザーまたはグループに使用を許可する RESOURCE を入力する必要があります。

CQT030 一時 ACEE の作成に失敗しました。
(**Create temporary ACEE failed.**)
RC=xxxx-xxxx-xxxx

説明: RACROUTE REQUEST=VERIFY にユーザーおよびグループを指定して ACEE を作成しようとしたが、表示された戻りコードで失敗しました。RC に示された 3 つのフィールドは、SAF 戻りコード、RACF 戻りコード、および RACF 理由コードです。これらの値の説明については、「z/OS Security Server RACF RACROUTE マクロ解説書」を参照してください。

CQT031 **IRRPNL00** の呼び出しに失敗しました。
(**Call to IRRPNL00 failed.**)
RC=xxxx-xxxx

説明: IRRPNL00 関数を使用して権限のあるプロファイルを表示しようとしたが、表示された戻りコードで失敗しました。RC の 2 つのフィールドは、RACF 戻りコードと RACF 理由コードです。これらの値の説明については、「z/OS Security Server RACF マクロおよびインターフェース」を参照してください。

CQT033 無効な **seclevel** (**Invalid seclevel**)

説明: ADDUSER 画面に入力した SECLEVEL は、SECDATA リソース・クラスの SECLEVEL プロファイルで定義されているメンバーに対応していません。未定義の SECLEVEL は追加できません。

CQT034 検索を行わない場合には ID を入力する必要があります (**An ID must be entered if not doing a search**)

説明: プロファイル名が必要です。

(PF11 を押して) 検索を実行しない場合は、リストに含めるプロファイル名 (例えば、GROUP 名や DATASET 名) を入力する必要があります。

CQT035 無効なデータ・セット名 (**Invalid dataset name**)

説明: データ・セット名が必要です。

(PF11 を押して) 検索を実行しない場合は、リストに含めるデータ・セット名を入力する必要があります。

CQT036 検索を行わない場合にはユーザー ID を入力する必要があります (**A userid must be entered if not doing a search**)

説明: ユーザー ID が必要です。

(PF11 を押して) 検索を実行しない場合は、リストに含

めるユーザー ID 名を入力する必要があります。

CQT037 無効なユーザー ID (**Invalid userid**)

説明: ユーザー ID が必要です。

(PF11 を押して) 検索を実行しない場合は、リストに含めるユーザー ID を入力する必要があります。

CQT038 ユーザー ID またはパスワードがありません (**Userid or password is missing**)

説明: API を使用して、USERID と PASSWORD を検証しようとしています。

USERID または PASSWORD、あるいはその両方がありません。エラーを訂正し、やり直してください。

CQT039 ユーザー ID が見つかりません (**Unable to locate userid**)

説明: RACF 内で USERID が見つかりませんでした。

zSecure CICS Toolkit は、指定された USERID を RACF 内で見つけることができませんでした。入力している USERID が有効であり、まだ削除されていないことを確認してください。

CQT040 このユーザー ID に対する権限がありません。 (**You are not authorised for this userid.**) デフォルト・グループは無効です (**Default group is invalid**)

説明: この USERID のデフォルト・グループが見つかりませんでした。

zSecure CICS Toolkit では、ユーザーのデフォルト・グループがなければ、ユーザー ID にアクセスする権限を確認できません。このユーザー・プロファイルでは、デフォルト・グループが見つかりませんでした。データ・セキュリティ管理者にエラーを報告してください。

CQT041 ユーザー ID を入力する必要があります (**A userid has to be entered**)

説明: USERID が必要です。

この関数を使用するには、ユーザー ID を入力する必要があります。有効なユーザー ID を入力してください。

CQT042 このユーザー ID に対する権限がありません (**You are not authorised for this userid**)

説明: この USERID に対する権限がありません。

ユーザー ID へのアクセス権限は、そのユーザー ID のデフォルト・グループに基づきます。LUSR.dfltgrp へのアクセス権限が必要です (dfltgrp はユーザー ID のデフォルト・グループです)。

CQT043 このユーザー ID を再開できません (**Unable to resume this userid**)

説明: RESUME 関数でエラーが発生しました。

zSecure CICS Toolkit で、このユーザーを再開しようとしたときに、エラーが発生しました。RACF データベースにエラーがある可能性があるため、データ・セキュリティ管理者に通知してください。

CQT044 CLAUTH フィールドを更新できません。 (**Unable to update CLAUTH field.**) ユーザーに既に権限が付与されている可能性があります。 (**User may already have authority.**)

説明: CLAUTH フィールドの更新に失敗しました。

CLAUTH フィールドを更新しているときに、エラーが発生しました。ユーザーにこのクラスの権限が既に付与されているか、またはこのクラスが RACF に定義されていない可能性があります。詳細については、データ・セキュリティ管理者に連絡してください。

CQT045 NOCLAUTH フィールドを更新できません。 (**Unable to update NOCLAUTH field.**) ユーザーがこのクラスに定義されていない可能性があります。 (**User may not be defined to this class.**)

説明: NOCLAUTH フィールドの更新に失敗しました。

NOCLAUTH フィールドを更新しているときに、エラーが発生しました。ユーザーにはこのクラスの権限がないか、またはこのクラスが RACF に定義されていない可能性があります。詳細については、データ・セキュリティ管理者に連絡してください。

CQT046 SMFレコード RC=rc を書き込めません (**Unable to write SMF record RC=rc**)

説明: SMF データ・セットに書き込むときに、エラーが検出されました。

zSecure CICS Toolkit が RACF データベースを更新するたびに、その内容が SMF レコードに書き込まれます。エラーが発生したために、SMF レコードを書き込めませんでした。SMF データ・セットに空き領域があることと、他のタイプの問題が発生していないことを確

認してください。 RACF データベースの更新は正常に実行されています。

CQT047 *profile_field* を変更できません (**Unable to alter profile_field**)

説明: ALTUSER 関数でエラーが検出されました。

zSecure CICS Toolkit は、ユーザーのプロファイルを変更するときにエラーを検出しました。プロファイル内のどのフィールドに変更が加えられたかは、*profile_field* で示されます (例えば、LOGTIME)。データ・セキュリティ管理者に通知し、ユーザーのプロファイルを参照してエラーがないか確認してください。

CQT048 CQTPCNTL をロードできません、終了します。 (**Unable to load CQTPCNTL, exit.**) CICS リソース定義を確認してください (**Check CICS resource definition**)

説明: zSecure CICS Toolkit は、インストール・オプション・モジュール CQTPCNTL をロードできませんでした。

CQTPCNTL には、zSecure CICS Toolkit が必要とする制御情報が含まれています。ロードできないと、zSecure CICS Toolkit は正しく機能できません。CICS リソース定義を確認し、モジュールが正しく定義され、DFHRPL を介して使用できることを確認してください。

CQT049 無効な RSRCLASS が CQTPCNTL に定義されました。 (**Invalid RSRCLASS was defined in CQTPCNTL.**) サブタスクはロードされません (**Subtasks not loaded**)

説明: CQTPCNTL パラメーター・モジュールに指定された RSRCLASS が正しくありませんでした。

RSRCLASS クラスは、この CICS システムで使用されているリソース・クラスである必要があります。例えば、TCICSTRN、PCICSPSB、MCICSPPT などです。

CQT050 CQTPATCH にリンクできません、終了します。 (**Unable to link CQTPATCH, exit.**) CICS リソース定義を確認してください (**Check CICS resource definition**)

説明: zSecure CICS Toolkit は、CQTPATCH にリンクできませんでした。

CQTPATCH は、zSecure CICS Toolkit サブタスクをロードするモジュールです。サブタスクが接続されていないと、zSecure CICS Toolkit は機能しません。CICS

リソース定義を確認し、モジュールが正しく定義され、DFHRPL を介して使用できることを確認してください。

CQT051 サブタスクが切り離されました (**Subtasks detached**)

説明: zSecure CICS Toolkit サブタスクの停止を要求しました。このメッセージは、CQTPDTCH プログラムが正常に戻ったことを示します。

CQT052 サブタスクが接続されました (**Subtasks attached**)

説明: zSecure CICS Toolkit サブタスクの開始を要求しました。このメッセージは、CQTPLT00 プログラムが正常に戻ったことを示します。

CQT053 サブタスクは既にアクティブです (**Subtasks already active**)

説明: zSecure CICS Toolkit サブタスクの開始を要求しましたが、モジュール CQTPAPRM のステータス・フラグはサブタスクがまだアクティブであることを示していました。サブタスクを 1 つでも再起動する必要がある場合は、まずすべてのサブタスクを停止してから別のサブタスクを開始する必要があります。

CQT054 所有者 ID (グループまたはユーザー) が見つかりません (**Unable to locate owner id (GROUP or USER)**)

説明: 所有者 ID は無効です。

所有者として指定した ID が RACF データベースで見つかりません。新しい所有者 ID を入力してください (所有者は USERID か、または GROUP 名です)。

CQT055 グループ名が見つかりません (**Unable to locate group name**)

説明: グループ名は無効です。

指定したグループ名が、RACF データベースにありません。新しいグループ名を入力してください。

CQT056 関数を完了するには、PF5 を押してください (**Press PF5 to complete the function**)

説明: zSecure CICS Toolkit は、関数を完了する準備ができました。

すべてのアクセス権限検査と編集が完了し、エラーは見

つきりませんでした。PF05 を押すと、更新が実装されます。

CQT057 接続に失敗しました。データ・セキュリティに通知してください (**Inform data security**)

説明: メッセージに示されたエラーが発生しました。

データ・セキュリティ管理者に通知してください。
RACF データベース・エラーがないか確認してください。

CQT058 グループ・プロファイルの更新に失敗しました。(**Update of group profile failed.**)
データ・セキュリティに通知してください (**Inform data security**)

説明: メッセージに示されたエラーが発生しました。

データ・セキュリティ管理者に通知してください。
RACF データベース・エラーがないか確認してください。

CQT059 ユーザー・プロファイルの更新は失敗しました。データ・セキュリティに通知してください (**Inform data security**)

説明: メッセージに示されたエラーが発生しました。

データ・セキュリティ管理者に通知してください。
RACF データベース・エラーがないか確認してください。

CQT060 ユーザーはグループに接続されました (**User has been connected to the group**)

説明: 接続 が完了しました。

USERID は、グループに正常に接続されました。

CQT061 グループ名を入力する必要があります (**A GROUP name has to be entered**)

説明: グループ名を入力しませんでした。

有効なグループ名を入力してください。

CQT062 所有者は無効です (**OWNER is invalid**)

説明: 所有者 ID を入力しませんでした。

有効な所有者 ID を入力してください。USERID または GROUP 名です。

CQT063 このプロファイルのエントリーがありません (**No entries for this profile**)

説明: 検索条件に一致するプロファイルはありません。

検索の実行後、zSecure CICS Toolkit は検索条件に一致するプロファイルを見つけることができませんでした。

CQT064 この条件に一致するエントリーの最後 (**End of entries matching this criteria**)

説明: これ以上プロファイルはありません。

RACF データベースには、指定した検索条件に一致するプロファイルはこれ以上ありません。

CQT065 ユーザーはまだデフォルト・グループ以外のグループに接続されています (**User still connected to groups other than default group**)

説明: ユーザーは、まだ複数のグループに接続されています。

ユーザーを削除するには、デフォルト・グループを除くすべてのグループからそのユーザーを削除する必要があります。このユーザーはまだ他のグループに接続されています。

CQT066 ユーザーはデフォルト・グループから削除できません (**You may not remove a user from their default group**)

説明: 指定したグループは、ユーザーのデフォルト・グループです。

デフォルト・グループからユーザーを削除することはできません。

CQT067 接続グループの削除に失敗しました。(**Deletion of CONNECT GROUP failed.**) データ・セキュリティに通知してください (**Inform data security**)

説明: メッセージに示されたエラーが発生しました。

データ・セキュリティ管理者に通知してください。
RACF データベース・エラーがないか確認してください。

CQT068 ユーザー・プロファイルの削除に失敗しました。(**Delete of USER profile failed.**)
データ・セキュリティに通知してください (**Inform data security**)

説明: メッセージに示されたエラーが発生しました。
データ・セキュリティ管理者に通知してください。
RACF データベース・エラーがないか確認してください。

CQT069 ユーザーは削除されました (**User has been deleted**)

説明: DELUSER 関数は完了しました。

指定された USERID は RACF データベースから削除されました。

CQT070 ユーザーは、グループから削除されました (**User has been removed from group**)

説明: REMOVE 関数は完了しました。

USER は、指定された GROUP から削除されました。

CQT071 接続グループの定義に失敗しました。
(**Definition of CONNECT GROUP failed.**) ユーザーは既に接続されている可能性があります (**User may already be connected**)

説明: ユーザーを接続しようとしたときに、エラーが発生しました。

ユーザーは、指定されたグループに既に接続されている可能性があります。

CQT072 ユーザーは定義されました (**User has been defined**)

説明: ADDUSER 関数は完了しました。

指定された USERID は、RACF データベースに既に追加されています。

CQT073 zSecure CICS Toolkit サブタスクが異常終了しました。(The zSecure CICS Toolkit subtask has abended.) CICS ログを確認してください (Check the CICS log)

説明: zSecure CICS Toolkit サブタスクのいずれかが異常終了しました。

zSecure CICS Toolkit サブタスクで異常終了が発生しました。ログを確認し、あらゆる文書を参照して問題を判別してください。サブタスクを切り離してから再開するには、所定の RTST トランザクションを呼び出します。

CQT074 コマンドは正常に完了しました
(**Command completed successfully**)

説明: 要求された関数は完了し、エラーは検出されませんでした。

CQT075 このリソースに対する権限がありません
(**You are not authorised for this resource**)

説明: このリソースに対する権限がありません。

ユーザー/グループに対してリソースを許可するには、そのリソースへのアクセス権限が必要です。リソースへのアクセス権限を得るには、セキュリティ管理者に連絡してください。

CQT076 リソース名を定義する必要があります (**A resource name has to be defined**)

説明: 関数を完了するには、リソース名を入力する必要があります。

有効なリソース名を入力してください。

CQT077 PERMIT は失敗しました。ユーザーは既にアクセス権限があるか、またはリソースが RACF に定義されていません (**User already has access or resource not defined to RACF**)

説明: ユーザーにリソースを許可しようとしたましたが、失敗しました。リソースが RACF に定義されていることと、ユーザーが現在アクセス・リストに存在しないことを確認してください。

CQT078 DELETE は失敗しました。ユーザーがアクセス・リストに存在しないか、またはリソースが RACF に定義されていません
(**User not in access list or resource not defined to RACF**)

説明: リソースからユーザーを削除しようとしたましたが、失敗しました。リソースが RACF に定義されていることと、ユーザーがアクセス・リストに存在することを確認してください。

CQT080 指定されたエントリが存在しないか、または後続のエントリが存在しません
15=0C (Specified entry does not exist or no subsequent entries 15=0C)

説明: RACF データベースには、一致するプロファイルがありません。

プロファイル (LISTUSER、LISTGROUP、etcetera) を表示しようとしていた場合は、そのプロファイルに一致するものが見つかりませんでした。検索を実行してからデータベース経由で表示しようとしていた場合は、エントリーの末尾に到達しました。

CQT081 不明なエラー: REG 15 = 10 (HEX)
15=10 (Unknown error : REG 15 = 10
(HEX) 15=10)

説明: ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT082 RACF データ・セットにアクセスしよう
としたときに、入出力エラーが発生しまし
た 15=18 (An I/O error occurred while
accessing the RACF data set 15=18)

説明: ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT083 要求が実施された時点で RACF はアクテ
ィブではありませんでした 15=1C (RACF
was not active at the time of the
request 15=1C)

説明: ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT084 この要求タイプには作業域が必要ですが、
作業域は提供されませんでした 15=20
(The request type requires a work
area but area was not provided 15=20)

説明: ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT085 エントリー名が無効であるか、またはエン
トリー・タイプが正しくありません
15=24. (Invalid entry name or
incorrect entry type 15=24.)

説明: ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。「RACF システム・プログラマーのガイド」および ICHEINTY の戻りコードを参照して、RC=24 の理由を調べることもできます。

CQT086 ユーザー指定の作業域は、すべてのデータ
を保持できるほど大きくありません
15=2C (User supplied work area not
large enough to hold all data 15=2C)

説明: ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT087 ユーザー指定の作業域は、最小許容値より
も小さくなっています 15=30 (User
supplied work area is smaller than the
minimum allowed 15=30)

説明: ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの

『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT088 要求を実施すると、**RACF** 索引が過去の最大値 **(10)** よりも大きくなります **15=48**
(Request would have caused RACF index to increase past max(10) 15=48)

説明: ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT089 索引ブロックが無効であるか、または索引ブロックが読み込めません **15=4C**
(Invalid index block encountered or non index block read 15=4C)

説明: ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT090 **REG 15** の不明な条件コード **15=??**
(Unknown condition code in REG 15 15=??)

説明: ICHEINTY でのエラー。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。また、「RACF システム・プログラマーのガイド」を参照したり、ICHEINTY の戻りコードを参照することもできます。

CQT091 検証は正常に完了しました (**Verify has completed successfully**)

説明: VERIFY 関数からの通常の戻りコードです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC =

00 RACFRET = 00 RACFRES = 00 です。

CQT092 **TOKININ** は指定されましたが、その長さが長すぎました (**TOKININ was specified but its length was too large**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 00 RACFRET = 04 RACFRES = 0C です。

CQT093 **STOKEN** は指定されましたが、その長さが長すぎました (**STOKEN was specified but its length was too large**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 00 RACFRET = 04 RACFRES = 10 です。

CQT094 要求を処理するときに、**RACF** が呼び出されませんでした (**RACF was not called to process the request**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 04 RACFRET = 00 RACFRES = 0 です。

CQT095 ユーザー・プロファイルは、**RACF** に定義されていません (**The user profile is not defined to RACF**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 04 RACFRET = 04 RACFRES = N/A です。

CQT096 **RACF** はアクティブではありません (**RACF is not active**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 04 RACFRET = 20 RACFRES = N/A です。

CQT097 **RJE** または **NJE** オペレーター **FACILITY** クラス・プロファイルが見つかりません (**RJE or NJE operator FACILITY class profile not found**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 04 RACFRET = 58 RACFRES = N/A です。

CQT098 パスワードには権限がありません (**The password is not authorized**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

メッセージ 100 から 199

CQT100 新しいパスワードは無効です (**The new password is invalid**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 10 RACFRES = N/A です。

CQT101 ユーザーはグループに定義されていません (**The user is not defined to the group**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 14 RACFRES = N/A です。

CQT102 インストール・システム出口ルーチンによって、VERIFY が失敗しました (**VERIFY was failed by the installation exit routine**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 18 RACFRES = N/A です。

CQT103 ユーザー・アクセスが取り消されました (**The users access has been revoked**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 1c RACFRES = N/A です。

CQT104 指定されたグループへのユーザー・アクセスが取り消されました (**The users access to the specified group has been revoked**)

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 08 RACFRES = N/A です。

CQT099 パスワードの期限が切れました (**The password has expired**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 0C RACFRES = N/A です。

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 24 RACFRES = N/A です。

CQT105 **OIDCARD** パラメーターが必要ですが、指定されていません (**OIDCARD parameter is required but not supplied**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 28 RACFRES = N/A です。

CQT106 **OIDCARD** パラメーターは、指定されたユーザーには無効です (**OIDCARD parameter is invalid for specified user**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 2C RACFRES = N/A です。

CQT107 ユーザーには、この入力ポートに対する権限がありません (**User not authorised to this port of entry**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 30 RACFRES = N/A です。

CQT108 ユーザーには、この曜日またはこの曜日のこの時刻に対する権限がありません (**User is not authorized on this day, or at this time of day**)

CQT109 • CQT119

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 30 RACFRES = 04 です。

CQT109 入力ポートは、この曜日またはこの曜日のこの時刻には使用できません (**Port of entry may not be used on this day, or at this time of day**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 30 RACFRES = 08 です。

CQT110 ユーザーには、アプリケーションを使用する権限がありません (**The user is not authorized to use the application**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。失敗の原因は以下のとおりです。

RACROUTE=VERIFY からの戻りコードは、SAFRC = 08 RACFRET = 34 RACFRES = N/A です。

CQT111 戻りコードが VERIFY の有効範囲外です (**Return codes outside scope of VERIFY**)

説明: VERIFY 関数が失敗しました。戻りコードが検証操作の有効範囲内にありません。サポートが必要な場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CQT112 無効なクラス名です。(**Invalid CLASS name.**) クラスは定義されていないか、またはアクティブではありません。(**Class is not defined or inactive.**)

説明: 入力した CLASS がクラス記述子テーブルで見つからないか、または見つかったもののアクティブではありませんでした。アクティブなリソース・クラスの有効なクラス名を入力してください。

CQT113 このリソース・クラスに対する権限がありません (**You are not authorized to this RESOURCE CLASS**)

説明: 実行しようとした関数をこのリソース・クラスで

実行する権限がありません。データ・セキュリティ管理者に連絡してください。

CQT114 無効なプロファイル名 (**Invalid PROFILE name**)

説明: プロファイル名が入力されなかったか、またはプロファイル名に総称文字が含まれているものの、このプロファイル・タイプ (TYPE=G) に許可されるものではありませんでした。

CQT115 要求は失敗しました。 **SAFRET=xx RACFRET=xx RACFRES=xx**

説明: RACF 要求が失敗しました。SAF 戻りコード、および RACF の戻りコードと理由コードが示されています。これらのコードの説明については、「RACF z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」を参照してください (RACROUTE REQUEST=EXTRACT)。

CQT116 OWNER/NOTIFY のユーザー ID が見つかりません (**Unable to locate userid for OWNER/NOTIFY**)

説明: OWNER/NOTIFY フィールドに指定されているユーザー ID は、RACF データベースに存在しません。有効なユーザー ID を入力してください。

CQT117 audit-A/S/F/N か AUD SUCC(FAIL) R/U/C/A、またはその両方を指定してください (**Specify audit-A/S/F/N and/or AUD SUCC(FAIL) R/U/C/A**)

説明: AUDIT、AUD SUCC、AUD FAIL の各パラメーターには、示されたオプションのいずれかが必要です。

CQT118 UACC= ALTER / CONTROL / UPDATE / READ / NONE / EXECUTE を指定してください (**Specify UACC= ALTER / CONTROL / UPDATE / READ / NONE / EXECUTE**)

説明: UACC パラメーターには、示されたオプションのいずれかが必要です。

CQT119 WARN= Y または N を指定してください (**Specify WARN= Y or N**)

説明: WARN パラメーターには、示されたオプションのいずれかが必要です。

CQT120 **LEVEL** は、000 から 099 の範囲内に
ある必要があります (**LEVEL must be in
the range of 000 - 099**)

説明: LEVEL パラメーターには、示されたオプション
のいずれかが必要です。

CQT121 **MEMBERS** は、このリソース・クラスで
は許可されません (**MEMBERS are not
allowed in this resource class**)

説明: MEMBER 定義が許可されるのは、グループ化ク
ラスとして定義されるリソース・クラスだけです
(TYPE=G で示されています)。

CQT122 名前に制限があります。(**Restricted
name.**)関数では許可されません (**Function
disallowed**)

説明: zSecure CICS Toolkit 内部で使用されているリ
ソース名を使用しようとすると拒否されます。別の名
前を選択してください。

CQT123 **PROFILE/MEMBER** 名が、CDT に定義
されている最大値よりも大きくなっていま
す (**PROFILE/MEMBER name greater
than maximum defined in the CDT**)

説明: PROFILE 名または MEMBER名が、CDT の定
義で許可されている最大長よりも大きくなっています。
データ・セキュリティとともに、このクラスの最大長
を確認してください。

CQT124 **MEMBER** はこのグループに既に存在し
ます (**MEMBER already exists in this
group**)

説明: 追加しようとしている MEMBERは、このグルー
プに既に定義されています。

CQT125 **COMMAREA** は、データには小さすぎま
す。(**COMMAREA too small for data.**)
切り捨てが行われました (**Truncation has
occurred**)

説明: API に渡された COMMAREA は、RACF から
返されたすべてのデータを保持するには小さすぎまし
た。切り捨てが行われました。

CQT126 **MEMBER** は、このグループに存在しま
せん (**MEMBER does not exist in this
group**)

説明: 削除しようとした MEMBER は、このグループ
に存在しません。

CQT127 **PROFILES** は、このリソース・クラスで
は許可されません (**PROFILES are not
allowed in this resource class**)

説明: この一般リソース・クラスの CDT 定義では、
プロファイルを定義できません。

CQT128 このグループに対する権限がありません
(**You are not authorized for this
GROUP**)

説明: 実行しようとした関数をこのグループで実行する
権限がありません。

CQT129 無効な **SUPERIOR GROUP** グループ名
(**Invalid SUPERIOR GROUP group
name**)

説明: SUPERIOR GROUP に指定されているグループ
名が正しくありません。

SUPERIOR GROUP のエントリーは、有効なグループ
名である必要があります。指定したグループ名が存在す
ることを確認してください。

CQT130 グループにはまだサブグループがあります
(**GROUP still has subgroups**)

説明: まだサブグループがあるグループを削除しようと
しました。

グループを削除する前に、すべてのサブグループを削除
する必要があります。すべてのサブグループを削除して
から、操作をやり直してください。

CQT131 グループには、まだユーザーが接続されて
います (**GROUP still has users
connected**)

説明: まだユーザーがいるグループを削除しようとし
ました。

グループを削除する前に、すべてのユーザーを削除する
必要があります。すべてのユーザーを削除してから、操
作をやり直してください。

CQT132 **OPPRTY** は、000 から 255 の範囲内に
ある必要があります (**OPPRTY must be
in the range 000 -255**)

説明: 「オペレーター優先順位」に指定されている値が
正しくありません。

このフィールドの値の範囲は、指定された範囲内である
必要があります。このパラメーターの詳細については、
「CICS リソース定義ガイド」または「CICS-RACF
Security Guide」を参照してください。

CQT133 **XRSOFF** は、**FORCE** または **NOFORCE**
である必要があります (**XRSOFF must
be FORCE or NOFORCE**)

説明: XRSOFF に指定されている値が正しくありませ
ん。

このフィールドは **FORCE** または **NOFORCE** のいずれ
かでなければなりません。このパラメーターの詳細につ
いては、「CICS リソース定義ガイド」または
「CICS/RACF *Security Guide*」を参照してください。

CQT134 **OPCLASS** は、01 から 24 の範囲内にあ
り、コンマで区切る必要があります
(**OPCLASS must be in the range 01 -
24 and separated with a comma**)

説明: OPCLASS に指定されている値に誤りがありま
す。

OPCLASS パラメーターは、01 から 24 の範囲内にあ
り、コンマで区切る必要があります。例: 01,02,12,15,23
このパラメーターの詳細については、「CICS リソース
定義ガイド」または「CICS-RACF *Security Guide*」を参
照してください。

CQT135 ユーザー ID が存在しないか、またはユ
ーザーの **CICS** セグメントがありません
(**USERID does not exist or there is no
CICS segment for the user**)

説明: 入力したユーザー ID が存在しないか、または
CICS SEGMENT がありません。

ユーザー ID が無効である場合は、新しいユーザー ID
を入力してください。ユーザー ID が正しいもので、
CICS SEGMENT が存在しない場合は、ユーザーの新しい
情報を入力し、PF05 を押して CICS SEGMENT を
作成してください。

CQT136 この **INTERVAL** 値を指定する権限があ
りません (**You are not authorized to
specify this INTERVAL value**)

説明: PASSWORD コマンドを使用して、パスワー
ド・インターバル値として 255 を指定したか、または
別のユーザーのインターバル値を変更しようとしていま
す。

インターバル値として 255 (NOINTERVAL に相当) を
指定するか、または別のユーザーのインターバル値を変
更するには、SPECIAL か、または TOOLKIT.SPEC ま
たは PSWD.dfltgrp へのアクセス権限が必要です。

CQT137 xxxxxxxx は、この領域に使用されるリソ
ース・クラスです (xxxxxxx is the
resource class that will be used for
this region)

説明: これは、zSecure CICS Toolkit 独自の内部セキ
ュリティ検査に使用されるリソース・クラス名です。
通常、これは CQTPCNTL での定義と同じになりま
す。ただし、CQTPCNTL パラメーターにエラーがある
場合、zSecure CICS Toolkit デフォルトで SIT の
XTRAN パラメーターを使用するようになっています。

CQT138 アクセスは、N、R、U、A、C のいずれ
かである必要があります (**ACCESS must
be N, R, U, A or C**)

説明: 付与するアクセス・レベルは、「NONE」の場合
は N、「READ」の場合は R、「UPDATE」の場合は
U、「ALTER」の場合は A、「CONTROL」の場合は
C とする必要があります。

CQT139 XXXXXXXXXXXX 指定されたフィールド
のデータが正しくありません。
(XXXXXXXXXXXX The data in the
specified fields is incorrect.)

説明: TSO セグメントを更新しようとしたが、示
されたフィールドのデータは「RACF コマンド言語解説
書」の定義で許可されている文字に準拠していません。
情報が正しいことを確認し、「RACF コマンド言語解説
書」を確認してください。

CQT140 **TIMEOUT** は、000 から 999 の範囲内に
ある必要があります (**TIMEOUT must
be in the range 000 - 999**)

説明: TIMEOUT パラメーターは、RACF 2.2 をイン
ストールしていない限り、000 から 255 である必要が
あります。インストール後は、最大で 999 まで可能に
なります。これは、非アクティブのままでいられる分数

であり、この時間を過ぎると CICS ユーザーはタイムアウトします。

CQT141 無効な **MEMBER** 名です。(Invalid **MEMBER name.**) 有効な **MEMBER** 名を入力してください。

説明: 有効な **MEMBER** 名を入力してください。追加または削除しようとしている **MEMBER** 名の構文が有効ではありません。変更しようとしているリソース・クラスに有効な **MEMBER** 名については、「RACF コマンド言語解説書」を確認してください。

CQT142 **RESUMEDT/REVOKEDT** は数値 (**yyddd**) であり、今日以降の日付である必要があります (**RESUMEDT/REVOKEDT must be numeric (yyddd) and NOT prior to TODAY**)

説明: 指定された **RESUMEDT/REVOKEDT** には、数字以外の文字が含まれているか、または過去の日付が指定されています。日付には、世紀を含めないでください。yy が 71 以降である場合、その年は 20 世紀 (19yy) であると解釈されます。取り消し日/再開日を削除するには、値 00000 を指定してください。

CQT143 *fieldname* フィールドを更新する権限がありません (**fieldname you are not authorized to update this field**)

説明: フィールド *fieldname* を更新するには、RACF 特殊属性か、または TOOLKIT.SPEC プロファイルへのアクセス権限が必要です。このマニュアルの RACF コマンドまたは API に関するセクションを参照してください。

CQT144 削除する **DATASET** プロファイルを入力してください。(Enter dataset profile to be deleted.) 総称である場合は「Y」、そうでない場合は「N」を指定します。(Specify 'Y' if Generic, 'N' if not)

説明: 要求した関数を実行するために必要な情報を提供してください。

CQT145 **DATASET** プロファイルの削除に失敗しました。(Delete of **DATASET** profile failed.) Ret/Reas = 00000000

説明: 指定された **DATASET** プロファイルの削除に失敗しました。これは、ユーザーに権限がない、あるいはデータ・セット・プロファイルが存在しないなどの、明白な状況によって発生したエラーではありません。最も

考えられる原因は、データ・セット・プロファイルの重複です (00003800)。詳細については、RACROUTE 戻りコードおよび ICHEINTY 戻りコードを参照してください。

CQT146 **DATASET** プロファイルは削除されました (**DATASET profile has been deleted**)

説明: 要求した操作は正常に完了しました。

CQT147 **DATASET** プロファイルが存在しない

説明: 指定された **DATASET** プロファイルは、RACF データベース内で見つかりませんでした。したがって削除できません。

CQT148 汎用グループを安全に削除できません (**Universal groups cannot be deleted safely**)

説明: 汎用グループでは、グループに接続されているすべてのユーザーのリストが維持されていません。このため、すべてのユーザーをこのグループから安全に削除するためには、RACF データベース全体をスキャンする必要があります。このスキャンにはかなりの時間がかかる場合があるため、汎用グループの削除は現在サポートされていません。IRRRID00 または類似のユーティリティを使用すると、汎用グループを削除できます。

CQT149 汎用グループ設定が無効です。Y/N を指定してください (**Invalid setting for Universal group setting, Specify Y/N**)

説明: Y でも N でもない文字を指定しました。グループが汎用グループであることを示すには Y を指定し、通常のグループであることを示すには N を指定します。

CQT150 現在、モジュール *modname* のリフレッシュ中です (**Currently refreshing module modname**)

説明: これは進行状況を示すメッセージで、モジュール *modname* の設定 *newcopy* を確認するために発行されます。

CQT151 サブタスクがまだアクティブです (**Subtasks still active**)

説明: アクティブな zSecure CICS Toolkit モジュールのリフレッシュ (*newcopy*) はサポートされていません。サブタスクを非アクティブ化してから、モジュールをリフレッシュしてください。

CQT152 **TermUacc** 設定が無効です。Y/N を指定してください (**Invalid setting for TermUacc setting, Specify Y/N**)

説明: Y でも N でもない文字を指定しました。グループに TERMUACC 属性があることを示すには Y を指定し、NOTERMUACC 属性があることを示すには N を指定します。

CQT153 固定グループから **IBMUSER** を削除することはできません (**Remove of IBMUSER from Fixed Groups is not allowed**)

説明: IBMUSER は、グループ SYS1、SYSCTLG、および VSAMDSET から削除できません。

CQT154 モジュール *modname* に対する **newcopy** の実行中にエラーが発生しました (**Error during newcopy of module *modname***)

説明: モジュール *modname* に対する newcopy 関数の実行中にエラーが発生しました。エラーの原因として考えられるのは、*modname* の定義が正しくないか存在しないこと、あるいはモジュールがアクティブ・タスクによってまだ使用されていることです。

CQT155 プログラム・モジュールがリフレッシュされました (**Program modules refreshed**)

説明: すべての zSecure CICS Toolkit モジュールがリフレッシュされました。RTST トランザクション自体のモジュール (プログラムおよびマップ) だけの変更されません。

CQT156 **CQTPDTCH** が見つかりません (**CQTPDTCH not found**)

説明: zSecure CICS Toolkit で使用されている MVS サブタスクをすべて切り離すには、CQTPDTCH プログラムが必要です。このプログラムが見つからなかったか、または CICS に定義されていません。

CQT157 **CQTPLT00** が見つかりません (**CQTPLT00 not found**)

説明: zSecure CICS Toolkit で使用されている MVS サブタスクをすべて開始するには、CQTPLT00 プログラムが必要です。このプログラムが見つからなかったか、または CICS に定義されていません。

CQT158 **USRDATA** が削除されました (**USRDATA deleted**)

説明: 選択した USRDATA 名前/値は、USER プロファイルから削除されました。

CQT159 **USRDATA** が追加されました (**USRDATA added**)

説明: 画面に入力した USRDATA は、USER プロファイルに正常に追加されました。

CQT160 **USRDATA** は重複しています。変更は無効です (**USRDATA is duplicate, modify disabled**)

説明: USRDATA 名前フィールドが一意ではありません。zSecure CICS Toolkit は、一意でない USRDATA 名をサポートしません。このような名前と値は表示と削除だけが可能です。

CQT161 無効な機能コードです (**Invalid function code**)

説明: サブタスクに渡されたパラメーター領域に無効な機能コードがありました。この状態は回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

CQT162 この関数に対する権限がありません (**You are not authorized for this function**)

説明: 要求した関数 (機能コードで示されている関数) は許可されません。

CQT163 **USRDATA** が変更されました (**USRDATA modified**)

説明: 画面に入力した USRDATA は、USER プロファイルで正常に変更されました。

CQT164 **USRDATA** 値が見つかりません (**USRDATA value not found**)

説明: 変更要求、表示要求、または削除要求において、選択した USER プロファイル内に USRDATA 名前/値が見つかりませんでした。

CQT165 この **USRDATA** に対する権限がありません (**You are not authorized for this USRDATA**)

説明: USRDATA 名前/値の名前部分が、権限のない USRN.name プロファイルによって制御されています。

CQT166 **USRDATA** の名前が無効です (**Invalid name for USRDATA**)

説明: 無効な USRDATA 名が指定されました。有効な値を入力してください。

CQT167 **USRDATA** の値が欠落しています (**Missing value for USRDATA**)

説明: USRDATA を追加、更新、または削除するときに、値が指定されませんでした。

CQT168 **USRDATA** は重複しています、追加されません (**USRDATA is duplicate, not added**)

説明: zSecure CICS Toolkit では、複数の USRDATA 値を同じ名前で追加できません。USRDATA 名前/値の一意の名前を選択してください。

CQT169 有効範囲外の **USRDATA** エントリーが抑止されました (**USRDATA entries outside scope suppressed**)

説明: この警告メッセージは、1 つ以上の USRDATA エントリーが抑止されたことを示すために発行されます。USRDATA エントリーの名前に対する権限が USRN.name プロファイルに定義されていない場合、そのエントリーは表示されません。

CQT170 **UID** は既に割り当てられました (**UID already assigned**)

説明: OMVS **UID** の値を指定するときに、一意でない値を指定しました。他に少なくとも 1 人のユーザーがこの **UID** を既に持っています。権限があれば、**SHARED** フィールドに **Y** を指定して、**SHARED UID** を割り当てることができます。

CQT171 共有 **UID** を割り当てる権限がありません (**You are not authorized to assign shared UIDs**)

説明: システム **SPECIAL** 属性を持っているか、または **UNIXPRIV SHARED.IDS** プロファイルへのアクセス権限を持っていることが必要です。必要な権限がないまま、**SHARED UID** を作成しようとしてしました。

CQT172 **UID(0)** の割り当ては許可されません (**Assigning UID(0) not allowed**)

説明: **UID** 値ゼロ (0) をユーザーに割り当てることができるのは、**RACF** システム **SPECIAL** 属性を持っている場合だけです。 **TOOLKIT.SPEC** へのアクセス権限だけでは不十分です。

CQT173 **UID** を自動的に割り当てることはできません (**Cannot automatically assign UID**)

説明: 次に使用可能な **UID** を解決しているときに、予期しないエラーが発生しました。

CQT174 **BPX.NEXT.USER** を処理しているときに、エラーが発生しました (見つからないか、または構文エラー) **CODE (Error in processing BPX.NEXT.USER (not found, or syntax error) CODE)**

説明: **FACILITY** クラスで **BPX.NEXT.USER** プロファイルが見つからなかったか、またはその **APPLDATA** に **UID** の有効な指定が含まれていませんでした。

CQT175 **AUTOUID** を使用して新しい値を割り当てることはできません (**Cannot use AUTOUID to assign new value**)

説明: このメッセージは現在発行されません。現在の **SHARED UID** に代わって **AUTOUID** を使用する **RACF** 機能が今後実装される場合のために予約されています。

CQT176 **BPX.NEXT.USER** プロファイルで **UID** 値が不足しています (**BPX.NEXT.USER profile has run out of possible UID values**)

説明: **BPX.NEXT.USER** プロファイルに **UID** の上限が指定されたか、または現在の **UID** が値 2147483647 に達しました。

CQT177 *segname* セグメントが削除されました (**segname segment deleted**)

説明: *segname* セグメントが正常に削除されました。

CQT178 ツールキットには、指定されたディレクトリーの **MKDIR** を実行する権限がありません (**Toolkit not authorized for MKDIR of specified directory**)

説明: **CICS** 領域用のユーザー ID には、ユーザー ID

のホーム・ディレクトリーに対して MKDIR コマンドを実行するための十分な権限がありません。アクセスできないリソースを示す RACF 関連のエラー・メッセージについては、システム・ログ (または CICS 領域のジョブ・ログ) を参照してください。

CQT179 新規ディレクトリー用に指定されたパスは存在しません (**The specified path for the new directory does not exist**)

説明: ホーム・ディレクトリーに指定されているパスは存在しません。この原因として考えられるのは、入力データがすべて大文字に自動的に変換されたことや、パスの指定に入力ミスがあったことです。

CQT180 新規ディレクトリー用に指定されたパスにディレクトリーでないものが含まれていません (**The specified path for the new directory contains a non-directory**)

説明: ホーム・ディレクトリー用に指定されたパスには、中間ディレクトリーの 1 つとして、ディレクトリーではなくファイルが含まれています。この原因として考えられるのは、パスの指定に入力ミスがあったことです。

CQT181 ツールキットは、OMVS 環境を開始できません。reas=reascode (**Toolkit cannot start OMVS environment, reas=reascode**)

説明: zSecure CICS Toolkit サブタスクは、MKDIR コマンドに必要な OMVS 環境を確立できません。reascode は、OMVS 環境をセットアップできなかった理由を示します。よく発生するコードは以下のとおりです。

00FA CICS 領域用の現在のグループには、OMVS セグメントがありません

00FB CICS 領域のユーザー ID には、OMVS セグメントがありません

00FC CICS 領域のユーザー ID には、UID がありません

00FD CICS 領域用の現在のグループでは、OMVS セグメントに GID が割り当てられていません。

理由コードの説明については、「Unix System Services メッセージおよびコード」を参照してください。

CQT182 ツールキットには、指定されたディレクトリーの **CHOWN** に対する権限がありません (**Toolkit not authorized for CHOWN of specified directory**)

説明: CICS 領域用のユーザー ID には、CHOWN コマンドを実行してホーム・ディレクトリーをユーザー ID に割り当てるための十分な権限がありません。アクセスできないリソースを示す RACF 関連のエラー・メッセージについては、システム・ログ (または CICS 領域のジョブ・ログ) を参照してください。

CQT183 CICS セグメントの自動追加は現在ではサポートされていません (**Automatic add of CICS segment no longer supported**)

説明: zToolkit バージョン 1.7 以降、新規ユーザーを追加するときに CICS セグメントを自動的に作成する機能はサポートされなくなりました。新規 ID で CICS セグメントが必要になる場合 (ほとんどの USERID では必要ありません) は、ALTUSER 関数を使用して CICS セグメントを追加してください。

CQT184 フィールド *fieldname* は、この RACF レベルではサポートされません (**Field *fieldname* not supported on this RACF level**)

説明: 現在のシステムにインストールされている RACF バージョンではサポートされないフィールドを更新しようとしてしました。フィールドは更新されませんでした。他のフィールドへの更新は、完了しているものもあれば、完了していないものもあります。

CQT185 新規フレーズは無効です。理由=reason (**The new phrase is invalid, reason=reason**)

説明: 新規パスフレーズは、最小要件を満たしていません。reason で示される可能性がある値は、以下のとおりです。

Length

環境に応じて、パスフレーズの最小長は 9 文字または 14 文字です。

Chars 2 文字以上の英字と 2 文字以上の特殊文字が必須です。

Consec

3 文字以上同じ文字を続けることはできません

Userid ユーザー ID をパスフレーズに含めることはできません。

CQT186 予約済み (Reserved)

CQT187 **RACF 障害。(RACF Failure.)**
SAF-RC=xxxx RAC-RC=xxxx
RAC-RE=xxxx

説明: RACF 要求が失敗しました。SAF 戻りコード、および RACF の戻りコードと理由コードが示されています。これらのコードの説明については、「RACF z/OS Security Server RACROUTE マクロ解説書」を参照してください (RACROUTE REQUEST=EXTRACT)。

CQT188 **MKDIR は失敗しました。BPX-RV=xxxx**
BPX-RC=xxxx BPX-RE=xxxx

説明: MKDIR 要求は失敗しました。BPX-RV は

メッセージ 900 から 999

CQT900 **CQTPCNTL をロードできません**
(Unable to load CQTPCNTL)

説明: CQTPCNTL オプション・メンバーをロードしようとしたときに、エラーが発生しました。初期化は続行できません。CQTPCNTL が CICS に定義されており、DFHRPL を介してこれを使用できることを確認してください。

CQT901 **destid に書き込めません、終了します**
(Unable to write to destid, exit)

説明: CQTPCNTL オプション・メンバーに指定されている DESTID にメッセージを送信しようとしたときに、エラーが発生しました。初期化は続行できません。CQTPCNTL オプション・メンバーの DESTID の指定を確認してください。

CQT902 **初期化を開始しています (Starting initialization)**

説明: このメッセージは、zSecure CICS Toolkit の初期化が開始されたことを示すために、指定された DESTID に書き込まれます。

CQT903 **CQTPCNTL の長さは無効です、終了します (CQTPCNTL length invalid, exit)**

説明: CQTPCNTL オプション・メンバーは、想定される長さではありません。初期化は続行できません。
「IBM Security zSecure CICS Toolkit: ユーザー・ガイド」の「Defining parameters for zSecure CICS Toolkit」に記載された仕様に基づいて、CQTPCNTL を訂正してください。

BPX1MKD 呼び出し可能サービスの戻り値 (FFFF)、BPX-RC は戻りコード、BPX-RE は理由コードです。戻りコードおよび理由コードの説明については、「Unix System Services メッセージおよびコード」を参照してください。

CQT189 **CHOWN は失敗しました。**
BPX-RV=xxxx BPX-RC=xxxx
BPX-RE=xxxx

説明: CHOWN 要求は失敗しました。BPX-RV は BPX1CHO 呼び出し可能サービスの戻り値 (FFFF)、BPX-RC は戻りコード、BPX-RE は理由コードです。戻りコードおよび理由コードの説明については、「Unix System Services メッセージおよびコード」を参照してください。

CQT904 **登録されていません。(Not registered?)**
登録解除をスキップします (Skip deregister)

説明: zSecure CICS Toolkit 終了ルーチンは、製品が登録されていなかったと判断しました。登録は CICS 開始時に製品をアクティブ化する際の必須作業であるため、この状況にはならないはずです。

CQT905 **zSecure CICS Toolkit を起動する権限を確認しています (Check authorization to start zSecure CICS Toolkit)**

説明: このメッセージは、zSecure CICS Toolkit 初期化処理が zSecure CICS Toolkit サブタスクのインストール権限を確認していることを示すために発行されます。このメッセージの後に、メッセージ CQT981 が続くはずです。

CQT906 **REQUEST=AUTH SAF RC=sr RACF**
RC=rr RE=re

説明: RACF 要求が、ゼロ以外の戻りコードで失敗しました。sr は SAF 戻りコード、rr は RACF 戻りコード、re は RACF 理由コードです。

代表的な戻りコードおよび理由コードは以下のとおりです。

rr=4 re=0	The FACILITY class is not active, or the profile TOOLKIT.SVC has not been defined.
rr=8 re=0	The CICS region userid does not have access to the TOOLKIT.SVC profile.

CQT907 **CICS Toolkit の登録に失敗しました**

(Registration failed for CICS Toolkit)

説明: zSecure CICS Toolkit 初期化ルーチンは、製品を登録できませんでした。この状況になる原因として考えられるのは、IFAPRDxx にエントリーがないことや、IFAPRDxx で設定が明示的に無効にされていることなどです。

CQT908 zSecure CICS Toolkit はまだアクティブであるため、再起動されません (zSecure CICS Toolkit still active, not restarted)

説明: zSecure CICS Toolkit 初期化ルーチンは、zSecure CICS Toolkit サブタスクがまだアクティブであることを検出しました。初期化は終了します。提供されている RTST トランザクションを介して zSecure CICS Toolkit サブタスクを明示的に停止してから開始することによって、この状況からリカバリーできる可能性があります。

CQT909 zSecure CICS Toolkit は登録されませんでした (zSecure CICS Toolkit was not registered)

説明: zSecure CICS Toolkit は、PARMLIB のメンバー IFAPRDxx で明示的に無効にされていました。製品が指定されていないか、または ENABLED として指定されている場合、初期化は続行します。

CQT910 登録解除に失敗しました (Deregister failed)

説明: zSecure CICS Toolkit 終了ルーチンは、製品を登録解除できませんでした。この状態は回避しなければなりません。

CQT911 サブタスクの切り離しが開始されます (Start detaching subtasks)

説明: この情報メッセージは、zSecure CICS Toolkit 終了ルーチンがすべての zSecure CICS Toolkit サブタスクを停止しようとしていることを示します。

CQT980 CQTPCNTL は CICS に定義されていません (CQTPCNTL not defined to CICS)

説明: インストール検証プログラムは、CQTPCNTL プログラムをロードできませんでした。CICS に正しく定義されていない可能性があります。

CQT981 サブタスクが接続されました (Subtasks attached)

説明: zSecure CICS Toolkit サブタスクが接続されました。

CQT982 サブタスクが終了しました (Subtasks terminated)

説明: zSecure CICS Toolkit サブタスクが終了しました。

CQT984 ACEE の削除に失敗しました (Delete of ACEE failed)

説明: これは、重大な問題を示す内部エラー・メッセージです。これが発生することはないはずです。

CQT994 zSecure CICS Toolkit インストール検証 (zSecure CICS Toolkitx installation verification)

説明: CQTPCNTL パラメーターは現在検証されています。

現在、トランザクション RCHK を実行して、zSecure CICS Toolkit のインストールを検証しています。このメッセージは、DESTID パラメーターが有効であることを確認するために、このパラメーターに書き込まれます。

CQT998 APCT CRTKAPRM の異常終了 (Abend APCT CRTKAPRM)

説明: CQTPAPRM のロードに失敗しました。

CQTPAPRM の定義を参照して、それが正しく定義されていることと、そのモジュールが DFHRPL を介して使用できることを確認してください。

CQT999 エラー・メッセージ・テーブル (CQTPMSGGE) が見つかりません。 (Unable to locate the error message table (CQTPMSGGE).) CICS ジョブ・ログを確認してください (Check CICS job log)

説明: エラー・メッセージ・テーブル CQTPMSGGE が見つかりませんでした。

CQTPMSGGE の定義を参照して、それが正しく定義されていることと、そのモジュールが DFHRPL を介して使用できることを確認してください。CQTPMSGGE のアドレスは、CQTPAPRM に格納されています。

CQTPAPRM が常駐するように定義されていることと、
CQTPLT00 が起動時に PLTPI プログラムとして稼働し
たことを確認してください。

第 9 章 C2P メッセージ

C2P メッセージは、zSecure Alert アドレス・スペースと zSecure Admin アクセス・モニター・アドレス・スペースの両方から発行されます。メッセージ ID では C2P $nnnn$ X という形式を使用します。これらのプログラムによって発行されるメッセージは、メッセージ ID の a の位置に数字ゼロ (0) または 8 を使用します。それ以外の値は、WTO 形式を使用するアラートの場合に zSecure Alert によって使用されるのみです。可能な値は以下のとおりです。

- 1 事前定義 RACF アラート
- 2 事前定義 ACF2 アラート
- 3 事前定義 TSS アラートのために予約済み
- 4 インストール定義 RACF アラート
- 5 インストール定義 ACF2 アラート
- 6 インストール定義 TSS アラート

メッセージ ID の X は重大度レベルを示します。次のような値をとります。

- D** デバッグ・メッセージ。アクションは不要です。
- I** 通知メッセージ。
- W** 警告メッセージ。タスクは続行されますが、エラーが発生しました。
- E** エラー・メッセージ。タスクはすぐに終了する場合もあれば、続行を試みる場合もあります。
- S** 重大なエラー・メッセージ。
- A** アクション・メッセージ。状態を修正するには、オペレーターの操作が必要です。

事前定義のアラート・メッセージ (C2P1 $nnnn$ I、C2P2 $nnnn$ I、および C2P3 $nnnn$ I) では、常に **I** の重大度レベル標識を使用します。インストール定義のアラート・メッセージ (C2P4 $nnnn$ X、C2P5 $nnnn$ X、および C2P6 $nnnn$ X) では、**A** の重大度レベル標識を使用しません。アドレス・スペースによって発行されるメッセージ (C2P $nnnn$ X) では、現在のところ、**D** の重大度レベル標識を使用しません。

以下のジョブ・ステップ完了コードは、zSecure Alert 開始タスクおよび zSecure Admin アクセス・モニター開始タスクが使用します。

- 0 タスクは正常に完了しました。エラーは発生していません。
- 4 タスクは完了しましたが、1 つ以上の警告が出ています。
- 8 タスクは完了しましたが、エラーが発生しました。現在、これには、ライセンス・コードの問題およびタスクがすでにアクティブになっている状態が含まれています。
- 12 タスクは完了しましたが、重大エラーが発生しました。最も可能性が高い原因は、構成エラーです。

16 プログラムの実行を妨げる重大な内部エラーが発生しました。

この章での残りの部分では、メッセージをサブセクションにグループ化して、メッセージの説明と実行できるアクションと共にリストします。

メッセージ 0 からメッセージ 999 (zSecure の開始タスク)

C2P0100A *product-name* はアクティブではありません

説明: このメッセージは、*product-name* が停止したときに発行されます。

ユーザーの処置: このメッセージの前にある C2P メッセージに問題が示されている場合は、その問題を解決してから、再始動してください。

C2P0101E **C2PCLEAN** からのエラー戻りコード *retcode* (**Error return code from C2PCLEAN *retcode***)

説明: このメッセージは内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。問題レコードを作成して、エラー・メッセージの完全なリストをご提示ください。

C2P0102I 開始オプション **FORCE** が指定されました (**Start option FORCE specified**)

説明: これは、開始オプションとしての **FORCE** コマンドの使用を確認する通知メッセージです。

C2P0103I 開始オプション **DEBUG** が指定されました (**Start option DEBUG specified**)

説明: これは、開始オプションとしての **DEBUG** の使用を確認する通知メッセージです。

C2P0104I **STOP** コマンドを受信しました (**Received STOP command**)

説明: これは、zSecure Alert の処理をシャットダウンするための **STOP** コマンドの使用を確認する通知メッセージです。

C2P0105I コマンド *modify* コンソール・コマンドのテキスト部分を受信しました (**Received command text portion of *modify* console command**)

説明: これは、オペレーター・コンソール・コマンドを受信したことを確認する通知メッセージです。

C2P0106I *product-name* のオプションおよび状況 (***product-name* options and status**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの **DISPLAY** コマンドの結果として表示される一連のメッセージの先頭のものです。

C2P0107I **BufSize (K バイト)** *bufsize*

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの **DISPLAY** コマンドへの応答の一部です。*bufsize* は、収集された SMF レコードおよび WTO メッセージを保存するために使用されるメモリー内バッファのサイズです。

C2P0108I **BufUsed (K バイト)** *bufused* (**BufUsed (Kbytes) *bufused***)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの **DISPLAY** コマンドへの応答の一部です。*bufused* は、アクティブなメモリー内バッファで現在使用されているキロバイト数です。

C2P0109I レポート・インターバル (秒) *interval* (**Report Interval (sec) *interval***)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの **DISPLAY** コマンドへの応答の一部です。*interval* は、短期の即時分析に使用するインターバル (秒数) です。

C2P0110I データ・バッファの数 *numbufs* (**Number of data buffers is *numbufs***)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの **DISPLAY** コマンドへの応答の一部です。*numbufs* は、収集された SMF レコードに使用可能なバッファの数です。これらのバッファの 1 つがアクティブなバッファで、その他のバッファには時間平均分析に使用する古いレコードが入る場合があります。

C2P0111I 現行バッファ索引は *bufindex* です (**Current buffer index is *bufindex***)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *bufindex* は、レコードの収集に使用される現在アクティブになっているバッファの番号です。

**C2P0112I バッファ索引の問題が発生しました
(Buffer Index problem occurred)**

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。直前の *interval* 期間に、SMF レコード収集ルーチンが問題を検出しました。 *bufindex* が、SMF レコードの収集に使用可能なバッファを指していませんでした。この状態は回避しなければなりません。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。通常は、次の *interval* でシステムはリカバリーします。メッセージ C2P0303E も複数回出ている場合、これは自動リカバリーが失敗したことを示していることがあります。追加情報については、メッセージ C2P0303E を参照してください。

**C2P0113I バッファ・オーバーフローが発生しました
(Buffer Overflow occurred)**

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。直前の *interval* 期間に、SMF レコード収集ルーチンが問題を検出しました。アクティブ・バッファに、現行の SMF レコードを収容できる十分なスペースが残っていませんでした。バッファには使用不可のフラグが立てられています。この状態が起こる可能性があるのは、指定されたバッファ・サイズが小さい場合、レポートの *interval* が長い場合、FILTER オプションを使用して SMF レコードの数を削減していない場合、または予期せぬシステム・アクティビティの結果として大量の SMF レコードが生成されている場合です。

ユーザーの処置: 可能なりカバリー・アクションについて、メッセージ C2P0304E を参照してください。

**C2P0114I バッファのロック問題が発生しました
(Buffer Locking problem occurred)**

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。バッファが長い期間使用中になっていたために、直前の *interval* 期間に SMF レコード収集ルーチンまたは分析ルーチンがバッファにアクセスできませんでした。SMF レコードが収集されなかったか、バッファ内容の分析が取り

消されました。これは、ごくまれにしか起こらない状態でなければなりません。

ユーザーの処置: この状態が起こった場合は、可能なりカバリー・アクションについてメッセージ C2P0305E を参照してください。

**C2P0115I SMF フィルター *status* (SMF Filter
status)**

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。これは、すべてのアクティブな SMF フィルターについて繰り返されます。値 *status* のフォーマットは、以下のいずれかです。

- Rectype(*record-type*)
- Rectype(*record-type*) Subtype(*subtype*)
- Rectype(*record-type*) All subtypes

record-type の値は、SMF レコード・タイプを表します。SMF タイプ 30 のレコードの場合、*subtype* はサブタイプを表します。RACF レコードの場合、これは RACF イベント・コードを表します。ACF2 イベントの場合、サブタイプは数字フォーマットと文字フォーマットの両方 (例えば 196/D) で表示されます。

**C2P0116I WTO フィルター接頭部 (*prefix*) (WTO
Filter Prefix ((*prefix*)))**

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *prefix* の値は、それ以降の処理のために選択される WTO メッセージ ID の先頭部分の文字を表します。

**C2P0117E データ処理 MGR 接続エラー、RC=*rc*
(Error attaching data processing MGR,
RC=*rc*)**

説明: 独立データ処理タスクを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは *rc* です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。完全なエラー・メッセージを報告してください。

**C2P0118E WTO 収集タスク接続エラー、RC=*rc*
(Error attaching WTO Capture Task,
RC=*rc*)**

説明: 独立データ収集タスクを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは *rc* です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。完全なエラー・メッセージを報告してください。

**C2P0119I C2PIORTN ルーチンをロケーション
address にロードしました (Loaded
C2PIORTN routine at location *address*)**

説明: この診断メッセージは、収集されたデータを CKRCARLA 分析タスクに渡すために使用する C2PIORTN モジュールの *address* を表示します。

C2P0120W 不明なコマンド (Unknown command)

説明: メッセージ C2P0105I に示されているコンソール・オペレーター・コマンドは、製品の有効なコンソール・オペレーター・コマンドとして認識されませんでした。

ユーザーの処置: 実行しようとしていたコマンドの正しい構文とスペルを確認してください。

**C2P0121E タスクは APF 許可されていません。終了
します (Task is not APF authorized,
exit)**

説明: このタスクは APF 許可を受けていません。正常に実行するためには、APF 許可が必要です。

ユーザーの処置: モジュールのロード元の APF 許可ライブラリーに APF 許可のマークが付いていることを確認してください。STEPLIB を使用している場合、連結内のすべてのライブラリーが APF 許可されていることを確認してください。

**C2P0122E CKFREEZE MGR タスク接続エラー、
RC=*rc* (Error attaching CKFREEZE
MGR Task, RC=*rc*)**

説明: 独立 zSecure Collect 管理タスクを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは *rc* です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を

探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。完全なエラー・メッセージを報告してください。

**C2P0123E C2PINIT からのエラー戻りコード *retcode*
(Error return code from C2PINIT
retcode)**

説明: このメッセージは内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。問題レコードを作成して、エラー・メッセージの完全なリストをご提示ください。

**C2P0124E C2PIORTN ルーチンをロードできません
でした *abendcde-reascde* (Could not load
C2PIORTN routine *abendcde-reascde*)**

説明: データを分析タスクに渡すために使用する C2PIORTN モジュールを見つける際に問題が発生すると、このエラー・メッセージが発行されます。システム異常終了コードは *abendcde* で、理由コードは *reascde* です。これは発生してはならないメッセージです。

ユーザーの処置: C2PIORTN モジュールが APF 許可された STEPLIB 内、または LINKLIST 内に存在していることを確認してください。このモジュールが存在している場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。*abendcde* および *reascde* の値を含むエラー・レポートを作成してください。

**C2P0125I 平均化期間 (秒) *timeaverage* (Averaging
Period (sec) *timeaverage*)**

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。*timeaverage* は、時間平均分析に使用するインターバル (秒数) です。

**C2P0126I プリプロセッシング・タスク・インター
バル (分) *refreshtime* (Preprocessing task
interval is (min) *refreshtime*)**

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。*refreshtime* は、システム環境情報の更新間のインターバル (分) です。

**C2P0127I メイン・レポート・メンバー *member*
(Main Report member *member*)**

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *member* は、収集されたレコードの分析に使用するメイン (1 次) CARLa コマンドが入っているメンバーの名前です。

**C2P0128I レポート DD 名 *ddname* (Report
DDName *ddname*)**

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *ddname* は、レコード分析に使用する *member* が入っているファイルの名前です。

**C2P0129I システム・データの収集開始時刻 *time*
(System data collection start time
istime)**

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *time* は、システムの CKFREEZE 更新タスクがアクティブ化される現地時間です。

**C2P0130E ESTAEX からのエラー戻りコード、
RC=*rc* (Error return code from
ESTAEX, RC=*rc*)**

説明: 異常終了出口ルーチンを指定する際に、システム・エラーが発生しました。エラー・コードは *rc* です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

**C2P0131I サブタスクの終了待ちです (Waiting for
subtasks to terminate)**

説明: タスクを正常に停止する間に、サブタスクが正常に停止できるようにするための短い待ち時間があります。この待ち時間が終わるとサブタスクは強制終了されます。

**C2P0132I サブタスクの終了待ちです (Waiting for
subtasks to terminate)**

説明: 製品の再始動時には、再始動の前にサブタスクが正常に終了できるようにするための短い待ち時間があります。この待ち時間が終わるとサブタスクは強制終了されます。

**C2P0133E プリプロセッシング MGR 接続エラー、
RC=*rc* (Error attaching preprocessing
MGR, RC=*rc*)**

説明: 必要な CARLa ステートメントのプリプロセスに使用するマネージャー・タスクの接続時に、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは *rc* です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。完全なエラー・メッセージを含む問題報告書を作成してください。

C2P0134I バージョン *C2P version*

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *C2P version* は、アクティブ・プログラムのバージョン標識です。

**C2P0135I プリプロセッシング CARLa メンバー
member (Preprocessing CARLa member
is *member*)**

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *member* は、分析時に使用するシステム依存の CARLa 選択ステートメントを生成するために使用する CARLa コマンドが入っているメンバーの名前です。

**C2P0136I データ処理 MGR を正常に接続しました
(Successfully attached data processing
MGR)**

説明: この診断メッセージは、独立データ処理タスクが正常に開始された後で発行されます。

**C2P0137I WTO 収集タスクを正常に接続しました
(Successfully attached WTO Capture
task)**

説明: この診断メッセージは、独立 WTO 収集ルーチンが正常に開始された後で発行されます。

**C2P0138I プリプロセッシング MGR タスクを正常
に接続しました (Successfully attached
preprocessing MGR Task)**

説明: この診断メッセージは、プリプロセッシング・マネージャー・タスクが正常に開始された後で発行されます。

C2P0139I **CKFREEZE MGR** タスクを正常に接続しました (**Successfully attached CKFREEZE MGR Task**)

説明: この診断メッセージは、CKFREEZE マネージャー・タスクが正常に開始された後で発行されます。

C2P0140I **C2PC** 領域は *C2PC-address* にあります (**C2PC area located at C2PC-address**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。使用される ECSA 通信域は、アドレス *C2PC-address* にあります。

C2P0141I 拡張バッファが使用されました (**Extended buffer used**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。直前の *interval* 期間中に、SMF レコード収集ルーチンが、アクティブ・バッファに現行 SMF レコードを収容できる十分なスペースが残っていないことを検出しました。バッファ・プールから追加バッファが使用されました。この状態が起こる可能性があるのは、指定されたバッファ・サイズが小さい場合、レポートの *interval* が長い場合、FILTER オプションを使用して SMF レコードの数を削減していない場合、または予期せぬシステム・アクティビティの結果として大量の SMF レコードが生成されている場合です。

ユーザーの処置: このメッセージは必ずしもエラー状態を示すわけではありません。この状態が頻繁に起こる場合は、DEBUG BUFFER コマンドを使用して現在のバッファ使用状況を調査してください。この状態が起こらないようにするために、バッファ・サイズ (*bufsize*) を大きくするか、レポート・インターバル (*interval*) を小さくすることを検討してください。

C2P0142I **CKFREEZE** 収集タスクはアクティブです (**CKFREEZE collection task is active**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。DISPLAY コマンドを実行した時点で、zSecure Collect タスクがアクティブであることが検出されました。このタスクは、*collecttime* の時点、またはオペレーターの COLLECT コマンドの結果として開始されます。

C2P0143I **Stage-1 CKRCARLA** タスクはアクティブです (**Stage-1 CKRCARLA task is active**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。DISPLAY コ

マンドを実行した時点で、stage 1 CKRCARLA タスクがアクティブであることが検出されました。このタスクは、*stage1interval* 秒ごとに開始されます。

C2P0144I **CKFREEZE** 収集の開始タスク名は *stc-name* です (**CKFREEZE collection started task name is stc-name**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。zSecure Collect ルーチンに使用されるシステム proclib のプロシージャー・メンバーの名前は *stc-name* です。

C2P0145I データ収集タスクの再始動がスケジュールされました (**Restart scheduled for data collection tasks**)

説明: このメッセージは、オペレーターの REFRESH コマンドの結果として Stage 1 CARLa タスクおよびレポート作成タスクが再始動されることを示すために発行されます。

C2P0146I **CKFREEZE** 収集タスクの再始動がスケジュールされました (**Restart scheduled for CKFREEZE collection task**)

説明: このメッセージは、CKFREEZE 収集タスクが開始されることを示すために発行されます。その他のタスクは実行を続けますが、CKFREEZE 収集タスクが完了するまでは再開できません。CKFREEZE 収集タスクが完了した後、正常な操作が続行されます。

C2P0147E **CKFREEZE** 収集タスクは既にアクティブです。コマンドは無視されます。 (**CKFREEZE collection task already active, command ignored**)

説明: このメッセージは、CKFREEZE 収集タスクが既にアクティブになっていることを示すために発行されます。複数の CKFREEZE 収集タスクの同時実行はサポートされていません。COLLECT コマンドは無視されません。

C2P0148I レポート **DS** 名 *dsname* (**Report DSName dsname**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。*dsname* は、メッセージ C2P0128I に示されているレポートの DD 名に割り振られたデータ・セットの名前です。

C2P0149I 表示の終了 (End of display)

説明: これは、C2P0106I で開始されたメッセージ・ブロックの最終行です。

C2P0150E 製品登録に問題が発生しました。
C2PDEBUG を参照してください。
 (Product registration problem, see
 C2PDEBUG)

説明: 製品の登録時に問題が発生しました。

ユーザーの処置: C2PDEBUG ファイルで詳細なエラー・メッセージを確認してください。正しい製品がご使用の IFAPRDxx parmlib メンバーで使用不可になっていないことを確認してください。

C2P0151E 制御ブロック・エラーです。終了します。
 (Control Block error, exit)

説明: 内部整合性検査時に、メイン制御ブロックの破損が検出されました。これは始動時に検出されたため、制御ブロックは直前の実行時に作成されたと思われます。この状態は回避しなければなりません。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。START コマンドの FORCE キーワードを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

C2P0152E タスクは既にアクティブになっています
 (Task already active)

説明: 環境の検査時に、*product-name* が既にアクティブになっていることが検出されました。現行タスクは終了します。

ユーザーの処置: このメッセージが誤って発行されている場合 (つまり、システム内で *product-name* の他のインスタンスがアクティブになっていない場合) は、FORCE 始動オプションを使用してこの状態からリカバリーできる可能性があります。このような状態は、FORCE オペレーター・コマンドを使用してタスクの直前のインスタンスを停止した結果として起こることがあります。

C2P0153E 強制再始動を実行できません (Force
 restart not possible)

説明: 開始タスクの前のインスタンスがまだアクティブなときに FORCE 始動オプションを使用して *product-name* を始動しようとする、このエラー・メッ

セージが発行されます。製品の 2 つのインスタンスを同時に実行することはできません。

C2P0154I 前の実行が検出されました (Previous
 execution detected)

説明: この通知メッセージは、システムの IPL 以降に、製品が前にも実行されたことを検出したことを示します。これは、前の実行から一部のリソースが再使用されることを示します。これは主として共通通信域およびリンケージ索引 (LX) に関連しています。

C2P0155I *address* の C2PC 域を再使用します
 (Reuse C2PC area at *address*)

説明: この診断メッセージは、開始タスクの前のインスタンスから再使用される共通通信制御ブロック (C2PC) のアドレスを提供するために発行されます。

C2P0156I *address* で C2PC ストレージを取得しま
 した (Obtained C2PC storage at
address)

説明: この診断メッセージは、作成される新しい共通通信制御ブロック (C2PC) のアドレスを提供するために発行されます。

C2P0157E IEANTCR からのエラー戻り、RC=*rc*
 (Error return from IEANTCR, RC=*rc*)

説明: 共通通信制御ブロック (C2PC) のアンカーとして使用する名前付きトークンの作成時に、エラーが発生しました。エラー戻りコードは *rc* です。これは発生してはならないメッセージです。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。*rc* を含むエラー・レポートを作成してください。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

C2P0158E IEANTRT からのエラー戻り、RC=*rc*
 (Error return from IEANTRT, RC=*rc*)

説明: 共通通信制御ブロック (C2PC) のアンカーとして使用する名前付きトークンの取得時に、エラーが発生しました。エラー戻りコードは *rc* です。これは発生してはならないメッセージです。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの

707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。rc を含むエラー・レポートを作成します。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

C2P0159E 内部エラー。終了します。(Internal error, terminate)

説明: 共通通信制御ブロック (C2PC) のアンカーとして使用する名前付きトークンの取得時に、詳細不明なエラーが発生しました。これは発生してはならないメッセージです。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

C2P0160E IKJTSEV からのエラー戻り、RC=rc (Error return from IKJTSEV, RC=rc)

説明: コマンドの解釈と実行に必要な TSO 環境の初期化時に、エラーが発生しました。エラー戻りコードは rc です。これは発生してはならないメッセージです。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。rc を含むエラー・レポートを作成します。

C2P0161I 新規バッファを割り振ります (Allocated New Buffer)

説明: この診断メッセージは、新規バッファが割り振られることを示すために発行されます。新規バッファを取得する場所は、メッセージ C2P0162I に示されます。

C2P0162I アドレス address

説明: この診断メッセージは、取り込んだ SMF レコードの収集に使用するメモリー内バッファのアドレスを提供するために発行されます。これは、メッセージ C2P0161I の論理的な継続メッセージです。

C2P0163W ddname バッファ・レコードが無効です (ddname Invalid buffer record)

説明: このメッセージは、常に、3 つのメッセージからなるブロックで発行されます。最初のメッセージはヘッダー・メッセージであり、ストレージ内データ・バッファからレコードを読み取ったプロセスで無効なレコードが検出されたことを示しています。後に続くメッセージは、レコードが予期されていたストレージ域の内容を示します。レコードが無効である理由として最も可能性が高いのは、そのレコードを作成したユーザー・タスクがレコードの作成を終了しなかったことです。このメッセージが発行されるのは、DEBUG BUFFER がアクティブな場合のみです。

このメッセージ・フォーマットは、ヘッダー・メッセージを示します。変数 ddname は、CARLa 照会で使用される DD 名を表します。

C2P0163W c2pio_stream=value1 c2p_stream=value2

説明: このメッセージは、常に、3 つのメッセージからなるブロックで発行されます。最初のメッセージはヘッダー・メッセージであり、ストレージ内データ・バッファからレコードを読み取ったプロセスで無効なレコードが検出されたことを示しています。後に続くメッセージは、レコードが予期されていたストレージ域の内容を示します。レコードが無効である理由として最も可能性が高いのは、そのレコードを作成したユーザー・タスクがレコードの作成を終了しなかったことです。このメッセージが発行されるのは、DEBUG BUFFER がアクティブな場合のみです。

このメッセージ・フォーマットは、レコードのタイプの予期された値、およびそのレコード・タイプの実際の値を示します。

C2P0163W 16 進レコード・データ (hex record data)

説明: このメッセージは、常に、3 つのメッセージからなるブロックで発行されます。最初のメッセージはヘッダー・メッセージであり、ストレージ内データ・バッファからレコードを読み取ったプロセスで無効なレコードが検出されたことを示します。後に続くメッセージは、レコードが予期されていたストレージ域の内容を示します。レコードが無効である理由として最も可能性が高いのは、そのレコードを作成したユーザー・タスクがレコードの作成を終了しなかったことです。このメッセージが発行されるのは、DEBUG BUFFER がアクティブな場合のみです。

このメッセージ・フォーマットは、レコードが予期されていたストレージ内のデータ 16 進表現を示します。

C2P0164I TRANSWAP が終了しました (TRANSWAP done)

説明: この診断メッセージは、製品のタスクがスワップ不可に正常に移行したことを通知するために発行されます。これは、システム内のすべてのタスクから SMF レコードを取り込むために必要です。

C2P0165I 新規 LX が必要です (Need a new LX)

説明: この診断メッセージは、既存の LX が検出されなかったことを示します。新規のシステム・リンケージ索引 (LX) が割り振られます。システム LX は、再要求不可の重要なシステム・リソースで、1 回だけ発行できます。システム IPL 後の最初の始動時に、新規システム LX が必要になります。新規システム LX は、開始タスクの後続インスタンスが将来再利用できるように保存されます。

C2P0166I LX lc を取得しました (Obtained LX lc)

説明: この診断メッセージは、割り振られた新規システム・リンケージ索引 (LX) の番号を示します。この索引は、開始タスクの後続インスタンスが将来再利用できるように保存されます。

C2P0167I 既存の LX が見つかりました (Found existing LX)

説明: この診断メッセージは、開始タスクの以前のインスタンスから LX が検出されたことを示します。その既存のシステム・リンケージ索引 (LX) が再使用されます。システム LX は、再要求不可の重要なシステム・リソースで、1 回だけ発行できます。

C2P0168I LX は LX です (LX was LX)

説明: この診断メッセージは、使用される既存のシステム・リンケージ索引 (LX) の番号を示します。これはメッセージ C2P0167I の論理継続です。

C2P0169I 新規 ET が必要です (Need a new ET)

説明: この診断メッセージは、プログラム呼び出し定義を含む新規エントリー・テーブルが作成されることを示すために、初期化時に発行されることがあります。エントリー・テーブルは、タスクの終了時にシステムに返されます。

C2P0170I ET token を取得しました (Obtained ET token)

説明: この診断メッセージは、作成された ET の token を示します。

C2P0171I 既存の ET が見つかりました (Found existing ET)

説明: この診断メッセージは、初期化時に既存のエントリー・テーブル (ET) を検出した場合に発行されることがあります。その既存の ET が再使用されます。正常なタスク終了時には ET はシステムに返される必要があるため、これは発生してはならないメッセージです。

C2P0172I ET は token です (ET was token)

説明: この診断メッセージは、開始タスクの以前のインスタンスから検出された ET の token を示します。これは、メッセージ C2P0171I の論理継続メッセージです。

C2P0173E IEANTCR からのエラー戻り、RC=rc (Error return from IEANTCR, RC=rc)

説明: SMF レコード収集ルーチンに情報を提供するために使用する名前付きトークンの作成時に、エラーが発生しました。エラー戻りコードは rc です。これは発生してはならないメッセージです。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。rc を含むエラー・レポートを作成します。FORCE 始動パラメータを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

C2P0174I 詳細情報 flags-retcode-reascode(Detail info flags-retcode-reascode)

説明: これは、メッセージ C2P0193I から継続する 2 次メッセージです。これは、障害の理由を診断する際の助けとなる追加診断情報を提供します。

C2P0175I アクティブな SMF フィルターはありません (No SMF filter active)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。SMF レコードに対するフィルター基準が指定されていない場合に、このメッセージが発行されます。

C2P0176I CKRCARLA ルーチンを *address* の位置にロードしました (**Loaded CKRCARLA routine at location *address***)

説明: この診断メッセージは、収集されたデータの分析に使用する CKRCARLA ルーチンの *address* を示します。

C2P0177E CKRCARLA ルーチンをロードできませんでした *abendcde-reascde* (**Could not load CKRCARLA routine *abendcde-reascde***)

説明: 収集されたデータの分析に使用する CKRCARLA モジュールを見つける際に問題が発生すると、このエラー・メッセージが発行されます。システム異常終了コードは *abendcde* で、理由コードは *reascde* です。これは発生してはならないメッセージです。

ユーザーの処置: モジュール CKRCARLA が APF 許可された STEPLIB 内、または LINKLIST 内に存在していることを確認してください。このモジュールが存在している場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。 *abendcde* および *reascde* の値を含むエラー・レポートを作成してください。

C2P0178I *product_name version* が正常に初期化されました (*product_name version initialization successful*)

説明: *product_name* タスクの初期化が正常に完了しました。値 *version* は、アクティブになっている *product_name* のバージョンを示します。

C2P0179I 動的 SMF 出口 SMF-Exitname がアクティブ化されました (**Activated Dynamic SMF exit SMF-Exitname**)

説明: この診断メッセージは、初期化処理の進行標識として発行されます。

C2P0180E SMF-Exitname の追加時にエラーが発生しました。RC=*retc-reas* (**Error adding SMF-Exitname RC=*retc-reas***)

説明: MVS 動的出口機能を使用して SMF 出口を追加中に、システム・エラーが発生しました。CSVDYNEX サービス・ルーチンの戻りコードは *retc* で、理由コードは *reas* です。

C2P0181E C2PC のバージョンが正しくありません (**C2PC Incorrect version**)

説明: 製品の前の実行時に C2PC 制御ブロックに記録された *product_name* バージョンが、製品の現行バージョンに一致しません。このバージョンの C2PC 制御ブロックは使用できません。実行タスクの実行は終了します。

ユーザーの処置: この状態は通常の操作では起こりません。これは、ほとんどの場合、開始タスクの前のインスタンスを適切にシャットダウンせずに、製品コードをアップグレードしたことが原因です。制御ブロックの破壊的なオーバーレイが原因の場合もあります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

C2P0182I 強制再始動 (**Force restart**)

説明: これは、FORCE オプションを使用して以前のリカバリー不能エラーからリカバリーすることを確認するために、初期化時に発行される通知メッセージです。これは、FORCE オプションを使用して直前の「バージョンが正しくありません (Incorrect version)」エラーをバイパスした場合に表示されます。

C2P0183E C2PC の長さが正しくありません (**C2PC Incorrect length**)

説明: 内部整合性検査の際、*product_name* プログラムが、C2PC 制御ブロックの長さが正しくないことを検出しました。このバージョンの C2PC 制御ブロックは使用できません。実行タスクの実行は終了します。

ユーザーの処置: この状態は通常の操作では起こりません。考えられる原因は、製品コードをアップグレードしたときに開始タスクの前のインスタンスが適切にシャットダウンされなかったことです。制御ブロックの破壊的なオーバーレイが原因の場合もあります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。FORCE 始動パラメーターを使用して、この状態からリカバリーできる可能性があります。

C2P0184I 強制再始動 (Force restart)

説明: これは、FORCE オプションを使用して以前のリカバリー不能エラーからリカバリーすることを確認するために、初期化時に発行される通知メッセージです。これは、FORCE オプションを使用して直前の「長さが正しくありません (Incorrect length)」エラーをバイパスした場合に表示されます。

C2P0185I 前の ASIDX asid (Previous ASIDX asid)

説明: これは、C2PC 制御ブロックを初期化した開始タスクの最後のインスタンスのアドレス・スペース ID (ASID) の 16 進数表記を示す診断メッセージです。これは、前のタスクが正しくシャットダウンされなかった場合、または開始タスクのインスタンスがまだアクティブである場合に、デバッグ・モードでのみ発行されます。

C2P0186I ASCB アドレス address (ASCB Address address)

説明: これは、メッセージ C2P0185I に示された ASID に対応する、システム・アドレス・スペース・ベクトル・テーブル内の項目の 16 進数表現を示す診断メッセージです。前のタスクが正しくシャットダウンされなかった場合、または開始タスクの別のインスタンスがまだアクティブである場合に、このメッセージがデバッグ・モードでのみ発行されます。

C2P0187E タスクがまだアクティブです (Task is still active)

説明: C2PC 制御ブロックを初期化した開始タスクの最後のインスタンスが、システム内でまだアクティブになっています。同時にアクティブにできるのは、製品の 1 インスタンスのみです。現行インスタンスは終了します。

**C2P0188I 不適切なシャットダウンが検出されました。クリーンアップを試行中です。
(Improper shutdown detected, attempting cleanup)**

説明: C2PC を初期化した開始タスクの最後のインスタンスが、その終了を示すマークを C2PC 制御ブロックに設定できませんでした。原因としては、プログラム・エラーか、直前のタスク・インスタンスの終了に STOP コマンドを使用しなかった可能性があります。

ユーザーの処置: STOP コマンドを使用して開始タスクを終了してください。STOP コマンドを実行しても開始タスクが終了しない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能

な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0189E 出口 exitname がサブシステム subsystem name に指定されていません (Exit exitname not specified for subsystem subsys)

説明: PARMLIB 内の SMF パラメーター・メンバーで、サブシステム *subsys* で SMF 出口 *exitname* を呼び出すことが指定されていませんでした。その結果、zSecure Alert は、このサブシステムの一部の SMF レコードを収集できません。一部のアラート状態では正しいアラートが生成されない可能性があります。

ユーザーの処置: z/OS 2.2 以下では、SYS、および SMF parmlib メンバー内のすべてのサブシステムについて、出口 IEFU83、IEFU84、および IEFU85 が指定されていることを確認してください。z/OS 2.3 以上では、出口 IEFU86 が指定されていることを確認してください。z/OS 2.3 以上で IEFU86 が指定されていない場合、出口 IEFU83、IEFU84、および IEFU85 はフォールバックとして使用されます。その結果、特定のイベント条件が欠落する可能性があります。SET SMF コマンドでこれらの出口ルーチンを動的にアクティブ化する場合は、zSecure Alert RESTART コマンドを使用して、zSecure Alert タスクがこれらの出口を使用してすべての使用可能な SMF レコードを取り込むことができるようにする必要があります。

**C2P0190W action exit_name 出口が失敗しました。
RC=rc (Failure action exit_name exit, RC=rc)**

説明: *action* がインストールの場合は、RACF 出口 *exit_name* を定義している際に予期せぬエラーが発生しました。*action* が非アクティブ化の場合は、RACF 出口 *exit_name* を非アクティブ化している際に予期せぬエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0191I action exit_name 出口 (action exit_name exit)

説明: この診断メッセージは、zSecure アクセス・モニターのアクティブ化または非アクティブ化の処理中の進行状況を示します。変数 *action* の値は、**Installed** または **Deactivated** です。

C2P0192I *type* ルーチンの古いコピーを **LPA** から削除しました。 **RC=retcode-reascode**
(Remove old copy of *type* routine from **LPA**, **RC=retcode-reascode**)

説明: この診断メッセージは、システム出口ルーチンの前のコピーがストレージ内 **LPA** から削除されたことを示すために発行されます。このメッセージ内の変数 *type* の値は、SMF 出口ルーチンの場合は SMF、ENF 通知出口の場合は ENF となります。この削除処理中にエラーが発生した場合も、このメッセージが発行されます。

C2P0193E *type* ルーチンを *location* から **LPA** にロードできませんでした。
RC=retcode-reascode (Could not load *type* routine from *location* into **LPA**, **RC=retcode-reascode**)

説明: このエラー・メッセージは、システム出口ルーチンの新規コピーをシステム **LPA** にロードできなかったことを示すために発行されます。このメッセージ内の *type* 変数の値は、C2PSMFU8 出口ルーチンの場合は SMF、C2PENFXR 通知出口の場合は ENF となります。*location* 変数には、値 LINKLIST または STEPLIB が入ります。このメッセージは DEBUG メッセージが要求された場合に通知メッセージとして発行されます。モジュールが LINKLIST または STEPLIB に見つからない場合は、STEPLIB についてのメッセージも発行されます。戻りコードおよび理由コード (*retcode-reascode*) について詳しくは、「MVS Programming: Authorized Assembler Services Reference, Vol 1」の CSVDYLPA を参照してください。

C2P0194I *type name*

説明: これは、現在アクティブになっているアドレス・スペースに関連付けられた開始タスクの *name* を示す診断メッセージです。これはメッセージ C2P0186I の論理継続です。

C2P0195I *type* ルーチンを *location* から **LPA** に追加しました。 **RC=retcode-reascode**
(Added *type* routine from *location* to **LPA**, **RC=retcode-reascode**)

説明: DEBUG が指定された場合、この通知メッセージは、システム出口ルーチンの新規コピーが *location* からシステム **LPA** にロードされることを示すために発行されます。*location* 変数には、値 LINKLIST または STEPLIB が入ります。 *type* 変数の値は、C2PSMFU8 出口ルーチンの場合は SMF、C2PENFXR 通知出口の場合は ENF となります。

C2P0196E *product* は開始タスクとして実行する必要があります (*product must run as started task*)

説明: zSecure Alert プログラムおよび zSecure Access Monitor プログラム (C2POLICE および C2PACMON) は、開始タスクとして実行する必要があります。これらのプログラムをバッチ・ジョブの一部として実行することはサポートされていません。実行は終了します。

C2P0197W **BufIndex** ロックは使用できません。お待ちください。 (**BufIndex Lock not available, wait**)

説明: SMF または WTO 書き込みルーチンが新規バッファに切り替え中のため、現在は次のバッファに切り替えることができません。ロックが使用可能になり次第、バッファが切り替わります。

C2P0198A **BufIndex** ロックは使用できません。終了します。 (**BufIndex Lock not available, exit**)

説明: SMF または WTO 書き込みルーチンが新規バッファに切り替え中のため、現在は次のバッファに切り替えることができません。バッファ索引にアクセスして現行バッファ索引を更新することができません。次のインターバルで、現行レコード・バッファの切り替えが再度試行されます。

C2P0199A 使用可能なバッファがありません。切り替わりません。 (**No Buffer available, Not switched**)

説明: 現在、次のバッファに切り替えることはできません。既存のすべてのバッファが、ロックされているか分析中です。次のインターバルで、現行レコード・バッファの切り替えが再度試行されます。

C2P0200E **DCB** 異常終了出口に入りました (**DCB Abend exit was entered**)。異常終了コード =*cde-reas* (**Abend Code=cde-reas**)

説明: C2POLICE DD 名の 1 つで OPEN 異常終了が発生した場合、このメッセージが発行されます。異常終了コードは *cde* で、理由コードは *reas* です。

ユーザーの処置: 「z/OS MVS システム・コード」で異常終了コードおよび理由コードを確認してください。この異常終了の原因として最も可能性が高いのは、データ・セット特性の指定に誤りがある場合です。

C2P0201I ENF listen 要求 retcode=retcode (ENF listen request retcode=retcode)

説明: デバッグが要求された場合、または ENF listen 要求のセットアップ時にエラーが発生した場合に、このメッセージが発行されます。retcode フィールドにゼロ以外の値が示されている場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0202E CKRCARLA ルーチンの削除時にエラーが発生しました。RC=rc (Error deleting CKRCARLA routine, RC=rc)

説明: CKRCARLA プログラムの削除時に、システム・エラーが発生しました。エラー・コードが rc です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッセージを発行したタスクのメッセージ・ログを含むエラー・レポートを作成してください。

C2P0203I CKRCARLA ルーチンが削除されました (Removed CKRCARLA routine)

説明: この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0204E IEANTDL からのエラー戻り、RC=rc (Error return from IEANTDL, RC=rc)

説明: IEANTDL サービスが、戻りコード rc で失敗しました。

ユーザーの処置: デバッグ・オプションを指定してタスクを再始動してください。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。開始タスクの出力を含む問題報告書を作成してください。

C2P0205I SMF の名前/トークン・ペアが削除されました (Removed SMF Name/Token Pair)

説明: この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0206I PC ルーチン・アドレスが削除されました (Removed PC-Routine Address)

説明: この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0207I タスクが再びスワップ可能になりました (Made task swappable again)

説明: この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0208I バッファを検出しました。このバッファを解放します。(Found a buffer, free it)

説明: この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0209I アドレス address

説明: この診断メッセージは、間もなく解放されるバッファのアドレスを示します。これはメッセージ C2P0208I の論理継続です。

C2P0210I ロックされたバッファが見つかりました。タスクを待機後、解放します。(Locked buffer found, wait for task to release)

説明: この診断メッセージは、クリーンアップ・フェーズの途中で解放されていないバッファが検出されたことを示すために発行されます。これは、エラー、またはサブタスク (分析タスクなど) がまだアクティブなことが原因で起こることがあります。サブタスクが正常に完了できるように、バッファの解放が遅延されます。

C2P0211I バッファがありません。次へ進みます。(No Buffers, next)

説明: この診断進行メッセージは、クリーンアップ・ルーチンがメモリー内レコード・バッファが割り振られていないことを検出した場合に発行されます。タスクは、クリーンアップ・プロセスの次の部分を続行します。

C2P0212I 既存の ET ET-Token が見つかりました (Found existing ET ET-Token)

説明: この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0213E **C2PC** の長さが正しくありません。解放を試行します (**Incorrect length of C2PC, attempt free**)

説明: このエラー・メッセージは、ECSA 内の C2PC 制御ブロックの長さが、予期された制御ブロックの長さとは一致しない場合に発行されます。これは、C2PC ストレージのオーバーレイが原因で起こる場合があります。

システムの処置: クリーンアップ・タスクは、制御ブロック自体に記録された長さを使用して、ストレージ域を解放しようとしています。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。SIPL オペレーター・コマンドの使用理由も含め、タスク (zSecure Alert) の完全な出力を含む問題報告書を作成してください。

C2P0214I **ET** が破棄されました (**ET destroyed**)

説明: この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0215I **ET** が見つかりません。次へ進みます (**No ET found, next**)

説明: この診断進行メッセージは、クリーンアップ・ルーチンがエントリー・テーブルが作成されなかったことを検出した場合に発行されます。タスクは、クリーンアップ・プロセスの次の部分を続行します。

C2P0216E 特殊 (合計) クリーンアップ・モード (**Special (Total) cleanup mode**)

説明: SIPL オペレーター・コマンドの結果として、クリーンアップ・ルーチンは、ECSA 内の C2PC 制御ブロックおよびその制御ブロックへのポインターの削除も実行します。これにより、開始タスクの現行インスタンスに使用されたシステム LX は失われます。

C2P0217I **N/T** を削除します (**Delete N/T**)

説明: この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0218E **IEANTDL** からのエラー戻り、**RC=rc** (**Error return from IEANTDL, RC=rc**)

説明: C2PC 制御ブロックへのポインターの削除時に、IEANTDL サービスが戻りコード *rc* で失敗しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。SIPL オペレーター・コマンドの使用理由も含め、開始タスクの完全な出力を含む問題報告書を作成してください。

C2P0219I **Freemain C2PC**

説明: この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0220I 動的出口 **SMF-Exitname** が削除されました (**Removed dynamic exit SMF-Exitname**)

説明: この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0221E **SMF-Exitname RC=retc-reas** の削除時にエラーが発生しました (**Error deleting SMF-Exitname RC=retc-reas**)

説明: MVS 動的出口機能を使用して SMF 出口を削除する際に、システム・エラーが発生しました。

CSVDYNEX サービス・ルーチンの戻りコードは *retc* で、理由コードは *reas* です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。開始タスクの完全な出力を含む問題報告書を作成してください。

C2P0222I 以前の実行のクリーンアップを開始します (**Start of cleanup previous execution**)

説明: 初期化時に、この開始タスクの前のインスタンスが検出されました。そのインスタンスは正常にシャットダウンされていません。始動プロセスの一環として、所定の手順に従って前のインスタンスのクリーンアップが実行されます。

C2P0223E バッファが解放されていません、解放を試行します (**Buffer not released, attempt to free anyway**)

説明: クリーンアップ時に、メモリー内バッファがまだ使用中であることが検出され、クリーンアップ・タスクによる排他使用を確保できませんでした。いずれにしても、クリーンアップ・タスクは続行され、バッファが解放されます。これにより、バッファを使用してい

るプロセスが異常終了する場合があります。

C2P0224E Bufsize が矛盾しています。解放をスキップします (Impossible Bufsize, skip free)

説明: C2PC 制御ブロックに記録された bufsize が有効な制限の範囲外か、または奇数のバイト数になっています。bufsize の長さが間違っていると思われます。クリーンアップ・タスクは、どのメモリー内レコード・バッファの解放も試みません。解放するとシステム異常終了になる可能性があるためです。

C2P0225E C2PC の長さが矛盾しています。終了します (Impossible length of C2PC, terminate)

説明: このエラー・メッセージは、ECSA 内の C2PC 制御ブロックの長さが大きすぎる場合に発行されます。これは、C2PC ストレージのオーバーレイが原因で起こる場合があります。

システムの処置: ストレージの解放を試行せずに、処理を続行します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。SIPL オペレーター・コマンドの使用理由も含め、開始タスクの完全な出力を含む問題報告書を作成してください。

C2P0226I 以前の実行のクリーンアップを終了します (End of cleanup previous execution)

説明: 初期化時に、この開始タスクの前のインスタンスが検出されました。そのインスタンスは正常にシャットダウンされていません。この進行メッセージは、直前のインスタンスのクリーンアップが所定の手順で完了したことを示します。

C2P0227E C2PIORTN ルーチンの削除時にエラーが発生しました。RC=rc (Error deleting C2PIORTN routine, RC=rc)

説明: C2PIORTN モジュールを削除する際に、システム・エラーが発生しました。エラー・コードが rc です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッ

セージを発行したタスクのメッセージ・ログを含むエラー・レポートを作成してください。

C2P0228I C2PIORTN ルーチンが削除されました (Removed C2PIORTN routine)

説明: この診断メッセージは、クリーンアップ処理の進行標識として発行されます。

C2P0229E 製品がこの環境で使用不可にされているか、またはインストール・エラーです。C2PDEBUG を参照してください (Product disabled here or install error, see C2PDEBUG)

説明: 製品の登録時に問題が発生しました。

ユーザーの処置: C2PDEBUG ファイルで詳細なエラー・メッセージを確認してください。正しい製品がご使用の IFAPRDxx parmlib メンバーで使用不可になっていないことを確認してください。

C2P0230E IFAEDDRG からのエラー戻り、RC=retcode (Error return from IFAEDDRG, RC=retcode)

説明: プログラムの終了時に、登録解除の問題が発生しました。

ユーザーの処置: この状態は回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0231I product に対する IFAEDDRG が正常に完了しました (IFAEDDRG for product succeeded)

説明: この診断メッセージは、製品の登録解除が正常に完了したことを確認するために、デバッグ・モードで発行されます。

C2P0232I バッファ統計: ACMN(cnt,len) count_storage (Buffer stats: ACMN(cnt,len) count-storage)

説明: この診断メッセージは、バッファの使用量分析の一部として提供されます。現行バッファ内のアクセス・モニター (ACMN) のレコード数は、count です。これらのレコードの合計サイズは、storage です。storage の値は 8 桁に切り捨てられます。99999999 を超える値を表す 10 進数は省略されます。

C2P0233I このインターバルで収集されたレコードはありません (**No records collected this interval**)

説明: 現在のレポート作成インターバルでは、レコードが収集されませんでした。該当するイベントが発生しなかったか、指定されたフィルター基準をパスしたイベントがありませんでした。

C2P0234I アクセス・モニターは、ユーザー自身のリソースに対するアクセス要求を収集します (**Access Monitor captures access requests for a user's own resources**)

説明: このメッセージは、ユーザー自身のリソースに対するアクセス要求がアクセス・モニター・イベントで収集されることを示します。このオプションを使用すると、収集情報の量が大幅に増加する可能性があります。

C2P0235I アクセス・モニターは、ユーザー自身のリソースに対するアクセス要求を無視します (**Access Monitor ignores access requests for a user's own resources**)

説明: このメッセージは、ユーザー自身のリソースに対するアクセス要求はアクセス・モニター・イベントで収集されないことを示します。

INCLUDEOWNRESOURCE キーワードが指定されていない場合、これがデフォルトの状況です。

C2P0236I アクセス・モニターは、ユーザー自身のリソースに対するアクセス要求を収集します (**Access Monitor captures access requests for a user's own resources**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 DISPLAY コマンドの実行時に、zSecure アクセス・モニターは、専用データ・セットまたはユーザーのユーザー ID で実行されるジョブといった、ユーザー自身のリソースに対するアクセス要求ごとにレコードを収集します。

C2P0237E zSecure アクセス・モニターには z/OS 1.8 以上が必要です (**zSecure Access Monitor requires z/OS 1.8 or higher**)

説明: zSecure アクセス・モニターは、z/OS 1.8 以上でのみ稼動します。その他のバージョンのオペレーティング・システム環境はサポートされていません。プログラムは終了します。

C2P0238E C2PEMFRB を開けません (**Cannot open C2PEMFRB.**) スナップショットの使用法が *action* されません (**Snapshot usage is not action.**)

説明: このエラー・メッセージは、C2PEMFRB DD 名が割り振られているが開けない場合に発行されます。変数 *action* には、値 *retrieved* または *saved* が入ります。

ユーザーの処置: C2PEMFRB データ・セットのデータ・セット特性を確認してください。特性は、RECFM=FB および LRECL=80 です。データ・セットが存在していて正しい特性が指定されているにもかかわらず、依然としてエラーが発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0239E C2PEMFRB を閉じることができませんでした (**Could not close C2PEMFRB.**)

説明: このエラー・メッセージは、C2PEMFRB DD 名が割り振られて処理されているが、閉じることができない場合に発行されます。

C2P0240I 収集タイマーのループ (**Collect Timer Loop**)

説明: この診断メッセージは、収集タイマーの満了を報告するために発行されます。

C2P0241I CKFREEZE 収集タスクはアクティブです (**The CKFREEZE collection task is active**)

説明: この診断メッセージは、CKFREEZE ファイルのシステム情報を収集する zSecure Collect タスクが実行中であることを示すために発行されます。

C2P0242I CKFREEZE 収集タスクが完了しました (**The CKFREEZE collection task is finished**)

説明: この診断メッセージは、CKFREEZE ファイルのシステム情報を収集する zSecure Collect タスクが完了したことを示すために発行されます。

C2P0243E 収集タイマー・ルーチンの接続でエラーが発生しました。**RC=rc (Error attaching Collect Timer routine, RC=rc)**

説明: システム・データ収集タイマーのタイマー・タスクを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH からのエラー・コードは、rc です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0244I 収集タイマー・ルーチンが正常に接続されました。**(Successfully attached Collect Timer routine)**

説明: この診断メッセージは、システム・データを収集するためのタイマー・ルーチンが正常に接続されたことを示します。

C2P0245E *CollectSTCName* の **START** コマンドが失敗しました。**RC=rc (START command for CollectSTCName failed RC=rc)**

説明: zSecure Collect 開始タスクの開始コマンドが失敗しました。開始プロシーチャーの名前は *CollectSTCName* で、タスクの開始に使用した MGCRC マクロからの戻りコードは RC です。

C2P0246E 内部エラー: **CKFTABLE** アドレスが無効です。**(Internal error: Invalid CKFTABLE address.)**

説明: このメッセージは内部エラーを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0247E **CKFCOLL** の接続でエラーが発生しました。**RC=rc (Error attaching CKFCOLL, RC=rc)**

説明: CKFCOLL プログラムを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは rc です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されて

いる手順に従って問題を報告してください。

C2P0248E 拡張モニター・スナップショット・データ・セットが検出されませんでした。**(No extended monitor snapshot data sets were found.)**

説明: このエラー・メッセージは、拡張モニター・スナップショット・データ・セットがシステム・カタログに見つからなかった場合に発行されます。拡張モニターをアクティブにして C2POLICE を最初に開始するときにこのメッセージが表示されるのは、正常です。拡張モニターのデータ・セットは、拡張モニター処理の一環として作成されます。

ユーザーの処置: 拡張モニターが OPTION STAGE1INTERVAL または OPTION PREPROCESSINTERVAL で指定されたプリプロセッシング・インターバルよりも長い間アクティブになっている場合は、拡張モニター・スナップショット・データ・セットが検出されない理由を調べてください。理由としては、データ・セットの作成に失敗した、これらのデータ・セットがカタログされていない、またはその他の理由が考えられます。

C2P0249E 拡張モニター・スナップショット・データ・セットが多すぎます。**(Too many extended monitor snapshot data sets.)** 終了します。**(Exit.)**

説明: このエラー・メッセージは、システム・カタログで見つかったスナップショット・データ・セットが 728 個より多い場合に発行されます。通常操作時に、任意の時点で存在すると考えられる拡張モニター・スナップショット・データ・セットの最大数は 595 です。指定された保存期間 (OPTION EXTMON(RETAIN(hh)) で指定) よりも古いデータ・セットは、自動的に削除されます。

ユーザーの処置: 拡張モニター・スナップショット・データ・セットが削除されない理由を調べてください。理由としては、権限による失敗、または該当の拡張モニター・データ・セット以外のデータ・セットがリストされている、などが考えられます。C2PEMFRT メンバーに、拡張モニター・スナップショット・データ・セットの正しいデータ・セット名が指定されていることを確認してください。廃止されたデータ・セットまたは期限切れのデータ・セットは削除します。

C2P0250I カタログ・リストは正常に完了しました。**(Catalog list was successful.)**

説明: この通知メッセージは、システム・カタログ内の

拡張モニター・データ・セットのリストが正常に完了した後で発行されます。

C2P0251E PARMLIB を開けません (Cannot open PARMLIB)

説明: オプションおよびパラメーターを処理するために parmlib ファイルを開こうとしているときに、エラーが発生しました。

ユーザーの処置: PARMLIB DD ステートメントは必ず、固定ブロック形式で LRECL が 80 の順次ファイルに割り振ってください。付随する IEC メッセージで、さらに詳しい情報を調べることができます。

C2P0252I Parmlib ファイルの終わり (End of Parmlib file)

説明: この診断メッセージは、parmlib ファイル内のすべてのレコードが処理されたときに発行されます。

C2P0253E PARMLIB を閉じることができませんでした (Could not close PARMLIB)

説明: オプションおよびパラメーターを処理するための parmlib ファイルを閉じようとしているときに、エラーが発生しました。

ユーザーの処置: PARMLIB DD ステートメントは必ず、固定ブロック形式で LRECL が 80 の順次ファイルに割り振ってください。付随する IEC メッセージで、さらに詳しい情報を調べることができます。

C2P0254I 指定された WTO フィルター接頭部は msg-prefix です (Specified WTO Filter Prefix is msg-prefix)

説明: この診断メッセージは、WTO メッセージのフィルター基準として使用される msg-prefix を示します。

C2P0255I 接頭部 prefix の WTO フィルターを非アクティブにしました (Deactivated WTO Filter for prefix prefix)

説明: この診断メッセージは、prefix の WTO フィルターを非アクティブにしたことを示します。

注: すべての WTO フィルター基準を非アクティブにすると、すべての WTO メッセージが選択されます。

C2P0256I 指定されたレポート・メンバーは member です (Specified report member is member)

説明: この診断メッセージは、レコード分析に使用され

るメイン CARLa メンバーのメンバー名を示します。

C2P0257I 指定された samplib DD 名は ddname です (Specified samplib ddname is ddname)

説明: この診断メッセージは、product サンプル・ライブラリーの DD 名を示します。

C2P0258I 指定された時間平均インターバル (秒) は averageinterval です (Specified Time-Averaged interval is (sec) averageinterval)

説明: この診断メッセージは、長期しきい値タイプ分析に使用する、指定された時間間隔 interval を示します。

C2P0259E 指定された時間平均インターバル interval が無効です (Specified Time-Averaged interval invalid interval)

説明: このエラー・メッセージは、長期しきい値タイプ分析に使用する、指定されたインターバル interval が無効な場合に発行されます。有効な範囲は、10 秒から 9999 秒です。

C2P0260I 指定された type メンバーは name です (Specified type member is name)

説明: この診断メッセージは、プリプロセッシングまたは統合 CARLa に指定したメンバー name を示します。メッセージ内の type は、preprocessing (プリプロセッシング) または consolidation (統合) のいずれかです。

C2P0261I zSecure Collect は (HHMM) HHMM に実行されます (zSecure Collect Runs at (HHMM) HHMM)

説明: この診断メッセージは、システム情報と共に CKFREEZE ファイルをロードするために使用される zSecure Collect 開始タスクに対して指定された、開始時刻を示します。

C2P0262E zSecure Collect 実行時間 HHMM が無効です (zSecure Collect runtime invalid HHMM)

説明: zSecure Collect タスクの開始時刻として指定された時刻が無効です。HHMM には、0000 (午前 0 時) から 2359 (午前 0 時の 1 分前) の間の時刻を指定する必要があります。

ユーザーの処置: 有効な時刻を指定します。

C2P0263I 検出されたコマンドは *command* です
(**Command found is *command***)

説明: この診断メッセージは、オペレーターから受信したか PARMLIB ファイルから読み取った *command* を示します。

C2P0264I zSecure Collect 開始プロシージャー名は
*procname**procname* です (**zSecure
Collect started procedure name is
*procname***)

説明: この診断メッセージは、zSecure Collect 開始タスクの開始コマンドで使用される、指定のプロシージャー名を示します。

C2P0265I 指定された保存期間は *retpd* です。
(**Specified retention period is *retpd*.**)

説明: デバッグ・メッセージを要求すると、拡張モニター・スナップショット・データ・セットの保存期間 (時間) の設定を確認するために、この通知メッセージが発行されます。

C2P0266I Debug ExtMon がアクティブになります
(**Debug ExtMon is activated.**)

説明: 汎用デバッグ・メッセージを要求すると、拡張モニター・デバッグ・メッセージが発行されることを確認するために、この通知メッセージが発行されます。

C2P0267I コマンドが見つかりません (? または /*)
(**No command found (? or /*)**)

説明: 入力レコードに、認識されるコマンドが何も含まれていませんでした。このレコードは、コメント・レコードである可能性があります。このメッセージは、DEBUG MAIN が指定された場合にのみ発行されます。

C2P0268E コマンドが認識されません。
scancode=scancode | command

説明: この診断メッセージは、コマンドとそのキーワードおよびパラメーター、または認識されないコマンドの値を判別できるように、スキャン操作の結果を提供します。

C2P0269E パラメーターが無効です。SYSTSPRT を
参照してください。Parse-RC=*rc* (**Invalid
parameter, see SYSTSPRT,
Parse-RC=*rc***)

説明: parmlib で指定されたコマンドまたはコンソー

ル・オペレーターが入力したコマンドが、有効な構文ではありません。SYSTSPRT ファイルに、受け入れられなかったキーワードおよびパラメーターについての詳細が示されています。

ユーザーの処置: SYSTSPRT ファイルのエラー・メッセージを確認して、コマンドを再試行してください。

C2P0270E SVC26 戻りコード =*rc*。(SVC26 return
code =*rc*.) 終了します (**Exit**)

説明: このエラー・メッセージは、カタログ・インターフェース・ルーチンが予期せぬ戻りコードで終了した場合に発行されます。

ユーザーの処置: メッセージ IDC3009I にリストされているカタログ管理戻りコードを確認してください。

C2P0271I Debug C2PC (*option*) が指定されました
(**Debug C2PC(*option*) specified**)

説明: これは、C2PC 共通域で要求されたアクションを確認する診断メッセージです。このオプションは、IBM サポート担当員の指示があった場合のみ使用してください。*option* の指定可能な値は、次のとおりです。

ACTIVE

C2PC 共通域が、C2P0802I メッセージによってシステム・コンソールに表示されます。

COPY C2PC 共通域の保存コピーが、C2P0802I メッセージによってシステム・コンソールに表示されます。

SAVE C2PC 共通域が、指定の保存域に保存されます。

CLEAR

C2PC 共通域のコピー用に使用する保存域が初期化されます。

???? C2PC DEBUG オプション用の不明なサブオプションが指定されました。

C2P0272I Debug ALL がアクティブになります。
(**Debug ALL is activated.**)

説明: これは、すべての診断メッセージが生成されることを確認する診断メッセージです。

C2P0273E 指定された保存期間は範囲外です: *retpd*。
(**Specified retention period is out of
range: *retpd*.**)

説明: OPTION EXTMON(RETAIN(hh)) コマンドに指定された保存期間が有効な範囲 (1 から 99 時間) の外

にある場合に、このエラー・メッセージが発行されます。

ユーザーの処置: `retain` キーワードに有効な時間数を指定していることを確認してください。

C2P0274W 一時停止サービスが `rc= retcode` を返しました (**Pause services returned rc= retcode**)

説明: この診断メッセージは、MVS PAUSE サービスからの、最初の受け入れ不能戻りコードを示します。この情報は、IBM サポート担当員のみが使用するためのもので、お客様が診断に使用するためのものではありません。

C2P0275I 指定された **BufSize (size-unit)** は *bufsize* です (**Specified BufSize (size-unit) is bufsize**)

説明: この診断メッセージは、有効なバッファ・サイズを示します。 *size-unit* で示される可能性がある値は、KBytes および MBytes です。

C2P0276E 指定された *size-keyword* が範囲外です *bufsize* (**Specified size-keyword is out of range bufsize**)

説明: 指定された *bufsize* は大きすぎるか、または小さすぎます。メモリー内バッファの有効なサイズは、1 キロバイトから 1 ギガバイトの間です。この値をキロバイト単位で指定する場合は `BufSize` キーワードを使用し、メガバイト単位で指定する場合は `BufSizeMB` キーワードを使用します。

システムの処置: システムは、サポートされている最小バッファ・サイズまたは最大バッファ・サイズを使用します。

ユーザーの処置: `BufSize` または `BufSizeMB` に有効な値を指定してください。

C2P0277I 指定されたバッファ数は *numbufs* です (**Specified Number of Buffers is numbufs**)

説明: この診断メッセージは、有効なバッファ数を示します。

C2P0278E バッファ数が範囲外です *numbufs* (**Number of buffers out of range numbufs**)

説明: 指定された *numbufs* の値が大きすぎるか、または小さすぎます。メモリー内レコード・バッファの有

効な量は、2 から 32 の間です。

C2P0279I 指定されたレポート作成インターバル (秒) は *interval* です (**Specified reporting interval is (sec) interval**)

説明: この診断メッセージは、アラート分析またはデータ収集処理について指定された時間間隔を示します。

C2P0280E 指定されたレポート作成インターバルが範囲外です: *interval* (**Specified Reporting Interval is out of range: interval**)

説明: このエラー・メッセージは、アラート分析またはデータ収集処理について指定された時間間隔が無効な場合に発行されます。有効な範囲は、10 秒から 3600 秒です。

C2P0281I 指定された **SMF フィルター Rectype** は *ttt* です (**Specified SMF Filter Rectype is ttt**)

説明: この診断メッセージは、フィルター基準として使用する SMF レコード・タイプに指定された値 (*ttt*) を示します。

C2P0282E 指定された **SMF フィルター Rectype** が範囲外です: *ttt* (**Specified SMF Filter Rectype is out of range: ttt**)

説明: SMF レコードの範囲は、0 から 255 までです。指定された値 *ttt* は、この範囲外にあります。

C2P0283I 指定された **SMF フィルター・サブタイプ** は *sss* です (**Specified SMF Filter Subtype is sss**)

説明: この診断メッセージは、フィルター基準として使用する SMF レコード・サブタイプに指定された値 (*sss*) を示します。サブタイプは、SMF レコード・タイプ 30 と、RACF SMF レコード内のイベント・コードに対してのみサポートされています。

C2P0284E 指定された **SMF フィルター・サブタイプ** が範囲外です: *sss* (**Specified SMF Filter Subtype is out of range: sss**)

説明: SMF レコードのサブタイプの範囲は、0 から 255 までです。指定された値 *sss* は、この範囲外にあります。

C2P0285I 拡張モニターがアクティブになります。
(Extended Monitoring is activated.)

説明: デバッグ・メッセージを要求すると、拡張モニターがアクティブになることを確認するために、この情報メッセージが発行されます。

C2P0286I 拡張モニターが非アクティブになります。
(Extended Monitoring is deactivated.)

説明: デバッグ・メッセージを要求すると、拡張モニターが非アクティブになることを確認するために、この情報メッセージが発行されます。

C2P0287I プリプロセッシング・インターバル (分)
は *interval* です (Preprocessing interval
is (min) *interval*)

説明: この診断メッセージは、システム環境情報の更新から更新までの期間を示します。

C2P0288E プリプロセッシング・インターバルが範囲
外です *interval* (Preprocessing interval
is out of range *interval*)

説明: 環境情報の更新に指定された値が無効です。有効な範囲は、10 分から 1440 分です。

C2P0289I *rectype* *rectype* 用 SMF フィルターが非
アクティブになりました (Deactivated
SMF Filter for *rectype* *rectype*)

説明: この診断メッセージは、SMF レコード・タイプ *rectype* 用の SMF フィルターが非アクティブになったことを示します。すべての SMF フィルター基準を非アクティブにすると、すべての SMF レコードが選択されます。

C2P0290I SMF サブタイプ・フィルタが非アク
ティブになりました (Deactivated SMF
Subtype Filter)

説明: SMF レコード・サブタイプ・フィルタリングが、この SMF フィルターに対して非アクティブになりました。

C2P0291I すべてのデバッグ・オプションが非アク
ティブになります。 (All debug options are
deactivated.)

説明: これは、診断メッセージが以後は生成されなくなることを確認する診断メッセージです。

C2P0292I Debug SMF がアクティブになります。
(Debug SMF is activated.)

説明: これは、SMF 収集関連の診断メッセージが生成されることを確認する診断メッセージです。

C2P0293I Debug SMF が非アクティブになり
ます。 (Debug SMF is deactivated.)

説明: これは、SMF 収集関連の診断メッセージが以後は生成されなくなることを確認する診断メッセージです。

C2P0294I Debug WTO がアクティブになります。
(Debug WTO is activated.)

説明: これは、WTO 収集関連の診断メッセージが生成されることを確認する診断メッセージです。

C2P0295I Debug WTO が非アクティブになり
ます。 (Debug WTO is deactivated.)

説明: これは、WTO 収集関連の診断メッセージが生成されなくなることを確認する診断メッセージです。

C2P0296I Debug MAIN がアクティブになり
ます。 (Debug MAIN is activated.)

説明: これは、メインライン処理に関連する診断メッセージが生成されることを確認する診断メッセージです。

C2P0297I Debug MAIN が非アクティブになり
ます。 (Debug MAIN is deactivated.)

説明: これは、メインライン処理に関連する診断メッセージが以後は生成されなくなることを確認する診断メッセージです。

C2P0298I デバッグ BUFFER がアクティブになり
ます。 (Debug BUFFER is activated.)

説明: これは、バッファ使用状況の診断メッセージが生成されることを確認する診断メッセージです。

C2P0299I デバッグ BUFFER が非アクティブに
なります。 (Debug BUFFER is deactivated.)

説明: これは、バッファ使用状況の診断メッセージが以後は生成されなくなることを確認する診断メッセージです。

C2P0300I データ収集タイマーのループ (Data capture timer loop)

説明: この診断メッセージは、オプション debug が指定されている場合、データ収集処理の開始時に発行されます。

C2P0301E COM N/T が見つかりません (COM N/T not found)

説明: C2PC 制御ブロックの取得に使用する名前/トークンのペアを取得できませんでした。

ユーザーの処置: この状態は回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0302E PC N/T が見つかりません (PC N/T not found)

説明: SMF レコード収集ルーチンで使用する名前/トークンのペアを取得できませんでした。

ユーザーの処置: この状態は回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0303E バッファ索引の問題が発生しました (Buffer index problem occurred)

説明: メモリー内バッファへのアクセス時に、内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に (レポート作成周期ごとに 1 回) 発生する場合は、オペレーター・コマンド MODIFY stcname, RESTART を使用して RESTART コマンドを発行することで、この状態からの復旧を試みることが可能です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0304E バッファ・オーバーフローが発生しました (Buffer Overflow occurred)

説明: 取り込みデータの収集に使用するメモリー内バッファの大きさが十分ではありませんでした。

ユーザーの処置: OPTION および REPORT コマンド

を使用して、バッファ・サイズを大きくし、レポート作成インターバルを短くしてください。zSecure AlertzSecure Alert では、FILTER キーワードを使用して不要な SMF レコードおよび WTO メッセージをスキップすることもできます。

C2P0305E バッファのロック問題が発生しました (Buffer locking problem occurred)

説明: 取り込みデータの収集に使用するメモリー内バッファを排他使用で取得できませんでした。バッファにデータを追加するには、短期間の排他使用が必要です。

ユーザーの処置: この状態が発生してよいのは、システム・アクティビティが多い期間だけです。このメッセージが頻繁に表示される場合、またはシステム・アクティビティの少ない期間に発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0306I ヘルス・チェックが完了しました (Health Check completed)

説明: デバッグ・オプションが指定されている場合、内部エラー・チェックのフェーズが終了した時点でこの診断メッセージが発行されます。

C2P0307A 次のバッファはロックされているか使用中です。スキップします (Next buffer is locked or in use, skip)

説明: 次のバッファがまだ使用中のため、メモリー内バッファの切り替えができません。ロックされたバッファは無視されます。その他のバッファがすべて使用されている場合は、現在ロックされているバッファへのアクセスが再試行されます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。RESTART オペレーター・コマンドを使用することで、この状態からリカバリーできる場合があります。

C2P0309W どの長期分析に対してもバッファ数が小さすぎます (Number of buffers too small for any long term analysis)

説明: 指定されたバッファ数が、ヒストリー・レコー

ドを保持するには小さすぎます。指定されているバッファ数が 2 より大きいことを確認してください。

ユーザーの処置: OPTION NUMBUFS で少なくとも 3 個のメモリ内バッファを必ず指定するようにしてください。推奨されるバッファ数は、少なくとも $\text{TimeAverage} / \text{Interval} + 1$ です。

C2P0310E レポート作成タスクが早期終了しました。再始動します (**Reporting task prematurely ended, restart**)

説明: レポート作成タスク (CKRCARLA) が、明示的に停止を要求されることなく停止しました。タスクは、次のレポート作成インターバルで再始動されます。

C2P0311E データ収集タスクの接続時のエラー、**RC=rc (Error attaching data capture task, RC=rc)**

説明: 独立データ収集タスクを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH からのエラー・コードは、rc です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0312E **CKRCARLA MGR** タスクの接続時のエラー、**RC=rc (Error attaching CKRCARLA MGR task, RC=rc)**

説明: 独立データ収集タスクを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは rc です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0313W **CKRCARLA** からの戻りコード rc。**C2PDEBUG** を参照してください (**Return code rc from CKRCARLA, see C2PDEBUG**)

説明: 取り込んだデータの分析中にエラーが発生しました。詳細は、C2PDEBUG ファイルで参照できます。

C2P0314W *task-name* タスクの再始動待ちです (**Waiting to restart task-name task**)

説明: アラート・レポート作成タスクまたはアクセス・モニター記録タスクが早期終了したか、または高い値の戻りコードで終了しました。これは、入力メンバーの CARLa ステートメント内のエラーが原因となった可能性があります。問題の原因の修正に割ける時間を多くするため、タスクの再始動が遅らされます。

ユーザーの処置: C2PDEBUG ファイルの CKRCARLA 出力を確認して、エラーがあればすべて訂正してください。

C2P0315E **SYSPRRPT** を開けません。終了します (**Cannot open SYSPRRPT, exit**)

説明: SYSPRRPT ファイルのオープン・エラーが発生しました。このファイルは、レコード・フォーマットが VBA で LRECL が 255 に指定された一時データ・セットに事前割り振りされている必要があります。追加情報については、付随する IEC メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 正しい特性を持つ SYSPRRPT ファイルが使用可能であることを確認してください。

C2P0316E **SYSPRRPT** を閉じることができませんでした (**Could not close SYSPRRPT**)

説明: SYSPRRPT ファイルのクローズ・エラーが発生しました。

C2P0317E **C2PDEBUG** を開けません。終了します (**Cannot open C2PDEBUG, exit**)

説明: C2PDEBUG ファイルのオープン・エラーが発生しました。このファイルは、レコード・フォーマットが VBA で LRECL が 255 に指定された一時データ・セットに事前割り振りされている必要があります。追加情報については、付随する IEC メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 正しい特性を持つ C2PDEBUG ファイルが使用可能であることを確認してください。

C2P0318E **C2PDEBUG** を閉じることができませんでした (**Could not close C2PDEBUG**)

説明: C2PDEBUG ファイルのクローズ・エラーが発生しました。

C2P0319I CKRCARLA タスクの新規開始 (New start of CKRCARLA task)

説明: この診断メッセージは、CKRCARLA データ処理タスクの新規インスタンスが開始されようとしていることを示すために発行されます。

C2P0320E CKRCARLA 接続エラー、RC=rc (Error attaching CKRCARLA, RC=rc)

説明: CKRCARLA タスクを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH からのエラー・コードは、rc です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

**C2P0321E CKRCARLA でのシステム異常
abndcode-reascode。C2PDEBUG を参照し
てください (System abend
abndcode-reascode in CKRCARLA, see
C2PDEBUG)**

説明: 取り込んだデータの分析中にエラーが発生しました。詳細は、C2PDEBUG ファイルで参照できます。

**C2P0322E 内部タイマー・ルーチンの接続エラー、
RC=rc (Error attaching internal timer
routine, RC=rc)**

説明: 内部タイマー・タスクを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH からのエラー・コードは、rc です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

**C2P0323I 現行バッファース索引は bufindex です
(Current buffer index was bufindex)**

説明: この診断メッセージは、バッファース・ロックの問題分析の一部として提供されます。これはメッセージ C2P0305E の論理継続です。エラーの発生時にデータ収集に使用されていたバッファースは bufindex です。

**C2P0324I バッファース (nm) 状況 (status-list)
Last-task (Buffer(nm) Status(status-list)
Last-task)**

説明: この診断メッセージは、バッファース・ロックの問題分析の一部として提供されます。これはメッセージ C2P0305E の論理継続です。すべてのバッファースが、複数の C2P0324I メッセージで順にリストされます。状況は、次の組み合わせになります。

ActCol バッファースはデータの収集に使用されています。

ToBeAn

バッファースには、最新の SMF または WTO 情報があります。この情報はまだ分析されていません。

CurHis

バッファースには、SMF または WTO 情報があります。この情報は、最新データ収集またはヒストリー・データ収集の一部として分析する必要があります。

Locked

更新アクティビティーのため、バッファースは現在ロックされています。

Last-Task は、以下のいずれかの (サブ) ルーチンです。

- CKRCARLA 入出力ルーチン
- 次に切り替え
- 状況設定
- SMF 収集
- WTO 収集
- なし

**C2P0325I バッファース統計 SMF(cnt,len)
count-storage (Buffer stats SMF(cnt,len)
count-storage)**

説明: この診断メッセージは、バッファースの使用量分析の一部として提供されます。現行バッファース内の SMF レコード数は、count です。これらのレコードの合計サイズは、storage です。storage の値は 8 桁に切り捨てられます。99999999 を超える値を表す 10 進数は省略されます。

**C2P0326I バッファース統計 WTO(cnt,len)
count-storage (Buffer stats WTO(cnt,len)
count-storage)**

説明: この診断メッセージは、バッファースの使用量分析の一部として提供されます。現行バッファース内の WTO メッセージ数は、count です。これらのメッセージの合

計サイズは、*storage* です。*storage* の値は 8 桁に切り捨てられます。99999999 を超える値を表す 10 進数は省略されます。

C2P0327I バッファ統計 **Oth(cnt,len)**
rec-count-num-bytes (Buffer stats
Oth(cnt,len) rec-count-num-bytes)

説明: この診断メッセージは、バッファの使用量分析の一部として提供されます。現行のバッファ内の不明なレコード (つまり、SMF レコードまたは WTO レコード以外) の数は、*rec-count* です。これらのレコードの合計サイズは、*num-bytes* です。これらの数値は、通常はどちらもゼロでなければなりません。

C2P0328E **STACK** が失敗しました。**RC=retcode**
(STACK failed; RC=retcode)

説明: TSO STACK 機能を使用して外部ファイルからのデータを読み取ろうとしましたが、失敗しました。TSO STACK 機能からの戻りコードがメッセージに含まれています。

ユーザーの処置: 操作を再試行してください。再度失敗する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0329I **IARV64 RC=retcode-reascode**

説明: データ収集バッファのストレージを取得する際にエラーが発生しました。エラー・コードは *retcode* であり、理由コードは *reascode* です。

ユーザーの処置: IARV64 戻りコードと理由コードを確認してください。

C2P0330E レポート作成タイマー・ルーチンの接続エラー、**RC=rc (Error attaching Reporting Timer routine, RC=rc)**

説明: 分析ルーチン用のタイマー・タスクを接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH からのエラー・コードは、*rc* です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0331I レポート作成タスクが正常に接続しました
(Successfully attached Reporting task)

説明: この診断メッセージは、レポート作成タスクが正常に接続されたことを示します。

C2P0332I **CKRCARLA MGR** タスクが正常に接続
 しました **(Successfully attached**
CKRCARLA MGR task)

説明: この診断メッセージは、環境分析タスクが正常に接続されたことを示します。

C2P0333I バッファ *bufindex* のバッファ統計
(Buffer stats for buffer *bufindex*)

説明: この診断メッセージは、バッファの使用量分析の一部として提供されます。*Bufindex* は、分析しようとしている現行バッファへの索引です。

C2P0334I 拡張バッファが使用されました
(Extended buffer used)

説明: SMF レコードおよび WTO メッセージの収集に使用するメモリー内バッファの大きさが十分ではありませんでした。SMF レコードおよび WTO メッセージの収集に追加バッファが使用されました。

C2P0335E **zSecure task-name** が非アクティブです
(zSecure task-name inactive)

説明: 重大なエラーのため、アラート・レポート作成タスクまたはデータ収集タスクがアクティブになっていません。アラートは生成されず、アクセス・データも取り込まれません。

ユーザーの処置: エラー・メッセージがないか、C2PDEBUG ファイルの内容を検査してください。問題を訂正し、オペレーターの MODIFY コマンドで RESTART オペランドを使用してタスクを再始動してください。

C2P0336W 要求された **AverageInterval** 時間に対して
 バッファ数が小さすぎます **(Number**
of buffers too small for requested
AverageInterval time)

説明: AverageInterval パラメーターで指定された期間のヒストリー・レコードを保持するには、指定されたバッファ数が小さすぎます。まだ期限切れになっていないヒストリー・データを含むバッファが、現行のデータで上書きされることになります。より大きいバッファ数を指定するか、コマンド解説書セクションの説明に従って AverageInterval を小さくしてください。

C2P0337W **HISTORY** データが失われます。 **bufnum** および/または **bufsize** を増加してください (**HISTORY data lost, increase bufnum and/or bufsize**)

説明: SMF または WTO データを入れるために拡張バッファが必要で、しかも使用可能な空きバッファがなかった場合に、このメッセージが発行されます。最も古いヒストリー・バッファが使用され、現行のデータでオーバーレイされます。ヒストリー・データに基づくアラートが失われる場合があります。データ損失を防ぐために、バッファ数または **bufsize** を増加させる必要があります。

C2P0338E **CKRCARLA** でユーザー異常終了 *abndcode-reascode*。 **C2PDEBUG** を参照してください (**User Abend abndcode-reascode in CKRCARLA, see C2PDEBUG**)

説明: 取り込んだデータの分析中にエラーが発生しました。詳細は、**C2PDEBUG** ファイルで参照できます。

C2P0339E **zSecure** *task-name* が非アクティブです (**zSecure *task-name* inactive**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの **DISPLAY** コマンドへの応答の一部です。重大なエラーのため、*task-name* が非アクティブになっていることを示しています。*task-name* は、アラート・レポート作成タスクかアクセス・モニター記録タスクのいずれかです。アラートは生成されておらず、アクセス・データも取得されていません。

ユーザーの処置: メッセージ **C2P0335E** を参照してください。

C2P0340I アクセス・モニターが分析処理のためにファイルを準備します (**Access Monitor prepares files for Analytics processing**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの **DISPLAY** コマンドへの応答の一部です。これは、分析アプリケーションによる使用のために、収集されたアクセス・レコードがプリプロセスされることを示します。

C2P0341I 分析 **CARLa** メンバーは *member-name* です (**Analytics CARLa member is *member-name***)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの **DISPLAY** コマンドへの応答の一部です。これは、分析ファイルを作成するために使用される **CARLa** ステートメントが含まれているメンバー名を示します。

C2P0342I 分析ディレクトリーは *directory-name* です (**Analytics directory is *directory-name***)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの **DISPLAY** コマンドへの応答の一部です。これは、分析ファイルを保管するために使用されるディレクトリー名を示します。

C2P0343I 分析ファイル **umask** は *umask* です (**Analytics file umask is *umask***)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの **DISPLAY** コマンドへの応答の一部です。これは、分析ファイルを作成するときに有効な **umask** を示します。

C2P0344I 分析ファイル保存期間は *num-days* 日です (**Analytics file retention is *num-days* days**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの **DISPLAY** コマンドへの応答の一部です。これは、分析ファイルが自動的に削除されるまでの保存日数を示します。

C2P0345W **RECENT** データが失われます。 **bufnum** および/または **bufsize** を増加してください (**RECENT data lost, increase bufnum and/or bufsize**)

説明: 取り込みデータを入れるために拡張バッファが必要であり、最も古いデータが入ったバッファがすでに現行インターバルで使用されている場合に、このメッセージが発行されます。現行インターバルの最も古いデータがオーバーレイされます。データが失われます。

ユーザーの処置: データ損失を防ぐために、バッファ数または **bufsize** を増加してください。

C2P0346I *status dsname*

説明: この診断メッセージは、**DIAGNOSE EXTMON(All/Current)** コマンドに応答して発行されます。これは、拡張モニター・スナップショット・データ・セットの状況および名前を示します。このメッセージは、要求されたすべての拡張モニター・スナップショット・データ・セットに対して繰り返されます。**status** フィールドは、ドットまたは文字のいずれかで示される 8 文字から成っています。 **status** のフォーマットは、次のとおりです。

LCB...CED
L データ・セットがシステム・カタログで見つかりました
C これは、現行スナップショット・データ・セットです

B This is the Baseline snapshot data set
 . 予約済み (Reserved)
 C データ・セットは作成されます
 E データ・セットは期限切れであり、削除する
 必要があります
 D データ・セットは削除されました

C2P0347I デバッグ IO がアクティブになります。
(Debug IO is activated.)

説明: これは、入出力処理に関連する診断メッセージが生成されることを確認する診断メッセージです。

C2P0348I デバッグ IO が非アクティブになります。
(Debug IO is deactivated.)

説明: これは、入出力処理に関連する診断メッセージが生成されなくなることを確認する診断メッセージです。

C2P0349I ベースライン索引=Base-index 現行索引
 =Curr-index **(Baseline Index=Base-index
 Current Index=Curr-index)**

説明: この診断メッセージは、DIAGNOSE
 EXTMON(All/Current/Header) コマンドに応答して発
 行されます。これは、拡張モニター・スナップショッ
 ト・データ・セットのリスト内の、ベースライン索引お
 よび現行索引の番号を示します。この内部番号は、内部
 配列における相対位置を反映しています。

C2P0350E ファイルはすでに開いています。終了しま
 す **(File already open, exit)**

説明: すでに開いているファイルを再オープンしよう
 とした場合に、このエラー・メッセージが C2PIORTN モ
 ジュールの呼び出し元に返されます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照し
 て、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を
 探してください。該当する保守が見つからない場合は、
 707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されて
 いる手順に従って問題を報告してください。

C2P0351E 内部エラー。終了します **(Internal error,
 exit)**

説明: C2PIORTN モジュールで C2PC 通信域のアドレ
 スを設定できない場合に、このエラー・メッセージが返
 されます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照し
 て、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を
 探してください。該当する保守が見つからない場合は、
 707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されて
 いる手順に従って問題を報告してください。

C2P0352E バージョンが一致しません。終了します。
(Version mismatch, exit)

説明: C2PC 通信域のバージョン標識が正しくない場合
 に、このエラー・メッセージが C2PIORTN モジュール
 の呼び出し元に返されます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照し
 て、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を
 探してください。該当する保守が見つからない場合は、
 707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されて
 いる手順に従って問題を報告してください。

C2P0353E 不明な DD 名 (Unknown DDname)

説明: サポートされているどのタイプでもないファイル
 を開こうとした場合に、このエラー・メッセージが
 C2PIORTN モジュールの呼び出し元に返されます。フ
 ァイル・タイプは、DD 名 の 5 文字目から 7 文字目
 に示す必要があります。

ユーザーの処置: DD 名が、サポートされているファ
 イル・タイプのみを反映していることを確認してくださ
 い。

C2P0354E ファイルが開いていません。終了しま
 す **(File not open, exit)**

説明: 開いていないファイルを CLOSE しようとした
 場合に、このエラー・メッセージが C2PIORTN モジ
 ュールの呼び出し元に返されます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照し
 て、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を
 探してください。該当する保守が見つからない場合は、
 707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されて
 いる手順に従って問題を報告してください。

C2P0355E ファイルが開いていません。終了しま
 す **(File not open, exit)**

説明: 開いていないファイルからレコードを GET し
 ようとした場合に、このエラー・メッセージが
 C2PIORTN モジュールの呼び出し元に返されます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照し
 て、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を
 探してください。該当する保守が見つからない場合は、
 707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されて
 いる手順に従って問題を報告してください。

C2P0356E 無効な機能コードです (**Invalid function code**)

説明: 呼び出しパラメーターに無効な機能コードが指定されていた場合に、このエラー・メッセージが C2PIORTN モジュールの呼び出し元に返されます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0357W **C2PEMFRB DD** 名が見つかりませんでした。(C2PEMFRB ddname was not found.) スナップショットの使用法は保存されませんでした (Snapshot usage was not saved.)

説明: C2PEMFRB DD 名が割り振られていない場合に、この警告メッセージが発行されます。最後に使用された現行スナップショット・データ・セットの名前は保存できません。その結果、C2POLICE 開始タスクが停止され再始動された場合に、同じアラートが 2 回発行されるか、拡張モニター・アラートが欠落する場合があります。

ユーザーの処置: 「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド」の説明に従って、必ず C2PEMFRB DD 名を C2PEMFRB データ・セットに割り振ってください。

C2P0358E バッファはまだロックされています。終了します (**Buffer still locked, exit**)

説明: 割り当てられたバッファがロックされている場合、このエラー・メッセージが C2PIORTN モジュールの呼び出し元に返されます。これは、内部バッファ処理の問題です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0359E 現行バッファがロックされています。終了します (**Current buffer locked, exit**)

説明: バッファ終了のために現在処理されているバッファを他のタスクがロックしていると考えられる場合に、このエラー・メッセージが C2PIORTN モジュールの呼び出し元に返されます。これは、内部バッファ処理の問題です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0360I 日次 CKFREEZE DS 名は dsname です (**Daily CKFREEZE DSName is dsname**)

説明: このメッセージは、オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。メッセージのテキストと dsname は、それぞれ、別のメッセージ行に示されます。メッセージには、イベント・ベースのアラート生成に使用されるフルサイズの CKFREEZE データ・セットの名前が示されます。このデータ・セットは CKFREEZE DD 名に割り振られ、1 日に 1 回更新されます。

C2P0361I タイプ newlist-type の ddname のオープン (**Open of ddname for type newlist-type**)

説明: この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0362I ddname のクローズ (**Close of ddname**)

説明: この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0363I ddname 用のレコードを取得 (**Get record for ddname**)

説明: この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0364I バッファ buf_num を使用して ddname の (再) オープン ((Re)Open of ddname Using buffer buf_num)

説明: この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0365I ddname の EOF、バッファ buf_num をクローズ (**EOF on ddname Close buffer buf_num**)

説明: この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO が原因で書き込まれます。

C2P0366I *ddname* の EOF、バッファ *buf_num* を
試行 (EOF on *ddname* Try buffer
buf_num)

説明: この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO
が原因で書き込まれます。

C2P0367I *ddname* の EOF、これ以上バッファは
ありません (EOF on *ddname* No more
buffers)

説明: この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO
が原因で書き込まれます。

C2P0368I *ddname* の EOF、バッファ *buf_num* を
使用 (EOF on *ddname* Use buffer
buf_num)

説明: この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO
が原因で書き込まれます。

C2P0369I *ddname* およびバッファ *buf_num* の使
用を増分 (Increment use for *ddname*
and buffer *buf_num*)

説明: この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO
が原因で書き込まれます。

C2P0370I 現在のカウンター *use_counter* (Counter
now *use_counter*)

説明: この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO
が原因で書き込まれます。

C2P0371I *ddname* およびバッファ *buf_num* の使
用を減分 (Decrement use for *ddname*
and buffer *buf_num*)

説明: この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO
が原因で書き込まれます。

C2P0372I 現在のカウンター *use_counter* (Counter
now *use_counter*)

説明: この診断トレース・メッセージは、DEBUG IO
が原因で書き込まれます。

C2P0373I *ddname* S-EOF 後に待機中 (*ddname*
Waiting after S-EOF)

説明: この診断メッセージは、GET レコード要求の処
理が現在、レポート作成インターバルが終了するまで遅
延されていることを示すために発行されます。

C2P0374I *ddname* S-EOF 後に続行 (*ddname*
Continue after S-EOF)

説明: この診断メッセージは、GET レコード要求の処
理が再開されることを示すために発行されます。

C2P0375I *hexdata*

説明: この診断メッセージは、現行の SMF または
WTO レコードの最初の 16 バイトを 16 進形式で示し
ます。

C2P0376I *ddname* が EOF に達しました (*ddname* at
EOF)

説明: この診断メッセージは、GET レコード要求がス
トレージ内のバッファの終わりに達したことを示すた
めに発行されます。タスクは、この *ddname* に対する次
の GET レコードで遅延されます。

C2P0377I *ddname* の強制 EOF (*ddname* hard EOF)

説明: この診断メッセージは、GET レコード要求がス
トレージ内のバッファの終わりに達したことを示すた
めに発行されます。Stage 1 のサイクルの終わりに達
したため、処理を終了するための強制 EOF が
CKRCARLA にシグナル通知されます。

C2P0378I WTO タスクのコンソール名 *console-name*
(WTO Task console name *console-name*)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの
DISPLAY コマンドへの応答の一部です。 *console-name*
は、WTO メッセージの収集に現在使用されている
EMCS コンソールの名前です。

C2P0379I 指定された Extmon メンバーは
membername です (Specified Extmon
member is *membername*.)

説明: 汎用デバッグ・メッセージを要求すると、拡張モ
ニター・アラートの CARLa 指定が含まれているメンバ
ーの名前を確認するために、この通知メッセージが発行
されます。

C2P0380I *Process_task* が開始されました
(*Process_task* started)

説明: オプション debug が指定されている場合、プリ
プロセッシングまたはデータ統合プロセスの開始時に、
この診断メッセージが発行されます。

C2P0381E *Process_task* の接続エラー、RC=*rc* (**Error attaching *Process_task*, RC=*rc***)

説明: *Process_task* を接続する際に、システム・エラーが発生しました。ATTACH からのエラー・コードは、*rc* です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0382W CKRCARLA からの戻りコード *rc*。
C2PDEBUG を参照してください
(Return code *rc* from CKRCARLA, see C2PDEBUG)

説明: 取り込んだデータの分析中にエラーが発生しました。詳細は、C2PDEBUG ファイルで参照できます。

C2P0383E Stage-1 CKRCARLA でシステム異常終了 *abndcode-reascode*。C2PDEBUG を参照してください (**System Abend *abndcode-reascode* in Stage-1 CKRCARLA, see C2PDEBUG**)

説明: 取り込んだデータの分析中にエラーが発生しました。詳細は、C2PDEBUG ファイルで参照できます。

C2P0384E SYSPRST1 を開けません。終了します
(Cannot open SYSPRST1, exit)

説明: SYSPRST1 ファイルのオープン・エラーが発生しました。このファイルは、レコード・フォーマットが VBA で LRECL が 255 に指定された一時データ・セットに事前割り振りされている必要があります。追加情報については、付随する IEC メッセージを参照してください。

ユーザーの処置: 正しい特性を持つ SYSPRST1 ファイルが使用可能であることを確認してください。

C2P0385E SYSPRST1 を閉じることができませんでした (**Could not close SYSPRST1**)

説明: SYSPRST1 ファイルのクローズ・エラーが発生しました。

C2P0386I 現行の Extmon DS 名の項目番号は *Curr-index* です。(**Current Extmon dsname entry number is *Curr-index*.**)

説明: この情報メッセージは、オペレーターの DISPLAY コマンドに応答して発行されます。これは、

現行の比較処理で使用される拡張モニター・データ・セットの内部項目番号を示します。これは、直前に作成されたデータ・セットです。この番号がゼロの場合は、拡張モニターがまだ完全には初期化されておらず、メッセージ C2P0387I は発行されません。

C2P0387I 現行の ExtMon DS 名は *dsname* です
(Current ExtMon dsname is *dsname*)

説明: このメッセージは、オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。メッセージのテキストと *dsname* は、それぞれ、別のメッセージ行に示されます。メッセージは、現行の比較処理で使用される拡張モニター・データ・セットの名前を示します。これは、直前に作成されたデータ・セットです。メッセージ C2P0386I に表示される *curr_index* がゼロの場合、このメッセージは発行されません。

C2P0388W *Process_task* の開始が遅延されます (**Start of *Process_task* delayed**)

説明: 現在は *Process_task* を開始できません。タスクは、ブロッキング処理が完了した後で自動的に開始されます。

C2P0389I CKRCARLA タスクの再始動が要求されました (**Requested restart of CKRCARLA task**)

説明: 環境情報の更新 (Stage-1 CARLa) の完了時に、この診断メッセージが発行されます。これは、現行のレポート作成タスクが停止通知を受け取ったこと、および新規のインスタンスを開始することを示します。

C2P0390I *Process_task* が完了しました (***Process_task* completed**)

説明: *Process_task* が完了しました。処理中にエラーが発生した場合、このメッセージの前に、メッセージ C2P0382W または C2P0383E が発行されます。

C2P0391E CKRCARLA でユーザー異常終了 *abndcode-reascode*。C2PDEBUG を参照してください (**User Abend *abndcode-reascode* in CKRCARLA, see C2PDEBUG**)

説明: 取り込んだデータの分析中にエラーが発生しました。詳細は、C2PDEBUG ファイルで参照できます。

C2P0392I *c2pio_ddname* のソフト EOF
(*c2pio_ddname* soft EOF)

説明: この診断メッセージは、ストリーム *c2pio_ddname* に対する現在のレコード取得要求の結果、ソフト EOF が返されることを示します。現行ストリームに対する次の要求は、次のレコードが使用可能になるまで (おそらく次のレポート作成インターバルまで) 待機する結果となります。

C2P0393I *c2pio_ddname* Imm。お待ちください
(Wait)

説明: この診断メッセージは、ストリーム *c2pio_ddname* に対する現在のレコード取得要求は、レコードが使用可能になるまで (おそらく次のレポート作成インターバルまで) 遅延されることを示します。

C2P0394I *c2pio_ddname*、Imm 後に続行します。
(*c2pio_ddname* Continue after Imm.) お
待ちください (Wait)

説明: この診断メッセージは、バッファの切り替えが発生したことを示します。バッファが分析されます。適切なタイプのレコードはすべて、呼び出し側プログラムに渡されます。

C2P0395I C2PC がコピー領域に保存されました
(C2PC saved in copy area)

説明: このメッセージは、オペレーターの DIAGNOSE(C2PC(SAVE)) コマンドの確認として発行されます。C2PC 制御ブロックの現在の内容が静的コピーに保存されます。この静的コピーは DIAGNOSE(C2PC(DUMP(COPY))) オペレーター・コマンドを使用して表示したり、ダンプ出力で見たりすることができます。保存された C2PC の内容は、IBM サポート担当員のみが使用するためのものです。

C2P0396I C2PC コピー領域が消去されます (C2PC
copy area cleared)

説明: このメッセージは、オペレーターの DIAGNOSE(C2PC(CLEAR)) コマンドの確認として発行されます。C2PC 制御ブロックの静的コピーの現在の内容が削除されます。直前のエラーまたはオペレーターの DIAGNOSE(C2PC(SAVE)) コマンドが原因で保存された情報は、以後は使用できなくなります。保存された C2PC の内容は、IBM サポート担当員のみが使用するためのものです。

C2P0397I Diag C2PC(DUMP(Act)) が指定されまし
た。(Diag C2PC(DUMP(Act)) is
specified.)

説明: このメッセージは、オペレーターの DIAGNOSE C2PC コマンドに応答して発行されます。この後に、アクティブ C2PC データ域の内容を 16 進ダンプ・フォーマットで示す複数のメッセージが続きます。

C2P0398I Diag C2PC(DUMP(copy)) が指定されま
した。(Diag C2PC(DUMP(copy)) is
specified.)

説明: このメッセージは、オペレーターの DIAGNOSE C2PC コマンドに応答して発行されます。この後に、C2PC データ域の保存コピーの内容を 16 進ダンプ・フォーマットで示す複数のメッセージが続きます。

C2P0399I デバッグ ExtMon が非アクティブになり
ます。(Debug ExtMon is deactivated.)

説明: 汎用デバッグ・メッセージを要求すると、拡張モニター・デバッグ・メッセージが以後は発行されないことを確認するために、この通知メッセージが発行されます。

C2P0400E メインタスク異常終了 (16 進数)
abndcode、理由コード (16 進数) *reascode*
(Maintask ABEND (Hex) *abndcode*,
Reasoncode (Hex) *reascode*)

説明: zSecure Alert タスクの実行中にエラーが発生しました。*abndcode* は、解釈されていない異常終了コード (ユーザーおよびシステム異常終了コードの 16 進表記) を表しており、*reascode* は理由コードの 16 進表記です。この異常終了に理由コードがない場合、または System Diagnostic WorkArea が存在しない場合、*reascode* は適用外 (N/A) として示されます。この異常終了に関する詳細情報については、追加メッセージを参照してください。

C2P0401E クリーンアップを実行できません。*code*
(Cannot perform cleanup *code*)

説明: クリーンアップの試行中に、C2PC 通信域のアドレスを設定できませんでした。この制御ブロックがないと、クリーンアップはできません。コード *code* は、C2PC を見つけるために使用された IEANTRT ルーチンからの戻りコードです。

C2P0402I クリーンアップの試行中 (Attempting cleanup)

説明: この進行メッセージは、アドレス・スペース終了の前にシステム・リソースのクリーンアップ試行が開始したことを示すために発行されます。デバッグ・モードでは、別のクリーンアップ・プロセス進行メッセージが発行される可能性があります。

C2P0403I クリーンアップ完了 (Cleanup completed)

説明: この進行メッセージは、クリーンアップ・プロセスの最後に発行され、今からアドレス・スペースの終了が続行されることを示します。

C2P0404W StageInterval が AverageInterval よりも小さいです (StageInterval is smaller than AverageInterval)

説明: 環境情報の更新頻度が、有効な頻度を超えています。あまりに頻繁に環境情報を更新すると、必要以上にシステム・リソースを使用することになります。stageInterval の推奨設定値は、指定された averageInterval の 10 倍から 20 倍です。

C2P0405W AverageInterval が Interval よりも小さいです (AverageInterval is smaller than Interval)

説明: 長期レポートに指定された期間が、短期レポートの期間よりも短いです。この結果、長期アラート処理からいくつかのレコードが失われることになります。averageInterval の推奨設定値は、Interval の 5 倍から 20 倍です。

C2P0406W ACF2 レコード・タイプが不明です (ACF2 record type unknown)

説明: ACF2 キーワードを使用して、ACF2 レコードの選択をフィルター基準として指定することはできません。FILTER コマンドは無視されます。

C2P0407W 接頭部 prefix の WTO フィルターが見つかりません (WTO Filter for prefix prefix not found)

説明: FILTER DELWTO コマンドに指定された接頭部は、WTO メッセージ接頭部のフィルター基準としてアクティブではありませんでした。FILTER コマンドは無視されます。

C2P0408I システム sysname のシミュレート・オプション (Simulate options for system sysname)

説明: この診断メッセージは、シミュレート・オプションが指定されているシステム名を示します。

C2P0409I SMF レコード番号は record-type です (SMF record number is record-type)

説明: この診断メッセージは、メッセージ C2P0408I の続きです。これは、ACF2 レコードに使用される SMF レコード番号を示します。

C2P0410E サブタスク異常終了 (16 進数) abndcode、理由コード (16 進数) reascode (Subtask ABEND (Hex) abndcode, Reasoncode (Hex) reascode)

説明: zSecure Audit サブタスクの実行中にエラーが発生しました。abndcode は、解釈されていない異常終了コード (ユーザーおよびシステム異常終了コードの 16 進表記) を表しており、reascode は理由コードの 16 進表記です。この異常終了に理由コードがない場合、または System Diagnostic WorkArea が存在しない場合、reascode は適用外 (N/A) として示されます。この異常終了に関する詳細情報については、追加メッセージを参照してください。

C2P0411I アクティブな WTO フィルターがありません (No WTO filter active)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。WTO メッセージにフィルター基準が指定されていない場合に発行されます。

C2P0412W WTO フィルターを追加するためのスペースが不十分です (Insufficient space to add WTO filter)

説明: WTO メッセージの選択に使用する WTO 接頭部の最大数を超過しました。追加の WTO メッセージ接頭部はフィルター基準に追加されませんでした。現行の実装環境では 24 個の WTO メッセージ接頭部が許可されます。

ユーザーの処置: 不要になった WTO フィルター基準を削除するか、複数の接頭部を組み合わせでより総称的な接頭部にしてください。

C2P0413W 接頭部は既に存在します (**Prefix already present**)

説明: FILTER ADDWTO コマンドで指定された接頭部が、現在アクティブな WTO 接頭部に基づく選択項目のリスト内で見つかりました。指定された WTO メッセージ接頭部は追加されませんでした。

C2P0414W 拡張モニター・スナップショット・データ・セットが重複しています。(**Duplicate extended monitor snapshot data set.1** サイクルをスキップします。(**Skip one cycle.**)

説明: この警告メッセージは、新規の拡張モニター・スナップショット・データ・セット名がシステム・カタログに既に存在する場合に発行されます。新規の拡張モニター・スナップショット・データ・セットは作成されません。拡張モニターは、一時的に中断されます。次のサイクルで、既存のベースラインと新規スナップショット・データ・セットの間のすべての変更が分析され、結果としてアラートが遅れて発生する場合があります。

C2P0415I スナップショット・データ・セット *dsname* は期限切れです。(**Expired snapshot data set dsname.**)

説明: この通知メッセージは、DEBUG EXTMON が設定されていて、システム・カタログに存在するデータ・セットが指定の保存期間よりも古いと判別された場合に発行されます。データ・セットは削除されます。

C2P0416I 拡張モニター・スナップショット・テーブル・ヘッダー。(**Extended Monitor snapshot table header.**)

説明: この通知メッセージは、DIAGNOSE EXTMON(HEADER) コマンドに応答して発行されます。これはヘッダー・メッセージであり、この後にいくつかの C2P0701I および C2P0702I メッセージが続きます。これは、拡張モニターに関連する可能性がある問題の診断において IBM サポート担当員を支援するためのものです。

C2P0417I 拡張モニター・スナップショットを取得しています。(**Extended monitor snapshot is being taken.**)

説明: この通知メッセージは、DEBUG EXTMON が設定されていて、新規の拡張モニター・スナップショット・データ・セットを取得している場合に発行されます。このメッセージは、データ収集プロセスの開始時に発行されます。

C2P0418I 拡張モニター・スナップショットが取得されました。(**Extended monitor snapshot has been taken.**)

説明: この通知メッセージは、DEBUG EXTMON が設定されていて、新規の拡張モニター・スナップショット・データ・セットが取得された場合に発行されます。このメッセージは、データ収集プロセスの終了時に発行されます。

C2P0419I MCS アラート QSTA (**Mem/Que/Int/Pct**) *flag bytes* (**MCS ALERT QSTA (Mem/Que/Int/Pct) flag bytes**)

説明: この診断メッセージは、デバッグ・モードがオンになっていて、MCS メッセージ処理アラートが生成される場合に発行されます。*flag-bytes* は、診断のみを目的としたものです。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に発生する場合は、対応方法を判断するために、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0420E コンソールの活動化に失敗しました。
RC=retcode-reascode (Console activation failed, RC=retcode-reascode)

説明: MCSOPER システム・サービスを使用した EMCS コンソールのセットアップ中にエラーが発生しました。エラー・コードは *retcode* であり、理由コードは *reascode* です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0421I コンソール・インターフェース *console-name* がアクティブになりました (**Console interface console-name activated**)

説明: このメッセージは、EMCS コンソール *console-name* による WTO メッセージ収集ルーチンの活動化が成功したことを示すために発行されます。

C2P0422W MCS アラート条件が発生しました (MCS Alert condition raised)

説明: この警告メッセージは、WTO メッセージの収集に問題がある可能性があることを示します。行われた修正アクションについて報告する、追加の C2P メッセージが発行されます。

C2P0423E MCS GET エラー [RC=retcode-reascode] 再開を試行します (MCS GET error [RC=retcode-reascode] attempt resume)

説明: EMCS コンソールからのメッセージの取得中にエラーが発生しました。WTO メッセージのキューイングが再開され、メッセージの取得が続行されます。DEBUG WTO が指定された場合は、*returncode* および *reasoncode* が報告されます。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。 *returncode* および *reasoncode* を含む、完全なエラー・メッセージを記載した問題レポートを作成してください。

C2P0424I MDB linecount=line-count MsgNo=message-id

説明: この診断メッセージは、MCSOPMSG システム・サービスが受け取ったメッセージの行数 (*line-count*) および最初の 8 文字 (*message-id*) を示します。

C2P0425E コンソールの非活動化に失敗しました。 RC=retcode-reascode (Console deactivation failed, RC=retcode-reascode)

説明: MCSOPER システム・サービスを使用した EMCS コンソールのセットアップ中にエラーが発生しました。システム・エラー・コードは *retcode* であり、理由コードは *reascode* です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0426I WTO メッセージ・スペースがフルです。 nnn 件のメッセージを破棄して再開します (WTO Message space full, discard nnn messages and resume)

説明: この診断詳細メッセージは、メッセージ

C2P0422W で報告された MCS アラートが「メッセージ・スペースがフル」の条件により発生したことを示します。この原因として、収集タスクの処理速度を超えて WTO メッセージが作成されていることが考えられます。後れを取り戻し、このメッセージがすぐに再発しないようにするため、いくつかのメッセージが破棄され、通常の WTO メッセージ収集が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。C2P0426I メッセージが発生した期間の前後に *syslog* に送信された WTO メッセージの量に関する情報もお知らせください。

C2P0427I WTO メッセージ制限に到達しました。 100 件のメッセージを破棄して再開します (WTO Message limit reached, discard 100 messages and resume)

説明: この診断詳細メッセージは、メッセージ C2P0422W で報告された MCS アラートが「メッセージ制限到達」の条件により発生したことを示します。この原因として、収集タスクの処理速度を超えて WTO メッセージが作成されていることが考えられます。後れを取り戻し、このメッセージがすぐに再発しないようにするため、100 件のメッセージが破棄され、通常の WTO メッセージ収集が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。C2P0427I メッセージが発生した期間の前後に *syslog* に送信された WTO メッセージの量に関する情報もお知らせください。

C2P0428I WTO メッセージ割合 (%) に到達しました (WTO Message percentage reached)

説明: この診断詳細メッセージは、メッセージ C2P0422W で報告された MCS アラートが「メッセージ割合 (%) 到達」の条件により発生したことを示します。この原因として、収集タスクの処理速度を超えて WTO メッセージが作成されていることが考えられます。この MCS アラートは、実際のエラーが発生する前に発行されるため、通常の WTO メッセージ収集が続行されます。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセ

ージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。C2P0428I メッセージが発生した期間の前後に syslog に送信された WTO メッセージの量に関する情報もお知らせください。

C2P0429I MCS 内部エラー。再開を試行します (MCS Internal error, attempt resume)

説明: この診断詳細メッセージは、メッセージ C2P0422W で報告された MCS アラートが「MCS 内部エラー」の条件により発生したことを示します。zSecure Alert タスクがこの種の状況に影響を及ぼすことはできません。通常の WTO メッセージ収集が試行されます。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。C2P0429I メッセージが発生した期間の前後に syslog に記録された関連メッセージに関する情報もお知らせください。

C2P0430I MCS コンソールが中断されました。終了します (MCS Console suspended, terminate)

説明: この診断詳細メッセージは、メッセージ C2P0422W で報告された MCS アラートが、WTO メッセージ収集に使用される EMCS コンソールの非活性化により発生したことを示します。これは、オペレーターが vary コマンドを実行した結果である可能性があります。

ユーザーの処置: このメッセージが予期せずに発生した場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0431I MCS RESUME エラー RC=retcode-reascode. (MCS RESUME error RC=retcode-reascode.)

説明: EMCS コンソールからのメッセージ取得の再開中にエラーが発生しました。システム・エラー・コードは retcode であり、理由コードは reascode です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、

707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0432I 使用コンソール名 console-name (Console name to be used console-name)

説明: この診断メッセージは、EMCS コンソールの活性化要求で使用される console-name を示します。このメッセージの最初のインスタンスには、&SYSCONE システム・パラメーターを置換した後に得られる名前が示されます。コンソールが既にアクティブであるために活性化が失敗した場合、その後のメッセージでは、表示される console-name の最後の 2 文字の数値が大きくなっていきます。

C2P0433I product version は正常に再始動しました (product version restart successful)

説明: このメッセージは、再始動処理の最後に発行され、再始動処理が完了したことを示します。

C2P0434E ESM アンカーが見つかりません。終了します (No ESM anchor found, exit)

説明: 製品は、セキュリティ製品のメイン制御ブロックを見つけられませんでした。

ユーザーの処置: この状態は回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0435E ESM esm を認識できません (ESM esm not recognized)

説明: 製品は、システムにインストールされているセキュリティ製品を認識しませんでした。アンカー制御ブロック内で見つかった目印は esm でした。

ユーザーの処置: この状態は回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0436I 拡張モニターは status です。(Extended Monitoring is status.)

説明: このメッセージは、オペレーターの DISPLAY コマンドの応答であり、拡張モニターがアクティブであるかどうかを示すために発行されます。status は次のいずれかの値をとります。

active CKFREEZE スナップショット・データ・セットが作成され、アラート状態にあるかどうか分析されます。

not active

CKFREEZE スナップショット・データ・セットは作成されず、拡張モニター・アラートは出されません。

suspended

一時的なエラー状態が解決されるまで、拡張モニター・アラートは出されません。

C2P0437I 拡張モニター・スナップショットの保存期間は *hours* (時間) です。(**Extended Monitoring snapshot retention period is (hours) hours.**)

説明: このメッセージは、オペレーターの DISPLAY コマンドに応答して発行されます。これは、拡張モニター・スナップショット・データ・セット (CKFREEZE データ・セット) が削除されるまでの保存期間を示します。

C2P0438I 拡張モニター・レポートのメンバーは *member* です。(**Extended Monitoring report member is member.**)

説明: このメッセージは、オペレーターの DISPLAY コマンドに応答して発行されます。これは、拡張モニター・アラートに使用される CARLa ステートメントが含まれているメンバー名を示します。

C2P0439W スナップショット・データ・セットが不十分です。(**Insufficient snapshot data sets.**) 拡張モニターは中断されます。(**Extended monitoring is suspended.**)

説明: この警告メッセージは、存在する拡張モニター・スナップショット・データ・セットが 2 つ未満の場合に発行されます。拡張モニターは 2 つのデータ・セットの比較に基づいているため、拡張モニターを行うことができません。通常処理の一環として、追加の拡張モニター・スナップショット・データ・セットが作成され、拡張モニター分析およびアラート作成が再開されます。このメッセージは、現在の状態が存続する限り、各拡張モニター・インターバルの開始時に発行されます。

C2P0440I 使用可能な拡張モニター・スナップショット・データ・セットがありません。(**No extended monitoring snapshot data sets are available.**)

説明: この診断メッセージは、DIAGNOSE

EXTMON(All/Current/Header) コマンドの応答であり、拡張モニターはアクティブであるが拡張モニター・データ・セットが見つからない場合に発行されます。これは、C2PEMFRT テンプレート・メンバーのエラーが原因であるか、またはシステム・カタログで検出されたデータ・セットが多すぎることが原因である可能性があります。

ユーザーの処置: C2PEMFRT テンプレート・メンバーに正しいデータ・セット名パターンが指定されていることを確認します。そのほかに関連するエラー・メッセージや警告メッセージがないかも確認してください。

C2P0441W ベースライン索引または現行索引がゼロです。(**Baseline- or Current-index is zero.**) 拡張モニターは中断されます。(**Extended monitoring is suspended.**)

説明: この警告メッセージは、現行スナップショット・データ・セットまたはベースライン・スナップショット・データ・セットのいずれかが見つからなかった場合に発行されます。拡張モニターは 2 つのデータ・セットの比較に基づいているため、拡張モニターを行うことができません。通常処理の一環として、追加の拡張モニター・スナップショット・データ・セットが作成され、拡張モニター分析およびアラート作成が再開されます。このメッセージは、現在の状態が存続する限り、プリプロセッシング間隔ごとに 1 回発行されます。

C2P0442W ベースライン・データ・セットが削除されました。(**Baseline data set was deleted.**) 拡張モニターは中断されます。(**Extended monitoring is suspended.**)

説明: この警告メッセージは、ベースライン・スナップショット・データ・セットが指定の保存期間よりも古いため、保存期間処理の一環として削除された場合に発行されます。拡張モニターは、次のインターバルで再開が試行されます。このメッセージは、再開が失敗した場合は再発行されます。

ユーザーの処置: 保存期間 (OPTION EXTMON(RETAIN(hh) パラメーターに指定される) およびプリプロセッシング間隔 (OPTION PREPROCESSINTERVAL(mm) パラメーターに指定される) が正しいことを確認します。保存期間は、プリプロセッシング間隔よりも長くする必要があります。

C2P0443W 現行データ・セットが削除されました。(**Current data set was deleted.**) 拡張モニターは中断されます。(**Extended monitoring is suspended.**)

説明: この警告メッセージは、現行スナップショット・

データ・セットが指定の保存期間よりも古いため、保存期間処理の一環として削除された場合に発行されます。拡張モニターは、次のインターバルで再開が試行されます。このメッセージは、再開が失敗した場合は再発行されます。

ユーザーの処置: 保存期間 (OPTION EXTMON(RETAIN(hh) パラメーターに指定される) およびプリプロセッシング間隔 (OPTION PREPROCESSINTERVAL(mm) パラメーターに指定される) が正しいことを確認します。保存期間は、プリプロセッシング間隔よりも長くする必要があります。

C2P0444W ベース索引が現行索引と同じです。
(Base-index is same as Current-index.)
拡張モニターは中断されます。(Extended monitoring is suspended.)

説明: この警告メッセージは、現行スナップショット・データ・セットがベースライン・スナップショット・データ・セットと同じである場合に発行されます。拡張モニターは 2 つのデータ・セットの比較に基づいているため、拡張モニターを行うことができません。通常処理の一環として、追加の拡張モニター・スナップショット・データ・セットが作成され、拡張モニター分析およびアラート作成が再開されます。このメッセージは、現在の状態が存続する限り、プリプロセッシング間隔ごとに 1 回発行されます。

ユーザーの処置: プリプロセッシング・サイクルの開始後 1 分間はリフレッシュ・コマンドを発行しないでください。

C2P0445I 保存されたベースライン・データ・セットは *dsname* です。(Saved baseline data set is *dsname*.)

説明: この通知メッセージは、DEBUG EXTMON が設定されている場合に発行されます。これは、保存されたベースライン・スナップショット・データ・セット名を示します。

C2P0446I スナップショット・データ・セット *dsname* を作成します。(Create snapshot data set *dsname*.)

説明: この通知メッセージは、DEBUG EXTMON が設定されている場合に発行されます。これは、新しい現行スナップショット・データ・セットの名前を示します。

C2P0447I 拡張モニター・スナップショット・テーブルが使用できません。(Extended monitor snapshot table is not available.)

説明: この診断メッセージは、DIAGNOSE EXTMON(All/Current/Header) コマンドの応答であり、拡張モニター・スナップショット・データ・セット・テーブルが見つからなかった場合に発行されます。拡張モニターがアクティブになっていない場合、これは正常な応答です。

C2P0448I 保存済みのベースライン・データ・セットが存在しません。(Saved baseline data set does not exist.)

説明: この通知メッセージは、DEBUG EXTMON が設定されていて、保存済みのベースライン・スナップショット・データ・セットがシステム・カタログで見つからないか、削除された場合に発行されます。

C2P0449I 現行スナップショット・データ・セットが存在しません。(Current snapshot data set does not exist.)

説明: この通知メッセージは、DEBUG EXTMON が設定されていて、現行スナップショット・データ・セットがシステム・カタログで見つからないか、削除された場合に発行されます。

C2P0450I SMF インターバルの同期: フラグ Soft-EOF (SMF interval synchronization: flag Soft-EOF)

説明: この診断メッセージは、SMF インターバル終了のイベントが発生したことを示します。C2PIORTN モジュールは、次のバッファ終了が CKRCARLA に対するソフト EOF コードとなることを通知されます。

C2P0451E ALLOC コマンドが失敗しました。
SYSTSPRT を参照してください
(ALLOC command failed, see SYSTSPRT)

説明: C2PAMCNT にある **alloc** コマンドが失敗しました。これは、テンプレート・コマンドの構文が無効であるか、プログラムによるテンプレート・コマンドの解釈が間違っているか、あるいは、指定されたデータ・セットの割り振りができないことが原因である可能性があります。

ユーザーの処置: SYSTSPRT ファイル内のエラー・メッセージを確認し、問題を修正してください。

C2P0452E **DS** 名パラメーターの最初の部分 '**DA**(' が *filename* で見つかりません (**Start of dsname parameter 'DA(' not found in filename**)

説明: テンプレート・ファイルに指定された **ALLOC** コマンドは、マニュアルに記載された制限に準拠していません。DS 名は単一引用符で囲み、先頭はストリング **DA** と、そのすぐ後に続く左括弧、およびデータ・セット名を囲む最初の引用符で始まっていなければなりません。つまり、**DA**(' とする必要があります。

ユーザーの処置: **ALLOC** コマンドを修正し、正しい形式を使用してデータ・セット名を指定してください。

C2P0453E **DS** 名パラメーターの最後の部分 '**)**' が *filename* で見つかりません (**End of dsname parameter ')' not found in filename**)

説明: テンプレート・ファイルに指定された **ALLOC** コマンドは、マニュアルに記載された制限に準拠していません。DS 名は単一引用符で囲み、末尾はデータ・セット名を囲む最後の引用符と、そのすぐ後に続く右括弧で終わっていなければなりません。つまり、**)** とする必要があります。

ユーザーの処置: **ALLOC** コマンドを修正し、正しい形式を使用してデータ・セット名を指定してください。

C2P0454E 日付パターンが *filename* で見つかりません。 (**Date pattern not found in filename**)

説明: テンプレート・ファイルに指定された **ALLOC** コマンドは、マニュアルに記載された制限に準拠していません。指定するデータ・セット名の最後の修飾子は、**D<date>**、**T<time>**、または **D<date>** のいずれかでなければなりません。日付パターン **<date>** は、動的システム・シンボル **&LYR2.&LMON.&LDAY** によって指定されるような、6 文字の数値とする必要があります。時刻パターン **<time>** は、動的システム・シンボル **&LHR.&LMIN** によって指定されるような、4 文字の数値とする必要があります。

ユーザーの処置: **ALLOC** コマンドを修正し、正しい形式を使用してデータ・セット名を指定してください。

C2P0455I *ddname* のバッファを閉じます (**Close buffer for ddname**)

説明: この診断トレース・メッセージは、**DEBUG IO** がアクティブ化されていて、**C2PIORTN** モジュールが *ddname* のストレージ内バッファを **CLOSE** する必要がある場合に発行されます。ストレージ内バッファの

終わりに到達したため、このメッセージが発行されます。このメッセージは、ファイル全体の外部 **CLOSE** 要求 (メッセージ **C2P0362I** を参照) が結果的にストレージ内バッファの内部 **CLOSE** 要求となったことを示すものです。

C2P0456E **FREE** コマンドが失敗しました。
SYSTSPRT を参照してください (**FREE command failed, see SYSTSPRT**)

説明: 統合アクセス・モニター・レコードを解放するために使用される **FREE** コマンドが正常に実行されませんでした。

ユーザーの処置: **SYSTSPRT** 内のエラー・メッセージを確認してください。

C2P0457I **C2PEMFRB** の EOF (**EOF on C2PEMFRB**)

説明: この診断メッセージは、**DEBUG EXTMON** が設定されていて、**C2PEMFRB DD** 名が空である場合に発行されます。このメッセージは、拡張モニターが使用可能な状態で **C2POLICE** を初めて開始するときに、発行される可能性があります。その他のあらゆる状況で、これはリカバリー可能なエラーの症状です。

ユーザーの処置: このメッセージが頻繁に発行される場合は、**C2PEMFRB DD** 名が指しているデータ・セットが他のプロセスによって使用されていないことを確認してください。他のアプリケーションはこのデータ・セットにアクセスしていない場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0458E 内部エラー: 機能コードが無効です。
(**Invalid function code.**)

説明: このメッセージは内部エラーを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0459E 必要な **DD** 名 *ddname* が割り振られていません (**Required ddname ddname is not allocated**)

説明: このメッセージは、**REPORT DDNAME** 構成ステートメントに指定された **DD** 名が割り振られていな

い場合に発行されます。指定された DD 名は、データ・セット名および必要な割り振りパラメーターに関する情報を取得するために使用されます。

ユーザーの処置: 必要な DD 名および関連データ・セット内のメンバーの内容について詳しくは、「インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

C2P0460E 必要なメンバー *member* が DD 名 *ddname* に存在しません (**Required member member is not is not present in ddname ddname**)

説明: このメッセージは、REPORT DDNAME 構成ステートメントに指定された DD 名に必要なメンバーが含まれていない場合に発行されます。指定されたメンバーは、データ・セット名および必要な割り振りパラメーターに関する情報を取得するために使用されます。

ユーザーの処置: 必要な DD 名および関連データ・セット内のメンバーの内容について詳しくは、「インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。

C2P0461I ACMN 開始レコード (**ACMN Start record**)

説明: この診断メッセージは、DEBUG IO の結果として、アクセス・モニター・ストリームからの最初のレコードが処理されるときに発行されます。

C2P0462I ACMN 停止レコード (**ACMN Stop record**)

説明: この診断メッセージは、DEBUG IO の結果として、アクセス・モニター・ストリームからの最後のレコードが処理されるときに発行されます。

C2P0463I データ統合タスクの再開がスケジュールされました (**Restart scheduled for data consolidation task**)

説明: このメッセージは、オペレーターの CONSOLIDATE コマンドの結果として、日次出力ファイル統合プロセスが実行されることを示すために発行されます。

C2P0464I 統合タスクはアクティブです (**Consolidation task is active**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。DISPLAY コマンドの実行時に、日次データ統合 CKRCARLA タスクがアクティブであることが判明しました。このタスク

は、1 日に 1 回 *consolidatetime* の時刻に開始されるか、コンソール・オペレーター要求により開始されます。

C2P0465I 統合タスクの開始時刻は *time* です (**Consolidation task start time is time**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。*time* は、システムの日次データ統合タスクがアクティブ化される現地時間です。

C2P0466I 統合 CARLa メンバーは *member* です (**Consolidation CARLa member is member**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。このメンバーは、日次データ統合 CARLa ステートメントに使用される CARLa コマンドが含まれているメンバーの名前です。

C2P0467E 統合 MGR 接続エラー、RC=*rc* (**Error attaching consolidation MGR, RC=*rc***)

説明: 日次データ統合プロセスに使用されたマネージャー・タスクに接続するときに、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは *rc* です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0468I 統合 MGR を正常に接続しました (**Successfully attached consolidation MGR**)

説明: この診断メッセージは、日次データ統合マネージャー・タスクが正常に開始した後に発行されます。

C2P0469E SMF 収集タスク接続エラー、RC=*rc* (**Error attaching SMF capture task, RC=*rc***)

説明: SMF レコードの収集に使用されたタスクに接続するときに、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは *rc* です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0470I SMF 収集タスクを正常に接続しました
(**Successfully attached SMF capture task**)

説明: この診断メッセージは、SMF データ収集タスクが正常に開始した後に発行されます。

C2P0471E ENF 収集タスク接続エラー、RC=*rc*
(**Error attaching ENF capture task, RC=*rc***)

説明: ENF イベントの収集に使用されたタスクに接続するときに、システム・エラーが発生しました。

ATTACH エラー・コードは *rc* です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0472I ENF 収集タスクを正常に接続しました
(**Successfully attached ENF capture task**)

説明: この診断メッセージは、ENF データ収集タスクが正常に開始した後に発行されます。

C2P0473I データ統合は (HHMM) *HHMM* に実行されます
(**Data consolidation runs at (HHMM) *HHMM***)

説明: この診断メッセージは、指定された日次データ統合タスク開始時刻を示します。

C2P0474E データ統合の実行時間 *HHMM* が無効です
(**Data consolidation runtime invalid *HHMM***)

説明: 指定された日次データ統合タスクの実行時刻が無効です。*HHMM* には、0000 (午前 0 時) から 2359 (午前 0 時の 1 分前) の間の時刻を指定する必要があります。

ユーザーの処置: 有効な時刻を指定します。

C2P0475E RACF 収集タスク接続エラー、RC=*rc*
(**Error attaching RACF capture task, RC=*rc***)

説明: RACF アクセス・イベントの収集に使用されたタスクに接続するときに、システム・エラーが発生しました。ATTACH エラー・コードは *rc* です。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照し

て、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2P0476I RACF 収集タスクを正常に接続しました
(**Successfully attached RACF capture task**)

説明: この診断メッセージは、RACF アクセス・イベント収集タスクが正常に開始した後に発行されます。

C2P0477I 現行のレポート・インターバルは
hh:mm:ss に終了します (**Current report interval ends *hh:mm:ss***)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。メッセージ内の時刻は、現行のレポート・インターバルがいつ終了するかを示します。

C2P0478I 次のプリプロセッシングの実行は
hh:mm:ss に開始します (**Next preprocessing run starts *hh:mm:ss***)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。メッセージ内の時刻は、次のプリプロセッシング・タスクがいつ開始するかを示します。そのときに、parmlib 内の変更されたオプションも有効になります。

C2P0479E *filename* からのコマンドが失敗しました。
SYSTSPRT を参照してください
(**Command from *filename* failed, see SYSTSPRT**)

説明: テンプレート・ファイル *filename* に指定されたコマンドが正常に実行されませんでした。

ユーザーの処置: SYSTSPRT 内のエラー・メッセージを確認し、コマンドを修正してください。

C2P0480I 識別が失敗しました *rc=return code*
(**Identify failed *rc=return code***)

説明: このメッセージは、ISPF サービス・ルーチンをダミー・ルーチンとして設定する IDENTIFY サービスが失敗したことを示します。

ユーザーの処置: 戻りコードを確認するには、MVS 資料で「IDENTIFY サービス」に関する説明を参照してください。

C2P0481I **ISP** モジュールを **BR14** としてロケーション `xxxxxxx` で識別しました
(**Identified ISP modules as BR14 at location xxxxxx**)

説明: このデバッグ専用メッセージは、ISPLINK、ISPEXEC、および ISPQRY ISPF モジュールが、C2POLICE または C2PACMON 開始済みタスク環境内のノーオペレーション・ルーチンによって置換されたことを示すために発行されます。ISPF サービスは、この環境では通常は使用できません。これらの ISPF モジュールをノーオペレーション・ルーチンとして定義することで、これらのサービスに関する不要な警告メッセージによる混乱を防止します。

C2P0482I **ISP** モジュールが削除されました
(**Removed ISP modules**)

説明: このデバッグ専用メッセージは、ISPLINK、ISPEXEC、および ISPQRY ISPF モジュールが、C2POLICE または C2PACMON 開始済みタスク環境内のノーオペレーション・ルーチンによって置換されなくなったことを示すために発行されます。

C2P0483W 異常終了 `xxxxxxx-xxxxxxx` に対する **FRR** ルーチンが呼び出されました (**FRR routine invoked for ABEND xxxxxx-xxxxxxx**)

説明: RACF FASTAUTH 要求についてのデータを収集するのに使用される C2PRFX04 モジュールで、異常終了が発生しました。異常終了は復旧し、実行は継続されています。

C2P0484I デバッグ **RACF** がアクティブになります
(**Debug RACF is activated**)

説明: このメッセージは **DEBUG RACF** コマンドの応答として発行され、**RACF** データ収集に関する診断メッセージが発行されたことを示します。

C2P0485I デバッグ **RACF** が非アクティブになります
(**Debug RACF is deactivated**)

説明: このメッセージは **DEBUG NORACF** コマンドの応答として発行され、**RACF** データ収集に関する診断メッセージが発行されなかったことを示します。

C2P0486I 現行バッファは使用中です。お待ちください (**Current buffer in use, wait**)

説明: ストレージ内データの処理中に、C2PIORTN モジュールが、次に処理対象となるバッファがまだ使用中であることを検出しました。他のタスクがこのバッファを解放できるように、バッファの処理は遅延されます。

C2P0487W 現行バッファは使用中です。共有バッファを読み取っています (**Current buffer in use, reading shared buffer**)

説明: ストレージ内データの処理中に、C2PIORTN モジュールが、次に処理対象となるバッファがまだ使用中であることを検出しました。数秒待った後で、少なくとも 1 つの他のタスクがストレージ内バッファをまだ使用中です。データ分析とレポート作成のタスクをこれ以上妨害させないようにするために、バッファには共有モードでアクセスします。

C2P0488E `ddname` **buf_index=null**

説明: ファイル `ddname` のストレージ内データの処理中に、C2PIORTN モジュールが、現行バッファに対する無効なポインターを検出しました。

C2P0489I アクセス・モニターがメモリー内バッファを使用してイベントを事前統合します
(**Access Monitor pre-consolidates events using in-memory buffers**)

説明: このメッセージは、**DISPLAY** コマンドへの応答の一部です。アクセス・モニター・イベントがメモリー内バッファを使用して事前統合されます。

C2P0490I **RACF** 出口が直接ブランチを使用して呼び出されました (**RACF exits are called using direct branch**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの **DISPLAY** コマンドへの応答の一部です。アクセス・モニターが使用する **RACF** 出口は、出口ルーター・モジュールから直接ブランチ命令を使用して呼び出されません。

C2P0491I **RACF** 出口が **MVS** 動的出口として呼び出されました (**RACF exits are called as MVS dynamic exit**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの **DISPLAY** コマンドへの応答の一部です。アクセス・モニターが使用する **RACF** 出口は、**MVS** 動的出口サービスを使用して呼び出されます。

C2P0492I RACF 出口用に CSVDYNEX モードが指定されています (CSVDYNEX mode specified for RACF exits)

説明: このメッセージは、アクセス・モニター出口が MVS 動的出口サービスを使用して呼び出されるように OPTION ステートメントで指示されていることを示しています。

C2P0493I RACF 出口用に DIRECT モードが指定されています (DIRECT mode specified for RACF exits)

説明: このメッセージは、アクセス・モニター出口が出口ルーター・モジュールから直接ブランチ命令を使用して呼び出されるように OPTION ステートメントで指示されていることを示しています。

C2P0494I 現行の日次収集 DS 名は *dsname* です (Current daily collection dsname is *dsname*)

説明: このメッセージは、オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。メッセージのテキストと *dsname* は、それぞれ、別のメッセージ行に示されます。このメッセージは、1 日の間にアクセス・モニター・レコードを収集するために使用するデータ・セットの名前を示します。通常、このデータ・セットは日次統合プロセス中に処理されて削除されます。

C2P0495I 収集サイクルの終了時にイベント統計が出力されます (Event statistics are shown at end of collection cycle)

説明: このメッセージは、DISPLAY コマンドへの応答の一部です。データ収集サイクルの終了時に、レポートが作成されます。CARLa メンバー C2PAMSTS を使用して、イベントの総数およびインターバル中に作成された統合出力レコードの数の概要を提供できます。SMF グローバル・インターバルは、データ収集サイクルの期間を決定します。

C2P0496I デバッグ分析がアクティブになります (Debug Analytics is activated)

説明: このデバッグ専用メッセージは、分析ファイルの処理に関連する特殊な診断メッセージが発行されることを示すために発行されます。

C2P0497I デバッグ分析が非アクティブになります (Debug Analytics is deactivated)

説明: このデバッグ専用メッセージは、分析ファイルの処理に関連する特殊な診断メッセージが発行されないことを示すために発行されます。

C2P0498E リンク解除が失敗しました
rv=return_value rc=return-code
rs=reason-code (Unlink failed
rv=return_value rc=return-code
rs=reason-code)

説明: BPX1UNL サービス中にエラーが発生したため、分析ディレクトリーを期限切れにできませんでした。BPX1UNL 戻りコードおよび理由コードを調べて、リンク解除が失敗した理由を確認してください。このメッセージの後には、削除できなかったファイルを示すメッセージ C2P0499I が続きます。

システムの処置: 実行を継続しますが、出力ディレクトリー内のファイルは削除されません。

C2P0499I *path-name* (*path-name*)

説明: このメッセージは、メッセージ C2P0498E の続きです。これは、削除できなかったファイルのパス名を示します。

C2P0500E 内部エラー。終了します (Internal error, exit)

説明: このメッセージは、ICHGLS10 ルーチンが期待される RACF モジュール内に、このルーチンが見つからない場合に発行されます。

C2P0501I ICHGLS10 がロケーション *address* に見つかりました (Found ICHGLS10 at location *address*)

説明: この診断メッセージは、DEBUG MAIN がアクティブな場合に発行されます。これは、IRRGNT00 ルーチンが使用不可の場合に使用される ICHGLS10 ルーチンのロケーションを示します。

C2P0502E IGC0013{ ルーチンをロードできませんでした: *abend-code* (Could not load IGC0013{ routine *abend-code*)

説明: このメッセージは、ICHGLS10 ルーチンが期待される RACF モジュールをプログラムがロードできない場合に発行されます。

C2P0503W **CKRCARLA** パラメーター・ストリングが切り捨てられました (**CKRCARLA Parm string truncated**)

説明: このメッセージは、DEBUG CKRCARLAPARAMETER に指定されているパラメーター・ストリングが 63 文字より長い場合に発行されます。

C2P0504I **CKRCARLA** パラメーター・ストリング = *value* (**CKRCARLA Parm string = value**)

説明: このデバッグ専用メッセージは、プログラムが認識している CKRCARLAPARAMETER の値を示すために発行されます。

C2P0505I すべての **SMF** サブタイプをアクティブ化しました (**Activated All SMF Subtypes**)

説明: このデバッグ専用メッセージは、サブタイプの指定がない SMF レコード・タイプ・フィルターを追加するために FILTER コマンドが発行された場合、または ALLSUBTYPE キーワードが指定された場合に発行されます。レコード・サブタイプの指定は、レコード・タイプ 30、80、92、および ACF2 に対してのみサポートされています。

ユーザーの処置: 何も必要ありません。

C2P0506I 指定された **SMF** サブタイプは、**AllSubtype** 設定により無効です (**Specified SMF Subtype ineffective due to AllSubtype setting**)

説明: この警告メッセージは、SMF レコード・サブタイプに指定された FILTER が無視されることを示します。既存の SMF レコード・フィルターが既に、このレコードのすべてのサブタイプが選択されることを指定しています。そのため、追加のサブタイプの指定は冗長です。

ユーザーの処置: 何も必要ありません。DISPLAY コマンドを発行して、SMF フィルターが意図したとおりであることを確認することをお勧めします。指定したサブタイプのみを選択が必要な場合は、以前の ALLSUBTYPE の指定が存在しないようにしてください。

C2P0507I **CKRCARLA** パラメーター・ストリングは *value* です (**CKRCARLA parameter string is value**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。示されている *value* が、CKRCARLA プログラムに渡されます。この値が最近指定されたものである場合、データ収集プロセスの一部としてアクティブな CKRCARLA の現行インスタンスがパラメーターの以前の値を使用している可能性があります。

C2P0508W レポート作成フェーズ中のデータ・エラーの総数が *num* です (**Total data errors during reporting phase was num**)

説明: このメッセージは、CKRCARLA データ収集インスタンスが終了した後で発行されます。これは、ストレージ内データ・バッファからのレコードの処理中に検出された無効なレコードの総数を示しています。このメッセージは、無効なレコードが検出されなかった場合には発行されません。無効なレコードの詳細は、その無効なレコードの検出時に DEBUG BUFFER がアクティブだった場合に、メッセージ C2P0163W に示されます。

C2P0509I *function* プロセスが完了しました (**function process completed**)

説明: この通知メッセージは、オペレーターによって要求された *function* が完了したときに発行されます。zSecure Alert 製品の場合、*function* の値は REFRESH であり、zSecure Admin のアクセス・モニター・コンポーネントの場合、*function* の値は CONSOLIDATE です。

C2P0510E レコード・タイプ *rectype* では、レコード・サブタイプはサポートされていません (**Record subtypes not supported for recordtype rectype**)

説明: FILTER ステートメントで、レコード・タイプとレコード・サブタイプを使用して SMF レコードをフィルタリングすることが指定されています。指定されたレコード・タイプではレコード・サブタイプはサポートされていません。レコード・サブタイプは、レコード・タイプ 30、80、92、および ACF2 に対してのみサポートされています。

C2P0511I 収集サイクルの終了時にイベント統計が出力されます (**Event statistics are shown at end of collection cycle**)

説明: このデバッグ専用メッセージは、オプション **ShowStatistics** が設定されていることを示します。
ShowStatistics オプションについて詳しくは、「zSecure CARLa-Driven Components インストールおよびデプロイメント・ガイド」の『OPTION コマンド』を参照してください。

C2P0512I 収集サイクルの終了時にイベント統計を出力しません (**Event statistics are not shown at end of collection cycle**)

説明: このデバッグ専用メッセージは、オプション **NoShowStatistics** が設定されていることを示します。
NoShowStatistics オプションについて詳しくは、「zSecure CARLa-Driven Components インストールおよびデプロイメント・ガイド」でオプション・コマンドに関する情報を参照してください。

C2P0513I 統計 CARLa メンバー名は *member-name* です (**Statistics CARLa member name is member-name**)

説明: このデバッグ専用メッセージは、SMF インターバルが終了するごとにアクセス・モニター統計を生成するように指定されたメンバー名を示します。デフォルト値は C2PAMSTS です。

C2P0514W イベント・タイプ **AUTH** はサポートされていません (**Event type AUTH not supported**)

説明: このデバッグ・メッセージは、OPTION **EVENTSTOALERT** ステートメントに **TYPE(AUTH)** または **TYPE(NOAUTH)** が指定されたことを示すために発行されます。Authorization イベントを zSecure Alert に渡すことは現在のところサポートされていません。

C2P0515W イベント・タイプ **FAST** はサポートされていません (**Event type FAST not supported**)

説明: このデバッグ・メッセージは、OPTION **EVENTSTOALERT** ステートメントに **TYPE(FAST)** または **TYPE(NOFAST)** が指定されたことを示すために発行されます。Fastauth イベントを zSecure Alert に渡すことは現在のところサポートされていません。

C2P0516W イベント・タイプ **DEFINE** はサポートされていません (**Event type DEFINE not supported**)

説明: このデバッグ・メッセージは、OPTION **EVENTSTOALERT** ステートメントに **TYPE(DEFINE)** または **TYPE(NODEFINE)** が指定されたことを示すために発行されます。Define イベントを zSecure Alert に渡すことは現在のところサポートされていません。

C2P0517I アクセス・モニターは選択したイベントを zSecure Alert に渡します (**Access Monitor passes selected events to zSecure Alert**)

説明: このデバッグ・メッセージは、OPTION **EVENTSTOALERT** ステートメントを処理することを確認するために発行されます。

C2P0518I アクセス・モニターがイベントを zSecure Alert に渡しません (**Access Monitor does not pass events to zSecure Alert**)

説明: このデバッグ・メッセージは、OPTION **NOEVENTSTOALERT** ステートメントを処理することを確認するために発行されます。

C2P0519I イベントは **VERIFY** イベントを組み込み/除外します (**Events include/exclude VERIFY events**)

説明: このデバッグ・メッセージは、OPTION **EVENTSTOALERT** ステートメントに **TYPE(VERIFY)** または **TYPE(NOVERIFY)** が指定されたことを確認するために発行されます。VERIFY イベントは zSecure Alert の開始済みタスクに渡されるか、または渡されません。

C2P0520I RACF 出口用に **FASTSTORE** が指定されています (**FASTSTORE specified for RACF exits**)

説明: このメッセージは、OPTION ステートメントでの指定により、アクセス・モニターが使用する複数の RACF 出口が、ユーザーのアドレス・スペース内のセル・プール・ストレージを使用して単一のモジュールとして実装されることを示します。

C2P0521I **RACF** 出口が高速ストレージ・モードを使用して呼び出されました (**RACF exits are called using fast storage mode**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。アクセス・モニターが使用する複数の RACF 出口が、ユーザーのアドレス・スペース内のセル・プール・ストレージを使用して単一のモジュールとして実装されます。

C2P0522E **IEANTCR** からのエラー戻り、
RC=retcode (Error return from
IEANTCR, RC=retcode)

説明: ユーザーのアドレス・スペース内のセル・プール・ストレージのアンカーとして使用する名前付きトークンの作成時に、エラーが発生しました。エラー戻りコードは *retcode* です。このメッセージは回避しなければなりません。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。*retcode* を含むエラー・レポートを作成します。

C2P0523I アクセス・モニター・レコードがメモリー内バッファを使用して事前統合されます (**Access Monitor records are pre-consolidated using in-memory buffers**)

説明: このデバッグ・メッセージは、OPTION ステートメントでの指定により、アクセス・モニター・イベントの事前統合が必須である場合に表示されます。

C2P0524I アクセス・モニター・レコードが **CKRCARLA** エンジンによって統合されます (**Access Monitor records are consolidated by CKRCARLA engine**)

説明: このデバッグ・メッセージは、OPTION ステートメントでの指定により、アクセス・モニター・イベントの事前統合が実行されず、個別のイベント・レコードが **CKRCARLA** プログラムを使用して統合される場合に表示されます。

C2P0525W **CLASS** によるイベントの選択はサポートされていません (**Event selection by CLASS not supported**)

説明: このデバッグ・メッセージは、OPTION EVENTSTOALERT ステートメントに

CLASS(resource-class) が指定されたことを示すために発行されます。リソース・クラスによる選択は、現在のところ、イベントを zSecure Alert に渡す際にはサポートされていません。

C2P0526I アクセス・モニターが **VERIFY** イベントを **zSecure Alert** に渡します (**Access Monitor passes VERIFY events to zSecure Alert**)

説明: このメッセージは、コンソール・オペレーターの DISPLAY コマンドへの応答の一部です。zSecure アクセス・モニターによりキャプチャーされた **VERIFY** イベントが **zSecure Alert** にも提供されます。事前定義されているアラート 1122 を **zSecure Alert** でアクティブ化して、機密ユーザーの使用に関する ニア・リアルタイム アラートを提供することができます。これには、SMF レコードを作成しない **VERIFY** イベントが含まれています。

C2P0527E **zSecure Alert** アドレス・スペースが見つかりません (**Cannot locate zSecure Alert address space**)

説明: このエラー・メッセージは、zSecure Admin アクセス・モニターが特定のイベント情報を **zSecure Alert** に渡すように構成されている場合に、必要な **zSecure Alert** アドレス・スペースが非アクティブであると発行されます。要求されたイベントは **zSecure Alert** に渡されず、アクセス・モニター自体で作成された **ACCESS** データ・セットでのみ使用できます。

C2P0528E **zSecure Alert PC** 番号が見つかりません (**Cannot locate zSecure Alert PC number**)

説明: このエラー・メッセージは、zSecure Admin アクセス・モニターが特定のイベント情報を **zSecure Alert** に渡すように構成されていて、その情報を渡すために必要な **zSecure Alert** プログラム呼び出しを特定できなかった場合に発行されます。要求されたイベントは **zSecure Alert** に渡されず、アクセス・モニター自体で作成された **ACCESS** データ・セットでのみ使用できます。

C2P0529E ディレクトリーを開くことができませんでした **rv=return_value rc=return-code**
rs=reason-code (Open dir failed
rv=return_value rc=return-code
rs=reason-code)

説明: ディレクトリーを開くことができなかったため、分析ディレクトリーを期限切れにできませんでした。

システムの処置: 実行を継続しますが、出力ディレクトリー内のファイルは削除されません。

ユーザーの処置: BPX1OPD *return-code* および *reason-code* を調べて、開くことができなかった理由を確認してください。

C2P0530I 分析 CARLa メンバーは *member-name* です (**Analytics CARLa member is *member-name***)

説明: このデバッグ専用メッセージは、分析 CARLa に対して指定されたメンバー名を確認するために発行されます。

C2P0531E 無効な分析ディレクトリー *directory-name* (**Invalid analytics directory *directory-name***)

説明: 指定されたディレクトリー名は、マニュアルに記載された制限に準拠していません。先頭はスラッシュ (/) にする必要があり、末尾はスラッシュ以外にする必要があります。

C2P0532I デフォルト分析ディレクトリー */u/c2pacmon* を使用します (**Using default analytics directory */u/c2pacmon***)

説明: 無効なディレクトリー名が指定されました。そのため、デフォルト・ディレクトリー */u/c2pacmon* が使用されます。

C2P0533I 分析ディレクトリーは *directory-name* です (**Analytics directory is *directory-name***)

説明: このデバッグ専用メッセージは、分析ファイルに対して指定されたディレクトリー名を確認するために発行されます。

C2P0534I 分析 *umask* は *umask* です (**Analytics *umask* is *umask***)

説明: このデバッグ専用メッセージは、分析ファイルを作成するときに有効な *umask* を確認するために発行されます。

C2P0535I 分析ファイル保存期間は *num-days* 日です (**Analytics file retention period is *num-days* days**)

説明: このデバッグ専用メッセージは、分析ファイルが

自動的に削除されるまでの保存日数を確認するために発行されます。

C2P0536I 無効な分析ファイル保存期間です。デフォルト値の 5 日を使用します (**Invalid analytics file retention period, using default value 5 days**)

説明: 指定された保存期間が短すぎるかまたは長すぎます。代わりに、デフォルト保存期間の 5 日が使用されます。

C2P0537I 分析ファイル *file-name* は期限切れです (**Expired analytics file *file-name***)

説明: このデバッグ専用メッセージは、分析出力ファイル *file-name* が期限切れであり、削除されたことを示すために発行されます。

C2P0701I ベース *ptr: address* (**Base ptr: *address***)

説明: この診断メッセージは、後続の C2P0702I メッセージに表示される領域の基底アドレスを示します。これは、C2PC 共通域のアドレス、またはその領域の保存済みコピーのアドレスのいずれかです。

C2P0702I *address hexdata *chardata**

説明: このメッセージは複数回出されます。これらのメッセージは内部診断データを示します。値 *address* は、アドレスの最後の 4 桁のみを示します。完全なアドレスは、メッセージ C2P0701I に示されます。

C2P0703I *address hexdata *chardata**

説明: このメッセージは内部診断データを示します。*hexdata* が完全な 16 バイトの *hexdata* を満たしていない場合に、このメッセージが出されます。追加のデータは後続ゼロとして示されます。値 *address* は、アドレスの最後の 4 桁のみを示します。完全なアドレスは、メッセージ C2P0701I に示されます。

C2P0704I *record data*

説明: この診断メッセージは、収集された RACF イベント・レコードからの情報を示します。このメッセージは、IBM サポート担当員が問題判別中の支援を行うときに使用することを想定しています。

C2P797I サポートされない呼び出しタイプ (**Unsupported call type**)

説明: このメッセージは、内部 API の不一致を示します。製品 のインストールおよびセットアップが正常に

終了したことを確認してください。

重大度: 16

C2P798I 内部のバージョンの不一致 (**Internal version mismatch**)

説明: このメッセージは、内部 API の不一致を示します。製品 のインストールおよびセットアップが正常に終了したことを確認してください。

重大度: 16

C2P799I 内部の長さの不一致 (**Internal length mismatch**)

説明: このメッセージは、内部 API の不一致を示します。製品 のインストールおよびセットアップが正常に終了したことを確認してください。

重大度: 16

C2P874I RECFM=V(BS) RDW *hex* が、レコード *n ddname volser dsname* で **LRECL=lrecl** を超えています (**RECFM=V(BS) RDW *hex* exceeds LRECL=lrecl at record *n ddname volser dsname***)

説明: このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

C2P875I RECFM=V(BS) BDW *hex* が、レコード *n ddname volser dsname* で **BLKSIZE=blksize** を超えています (**RECFM=V(BS) BDW *hex* exceeds BLKSIZE=blksize at record *n ddname volser dsname***)

説明: このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。ブロック記述子ワード (BDW) は 16 進数で示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは

BDW を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

C2P0900I *diagnostic text*

説明: この診断メッセージは、コマンド・テンプレート・ファイルの処理中に発生したエラーの診断を支援します。診断テキストのさまざまな値が使用されます。これらのメッセージは、主に IBM ソフトウェア・サポート向けのものです。

C2P0901W 製品 は *yyyy-mm-dd hh:mm:ss* 以降、非アクティブです (**product was inactive since *yyyy-mm-dd hh:mm:ss***)

説明: この警告メッセージは、製品 の始動または再始動時に発行されます。このメッセージは、製品 がシステムの最後の IPL 後に少なくとも 1 回アクティブになっている場合に限り、発行されます。また、製品 の最後のインスタンスが SIPL コマンドにより停止された場合、このメッセージはありません。

C2P0903W アクセス・モニター記録は *yyyy-mm-dd hh:mm:ss* 以降、非アクティブです (**Access Monitor recording was inactive since *yyyy-mm-dd hh:mm:ss***)

説明: この警告メッセージは、CKRCARLA データ処理タスクの新規インスタンス開始時に、前のインスタンスが早期に終了していた場合に発行されます。Type の値は、zSecure Alert の場合は「Alert reporting」となります。

C2P915I UNIX レコード *nn* 書き込み失敗 RC *nn* [*meaning*] 理由 *qqqq rrrrx* [*meaning*] ファイル *ddname path* (**UNIX write record *nn* failed RC *nn* [*meaning*] reason *qqqq rrrrx* [*meaning*] file *ddname path***)

説明: このメッセージは、BPX1WRV 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrx* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度: 16

C2P926I モジュール *module* の **LOAD** は失敗しました (**LOAD of module *module* failed**)

説明: プログラムは、示されたモジュールが使用可能であることを予期していました。しかし、このモジュールが見つかりませんでした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

C2P931I *proc*: バッファオーバーラン - *destinationlength sourcelength:data (proc: Buffer overrun - destinationlength sourcelength:data)*

説明: フォーマット・プロシージャ *proc* でバッファオーバーランが発生しました。このメッセージの後、ユーザー異常終了 931 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

C2P934I 値 *value* が大きすぎます (**Value *value* too large**)

説明: このメッセージは、入力パーサーが受け取った数値が大きすぎたことを示します。入力パーサーにより処理可能な最大値は 2147483647 です。

重大度: 12

C2P942I 製品コード *code* の環境が一致しません (**Environment mismatch for product code *code***)

説明: このメッセージは、識別された製品コードを示す *code* がインストールされたが、それが適切な環境で稼働していないことを示します。例えば、製品コードの中には、z/OS 下の UNIX タスクのみ、z/OS 下の 非 UNIX タスクのみ、および z/VM のみに限定されるものがあります。

重大度: 0

C2P948I 製品コード *code* の使用可能化情報が壊れています (**Enablement information corrupt for product code *code***)

説明: このメッセージは、製品のインストールまたはライセンスに問題があることを示します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、インストールが正常に行われたことを確認してください。

重大度: 16

C2P949I 製品コード *code* がインストールされましたが、非 **APF** 登録の制限を超えました (**Product code *code* installed and non-APF registration limit exceeded**)

説明: このメッセージは、非 **APF** プログラムによる製品登録の **MVS** 制限を超えたため、インストール済みの製品を登録できない場合に発行されます。

重大度: 00

C2P950I 製品コード *code* のコードはインストールされていません (**Code not installed here for product code *code***)

説明: このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしていることを示します。

重大度: 16

C2P951I モジュール *module* のロード時にシステム異常終了 *code (desc)* が発生しました (**system abend *code (desc)* trying to load module *module***)

説明: このメッセージは、モジュールのロードに失敗したことと、その理由を示します。異常終了 806 は、モジュールが見つからなかったことを意味します。異常終了 306 は、制御された環境が存在するが、ロード対象のモジュールがプログラム制御されていなかったことを意味する可能性があります。

重大度: 8

C2P955I *program task heap* ストレージ要求エラー: サイズが正の値ではありません (**program task heap STORAGE REQUEST ERROR: SIZE NOT POSITIVE**)

説明: このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作

成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

C2P964I **PDS(E) データ・セット *dsn* への書き込みにはメンバー名が必要です (Member name required for writes to PDS(E) data set *dsn*)**

説明: このメッセージは、示された *dsn* を持つデータ・セットに対して、必要なメンバー名が指定されていないことを示します。プログラムは、ユーザー異常終了 964 を出します。

重大度: 8

C2P965I **メンバー *mem* は PDS(E) でのみ使用できます。*dsn* には使用できません (Member *mem* can only be used with PDS(E); not for *dsn*)**

説明: このメッセージは、示された *dsn* を持つデータ・セットに対して、指定されたメンバー名 (*mem*) が許可されなかったことを示します。プログラムは、ユーザー異常終了 965 を出します。

C2P966I **端末ファイル *ddname* でメンバー *mem* を使用することはできません (Cannot use member *mem* on terminal file *ddname*)**

説明: このメッセージは、示された *ddname* を持つ終端出力ファイルに対して、指定されたメンバー名 (*mem*) が許可されなかったことを示します。プログラムは、ユーザー異常終了 966 を出します。

C2P967I **RECFM=F は、LRECL=X および RECFM=VBS が設定されたデータ・セット *dsname* に対して無効です (RECFM=F invalid for LRECL=X, RECFM=VBS preferred data set *dsname*)**

説明: このメッセージは、示された *dsname* を持つ出力ファイルに対して、指定された固定レコード・フォーマットが許可されなかったことを示します。これは、示されたデータ・セットに対してはサポートされません。プログラムは、ユーザー異常終了 967 を出します。

C2P968I **IFAEDDRG が失敗しました RC *nn* (10 進数) (IFAEDDRG failed RC *nn* decimal)**

説明: このメッセージは、以前に登録済みの製品の登録が失敗したことを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

C2P969I ***dsn* の入出力エラー: *description* (I/O error for *dsn*: *description*)**

説明: このメッセージは、*dsn* についての通常の QSAM または BSAM 入力処理中に入出力エラーが発生したことを示します。命令は続行されますが、入出力エラーによって情報が失われることから異常終了またはその他のエラー・メッセージが後に続く場合があります。

重大度: 8

C2P970I ***program task heap* フリー・ストレージ・エラー (FREE STORAGE ERROR): *message***

説明: このメッセージは内部メモリ管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

C2P971I ***file* の行 *n* におけるこの *field* の最大長は *len* です (Maximum length for this field is *len* at file line *n*)**

説明: 入力に含まれている複数行ストリングが長すぎます。複数行ストリング (印刷タイトルまたは引用符付きストリング) の最大サイズ *len* を超えました。

重大度: 12

C2P972I *product* の使用可能化情報がありません
(**Enablement information missing for product**)

説明: このメッセージは、ロード・モジュールが完全でないために製品が稼働できないことを示します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、製品のインストールを完了させるように依頼してください。

重大度: 16

C2P973I IBM セキュリティー製品コード *code* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product code *code* disabled or not installed**)

説明: このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしているか、または製品がこのシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できないことを示します。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

C2P974I IBM セキュリティー *product* が要求されたフォーカスに対して使用不可になっているか、ここではインストールされていません (**IBM Security product disabled or not installed here for requested focus**)

説明: 製品がインストールされていないか、または要求されたフォーカスが、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

C2P975I IBM セキュリティー *product* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product disabled or not installed**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

C2P976I IBM セキュリティー *product* 製品または機能が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product product or feature disabled or not installed here**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

C2P976I IBM セキュリティー *product* 製品または機能が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product product or feature disabled or not installed here**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

C2P977I 製品所有者('IBM CORP') ID(*id*) 名前 ('*name*') 機能(''*feature*'') バージョン (*version*) リリース (*release*) 変更 (*modification*) がインストール済みです (**Installed PRODUCT OWNER('IBM**

CORP') ID(id) NAME('name')
 FEATURE('feature') VER(version)
 REL(release) MOD(modification))
 [製品 action RC rc 10 進数] ([Product
 action RC rc decimal])

説明: このメッセージは、インストール済みの製品の
 DEBUG に応答して発行されます。action は、
 "registration" または "status" になります。戻りコード
 はそれぞれ IFAEDREG または IFAEDSTA に対するも
 ので、「MVS プログラミング： プロダクト登録」に記
 載されています。製品登録が適用されない場合は継続行
 が表示されません (例えば、C2P979I のため)。

重大度: 00

C2P978I 製品コード code が PARMLIB で無効化
 されました (Product code code has
 been disabled in PARMLIB)

説明: このメッセージは、z/OS PARMLIB 内の
 IFAPRDxx の項目によって、現在のシステム名、シス
 プレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハー
 ドウェア名に対して製品が無効になっている場合に発行
 されます。

ユーザーの処置: 製品を他の場所で実行するか、シス
 テム・プログラマーに使用可能化を依頼してください。

重大度: 00

C2P979I 製品コード code は他の製品によって暗黙
 に指定されています (Product code code
 implied by other)

説明: このメッセージは、製品ライセンスがより包括
 的なライセンスによって暗黙的に与えられているため、そ
 の製品が登録されない場合に発行されます。

重大度: 00

C2P982I 内部エラー: ddname の行 number にお
 けるエラー・コードが不明です (Internal
 error: unknown error code at ddname
 line number)

説明: 入力パーサー・エラー・ルーチンで無効なエラ
 ー・コードが検出されました。電子サポート Web サ
 イトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用
 可能な保守を探してください。該当する保守が見つから
 ない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』
 に記載されている手順に従って問題を報告してくださ
 い。

重大度: 24

C2P983I 予期されるリスト・セパレーター/ターミ
 ネーターは typ1 ですが、ddname の行
 number では type "value" となっています
 (Expecting typ1 list separator/terminator
 instead of type "value" at ddname line
 number)

説明: このメッセージは、入力パーサーが、表示され
 たタイプの現行リストのリスト・セパレーターまたはリス
 ト・ターミネーター (コンテキストに応じてコンマ、空
 白、行の終わりなど) を予期したことを示します。代わ
 りに、示されているトークン・タイプ type (およびテキ
 ストがある場合は value) が検出されました。入力パー
 サーは、現在のリストで有効なリスト・セパレーターま
 たはリスト・ターミネーターが検出されるまで、すべて
 の入力をスキップします。

重大度: 12

C2P984I ddname の行 number で無効な type リス
 ト・エレメント・タイプ type 「value」が
 検出されました (Invalid type list
 element type type "value" at ddname
 line number)

説明: このメッセージは、入力パーサーが指定された
 タイプのリスト・エレメントを予期したが、このコンテ
 キストのリスト・エレメントとしてサポートされないタイ
 プのトークンを検出したことを示します。問題のあるテ
 キスト value がある場合は、そのテキストもこのメッ
 セージにリストされます。入力パーサーは、現在のリス
 トで有効なリスト・セパレーターまたはリスト・ターミ
 ネーターが検出されるまで、すべての入力をスキップし
 ます。

重大度: 12

C2P985I ddname の行 number に必須リスト・エレ
 メント/パラメーター「value」がありませ
 ン (Required list element/parameter
 "value" missing at ddname line number)

説明: このメッセージは、入力パーサーによって、リス
 ト内の示された行に必要なパラメーターまたはエレメン
 トがないことが検出されたことを示します。

重大度: 12

C2P986I ddname の行 number でパラメーター
 value が重複しています (Duplicate
 parameter value at ddname line number)

説明: このメッセージは、入力パーサーによって、示
 された行にパラメーターまたはリスト・エレメント value
 が重複して出現することが検出されたことを示します。

重大度: 12

C2P987I 構文エラー: *type1* が予期されましたが、*ddname* の行 *number* の "*value*" では *type2* となっています (**Syntax error: *type1* expected instead of *type2* at "*value*" on *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、入力パーサーが、現行コンテキストで特定のトークン・タイプ *type1* を予期したことを示します。示された入力行では、これの代わりに、トークン・タイプ *type2* が (テキスト *value* がある場合はそのテキストで) 検出されました。

重大度: 12

C2P988I 構文エラー: "*c*" が予期されましたが、*ddname* の行 *number* の "*value*" では *type* となっています (**Syntax error: "*c*" expected instead of *type* at "*value*" on *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、入力パーサーが、現行コンテキストで特定の文字「*c*」(おそらく区切り文字)を予期したことを示します。示された入力行では、これの代わりに、トークン・タイプ *type* が (テキスト *value* がある場合はそのテキストで) 検出されました。

重大度: 12

C2P989I 予期しない *type* "*value*" が *ddname* の行 *number* にあります (**Unexpected *type* "*value*" at *ddname* line *number***)

説明: このメッセージは、入力パーサーが特定のトークン・タイプのいずれかを予期したが、異なるトークン・タイプが検出されたことを示します。問題のあるテキスト *value* がある場合は、そのテキストもこのメッセージにリストされます。

重大度: 12

C2P992I ABNEXIT/STXIT/ESTAE 戻りコード *rc* (**ABNEXIT/STXIT/ESTAE return code *rc***)

説明: このメッセージは、プログラムが異常終了リンケージの確立に失敗したことを示します。

重大度: 4

C2P993I *program* タスク *taskname type* に対する診断ダンプが抑止されました。異常終了 *xxx* (**DIAGNOSTIC DUMP SUPPRESSED FOR *program* TASK *taskname type* ABEND *xxx***)

説明: このメッセージは、プログラムの異常終了出口により診断要約ダンプの作成が試行されなかったことを示します。これは、印刷ファイルに関連する再帰的な異常終了状態を防ぐ目的で行われます。タスク名は、メインタスクまたはプログラム内の唯一のタスクの場合は PROGRAM です。マルチタスキング・プログラムの場合、*program* は、サブタスクの 1 つを示す可能性があります。

C2P994I 最終レコードがファイルの終わりで切り捨てられました。*ddname* (**Last record truncated by end-of-file *ddname***)

説明: このメッセージは、複数セグメントのレコードの途中で RECFM=VBS 入力ファイルの終わりに達したことを示します。

重大度: 16

C2P995I LRECL が無効です。区分データ・セットであるため置き換えられませんでした (**LRECL invalid; not overruled because partitioned data set**)

説明: このメッセージは、印刷ファイルのオープン・ルーチンによって検出された出力ファイルのレコード長が無効だったことを示します。これは、物理的順次データ・セットの正しい長さによって変更されるはずでしたが、既存の PDS メンバーをアクセス不能にすることがないように、区分データ・セットに対して変更は行われませんでした。無効なレコード長が原因で、その後に異常終了 013 または 002 が発生する可能性があります。

C2P996I MFREE: スタック *name* のブロック内で長さが見つかりません (**MFREE: NO LENGTH FOUND IN BLOCK FOR STACK *name***)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 4

C2P997I スタック・エラー - ポップされたエレメントがスタック *name* の最上部にありません (**STACK ERROR - ELEMENT POPPED IS NOT ON TOP OF STACK *name***)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

C2P998I *program* のスタック *tasklevel stackname* でスタック・オーバーフローが発生しました (**STACK OVERFLOW FOR STACK *tasklevel stackname* IN *program***)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示しま

メッセージ 1000 から 1999 (事前定義 RACF アラート)

C2P1101I 不明なユーザー *id* ジョブ *job* がログオンしました (**Logon by unknown user *id* job *job***)

説明: RACF で認識されていないユーザーが、ログオンしたかバッチ・ジョブをサブミットしました。

id システムに入力された不明なユーザー ID。

job ログオンの結果としてのジョブのジョブ名、またはサブミットされたジョブのジョブ名。

C2P1102I 緊急ユーザー *user* がログオンしました (**Emergency user *user* logged on**)

説明: 緊急用のユーザー ID が TSO ログオンまたはバッチ・ジョブのサブミットに使用された場合、アラートが送信されます。

user システムにログオンしたユーザーのユーザー ID。

C2P1103I スーパーユーザー *user* が *system* にログオンしました (**Superuser *user* logon to *system***)

説明: UNIX uid 0 のユーザー ID を使用して TSO または OMVS へのログオンが行われた場合、アラートが送信されます。

user システムにログオンしたスーパーユーザーのユーザー ID。

す。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

C2P999I *program* 内のタスク *taskname* のヒープ *heapname* のストレージが不足しています - 領域を増やしてください (**STORAGE SHORTAGE FOR TASK *taskname* HEAP *heapname* IN *program* - INCREASE REGION**)

説明: このメッセージは、プログラムに追加のストレージが必要であることを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。

重大度: 16

system ユーザーがログオンしたシステム (OMVS または TSO)。

C2P1104I パスワード違反により、高い権限を持つユーザー *user* が取り消されます (**Highly authorized user *user* revoked for password violations**)

説明: 無効なパスワード試行回数の制限を超えたため、システム・レベル権限 (SPECIAL、OPERATIONS、または AUDITOR) を持つユーザーが取り消されます。

user パスワード違反が制限を超えたために取り消される、システム・レベル権限を持つユーザーのユーザー ID。

C2P1105I *user2* によって、*user1* にシステム権限 *authority* が付与されました (**System authority *authority* granted to *user1* by *user2***)

説明: ユーザーは、システム・レベル権限 (SPECIAL、OPERATIONS、AUDITOR、および CLAUTH) を取得します。

authority

ユーザー *user1* に付与されるシステム・レベル権限 (SPECIAL、AUDITOR、OPERATIONS、または CLAUTH)。

C2P1106I • C2P1111I

user1 システム・レベル権限を付与されるユーザーのユーザー ID。

user2 *user1* にシステム・レベル権限を付与したユーザーのユーザー ID。

C2P1106I *user2* によって、*user1* からシステム権限 *authority* が削除されました (**System authority authority removed from user1 by user2**)

説明: システム・レベル権限 (SPECIAL、OPERATIONS、AUDITOR、および CLAUTH) が、ユーザーから削除されます。

authority

ユーザー *user1* から削除されたシステム・レベル権限 (SPECIAL、AUDITOR、OPERATIONS、または CLAUTH)。

user1 システム・レベル権限を削除されたユーザーのユーザー ID。

user2 ユーザー *user1* からシステム・レベル権限を削除したユーザーのユーザー ID。

C2P1107I グループ権限 *authority* が *group* の *user* に付与されました (**Group authority authority granted to user in group**)

説明: グループ・レベル権限 (SPECIAL、OPERATIONS、および AUDITOR) がユーザーに付与されます。

authority

ユーザー *user* に付与されるグループ・レベル権限 (SPECIAL、AUDITOR、または OPERATIONS)。

user グループ *group* の権限を付与されるユーザーのユーザー ID。

group 権限を付与されるユーザーが所属するグループ。

C2P1108I グループ権限 *authority* が *group* の *user* から削除されました (**Group authority authority removed for user in group**)

説明: グループ・レベル権限 (SPECIAL、OPERATIONS、および AUDITOR) がユーザーから削除されるか、または該当の権限を持つユーザーがグループから削除されます。

authority

ユーザー *user* から削除されるグループ・レベル権限 (SPECIAL、AUDITOR、または OPERATIONS)。

user グループ *group* の権限を削除されるユーザーのユーザー ID。

group ユーザーの権限が削除されるグループ。

C2P1109I 非 SPECIAL ユーザー *user* が SPECIAL コマンド *command* を発行しました (**(non-SPECIAL user user issued SPECIAL command command)**)

説明: システムまたはグループの特殊権限を持たないユーザーが、グループまたはシステムの特殊権限を持つコマンドを実行しています。これは、ユーザーが (グループまたはシステムの) 特殊権限を必要とするコマンドを正常に実行する可能性があるが、そのユーザー自身は SPECIAL 権限を持っていないことを示します。

user システム SPECIAL 権限を持つコマンドを実行したユーザーのユーザー ID。

command

実行されたコマンド。このフィールドは、複数行にまたがる可能性があります。

C2P1110I 非 OPERATIONS ユーザー *user* が OPERATIONS データ・セット *data set* にアクセス (*access*) しました (**(non-OPERATIONS user user accessed (access) with OPERATIONS data set data set)**)

説明: システムまたはグループ操作のアクセス権限のないユーザーが、グループまたはシステム操作権限でデータ・セットにアクセスしています。これは、そのユーザーが (ACL で明示的に否認されない限り) 自分の有効範囲内のすべてのデータ・セットにアクセス可能であることを意味します。

user データ・セット *data set* にアクセスしたユーザーのユーザー ID。

access データ・セットに対して実行されたアクセス・レベル。

data set

アクセスされたデータ・セット。

C2P1111I 無効なパスワードの試行回数が *user* の制限を超えました (**Invalid password attempts exceed limit for user**)

説明: 無効なパスワードを指定して行われた特定ユーザー

ー ID のログオン試行回数が、時間枠に設定された制限を超えました。

user システムにログオンしようとして使用されたユーザー ID。

C2P1112I *user* のパスワード・ヒストリーがフラッシュされました (**Password history flushed for *user***)

説明: 特定のユーザー ID のパスワードが特定の時間枠内で、パスワード・ヒストリーの SETROPTS 設定よりも頻繁に変更されています。この方法で、ユーザーはパスワード・ヒストリー全体をフラッシュし、それによって前のパスワードの再使用ができるようにしました。

user パスワード・ヒストリーをフラッシュしたユーザーのユーザー ID。

C2P1113I *user* のパスワード変更に不審な点があります (**Suspect password changes for *user***)

説明: 特定の時間枠内で、特定ユーザー ID のパスワード変更回数が多すぎます (ただし、パスワード・ヒストリーを完全にフラッシュするほど頻繁ではありません)。

user パスワードを頻繁に変更したユーザーのユーザー ID。

C2P1114I *group* の *user* に接続権限 *authority* が設定されました (**Connect authority authority set for *user* in *group***)

説明: 接続に対して、CREATE 以上の権限レベルが設定されます。

authority

ユーザー *user* に付与されるグループ権限 (CREATE、CONNECT、または JOIN)。

user グループ *group* のグループ権限を付与されるユーザーのユーザー ID。

group 権限を付与されるユーザーが所属するグループ。

C2P1115I ユーザー *user* *revoke-action* が *nn* 回の違反後に発生しました。ユーザー *userid* について *nn* 回の違反が記録されました。 (**User *user* *revoke-action* after *nn* violations *nn* violations recorded for user *userid***)

説明: ユーザーが短時間に過剰な数の違反を作成しました。

nn 違反の数

revoke-action

ユーザーを取り消すために zSecure Alert が取るアクション。これは、RACF を介した直接の取り消しか、CKGRACF によるスケジュールされた取り消しか、いずれかです。

user 違反を作成したユーザーのユーザー ID

C2P1119I *user1* が *user2* に対して無期限パスワードを割り当てました (***user1* assigned non-expiring password for *user2***)

説明: 無期限パスワードを特定のユーザー ID に対して設定するための PASSWORD NOINTERVAL コマンドが発行されました。

user1 RACF コマンドを発行したユーザーのユーザー ID。

user2 無期限パスワードが設定されたユーザー ID。

C2P1120I ユーザー *user* について *commands* コマンドが記録されました (***commands* commands recorded for user *user***)

説明: 間隔内で特定のユーザー ID に関して、構成された数よりも多くの RACF コマンドが記録されたため、アラートが送信されました。間隔は、zSecure Alert の REPORT オプション **AverageInterval** で指定されます。

commands

発行された RACF コマンドの数。

user RACF コマンドを発行したユーザーのユーザー ID。

C2P1121I *user1* が *user2* から保護状況を削除しました (***user1* removed protected status from *user2***)

説明: ユーザー ID の保護状況を削除するための ALTUSER PASSWORD コマンドが発行されました。

user1 RACF コマンドを発行したユーザーのユーザー ID。

user2 保護状況が削除されたユーザー ID。

C2P1122I 機密性ユーザー ID *user* ジョブ名 *jobname* がログオンしました (***Sensitive user ID user jobname jobname logged on***)

説明: 機密と見なされるユーザー ID がサインオンま

C2P1201I • C2P1206I

たはバッチ・ジョブの実行に使用された場合、アラートが送信されます。

user システムにログオンしたユーザーの ID。

jobname

ユーザー ID が使用されたタスクのジョブ名。これは、バッチ・ジョブの名前、TSO ユーザー ID、またはユーザーの代わりに作業を実行するサブシステムの名前のいずれかです。

C2P1201I user がデータ・セット *data set* で **WARNING** モード *access* を実行しました (**WARNING mode access by user on data set data set**)

説明: データ・セットへのアクセスが行われ、警告モードのためアクセスが認可されます。

access データ・セットで使用されるアクセス・レベル。

user データ・セット *data set* にアクセスしたユーザーのユーザー ID。

data set

アクセスされたデータ・セット。

C2P1202I 公開アクセス権限 >**UPDATE** が設定されました。 *profile control* が *access* に設定されました (**Public access >UPDATE set: profile control set to access**)

説明: 示された *control* によって DATASET プロファイル *profile* に高位アクセス権限レベルが付与されました。

プロファイル

高位の公開アクセス権限が付与されたプロファイル。

control UACC (すべてのユーザーへのアクセスを許可) または ID(*) アクセス (RACF に定義されたすべてのユーザーへのアクセスを許可)。

access 付与された公開アクセス権限レベル。

C2P1203I 公開アクセス権限 >**NONE** が設定されました。 *profile control* が *access* に設定されました (**Public access >NONE set: profile control set to access**)

説明: 示された *control* によって DATASET プロファイル *profile* にアクセス権限が付与されました。

プロファイル

公開アクセス権限が付与されたプロファイル。

control UACC (すべてのユーザーへのアクセスを許可)

または ID(*) アクセス (RACF に定義されたすべてのユーザーへのアクセスを許可)。

access 付与された公開アクセス権限レベル。

C2P1204I user が **APF** データ・セット *data set* を更新しました (**Update by user on APF data set data set**)

説明: APF 許可データ・セットが更新されます。

data set

更新された APF データ・セット。

user APF データ・セットを更新したユーザーのユーザー ID。

C2P1205I コンソール *console* から **SETPROG** を使用して **APF** リストにデータ・セットが追加されました: ボリューム *volume* の *data set* (**Data set added to APF list using SETPROG from console console: data set on volume volume**)

説明: SET PROG または SETPROG コマンドを使用して、動的にデータ・セットが APF リストに追加された場合、アラートが生成されます。

console

ユーザーが SET PROG または SETPROG コマンドを入力したコンソール。

data set

APF リストに追加されたデータ・セット。

volume

データ・セットが存在するボリューム、または、データ・セットが SMS によって管理されている場合は <SMS MANAGED>。

C2P1206I コンソール *console* から **SETPROG** を使用して、データ・セットが **APF** リストから削除されました: ボリューム *volume* の *data set* (**Data set removed from APF list using SETPROG from console console: data set on volume volume**)

説明: SET PROG または SETPROG コマンドを使用して、データ・セットが APF リストから動的に削除された場合、アラートが生成されます。

console

ユーザーが SET PROG または SETPROG コマンドを入力したコンソール。

data set

APF リストから削除されたデータ・セット。

volume

データ・セットが存在するボリューム、または、データ・セットが SMS によって管理されている場合は <SMS MANAGED>。

C2P1207I **APF** リストへのデータ・セットの追加が検出されました: *data set (Data set addition to APF list detected: data set)*

説明: 何らかの方法でデータ・セットが APF リストに追加された場合に、このアラートが生成されます。これには、SET PROG または SETPROG コマンドの使用と、その他の製品の使用が含まれます。このアラートを生成するには、拡張モニターをアクティブにする必要があります。このアラートは、2 つのシステム・スナップショットの比較に基づいているため、データ・セットを追加する際に使用されたユーザー ID またはジョブ名についての情報や追加を実行する際に使用されたプロセスについての情報は何も提供しません。

C2P1208I **APF** リストからのデータ・セットの削除が検出されました: *data set (Data set removal from APF list detected: data set)*

説明: 何らかの方法でデータ・セットが APF リストから削除された場合に、このアラートが生成されます。これには、SET PROG または SETPROG コマンドの使用と、その他の製品の使用が含まれます。このアラートを生成するには、拡張モニターをアクティブにする必要があります。このアラートは、2 つのシステム・スナップショットの比較に基づいているため、データ・セットを追加する際に使用されたユーザー ID またはジョブ名についての情報や追加を実行する際に使用されたプロセスについての情報は何も提供しません。

C2P1209I *user* が **PCI-PAN** データ・セット *data set* で *intent* アクセスを実行しました (*intent access by user on PCI-PAN data set data set*)

説明: このアラートは、PCI-PAN (クレジット・カード主要アカウント番号) データ・セットに対して READ 以上の成功した不定期アクセスが発生したことを示します。

intent アクセス・インテント:
READ、CONTROL、UPDATE、または ALTER。

user PCI-PAN データ・セットにアクセスしたユーザーのユーザー ID。

data set アクセスされた PCI-PAN データ・セット。

C2P1210I *user* が **PCI-PAN-clr** データ・セット *data set* で *intent* アクセスを実行しました (*intent access by user on PCI-PAN-clr data set data set*)

説明: このアラートは、平文の PCI-PAN (クレジット・カード主要アカウント番号) データ・セットに対して READ 以上の成功した不定期アクセスが発生したことを示します。

intent アクセス・インテント:
READ、CONTROL、UPDATE、または ALTER。

user 平文の PCI-PAN データ・セットにアクセスしたユーザーのユーザー ID。

data set アクセスされた平文の PCI-PAN データ・セット。

C2P1211I *user* が **PCI-AUTH** データ・セット *data set* で *intent* アクセスを実行しました (*intent access by user on PCI-AUTH data set data set*)

説明: このアラートは、PCI-AUTH データ・セットに対して READ 以上の成功した不定期アクセスが発生したことを示します。

intent アクセス・インテント
READ、CONTROL、UPDATE、または ALTER を指定します。

user PCI-AUTH データ・セットにアクセスしたユーザーのユーザー ID を指定します。

data set アクセスされた PCI-AUTH データ・セットを指定します。

C2P1212I *user* がサイト機密 **READ** データ・セット *data set* で *intent* アクセスを実行しました (*intent access by user on site sensitive READ data set data set*)

説明: このアラートは、ユーザー *user* が、データ・セット *data set* に READ 以上のアクセスを行った場合に発行されます。データ・セット *dsname* は、サイト固有の READ 機密データ・セットとして指定されています。当該ユーザーは、このアラートの生成を免除される ID のリストには含まれていません。

intent アクセス・インテント:
READ、CONTROL、UPDATE、または ALTER。

C2P1213I • C2P1302I

user サイト機密 READ データ・セットにアクセスしたユーザーのユーザー ID。

data set
アクセスされたサイト機密 READ データ・セット。

C2P1213I *user* がサイト機密 **UPDATE** データ・セット *data set* で *intent* アクセスを実行しました (*intent access by user on site sensitive UPDATE data set data set*)

説明: このアラートは、ユーザー *user* が、データ・セット *data set* に UPDATE 以上のアクセスを行った場合に発行されます。データ・セット *dsname* は、サイト固有の UPDATE 機密データ・セットとして指定されています。当該ユーザーは、このアラートの生成を免除される ID のリストには含まれていません。

intent アクセス・インテント: UPDATE または ALTER。

user サイト機密 UPDATE データ・セットにアクセスしたユーザーのユーザー ID。

data set
アクセスされたサイト機密 UPDATE データ・セット。

C2P1214I *user* がデータ・セット *data set* 内の **UPDATE** 機密メンバー *member* で *action* アクションを実行しました (*action action by user on UPDATE sensitive member member in data set data set*)

説明: UPDATE 機密メンバーでアクションが正常に実行されました。

action メンバーで実行されたアクション:
INITIALIZE、DELETE、ADD、REPLACE、または RENAME。

user UPDATE 機密メンバーに対してアクションを実行したユーザーのユーザー ID。

member
UPDATE 機密メンバー。

data set
メンバーが存在するデータ・セット。

C2P1215I *user* が **WARNING** モードを *profile* に設定しました (**WARNING mode set: profile by user**)

説明: DATASET プロファイルに警告モードが設定されました。これは、プロファイルが通常は付与しないす

べてのアクセス権限も許可されていることを意味します。

プロファイル
WARNING が設定されているプロファイル。

user
プロファイルを WARNING モードに設定したユーザーのユーザー ID。

C2P1216I *user* が **LEVEL** 値を *profile* に設定しました (**LEVEL value set: profile by user**)

説明: 新規の DATASET プロファイルにゼロ以外のレベル値が設定されたか、既存の DATASET プロファイルのレベルが変更されました。

プロファイル
レベルが設定されたプロファイル。

user
レベル値を設定したユーザーのユーザー ID。

C2P1301I **STARTED/profile** が **STC** *procname.jobname* に使用されます (**STARTED/profile used for STC** *procname.jobname*)

説明: 開始タスクは、STARTED クラスのキャッチオール・プロファイルに照らして検査されます。

プロファイル
開始タスクの検査に使用されるプロファイル。

procname
開始済みプロシーチャーの名前。

jobname
開始プロシーチャーを実行するジョブ名。

C2P1302I データ・セット *data set* の監査対象プログラム *program* が *user* によって実行されました (**Audited program program from data set data set has been executed by user**)

説明: 監査対象プログラムが実行を開始しました。

program
実行されたプログラム。

data set
プログラムの発信元のデータ・セット。

user
プログラムを実行したユーザーのユーザー ID。

C2P1303I *user が class profile で WARNING モード access を実行しました (WARNING mode access by user on class profile)*

説明: 一般リソース・クラスのプロファイルのアクセス権限が検査され、警告モードであるためにアクセスが認可されます。

access リソースで使用するアクセス・レベル。

user 一般プロファイルにアクセスしたユーザーのユーザー ID。

class プロファイルが常駐するクラス。

プロファイル
アクセスされたプロファイル。

C2P1304I 公開アクセス権限 >NONE が設定されました。class profile control が access に設定されました (**Public access >NONE set: class profile control set to access**)

説明: 示された control によって、示された class のプロファイル profile にアクセス権限が付与されました。

class
プロファイルの一般リソース・クラス。

プロファイル
公開アクセス権限が付与されたプロファイル。

control
UACC (すべてのユーザーへのアクセスを許可) または ID(*) アクセス (RACF に定義されたすべてのユーザーへのアクセスを許可)。

access
付与された公開アクセス権限レベル。

C2P1305I *user が WARNING モードを class profile に設定しました (WARNING mode set: class profile by user)*

説明: 一般リソース・プロファイルの警告モードが設定されました。これは、プロファイルが通常は付与しないすべてのアクセス権限も許可されていることを意味します。

class
プロファイルの一般リソース・クラス。

プロファイル
WARNING が設定されているプロファイル。

user
プロファイルを WARNING モードに設定したユーザーのユーザー ID。

C2P1306I *user が STC profile に対して任意のアクセス権限を許可しました (user has allowed any access for STC profile)*

説明: STARTED クラスのプロファイルに対して RDEFINE または RALTER コマンドを使用することにより、トラステッドまたは特権ありの属性が開始タスク (STC) に割り当てられました。

user RACF コマンドを発行したユーザーのユーザー ID。

class プロファイルが常駐するクラス。

プロファイル
STARTED プロファイル。

C2P1307I *user が LEVEL 値を class profile に設定しました (LEVEL value set: class profile by user)*

説明: 新規の一般リソース・プロファイルにゼロ以外のレベル値が設定されたか、既存の一般リソース・プロファイルのレベルが変更されました。

class
プロファイルの一般リソース・クラス。

プロファイル
LEVEL 値が設定されたプロファイル。

user
プロファイルを WARNING モードに設定したユーザーのユーザー ID。

C2P1401I *path で user による UNIX アクセス違反 (access) があります (UNIX access violation (access) by user on path)*

説明: UNIX ファイルまたはディレクトリーに対するアクセス違反が発生しています。

access 対象となった UNIX アクセス。

user ファイルまたはディレクトリーにアクセスしようとしたユーザーのユーザー ID。

path ファイルまたはディレクトリーのパス。

C2P1402I *user が path にグローバル書き込みを指定しました (Global write specified by user on path)*

説明: 書き込み権限が、UNIX ファイルの「other」許可グループで指定されています。

user UNIX ファイルまたはディレクトリーの許可にグローバル書き込みを追加したユーザーのユーザー ID。

C2P1403I • C2P1411I

path ファイルまたはディレクトリーのパス。

C2P1403I *user* が *path* にグローバル読み取りを指定しました (**Global read specified by user on path**)

説明: 読み取り権限が、UNIX ファイルまたはディレクトリーの「other」許可グループで指定されています。

user UNIX ファイルの許可にグローバル読み取りを追加したユーザーのユーザー ID。

path ファイルのパス。

C2P1404I *user* が UNIXファイルまたはディレクトリー *path* の **APF** またはプログラム制御ビットを変更しました (**APF or program control bit changed by user on UNIX file or directory path**)

説明: 拡張属性 (APF、プログラム制御、または BPX shareas) が UNIX ファイルまたはプログラムに対して設定されるか、または削除されます。

user ファイルまたはディレクトリーに対する APF またはプログラム制御ビットを設定したユーザーのユーザー ID。

path ファイルまたはディレクトリーのパス。

C2P1405I *user* が UNIXプログラムを実行しました
: *path* (**UNIX program executed by user**
: *path*)

説明: 正常な実行の監査 (ユーザーまたは監査員) が有効になっている UNIX プログラムが実行を開始しました。

user プログラムを実行したユーザーのユーザー ID。

path プログラムのパス。

C2P1406I スーパーユーザー特権が設定されている UNIX プログラムが *user* によって実行されました: *path* (**Superuser privileged UNIX program executed by user: path**)

説明: setuid が有効になっており、正常な実行の監査 (ユーザーまたは監査員) が有効になっている、uid 0 が所有する UNIX プログラムが実行を開始しました。

user プログラムを実行したユーザーのユーザー ID。

path プログラムのパス。

C2P1407I ユーザー *user* が、スーパーユーザー特権シェルを取得しました (**Superuser privileged shell obtained by user user**)

説明: ユーザーが、UNIX **su** コマンドを使用して、スーパーユーザー特権を持つシェルを取得しました。

user **su** を使用したユーザーのユーザー ID。

C2P1408I スーパーユーザー特権が UNIX プログラム *path* に設定されました (**Superuser privileges set on UNIX program path**)

説明: UNIX スーパーユーザーが所有するプログラムに、setuid ビットが設定されます。

path プログラムのパス。

C2P1409I *userid* が *filename* の拡張属性を変更 (**SAP->SAP**) しました (**Extended attribute changed (SAP->SAP) by userid for filename**)

説明: UNIX ファイル *filename* の拡張属性が変更されました。旧拡張属性と新規拡張属性は、括弧に入れて表示されます。**SAP** は拡張属性 (共有ライブラリー、APF 許可、およびプログラム制御) を表します。属性が設定されていない場合、ブランクで示されます。

コマンドは *userid* によって実行されました。

C2P1410I *issuer* が *user* に対して **UID(0)** を割り当てました (**issuer assigned UID(0) for user**)

説明: ALTUSER または ADDUSER OMVS(UID(0)) コマンドを使用して、UID(0) が割り当てられました。

issuer RACF コマンドを発行したユーザーのユーザー ID。

user コマンドが発行されたユーザー ID。

C2P1411I *issuer* が *user* の **BPX.SUPERUSER** に対して許可を出しました (**issuer issued permit on BPX.SUPERUSER for user**)

説明: FACILITY クラスのプロファイル BPX.SUPERUSER に対して許可が出されました。

issuer RACF コマンドを発行したユーザーのユーザー ID。

user コマンドが発行されたユーザー ID。

C2P1501I グローバル・セキュリティ対策が *user: command* によってアクティブ化されました (**Global security countermeasure activated by user: command**)

説明: システム・セキュリティを強化する RACF SETROPTS コマンドが実行されます。

user コマンドを実行したユーザーのユーザー ID。
command 実行されたコマンド。

C2P1502I グローバル・セキュリティ対策が *user: command* によって非アクティブ化されました (**Global security countermeasure deactivated by user: command**)

説明: システム・セキュリティを低下させる RACF SETROPTS コマンドが実行されます。

user コマンドを実行したユーザーのユーザー ID。
command 実行されたコマンド。

C2P1503I グローバル・セキュリティ対策が *user: command* によって変更されました (**Global security countermeasure changed by user: command**)

説明: システム・セキュリティを変更する RACF SETROPTS コマンドが実行されます。

user コマンドを実行したユーザーのユーザー ID。
command 実行されたコマンド。

C2P1504I RACF リソース・クラスがアクティブ化されました: *class* (**RACF Resource class activated: class**)

説明: RACF リソース・クラスがアクティブ化されたことを検出した場合に、このアラートが生成されます。このアラートは、2 つのシステム・スナップショットの比較に基づいているため、どのように変更が行われたかに関する情報は何も提供されません。

C2P1505I RACF リソース・クラスが非アクティブ化されました: *class* (**RACF Resource class deactivated: class**)

説明: RACF リソース・クラスが非アクティブ化されたことを検出した場合に、アラートが生成されます。このアラートは、2 つのシステム・スナップショットの比較に基づいているため、どのように変更が行われたかに関する情報は何も提供されません。

関する情報は何も提供されません。

C2P1506I *user* がクラス *class* の GAC テーブルを変更しました (**user modified GAC table for class class**)

説明: グローバル・アクセス検査テーブル項目が追加、削除、または変更されました。

user RACF コマンドを発行したユーザーのユーザー ID。
class グローバル・アクセス検査テーブル項目。

C2P1507I *user* がクラス *class* の動的 CDT を変更しました (**user modified the dynamic CDT for class class**)

説明: 動的クラス記述子テーブル項目が追加、削除、または変更されました。

user RACF コマンドを発行したユーザーのユーザー ID。
class 動的クラス記述子テーブル項目。

C2P1508I *console* で **Command Verifier** が非アクティブ化されました: *response* (**Command Verifier deactivated at console : response**)

説明: zSecure Command Verifier が SETPROG EXIT,DELETE,EXITNAME=IRREVX01,MODNAME=C4RMAIN コマンドによって非アクティブ化されました。

console コマンドが発行されたコンソール ID。
response SETPROG コマンド応答。

C2P1601I SMF データ損失が始まりました (**SMF data loss started**). **WTO msgid: msgid**

説明: WTO が SMF データ損失が始まったことを報告しています。

msgid このイベントが報告された WTO メッセージのメッセージ ID。

C2P1602I 障害後に SMF ロギングが再開されました。 (**SMF logging resumed after failure.**) *number* 個のレコードが [失われました | 除去されました]。 (**number records [lost | dropped]**)

説明: バッファが満杯になったため、またはフラグデイング機能応答のため、SMF データが失われました

C2P1603I • C2P1610I

が、システムはロギングを再開しました。

number は、SMF レコードのフラッディング機能によって失われたか除去されたメッセージの数です。

C2P1603I SVC 定義が変更されました:
SVCNO/ESRNO (SVC definition
changed: SVCNO/ESRNO)

説明: SVC テーブルまたは SVC ESR テーブル内の SVC の定義で変更が検出された場合に、アラートが生成されます。このアラートは、2 つのシステム・スナップショットの比較に基づいているため、どのように変更が行われたかに関する情報は何も提供されません。

C2P1604I IBM Health Checker が低重大度の問題を
検出しました: *msg* (IBM Health
Checker found low severity problem:
msg)

説明: IBM Health Checker が重大度の低い問題を検出しました。

msg WTO ID HZS0001I のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置: メッセージ HZS0001I への対応については、z/OS Internet Library で「IBM Health Checker for z/OS User's Guide」を参照してください。

C2P1605I IBM Health Checker が中重大度の問題を
検出しました: *msg* (IBM Health
Checker found medium severity
problem: *msg*)

説明: IBM Health Checker が重大度が中程度の問題を検出しました。

msg WTO ID HZS0002E のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置: メッセージ HZS0002E への対応については、z/OS Internet Library で「IBM Health Checker for z/OS User's Guide」を参照してください。

C2P1606I IBM Health Checker が高重大度の問題を
検出しました: *msg* (IBM Health
Checker found high severity problem:
msg)

説明: IBM Health Checker が重大度の高い問題を検出しました。

msg WTO ID HZS0003E のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置: メッセージ HZS0003E への対応につ

いては、z/OS Internet Library で「IBM Health Checker for z/OS User's Guide」を参照してください。

C2P1607I SMF レコードのフラッディングが検出さ
れました (SMF record flood
detected)。WTO *msgid: msg*

説明: SMF レコードのフラッディングが検出されました。

msg WTO ID IFA780A のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置: メッセージ IFA780A に対応する情報については、z/OS インターネット・ライブラリーで「z/OS V1R12.0 MVS システム・メッセージ 第 8 巻 (IEF - IGD)」を参照してください。

C2P1608I SMF レコードのフラッディングによりレ
コードのドロップが開始されます (SMF
record flood starts dropping
records)。WTO *msgid: msg*

説明: SMF レコードのフラッディングにより、メッセージ・テキストで指定されたレコード・タイプのドロップが開始されました。

msg WTO ID IFA782A のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置: メッセージ IFA782A に対応する情報については、z/OS インターネット・ライブラリーで「z/OS V1R12.0 MVS システム・メッセージ 第 8 巻 (IEF - IGD)」を参照してください。

C2P1609I フィルター規則によってブロックされたア
タックは以後は記録されません。
TCP/IP スタック *stack_name* 内の監査証
跡は不完全です。(Attacks blocked by
filter rules are no longer logged
Audit trail incomplete in TCP/IP stack
stack_name)

説明: パケット・フィルタリングのロギングは、使用可能ではなくなります。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロシージャの名前。

C2P1610I デフォルトのフィルター規則によってブロ
ックされたアタックは、以後は記録されま
せん。TCP/IP スタック *stack_name* 内の
監査証跡は不完全です。(Attacks blocked
by default filter rules are no longer
logged - audit trail incomplete in
TCP/IP stack *stack_name*)

説明: 暗黙のデフォルト規則によって拒否されるパケットに対するログギングは、使用可能ではなくなります。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロシージャの名前。

C2P1611I SMF 119 *subtype* が以後は書き込まれません。
TCP/IP スタック *stack_name* 内の監査証跡は不完全です (**SMF 119 subtype is no longer written**
Audit trail incomplete in TCP/IP stack *stack_name*)

説明: 次の場合、SMF 119 レコードが書き込まれなくなります。

- ユーザーが FTP クライアント・コマンドを呼び出す (FTPCLIENT)
- LINK 使用率に関連した統計が使用可能になる (IFSTAT)
- トンネルが追加、削除、アクティブ化、または非アクティブ化される (IPSECURITY)
- 予約済み PORT の使用率に関連した統計が使用可能になる (PORTSTAT)
- TCP 接続が確立される (TCPINIT)
- TCP/IP スタックがアクティブ化されるか終了する (TCPIPSTACK)
- TCP/IP 統計が使用可能になる (TCPIPSTAT)
- TCP 接続が終了する (TCPTERM)
- TSO Telnet クライアント・コードが接続を開始または終了する (TN3270CLIENT)
- UDP ソケットが閉じる (UDPTERM)

subtype

SMF 119 サブタイプ
 (ftpclient, ifstat, ipsecurity, portstat, tcpinit, tcpipstack, tcpipstat, tcpterm, tn3270client, または udpterm)。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロシージャの名前。

C2P1612I TCP/IP スタック *stack_name* 内で IP フィルタリング・サポートおよび IPsec トンネル・サポートが非アクティブ化されました (**IP IP filtering support and IPsec tunnel support deactivated in TCP/IP stack** *stack_name*)

説明: IPv4 または IPv6 の IP フィルタリング・サポ

ートおよび IPsec トンネル・サポートは、もうアクティブではありません。

IP IP のバージョン (IPv4 か IPv6 のいずれか)。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロシージャの名前。

C2P1613I TCP/IP スタック *stack_name* で、1024 より下の *protocol* ポートが予約済みではなくなりました (**protocol ports below 1024 are not reserved anymore in TCP/IP stack** *stack_name*)

説明: 1 から 1023 までの TCP または UDP ポートの値は、PORT および PORTRANGE ステートメントでユーザー用に予約されなくなりました。

protocol

プロトコルのタイプ (TCP か UDP のいずれか)。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロシージャの名前。

C2P1614I TCP/IP スタック *stack_name* で、インターフェース *interface* のセキュリティ・クラスが変更されました (**Interface interface security class has changed in TCP/IP stack** *stack_name*)。

説明: インターフェース *interface* の IP フィルタリングで使用されるセキュリティ・クラスが変更されました。

interface

IPv4 または IPv6 インターフェースの名前。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロシージャの名前。

C2P1615I TCP/IP スタック *stack_name* で、IP フィルター規則が変更されました (**IP filter rules changed in TCP/IP stack** *stack_name*)

説明: IP フィルター規則が変更、追加、または削除されました。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロシージャの名前。

C2P1701I *user1* が *user2* を重要グループ *group* に
接続しました (***user1 issued connect to
important group group for user2***)

説明: 接続が特別にモニターされるグループに、ユーザーが接続されました。

user1 接続を実行したユーザーのユーザー ID。

group ユーザーが接続された先のグループ。

user2 接続されたユーザーのユーザー ID。

C2P1801I **zSecure Access Monitor** が非アクティブ
(**zSecure Access Monitor not active**)

説明: zSecure Access Monitor が非アクティブで、Access Monitor データが収集されません。

C2P1802I **zSecure** サーバー接続の逸失

説明: パートナー zSecure Server に対する最後の TCP 接続が除去されました。新しい割り振り要求を受信するまで、接続は除去されたままとなります。

C2P1804I アプリケーション *applicationname* でジョブ
jobname が開始されていません (***Job
jobname has not started in application
applicationname***)

説明: IWS アプリケーションの一部であるジョブの期限が過ぎました。

jobname
 ジョブの名前。

applicationname
 IWS アプリケーションの名前。

C2P1805I アプリケーション *applicationname* のジョブ
jobname の開始が遅れています (***Job
jobname is late starting for application
applicationname***)

説明: IWS アプリケーションの一部であるジョブの開始が遅れています。

jobname
 ジョブの名前。

applicationname
 IWS アプリケーションの名前。

C2P1806I アプリケーション *applicationname* でジョブ
jobname がエラーで終了しました (***Job
jobname ended in error in application
applicationname***)

説明: 予期しないエラーが発生したため、IWS アプリケーションの一部であるジョブの実行が停止しました。

jobname
 ジョブの名前。

applicationname
 IWS アプリケーションの名前。

メッセージ 2000 から 2999 (事前定義 ACF2 アラート)

C2P2102I 緊急ユーザー *user* がログオンしました
(Emergency user *user* logged on)

説明: 緊急用のログオン ID が TSO ログオンまたはバッチ・ジョブのサブミットに使用された場合、アラートが送信されます。

user システムにログオンしたユーザーのログオン ID。

C2P2104I パスワード違反により、高い権限を持つユーザー *user* が取り消されます (Highly authorized user *user* revoked for password violations)

説明: 無効なパスワード試行回数の制限を超えたため、システム・レベル権限 (SECURITY、NON-CNCL、または READALL) を持つユーザーが取り消されます。

user パスワード違反が制限を超えたために取り消される、システム・レベル権限を持つユーザーのログオン ID。

C2P2105I *user2* によって、*user1* にシステム権限 *authority* が付与されました (System authority *authority* granted to *user1* by *user2*)

説明: ユーザーは、システム・レベル権限 (SECURITY、NON-CNCL、または READALL) を取得します。

authority ユーザー *user1* に付与されるシステム・レベル権限 (SPECIAL、NON-CNCL、READALL)。

user1 システム・レベル権限を付与されるユーザーのログオン ID。

user2 *user1* にシステム・レベル権限を付与したユーザーのログオン ID。

C2P2106I *user2* によって、*user1* からシステム権限 *authority* が削除されました (System authority *authority* removed from *user1* by *user2*)

説明: システム・レベル権限 (SECURITY、NON-CNCL、または READALL) がユーザーから削除されます。

authority

ユーザー *user1* から削除されるシステム・レベル権限 (SPECIAL、NON-CNCL、READALL)。

user1 削除されるシステム・レベル権限を持つユーザーのログオン ID。

user2 *user1* からシステム・レベル権限を削除したユーザーのログオン ID。

C2P2111I 無効なパスワードの試行回数が *user* の制限を超えました (Invalid password attempts exceed limit for *user*)

説明: 無効なパスワードを指定して行われた特定ログオン ID のログオン試行回数が、時間枠に設定された制限を超えました。

user システムにログオンしようとして使用されたログオン ID。

C2P2112I *user* のパスワード・ヒストリーがフラッシュされました (Password history flushed for *user*)

説明: 特定のログオン ID のパスワードが特定の時間枠内で、パスワード・ヒストリーの GSO 設定よりも頻繁に変更されています。この方法で、ユーザーはパスワード・ヒストリー全体をフラッシュし、それによって前のパスワードの再使用ができるようになりました。

user パスワード・ヒストリーをフラッシュしたユーザーのログオン ID。

C2P2113I *user* のパスワード変更に不審な点があります (Suspect password changes for *user*)

説明: 特定の時間枠内で、特定ログオン ID のパスワード変更回数が多すぎます (ただし、パスワード・ヒストリーを完全にフラッシュするほど頻繁ではありません)。

user パスワードを頻繁に変更したユーザーのログオン ID。

C2P2115I ユーザー *user* について *nn* 個の違反が記録されました (*nn* violations recorded for user *user*)

説明: ユーザーが短時間に過剰な数の違反を作成しました。

nn 違反の数。

user 違反を作成したユーザーのログオン ID。

C2P2116I 非 **SECURITY** ユーザー *user* が
SECURITY でデータ・セット *data set* に
 アクセス (*access*) しました
(non-SECURITY user *user* accessed
(*access*) with SECURITY data set *data*
set)

説明: SECURITY のないユーザーが SECURITY 権限を使用してデータ・セットにアクセスしています。これは、そのユーザーがすべてのデータ・セットにアクセス可能であることを意味します。

user データ・セット *data set* にアクセスしたユーザーのログオン ID。

access データ・セットに対して実行されたアクセス・レベル。

data set
 アクセスされたデータ・セット。

C2P2117I 非 **NON-CNCL** ユーザー *user* が
NON-CNCL でデータ・セット *data set*
 にアクセス (*access*) しました
(non-NON-CNCL user *user* accessed
(*access*) with NON-CNCL data set *data*
set)

説明: NON-CNCL のないユーザーが NON-CNCL 権限を使用してデータ・セットにアクセスしています。これは、そのユーザーがすべてのデータ・セットにアクセス可能であることを意味します。

user データ・セット *data set* にアクセスしたユーザーのログオン ID。

access データ・セットに対して実行されたアクセス・レベル。

data set
 アクセスされたデータ・セット。

C2P2118I 非 **READALL** ユーザー *user* が
READALL でデータ・セット *data set* に
 アクセス (*access*) しました
(non-READALL user *user* accessed
(*access*) with READALL data set *data*
set)

説明: READALL のないユーザーが READALL 権限を使用してデータ・セットにアクセスしています。これは、そのユーザーがすべてのデータ・セットを読み取り可能であることを意味します。

user データ・セット *data set* にアクセスしたユーザーのログオン ID。

access データ・セットに対して実行されたアクセス・レベル。

data set
 アクセスされたデータ・セット。

C2P2119I *user1* が *user2* に対して無期限パスワード
 を有効にしました (***user1* enabled**
non-expiring password for *user2*)

説明: ログオンID に対して無期限パスワードを有効化する LIDZMAX 属性が設定されました。無期限パスワードは、ログオン ID に MAXDAYS(0) が設定された場合に有効になります。

user1 ACF2 コマンドを発行したユーザーのログオン ID。

user2 LIDZMAX 属性が設定されたログオンID。

C2P2120I ログオンID *logonid* について *commands*
 コマンドが記録されました (***commands***
commands* recorded for *logonid
logonid)

説明: 間隔内で特定のユーザー ID に関して、構成された数よりも多くの ACF2 コマンドが記録されたため、アラートが送信されました。間隔は、zSecure Alert の REPORT オプション **AverageInterval** で指定されます。

commands
 発行された ACF2 コマンドの数。

user ACF2 コマンドを発行したユーザーのログオン ID。

C2P2201I *user* がデータ・セット *data set* で
WARNING モード *access* を実行しまし
 た (**WARNING mode *access* by *user* on**
data set* *data set)

説明: データ・セットへのアクセスが行われ、警告モードのためアクセスが認可されます。

access データ・セットで使用するアクセス・レベル。

user データ・セット *data set* にアクセスしたユーザーのログオン ID。

data set
 アクセスされたデータ・セット。

C2P2204I *user* が **APF** データ・セット *data set* を更新しました (**Update by user on APF data set data set**)

説明: APF 許可データ・セットが更新されます。

data set

更新された APF データ・セット。

user APF データ・セットを更新したユーザーのログオン ID。

C2P2205I コンソール *console* から **SETPROG** を使用して **APF** リストにデータ・セットが追加されました: ボリューム *volume* の *data set* (**Data set added to APF list using SETPROG from console console: data set on volume volume**)

説明: SET PROG または SETPROG コマンドを使用して、動的にデータ・セットが APF リストに追加された場合、アラートが生成されます。

console

ユーザーが SET PROG または SETPROG コマンドを入力したコンソール。

data set

APF リストに追加されたデータ・セット。

volume

データ・セットが存在するボリューム、または、データ・セットが SMS によって管理されている場合は <SMS MANAGED>。

C2P2206I コンソール *console* から **SETPROG** を使用して、データ・セットが **APF** リストから削除されました: ボリューム *volume* の *data set* (**Data set removed from APF list using SETPROG from console console: data set on volume volume**)

説明: SET PROG または SETPROG コマンドを使用して、データ・セットが APF リストから動的に削除された場合、アラートが生成されます。

console

ユーザーが SET PROG または SETPROG コマンドを入力したコンソール。

data set

APF リストから削除されたデータ・セット。

volume

データ・セットが存在するボリューム、または、データ・セットが SMS によって管理されている場合は <SMS MANAGED>。

C2P2207I **APF** リストへのデータ・セットの追加が検出されました: *data set* (**Data set addition to APF list detected: data set**)

説明: 何らかの方法でデータ・セットが APF リストに追加された場合に、アラートが生成されます。これには、SET PROG または SETPROG コマンドの使用と、その他の製品の使用が含まれます。このアラートを生成するには、拡張モニターをアクティブにする必要があります。このアラートは、2 つのシステム・スナップショットの比較に基づいているため、データ・セットを追加する際に使用されたユーザー ID またはジョブ名についての情報や追加を実行する際に使用されたプロセスについての使用可能な情報はありません。

C2P2208I **APF** リストからのデータ・セットの削除が検出されました: *data set* (**Data set removal from APF list detected: data set**)

説明: 何らかの方法でデータ・セットが APF リストから削除された場合にアラートが生成されます。これには、SET PROG または SETPROG コマンドの使用と、その他の製品の使用が含まれます。このアラートを生成するには、拡張モニターをアクティブにする必要があります。このアラートは、2 つのシステム・スナップショットの比較に基づいているため、データ・セットを削除する際に使用されたユーザー ID またはジョブ名についての情報や追加を実行する際に使用されたプロセスについての情報は何も提供されません。

C2P2209I *user* が **PCI-PAN** データ・セット *data set* で *intent* アクセスを実行しました (**intent access by user on PCI-PAN data set data set**)

説明: このアラートは、PCI-PAN (クレジット・カード主要アカウント番号) データ・セットに対して INPUT 以上の成功した不定期アクセスが発生したことを示します。

intent アクセス・インテント
INPUT、READBACK、OUTPUT、UPDATE、INOUT、OUTIN、または OUTINX を指定します。

user PCI-PAN データ・セットにアクセスしたユーザーのログオン ID を指定します。

data set アクセスされた PCI-PAN データ・セットを指定します。

C2P2210I *user* が **PCI-PAN-clr** データ・セット *data set* で *intent* アクセスを実行しました (*intent access by user on PCI-PAN-clr data set data set*)

説明: このアラートは、平文の PCI-PAN (クレジットカード・カード主要アカウント番号) データ・セットに対して INPUT 以上の成功した不定期アクセスが発生したことを示します。

intent アクセス・インテント
INPUT、READBACK、OUTPUT、UPDATE、INOUT、OUTIN、または OUTINX を指定します。

user 平文の PCI-PAN データ・セットにアクセスしたユーザーのログオン ID を指定します。

data set アクセスされた平文の PCI-PAN データ・セットを指定します。

C2P2211I *user* が **PCI-AUTH** データ・セット *data set* で *intent* アクセスを実行しました (*intent access by user on PCI-AUTH data set data set*)

説明: このアラートは、PCI-AUTH データ・セットに対して INPUT 以上の成功した不定期アクセスが発生したことを示します。

intent アクセス・インテント
INPUT、READBACK、OUTPUT、UPDATE、INOUT、OUTIN、または OUTINX を指定します。

user PCI-AUTH データ・セットにアクセスしたユーザーのログオン ID を指定します。

data set アクセスされた PCI-AUTH データ・セットを指定します。

C2P2212I *user* がサイト機密 **READ** データ・セット *data set* で *intent* アクセスを実行しました (*intent access by user on site sensitive READ data set data set*)

説明: このアラートは、ユーザー *user* が、データ・セット *data set* に READ 以上のアクセスを行った場合に発行されます。データ・セット *dsname* は、サイト固有の READ 機密データ・セットとして指定されています。当該ユーザーは、このアラートの生成を免除される ID のリストには含まれていません。

intent アクセス・インテント:

INPUT、READBACK、OUTPUT、UPDATE、INOUT、OUTIN、または OUTINX。

user サイト機密 READ データ・セットにアクセスしたユーザーのログオン ID。

data set アクセスされたサイト機密 READ データ・セット。

C2P2213I *user* がサイト機密 **UPDATE** データ・セット *data set* で *intent* アクセスを実行しました (*intent access by user on site sensitive UPDATE data set data set*)

説明: このアラートは、ユーザー *user* が、データ・セット *data set* に UPDATE 以上のアクセスを行った場合に発行されます。データ・セット *dsname* は、サイト固有の UPDATE 機密データ・セットとして指定されています。当該ユーザーは、このアラートの生成を免除される ID のリストには含まれていません。

intent アクセス・インテント:
OUTPUT、UPDATE、INOUT、OUTIN、または OUTINX。

user サイト機密 UPDATE データ・セットにアクセスしたユーザーのログオン ID。

data set アクセスされたサイト機密 UPDATE データ・セット。

C2P2214I *loginid* がデータ・セット *data set* 内の **UPDATE** 機密メンバー *member* で *action* アクションを実行しました (*action action by loginid on UPDATE sensitive member member in data set data set*)

説明: UPDATE 機密メンバーでアクションが正常に実行されました。

action メンバーで実行されたアクション:
INITIALIZE、DELETE、ADD、REPLACE、または RENAME。

loginid UPDATE 機密メンバーに対してアクションを実行したユーザーのログオン ID。

member UPDATE 機密メンバー。

data set メンバーが存在するデータ・セット。

C2P2301I **STC** デフォルト **LID** *stcid* が **STC**
procname に使用されます (**STC default**
LID *stcid* **used for STC** *procname*)

説明: 開始タスクでは、GSO OPTS 設定 DFTSTC で指定されているデフォルトの STC ログオン ID が使用されます。

stcid デフォルトの STC ログオン ID。

procname
開始済みプロシージャの名前。

C2P2407I ユーザー *user* が、スーパーユーザー特権
シェルの取得しました (**Superuser**
privileged shell obtained by user *user*)

説明: ユーザーが、UNIX **su** コマンドを使用して、スーパーユーザー特権を持つシェルの取得しました。

user **su** を使用したユーザーのログオン ID。

C2P2409I *userid* が *filename* の拡張属性を変更
(**SAP->SAP**) しました (**Extended**
attribute changed (SAP->SAP) by userid
for filename)

説明: UNIX ファイル *filename* の拡張属性が変更されました。旧拡張属性と新規拡張属性は、括弧に入れて表示されます。**SAP** は拡張属性 (共有ライブラリー、APF 許可、およびプログラム制御) を表します。属性が設定されていない場合、ブランクで示されます。

コマンドは *userid* によって実行されました。

C2P2501I *user* がグローバル・セキュリティ対策
を追加しました。規則キー: *rule key*、フ
ィールド/値: *field/value*。 (**Global security**
countermeasure added by user Rule
key : rule key Field/value: field/value)

説明: ACF2 GSO 規則が追加されます。

user コマンドを実行したユーザーのログオン ID。

rule key
追加された GSO 規則キー。

field GSO フィールドの名前。

value *field* に設定される値。

C2P2502I *user* がグローバル・セキュリティ対策
を削除しました。規則キー: *rule key*、フ
ィールド/値: *field/value*。 (**Global security**
countermeasure deleted by user Rule
key : rule key Field/value: field/value)

説明: ACF2 GSO 規則が削除されます。

user コマンドを実行したユーザーのログオン ID。

rule key
削除された GSO 規則キー。

field GSO フィールドの名前

value *field* の値

C2P2503I *user* がグローバル・セキュリティ対策
を変更しました。規則キー: *rule key*、フ
ィールド/値: *field/old value/new value*。
(**Global security countermeasure**
changed by user Rule key : rule key
Field/value: field/old value/new value)

説明: ACF2 GSO 規則が変更されます。

user コマンドを実行したユーザーのログオン ID。

rule key
変更された GSO 規則キー。

field GSO フィールドの名前。

old value
field の元の値。

new value
field に設定される値。

C2P2601I **SMF** データ損失が始まりました (**SMF**
data loss started)。 **WTO msgid: msgid**

説明: WTO が SMF データ損失が始まったことを報告しています。

msgid このイベントが報告された WTO メッセージ
のメッセージ ID。

C2P2602I 障害後に **SMF** ロギングが再開されまし
た。 *number* 個のレコードが失われまし
た。 (**SMF logging resumed after**
failure. number records lost.)

説明: バッファが満杯になったため SMF データが失
われましたが、システムはロギングを再開しました。

number
失われたメッセージの数。

C2P2603I **SVC** 定義が変更されました:
SVCNO/ESRNO (SVC definition
changed: SVCNO/ESRNO)

説明: SVC テーブルまたは SVC ESR テーブル内の
SVC の定義で変更が検出された場合に、アラートが生
成されます。このアラートは、2 つのシステム・スナッ

C2P2604I • C2P2611I

プシュットの比較に基づいているため、どのように変更が行われたかに関する情報は何も提供されません。

C2P2604I **IBM Health Checker** が低重大度の問題を検出しました: *msg* (**IBM Health Checker found low severity problem: msg**)

説明: IBM Health Checker が重大度の低い問題を検出しました。

msg WTO ID HZS0001I のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置: メッセージ HZS0001I への対応については、z/OS Internet Library で「*IBM Health Checker for z/OS User's Guide*」を参照してください。

C2P2605I **IBM Health Checker** が中重大度の問題を検出しました: *msg* (**IBM Health Checker found medium severity problem: msg**)

説明: IBM Health Checker が重大度が中程度の問題を検出しました。

msg WTO ID HZS0002E のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置: メッセージ HZS0002E への対応については、z/OS Internet Library で「*IBM Health Checker for z/OS User's Guide*」を参照してください。

C2P2606I **IBM Health Checker** が高重大度の問題を検出しました: *msg* (**IBM Health Checker found high severity problem: msg**)

説明: IBM Health Checker が重大度の高い問題を検出しました。

msg WTO ID HZS0003E のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置: メッセージ HZS0003E への対応については、z/OS Internet Library で「*IBM Health Checker for z/OS User's Guide*」を参照してください。

C2P2607I **SMF** レコードのフラッディングが検出されました (**SMF record flood detected**)。WTO *msgid: msg*

説明: SMF レコードのフラッディングが検出されました。

msg WTO ID IFA780A のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置: メッセージ IFA780A に対応する情報

については、z/OS インターネット・ライブラリーで「z/OS V1R12.0 MVS システム・メッセージ 第 8 巻 (IEF - IGD)」を参照してください。

C2P2608I **SMF** レコードのフラッディングによりレコードのドロップが開始されます (**SMF record flood starts dropping records**)。WTO *msgid: msg*

説明: SMF レコードのフラッディングにより、メッセージ・テキストで指定されたレコード・タイプのドロップが開始されました。

msg WTO ID IFA782A のメッセージ・テキスト。

ユーザーの処置: メッセージ IFA782A に対応する情報については、z/OS インターネット・ライブラリーで「z/OS V1R12.0 MVS システム・メッセージ 第 8 巻 (IEF - IGD)」を参照してください。

C2P2609I フィルター規則によってブロックされたアタックは以後は記録されません。
TCP/IP スタック *stack_name* 内の監査証跡は不完全です。(**Attacks blocked by filter rules are no longer logged**
Audit trail incomplete in TCP/IP stack
stack_name)

説明: パケット・フィルタリングのロギングは、使用可能ではなくなります。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロシージャの名前。

C2P2610I デフォルトのフィルター規則によってブロックされたアタックは、以後は記録されません。**TCP/IP** スタック *stack_name* 内の監査証跡は不完全です。(**Attacks blocked by default filter rules are no longer logged - audit trail incomplete in TCP/IP stack**
stack_name)

説明: 暗黙のデフォルト規則によって拒否されるパケットに対するロギングは、使用可能ではなくなります。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・プロシージャの名前。

C2P2611I **SMF 119 subtype** が以後は書き込まれません。
TCP/IP スタック *stack_name* 内の監査証跡は不完全です (**SMF 119 subtype is no longer written**)

Audit trail incomplete in TCP/IP stack *stack_name*)

説明: 次の場合、SMF 119 レコードが書き込まれなくなります。

- ユーザーが FTP クライアント・コマンドを呼び出す (FTPCLIENT)
- LINK 使用率に関連した統計が使用可能になる (IFSTAT)
- トンネルが追加、削除、アクティブ化、または非アクティブ化される (IPSECURITY)
- 予約済み PORT の使用率に関連した統計が使用可能になる (PORTSTAT)
- TCP 接続が確立される (TCPINIT)
- TCP/IP スタックがアクティブ化されるか終了する (TCPIPSTACK)
- TCP/IP 統計が使用可能になる (TCPIPSTAT)
- TCP 接続が終了する (TCPTERM)
- TSO Telnet クライアント・コードが接続を開始または終了する (TN3270CLIENT)
- UDP ソケットが閉じる (UDPTERM)

subtype

SMF 119 サブタイプ
(ftpclient、ifstat、ipsecurity、portstat、tcpinit、
tcPIPstack、tcPIPstat、tcpterm、tn3270client、
または udpterm)。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・
プロシージャの名前。

C2P2612I TCP/IP スタック *stack_name* 内で IP IP
フィルタリング・サポートおよび IPsec
トンネル・サポートが非アクティブ化され
ました (**IP IP filtering support and
IPsec tunnel support deactivated in
TCP/IP stack *stack_name***)

説明: IPv4 または IPv6 の IP フィルタリング・サポ
ートおよび IPsec トンネル・サポートは、もうアクテ
ィブではありません。

IP IP のバージョン (IPv4 か IPv6 のいずれか)。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・
プロシージャの名前。

C2P2613I TCP/IP スタック *stack_name* で、1024 よ
り下の *protocol* ポートが予約済みではな
くなりました (**protocol ports below 1024
are not reserved anymore in TCP/IP
stack *stack_name***)

説明: 1 から 1023 までの TCP または UDP ポートの
値は、PORT および PORTRANGE ステートメントで
ユーザー用に予約されなくなりました。

protocol

プロトコルのタイプ (TCP か UDP のいずれか)。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・
プロシージャの名前。

C2P2614I TCP/IP スタック *stack_name* で、インタ
ーフェース *interface* のセキュリティ・
クラスが変更されました (**Interface
interface security class has changed in
TCP/IP stack *stack_name***)

説明: インターフェース *interface* の IP フィルタリン
グで使用されるセキュリティ・クラスが変更されまし
た。

interface

IPv4 または IPv6 インターフェースの名前。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・
プロシージャの名前。

C2P2615I TCP/IP スタック *stack_name* で、IP フィ
ルター規則が変更されました (**IP filter
rules changed in TCP/IP stack
*stack_name***)

説明: IP フィルター規則が変更、追加、または削除さ
れました。

stack_name

TCP/IP スタックを実行している開始済みタスク・
プロシージャの名前。

C2P2802I zSecure サーバー接続の逸失

説明: パートナー zSecure Server に対する最後の
TCP 接続が除去されました。新しい割り振り要求を受
信するまで、接続は除去されたままとなります。

C2P2804I アプリケーション *applicationname* でジョブ *jobname* が開始されていません (**Job *jobname* has not started in application *applicationname***)

説明: IWS アプリケーションの一部であるジョブの期限が過ぎました。

jobname
ジョブの名前。

applicationname
IWS アプリケーションの名前。

C2P2805I アプリケーション *applicationname* のジョブ *jobname* の開始が遅れています (**Job *jobname* is late starting for application *applicationname***)

説明: IWS アプリケーションの一部であるジョブの開始が遅れています。

jobname
ジョブの名前。

applicationname
IWS アプリケーションの名前。

C2P2806I アプリケーション *applicationname* でジョブ *jobname* がエラーで終了しました (**Job *jobname* ended in error in application *applicationname***)

説明: 予期しないエラーが発生したため、IWS アプリケーションの一部であるジョブの実行が停止しました。

jobname
ジョブの名前。

applicationname
IWS アプリケーションの名前。

メッセージ 4000 から 6999 (インストール定義アラート)

このメッセージ範囲は、インストール定義アラート用に予約されています。

4000 から 4999 の範囲は RACF アラート用です。5000 から 5999 の範囲は ACF2 アラート用です。6000 から 6999 の範囲は Top Secret アラート用です。ただし、現在これらは提供またはサポートされていません。サイトのアラート構成の保守担当者に相談してください。

メッセージ 8000 から 8999

C2P8000I 期間 *datetime1* - *datetime2* のアクセス・データ (**Access data for period *datetime1* - *datetime2***)

説明: このメッセージは、メッセージ C2P8001I で報告されるイベントが記録された期間を示します。

数を示します。ここには、リソース・マッピング規則の結果や、構成可能なデータ (ジョブ名や Port Of Entry など) の抑止が反映されています。

C2P8001I *Type count*

説明: このメッセージは、イベントの総数と、サポートされるイベント・タイプの数を示します。*count* は、5文字を使用して省略形式で表示され、該当する SI 乗算係数 (k、M、G、T、P、または E) が間に挿入されます。例えば、数が 10485760 の場合は 10M49 と出力されます。

C2P8002I 出力レコード *count* (**Output records *count***)

説明: このメッセージは、この期間中に収集されたイベントのアクセス・ファイルに書き込まれたレコードの総

第 10 章 C2R メッセージ

この章では、IBM Security zSecure のいくつかのプログラム・コンポーネントによって発行される C2R メッセージについて説明します。

- NLS テーブルの処理プログラム C2RIMENU。

C2RIMENU は、製品およびメニュー・オプションの現行の構成を検査するために使用できるユーティリティー・プログラムです。C2RIMENU の割り振りおよび使用の詳細については、「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド」の『どのオプションが表示されるかを構成するリソース』を参照してください。

C2RIMENU プログラムによって発行される C2R メッセージには、C2R nnn I という形式のメッセージ接頭部が付きます。ここで、 nnn はメッセージ番号です。C2RIMENU メッセージは、ISPF アプリケーションを始動する前にファイル C2RIMENU をデータ・セットに割り振ることによって読み取り可能になります。

- IBM Security zSecure に付属の XSLT スタイル・シート。

XSLT スタイル・シートによって発行される C2R メッセージには、C2R7 nnn という形式のメッセージ接頭部が付きます。ここで、7 nnn はメッセージ番号です。

- インストール済み環境カスタマイズ REXX exec C2REUPDR。

インストール済み環境カスタマイズ REXX exec C2REUPDR によって発行される C2R メッセージには、C2R8 nnn という形式のメッセージ接頭部が付きます。ここで、8 nnn はメッセージ番号です。

メッセージ接頭部の後に、重大度コードが示されます。プログラムは、検出された最高位の重大度コードを完了コードとして返します。

接頭部 C2RW の付いたメッセージは、zSecure Visual によって発行されます。これらのメッセージについて詳しくは、625 ページの『第 12 章 C2RW メッセージ』を参照してください。

接頭部 C2RU の付いたメッセージは、zSecure Visual クライアントによって発行されます。これらのメッセージについて詳しくは、617 ページの『第 11 章 C2RU メッセージ』を参照してください。

C2R000I **C2RIMENU** が入力された対象:
CKREREL r *type/language* 画面 *screen* 分析対象 **OS** os ユーザー **ID** $userid$ 日時 *date time* システム *name* (**C2RIMENU** entered for **CKREREL** r *type/language* *screen* *screen* analyzing **OS** os **userid** $userid$ at *date time* on system *name*)

説明: このメッセージは、C2RIMENU の開始時に指定

されたオプションについて通知します。

- 使用される ISPF の内部リリース互換性 (CKREREL r)
- 選択された各国語サポート設定のタイプ (U=User、S=Site、D=Default) および言語 (C/E/D/G/P/...)
- NLS テーブルがビルドされる対象の論理 ISPF 画面 *screen*

- 実行環境のオペレーティング・システム (1 - MVS、または 2 - VM/CMS)
- NLS テーブルがビルドされる対象のユーザー ID
- NLS テーブルがビルドされた日時
- 実行中のシステム

継続行には、さまざまな ISPF 変数 (インストール済み製品と PARMLIB メンバー IFAPRDxx によって異なります) および、プログラムによって設定されている値が表示されます。この情報は、サポート担当者が状況を理解するために役立ちます。

重大度: 0

C2R001I **C2RIMENU RACROUTE の異常終了
type (C2RIMENU RACROUTE abend
type)**

説明: RACROUTE で異常終了が発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 20

C2R002I リソース *class entity* **SAF RC=value
RACF RC=value RSN=value (Resource
class entity SAF RC=value RACF
RC=value RSN=value)**

説明: このメッセージは、言及されているリソースに関する RACROUTE REQUEST=AUTH 呼び出しの結果を通知します。SAF 戻りコード、RACF 戻りコード、および理由コードが表示されます (値はすべて 16 進数です)。

重大度: 0

C2R003I *type* で格納された **NLS テーブル *table*
が見つかりました (Found NLS table
table stored type)**

説明: このメッセージは、見つかった NLS テーブルの名前、タイプ、および言語を通知します。

重大度: 0

C2R004I *option license* のライセンスが一致しません **(License mismatch for option license)**

説明: *option* に必要な製品がありません。このオプションは許可されていません。

重大度: 0

C2R005I 許可されていない *option1* を *option2* に
伝搬しました **(Propagated disallowed
from option1 to option2)**

説明: このメッセージは、メニュー・オプション *option1* が許可されていないにもかかわらず、そのサブオプション *option2* に伝搬されたことを通知します。

重大度: 0

C2R006I 欠落している *option1* を *option2* に伝搬
しました **(Propagated missing from
option1 to option2)**

説明: このメッセージは、メニュー・オプション *option1* が欠落しているにもかかわらず、そのサブオプション *option2* に伝搬されたことを通知します。

重大度: 0

C2R007I *option* は、サブオプションが存在するが
すべて不許可のため、許可されませんでした **(Disallowed option because
suboptions present but all disallowed)**

説明: このメッセージは、メニュー・オプション *option* が、そのサブオプションがすべて不許可であるために許可されなかったことを通知します。

重大度: 0

C2R008I NLS テーブル行エラー - *option* **LVL1-3
の長さは 4 文字以内でなければなりません (NLS table row error - option
LVL1-3 length can not be more than
4)**

説明: メニュー・オプション *option* の NLS テーブル行が正しくありません。3 つのオプションを合わせて 4 文字以内で構成しなければならないという制限を超えています。つまり、3 つのレベルのオプションがある場合、1 つのオプションだけを 2 文字にすることができません。

重大度: 4

C2R009I **STATUS=ACCESS** はこのユーザーに対
して許可されていません (システム異常終
了 047) **(STATUS=ACCESS not
allowed for this user (system abend
047))**

説明: 現行の非 APF 実行の C2RIMENU は、RACROUTE STATUS=ACCESS 呼び出しの実行を許可されているログオン ID では稼働しません。これは、C2RIMENU の環境を記述する SAFDEF レコードで

NOAPFCHK キーワードを使用することによって修復できます。

```
INSERT SAFDEF.C2RIMENU PROGRAM(C2RIMENU)
RB(C2RIMENU)NOAPFCHK ID(C2RIMENU)RACROUTE
(REQUEST=AUTH,CLASS=XFACILIT,
STATUS=ACCESS)
```

注: XFACILIT は単なるデフォルトです。CKRSITE モジュールを確認してください。

重大度: 0

C2R010I [option | action] level1 level2 level3 は os システムでのみ表示されます ([option | action] level1 level2 level3 **only displayed on os systems**)

説明: 言及されているオプションまたはアクションは、os システム (z/OS または z/VM) でのみ使用可能です。

重大度: 0

C2R011I [option | action] level1 level2 level3 は、ISPF リリース 5.0 未満では許可されていません ([option | action] level1 level2 level3 **disallowed for ISPF releases lower than 5.0**)

説明: 言及されているオプションまたはアクションは、ISPF リリース 5.0 以上でのみ使用可能です。

重大度: 0

C2R012I [option | action] level1 level2 level3 os 分析オプションは使用不可です ([option | action] level1 level2 level3 os **analysis option disabled**)

説明: 言及されているオプションまたはアクションは、os システム (z/OS または z/VM) の分析時のみ使用可能です。

重大度: 0

C2R013I 製品の製品 ID およびフルネーム:
Products (Product id and full name of products: Products)

説明: このメッセージは、インストールされて IFAPRDxx によって使用不可になっていない製品を示します。Products セクション内の各行には、個別の製品機能の製品 ID およびフルネーム (例えば、5655-N17 IBM Security zSecure Audit for RACF) が表示されます。表示される可能性がある製品および製品コードのリストについては、「zSecure CARLa コマンド・リファレ

ンス」に記載されている NEWLIST LICENSE パラメータの説明を参照してください。

重大度: 0

C2R014I optnum 個のメニュー・オプションおよび actnum 個のアクションが許可されています。(**Allowed optnum menu options and actnum actions.**)

説明: このメッセージは、このライセンスで選択されているメニュー・オプションの数 optnum およびアクションの数 actnum を報告します。システムに IBM Security zSecure Admin がインストールされている場合、CKGRACF ACCESS コマンドを使用して、関連するメニュー・オプションおよびアクションのリソースに対するアクセス権限を調べることができます。関連するリソースについては、「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド」の『付録 B. zSecure 固有のセキュリティ・リソース (Appendix B. zSecure-specific security resources)』を参照してください。

重大度: 0

C2R015I このプログラムは ISPF および zSecure のもとで稼働させる必要があります。そのような環境は見つかりませんでした。
(This program should run under ISPF and zSecure. No such environment found.)

説明: このメッセージは、有効な ISPF および zSecure 環境が存在しないために C2RIMENU が失敗したことを通知します。そのような有効な環境が確実に稼働中であるようにしてください。

重大度: 8

C2R016I C2RIMENU が RC=rc で終了しました。
(C2RIMENU ended with RC=rc.)

説明: このメッセージは、C2RIMENU の最終戻りコード (rc) を報告します。次の 5 種類の結果が生じる可能性があります。

- RC=0。アクションは必要ありません。
- RC=4。低レベルのエラーが発生しました。C2RIMENU は問題なく続行されます。
- RC=8。ISPF の初期化が失敗しました。インストールが正常に行われたことを確認するには、システム・プログラマーに連絡してください。C2R015I も参照してください。

- RC=12. NLS テーブルがありません。インストールが正常に行われたことを確認するには、システム・プログラマーに連絡してください。
- RC=16. ライセンス・エラーが発生しました。インストールが正常に行われたことを確認するには、システム・プログラマーに連絡してください。

引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 0

C2R874I **RECFM=V(BS) RDW** *hex* が、レコード *n ddname volser dsname* で **LRECL=lrecl** を超えています (**RECFM=V(BS) RDW** *hex exceeds LRECL=lrecl at record n ddname volser dsname*)

説明: このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

C2R875I **RECFM=V(BS) BDW** *hex* が、レコード *n ddname volser dsname* で **BLKSIZE=blksize** を超えています (**RECFM=V(BS) BDW** *hex exceeds BLKSIZE=blksize at record n ddname volser dsname*)

説明: このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。ブロック記述子ワード (BDW) は 16 進数で示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは BDW を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

C2R900I *debug message*

説明: これは IBM ソフトウェア・サポートのみに関係するデバッグ・メッセージであり、一般出荷可能なソフトウェア・バージョンでは表示されません。

重大度: 0

C2R901I **DTISPF 内部エラー: MX#B > DTLNLEN (DTISPF internal error: MX#B > DTLNLEN)**

説明: このメッセージは、表示のフォーマットに問題があることを示します。予期しないデータが表示される場合があります。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。分析のためにこの問題を再現する方法をお知らせください。

重大度: 24

C2R902I **ENDDTPRO エラー: 書き込みが DTLNLEN を超えました (ENDDTPRO error: written beyond DTLNLEN)**

説明: このメッセージの後、ユーザー異常終了 902 が続きます。これは、問題が発生したためにプログラムが終了することを示します。

ユーザーの処置: 入力に DEBUG コマンドがないことを確認してから再試行してください。DEBUG オプションがなくても引き続き問題が発生する場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

C2R915I **UNIX レコード *nn* 書き込み失敗 RC *nn* [meaning] 理由 *qqqq rrrrx* [meaning] ファイル *ddname path* (UNIX write record *nn* failed RC *nn* [meaning] reason *qqqq rrrrx* [meaning] file *ddname path*)**

説明: このメッセージは、BPX1WRV 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理

由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度: 16

C2R919I 負の長さ *length* のレコードが *ddname* のレコード *recno* の後ろに送信されました
(Record with negative length *length* directed to *ddname* behind record *recno*)

説明: 無効なレコードが出力ルーチンに渡されました。代わりに空のレコードが書き込まれました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

C2R930I ブロック数が等しくありません - *data set* の情報が欠落している可能性があります
(Block count unequal - information may be missing for *data set*)

説明: このメッセージは、テープからの読み取り時に発生する可能性があります。これは、*ddname* に割り振られている 1 つ以上のテープのボリューム終了処理中に、DCB に記録されているブロック数がテープのトレーラー・ラベルのブロック数と異なっていることを示しています。読み取られた情報が不完全である可能性があります。

重大度: 8

C2R931I *proc*: バッファオーバーラン - *destinationlength sourcelength:data (proc: Buffer overrun - destinationlength sourcelength:data)*

説明: フォーマット・プロシージャ *proc* でバッファオーバーランが発生しました。このメッセージの後、ユーザー異常終了 931 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

C2R942I 製品コード *code* の環境が一致しません
(Environment mismatch for product code *code*)

説明: このメッセージは、識別された製品コードを示す *code* がインストールされたが、それが適切な環境で稼働していないことを示します。例えば、製品コードの中には、z/OS 下の UNIX タスクのみ、z/OS 下の 非 UNIX タスクのみ、および z/VM のみに限定されるものがあります。

重大度: 0

C2R944I Unix で *rdonly close* が失敗しました。RC *n* (10 進数)、理由 *n* (16 進数)、ファイル *ddname* [パス *path*] [記述子 *filedescriptor*] (Unix *rdonly close* RC *n* dec, reason *n* hex, file *ddname* [*path path*] [*desc filedescriptor*])

説明: このメッセージは、Unix のクローズ呼び出しが失敗したことを示します。戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度: 16

C2R945I Unix で *rdonly open* が失敗しました RC *n* (10 進数)、理由 *n* (16 進数)、ファイル *ddname* パス *path* (Unix *rdonly open* RC *n* dec, reason *n* hex, file *ddname path path*)

説明: このメッセージは、Unix のオープン呼び出しが失敗したことを示します。戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度: 16

C2R946I Unix レコードはバッファオーバーサイズを超えています - 分割します (Unix record larger than buffer size)

説明: このメッセージは、元々は非常に大きかったレコードが、今は 2 つの別個のレコードとして処理されていることを警告します。

重大度: 4

C2R947I **filedesc** *off* の読み取りが失敗しました
RC nn [*meaning*] 理由 *qqqq rrrr x*
 [*meaning*] ファイル *ddname path*
(Reading filedesc off failed RC nn
 [*meaning*] **reason** *qqqq rrrr x* [*meaning*]
file ddname path)

説明: このメッセージは、示された戻りコード (10 進数) と、理由コード修飾子 *qqqq* と理由コード *rrrr* (ともに 16 進数) に分割された理由コードで、BPX1RED (UNIX 読み取り) 呼び出しが失敗したことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度: 16

C2R948I 製品コード *code* の使用可能化情報が壊れています (**Enablement information corrupt for product code code**)

説明: このメッセージは、製品のインストールまたはライセンスに問題があることを示します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、インストールが正常に行われたことを確認してください。

重大度: 16

C2R949I 製品コード *code* がインストールされましたが、非 **APF** 登録の制限を超えました (**Product code code installed and non-APF registration limit exceeded**)

説明: このメッセージは、非 **APF** プログラムによる製品登録の **MVS** 制限を超えたため、インストール済みの製品を登録できない場合に発行されます。

重大度: 0

C2R950I 製品コード *code* のコードはインストールされていません (**Code not installed here for product code code**)

説明: このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしていることを示します。

重大度: 16

C2R951I モジュール *module* のロード時にシステム異常終了 *code (desc)* が発生しました (**system abend code (desc) trying to load module module**)

説明: このメッセージは、モジュールのロードに失敗したことと、その理由を示します。異常終了 806 は、モジュールが見つからなかったことを意味します。異常終了 306 は、制御された環境が存在するが、ロード対象のモジュールがプログラム制御されていなかったことを意味する可能性があります。

重大度: 8

C2R955I *program task heap* ストレージ要求エラー: サイズが正の値ではありません (*program task heap STORAGE REQUEST ERROR: SIZE NOT POSITIVE*)

説明: このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

C2R964I **PDS(E)** データ・セット *dsn* への書き込みにはメンバー名が必要です (**Member name required for writes to PDS(E) data set dsn**)

説明: このメッセージは、示されたデータ・セットに対して、必要なメンバー名が指定されていないことを示します。

重大度: 16

C2R965I メンバー *mem* は **PDS(E)** でのみ使用できます。 *dsn* には使用できません (**Member mem can only be used with PDS(E); not for dsn**)

説明: このメッセージは、示された *dsn* を持つデータ・セットに対して、指定されたメンバー名 (*mem*) が許可されなかったことを示します。プログラムは、ユーザー異常終了 965 を出します。

C2R966I 端末ファイル *ddname* でメンバー *mem* を使用することはできません (**Cannot use member *mem* on terminal file *ddname***)

説明: このメッセージは、示された *ddname* を持つ終端出力ファイルに対して、指定されたメンバー名 (*mem*) が許可されなかったことを示します。プログラムは、ユーザー異常終了 966 を出します。

C2R967I RECFM=F は、LRECL=X および RECFM=VBS が設定されたデータ・セット *dsname* に対して無効です (**RECFM=F invalid for LRECL=X,RECFM=VBS preferred data set *dsname***)

説明: このメッセージは、示された *ddname* を持つ出力ファイルに対して、指定された固定レコード・フォーマットが許可されなかったことを示します。これは、示されたデータ・セットに対してはサポートされません。プログラムは、ユーザー異常終了 967 を出します。

C2R968I IFAEDDRG が失敗しました RC *nn* (10 進数) (**IFAEDDRG failed RC *nn* decimal**)

説明: このメッセージは、以前に登録済みの製品の登録が失敗したことを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

C2R969I *dsn* の入出力エラー: *description* (**I/O error for *dsn*: *description***)

説明: このメッセージは、*dsn* についての通常の QSAM または BSAM 入力処理中に入出力エラーが発生したことを示します。命令は続行されますが、入出力エラーによって情報が失われることから異常終了またはその他のエラー・メッセージが後に続く場合があります。

重大度: 8

C2R970I *program task heap* フリー・ストレージ・エラー (**FREE STORAGE ERROR**): *message*

説明: このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16

が続きます。このメッセージは、ヒープと、ヒープを作成したプログラムおよびタスクを識別します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

C2R972I *product* の使用可能化情報がありません (**Enablement information missing for *product***)

説明: このメッセージは、ロード・モジュールが完全でないために製品が稼働できないことを示します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、製品のインストールを完了させるように依頼してください。

重大度: 16

C2R973I IBM セキュリティー製品コード *code* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product code *code* disabled or not installed**)

説明: このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしているか、または製品がこのシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できないことを示します。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

C2R974I IBM セキュリティー *product* が要求されたフォーカスに対して使用不可になっているか、ここではインストールされていません (**IBM Security product disabled or not installed here for requested focus**)

説明: 製品がインストールされていないか、または要求されたフォーカスが、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システ

C2R975I • C2R979I

ム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

C2R975I IBM セキュリティー *product* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product disabled or not installed**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

C2R976I *product* 製品または機能のコードまたは使用可能化がありません (**Code or enablement for product product or feature is missing**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

C2R976I IBM セキュリティー *product or feature* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product or feature disabled or not installed here**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

ム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

C2R977I 製品所有者('IBM CORP') ID(*id*) 名前 ('*name*') 機能('feature') バージョン (*version*) リリース (*release*) 変更 (*modification*) がインストール済みです (**Installed PRODUCT OWNER('IBM CORP') ID(*id*) NAME('name') FEATURE('feature') VER(*version*) REL(*release*) MOD(*modification*)**)
[製品状況 RC *rc* 10 進数] ([**Product status RC *rc* decimal**])

説明: このメッセージは、インストール済みの製品の DEBUG に応答して発行されます。戻りコードは IFAEDSTA に対するもので、「MVS プログラミング: プロダクト登録」に記載されています。製品登録の照会が適用されない場合は継続行が表示されません (例えば、C2R979I のため)。

重大度: 0

C2R978I 製品コード *code* が PARMLIB で無効化されました (**Product code *code* has been disabled in PARMLIB**)

説明: このメッセージは、z/OS PARMLIB 内の IFAPRDxx の項目によって、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名に対して製品が無効になっている場合に発行されます。

ユーザーの処置: 製品を他の場所で実行するか、システム・プログラマーに使用可能化を依頼してください。

重大度: 0

C2R979I 製品コード *code* は他の製品によって暗黙に指定されています (**Product code *code* implied by other**)

説明: このメッセージは、製品ライセンスがより包括的なライセンスによって暗黙的に与えられているため、その製品が登録されない場合に発行されます。

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM 製品をご使用の場合、これは発行されてはならないメッセージです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 0

C2R992I ABNEXIT/STXIT/ESTAE 戻りコード *rc*
(ABNEXIT/STXIT/ESTAE return code *rc*)

説明: このメッセージは、プログラムが異常終了リンケージの確立に失敗したことを示します。

重大度: 4

C2R995I LRECL が無効です。区分データ・セットであるため置き換えられませんでした
(LRECL invalid; not overruled because partitioned data set)

説明: このメッセージは、印刷ファイルのオープン・ルーチンによって検出された出力ファイルのレコード長が無効だったことを示します。これは、物理的順次データ・セットの正しい長さによって変更されるはずでしたが、既存の PDS メンバーをアクセス不能にすることがないように、区分データ・セットに対して変更は行われませんでした。無効なレコード長が原因で、この後に 013 または 002 の異常終了が発生する可能性があります。

C2R996I MFREE: スタック *name* のブロック内で長さが見つかりません (MFREE: NO LENGTH FOUND IN BLOCK FOR STACK *name*)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 4

C2R997I スタック・エラー - ポップされたエレメントがスタック *name* の最上部にありません (STACK ERROR - ELEMENT POPPED IS NOT ON TOP OF STACK *name*)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

C2R998I *program* のスタック *tasklevel stackname* でスタック・オーバーフローが発生しました (STACK OVERFLOW FOR STACK *tasklevel stackname* IN *program*)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

C2R999I *program* 内のタスク *taskname* のヒープ *heapname* のストレージが不足しています - 領域を増やしてください (STORAGE SHORTAGE FOR TASK *taskname* HEAP *heapname* IN *program* - INCREASE REGION)

説明: このメッセージは、プログラムに追加のストレージが必要であることを示します。このメッセージの後には、ユーザー異常終了 16 が続きます。ヒープ名が LOWHEAP または SYSSTACK の場合、この要求は 16 MB ラインより下のストレージに対して出されます。この名前が MAINHEAP の場合、この要求はあらゆる場所のストレージに対して出されます。

重大度: 16

C2R700I XML データ・ディクショナリーが欠落しています (Missing XML data dictionary)

説明: データ・ディクショナリーが欠落しているため、XSLT スタイル・シートが出力を生成できませんでした。CARLa でオプション XML_DATADICT を指定してください。

C2R800I パラメーターが無効です。UPDATE および CHECK のみが使用できます。
(Invalid parameter. Only UPDATE and CHECK are allowed)

説明: update Rexx C2REUPDR が、無効なパラメーターを使用して呼び出されました。UPDATE および CHECK のみが受け入れられます。

重大度: 12

C2R8002 **Listalc が失敗しました。rc=listalc_rc
(Listalc failed rc=listalc_rc)**

説明: Rexx C2REUPDR は、割り振られた DD を取得するために TSO LISTALC STATUS コマンドを発行します。このコマンドは失敗しました。TSO LISTALC エラー・メッセージのジョブ・ログを確認してください。

重大度: 12

C2R8003 **@ で始まる DD 名が見つかりません
(No DD names starting with @ found)**

説明: Rexx C2REUPDR は、@ で始まる割り振られた DD をすべて更新します。このメッセージは、そのような DD が指定されていないことを示します。JCL を確認してください。

重大度: 12

C2R8004 **DD ddname の読み取り時にエラーが発生
しました。EXECIO RC=execiorc (Error
reading DD ddname EXECIO
RC=execiorc)**

説明: Rexx C2REUPDR は、TSO EXECIO サービスを使用してパラメーター・ファイルを読み取ります。このサービスがエラーを報告しました。TSO EXECIO エラー・メッセージのジョブ・ログを確認してください。

重大度: 12

C2R8005 **CKRZUPDI で二重引用符が見つかりまし
た。これはサポートされません。パラメー
ター名: name、パラメーター値: value
(Double quotes found in CKRZUPDI.
This is not supported Parameter name
is : name Parameter value is : value)**

説明: パラメーター name の値 value に二重引用符が含まれています。これはサポートされません。メンバー CKRZUPDI 内のこのパラメーターの二重引用符を削除するか、単一引用符に置き換えてください。

重大度: 12

C2R8006 **メンバーが編集されていません。ユーザー
設定とデフォルト設定が同じです。(No
members edited: user and default
setting are equal)**

説明: デフォルトと、メンバー CKRZUPDI で指定された値の間に相違点が見つかりませんでした。メンバー CKRZUPDI を確認してください。

重大度: 12

C2R8007 **次の変数はサポートされません:
variable_list (The following variables
are unsupported: variable_list)**

説明: メンバー CKRZUPDI に、サポートされないパラメーターが 1 つ以上指定されています。メンバー CKRZUPDI を確認してください。

重大度: 12

C2R8008 **name パラメーター値が最大長 length を
超えています (name parameter value
exceeds maximum length of length)**

説明: メンバー CKRZUPDI でパラメーター name に指定された値が、許可された最大長を超えています。

重大度: 12

C2R8009 **DD=ddname dsname を処理しています
(Processing DD=ddname dsname)**

説明: Rexx C2REUPDR は、DD ddname に割り振られたデータ・セット dsname を更新しています。

重大度: 0

C2R8010 **DD ddname の LMINIT が失敗しました
(LMINIT for DDddname
failed.)RC=lminit_rc**

説明: ISPF サービス LMINIT が DD ddname に対して失敗し、戻りコード lminit_rc が戻されました。LMINIT の戻りコードについては、IBM ISPF サービスのマニュアルを参照してください。

重大度: 12

C2R8011 **ライブラリー dsname の LMOPEN が失
敗しました。RC=llopen_rc (LMOPEN
of library dsname failed. RC=llopen_rc)**

説明: ISPF サービス LMOPEN がライブラリー dsname に対して失敗し、戻りコード llopen_rc が戻されました。LMOPEN の戻りコードについては、IBM ISPF サービスのマニュアルを参照してください。

重大度: 12

C2R8012 **ライブラリー dsname の LMMLIST が失
敗しました。RC=lmmmlist_rc (LMMLIST
of library dsnamefailed. RC=lmmmlist_rc)**

説明: ISPF サービス LMMLIST がライブラリー dsname に対して失敗し、戻りコード lmmmlist_rc が戻さ

れました。LMMLIST の戻りコードについては、IBM ISPF サービスのマニュアルを参照してください。

重大度: 12

C2R8013 *member* メンバーは更新対象として適格ではありません (**member Member not eligible for update**)

説明: メンバー *member* は更新対象として適格ではありません。例えば、update Rexx exec 自体も対象から除外されます。

重大度: 0

C2R8014 *member* メンバーの編集がエラーで終了しました。**RC=edit_rc**。メンバーは更新されませんでした (**member Member edit ended in error RC=edit_rc Member not updated**)

説明: メンバー *member* の更新が失敗し、戻りコード *edit_rc* が戻されました。更新ジョブのログで、失敗した編集コマンドを確認してください。

重大度: 8

C2R8015 一致が見つからないため、メンバーは更新されませんでした (**No members updated because no matches found**)

説明: メンバー CKRZUPDI で指定された変更ストリングが見つからないため、メンバーは更新されませんでした。

重大度: 4

C2R8016 DD *ddname* に割り振られたメンバーが空です (**Member allocated to DD *ddname* is empty**)

説明: DD *ddname* に割り振られたパラメーター・メンバー CKRZUPDI が空です。

重大度: 12

C2R8017 メンバー 内の 1 つ以上のコメント行を更新できませんでした。メンバーはこのまま処理されます (**member One or more comment lines could not be updated. Member processed anyway.**)

説明: メンバー *member* 内の 1 つ以上のコメント行を更新できませんでした。更新ジョブのログで、失敗した編集コマンドを確認してください。処理を続行します。

重大度: 4

C2R8018 変更コマンドがすべて失敗したため、メンバーは更新されませんでした (**No members updated because all change commands failed**)

説明: 変更コマンドがすべて失敗しました。更新ジョブのログで、失敗した編集コマンドを確認してください。

重大度: 12

C2R8019 パラメーター *parameter* に無効な最大長 *length* が指定されています (**Invalid maximum length *length* specified for parameter *parameter***)

説明: メンバー CKRZUPD で、*parameter* のパラメーター定義を確認してください。

重大度: 12

C2R8020 *member* メンバーが更新されました。 (**member Member updated.**)

説明: メンバーは更新されました。

重大度: 0

C2R8021 *member* メンバーは、**PARM=CHECK** が指定されているため更新されませんでした。 (**member Member not updated because PARM=CHECK.**)

説明: メンバーは、**PARM=CHECK** が指定されているため更新されませんでした。

重大度: 0

C2R8022 パラメーター *parameter* が *member* 内で 2 回指定されています (**Parameter *parameter* specified twice in member**)

説明: パラメーター *parameter* が、メンバー *member* 内で 2 回指定されています。示されたメンバーを確認してください。

重大度: 12

C2R8023 最後のジョブ・カード・パラメーター *statement* の末尾に継続のコンマがありません (**Last jobcard parameter *statement* ends with a continuation comma**)

説明: 最後のジョブ・カード・ステートメントの末尾にはコンマを使用できません。

重大度: 12

C2R8024 ジョブ・カード・ステートメント
statement に継続のコンマがありません
**(No continuation comma found for
 jobcard statement statement)**

説明: 最後の 1 つを除くすべてのジョブ・カード・ステートメントの末尾に、継続のコンマが必要です。

重大度: 12

C2R8025 *parameter* パラメーターの値 *value* が最小長 *length* 未満です。**(parameter
 parameter value value smaller than
 minimum length of length)**

説明: 指定された値は最小長の要件を満たしていません。

重大度: 12

C2R8026 *parameter* パラメーターの値 *value* は、*list* の値のいずれかでなければなりません
**(parameter parameter value value should
 be one of: list)**

説明: 指定された値は *list* の値のいずれかでなければなりません。

重大度: 12

C2R8027 *parameter* パラメーターの値 *value* は数値でなければなりません。**(parameter
 parameter value value should be
 numeric.)**

説明: 指定された値は数値でなければなりません。

重大度: 12

C2R8028 *parameter* パラメーターの値 *value* は有効な名前でなければなりません **(parameter
 parameter value value should be a
 valid name)**

説明: 指定された値は、データ・セット・メンバー名の規則に従った有効な名前ではなければなりません。

重大度: 12

C2R8029 *parameter* パラメーターの値 *value* は有効なデータ・セット名でなければなりません。**(parameter
 parameter value value
 should be a valid data set name.)**

説明: 指定された値は有効なデータ・セット名でなければなりません。

重大度: 12

C2R8030 *parameter* パラメーターの値 *value* の末尾にはドットが必要です。**(parameter
 parameter value value should end with
 a dot.)**

説明: 指定された値の末尾にはドットが必要です。

重大度: 12

C2R8031 *parameter* パラメーターの値 *value* はストリング *pict* を含んでいなければなりません **(parameter
 parameter value value
 should have string pict)**

説明: 指定された値に含まれる文字は、*pict* ストリングで示された文字タイプに一致していなければなりません。

重大度: 12

C2R8032 **SMPETargetZone** と **SMPEDistributionZone** を同じにすることはできません **(SMPETargetZone may
 not be equal to
 SMPEDistributionZone)**

説明: SMPETargetZone と SMPEDistributionZone を同じ値にすることはできません。

重大度: 12

C2R8034 **PrefixForSmpeGlobalZone** と **PrefixForSmpeOtherData** を同じにすることはできません
**(PrefixForSmpeGlobalZone may not be
 equal to PrefixForSmpeOtherData)**

説明: PrefixForSmpeGlobalZone と PrefixForSmpeOtherData を同じ値にすることはできません。

重大度: 12

C2R8035 パラメーター *parameter* の先頭が英字ではありません **(Parameter parameter does
 not start with an alphabetic)**

説明: パラメーター *parameter* の先頭は英字でなければなりません。

重大度: 12

C2R8036 無効な VER ストリング: *string* (**Invalid VER string: *string***)

説明: ISPF VER サービスに無効なストリングが渡されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 12

C2R8037 必要な末尾のドットを *value* に追加しました (**Added required trailing dot to *value***)

説明: PrefixForInstallMedia などの一部のパラメーターには、JCL のエラーを防ぐために末尾のドットが必要です。末尾のドットが指定されていない場合は、カスタマイズ REXX exec によって追加されます。

重大度: 0

C2R8038 データ・セット *dsname* の割り振りが **rc=rc** で失敗しました (**Allocation of data set *dsname* failed with rc=rc**)

説明: データ・セット *dsname* に対する TSO ALLOCATEが失敗し、戻りコード *rc* が戻されました。ALLOCATE の戻りコードについて詳しくは、「TSO/E コマンド解説書」を参照してください。また、その他のメッセージについては、ジョブ・ログを確認してください。データ・セット特性については、SCKRSAMP REXX exec C2REUPDR プロシージャ allocSHPfiles を確認してください。

重大度: *rc*

C2R8039 *dsname* が割り振られました (***dsname* allocated**)

説明: データ・セット *dsname* が正常に割り振られました。

重大度: 0

C2R8040 *dsname* は既に存在するため、割り振られませんでした (***dsname* not allocated as it already exists**)

説明: データ・セット *dsname* は既に存在するため、割り振られませんでした。

重大度: 4

C2R8041 *dsname* は PARM=UPDATE が指定されたときに割り振られます (***dsname* will be allocated when PARM=UPDATE**)

説明: データ・セット *dsname* は、ジョブ CKRZUPDZ が PARM=UPDATE が指定されて実行依頼されたときに割り振られます。

重大度: 0

C2R8042 *dsname* は既に存在するため、**PARM=UPDATE** が指定されたときに割り振られません (***dsname* already exists so will not be allocated when PARM=UPDATE**)

説明: データ・セット *dsname* は既に存在するため、ジョブ CKRZUPDZ が PARM=UPDATE が指定されて実行依頼されたときに割り振られません。

重大度: 4

C2R8043 *parameter* パラメーターの値 *value* の末尾にはスラッシュが必要です (***parameter* parameter value *value* should end with a slash.**)

説明: ディレクトリーの値の末尾には「/」が必要です。

重大度: 12

C2R8044 *parameter* パラメーターの値 *value* の先頭にはスラッシュが必要です (***parameter* parameter value *value* should start with a slash.**)

説明: ディレクトリーの値の先頭には「/」が必要です。

重大度: 12

第 11 章 C2RU メッセージ

接頭部が C2RU のメッセージには、エラーの原因および zSecure Visual の通知プログラム内の場所を参照するための固有の番号が付いています。したがって、同じ種類のメッセージに、エラーの原因および場所を示すための異なる番号が付けられている場合があります。

zSecure Visual に関連したその他のメッセージについては、703 ページの『第 18 章 その他のエラー・メッセージ』で説明します。

注: C2RU メッセージは、以前のリリースの zSecure Visual では U メッセージというラベルを付けられていました。

C2RU100 **CKGRACF** バージョン *old version* が検出されました。 (**CKGRACF version old version encountered.**) このクライアントは、**CKGRACF** バージョン *version* 用に開発されています。 (**This client has been developed for CKGRACF version version.**)

説明: この製品を古いバージョンの CKGRACF と一緒に使用した場合、CKGRACF プログラムで取得されたデータは信頼できません。このメッセージが表示された後は、このバージョンの製品を使用してデータベースに変更を加えないでください。

C2RU101 パスワードの最大長は 8 文字であるため、新規パスワードは無効です。 (**The maximum length of a password is 8 characters, new password invalid.**)

説明: RACF のパスワードの長さは 8 文字までに制限されています。

C2RU102 入力された新規パスワードが等しくありません。再入力してください。 (**New passwords typed are not equal, please retype.**)

説明: パスワードのミスを防ぐために、新規パスワードはすべて 2 回入力する必要があります。

C2RU103 パスワードの最大長は 8 文字です。 (**The maximum length of a password is 8 characters.**)

説明: RACF のパスワードの長さは 8 文字までに制限されています。

C2RU104 サーバー *server*(バージョン *server*) の **type port portnumber** が、サーバー *server* (バージョン *version*) の **type port portnumber** と同じです。 (**type port portnumber of server server (version version) equals type port portnumber of server server (version version).**)

説明: メインフレーム・ソフトウェア、クライアント・ソフトウェア、およびクライアント・インターフェース間の通信は、ポートによって特徴付けられる TCP ソケットを通じて行われます。ローカル・ポートは、メインフレームからクライアント・ソフトウェアへの通信に使用されます。UI ポートは、クライアント・インターフェース・アプリケーションとクライアント通信ソフトウェア間の通信に使用されます。デフォルトでは、ローカル・ポート番号はサーバー・ポート番号と同じです。UI ポートは、デフォルトでは常に、ローカル・ポート番号に 1 を加えた番号になります。異なるサーバーのサーバー・ポートが同じであるか、または十分に異なっていない場合、デフォルトのポート番号が重複するおそれがあります。サーバーのうちの少なくとも 1 つに代わりのローカル・ポート番号を指定するか、1 回の Windows セッション中に両方のサーバーに接続しないようにする必要があります。代わりのローカル・ポート番号を指定するには、「IBM Security zSecure Visual: クライアント・マニュアル」の『サーバー定義の追加および編集』のセクションで説明されている「ローカル・ポート」フィールドを使用してください。

C2RU105 他の Windows クライアントの構成ファイルを今すぐ作成しますか? (**Are you sure you want to create configuration files for other Windows clients now?**)

説明: このメッセージは、ユーザーが自分の構成を変更

する代わりに構成ファイルを作成してしまうのを防ぐために表示されます。詳しくは、「IBM Security zSecure Visual: クライアント・マニュアル」の『自動セットアップおよび構成』セクションを参照してください。

C2RU106 有効範囲内にグループがありません。(No groups are in your scope.)

説明: グループはすべて有効範囲外です。常に存在する SYS1 を除き、グループ・ツリーは空のままになります。

C2RU107 グループ *group* が存在しないか、または有効範囲内にありません。(Group *group* does not exist, or is not in your scope.)

説明: グループが存在しないか、またはグループを表示するための権限が不足しているため、グループが見つかりませんでした。

C2RU108 zSecure Visual では、文字 ' および " を *fieldname* フィールドに使用できません。(In zSecure Visual characters ' and " are not allowed in the *fieldname* field.)

説明: フィールドは、コマンド・ラインでメインフレームに渡されます。このコマンド・ラインでは、フィールドの境界を示すために引用符を使用します。コマンド・ラインが誤って解釈されるのを防ぐため、一部のフィールドでは引用符を入力できません。ただし、引用符を含んでいるフィールドは正しく表示されます。

C2RU109 一致するユーザーが見つかりません。(No matching users found.)

説明: ロードを要求した対象のユーザーが見つかりませんでした。ユーザーが存在しないか、または管理範囲外です。

C2RU110 一致するグループが見つかりません。(No matching groups found.)

説明: ロードを要求した対象のグループが見つかりませんでした。グループが存在しないか、または管理範囲外です。

C2RU111 新規パスワードが必要です。(New password required.)

説明: 新規パスワードを空白値に設定することはできません。

C2RU112 新規パスワードの最大長は 8 文字です。(Maximum length of new password is 8 characters.)

説明: RACF では、パスワードが 8 文字までに制限されています。

C2RU113 入力されたパスワードが等しくありません。再入力してください。(Passwords typed are not equal, please retype.)

説明: パスワードのミスペルを防ぐために、新規パスワードはすべて 2 回入力する必要があります。

C2RU114 ユーザー *userid* の取り消し状況が、スケジュールによって決定されなくなります。現在、このユーザーは取り消されています。*userid* を今すぐ再開しますか?(Currently the user is revoked, do you want to resume *userid* now?)

説明: ユーザーの取り消し状況は、スケジュールを使用して決定されます。過去のスケジュール済みアクションをすべて削除すると、取り消し状況がスケジュールによって決定されなくなります。削除の前にユーザーが取り消されたため、ログオンできませんでした。ユーザーの取り消し状況をクリアするには、「Yes」を選択して再開してください。

C2RU115 日付が無効です。終了日は開始日より後でなければなりません。(Invalid dates, end date should be after start date.)

説明: 終了日を使用したくない場合は、「Forever」チェック・ボックスにチェック・マークを付けてください。

C2RU116 ユーザー ID が必要です。(Userid required.)

説明: 新規接続のユーザー ID が入力されていません。

C2RU117 グループが必要です。(Group required.)

説明: 新規接続のグループが入力されていません。

C2RU120 zSecure Visual を終了しますか? (Do you want to exit zSecure Visual?)

説明: 終了する場合は「Yes」、プログラムの実行を継続する場合は「No」を選択します。このダイアログが今後表示されないようにするには、「No」を選択し、「IBM Security zSecure Visual: クライアント・マニ

アル」の『表示設定の指定』のセクションで説明されている「Options」ダイアログを表示し、「Confirm Exit」チェック・ボックスをクリアします。

C2RU122 ユーザー ID *userid* が RACF に対して定義されていないか、またはユーザー ID に OMVS セグメントが定義されていません。(Userid *userid* is not defined to RACF or it does not have an OMVS segment defined.)

説明: このエラーは、2 つの場合に発生します。1 つは、ユーザー ID が RACF に認識されない場合です。ユーザー ID のスペルを確認してください。もう 1 つは、既存のユーザーに OMVS セグメントが含まれず、デフォルトの OMVS セグメントがない場合です。このメッセージが引き続き表示される場合は、メインフレーム・システム管理者に連絡してください。

C2RU123 パスワードの期限が切れています。新規パスワードを入力する必要があります。(Your password has expired, you must enter a new password.)

説明: 現在のパスワードは古すぎるため、パスワードを変更するよう RACF から要求されています。「IBM Security zSecure Visual: クライアント・マニュアル」の『ログオン』のセクションを参照してください。(See the "Logging on" section in the IBM Security zSecure Visual: クライアント・マニュアル.)

C2RU124 新規パスワードが無効です。(New password invalid.)

説明: 新規パスワードは、ユーザーのパスワード・ヒストリーに存在するか、またはパスワード規則に従っていないため、RACF によって受け入れられません。別のパスワードを指定してください。

C2RU125 パスワードが無効です。(Password invalid.)

説明: パスワードが有効でないため、ログオンが失敗しました。

C2RU126 サーバー名に無効な文字が含まれています。(Server name contains invalid characters.)

説明: サーバーの名前を使用したサブディレクトリーが作成されるため、文字はすべて有効なファイル名文字でなければなりません。

C2RU127 サーバーの名前が必要です。(Name for server required.)

説明: 各サーバーには固有の名前が必要であり、名前を空白にすることはできません。

C2RU128 サーバー名は既に使用されています。(Server name is already in use.)

説明: 各サーバーには固有の名前が必要です。

C2RU129 *property* をコピーできません。(The *property* cannot be copied.)

説明: このメッセージは、ドラッグ・アンド・ドロップを使用して接続を移動、コピー、またはマージし、その結果として生成された接続が、指定を許可されていないプロパティを必要とする場合に表示されます。

「Cancel」を選択して操作を取り消すか、「OK」を選択してそれらのプロパティにデフォルト値を使用して操作を続行してください。

C2RU130 ユーザー ID の最大長は 8 文字です。(The maximum length of a userid is 8 characters.)

説明: RACF では、ユーザー ID の最大長は 8 文字です。

C2RU131 ユーザー ID *userid* は取り消されています。(Userid *userid* is revoked.)

説明: ログオンを試みたユーザー ID は取り消されています。このユーザー ID を再度使用するには、先にユーザー ID を再開する必要があります。

C2RU134 グループ ID の最大長は 8 文字です。(The maximum length of a GroupID is 8 characters.)

説明: RACF では、グループ ID の最大長は 8 文字です。

C2RU135 グループ *group* は、そのグループ ID が HLQ として指定されたデータ・セット・プロファイルが RACF データベース内にまだ存在するため、削除されませんでした。(Group *group* has not been deleted, because there are still dataset profiles with the GroupID as HLQ in the RACF database.)

説明: グループは、そのグループ ID が HLQ として指定されたデータ・セット・プロファイルが RACF デ

ータベース内にまだ存在する場合、削除できません。そのデータ・セット・プロファイルを削除した後で、グループを削除できます。データ・セット・プロファイルの管理に zSecure Visual を使用することはできません。

C2RU136 一致するリソースが見つかりません (No matching resources found)

説明: ロードを要求した対象のリソース・プロファイルが見つかりませんでした。exact、filter、または mask オプション、検索ストリング、および拡張フィールドを確認してください。

C2RU137 クラス *class* のプロファイルがキャッシュされていないため、このクラスに対してリフレッシュを実行できません。 (Profiles of class *class* are not cached, so a refresh cannot be done for this class.)

説明: リフレッシュの際は、キャッシュされたプロファイルを、データベースに加えた変更を反映するように更新します。示されたクラスのプロファイルがキャッシュされていないため、クラスをリフレッシュできません。データベースに対する変更は直ちに反映されます。

C2RU138 不明なクラス *class* (Unknown class)

説明: 指定されたリソース・クラスはサーバーに定義されていません。

C2RU139 zSecure Visual では、クラス *class* のプロファイルの追加はサポートされていません。 (Adding profiles in class *class* is not supported by zSecure Visual.)

説明: クラス DIGTCERT、DIGTCRIT、DIGTNMAP、DIGTRING、GMBR、KERBLINK、NDSLINK、NMBR、NOTELINK、PMBR、PTKTDATA、PTKTVAL、ROLE、UNIXMAP のプロファイルの変更はサポートされていません。これは、変更を行うために特殊なコマンドまたは特権を使用する必要があるか、そのクラスのプロファイルが特定のプログラムによって自動的に更新されるためです。

C2RU140 *class profile* のアクセス・リストに加えた変更は無視されます。 (Changes made to Access List of *class profile* will be ignored.)

説明: 示されたプロファイルのアクセス・リストに変更を加えましたが、変更をコミットしませんでした。「OK」を選択して変更を無視するか、「Cancel」をクリックして前に戻ってください。

C2RU141 *class profile* のメンバー・リストに加えた変更は無視されます。

説明: 示されたプロファイルのメンバー・リストに変更を加えましたが、変更をコミットしませんでした。

「OK」をクリックして変更を無視するか、「Cancel」をクリックして前に戻ってください。

C2RU142 所有者が必要です。 (Owner required.)

説明: 各リソース・プロファイルには所有者が必要です。

C2RU143 zSecure Visual では、クラス *class* 内のプロファイルの重複はサポートされていません。 (Duplicating profiles in class *class* is not supported by zSecure Visual.)

説明: クラス DIGTCERT、DIGTCRIT、DIGTNMAP、DIGTRING、GMBR、KERBLINK、NDSLINK、NMBR、NOTELINK、PMBR、PTKTDATA、PTKTVAL、ROLE、UNIXMAP のプロファイルの変更はサポートされていません。これは、変更を行うために特殊なコマンドまたは特権を使用する必要があるか、そのクラスのプロファイルが特定のプログラムによって自動的に更新されるためです。

C2RU144 一致するセグメントが見つかりません。 (No matching segments found.)

説明: プロファイルに一致するセグメントがありません。

C2RU145 プロパティが見つかりません。 (No properties found.)

説明: 選択したセグメントのプロパティ・ウィンドウを開こうとしましたが、プロパティがありません。

C2RU146 複数のプロファイルが見つかったため、プロパティを表示できません。代わりにリストを表示しますか? (More than one profile found; cannot show properties. Show list instead?)

説明: 1 つのセグメントが複数のプロファイルに属する場合、zSecure Visual ではそれらのプロパティをすべて表示することはできません。プロファイル・リストを表示することは可能で、このリストからプロパティにアクセスできます。

C2RU147 セグメントが見つかりません。 (No segments found.)

説明: このプロファイルにはセグメントがありません。

C2RU148 *name* セグメントを削除しますか? (Delete namesegment?)

説明: この名前のセグメントを削除しようとしています。セグメントを削除してもよろしいですか?

C2RU149 追加できるセグメントがありません。 (No segments to add.)

説明: セグメントを追加しようとしたましたが、追加できませんでした。

C2RU150 クラス *class* のプロファイルがキャッシュされていないか、あるいはグローバルでないため、このクラスに対してリフレッシュを実行できません。 (Profiles of class *class* are not cached or not global, so a refresh cannot be done for this class.)

説明: リフレッシュの際は、キャッシュされたプロファイル、データベースに加えた変更を反映するように更新します。示されたクラスをリフレッシュできない理由は 2 つあり、クラスがキャッシュされていないか、グローバルでないかのいずれかです。「Refresh Global class」チェック・ボックスにマークを付けずに再試行してください。リフレッシュが再び失敗した場合、クラスはキャッシュされていません。データベースに対する変更は直ちに反映されます。

C2RU151 オプションがありません (No options available)

説明: オプションをアクティブ化しようとしたますが、使用可能なオプションがありません。例えば、セグメントによっては、現在のリリースでの表示または編集が許可されていません。

C2RU152 セグメント *segment* を表示できません。コマンド形式がサポートされていないか、または表示可能なフィールドが存在しません。 (Cannot show segment *segment*, command format not supported or no displayable fields present.)

説明: 一部のセグメントが、異なるコマンド形式を必要としているか、または暗号化されたデータのみを含んで

います。そのようなセグメントは、このリリースでは表示できません。

C2RU153 ユーザー ID *userID* にはマッピング情報がありません。 (User ID *userID* has no mapping information.)

説明: 表示しようとしたユーザー ID にはマッピング情報がありません。

C2RU154 マッピング情報が見つかりません。 (No mapping information found.)

説明: 表示しようとしたリソース・プロファイルにはマッピング情報がありません。

C2RU155 変更は保存されていません。保存しないでウィンドウを閉じますか? (Your changes have not been saved. Do you want to close the window without saving?)

説明: 「編集」ウィンドウを使用してセグメントのフィールド値を変更しました。「編集」ウィンドウを閉じるか **Esc** キーを押すと、変更は保存されません。保存せずに「編集」ウィンドウを閉じる場合は「Yes」、「編集」ウィンドウに戻る場合は「No」を選択します。変更を保存するには、「編集」ウィンドウで **Enter** キーまたは **Tab** キーを押します。

C2RU156 アクティブなサーバーがありません。ローカル・システム・サービスのみが使用可能です。 (There is no active server, only local system services available.)

説明: zSecure Server がアクティブでないため、マルチシステム・サービスを使用できません。ローカル・システムではビジュアル・クライアントの使用を続行できます。

ユーザーの処置: zSecure Visual サーバーに正常に接続するには、その Visual サーバーと zSecure Server が同じシステム上で実行されている必要があります。

C2RU157 zSecure マルチシステム・サービスを使用するには、バージョン 1.12 以上の [CKRCARLA | CKGRACF] が必要です。 (To use zSecure multi-system services requires version 1.12 or higher of [CKRCARLA | CKGRACF].) ローカル・システム・サービスのみが使用可能です。 (Only local system services are available.)

説明: zSecure クライアントの構成時に「Use zSecure

Server for multi-system services」オプションを選択した場合、ターゲット zSecure Server サーバーに接続する前に、ソフトウェアが正しいバージョンであるかどうかプログラムによって確認されます。CKRCARLA または CKGRACF のいずれかがバージョン 1.12 以上ではない場合、ログオンして zSecure Server への接続を試みた後に、このメッセージが表示されます。

注: 最初に CKGRACF がテストされ、次に CKRCARLA がテストされます。両方のプログラムがいずれも正しいバージョンでない場合は、CKGRACF のみがメッセージに表示されます。

C2RU158 検索先のノードが選択されていません。
(No nodes selected to search on.)

説明: このメッセージは、マルチシステム・モードで操作しているが、検索先のノードを選択していない場合に表示されます。少なくとも 1 つのノードを選択するまで「OK」が使用不可になります。

ユーザーの処置: 検索先のノードを選択してください。マルチシステム・モードで操作する必要がない場合は、クライアントを終了してローカル・モードで再始動してください。

C2RU159 アクティブ・サーバーに問題があります。
ローカル・システム・サービスのみを引き
続き使用します。(There is a problem
with the active server, will continue
using only local system services.)

説明: このメッセージは、マルチシステム・モードで操作していて、zSecure ノードの要求に対して使用可能なノードのリストを返すことができない場合に表示されます。

C2RU160 一致する接続がありません。(No
matching connections.)

説明: 選択されたリソースの接続が見つかりませんでした。接続が存在しないか、または管理範囲外です。

C2RU161 接続の表示では * は無効です。(Show
Connections not valid for *.)

説明: 選択された項目についての接続のリストを表示するためのフィルター文字として、アスタリスク (*) を指定することはできません。

C2RU162 許可の表示では * は無効です。(Show
Permits not valid for *.)

説明: 選択された項目についての許可のリストを表示するためのフィルター文字として、アスタリスク (*) を指定することはできません。

C2RU163 検索フィールド内で完全一致突き合わせを
検索する場合、サイト固有フィールドに値
を指定することはできません。(When
searching for an exact match in the
search field you cannot also specify
values in the site-specific fields.)

説明: 検索フィールド内で指定されたストリングについて完全一致突き合わせを検索するために「Exact」を選択した場合、サイト固有のユーザー・データ・フィールドに値を指定しないでください。

C2RU164 ファクター名が必要です。(Factor Name
required.)

説明: ユーザー・プロファイルにファクター・データを追加するには、MFA ファクター名が必要です。

C2RU165 ポリシー名が必要です。(Policy Name
required.)

説明: ユーザー・プロファイルにポリシー名を追加するには、MFA ポリシー名が必要です。

C2RU166 ファクター名が無効です。(Invalid Factor
Name.)

説明: ファクター名は 1 文字から 20 文字までにする必要があります。

C2RU167 タグが無効です。(Invalid Tag.)

説明: タグは、*tagname:tagvalue* 形式で指定する必要があります。ここで、*tagname* は 1 文字から 20 文字まで、*tagvalue* は 1 文字から 1024 文字までにすることができます。

C2RU168 ポリシー名が無効です。(Invalid Policy
Name.)

説明: ポリシー名は 1 文字から 20 文字までにする必要があります。

C2RU169 ユーザーが保護されていて、ファクターがありません。 (**User is protected, No factors present.**)

説明: MFA 情報を保護ユーザーに割り当てることはできません。

C2RU170 ユーザーが保護されていて、ポリシーがありません。 (**User is protected, No policy present.**)

説明: MFA 情報を保護ユーザーに割り当てることはできません。

C2RU171 ファクター数が超過しました。 (**Factor count exceeded.**)

説明: ユーザーは最大 10 個のファクターに制限されています。

C2RU172 ポリシー数が超過しました。 (**Policy count exceeded.**)

説明: ユーザーは最大 10 個のポリシーに制限されています。

C2RU999 エラー *nn: description*。 (**Error nn: description.**)

説明: このエラーは予期しない状態を示します。このエラーが発生する条件に関して何らかの心当たりがある場合は、ディストリビューターに報告するか、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

第 12 章 C2RW メッセージ

この章には、IBM Security zSecure Visual サーバーの始動時、またはこのサーバーに対し停止が通知された場合に出力される可能性があるメッセージがリストされています。これらのメッセージは、システム・ログと、サーバーのログ・ディレクトリーにある `about-server.log` ファイルに送信されます。

C2RW001I ルート *root directory* の **zSecure Visual** サーバーを始動します (**Starting zSecure Visual server with root *root directory***)

説明: ルート *root directory* のサーバーを始動しています。

C2RW002I ルート *root directory* の **zSecure Visual** サーバーが始動しました (**Started zSecure Visual server with root *root directory***)

説明: サーバーが始動しました。クライアント接続の受け入れ準備ができ次第、サーバーは C2RW016 メッセージをシステム・ログに送信します。

C2RW003I ルート *root directory* の **zSecure Visual** サーバーが設定されました (**Established zSecure Visual server with root *root directory***)

説明: サーバーが (再) 構成の後に始動しました。クライアント接続の受け入れ準備ができ次第、サーバーは C2RW016 メッセージをシステム・ログに送信します。

C2RW004I **zSecure Visual** サーバーがまだセットアップされていません (**The zSecure Visual server has not been set up yet**)

説明: サーバーは、実行前に構成する必要があります。

C2RW005I サーバーの準備が未完了です。サーバー始動 JCL のジョブ・ステップ **C2RSPREP** が正常に終了していることを確認してください (**Server preparation incomplete; make sure that job step C2RSPREP in the server-start JCL ended correctly**)

説明: サーバーは、サーバー始動 JCL の C2RSPREP ステップから提供される必要がある特定のファイルを見つけることができませんでした。

C2RW006I プログラム *program* にアクセスできません (**Cannot access program *program***)

説明: プログラム *program* にアクセスできないため、サーバーが停止しました。

C2RW007I サーバー・プログラム・エラーが発生しました。 *error message file* を参照してください (**Severe program error encountered; see error message file**)

説明: プログラム *program* が原因で重大エラーが発生しました。エラー・メッセージを *error message file* で確認できます。このエラーが原因でサーバーが停止しました。

C2RW008I プログラム *program* はプログラム管理対象としてマークされていません (**Program *program* is not marked program controlled**)

説明: プログラム *program* がプログラム管理対象としてマークされていないため、サーバーが停止しました。

C2RW009I ソフトウェア・ディレクトリーは **SECURITY** マウント・ファイル・システム内に存在する必要があります (**The software directory should reside in a SECURITY mounted file system**)

説明: サーバー・ソフトウェア・ディレクトリーが **SECURITY** マウント・ファイル・システム内にないため、サーバーが停止しました。

C2RW010I ポート *port/tcp* **zSecure Visual** サーバーは既に稼働しています (**The port *port/tcp* zSecure Visual server is running already**)

説明: 一度に 1 つの **zSecure Visual** サーバー・インスタンスのみがポート *port/tcp* を使用できます。

C2RW011I *port1/tcp* の IBM Security zSecure Visual サーバーがポート *port2/tcp* を開くことができません (The *port1/tcp* IBM Security zSecure Visual server is unable to open port *port2/tcp*)

説明: クライアントとの通信のためにポート *port2/tcp* を開くことができないため、サーバーが停止しました。*port2/tcp* を開くことができない原因として考えられるものは、以下のとおりです。

- PORT ステートメントまたは PORTRANGE ステートメント内のジョブ名が一致しない
- ポートが SAF によって保護されている
- ポートが別のプロセス (既に実行中の別の Visual サーバー・プロセスなど) によって使用されている

Visual サーバーに関連する PORT(RANGE) ステートメントおよび SAF リソースについては、「インストールおよびデプロイメント・ガイド」の『TCP/IP セキュリティー』を参照してください。

C2RW012I スクリプト *script* の使用方法が無効です。 (Invalid use of the script *script*.) スクリプトはサーバー始動 JCL から呼び出される必要があります (The script should be called from the server-start JCL)

説明: スクリプト *script* には他のパラメーターが必要でした。スクリプトはサーバー始動 JCL から呼び出される必要がありました。

C2RW013I 証明書データベースが空です (The certificate database is empty)

説明: サーバーに必要な証明書が見つからなかったため、サーバーが停止しました。最も考えられる原因として、サーバー初期化 (ジョブ C2RZWINI) が正常に実行されていません。

ユーザーの処置: サーバーを停止して、ジョブ

C2RZWINI を実行または再実行し、サーバーが認証局として正常に初期化されたことを確認してください。

「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components インストールおよびデプロイメント・ガイド」の『サーバーの初めての始動』を参照してください。

C2RW014I アクティブなポート *port/tcp* zSecure Visual サーバーがありませんでした (No port *port/tcp* zSecure Visual server was active)

説明: アクティブな *port/tcp* サーバーが存在していな

いため、*port/tcp* サーバーを停止できませんでした。

C2RW015I ポート *port/tcp* zSecure Visual サーバーの *pid* を処理するために SIGTERM が送信されました (SIGTERM sent to process *pid* of the port *port/tcp* zSecure Visual server)

説明: *port/tcp* サーバーに対して停止を指示するシグナルが送信されました。

C2RW016I ポート *port/tcp* zSecure Visual サーバーは接続を受け入れる準備ができています (The port *port/tcp* zSecure Visual server is ready to accept connections)

説明: zSecure Visual クライアントはポート *port/tcp* サーバーに接続できます。

C2RW017I プログラム CKGRACF は APF を実行しません (Program CKGRACF does not run APF)

説明: CKGRACF が APF を実行しないため、サーバーは必要な CKGRACF 機能を使用できませんでした。このため、サーバーが停止しました。

C2RW018I zSecure セキュリティー検査のリソース・クラスを判別できません (The resource class for zSecure security checks cannot be determined)

説明: CKRSITE モジュールに、有効なセキュリティ・クラスが含まれていません。各種リソースへのユーザーのアクセス権限を判別するには、有効なクラスが必要です。CKRSITE モジュールについて詳しくは、「インストールおよびデプロイメント・ガイド」の『付録 A. サイト・モジュール』を参照してください。

第 13 章 C2X メッセージ

C2XACTV は、zSecure RACF Exit Activator プログラムです。このプログラムは、一部の RACF 出口に対する動的出口サポートを提供します。C2XACTV プログラムの主な目的は、以下のような各種 zSecure 製品で必要な出口のインストールです。

- IBM Security zSecure Admin and Audit
- IBM Security zSecure Alert

この章では、C2XACTV コンポーネントによって発行される C2X メッセージについて説明します。これらのメッセージには、C2XnnnnI、C2XnnnnI、または C2XnnnnE という形式のメッセージ接頭部が付きます。ここで、nnn または nnnn はメッセージ番号です。これらのメッセージの一部には、明示的な数値による重大度レベルが含まれています。メッセージ内では、この重大度レベルはメッセージ接頭部とメッセージ・テキストの間に表示されます。zSecure の重大度コードの一般的な意味は以下のとおりです。

- 00 状況または要約情報を示す通常のメッセージ、または決定事項を示すメッセージ。
- 04 一般的な警告。
- 08 エラー条件。
- 12 コマンド入力 of 構文エラー。
- 16 ライセンスの問題。
- 20 サポートされない条件 (例えば、セキュリティー・データベース内) が検出されました。
- 24 内部エラー、またはその他の予期しないサポートされない条件が検出されました。

ほとんどのメッセージでは、明示的な数値による重大度レベルが表示されませんが、メッセージ接尾部の最後の文字が重大度標識として使用されます。これらの重大度標識について、一般的な意味を次に示します。

- I 通知メッセージ。
- W 警告メッセージ。プログラムは続行しますが、エラーが発生しました。
- E エラー・メッセージ。プログラムは直ちに終了するか、または続行を試みません。
- S 重大なエラー・メッセージ。プログラムを続行できません。
- A アクション・メッセージ。状態を修正するには、オペレーターの操作が必要です。

C2X009I ライセンス先 *site-specific identification*
string 実行場所 *where CPU ID cpu-id*
(Licensed to *site-specific identification*)

string **Runs on where CPU-id cpu-id**)

説明: このメッセージは、サイト固有の識別ストリン

グ、CPU ID、関連する製品番号および製品名を示します。

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM 製品をご使用の場合、これは発行されてはならないメッセージです。このメッセージを z/VM から受け取った場合は、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 0

C2X0101I 既存の *Exitname* 出口ルーチンが存在しません。追加します (**No existing *Exitname* exit routine, add**)

説明: この進行メッセージは、RACF 出口 *exitname* に対して以前の出口ルーチンが存在しない場合に発行されます。

C2X0102E タスクは APF 許可されていません。終了します (**Task is not APF authorized, exit**)

説明: C2XACTV プログラムが機能を実行するためには、APF 許可が必要です。現行プログラムは APF 許可されていません。ライブラリーが APF 許可されていること、および、モジュールが AC=1 でリンクされていることを確認してください。

C2X0103E *class resource* に一致する RACF プロファイルがありません (**No matching RACF profile for *class resource***)

C2X0103E *class resource* への RACF アクセス権限が不十分です (**Insufficient RACF access to *class resource***)

説明: *class* リソース・クラス内のプロファイル *resource* への十分なアクセス権限がありません。RACF 出口用ストレージのアクティブ化、更新、非アクティブ化、またはリカバリーを行うには、*resource* への UPDATE アクセス権限が必要です。実行は終了します。Resource は C2X.common-exit-name で、common-exit-name は、例えば ICHPWX01 です。

C2X0104I *Exitname* 出口ルーターは既にアクティブ化されています。再使用します (***Exitname* exit router already activated, reuse**)

説明: この進行メッセージは、*exitname* に指定された RACF 出口点に対して以前の出口ルーチンが存在する場

合に発行されます。この出口ルーチンは、C2XACTV がインストールしたものと同一であると認識されました。ACTIVATE 関数は引き続き、出口環境の再作成と、すべての情報が正しいことの確認を行います。

C2X0105I 他の *Exitname* 出口ルーチンが見つかりました。挿入します (**Found other *Exitname* exit routine, insert**)

説明: この進行メッセージは、RACF 出口点 *exitname* に対して以前の出口ルーチンが存在する場合に発行されます。この出口ルーチンが、C2XACTV がインストールしようとしたものと異なっていることが検出されました。現行の出口ルーチンが、現行バージョンの動的出口サポート・ルーチンによって置き換えられます。現行の出口ルーチンはメイン機能出口ルーチンとして呼び出されます。

C2X0106E 出口ルーターを削除できません (**Exit router cannot be removed**)

説明: DEACTIVATE 要求が試みられましたが、DEACTIVATE 関数が実行できません。このメッセージの後に、この失敗の理由を示す 1 つ以上の C2X0137I メッセージが示されます。処理は、メッセージ C2X0150I によって示されるとおり、zSecure 機能出口ルーチン (サブ出口) の削除から続行されます。

C2X0107E 内部エラー。終了します (**Internal error, exit**)

説明: 内部整合性の問題が検出されました。動的出口点は定義されていますが、動的出口サポート・ルーチンがインストールされていません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0108I システム・ライブラリー内でモジュール *modname* が見つかりませんでした。**STEPLIB** を試行してください (**Could not locate module *modname* in system library, try STEPLIB**)

説明: この進行メッセージは、指定されたモジュールをどのシステム・ライブラリーからもロードできなかったことを示しています。処理は、STEPLIB からのモジュールのロードを続けます。

C2X0109E 既存の出口用の出口ルーチンを追加できませんでした (**Could not add exit routine for existing exit**)

説明: 既存の RACF 出口を検出した後で、出口モジュールをメイン機能出口ルーチンとして定義しようとして失敗しました。

C2X0111I モジュール *modname* を LINKLIST から LPA にロードしました (**Loaded module *modname* from LINKLIST into LPA**)

説明: この進行メッセージは、出口モジュールの新規コピーが PLPA ストレージ域に追加されたことを示します。

C2X0112E モジュール *modname* が見つかりませんでした (**Could not locate module *modname***)

説明: このエラー・メッセージは、必要なモジュールを STEPLIB からロードできなかったことを示します。

C2X0113E 無効な方式が指定されました。終了します (**Invalid method specified, exit**)

説明: 機能出口ルーチンを呼び出すために指定された方式は、サポートされていません。処理は停止しました。

C2X0114I 直接呼び出しは、出口 *exitname* についてサポートされていません。無視されます (**Direct call not supported for exit *exitname*; ignored**)

説明: 入力コマンドは、出口 *exitname* に DIRECT 呼び出し方式を使用する必要があることを指示します。DIRECT 呼び出し方式は、この出口にはサポートされていません。DIRECT 呼び出し方式を使用する要求は無視され、代わりに、デフォルトの出口呼び出し方式が使用されます。

C2X0115I 出口ルーチンはデモートされました。 *exitname* (**Exit router has been demoted: *exitname***)

説明: ACTIVATE 要求の間に、C2XACTV は、出口 *exitname* が既にインストールされているが、RCVT が zSecure 出口ルーター・モジュールを直接ポイントしなくなっていることを検出しました。 *exitname* の最後の ACTIVATE 以降に、別の製品によって RCVT が変更され、独自バージョンの RACF 出口がインストールされた可能性があります。

C2X0116I 出口 *exitname* 用に *mode* モードを使用中 (**Using *mode* mode for exit *exitname***)

説明: このメッセージは、*exitname* に使用される出口ルーターのタイプを示します。 *mode* で示される可能性がある値は、DIRECT および CSVDYNEX です。DIRECT は、出口ルーターがサブ出口への直接ブランチを出すことを意味します。CSVDYNEX は、サブ出口を呼び出すのに z/OS 動的出口サービスが使用されることを意味します。

C2X0117E 出口がまだアクティブです。まず非アクティブにしてください (**Exit still active, deactivate first**)

説明: RECOVER 要求が出されましたが、出口は現在、システム内でまだアクティブです。RECOVER 処理は、システムによってまだ使用される可能性があるモジュール用のストレージをリカバリーしません。出口ルーチンを DEACTIVATE してから、RECOVER 関数を再度実行してください。

C2X0118I モジュール *modname* を出口 *exitname* に追加しました (**Added module *modname* to exit *exitname***)

説明: この進行メッセージは、出口モジュールが所定の出口点に正常に関連付けられたことを報告するために発行されます。このメッセージは、モジュールが PLPA にプリロードされた場合に発行されます。

C2X0119I FORCE モード。続行します (**FORCE mode, continue**)

説明: この通知メッセージは、RECOVER 関数が FORCE オプションで開始された場合にメッセージ C2X0117E に続いて発行されます。FORCE オプションでは、追加の許可が必要です。FORCE オプションを指定する際には、細心の注意を払ってください。FORCE オプションの使用を間違えると、RECOVER FORCE 関数が使用される出口点に関連した後続の RACF イベントごとに異常終了になります。例えば、ICHRFX04 という名前の出口に RECOVER FORCE を使用した場合、後続の FASTAUTH 要求は失敗する可能性があります。

C2X0121E *modname* *exitname* に対してモジュール/出口が見つかりませんでした (**Could not locate Module/Exit for *modname* *exitname***)

説明: 出口点の DEACTIVATE 時に、出口点が定義されていないか、または出口点にモジュールが関連付けら

れていないことが検出されました。実行を継続します。

C2X0122E *exitname* の定義を解除できませんでした
(**Could not undefine *exitname***)

説明: 出口点の削除時に予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レポートには *retcode* 値を含めるようにしてください。

C2X0124I 出口 *exitname* からモジュール *modname* を削除しました (**Removed module *modname* from exit *exitname***)

説明: この進行メッセージは、出口点とそれに関連付けられたモジュールが正常に削除されたことを示します。このメッセージは、ACTIVATE の処理中に追加された出口ルーチンに適用されます。

C2X0125I 出口点 *exitname* が未定義です
(**Undefined exit point *exitname***)

説明: この進行メッセージは、出口 *exitname* の出口点がシステムから除去されたことを示しています。関連した出口ルーチンは使用されなくなりました。

C2X0126I モジュール *modname* のコピーを LPA から削除しました (**Removed copy of module *modname* from LPA**)

説明: この進行メッセージは、LPA 内で検出された、モジュール *modname* のすべての古い (未使用の) コピーに対して発行されます。 *modname* のコピーが複数存在する場合、このメッセージが複数回発行される可能性があります。メッセージ C2X0129I で示されているように、モジュールの現行の (アクティブな) コピーも削除される場合があります。

C2X0127E TSO 環境のセットアップ中にエラーが発生しました。RC=*retcode* (**Error during setup TSO environment, RC=*retcode***)

説明: 初期化時に予期しないエラーが発生しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。レポートには *retcode* 値を含めるようにしてください。

C2X0128E 出口点 *exitname* を定義できませんでした
(**Could not define exit point *exitname***)

説明: このエラー・メッセージは、出口点 *exitname* の定義時にエラーが発生した場合に発行されます。プログラムの戻りコードを含めてレポートを作成し、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0129I モジュール *modname* のコピーを LPA から削除しました (**Removed copy of module *modname* from LPA**)

説明: この進行メッセージは、LPA 内で検出されたモジュール *modname* の現行の (アクティブな) コピーに対して発行されます。メッセージ C2X0126I で示されているように、モジュールの古い (未使用の) コピーも削除される場合があります。

C2X0130I 出口点 *exitname* を定義しました
(**Defined exit point *exitname***)

説明: この進行メッセージは、出口点 *exitname* が正常に作成されたことを示すために発行されます。

C2X0131E SMF によるパスワード変更の取り込みが失敗しました (**Capture PASSWORD change via SMF failed**)

説明: このエラー・メッセージは、SMF レコードの作成時に予期しないエラーが発生した場合に、システム・コンソールに対して発行されます。このエラーは回避しなければなりません。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0132E C2XPRINT 出力ファイルがありません。終了します (**C2XPRINT output file missing, exit**)

説明: C2XPRINT 出力ファイルが必要です。しかし、このファイルが JCL から欠落しています。JCL にタイプ・エラーがないかどうかを確認してください。

C2X0133I **C2XIN** 入力ファイルが見つかりません。
処理を完了します (**C2XIN input file not found, processing complete**)

説明: C2XIN 入力ファイルが JCL に存在しません。パラメーターを使用して C2XACTV への入力を指定している場合、これは意図的な設定である可能性があります。この通知メッセージは、C2XIN 入力ファイルを DUMMY に割り振ることによって抑止できます。

C2X0136I *exitname* の NT は破棄されました
(**Destroyed NT for *exitname***)

説明: この進行メッセージは、DEACTIVATE 処理の終わりと、RECOVER FORCE 処理の始めに発行されます。これは、出口 *exitname* に関する情報を記録するのに使用された名前付きトークン (NT) が除去されたことを示しています。出口状況に関する情報は保持されません。

C2X0137I *Diagnostic_information*

説明: このメッセージは、メッセージ C2X0106E の続きです。診断情報を提供して、出口ルーター・モジュールを除去できなかった理由を判別するために、1 つ以上の C2X0137I メッセージが発行されます。

Diagnostic_information で示される可能性がある値は、以下のとおりです。

名前付きトークンが見つかりませんでした (**Named token not found**)

出口状況を判別するのに必要な名前付きトークンが見つかりませんでした。

RCV_ 内の出口ポインターは *address* です (**Exit pointer in RCV_ is *address***)

このメッセージは、出口ルーター・モジュールをポイントしている RACF 制御ブロックを示します。

使用しているコードへのポインターは *address* です (**Pointer to our code is *address***)

このメッセージは、名前付きトークンに保存されたとおりに出口ルーター・コードのロケーションを示します。

RCV_ 内の出口ポインターは *address* です (**Exit pointer in RCV_ was *address***)

このメッセージは、ACTIVATE を使用して出口がアクティブ化された時点での出口ルーチンの当初の値を示します。

見出しは *text* です (**Eyecatcher is *text***)

このメッセージは、出口ルーター・モジュールを識別する、ストレージで見つかったテキスト部分を示します。

予期される値は *text* です (**Expected value is *text***)
このメッセージは、出口ルーター・モジュール内にある、予期される見出しの値を示します。

C2X0138E NT の削除時にエラーが発生しました。
RC=retcode (Error during NT delete, RC=retcode)

説明: この状態は回避しなければなりません。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0139I *exitname* は *module_name* の「別名」として定義されました (**Defined *exitname* as "alias" of *module_name***)

説明: このメッセージは、名前 *exitname* が、モジュール *module_name* にポイントする動的 LPA モジュールとして追加されたことを示します。このアクションにより、出口のロケーションは確実に RACF 制御ブロック内の値と一致するようになります。

C2X0140E **C2XPRINT** 出力ファイルをオープンできません。終了します (**Cannot open C2XPRINT output file, exit**)

説明: C2XPRINT 出力ファイルが必要です。ファイルを開くときにエラーが発生しました。C2XPRINT は、LRECL が少なくとも 255 バイトである VB ファイルに割り振られるようにしてください。

C2X0141E **C2XIN** をオープンできません (**Cannot open C2XIN**)

説明: C2XIN ファイルの OPEN 時にエラーが発生しました。C2XIN ファイルは、LRECL が 80 である固定ブロック・ファイルに割り振られるようにしてください。

C2X0142I **C2XIN** ファイルの終わり (**End of C2XIN file**)

説明: この通知メッセージは、C2XIN ファイルの終わりに達したこと、および、これ以上のコマンドが処理されないことを示すために発行されます。

**C2X0143E C2XIN をクローズできませんでした
(Could not close C2XIN)**

説明: C2XIN 入力ファイルの CLOSE 時に予期しないエラーが発生しました。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

**C2X0144E パラメーターが無効です。SYSTSPRT を参照してください。Parse-RC=retcode
(Invalid parameter, see SYSTSPRT, Parse-RC=retcode)**

説明: DYNEXIT コマンドの一部として、無効なパラメーターまたはキーワードが検出されました。詳細なエラー・メッセージについては SYSTSPRT を、有効なコマンド構文については PARM または C2XIN ファイルを確認してください。

C2X0145E コマンドが認識されません (Command not recognized)

説明: PARM または C2XIN 入力ファイル内のコマンドを認識できません。

**C2X0146E コマンドが認識されません。
scancode=code (Command not recognized, scancode=code)**

説明: PARM または C2XIN によって渡されたコマンドの構文が有効ではありません。PARM または C2XIN 入力ファイルにタイプ・エラーがないかどうかを確認してください。

C2X0147I 入力: input command (Input: input command)

説明: このメッセージは、呼び出し PARM またはファイル C2XIN で指定されている *input command* を示します。

C2X0148I Exitname 出口ルーチンが見つかりました。更新します (Exitname exit routine found, refresh)

説明: この進行メッセージは、RACF 出口 *exitname* に対して以前の出口ルーチンが存在する場合に発行されます。既存の出口ルーチンは、以前に C2XACTV によってインストールされた動的出口サポート・ルーチンで

す。動的出口モジュールおよびサポート・ルーチンが更新されます。

**C2X0149E Exitname がインストールされていないため、更新できません。終了します
(Exitname not installed, cannot refresh, exit)**

説明: このエラー・メッセージは、RACF 出口 *exitname* に対して以前の出口ルーチンが存在する場合に発行されます。ただし、このルーチンは、以前に C2XACTV によってインストールされた動的出口サポート・ルーチンではありません。REFRESH 操作を実行できません。

C2X0150I サブ出口を削除します (Remove sub-exits)

説明: この通知メッセージは、機能サブ出口のみが削除されたことを示します。これは、出口ルーターの DEACTIVATE が可能でない場合に発行されます。最後の ACTIVATE 中に存在している元の RACF 出口がメインの機能出口として保持されます。zSecure 機能出口は、機能サブ出口として使用されなくなりました。

C2X0151E タスクは APF 許可されていません。終了します (Task is not APF authorized, exit)

説明: C2XPWX01 出口ルーチンは現在、許可された状態 (APF、キーが <8 未満、または監視プログラム状態) で呼び出されていません。この出口ルーチンは、許可がないと機能を実行できません。実行は終了します。

**C2X0152E 出口点 exitname を定義できませんでした
(Could not define exit point exitname)**

説明: このエラー・メッセージは、出口点 *exitname* の定義時にエラーが発生した場合に発行されます。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

**C2X0153E 出口 exitname の呼び出しに失敗しました。
(Failure during call to exit exitname)**

説明: このエラー・メッセージは、出口点 *exitname* と関連付けられたルーチンの呼び出し時にエラーが発生した場合に発行されます。

C2X0154E *exitname* の実行中に異常終了しました。
異常終了コード *abendcode* (**Abend
during *exitname*, abend code *abendcode***)

説明: 出口点 *exitname* と関連付けられたルーチンの実行中に異常終了が発生しました。これらの出口ルーチンは、出口処理の最初に呼び出されます。異常終了コードは *abendcode* です。システム・ログでこの異常終了に関連する追加メッセージを調べて、この問題を出口ルーチンのサプライヤーに報告してください。

C2X0155I 想定される戻りコードは 0 です (**Return
code zero assumed**)

説明: このメッセージは、メッセージ C2X0154E の続きです。出口モジュールは異常終了しましたが、モジュールから戻されるはずだった戻りコードは 0 (パスワードの変更は続行可能) です。

C2X0156E *exitname* の実行中に異常終了しました。
異常終了コード *abendcode* (**Abend
during *exitname*, abend code *abendcode***)

説明: 出口点 *exitname* と関連付けられたルーチンの実行中に異常終了が発生しました。通常、この出口ルーチンは、出口点の動的アクティベーションの前に既にアクティブになっている出口ルーチンです。異常終了コードは *abendcode* です。システム・ログでこの異常終了に関連する追加メッセージを調べて、この問題を出口ルーチンのサプライヤーに報告してください。

C2X0157I 想定される戻りコードは 0 です (**Return
code zero assumed**)

説明: このメッセージは、メッセージ C2X0156E の続きです。出口モジュールは異常終了しましたが、モジュールから戻されるはずだった戻りコードは 0 (パスワードの変更は続行可能) です。

C2X0158E 出口点 *exitname* を定義できませんでした
(**Could not define exit point *exitname***)

説明: このエラー・メッセージは、出口点 *exitname* の定義時にエラーが発生した場合に発行されます。

電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0159E 出口 *exitname* の呼び出しに失敗しました。
(**Failure during call to exit
*exitname***)

説明: このエラー・メッセージは、出口点 *exitname* と関連付けられたルーチンの呼び出し時にエラーが発生した場合に発行されます。

C2X0160E *exitname* の実行中に異常終了しました。
異常終了コード *abendcode* (**Abend
during *exitname*, abend code *abendcode***)

説明: 出口点 *exitname* と関連付けられたルーチンの実行中に異常終了が発生しました。これらの出口ルーチンは、出口処理の最後に呼び出されます。異常終了コードは *abendcode* です。システム・ログでこの異常終了に関連する追加メッセージを調べて、この問題を出口ルーチンのサプライヤーに報告してください。

C2X0161I 戻りコードは変更されません (**Return
code unchanged**)

説明: このメッセージは、メッセージ C2X0160E の続きです。出口モジュールは異常終了しましたが、モジュールから戻されるはずだった戻りコードは既存の戻りコードのまま (事前出口ルーチンおよびメイン出口ルーチンからの戻りコード) です。

C2X0162E RCVT が見つかりません。終了します
(**RCVT not found, exit**)

説明: 必要な RACF システム制御ブロックが見つかりませんでした。プログラムを続行できません。このメッセージは、非 RACF システムで発生する場合があります。大半の終了エラー・メッセージとは異なり、プログラムは RC=4 で終了します。

C2X0163E RACF RCVT が見つかりませんでした。
終了します (**No RACF RCVT found,
exit**)

説明: 必要な RACF システム制御ブロックに、必要な RACF ID が含まれていませんでした。プログラムを続行できません。このメッセージは、非 RACF システムで発生する場合があります。大半の終了エラー・メッセージとは異なり、プログラムは RC=4 で終了します。

C2X0164E RCVX が見つかりません。終了します
(**RCVX not found, exit**)

説明: 必要な RACF システム制御ブロックが見つかりませんでした。プログラムを続行できません。このメッセージは、非 RACF システムで発生する場合があります。

す。大半の終了エラー・メッセージとは異なり、プログラムは RC=4 で終了します。

C2X0165E **RACF RCVX** が見つかりませんでした。
終了します (**No RACF RCVX found, exit**)

説明: 必要な RACF システム制御ブロックに、必要な RACF ID が含まれていませんでした。プログラムを続行できません。このメッセージは、非 RACF システムで発生する場合があります。大半の終了エラー・メッセージとは異なり、プログラムは RC=4 で終了します。

C2X0166E 出口点 *exitname* を定義できませんでした
(**Could not define exit point *exitname***)

説明: このエラー・メッセージは、出口点 *exitname* の定義時にエラーが発生した場合に発行されます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0167E 出口 *exitname* の呼び出しに失敗しました。
(**Failure during call to exit *exitname***)

説明: このエラー・メッセージは、出口点 *exitname* と関連付けられたルーチンの呼び出し時にエラーが発生した場合に発行されます。

C2X0168E *exitname* が指定されていません。終了します (**No *exitname* specified, exit**)

説明: 動的出口の管理要求で、アクティブ化、非アクティブ化、または更新を行う対象の出口が指定されていませんでした。要求を実行できません。

C2X0169I *exitname* を *module_name* の「別名」として定義中にエラーが発生しました。
RC=retcode (Error defining *exitname* as "alias" of *module_name* , RC=retcode)

説明: 名前 *exitname* を、モジュール *module_name* にポイントする動的 LPA モジュールとして追加できませんでした。このアクションが失敗したために、DSMON など特定の監査プログラムがエラーを報告する可能性があります。

C2X0171I *exitname* の **DEACTIVATE** が要求されました (**DEACTIVATE *exitname* requested**)

説明: この進行メッセージは、出口 *exitname* に対する DEACTIVATE 要求が受信され、処理されようとしていることを示すために発行されます。

C2X0172I *exitname* の **ACTIVATE** が要求されました (**ACTIVATE *exitname* requested**)

説明: この進行メッセージは、出口 *exitname* に対する ACTIVATE 要求が受信され、処理されようとしていることを示すために発行されます。

C2X0173I *exitname* の **RECOVER** が要求されました (**RECOVER *exitname* requested**)

説明: この進行メッセージは、出口 *exitname* に対する RECOVER 要求が受信され、処理されようとしていることを示すために発行されます。

C2X0174I *exitname* の **REFRESH** が要求されました (**REFRESH *Exitname* requested**)

説明: この進行メッセージは、出口 *exitname* に対する REFRESH 要求が受信され、処理されようとしていることを示すために発行されます。

C2X0175I 別名 *exitname* を **LPA** から除去できませんでした (**Could not remove alias *exitname* from LPA**)

説明: ACTIVATE プロセスの一部として、動的にインストールされた出口ルーター・モジュールにポイントするように、*exitname* について別名が定義されています。DEACTIVATE 処理中に、この別名ポインターは除去されます。このメッセージは、別名の削除が失敗したことを示しています。

C2X0176I モジュール *module_name* を **LPA** から除去できませんでした (**Could not remove module *module_name* from LPA**)

説明: DEACTIVATE プロセスの一部として、いくつかのモジュールが動的 LPA から除去されます。このメッセージは、指示されたモジュールについて、このステップが失敗したことを示しています。

C2X0177I *exitname* の NT は更新されました
(Updated NT for *exitname*)

説明: この進行メッセージは、*exitname* の既存の名前トークンが、出口モジュールの現在の状況とロケーションを反映するように更新されたことを示しています。

C2X0178I *exitname* のリカバリーの終了 (End of
recover for *exitname*)

説明: この進行メッセージは、出口 *exitname* についての処理が完了したことを示すために、RECOVER 処理の終わりに発行されます。

C2X0181I *modname* の CSVDYLPA ADD から戻り
コードが戻されました。
**RC=retcode-reascode (Return code from
CSVDYLPA ADD for *modname*.
RC=retcode-reascode)**

説明: このメッセージは、動的 LPA サービス・ルーチンの呼び出しが失敗した場合に発行されます。サービス・ルーチンは、モジュール *modname* を追加できませんでした。このメッセージ・テキストには、戻りコードと理由コードが含まれています。最も一般的な戻りコードと理由コードの組み合わせは 4-401 です。これは、モジュール *modname* が見つからなかったことを示します。多くの場合、モジュール *modname* を別のライブラリーに配置することによってプログラムをリカバリーできます。その場合、このメッセージの後にメッセージ C2X0137I および C2X014I が続きます。リカバリーが失敗した場合は、このメッセージの後にメッセージ C2X0115E が続きます。

C2X0182I *modname* の CSVDYLPA ADD から戻り
コードが戻されました。
**RC=retcode-reascode (Return code from
CSVDYLPA ADD for *modname*.
RC=retcode-reascode)**

説明: このメッセージは、動的 LPA サービス・ルーチンの呼び出しが失敗した場合に発行されます。サービス・ルーチンは、以前に追加された LPA モジュールに別名 *modname* を追加できませんでした。このメッセージ・テキストには、戻りコードと理由コードが含まれています。処理は続行されますが、他のシステム・コンポーネントがモジュール *modname* の不整合を報告する可能性があります。

C2X0183I *modname* の CSVDYLPA DELETE
OLDEST から戻りコードが戻されました。
**RC=retcode-reascode (Return code
from CSVDYLPA DELETE OLDEST
for *modname*. RC=retcode-reascode)**

説明: このメッセージは、動的 LPA サービス・ルーチンの呼び出しが失敗した場合に発行されます。サービス・ルーチンは、最も古いバージョンのモジュール *modname* を LPA から削除できませんでした。このメッセージ・テキストには、戻りコードと理由コードが含まれています。最も一般的な戻りコードと理由コードの組み合わせは 4-401 です。これは、モジュール *modname* が LPA 内に存在しないか、または単一コピー (現行バージョン) のみが存在することを示します。DYNEXIT RECOVER コマンドの実行中に、最も古いバージョンの *modname* がすべて削除されていると、このメッセージが発行されます。

C2X0184I *modname* の CSVDYLPA DELETE
CURRENT から戻りコードが戻されました。
**RC=retcode-reascode (Return code
from CSVDYLPA DELETE CURRENT
for *modname*. RC=retcode-reascode)**

説明: このメッセージは、動的 LPA サービス・ルーチンの呼び出しが失敗した場合に発行されます。サービス・ルーチンは、現行バージョンのモジュール *modname* を LPA から削除できませんでした。このメッセージ・テキストには、戻りコードと理由コードが含まれています。最も一般的な戻りコードと理由コードの組み合わせは 4-401 です。これは、モジュール *modname* が LPA 内に存在しないことを示します。DYNEXIT RECOVER コマンドの実行中に、現行バージョンの *modname* がすべて削除されていると、このメッセージが発行されます。

C2X0185I LPA からの既存の *module_name* を使用
します (Use existing *module_name* from
LPA)

説明: zSecure 出口アクティベーターは、既にストレージに入っている既存のモジュールを使用しようとしています。この通知メッセージは、必要な *module_name* モジュールが LPA 内にいることが検出され、動的 LPA にロードして追加する必要がないことを示しています。

C2X0186I サブ出口への参照が削除されました
(Removed references to sub-exits)

説明: このメッセージは、機能サブ出口ルーチンが使用されなくなったことを示すために、DEACTIVATE 処理の一部として発行されます。

C2X0187E **LPA** からのモジュール *module_name* を使用中にエラーが発生しました。終了します (**Error using module *module_name* from LPA, exit**)

説明: 機能サブ出口として使用されるアクティブ LPA からのモジュール *module_name* の追加が失敗しました。ACTIVATE プロセスは停止しました。

C2X0188I 別名モジュール *exitname* が **LPA** から削除されました (**Removed alias module *exitname* from LPA**)

説明: ACTIVATE プロセスの一部として、動的にインストールされた出口ルーター・モジュールにポイントするように、*exitname* について別名が定義されています。DEACTIVATE 処理中に、この別名ポインターは除去されます。このメッセージは、別名の削除が正常に実行されたことを示しています。

C2X0190I **RCV_** 内の *exitname* のポインターを置き換えました (**Replaced *exitname* pointer in RCV_**)

説明: この進行メッセージは、RACF 制御ブロック内の出口 *exitname* を指すポインターが、出口ルーチンの現行エントリー・ポイントで更新されたことを示します。

C2X0191I **RCV_** 内の *exitname* のポインターをリセットしました (**Reset *exitname* pointer in RCV_**)

説明: この進行メッセージは、RACF 制御ブロック内の出口 *exitname* を指すポインターが、ACTIVATE 関数を最初に実行する前の値にリセットされたことを示します。

C2X0197E 内部エラー。終了します (**Internal error, exit**)

説明: この状態は回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0198E **RCV_** を更新できませんでした (**Could not update RCV_**)

説明: このエラー・メッセージは内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセ

ージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X0199E **RCV_** を更新できませんでした (**Could not update RCV_**)

説明: このエラー・メッセージは内部エラーを示します。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C2X795I サポートされない呼び出しタイプ (**Unsupported call type**)

説明: このメッセージは、内部 API の不一致を示します。zSecure RACF Exit Activator が正常にインストールされたことを確認してください。

重大度: 16

C2X796I 内部のバージョンの不一致 (**Internal version mismatch**)

説明: このメッセージは、内部 API の不一致を示します。zSecure RACF Exit Activator が正常にインストールされたことを確認してください。

重大度: 16

C2X797I 内部の長さの不一致 (**Internal length mismatch**)

説明: このメッセージは、内部 API の不一致を示します。zSecure RACF Exit Activator が正常にインストールされたことを確認してください。

重大度: 16

C2X798I **RACF** 出口アクティベーターが有効化されました。**SAF** クラス *class* を使用しています (**RACF exit activator enabled, using SAF class *class***)

説明: このメッセージは、zSecure RACF Exit Activator が有効化され、機能チェックに SAF クラス *class* を使用することを示します。

重大度: 0

C2X799I **zSecure RACF Exit Activator** には、製品コード **AUDITRACF**、**ALERTRACF**、または **TCIMRACF** が必要です (**zSecure RACF Exit Activator requires a product code AUDITRACF, ALERTRACF, or TCIMRACF**)

説明: このメッセージは、zSecure RACF Exit Activator のソフトウェア前提条件が IFAPRDxx にインストールされていないか、または使用不可にされていることを示します。IBM Security zSecure Audit、または Alert のいずれかの RACF 機能が存在している必要があります。

重大度: 16

C2X874I **RECFM=V(BS) RDW** *hex* が、レコード *n ddname volser dsname* で **LRECL=lrecl** を超えています (**RECFM=V(BS) RDW hex exceeds LRECL=lrecl at record n ddname volser dsname**)

説明: このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なレコード内容を示します。レコード記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。レコード記述子ワード (RDW) は 16 進数で示されます。先頭の 2 バイトは、RDW を含むレコード長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

C2X875I **RECFM=V(BS) BDW** *hex* が、レコード *n ddname volser dsname* で **BLKSIZE=blksize** を超えています (**RECFM=V(BS) BDW hex exceeds BLKSIZE=blksize at record n ddname volser dsname**)

説明: このメッセージは、RECFM=V(B)(S) データ・センターの無効なブロック内容を示します。ブロック記述子ワードが DCB パラメーターに一致しません。ブロック記述子ワード (BDW) は 16 進数で示されます。上位ビットがあり、それが 4 バイト長の大きさのブロックである可能性がある場合を除き、先頭の 2 バイトは BDW を含むブロック長です。これはファイルの終わり条件として処理されます。空のデータ・セットを検出する、あるいは続行が必要になる可能性があるプロセスを避けるために、重大度は 4 となっています。

ユーザーの処置: データ・セットを再作成するか、もしくは入力からデータ・セットを削除してください。

重大度: 04

C2X915I **UNIX** レコード *nn* 書き込み失敗 **RC nn** [*meaning*] 理由 *qqqq rrrrx* [*meaning*] ファイル *ddname path* (**UNIX write record nn failed RC nn** [*meaning*] **reason** *qqqq rrrrx* [*meaning*] **file** *ddname path*)

説明: このメッセージは、BPX1WRV 呼び出しが示された戻りコード (10 進数) で失敗したこと、および、理由コードが、理由コード修飾子 *qqqq* および理由コード *rrrx* (ともに 16 進数) に分割されたことを示します。既知の戻りコードおよび理由コードの場合、数値の後に説明のストリングが続きます。その他の戻りコードおよび理由コードを参照するには、IBM Unix System Services のマニュアルを使用してください。

重大度: 16

C2X919I 負の長さ *length* のレコードが *ddname* のレコード *recno* の後ろに送信されました (**Record with negative length length directed to ddname behind record recno**)

説明: 無効なレコードが出力ルーチンに渡されました。代わりに空のレコードが書き込まれました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 24

C2X924I **DD** *ddname* **DSN** *dsn* の無効なブロック・サイズ: *blksize* (**DD ddname DSN dsn invalid block size: blksize**)

説明: *ddname* が正常に OPEN された後、その DCB は、*ddname* が DUMMY デバイスである場合以外は正の値のブロック・サイズを示している必要があります。

重大度: 16

C2X925I メンバー *member* **DDname** *ddname* **DSname** *dsn* 問題記述 (**Member member DDname ddname DSname dsn Problem description**)

説明: プログラムは示されたメンバーを見つけようとしたとき、FIND SVC からゼロ以外の戻りコードを受け

取りました。2 行目の問題記述に、問題の正しい性質が説明されます。

重大度: 16

C2X942I 製品コード *code* の環境が一致しません
(**Environment mismatch for product
code *code***)

説明: このメッセージは、識別された製品コードを示す *code* がインストールされたが、それが適切な環境で稼働していないことを示します。例えば、製品コードの中には、z/OS 下の UNIX タスクのみ、z/OS 下の 非 UNIX タスクのみ、および z/VM のみに限定されるものがあります。

重大度: 0

C2X948I 製品コード *code* の使用可能化情報が壊れています (**Enablement information
corrupt for product code *code***)

説明: このメッセージは、製品のインストールまたはライセンスに問題があることを示します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、インストールが正常に行われたことを確認してください。

重大度: 16

C2X949I 製品コード *code* がインストールされましたが、非 **APF** 登録の制限を超えました
(**Product code *code* installed and
non-APF registration limit exceeded**)

説明: このメッセージは、非 **APF** プログラムによる製品登録の **MVS** 制限を超えたため、インストール済みの製品を登録できない場合に発行されます。

重大度: 0

C2X950I 製品コード *code* のコードはインストールされていません (**Code not installed
here for product code *code***)

説明: このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしていることを示します。

重大度: 16

C2X955I ストレージ要求エラー: サイズが正の値ではありません (**STORAGE REQUEST
ERROR: SIZE NOT POSITIVE**)

説明: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッ

セージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

C2X968I **IFAEDDRG** が失敗しました **RC *nn* (10
進数) (IFAEDDRG failed RC *nn*
decimal)**

説明: このメッセージは、以前に登録済みの製品の登録が失敗したことを示します。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

C2X969I *dsn* の入出力エラー: *description* (**I/O
error for *dsn*: *description***)

説明: このメッセージは、*dsn* についての通常の **QSAM** または **BSAM** 入力処理中に入出力エラーが発生したことを示します。命令は続行されますが、入出力エラーによって情報が失われることから異常終了またはその他のエラー・メッセージが後に続く場合があります。

重大度: 8

C2X970I フリー・ストレージ・エラー: *description*
(**FREE STORAGE ERROR: *description***)

説明: このメッセージは内部メモリー管理エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

C2X972I *product* の使用可能化情報がありません
(**Enablement information missing for
*product***)

説明: このメッセージは、ロード・モジュールが完全でないために製品が稼働できないことを示します。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに連絡して、製品のインストールを完了させるように依頼してください。

重大度: 16

C2X973I IBM セキュリティー製品コード *code* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product code code disabled or not installed**)

説明: このメッセージは、ユーザーがインストールされていない製品の機能を実行しようとしているか、または製品がこのシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できないことを示します。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

C2X974I IBM セキュリティー *product* が要求されたフォーカスに対して使用不可になっているか、ここではインストールされていません (**IBM Security product disabled or not installed here for requested focus**)

説明: 製品がインストールされていないか、または要求されたフォーカスが、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

C2X975I IBM セキュリティー *product* が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product disabled or not installed**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

C2X976I *product* 製品または機能のコードまたは使用可能化が使用不可になっているか、インストールされていません (**Code or enablement for product product or feature disabled or not installed here**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

C2X976I IBM セキュリティー *product* 製品または機能が使用不可になっているか、インストールされていません (**IBM Security product product or feature disabled or not installed here**)

説明: 製品がインストールされていないか、または製品が現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名では使用できません。

ユーザーの処置: z/OS PARMLIB 内でアクティブな IFAPRDxx メンバーの使用可能化情報を確認してください。メンバーが正しく指定されている場合は、システム・プログラマーに連絡して、インストール済み環境の確認を依頼してください。

重大度: 16

C2X977I 製品所有者('IBM CORP') ID(*id*) 名前 ('*name*') 機能(''*feature*'') バージョン (*version*) リリース (*release*) 変更 (*modification*) がインストール済みです (**Installed PRODUCT OWNER('IBM CORP') ID(*id*) NAME(''*name*'') FEATURE(''*feature*'') VER(*version*) REL(*release*) MOD(*modification*)**)
[製品状況 RC *rc* 10 進数] ([**Product status RC *rc* decimal**])

説明: このメッセージは、インストール済みの製品の DEBUG に応答して発行されます。戻りコードは IFAEDSTA に対するもので、「MVS プログラミング: プロダクト登録」に記載されています。製品登録の照会

が適用されない場合は継続行が表示されません (例えば、C2X979I のため)。

重大度: 0

C2X978I 製品コード *code* が PARMLIB で無効化されました (**Product code code has been disabled in PARMLIB**)

説明: このメッセージは、z/OS PARMLIB 内の IFAPRDxx の項目によって、現在のシステム名、シスプレックス名、LPAR 名、VM ユーザー ID、またはハードウェア名に対して製品が無効になっている場合に発行されます。

IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM 製品をご使用の場合、これは発行されてはならないメッセージです。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

ユーザーの処置: 製品を他の場所で実行するか、システム・プログラマーに使用可能化を依頼してください。

重大度: 0

C2X979I 製品コード *code* は他の製品によって暗黙に指定されています (**Product code code implied by other**)

説明: このメッセージは、製品ライセンスがより包括的なライセンスによって暗黙的に与えられているため、その製品が登録されない場合に発行されます。

重大度: 0

C2X992I ABNEXIT/STXIT/ESTAE 戻りコード *rc* (ABNEXIT/STXIT/ESTAE return code *rc*)

説明: このメッセージは、プログラムが異常終了リンケージの確立に失敗したことを示します。

重大度: 4

C2X993I 異常終了 *xxx* のために診断ダンプが抑止されました (**DIAGNOSTIC DUMP SUPPRESSED FOR ABEND**)

説明: このメッセージは、プログラムの異常終了出口により診断要約ダンプの作成が試行されなかったことを示します。これは、印刷ファイルに関連する再帰的な異常終了状態を防ぐ目的で行われます。

C2X994I 最終レコードがファイルの終わりで切り捨てられました。 *ddname* (**Last record truncated by end-of-file *ddname***)

説明: このメッセージは、複数セグメントのレコードの途中で RECFM=VBS 入力ファイルの終わりに達したことを示します。

重大度: 16

C2X995I LRECL が無効です。区分データ・セットであるため置き換えられませんでした (**LRECL invalid; not overruled because partitioned data set**)

説明: このメッセージは、印刷ファイルのオープン・ルーチンによって検出された出力ファイルのレコード長が無効だったことを示します。これは、物理的順次データ・セットの正しい長さによって変更されるはずでしたが、既存の PDS メンバーをアクセス不能にすることがないように、区分データ・セットに対して変更は行われませんでした。無効なレコード長が原因で、この後に 013 または 002 の異常終了が発生する可能性があります。

C2X996I MFREE: スタック *name* のブロック内で長さが見つかりません (**MFREE: NO LENGTH FOUND IN BLOCK FOR STACK *name***)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 4

C2X997I スタック・エラー - ポップされたエレメントがスタック *name* の最上部にありません (**STACK ERROR - ELEMENT POPPED IS NOT ON TOP OF STACK *name***)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

C2X998I スタック *name* のスタック・オーバーフロー (STACK OVERFLOW FOR STACK *name*)

説明: このメッセージは内部スタック・エラーを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

重大度: 16

C2X999I ヒープ *name* の GETMAIN が失敗しました - 領域を増やしてください (GETMAIN FAILED FOR HEAP *name* - INCREASE REGION)

説明: このメッセージは、プログラムに追加のストレージが必要であることを示します。このメッセージの後、ユーザー異常終了 16 が続きます。ヒープ名が LOWHEAP または SYSSTACK の場合、この要求は 16 MB ラインより下のストレージに対して出されます。この名前が MAINHEAP の場合、この要求はあらゆる場所のストレージに対して出されます。

重大度: 16

第 14 章 C4R メッセージ

この章には、zSecure Command Verifier により発行されるメッセージがリストされています。各メッセージの接頭部の形式は C4RnnnX です。この nnn はメッセージ番号、X は重大度を示す指標です。IBM Security zSecure Admin または IBM Security zSecure Visual のコンテキストでは、一部の C4R エラー・メッセージが CKGRACF により発行される可能性がある点に注意してください。これらの重大度標識について、一般的な意味を次に示します。

- I 通知メッセージ。
- W 警告メッセージ。プログラムは続行しますが、エラーが発生しました。
- E エラー・メッセージ。プログラムは直ちに終了するか、または続行を試みます。
- S 重大なエラー・メッセージ。プログラムを続行できません。

メッセージ 0 から 399

C4R000I 不明なメッセージ。(Unknown message.)

説明: これは内部エラーです。存在しないメッセージ番号がメッセージ・ルーチンに渡されました。

モジュール: C4RMSG

C4R001-C4R099 将来使用するために予約済みです。 (Reserved for future use)

説明: このエラー・メッセージは、zSecure Command Verifier で将来使用するために予約済みです。

C4R100-C4R199 ユーザー・プロファイルに関連する Command Verifier 出口ルーチンで使用 するために予約済みです。(Reserved for use by user profile related Command Verifier exit routines.)

説明: これらのエラー・メッセージは、ユーザー・プロファイルに関連する zSecure Command Verifier 出口ルーチン (C4RXUSR) で使用するために予約されています。

C4R200-C4R299 グループ・プロファイルに関連する Command Verifier 出口ルーチンで使用 するために予約済みです。(Reserved for use by group profile related Command Verifier exit routines.)

説明: これらのエラー・メッセージは、グループ・プロ

ファイルに関連する zSecure Command Verifier 出口ルーチン (C4RXGRP) で使用するために予約されています。

C4R300-C4R399 リソース・プロファイルに関連する Command Verifier 出口ルーチンで使用 するために予約済みです。(Reserved for use by resource profile related Command Verifier exit routines.)

説明: このエラー・メッセージは、リソース・プロファイルに関連する zSecure Command Verifier 出口ルーチン (C4RXRES) で使用するために予約されています。

メッセージ 400 から 499

C4R410E 命名規則ではユーザー ID *userid* は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Userid *userid* not allowed in naming conventions, command terminated)**

説明: このエラー・メッセージは、=RACUID(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R411E 命名規則ではユーザー ID *userid* は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Userid *userid* not allowed in naming conventions, command terminated)**

説明: このエラー・メッセージは、=RACGPID(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R412E 命名規則ではユーザー ID *userid* は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Userid *userid* not allowed in naming conventions, command terminated)**

説明: このエラー・メッセージは、USERID の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R413E ユーザー *userid* に PWFALLBACK を設定することはできません。コマンドが終了しました **(Not allowed to set PWFALLBACK for user *userid*, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、示された *userid* に対して PWFALLBACK を指定する権限がありません。

C4R414E ユーザー *userid* に NOPWFALLBACK を設定することはできません。コマンドが終了しました **(Not allowed to set NOPWFALLBACK for user *userid*, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、示された *userid* に対して NOFALLBACK を指定する権限がありません。

C4R415E ユーザー *userid* に対するファクター *factor-name* を管理することはできません。コマンドが終了しました **(Not allowed to manage factor *factor-name* for user *userid*, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、示された *userid* に対するファクター *factor-name* を追加、変更、または削除する権限がありません。

C4R416E ファクター *factor-name* のアクティブ状況を変更することはできません。コマンドが終了しました **(Not allowed to change active status of factor *factor-name*, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ファクター *factor-name* のアクティブ状況または非アクティブ状況を変更する権限がありません。

C4R417E ファクター *factor-name* のタグ *tag-name* を変更することはできません。コマンドが終了しました **(Not allowed to change tag *tag-name* of factor *factor-name*, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ファクター *factor-name* のタグ *tag-name* のタグ値を変更する権限がありません。

C4R418E ファクター *factor-name* のタグ *tag-name* を削除することはできません。コマンドが終了しました **(Not allowed to remove tag *tag-name* of factor *factor-name*, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ファクター *factor-name* のタグ *tag-name* を削除する権限がありません。

C4R419E ファクター *factor-name* のすべてのタグを削除することはできません。コマンドが終了しました **(Not allowed to remove all tags of factor *factor-name*, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ファクター *factor-name* のすべてのタグを削除する権限がありません。

C4R420E ユーザー ID *userid* は削除できません。コマンドが終了しました。**(Userid *userid* may not be deleted, command terminated)**

説明: このエラー・メッセージは、USERID の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R421E ユーザーID *userid* は削除できません。コマンドが終了しました。(**Userid *userid* may not be deleted, command terminated**)

説明: このエラー・メッセージは、USERID 値が一致し、端末ユーザーに READ アクセス権限が付与されているが、システム SPECIAL 属性がない場合に発行されます。

C4R422E ユーザー *userid* に対するポリシー *policy-name* を管理することはできません。コマンドが終了しました (**Not allowed to manage policy *policy-name* for user *userid*, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、ユーザー *userid* に対する MFA ポリシーのリスト内のポリシー *policy-name* を追加または削除する権限がありません。ユーザー・プロファイルは変更されません。

C4R423E MFADEF プロファイル *profile-name* に対する TOKENTIMEOUT を設定することはできません。コマンドが終了しました (**Not allowed to set tokentimeout for MFADEF profile *profile-name*, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、MFADEF プロファイル *profile-name* 内の TOKENTIMEOUT 値を設定または再設定する権限がありません。MFA ポリシー・プロファイルは変更されません。

C4R424E MFADEF プロファイル *profile-name* に対する REUSE 値を設定することはできません。コマンドが終了しました (**Not allowed to set reuse value for MFADEF profile *profile-name*, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、MFADEF プロファイル *profile-name* 内の REUSE 属性を設定する権限がありません。MFA ポリシー・プロファイルは変更されません。

C4R425E MFADEF プロファイル *profile-name* に対するファクター *factor-name* を管理することはできません。コマンドが終了しました (**Not allowed to manage factor *factor-name* for MFADEF profile *profile-name*, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、MFA ポリシー *profile-name* に対するファクターのリスト内のファクター *factor-name* を追加または削除する権限がありません。MFA ポリシー・プロファイルは変更されません。

C4R430E ユーザー自身の OWNER を検出できませんでした。コマンドが終了しました。(**Could not find my own OWNER, command terminated**)

説明: このエラー・メッセージは、端末ユーザーの OWNER が既存の USERID または GROUP でなく、Mandatory Value ポリシー・プロファイルで DFLTGRP が端末ユーザーの OWNER と同じでなければならないことが指定されている場合に発行されます。

C4R431E DFLTGRP のデフォルト値の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。(**Use of default value for DFLTGRP not allowed, command terminated**)

説明: このエラー・メッセージは、端末ユーザーに、一致する /DFLTGRP プロファイルへの十分なアクセス権限がない場合に発行されます。

C4R432E ユーザー自身の OWNER を検出できませんでした。コマンドが終了しました。(**Could not find my own OWNER, command terminated**)

説明: このエラー・メッセージは、端末ユーザーの OWNER が既存の USERID または GROUP でなく、Default Value ポリシーにより、DFLTGRP が端末ユーザーの OWNER と同じでなければならないことが指定されている場合に発行されます。

C4R440E DFLTGRP(*dfltgrp*) の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (**Use of DFLTGRP(*dfltgrp*) not allowed, command terminated**)

説明: このエラー・メッセージは、=RACUID(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R441E **DFLTGRP(*dfltgrp*)** の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (**Use of DFLTGRP(*dfltgrp*) not allowed, command terminated**)

説明: このエラー・メッセージは、=RACGPID(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R442E **DFLTGRP(*dfltgrp*)** の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (**Use of DFLTGRP(*dfltgrp*) not allowed, command terminated**)

説明: このエラー・メッセージは、=USERID(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R443E **DFLTGRP(*dfltgrp*)** の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (**Use of DFLTGRP(*dfltgrp*) not allowed, command terminated**)

説明: このエラー・メッセージは、DFLTGRP.USERID の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R444E **DFLTGRP *dfltgrp*** は有効範囲外にあります。コマンドが終了しました。
(**DFLTGRP *dfltgrp* is outside your scope, command terminated**)

説明: /SCOPE ポリシーにより、端末ユーザーの有効範囲内がない DFLTGRP の使用が禁止されています。

C4R445E **SUPGROUP *supgroup*** の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。
(**Use of SUPGROUP *supgroup* not allowed, command terminated**)

説明: このエラー・メッセージは、=RACUID(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R446E **SUPGROUP *supgroup*** の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。
(**Use of SUPGROUP *supgroup* not allowed, command terminated**)

説明: このエラー・メッセージは、=RACGPID(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R447E **SUPGROUP *supgroup*** の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。
(**Use of SUPGROUP *supgroup* not allowed, command terminated**)

説明: このエラー・メッセージは、=GROUP(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R448E **SUPGROUP *supgroup*** の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。
(**Use of SUPGROUP *supgroup* not allowed, command terminated**)

説明: このエラー・メッセージは、SUPGRP.GROUP の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R449E **SUPGROUP *supgroup*** は有効範囲外にあります。コマンドが終了しました。
(**SUPGROUP *supgroup* is outside your scope, command terminated**)

説明: /SCOPE ポリシーにより、端末ユーザーの有効範囲内がない SUPGROUP の使用が禁止されています。

C4R450E **DFLTGRP** は **OWNER** と同じでなければなりません。コマンドが終了しました。
(**DFLTGRP must be same as OWNER, command terminated**)

説明: DFLTGRP./OWNER プロファイルにより、OWNER と異なるデフォルト GROUP を割り当てることが禁じられていました。ALTUSER コマンドの結果としてこのメッセージが発生した場合は、同じコマンド内の OWNER と DFLTGRP を変更してください。

C4R451E **OWNER** は **DFLTGRP** と同じでなければなりません。コマンドが終了しました。
(**OWNER must be same as DFLTGRP, command terminated**)

説明: OWNER./DFLTGRP プロファイルにより、デフォルト GROUP と異なる OWNER を割り当てることが禁じられていました。ALTUSER コマンドの結果としてこのメッセージが発生した場合は、同じコマンド内の OWNER と DFLTGRP を変更してください。

C4R452E 新規 **OWNER** *owner* は有効範囲外にあります。コマンドが終了しました。**(New OWNER owner is outside your scope, command terminated)**

説明: /SCOPE ポリシーにより、端末ユーザーの有効範囲内にない **OWNER** の使用が禁止されています。

C4R453E 新規 **OWNER** *owner* がグループではありません。コマンドが終了しました。**(New OWNER owner is not a group, command terminated)**

説明: /GROUP ポリシーにより、既存の **RACF GROUP** ではない **OWNER** の使用が禁じられていました。

C4R454E **Supgroup** は **OWNER** と同じでなければなりません。コマンドが終了しました。**(Supgroup must be same as OWNER, command terminated)**

説明: **SUPGROUP./OWNER** プロファイルにより、**OWNER** と異なる **SUPGROUP** を割り当てることが禁じられていました。**ALTGROUP** コマンドの結果としてこのメッセージが発生した場合は、同じコマンド内の **OWNER** と **SUPGROUP** を変更してください。

C4R455E **OWNER** は **Supgroup** と同じでなければなりません。コマンドが終了しました。**(OWNER must be same as Supgroup, command terminated)**

説明: **OWNER./SUPGRP** プロファイルにより、上位 **GROUP** と異なる **OWNER** を割り当てることが禁じられていました。**ALTGROUP** コマンドの結果としてこのメッセージが発生した場合は、同じコマンド内の **OWNER** と **SUPGROUP** を変更してください。

C4R460E 所有者と **Dfltgrp** が相互を参照しています。コマンドが終了しました。**(Owner and Dfltgrp refer to each other, command terminated)**

説明: **OWNER** の必須値が **DFLTGRP** 値から取得されることが指定されていましたが、**DFLTGRP** の必須値またはデフォルト値は **OWNER** から取得される必要があります。これは循環定義です。

C4R461E ユーザー自身の **OWNER** を検出できませんでした。コマンドが終了しました。**(Could not find my own OWNER, command terminated)**

説明: このエラー・メッセージは、端末ユーザーの **OWNER** が既存の **USERID** または **GROUP** でなく、**Mandatory Value** ポリシー・プロファイルで **OWNER** が端末ユーザーの **OWNER** と同じでなければならないことが指定されている場合に発行されます。

C4R462E 所有者と **Dfltgrp** が相互を参照しています。コマンドが終了しました。**(Owner and Dfltgrp refer to each other, command terminated)**

説明: **OWNER** のデフォルト値が **DFLTGRP** 値から取得されるように指定されていましたが、**DFLTGRP** の必須値またはデフォルト値は **OWNER** から取得される必要があります。これは循環定義です。

C4R463E ユーザー自身の **OWNER** を検出できませんでした。コマンドが終了しました。**(Could not find my own OWNER, command terminated)**

説明: このエラー・メッセージは、端末ユーザーの **OWNER** が既存の **USERID** または **GROUP** ではなく、**Default Value** ポリシーにより、**OWNER** が端末ユーザーの **OWNER** と同じでなければならないことが指定されている場合に発行されます。

C4R464E **OWNER** のデフォルト値の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Use of default value for OWNER not allowed, command terminated)**

説明: このエラー・メッセージは、端末ユーザーに、一致する **/OWNER** ポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権限がない場合に発行されます。

C4R470E **OWNER(owner)** の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Use of OWNER(owner) not allowed, command terminated)**

説明: このエラー・メッセージは、**=RACUID(n)** の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が **NONE** の場合に発行されます。

C4R471E **OWNER(owner)** の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (**Use of OWNER(owner) not allowed, command terminated**)

説明: このエラー・メッセージは、=RACGPID(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R472E **OWNER(owner)** の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (**Use of OWNER(owner) not allowed, command terminated**)

説明: このエラー・メッセージは、=USERID(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R473E **OWNER(owner)** の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (**Use of OWNER(owner) not allowed, command terminated**)

説明: このエラー・メッセージは、OWNER.USERID の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R479E フレーズ管理は許可されていません。コマンドが終了しました。(**Phrase management not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、この USERID の PHRASE を変更または設定する権限がありません。

C4R480E **Special** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**Special attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、SPECIAL 属性を USERID に割り当てる権限がありません。

C4R481E **NoSpecial** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**NoSpecial attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、USERID から SPECIAL 属性を削除する権限がありません。

C4R482E **Operations** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**Operations attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、OPERATIONS 属性を USERID に割り当てる権限がありません。

C4R483E **NoOperations** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**NoOperations attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、USERID から OPERATIONS 属性を削除する権限がありません。

C4R484E **Auditor** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**Auditor attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、AUDITOR 属性を USERID に割り当てる権限がありません。

C4R485E **NoAuditor** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**NoAuditor attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、USERID から AUDITOR 属性を削除する権限がありません。

C4R486E **Uaudit** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**Uaudit attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、UAUDIT 属性を USERID に割り当てる権限がありません。

C4R487E **NoUaudit** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**NoUaudit attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、USERID から UAUDIT 属性を削除する権限がありません。

C4R488E **Restricted** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**Restricted attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、RESTRICTED 属性を USERID に割り当てる権限がありません。

C4R489E **NoRestricted** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(NoRestricted attribute not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、USERID から RESTRICTED 属性を削除する権限がありません。

C4R490E **ADSP** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(ADSP attribute not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ADSP 属性を USERID に割り当てる権限がありません。

C4R491E **NoADSP** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(NoADSP attribute not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、USERID から ADSP 属性を削除する権限がありません。

C4R492E **GRPACC** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(GRPACC attribute not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、GRPACC 属性を USERID に割り当てる権限がありません。

C4R493E **NoGRPACC** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(NoGRPACC attribute not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、USERID から GRPACC 属性を削除する権限がありません。

C4R494E **Protected** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(Protected attribute not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、この USERID に対して NOPASSWORD キーワードを使用する権限がありません。

メッセージ 500 から 599

C4R500E **OIDcard** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(OIDcard attribute not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、USERID の OIDCARD オプションを設定する権限がありません。

C4R495E **Protected** 属性の削除は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Remove of Protected attribute not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、PASSWORD の割り当て、およびこの USERID の PROTECTED 状況の削除を行う権限がありません。

C4R496E パスワード管理は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Password management not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、この USERID の PASSWORD を変更または設定する権限がありません。

C4R497E パスワードは **DFLTGRP** とは異なる必要があります。コマンドが終了しました。**(Password must be different from DFLTGRP, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、PASSWORD 値を指定せずに USERID を追加する権限がありません。

C4R498E パスワードは **DFLTGRP** とは異なる必要があります。コマンドが終了しました。**(Password must be different from DFLTGRP, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、PASSWORD 値を指定せずに、USERID のパスワードを RESET する権限がありません。

C4R499E パスワードに **USERID** を含めることはできません。コマンドが終了しました。**(Password may not contain the USERID, command terminated)**

説明: PASSWORD の新規値に USERID が含まれています。/USERID パスワード・ポリシーでは、これは許可されていません。

C4R501E **NoOIDcard** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(NoOIDcard attribute not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、USERID から OIDCARD オプションを削除する権限がありません。

C4R502E ユーザーの取り消しは許可されていません。コマンドが終了しました。**(Revoke of user not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、USERID を REVOKE する権限がありません。

C4R503E ユーザーの再開は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Resume of user not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、USERID を RESUME する権限がありません。

C4R504E パスワード/フレーズに (No)Expired を指定することはできません。コマンドが終了しました **((No)Expired for password/phrase not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、新しいパスワードまたはフレーズを有効期限なしと指定する権限がありません。

C4R505W ポリシー・プロファイル内のパスワード/フレーズ・インターバル *value* が無効です。SETROPTS の値を使用しました **(Invalid password/phrase interval value in policy profile, SETROPTS value used)**

説明: =PWINT プロファイルに指定されている必須パスワードおよびフレーズ・インターバルが無効です。システム管理者が、APPLDATA に指定されている値を訂正する必要があります。

C4R506E パスワード/フレーズに **nointerval** を指定することはできません。コマンドが終了しました **(Password/phrase nointerval not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、有効期限のないパスワードおよびフレーズ (NOINTERVAL) を設定する権限がありません。

C4R507E ポリシー・プロファイル内のパスワード/フレーズ・インターバル *int* が無効です。すべての値が受け入れられました。**(Invalid password/phrase interval int in policy profile, all values accepted)**

説明: =PWINT ポリシー・プロファイルに指定されているパスワードおよびフレーズ・インターバルが無効で

す。システム管理者が、APPLDATA に指定されている値を訂正する必要があります。

C4R508E パスワード/フレーズ・インターバルの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Password/phrase interval change not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ユーザーのパスワードおよびフレーズ・インターバルを変更する権限がありません。

C4R509E パスワード/フレーズ・インターバルが長すぎます。コマンドが終了しました。**(Password/phrase interval too long, command terminated)**

説明: 指定されたパスワードおよびフレーズ・インターバルが、当該ユーザーの最大許容値より長くなっています。

C4R510E 名前の変更は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Name change not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ALTUSER コマンドを使用して USERID の NAME を変更する権限がありません。

C4R511E 名前の指定は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Name specification not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ADDUSER コマンドで USERID に初期 NAME を指定する権限がありません。

C4R512E INST データの設定は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Instdata setting not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ADDUSER コマンドで USERID の INSTDATA の初期値を指定する権限がありません。

C4R513E INST データの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Instdata change not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ALTUSER コマンドを使用して USERID の INSTDATA の値を変更する権限がありません。

C4R514E **CLAuth(*clauth*)** の付与は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Giving CLAuth(*clauth*) not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、リソース・クラスの CLAUTH を USERID に付与する権限がありません。

C4R515E **CLAuth(*clauth*)** の削除は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Removing CLAuth(*clauth*) not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、リソース・クラスの CLAUTH を USERID から削除する権限がありません。

C4R516E **Seclabel** の設定は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Seclabel setting not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、USERID の SECLABEL を指定する権限がありません。

C4R517E **Seclabel** の削除は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Seclabel removal not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、USERID から SECLABEL を削除する権限がありません。

C4R518E カテゴリー *category* の追加は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Giving category *category* not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、カテゴリー *category* を USERID に追加する権限がありません。

C4R519E カテゴリー *category* の削除は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Removing category *category* not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、USERID から *category* を削除する権限がありません。

C4R520E **Seclevel** の設定は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Seclevel setting not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、USERID の SECLEVEL を指定する権限がありません。

C4R521E **Seclevel** の削除は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Seclevel removal not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、USERID から SECLEVEL を削除する権限がありません。

C4R522I ランダム・パスワードがユーザー *userid* に割り当てられました。**(Random password assigned to user *userid*)**

説明: デフォルト・パスワード・ポリシー・プロファイルで、新規パスワードに値 RANDOM が指定されています。端末ユーザーには、このプロファイルへの READ アクセス権限があります。ランダム・パスワードが *userid* に割り当てられますが、端末ユーザーにはこの値は通知されません。

C4R523E モデルの設定は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Model setting not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ADDUSER コマンドで USERID にデータ・セット MODEL 名を指定する権限がありません。

C4R524E モデルの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Model change not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ALTUSER コマンドを使用して USERID のデータ・セット MODEL 名を変更する権限がありません。

C4R525E ログオン時期の変更は許可されていません。コマンドが終了します。**(When Logon change not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ユーザーがログオン (LOGON) できる特定の期間 (特定の時間または曜日) を指定する権限がありません。

C4R526I ランダム・パスワード *password* がユーザー *userid* に割り当てられました。
(Random password *password* assigned to user *userid*)

説明: デフォルト・パスワード・ポリシー・プロファイルで、新規パスワードに値 **RANDOM** が指定されています。端末ユーザーには、このプロファイルへの **UPDATE** アクセス権限があります。ランダム・パスワードは *userid* に割り当てられます。

C4R527I デフォルト・パスワード・ポリシーに無効な **APPLDATA** *appldata* があります。これは無視されました。(Invalid **APPLDATA** *appldata* in default password policy, ignored)

説明: デフォルト・パスワード・ポリシー・プロファイルに、認識できない **APPLDATA** 値 *appldata* が指定されています。**APPLDATA** 値は無視されます。デフォルト・パスワード・ポリシー・プロファイルでサポートされている値を指定してください。

C4R528E **FROM** の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。(Use of **FROM** not allowed, command terminated)

説明: **FROM** キーワードを使用して新規リソース・プロファイルのモデルを指定することはできません。

C4R530E **NoTermuacc** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(NoTermuacc attribute not allowed, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、この **GROUP** を現行接続 **GROUP** として使用するユーザーが、明示的に許可されている **TERMINAL** のみを使用できることを指定する権限がありません。

C4R531E グループの **Termuacc** は許可されていません。コマンドが終了しました。(Termuacc for group not allowed, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、既存の **GROUP** に対し、この **GROUP** を現行接続 **GROUP** として使用するユーザーが、任意の端末を使用できることを指定する権限がありません。

C4R532E 汎用グループの作成は許可されていません。コマンドが終了しました。(Creation of **UNIVERSAL** group not allowed, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、汎用 **GROUP** を作成する権限がありません。汎用 **GROUP** は、グループ・メンバーであるすべてのユーザー **ID** を記録しません。このため、接続ユーザー数に関する同じ制限はありません。

C4R533E **INST** データの設定は許可されていません。コマンドが終了しました。(Instdata setting not allowed, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、**ADDGROUP** コマンドで **INSTDATA** を指定する権限がありません。

C4R534E **INST** データの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。(Instdata change not allowed, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、**ALTGROUP** コマンドを使用して **INSTDATA** を変更する権限がありません。

C4R535E モデルの設定は許可されていません。コマンドが終了しました。(Model setting not allowed, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、**ADDGROUP** コマンドで **GROUP** のデータ・セット **MODEL** 名を指定する権限がありません。

C4R536E モデルの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。(Model change not allowed, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、**ALTGROUP** コマンドを使用して **GROUP** のデータ・セット **MODEL** 名を指定する権限がありません。

C4R537E **INSTDATA**(*nnn:mmm*) は変更できません。コマンドが終了しました。(INSTDATA(*nnn:mmm*) cannot be changed, command terminated)

説明: インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定で、既存の値が変更できないことが指定されていました。現行コマンドでは、示されている位置の既存の値とは異なる値が指定されます。

C4R538E 取り消し日の変更は許可されていません。
コマンドが終了しました。**(Revoke Date
change not allowed, command
terminated)**

説明: 端末ユーザーには、USERID の REVOKE 日を
指定または削除する権限がありません。

C4R539E 再開日の変更は許可されていません。コマ
ンドが終了しました。**(Resume Date
change not allowed, command
terminated)**

説明: 端末ユーザーには、USERID の RESUME 日を
指定または削除する権限がありません。

C4R540E ユーザー *userid* は類似名のグループに接
続していない可能性があります。コマンド
が終了しました。**(User *userid* may not
be connected to like-named groups,
command terminated)**

説明: USERID から、先頭 *n* 文字が同じ名前を持つ
GROUP への接続のためのポリシー・プロファイルによ
り、端末ユーザーは USERID を GROUP に接続できま
せん。

C4R541E ユーザー *userid* はグループ *group* に接続
できません。コマンドが終了しました。
**(User *userid* may not be connected to
group *group*, command terminated)**

説明: *userid* と *group* の間の特定の接続は許可されて
いません。

C4R542E ユーザー *userid* をグループ *group* から削
除できません。コマンドが終了しました。
**(User *userid* may not be removed from
group *group*, command terminated)**

説明: *userid* と *group* の間の特定の接続は削除できま
せん。

C4R543E CONNECT ユーザー *userid* は有効範囲
外にあります。コマンドが終了しました。
**(CONNECT user *userid* is outside your
scope, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、有効範囲外にある USERID
のユーザーからグループへの接続を操作する権限があり
ません。これは、Group-SPECIAL が設定されているユ
ーザー、GROUP 内の CONNECT 権限を持つユーザ
ー、GROUP の OWNER であるユーザーに適用されま

す。このコマンドでは、有効範囲は Group-SPECIAL
を使用してのみ判別されます。

C4R544E CONNECT グループ *group* は有効範囲
外にあります。コマンドが終了しました。
**(CONNECT group *group* is outside
your scope, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、有効範囲外にある GROUP
のユーザーからグループへの接続を操作する権限があり
ません。これは、GROUP 内で CONNECT 権限を持つ
ユーザー、および GROUP の OWNER であるユーザ
ーに適用されます。このコマンドでは、有効範囲は
Group-SPECIAL を使用してのみ判別されます。

C4R545E CONNECT グループ *group* はデータ・
セット・グループです。コマンドが終了し
ました。**(CONNECT group *group* is a
dataset group, command terminated)**

説明: 接続 GROUP 管理のためのポリシー・プロファ
イルでは、データ・セット・プロファイルが定義されて
いる GROUP への USERID の接続は許可されていま
せん。このポリシー・プロファイルは、RACF GROUP
を、使用タイプに基づいて分類することを目的としてい
ます。

C4R546E 接続許可 *auth* は許可されていません。コ
マンドが終了しました。**(Connect
authorization *auth* not allowed,
command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、*auth* 権限を使用してこの
GROUP に USERID を CONNECT する権限はありま
せん。これは新規と既存の CONNECT に適用されま
す。

C4R547E UACC 設定 *uacc* は許可されていま
せん。コマンドが終了しました。**(UACC
setting *uacc* not allowed, command
terminated)**

説明: 端末ユーザーには、*uacc* の UACC 設定を使用
して USERID を GROUP に CONNECT する権限は
ありません。これは新規と既存の CONNECT に適用さ
れます。

C4R548E ユーザー自体をグループ *group* に接続す
ることはできません。コマンドが終了しま
した。

説明: 端末ユーザーには、ユーザー自身のユーザー ID

からグループ *group* への CONNECT を作成する権限がありません。

C4R549E グループ *group* からユーザー自身を削除することはできません。コマンドが終了しました。(**You may not remove yourself from GROUP *group*, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、ユーザー自身の USERID から GROUP *group* への接続を削除する権限がありません。

C4R550E **NoGrpSpecial** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**NoGrpSpecial attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、Group-SPECIAL 属性を削除するための十分な権限がありません。

C4R551E **GrpSpecial** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**GrpSpecial attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、Group-SPECIAL 属性を付与するための十分な権限がありません。

C4R552E **NoGrpOperations** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**NoGrpOperations attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、Group-OPERATIONS 属性を削除するための十分な権限がありません。

C4R553E **GrpOperations** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**GrpOperations attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、Group-OPERATIONS 属性を付与するための十分な権限がありません。

C4R554E **NoGrpAuditor** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**NoGrpAuditor attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、Group-AUDITOR 属性を削除するための十分な権限がありません。

C4R555E **GrpAuditor** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**GrpAuditor attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、Group-AUDITOR 属性を付与するための十分な権限がありません。

C4R556E **NoADSP** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**NoADSP attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、ADSP 属性を削除するための十分な権限がありません。

C4R557E **ADSP** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**ADSP attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、ADSP 属性を設定するための十分な権限がありません。

C4R558E **NoGRPACC** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**NoGRPACC attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、GRPACC 属性を削除するための十分な権限がありません。

C4R559E **GRPACC** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**GRPACC attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、GRPACC 属性を設定するための十分な権限がありません。

C4R560E **REVOKE** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**REVOKE attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、この USERID の GROUP 接続を REVOKE するための十分な権限がありません。

C4R561E **RESUME** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。(**RESUME attribute not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、この USERID の GROUP 接続を RESUME するための十分な権限がありません。

C4R562E *segname* セグメントへのアクセスは許可されていません。コマンドが終了しました。
(**Not allowed to access *segname* segment, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、USER *segname* セグメントへアクセスする権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルには関係なく、ポリシー・プロファイルへの READ アクセス権限が必要です。

C4R563E *segname* セグメントの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。(Not allowed to modify *segname* segment, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、USER *segname* セグメントを変更する権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、ポリシー・プロファイルへの UPDATE アクセス権限が必要です。

C4R564E 有効範囲外の *segname* セグメントへのアクセスは許可されていません。コマンドが終了しました。(Not allowed to access *segname* segment outside scope, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、その Group-SPECIAL 属性の有効範囲外にあるグループの *segname* セグメントにアクセスする権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、/SCOPE プロファイルへの NONE アクセス権限により、これらのセグメントをリストすることが防止されます。

C4R565E 有効範囲外の *segname* セグメントへのアクセスは許可されていません。コマンドが終了しました。(Not allowed to access *segname* segment outside scope, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、その Group-SPECIAL 属性の有効範囲外にあるユーザーの *segname* セグメントにアクセスする権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、/SCOPE プロファイルへの NONE アクセス権限により、これらのセグメントをリストすることが防止されます。

C4R566E 有効範囲外にある *segname* セグメントの変更は許可されていません。コマンドが終了します。(Not allowed to modify *segname* segment outside scope, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、その Group-SPECIAL 属性

の有効範囲外にあるグループの *segname* セグメントを変更する権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、UPDATE よりも低い /SCOPE プロファイルへのアクセス権限により、これらのセグメントをリストすることが防止されます。

C4R567E 有効範囲外の *segname* セグメントへのアクセスは許可されていません。コマンドが終了しました。(Not allowed to access *segname* segment outside scope, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、その Group-SPECIAL 属性の有効範囲外にあるリソースの *segname* セグメントにアクセスする権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、/SCOPE プロファイルへの NONE アクセス権限により、これらのセグメントをリストすることが防止されます。

C4R568E 有効範囲外にある *segname* セグメントの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。(Not allowed to modify *segname* segment outside your scope, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、その Group-SPECIAL 属性の有効範囲外にあるリソースの *segname* セグメントを変更する権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、UPDATE よりも低い /SCOPE プロファイルへのアクセス権限により、これらのセグメントをリストすることが防止されます。

C4R569E 有効範囲外にある *segment* セグメントの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。(Not allowed to modify *segment* segment outside your scope, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、その Group-SPECIAL 属性の有効範囲外にある USERID の *segname* セグメントを変更する権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、UPDATE よりも低い /SCOPE プロファイルへのアクセス権限により、これらのセグメントをリストすることが防止されます。

C4R570E 命名規則ではグループ ID *group* は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Groupid group not allowed in naming conventions, command terminated)**

説明: 名前の先頭 *n* 文字が端末ユーザーと同じ GROUP の GROUP 命名規則ポリシー・プロファイル (=RACUID(*n*)) により、RACF GROUP *group* の作成が禁止されていました。

C4R571E 命名規則ではグループ ID *group* は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Groupid group not allowed in naming conventions, command terminated)**

説明: 名前の先頭 *n* 文字が端末ユーザーの現行 CONNECT GROUP と同じ GROUP の GROUP 命名規則ポリシー・プロファイル (=RACGPID(*n*)) により、RACF GROUP *group* の作成が禁止されていました。

C4R572E 命名規則ではグループ ID *group* は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Groupid group not allowed in naming conventions, command terminated)**

説明: GROUP の GROUP 命名規則ポリシー・プロファイル (GROUP 名自体に基づく) により、RACF GROUP *group* の作成が禁止されていました。

C4R573E グループ ID *group* を削除できません。コマンドが終了しました。**(Groupid group may not be deleted, command terminated)**

説明: GROUP の GROUP 命名規則ポリシー・プロファイル (GROUP 名自体に基づく) により、RACF GROUP *group* の削除が禁止されています。端末ユーザーには、ポリシー・プロファイルへのアクセス権限がありませんでした。

C4R574E グループ ID *group* を削除できません。コマンドが終了しました。**(Groupid group may not be deleted, command terminated)**

説明: GROUP の GROUP 命名規則ポリシー・プロファイル (GROUP 名自体に基づく) により、RACF GROUP *group* の削除が禁止されています。端末ユーザーには、このポリシーの適用外対象となるための十分なアクセス権限がありませんでした。

C4R575E 所有者と SupGroup が相互を参照しています。コマンドが終了しました。**(Owner and Supgroup refer to each other, command terminated)**

説明: ポリシー・プロファイルの誤った定義が原因で、新規 RACF GROUP の OWNER と SUPGROUP を判別できませんでした。Mandatory Value ポリシー・プロファイルにより、OWNER を SUPGROUP と同一に設定する必要があること (またはその逆) が指定されています。zSecure Command Verifier は処理を続行できません。

C4R576E ユーザー自身の所有者を検出できませんでした。コマンドが終了しました。**(Could not find my own owner, command terminated)**

説明: 新規 GROUP の OWNER の Mandatory Value ポリシー・プロファイルで、端末ユーザーの OWNER を設定する必要があることが指定されていました。端末ユーザーの OWNERが、RACF データベース内の既存の USERID または GROUP として見つかりませんでした。zSecure Command Verifier は処理を続行できません。

C4R577E 所有者と SupGroup が相互を参照しています。コマンドが終了しました。**(Owner and Supgroup refer to each other, command terminated)**

説明: ポリシー・プロファイルの誤った定義が原因で、新規 RACF GROUP の OWNER と SUPGROUP を判別できませんでした。Default value ポリシー・プロファイルにより、OWNER を SUPGROUP と同一に設定する必要があること (またはその逆) が指定されています。zSecure Command Verifier は処理を続行できません。

C4R578E ユーザー自身の所有者を検出できませんでした。コマンドが終了しました。**(Could not find my own owner, command terminated)**

説明: 新規 GROUP の OWNER の Default Value ポリシー・プロファイルにより、このグループ所有者が端末ユーザーの OWNER と同一である必要があることが指定されていました。端末ユーザーの OWNERが、RACF データベース内の既存の USERID または GROUP として見つかりませんでした。zSecure Command Verifier は処理を続行できません。

C4R579E **OWNER** のデフォルト値の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。
(**Use of default value for OWNER not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、新規 GROUP の OWNER の Default Value ポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権がありません。端末ユーザーは、新規 RACF GROUP の OWNER に正しい値を指定する必要があります。

C4R580E *owner* の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (**Use of owner not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザー名の先頭 *n* と一致する新規 OWNER のポリシー・プロファイルにより、GROUP の OWNER として *owner* を使用することが禁止されています。

C4R581E *owner* の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (**Use of owner not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーの現行接続 GROUP グループ名の先頭 *n* 文字と一致する新規所有者のポリシー・プロファイルにより、GROUP の OWNER として *owner* を使用することが禁止されています。

C4R582E *owner* の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (**Use of owner not allowed, command terminated**)

説明: GROUP 自体の先頭 *n* 文字と一致する新規所有者のポリシー・プロファイルにより、GROUP の OWNER として *owner* を使用することが禁止されています。

C4R583E *owner* の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (**Use of owner not allowed, command terminated**)

説明: 新規所有者のポリシー・プロファイルにより、GROUP の OWNER として *owner* を使用することが禁止されています。

C4R584E 新規 OWNER *owner* は有効範囲外にあります。コマンドが終了しました。(**New OWNER owner is outside your scope, command terminated**)

説明: OWNER は、Group- SPECIAL の有効範囲内の

USERID または GROUP としてのみ割り当てることができます。

C4R585E 新規 OWNER *owner* がグループではありません。コマンドが終了しました。(**New OWNER owner is not a group, command terminated**)

説明: GROUP 所有権のポリシー・プロファイルにより、既存の GROUP のみを OWNER として指定できることが指定されています。

C4R586E ユーザー自身の所有者を検出できませんでした。コマンドが終了しました。(**Could not find my own owner, command terminated**)

説明: 新規 GROUP の SUPGROUP の Mandatory Value ポリシー・プロファイルにより、この SupGroup に端末ユーザーの OWNER を設定する必要があることが指定されていました。端末ユーザーの OWNER が、RACF データベース内の既存の USERID または GROUP として見つかりませんでした。zSecure Command Verifier は処理を続行できません。

C4R587E ユーザー自身の所有者を検出できませんでした。コマンドが終了しました。(**Could not find my own owner, command terminated**)

説明: 新規 GROUP の SUPGROUP の Default Value ポリシー・プロファイルにより、この SupGroup に端末ユーザーの OWNER を設定する必要があることが指定されていました。端末ユーザーの OWNER が、RACF データベース内の既存の USERID または GROUP として見つかりませんでした。zSecure Command Verifier は処理を続行できません。

C4R588E SUPGROUP のデフォルト値の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。(**Use of default value for SUPGROUP not allowed, command terminated**)

説明: 端末ユーザーには、新規 GROUP の SUPGROUP の Default Value ポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権がありません。端末ユーザーは、新規 RACF GROUP の SUPGROUP に正しい値を指定する必要があります。

C4R589E **INSTDATA(xxxxxxx フォーマット・プロファイルは無効です。このフォーマットは無視されます (INSTDATA(xxxxxxx format profile not valid, format ignored))**

説明: フォーマット指定プロファイルが無効です。この状態の原因として最も可能性が高いのは、インストール・データ・フィールドの位置の指定が誤っていたことです。xxxxxxx は、正しくない位置指定を示します。開始位置と終了位置は両方とも 3 桁の 10 進数として指定する必要があります (例: 001:010)。このフォーマット指定プロファイルと後続のすべてのフォーマット指定プロファイルは無視されます。

C4R590E **INSTDATA(xxxxxxx フォーマット・プロファイルは無効です。このフォーマットは無視されます (INSTDATA(xxxxxxx format profile not valid, format ignored))**

説明: フォーマット指定プロファイルが無効です。この状態の原因として最も可能性が高いのは、インストール・データ・フィールドの位置の指定が誤っていたことです。xxxxxxx は、正しくない位置指定を示します。開始位置と終了位置は両方とも 3 桁の 10 進数として指定する必要があります (例: 001:010)。このフォーマット指定プロファイルと後続のすべてのフォーマット指定プロファイルは無視されます。

C4R591E **INSTDATA(nnn:mmm) をブランクにすることはできません。コマンドが終了しました。(INSTDATA(nnn:mmm) cannot be blank, command terminated)**

説明: インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定で、値が存在している必要があることが指定されていました。現行コマンドにより、これらの位置が暗黙的または明示的にブランクのままにされました。

C4R592E **INSTDATA(nnn:mmm) に format 以外の文字が含まれています。コマンドが終了しました (INSTDATA(nnn:mmm) contains non-format character, command terminated)**

説明: インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定で、この位置では英字、数字、または英数字のみ使用できることが指定されます。現行のコマンドで、許可されない文字が指定されました。英字フォーマットの場合、現行コマンドにより、1 つ以上の位置で A から Z 以外の文字が指定されました。数字

フォーマットの場合、現行コマンドにより、1 つ以上の位置で 0 から 9 以外の文字が指定されました。英数字フォーマットの場合、現行コマンドにより、1 つ以上の位置で A から Z または 0 から 9 以外の文字が指定されました。

C4R594E **INSTDATA(nnn:mmm) がピクチャー・フォーマットと一致しません。コマンドが終了しました。(INSTDATA(nnn:mmm) does not match picture format, command terminated)**

説明: インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定に、インストール・データにピクチャー・フォーマットが含まれていました。現行コマンドには、ピクチャー・フォーマットに従っていない文字が 1 つ以上含まれています。例えば、文字の位置に数字が指定されているか、またはリテラル・ストリングが正確に一致していないなどです。

C4R595E **INSTDATA(nnn:mmm) がどのリスト項目にも一致しません。コマンドが終了しました。(INSTDATA(nnn:mmm) does not match any list-item, command terminated)**

説明: インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定で、許容値のリストが指定されていました。現行コマンドは、このリストに含まれていない値を指定しました。

C4R596E **INSTDATA(nnn:mmm) が、禁止リスト項目に一致します。コマンドが終了しました。(INSTDATA(nnn:mmm) matches not-allowed list-item, command terminated)**

説明: インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定で、禁止値のリストが指定されていました。現行コマンドは、このリストに含まれている値を指定しました。

C4R597E **INSTDATA(nnn:mmm) は、有効な RACF USERID ではありません。コマンドが終了しました。(INSTDATA(nnn:mmm) is not a valid RACF USERID, command terminated)**

説明: インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定で、値 =USERID が指定されており、これらの位置が既存の RACF USERID と一致する必要があることが示されていました。現行コマンドにより指定された値は、USERID に対応していませんでした

(指定された値が未定義であるか、または既存の RACF GROUP である可能性があります)。

C4R598E **INSTDATA(*nnn:mmm*) は、有効な RACF GROUP ではありません。コマンドが終了しました。(INSTDATA(*nnn:mmm*) is not a valid RACF GROUP, command terminated)**

説明: インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定で、値 =GROUP が指定されており、これらの位置が既存の RACF GROUP と一致する必要があることが示されていました。現行コマンドにより指定された値は、GROUP に対応していませんでした (指定された値が未定義であるか、または既存の RACF

USERID である可能性があります)。

C4R599E **INSTDATA(*nnn:mmm*) に無効なフォーマットが含まれています。フォーマットは無視されました。(INSTDATA(*nnn:mmm*) contains invalid format, format ignored)**

説明: インストール・データの位置 *nnn* から *mmm* までのフォーマット指定に、認識されない仕様が含まれていました。これは、コンマの欠落またはタイプ入力エラーが原因で発生した可能性があります。エラーより前のフォーマット指定部分は既に処理されている可能性があります。エラーより後のフォーマット指定は無視されます。

メッセージ 600 から 699

C4R600E **UACC *uacc* 設定は許可されていません。コマンドが終了しました。(UACC *uacc* setting not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーに、UACC *uacc* のポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権限がありません。

C4R601E **ACL *userid access* 設定は許可されていません。コマンドが終了しました。(ACL setting *userid access* not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ID *userid* に対してリソースへのアクセス権限 *access* を PERMIT するためのポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権限がありません。

C4R602E **ACL 項目 *userid* がグループではありません。コマンドが終了しました。(ACL entry *userid* is not a group, command terminated)**

説明: ポリシー・プロファイルでは、このリソースのアクセス・リストで GROUP のみが使用可能であることが指定されています。指定されたエンティティは、既存の RACF GROUP ではありません。

C4R603E **ユーザー *userid* が有効範囲外です。コマンドが終了しました。(User *userid* outside scope, command terminated)**

説明: ポリシー・プロファイルにより、RACF Group-SPECIAL の有効範囲内のユーザーとグループにのみアクセス権限を付与できることが指定されていまし

た。指定されたエンティティは、有効範囲外にあります。

C4R604E **ACL *profile* のリセットは許可されていません。コマンドが終了しました (ACL reset *profile* not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーに対し、標準アクセス・リスト全体の RESET が許可されていません。ただし、個々のアクセス・リスト項目を削除することはできます。

C4R605E **条件付き ACL *profile* のリセットは許可されていません。コマンドが終了しました。(Cond.ACL reset *profile* not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーに対し、条件付きアクセス・リスト全体の RESET が許可されていません。ただし、個々のアクセス・リスト項目を削除することはできます。

C4R606E **When(*class*) は許可されていません。コマンドが終了しました (When(*class*) not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーに対し、*class* を使用した条件付きアクセス権限の条件付きアクセス・リストの変更が許可されていません。

C4R607E **ACL でユーザー自身による *access* の設定は許可されていません。コマンドが終了します。(ACL Setting for self to *access* not allowed, command terminated)**

説明: アクセス・リスト管理ポリシー・プロファイルでは、端末ユーザーがアクセス・リストでユーザー自身を

追加、変更、または削除することが許可されていません。

これは、*class* および *resource* の ACL.=RACUID プロファイルによって制御されます。

C4R608E **ACL** でのユーザー自身のグループの *access* の設定は許可されていません。コマンドが終了しました。**(ACL Setting for own group to access not allowed, command terminated)**

説明: アクセス・リスト管理ポリシー・プロファイルでは、端末ユーザーがアクセス・リストでユーザー自身の GROUP を追加、変更、または削除することが許可されていません。

C4R609E データ・セット・グループ *group* の許可は実行できません。コマンドが終了しました。**(Permit for data set group group not allowed, command terminated)**

説明: アクセス・リストに追加する項目が、データ・セット・プロファイルが定義されている GROUP です。このような GROUP をアクセス・リストに追加する操作は、プロファイル **C4R.class.ACL.=DSN.group.resource** により禁止されています。

C4R610E **Erase** 設定は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Erase setting not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、リソース・プロファイルの ERASE 設定を変更する権限がありません。

C4R611E **Warning** モードは許可されていません。コマンドが終了しました。**(Warning mode not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、リソース・プロファイルの WARNING モードにする権限がありません。

C4R612E **NoWarning** モードは許可されていません。コマンドが終了しました。**(NoWarning mode not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、リソース・プロファイルから WARNING モードを削除する権限がありません。

C4R613E *proftype* プロファイルは許可されていません。コマンドが終了しました。**(proftype Profiles not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、*proftype* リソース・プロファイルを作成する権限がありません。これは、DISCRETE プロファイルで最も一般的です。

C4R614E **RACF** 標識管理は許可されていません。コマンドが終了しました。**(RACF indicator management not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーは、NOSET または SETONLY キーワードを使用して、一致するフラグビットに関係なく、RACF 個別プロファイルを独立して操作することはできません (カタログ内、VTOC など)。

C4R615E **Seclabel** *seclabel* の設定は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Seclabel seclabel setting not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、リソースの *seclabel* を指定する権限がありません。

C4R616E カテゴリ *category* の追加は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Giving category category not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、リソースにこのセキュリティ *category* を割り当てる権限がありません。

C4R617E カテゴリ *category* の削除は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Removing category category not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、リソースからこのセキュリティ *category* を削除する権限がありません。

C4R618E **Seclevel** *seclevel* 設定は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Seclevel seclevel setting not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、リソースにこの *seclevel* を割り当てる権限がありません。

C4R619E レベル *level* 設定は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Level level setting not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、リソースにこの *level* を割り当てる権限がありません。LEVEL は通常、いかなる目的でも RACF により使用されることはありません。zSecure Command Verifier で NOCHANGE 制御を起動する目的で使用されることがあります。

C4R620E INST データの設定は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Instdata setting not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーに対し、ADDSO および RDEFINE コマンドに INSTDATA を指定する権限が明示的に否認されました。

C4R621E INST データの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Instdata change not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ALTDSD または RALTER コマンドを使用して INSTDATA を変更するための十分な権限がありません。

C4R622E Notify 設定は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Notify setting not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーに対し、ADDSO コマンドおよび RDEFINE コマンドで NOTIFY ID を指定する権限が明示的に否認されました。

C4R623E Notify の変更は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Notify change not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ALTDSD コマンドまたは RALTER コマンドを使用して NOTIFY ID を変更するための十分な権限がありません。

C4R624E Retpd 管理は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Retpd management not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、データ・セット・プロファイルで保存期間を設定または変更するための十分な権限がありません。

C4R625E APPLdata の設定は許可されていません。コマンドが終了しました。**(APPLdata setting not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、リソース・プロファイルの APPLDATA 値を設定または変更するための十分な権限がありません。zSecure Command Verifier の多くの関数は、ポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドにより制御される点に注意してください。

C4R626E APPLdata の変更は許可されていません。コマンドが終了しました。**(APPLdata change not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、リソース・プロファイルの APPLDATA 値を設定または変更するための十分な権限がありません。zSecure Command Verifier の多くの関数は、ポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドにより制御される点に注意してください。

C4R627E Singledsn の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Singledsn usage not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーは、TAPEVOL を単一データ・セットに限定することを指定することはできません。

C4R628E TVTOC の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。**(TVTOC usage not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーは、RACF によりこの TAPEVOL の TAPE VTOC を維持することを指定できません。

C4R629E 時間帯の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Timezone usage not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーは、この TERMINAL を特定の時間帯に指定できません。

C4R630E 日時の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。**(When usage not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーは、この TERMINAL の使用を特定の日または時間に制限できません。

C4R631E 監査の **success(auditlvl)** は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Audit success(auditlvl) not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーは、このリソース・プロファイルのアクセス監査成功オプションを設定または変更できません。

C4R632E 監査の **Fail(auditlvl)** は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Audit Fail(auditlvl) not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーは、このリソース・プロファイルのアクセス監査失敗オプションを設定または変更できません。

C4R633E グローバル監査の **success(auditlvl)** は許可されていません。コマンドが終了しました。**(GlobalAudit success(auditlvl) not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーは、このリソース・プロファイルの「監査者が指定した」アクセス監査成功オプションを設定または変更できません。この監査値を設定するには、適切な zSecure Command Verifier 権限に加え、監査員属性も必要である点に注意してください。

C4R634E グローバル監査の **fail(auditlvl)** は許可されていません。コマンドが終了しました。**(GlobalAudit fail(auditlvl) not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーは、このリソース・プロファイルの「監査員が指定した」のアクセス監査失敗オプションを設定または変更できません。この監査値を設定するには、適切な zSecure Command Verifier 権限に加え、監査員属性も必要である点に注意してください。

C4R635E **Permit FROM** は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Permit FROM not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーに対し、FROM キーワードを使用して既存の ACL を現行プロファイルにコピーする操作は許可されていません。コマンドは実行されません。

C4R636E *segname* セグメントへのアクセスは許可されていません。コマンドが終了しました。**(Not allowed to access segname segment, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、GROUP *segname* セグメントへアクセスする権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルには関係なく、ポリシー・プロファイルへの READ アクセス権限が必要です。

C4R637E *segname* セグメントの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Not allowed to modify segname segment, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、GROUP *segname* セグメントを変更する権限がありません。対応する FIELD プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、ポリシー・プロファイルへの UPDATE アクセス権限が必要です。

C4R638I 非制御オプションにより、**Controlled Temporary Special** の使用が禁止されました: *keywords* **(Uncontrolled options prevented use of Controlled Temporary Special: keywords)**

説明: 端末ユーザーには制御された一時特殊 (Controlled Temporary Special) 機能 (=CTLSPEC) を使用する権限がありますが、一時 SPECIAL が使用されませんでした。コマンドには、必須ポリシー・プロファイルにより制御されないオプションが指定されていました。リストされた、制御されないキーワードまたはパラメーターを削除してください。

C4R639W **=NOCHANGE** ポリシー・プロファイルの **APPLDATA** に基準が指定されていませんでした。このプロファイルは無視されました。**(No criterion specified in APPLDATA of =NOCHANGE policy profile, ignored)**

説明: =NOCHANGE プロファイルの APPLDATA に値が指定されていません。=NOCHANGE プロファイルは無視され、リソースは変更できないシステム・リソースとして扱われます。APPLDATA に有効な値を指定してください。

C4R640E *class profile* の定義/削除は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Define/Delete class profile not allowed, command terminated)**

説明: リソース命名規則ポリシー・プロファイルにより、*class* での *profile* の作成が禁止されていました。

C4R641E メンバー *member* の追加は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Adding member *member* not allowed, command terminated)

説明: リソース命名規則ポリシー・プロファイルにより、*member* の作成が禁止されていました。これは、コマンドで使用するグループ化クラス・プロファイルに関連付けられているメンバー・クラス・ポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権限がなかったことが原因で発生する点に注意してください。

C4R642E メンバー *member* の削除は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Deleting member *member* not allowed, command terminated)

説明: リソース命名規則ポリシー・プロファイルにより、*member* の削除が禁止されていました。これは、コマンドで使用するグループ化クラス・プロファイルに関連付けられているメンバー・クラス・ポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権限がなかったことが原因で発生する点に注意してください。

C4R643E ボリューム・キーワードは許可されていません。コマンドが終了しました。(Volume keywords not allowed, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、個別データ・セット・プロファイルでボリュームを追加または削除する権限がありません。

C4R644E 単位キーワードは許可されていません。コマンドが終了しました。(Unit keywords not allowed, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、アンカタログされている個別データ・セット・プロファイルを追加する権限がありません。

C4R645E プライベート・プロファイルの管理は許可されていません。コマンドが終了しました。(Management of private profiles not allowed, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、HLQ としてユーザー自身の USERID が指定されているデータ・セット・プロファイルを管理する権限がありません。

C4R646E ロックされたプロファイルの管理は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Management of locked profiles not allowed, command terminated)

説明: このプロファイルは NOCHANGE リソース・プロファイルとして分類されています。このタイプのリソース・プロファイルを変更する権限がありません。

C4R647W =NOCHANGE ポリシー・プロファイルの APPLDATA に無効なレベル *level* が指定されています。このプロファイルは無視されました。(Invalid LEVEL *level* in APPLDATA of =NOCHANGE policy profile, ignored)

説明: =NOCHANGE プロファイルの *appldata* に指定されているレベルに、有効な値が含まれていません。ストリング「LEVEL=*nn*」の *nn* には 2 桁の 10 進数を指定してください。

C4R648W =NOCHANGE ポリシー・プロファイルの APPLDATA に無効な値 *appldata* が指定されています。このプロファイルは無視されました。(Invalid value *appldata* in APPLDATA of =NOCHANGE policy profile, ignored)

説明: =NOCHANGE プロファイルの APPLDATA に指定されている値は認識されません。APPLDATA に有効な値を指定してください。

C4R649E *class profile* の定義は許可されていません。コマンドが終了しました。(Define *class profile* not allowed, command terminated)

説明: 新規プロファイルは、既存の (新規プロファイルよりも総称的な) プロファイルによりカバーされているリソースをより詳細に定義しています。より詳細なプロファイルの定義により、既存の保護が損なわれますが、これはこのプロファイルでは許可されていません。これは、このメッセージと共に表示される ICH408I メッセージに示されます。

C4R650E ユーザー自身の OWNER を検出できませんでした。コマンドが終了しました。
(Could not find my own OWNER, command terminated)

説明: このエラー・メッセージは、端末ユーザーの OWNER が既存の USERID または GROUP でなく、Mandatory Value ポリシー・プロファイルで OWNER

が端末ユーザーの OWNER と同じでなければならないことが指定されている場合に発行されます。

C4R651E ユーザー自身の **OWNER** を検出できませんでした。コマンドが終了しました。
(Could not find my own OWNER, command terminated)

説明: このエラー・メッセージは、端末ユーザーの OWNER が既存の USERID または GROUP ではなく、Default Value ポリシーにより、OWNER が端末ユーザーの OWNER と同じでなければならないことが指定されている場合に発行されます。

C4R652E **OWNER** のデフォルト値の使用は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Use of default value for OWNER not allowed, command terminated)

説明: 端末ユーザーには、「/OWNER」プロファイルへの十分なアクセス権限がありません。

C4R653E **UID** にユーザー *userid* の *uid* を設定できません。コマンドが終了しました。
(Not allowed to set UID to uid for user userid, command terminated)

説明: 端末ユーザーは、USERID の OMVS セグメントに 特定値 *uid* を使用できません。

C4R654E **UID** にユーザー *userid* の *uid* を設定できません。コマンドが終了しました。
(Not allowed to set UID to uid for user userid, command terminated)

説明: 端末ユーザーは、USERID の OVM セグメントに 特定値 *uid* を使用できません。

C4R655E **owner(owner)** の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (Use of owner(owner) not allowed, command terminated)

説明: このエラー・メッセージは、=RACUID(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R656E **owner(owner)** の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (Use of owner(owner) not allowed, command terminated)

説明: このエラー・メッセージは、=RACGPID(*n*) の値

が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R657E **owner(owner)** の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (Use of owner(owner) not allowed, command terminated)

説明: このエラー・メッセージは、=HLQ(*n*) の値が一致するが、端末ユーザーのアクセス権限が NONE の場合に発行されます。

C4R658E **owner(owner)** の使用は許可されていません。コマンドが終了しました (Use of owner(owner) not allowed, command terminated)

説明: このエラー・メッセージは、選択された OWNER を使用できない場合に発行されます。

C4R659E 新規 **OWNER** *owner* は有効範囲外にあります。コマンドが終了しました。(New OWNER owner is outside your scope, command terminated)

説明: /SCOPE ポリシーにより、端末ユーザーの有効範囲内にはない OWNER の使用が禁止されていました。

C4R660E 新規 **OWNER** *owner* がグループではありません。コマンドが終了しました。(New OWNER owner is not a group, command terminated)

説明: /GROUP ポリシーにより、既存の RACF GROUP ではない OWNER の使用が禁じられていました。

C4R661E 新規 **OWNER** *owner* が **HLQ** と同一ではありません。コマンドが終了しました。
(New OWNER owner is not same as HLQ, command terminated)

説明: このポリシー・プロファイルは主にデータ・セット・プロファイルに使用され、リソース・プロファイルの OWNER として HLQ 以外を使用することが禁止されています。

C4R662E **GID** にグループ *group* の *gid* を設定できません。コマンドが終了しました。
(Not allowed to set GID to gid for group group, command terminated)

説明: 端末ユーザーは、GROUP の OMVS セグメントに 特定値 *gid* を使用できません。

C4R663E **GID にグループ *group* の *gid* を設定できません。コマンドが終了しました。**
(Not allowed to set GID to *gid* for group *group*, command terminated)

説明: 端末ユーザーは、GROUP の OVM セグメントに 特定値 *gid* を使用できません。

C4R664E **ロックされたリソースの管理は許可されていません。コマンドが終了しました。**
(Management of locked resources not allowed, command terminated)

説明: 新規リソース・プロファイルにより、NOCHANGE リソースとして分類されているリソースを保護するために現在使用されているプロファイルが変更されます。これは許可されません。

C4R665W 「*string*」で始まる必須 **GROUP** 属性値は無効です。この属性値は無視されました。**(Invalid mandatory GROUP attribute value(s) starting "*string*" ignored)**

説明: 必須 GROUP 属性のポリシー・プロファイルに、無効な GROUP 属性が含まれていました。このメッセージには、不明な属性の先頭から 8 文字が示されます。不明属性および APPLDATA フィールドの残りのすべての属性は無視されます。

C4R666W 「*string*」で始まる必須 **USER** 属性値は無効です。この属性値は無視されました。**(Invalid mandatory USER attribute value(s) starting "*string*" ignored)**

説明: 必須 USER 属性のポリシー・プロファイルに、無効な USER 属性が含まれていました。このメッセージには、不明な属性の先頭から 8 文字が示されます。不明属性および APPLDATA フィールドの残りのすべての属性は無視されます。

C4R667W **必須 AUTH 値が無効です。この値は USE に置き換えられました。(Invalid mandatory AUTH value, replaced by USE)**

説明: 必須 CONNECT AUTHORITY のポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドに、無効な値が指定されていました。有効な値は JOIN、CONNECT、CREATE、および USE です。無効値は無視され、値 USE が代わりに使用されます。

C4R668W **デフォルト AUTH 値が無効です。この値は USE に置き換えられました。**
(Invalid default AUTH value, replaced by USE)

説明: デフォルト CONNECT AUTHORITY のポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドに、無効な値が指定されていました。有効な値は JOIN、CONNECT、CREATE、および USE です。無効値は無視され、値 USE が代わりに使用されます。

C4R669W **必須 UACC 値が無効です。代わりに NONE が使用されます。(Invalid mandatory UACC value, replaced by NONE)**

説明: 必須 UACC のポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドに、無効な値が指定されていました。有効な値は、ALTER、CONTROL、UPDATE、READ、および NONE です。無効値は無視され、NONE が代わりに使用されます。

C4R670E **ユーザー *userid* が存在しません。コマンドが終了しました。(User *userid* does not exist, command terminated)**

説明: 存在しない USERID に対して ALTUSER コマンドが発行されました。

C4R671E **ユーザー *userid* が存在しません。コマンドが終了しました。(User *userid* does not exist, command terminated)**

説明: 存在しない USERID に対して ALTUSER コマンドが発行されました。

C4R672E **グループ *groupid* が存在しません。コマンドが終了しました。**

説明: 存在しない GROUP に対して ALTGROUP コマンドが発行されました。

C4R673E **ユーザー *userid* が存在しません。コマンドが終了しました。(User *userid* does not exist, command terminated)**

説明: 存在しない USERID に対して ALTUSER コマンドが発行されました。

C4R674W デフォルト UACC 値が無効です。代わりに NONE が使用されます。**(Invalid default UACC value, replaced by NONE)**

説明: デフォルト UACC のポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドに、無効な値が指定されていました。有効な値は、ALTER、CONTROL、UPDATE、READ、および NONE です。無効値は無視され、NONE が代わりに使用されます。

C4R675E ATTRIBUTE 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。**(Cannot assign ATTRIBUTE value, please split command)**

説明: 複数の GROUP に対して ADDGROUP コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、必須 GROUP 属性に複数の値が指定されています。

C4R676E OWNER 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。**(Cannot assign OWNER value, please split command)**

説明: 複数の GROUP に対して ADDGROUP コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、GROUP の必須 OWNER に複数の値が指定されています。

C4R677E OWNER 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。**(Cannot assign OWNER value, please split command)**

説明: 複数の GROUP に対して ADDGROUP コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、GROUP のデフォルト OWNER に複数の値が指定されています。

C4R678E SUPGROUP 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。**(Cannot assign SUPGROUP value, please split command)**

説明: 複数の GROUP に対して ADDGROUP コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、GROUP の SUPGROUP に複数の値が指定されています。

C4R679E SUPGROUP 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。**(Cannot assign SUPGROUP value, please split command)**

説明: 複数の GROUP に対して ADDGROUP コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、GROUP の必須 SUPGROUP に複数の値が指定されています。

C4R680E SUPGROUP 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。**(Cannot assign SUPGROUP value, please split command)**

説明: 複数の GROUP に対して ADDGROUP コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、GROUP のデフォルト SUPGROUP に複数の値が指定されています。

C4R681E UACC 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。**(Cannot assign UACC value, please split command)**

説明: 複数のリソースに対して RDEFINE または ADDSD コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、リソース・プロファイルまたはデータ・セット・プロファイルの必須 UACC に複数の値が指定されています。

C4R682E UACC 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。**(Cannot assign UACC value, please split command)**

説明: 複数のリソースに対して RDEFINE または ADDSD コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、リソース・プロファイルまたはデータ・セット・プロファイルのデフォルト UACC に複数の値が指定されています。

C4R683E OWNER 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。**(Cannot assign OWNER value, please split command)**

説明: 複数のリソースに対して RDEFINE または ADDSD コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、リソース・プロファイルまたはデータ・セット・プロファイルの必須 OWNER に複数の値が指定されています。

C4R684E **OWNER** 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。
(Cannot assign OWNER value, please split command)

説明: 複数のリソースに対して RDEFINE または ADDSD コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、リソース・プロファイルまたはデータ・セット・プロファイルのデフォルト OWNER に複数の値が指定されています。

C4R685E **ATTRIBUTE** 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。
(Cannot assign ATTRIBUTE value, please split command)

説明: 複数の USERID に対して ADDUSER コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID の必須属性に複数の値が指定されています。

C4R686E **AUTH** 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。
(Cannot assign AUTH value, please split command)

説明: 複数の USERID に対して ADDUSER または CONNECT コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより USERID の必須 CONNECT 許可に複数の値が指定されています。

C4R687E **AUTH** 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。
(Cannot assign AUTH value, please split command)

説明: 複数の USERID に対して ADDUSER または CONNECT コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID のデフォルト CONNECT 許可に複数の値が指定されています。

C4R688E **UACC** 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。
(Cannot assign UACC value, please split command)

説明: 複数の USERID に対して ADDUSER または CONNECT コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID の必須 UACC 値に複数の値が指定されています。

C4R689E **UACC** 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。
(Cannot assign UACC value, please split command)

説明: 複数の USERID に対して ADDUSER または CONNECT コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID のデフォルト UACC 値に複数の値が指定されています。

C4R690E **OWNER** 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。
(Cannot assign OWNER value, please split command)

説明: 複数の USERID に対して CONNECT コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID から GROUP への接続の必須 OWNER 値に複数の値が指定されています。

C4R691E **UACC** 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。
(Cannot assign UACC value, please split command)

説明: 複数の USERID に対して CONNECT コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID から GROUP への接続のデフォルト OWNER 値に複数の値が指定されています。

C4R692E **DFLTGRP** 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。
(Cannot assign DFLTGRP value, please split command)

説明: 複数の USERID に対して ADDUSER コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID の必須 DFLTGRP 値に複数の値が指定されています。

C4R693E **DFLTGRP** 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。
(Cannot assign DFLTGRP value, please split command)

説明: 複数の USERID に対して ADDUSER コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID のデフォルト DFLTGRP 値に複数の値が指定されています。

C4R694E DFLTGRP 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。
(Cannot assign DFLTGRP value, please split command)

説明: 複数の USERID に対して ADDUSER コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID の DFLTGRP 値に複数の値が指定されています。

C4R695E OWNER 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。
(Cannot assign OWNER value, please split command)

説明: 複数の USERID に対して ADDUSER コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID の必須 OWNER 値に複数の値が指定されています。

C4R696E OWNER 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。
(Cannot assign OWNER value, please split command)

説明: 複数の USERID に対して ADDUSER コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、USERID のデフォルト OWNER 値に複数の値が指定されています。

C4R697E INTERVAL 値を割り当てることができません。コマンドを分割してください。
(Cannot assign INTERVAL value,

please split command)

説明: 複数の USERID に対して PASSWORD コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルにより、ユーザー ID の必須パスワード INTERVAL に複数の値が指定されています。

C4R698E UPDATE 保護リソースの管理は許可されていません。コマンドが終了しました。
(Management of UPDATE protected resources not allowed, command terminated)

説明: 新規リソース・プロファイルにより、NOUPDATE リソースとして分類されているリソースを保護するために現在使用されているプロファイルが変更されます。これは許可されません。

C4R.class.=NOUPDATE.pattern ポリシー・プロファイルで指定されている LEVEL とパターンに一致するリソースは、NOUPDATE リソースとして分類されます。

C4R699E UPDATE 保護プロファイルへの UPDATE アクセス権限の付与は許可されていません (Granting UPDATE access to UPDATE protected profiles not allowed)

説明: このリソース・プロファイルは、LEVEL およびプロファイル・パターンにより UPDATE 保護リソースとして分類されています。このようなリソースへの UPDATE アクセス権限を付与するための十分な権限がありません。

メッセージ 700 から 799

C4R700E =NOUPDATE ポリシー・プロファイルの APPLDATA に無効な LEVEL level が指定されています。このプロファイルは無視されました。(Invalid LEVEL level in APPLDATA of =NOUPDATE policy profile, ignored)

説明: =NOUPDATE プロファイルの APPLDATA に指定されているレベルに、有効な値が含まれていません。ストリング「LEVEL=nn」の nn には 2 桁の 10 進数を指定してください。

C4R701W 必須 OWNER の指定が無効です。現行グループを使用します。(Specification for mandatory OWNER is invalid, use current group)

説明: 該当するポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドの =GROUP 指定に無効な数値が含まれています。

C4R702W デフォルト OWNER の指定が無効です。現行グループを使用します。
(Specification for default OWNER is invalid, use current group)

説明: 該当するポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドの =GROUP 指定に無効な数値が含まれています。

C4R703W 必須/デフォルト **OWNER** *owner* が有効な ID ではありません。現行グループを使用します。(**Mandatory/Default OWNER *owner* is not a valid id, use current group**)

説明: 結果として指定された OWNER ID が無効です。ID は、USERID または GROUP として存在していません。

C4R704W 必須 **SUPGRP** の指定が無効です。現行グループを使用します。(**Specification for mandatory SUPGRP is invalid, use current group**)

説明: 該当するポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドの =GROUP 指定に無効な数値が含まれています。

C4R705W デフォルト **SUPGRP** の指定が無効です。現行グループを使用します。(**Specification for default SUPGRP is invalid, use current group**)

説明: 該当するポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドの =GROUP 指定に無効な数値が含まれています。

C4R706W 必須/デフォルト **SUPGRP** *supgrp* が有効な ID ではありません。現行グループを使用します。(**Mandatory/Default SUPGRP *supgrp* is not a valid id, use current group**)

説明: 結果として指定された上位グループが無効です。ID は GROUP として存在していません。

C4R707W 必須 **OWNER** の指定が無効です。現行グループを使用します。(**Specification for mandatory OWNER is invalid, use current group**)

説明: 該当するポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドの =USERID 指定に無効な数値が含まれています。

C4R708W デフォルト **OWNER** の指定が無効です。現行グループを使用します。(**Specification for default OWNER is invalid, use current group**)

説明: 該当するポリシー・プロファイルの APPLDATA

フィールドの =USERID 指定に無効な数値が含まれています。

C4R709W 必須/デフォルト **OWNER** *owner* が有効な ID ではありません。現行グループを使用します。(**Mandatory/Default OWNER *owner* is not a valid id, use current group**)

説明: 結果として指定された OWNER ID が無効です。ID は、USERID または GROUP として存在していません。

C4R710W 必須 **DFLTGRP** の指定が無効です。現行グループを使用します。(**Specification for mandatory DFLTGRP is invalid, use current group**)

説明: 該当するポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドの =USERID 指定に無効な数値が含まれています。

C4R711W デフォルト **DFLTGRP** の指定が無効です。現行グループを使用します。(**Specification for default DFLTGRP is invalid, use current group**)

説明: 該当するポリシー・プロファイルの APPLDATA フィールドの =USERID 指定に無効な数値が含まれています。

C4R712W 必須/デフォルト **DFLTGRP** *dfltgrp* が有効な ID ではありません。現行グループを使用します。(**Mandatory/Default DFLTGRP *dfltgrp* is not a valid id, use current group**)

説明: 結果として指定されたデフォルト・グループが無効です。ID は GROUP として存在していません。

C4R713W 必須/デフォルト **OWNER** *owner* が有効な ID ではありません。現行グループを使用します。(**Mandatory/Default OWNER *owner* is not a valid id, use current group**)

説明: 結果として指定された OWNER ID が無効です。ID は、USERID または GROUP として存在していません。

C4R714W 必須/デフォルト **OWNER** *owner* が有効な **ID** ではありません。現行グループを使用します。**(Mandatory/Default OWNER *owner* is not a valid id, use current group)**

説明: 結果として指定された **OWNER** **ID** が無効です。**ID** は、**USERID** または **GROUP** として存在していません。

C4R715E **STARTED** プロファイル *profile* に **TRUSTED** を設定することはできません。**(Not allowed to set TRUSTED for STARTED profile *profile*)**

説明: 開始済みタスクの **TRUSTED** 属性を設定または再設定する権限がありません。*profile* は変更されません。

C4R716E **STARTED** プロファイル *profile* に **PRIVILEGED** を設定することはできません。**(Not allowed to set PRIVILEGED for STARTED profile *profile*)**

説明: 開始済みタスクの **PRIVILEGED** 属性を設定または再設定する権限がありません。*profile* は変更されません。

C4R717E **STARTED** プロファイル *profile* に **TRACE** を設定することはできません。**(Not allowed to set TRACE for STARTED profile *profile*)**

説明: 開始済みタスクの **TRACE** 属性を設定または再設定する権限がありません。*profile* は変更されません。

C4R718E **STARTED** プロファイル *profile* の *id-type id* を設定することはできません。**(Not allowed to set *id-type id* for STARTED profile *profile*)**

説明: **STARTED** プロファイルの **STDATA** セグメントで **USER** または **GROUP** を設定または再設定する権限がありません。*profile* は変更されません。

C4R719W **=NOUPDATE** ポリシー・プロファイルの **APPLDATA** に基準が指定されていませんでした。このプロファイルは無視されました。**(No criterion specified in APPLDATA of =NOUPDATE policy profile, ignored)**

説明: **=NOUPDATE** プロファイルの **APPLDATA** に

値が指定されていません。**=NOUPDATE** プロファイルは無視され、リソースは **UPDATE** 保護リソースとして扱われません。**APPLDATA** に有効な値を指定してください。

C4R720W **=NOUPDATE** ポリシー・プロファイルの **APPLDATA** に無効な値 *appldata* が指定されています。このプロファイルは無視されました。**(Invalid value *appldata* in APPLDATA of =NOUPDATE policy profile, ignored)**

説明: **=NOUPDATE** プロファイルの **APPLDATA** に指定された値は認識されません。**APPLDATA** に有効な値を指定してください。

C4R721E *segname* セグメントへのアクセスは許可されていません。コマンドが終了しました。**(Not allowed to access *segname* segment, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、**DATASET** または一般リソースの *segname* セグメントにアクセスする権限がありません。対応する **FIELD** プロファイルへのアクセス・レベルには関係なく、ポリシー・プロファイルへの **READ** アクセス権限が必要です。

C4R722E *segname* セグメントの変更は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Not allowed to modify *segname* segment, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、**DATASET** または一般リソースの *segname* セグメントを変更する権限がありません。対応する **FIELD** プロファイルへのアクセス・レベルに関係なく、ポリシー・プロファイルへの **UPDATE** アクセス権限が必要です。

C4R723E プロファイルの **UPDATE** 制御を解除することはできません。コマンドが終了しました。**(Taking profile out of UPDATE control not allowed, command terminated)**

説明: リソース・プロファイルは現在 **NOUPDATE** リソースとして分類されています。**LEVEL** を変更すると、この分類が解除されます。これは許可されません。**C4R.class.NOUPDATE.pattern** で指定されている **LEVEL** とパターンに一致するリソースは、**NOUPDATE** リソースとして分類されます。

C4R724E 取り消し日の変更は許可されていません。
コマンドが終了しました。(Revoke Date
change not allowed, command
terminated)

説明: 端末ユーザーには、ユーザー ID の取り消し日
を変更する権限がありません。このメッセージは、
CONNECT コマンドに将来の取り消し日または
NOREVOKE キーワードが指定されている場合に発行さ
れます。いずれの場合でも、UPDATE 権限が必要で
す。

C4R725E 再開日の変更は許可されていません。コマ
ンドが終了しました。(Resume Date
change not allowed, command
terminated)

説明: 端末ユーザーには、ユーザー ID の再開日を変
更する権限がありません。このメッセージは、
CONNECT コマンドに将来の再開日または
NORESUME キーワードが指定されている場合に発行さ
れます。いずれの場合でも、UPDATE 権限が必要で
す。

C4R726E 公開リソースへのアクセス権限の管理は許
可されていません。コマンドが終了しまし
た (Managing access to public resource
not allowed, command terminated)

説明: リソースが公開 リソースとして分類されている
ため、端末ユーザーには、PERMIT コマンドを使用して
このリソースのアクセス・リストで項目を追加または削
除する権限がありません。公開 リソースとは、
UACC>NONE が設定されているか、またはそのアクセ
ス・リストに ACCESS>NONE が設定された ID(*) が
含まれているリソースです。

C4R728E 内部エラー。終了します (Internal error,
exit)

説明: INSTDATA フォーマット・ポリシー・プロファ
イルの処理中に内部エラーが発生しました。電子サポー
ト Web サイトを参照して、このメッセージに関連付
けられた使用可能な保守を探してください。該当する保
守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポート
への連絡』に記載されている手順に従って問題を報告し
てください。

C4R729E 内部エラー。終了します (Internal error,
exit)

説明: C4RCATMN コマンド・パラメーターの処理中
に内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイ

トを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可
能な保守を探してください。該当する保守が見つからな
い場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に
記載されている手順に従って問題を報告してください。

C4R730E **C4RCATMN** モジュールは **APF** 許可モ
ジュールではありません。終了します。
(C4RCATMN module is not APF
authorized, exit)

説明: コマンド監査証跡データを維持する
C4RCATMN モジュールは、その機能を実行するために
APF 許可が必要です。APF 許可ライブラリーにこのモ
ジュールを追加し、モジュール名が PARMLIB の
IKJTSONn メンバーの APF 許可コマンド・テーブルに
含まれるようにしてください。

C4R731E 解析中にエラーが発生しました。
RC=retcode (Error in parse, RC=retcode)

説明: このエラーは回避しなければなりません。電子サ
ポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連
付けられた使用可能な保守を探してください。該当する
保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポ
ートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報
告してください。

C4R732E クラスが必要でした。終了します。(Class
required, exit)

説明: class パラメーターが必要です。有効なクラス・
パラメーターを指定してコマンドを再発行してくださ
い。

C4R733E プロファイルが必要でした。終了します。
(Profile required, exit)

説明: profile パラメーターが必要です。有効なプロファ
イル・パラメーターを指定してコマンドを再発行してく
ださい。

C4R734E コマンド監査証跡が **RACF LIST** 出力に
追加されます。(Command Audit Trail
will be appended to RACF LIST
output.)

説明: コマンド監査証跡情報が標準 RACF LIST コマ
ンド (LISTUSER など) の一部として含まれます。

C4R735E コマンド監査証跡が **RACF LIST** 出力から除外されます。**(Command Audit Trail will be excluded from RACF LIST output.)**

説明: コマンド監査証跡が標準 **RACF LIST** コマンド (**LISTUSER** など) の一部として含まれません。

C4R736I *class profile* のコマンド監査証跡
(Command Audit Trail for class profile)

説明: これは、*profile* のコマンド監査証跡表示のヘッダ一行です。

C4R737E *class profile* が見つかりませんでした
(class profile not found)

説明: タイプ *class* の *profile* が見つかりませんでした。クラス名が正しく完全に指定されていることを確認してください。また、*profile* に *class* の既存のプロファイルが反映されていることも確認してください。データ・セットの場合、*profile* には接頭部が含まれていますが、埋め込み引用符は含まれていません。このメッセージは、コマンド監査証跡情報をリストまたは削除しようとする発行されることがあります。

C4R738E コマンド監査証跡情報をリストする権限がありません
(Not authorized to list Command Audit Trail info)

説明: **=MAINT** コマンド監査証跡ポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権限がありません。リストできるものはありません。必要な権限について詳しくは、「*IBM Security zSecure Command Verifier: ユーザー・ガイド*」の『コマンド監査証跡機能の制御 (*Controlling the Command Audit Trail function*)』を参照してください。

C4R739I *Section-type: data-item command-info*

説明: これは、コマンド監査証跡情報行をマークするものです。*Section-type* は、その後に続くデータのタイプを示します。継続行では、*Section-type* の値がブランクであることがあります。*Data-item* は、*Section-type* 内のセグメントまたは属性を示します。継続行では、*data-item* の値がブランクであることがあります。*Command-info* は、コマンドに関する記録データを示します。表示されるデータについて詳しくは、「*IBM Security zSecure Command Verifier: ユーザー・ガイド*」の『コマンド監査証跡データ表示フォーマット (*Format of the Command Audit Trail data display*)』を参照してください。

C4R740I *class profile* のコマンド監査証跡はありません。**(No Command Audit Trail for class profile)**

説明: プロファイル *profile* のコマンド監査証跡はありません。リストできる情報はありません。

C4R742I *section-type* のコマンド監査データが削除されました。**(Command Audit data for section-type has been removed)**

説明: コマンドに指定されているプロファイルとクラスに関するメッセージに指定されているセクションに関するコマンド監査証跡情報が削除されました。

C4R743I 非制御オプションにより、**Controlled Temporary Auditor** の使用が禁止されました: *keywords* **(Uncontrolled options prevented use of Controlled Temporary Auditor: keywords)**

説明: 端末ユーザーには **Controlled Temporary Auditor** 機能 (**=CTLAUD**) を使用する権限がありますが、一時 **AUDITOR** 属性が使用されていません。コマンドに、必須ポリシー・プロファイルで制御されないオプションが 1 つ以上指定されています。リストされている非制御キーワードまたはパラメーターを削除してください。

C4R744E コマンド監査証跡情報を管理する権限がありません
(Not authorized to manage Command Audit Trail info)

説明: **=MAINT** コマンド監査証跡ポリシー・プロファイルへの十分なアクセス権限がありません。情報は削除されません。必要な権限について詳しくは、「*IBM Security zSecure Command Verifier: ユーザー・ガイド*」の『コマンド監査証跡機能の制御 (*Controlling the Command Audit Trail function*)』を参照してください。

C4R745E コマンド監査証跡では、データ・セットの複数ボリュームはサポートされていません
(Command Audit Trail does not support multiple volumes for datasets)

説明: 個別のデータ・セット・プロファイルの場合、存在できるボリュームは 1 つのみです。個別のデータ・セット・プロファイルが 1 つのボリュームのみに対して定義されていることを確認してください。

C4R746W コマンド監査証跡が大きすぎます。最も古い項目を削除します。**(Command Audit Trail too large, remove oldest entry)**

説明: 各コマンド監査証跡セクションの最大サイズは 4K です。現行セクションに、平均よりも大幅に長い項目が含まれています。項目数の上限である 64 項目には達していませんが、最新の項目が収まりません。最も古い項目が削除されます。

C4R747E クラス *class* が見つからなかったか、または非アクティブです。終了します。**(Class class not found or inactive, exit)**

説明: 「4C4RCATMN」コマンドに指定されたクラスが存在しないか、または非アクティブです。コマンド監査証跡情報を管理することはできません。

C4R748E 汎用グループを削除できません。コマンドが終了しました **(Universal groups may not be deleted, command terminated)**

説明: このメッセージは、システム特殊権限を持つユーザーが汎用グループを削除しようとしているが、そのユーザーが C4R.GROUP.DELETE.=UNIVERSAL ポリシーに対して少なくとも READ アクセスを持っていない場合に発行されます。

C4R749E 汎用グループを削除できません。コマンドが終了しました **(Universal groups may not be deleted, command terminated)**

説明: このメッセージは、システム特殊権限を持っていないユーザーが汎用グループを削除しようとしているが、そのユーザーは C4R.GROUP.DELETE.=UNIVERSAL ポリシーに対して少なくとも UPDATE アクセスを持っていない場合に発行されます。

C4R751E SETROPTS *keyword* は許可されていません。コマンドが終了しました。**(SETROPTS keyword not allowed, command terminated)**

説明: 対応するポリシー・プロファイルへの READ 以上のアクセス権限を必要とする SETROPTS キーワードは、許可されていませんでした。コマンドは実行されません。

C4R752E SETROPTS *keyword* は許可されていません。コマンドが終了しました。**(SETROPTS keyword not allowed, command terminated)**

説明: 対応するポリシー・プロファイルへの UPDATE 以上のアクセス権限を必要とする SETROPTS キーワードは、許可されていませんでした。コマンドは実行されません。

C4R753E *function* REFRESH はクラス *class* に対して実行できません。コマンドが終了しました。**(function REFRESH not allowed for class class, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、クラス *class* の関数 *function* のポリシー・プロファイルへの READ 以上のアクセス権限がありませんでした。REFRESH は実行されません。

C4R754E *function* はクラス *class* に対して実行できません。コマンドが終了しました。**(function not allowed for class class, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、クラス *class* の関数 *function* のポリシー・プロファイルへの UPDATE 以上のアクセス権限がありませんでした。コマンドは実行されません。

C4R755E パスワード・ヒストリーのクリーンアップは許可されていません。コマンドが終了しました **(Password history cleanup not allowed, command terminated)**

説明: このメッセージは、十分な権限がないユーザーがパスワードおよびフレーズのヒストリーのクリーンアップ機能を実行しようとした場合に発行されます。ユーザーには、少なくとも、C4R.USER.PWCLEAN.owner.user ポリシー・プロファイルに対する UPDATE 権限が必要です。

C4R756E パスワード変換は許可されていません。コマンドが終了しました。**(Password conversion not allowed, command terminated)**

説明: このメッセージは、十分な権限がないユーザーが現在のパスワードおよびパスワード・ヒストリーの変換機能を実行しようとした場合に発行されます。ユーザーには、少なくとも、C4R.USER.PWCONVERT.owner.user ポリシー・プロファイルに対する UPDATE 権限が必要です。

C4R757E **ROAudit** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(ROAudit attribute not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ROAUDIT 属性をターゲット・ユーザーに割り当てる権限がありません。

C4R758E **NoROAudit** 属性は使用できません。コマンドが終了しました。**(NoROAudit attribute not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、ROAUDIT 属性をターゲット・ユーザーから削除する権限がありません。

C4R759E ロックされたユーザー *user-name* の管理は許可されていません。コマンドが終了しました **(Management of locked user *user-name* not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、=NOCHANGE ポリシー・プロファイルで制御されるユーザー ID に関するアクションを実行する権限がありません。コマンドを終了します。

C4R760E ロックされたグループ *group-name* の管理は許可されていません。コマンドが終了しました **(Management of locked group *group-name* not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、=NOCHANGE ポリシー・プロファイルで制御されるグループに関するアクションを実行する権限がありません。コマンドを終了します。

C4R761E **SHARED UID** をユーザー *user-name* に割り当てることはできません。コマンドが終了しました **(Not allowed to assign SHARED UID to user *user-name*, command terminated)**

説明: SHARED キーワードを使用して、指定した UID を複数のユーザーで共有できると指定することはできません。このメッセージは、指定した UID が既に使用中かどうかにかかわらず発行される可能性があります。

ユーザーの処置: UID を共有 UID にする意図がない場合は、正しい UID を指定し、SHARED キーワードを指定せずに再度コマンドを実行してください。

C4R762E **SHARED GID** をグループ *group-name* に割り当てることはできません。コマンドが終了しました **(Not allowed to assign SHARED GID to group *group-name*, command terminated)**

説明: SHARED キーワードを使用して、指定した GID を複数のグループで共有できると指定することはできません。このメッセージは、指定した GID が既に使用中かどうかにかかわらず発行される可能性があります。

ユーザーの処置: GID を共有 GID にする意図がない場合は、正しい GID を指定し、SHARED キーワードを指定せずに再度コマンドを実行してください。

C4R763E ロックされたユーザー *user-name* に対するアクセス権限の付与または解除は許可されていません。コマンドが終了しました **(Granting or removing access for locked user *user-name* not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、=NOCHANGE ポリシー・プロファイルで制御されるユーザー ID に対するアクセス権限の付与または解除を実行する権限がありません。コマンドを終了します。

C4R764E ロックされたグループ *group-name* に対するアクセス権限の付与または解除は許可されていません。コマンドが終了しました **(Granting or removing access for locked group *group-name* not allowed, command terminated)**

説明: 端末ユーザーには、=NOCHANGE ポリシー・プロファイルで制御されるグループに対するアクセス権限の付与または解除を実行する権限がありません。コマンドを終了します。

C4R765E 内部エラー **RC: retcode - reascode**
(Internal error RC: retcode - reascode)

説明: サイト・メッセージ・テキストの取得中に内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C4R766I サイト・メッセージ・テキストを削除しました (**Site message text removed**)

説明: インストール・データを \$C4RMSGT=DELETE と指定しているときに RALTER コマンドが発行されました。要求に従って、このポリシー・プロファイルを対象として格納されたサイト・メッセージ・テキストを削除しました。

C4R767I サイト・メッセージ・テキストを保存しました (**Site message text saved**)

説明: インストール・データを \$C4RMSGT=message-text と指定しているときに RALTER コマンドが発行されました。要求に従って、このポリシー・プロファイルに指定されたメッセージ・テキストを保存しました。

C4R768W サイト・メッセージ・テキストがありません (**Site message text is missing**)

説明: 接頭部 \$C4RMSGT= でインストール・データを指定しているときに RALTER コマンドが発行されました。しかし、接頭部の後にサイト・メッセージ・テキストが見つかりませんでした。

C4R769E サイト・メッセージ・テキストの更新に失敗しました (**Failure updating site message text**)

説明: インストール・データを \$C4RMSGT=message-text と指定しているときに RALTER コマンドが発行されました。ポリシー・プロファイルのサイト・メッセージ・テ

メッセージ 800 から 899

C4R897W デフォルトのキーワード: *keywords*
(**Keywords defaulted: keywords**)

説明: デフォルト・ポリシーが原因でデフォルトに設定されたキーワードをリストします。

C4R898W オーバーライドされたキーワード:
keywords (**Keyword overrides: keywords**)

メッセージ 900 から 999

C4R900E zSecure Command Verifier により制御されていないコマンドです。終了します。
(**Command not controlled by zSecure Command Verifier, exit**)

説明: 内部エラーが発生しました。入力されたコマンドは、有効な RACF コマンドとして認識されませんでした。

キストを更新するときに障害が発生しました。このメッセージにはメッセージ C4R770E が付随します。

C4R770E 内部エラー **RC: retcode - reascode**
(**Internal error RC: retcode - reascode**)

説明: サイト・メッセージ・テキストの保存中に内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C4R771E DATASET プロファイル *dsname* に **RESOWNER** を設定することはできません。
(**Not allowed to set RESOWNER for DATASET profile dsname**)

説明: このデータ・セット・プロファイルの DFP セグメントで RESOWNER 値を設定または再設定する権限がありません。profile は変更されません。

C4R772E DATASET プロファイル *dsname* に **DATAKEY** を設定することはできません。
(**Not allowed to set DATAKEY for DATASET profile dsname**)

説明: このデータ・セット・プロファイルの DFP セグメントで DATAKEY 値を設定または再設定する権限がありません。profile は変更されません。

説明: 必須ポリシーが原因でオーバーライドされたキーワードをリストします。

C4R899W 抑止されたキーワード: *keywords*
(**Keywords suppressed: keywords**)

説明: ポリシーに違反していたために抑止されたキーワードをリストします。

C4R910E コマンド解析中にエラーが発生しました。終了しました。
(**Error in command parsing; terminated**)

説明: コマンドのパラメーターおよびキーワードの解析中に内部エラーが発生しました。

C4R911W プロファイル・リストはサポートされていません。2 番目以降のプロファイルはすべて無視されます。**(List of Profiles not supported, all but first ignored)**

説明: zSecure Command Verifier 出口では複数のプロファイルはサポートされていません。

C4R913I *Command-String*

説明: このメッセージは、zSecure Command Verifier による処理後に実行するために RACF に渡された RACF コマンドを示します。

C4R914I *site message text*

説明: ポリシー違反が発生しました。このメッセージは、追加情報を提供するサイト指定のメッセージ・テキストを示します。サイト・メッセージ・テキストは、適用可能なポリシー・プロファイルで定義されています。

C4R920E コマンド作成中にエラーが発生しました。終了しました。**(Error in command creation; terminated)**

説明: 内部エラーが発生したため、ポリシーの解析および処理後に RACF コマンドを再作成できませんでした。

C4R930E コマンド変更中にエラーが発生しました。終了しました。**(Error in command modification; terminated)**

説明: 内部エラーが発生しました。

C4R940E **IKJPARS** の呼び出し中に内部エラーが発生しました。**(Internal error in calling IKJPARS.)**

説明: 内部エラーが発生しました。

C4R945E パラメーターの入力を求めるプロンプトを出すことができませんでした **(Could not prompt for parameters)**

説明: 無効なパラメーターが検出されましたが、zSecure Command Verifier はユーザーに対し訂正を求めるプロンプトを出すことができませんでした。

C4R950E アテンション・キーが押されました **(Attention key pressed)**

説明: アテンション・キーが押されたため、処理が中断しました。

C4R967E インストール・エラー: **C4RMAIN** と **C4RPIER** でバージョンが一致しません。**(Installation error: Version mismatch between C4RMAIN and C4RPIER)**

説明: 2 つの主要コンポーネントのレベルが同一ではありません。IRREVX01 出口ルーチン (C4RMAIN) がアクティブであり、対応する C4RPIER モジュールが使用されていることを確認してください (SETPROG および LLA に関連するインストール手順を参照)。

C4R968W 総称プロファイルは使用されません **(Generic profiles will not be used)**

説明: ポリシー・プロファイルに使用されているリソース・クラスで、総称プロファイルが有効になっていません。このリソース・クラスに対して SETOPTS GENERIC コマンドが発行されていることを確認してください。class.

C4R969I 総称プロファイルが有効にされます。**(Generic profiles will be enabled)**

説明: ポリシー・プロファイルに使用されるリソース・クラス内の総称プロファイルが定義され、使用されます (特定のポリシー・プロファイルに適用可能な場合)。

C4R970E サポートされていない出口バージョンです。**(Unsupported exit version)**

説明: zSecure Command Verifier 状況モジュールは、RACF共通コマンド出口 (IRREVX01) として使用されている C4RMAIN モジュールのバージョンを認識できません。この状態の原因として最も可能性が高いのは、zSecure Command Verifier バージョン 1.6 より前のバージョンが存在していることです。

C4R971I 出口のバージョンは *number* です。**(Exit version is number)**

説明: RACF 共通コマンド出口 (IRREVX01) として使用される C4RMAIN モジュールのバージョンは *number* です。

C4R972W バージョン番号の読み取り中にエラーが発生しました。**(Error reading version number)**

説明: zSecure Command Verifier 状況モジュールは、RACF共通コマンド出口 (IRREVX01) として使用されている C4RMAIN モジュールのバージョンを認識できません。バージョン番号が必須構文に従っていません。

C4R973I **PIER** バージョンは *number* です。(PIER version is *number*)

説明: ポリシー解釈および実施ルーチン (Policy Interpretation and Enforcement Routine) (C4RPIER) のバージョンは *number* です。

C4R975W リソース・クラスがアクティブではありません。(Resource class is not active)

説明: C4REXP でポリシー・プロファイルに指定されている RACF リソース・クラスがアクティブではありません。正しいリソース・クラスが指定されており、SETROPTS CLASSACT(*classname*) を使用してこのクラスがアクティブにされていることを確認してください。

C4R976I リソース・クラスがアクティブです。(Resource class is active)

説明: C4REXP でポリシー・プロファイルに指定されている RACF リソース・クラスがアクティブです。これは予期されている状況です。

C4R978I ポリシー・プロファイル数は *number* です。(Number of policy profiles is *number*)

説明: ポリシー・プロファイルに指定されている RACF リソース・クラスで *number* 個のプロファイルが定義されています。この数が予期されている数であるかどうかを確認してください。

C4R979E 有効な XPL がありません。終了します。(No valid XPL, terminate)

説明: このエラーは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C4R980I **Command Verifier** がアクティブではありません。(Command Verifier has not been activated)

説明: RACF 動的出口点 IRREVX01 のアクティブな出口モジュールが見つかりませんでした。

C4R981I **Command Verifier** がアクティブではありません。(Command Verifier has not been activated)

説明: RACF 動的出口点 IRREVX01 に対して C4RMAIN 出口モジュールが定義されていますが、このモジュールがアクティブではありませんでした。

C4R982I **Command Verifier** はアクティブです。(Command Verifier is active)

説明: zSecure Command Verifier が、アクティブな RACF 共通コマンド出口 (IRREVX01) として検出されました。

C4R985I ポリシー・プロファイルに使用されているリソース・クラスは *class* です。(Resource class used for policy profiles is *class*)

説明: このメッセージは、C4REXP オプション・モジュールで指定されているリソース・クラスを示します。

C4R988E **C4RSTAT** モジュールは **APF** 許可モジュールではありません。終了します。(C4RSTAT module is not APF authorized, exit)

説明: C4RSTAT では、現行 RACF 共通コマンド出口ルーチンを検出するには APF 許可が必要です。続行できません。

C4R990I コマンドの呼び出し中にエラーが発生しました。(Error in calling command)

説明: zSecure Command Verifier は、指定されたコマンドを実行できませんでした。関連付けられているコマンド・プロセッサの接続中にエラーが発生しました。

C4R991E 生成されたコマンドが無効です。終了しました。(Generated command is invalid; terminated.)

説明: zSecure Command Verifier により作成されたコマンドの先頭文字が、有効な文字ではありませんでした。続行できません。

C4R992E **RACLIST** を使用してポリシー・プロファイルをプリロード中にエラーが発生しました。**rc=retcode** (Error pre-loading policy profiles via RACLIST, rc=*retcode*)

説明: ポリシー・プロファイルの RACLIST 実行中にエラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参

照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C4R993E ポリシー・プロファイル・リソース・クラスがアクティブではありません。(Policy profile resource class is not active)

説明: C4REXP に指定されているポリシー・プロファイルに使用されるリソース・クラスがアクティブではありません。ほとんどのポリシー規則は、実施されないものとして見なされます。

C4R995E 正しくない関数、コマンド・コード、または呼び出しにより終了しました。(Illegal function or command code or call; terminated.)

説明: zSecure Command Verifier の呼び出しに使用されたパラメーターが無効です。

C4R999E 内部エラー 04 が発生しました。終了しました。(Internal error 04, terminated)

説明: 内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C4R999E 内部エラー 08 が発生しました。終了しました。(Internal error 08, terminated)

説明: 内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C4R999E 内部エラー 0C が発生しました。終了しました。(Internal error 0C, terminated)

説明: 内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

C4R999E 内部エラー 10 が発生しました。終了しました。(Internal error 10, terminated)

説明: 内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

第 15 章 BB メッセージ

この章では、zSecure Visual を使用するときに表示される場合があるエラー・メッセージについて説明します。クライアント側では、これらのエラーがメインフレーム側での誤ったインストールの結果である可能性もあれば、権限上の問題が原因である可能性もあります。Visual サーバーのセットアップおよびクライアント権限の構成については、「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド」を参照してください。以下のリストでは、zSecure Visual クライアントが zSecure Visual サーバーにログインした後に表示される場合があるサーバー・エラー・メッセージに関する情報を示します。

BBn メッセージ・テキストは、*n* の値によって異なります。**(The message text varies depending on the value of *n*.)**

説明: BB*n* メッセージ (ここで *n* は 100000 未満の番号) については、資料「UNIX System Services メッセージおよびコード」の『戻りコード一覧 (値順)』のセクションで『10 進値 *n*』の項目を参照してください。

BB124 このプロセスに対して開いているファイル数が多すぎます。**(Too many files are open for this process.)**

説明: サーバー・プロセスのファイル記述子の数が最大数に達しました。最大値を増大する方法については、「IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド」の『所有者、ディレクトリー、およびファイル・システムの設定 (Establishing owners, directories and file systems)』を参照してください。

BB146 シンボリック・リンクの数が多すぎます。**(Too many levels of symbolic links)**

説明: プログラム (CKRCARLA または CKGRACF) からプログラム までのシンボリック・リンクが、zSecure Visual サーバー・ソフトウェアが収容されているディレクトリー内に存在します。ジョブ C2RZWUNP によって作成されたファイルおよびリンク以外には、このディレクトリー内に存在しないことを確認してください。

BB157 内部エラーが発生しました。

説明: bbracf プログラムは、プログラム制御が行われていません。エラー BB100014 を参照してください。

BB100014 この環境はプログラム制御の要件を満たしていません。**(The environment does not satisfy the requirements for program control.)**

説明: 必須モジュールのプログラム制御が行われていません。Visual サーバーのアドレス・スペースに読み込まれているすべてのロード・モジュール (およびプログラム・オブジェクト) は、プログラム制御にする必要があります。さらに、Visual サーバー・ソフトウェアを格納しているファイル・システムは、SECURITY 属性および SETUID 属性を指定してマウントする必要があります。制御されていないモジュールは、MVS syslog のメッセージ CSV0421I で識別できます。

「インストールおよびデプロイメント・ガイド」の『zSecure Visual サーバーのセットアップおよび使用 (Setting up and using the zSecure Visual Server)』の章で、『インストール要件』および『ソフトウェアの所有者および場所の準備』を参照してください。

プログラム制御を設定したら、サーバーを再始動してください。

BB100018 ユーザー・アドレス・スペースのストレージが残っていないため、ユーザーの数が最大に到達しました。**(The maximum number of users has been reached because there is no user address space storage left)**

説明: ユーザー・アドレス・スペースのストレージが使用できません。現在サーバーに接続されているクライアントが、使用可能なユーザー・アドレス・スペースをすべて使い果たしています。追加のクライアントを接続することはできません。

BB200004

BB200004 要求されたプログラム *program* が異常終了しました。**(The requested program program has abended)**

説明: このメッセージは、通常、CKRCARLA または CKGRACF を実行する権限をユーザーが持っていないため、システム異常終了 913-38 (アクセスがセキュリティ・マネージャーによって拒否された) が発生していることを示します。

第 16 章 B8R メッセージ

IBM Security zSecure Admin で使用できる RACF-Offline 機能を使用すると、非アクティブの RACF データベースに対して大半の RACF コマンドを発行できます。RACF Offline によって発行されたメッセージには、B8RnnnX という形式のメッセージ接頭部が付いています。nnn はメッセージ番号、X は重大度標識を表します。RACF-Offline について詳しくは、「IBM Security zSecure Admin and Audit for RACF: ユーザー・リファレンス・マニュアル」を参照してください。重大度標識の一般的な意味は、以下のとおりです。

- I** 通知メッセージ。
- W** 警告メッセージ。プログラムは続行しますが、エラーが発生しました。
- E** エラー・メッセージ。プログラムは直ちに終了するか、または続行を試みます。
- S** 重大なエラー・メッセージ。プログラムを続行できません。
- A** アクション・メッセージ。プログラムは、ユーザーからの応答を待っています。

B8R100I **B8RACF** バージョン *version* (**B8RACF Version** *version*)

説明: この識別メッセージは、アクティブな IBM Security zSecure Admin RACF-Offline のバージョンを示します。

B8R102E **B8RACF** モジュールに **APF** 許可がありません。終了します。(**B8RACF module is not APF authorized, exit**)

説明: B8RACF コマンドは、TSO 許可のあるコマンド・リストに組み込む必要があり、APF 許可のあるライブラリーから読み込む必要があります。これが正しく実装されていることを確認してください。

B8R104E コマンドに **APF** 許可がありません。終了します。(**Command not APF authorized, exit**)

説明: RACF コマンドは、TSO 許可のあるコマンド・リストに組み込む必要があり、APF 許可のあるライブラリーから読み込む必要があります。これが正しく実装されていることを確認してください。

B8R105E **estaex** のセットアップ時エラー、**RC=retcode-reascode** (**Error in setup of estaex, RC=retcode-reascode**)

説明: エラー・リカバリー環境のセットアップ中にシス

テム・エラーが発生しました。実行は終了します。システム戻りコードは *retcode*、理由コードは *reascode* です。

B8R106E **RACF-Offline** は使用不可になっています。終了します。(**RACF-Offline disabled, exit**)

説明: IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 機能は、parmlib 内の IFAPRDxx メンバーを介して使用不可になりました。

B8R108E 登録解除エラー、**rc=return-code** (**Deregistration error, rc=return-code**)

説明: 製品の使用登録を解除しているときに、予想外のエラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R110E **B8RACF** コマンドは許可されません。既に **B8RACF** 環境に入っています。(**You are already under B8RACF**)

説明: B8RACF を再帰的に使用することはできません。このメッセージが発行されるのは、現行セッションで B8RACF が既に実行されているときに、B8RACF を開始しようとしたときです。

B8R111E **RACF-Offline は RACF 制御されません。(RACF-Offline is not RACF controlled)**

説明: IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 機能は RACF プロファイルを介して制御されていないか、指定したリソース・クラスはアクティブではありません。

B8R112E **IBM Security zSecure Admin RACF Offline を使用する権限がありません (You are not authorized to use IBM Security zSecure Admin RACF Offline)**

説明: IBM Security zSecure Admin RACF-Offline へのアクセスを制御する目的で使用される RACF プロファイルに、該当ユーザーが製品を使用することを許可しないと指定されています。アクセス権限の検査時に使用された正確なプロファイルについては、同時に表示される ICH408I メッセージを参照してください。

B8R113E **B8RACF を使用するための検査時にエラーが発生しました。RC=retcode (Error during verification to use B8RACF, RC=retcode)**

説明: IBM Security zSecure Admin RACF-Offline を使用する権限の検査中に、システム・エラーが発生しました。実行は終了します。RACF 戻りコードは *retcode* です。

B8R114E **通信ブロックのセットアップ中にエラーが発生しました。(Error setting up communication block)**

説明: 複数の B8RACF モジュール間に通信域をセットアップするときに、システム・エラーが発生しました。このエラーは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R116E **新規セキュリティー環境のセットアップ中にエラーが発生しました。(Error setting up new security environment)**

説明: オフライン RACF データベースを使用するには、2 次 ACEE が必要です。ACEE の作成処理中にシステム・エラーが発生しました。このエラーは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照

して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R118E **オプション・モジュールの処理中にエラーが発生しました。終了します。(Error processing options module, exit)**

説明: B8ROPT オプション・モジュールの処理中に内部エラーが発生しました。インストール処理中に、このオプション・モジュールを作成するための正しい手順に従っていたことを確認してください。

B8R119E **パラメーター・ファイルの処理中にエラーが発生しました。終了します。(Error processing parameter file, exit.)**

説明: B8RPARM ファイルの処理中に内部エラーが発生しました。TSO が受け入れる正しい属性を持つファイルを B8RPARM DDNAME が指すことを確認してください。例えば、次の属性を持つファイルは有効です。

- 最後の 8 列に属性 RECFM=FB、LRECL=80、および行番号がある順次ファイル
- 最初の 8 列に属性 RECFM=VB、LRECL=255 および行番号があるファイル

B8R120E **内部エラー。終了します (Internal error, exit)RC=retcode-reascode**

説明: RACF-Offline で使用する RACF コードを準備する際に内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R121I **B8ROPT オプション・モジュールの処理が完了しました (Completed processing B8ROPT options module)**

説明: B8ROPT オプション・モジュールからのすべてのコマンドが処理されました。B8RPARM ファイル (存在する場合) からの実行コマンドで処理は続行されます。

B8R122E **RACF コマンドのインターセプトのセットアップ中にエラーが発生しました (Error during RACF command intercept setup)**

説明: RACF-Offline で処理される RACF コマンドのセットアップ中にエラーが発生しました。処理を続行できません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R123E **RACF コマンド・プロセッサのセットアップ中にエラーが発生しました (Error during RACF command processor setup)**

説明: RACF-Offline で使用する RACF コマンド・プロセッサの準備中にエラーが発生しました。処理を続行できません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R124E **オフラインの RACF DB のセットアップ中にエラーが発生しました。終了します。(Error during setup of offline RACF DB, exit)**

説明: オフラインの RACF データベースを初期化するために必要な RACF サブルーチンの実行中にエラーが発生しました。処理を続行できません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R125E *modname* の識別エラーが発生しました。
RC=rc (Identify error for modname.
RC=rc)

説明: RACF-Offline コマンド・プロセッサ *modname* を識別する際にエラーが発生しました。実行を継続しますが、一部の RACF コマンドが正しく機能しない可能性があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R126E **ENV00 を準備できません (Cannot prepare ENV00)**

説明: RACF-Offline で使用する IRRENV00 の専用コピーを準備する際にエラーが発生しました。処理を続行できません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R127E **TSO 環境のセットアップ中にエラーが発生しました。RC=retcode (Error during setup TSO environment, RC=retcode)**

説明: TSO 環境の初期化中にエラーが発生しました。処理を続行できません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R128E **MNGR を準備できません (Cannot prepare MNGR)**

説明: RACF-Offline で使用する IRRMNGR の専用コピーを準備する際にエラーが発生しました。処理を続行できません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R130E **内部エラー。終了します (Internal error, exit)**

説明: オフライン環境の初期化中に内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R131E **内部エラー。終了します (Internal error, exit)**

説明: オフライン環境の初期化中に内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R134E 内部エラー。終了します (**Internal error, exit**)RC=retcode-reascode

説明: オフライン環境の初期化中に内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッセージの完全なテキストを報告してください。

B8R135E **B8REPLAY** コマンドに **APF** 許可がありません。終了します。(**B8REPLAY command not APF authorized, exit**)

説明: いくつかの RACF-Offline コマンドは、TSO 許可のあるコマンド・リストに組み込む必要があります、APF 許可のあるライブラリーから読み込む必要があります。このメッセージは、正しく定義されていない **B8REPLAY** コマンドを ISPF 内で呼び出した場合に発行されます。

B8R136E **B8RACFLG** コマンドに **APF** 許可がありません。終了します。(**B8RACFLG command not APF authorized, exit**)

説明: いくつかの RACF-Offline コマンドは、TSO 許可のあるコマンド・リストに組み込む必要があります、APF 許可のあるライブラリーから読み込む必要があります。このメッセージは、正しく定義されていない **B8RACFLG** コマンドを ISPF 内で呼び出した場合に発行されます。

B8R137E **B8RVARY** コマンドに **APF** 許可がありません。終了します。(**B8RVARY command not APF authorized, exit**)

説明: いくつかの RACF-Offline コマンドは、TSO 許可のあるコマンド・リストに組み込む必要があります、APF 許可のあるライブラリーから読み込む必要があります。このメッセージは、正しく定義されていない **B8RVARY** コマンドを ISPF 内で呼び出した場合に発行されます。

B8R138E *code* を準備できません (**Cannot prepare code**)

説明: RACF-Offline で使用するプログラム・モジュールを準備する際にエラーが発生しました。値 *code* はプログラム・モジュールの内部表現です。処理を続行できません。エラー状態の性質によっては、このメッセージが数回出される場合があります。

ユーザーの処置: 電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を

探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。このメッセージの完全なテキストを報告してください。

B8R143I **B8RPARM** ファイルの処理が完了しました (**Completed processing B8RPARM file**)

説明: このメッセージは、**B8RPARM** 入力ファイルの最後に達したことを示しています。オフライン環境は初期化され、入力した **RACF** コマンドは処理されるようになります。

B8R150E 割り振られている **RACF** データベースがありません。終了します。(**No RACF database allocated, exit**)

説明: オフライン環境の初期化中に、**RACF** データベースが割り振られていなかったことが分かりました。この原因としては、以下のことが考えられます。

- 割り振りエラー
- **B8ROPT** オプション・モジュールでの指定エラー
- **B8RPARM** ファイルでの指定エラー
- **B8ROPT** および **B8RPARM** に **RACFDB** ステートメントがない

RACFDB ステートメントに正しい **RACF** データベースが指定されていることを確認してください。

B8R151E アクティブな基本 **RACF-DB** はサポートされていません。(**Active Primary RACF-DB is not supported**)

説明: **RACFDB** ステートメントに、現在アクティブな基本 **RACF** データベースが指定されていないことを確認してください。

B8R152E アクティブなバックアップ **RACF-DB** はサポートされていません。(**Active Backup RACF-DB is not supported**)

説明: **RACFDB** ステートメントに、現在アクティブなバックアップ **RACF** データベースが指定されていないことを確認してください。

B8R154I 選択されている **RACF DB** の使用は制御されません。(**Use of selected RACF DB is uncontrolled**)

説明: **RACFDB** ステートメントに示されている **RACF** データベースの使用は、zSecure Admin **RACF-Offline** 固有のプロファイルを介しては制御されません。

zSecure Admin RACF-Offline を介した RACF データベースの使用は現在許可されています。

B8R155E 無効な LOG データ・セット *reason*
(Invalid LOG data set *reason*)

説明: 指定されているログ・データ・セットには必須の属性がありません。 *reason* 変数は、誤った属性を説明するもので、以下のいずれかの値になります。

- dsorg not PS
- recfm not VB
- lrecl not 32756

ユーザーの処置: 正しいログ・データ・セットが指定されていることを確認してください。ログ・データ・セットは、順次の可変ブロック化データ・セットで、論理レコード長が 32756 である必要があります。ログ・データ・セットなしで IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 機能を実行することもできます。

B8R156E この RACF DB を使用する権限がありません。(You are not authorized to use this DB)

説明: RACFDB ステートメントに示されている RACF データベースの使用は許可されていません。

この RACF データベースを IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 製品で使用することを拒否した該当プロファイルについては、同時に表示される ICH408I メッセージを確認してください。オフライン・データベースにデータ共用モード・シスプレックスの IRRPLEX_sysplex プロファイルが格納されている場合は、少なくとも CONTROL 権限が必要です。それ以外の場合は、プロファイルに対する UPDATE 権限で十分です。

B8R158E RACF からの戻りコード *retcode* (Return code *retcode* from RACF)

説明: RACF アクセス権限検査の実行中に、予想外の戻りコードが返されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R162I RACINIT DELETE からの戻りコード
retcode-reascode (Return code from
RACINIT DELETE *retcode-reascode*)

説明: 一時セキュリティー環境を削除するための RACROUTE が失敗しました。このメッセージには、戻りコード (*retcode*) と理由コード (*reascode*) が含まれて

います。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R170E DCB アベンド EXIT が入力されました。**Code=abendcode-reascode (DCB Abend exit entered, Code=abendcode-reascode)**

説明: B8RLOG ファイルの処理中にエラーが発生しました。リカバリーが試行されますが、必ずしも可能なわけではありません。LOG 処理は中断されます。*abendcode-reascode* について詳しくは、IBM メッセージおよびコードのマニュアルを参照してください。

B8R172E リカバリーを実行できません。終了処理を続行します。(Recovery not possible, continue termination)

説明: メッセージ B8R170E で示されたエラーを抑止することができません。異常終了処理が続行され、終了が早まる可能性が高くなります。

B8R174I リカバリーが試行され、ログは中断されます。(Recovery will be attempted, log suspended)

説明: メッセージ B8R170E で示されたエラーは、リカバリーできます。通常の処理は続行されますが、LOG 機能は中断されます。

B8R180E 作業域にアクセスできません。**RC=retcode (Cannot access workarea, RC=retcode)**

説明: コマンド実行モジュールが内部作業域にアクセスできません。N/T 検索ルーチンからの戻りコードは *retcode* です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R182E リカバリー環境のセットアップ中にエラーが発生しました。**RC=retcode-reascode (Error setting up recovery environment, RC=retcode-reascode)**

説明: リカバリー環境のセットアップ中に予想外のシステム・エラーが発生しました。ESTAEX ルーチンからの戻りコードおよび理由コードは、*retcode-reascode* です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージ

に関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R184E 無効な DSCT ポインターです。(Invalid DSCT pointer)

説明: 内部制御ブロック構造にエラーが検出されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R186E PUTGET でエラーが発生しました。
RC=retcode (Error in PUTGET,
RC=retcode)

説明: 入力ファイルからコマンドを取得するための PUTGET サービスの実行中にエラーが発生しました。サービスからの戻りコードは *retcode* でした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R188E *smf-exit-routine* の追加時にエラーが発生しました。RC=retcode-reascode (Error adding *smf-exit-routine*,
RC=retcode-reascode)

説明: DYNEXIT サービス・ルーチンの実行中にエラーが発生しました。このルーチンは、オフラインの RACF データベースのアクセス中に作成された SMF レコードを識別するために使用される、SMF 出口ルーチンを定義するために使用されます。サービスからの戻りコードおよび理由コードは、*retcode-reascode* です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R189E 出口 *exitname* がサブシステム *subsystem name* に指定されていません。(Exit *exitname* not specified for subsystem *subsystem name*)

説明: SMF 出口 (IEFU83、IEFU84 および IEFU85) の定義は、システム全体、および SMFPRMxx parmlib メンバー内で指定されているすべてのサブシステムに対し

て必要です。このメッセージが表示されるのは、これらの出口定義のいずれか (*exitname*) が、いずれかのサブシステム (*subsystem name*) で欠落している場合です。欠落している定義ごとに、個別のメッセージが発行されます。

SUBSYS(OMVS,NOEXITS) などのステートメントが SMFPRMxx parmlib メンバーに含まれているため、出口定義が欠落している可能性があります。このようなステートメントが含まれていると、このサブシステムに対して出口が使用不可になります。その結果、このサブシステムからの、オフライン・データベースに対する更新情報を反映する SMF レコードは、ライブ RACF データベースに対する更新情報と区別できなくなります。

ユーザーの処置: このメッセージが発生しないようにするには、出口 IEFU83、IEFU84、IEFU85 がすべてのサブシステムで有効になるようにします。SMFPRMxx Parmlib メンバーについて詳しくは、「z/OS MVS 初期設定およびチューニング ガイド (SA88-7084)」を参照してください。

B8R190E *smf-exit-routine* の削除時にエラーが発生しました。RC=retcode-reascode (Error deleting *smf-exit-routine*,
RC=retcode-reascode)

説明: DYNEXIT サービス・ルーチンの実行中にエラーが発生しました。このルーチンは、オフラインの RACF データベースのアクセス中に作成された SMF レコードを識別するために使用される、SMF 出口ルーチンを削除する目的で使用されます。サービスからの戻りコードおよび理由コードは、*retcode-reascode* です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R200A RACF コマンドまたは「END」を入力してください。(Enter RACF command or "END")

説明: これは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline が初期化されたことを示す端末プロンプトであり、オフラインの RACF データベースに対して実行する RACF コマンドを要求しています。発行する RACF コマンドがこれ以上ない場合は、END を入力してプロンプト表示を停止してください。

B8R201A 続行するには、**Enter** キーを押してください。**(Press enter to continue)**

説明: これは、アテンション・キーの処理後にアテンション・ルーチンから出された端末プロンプトです。

B8R202E 構文解析でエラーが発生しました。
RC=retcode (Error from parse,
RC=retcode)

説明: B8REPLAY コマンドの構文解析を正常に実行できませんでした。戻りコードは *retcode* です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R203E **SELECT** パラメーターは必須です。終了します。**(SELECT parameter is required, exit)**

説明: **SELECT** パラメーターは B8REPLAY コマンドの必須パラメーターです。**SELECT** キーワードと、B8ROPTxx ファイルの 2 文字の ID を指定してください。

B8R204E *ddname* を開くことができません。
(Cannot open ddname)

説明: ファイル *ddname* に **OPEN** エラーが発生しました。このファイルは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 制御コマンドを含む、事前に割り振られた B8ROPTxx ファイルにしてください。データ・セットは FB(80) にしてください。

B8R205I リプレイにより、*ddname* の解釈が開始されます **(Replay start interpreting ddname)**

説明: この進行メッセージは、LOGDS コマンドに対する B8ROPTxx ファイルのスキャンが開始されたことを示しています。LOGDS ステートメントにより、リプレイの対象の LOG データ・セットが指定されます。

B8R207I リプレイによる *ddname* の解釈が完了しました **(Replay finished interpreting ddname)**

説明: この進行メッセージは、B8ROPTxx ファイルのスキャンが完了したことを示しています。このファイルでは、リプレイの対象である LOG データ・セットを指

定する LOGDS ステートメントがスキャンされました。

B8R208E *ddname* を閉じることができません。
(Cannot close ddname)

説明: ファイル *ddname* に **CLOSE** エラーが発生しました。このエラーは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R209E *ddname* が見つかりません。**(ddname not found)**

説明: **SELECT** キーワードを介して指定した B8ROPTxx ファイルが見つかりません。正しいサフィックスが指定されていること、および B8ROPTxx ファイルが割り振られていることを確認してください。

B8R210E リプレイ **LOG** ファイルが見つかりません。**(Replay LOG file not found)**

説明: LOGDS キーワードを介して指定した **COMMAND** ファイルが見つかりません。正しい *dsname* を指定していたことと、データ・セットが存在することを確認してください。

B8R211I アテンション・キーが押され、コマンドが終了しました。**(Attention key pressed, command terminated)**

説明: アテンション・キー (ATTN または PA1) が押されました。現行のコマンドは終了されました。B8R201A プロンプトの後に、次のコマンドを入力してください。

B8R214E *ddname* を開くことができません。
(Cannot open ddname)

説明: ファイル *ddname* に **OPEN** エラーが発生しました。このファイルは、RACF サブコマンドやその他のサポート対象 IBM Security zSecure Admin RACF-Offline サブコマンドを含む既存のファイルにしてください。データ・セットは VB(255) にしてください。

B8R215I リプレイにより、**cmdfile** の処理が開始されます。**(Replay start processing cmdfile)**

説明: この進行メッセージは、B8REPLAY コマンドの SELECT キーワードを介して指定した COMMAND ファイルが処理されることを示しています。

B8R216I *command*

説明: この進行メッセージは、RACF サブコマンドまたは IBM Security zSecure Admin RACF-Offline サブコマンドである *command* が処理されることを示しています。

B8R217I リプレイによる **cmdfile** の処理が完了しました **(Replay finished processing cmdfile)**

説明: この進行メッセージは、COMMAND ファイルの処理が完了したことを示します。COMMAND ファイルは、指定された B8ROPTxx ファイル内の LOGDS ステートメントによって検索されました。

B8R218E *ddname* を閉じることができません。
(Cannot close ddname)

説明: ファイル *ddname* に CLOSE エラーが発生しました。このエラーは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R220E リカバリー環境のセットアップ中にエラーが発生しました。**RC=retcode-reascode (Error setting up recovery environment, RC=retcode-reascode)**

説明: リカバリー環境のセットアップ中に予想外のシステム・エラーが発生しました。ESTAEX ルーチンからの戻りコードおよび理由コードは、*retcode-reascode* です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R222E *smf-exit-routine* の活動化時にエラーが発生しました。**RC=retcode-reascode (Error activating smf-exit-routine, RC=retcode-reascode)**

説明: DYNEXIT サービス・ルーチンの実行中にエラーが発生しました。このルーチンは、オフラインの RACF データベースにアクセスしているときに作成された SMF レコードを識別するために使用される SMF 出口ルーチンを活動化する目的で使用されます。サービスからの戻りコードおよび理由コードは、*retcode-reascode* です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R224E *smf-exit-routine* の非活動化時にエラーが発生しました。**RC=retcode-reascode (Error inactivating smf-exit-routine, RC=retcode-reascode)**

説明: DYNEXIT サービス・ルーチンの実行中にエラーが発生しました。このルーチンは、オフラインの RACF データベースにアクセスしているときに作成された SMF レコードを識別するために使用される SMF 出口ルーチンを非活動化する目的で使用されます。サービスからの戻りコードおよび理由コードは、*retcode-reascode* です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R226E *ddname* を開くことができません。
(Cannot open ddname)

説明: ファイル *ddname* に OPEN エラーが発生しました。このファイルは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 制御コマンドを含む既存の B8ROPTxx ファイルにしてください。データ・セットは FB(80) にしてください。

B8R228I *ddname* の処理を開始します。**(Start processing ddname)**

説明: この進行メッセージは、*ddname* で指定された B8ROPTxx ファイルが処理されることを示します。このファイルは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 制御コマンドの有無がスキャンされません。

B8R230E 構文解析でエラーが発生しました。
RC=retcode (Error from parse,
RC=retcode)

説明: B8RVARY コマンドの構文解析を正常に実行できませんでした。戻りコードは *retcode* です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R231E *ddname* が見つかりません。(ddname not found)

説明: SELECT キーワードを介して指定した B8ROPTxx ファイルが見つかりません。正しいサフィックスが指定されていること、および B8ROPTxx ファイルが割り振られていることを確認してください。

B8R232A RACFDB の切り替えを確認してください (YES/NO)。 (Confirm switching RACFDB (YES/NO))

説明: このメッセージは、オフライン RACF データベースを切り替えるための確認を求めています。応答を YES にすると、他の RACF データベース (および対応する LOGDS オプションと SMF オプション) を指定できます。それ以外の値にすると、B8RVARY 機能が終了します。

B8R234A B8RVARY サブコマンドまたは「END」を入力してください。(Enter B8RVARY subcommand or "END")

説明: これは、この IBM Security zSecure Admin RACF-Offline セッションの残りで使用するために、オフライン RACF データベースの指定に関する入力を IBM Security zSecure Admin RACF-Offline が要求することを示している端末プロンプトです。任意の IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 制御コマンドを入力できます。IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 制御コマンドの概要については、「IBM Security zSecure Admin ユーザー・リファレンス・マニュアル」の『B8RACF コマンドおよび制御コマンド』を参照してください。発行する RACF コマンドがこれ以上ない場合は、END を入力してプロンプト表示を停止してください。

B8R235E PUTGET でエラーが発生しました。
RC=retcode (Error in PUTGET,
RC=retcode)

説明: 入力ファイルからコマンドを取得するための PUTGET サービスの実行中にエラーが発生しました。サービスからの戻りコードは *retcode* でした。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R236I RACFDB の切り替えが取り消されました。(RACFDB switch cancelled)

説明: このメッセージは、オフライン RACF データベースの切り替えが取り消されたことを確認したものです。メッセージ B8R232A への応答時に、YES 以外の値が入力されました。

B8R238I *ddname* の処理が完了しました。
 (Completed processing *ddname*)

説明: この進行メッセージは、*ddname* で指定された B8ROPTxx ファイルの処理が完了したことを示します。

B8R239E *ddname* を閉じることができません。
 (Cannot close *ddname*)

説明: ファイル *ddname* に CLOSE エラーが発生しました。このエラーは回避しなければなりません。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R240E ESTAC: タスクがアベンドしました。コード =*abndcode*。クリーンアップして終了します。(ESTAC: Task ABENDED, Code=*abndcode*, cleanup and exit)

説明: コマンドの実行中にアベンドが発生しました。エラー・リカバリー・ルーチンが一時 RACF 環境をクリーンアップし、処理を終了します。異常終了コード (*abndcode*) によっては、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R242E **ESTAM:** タスクがアベンドしました。コード *=abndcode*。クリーンアップして終了します。**(ESTAM: Task ABENDed, Code=*abndcode*, cleanup and exit)**

説明: IBM Security zSecure Admin RACF-Offline ルーチンの実行中にアベンドが発生しました。エラー・リカバリー・ルーチンが一時 RACF 環境をクリーンアップし、処理を終了します。異常終了コード (*abndcode*) によっては、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R244E **ESTAV:** タスクがアベンドしました。コード *=abndcode*。クリーンアップして終了します。**(ESTAV: Task ABENDed, Code=*abndcode*, cleanup and exit)**

説明: RACF コマンドの実行中にアベンドが発生しました。エラー・リカバリー・ルーチンが一時 RACF 環境をクリーンアップし、処理を終了します。異常終了コード (*abndcode*) によっては、電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R246I **RACF** データベースは使用中です。
(RACF databases in use)

説明: これは、B8RVARY LIST コマンドに対する応答の最初のメッセージです。使用されている RACF データベースの名前については、追加のメッセージを参照してください。

B8R247I 番号 ボリューム データ・セット
(Number Volume Dataset)

説明: これは、使用されている RACF データベースのリストのヘッダー行です。実際の情報については、追加のメッセージを参照してください。

B8R248I *number volume dataset*

説明: このメッセージは、使用されている RACF データベースのシーケンス番号 (*number*)、ボリューム (*volume*)、およびデータ・セット名 (*dataset*) を表します。

B8R249I 割り振られている RACF データベースがありません。**(No RACF data base allocated)**

説明: このメッセージは、現在使用中のオフライン RACF データベースが存在しないことを示しています。このメッセージは回避しなければなりません。

B8R250E **ISPF** 内部からのリプレイ中は **LOGON** コマンドがサポートされません。
(LOGON command not supported during replay from within ISPF)

説明: リプレイ・ファイルを ISPF 環境の内部から実行しているときは、LOGON コマンドを処理できません。リプレイ・ファイルを正常に実行するために LOGON コマンドが必要な場合は、B8REPLAY コマンドを B8R200A プロンプトで発行してください。

B8R251I *userid* がログオンしました。**(userid logged on)**

説明: *userid* は、オフライン RACF データベースに正常にログオンしました。オフライン RACF データベースからのユーザー許可が使用されます。

B8R252E **RACINIT CREATE** からの戻りコード *retcode-reascode* **(Return code from RACINIT CREATE *retcode-reascode*)**

説明: 一時セキュリティー環境を作成する目的で使用した RACROUTE に障害が発生しました。このメッセージには、戻りコード (*retcode*) と理由コード (*reascode*) が含まれています。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R253E オフライン・データベースにユーザーが定義されていません。**(User not defined in Offline database)**

説明: ユーザー・プロファイルがオフライン RACF データベース内で見つからなかったため、指定されたユーザーに対する LOGON コマンドは失敗しました。正しいユーザーID が指定されていることを確認してください。

B8R254E パスワードが間違っています。(Incorrect password)

説明: オフライン RACF データベース内にある USERID に対して、指定したパスワードが間違っているため、指定されたユーザーに対する LOGON コマンドは失敗しました。正しいユーザー ID/パスワードの組み合わせが指定されていることを確認してください。

B8R255E 有効期限が切れています (Password expired)

説明: オフライン RACF データベース内での USERID に対して、指定したパスワードの期限が切れているため、指定されたユーザーに対する LOGON コマンドは失敗しました。LOGON user ID/password/newpass コマンドを使用して、新規パスワードを指定してください。

B8R256E 新規パスワードが無効です。(New password invalid)

説明: 指定した新規パスワードが RACF に対して無効であるため、指定したユーザーに対する LOGON コマンドは失敗しました。これが発生する理由としては、パスワードがパスワード・ヒストリーに存在する、パスワードが (システム RACF データベースの) インストール・パスワード規則に適合しない、またはパスワードがシステムの新規パスワード出口によって拒否されることが考えられます。有効な新規パスワードを指定します。

B8R257E オフライン・データベースでユーザーが取り消されています。(User is revoked in Offline database)

説明: 指定したユーザーがオフライン RACF データベース内で取り消されているため、そのユーザーに対する LOGON コマンドは失敗しました。これが発生する理由としては、明示的な REVOKE、非活動状態、または過度のパスワードの間違いが考えられます。このユーザーを再開する場合は、オフライン RACF データベース内のいずれかの許可ユーザーから ALTUSER コマンドを介して再開します。オフライン・データベースにログオンする前に ALTUSER コマンドを発行する場合は、システム RACF データベース内のシステム SPECIAL ユーザー ID からコマンドを発行して、取り消されたユーザーを再開できます。

B8R258I ユーザー ID が指定されていません。userid を使用します。(Userid not specified, using userid)

説明: 有効なユーザー ID およびパスワードなしで

LOGON コマンドが指定されました。オフライン RACF データベースにログオンするために、現行のシステム・ユーザー ID が使用されます。

B8R259E パスワードが欠落しています。(Password missing)

説明: LOGON コマンドでは、オフライン・データベースに対する有効なユーザー ID およびパスワードが必要です。パスワードは見つかりませんでした。少なくとも USERID とその後にスラッシュを指定し、プロンプトで正しいパスワードを指定してください。

B8R260E 作業域にアクセスできません。RC=retcode (Cannot access workarea, RC=retcode)

説明: コマンド実行モジュールが内部作業域にアクセスできません。N/T 検索ルーチンからの戻りコードは retcode です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R261E メンバー名は許可されません。(Membername not allowed.) コマンドは無視されます。

説明: RACFDB コマンドおよび LOGDS コマンドでは、区分データ・セット・メンバーの使用はサポートされていません。コマンド全体が処理されません。

ユーザーの処置: エラーを訂正し、必要なコマンドを再度出してください。

B8R262E 構文解析でエラーが発生しました。RC=retcode (Error from parse, RC=retcode)

説明: 内部コマンドの構文解析を正常に実行できませんでした。戻りコードは retcode です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R264E DSNAME が欠落しています。終了します。(DSNAME missing, terminate)

説明: 内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連

絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R265E **DSNAME** が欠落しています。終了します。(DSNAME missing, terminate)

説明: 内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R266E 無効な **SEQUENCE** 番号です。終了します。(Invalid SEQUENCE number, terminate)

説明: 現時点では、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline がサポートしている RACF データベースは、現行システム上のアクティブな RACF データベースと同じ方法で物理的に分割されているデータベースのみです。RACFDB コマンドに指定されているシーケンス番号には、物理データベースの現在の数より大きいシーケンス番号か、ゼロが指定されています。指定するシーケンス番号は、1 から、現行システムに定義されている物理 RACF データベースの数までの範囲にしてください。

B8R267E **DSNAME** が欠落しています。終了します。(DSNAME missing, terminate)

説明: 内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R268I 使用する **LOG** データ・セットは *LOG-dataset-Name* です。(LOG data set to be used is *LOG-dataset-Name*)

説明: 表示された **LOG** データ・セットが、すべての RACF コマンドを記録するために使用されます。これは単なる通知メッセージです。

B8R269I 使用する **REPLAY** データ・セットは *Replay-dataset-Name* です。(REPLAY data set to be used is *Replay-dataset-Name*)

説明: 表示された **REPLAY** データ・セットが、RACF コマンドのソースとして使用されます。これは単なる通知メッセージです。

B8R270E 選択されている **RACF DB** は、**RACF** で制御されません。無視されます。(Use of selected RACF DB is not RACF controlled, ignored)

説明: RACFDB ステートメントに示されている RACF データベースの使用は、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 固有のプロファイルを介しては制御されません。指定したデータベースを使用することはできません。処理は終了します。

B8R272E この **RACF DB** を使用することは許可されていません。無視されます。(You are not authorized to use this RACF DB, ignored)

説明: RACFDB ステートメントに示されている RACF データベースの使用は許可されていません。処理は終了します。許可されている RACF データベースを指定するか、指定したデータベースを使用するための許可を得てください。

B8R273I **RACF LOG** ファイルがオープンされました。(RACF LOG file opened)

説明: このメッセージは、現行の **LOG** ファイルがオープンされたことを確認するものです。このコマンドが **LOG** ファイルに記録されます。

B8R274I 使用される **RACF DB** は *RACF-DB-Name* です。(RACF DB used is *RACF-DB-Name*)

説明: 表示の **RACF** データベースは、すべての **RACF** コマンドに対して使用されます。これは単なる通知メッセージです。

B8R275I **RACF LOG** ファイルが閉じられました。(RACF LOG file closed)

説明: このメッセージは、現行の **LOG** ファイルが閉じられたことを確認するものです。すべてのレコードは書き込み済みです。この **LOG** ファイルが今後使用されることはありません。

B8R276E **RACF** からの戻りコード *retcode* (**Return code *retcode* from RACF**)

説明: RACFDB アクセス検査処理から予想外の応答が返されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されて

いる手順に従って問題を報告してください。

B8R277I RACF LOG ファイルがリセットされました。(RACF LOG file reset)

説明: このメッセージは、現行の LOG ファイルがリセットされたことと、以前に記録されたすべてのコマンドが上書きされることを確認するものです。

B8R278E RACF LOG ファイルが見つかりません。(RACF LOG file not found)

説明: 現在使用中の LOG ファイルはありません。このため、現在は B8RACFLG コマンドを使用できません。

B8R279I RACF LOG ファイルがフラッシュされました。(RACF LOG file flushed)

説明: このメッセージは、現行の LOG ファイルがフラッシュされたことを確認するものです。すべてのレコードは書き込み済みです。この LOG ファイルは、引き続き使用されます。

B8R280E SMF レコードの抑止は、RACF で制御されません。無視されます。(SMF Record suppression is not RACF controlled, ignored)

説明: SMF ステートメントで要求されているような SMF レコード抑止の使用は、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 固有のプロファイルを紹介しては制御されません。このオプションは使用できません。処理は終了します。

B8R282E SMF レコードの抑止は許可されていません。無視されます。(You are not authorized to suppress SMF records, ignored)

説明: SMF ステートメントで要求されているような SMF レコード抑止の使用は許可されていません。処理は終了します。許可されている SMF 処理オプションを指定するか、SMF レコードを抑止するための許可を得てください。

B8R284I RACF SMF レコードは抑止されます。(RACF SMF records will be suppressed)

説明: オフライン RACF データベースにアクセスする RACF コマンドの実行時に生成される SMF レコードは抑止されます。これは単なる通知メッセージです。

B8R285I RACF SMF レコードは抑止されません。(RACF SMF records will not be suppressed)

説明: オフライン RACF データベースにアクセスする RACF コマンドを実行するときに生成される SMF レコードは抑止されません。これは単なる通知メッセージです。

B8R286E RACF からの戻りコード *retcode* (Return code *retcode* from RACF)

説明: SMF アクセス検査処理から予想外の応答が返されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R287I 現行ログ・ファイルは *dsname* です。(Current logfile is *dsname*)

説明: このメッセージは、現在アクティブな LOG ファイルのデータ・セット名を示します。

B8R288I アクティブな LOG ファイルはありません。(No LOG file active)

説明: 現在使用中の LOG ファイルはありません。

B8R290E SMF レコードの再番号付けは、RACF で制御されません。(SMF Record renumber is not RACF controlled)

説明: SMF ステートメントで要求されているような SMF レコードの再番号付けの使用は、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 固有のプロファイルを紹介しては制御されません。このオプションは使用できません。処理は終了します。

B8R292E SMF レコードの再番号付けを許可されていません。(You are not authorized to renumber SMF records)

説明: SMF ステートメントで要求されているような SMF レコードの再番号付けの使用は許可されていません。処理は終了します。許可されている SMF 処理オプションを指定するか、SMF レコードの再番号付けを行うための許可を得てください。

B8R294I **RACF SMF** レコードが再番号付けされます。**(RACF SMF records will be renumbered)**

説明: オフライン RACF データベースにアクセスする RACF コマンドの実行時に生成される SMF レコードには、異なる SMF レコード・タイプ番号が割り当てられます。これは単なる通知メッセージです。

B8R295I **RACF SMF** レコードは再番号付けされません。**(RACF SMF records will not be renumbered)**

説明: オフライン RACF データベースにアクセスする RACF コマンドの実行時に生成される SMF レコードは、元の SMF レコード・タイプ番号を保持します。これは単なる通知メッセージです。

B8R296E **RACF** からの戻りコード *retcode* **(Return code *retcode* from RACF)**

説明: SMF アクセス検査処理から予想外の応答が返されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R297I **New80** の値 *SMF-Record-type-number*
(New80 value *SMF-Record-type-number*)

説明: RACF SMF レコードに、新規のレコード・タイプ番号が割り当てられます。レコード・タイプ 80 のレコードの場合、新規のレコード・タイプは *SMF-Record-type-number* になります。

B8R298I **New81** の値 *SMF-Record-type-number*
(New81 value *SMF-Record-type-number*)

説明: RACF SMF レコードに、新規のレコード・タイプ番号が割り当てられます。レコード・タイプ 81 のレコードの場合、新規のレコード・タイプは *SMF-Record-type-number* になります。

B8R299I **New83** の値 *SMF-Record-type-number*
(New83 value *SMF-Record-type-number*)

説明: RACF SMF レコードに、新規のレコード・タイプ番号が割り当てられます。レコード・タイプ 83 のレコードの場合、新規のレコード・タイプは *SMF-Record-type-number* になります。

B8R300E 新規の **SMF-ID** の割り当ては、**RACF** で制御されません。無視されます。
(Assigning new SMF-ID is not RACF controlled, ignored)

説明: SMF ステートメントで要求されているような SMF-ID 再割り当ての使用は、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 固有のプロファイルを介しては制御されません。このオプションは使用できません。処理は終了します。

B8R302E 新規の **SMF-ID** を割り当てる権限がありません。無視されます。**(You are not authorized to assign a new SMF-ID, ignored)**

説明: オフライン RACF データベースへのアクセス時に作成されたすべての SMF レコードに対して、新規の SMF-ID を割り当てることは許可されていません。処理は終了します。許可されている SMF 処理オプションを指定するか、別の SMF-ID を割り当てるための許可を得てください。

B8R304I 新規の **SMF-ID: *New-SMF-ID* (New SMF-ID: *New-SMF-ID*)**

説明: オフライン RACF データベースにアクセスする RACF コマンドの実行時に生成される SMF レコードには、システム ID として値 *New-SMF-ID* が割り当てられます。これは単なる通知メッセージです。

B8R305I **SMF-ID** 設定は変更されませんでした。
(SMF-ID setting not modified)

説明: オフライン RACF データベースにアクセスする RACF コマンドの実行時に生成される SMF レコードでは、以前の SMF コマンドで設定したときの SMF システム ID か、またはアクティブなシステムの SMF-ID が使用されます。これは単なる通知メッセージです。

B8R306E **RACF** からの戻りコード *retcode* **(Return code *retcode* from RACF)**

説明: SMF アクセス検査処理から予想外の応答が返されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R310E スキャン中にエラーが発生しました。
RC=retcode (Error during scan,
RC=retcode)

説明: TSO コマンド・スキャン・サービス・ルーチンから予想外の応答が返されました。戻りコードは *retcode* です。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R312I サポートされないコマンド: *command*
(Unsupported command: command)

説明: *command* は、RACF-Offline の下での実行がサポートされているコマンドの 1 つではありません。あるいは、現在の環境では使用できません。この事態は、zSecure ISPF ユーザー・インターフェースがアクティブである間に RACF-Offline が開始された場合に、zSecure コマンドで発生する可能性があります。

ユーザーの処置: サポートされている (RACF) コマンドのうちの 1 つを入力してください。

B8R314E 無効なコマンド名構文です。(**Invalid command name syntax**)

説明: 入力されたコマンドは認識されません。最も可能性の高い理由は、コマンド名のタイプ入力エラーか、コマンド名とパラメーターまたはコマンド名とキーワードの間に挿入する空白の欠落です。

B8R315E **SPECIAL/NOSPECIAL** を指定する権限がありません (**Not authorized to specify SPECIAL/NOSPECIAL**)

説明: LOGON コマンドで SPECIAL または NOSPECIAL キーワードを指定するには、リソース B8R.SPECIAL.*master-racfdb-name* への UPDATE アクセス権限が必要です。ここで、*master-racfdb-name* は、最初または唯一のオフライン RACF データベースの名前です。一致するプロファイルが見つからないか、十分なアクセス権限がありません。属性の有効値は変更されません。

B8R316E **OPERATIONS/NOOPERATIONS** を指定する権限がありません (**Not authorized to specify OPERATIONS/NOOPERATIONS**)

説明: LOGON コマンドで OPERATIONS または NOOPERATIONS キーワードを指定するには、リソース B8R.OPERATIONS.*master-racfdb-name* への

UPDATE アクセス権限が必要です。ここで、*master-racfdb-name* は、最初または唯一のオフライン RACF データベースの名前です。一致するプロファイルが見つからないか、十分なアクセス権限がありません。属性の有効値は変更されません。

B8R317E **AUDITOR/NOAUDITOR** を指定する権限がありません (**Not authorized to specify AUDITOR/NOAUDITOR**)

説明: LOGON コマンドで AUDITOR または NOAUDITOR キーワードを指定するには、リソース B8R.AUDITOR.*master-racfdb-name* への UPDATE アクセス権限が必要です。ここで、*master-racfdb-name* は、最初または唯一のオフライン RACF データベースの名前です。一致するプロファイルが見つからないか、十分なアクセス権限がありません。属性の有効値は変更されません。

B8R320E **03** が見つかりません。終了します。
(Cannot find 03, exit)

説明: 内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R322E **07** のロード・エラーが発生しました。終了します。**(Load error for 07, exit)**

説明: 内部エラーが発生しました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R330E *command* の開始時にエラーが発生しました。コード **=retcode-reascode (Error starting command, Code=retcode-reascode)**

説明: 指定したコマンドは、プログラム・ロード・ルーチンにエラーがあったため、開始できませんでした。*retcode* の共通の値は、806 および 306 です。この状態は、サポートされているすべてのコマンドで発生しないようにする必要があります。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R340E 新規の **SMF-USER** の割り当ては、**RACF** で制御されません。無視されます。
(Assigning new SMF-USER is not RACF controlled, ignored)

説明: SMF ステートメントで要求されているような **USER** 再割り当ての使用は、IBM Security zSecure Admin **RACF-Offline** 固有のプロファイルを介しては制御されません。このオプションは使用できません。処理は終了します。

B8R342E 新規の **SMF-USER** を割り当てる権限がありません。無視されます。(You are not authorized to assign a new SMF-USER ignored)

説明: **RACF** コマンド・レコード (SMF-80) に対して新規の **USER** を割り当てることは、許可されていません。処理は終了します。許可されている SMF 処理オプションを指定するか、別の **USER** を割り当てるための許可を得てください。

B8R344I 新規の **SMF-USER: New-USER (New SMF-USER: New-USER)**

説明: **RACF** コマンドに対して生成される SMF レコードには、SMF80UID に値 *New-USER* が割り当てられます。これは単なる通知メッセージです。

B8R345I **SMF-USER** 設定は変更されませんでした。(SMF-USER setting not modified)

説明: **RACF** コマンドに対して生成される SMF レコードでは、元々の **USER** 値が SMF80UID に保持されます。これは単なる通知メッセージです。

B8R346E **RACF** からの戻りコード *retcode* (**Return code retcode from RACF**)

説明: SMF アクセス検査処理から予想外の応答が返されました。電子サポート Web サイトを参照して、このメッセージに関連付けられた使用可能な保守を探してください。該当する保守が見つからない場合は、707 ページの『IBM サポートへの連絡』に記載されている手順に従って問題を報告してください。

B8R350W **RACF** データベースのシスプレックス *sysplexname* との共有に誤りがある可能性があります。(Possible incorrect sharing of RACF database with sysplex *sysplexname*)

説明: このメッセージが発行されるのは、オフライン

RACF データベースがデータ共用モードで使用されていたことを **RACF-Offline** が検出した場合です。データベースをデータ共用モードで使用したシスプレックス (または複数のシスプレックスのうちの 1 つ) は、*sysplexname* で示されます。データベースがその他のシステムでは既に使用されていないことが確実である場合は、メッセージ **B8R351A** に対して「continue」と応答できます。確信を持ってない場合は、「end」と応答してください。

続行するには、プロファイル **B8R.RACFDB** <**RACF** データベース名> に対する **CONTROL** 以上のアクセス権限が必要です。これらの保護プロファイルについて詳しくは、「**RACF** システム・プログラマーのガイド」のセクション『不正なデータベース共用によって生じるデータ破壊に対するガード』を参照してください。

B8R351A 「CONTINUE」または「END」を入力してください。(Enter "CONTINUE" or "END")

説明: このメッセージは、メッセージ **B8R350W** の続きとして発行されます。オフライン・データベースがその他のシステムでは既に使用されていないことが確実である場合は、「continue」と応答できます。その他の応答をすると、この **RACF-Offline** セッションが終了する結果になります。「continue」という応答は短縮できません。また、空白を含む他の文字を続けることもできません。

B8R352I **STEPLIB** から **LPA** に **SMF** ルーチンを読み込むことができませんでした。
RC=retcode (Could not load SMF routine from STEPLIB into LPA, RC=retcode)

説明: この診断メッセージは、zSecure Admin SMF 出口ルーチンの新規コピーをシステム **LPA** に読み込むときに予想外のエラーが発生したことを示すために発行されます。追加情報がメッセージ **B8R353I** に表示されます。

B8R353I 詳細情報 *retcode-reascode* (**Detail info retcode-reascode**)

説明: この診断メッセージは、メッセージ **B8R352I** の続きです。このメッセージには、CSVDYLPA 要求の詳細なエラー・コードおよび理由コードが示されます。

B8R354I SMF 出口の古いコピーを **LPA** から削除するときにエラーが発生しました。
RC=retcode (Error removing old copies of SMF exit from LPA, RC=retcode)

説明: この診断メッセージは、zSecure Admin SMF 出口ルーチンの廃止コピーをシステム **LPA** から削除するときに予想外のエラーが発生したことを示すために発行されます。

B8R355I **DBSHIELD: ICHEINTY RC=retcode (DBSHIELD: ICHEINTY RC=retcode)**

説明: このメッセージは、内部の **ICHEINTY** から予想外の応答を受け取ったときに発行されます。戻りコードは *retcode* です。

B8R356I **DBSHIELD appldata profile** が無効です。無視されます。**(DBSHIELD appldata profile invalid, ignored)**

説明: このメッセージは、いずれかの **IRRPLEX_sysplex** プロファイルの **APPLDATA** フィールドに無効値が検出されると発行されます。有効な **appldata** 値は、**NON-DATA SHARING MODE** および **DATA SHARING MODE** のみです。

B8R357I **DBSHIELD appldata profile** が欠落しています。無視されます。**(DBSHIELD appldata profile missing, ignored)**

説明: このメッセージは、いずれかの **IRRPLEX_sysplex** プロファイルに **APPLDATA** 値が存在しなかった場合に発行されます。有効な **appldata** 値は、**NON-DATA SHARING MODE** および **DATA SHARING MODE** のみです。

B8R358I **DBSHIELD** プロファイル管理エラーが発生しました。**RC=retcode-reascode (DBSHIELD profile management error, RC=retcode-reascode)**

説明: このメッセージは、**IRRPLEX_sysplex** プロファイルの **APPLDATA** 値の更新時に障害が発生すると発行されます。

B8R359I **DBSHIELD** プロファイル管理エラーが発生しました。**RC=retcode-reascode (DBSHIELD profile management error, RC=retcode-reascode)**

説明: このメッセージは、**IRRPLEX_sysplex** プロファイルの削除に失敗すると発行されます。

B8R360E **New80** の値が欠落しています。**(New80 value missing.)**終了します。**(Terminate)**

説明: このエラー・メッセージは、**NEW80** パラメータの値が欠落している場合に発行されます。値を指定してください。

B8R361E **New81** の値が欠落しています。**(New81 value missing.)**終了します。**(Terminate)**

説明: このエラー・メッセージは、**NEW81** パラメータの値が欠落している場合に発行されます。値を指定してください。

B8R362E **New83** の値が欠落しています。**(New83 value missing.)**終了します。**(Terminate)**

説明: このエラー・メッセージは、**NEW83** パラメータの値が欠落している場合に発行されます。値を指定してください。

B8R363E 新規の **SMF-ID** の値が欠落しています。**(New SMF-ID value missing.)**終了します。**(Terminate)**

説明: このエラー・メッセージは、**SMF-ID** パラメータの値が欠落している場合に発行されます。値を指定してください。

B8R364E 新規の **SMF-USER** が欠落しています。**(New SMF-USER missing.)**終了します。**(Terminate)**

説明: このエラー・メッセージは、**SMF-USER** パラメータの値が欠落している場合に発行されます。値を指定してください。

B8R365E **SMF** 処理を使用不可に設定することは、**RACF** で制御されません。無視されます。**(Disabling SMF processing is not RACF controlled, ignored)**

説明: **SMF** レコードの **RACF-Offline** 処理をすべて使用不可に設定する機能は、該当の **RACF** プロファイルを介しては制御されません。**SMF** レコードの **RACF-Offline** 処理をすべて使用不可に設定する要求は、拒否されます。**SMF** レコード処理の以前の状況は変更されません。

B8R366E SMF 処理を使用不可に設定する権限がありません。(You are not authorized to disable SMF processing.)無視されます。(Ignored)

説明: リソース B8R.SMF.ASIS に対する十分なアクセス権限がありません。SMF レコードの RACF-Offline 処理をすべて使用不可に設定する要求は、拒否されます。RACF-Offline による SMF レコード処理の現在の状況は、変更されません。

B8R367E RACF からの戻りコード *retcode* (Return code *retcode* from RACF)

説明: RACF-Offline による SMF 処理をすべて使用不可に設定するためのアクセス権限検査要求から、予想外のコードが返されました。

B8R368I B8RACF SMF 処理が使用不可に設定されました。(B8RACF SMF processing disabled)

説明: RACF-Offline が SMF レコードを変更して、オフライン RACF データベース内のプロファイルに対するアクセス権限または更新情報に関連していると明示的にマークを付けることはなくなります。オフライン RACF データベースに対する更新情報に関連した RACF SMF レコードは、システム RACF データベースに対する更新情報として作成されたレコードと区別できません。

B8R369I B8RACF SMF 処理は使用不可に設定されませんでした。(B8RACF SMF processing not disabled)

説明: RACF-Offline による RACF レコードの処理に関する以前の設定は変更されません。

B8R370W クラス *class* に対する RACROUTE LIST で障害が発生しました。
RC=*retcode-reascode* (RACROUTE LIST failed for class *class*,
RC=*retcode-reascode*)

説明: 一部のリソース・クラスでは、Offline コマンドによって実行された許可検査に正しいプロファイルが使用されていることを確認するために、RACF-Offline によってローカル RACLIST が実行されます。例えば、FIELD クラスや CKGRACF の使用許可に対しては、オフライン RACF データベースからのプロファイルを使用する必要があります。このメッセージが発行された場合は、ローカル RACLIST プロセスに障害が発生しています。「Security Server RACROUTE マクロ解説書」

で、*retcode/reascode* を調べてください。

B8R371W クラス *class* に対する RACROUTE LIST で障害が発生しました。
RC=*retcode-reascode* (RACROUTE LIST failed for class *class*,
RC=*retcode-reascode*)

説明: 一部のリソース・クラスでは、Offline コマンドによって実行された許可検査に正しいプロファイルが使用されていることを確認するために、RACF-Offline によってローカル RACLIST が実行されます。例えば、FIELD クラスや CKGRACF の使用許可に対しては、オフライン RACF データベースからのプロファイルを使用する必要があります。このメッセージが発行された場合は、ローカル RACLIST の実行されたクラスのクリーンアップに障害が発生しています。「Security Server RACROUTE マクロ解説書」で、*retcode/reascode* を調べてください。

B8R400I Setropts コマンドは現在サポートされていません。(Setropts command currently not supported)

説明: SETROPTS コマンドは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 環境では現在サポートされていません。

B8R410I RVARY コマンドは現在サポートされていません。(RVARY command currently not supported)

説明: RVARY コマンドは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 環境では現在サポートされていません。

B8R420I RACLINK コマンドは現在サポートされていません。(RACLINK command currently not supported)

説明: RACLINK コマンドは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 環境では現在サポートされていません。

B8R430I B8RACFLG コマンドは RACF-Offline でのみ有効です。(B8RACFLG Command only valid in RACF-Offline)

説明: B8RACFLG コマンドを発行できるのは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 環境の内部からに限ります。

B8R432I **B8REPLAY** コマンドは **RACF-Offline** でのみ有効です。(**B8REPLAY Command only valid in RACF-Offline**)

説明: B8REPLAY コマンドを発行できるのは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 環境の内部からに限ります。

B8R434I **B8RVARY** コマンドは **RACF-Offline** でのみ有効です。(**B8RVARY Command only valid in RACF-Offline**)

説明: B8RVARY コマンドを発行できるのは、IBM Security zSecure Admin RACF-Offline 環境の内部からに限ります。

B8R450I コマンド **#rc0 #rc4 #rc8**

説明: これは、現行の IBM Security zSecure Admin RACF-Offline セッション中に発行された RACF コマンドを要約しているメッセージ・ブロックの先頭行です。後続の B8R451I メッセージに、カウンターが表示されます。**#rc0** 列には、戻りコードが 0 で終了したコマンドの数が表示されます。他の 2 つの列には、戻りコードが 4 および 8 で終了したコマンドの数が表示されます。

B8R451I *Command #rc0 #rc4 #rc8*

説明: このメッセージは、数回繰り返されます。*Command* は RACF コマンドの名前であり、*#rcn* は、RACF コマンドが戻りコード *n* で終わっている回数を表します。

B8R452I 合計 **#rc0 #rc4 #rc8 (Total #rc0 #rc4 #rc8)**

説明: これは、現行の IBM Security zSecure Admin RACF-Offline セッション中に発行された RACF コマンドを要約しているメッセージ・ブロックの最後の行です。この行は、発行された RACF コマンドの合計回数を示しています。

第 17 章 ICH メッセージおよび IRR メッセージ

zSecure Admin の zSecure Admin RACF-Offline 機能は RACF を内部で呼び出し、結果として RACF メッセージ (ICH および IRR) が発行されます。ただし、zSecure Admin RACF-Offline 環境では、以下のメッセージ索引で説明するように、一部の ICH および IRR メッセージが代替的な解釈および修正アクションを示す場合もあります。RACF の信頼できる標準的な説明は、RACF マニュアルに記載されています。

注: ICH メッセージおよび IRR メッセージに関する追加情報 (システム・プログラマーの応答オプションに関する説明など) は、以下の資料を参照してください。

- z/OS システムの場合は、z/OS インターネット・ライブラリー (IBM Knowledge Center for z/OS) で、「*Security Server RACF* メッセージおよびコード」マニュアルを参照してください。
- z/VM システムの場合は、z/VM インターネット・ライブラリー (www.vm.ibm.com/library/) で「*Security Server RACF* メッセージおよびコード」マニュアルを参照してください。

ICH51003I NAME NOT FOUND IN RACF DATA SET

説明: このメッセージは、現行ユーザー (またはその現行グループ) がオフライン RACF データベース内で定義されて おらず、ユーザーがアクティブな RACF データベース内で system-special (または system-auditor) 属性を持たない場合に発行されることがあります。このメッセージは、コマンドを発行するための現行ユーザーの権限を RACF が評価する必要がある場合のみ発行されます。

ユーザーの処置: LOGON コマンドを使用して、オフライン RACF データベースでのユーザー ID の定義を使用します。あるいは、現行のユーザー ID (およびその現行グループ) がオフライン RACF データベース内で定義されるようにするか、アクティブな RACF データベース内のユーザーに system-special 属性を割り当てます。

ICH51011I RACF マネージャーの処理がエラーのために終了しました。(RACF MANAGER PROCESSING ENDED DUE TO ERROR.) 戻りコード =return-code (RETURN CODE =return-code)

説明: このメッセージは、現行ユーザーがオフライン RACF データベース内で定義されて おらず、ユーザーがアクティブな RACF データベース内で system-special (または system-auditor) 属性を持たない

場合に発行されることがあります。このメッセージは、コマンドを実行するための現行ユーザーの権限を RACF が評価する必要がある場合のみ発行されます。

ユーザーの処置: LOGON コマンドを使用して、オフライン RACF データベースでのユーザー ID の定義を使用します。あるいは、現行のユーザー ID (およびその現行グループ) がオフライン RACF データベース内で定義されるようにするか、アクティブな RACF データベース内のユーザーに system-special 属性を割り当てます。

IRR52105I 動的解析テーブル内のフィールドがテンプレートで検出されません。(Field in dynamic parse table is not found in template.)システム・プログラマーに連絡してください。

説明: このエラー・メッセージが RACF オフライン環境の外部でも発生する場合、「*Security Server RACF* メッセージおよびコード」マニュアルを参照してください。このメッセージが RACF オフライン環境内で CSDATA 情報を処理する場合にのみ発生する場合、インストール・エラーが発生した可能性があります。最も可能性の高い原因は、各種 RACF モジュール間の不一致です。

ユーザーの処置: B8RENVXX モジュールが再作成されていること、およびこのモジュールが IRRENV00 に存在するのと同レベルの RACF コードを含むことを確認

IRR52115I

します (例えば csect IRRENV00 の見出しを確認します)。

ICH メッセージおよび IRR メッセージに関する追加情報 (システム・プログラマーの応答オプションに関する説明など) は、以下の資料を参照してください。

- z/OS システムの場合は、z/OS インターネット・ライブラリー (www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSLTBW) で、「*Security Server RACF* メッセージおよびコード」を参照してください。
- z/VM システムの場合は、z/VM インターネット・ライブラリー (www.vm.ibm.com/library/) で「*z/VM RACF Security Server* メッセージおよびコード」を参照してください。

IRR52115I RACF マネージャーの処理中のエラー。
(Error during RACF manager processing.) 戻りコードは **36** です。理由コードは **3** です。

説明: RACF はオフライン RACF データベース内の RACF データベース・テンプレートが現行バージョンの RACF コマンド・プロセッサに関してダウン・レベルであることを検出しました。現行バージョンの IRRMIN00 を確認し、オフライン RACF データベースに対して適切な入力を使用されていることを確認してください。

第 18 章 その他のエラー・メッセージ

この章では、zSecure Visual を使用するときが発生する可能性がある追加のエラー・メッセージについて説明します。エラー・メッセージのソースは、後続のセクションでメッセージ接頭部によって示します。

C エラー

C メッセージはインストールまたは構成が正しくない結果である可能性があります。クライアントのインストール、セットアップ、および構成についての情報は、*IBM Security zSecure Visual: クライアント・マニュアル* を参照してください。

LC エラー

LC607 失敗しました。(Get Failed.)

説明: ローカルの TCP/IP 通信が失敗しました。ローカル・エージェントに問題があるか、TCP/IP 通信に使用されるいずれかのポートに競合が発生しました。ポートの競合をトラブルシューティングするには、zSecure Visual が使用するポートをサーバー定義から検索します (ポートを見つけるには、メインメニューから「ファイル」>「Configure」を選択します)。デフォルトでは、サーバー・ポート番号およびサーバー・ポート番号 + 1

が使用されます。ローカル・ポートが定義される場合、サーバー・ポート + 1 の代わりにローカル・ポート + 1 が使用されます。マシンで使用されているポートを検査するには、コマンド・プロンプトから `netstat -a` コマンドを入力します。これにより、システムのアクティブな接続が表示されます。競合を回避するには、zSecure Visual によって使用されるポートが他のプロセスによって使用されないようにする必要があります。

EPR エラー

EPR エラーの最大の推定原因は、クライアントまたはサーバーの構成が正しくないことです。Visual Client の構成については、*IBM Security zSecure Visual: クライアント・マニュアル* を参照してください。Visual サーバーの構成については、*IBM Security zSecure CARLa-Driven Components: インストールおよびデプロイメント・ガイド* を参照してください。また、「Edit server」ダイアログの「Test Connection」ボタンを使用して、サーバーが実行中であって到達可能であることを確認できます。このバージョンでは、ログオン後のエラー EPR13052 は無視できます。これは最初のログオンに極めて時間がかかる場合に発生します。

付録. 問題解決に対するサポート

この節では、IBM 製品のサポートが得られる、以下のオプションについて説明します。

- 『知識ベースの検索』
- 『フィックスの入手』
- 706 ページの『IBM ソフトウェア・サポートへの登録』
- 706 ページの『各週のサポート更新情報の入手』
- 707 ページの『IBM サポートへの連絡』

知識ベースの検索

使用可能な IBM の知識ベースを検索して、その問題に対する解決策が既に文書化されているかどうかを判別することができます。

IBM Support Web サイト www.ibm.com/support/us/srchtips.html を使用して、検索結果を最適化する方法をご確認ください。

有効なテクニカル・リソース

IBM Security zSecure Suite の IBM Knowledge Center に加え、以下のテクニカル・リソースにアクセスして質問の回答および問題の解決について支援を受けることもできます。

- www.ibm.com/support/entry/portal/Overview にある IBM サポート・サイトにアクセスして、技術情報、APAR (問題報告書)、およびその他の関連情報を確認してください。
- IBM Redbooks® サイトにアクセスして、zSecure の最新 Redbooks の場所を検索してください。 www.redbooks.ibm.com/
- IBM developerWorks (www.ibm.com/developerworks/) の zSecure コミュニティにアクセスしてください。

IBM Support Assistant を使用した検索

IBM Support Assistant (ISA) は無料の保守容易性ワークベンチであり、IBM ソフトウェア製品に関する質問や問題の解決に役立ちます。ISA のダウンロードとインストールの手順については、ISA Web サイト (www.ibm.com/software/support/isa) を参照してください。

フィックスの入手

以下は英語のみの対応となります。お客様の問題の解決に、プロダクトのフィックスが有効な場合があります。ご使用の IBM Security zSecure ソフトウェア・プロダクトに使用可能なフィックスにどのようなものがあるかを調べるには、以下のステップを実行してください。

1. IBM Software Support Web サイト (www.ibm.com/software/support) にアクセスします。
2. 「製品ファインダー」フィールドに、「zSecure」と入力します。
または「製品リストから選択」をクリックします。表示されるリストで「**zSecure Systems**」をクリックし、展開されたリストで、目的とする IBM Security zSecure 製品を選択します。
3. 製品バージョンのリストで、目的とするバージョンを選択して「実行」をクリックします。
4. 「ダウンロード」で、「**Search results: Fixes by version**」をクリックし、バージョンのリストで、目的とするバージョンを選択します。

問題に対応する説明がない場合は、検索語、エラー・コード、フィックス番号、または APAR 番号を「サポート技術情報検索」フィールドに入力し、「検索のみ *product*」を選択し、右側の記号 (実行) をクリックします。

使用可能なフィックスの種類について詳しくは、「*Software Support Handbook*」(www.ibm.com/support/customer/sas/f/handbook/home.html) を参照してください。

IBM ソフトウェア・サポートへの登録

以下は英語のみの対応となります。フィックス、および IBM 製品に関するその他のニュースについての更新情報を週次 E メールで受信するには、IBM ソフトウェア・サポートに登録しておく必要があります。IBM ソフトウェア・サポートに登録するには、次のステップを行います。

1. IBM Software Support サイト (www.ibm.com/software/support) にアクセスします。
2. 「共通サポート・リンク」セクションで「**Sign in**」をクリックします。
3. 「今すぐ登録」をクリックします。
4. IBM ID 登録フォームへの入力完了したら、「**Submit**」をクリックします。
フォームに指定した E メール・アドレスがユーザー名 (IBM ID) になります。

各週のサポート更新情報の入手

週次 E メール通知サービスを申し込むには、IBM ソフトウェア・サポートに登録する必要があります。『IBM ソフトウェア・サポートへの登録』を参照してください。

以下は英語のみの対応となります。フィックスおよびその他のソフトウェア・サポートに関する情報についての通知を、週次 E メールで受信するには、以下のステップを実行してください。

1. Stay up to date サイト (www.ibm.com/software/support/einfo.html) にアクセスします。
2. 「**My notifications**」または「**Subscribe now!**」ボタンをクリックします。
3. 「**Subscribe to notifications**」フィールドに、目的とする製品名を入力します。入力していくと、使用可能な製品のリストがドロップダウン・ウィンドウに表示されます。

4. 登録する各製品の「**Subscribe**」をクリックします。
5. 登録する製品ごとに、受信したい文書タイプを選択して「**Submit**」をクリックします。ドロップダウン・リストのその製品の個所に「**Subscribed**」が表示されます。登録を取り消すには「**Unsubscribe**」をクリックします。
6. 必要な製品をすべて選択したら、右上隅または選択可能な製品のドロップダウン・リストにある「**x**」をクリックしてリストを閉じます。「**Product subscriptions**」セクションに、登録したすべての製品がリストされます。
7. 「**Delivery preferences**」をクリックし、すべての登録について E メールの頻度および形式を選択します。E メール・アドレスを変更したり、機械翻訳を含めるように選択したりすることもできます。

「**My notifications**」機能で問題が発生した場合は、その問題について説明した E メールを erchelp@ca.ibm.com に送信してください。

IBM サポートへの連絡

IBM サポートでは、製品の問題点に関するサポートや、よくある質問 (FAQ) への回答を提供するほか、ユーザーが製品に関する問題を解決するのを支援しています。

IBM サポートに連絡するには、ユーザーの企業が有効な IBM ソフトウェア・サブスクリプションおよびサポート契約を保持し、ユーザーが IBM に問題を送信する権限を持っている必要があります。利用できるサポートの種類については、「*Software Support Handbook*」の『*Support portfolio*』トピックを参照してください。

問題に関して IBM サポートにお問い合わせいただくには、以下の手順を実行してください。

1. 『ビジネス・インパクトの判別』
2. 708 ページの『問題の説明と情報の収集』
3. 708 ページの『IBM サポートへの問題の送信』

ビジネス・インパクトの判別

したがって、報告する問題のビジネス・インパクトを理解し、評価する必要があります。以下の基準を使用してください。

重大度 1

この問題は、重大な ビジネス・インパクトがあります。プログラムを使用できなくなり、その結果、業務に重大な影響が及びます。この状態は、即時の解決策を必要とします。

重大度 2

この問題は、大きな ビジネス・インパクトがあります。プログラムは使用可能ですが、かなり限定されます。

重大度 3

この問題は、ある程度の ビジネス・インパクトがあります。プログラムは使用可能ですが、重要性の低い(業務にとって重大でない) 機能が使用できません。

重大度 4

この問題は、わずかな ビジネス・インパクトです。問題は業務にほとんど影響を及ぼさないか、または、この問題に対する妥当な回避策が実施されました。

問題の説明と情報の収集

問題を報告する際には、可能な限り具体的に説明してください。IBM ソフトウェア・サポート・スペシャリストがお客様の問題の解決を効率的にお手伝いできるように、関連する背景情報もすべて含めてください。時間を節約するために、以下の質問の答えを用意してください。

- 問題が発生したときに実行していたソフトウェアのバージョンは？
- 問題の症状に関係のあるログ、トレース、およびメッセージがありますか？IBM サポートは、以下の情報の提供をお願いすることがよくあります。
- 問題を再現させることができますか？ その場合、どのステップを実行したらこの問題が再現されますか？
- システムに何か変更を行いましたか？ 例えば、ハードウェア、オペレーティング・システム、ネットワーキング・ソフトウェアなどの変更を行いましたか？
- 現在、この問題に対する回避策を使用していますか？ その場合は、問題を報告されるときに、その回避策について説明する準備もお願いします。

IBM サポートへの問題の送信

問題を IBM ソフトウェア・サポートに処理依頼するには、以下の 2 つの方法のいずれかをご利用いただけます。

Web Web から問題を送信するには、新規サービス要求を開きます。まだサインインしていない場合は、IBM ID およびパスワードを使用してサインインする必要があります。新しいサービス要求を作成するには、「新しいサービス要求 (**New service request**)」をクリックし、該当する問題送信フォームに情報を入力します。

サービス要求ツールについて詳しくは、「*Software Support Handbook*」のトピック『**Contacts**』(www.ibm.com/support/customer/sas/f/handbook/contacts.html) を参照してください。

電話 お客様の国から電話をかける場合の電話番号については、IBM Directory of worldwide contacts (www.ibm.com/planetwide/) にアクセスしてください。案内に従って、必ず IBM セキュリティー・アプライアンスに関するサポートや質問の要求に該当するソフトウェア・サポートのオプションを選択してください。

IBM セキュリティー製品に関する情報

- Accessing Product Documentation for IBM Security products
- IBM Knowledge Center の IBM Security zSecure Suite 関連資料
- IBM Knowledge Center の IBM Security zSecure Manager for RACF z/VM 関連資料
- インターネット上の IBM セキュリティー製品の情報

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。

国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
2Z4A/101
11400 Burnet Road
Austin, TX 78758 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については検証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。

お客様は、IBM のアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

IT Infrastructure Library は AXELOS Limited の登録商標です。

インテル、Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、Pentium は Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

ITIL は AXELOS Limited の登録商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Cell Broadband Engine は、Sony Computer Entertainment, Inc.の米国およびその他の国における商標であり、同社の許諾を受けて使用しています。

Linear Tape-Open、LTO、LTO ロゴ、Ultrium および Ultrium ロゴは、HP、IBM Corp. および Quantum の米国およびその他の国における商標です。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

アクセシビリティー xii
インターネット、検索 707
インフォメーション・センター、検索 707
エラー
 BB100018 681
 BB124 681
 BB146 681
 BB157 681
 BB200004 682
 LC607 705
 n が 100000 より小さい場合の
 BBn 681
 zSecure Visual クライアント 705
お客様サポート 709
 検索のヒント 707
 サポート・ツールを使用した検索 707
 知識ベースの検索 707
 登録 708
オンライン
 資料 v, vi, ix
 用語 v

[カ行]

研修 xii

[サ行]

サポート 707
重大度コード 125
条件コード 125
資料
 アクセス、オンライン v, vi, ix
 本製品用のリスト v, vi, ix
 ライセンス出版物の入手 v, vi
スパン・レコード
 VSAM 16
セグメント
 スパン VSAM レコード 16
ソフトウェア・サポート
 受信、各週の更新情報 708
 連絡 709

[タ行]

知識ベース
 検索のヒント 707
 サポート・ツールを使用した検索 707
 知識ベースの検索 707
通信エラー 705
トラブルシューティング xii

[ハ行]

フィックス、入手 707
ポート
 競合 705
ポリシー・プロファイル
 メッセージ 645

[マ行]

メッセージ
 エンタープライズ・エラー 705
 クライアント 705
 ローカル通信エラー 705
 C2RU161 624
 C2RU162 624
 C2RU163 624
戻りコード 125
問題判別 xii

[ヤ行]

用語 v

[ラ行]

ライセンス文書
 .iso ファイルの入手 vi
リソースのコピー 277
リソースの削除 275

[数字]

3350
 コンソール上のメッセージ 7

A

ADDSD 180, 210

ALTDSD
 DELVOL 206
 NODFP 208, 210
 NONOTIFY 206, 207
 NOTIFY 204, 205
 OWNER 177, 178, 206, 207, 209
 メッセージ内の 177
ALTGROUP
 OWNER 178
ALTUSER
 DFLTGRP 210
 OWNER 178
 REVOKE 210
APF 51
 許可 180

B

B8R メッセージ 683
 重大度 683
BB メッセージ 681
BB100018 681
BB124 681
BB146 681
BB157 681
BB200004 682

C

C エラー 705
C2P メッセージ
 完了コード 533
 重大度 533
 戻りコード 533
C2R メッセージ 605
C2RU メッセージ 619
C2RW メッセージ 627
C2X メッセージ 629
 完了コード 629
 重大度 629
 戻りコード 629
C2XACTV メッセージ 629
C4R メッセージ 645
 重大度 645
CKF メッセージ 5
 完了コード 5
 重大度 5
 戻りコード 5
CKG メッセージ 83
 完了コード 83
 重大度 83

CKG メッセージ (続き)
 戻りコード 83
CKGRACF メッセージ 83
CKN メッセージ 125
 完了コード 125
 重大度 125
 戻りコード 125
CKNSERVE メッセージ 125
CKR メッセージ 165
 完了コード 165
 重大度 165
 戻りコード 165
CKRCARLA メッセージ 165
CKV メッセージ 487
 完了コード 487
 重大度 487
 戻りコード 487
CKX メッセージ 501
 完了コード 501
 重大度 501
 戻りコード 501
CMD リジェクト 7
CONNECT 210
 OWNER 178
 VERIFY 179
CQT メッセージ 511

D

DASDVOL 180
DEFINE ALIAS 277
DELDSD 181, 205, 206
 GENERIC 180
 NOSET 204, 205
 メッセージ内の 175
DELETE
 ALIAS 276
 PERMIT 178, 208, 209, 214, 226
 メッセージ内の 176, 177
DELMEM
 RALTER
 メッセージ内の 175
DELUSER 210, 211
DFLTGRP
 ALTUSER 210
DFP
 VVDS 180

E

EDT 6
EPR エラー 705
Error
 ローカル通信 705

I

IBM
 ソフトウェア・サポート xii
 Support Assistant xii
IBM Security zSecure Visual サーバー・
 メッセージ 627
ICH メッセージ 703
IDCAMS
 DIAGNOSE 180, 181, 275
INDICATED
 VERIFY 180, 204, 210
 メッセージ内の 175
IOCH 6
IODN 6
IRR メッセージ 703
IRRUT200
 推奨される場合 170, 171
iso ファイル
 ライセンス出版物の入手 vi

L

LC エラー 705
Log
 エンタープライズ 705
LPBT 6

N

n が 100000 より小さい場合の BBn 681
NODFP
 ALTDSD 208, 210
NONOTIFY
 ALTDSD 206, 207
 RALTER 207, 208
NOTIFY
 ALTDSD 204, 205
 RALTER 204, 211
 REMOVE 206, 207, 209

O

ONVOLUME
 VERIFY 204, 205, 206
 メッセージ内の 175
OWNER
 ALTDSD 177, 178, 207, 209
 メッセージ内の 177
 ALTGROUP 178
 ALTUSER 178
 CONNECT 178
 RALTER 178

P

PADS
 メッセージ内の 167, 169, 187, 234, 312
 VERIFY 175, 218, 219, 328, 329, 330
PERMIT
 DELETE 178, 208, 209, 214
 メッセージ内の 176, 177
 REMOVE 178, 179, 202, 205, 206, 207, 208, 209, 214, 222, 226
 メッセージ内の 176, 177
 VERIFY 178, 179, 202, 205, 206, 207, 208, 209, 210, 214, 222, 226
 メッセージ内の 176, 177
PROGRAM
 VERIFY
 メッセージ内の 175
PROTECTALL
 VERIFY 180, 181, 209, 210

R

RACF Offline メッセージ 683
RALTER
 ADDMEM 226
 DELMEM 226
 メッセージ内の 175
 NONOTIFY 207, 208
 NOTIFY 204, 211
 OWNER 178
RCVT 6
RDEL
 RDEL 207
REDUNDANT
 REMOVE 181
REMOVE 210
 PERMIT 178, 179, 202, 205, 206, 207, 208, 209, 210, 214, 222, 226
 メッセージ内の 176, 177
 REDUNDANT 181
REVOKE
 ALTUSER 210

S

SSVT 6
STGS 6

T

TCP
 ポートの競合 705

V

VERIFY

CONNECT 179

INDICATED 180, 204, 210
メッセージ内の 175

NOTEEMPTY 180

ONVOLUME 204, 205, 206
メッセージ内の 175

PADS 175, 218, 219, 328, 329, 330

PERMIT 178, 179, 202, 205, 206, 207,
208, 209, 210, 214, 222, 226
メッセージ内の 176, 177

PROGRAM

メッセージ内の 175

PROTECTALL 180, 181, 209, 210

VVDS

プロファイル 180

Z

zSecure Alert メッセージ 533

zSecure CICS Toolkit メッセージ 511

zSecure Command Execution Utility メ
ッセージ 501

zSecure Command Verifier メッセージ
645

zSecure Manager for RACF z/VM メッ
セージ 487

zSecure Visual クライアント通信エラー
705

zSecure Visual クライアント・エラー
705

zSecure Visual クライアント・メッセー
ジ 619

zSecure Visual メッセージ 681

z/OS 用の zSecure Collect メッセージ 5

z/VM 用の zSecure Collect メッセージ
487



Printed in Japan

SA88-7160-05



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21